

白滝遺跡群 VI

第1分冊（本文編）

白滝村 上白滝8遺跡(2)

一般国道450号白滝丸瀬布道路工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書

平成17年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター



口絵2 空中写真・上白滝8遺跡(1)



1 遺跡群と北大雪連峰（北東から・平成11年撮影）



2 平成8年度調査状況（南東から）



1 平成 8 年度調査状況 (東から)



2 平成 8 年度調査状況 (北東から)

口絵4 上白滝8遺跡(3)



1 平成8年度調査状況(南東から)



2 平成9年度調査状況(南東から)



1 平成12年度調査状況 (西から)



2 土層断面 (S27・28区南壁) (北から)

口絵6 上白滝8遺跡(5)



1 白滝I群 Sb-70石核ほか (南東から)



2 白滝I群 Sb-77掻器ほか (北西から)



口絵 8 上白滝 8 遺跡(7)





口絵10 上白滝8遺跡(9)





1 G区 Sb-83彫器・石核ほか（北東から）



2 G区 Sb-83舟底形石器ほか（南東から）

口絵12 上白滝8遺跡(11)



1 H区 Sb-90石刃核ほか (南東から)



2 H区 Sb-90石刃核ほか (南西から)



1 1区 Sb-93調査状況 (西から)



2 1区 Sb-93彫器・石核ほか (南東から)

口絵14 上白滝8遺跡(13)



1 1区 Sb-95調査状況(南から)



2 1区 Sb-94舟底形石器ほか(南から)



1 J区 Sb-97調査状況 (南西から)



2 J区 Sb-97尖頭器・彫器・石核ほか (北東から)



G区(Sb-80~89)尖頭器ほか(2/3)





H区(Sb-90)細石刃核ほか(2/3)







I区(Sb-91~96)尖頭器 (2/3)





1区(Sb-91~96)舟底形石器ほか(2/3)



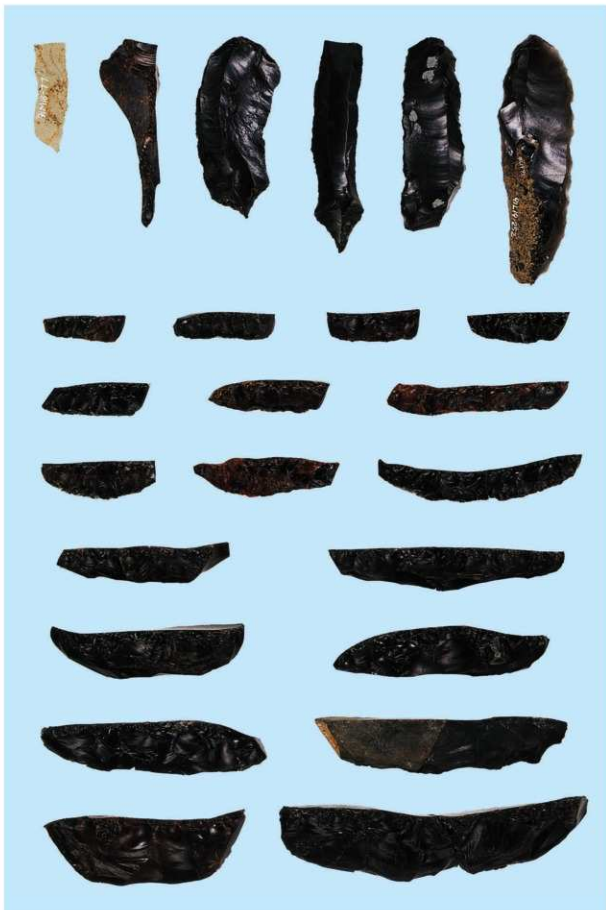






J区(Sb-97~107)尖頭器(2/3)





J区(Sb-97~107)舟底形石器ほか (2/3)





J区(Sb-97~107)接合資料(2) (1/2)

口繪2 黑曜石

1 黑曜石 1



2 黑曜石 2



3 黑曜石 3



4 黑曜石 4



5 黑曜石 5



例 言

1 この報告書は、一般国道450号白滝九瀬歩道路改良工事に伴い、平成7～10・12年度に財団法人北海道埋蔵文化財センターが実施した白滝村上白滝（かみしらたき）8遺跡の埋蔵文化財発掘調査に関するものである。上白滝8遺跡東地区については「白滝遺跡群Ⅳ」において報告済みであり、遺跡の概要等については今回の報告と重複することが多いため、調査日誌抄や個々の遺跡の概要等については割愛し、簡略な記載に留めた。それらについては「白滝遺跡群Ⅳ」を参照していただきたい。なお、上白滝8遺跡の総括については本報告で行う。

2 平成7年度より行われている白滝遺跡群の調査の概要については、いくつかの機会に紹介しているが、上白滝8遺跡に関しては、本書が優先する。

3 本書は第1分冊（本文編）、第2分冊（石器実測・分布図編）、第3分冊（写真図版編）の3冊で構成されている。第1分冊は、本文、自然科学的分析等、掲載遺物一覧表など、第2分冊は、石器ブロック群・区域単位での石器実測図・石器ブロック分布図・接合資料実測図など、第3分冊は、航空写真・調査状況・石器・接合資料などの順で構成されている。

4 第1分冊と第2分冊の挿図は通し番号である。

5 第2分冊で実測図に掲載した石器・接合資料は、基本的にすべて第3分冊の写真番号に掲載し、さらに接合資料に含まれる石器については、接合資料とともに縮小し再度掲載した。また、第3分冊の写真図版のみに掲載した石器・接合資料もある。

6 第2分冊の実測図番号と第3分冊の写真番号は同一である。実測図番号は、各遺跡の石器ブロック群・区域単位で1から付けたが、その順番は、単体石器、接合資料、写真のみ掲載単体石器、写真のみ掲載接合資料の順である。

7 本書の作成は、第1調査部第3調査課で行ったが、編集は鈴木宏行が担当した。

整理作業・報告書作成作業は石器群単位で進め、以下の担当において進めた。

「白滝Ⅰ群」(Sb-64～79)：直江康雄

「白滝Ⅰ群」以外 (Sb-80～111)：鈴木宏行

図版・挿図の作成担当、各章または節・項の執筆は以下のとおりで、Ⅱ章4については「白滝遺跡群Ⅳ」のものを再度掲載した。また、英文要旨は鈴木が担当し、山田しょう氏に校正していただいた。

第1分冊（本文編）

口絵（カラー）：鈴木宏行・直江康雄

Ⅰ章1～3・4（1）～（4）・（6）、Ⅱ章1、Ⅲ章1（1）～（3）・（5）、2（7）～（13）、
Ⅴ章2・3：鈴木宏行

Ⅱ章2・3、Ⅲ章1（4）、2（1）・（3）～（6）、Ⅴ章1：直江康雄

Ⅰ章4（5）、Ⅲ章1（6）・（7）・2（2）：鈴木宏行・直江康雄

第2分冊（石器実測・分布図編）

「白滝Ⅰ群」(Sb-64～79) 石器・分布図・接合資料：直江康雄

「白滝Ⅰ群」以外 (Sb-80～111) 石器・分布図・接合資料：鈴木宏行

第3分冊（写真図版編）

調査状況・「白滝Ⅰ群」(Sb-64～79) 石器・接合資料：直江康雄

「白滝Ⅰ群」以外 (Sb-80～111) 石器・接合資料：鈴木宏行

8 接合資料の計測値は、「白滝I群」については小型であることを考慮して、小数点第1位まで記載し、「白滝I群」以外については従前どおり小型のものを除いて整数で記載した。

9 作業の一部および年代測定・分析などは下記の機関または個人に依頼した。

現地測量・航空写真撮影およびデータ入力、遺物実測の一部など：(株)シン技術コンサル

遺物実測の一部：アジア航測(株)

遺物写真撮影：(有)写真事務所クリーク(佐藤雅彦)

接合資料他実測用写真撮影：小川忠博

放射性炭素年代測定：(株)地球科学研究所(IV章1)

黒曜石産地推定・水和層測定：(有)遺物分析研究所(IV章4)

10 現地の写真撮影は、随時調査員が行い、航空写真・遺物は、前述の会社が行った。

11 出土遺物は、白滝村教育委員会が、写真・データなどの記録類は財団法人北海道埋蔵文化財センターが保管している。

12 調査にあたっては、下記の機関および人びとの指導ならびに協力をえた。(順不同、敬称略)

文化庁、青森県立郷土館、(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、東北大学、東北福祉大学、(財)東京都埋蔵文化財センター、首都大学東京、明治大学考古学博物館、(財)かながわ考古学財団、(財)長野県埋蔵文化財センター、長門町教育委員会、野尻湖ナウマンゾウ博物館、沼津市教育委員会、(財)京都文化博物館、福岡市埋蔵文化財センター、熊本県教育委員会、鹿児島県立埋蔵文化財センター、北海道教育委員会、白滝村教育委員会、丸瀬布町教育委員会、遠軽町教育委員会、北網圏北見文化センター、常呂町教育委員会、羅臼町教育委員会、釧路市埋蔵文化財調査センター、帯広百年記念館、名寄市北国博物館、下川町教育委員会、千歳市教育委員会、今金町教育委員会、市立函館博物館、知内町教育委員会、

岡村道雄、土肥 孝、加藤真二、木村英明、鶴丸俊明、加藤博文、高倉 純、長崎潤一、阿子島香、柳田俊雄、梶原 洋、佐川正敏、会田容弘、安斎正人、佐藤宏之、山田 哲、小野 昭、大沼克彦、阿部朝衛、島田和高、山科 哲、加藤晋平、藤本 強、小林達雄、白石浩之、山中一郎、松藤和人、稲田孝司、藤野次史、小畑弘己、太田原潤、神田和彦、吉川耕太郎、山田晃弘、佐久間光平、須田良平、村上祐次、山田しょう、藤原妃敏、鹿又喜隆、松沢亜生、小菅将夫、橋本勝雄、栗島義明、小川忠博、諏訪問順、栗原伸好、大塚健一、大竹憲昭、大竹幸恵、堤 隆、須藤隆司、谷 和隆、中村由克、沢田 敦、笹原芳郎、池谷信之、鈴木忠司、麻柄一志、木崎康弘、宮田栄二、松村倫文、瀬下直人、太田敏量、北沢 実、山原敏朗、熊林佑允、澤田 健、杉浦重信、友田哲弘、向井正幸、石川 朗、仙庭伸久、藤井誠二、出穂雅実、佐藤雅彦、赤井文人、寺崎康史、宮本雅通、横山英介

記号等の説明

- 1 調査区域図・遺跡全体の遺物分布図などの縮尺は、任意であるのですべてスケールを付けたが、発掘区の一辺は4mであるので、目安としてもらいたい。
- 2 各石器ブロックの基本的な全遺物分布図の縮尺は以下のようにしたが、器種別分布図、接合分布図などは統一せず、スペースに応じた縮尺とした。いずれの場合も縮尺とスケールを示した。
1 : 150 (Sb-91は1 : 160, Sb-97・110は1 : 200, Sb-93・95・96は1 : 250)
- 3 母岩別・接合資料の接合分布図の基本的な縮尺は、1 : 200としたが、全体図・拡大図の一部は、スペースに応じた縮尺とした。いずれの場合も縮尺とスケールを示した。
- 4 遺物の縮尺は、実測図・写真とも、石器類は1 : 2としたが、H区の石刃核など一部大型の石器については1 : 3とした。接合資料および接合破片は、実測図・写真とも1 : 3とした。
- 5 実測図は最大六面提示し、基本的には正面の右に右面・裏面、左に左面、上に上面、下に下面を配置しているが、紙面の関係で一部配置を変更したものがある。また、右下に掲載番号のある面が正面図であるが、舟底形石器は左面である。
- 6 一部の接合資料実測図においては、図を視覚的に理解し易くするために接合剥片の腹面側、接合資料内の内側部分などをトーンで示した部分がある。
- 7 尖頭器関連の接合資料の実測図においては、全体の状況を示すと同時に腹面側（内側）の状況の実測図を示したものもある。
- 8 接合資料の中で、剥片石器や石核の素材である剥片もしくは原石を分割したのものについては「個体A」「個体B」・・・さらにそれらから剥離された剥片を素材にするものは「個体a」「個体b」・・・と呼称した。
- 9 接合資料は、剥離工程を理解し易くするために模式図を作成し、実測図と共に掲載した。模式図は同一段階の剥離群毎にトーンを変え、剥離の流れを番号で示した。ただし、切り合い関係がなく、前後関係が明らかでないものにおいても便宜上番号を付けたので、詳細は個々の説明を参照願いたい。
- 10 剥離模式図の縮尺は任意である。模式図中の矢印（——▶）は接合剥片の剥離方向を示すが、接合剥片の打点側が欠損している場合は切れた矢印（- ——▶）、重なって見えない部分は破線の矢印（-----▶）で示した。また、素材剥離時の打撃点部分に▶を付けたものもある。
- 11 接合資料と共に掲載した接合破片（定形的な石器も含む）は基本的に剥離順番に並べてある。
- 12 尖頭器の模式図においては、接合剥片に残存する打点の位置から、搬入・搬出時に想定される輪郭を示したものもある。
- 13 調査区域図および遺物分布図など方位記号は平面直角座標の北を、レベルは標高（単位はm）を示す。
- 14 遺構や石器ブロックについては以下の略号を使用した場合がある。
Sb : 石器ブロック Cb : 炭化木片ブロック
- 15 遺物分布図では以下の記号を用いた。

● : 剥片	● : 石刃	● : 縦長剥片	+	削片	■ : 細石刃
✕ : 細石刃核	◆ : 舟底形石器	▲ : 尖頭器	◆	両面調整石器	★ : ナイフ形石器
▲ : 彫器	■ : 搔器	◆ : 錐形石器	▼	削器	▼ : 台形石器
▲ : 裏面微細加工石器	● : 基部平坦加工石器				▼ : 二次加工ある剥片
■ : 石核	■ : 石刃核	△ : 石鏃・石刃鏃	人	つまみ付きナイフ	
□ : 礫石器等（斧形石器・敲石・砥石・台石・原石・礫）					

- 16 石器ブロックの全遺物分布図については剥片を網点で示した。また、接合分布図、母岩別・接合資料分布図においても、全体の遺物を網点で示したものもある。
- 17 挿図中の番号は、石器ブロック群・区域毎に単体石器、接合資料の順で1から付けた。また、接合破片として接合資料の所に示した場合は、単体石器で付した番号を付けている。
- 18 遺物分布図の記号横の数字は、遺物番号を示している。また、分布図中の縮小した遺物実測図横の数字は挿図中の番号で、さらに出土発掘区・遺物番号を同時に表示したものもある。
- 19 石器ブロック接合分布図の接合線は、剥離順番を示すものではなく、遺物番号の若い順番に機械的に結んだものである。
- 20 接合資料の接合分布図では、折れ面接合をすべて実線で示した。また、個体や段階などを示す場合に破線で示したものもある。
- 21 石質は掲載遺物の一覧表に示したが、黒曜石については、以下の5種類に分けて示した。
 黒曜石1：黒色 黒曜石2：梨肌（黒色） 黒曜石3：黒色に茶色が混じる（黒>茶）
 黒曜石4：茶色に黒色が混じる（茶>黒）
 黒曜石5：黒色に紫がかった茶色が混じる（黒>紫・茶）
 接合資料の一覧表では、スペースの関係で、上記の黒曜石1～5についてそれぞれを1～5の数字のみで示した。
 碧玉については、色調から濃緑色を1、赤色を2、褐～褐黄色を3とした。
 安山岩については、主に剥片石器に利用される緻密で玄武岩質のものを安山岩1、主に台石や敲石などに利用される輝石安山岩などのものを安山岩2とした。
 珪質頁岩は泥岩質の頁岩と区別するために使用したもので、硬質頁岩や凝灰岩質のものなどを含んでいる。原産地を考慮した細分は今後の課題である。
- 22 黒曜石以外の石質については、実測図番号の下に以下の略号で示した。
 珪質頁岩：Si-Sh めのう：Ag 碧玉：Ja 珪岩：Qu 安山岩：An
 緑色泥岩：Gr-Mu 凝灰岩：Tu 片岩：Sch 粘板岩：Sl 砂岩：Sa

写真図版の説明

- 1 掲載順は、空中写真、調査状況、炭化木片ブロック等、石器ブロック別遺物出土状況、出土遺物である。
- 2 挿図に掲載した遺物は、全て写真を掲載している。また、写真のみ掲載した単体石器、接合資料もある。
- 3 出土遺物は、石器ブロック群・区域毎に単体石器、接合資料の順で掲載し、番号は挿図中の番号と一致している。接合資料は基本的に挿図の掲載順としたが、割り付けの関係で、前後することや、写真のみの掲載資料が組み合わされている場合がある。挿図とは番号で照合していただきたい。
- 4 写真の縮尺は、単体石器は1：2であるが、一部大型のものについては1：3とした。接合資料は、1：3とした。
- 5 接合資料の写真は、実測図作成用として90°展開の台に固定し、破片の輪郭や剥離面が明確になるようなライティングでストロボ撮影したものを1：2にプリントした。したがって、各面の誤差はないが、単体石器や接合破片とは若干異なった写真となっている。また、撮影時の固定具などがみられることがあるので、注意願いたい。
- 6 単体石器は通常の俯瞰撮影なので、正面と裏面では若干の誤差を生じていることがある。また、接合資料の写真とも若干異なっていることがある。

目 次

第1分冊（本文編）

口絵（カラー図版）

例言・記号等の説明・写真図版の説明

目次・第1分冊挿図目次・第1分冊表目次・第2分冊挿図目次抜粋・第3分冊目次抜粋

I 調査の概要	1
1 調査要項	1
2 調査体制	2
3 調査に至る経緯	3
4 調査概要	4
(1) 発掘区の設定	4
(2) 調査の方法	6
(3) 整理の方法	7
(4) 報告書の作成	8
(5) 遺構・遺物の分類	10
(6) 調査結果の概要	12
II 遺跡の位置と周辺の環境	29
1 遺跡の位置と周辺の遺跡	29
2 遺跡周辺の地形と地質	32
3 基本土層	34
4 黒曜石の原石山・赤石山	36
III 上白滝8遺跡の調査(2)	39
1 調査の概要	39
(1) 調査要項	39
(2) 調査体制	39
(3) 発掘区の設定	41
(4) 土層	41
(5) 調査の方法	57
(6) 整理の方法	58
(7) 調査結果の概要	61
2 遺構と遺物	69
(1) 炭化木片ブロック	69
(2) 遺物分布と石器ブロック・石器ブロック群・区域	80
(3) 石器ブロック64～70 (Sb-64～70) の石器	115
出土石器	115
分布・接合状況	117
母岩別資料	118
(4) 石器ブロック71 (Sb-71) の石器	123
出土石器	123
分布・接合状況	124
母岩別資料	124
(5) 石器ブロック72～79 (Sb-72～79) の石器	124
出土石器	124
分布・接合状況	129

	母岩別資料	130
(6)	「白滝Ⅰ群」石器ブロック外の石器	132
	出土石器	132
	分布	133
(7)	G区・石器ブロック80～89 (Sb-80～89) の石器	133
	出土石器	133
	分布・接合状況	138
	母岩別資料	141
(8)	H区・石器ブロック90 (Sb-90) の石器	157
	出土石器	157
	分布・接合状況	159
	母岩別資料	160
(9)	I区・石器ブロック91～96 (Sb-91～96) の石器	166
	出土石器	166
	分布・接合状況	174
	母岩別資料	177
(10)	J区・石器ブロック97～107 (Sb-97～107) の石器	222
	出土石器	222
	分布・接合状況	231
	母岩別資料	234
(11)	K区・石器ブロック108～111 (Sb-108～111) の石器	265
	出土石器	265
	分布・接合状況	267
	母岩別資料	268
(12)	「白滝Ⅰ群」以外石器ブロック外の石器	270
	出土石器	270
	分布	271
(13)	表土 (重機調査) の石器	271
	出土石器	271
IV	自然科学的分析等	273
1	放射性炭素年代測定	273
2	上白滝8遺跡出土炭化材の樹種同定	279
3	上白滝8遺跡・服部台2遺跡から検出された植物種子について	282
4	上白滝8遺跡出土の黒曜石製石器の原産地分析・水和層測定	283
V	まとめ	303
1	「白滝Ⅰ群」(Sb-64～79) について	303
(1)	石器ブロック64～70 (Sb-64～70)	304
(2)	石器ブロック71 (Sb-71)	310
(3)	石器ブロック72～79 (Sb-72～79)	312
(4)	「白滝Ⅰa・Ⅰb群」の関係	318
2	「白滝Ⅰ群」以外について	320
(1)	G区・石器ブロック80～89 (Sb-80～89)	321
(2)	H区・石器ブロック90 (Sb-90)	330
(3)	I区・石器ブロック91～96 (Sb-91～96)	334
(4)	J区・石器ブロック97～107 (Sb-97～107)	350

(5) K区・石器ブロック108~111 (Sb-108~111)	360
3 上白滝8遺跡の総括	362
引用文献	365
英文要旨	368
掲載遺物一覧	371

第1分冊(本文編)挿図目次

調査の概要

図I-1 白滝遺跡群調査遺跡図.....	5
図I-2 白滝遺跡群出土石器(1).....	17
図I-3 白滝遺跡群出土石器(2).....	18
図I-4 白滝遺跡群出土石器(3).....	20
図I-5 白滝遺跡群出土石器(4).....	21
図I-6 白滝遺跡群出土石器(5).....	22
図I-7 白滝遺跡群出土石器(6).....	24
図I-8 白滝遺跡群出土石器(7).....	25
図I-9 白滝遺跡群出土石器(8)・計測の基準.....	26

遺跡の位置と周辺の環境

図II-1 白滝村の位置と村内の遺跡.....	30
図II-2 上白滝8遺跡の位置と周辺の遺跡.....	31
図II-3 段丘面分布図.....	33
図II-4 基本土層図.....	35
図II-5 調査遺跡・黒曜石露頭位置図.....	37

上白滝8遺跡の調査(2)

図III-1 調査範囲・発掘区設定図.....	42
図III-2 土層概略図(1).....	44
図III-3 土層概略図(2).....	45
図III-4 土層概略図(3).....	46
図III-5 土層概略図(4).....	47
図III-6 土層断面図(1).....	48
図III-7 土層断面図(2).....	49
図III-8 土層断面図(3).....	50
図III-9 土層断面図(4).....	51
図III-10 土層断面図(5).....	52
図III-11 土層断面図(6).....	53
図III-12 土層断面図(7).....	54
図III-13 土層断面図(8).....	55
図III-14 調査範囲・報告地区・試掘調査位置図.....	59
図III-15 調査区域地形図.....	60
図III-16 炭化木片ブロック分布図.....	70
図III-17 炭化木片ブロックの平面・断面図(1).....	71
図III-18 炭化木片ブロックの平面・断面図(2).....	72
図III-19 炭化木片ブロックの平面・断面図(3).....	74
図III-20 炭化木片ブロックの平面・断面図(4).....	76
図III-21 炭化木片ブロックの平面・断面図(5).....	78

図III-22 炭化木片ブロックの平面・断面図(6).....	79
図III-23 遺物分布(1)・接合分布(1)・遺物点数図(1).....	88
図III-24 密度分布・石器ブロック設定(1)・遺物分布図(2).....	89
図III-25 遺物点数(2)・接合分布図(2).....	90
図III-26 接合分布(3)・石器ブロック設定(2)・区域設定・全石器ブロック設定図(1).....	91
図III-27 全石器ブロック設定(2)・石器ブロック設定図(3).....	92
図III-28 器種・石材別分布図(1).....	95
図III-29 器種・石材別分布図(2).....	96
図III-30 器種・石材別分布図(3).....	97
図III-31 器種・石材別分布図(4).....	98
図III-32 器種・石材別分布図(5).....	99
図III-33 器種・石材別分布図(6).....	101
図III-34 器種・石材別分布図(7).....	102
図III-35 器種・石材別分布図(8).....	104
図III-36 器種・石材別分布図(9).....	105
図III-37 器種・石材別分布図(10).....	106
図III-38 器種・石材別分布図(11).....	107
図III-39 器種・石材別分布図(12).....	108
図III-40 器種・石材別分布図(13).....	110
図III-41 器種・石材別分布図(14).....	111
図III-42 器種・石材別分布図(15).....	112

自然科学的分析等

図IV-1 上白滝8遺跡出土炭化木材組織の走査電子顕微鏡写真(1).....	280
図IV-2 上白滝8遺跡出土炭化木材組織の走査電子顕微鏡写真(2).....	281
図IV-3 黒曜石原産地.....	290
図IV-4 黒曜石水合層の干渉波スペクトル.....	296
図IV-5 産地分析・水合層測定試料(1).....	298
図IV-6 産地分析・水合層測定試料(2).....	299
図IV-7 産地分析・水合層測定試料(3).....	300
図IV-8 産地分析・水合層測定試料(4).....	301

まとめ

図V-1 Sb-64~70石器組成図.....	305
図V-2 Sb-64~70母岩別資料.....	306

図V-3	Sb-71石器組成・母岩別資料	311	図V-18	I区(Sb-91~96)石器組成図(2)	337
図V-4	Sb-72~79石器組成図	313	図V-19	I区(Sb-91~96)母岩別資料(1)	338
図V-5	Sb-72~79母岩別資料	315	図V-20	I区(Sb-91~96)母岩別資料(2)	339
図V-6	Sb-72~79掻器刃厚	316	図V-21	I区(Sb-91~96)石器組成図(3)・母岩別資料(3)	342
図V-7	Sb-72~79掻器刃角	316	図V-22	I区(Sb-91~96)石器組成図(4)・母岩別資料(4)	344
図V-8	Sb-72~79複合石器・二重パティナ有石器	317	図V-23	I区(Sb-91~96)母岩別資料(5)	345
図V-9	「白滝1群」と広郷型ナイフ形石器関連の石器分布	319	図V-24	I区(Sb-91~96)石器組成図(5)・母岩別資料(6)	349
図V-10	「白滝1群」以外の石器群分布図(1)	322	図V-25	J区(Sb-97~107)石器組成図(1)	352
図V-11	「白滝1群」以外の石器群分布図(2)	323	図V-26	J区(Sb-97~107)石器組成図(2)	353
図V-12	G区(Sb-80~89)石器組成図(1)	324	図V-27	J区(Sb-97~107)石器組成図(3)	354
図V-13	G区(Sb-80~89)母岩別資料(1)	325	図V-28	J区(Sb-97~107)母岩別資料(1)	355
図V-14	G区(Sb-80~89)石器組成図(2)・母岩別資料(2)	329	図V-29	J区(Sb-97~107)母岩別資料(2)	356
図V-15	H区(Sb-90)石器組成図・母岩別資料(1)	332	図V-30	J区(Sb-97~107)母岩別資料(3)	357
図V-16	H区(Sb-90)母岩別資料(2)	333	図V-31	K区(Sb-108~111)石器組成図・母岩別資料	361
図V-17	I区(Sb-91~96)石器組成図(1)	336	図V-32	上白滝8遺跡石器群分布図	363

第1分冊(本文編)表目次

調査の概要

表I-1	白滝遺跡群遺跡別・調査年別面積一覧	13
表I-2	白滝遺跡群調査結果概要一覧	13
表I-3	調査遺跡の石器ブロック群一覧	15

遺跡の位置と周辺環境

表II-1	白滝村の遺跡一覧	31
-------	----------	----

上白滝8遺跡の調査(2)

表III-1	西地区出土遺物点数・重量一覧	62
表III-2	全体出土遺物点数・重量一覧	63
表III-3	西地区出土遺物石質別一覧	64
表III-4	全体出土遺物石質別一覧	65
表III-5	西地区炭化木片ブロック一覧	67
表III-6	炭化材樹種同定結果一覧	68
表III-7	西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧(1)	82
表III-8	西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧(2)	83
表III-9	西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧(3)	84
表III-10	西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧(4)	85
表III-11	西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧(5)	86
表III-12	西地区出土点取り遺物ブロック・石質別一覧(6)	87
表III-13	西地区出土原礫面残存・被熱石器一覧	114

自然科学的分析等

表IV-1	放射性炭素年代測定一覧	278
-------	-------------	-----

表IV-2	上白滝8遺跡出土炭化材樹種同定結果	280
表IV-3	白滝遺跡群炭化種子同定結果	282
表IV-4	各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(1)	285
表IV-5	各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(2)	286
表IV-6	各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(3)	287
表IV-7	各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(4)	288
表IV-8	湧別川河口域の河床から採取した247個の黒曜石円礫の分類結果	290
表IV-9	常呂川(中ノ島~北見大橋)から採取した37個の黒曜石円礫の分類結果	290
表IV-10	上白滝8遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果	292
表IV-11	上白滝8遺跡出土黒曜石製遺物の原産地推定結果	294
表IV-12	上白滝8遺跡出土黒曜石製遺物の水和層厚測定結果	296

まとめ

表V-1	素材と搬入形態	307
表V-2	素材と剥離技術	307
表V-3	石核の大きさ	308
表V-4	素材ごとの剥離の進行度	308
表V-5	技術ごとの剥離の進行度	309
表V-6	搬入形態と遺棄・搬出	309
表V-7	母岩別資料分布状況	310

表V-8 Sb-72~79石器の平面形態と刃部形態	316
表1 上白滝8遺跡②掲載石器一覧	371

表2 上白滝8遺跡②掲載接合資料一覧	399
--------------------	-----

第2分冊(石器実測・分布図編)挿図目次抜粋

上白滝8遺跡の調査②

図Ⅲ-43~52 Sb-64~70の石器	1
図Ⅲ-53~61 Sb-64~70の分布図	11
図Ⅲ-62~71 Sb-64~70の接合資料	20
図Ⅲ-72 Sb-71の石器	30
図Ⅲ-73・74 Sb-71の分布図	31
図Ⅲ-75 Sb-71の接合資料	33
図Ⅲ-76~90 Sb-72~79の石器	34
図Ⅲ-90~102 Sb-72~79の分布図	48
図Ⅲ-103~112 Sb-72~79の接合資料	61
図Ⅲ-113 石器ブロック外の石器、分布図	71
図Ⅲ-114~132 G区(Sb-80~89)の石器	72
図Ⅲ-133~147 G区(Sb-80~89)の分布図	91
図Ⅲ-148~175 G区(Sb-80~89)の接合資料	106
図Ⅲ-176~189 H区(Sb-90)の石器	134
図Ⅲ-190~193 H区(Sb-90)の分布図	148

図Ⅲ-194~217 H区(Sb-90)の接合資料	152
図Ⅲ-218~255 I区(Sb-91~96)の石器	176
図Ⅲ-256~273 I区(Sb-91~96)の分布図	214
図Ⅲ-274~368 I区(Sb-91~96)の接合資料	232
図Ⅲ-369~408 J区(Sb-97~107)の石器	327
図Ⅲ-409~434 J区(Sb-97~107)の分布図	367
図Ⅲ-435~495 J区(Sb-97~107)の接合資料	393
図Ⅲ-496~499 K区(Sb-108~111)の石器	454
図Ⅲ-500~504 K区(Sb-108~111)の分布図	458
図Ⅲ-505~509 K区(Sb-108~111)の接合資料	463
図Ⅲ-510 石器ブロック外の石器、分布図	468
図Ⅲ-511・512 表土(重複調査)の石器	469
図Ⅲ-513 追加報告の石器、分布図	471
図Ⅲ-514 追加報告の接合資料	472

第3分冊(写真図版)目次抜粋

上白滝8遺跡の調査②

図版1・2	空中写真
図版2	遺跡近景
図版3~12	調査状況
図版13・14	土層
図版15~19	炭化木片ブロック
図版19	Sb-64の調査・遺物
図版20	Sb-66・69の調査・遺物
図版21	Sb-70の調査・遺物
図版22	Sb-70・73の調査・遺物
図版23	Sb-74・76の調査・遺物
図版24・25	Sb-77の調査・遺物
図版26	Sb-78・79・81の調査・遺物
図版27	Sb-82・83の調査・遺物
図版28	Sb-83の調査・遺物
図版29	Sb-84・85の調査・遺物
図版30	Sb-86の調査・遺物
図版31	Sb-86・87の調査・遺物
図版32	Sb-87・88の調査・遺物
図版33	Sb-88・89の調査・遺物
図版34	Sb-90の調査・遺物
図版35	Sb-90・91の調査・遺物
図版36	Sb-91~93の調査・遺物
図版37~39	Sb-93の調査・遺物
図版40	Sb-94・95の調査・遺物

図版41~43	Sb-95の調査・遺物
図版44	Sb-95・96の調査・遺物
図版45~49	Sb-97の調査・遺物
図版50	Sb-98の調査・遺物
図版51	Sb-99の調査・遺物
図版52	Sb-99・100の調査・遺物
図版53	Sb-100の調査・遺物
図版54・55	Sb-101の調査・遺物
図版56	Sb-102の調査・遺物
図版57	Sb-104の調査・遺物
図版58	Sb-104~106の調査・遺物
図版59	Sb-109・110の調査・遺物
図版60	Sb-110・111の調査・遺物
図版61~75	Sb-64~70の石器
図版76	Sb-71の石器
図版77~94	Sb-72~79の石器
図版94	「白滝I群」石器ブロック外の石器
図版95~139	G区(Sb-80~89)の石器
図版140~172	H区(Sb-90)の石器
図版173~291	I区(Sb-91~96)の石器
図版292~391	J区(Sb-97~107)の石器
図版392~398	K区(Sb-108~111)の石器
図版399	石器ブロック外の石器
図版400~402	表土(重複調査)の石器
図版402・403	追加報告の石器

I 調査の概要

1 調査要項

事業名 一般国道450号白滝丸瀬布道路工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（平成16年度）

委託者 国土交通省北海道開発局網走開発建設部

受託者 財団法人北海道埋蔵文化財センター

遺跡名・所在地・調査面積・調査期間

調査年度	遺跡名	遺跡発見番号	所在地	調査面積(m ²)	小計(m ²)	調査期間(現地調査)
平成7年度	上白滝8	I-20-91	紋別郡白滝村字上白滝179-1, 181	6,600	6,600	平成7年4月17日～平成8年3月25日 (平成7年5月8日～10月25日)
平成8年度	上白滝8	I-20-91	紋別郡白滝村字上白滝179-1, 181-2, 181-3	10,212		平成8年4月11日～平成9年3月31日 (平成8年5月8日～10月30日)
	上白滝2	I-20-48	紋別郡白滝村字上白滝177-2, 177-3	2,995	13,207	
平成9年度	奥白滝1	I-20-50	紋別郡白滝村字上白滝183-5	5,340		平成9年4月11日～平成10年3月31日 (平成9年5月6日～10月25日)
	上白滝8	I-20-91	紋別郡白滝村字上白滝181-4, 182-3	320		
	上白滝2	I-20-48	紋別郡白滝村字上白滝176-2, 177-3	3,690		
	上白滝5	I-20-88	紋別郡白滝村字上白滝123-3	3,728		
	上白滝7	I-20-90	紋別郡白滝村字上白滝219-3	7,443	20,761	
平成10年度	服部台2	I-20-13	紋別郡白滝村字奥白滝18-3	3,812		平成10年4月10日～平成11年3月31日 (平成10年5月6日～10月24日)
	奥白滝1	I-20-50	紋別郡白滝村字上白滝183-5	2,067		
	上白滝5	I-20-88	紋別郡白滝村字上白滝123-3	4,132		
	上白滝6	I-20-89	紋別郡白滝村字上白滝123-3, 122-3	6,953		
	上白滝7	I-20-90	紋別郡白滝村字上白滝219-3	5,150		
	上白滝8	I-20-91	紋別郡白滝村字上白滝181-4, 182-3	56		
	北支差別4	I-20-67	紋別郡白滝村字北支差別97-1	5,472	27,642	
平成11年度	奥白滝11	I-20-65	紋別郡白滝村字奥白滝52-5	505		平成11年4月1日～平成12年3月31日 (平成11年5月6日～7月4日)
	服部台2	I-20-13	紋別郡白滝村字奥白滝18-3	2,002	2,507	
平成12年度	服部台2	I-20-13	紋別郡白滝村字奥白滝18-3	877		平成12年4月3日～平成13年3月30日 (平成12年5月8日～10月27日)
	奥白滝1	I-20-50	紋別郡白滝村字上白滝183-2	345		
	上白滝8	I-20-91	紋別郡白滝村字上白滝182-2	661		
	白滝駅跡点	I-20-6	紋別郡白滝村字白滝382-4	636		
	白滝8	I-20-58	紋別郡白滝村字白滝146-1, 146-2	834		
	白滝18	I-20-92	紋別郡白滝村字白滝145, 139-1	2,600	5,993	
平成13年度	上白滝6	I-20-89	紋別郡白滝村字上白滝123	670		平成13年4月2日～平成14年3月29日 (平成13年7月16日～9月14日)
	白滝3	I-20-36	紋別郡白滝村字白滝10614小	2,900		
	下白滝	I-20-23	紋別郡白滝村字下白滝99-1	90	3,660	
平成14年度	旧白滝9	I-20-32	紋別郡白滝村字旧白滝438	3,380		平成14年4月1日～平成15年3月31日 (平成14年6月3日～10月25日)
	旧白滝8	I-20-31	紋別郡白滝村字旧白滝442	2,610		
	下白滝	I-20-23	紋別郡白滝村字下白滝99-1	2,250	8,240	
平成15年度	旧白滝5	I-20-28	紋別郡白滝村字旧白滝417	7,340		平成15年4月1日～平成16年3月31日 (平成15年5月7日～10月24日)
	旧白滝8	I-20-31	紋別郡白滝村字旧白滝419, 429, 442, 443	1,160		
	中島	I-19-34	紋別郡丸瀬布町南丸48, 52	1,900	10,400	
合計				98,970	98,970	

2 調査体制

財団法人北海道埋蔵文化財センター	理事長	伊藤一夫（平成10年5月31日まで） 大澤 満（平成13年6月30日まで） 森重橋一（平成13年7月1日から）
専務理事	佐藤哲人（平成11年5月31日まで） 宮崎 勝（平成11年6月1日から）	常務理事 柴田忠昭（平成11年3月31日まで） 木村尚俊（平成13年7月17日まで） 畑 宏明（平成14年6月1日から） 佐藤俊和（平成16年4月1日から）
業務部長	山内 清（平成9年3月31日まで） 北條雅洋（平成10年3月31日まで）	第1調査部長 畑 宏明（平成11年8月15日まで） 木村尚俊（平成13年7月17日まで）
総務部長	中田 仁（平成13年3月31日まで） 柳瀬茂樹（平成14年3月31日まで） 下村一久（平成14年4月1日から） 佐藤英一（平成16年4月1日から）	（兼務） 大沼忠春（平成14年3月31日まで） （兼務） 畑 宏明（平成14年4月1日から） （兼務） 千葉英一（平成16年4月1日から）

平成7年度 第1調査部第3調査課課長 長沼 孝（発掘担当者）

同 文化財保護主事 宗像公司（発掘担当者）

平成8年度 第1調査部第3調査課課長 長沼 孝（発掘担当者）

同 文化財保護主事 藤井 浩（発掘担当者）

同 文化財保護主事 宗像公司（発掘担当者）

同 文化財保護主事 坂本高史

同 文化財保護主事 鈴木宏行

同 文化財保護主事 直江康雄

平成9年度 第1調査部第3調査課課長 長沼 孝（発掘担当者）

同 主任 越田雅司（発掘担当者）

同 文化財保護主事 宗像公司（発掘担当者）

同 文化財保護主事 坂本高史

同 文化財保護主事 鈴木宏行

同 文化財保護主事 直江康雄

平成10年度 第1調査部第3調査課課長 長沼 孝（発掘担当者）

同 主任 越田雅司（発掘担当者）

同 文化財保護主事 宗像公司（発掘担当者）

同 文化財保護主事 坂本高史

同 文化財保護主事 鈴木宏行

同 文化財保護主事 直江康雄

平成11年度	第1調査部第3調査課課長	長沼 孝 (発掘担当者)
	同 主任	越田雅司 (発掘担当者)
	同 主任	鈴木宏行
	同 文化財保護主事	坂本高史
	同 文化財保護主事	佐藤 剛
	同 文化財保護主事	直江康雄 (発掘担当者)
平成12年度	同 文化財保護主事	福井淳一
	第1調査部第3調査課課長	長沼 孝 (発掘担当者)
	同 主任	越田雅司 (発掘担当者)
	同 主任	鈴木宏行 (発掘担当者)
平成13年度	同 文化財保護主事	直江康雄 (発掘担当者)
	第1調査部第3調査課課長	長沼 孝 (発掘担当者)
	同 主任	鈴木宏行 (発掘担当者)
平成14年度	同 文化財保護主事	直江康雄
	第1調査部第3調査課課長	長沼 孝 (発掘担当者)
	同 主任	鈴木宏行 (発掘担当者)
平成15年度	同 主任	立田 理 (発掘担当者)
	同 文化財保護主事	直江康雄 (発掘担当者)
	第1調査部第3調査課課長	高橋和樹 (発掘担当者)
	同 主任	鈴木宏行 (発掘担当者)
平成16年度	同 主任	愛場和人
	同 主任	直江康雄 (発掘担当者)
	第1調査部第3調査課課長	高橋和樹
	同 主任	鈴木宏行
	同 主任	直江康雄

3 調査に至る経過

旭川市を始点とし、比布町、愛別町、上川町、白滝村、丸瀬布町、遠軽町、上湧別町、湧別町を経由して、紋別市に至る延長130kmの旭川・紋別自動車道の建設工事に伴う埋蔵文化財保護のための事前協議や発掘調査の経過については、これまでに(財)北海道埋蔵文化財センターが刊行してきた発掘調査報告書「白滝遺跡群Ⅰ～Ⅴ」に詳述されている。ここではそれらの記載に基づいて記述する。

旭川・紋別自動車道のうち、上川町上越から白滝村に至る上越白滝道路については、平成4年7月に埋蔵文化財保護のための事前協議書が、北海道開発局から北海道教育委員会あてに提出され、これを受けて北海道教育委員会は、同年8月に遺跡の所在確認調査を行い、10月には範囲確認調査に着手した。平成5年度には服部台、服部台2、白滝第4・30地点の各遺跡や国指定史跡「白滝遺跡」の隣接地などで範囲確認調査を実施、その結果、予定ルートにおいて20haに及ぶ遺跡群の存在が確認され、工事計画と遺跡の保存について協議が進められた。その動向は、北海道考古学会や日本考古学協会などから遺跡群の保存を求める要望書が提出されるなど、学界も注目するところとなった。

このような状況のもと、大規模かつ重要な遺跡が密集する八号沢川と湧別川の合流点付近について

は路線変更が図られ、奥白滝11、奥白滝12、服部台、服部台2、奥白滝1、上白滝8の6遺跡では、主要部分が現状保存された。しかし、工事計画の変更が困難な区域では、事前の記録保存調査が必要となり、平成7年度から(財)北海道埋蔵文化財センターと白滝村教育委員会が発掘調査を開始し、大規模な遺跡が密集する奥白滝、上白滝地区の本線部分については、平成11年度までに整理作業を残す現場段階での調査が終了した。

続く平成12年度には、白滝ICに至る本線部分の白滝8、白滝18遺跡の調査を行い、合わせて防雪柵設置のための服部台2、奥白滝1、上白滝8、白滝第30地点遺跡の調査を実施した。平成13年度には上白滝6遺跡の工事用道路部分と白滝3遺跡のインターチェンジに付帯する道路部分の調査が2カ月間行われ、小規模ながら新たに白滝IC～丸瀬布IC間の白滝丸瀬布道路に係る下白滝遺跡の調査も加わった。この上白滝6、白滝3遺跡の調査で、白滝ICまでの発掘は終了し、年度末の平成14年3月30日には、上川町上越(浮島IC)～白滝村(白滝IC)間19.8kmが開通した。

平成14年度には下白滝遺跡の継続調査のほか、観加沢川右岸の旧白滝9遺跡や、左岸の旧白滝8遺跡の調査に着手するなど、調査対象地は旧白滝地区・下白滝地区へと移行した。これらの遺跡は低位の段丘面に立地するもので、これまでの高位段丘上の旧石器時代中心の遺跡群とは異なり、縄文時代や続縄文時代など、より新しい時代に営まれたものである。平成15年度には、丸瀬布ICにかかる丸瀬布町中島遺跡の調査や、旧白滝8遺跡の継続調査など縄文時代以降の遺跡を調査し、合わせて旧白滝8遺跡の北側に隣接する旧白滝5遺跡の調査を開始した。旧白滝5遺跡は高位・中位段丘上に立地する旧石器時代を主体とする遺跡であり、平成15年度はその南西側半分ほどを調査した。

平成16・17年度には発掘調査を行っていないが、旧白滝5遺跡の残りの北東部分を含め旧白滝地区以東において今後も調査が見込まれる。

平成7～15年度の9年間で、(財)北海道埋蔵文化財センターが調査したのは、白滝村奥白滝11、服部台2、奥白滝1、上白滝8、上白滝2、上白滝5、上白滝6、上白滝7、北支湧別4、白滝第30地点、白滝8、白滝18、白滝3、旧白滝9、旧白滝8、旧白滝5、下白滝、丸瀬布町中島の18遺跡で面積は98,970㎡、白滝村教育委員会が平成7～10年度の4年間で調査したのは、白滝第4地点、白滝第30地点の2遺跡で面積は20,123㎡である。これらを合わせた現時点での総発掘調査面積は、計119,093㎡となる。

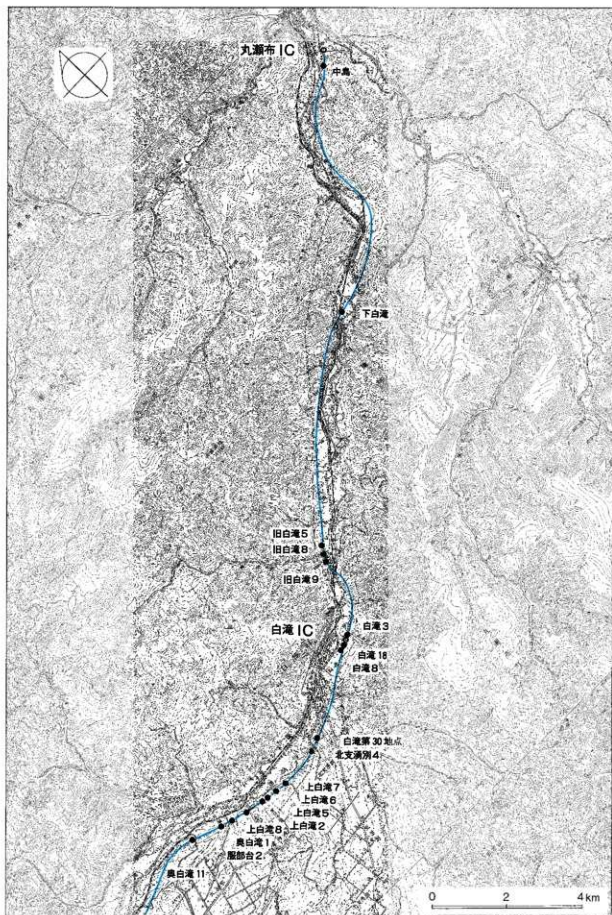
現状保存された奥白滝11、奥白滝12、服部台、服部台2、奥白滝1、上白滝8遺跡の6カ所については、旧路線および新路線との間の部分を加えた204,352.33㎡について、関係者の努力により平成10年に国指定史跡に追加され、既に指定済みの「白滝遺跡群」(白滝第13地点遺跡)と合わせて「白滝遺跡群」(面積226,250.33㎡)として名称変更された。現在、白滝村による指定地の公有化の作業も終了し、将来的な史跡の整備・活用の検討が進められている。(鈴木宏行)

4 調査概要

(1) 発掘区の設定

発掘区設定は、道路工事の測点SPを基準として、発掘区全体に4×4m規格のメッシュをかけた行き、個々の発掘区はアルファベットの大字とアラビア数字の組み合わせで表示した。

具体的には、各遺跡においてルートの延びる東西方向(丸瀬布町へと向かうにつれ南西～北東方向に遷移する)を見通して、発掘区全体をカバーするうえで好適な測点2点を基準点を選び、これを結んで延長した線を基線とした。基線に平行する4m間隔の直線には、北側から順にアルファベット



(国土地理院発行5万分の1地形図「白滝」「丸瀬布南部」を使用)

図I-1 白滝遺跡群調査遺跡図

を付し、通常は基線のSPラインをMとした。基線に直交する南北方向（丸瀬布町へと向かうにつれ北西→南東方向に遷移する）の4m毎の直線には、西側から順にアラビア数字を配した。発掘区の呼称には、4mメッシュの北西隅の交点での表示を用い、例えば、Mラインと10ラインの交点の南東側がM10区となる。

但し、発掘区長軸とSPラインが著しくずれる下白滝遺跡、調査区内のSPラインが曲線である旧白滝9遺跡、旧白滝8遺跡では、用地の境界杭を発掘区設定の基準とし、また、工事路線変更の関係で服部台2・奥白滝1・上白滝8・上白滝2・上白滝5遺跡では新路線の測点を、それ以外の遺跡では旧路線の測点をそれぞれ基準点とした。各遺跡の基準点と発掘区設定の状況は、各遺跡の報告でそれぞれ詳しく説明する。（鈴木宏行）

（2）調査の方法

調査区域の現況は、大部分が白樺などの雑木林や、松などが植林された山林で、下は一面の笹藪に覆われた所が多く、耕作の放棄された畑地でも、茅などの雑草が繁茂する荒地と化しており、調査の開始にあたっては、立木の伐採や、重機による抜根と笹根や雑草の除去を行った。その際、笹根や雑草を除去すると、黒曜石片が一面に顔を出すような場合には、表土除去をできるだけ浅くとどめ、重機の導入を最小限に抑えよう努めた。

発掘調査は、4×4mの発掘区単位で実施した。I層（表土および耕作土）の遺物は発掘区単位で一括して取り上げ、遺物包含層であるII層の遺物は、基本的に、出土位置を計測し、発掘区毎に遺物番号を付して取り上げた。ただし、指先より小さい剥片類については、発掘区単位で一括して取り上げた。また、破片類が多い部分については、フレイク集中としてその範囲を記録のうえ、土ごと取り上げて水洗処理した。出土地点の計測にはトータルステーションを使用した。現場で遺構・遺物データベース（（株）シン技術コンサル）に蓄積したデータから、毎日、遺物一覧表とドットマップ（分布図）を作成し、データのチェックと遺物の分布状況を把握しながら、調査を進めた。データは遺跡単位で管理しており、平成16年度現在でのデータ総数は549,658件、最大は上白滝8遺跡の216,346件、最小は白滝第30地点遺跡の313件である。下白滝、旧白滝9、旧白滝8、中島の4遺跡は、全て縄文時代以降の遺跡で、包含層が地表から浅く、耕作による影響が大きいため、包含層の残存状況が悪く、遺物出土地点計測は、旧白滝8遺跡の9,097件のみに留まった。

いずれの遺跡も工事用地内以外に表土や排土の仮置き場の確保が困難であった。したがって、調査区域の全面的な同時展開は不可能で、いくつかに分割して調査を進めた。また、効率良い調査を進めるためには、排土の運搬距離や傾斜を十分考慮する必要がある一方で、台風などに伴う大雨によって、土砂が工事区域外へ流出しないよう、工事関係者と連携して、排水溝を整備したり、排土山を整形・固定してシート被覆するなど、防災的な方面にも十分な注意が必要であった。調査区域の分割状況は遺跡によって異なるが、大きく南北に二分し、さらに東西にいくつかに分けた場合が多い。

調査は、まず分割した範囲の四分の一の発掘区について行い（25%調査）、次に遺物分布の濃密な部分から順次進め、分割区域を順次終わらせた。また、急斜面や攪乱の著しい部分については、発掘区単位で、重機による掘り上げと人手による遺物採取を行った。さらに、25%調査によって遺物が全く出土しなかった部分については、最終的に重機を使用した駄目押し調査を行った。

焼土や炭化木片ブロックについては、有機質遺物の採集を目的として、フローテーション法（浮遊物を0.425mmと2mmメッシュで、沈殿物を1mmメッシュの土壌分析用の篩で選別）によって炭化木片などの微細遺物を回収した。まず、現場で平面・断面図等の記録作成後、ビニール袋に土壌を

採取し、自然乾燥させる。その後、乾燥重量・体積を記録し、フローテーションを行った。但し、一部の炭化木片ブロックには、分布が散漫なため面的にはなく、点で回収したものがあつた。回収した微細遺物については全て肉眼による選別を行ったが、確認できたのは炭化木片・炭化種子・石器以外のみで動物遺存体は得られなかつた。回収された炭化木片のうち、大きく状態の良いものは、年代測定や樹種同定用の試料として抽出した。

遺跡の地形環境や化石周水河作用、テフラなどが明瞭な状況で観察できる土層については、剥ぎ取りを行い保存した。
(鈴木宏行)

(3) 整理の方法

遺物は雨天日などを利用し、基本的に現地で水洗作業を行った。その後、札幌(平成12年まで)、江別(平成13年以降)の整理作業所に運び、注記などの整理作業を開始した。

遺物は、石器と土器に分けられ、以下のように整理を行った。

石器

石器類や剥片は、出土位置を記録したもの(以下「点取り遺物」と発掘区単位で一括して取り上げたもの(以下「一括遺物」)の2つに分けられ、それぞれ次の流れで整理作業を進めた。

<点取り遺物>

一次整理として、すべてについて注記作業を行い、次に器種分類、重量計測、石質、残存状況、打点・自然面・被熱の有無などの属性観察をし、遺跡・遺物データベースに入力した。

注記は、遺跡名の代わりに道教委の登録番号、発掘区、遺物番号の順で行った。例えば、上白滝8遺跡のM30区の遺物番号100は、「91M30・100」となる。重量は小数点一桁までの計測である。

石材の大部分を占める黒曜石に関しては絶対的なものではないが、肉眼的な特徴から黒色の「黒曜石1」、梨肌「黒曜石2」、黒色に茶色の混じった(黒>茶)「黒曜石3」、茶色に黒色の混じった(茶>黒)「黒曜石4」、黒色に紫がかつた茶色の混じった(黒>紫・茶)「黒曜石5」の5種類に分類した。

残存状況は欠損または完形、打点・自然面・被熱などは「有」または「無」の簡単な観察だけである。被熱は肉眼観察により、表面が光沢を失い、くもりガラスのような状態のものやウロコ状のひび割れがみられるものなどを「有」とした。

二次整理はおもに実測・接合作業である。接合作業は、定形的な石器類においては、まず折れ面接合を、次に同一母岩の石器類や剥片を探すようにした。剥片類は、先に分類した5種類の黒曜石毎に同一の石器ブロックないし発掘区のものを集めて作業を進めた。接合作業の実際は、折れ面接合の場合は瞬間接着剤を使用するが、剥離面接合の場合は、両面テープで仮止しながら作業を進め、必要に応じて瞬間接着剤を使用した。また、重量のあるものや欠落部分の多いものなどについては、ホットボンドなどを使用して補強しながら作業を進めた。ある程度作業が進行した段階で、剥離工程を記録したカードを作成し、接合番号を付けた。接合番号は遺跡毎に付けたが、折れ面接合は50001から、剥離面接合は1からとした。したがって、剥離面接合資料に折れ面接合が含まれている場合は、1個体の接合資料で接合番号が複数あることがある。さらにこれらの作業で得られた接合資料のうち特徴的で同一母岩視できる資料を集め、母岩別資料として、遺跡毎に1から番号を付けた。資料の呼称は、「母岩別資料」を略して「母岩」、「接合資料」を略して「接合」とし、母岩別資料の場合は「母岩5・接合100」、接合のみの場合は、「接合55」、折れ面接合の場合は「接合50015」のように表示した。これらの接合、母岩などの二次的な属性データを先のシステムに追加入力し、現場での出土位置、一次整理の属性観察などのデータと共に遺跡単位で管理している。

石器の実測作業は、基本的に通常の方法で行っているが、大型の石器や接合資料などについては、超望遠レンズ（800～1200mm）を使用した90°展開の写真（プロカメラマン小川忠博氏に依頼）を使用している。作業は、フジグラフプロジェクションペーパーに焼き付けた実大プリントを、ライトボックス上で、セクショントレーシングペーパーで判断できる部分をなぞり、後は実物を見ながら補足する形で進めている。石核や複雑な接合資料などは面合わせの手間が省けるので、効率よく作業を進めることができる。また、大きな剥離面などでは、リングも十分読み取ることができる。さらに、この時撮影した写真を2分の1で通常の印画紙にプリントし、写真図版に接合資料として掲載した。接合資料には60cm以上の長大なものや20kgを超える重いもの、バランスの悪いもの、点で接合して不安定なものなどがあり、撮影は難しいものであったが、小川氏とともに工夫や努力で乗り切った。

<一括遺物>

基本的に現場において、定形的な石器類の抜き出し、点数のカウントなどを行い、その後の作業は江別の整理作業所で行った。抜き出した石器類は、一次整理として台帳を作成し、点取り遺物と同様に注記、属性観察を行い、二次整理の実測・接合作業を行う。剥片類は一括して重量を計測した後、必要に応じて点取り遺物の接合作業の対象遺物に加え、基本的には接合したもののみ、注記・属性観察などを行っている。その注記は、点取り遺物と区別するため、発掘区と台帳の整理番号の間に層位を記入した。例えば、上白滝8遺跡のM30区、Ⅱ層出土、台帳番号10の石器は、「91M30・Ⅱ・10」となる。

土器

土器は下白滝、旧白滝8、中島の3遺跡から出土したが、全て100点以下で数量は非常に少ない。耕作土や攪乱層に含まれていたものが多く、細かく砕け、摩耗や剥落の著しい破片が大多数を占めるため、バインダーの10%溶液を塗布して、表面の補強を図った。

土器は、それぞれの遺跡ごとに分類、集計し、接合に努めたが、小さく、摩耗した破片が多く、実測に耐えるほどの大きさに復元できた例はない。接合の欠損部はバイサムで補填した。摩耗のため文様の判別が困難な土器片も少なくないが、この地域では貴重な資料であり、できるだけ多くの拓影図や写真を掲載するよう配慮した。

（鈴木宏行）

（4）報告書の作成

平成7年度から始まった調査は、ある程度出土遺物量を予想して整理計画を作成していたが、具体的な計画は、遺物の状況が明らかになってから検討することとしていた。また、現地作業を優先した調査体制としていたため、夏期の整理作業においても調査員が常駐する体制が取れなかった。したがって当初の整理作業は注記、属性観察、接合作業、集計などの基礎的な作業を中心に行った。

平成10年度に本線部分の主要な調査がほぼ終了し、遺物量や接合状況が明らかになってきたので、平成11年度から報告書の作成を開始し、『白滝遺跡群Ⅰ』（平成11年度）、『白滝遺跡群Ⅱ』（平成12年度）、『白滝遺跡群Ⅲ』（平成13年度）、『白滝遺跡群Ⅳ』（平成15年度）、『白滝遺跡群Ⅴ』（平成16年度）を刊行し、本報告書『白滝遺跡群Ⅵ』が6冊目となる。

調査状況や出土遺物の概要については、調査年度単位で『（財）北海道埋蔵文化財センター調査年報8～17』（（財）北海道埋蔵文化財センター1996、1997、1998、1999、2000、2001、2002、2003、2004、2005）で紹介している。また、委託者より調査内容が比較的容易に理解できる資料作成の要請を受け、写真を中心とした調査概要として平成9年度に『白滝遺跡群を掘るⅠ（上白滝8遺跡の調査）』、平成10年度に『白滝遺跡群を掘るⅡ（上白滝2遺跡の調査）』、『白滝遺跡群を掘るⅢ（旧白滝1遺跡の調

査)を作成したが、報告書の刊行を開始した平成11年度以降は作成していない。

報告書は遺跡単位での作成を基本とし、調査終了遺跡を対象に順次、年度毎に1冊にまとめて刊行することとしている。ただし、平成12年に行った防雪柵関連で調査した4か所の遺跡(服部台2・奥白滝1・上白滝8・白滝第30地点)のうち奥白滝1遺跡については、進行していた報告書作成作業に組み込むことができず、別途報告することとした。上白滝6遺跡の平成13年度の追加調査分については、本線部分の報告が平成12年度に刊行済みであったため、平成15年度に報告した。また、上白滝8遺跡に関しては、出土量が多いため、2回に分けて報告することとし、東地区を「白滝遺跡群Ⅳ」で報告した。

全体としては全ての調査終了遺跡を一度に報告することは不可能なので、遺跡毎に異なる段階の二次作業を平行して行い、報告作業に組み込んでいった。このことによって、遺跡群として出土量の多寡に関わらず、以下の報告方針に合う均質な整理作業ができたと思う。

次に、報告方針について述べる。白滝遺跡群は黒曜石の原産地という立地を反映して出土遺物量は膨大である。しかし、報告は基本的にどのようなものが、どのような状態で、どのくらい出たのかが理解できるよう作成している。したがって、遺物の集計にあたっては、器種、石質別の点数、重量を明確に示すことにしている。

高・中位の段丘上にある旧石器時代の遺物は層位的に分離できる出土状況ではない。しかしながら、平面的にはある程度のまとまりとして確認でき、そのまとまりを「石器ブロック」(Sb)と呼び、それを最小単位として、石器の組成、接合関係などから、単独または複数な「石器ブロック群」¹⁾という形で捉えた。また、低位段丘上にある、縄文～撥文時代の遺物は、平面的なまとまりをフレイク集中(Fc)と呼び、それを最小単位として出土層位毎にまとめた。したがって、報告書では、石器ブロック群単位で定形的な石器を、次にその石器ブロック群を構成する石器ブロックの分布図、接合状況図を、最後にその石器群の接合資料を提示する形とした。定形的な石器類は、破片を含めてその石器群の器種組成が理解できるように配慮した。分布図は、まず全点の分布を示し、次に図を示した定形的な石器の出土位置が理解できる図を作成した。接合状況図は石器群単位での折れ面接合や全接合を示した。接合資料は、全体実測図を示し、その剥離過程が分かるように剥離模式図を作成し、また、可能なものについては、段階単位での実測図を作成したものもある。さらに接合破片のうち先の定形的な石器で提示しているものを接合資料の縮尺に合わせて再度示している。また、状況によっては剥片類でも実測図を作成して掲載したものもある。母岩別資料または接合資料においてもその接合破片、または母岩の分布状況を図で示した。また、接合資料の中には、全体を写真のみで示し、剥離模式図や分布図のみ示したこともある。

実測図を示した石器、接合資料は基本的に写真図版に掲載し、掲載遺物一覧に表示した。

各種分析については、遺跡単位で結果を報告することとしているが、状況によっては同時に分析した他の遺跡のものも報告する場合もある。

「調査結果の概要」は、報告書作成時の最新の集計データ、遺跡の内容を記載しているもので、報告書によって数値・内容が異なる部分がある。

(鈴木宏行)

1) 「白滝遺跡群Ⅰ～Ⅲ」では石器組成・接合関係に関連する石器ブロックを「石器群」と呼んだが、「白滝遺跡群Ⅳ」では「舟底形石器・尖頭器を伴う石器群」などとの混同を避けるために「石器ブロック群」と称し、それらを相対的に高位の概念である「石器群」と低位の「石器ブロック群」に区別した。また、石器ブロック群が連続し、石器群として明確に分離できない状況の上白滝8遺跡東地区Sb-14～61、西地区Sb-81～111については「区域」とした(鈴木ほか2004, p97)。

(5) 遺構・遺物の分類

遺構の分類

確認された遺構は焼土と炭化木片ブロックである。土壌が赤褐色に変化し、火を焚いた痕跡と考えられるものを焼土とし、Fで表記した。明確な焼土を伴わずに炭化木片がまとまって検出されたものを炭化木片ブロックとし、Cbで表記した。いずれも明確な掘り込みは伴わない。

遺物の分類 (図 I-2~9)

確認された遺物はほとんどすべて石器類である。これまでの研究史の中で確立し、広く一般的に認識されてきた器種分類を踏襲して分類し、「白滝 I 群」の特徴的な石器に関しては新器種を設定した。また、二次加工技術や剥片剥離技術を基にした細分類は、必要に応じて行うこととする。

剥片 (FK)

石核・石刃核・細石刃核・石器(ツール)から剥離されたもので縦長剥片・石刃・細石刃・削片以外の石器。

石刃 (BL)

長さが幅の2倍以上で両側縁がほぼ平行し、それに平行する稜がある石器。

縦長剥片 (LF)

長さが幅の2倍以上で石刃に該当しない石器。

削片 (SP)

彫器削片：彫器の彫刀面作出・再生時に剥離されたと考えられる剥片。以下のように細分される。

I類：彫器I類から剥離されたと考えられるもの(図I-4-102など)。

II類：彫器II類から剥離されたと考えられるもの(図I-4-101など)。

III類：彫器III類から剥離されたと考えられるもの(図I-4-109)。東地区(鈴木ほか 2004)の「その他削片」を含む。

細石刃核削片：削片系細石刃核の打面作出時に剥離されたと考えられる剥片。

舟底形石器削片：舟底形石器I類の端部から剥離されたと考えられる細石刃状の剥片。これ自体が目的なものかどうか不明であり、削片として分類した。

尖頭器削片：尖頭器の縁辺から剥離されたと考えられる剥片。

細石刃 (MB)

細石刃核より剥離されたと考えられ、長さが幅の2倍以上で両側縁がほぼ平行し、それに平行する稜があり、幅が1cm以下の石器。

細石刃核 (MC)

細石刃を剥離したと考えられる石器。

舟底形石器 (BT)

素材の平坦面から周辺に二次加工を施して舟形に整形した石器。以下のように細分される。

I類：加工が精緻で幅が4~12mm、高さが8~12mm程度の小型のもの。主に上下から側面加工が行われ、端部に細石刃状の縞状剥離痕を持つものが多い。幅によって以下のように細分される。

I a類：幅が4~8mmのもの。黒曜石4が多い(図I-3-57~63)。西地区では本類のみ出土している。

I b類：幅が8~12mmのもの(図I-4-64・65)。

II類：加工が粗くI類より大きいもの。主に上から側面加工が行われ、端部に縞状剥離痕がみられない。大きさ・素材・石質から以下のように細分される。

II a類：15cm以下、主に10cm以下で小型の剥片・石核素材のもの（図I-3-66~69）。黒曜石が多い。西地区出土の舟底形石器の大部分が本類である。そのため本書では、接合資料の記載の中で、特にことわりがない場合、「舟底形石器」はII a類を指し、それ以外の場合はそれぞれ明記する。

II b類：10cm以上、主に15cm以上で大型の剥片・石核素材のもの（図I-4-70~72）。下縁からの加工範囲の広いものは側面が平坦かつ下縁部がシャープである。甲板面は平坦で、リングが密集するものが含まれ、側面形は細長い形状である。黒曜石が多く、黒曜石5も利用される。「斜面部」で出土している幌加型細石刃核未製品は、相対的に高さがあり、下縁部の側面形が弧状で、形態的な差違があるが、素材・二次加工技術が類似しているため現時点ではこの類型に分類する。

II c類：甲板面が原礫面のもの。石器形状に近い角柱状の原石が利用される（図I-4-73・74）。石器の特徴はII b類と同様であるが、下縁からの加工が顕著でより細長い形状である。黒曜石1が多い。

尖頭器 (PT)

素材の両面を加工し、尖頭部を作り出した石器。以下のように細分される。

I類：削片剥離・舌部の無いもの（図I-2-1~12）。

II類：削片剥離が行われるもの（図I-2-25~28）。

III類：有舌尖頭器（図I-2-15~22）。

両面調整石器 (BF)

素材の両面を加工したもので尖頭器、斧形石器以外の石器。

ナイフ形石器 (KN)

素材の鋭い縁辺の一部を残し、他の縁辺に加工を施した石器。広郷型ナイフ形石器を含む分類のため、二次加工は刃漬状の加工に限らず平坦剥離も含む。

彫器 (BU)

素材の端部に一条から数条の槌状剥離を施した石器。以下のように細分する。

I類：周縁加工左刃彫器ないしそれに類するもので彫刀面が背面に傾くもの（図I-4-81など）。

II類：周縁加工左刃彫器ないしそれに類するもので彫刀面が腹面に傾くもの（図I-4-82など）。

III類：I・II類以外のもの（図I-4-93~97）。周縁加工のないもの、彫刀面打面が折れ面・彫刀面・厚手の調整打面のものが含まれる。

掻器 (ES)

素材の端部に連続的な二次加工を施した石器。

錐形石器 (DR)

素材の端部に錐状の尖頭部を作り出した石器。

削器 (SS)

素材の側縁に連続的な二次加工を施した石器。

台形石器 (TR)

素材の二側縁に二次加工を施し、台形状に整形した石器。

裏面微細加工石器 (IR)

素材の腹面縁辺部に2mm前後の微細な二次加工を連続的に施した石器。「白滝Ⅰ群」に含まれる。

基部平坦加工石器 (FR)

素材の腹面打面周辺にバルブを除去するような平坦剥離による二次加工を施した石器。「白滝Ⅰ群」に含まれる。

二次加工ある剥片 (RF)

素材に二次加工を施したもので、定形的な石器に分類されない石器。

石核 (CO)

剥片を剥離したと考えられるもので、石刃核、細石刃核以外の石器。

石刃核 (BC)

石刃を剥離したと考えられる石器。

斧形石器 (AX)

両面もしくは片面加工により、斧状の刃部を作り出した石器。

敲石 (HS)

礫に潰打痕が観察される石器。

磨石 (GS)

小型礫に磨痕が観察される石器。

砥石 (WS)

礫の片面もしくは両面に磨痕が観察される石器。

台石、石皿 (AS)

偏平礫に打撃痕や磨痕が観察される石器。

原石 (RM)

石器の石材として利用される石で、人為的と考えられる剥離を受けていないもの。以下のように細分する。

I類：II類以外の転礫・角礫。

II類：棒状原石、ないし、角柱状の角礫。

礫 (PB)

石器の石材として利用されない石で、剥離、敲打痕、潰打痕、磨痕などが観察されないもの。

石刃鏃 (BA)

石刃を素材として主に腹面縁辺の加工により尖頭部を作り出した石器。

石鏃 (AH)

素材を細かい加工により薄身にして端部に尖頭部を作り出した概ね5cm以下の石器。

つまみ付きナイフ (TS)

素材端部にノッチ状の加工でつまみ部を作り出した石器。 (鈴木宏行・直江康雄)

(6) 調査結果の概要

平成7～15年の9年間で調査した遺跡は、湧別川の上流側から白滝村の奥白滝11・服部台2・奥白滝1・上白滝8・上白滝2・上白滝5・上白滝6・上白滝7・北支湧別4・白滝第30地点・白滝8・白滝18・白滝3・旧白滝9・旧白滝8・旧白滝5・下白滝の17か所と、丸瀬布町中島遺跡の計18か所(図Ⅰ-1)で、その総面積は、98,970㎡である。年度・遺跡別の調査面積は、表Ⅰ-1に掲載したとおりである。

表 I-1 白滝遺跡群遺跡別・調査年別面積一覧

*ゴシックは報告書

遺跡名	調査年	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	総面積㎡	報告書
奥白滝11	H11					505							505	白滝Ⅴ
服部台2	H10~12				3,812	2,002	877						6,691	
奥白滝1	H9・10・12				5,340	2,067	345						7,752	白滝Ⅴ
上白滝8	H7~10・12	6,600	10,212	320	56		661						17,849	白滝Ⅴ・Ⅵ
上白滝2	H8・9		2,995	3,930									6,925	白滝Ⅴ
上白滝5	H9・10				3,728	4,132							7,860	白滝Ⅴ
上白滝6	H10・13				6,953				670				7,623	白滝Ⅴ・Ⅵ
上白滝7	H9・10				7,443	5,150							12,593	白滝Ⅰ
北支落別4	H10				5,472								5,472	白滝Ⅱ
白滝第30地点	H12						636						636	白滝Ⅴ
白滝8	H12						834						834	
白滝18	H12						2,600						2,600	
白滝3	H13							2,900					2,900	
旧白滝9	H14								3,380				3,380	白滝Ⅴ
旧白滝8	H14・15								2,610	1,160			3,770	白滝Ⅴ
旧白滝5	H15									7,340			7,340	
下白滝	H13・14							90	2,250				2,340	白滝Ⅴ
中島	H15										1,900		1,900	白滝Ⅴ
計	H7~15	6,600	13,207	20,761	27,642	2,507	5,953	3,660	8,240	10,400			98,970	
報告書発行年度						白滝Ⅰ	白滝Ⅱ	白滝Ⅲ		白滝Ⅳ	白滝Ⅴ	白滝Ⅵ		

表 I-2 白滝遺跡群調査結果概要一覧

遺跡名	調査年	面積㎡	遺構	遺物総数	点/㎡	地点数	一様	点	主な遺物
奥白滝11	H11	505		2,396	5	1,116	1,280		尖頭器・両面調整石器・脛器・石刃核・石核
服部台2	H10~12	6,691	C b : 8	798,030	119	67,771	730,259		細石刃・細石刃核・舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・脛器・捺器・鏃形石器・ナイフ形石器・斧形石器・石刀・石刃核・石核
奥白滝1	H9-10-12	7,752	C b : 18	831,928	107	99,216	732,712		細石刃・細石刃核・舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・脛器・捺器・鏃形石器・脛器・「台形核石器」・斧形石器・石刀・石刃核・石核
上白滝8	H7~10-12	17,849	C b : 28	1,354,567	76	215,783	1,138,784		細石刃・細石刃核・舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・脛器・捺器・鏃形石器・脛器・「台形核石器」・ナイフ形石器・斧形石器・石刀・石刃核・石核
上白滝2	H8・9	6,925	C b : 6	432,429	62	50,085	382,344		細石刃・細石刃核・舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・脛器・捺器・鏃形石器・脛器・石刀・石刃核・石核
上白滝5	H9・10	7,860	F : 2, C b : 1	86,034	11	22,441	63,593		舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・脛器・捺器・鏃形石器・脛器・斧形石器・石刀・石刃核・石刀
上白滝6	H10・13	7,623		6,657	1	2,667	3,990		尖頭器・両面調整石器・脛器・捺器・鏃形石器・脛器・石刀・石刃核・石核・石刀
上白滝7	H9・10	12,593	C b : 4	21,809	2	4,448	17,361		尖頭器・脛器・捺器・脛器・ナイフ形石器・石刀・石刃核・石核
北支落別4	H10	5,472		24,140	4	6,776	17,364		尖頭器・両面調整石器・脛器・捺器・脛器・石刀・石刃核・石核
白滝第30地点	H12	636	C b : 1	4,625	7	313	4,313		細石刃・脛器・捺器・脛器・石刀・石核
白滝8	H12	834		4,036	5	1,728	2,308		細石刃・舟底形石器・両面調整石器・脛器・石刀・石刃核・石核
白滝18	H12	2,600		47,825	18	23,423	24,402		尖頭器・両面調整石器・舟底形石器・脛器・捺器・鏃形石器・脛器・石刀・石核
白滝3	H13	2,900		41,281	14	1,010	40,271		尖頭器・舟底形石器・脛器・捺器・脛器・石刀・石刃核・石核
旧白滝9	H14	3,380		28,320	8	0	28,320		石鏢・尖頭器〔石鏢・ナイフを含む〕・脛器
旧白滝8	H14・15	3,770	F : 4, F c : 30	529,157	140	9,097	520,060		土器〔総縄文・推文〕・石鏢・両面加工ナイフ・両面調整石器〔ナイフ未成品〕・捺器・脛器・石核
旧白滝5	H15	7,340	F : 3, C b : 4, F c : 2	261,600	36	43,221	218,379		細石刃・細石刃核・舟底形石器・尖頭器・両面調整石器・脛器・捺器・鏃形石器・脛器・「台形核石器」・ナイフ形石器・斧形石器・石刀・石刃核・石核
下白滝	H13・14	2,340		156,069	67	0	156,069		土器〔縄文中期〕・石鏢・尖頭器〔石鏢・ナイフを含む〕・つまみ付きナイフ・捺器・脛器・石核
中島	H15	1,900	F c : 1	1,086	1	0	1,086		土器〔縄文晩期〕・石鏢・両面調整石器・捺器
計	H7~15	98,970	F 3, C b : 70, F c : 33	4,633,200	47	549,095	4,084,125		

奥白滝11遺跡から白滝3・旧白滝5遺跡の14遺跡は、より高位の段丘面である天狗平面・上白滝面・東白滝面に立地する旧石器時代を主体とする遺跡で、旧白滝9・旧白滝8・下白滝・中島の4遺跡は、より低位の段丘面である支湧別面に立地する縄文時代から統縄文、撥文時代に至る時期の遺跡である。

確認された遺構は、火を焚いた痕跡の可能性ある炭化木片の集中（炭化木片ブロック・Cb）と焼土（赤色土を含む）（F）である。炭化木片ブロックは7遺跡70か所（服部台2：8か所、奥白滝1：18か所、上白滝8：28か所、上白滝2：6か所、上白滝5：1か所、上白滝7：4か所、白滝第30地点：1か所、旧白滝5：4か所）、焼土は9か所（上白滝5：2か所（赤色土と報告）、旧白滝8：4か所、旧白滝5：3か所）である。炭化木片ブロックは、遺物の集中部、もしくはその周辺に分布し、いずれもⅡ層の下部で検出されている。大きさは径10cm前後の円形から長さ1m前後の長円形と様々で、いくつかの小ブロックで確認される場合もある。炭化木片の集中度および大きさも様々で、炭化木片を含む層はおよそ5cm前後の厚さのものが多い。しかし、上白滝8遺跡のCb-13は例外的で、2.4×1.0mの大きさで、窪みに3層に分かれて堆積する大規模なものであった。

炭化木片について放射性炭素年代測定（AMS法）を行ったところ、上白滝7・白滝第30地点・旧白滝8・一部の旧白滝5遺跡の試料については、5,000～1,900年前という縄文・統縄文時代に相当する年代値が得られたが、服部台2・奥白滝1・上白滝8・上白滝2・白滝3・一部の旧白滝5遺跡の試料では、最も新しいもので9,940±40yBP（Beta-150438）、最も古いもので、28,120±180yBP（Beta-186199）という数値が得られ、それらは、10,000～10,500yBP、11,500～11,900yBP、13,400～14,300yBP、15,000～16,200yBP、17,500～19,000yBPに数値の集中がみられる。これらの数値は、現在考えられている石器群の年代と大きくかけ離れたものではない。しかし、被熱石器の分布との重複など石器ブロックとの同時性を明確に対比ができる状況にない。また、人が関与しない自然現象に由来する炭化木片の可能性もあるが、樹種同定の結果などからも当時の植生を反映しているものであることは間違いない。一応、石器群の年代を検討する上で、参考となるものと考えられるので、現在、各遺跡における石器ブロックと炭化木片ブロックの対比を、石器の接合や母岩分類などの作業を進めながら、検討している。

出土している遺物は、平成13年度まではすべて石器類で、土器は1点もなかったが、平成14・15年度の下白滝・旧白滝8・中島遺跡の調査で、いずれも少量ながら土器が出土した。平成13年度までに調査した土器が出土していない湧別川右岸の遺跡で出土した石器類の時期は、遺物包含層のⅡ層の下位に約3万年前に降下したと考えられる大雪御鉢平軽石（Ds-Oh）があることから、3万年前より新しい後期旧石器時代と考えられるが、年代的には本州の縄文時代草創期に相当する時期のものもある。また、石刃鎌石器群や石鎌があり、それらは縄文時代早期およびそれ以降の時期に相当する。平成11年度に報告した上白滝7遺跡のSb-1の二次加工ある剥片類は、縄文時代後・晩期の可能性のある石器素材と考えられる（坂本ほか 2000）。また、平成12年度に報告した北支湧別4遺跡のSb-1も石器の形態や加工、さらにパティナの状況から縄文時代の小型の尖頭器を製作している石器群と考えられる（鈴木ほか 2001）。

下白滝遺跡は耕作による攪乱が著しく遺物包含層が残存していなかったが、木根と思われる落ち込みに遺物が流れ込んでおり、多数の石器類とともに土器が発見された。土器は縄文時代中期とみられる押型文・押し文に伴う無文土器のほか、後期・晩期とみられるものが少量あった。出土した石鎌には各種の形態が含まれ、土器と同様に幅広い時期のものを含んでいる。旧白滝8遺跡も下白滝遺跡同様耕作による攪乱が著しかったが、旧河道に接した斜面部分で統縄文時代後北C1式に相当するもの

表 I-3 調査遺跡の石器ブロック群一覧

遺跡名	Sh	Fc	「白土 1 群」		広頭型ナイフ形石 器を含む石器群	「神下型」細石刀状 器を含む石器群	白土群の「乳濁型」 ないし「菱角河型」 細石刀状器を含む石 器群	「乳濁型」細石刀状 器を含む石器群	「輪加型」細石刀 状・大型石刀・大型 舟形石器を含む石 器群
			I a 群	I b 群					
黒白濁 1	1								
黒部台 2	65			Sh-45		Sh-54, Sh-64			Sh-20~22, Sh-55~ 63
黒白濁 1	53		Sh-1~3, Sh-4~6, Sh-42~41						
上白濁 8	111		Sh-1~3, Sh-4~6, Sh-7~8, Sh-9, Sh-11 ~13, Sh-64~70	Sh-10, Sh-71, Sh-72 ~79	F 区, J 区	A 区, B 区, C 区, 斜面部		斜面部?	B 区, D 区, G 区, I 区, 斜面部
上白濁 2	15						Sh-14		Sh-1~6, 10
上白濁 5	12								Sh-17
上白濁 6	5								
上白濁 7	10				Sh-4~10				
東支路留 4	3								
白濁草刈場点	2								Sh-17
白濁 8	8					◎		△	
白濁 18	8								
白濁 3	8								
白濁 9	0								
白濁 6	0	29							
白濁 5	8	2	○	○			◎		◎
下白濁	0								
中路	0	1							
各石器群の 遺跡数	14	3	3	3	2	4	1	4	4
各石器群の石器 ブロック群数	277+ α	32	9+α	4+α	3	6+α	1	(3)+α	(8)+α

遺跡名	Sh	Fc	白濁型「細石刀状 器を含む石器群	紅葉山型「細石刀 状を含む石器群	「友路子型」細石刀 状を含む石器群	「割の出型」広頭 型「細石刀状器」 を含む石器群	実面器を含む石器群	有舌実面器を含む石器群	楔状有舌実面器を 含む石器群
黒白濁 1	1						Sh-1		
黒部台 2	製作土		Sh-3~5				Sh-12, Sh-13, Sh-17, Sh-46, Sh-45	Sh-1~2, Sh-6~11, Sh-6 ~14, Sh-23~31, Sh-38 ~40	
黒白濁 1			Sh-7~10				Sh-11~12, Sh-13, Sh-14, Sh-15 ~21, Sh-22~25, Sh-37, Sh-38~ 44, Sh-49, Sh-51	Sh-20~30, Sh-31~36, Sh-48, Sh-52	
上白濁 8					G 区, H 区				I 区, J 区
上白濁 2						Sh-8		Sh-1~2, Sh-15	
上白濁 5							Sh-1, Sh-4, Sh-5		
上白濁 6							Sh-4		
上白濁 7							Sh-2, 3		
東支路留 4								Sh-2, 3	
白濁草刈場点									
白濁 8									◎
白濁 18									
白濁 3								◎	
白濁 9									
白濁 6									
白濁 5							◎		
下白濁									
中路									
各石器群の 遺跡数	1	2	1	2	2	6	7	2	2
各石器群の石器 ブロック群数	1	2	2	1+α	20	30	34+α	2+α	

遺跡名	Sh	Fc	小型舟形石器・実面器を 含む石器群	小型実面器 (狭頭高背状) を含む石器群	石刀状を含む 石器群	縄文時代の 石器群	後縄文時代の 石器群	不明	各遺跡の 石器群数 (不明除く)	各遺跡の石器 ブロック群数
黒白濁 1	1								1	1
黒部台 2	製作土		Sh-34~37, Sh-42, Sh-43, Sh-47~52						8	29
黒白濁 1			Sh-55, Sh-52						5	19
上白濁 8			A 区, C 区, D 区, E 区, G 区, I 区, J 区, K 区			Sh-62-63			(11)	22
上白濁 2			Sh-11~12, Sh-13					Sh-7, Sh-8	5	9
上白濁 5			Sh-6~11						(5)	7
上白濁 6					Sh-17				3	4
上白濁 7					Sh-1, Sh-5				1	3
上白濁 7									2	2
東支路留 4					Sh-1				2	2
白濁草刈場点								Sh-2	(1)	2
白濁 8									2	8
白濁 18									1	8
白濁 3									2	8
白濁 9	○				○				1	8
白濁 6					○				2	8
白濁 5	○		○		○				1	8
下白濁					○				7	8
中路					○				1	8
各石器群の 遺跡数	7	1	1	2	8	1	3		1	98+α
各石器群の石器 ブロック群数	17+α	α	α	3	4+α	α	11			

「未」は未確定、「○」は有り、「△」は可能性あり。遺跡毎の石器ブロック群数は耕作土、区域、斜面部を含む。

を主体として一部それより古い土器が出土し、遺跡出土の石器類の大部分もその時期のものと考えられる。石器の密度は非常に高く、両面調整石器が集中して製作され、搬出されている。丸瀬布町中島遺跡は非常に小規模な遺跡で、包含層は全て耕作によって攪乱を受け、その中から縄文の施された縄文時代晩期後葉の土器が出土した。石器も出土しているが、白滝村内の遺跡に比べ著しく少ない。これらの遺跡の遺存状況は決して良い状況ではなかったが、白滝遺跡群における縄文時代及び続縄文時代の石器製作の様相を知る手掛かりが得られたことには大きな意義がある。

現時点における各遺跡での出土遺物数は表 I-2 に示したとおりで、総数は、4,629,483点、そのうち出土位置を記録したものは、549,658点、残りの4,079,825点は表土など発掘区単位で一括して取り上げたものである。石器の出土量および分布密度は遺跡によって異なるが、平均すると1㎡あたり47点となり、平均以上の遺跡は、旧白滝8が140点、服部台2が119点、奥白滝1が107点、上白滝8が76点、下白滝が67点、上白滝2が62点で、次は旧白滝5の36点、さらに白滝18の18点、白滝3の14点、上白滝5・下白滝の11点と極端に少なくなり、その他の遺跡では10点以下となってしまう。旧石器時代の遺跡に限定すると八号沢川と湧別川の合流点付近には出土量の多い大規模・高密度の遺跡が分布し、下流に行くに従い遺跡は小規模・低密度になり、幌加沢川と湧別川の合流点付近で再び大規模・高密度になる。このことは、赤石山から流れ出す沢と湧別川の合流点付近が好んで利用されていたことを示し、また、石材獲得のために重要な立地であったことを物語っている。

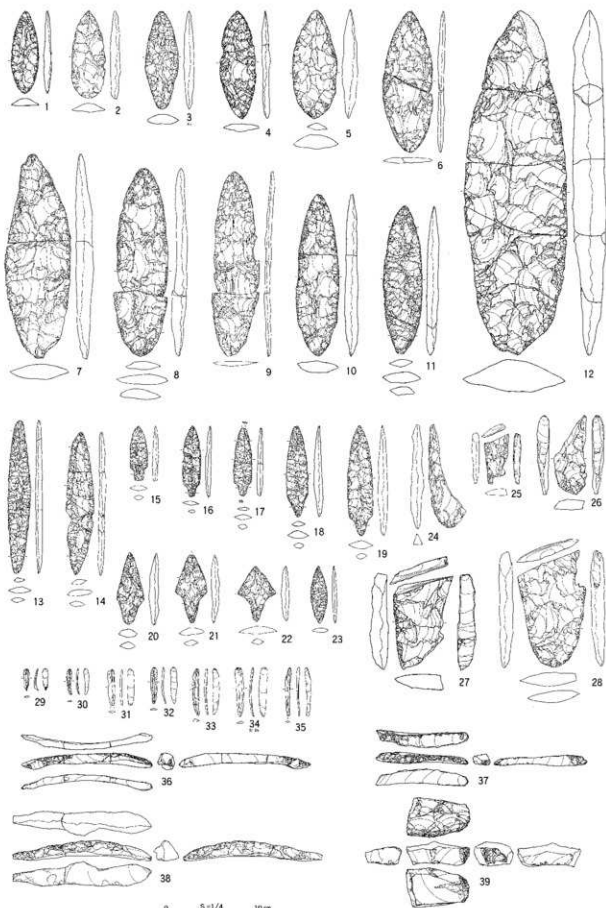
次に白滝遺跡群の主体をなす旧石器時代に属する遺跡について概観する。それらは前述の通り、より高位の天狗平面・上白滝面・東白滝面に立地する。各遺跡には多様な石器群がみられるが、それらは、層的には分けられない出土状況であった。遺物の平面分布はある程度まとまりをもって確認され、それらは、周米河性のソリフラクションによって放射状・条線状を呈し、埋没後の移動が認められるが、石器の稜の摩滅が見られない点や同一母岩と見られる石器類が比較的まとまって出土している点などから大幅に移動していないと想定される。このような石器類の平面的なまとまり（石器ブロック）を単位として接合関係・ツールの分布から括られる複数の石器ブロックを石器ブロック群として認定した。但し、出土量の最も多い上白滝8遺跡は複数石器群が連続・重複した分布を示しているため、「区域」として分離している。

整理途中で詳細が不明な遺跡もあるが、現段階での各遺跡における石器ブロック群の内容を表 I-3 に示している。表では石器群を単純化するために代表的な器種・型式名を用いているが、同一の石器群の中でも複雑な様相を示すものがある。細石刃石器群では「峠下型」が複数種類確認され、尖頭器を含む石器群も複数種類が含まれる。また、「幌加型」細石刃核・大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群に関しては、全ての器種が同一地点から出土している石器ブロック群は無いが、現段階では個々の石器ブロック群から全体像を復元した分類になっている。

表を概観するとほとんどの遺跡に複数の石器群が見られ、特に、規模の大きい遺跡には多種類の石器群が認められ、個々の石器群には多数の石器ブロック群が確認される。このことから、大規模遺跡は同一の集団による長期間の占有によって形成されたものではなく、複数時期に異なる技術を持った集団によって、繰り返し利用された結果、形成されたものと考えられる。また、石器群単位で見ると6遺跡以上に残されているのは有舌尖頭器石器群・尖頭器石器群・小型舟底形石器石器群であり、その時期の集団によって本地域が頻りに利用されていたと思われる。

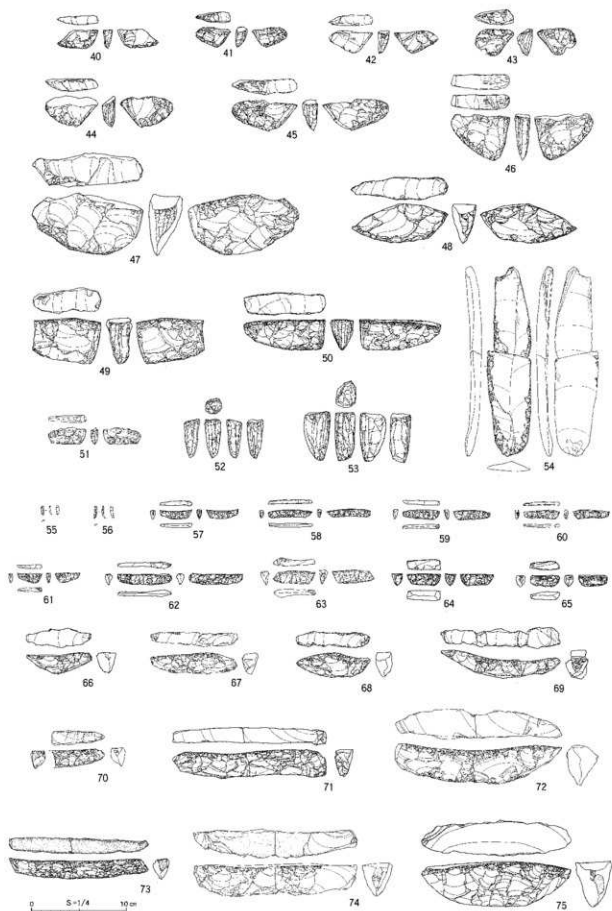
次に各器種の内容と石器群との関連を各石器群・石器ブロック群の代表的な石器を器種別に集めた図 I-2～9 を基に概観する。

尖頭器を含む石器群は多くの遺跡で確認される。尖頭器は剥片素材の小型品（1）から石核素材の



尖頭器(1~23・25~26)、尖頭器削片(24)、細石刃(29~35)、細石刃核削片(36~39)

図 I-2 白滝遺跡群出土石器(1)



燧石刃核(40~54)、舟底形石器削片(55·56)、舟底形石器(57~75)

圖1-3 白淹遺跡群出土石器(2)

最大36.5cmの大型品(12)まであり、より薄手のもの(6・9)、薄手で狭長なタイプ(13・14)がある。有舌尖頭器には一般的な狭長なタイプ(15~19)と幅広のタイプ(20~22)があり、前者には舌部の形状・加工の方法などに違いが見られ、また、白滝産以外の黒曜石製のものが多い。その他、縁辺が鋸歯状の小型尖頭器(23)、大型尖頭器の折損後、縁辺で削片剥離が行われるもの(25~28)などがあり、24はそのような尖頭器から剥離された尖頭器削片である。有舌尖頭器は石器群を示す指標となり、削片が剥離される尖頭器は小型舟底形石器に伴う。また、大型品は大型舟底形石器・単剥離打面を持つ大型石刃を含む石器群・小型舟底形石器石器群・有舌尖頭器石器群に伴う。

両面調整石器(204・205)は尖頭器の初期段階に対応するものがほとんどで、尖頭器が含まれる石器群に数点伴う。

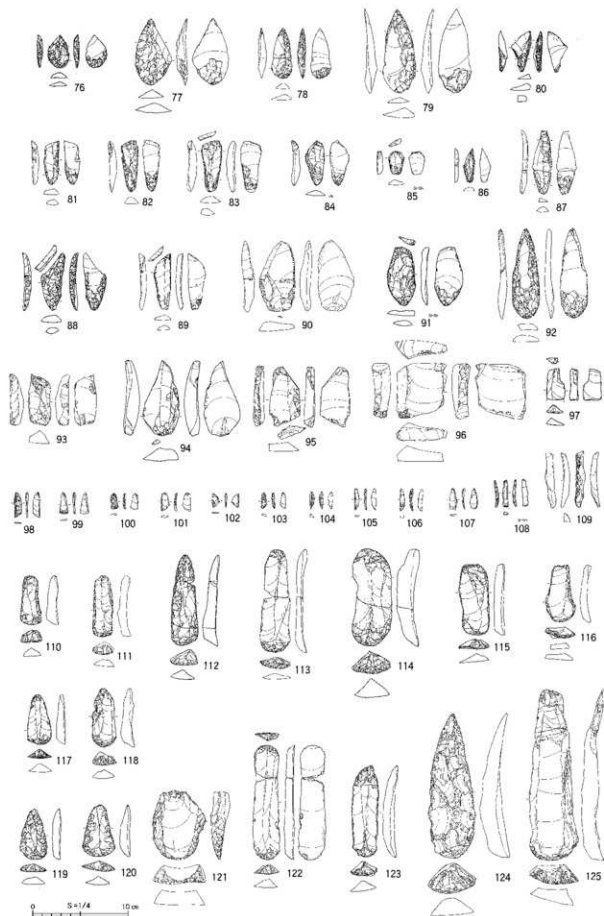
細石刃石器群は遺跡群全体では比率が低いものの、細石刃核は「峠下型」(40~45)、「白滝型」(46)、「札滑型」(47)、「靱加型」(49・50)、「忍路子型」(51)、「紅葉山型」(52・53)、「射的山(広郷)型」(54)など多様な型式が出土している。48は削片剥離後に、広範囲の側面調整が行われ、細石刃核形状が整えられるもので「美利河型」に類似する。細石刃核削片は、36・37が「峠下型」に、38が「札滑型」に、39が「美利河型」類似の細石刃核に伴い、細石刃は、29・30が「峠下型」、31が「紅葉山型」、33が「札滑型」、34は頁岩製の「美利河型」に類似する細石刃核、35が「射的山(広郷)型」細石刃核から剥離されたもので、32は上白滝8遺跡斜面部から出土しA区出土の「峠下型」より大型の細石刃核から剥離されたものと考えられる。

「峠下型」細石刃核には片面ないし半両面加工のもの(40・42・44)と両面加工のもの(41・43・45)があり、上白滝8遺跡では接合資料の検討により石刃素材と前者、剥片素材と後者の関連が確認された(鈴木 2004)。未報告であるが、旧白滝5遺跡(42・45)では両面調整製作時の調整剥片・両面調整本体が細石刃核の素材となっており、上白滝8遺跡との違いが見られる。このように細石刃石器群の様相は複雑であり、細石刃核本体のみでは比較が限定的になってしまうため、今後は剥片剥離技術を含めた技術構造として細石刃石器群の比較が必要となる(鈴木 2004)。

舟底形石器を含む石器群は尖頭器石器群同様、白滝遺跡群で主体を占める。舟底形石器は端部に細石刃状の剥離痕のあるI a類(57~63)・I b類(64・65)、中型のII a類(66~69)、大型のII b類(70~72・75)・II c類(73・74)に分けられ、I a・II a類は一連の石器製作技術の段階の違いに位置づけられ、小型舟底形石器を含む石器群の指標となる。II b・c類は側面形が直線的で大型の割に加工が細かい。これらは、現段階では上白滝8遺跡B区の出土状況から大型尖頭器(12)・単剥離打面を持つ大型石刃(151)に伴うと考えている。また、服部台2遺跡では同様な大型石刃石器群に「靱加型」細石刃核が接合する例があり、同一石器群に「靱加型」細石刃核が伴う可能性が考えられ、表I-3では同細石刃核を同一石器群として括っている。75は上白滝8遺跡斜面部出土のもので、「靱加型」細石刃核(50)に伴い、その母型と見られる。

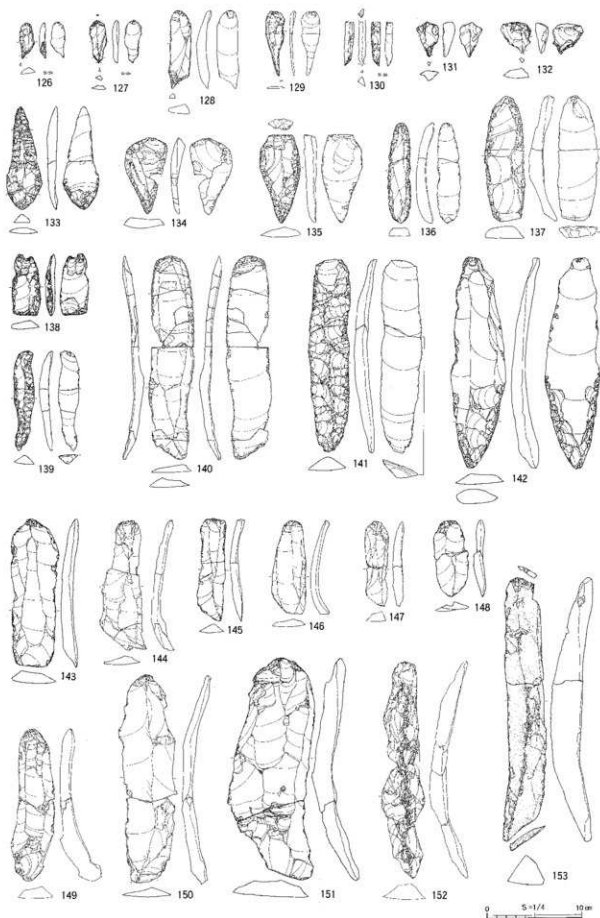
ナイフ形石器は「広郷型」が主体を占め、背面の大部分に加工が覆い、柿の種子形のもの(76・77)と石刃素材で背面の加工が限定されるもの(78・79)などがある。そのほか、二側縁加工の切り出し形ナイフ(80)などが散発的に出土しているが、石器群として認定しうる程は量的に出土していない。これらについては、台形石器がややまとまって出土している服部台2(161)、旧白滝5(162)を含めて比較し、型式として設定可能かどうか検討していく必要がある。

彫器は①石刃の周縁に加工が施され、左肩に彫刀面が作出されるもの(81~90)、②厚手の素材の端部にノッチ状に作出された打面から側縁に彫刀面が作出されたもの(93)、③彫刀面を打面として彫刀面が作出されるもの(94~96)、④折れ面から側縁に彫刀面が作出されたもの(95・97)などが



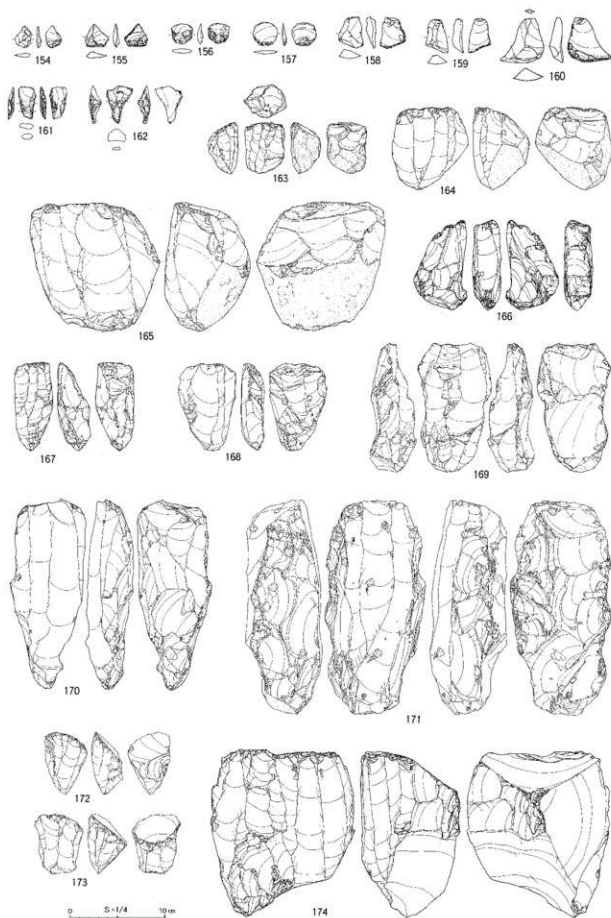
ナイフ形石器 (76~80)、彫器 (81~97)、彫器削片 (98~109)、擡器 (110~125)

図1-4 白滝遺跡群出土石器 (3)



錐形石器(126~132)、削器(133~142)、石刃(143~153)

図 I-5 白滝遺跡群出土石器(4)



基部平坦加工石器(154~157)、裏面微細加工石器(158~160)、台形石器(161~162)、石刃核(163~174)

圖 1-6 白淹遺跡群出土石器(5)

あり、③④は複合するものがある。また、周縁加工があり、①に類するものとして右刃のもの(91)や平坦剥離によって円い基部が作出される左刃のもの(92)などがある。①のうち、横刃に近いもの(81~83)は小型舟底形石器を含む石器群に、斜刃のもの(86~89)は有舌尖頭器や「忍路子型」細石刃核を含む石器群に、幅広の石刃素材で斜刃の90は「札滑型」細石刃核を含む石器群に伴い、②~④、91・92は「広郷型」ナイフ形石器や幅広有舌尖頭器石器群に、小型の④である97は「紅葉山型」細石刃核を含む石器群に伴う。彫器削片のうち、98・99は①の斜刃の彫器から、100~107は①の横刃に近いものから剥離されたもので、108は右刃の彫器、109は③から剥離されたものである。

搔器は石刃素材で両側縁に連続した加工が施され、刃部が比較的直線的に作出されるもの(110~112)、石刃素材で両側縁に加工が施されないもの(113・114・117・118・122・125)、石刃素材で側縁の加工が軽微なもの(115・123)、剥片ないし縦長剥片素材で刃部に向かって幅広になるもの(119・120)、厚手の剥片素材で連続した周縁加工が施されるもの(121)、背面が加工で覆われるもの(124)などがある。110~113・116は小型舟底形石器石器群、114は「広郷型」ナイフ形石器石器群、115は「紅葉山型」細石刃核石器群、117・125は「忍路子型」細石刃核石器群、118~120・123・124は有舌尖頭器石器群・尖頭器石器群、121は「白滝I b群」に伴う搔器で、123のような刃部と反対の端部に尖頭部を持つものが一部の有舌尖頭器石器群に特徴的に伴っている。

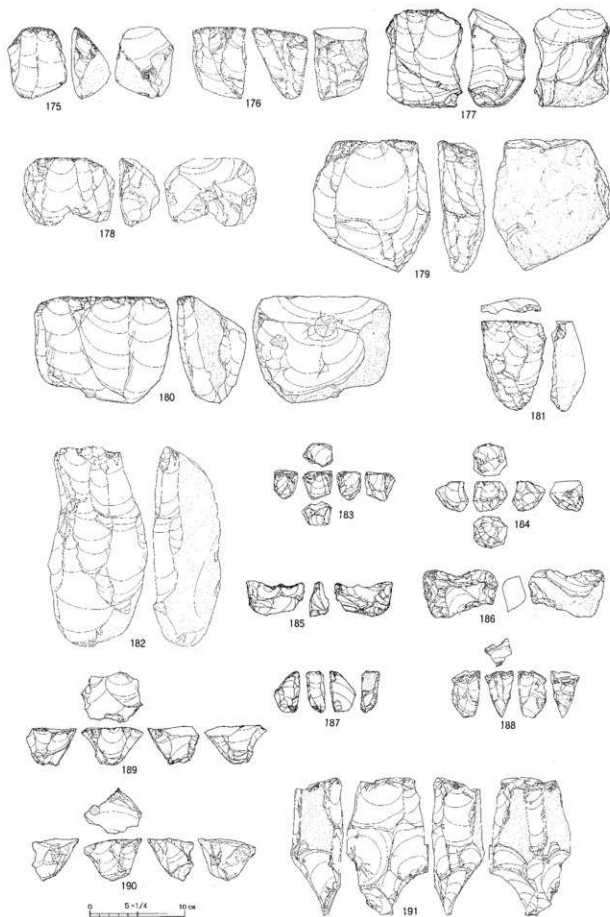
錐形石器は①石刃素材の先端部に刃部が作出されるもの(126~129)、②尖頭器削片を素材とするもの(130)、③剥片を素材とするもの(131・132)があり、①は小型舟底形石器・有舌尖頭器石器群などに伴い、②は一部の小型舟底形石器石器群、③は「白滝I群」に伴う。

削器は①先端部が平行剥離によって尖頭状に、基部が平坦剥離によって幅広の尖頭状に整形されるもの(133)、②先端部のみ尖頭状に加工が施されるもの(134・135)、③側縁に角度のある連続した加工が施されるもの(136・137)、④側縁に加工があり両端部に両極剥離が見られるもの(138)、⑤背面を覆う平坦な加工が見られるもの(139・141)、⑥平坦加工により端部が丸く整形されたもの(140)、⑦両面加工により尖頭状に整形されたもの(142)などがあり、①②は大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群に、②は有舌尖頭器石器群に、③は小型舟底形石器や有舌尖頭器石器群などに、④は「広郷型」ナイフ形石器石器群、⑤は有舌尖頭器石器群など、⑥は「射的山(広郷)型」細石刃核石器群に伴う。

基部平坦加工石器(154~157)、表面微細加工石器(158~160)は「白滝I a群」に伴うものである。「白滝I群」については奥白滝1遺跡(直江ほか 2002)・上白滝8遺跡東地区(鈴木ほか 2004)で報告を行ってきたが、その中でこれらの石器は「二次加工ある剥片」の中でも特徴的なものとして認識されてきた。今回上白滝8遺跡をまとめるにあたって、これらの遺物が量的に保障されたため「白滝I a群」を代表する石器として改めて器種として設定した。

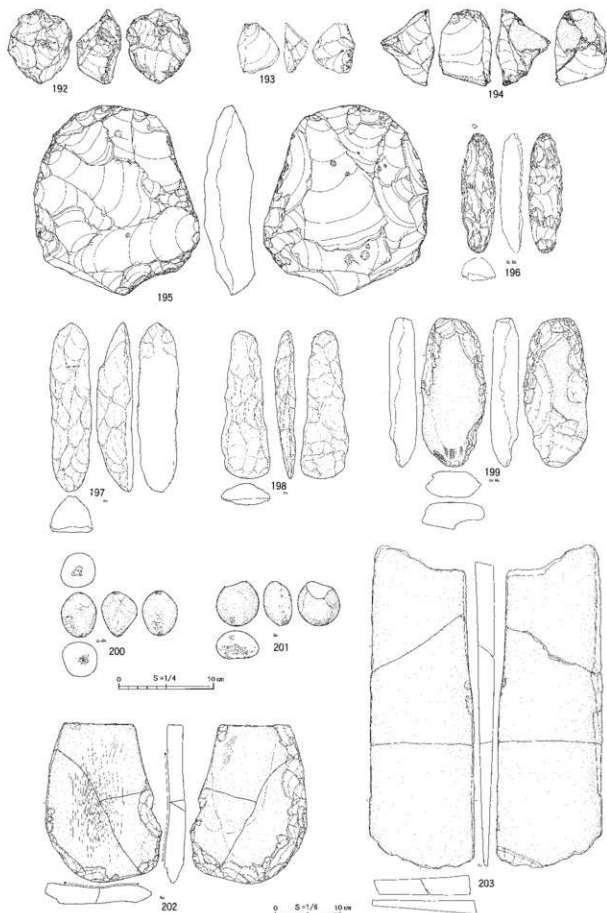
台形石器(161・162)は服部台2・旧白滝5遺跡でややまとまって出土している。本報告の「白滝I b群」にも一部含まれているが、今後はそれらの遺跡の分析を通して石器群の位置づけが必要となろう。

石刃核は調整打面のもの(163~171)、単剥離打面のもの(172~182)に分けられる。前者には石核調整が行われず裏面に原礫面が残るもの(163~165)、両面調整体が準備されるもの(166)、石核調整により背稜が形成されるもの(167・168)・断面三角形ないし五角形の母型が準備されるもの(169~171)があり、後者には作業面が全周を巡るもの(172・173)、石核調整の見られるもの(174)、石核調整が行われず裏面に原礫面が残るもの(175~182)がある。裏面に原礫面が残る単剥離打面の石刃核には作業面が平坦なもの(178~180)、石刃核に頭部調整がほとんど見られないもの(181・182)



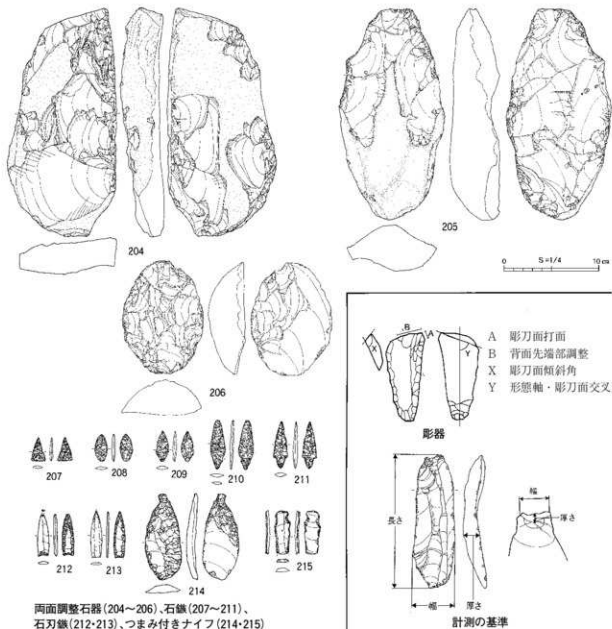
石刃核(175~182)、石核(183~191)

図1-7 白滝遺跡群出土石器(6)



石核(192~195)、斧形石器(196~199)、鏃石(200・201)、砥石(202)、台石(203)

図 I - 8 白滝遺跡群出土石器(7)



両面調整石器(204~206)、石鏃(207~211)、
石刃鏃(212-213)、つまみ付きナイフ(214-215)

服部台 2遺跡

- Sh-3-5:53
- Sh-38-40:16
- Sh-45:161
- Sh-55-63:49
- 群作土:43-44-46

奥白滝 1遺跡

- Sh-1-3:139-183-188
- Sh-4-4:132-154-186
- Sh-7-10:21-52-97-115-145
- Sh-11-12:149
- Sh-12:137
- Sh-15-21:7-108-118-168-199
- Sh-26-30:10-84-205
- Sh-31-36:2-15-19-124-153-203
- Sh-38-44:3-134-164-200-202-214

**石器ブロック群対応表
図 I-2~9掲載番号**

上白滝 8遺跡

- Sh-1-3:105-180
- Sh-4-6:131-156-158-189
- Sh-7-8:191
- Sh-9:157-181
- Sh-11-13:160-185-187
- Sh-72-79:121
- A区(Sh-14-19):139-36-37-40-41-68-102-103-141-143-170
- B区(Sh-20-29):112-91-151-180-201
- C区(Sh-30-35):229-88-195
- D区(Sh-36-55):4-27-62-64-66-71-73-127-133-174-177-194-204
- E区(Sh-56-60):165
- F区(Sh-61):276-138
- G区(Sh-80-89):61-83-89-117-125-128-173
- H区(Sh-90):251-152-171
- I区(Sh-91-96):6-9-22-26-60-72-74-78-79-82-92-93-95-96-104-105-109-111-129-147-175-182-193-196

上白滝 2遺跡

- Sh-1-2:85-119
- Sh-3-6:10-33-38-47-90-144-179
- Sh-9:35-54-122-140-150
- Sh-11-12:126-178
- Sh-13:19-14-28-58-69-148
- Sh-14:24
- Sh-15:11-18-86-87-98-99-112-120-139-146-167

上白滝 5遺跡

- Sh-5:5-165
- Sh-6-11:13-55-57-81-100-101-110-116-136-163-192-197-198
- Sh-12:212

上白滝 6遺跡

- Sh-2-3:123-135
- Sh-8:208-210-213-215

上白滝 7遺跡

- Sh-2-3:1
- Sh-4-10:77-94-114-181

北支湧別4遺跡

- Sh-2-3:17

白滝18遺跡

- 30

白滝3遺跡

- 39

旧白滝9遺跡

- 399

旧白滝8遺跡

- 307

旧白滝5遺跡

- 23-42-45-70-162

下白滝遺跡

- 211

図 I-9 白滝遺跡群出土石器(8)・計測の基準

がある。調整打面の石刃核は有舌尖頭石器器群・「忍路子型」細石刃核石器器群・尖頭石器器群・「射的山（広郷）型」細石刃核石器器群に含まれ、上白滝5遺跡 Sb-6~11のみ小型舟底形石器器群に含まれる。単剥離打面の石刃核は小型のものは小型舟底形石器器群に伴い、中～大型のものは「峠下型」細石刃核石器器群、「札滑型」細石刃核石器器群、大型尖頭器・大型石刃を含む石器器群に伴い、頭部調整がほとんど見られないものは「広郷型」ナイフ形石器に伴う（「広郷型」ナイフ形石器に伴う石刃技法には頭部調整が施されるが、残核には頭部調整の痕跡がほとんど残らない特徴がある）。各石器群の石刃核から剥離される石刃の大きさは製作されているツールの大きさと一致している。剥離される石刃の形態は石刃核の大きさ・作業面形状に規定されるため、必要とした素材に対応した石刃剥離技術が採用されていると考えられる。

石核は「白滝I群」（183~191）のものとはそれ以外（192~195）に分けられる。「白滝I群」には打面と作業面を頻繁に転移させ、最終的にサイコロ状を呈するもの（183・184）、扁平な素材の平坦面で剥離が行われるもの（185・186）、素材の小口面で剥離が行われるもの（187・188）、打面を素材の平坦面に固定して剥離が行われるもの（189・190）、長大な角礫素材で主に原石の長軸方向で剥離が行われるもの（191）がある。「白滝I群」以外では求心剥離が行われ円盤状を呈するもの（192・195）、厚手の剥片剥離が打面転移を繰り返して行われるもの（193・194）などがある。前者のうち195は「峠下型」細石刃核石器器群に伴い、後者は小型舟底形石器器群に伴う。192は小型舟底形石器器群に伴うものであるが主体的なタイプではない。

斧形石器は素材に安山岩・緑色泥岩・頁岩など多様な石材が利用され、断面形が蒲鉾形～三角形で平行な側縁・弧状の刃部を持つタイプ（196・197）、側縁が刃部に向かい撥形に広がり、直線的な刃部を持つタイプ（198）、原石の縁辺を打ち欠き整形したもの（199）などがあり、刃部に研磨痕のあるものが多い。これらは小型舟底形石器を含む石器器群・尖頭器を含む石器器群に伴う。

その他、礫石器として敵石（200・201）、砥石（202）、台石（203）が石器群に偏らず散発的に出土している。

（鈴木宏行）

II 遺跡の位置と周辺の環境

1 遺跡の位置と周辺の遺跡

遺跡の所在する白滝村は、北海道網走支庁管内中西部に位置し、北緯43° 44′ 20″ から43° 57′ 30″、東経143° 0′ 40″ から143° 18′ 20″ の間にある。北は丸瀬布町・滝上町、東は丸瀬布町、西・南は上川支庁管内上川町に接している。

村の中央には湧別川と支湧別川に挟まれた台地状の三角地帯があり、周囲は山地に囲まれている。北側には湧別川の左岸に急峻な山地が迫り、その中に黒曜石の産出地として知られる赤石山がある。また、南西から南東にかけて大雪山系の天狗岳・武利岳・支湧別岳などの1600～1800mの山々が連なっている。村内を東西に流れる湧別川は天狗岳に源流を發し、北側からは赤石山周辺から流れ込む八号沢川、十勝石沢川、幌加湧別川を吸収し、南側からは本来本流である支湧別川(アイヌ語で「シ・ユーベツ」、「大きい・湧別川」の意味)と白滝村市街地で合流し、丸瀬布町、遠軽町、上湧別町、湧別町を経てオホーツク海に流れ込んでいる。

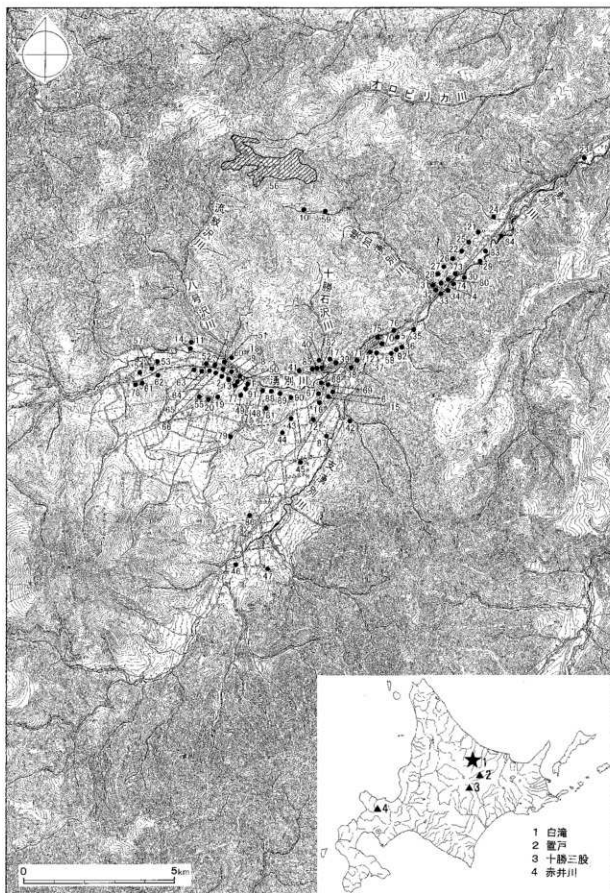
赤石山を起点に、他の黒曜石産地との位置関係をみると、南東方向40kmに置戸町所山・置戸山、南方向50kmに上土幌町十勝三股が位置している。

村内には92カ所の遺跡が確認されている(図II-1・2、表II-1)。縄文時代以降の遺跡は平成13～15年度に調査を行った旧白滝8・旧白滝9・下白滝(直江ほか 2004)、石井遺跡の4遺跡のみである。その他、土器の出土例として前田コレクションで知られる奥白滝地区の資料や赤石山南斜面標高700mの八号沢80林班出土の資料、縄文時代の石器が断片的に見られる(豊原ほか 2003、松谷 1987b)ものの旧石器時代の遺物が主体を占める。それらのほとんどは湧別川沿いの河岸段丘上に所在し、「白滝遺跡群」と総称されている。これらは、①八号沢と湧別川の合流点付近、②十勝石沢川と湧別川の合流点付近、③幌加湧別川と湧別川の合流点付近の三つの集中地区に分けて捉えることができる。いずれも赤石山を源流とする沢と湧別川の合流点付近から下流に広がる形で集中し、原石採取や、露頭へのルートとして沢を利用していたことが想定される。そのうち、①には白滝第13地点遺跡をはじめ、服部台・服部台2・白滝第32・33地点遺跡など、学史的に有名かつ大規模な遺跡が集中している。②は湧別川と支湧別川との合流点付近に位置し、白滝第4地点遺跡(松谷 1987a、松村・瀬下 2002)や白滝第30地点遺跡(松村・瀬下 2003)の大規模遺跡が立地している。③にはホロカ沢I遺跡が分布し、平成15年度調査を開始した旧白滝5遺跡(北海道埋蔵文化財センター 2004)にも多量で多様な石器群が残されていることが判明した。一方、段丘以外では、赤石山の山麓で赤石山・幌加沢遠間地点・幌加林道遺跡の3遺跡が確認されているのみであるが、深い森林のために未発見の遺跡が存在することが予想される。

黒曜石は赤石山山頂および露頭、八号沢川、十勝石沢川、幌加湧別川、湧別川などで採取でき、遺跡ではその立地環境を反映して大量の黒曜石が利用されている。湧別川中流域の遠軽町内にある同時代のタチカルシュナイ遺跡でも同様に黒曜石の利用がみられる。

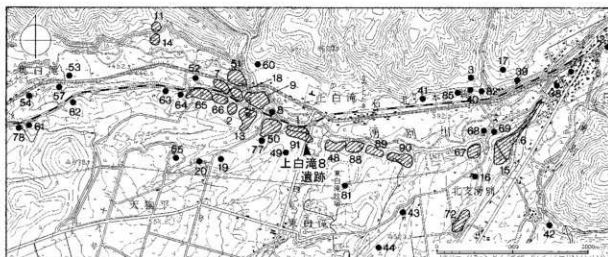
上白滝8遺跡は、八号沢川と湧別川の合流点から約1.1km下流の右岸段丘上、白滝第13地点遺跡の南側、奥白滝1遺跡の沢を挟んだ東側、上白滝2遺跡の沢を挟んだ西側に隣接し、大規模遺跡の集中する地域の中央部に位置する。標高は高位部で約435m～450m、低位部で約415m、湧別川との比高は高位部で35m～50m、低位部で15mである。

(鈴木宏行)



(国土地理院発行5万分の1地形図「白濁」「上支薄別」「丸瀬布南部」「大和」を使用)

図Ⅱ-1 白濁村の位置と村内の遺跡



(国土地理院発行5万分の1地形図「白滝」を使用)

図Ⅱ-2 上白滝8遺跡の位置と周辺の遺跡

表Ⅱ-1 白滝村の遺跡一覧

登録番号	遺跡名	調査年度	報告関連	登録番号	遺跡名	調査年度	報告関連
1	白滝第1地点	1955	吉嶋 1961	40	白滝7		
		1956	北大瀬台団 1960	41	上白滝1		
		1958	7嶋 1961	42	北支遺跡1		
		1986	松竹 1987b	43	東白滝1		
2	巖部台	1961	林原・戸沢 1975	44	北支遺跡2		
3	白滝第2地点	1956	北大瀬台団 1960	45	支遺跡1		
4	白白滝2			46	上支遺跡1		
5	石井	1971	豊原ほか 2003	47	上支遺跡2		
6	白滝第3地点	1957	7嶋 1961	48	上白滝2	1996・97	鈴木ほか 2001
		1985	松竹 1987b	49	東白滝2		
		1994	松竹 1995	50	東白滝1	1997・98	直江ほか 2002
		1996・98	松竹・藤下 2003			2000	北海道埋蔵文化財センター 2001
		2000	鈴木ほか 2004	51	黒白滝2		
7	白滝第3地点	1957	吉嶋 1961, 白滝団体研究会 1963	52	黒白滝3		
		1986	松竹 1987b	53	黒白滝4		
8	白滝第4地点	1959	吉嶋 1961, 白滝団体研究会 1963	54	黒白滝5		
9	白滝第5地点	1959	白滝団体研究会 1963	55	大舞平1		
		1986	松竹 1987b	56	赤石山		
10	観加川遺跡跡地	1972	木村 1975・77	57	黒白滝6		
	開掘点	1987・90・92・93・95・99・02・04	札幌大学本村秀明セミナー 1988 -90・96, 本村 2001	58	白滝8	2000	北海道埋蔵文化財センター 2001
11	高橋台	1981	藤・千葉 1982	59	観加川遺跡		
12	御座巻			60	上白滝1		
13	巖部台2	1981	藤・千葉 1982	61	黒白滝7		
		1998・99・2000	北海道埋蔵文化財センター 1999・2000・01	62	黒白滝8		
14	高橋台2			63	黒白滝9		
15	白滝第4地点	1955	吉嶋 1961	64	黒白滝10		
		1986	松竹 1987a・b	65	黒白滝11	1999	鈴木ほか 2004
		1994	松竹 1995	66	黒白滝12		
		1995・96	松竹・藤下 2002	67	北支遺跡4	1998	鈴木ほか 2001
16	白滝第5地点			68	白滝9		
17	白滝第5地点	1955	吉嶋 1961	69	白滝10		
18	白滝第5地点	1960	白滝団体研究会 1963	70	白滝11		
19	白滝第5地点	1960	白滝団体研究会 1963	71	白滝12		
20	白滝第5地点	1960	白滝団体研究会 1963	72	北支遺跡3	1985	松竹 1987b
21	白白滝4			73	白滝11		
22	平岡b			74	白滝13		
23	下白滝	2001・02	直江ほか 2004	75	白滝14		
24	白白滝1			76	白滝15		
25	平岡a			77	上白滝4		
26	白白滝3			78	黒白滝13		
27	幸ひカ沢1	1961	白滝団体研究会 1963	79	東白滝3		
28	白白滝5	2003	鈴木ほか 2003, 北海道埋蔵文化財センター 2004	80	白白滝14	1985	松竹 1987b
29	白白滝6			81	東白滝4		
30	白白滝7			82	白滝16		
31	白白滝8	2002・03	直江ほか 2004	83	白白滝12		
32	白白滝9	1985	松竹 1987b	84	白白滝13		
		2002・03	直江ほか 2004	85	白滝17		
33	白白滝10	1985	松竹 1987b	86	上支遺跡3	1986	松竹 1987b
34	白滝1			87	北支遺跡5		
35	白滝2			88	上白滝5	1997・98	直江ほか 2002
36	白滝3			89	上白滝6	1998	鈴木ほか 2001
37	白滝4	2001	北海道埋蔵文化財センター 2002	90	白滝7	2003	鈴木ほか 2004
38	白滝5			91	上白滝7	1997・98	鈴木ほか 2000
39	白滝6			92	白滝18	2000	北海道埋蔵文化財センター 1996・97・98・99・2001, 鈴木ほか 2003
							北海道埋蔵文化財センター 2001

2 遺跡周辺の地形と地質

遺跡群のある白滝村は、北海道の屋根といわれる大雪山系北東山麓の小盆地に位置し、盆地内には西から東に流れてオホーツク海に注ぐ湧別川と、南西から北東に流れて白滝市街で湧別川と合流する支湧別川がある。村内の遺跡は湧別川と支湧別川に挟まれた通称「三角地帯」と呼ばれる一帯に多くあり、特に湧別川右岸の河岸段丘上に集中している。三角地帯の南東側は、標高700~1,700mの日高累層群による山系である。北側は日高累層群とこれを覆う靫加湧別層・靫加湧別凝灰岩による標高600~1,200mの山地で、深い谷地形が発達している。南西側は大雪山系の北東延長部にあたり標高1,500~1,800mの山々が連なっている。三角地帯は、南西側にある天狗岳（標高1,553m）から北東方向に広がる緩斜面と数段の段丘地形から成り立っている（図Ⅱ-3）。

北側の山地は北西部と北東部で地形、地質の様相が異なる。北西部は、チトカニウシ山（標高1,445m）を中心として、日高累層群の粘板岩で構成され、急峻な山々が広がる。北東部も同様に日高累層群の基盤で構成されているが、稜線部に広く溶結凝灰岩が分布しているため山腹斜面が急峻で、山稜部は全体的に平坦な地形となっている。溶結凝灰岩は、分布西限にあたる雄柏山から東へ向かうにしたがい、山稜部の高さが徐々に低くなり丸瀬布町までみられる。遺跡群と関係の深い赤石山（標高1,147m）もこの山塊に位置する。赤石山では黒曜石が産出し、国内でも最大級の埋蔵量を誇っている。山腹には大規模な黒曜石の露頭がいくつもみられ、その下の沢では良質の黒曜石が採集できる。

段丘面は、湧別川と支湧別川に挟まれた三角地帯の台地上に少なくとも5段が発達している。形成時期の古い段丘から奥白滝面、天狗平面、上白滝面、東白滝面、支湧別面に区分され、段丘形成史が概観されている（中村・平川 1998）。上白滝地区でこれらの段丘面の基盤となっているのは、白滝層と呼ばれる火砕流堆積物で、地点によって凝灰質砂層、溶結凝灰岩層、砂質粘土層、湖成堆積層などと様相が異なる。白滝層は盆地内の広い範囲でみられ、現在の斜面傾斜方向と同方向に三角地帯内に流れ込んだと思われる。これに伴い古白滝湖が形成されたため、白滝層の大部分は二次堆積による湖成堆積層として確認されている。また、三角地帯より下流の白滝・旧白滝地区では、前述の粘板岩が段丘面の基盤である。

段丘面の中で最も高位の奥白滝面は、湧別川上流部の伊藤ノ山（標高678m）の北東に残っているのみである。天狗平面は、斜面堆積によってできた大規模な扇状地地形で、天狗岳から北東方向、白滝層の間を埋めるように分布している。特に伊藤ノ山東側、天狗沢川上流部、支湧別川左岸で良好に発達し、この段丘面上には北支湧別4（当センター調査）・白滝第4地点・第30地点遺跡（村教委・当センター調査）などが立地している。平成15年度に調査を開始した旧白滝5遺跡の高位部も天狗平面に対応すると思われる。次の上白滝面（標高470~400m）は、湧別川により形成された河岸段丘で、三角地帯付近では湧別川の右岸に八号沢川合流地点付近から黒曜の沢合流地点付近まで分布する。遺跡が数多く立地しているのはこの段丘面上で、白滝第13地点遺跡、服部台遺跡など学史的にも有名な遺跡が数多く分布している。当センターが調査した遺跡の多くもこの段丘面上に立地し、湧別川の上流から奥白滝11・服部台2・奥白滝1・上白滝8・上白滝2・上白滝5・上白滝6・上白滝7遺跡と続き、それぞれ大小の谷地形によって区切られている。また、旧白滝地区では旧白滝5遺跡の中位面やホロカ沢Ⅰ・旧白滝3・平岡a遺跡などがこの上白滝面に対比されるものと思われる。旧白滝地区の段丘形成については、現在、北海道大学の中村有吾先生による調査が進められているところである。谷地形の中で最も大きなものは、上白滝地区で湧別川と合流する天狗沢川で、三角地帯を大きく東西に二分し、その東側と西側では地形的な差異がみられる。天狗沢川より西側は扇状地状の緩斜面地形

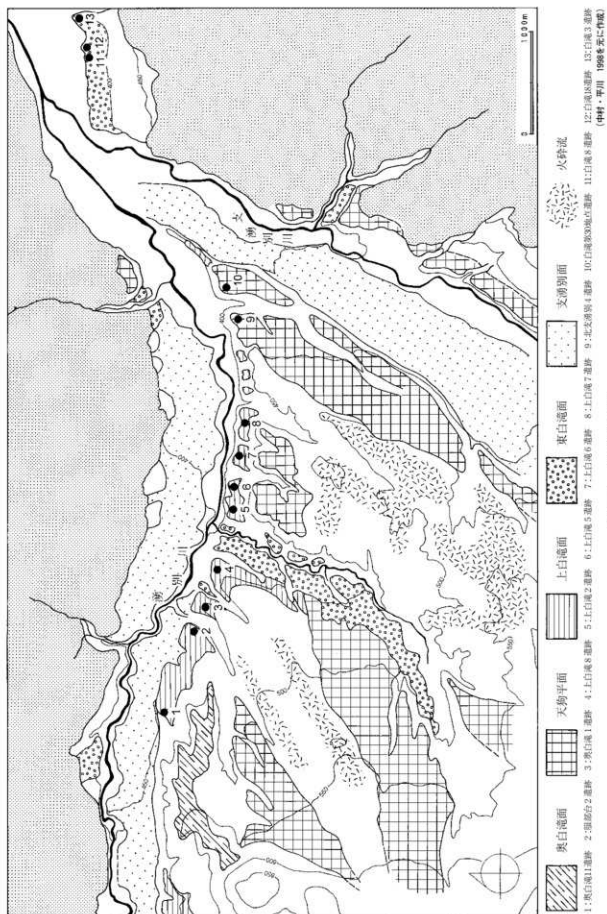


図 1-3 段丘面分布図

3 基本土層

で、東側は開析の進んだ傾斜のやや強い台地状の地形である。また中村、平川により、段丘礫層のほぼ直上に堆積する奥白滝軽石がトエトコ火山灰 (TT) に比定され、このテフラの噴出年代が15~20万年前頃と推定されることから上白滝面の離水時期もそれ以前と考えられている (中村ほか 1999)。次に形成される東白滝面 (標高500~370m) は、前出の天狗沢川の兩岸と、湧別川と支湧別川との合流地点より下流の右岸に広く発達し、最終氷期前半には離水していたと推定されている。天狗沢川の左岸には上白滝8遺跡 (当センター調査)、湧別川と支湧別川の合流地点下流の右岸には白滝18・白滝8・白滝3遺跡 (当センター調査) が立地している。次の支湧別面 (標高450m~) は、最終氷期極相期に離水した最も新しい段丘面で、湧別川左岸と支湧別川左岸に広く分布する。縄文時代以降の遺跡がみられることが多く、旧白滝8・旧白滝9・下白滝遺跡 (当センター調査) が立地している。また、三角地帯付近の湧別川左岸や旧白滝地区の湧別川右岸は、山地が間近に迫っているため段丘面が階段状に形成されず、八号沢川と十勝石沢の間の山麓では所々に支湧別面を覆う崖堆積がみられる。

次に白滝盆地内にみられるテフラについて説明する。中村、平川によると、11枚のテフラ層が確認され、広域対比が試みられている (中村ほか 1999、平川ほか 2000)。そのうち地形発達史を考える上で重要なテフラは、新しいものから樽前 a 軽石 (Ta-a)、大雪御鉢平軽石 (Ds-Oh)、屈斜路庶路火山灰 (Kc-Sr)、支笏 1 軽石 (Spfa-1)、トエトコ火山灰 (TT) である。樽前 a 軽石 (Ta-a) は、細粒の軽石片からなるテフラで、服部台 2 遺跡の表土中で確認された。大雪御鉢平軽石 (Ds-Oh) は、三角地帯内では淘汰が悪く、多量の石質岩片を含有しているのが特徴で、直上の炭化木片の年代測定値から、約 3 万年前に降下したものと考えられる。発掘された遺物はすべて同層かそれより上層から出土しているため、遺跡の形成年代を考える上でも重要なテフラである。旧白滝地区では、部分的ながら旧白滝 5 遺跡の高位部でも包含層の下位に認められた。岩片を含まなくなり、中~細粒の軽石片となっている。屈斜路庶路火山灰 (Kc-Sr) は、黄褐色の細粒ガラス質火山灰で、奥白滝 1・服部台 2 遺跡の大雪御鉢平軽石 (Ds-Oh) と赤褐色古土壌の間にみられることから、最終間氷期から最終氷期の間に降下したと考えられる。支笏 1 軽石 (Spfa-1) は、約 4 万 2 千年前に降下したテフラである。黄褐色の細粒ガラス質火山灰で、湧別川との合流点付近の十勝石沢左岸で確認された。屈斜路庶路火山灰 (Kc-Sr) とは肉眼的に類似するが、支笏 1 軽石 (Spfa-1) は屈折率が高い斜方輝石を含む特徴がある。トエトコ火山灰 (TT) は、普通角閃石を多量に含むのが特徴で、上白滝面に立地する服部台 2・奥白滝 1 遺跡では段丘礫層の直上から確認された。15~20万年前に降下したテフラと推定され、湧別川沿いの段丘形成史を考える上で重要なテフラである。

上白滝 8 遺跡は、三角地帯内の湧別川右岸にあり、湧別川と八号沢川の合流点から約 1,100m 下流に位置している。遺跡の主体部がある段丘面は上白滝面にあたり、急斜面を介して一段低い東白滝面に続いている。調査区域の標高は上白滝面が 430~446m、東白滝面が 410~420m である。調査は段丘の縁から約 25m 奥に入った地点で、台地の幅 500m 程を横切るように東西方向に長い区域で行った。主に旧石器時代の遺物を包含する上白滝面の中央部には僅かな沢地形がみられ、遺物分布もそこで大きく二分される。そのうち東側は平成 15 年度に報告済みで、今回の報告は西側半分の地区を対象としている。遺跡の西側は急崖で沢を挟んで奥白滝 1 遺跡 (平成 13 年度報告)、東側には上白滝地区で最も大きな天狗沢川が流れ、沢を挟んで上白滝 2 遺跡 (平成 12 年度報告) がある。 (直江康雄)

3 基本土層

地表面より 1m 前後の表層 (I~III層) については、他の上白滝面に立地する遺跡と同様な土層

の堆積状況がみられた。したがって、各遺跡においては層厚などに若干の相違がみられるが、基本的に以下のような層名に統一して記述した。なお、IV層以下は各段丘面によって異なり、さらに同一段丘面の遺跡においても多少の違いがみられる。

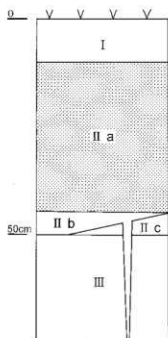
第I層：表土・耕作土層 厚さは10cm前後、クマ笹や木根を含んだ黒色の腐食土層及び、現代の耕作によって攪乱された表層である。

第II a層：褐色粘質土層 厚さは30～50cm、しまり、粘性とも弱い、下部にいくにしたがい強まる。黄褐色の軽石、石質岩片、マンガン粒を少量含む。調査したすべての遺跡で観察され、遺物の大部分がこの層から出土することから本来の遺物包含層と考えられる。なお、II a層に含有される少量の石質岩片や軽石は、II c層に含まれているものと類似している。

第II b層：灰白色～青灰色粘質土層 厚さは5cm前後、しまりが少しあり、粘性が強い。含有物はII a層と同様軽石、石質岩片、マンガン粒を少量含む。遺跡群すべてで観察されるわけではなく、所々で観察される。含有物が同様で、灰白色をしていることから、II a層が還元された層と考えられる。またこの土は、III層の中程まで入ったクラックの中にもみられ、平面形は径50cm前後の縦目模様を呈し、周縁に酸化鉄が沈着している。

第II c層：赤褐色～灰褐色砂質土層 厚さは10cm前後、しまりがあり、粘性は弱い。この層も遺跡群すべてで観察されるわけではなく、特にII b層と上下関係をもって確認される地点は少ない。石質岩片、軽石を多量に含んでいる。この岩片と軽石は、大雪山系に位置する御鉢平カルデラ起源のテフラ(Ds-Oh)であることが確かめられている(中村・平川 1998、中村ほか 1999)。テフラ層直上で検出された炭化木片の放射性炭素年代は、約3万年前であった。

第III層：赤褐色～褐色砂質土層 厚さは50～100cm、しまりが強く、粘性は少しある。マンガン粒を多量に含んでいる。その他に石質岩片、軽石も少量含まれる。III層以下からは遺物は全く出土しない。III層は、周水河現象を受けて、上面がうねっている地点が多い。平面形でみると皿状の窪みになっており、そこにII b層やII c層が厚く堆積している状況が多くみられた。



- I 層：表土、耕作土
- II a層：褐色粘質土層
しまり 弱
粘性 強
- II b層：灰白色～青灰色粘質土層
しまり ややあり
粘性 強
- II c層：赤褐色～灰褐色砂質土層
しまり あり
粘性 弱
石質岩片、黄褐色の軽石を多量に含む
- III 層：赤褐色～褐色砂質土層
しまり 強
粘性 ややあり
マンガン粒を多く含む

図II-4 基本土層図

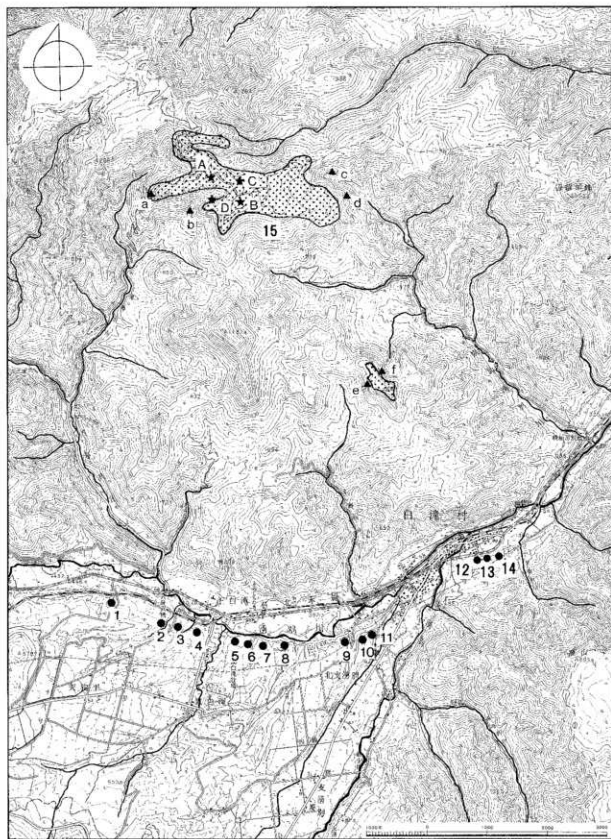
4 黒曜石の原石山・赤石山

Ⅳ層以下については各段丘面により異なる。調査した遺跡のほとんどが立地する上白滝面では、基本的にしまりの強いローム質の土層がつづき、砂層と粘土層の互層となり、段丘礫層に達する。これら基本的な層序の中に各遺跡、各地点において様々な土層がみられる。上白滝8・上白滝7遺跡などでは、斜面堆積物であるマトリックスの多い礫層がⅢ層の下に約1mみられる。服部台2遺跡、奥白滝1遺跡の北側地点では、古土壌と呼ばれる赤褐色の層が確認され、その直下に推定降下年代が15～20万年前のトエトコ火山灰がみられ、段丘礫層へと続く。トエトコ火山灰は、普通角閃石を豊富に含み、指で土層を掻き探ると、針状の黒色鉱物がべつとりと残るのが特徴である。上白滝2遺跡では、段丘礫層直上の粘土と砂の互層が他の遺跡より厚く1mほど堆積している。また、Ⅲ層以下には周氷河作用により、土層が波状に変形している地点も多くみられた。上白滝面より上位の天狗平面上に立地する北支湧別4遺跡では、Ⅲ層直下にトエトコ火山灰がみられ、その下層の厚く堆積した灰白色粘土層の中にSit6テフラ(中村・平川 1998、中村ほか 1999)があり、段丘礫層へと続いている。上白滝面より下位の東白滝面上に立地する白滝8・白滝18・白滝3遺跡では、段丘礫層がⅢ層の直下にある。特に湧別川に面した段丘の縁部分は、Ⅱa層下部およびⅡb層中に粘土層や砂礫層が互層となっている地点が確認され、粘土・砂礫層中からも多くの遺物が出土している。

湧別川と支湧別川に挟まれた三角地帯内の段丘面の基盤となっているのは、白滝層と呼ばれる火砕流堆積物で、地域内の広い範囲でみられるが、地点によって凝灰質砂層、溶結凝灰岩層、砂質粘土層、湖成堆積層などと様相が異なる。(直江康雄)

4 黒曜石の原石山・赤石山

赤石山は、白滝村市街の北々西6.5km、標高は1,147m(古い地図では1,154m)、現在は国道333号より八号沢川に沿った八号沢林道を3.5km程入り、さらに流紋沢川に沿った赤石林道を上り、山頂部へ行くことができる。途中の林道では標高950m付近から黒曜石が散布し、標高1,000mを越えるとい面に黒曜石がみられる部分が数か所みられる。また、標高1,000m付近の林道右手には有名な通称八号沢の露頭(図Ⅱ-5のa)がある。この露頭は、黒曜石が流紋岩質凝灰岩にパッチ状にみられ、灰白色球顆や縞状構造が多いが、玻璃光沢があり、良質である。また、叩くと金属音がするので、硬質とみられる。山頂部の平坦面では、ピークの標高1,147m周辺に黒色を主体とする黒曜石の散布地帯(図Ⅱ-5のA)があり、さらにピークを下り削平された林道の終点付近では、紅色、茶色、紫がかった茶色など俗に花十勝といわれる黒曜石が一面にみられる(図Ⅱ-5のB)。これは、昭和31・32年ごろから観賞・装飾用品加工のための原石採掘が行われたところである。また、黒色とこの採掘跡の中間部には茶色の黒曜石が集中する部分もある(図Ⅱ-5のC)。さらに赤・茶色の混じった黒曜石は、採掘跡手前の流紋岩球顆の指定地(図Ⅱ-5のD)のある急な沢(仮称球顆の沢)でも多量にみられる。山頂部や球顆の沢では、原石に混じって粗い両面調整石器や石核や剥片などがみられ、一部は紹介されている(宗像 1999)が、時期の決め手はない。球顆の沢は、小規模な露頭がいくつかあるが、標高900m付近の柱状節理の発達した露頭(図Ⅱ-5のb)は大規模なもので、その下から下流で採取できる角柱状の原石は、球顆がみられるものの良質で、石器の素材としては極めて良好である。おそらく、旧石器時代においてもこの沢は原石採取の主要な地点であったと考えられ、標高700m付近のわずかな平坦部などでは、剥片類が散布する地点が多数ある。また、赤石林道入口から1km程入った78林班林道のカッティングでは、梨肌の黒曜石原石を採取することができる。後に説明する黒曜の沢より上流の湧別川で採取される梨肌原石は、この78林班林道周辺に由来する可能性があり、



- 1: 奥白滝 11: 服部台 2: 奥白滝 3: 奥白滝 4: 上白滝 5: 上白滝 6: 上白滝 7: 上白滝 8: 上白滝 9: 北支湧別 10: 白滝第4地点 11: 白滝第30地点 12: 白滝 13: 白滝 14: 白滝 15: 赤石山 A: 黒 B: 赤(採掘後) C: 茶 D: 流紋岩球類 a: 八号沢の露頭 b: 球類の沢・柱状露頭 c: 鞍加沢の露頭 d: あじさいの滝 e: 十勝石沢の露頭 f: 白土の沢露頭

図II-5 調査遺跡・黒曜石露頭位置図

薬科氏の産地分析での原産地「八号沢」は、78林班林地採取原石の分析値である。

白滝村市街へ入る手前の十勝石沢は別名、黒曜の沢、澱粉沢と呼ばれ、沢入り口の礫層中や砂防ダム付近では大小の多量な黒曜石原石が採取できるが、そのほとんどが細かい気泡が多く玻璃光沢の鈍い俗称「梨肌」のものである。沢を溯った上流部左岸の露頭(図Ⅱ-5のe)は、後述する幌加沢白土の沢(図Ⅱ-5のf)の反対側になり、山頂部に数mの厚さで、凝灰岩、流紋岩の上部に堆積している。また、この露頭の下位の溶結凝灰岩中には、玻璃光沢の強い黒曜石もある(白滝団体研究会1963)とされ、沢の所々では玻璃光沢の黒曜石もわずかであるが採取できるので、その供給源となる露頭や土層が存在すると考えられるが、詳細は不明である。

白滝村市街の北東2kmにある幌加湧別川の流れる幌加沢は、北西方向に延び、入り口から直線距離で6km程で、赤石山の山頂にいたる。上流部や支流の蜂の巣沢でも、黒色や茶色の混じった良質の黒曜石原石が採取できる。蜂の巣沢の最上流部付近では、名前の由来となった俗称「蜂の巣」と呼ばれる蜂の巣のような窪みが多数みられる黒曜石がみられるほか、標高800mの通称幌加沢の露頭(図Ⅱ-5のd)や林道終点に近い通称あじさいの滝(図Ⅱ-5のc)などいくつもの露頭がある。最近確認できた地域では、幌加沢遠間地点遺跡跡の「左ノ沢」があり、石器製作に適した手ごろの大きさの良質の原石が採取できる。この「左ノ沢」は前述の幌加沢の露頭やあじさいの滝につながる赤石山山頂から南東に延びる尾根筋にあり、この一帯が幌加沢の主要な黒曜石原石の分布地帯である可能性がある。また、沢入り口より幌加湧別川を3km程溯った左手にある白土の沢の露頭(図Ⅱ-5のf)は、十勝石沢の露頭(図Ⅱ-5のe)の反対側で、一帯では「梨肌」の黒曜石が採取できる。山頂部や球類の沢同様に幌加沢においても露頭やその周辺で、人為的な石器類が採取できる地点が多数あるが、幌加沢遠間地点遺跡などのように特徴的な遺物が多数みられる場所以外は、年代の決定が難しい。

おそらく赤石山へつながる八号沢、十勝石沢、幌加沢の3本の大きな沢および湧別川本流は、旧石器時代以来黒曜石原石の主要な採取地で、先に説明したように採取できる原石にも違いがあったと考えられる。その状況は、アイヌ語地名としても確認できる。山田秀三によれば、黒曜石はアイヌ語で「アンチ(anchi)」あるいは「アンジ(anji)」で、明治31年5万分の1地形図では、八号沢川のところに「シュマフレユーベツ」、十勝石沢のところに「アンシユオユーベツ」という地名が見られるという。そして「シュマフレユーベツ」はシュマ・フレ・ユーベツ Shuma-hure-yupet「石が・赤い・湧別川(の支流)」、 「アンシユオユーベツ」はアンジ・オ・ユーベツ Anji-o-yupet「黒曜石・が多い・湧別川」と考えられる、という(山田 1977)。現在でも赤や茶色の黒曜石は八号沢・流紋沢川が主体であり、十勝石沢は梨肌の原石であるが、その量は膨大である。また、山田によれば、石ころなどがごろごろある状態を言うのには「オ」を使うのがアイヌ語の通例だという。現在でも十勝石沢の砂防ダムでみられる一面に黒曜石の大小の原石が敷き詰めたようにある状況と符合する。

赤石山を中心とした八号沢・流紋沢、十勝石沢、幌加・蜂の巣沢の一帯は、深い森林地帯(国有林)で、多くの黒曜石の露頭や良質の原石が採取できる地点が多数あるが、その実態は不明である。また、それらの地点と関連して遺物が散布する地点も多数あるが、その内容や時代などの把握も困難な状況である。地形・地質などの把握を含めた総合的な分布調査が必要であり、村教委でも資料収集に努めているところで、今後は次第に明らかになっていくものと考えられる。

Ⅲ 上白滝8遺跡の調査(2)

1 調査の概要

(1) 調査要項

事業名	一般国道450号白滝丸瀬布道路工事に伴う埋蔵文化財発掘調査(平成16年度)
委託者	国土交通省北海道開発局網走開発建設部
受託者	財団法人北海道埋蔵文化財センター
遺跡名	上白滝8遺跡(Ⅰ-20-91)
所在地	紋別郡白滝村字上白滝179-1, 181-2, 181-3, 181-4, 182-2, 182-3
調査面積	17,849㎡(平成7年度:6,600㎡、平成8年度:10,212㎡、平成9年度:320㎡、平成10年度:56㎡、平成12年度:661㎡)
調査期間	平成7年4月17日～平成8年3月25日(現地調査平成7年5月8日～10月25日) 平成8年4月11日～平成9年3月31日(現地調査平成8年5月8日～10月30日) 平成9年4月11日～平成10年3月31日(現地調査平成9年5月6日～10月25日) 平成10年4月10日～平成11年3月31日(現地調査平成10年5月6日～10月24日) 平成11年4月1日～平成13年3月31日(整理作業のみ) 平成12年4月3日～平成13年3月30日(現地調査平成12年5月8日～10月27日) 平成13年4月2日～平成14年3月29日(整理作業のみ) 平成14年4月1日～平成15年3月31日(整理作業のみ) 平成15年4月1日～平成16年3月31日(整理作業のみ) 平成16年4月1日～平成17年3月31日(整理作業のみ)

(2) 調査体制

財団法人北海道埋蔵文化財センター	理事長	伊藤一夫(平成10年5月31日まで)	
		大澤 満(平成13年6月30日まで)	
		森重楯一(平成13年7月1日から)	
専務理事	佐藤哲人(平成11年5月31日まで)	常務理事	柴田忠昭(平成11年3月31日まで)
	宮崎 勝(平成11年6月1日から)		木村尚俊(平成13年7月17日まで)
			畑 宏明(平成14年6月1日から)
			佐藤俊和(平成16年4月1日から)
業務部長	山内 清(平成9年3月31日まで)	第1調査部長	畑 宏明(平成11年8月15日まで)
	北條雅洋(平成10年3月31日まで)		木村尚俊(平成13年7月17日まで)
総務部長	中田 仁(平成13年3月31日まで)		(兼務)
	柳瀬茂樹(平成14年3月31日まで)		大沼忠春(平成14年3月31日まで)
	下村一久(平成14年4月1日から)		(兼務)
	佐藤英一(平成16年4月1日から)		畑 宏明(平成14年4月1日から)

(兼務)

千葉英一 (平成16年4月1日から)

平成7年度	第1調査部第3調査課課長	長沼 孝 (発掘担当者)
	同 文化財保護主事	宗像公司 (発掘担当者)
平成8年度	第1調査部第3調査課課長	長沼 孝 (発掘担当者)
	同 文化財保護主事	藤井 浩 (発掘担当者)
	同 文化財保護主事	宗像公司 (発掘担当者)
	同 文化財保護主事	坂本尚史
	同 文化財保護主事	鈴木宏行
平成9年度	第1調査部第3調査課課長	長沼 孝 (発掘担当者)
	同 主任	越田雅司 (発掘担当者)
	同 文化財保護主事	宗像公司 (発掘担当者)
	同 文化財保護主事	坂本尚史
	同 文化財保護主事	鈴木宏行
平成10年度	第1調査部第3調査課課長	長沼 孝 (発掘担当者)
	同 主任	越田雅司 (発掘担当者)
	同 文化財保護主事	宗像公司 (発掘担当者)
	同 文化財保護主事	坂本尚史
	同 文化財保護主事	鈴木宏行
平成11年度	第1調査部第3調査課課長	長沼 孝
	同 主任	越田雅司
	同 主任	鈴木宏行
	同 文化財保護主事	坂本尚史
	同 文化財保護主事	佐藤 剛
	同 文化財保護主事	直江康雄
平成12年度	第1調査部第3調査課課長	長沼 孝 (発掘担当者)
	同 主任	越田雅司 (発掘担当者)
	同 主任	鈴木宏行 (発掘担当者)
	同 文化財保護主事	直江康雄 (発掘担当者)
	第1調査部第3調査課課長	長沼 孝
平成13年度	同 主任	鈴木宏行
	同 文化財保護主事	直江康雄
	第1調査部第3調査課課長	長沼 孝
平成14年度	同 主任	鈴木宏行
	同 主任	立田 理

	同	文化財保護主事	直江康雄
平成15年度	第1調査部第3調査課課長		高橋和樹
	同	主任	鈴木宏行
	同	主任	愛場和人
	同	主任	直江康雄
平成16年度	第1調査部第3調査課課長		高橋和樹
	同	主任	鈴木宏行
	同	主任	直江康雄

(3) 発掘区の設定

発掘区はアルファベットの大文字と数字の組み合わせで表示し、規格は4×4mとした。調査区の設定基準は、工事測点のS P 60900とS P 60960を基準点とし、その2点を通る直線を東西方向の基線とし、南北方向はS P 60900の基準点を通り、東西方向の基線に直交する直線とした。

ラインの設定は、南北方向をアルファベットのの大文字とし、基線をMに設定後、南側にN、O、P、…、北側は逆にL、K、J、…とした。東西方向は数字で、調査区域全域をカバーできるようにS P 60900を通る基線を50とし、東側に51、52、53、…、西側に49、48、47…とした。調査区域は、アルファベットラインでは、F～W、数字ラインでは0～122の範囲で、基準点の測量成果は下記のとおりである。

S P 60900 (M50)	X = -13941.075	Y = 71310.021
S P 60960 (M65)	X = -13952.438	Y = 71368.935

(平面直角座標系 第Ⅱ系)

また、測量法の改正に伴い、平成14年4月1日にそれまでの平面直角座標系(昭和43年建設省告示第3059号)は廃止され、新たに世界測地系に基づく平面直角座標系(平成14年国土交通省告示第9号)が施行されたため、世界測地系による平面直角座標を以下に併記しておく。なお、座標の変換には国土地理院のホームページで公開されている座標変換ソフト「TKY2JGD」を使用した。

S P 60900 (M50)	X = -13677.354	Y = 71003.486
S P 60960 (M65)	X = -13688.718	Y = 71062.402

(平面直角座標系 第Ⅱ系)

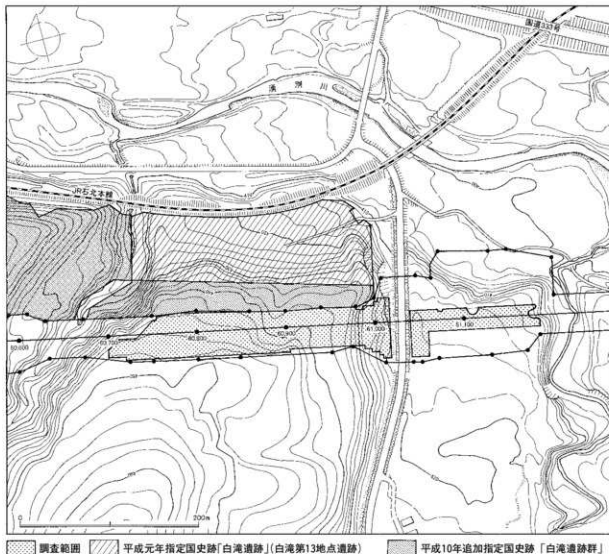
発掘区の呼称は、4m四方区画の北西隅のライン交点で示した。例えば、Mラインと30ラインの交点の南東側がM30区ということになる。また、発掘区は、公共座標の北方向に対して東側に10°55'07"傾いている。

(鈴木宏行)

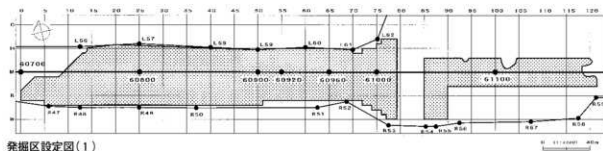
(4) 土層

土層は、Ⅱ章で記載した基本土層を中心として、上からⅠ層(表土)、Ⅱa層(褐色粘質土)、Ⅱb層(灰白色～青灰色粘質土)、Ⅱc層(赤褐色～灰褐色砂質土)Ⅲ層(赤褐色～褐色砂質土)の順に堆積し、部分的に34層に分層している(図Ⅲ-2)。これらは平成15年度に報告した東地区の土層を含めた分層で、2・8・10・15・25層は、前回の報告書のみで使用した土層である。遺物包含層であるⅡa層は、遺跡内のほとんどの地点で連続的に確認された。Ⅱc層は、大雪御鉢平軽石(約3万年前降下)を多く含む層で、各地点で安定してみられ、特にⅢ層上面が窪んでいる地点では厚く堆積し

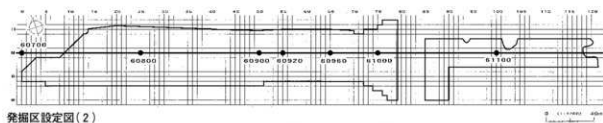
1 調査の概要



調査範囲・周辺の地形図



発掘区設定図(1)



発掘区設定図(2)

図Ⅱ-1 調査範囲・発掘区設定図

ている。Ⅲ層以下の堆積状況については、Tラインで重機による深掘り調査を行い、段丘礫層までの層序を記録した。以下5ライン、10ライン、15ライン、20ライン、25ライン、30ライン、35ライン、40ライン、Hライン、Mライン（東地区含む）、Tライン（深掘り区）の順に詳しく説明を行う。

5ライン（図Ⅲ-2・6）

北へ向かって緩やかに傾斜する地形で、Ⅱa層はN・O・Q・S区の一部を除いて連続的に確認される。層厚は10～40cmであった。段丘礫層を構成すると見られる腐食した礫がⅡ層中に多く見られ、それらは凍上現象による礫の浮き上がりと考えられる。O区ではⅡa層が5層（灰褐色シルト）とⅡb層によって分断され、5層、Ⅱa層、Ⅱb層の順に堆積が確認された。Ⅱa層の下部は、北側のN区では33層（Ⅱa層+小礫）、それ以南ではⅡb層が確認されている。

10ライン（図Ⅲ-2・6）

北へ向かって緩やかに傾斜する地形で、南端部は傾斜がより平坦である。Ⅱa層はO・S区の一部を除いて連続的に確認される。層厚は5～40cmであった。段丘礫層を構成すると見られる腐食した礫がⅡ層中に多く見られ（図版14-7）、それらは凍上現象による礫の浮き上がりと考えられる。O区を境にⅡa層の下層が異なり、北側では部分的にⅡc層があるものの直接Ⅲ層が堆積しているが、南側ではⅡb層が安定して見られ、Ⅲ層へと続く。最も南側のS区ではⅡb、Ⅱc層が上下関係をもって確認されている。その他に、O・Q区付近で3層（暗褐色砂）が見られ、北側のⅢ層の下部には17層（褐色シルト+礫）が確認された。

15ライン（図Ⅲ-2・6・7）

北へ向かって緩やかに傾斜する地形で、Ⅱa層はJ～M・Q区で一部分断されているもののほぼ連続的に確認される。層厚は5～35cmであった。M区を境にⅡa層の下層が異なり、北側では部分的にⅡc層、全体的にⅡb層が安定して見られるが、南側では直接Ⅲ層へと続くところが多い。最も南側のS区ではⅡb、Ⅲ層が上下関係をもって確認されている。また、M区の一部では、Ⅱa層を分断する形でⅡb層が堆積している。

20ライン（図Ⅲ-2・7）

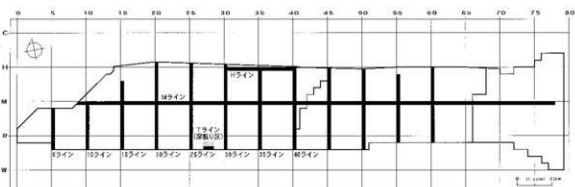
北へ向かって緩やかに傾斜する地形だが、Q区はほぼ平坦である。Ⅱa層はJ～K・N・O・R・S区で一部分断されているもののほぼ連続的に確認される。特にO区では27層（赤褐色シルト）に断ち切られている。層厚は5～30cmであった。Ⅱa層中にはN区で7層（暗灰色砂質土）が部分的に見られる。全体的にⅡa層の下層にはⅡc・Ⅲ層が上下関係を持って見られ、部分的にその上部にⅡb層が堆積している。また、N・O区ではⅡa層の下に29（黄褐色粘土）・16（暗灰色シルト）層が見られ、Ⅲ層へと続いている。

25ライン（図Ⅲ-3・7・8）

北へ向かって僅かに傾斜する地形である。Ⅱa層はM・O・P区で一部分断されているもののほぼ連続的に確認される。層厚は10～45cmであった。Ⅱa層中にはQ区で5層（灰褐色シルト）が部分的に、O区では26層（暗灰色粘土）が1.5mに渡って見られる。M区を境にⅡa層の下層が異なり、北側ではⅡc層、南側ではⅡb層が安定して見られⅢ層へと続く。また、Ⅱb層はⅢ層上面から下方に伸びるクラックに落ち込み、充填している。南側のM・O・S区ではⅡa層とⅡb層の間に29（黄褐色粘土）・6（暗褐色シルト）・7（暗灰色砂質土）層が部分的観察された。さらにM区の北部では、Ⅱb層に類似した34層（橙～黄褐色粘土）がⅡb層の下層に堆積し、Ⅱb層同様Ⅲ層上面から下方に伸びるクラックに落ち込んでいる。

30ライン（図Ⅲ-3・8・9）

1 調査の概要

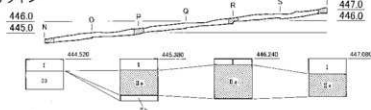


基本土層

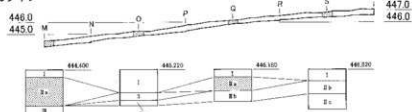
- | | | |
|----------------------------------|-------------------|--------------|
| I : 表土・耕作土 | 1 : 表土～Ⅲ層混在土 | 7 : 暗灰色砂質土 |
| II a : 褐色粘質土 | 2 : II a～II bの漸移層 | 8 : 灰褐色粘土 |
| II b : 灰白色～青灰色粘質土 | 3 : 暗褐色砂 | 9 : 赤褐色粘土 |
| II c : 赤褐色～灰褐色砂質土
(Sit I を含む) | 4 : Ch-21 | 10 : 明黄褐色砂 |
| III : 赤褐色～褐色砂質土 | 5 : 灰褐色シルト | 11 : 暗茶褐色粘土 |
| | 6 : 暗褐色シルト | 12 : 暗黄褐色シルト |

- | |
|-----------------|
| 13 : 暗褐色砂礫 |
| 14 : 灰白色粘土 |
| 15 : 褐色砂質土 |
| 16 : 暗灰色シルト |
| 17 : 褐色シルト+礫 |
| 18 : 明灰褐色砂質土 |
| 19 : 明黄褐色砂質土 |
| 20 : 赤褐色砂質土 |
| 21 : 黄褐色砂質粘土 |
| 22 : 暗褐色砂質シルト+礫 |
| 23 : 茶褐色砂混じりシルト |
| 24 : 褐色砂礫 |
| 25 : 灰褐色砂質土+礫 |
| 26 : 暗灰白粘土 |
| 27 : 赤褐色シルト |
| 28 : 黄褐色シルト |
| 29 : 黄褐色粘土 |
| 30 : 暗黄褐色土 |
| 31 : 赤褐色砂 |
| 32 : II a層+礫 |
| 33 : II a層+小礫 |
| 34 : 橙～黄褐色粘土 |

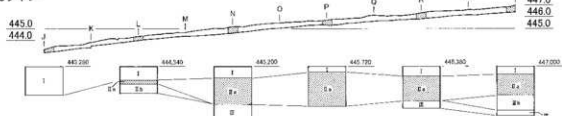
5ライン



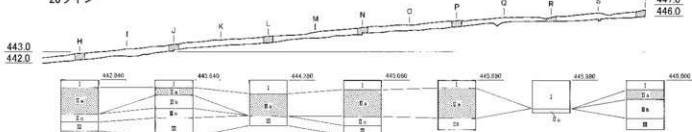
10ライン



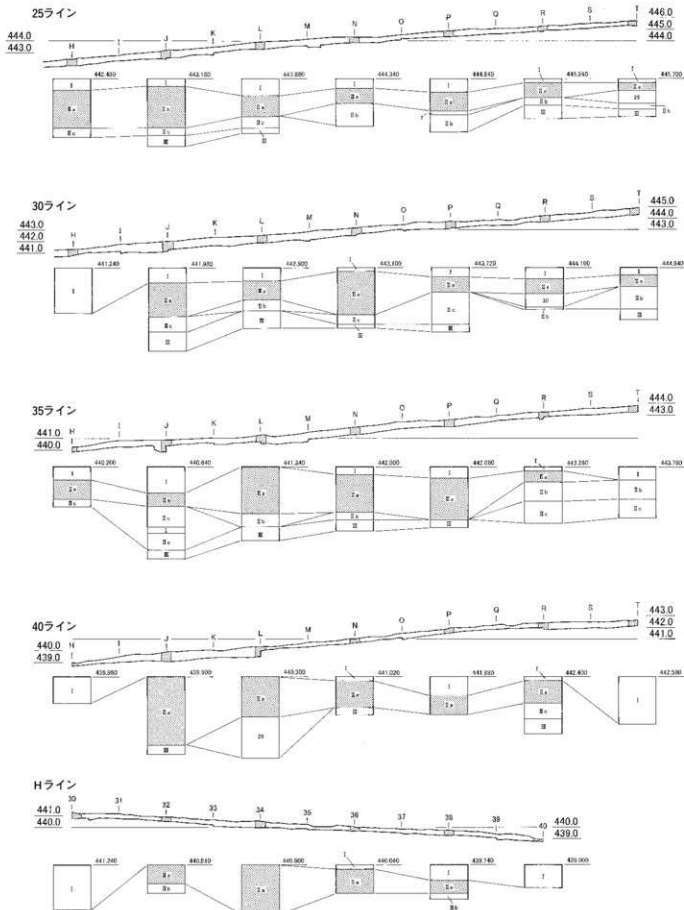
15ライン



20ライン



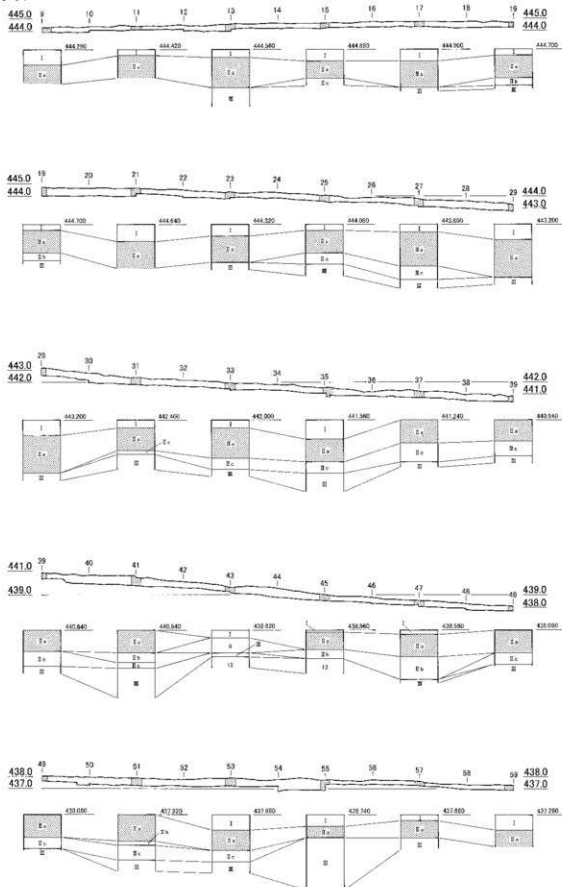
図Ⅲ-2 土層概略図(1)



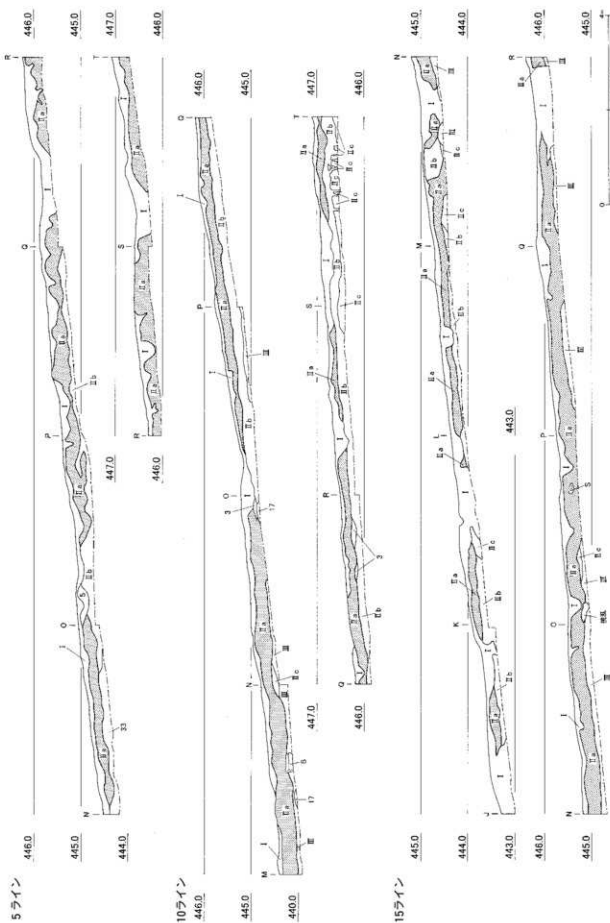
図Ⅲ-3 土層概略図(2)

1 調査の概要

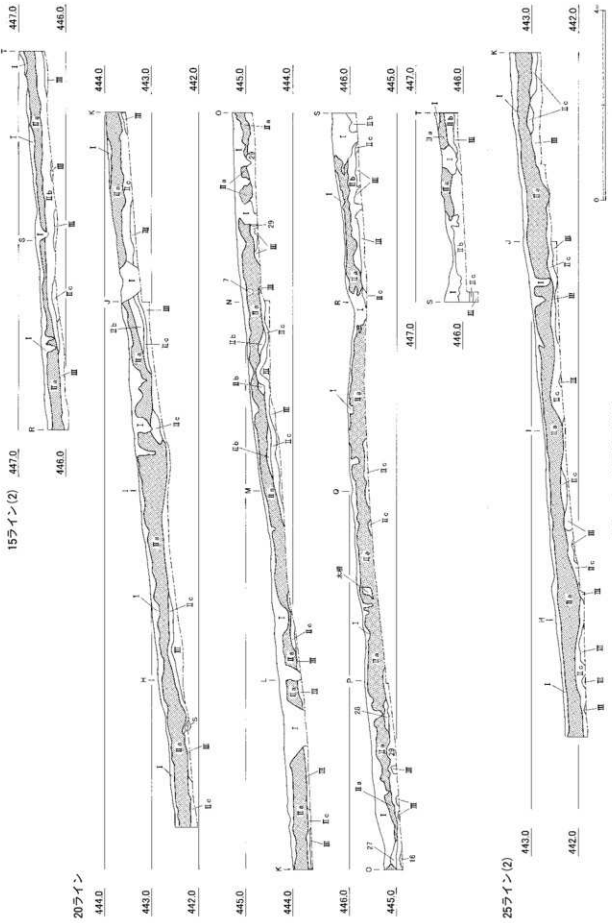
Mライン



図Ⅲ-4 土層概略図(3)

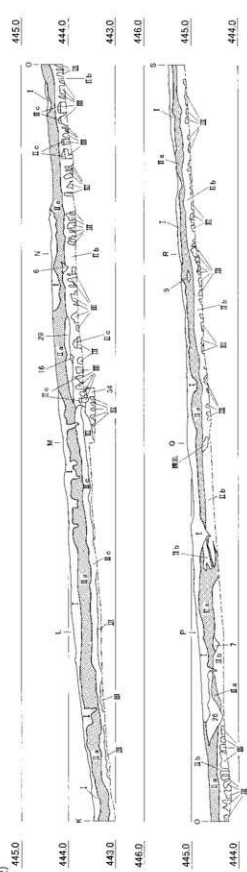


図三-6 土層断面図(1)



図一七 土層断面図(2)

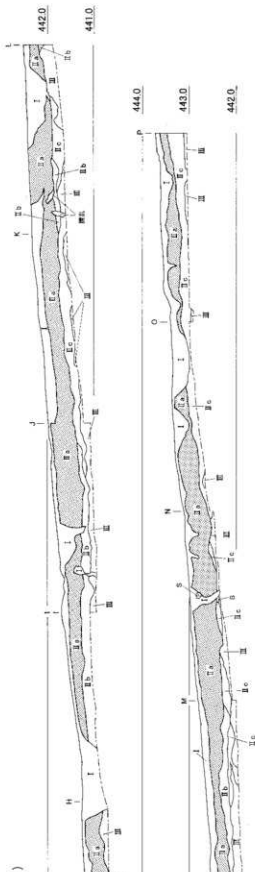
50 25ライン(2)



30ライン(1)

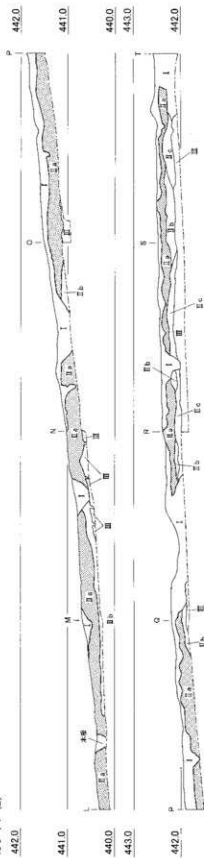


30ライン(2)

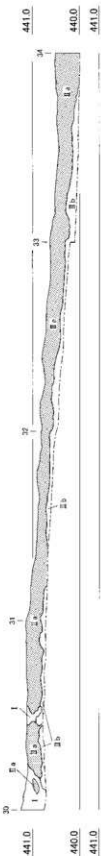


図Ⅲ-8 土層断面図(3)

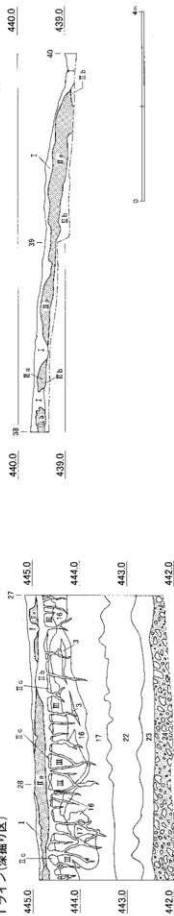
40ライン(2)



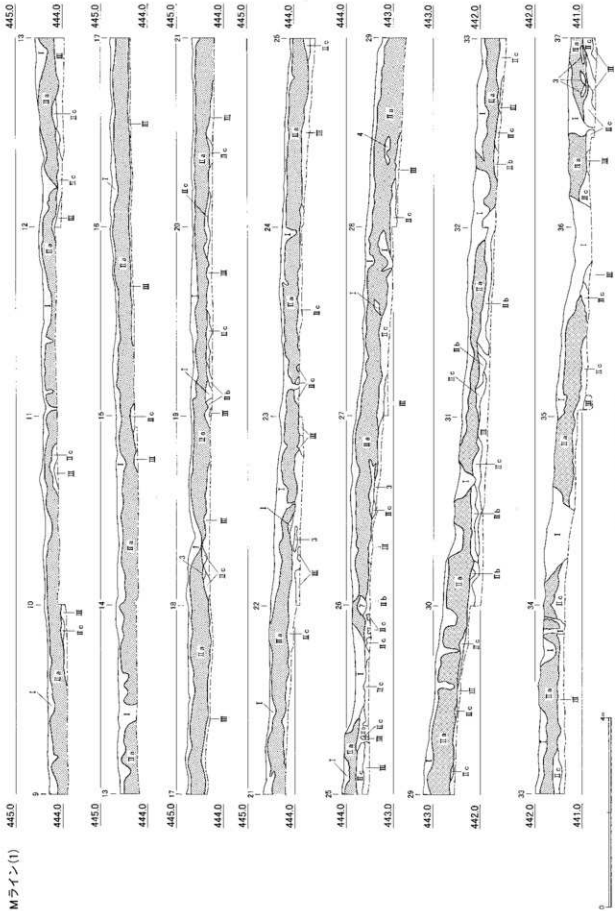
Hライン



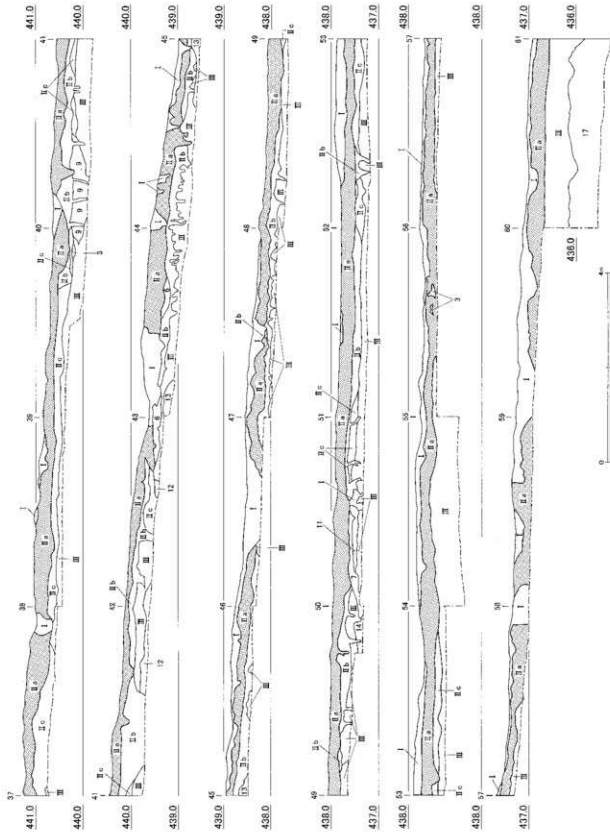
Tライン(深掘り区)



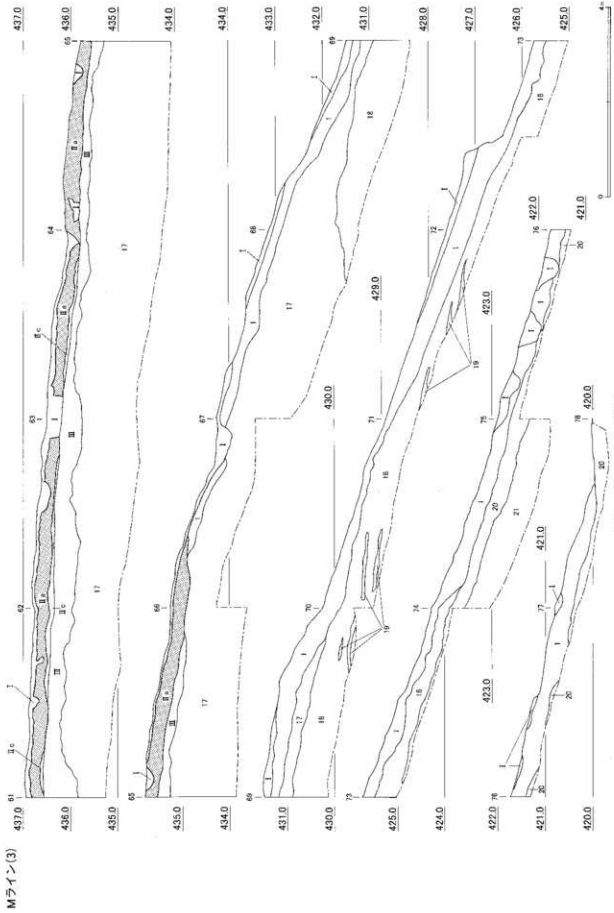
図Ⅲ-10 土層断面図(5)



図一11 土層断面図(6)



図Ⅲ-12 土層断面図(7)



図一13 土層断面図(8)

北へ向かって緩やかに傾斜する地形である。II a層はH・I・K・M・N・Q～S区で一部分断されているもののほぼ連続的に確認される。特にQ区では攪乱により3m程II a層が消滅している。層厚は5～50cmで、I・M区で厚く堆積している。II a層の下層にはH・I・L・Q～S区ではII b層、J～K・M～P区ではII c層が交互に見られ、それぞれIII層に続いている。R・S区ではII b層はIII層上面から下方に伸びるクラックに落ち込み、充填している。平面的に見ると径20～30cm程の多角形が多数繋がり合っているのが観察され(図版14-5)、これらは低温乾燥気候による地割れと考えられる。また、R区ではII a層の下に30層(暗黄褐色土)、S区ではII a層中及び下に5層(灰褐色シルト)、II a層の下とII b層の下に31層(赤褐色砂)が部分的に見られる。

35ライン(図Ⅲ-3・9)

北へ向かって緩やかに傾斜する地形である。II a層はI・L・O・P・R・S区で一部分断されているもののほぼ連続的に確認される。層厚は10～55cmで、O区で厚く堆積している。II a層の下層にはH～J区までがII c層、K区以南はII b層とII c層が連続的に堆積しているところが多く、III層に続いている。I区のII c層は厚く、テストピット部分では50cm程見られた。

40ライン(図Ⅲ-3・9・10)

北へ向かって緩やかに傾斜する地形で、特にQ～S区はほぼ平坦である。II a層はH・N・Q～S区で一部分断されているもののほぼ連続的に確認される。層厚は5～65cmで、I・J区で厚く堆積している。II a層中にはI区で3層(暗褐色砂)が僅かに、H区では32層(II a層+礫)が3mに渡って見られる。II a層の下層には基本的にII b層が確認されているが、J区ではIII層、K区では29層(黄褐色粘土)が見られる。また、R区以南ではII c層がII b層及びIII層と上下関係を持って確認される。

Hライン(図Ⅲ-3・10)

遺跡中央部にあたる30～39区までを図示する。40～45区にかけて沢地形の底部があり、東へ向かって緩やかに傾斜する地形となっている。II a層は30・38・39区で一部分断されているもののほぼ連続的に確認される。層厚は10～50cmである。II a層の下層には基本的にII b層が確認されており、37区では部分的にII c層がその下層に見られる。

Mライン(東地区を含む高位部と斜面部)(図Ⅲ-4・5・11～13)

上白滝8遺跡の立地する段丘面全体を東西方向に切った土層断面である。地形は大きく東西に二つの平坦面があり、標高の高い西側からゆるやかな傾斜を経て東側につながり斜面へと続いている。西側の平坦面は9区から21区で、東側の平坦面は49区から59区である。65区を過ぎると傾斜がきつく斜面部となる。

II a層は途中、木根などにより部分的に分断されているが、基本的には高位部の全ての地点で連続的に確認され、層厚は5～45cmである。66区の中央より東側は急傾斜で斜面堆積となり、II a層の代わりに1層(表土からIII層までの混在土)がみられる。II a層中には36・55区に3層(暗褐色砂)が部分的にみられる。II a層の下は全体的な傾向としてII c層が安定して確認され、II b層は40～51区で連続的に堆積している。また、西側に傾斜し始める15～17区、東側斜面部に接する64・65区ではII a層の直下にIII層がみられる。

II b層がみられる40～51区では部分的であるがII aとII b層間に6層(暗褐色シルト)、II b～II c層の間に9層(赤褐色粘土)、III層の上部に7層(暗灰色砂質土)・11層(暗茶褐色粘土)、III層の下部に12層(暗黄褐色シルト)・13層(暗茶褐色砂礫)・14層(灰白色粘土)が堆積している。この地区は浅い沢地形となっているため、他の地区と異なる堆積状況である。13層は沢の礫層とみられ、段

丘稜層の構成礫より風化がなく、径5cm強の円摩度の高い礫が主体を占めている。

Ⅲ層の下部は17層(褐色シルト+礫)が確認され、斜面部では17層に続いて18層(明灰褐色砂質土)・20層(赤褐色砂質土)・21層(黄褐色砂質粘土)が安定的にみられる。なお18層は火砕流堆積物である白滝層に対比される。

Tライン(深掘り区)(図Ⅲ-5・10)

Ⅱa層はほとんどの地点で確認され、層厚は5~20cmであった。Ⅱa層の下にはⅡb層が安定して堆積し、Ⅲ層上面から伸びる深さ1m弱のクラックにⅡb層が落ち込んでいる。Ⅱb層の下にはⅡc層・Ⅲ層が続き、Ⅲ層の下部は波状になっている。さらに16(暗灰色シルト)・17(褐色シルト+礫)・22(暗褐色砂質シルト+礫)・23(茶褐色砂混じりシルト)層がみられ、上白滝面の段丘礫層である24層に到達する。17・22層はマトリックスの多い礫層で、どちらも斜面堆積物とみられる。23層は砂とシルトの互層で、段丘面が離水する直前の水成堆積層と思われる。(直江康雄)

(5) 調査の方法

調査区全域は山林であったが、試掘調査時点ですでに立木の伐採は終了していた。したがって、調査は重機による笹根の除去や伐根からスタートした。ただし、笹根に混じって遺物が確認されたところでは除去を最小限にした。また、重機で除去した笹根混じりの表土についても可能な限り遺物採取を行った。

平成7年度は、まず道路東側の低位面について調査を行い、次に遺跡主体部の高位面の調査へ移行した。重機によって除去した表土や人力によって調査した排土などは用地の外に搬出することができなかったため、用地内での移動で調査を展開した。平成7年度においては西側に次年度以降の調査区域の空間があったので、そこを表土・排土の堆積場所とした。また、道路に接した斜面部は通常人力による調査が不可能であったので、重機によって発掘区単位で土壌を掘り上げ、その後人力による遺物採取という調査方法を採用した。そして調査終了後は排土場所として利用した。また、遺物包含層が全く無く、遺物も出土しなかった低位部の大部分については重機による表土除去と土層確認トレンチの掘削で調査を終了した。

平成8年度の調査区は東西260mという細長い形状であったので、同時の全面展開は困難であった。平成7年度の調査区に隣接する東側については、調査完了区域に表土・排土を堆積することができたが、西側については大きく南北に分け、さらにそれらをいくつかのブロックに分け、表土と排土の移動を行い、排土の運搬距離をできるだけ短くするように配慮しながら調査を進めた。

調査は基本的に、分割された区域ごとに、重機による表土除去、杭打ち、25%調査、包含層調査の順に進めた。排土と表土に関しては調査終了区域の拡大とともに移動を重ね、できるだけ調査区域の近くに排土場所を確保しながら調査を展開した。

平成9年度の調査区は遺跡の西端で、平成8年度に調査を終了することができなかった区域である。

平成10年の調査は、沢に面した道路法面の掘削区域の拡大に伴うもので、僅かな面積の調査であった。

調査区域の範囲は、平成7年度時点では用地内全域であったが、平成8年度以降は詳細設計が決まったことを受け、工事がおよぶ範囲をカバーする形で、発掘区の区切りが良い範囲とした。

平成12年度の防雪柵建設に伴う調査区は用地境界の北端幅3mで、平成8年度の本線部分調査区との間に残地ができることとなったが、遺物が連続的に出土していることや工事による包含層への影響を考え、委託者と道教委の同意を得て残地部分についても記録保存の措置をとった。

遺物の取り上げは、他の遺跡と同様に、I層(表土および耕作土)については発掘区単位で一括し

て取り上げ、遺物包含層であるⅡ層については、出土位置を可能な限り計測した。しかし、Ⅱ層の遺物でも指先より小さい剥片類については、発掘区単位で一括して取り上げた。出土位置の記録はトータル・ステーションを使用し、さらに遺構・遺物データシステム（掘シン技術コンサル）にデータを蓄積すると同時に毎日遺物一覧表とドットマップ（分布図）を作成し、データのチェックと遺物の分布状況を把握しながら調査を進めた。調査終了時の各年度のデータ数は、平成7年度53,144件、平成8年度149,370件、平成9年度2,730件、平成10年度837件、平成12年度9,702件、合計215,783件である。

炭化木片ブロックについては、平成7～10年度調査（Cb-1～24）では炭化木片が含まれる土壌を面的に採取し、平成12年度調査（Cb-25～28）では肉眼で確認できる炭化木片を点を回収し、両者ともフローテーションを行った。

また、遺跡の地形環境や化石周水河作用、テフラなどが明瞭な状況で観察できる土層については、剥ぎ取りを行い、保存した。（鈴木宏行）

（6）整理の方法

遺物の水洗作業は、基本的に現地で行った。その後、札幌の整理作業所に運び、注記などの整理作業を開始した。

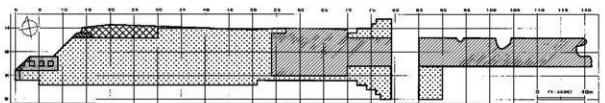
遺物の整理作業は、他の遺跡と同様に点取り遺物と一括遺物に分けて進めた。点取り遺物は注記後に、器種分類、重量計測、石質、残存状況、打点・自然面・被熱の有無など一次の属性観察を行い、次に接合・実測などの二次整理作業を進めた。遺物の注記は、道教委の登載番号、発掘区、遺物番号の順としたので、上白滝8遺跡、P28区出土、遺物番号123の石器の場合は「91P28・123」となる。なお、平成7年度は遺跡名を白滝第13地点遺跡と認識していたため、登載番号の注記が1となっている。また、一括遺物は、定形的なものや点取り遺物と接合したものを抽出し、台帳を作成した。したがって、その注記は、点取り遺物と区別するため、発掘区と台帳の整理番号の間に層位を記入した。例えば、K32区、Ⅰ層出土、台帳番号5の石器は、「91K32・Ⅰ・5」となる。

水洗後に精査し、地山に含まれている自然礫や黒曜石の原石を除いた結果、今回報告対象である西地区の点取り遺物は最終的に126,475点（「白滝Ⅰ群」：1,939点、「白滝Ⅰ群」以外：124,536点）となり、遺跡全体では215,783点（「白滝Ⅰ群」：9,029点、「白滝Ⅰ群」以外：206,754点）となった（表Ⅲ-1・2）。

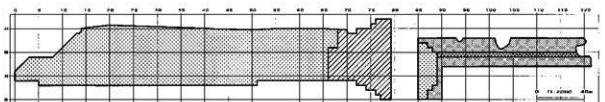
遺物の接合作業は、石質、発掘区、石器ブロック、石器群そして全体の順で進めた。上白滝8遺跡では、現場や整理作業の初期の段階から「白滝Ⅰ群」¹⁾が明確に分離できる状況であったので、他の石器群とは独立した形で整理作業を進めた。したがって、接合番号は「白滝Ⅰ群」とそれ以外の二つの石器群に分けて、1000単位でずらして番号を付した。また、東地区の後に西地区の遺物に番号を与えたが、「白滝Ⅰ群」以外の折れ面接合番号についてのみ、東地区とずらして56501から番号を付けた。

最終的に西地区は、折れ面接合8,376例（「白滝Ⅰ群」213例：50770～50991・欠番9、「白滝Ⅰ群」以外8,163例：54241・56501～64686・欠番18・東地区6）、剥離面接合3,274例（「白滝Ⅰ群」112例：353～470・欠番6、「白滝Ⅰ群」以外3,162例：1658・2792～5969・欠番11・東地区6）となり、遺跡全体では折れ面接合13,743例（「白滝Ⅰ群」967例：50001～50991・欠番24、「白滝Ⅰ群」以外12,776例：51001～56631・56501～64686・欠番41）、剥離面接合5,405例（「白滝Ⅰ群」463例：1～470・欠番7、「白滝Ⅰ群」以外4,942例：1001～5969・欠番27）となった。

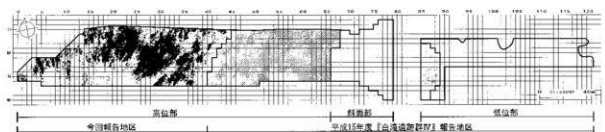
接合作業は石質の類似したものを集めて行ったが、その作業中で同一母岩と認識できる接合資料・



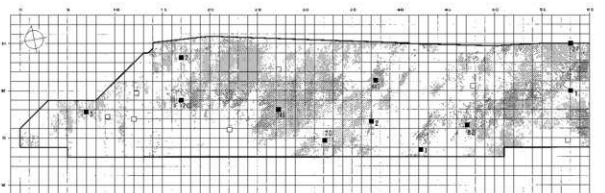
年度別調査範囲図
 平成7年度調査区 平成8年度調査区 平成9年度調査区 平成10年度調査区 平成11年度調査区



人力及び重機調査範囲図
 人力調査範囲 重機+人力調査範囲 重機によるトレンチ調査範囲 重機調査範囲



年度別報告地区
 高台部 懸崖部 低台部
 今年報告地区 平成15年度『白滝遺跡掘削』報告地区

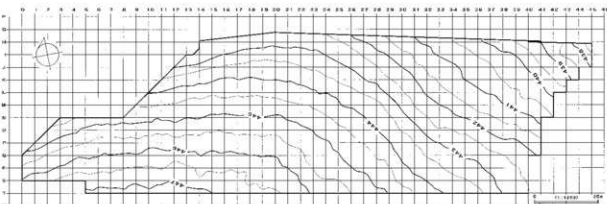
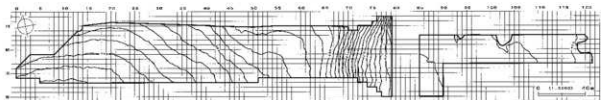


試掘調査位置図 ※数字は出土点数

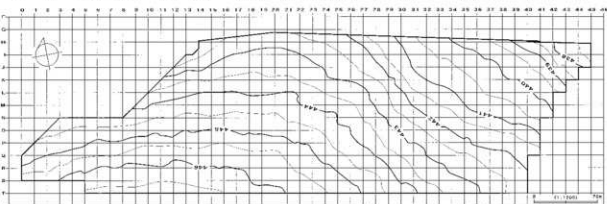
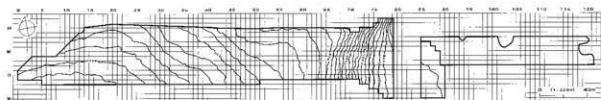
図Ⅲ-14 調査範囲・報告地区・試掘調査位置図

非接合資料・非接合単品石器を母岩別資料として抽出した。この作業は接合資料を中心に行ったため、母岩判別が困難であった接合数が少量の接合資料、接合資料に対応する母岩のない剥片・単品石器類が母岩別資料から漏れている。そのため、単体で搬入された石器は母岩識別が可能であっても母岩別資料には分類されていない。このような手順で、西地区では740母岩（「白滝Ⅰ群」64母岩；481～545・675・欠番2、「白滝Ⅰ群」以外676母岩：328・546～674・676～1225・欠番4）を母岩別資料に認定し、遺跡全体では1219母岩（「白滝Ⅰ群」184母岩：1～100・459～476・478・480～545・675・欠番2、「白滝Ⅰ群」以外1035母岩：101～458・477・479・546～674・676～1225・欠番4）を認定した。

接合に関わる点数は、西地区では39,046点（「白滝Ⅰ群」：折れ面接合のみ109点、剥離面接合1,121点、「白滝Ⅰ群」以外：折れ面接合のみ3,717点、剥離面接合34,099点）で、点取り遺物の総数126,475点に対しては30.9%、点取り及び一括遺物の総数626,305点に対しては6.2%の接合率である。また、



表土除去後の地形図



調査終了後の地形図

図Ⅲ-15 調査区域地形図

740母岩の母岩別資料の点数は43,133点で、点取り遺物の総数126,475点に対しては34.1%、点取り及び一括遺物の総数626,305点に対しては6.8%の母岩抽出率である。

遺跡全体では62,117点(「白滝I群」:折れ面接合のみ627点、剥離面接合5,055点、「白滝I群」以外:折れ面接合のみ7,795点、剥離面接合48,640点)で、点取り遺物の総数215,783点に対しては28.8%、点取り及び一括遺物の総数1,354,567点に対しては4.6%の接合率である。また、1,219母岩の母岩別資料の点数は63,981点で、点取り遺物の総数215,783点に対しては29.7%、点取り及び一括遺物の総数1,354,567点に対しては4.7%の母岩抽出率である。

接合作業後は接合資料単位で剥離順による接合カードを作成し、同時に母岩別資料に含まれる接合資料・非接合剥片・非接合単品石器を記載した母岩台帳を作成した。その後、それらのデータを遺構・遺物データベース(陶シン技術コンサル)に入力し、分布図等の作成に利用した。

実測図掲載の接合資料は、接合カードを用い、剥離段階毎の色分けを行い、それに従って実測図の輪郭図にスクリーントーンを振り分け、さらに剥離方向を矢印で記入して剥離模式図を作成した。原産地遺跡という性格から遺物量・接合資料数が非常に多く、接合作業以降の作業に多大な労力を要した。また、大型石器や接合資料の実測図作成に関しては写真実測を行った。大型で慎重な取り扱いが必要な写真撮影にはカメラマンの小川忠博氏とともに多くの工夫と慎重さが必要であった。また、同様に図化には多大な労力を必要とした。

本報告では、石器ブロック群ごとに出土石器、分布・接合、接合資料の順で、実測図、分布図などを示した。

西地区で最終的に実測図などを掲載した石器類は1,372個体、1,839点(うち写真のみを掲載したものの248個体、329点)、接合資料は360個体(うち模式図・写真を掲載したものの163個体、写真のみを掲載したものの197個体)、分布・接合図などを示した石器ブロックは48か所である。石器類の掲載割合は、点取り及び一括遺物の総数626,305点から剥片618,865点を引いた石器類7,440点に対して24.7%である。

「白滝遺跡群IV」で掲載した東地区と合わせた全体では、実測図などを掲載した石器類は2,820個体、3,954点(うち写真のみを掲載したものの274個体、365点)、接合資料は585個体(うち模式図・写真を掲載したものの183個体、写真のみを掲載したものの248個体)、分布・接合図などを示した石器ブロックは111か所である。石器類の掲載割合は、点取り及び一括遺物の総数1,354,567点から剥片1,339,251点を引いた石器類15,316点に対して25.8%である。(鈴木宏行)

- 1) 現時点では、道内で最も古期と考えられている恵庭a降下軽石(En-a)下位の千歳市桜梅三角山地点、上土幌町鳴水、清水町栄栄3、函館市桔梗2遺跡などで出土したものと類似する特徴的な石核や小型剥片石器などを含む石器群を「白滝I群」と仮称している。これらは、剥片レベルでも他の石器群と区別が可能であるため分離して整理を行っている。

本来であれば、他の石器群においても「白滝II群」「白滝III群」…と遺跡群全体を包括する分類をする必要があるかもしれない。しかし、石器ブロックや石器群の内容は様々で、単純には包括できず、また、それらの年代的な位置付けも現状では困難である。報告書段階では遺跡を構成する石器ブロック群・石器群を把握し、内容の違いを明確化するよう努めており、各石器群の特徴はある程度把握できる状況になっているが、単純にまとめてしまうとあって混乱を招く恐れがある。したがって、現段階では、「白滝I群」以外の石器群の名称は一般的な呼称に留めている。

全体としては整理作業が進行し、遺跡群全体の評価が可能になりつつあるが、服部台2・旧白滝5遺跡など整理途中の大規模遺跡があるため、遺跡群全体を包括する明確な全体像の把握には至っていない。今後も石器ブロック群・石器群の把握を継続して行い、その成果を蓄積して、名称や内容を検討していきたい。

(7) 調査結果の概要

上白滝8遺跡は総点数約135万点、総重量約3.5トンもの大量の石器類が出土しているため高位部中央や東寄りの小沢が入る空白地帯を境に東西に分割し、二回に分けて報告することとし、東地区については既に「白滝遺跡群IV」で報告を行っている。ここでは西地区の概要を説明する。

遺構は遺跡全体で28か所の炭化木片ブロック (Cb-1~28) が確認され、そのうち西地区に関連するのは13か所 (Cb-3・9・14~28) である。そのほとんどは石器の分布と重複ないし隣接しているが、複数の石器群が連続ないし重複している出土状況を考えると周辺の石器群と単純に関連づけるのは困難である。遺物は全て石器類で、遺跡全体の点数 (表Ⅲ-2) は1,354,567点、重量は3,499,923.0g、そのうち点取り遺物は215,783点、一括ほか遺物は1,138,784点である。今回報告する西地区の遺物点数は626,305点、重量1,685,473.9g、そのうち点取り遺物は126,475点、一括ほか遺物は499,830点で、詳細は表Ⅲ-1に掲載している。

出土した遺物は、ほとんどが旧石器時代のものであるが、一部、つまみ付きナイフなど旧石器時代以外の石器が混じる。西地区では、石器類を平面分布や石器の特徴から48か所のブロックに分け、それらを8の石器ブロック群・区域に分けた。なお、石器群・区域の分類基準についてはⅢ章2(2)で後述する。

Sb-64~79は「白滝Ⅰ群」である。石核の出土量が多く、多様な形態がみられる。剥片素材でその腹面からうろこ状の剥片を剥離する石核、剥片ないし分割礫を素材として求心状に寸詰まりの剥片を剥離する石核、素材の小口面を作業面として打面部が厚く幅の広い剥片を剥離する石核、素材の細長い面を作業面として縦長剥片を剥離する石核、交互剥離によって打面と作業面を入れ替える石核、打面転移を頻繁に行いサイコロ状の形態になる石核などがみられる。これらは石核の素材と剥離技術によってⅠ~Ⅲ類に分類されている (Ⅲ章2(3)母岩別資料・接合資料参照)。原石の形状は転礫と角礫の二種類が見られ転礫が主体的に利用されている。主に接合状況からSb-64~70、71、72~79の三つの石器ブロック群に分けられる。定形的な石器類はSb-72~79では搔器が多く、Sb-64~70では裏面微細加工石器が主体的である。また、前者には台形石器、後者には基部平坦加工石器が伴っている。その他に定形的な石器として錐形石器、削器が見られる。

Sb-80~111は「白滝Ⅰ群」以外の石器群で、「白滝Ⅰ群」を除いた全ての石器群が含まれ、西地区遺物の99.7% (626,305点) を占める。なお、「白滝Ⅰ群」以外は遺跡全体では99.2% (1,344,457点) である。これらを特徴的な石器・接合関係などからG区 (Sb-80~89)、H区 (Sb-90)、I区 (Sb-91~96)、J区 (Sb-97~107)、K区 (Sb-108~111) の5区に分けた。G・I・J区には複数の石器群が重複し、K区を除くG~J区には区域間の接合関係が見られる。ここでは各区域に含まれる石器群について述べる。

西地区には大別すると①小型舟底形石器 (舟底形石器Ⅰ類) を含む石器群、②大型石刃・大型舟底形石器 (舟底形石器Ⅱb・c類) を含む石器群、③忍路子型細石刃核を含む石器群、④幅広有舌尖頭器 (尖頭器Ⅲ類) を含む石器群、⑤広郷型ナイフ形石器を含む石器群が出土している。①には舟底形石器Ⅰ類の他、大型尖頭器、削片剥離の行われた尖頭器 (尖頭器Ⅱ類)、周縁加工彫器 (彫器Ⅰ・Ⅱ類)、搔器、舟底形石器Ⅱa類、単剥離打面の石刃核が含まれる。②には単剥離打面を持つ大型石刃・舟底形石器Ⅱb・c類の他、大型尖頭器 (尖頭器Ⅰ類の大型品) が含まれる。③には忍路子型細石刃核の他、打面調整を伴う大型石刃、側縁調整がほとんど行われず刃部周辺にパンチ痕のある搔器が含まれ、接合資料には石器本体の無い50cmを超える尖頭器製作の資料がある。④に含まれる幅広の尖頭器Ⅲ類は、剥片ないし石核素材で、通常の有舌尖頭器に比べ幅広である。また、彫器Ⅲ類が含まれる。⑤には広郷型ナイフ形石器の他、彫器Ⅲ類が含まれる。

G区は、石器群①が主体的でスポット的に石器群②③が少量分布する。石器群③はH区と接合関係のある搔器が多く、それらの一部が分布するSb-89には剥片素材のやや粗い尖頭器が分布している。

H区は、ブロック縁部に分布する周辺ブロックの混入と見られる舟底形石器などを除くと、石器

表Ⅲ-5 西地区炭化木片ブロッカー一覧

		土壌		炭化物重量 (g)	石器		14C年代(yBP)	
		体積(cc)	重量(g)		点数	重量(g)		
Cb-3	(1)	3300	3600	6.9	3	0.1	10280±50	
	(2)	5800	6200	4.7	3	0.1		
	(3)	3700	3900	1.7	15	0.2		
	(4)	100	100	0.2	2	0.1		
	(5)	1700	1900	2.0	8	0.1		
	(6)	4200	4000	8.0	2	0.1		
	(7)	2000	2000	0.6	3	0.1		
	(8)	1500	1600	1.1	0	0.0		
	(9)	4700	4900	5.2	15	0.2	10380±50	
	計	27000	28200	30.4	51	1.0		
Cb-9	(1)	6000	5900	7.9	6	0.2	15670±240	
	(2)	3000	2900	2.5	3	0.1		
	(3)	2300	2200	2.6	4	0.1	16420±150	
		計	11300	11000	13.0	13	0.4	
Cb-14		1000	900	5.8	1	0.1	21980±210	24340±160
Cb-15		23400	25400	20.1	6	0.3	14030±110	13930±50
Cb-16	(1)	1600	1800	0.6	16	0.1	13530±50	
	(2)	1300	1400	0.5	16	0.1	13790±170	
		計	2900	3200	1.1	32	0.2	
Cb-17	(1)	6800	7200	6.1	87	0.3	18840±160	
	(2)	26700	28200	16.1	373	1.3		
	(3)	42100	44800	93.4	9329	40.2	18470±270	
		計	75600	80200	115.6	9789	41.8	
Cb-18	(1)	3600	3800	2.9	32	0.2		
	(2)	900	900	0.8	12	0.1		
	(3)	11000	11100	7.4	3	0.2	23620±310	22210±110
		計	15500	15800	11.1	47	0.5	
Cb-19		600	600	1.9	22	0.2	25870±290	28120±180
	周辺	-	-	0.9	0	0.0		
		計	600	600	2.8	22	0.2	
Cb-20		1000	1000	3.2	0	0.0	14140±110	13910±80
Cb-21	(1)	2000	2100	2.4	30	0.2		
	(2)	8600	8900	10.7	128	0.6	15850±170	15750±130
		計	10600	11000	13.1	158	0.8	
Cb-22	(1)	2500	2900	3.3	28	0.5	15790±110	15980±90
	(2)	1800	1750	3.9	38	2.3		
	周辺	350	500	18.9	12	0.1		
		計	4650	5150	26.1	78	2.9	
Cb-23	(1)	2600	2300	8.4	8	0.2		
	(2)	3000	2900	4.6	22	0.5		
	(3)	8200	7270	25.5	53	2.0	15890±90	15590±130
		計	13800	12470	38.5	83	2.7	
Cb-24	(1)	300	280	0.6	0	0.0	15950±110	
	(2)	400	470	0.8	0	0.0	15450±90	
		計	700	750	1.4	0	0.0	
Cb-25		11地点点計測		0.16	0	0.0	13630±40	13730±80
Cb-26		62地点点計測		1.39	7	0.1	13730±80	13730±90
Cb-27		4地点点計測		0.44	0	0.0	18660±130	18570±130
Cb-28		4地点点計測		0.33	1	0.1		
合計		188050	195670	284.5	10288	50.9		

表Ⅲ-6 炭化材樹種同定結果一覧

試料番号	炭化木片ブロック	樹種
1	Cb-1	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.?
2	Cb-1	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.
3	Cb-1	トウヒ属 <i>Picea</i> sp.?
4	Cb-2 (2)	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.?
5	Cb-2 (2)	試料微少のため同定不能
6	Cb-2 (2)	試料微少のため同定不能
7	Cb-2 (2)	試料微少のため同定不能
14	Cb-6	—
15	Cb-6	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.?
16	Cb-6	カラマツ属 <i>Larix</i> sp.?
17	Cb-6	試料微少のため同定不能
18	Cb-6	針葉樹
19	Cb-6	カラマツ属あるいはトウヒ属
20	Cb-6	針葉樹
22	Cb-13 (上層)	試料微少のため同定不能
23	Cb-13 (中層)	針葉樹
24	Cb-13 (下層)	針葉樹
25	Cb-13 (下層)	試料微少のため同定不能
26	Cb-13 (下層)	針葉樹
27	Cb-13 (下層)	針葉樹
28	Cb-13 (下層)	針葉樹
29	Cb-13 (下層)	針葉樹
30	Cb-13 (上下単一層)	試料微少のため同定不能
68	Cb-23 (1)	針葉樹
69	Cb-23 (2)	針葉樹
70	Cb-23 (3)	針葉樹
71	Cb-23 (3)	針葉樹
72	Cb-24 (1)	針葉樹
73	Cb-24 (1)	トウヒ属

群③がほぼ単独に分布し、周辺に分布が連続するにも関わらず排他的な分布状況を示す。忍路子型細石刃核は1点のみで、打面調整を伴う石刃剥離が集中的に行われる。

I区は、最大規模の石器ブロック Sb-93-95を含む遺跡内（調査した白滝遺跡群全体でも最大）で最大の石器ブロック群である。石器群①②④⑤が連続ないし重複して複雑に分布し、石器群①④は広域に、石器群⑤はややまとまって、石器群②はスポット的に分布している。特に石器群⑤は東地区のF区に分布する同石器群と接合関係が見られ、両者を関連付けている。

J区は、遺跡内で最大の Sb-97を含む石器ブロック群で、石器群①が主体的に分布し、I区と隣接する Sb-97には石器群④が重複する。Sb-98出土の二次加工ある剥片1点は、東地区のD区に分布する尖頭器を製作した接合資料に含まれ、両者の関連の可能性を示している。

K区は、G～J区と接合関係の無い、独立した小規模な石器ブロック群で、石器群①が単独で分布する。（鈴木宏行・直江康雄）

2 遺構と遺物

確認された遺構は炭化木片ブロックのみで、遺跡全体で28か所確認されている。今回は、西地区に分布する17か所を報告する。

確認された遺物は全て石器類で、分布状況・石器組成から48の石器ブロックを認定し、接合関係・石器組成を中心として9の石器ブロック群・区域に分けた。遺物の記述は「白滝I群」、「白滝II群」以外の順で行い、石器ブロック群・区域毎にSb-64~70、71、72~79、「白滝I群」ブロック外、G区(Sb-80~89)、H区(Sb-90)、I区(Sb-91~96)、J区(Sb-97~107)、K区(Sb-108~111)、「白滝II群」以外ブロック外、表土(重機調査)の順に行う。

(1) 炭化木片ブロック

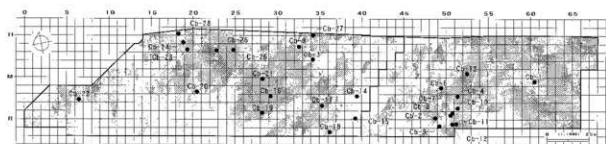
炭化木片ブロックは遺跡全体で28か所検出された(図Ⅲ-16)。そのうち今回報告対象であるCb-3・9・14~28は、すべて高位面の上白滝面上にある。なお、Cb-14・15については西地区に含まれるが、両地区の境付近に分布しているため東地区の報告にも掲載している。炭化木片ブロック内には焼土が伴わず、堆積している土層の中に炭化木片がまとまっている状態であった。ブロックの中心部の土層は、炭化木片と同様のやや暗褐色となっていることが特徴である。全体的な傾向として、標高440~445mの北東方向に傾斜する緩斜面にまばらに分布している。石器ブロックとの位置関係は遺物集中域に重なるように分布するもの(Cb-16~19・21・23・25~28)、遺物集中域の縁辺部に分布するもの(Cb-3・9・20・22・24)、遺物集中域から離れて分布するもの(Cb-14・15)に分けられ、遺物集中域に重なるものが多い。また、被熱石器の分布と合わせて検討すると、被熱石器の集中と炭化木片ブロックが重なり合う場所がある。Sb-66とCb-18、Sb-85とCb-17、Sb-93とCb-16である。

炭化木片ブロックの土壌はすべて採取し、体積と重量を計測後、フローテーション作業を行った。選別後の集計結果は表Ⅲ-5のとおりである。炭化木片のうち5mm以上の大きさがあるものはすべて樹種同定を行った。結果はすべてトウヒ属などの針葉樹であり、当時の植生は針葉樹の散生する森林ツンドラと推定された(表Ⅲ-6)。詳細については「白滝遺跡群Ⅲ」のV章3(三野 2002)及び本報告書のIV章2に掲載している。また、炭化木片ブロックごとにAMS法による放射性炭素年代の測定を行った。年代の測定結果は、大まかに10,000y.B.P代前半(Cb-3)、13,500~14,100y.B.P(Cb-15・16・20・25・26)、15,400~16,400y.B.P(Cb-9・21~24)、18,500~18,900y.B.P(Cb-17・27)、21,900~24,400y.B.P(Cb-14・18)、25,800~28,200y.B.P(Cb-19)に分けられ、14,000y.B.P前後と16,000y.B.P前後の測定値が多い。東地区の測定値と比較すると、西地区ではより新しい年代値がまとまって見られる。なお、Cb-28は炭化木片が微量で、周辺の炭化木片ブロックの年代値が均質であったため測定を行っていない。年代測定結果の詳細はIV章1に掲載している。

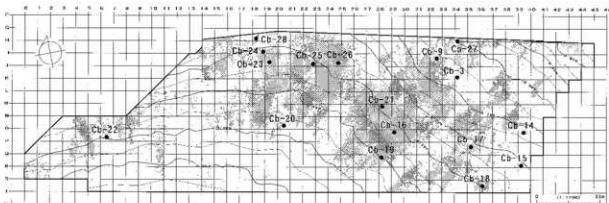
Cb-3 (図Ⅲ-17、表Ⅲ-5)

J・K33・34区、Sb-90・91の境にあたる遺物が希薄な地点から近接した八つの集中部と、やや東側に離れた一つの集中部を確認し、(1)~(9)を設定した。検出面は全てII A層中である。全体で28,200gの土壌を採取し、30.4gの炭化木片を回収した。

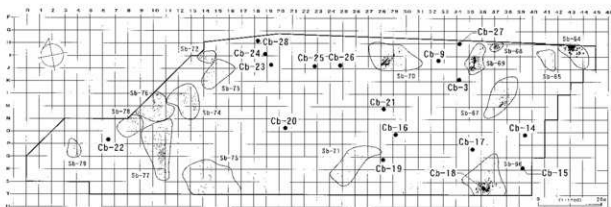
(1)は45×25cmの不整な楕円形の範囲で、厚さは4cmであった。採取した土壌は3,600gで、6.9gの炭化木片を回収した。(2)は40×(20)cmの楕円形の範囲で、厚さは6cmであった。南側に僅かに集中が広がっていたものと考えられる。採取した土壌は6,200gで4.7gの炭化木片を回収した。(3)



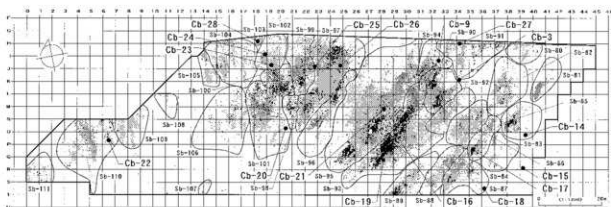
炭化木片ブロック位置図(全体)



炭化木片ブロック位置図(西地区)

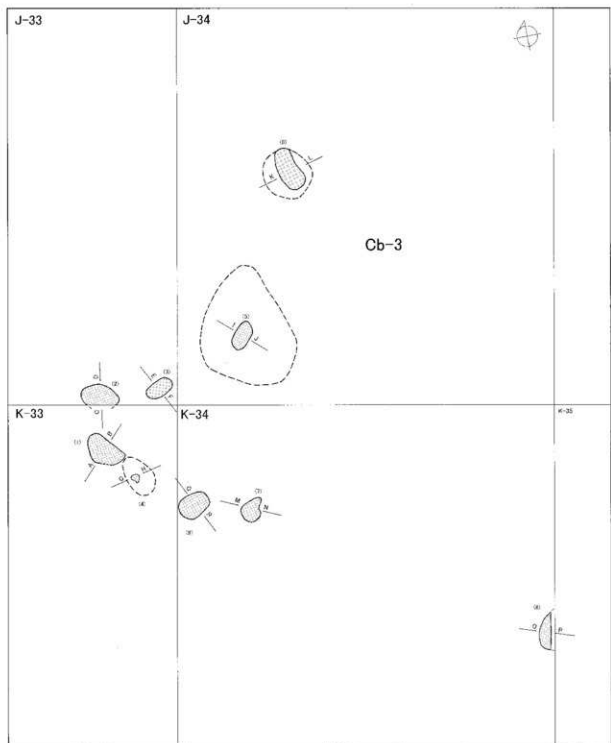


Sb-64~79(〔白滝Ⅰ群〕)の被熱石器と炭化木片ブロック

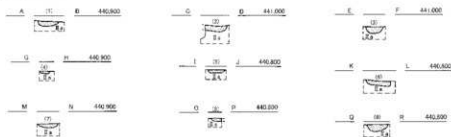


Sb-80~111(〔白滝Ⅰ群以外〕)の被熱石器と炭化木片ブロック

図Ⅲ-16 炭化木片ブロック分布図



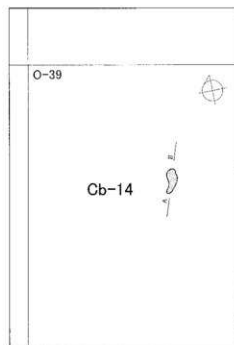
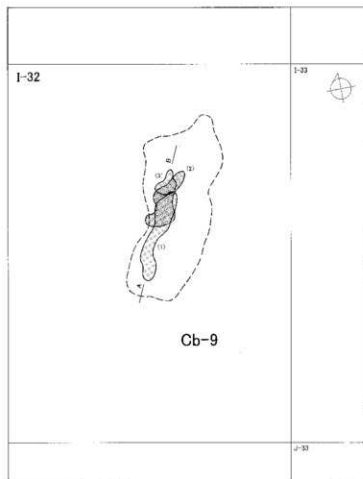
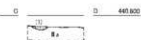
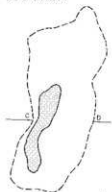
Cb-3 (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)



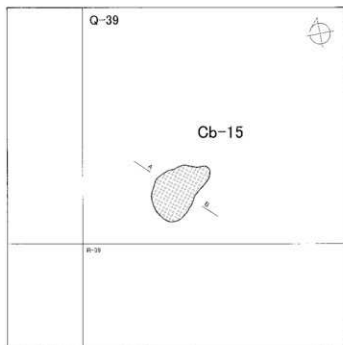
図Ⅲ-17 炭化木片ブロックの平面・断面図(1)



Cb-9 (1)(2)(3)



Cb-14



Cb-15



図Ⅲ-18 炭化木片ブロックの平面・断面図(2)

は30×15cmの楕円形の範囲で、厚さは7cmであった。採取した土壌は3,900gで、1.7gの炭化木片を回収した。(4)は10×8cmの不整な円形の範囲で、厚さは2cmであった。周辺には45×30cmの楕円形の範囲で炭化木片が散在していた(破線部)。採取した土壌は100gで、0.2gの炭化木片を回収した。(5)は30×15cmの範囲で、厚さは3cmであった。周辺には径100cm程の範囲で炭化木片の散在が見られた(破線部)。採取した土壌は1,900gで、2.0gの炭化木片を回収した。(6)は45×20cmの不整な楕円形の範囲で、厚さは5cmであった。南よりの周辺には径50cm程の範囲で炭化木片の散在が見られた(破線部)。採取した土壌は4,000gで、8.0gの炭化木片を回収した。(7)は27×20cmの洋ナシ形の範囲で、厚さは3cmであった。採取した土壌は2,000gで、0.6gの炭化木片を回収した。(8)は(40)×(12)cmの範囲で、厚さは3cmであった。東側にも集中が広がっていたものと考えられる。採取した土壌は1,600gで、1.1gの炭化木片を回収した。(9)は33×25cmの不整な楕円形の範囲で、厚さは7cmであった。採取した土壌は4,900gで、5.2gの炭化木片を回収した。

炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、(1)のサンプルに10,280±50y.B.P (Beta-101789・試料No,3)、(9)のサンプルに10,390±50y.B.P (Beta-186196・SHIRA-111)の測定結果が得られた。

Cb-9 (図Ⅲ-18、表Ⅲ-5)

I32区、Sb-94の遺物散在部から炭化物の集中部を確認し、(1)を設定した。(1)の下部にそれぞれが分断される形で二つの集中区があり、(2)・(3)を設定した。検出面は(1)・(2)がⅡa層中、(3)がⅡc層の直上である。全体で11,000gの土壌を採取し、13.0gの炭化木片を回収した。

(1)は100×20cmの細長い範囲で、厚さは4cmであった。周辺には200×80cm程の範囲で炭化木片の散在が見られた(破線部)。採取した土壌は5,900gで、7.9gの炭化木片を回収した。(2)は70×20cmのうねりのある細長い範囲で、厚さは5cmであった。採取した土壌は2,900gで、2.5gの炭化木片を回収した。(3)は28×15cmの不整な楕円形の範囲で、厚さは4cmであった。採取した土壌は2,200gで、2.6gの炭化木片を回収した。

炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、(1)のサンプルに15,670±240y.B.P (Beta-112897・SHIRA-25)、(3)のサンプルに16,420±150y.B.P (Beta-112898・SHIRA-26)の測定結果が得られた。

Cb-14 (図Ⅲ-18、表Ⅲ-5)

O39区、Sb-83の東側縁辺部の遺物が希薄になる地点から、25×13cmの不整な楕円形の範囲で確認された。厚さは4cm、検出面はⅢ層上面である。採取した土壌は900gで5.8gの炭化木片を回収した。炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い21,980±210y.B.P (Beta-112903・SHIRA-31)、24,340±160y.B.P (Beta-174487・SHIRA-93)の測定結果が得られた。

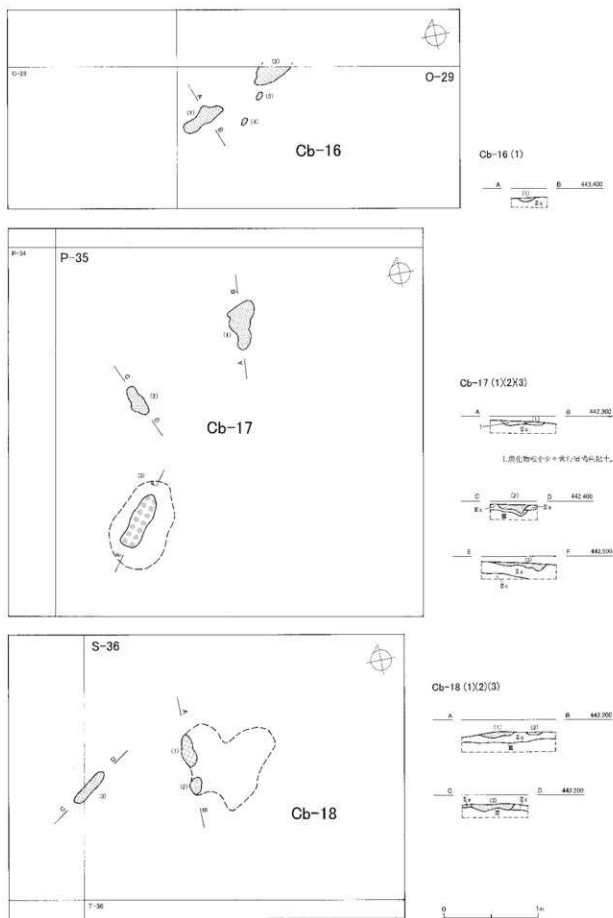
Cb-15 (図Ⅲ-18、表Ⅲ-5)

Q39区、Sb-66の10m東側、Sb-84の11m南東側の無遺物地帯から、73×50cmの不整な楕円形の範囲で確認された。厚さは8cm、検出面はⅢ層上面である。採取した土壌は25,400gで20.1gの炭化木片を回収した。炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い14,030±110y.B.P (Beta-112904・SHIRA-32)、13,930±50y.B.P (Beta-174488・SHIRA-94)の測定結果が得られた。

Cb-16 (図Ⅲ-19、表Ⅲ-5)

O29区、Sb-93の遺物集中域から大小四つの炭化物集中を確認し、(1)~(4)を設定した。検出面は全てⅡc層直上である。全体で3,200gの土壌を採取し、1.1gの炭化木片を回収した。

(1)は45×17cmの不整な楕円形の範囲で、厚さは4cmであった。採取した土壌は1,800gで、0.6g



図Ⅲ-19 炭化木片ブロックの平面・断面図(3)

の炭化木片を回収した。(2)は(40)×(20)cm範囲で、厚さはほとんどなく、断面図を作成していない。北側にも集中が広がっていたものと考えられる。採取した土壌は1,400gで、0.5gの炭化木片を回収した。(3)・(4)はそれぞれ10cm程の楕円形の範囲で確認された。厚さはほとんどなく、断面図の作成及び、土壌の採取を行っていない。

炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、(1)のサンプルに13,530±50y.B.P (Beta-186197・SHIRA-112)、(2)のサンプルに13,790±170y.B.P (Beta-112905・SHIRA-33)の測定結果が得られた。

Cb-17 (図Ⅲ-19、表Ⅲ-5)

P35区、Sb-85の遺物集中域から三つの炭化物集中を確認し、(1)～(3)を設定した。検出面は(1)・(2)がⅡc層直上、(3)がⅡa層中である。全体で80,200gの土壌を採取し、115.6gの炭化木片を回収した。

(1)は52×30cmの不整な楕円形の範囲で、厚さは3cmであった。集中の南部は炭化物が希薄で土層が黒味を帯びていた。採取した土壌は7,200gで、6.1gの炭化木片を回収した。(2)は35×15cmの楕円形の範囲で、厚さは9cmであった。採取した土壌は28,200gで、16.1gの炭化木片を回収した。(3)は60×21cmの長楕円形の範囲で、厚さは7cmであった。周辺には95×65cm程の範囲で炭化木片の散在が見られた。採取した土壌は44,800gで、93.4gの炭化木片を回収した。

炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、(1)のサンプルに18,840±160y.B.P (Beta-112906・SHIRA-34)、(3)のサンプルに18,470±270y.B.P (Beta-101793・試料No.7)の測定結果が得られた。

Cb-18 (図Ⅲ-19、表Ⅲ-5)

S35・36区、Sb-66の遺物集中域、Sb-87の遺物の希薄な東側縁辺部に三つの集中域を確認し、(1)～(3)を設定した。検出面は(1)・(2)がⅡc層の直上、(3)がⅢ層の直上である。全体で15,800gの土壌を採取し、11.1gの炭化木片を回収した。

(1)は33×15cmの楕円形の範囲で、厚さは5cmである。採取した土壌は3,800gで、2.9gの炭化木片を回収した。(2)は17×11cmの不整な楕円形の範囲で、厚さは3cmである。(1)・(2)の東よりの周辺には径100cm程の範囲で炭化木片の散在が見られた(破線部)。採取した土壌は900gで、0.8gの炭化木片を回収した。(3)は42×11cmの長楕円形の範囲で、厚さは7cmである。採取した土壌は11,100gで7.4gの炭化木片を回収した。

炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、(3)のサンプルに23,620±310y.B.P (Beta-112907・SHIRA-35)、22,210±110y.B.P (Beta-186198・SHIRA-113)の測定結果が得られた。

Cb-19 (図Ⅲ-20、表Ⅲ-5)

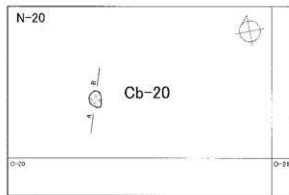
Q28区、Sb-93の集中域の南西部から28×7cmの細長い範囲、厚さ2cmで確認された。検出面はⅡc層直上である。採取した土壌は600gで1.9gの炭化木片を回収した。また、周辺にも炭化木片が散在しており、0.9gの炭化木片を取り上げた。炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、25,870±290y.B.P (Beta-112908・SHIRA-36)、28,120±180y.B.P (Beta-186199・SHIRA-114)の測定結果が得られた。

Cb-20 (図Ⅲ-20、表Ⅲ-5)

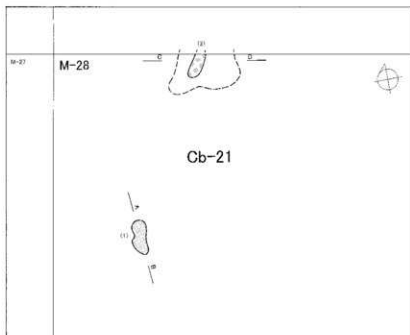
N20区、Sb-101の遺物の希薄な東側縁辺部から18×12cmの不整な円形の範囲、厚さ4cmで確認された。検出面はⅡa層中である。採取した土壌は1,000gで3.2gの炭化木片を回収した。炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、14,140±110y.B.P (Beta-112909・SHIRA-37)、



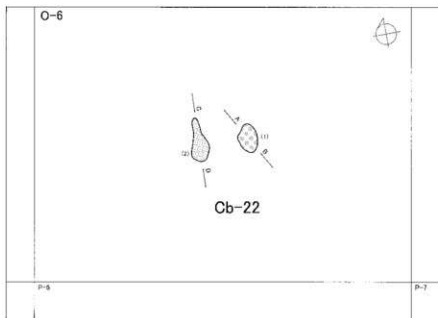
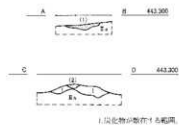
Cb-19 444.100



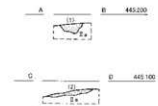
Cb-20 449.000



Cb-21 (1)(2)



Cb-22 (1)(2)



図Ⅲ-20 炭化木片ブロックの平面・断面図(4)

13,910±80y.B.P (Beta-186200・SHIRA-115) の測定結果が得られた。

Cb-21 (図Ⅲ-20、表Ⅲ-5)

M28区、Sb-95の遺物集中域の中央から二つの集中部を確認し、(1)・(2)を設定した。検出面はⅡ a層中である。全体で11,000gの土壌を採取し、13.1gの炭化木片を回収した。

(1)は37×17cmの不整な楕円形の範囲で、厚さは6cmであった。採取した土壌は2,100gで2.4gの炭化木片を回収した。(2)は(25)×10cmの範囲で、厚さは4cmであった。周辺には38×70cm程の範囲で炭化木片の散見が見られた(破線部)。北側にも集中が広がっていたものと考えられる。採取した土壌は8,900gで、10.7gの炭化木片を回収した。

炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、(2)のサンプルに15,850±170y.B.P (Beta-101794・試料No.8)、15,750±130y.B.P (Beta-112910・SHIRA-38) の測定結果が得られた。

Cb-22 (図Ⅲ-20、表Ⅲ-5)

O6区、Sb-110の東側の集中域の遺物が散漫な地点から二つの集中部を確認し、(1)・(2)を設定した。検出面はⅡ a層中である。全体で5,150gの土壌を採取し、26.1gの炭化木片を回収した。

(1)は30×18cmの楕円形の範囲で、厚さは10cmである。採取した土壌は2,900gで、3.3gの炭化木片を回収した。(2)は46×18cmの一端が細くなる楕円形の範囲で、厚さは5cmである。採取した土壌は1,750gで、3.9gの炭化木片を回収した。また、Cb-22の周囲には炭化木片が広範囲に散見しており、500gの土壌を採取し、18.9gの炭化木片を回収した。

炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、(1)のサンプルに15,790±110y.B.P (Beta-126163・SHIRA-52)、15,980±90y.B.P (Beta-186201・SHIRA-116) の測定結果が得られた。

Cb-23 (図Ⅲ-21、表Ⅲ-5)

I19区、Sb-102の遺物集中域から二つの炭化物の集中部を確認し、(1)・(2)を設定した。その下部に(1)・(2)と分断される形で大きな集中区があり、(3)を設定した。検出面は(1)・(2)がⅡ a層中、(3)がⅡ a層下部である。全体で12,470gの土壌を採取し、38.5gの炭化木片を回収した。

(1)は26×10cmの不整な楕円形の範囲で、厚さは4cmであった。北側の周辺部には75×30cm程の範囲で炭化木片の散見が見られた(破線部)。採取した土壌は2,300gで、8.4gの炭化木片を回収した。(2)は32×12cmの端部が鉤状の範囲で、厚さは7cmであった。東側の周辺部には55×20cm程の範囲で炭化木片の散見が見られた(破線部)。採取した土壌は2,900gで、4.6gの炭化木片を回収した。(3)は132×65cmの不整な細長い範囲で、厚さは6cmであった。周辺には235×200cm程の広い範囲で炭化木片の散見が見られた(破線部)。採取した土壌は7,270gで、25.5gの炭化木片を回収した。

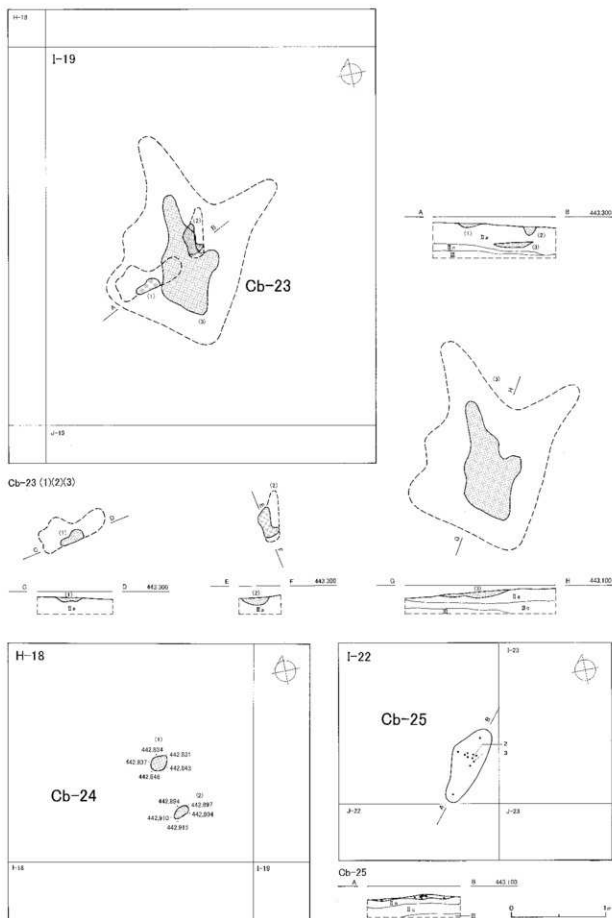
炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、(3)のサンプルに15,890±90y.B.P (Beta-150448・SHIRA-81)、15,590±130y.B.P (Beta-150449・SHIRA-82) の測定結果が得られた。

Cb-24 (図Ⅲ-21、表Ⅲ-5)

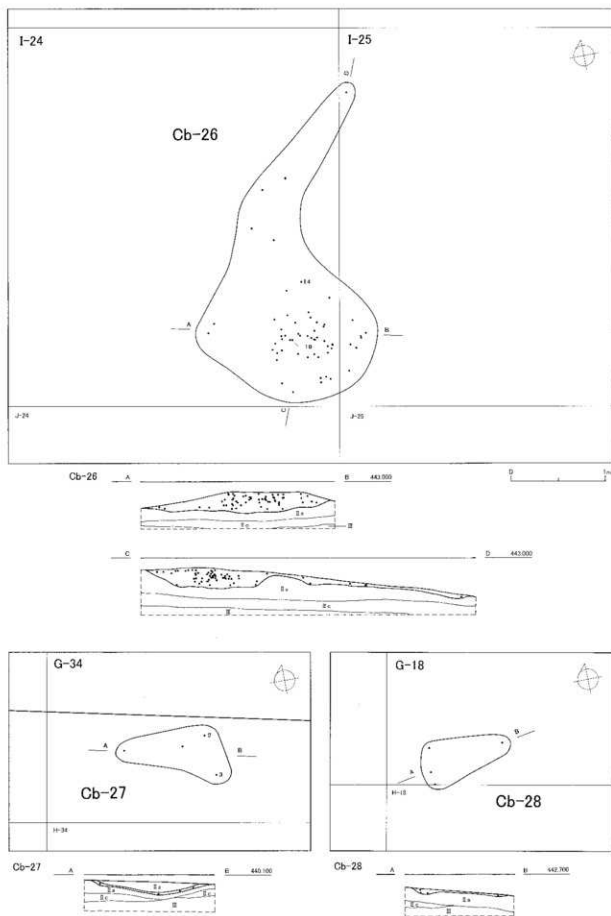
H18区、Sb-102の集中域の北側の遺物が散漫な地点から二つの集中部を確認し、(1)・(2)を設定した。いずれも厚さはほとんどなく、断面図を作成していない。検出面はⅡ a層中である。全体で750gの土壌を採取し、1.4gの炭化木片を回収した。

(1)は20×16cmの不整な円形の範囲である。採取された土壌は280gで、0.6gの炭化木片を回収した。(2)は16×9cmの楕円形の範囲である。採取された土壌は470gで、0.8gの炭化木片を回収した。

炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、(1)のサンプルに15,950±110y.B.P (Beta-150451・SHIRA-84)、(2)のサンプルに15,450±90y.B.P (Beta-150450・SHIRA-83) の測定結



図Ⅲ-21 炭化木片ブロックの平面・断面図(5)



図Ⅲ-22 炭化木片ブロックの平面・断面図(6)

果が得られた。

Cb-25 (図Ⅲ-21、表Ⅲ-5)

I 22区、Sb-99と97の境の遺物集中域から85×35cmの楕円形の範囲に炭化木片が散在しているのを確認し、11点の地点計測を行い、取り上げた。検出面はⅡa層中である。炭化木片の合計は0.16gである。炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、I 22-2に13,630±40y.B.P (Beta-150452・SHIRA-85)、I 22-3に13,730±80y.B.P (Beta-150453・SHIRA-86)の測定結果が得られた。

Cb-26 (図Ⅲ-22、表Ⅲ-5)

I 24・25区、Sb-97の遺物集中域から100cm程の範囲に炭化木片がまとまり、そこから北側に散在しているのを確認し、62点の地点計測を行い、取り上げた。炭化木片には15cm程の高低差が見られる。検出面はⅡa層中である。炭化木片の合計は1.39gである。炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、I 24-10に13,730±90y.B.P (Beta-150455・SHIRA-88)、I 24-14に13,730±80y.B.P (Beta-150454・SHIRA-87)の測定結果が得られた。

Cb-27 (図Ⅲ-22、表Ⅲ-5)

G34区、Sb-91の遺物散在部から120×50cmの不整な楕円形の範囲に炭化木片が散在しているのを確認し、4点の地点計測を行い、取り上げた。検出面はⅡa層中で、炭化木片は僅かに高低差を持って出土した。炭化木片の合計は0.44gである。炭化木片のうち2点について放射性炭素年代測定を行い、G34-2に18,660±130y.B.P (Beta-150456・SHIRA-89)、G34-3に18,570±130y.B.P (Beta-150457・SHIRA-90)の測定結果が得られた。

Cb-28 (図Ⅲ-22、表Ⅲ-5)

G18区、Sb-103の遺物集中域から100×50cmの不整な楕円形の範囲に炭化木片が散在しているのを確認し4点の地点計測を行い、取り上げた。厚さはほとんどなく、検出面はⅡa層中である。炭化木片の合計は0.33gである。
(直江康雄)

(2) 遺物分布と石器ブロック・石器ブロック群・区域

西地区の出土地点を計測して取り上げた遺物(以下点取り遺物)は126,475点である。遺跡は大きく、高位部・斜面部・低位部に分けられ(図Ⅲ-14・15)、高位部は、40ラインより西側が南側から連続する緩やかな馬の背状で、40~50ラインにかけては沢状の地形、50ラインより東は舌状の平坦面が北東方向に張り出す地形である。さらに、その東側は急な斜面部を挟んで低位部へと連続している。今回報告する西地区は、西側が比高差30mの深い沢、東側が40~50ラインの沢状の地形で区切られた緩やかな馬の背状の地形である。遺物集中域の形状は周水河性のソリフラクションなどの影響により、遺物の傾斜方向の移動が認められるが、本来の分布を大きく変えるものではないと考えられる。

整理事業では技術的特徴をもとに「白滝I群」を分離し、「白滝I群」とそれ以外に分けて接合作業以降の整理を行った。これらは、分布上重複する地点(Sb-67・82、69・91、78・109、79・110、など)があるが、奥白滝I遺跡で確認されたレベル差(直江ほか 2002の図Ⅲ-17)は確認できなかった(図Ⅲ-27)。

「白滝I群」については従来通りに遺物分布・密度分布・接合関係からブロックを16(Sb-64~79)に分け、それらを三つの石器ブロック群に分類した(図Ⅲ-23・24)。

「白滝I群」以外については、白滝遺跡群の既報告の遺跡と比較して高密度の分布域が広範囲に連続し(図Ⅲ-24)、また、その連続した分布に複数の石器群が重複する複雑な様相を示している。そ

のため、東地区同様、ブロック設定はそれらの連続した分布をいくつかの単位に分けて記述・把握するための手段として便宜的に行った。まず、等量線図(図III-24)の20点のラインで括り、それらが広範囲に及ぶ場合はそのラインのくびれた部分で分割した。また、50点以下の独立した山に関しては近隣の50点以上の山に統合した。Sb-80・81・83・84・86~88・98~105・109・111はこのような基準で分離し、それ以外については、以下に具体的な分割基準を述べる。

東地区に比べ集中域が明確なG・K区では、Sb-82・85・89・110の認定の際に、隣接し連続する2か所の50点以上の山を括った。Sb-90・92は完全に分布が連続しているが、畧路字型細石刃核を含む石器群と小型舟底形石器(舟底形石器I類)を含む石器群が接合資料や単体石器の分布上、分けられるため分割した。Sb-91・106・107に関しては全て50点以下の山であるが、分布上分離できるようにブロックとして認定した。Sb-93・95は連続し、境界付近では接合関係も見られるが、これらを統合すると大規模になりすぎ、把握が困難になるため、50点のラインのくびれた部分で分割した。Sb-96・97は分布が連続しているが、接合資料の分布からそれらを分割し、さらにSb-96はSb-95との接合関係が認められることから区域もSb-97と分離し、I区に含めた。非常に大規模なSb-93・95・97についてはそれぞれの南西端に連続する50点以上の山を統合した。

以上の結果、32のブロック(Sb-80~111)(図III-26)を設定した。接合関係(図III-25・26)を見るとほとんどは近接した範囲で接合するが、広範囲にわたる遠距離間での接合も見られ、特に、Sb-97~102は東西方向のブロック間接合が多く認められる。従来通り、接合関係で石器群の認定を行うと、Sb-80~106は一つの石器ブロック群として認定可能であるが、実際には特徴的な石器や接合関係の強弱を基準にするとまとまりが認められ、それらを基準に各ブロックを5つ(G~K)の「区域」(図III-26)に分類した。「区域」で括られた遺物の集合体は、同一の石器製作技術を持ち、同一時期の所産と考えられるまとまりである「石器ブロック群」とは異なり、純粋な石器群を反映したものではないが、複数石器群の重複の中にばやけた実体として把握される。

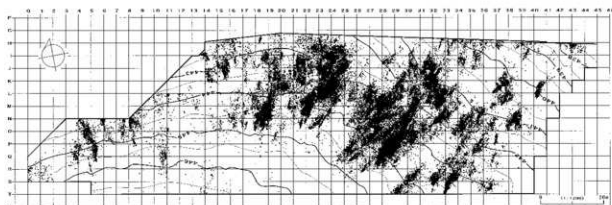
以上のように西地区を48の石器ブロック(Sb-64~111)に分け、それらをSb-64~70、71、72~79、G区(Sb-80~89)、H区(Sb-90)、I区(Sb-91~96)、J区(Sb-97~107)、K区(Sb-108~111)の8の石器ブロック群・区域に分離した。

遺跡全体では斜面部を除く高位部・低位部は111の石器ブロック(Sb-1~111)に分けられ(図III-26・27)、「白滝I群」はSb-1~3、4~6、7・8、9、10、11~13、64~70、71、72~79の9の石器ブロック群に、「白滝I群」以外はA区(Sb-14~19)、B区(Sb-20~29)、C区(Sb-30~35)、D区(Sb-36~55)、E区(Sb-56~60)、F区(Sb-61)、G区(Sb-80~89)、H区(Sb-90)、I区(Sb-91~96)、J区(Sb-97~107)、K区(Sb-108~111)の11の区域に分離した。

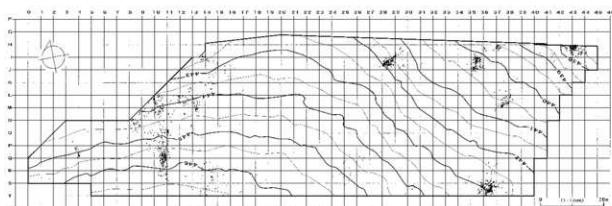
以下に、石器ブロック群・区域とブロックの関係について述べる。

Sb-64~70は「白滝I群」である。剥片の裏面縁辺に軽微な加工を施した裏面微細加工石器を主体とし、うろこ状剥片の腹面の打腐部に平坦剥離を施した基部平坦加工石器、搔器、錐形石器が伴出している。石核は作業面をほぼ固定し、平坦面で剥離を行うもの、小口面で剥離を行うもの、交互剥離を基本に打面転移を頻繁に行うものなどが見られる。原石の形状は転礫がほとんどを占めるが、角礫を素材とした石核が1点確認された。無遺物地帯を挟んで広い範囲に分布しているが、Sb-68を除いてそれぞれにブロック間での接合関係が確認された。

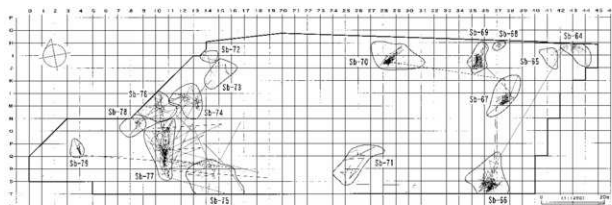
Sb-71は「白滝I群」である。二次加工ある剥片、搔器が伴出している。石核は打面転移を頻繁に行うものが見られる。原石の形状は転礫のみである。他のブロックとの母岩の共有関係・接合関係がないことから独立した石器ブロック群とした。



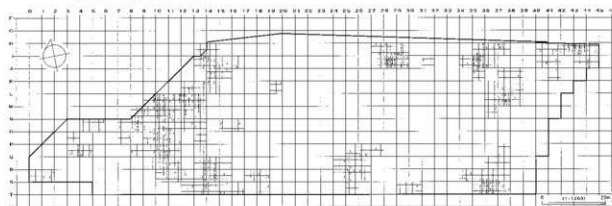
西地区全遺物分布図



Sb-64~79(「白滝Ⅰ群」)遺物分布図

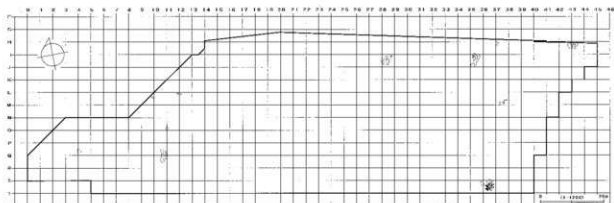


Sb-64~79(「白滝Ⅰ群」)全接合分布図

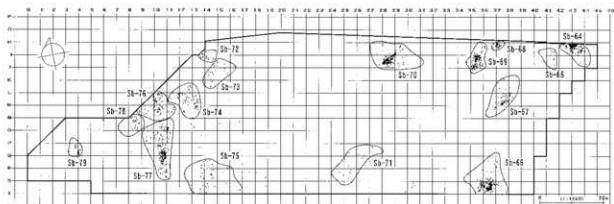


Sb-64~79(「白滝Ⅰ群」)遺物点数図(点・㎡)

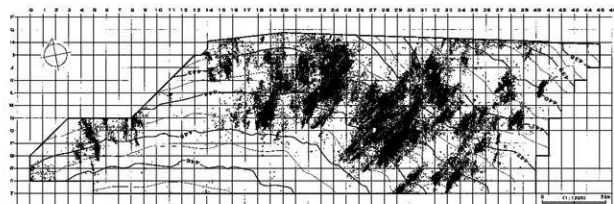
図Ⅲ-23 遺物分布(1)・接合分布(1)・遺物点数図(1)



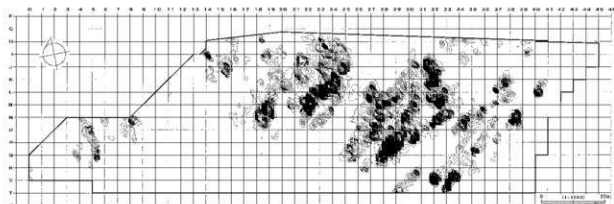
Sb-64~79(「白滝Ⅰ群」)遺物密度分布図(10点単位)



Sb-64~79(「白滝Ⅰ群」)石器ブロック設定図

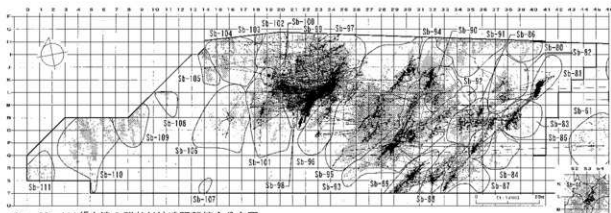


Sb-80~111(「白滝Ⅰ群」以外)遺物分布図

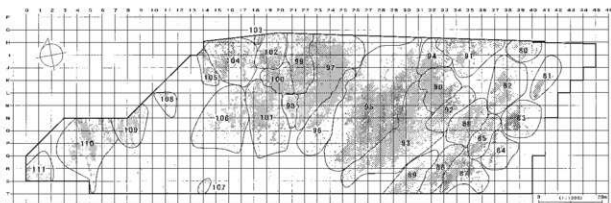


Sb-80~111(「白滝Ⅰ群」以外)遺物密度分布図(10点単位)

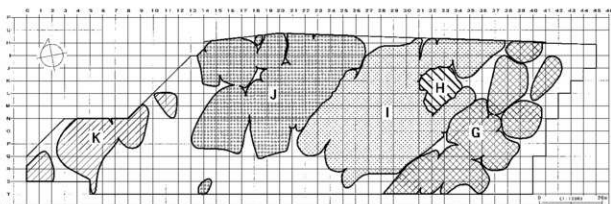
図Ⅲ-24 密度分布・石器ブロック設定(1)・遺物分布図(2)



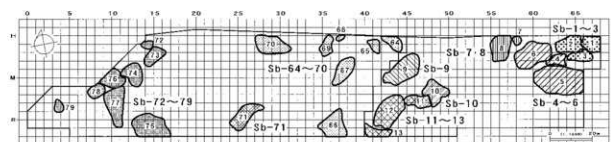
Sb-80~111(「白滝Ⅰ群」以外)遠距離接合分布図



Sb-80~111(「白滝Ⅰ群」以外)石器ブロック設定図

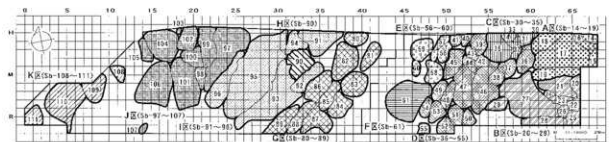


Sb-80~111(「白滝Ⅰ群」以外)区域設定図

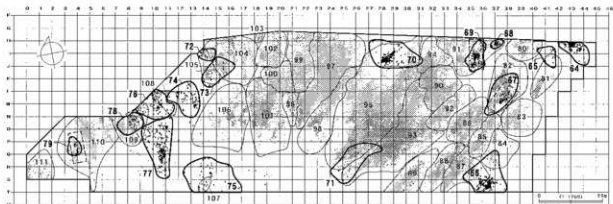


「白滝Ⅰ群」全石器ブロック設定図

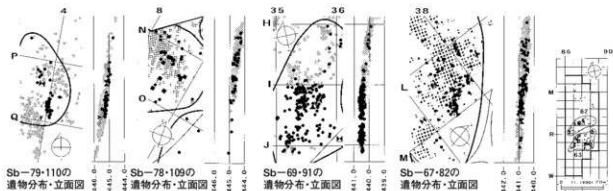
図Ⅲ-26 接合分布(3)・石器ブロック設定(2)・区域設定・全石器ブロック設定図(1)



「白滝I群」以外全石器ブロック・区域設定図



西地区石器ブロック設定図 幸太神・ドットはSb-64~79(「白滝I群」)



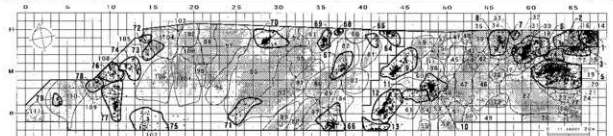
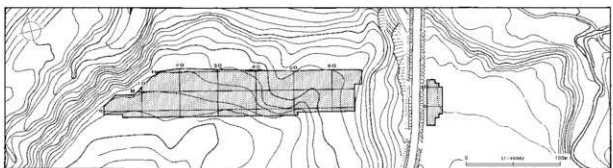
Sb-79-110の遺物分布・立面図

Sb-78-109の遺物分布・立面図

Sb-69-91の遺物分布・立面図

Sb-67-82の遺物分布・立面図

Sb-64-79の遺物分布・立面図



全石器ブロック設定図

図Ⅲ-27 全石器ブロック設定(2)・石器ブロック設定図(3)

Sb-72~79は「白滝I群」である。加工がほぼ全周する搔器を主体とし、台形石器、錐形石器、削器、二次加工ある剥片、斧形石器、台石、棒状原石が出土している。石核は作業面をほぼ固定し、平坦面で剥離を行うもの、小口面で剥離を行うもの、交互剥離を基本に打面転移を頻繁に行うものなどが見られる。原石の形状は転礫が主体で、角礫素材も僅かに見られる。後者に関連するものとして棒状原石が挙げられる。Sb-79を除き、それぞれのブロックは近接して分布し、Sb-77を中心としたブロック間の接合関係が確認された。

G区(Sb-80~89)は、小型舟底形石器(舟底形石器I類)を含む石器群が主体的に分布し、隣接するブロック同士の接合関係から区域を設定した。小型舟底形石器を含む石器群の一部は、I区と接合関係が認められる。また、大型石刃・大型舟底形石器(舟底形石器II b・c類)を含む石器群、忍路子型細石刃核を含む石器群がスポット的に分布し、後者はH区と接合関係が認められる。

H区(Sb-90)は、忍路子型細石刃核を含む石器群が分布し、周辺の石器群と区別されるため単独で区域として設定した。主に打面調整を伴う大型石刃剥離関連資料が認められ、その一部はG区と接合関係を持つ。

I区(Sb-91~96)は、西地区で最も複雑な様相を示す区域で、石器群が比較的確かな、東をG区、西をJ区で区切られた残りといっても過言ではない。小型舟底形石器(舟底形石器I類)を含む石器群、大型石刃・大型舟底形石器(舟底形石器II b・c類)を含む石器群、幅広有舌尖頭器(尖頭器III類)を含む石器群、広郷型ナイフ形石器を含む石器群が部分的に重複して分布している。周辺区域との接合関係も認められ、特に広郷型ナイフ形石器石器群は東地区のSb-61と接合関係がある。

J区(Sb-97~107)は、小型舟底形石器(舟底形石器I類)を含む石器群が主体的に分布し、隣接するブロック同士の接合関係から区域を設定した。東西方向のブロック間接合が多く認められ、舟底形石器I類の大きさは他の地区に比べやや大きい特徴がある。また、Sb-97には幅広有舌尖頭器(尖頭器III類)を含む石器群が重複して分布する。

K区(Sb-108~111)は、小型舟底形石器(舟底形石器I類)を含む石器群のみが分布する。ブロック間の接合関係は見られないが、単一の石器群であること、それぞれが隣接すること、J区との間に隔絶があることから区域として認定した。

次に石材別・器種別分布状況を概観する。石器ブロックが一部重なるため、「白滝I群」としたSb-64~79とそれ以外のSb-80~111に分けて行う。なお、出土点数について特に記述がない場合は、点取り遺物の点数で、一括遺物も含む場合は明記する。(鈴木宏行・直江康雄)

Sb-64~79「白滝I群」の石器

黒曜石製の石器(図III-28・29、表III-3・7・8)

黒曜石の比率が高く、1,939点中1,915点で全体の98.8%を占める。石質毎にみると黒曜石1(黒色)が最も多く、1,421点(73.3%)出土し、以下黒曜石5(黒>紫・茶)の293点(15.1%)、黒曜石4(黒<茶)の148点(7.6%)、黒曜石3(黒>茶)の27点(1.4%)、黒曜石2(梨肌)の26点(1.3%)の順となっている。石質毎に石器ブロックを観察すると、最も多い黒曜石1は全体的に分布するが、Sb-71ではやや少なめである。黒曜石2はSb-71でまとまって見られ、その他の石器ブロックではほとんど出土していない。黒曜石3はSb-64・68・69・74・75・77・78から僅かに出土している。黒曜石4はSb-66・70からまとまって出土している。黒曜石5はSb-74・76・77に多く見られ、ブロック全体に広がって出土している。特に石器ブロック群Sb-72~79で多く見られ、石器ブロック群Sb-64~70の分布と対照的である。

黒曜石以外の石器（図Ⅲ-29、表Ⅲ-3・7・8）

1,939点のうち24点（1.2%）が黒曜石以外の石材で、その内訳は珪岩13点、安山岩5点、めのう4点、頁岩1点、泥岩1点である。石質ごとに石器ブロックを観察すると、珪岩はSb-77を中心として、Sb-73・76に見られる。めのうはSb-74・77・76で見られ、珪岩と同様石器ブロック群Sb-72～79のみに分布する。安山岩はSb-66・70・76・77の広い範囲で見られる。頁岩はSb-66、泥岩はSb-77から出土している。石器ブロック群Sb-72～79では石材の種類が豊富で、他の遺跡を含めた「白滝Ⅰ群」の石器ブロック群の中ではバラエティーに富んでいる。

基部平坦加工石器（図Ⅲ-30、表Ⅲ-7・8）

2点出土し、Sb-64・67に分布している。素材裏面部の打痕を除去するような平坦剥離を行う特徴的な石器である。少数であるが、石器ブロック群Sb-64～70を特徴付ける石器である。

裏面微細加工石器（図Ⅲ-30、表Ⅲ-7・8）

23点出土し、Sb-64（2点）・66（6点）・67（7点）・68（4点）・69（1点）・70（3点）に分布している。素材裏面部の縁辺部に長さ2mm前後の微細な加工が連続して見られる石器である。Sb-66・67でややまとまって見られる。石器ブロック群Sb-64～70を特徴付ける石器である。

台形石器（図Ⅲ-30、表Ⅲ-7・8）

1点出土し、Sb-77に分布している。急角度の二次加工が両側縁に連続して施される石器である。

二次加工ある剥片（図Ⅲ-30、表Ⅲ-7・8）

22点出土し、Sb-65・68・72・73・75以外の全ての石器ブロックに分布している。各石器ブロックとも少量で、5点以上出土する所はなく、Sb-70・71・76の4点が最も多い。

掻器（図Ⅲ-31、表Ⅲ-7・8）

79点出土し、石器ブロック群Sb-64～70ではSb-66・70のみ、石器ブロック群Sb-72～79ではSb-79を除いて分布している。特にSb-77で最も多く35点出土し、Sb-74（12点）、Sb-78（10点）、Sb-73（7点）、Sb-72・75・76（2点）の順に見られ、石器ブロック群Sb-72～79を特徴付ける石器である。また、Sb-70の6点中5点は折れ面接合するものである。

錐形石器（図Ⅲ-31、表Ⅲ-7・8）

5点出土し、Sb-64（2点）・74（1点）・77（1点）・79（1点）に分布している。全体的にまばらな分布である。

削器（図Ⅲ-31、表Ⅲ-7・8）

4点出土し、Sb-66（1点）・70（1点）、76（1点）・77（1点）に分布している。全体的にまばらな分布である。

台石（図Ⅲ-31、表Ⅲ-7・8）

1点出土し、Sb-77に分布している。安山岩製で、器体の大半が欠損している。

斧形石器（図Ⅲ-31、表Ⅲ-7・8）

1点出土し、Sb-77に分布している。泥岩製で、加工の度合いは低い。

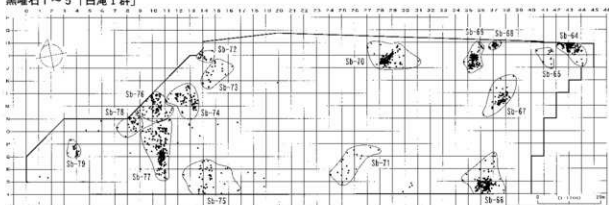
石核（図Ⅲ-31、表Ⅲ-7・8）

90点出土し、Sb-68・75・78を除く全ての石器ブロックに分布している。特にSb-66（19点）・70（17点）・77（16点）で多く出土し、その他は10点未満である。加工の施されたツール類の合計より出土数が多い。これは他の「白滝Ⅰ群」と同様の特徴である。

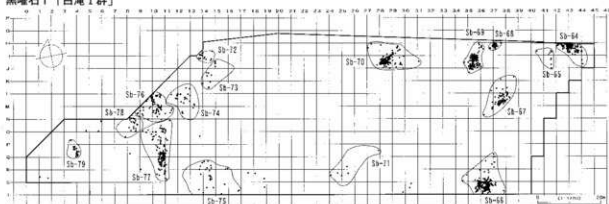
原石（図Ⅲ-32、表Ⅲ-7・8）

14点出土し、全てSb-77に分布している。角礫で棒状のⅡ類が圧倒的に多い。

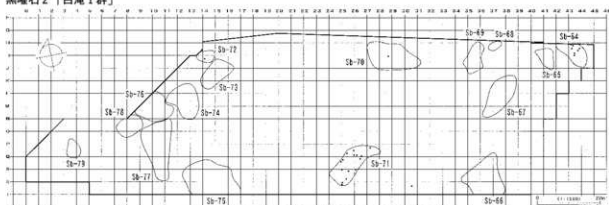
黒曜石1～5「白滝1群」



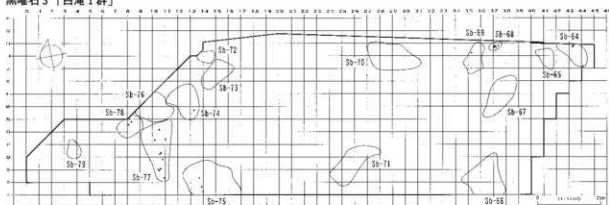
黒曜石1「白滝1群」



黒曜石2「白滝1群」

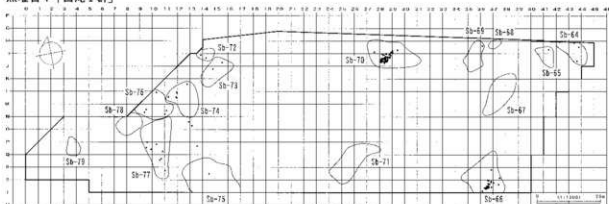


黒曜石3「白滝1群」

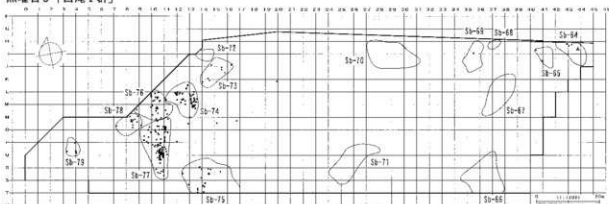


図III-28 器種・石材別分布図(1)

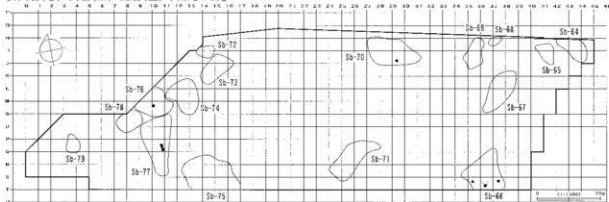
黒曜石 4 「白滝I群」



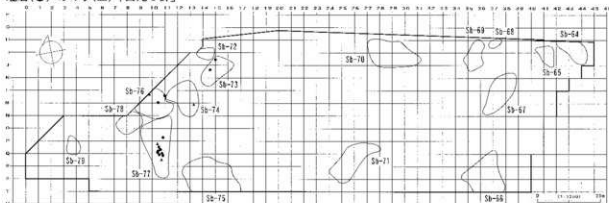
黒曜石 5 「白滝I群」



安山岩(●)・頁岩(▲)・泥岩(■) 「白滝I群」

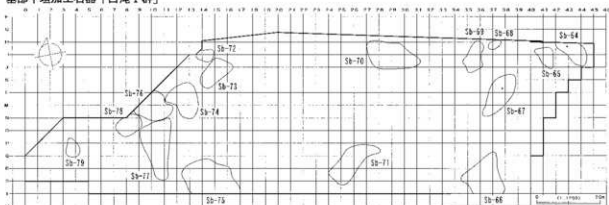


珪岩(●)・めのう(▲) 「白滝I群」

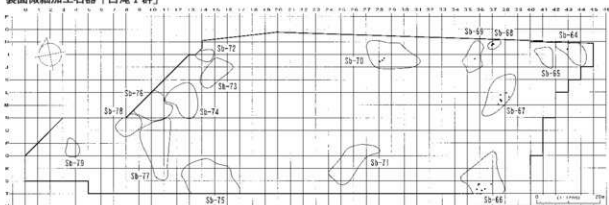


図Ⅲ-29 器種・石材別分布図(2)

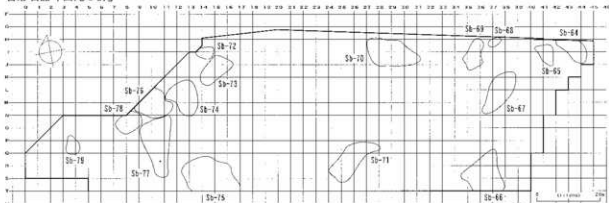
基部平垣加工石器「白滝Ⅰ群」



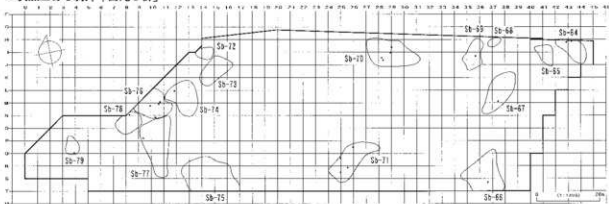
表面微細加工石器「白滝Ⅰ群」



台形石器「白滝Ⅰ群」

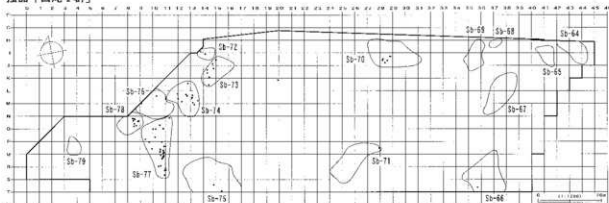


二次加工ある剥片「白滝Ⅰ群」

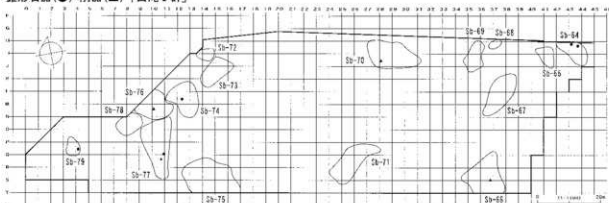


図Ⅲ-30 器種・石材別分布図(3)

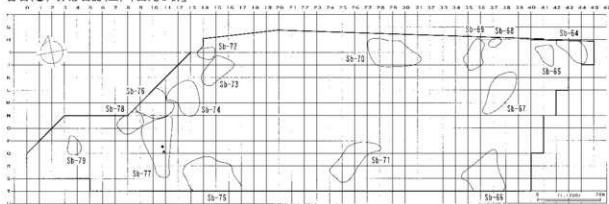
掘器「白滝Ⅰ群」



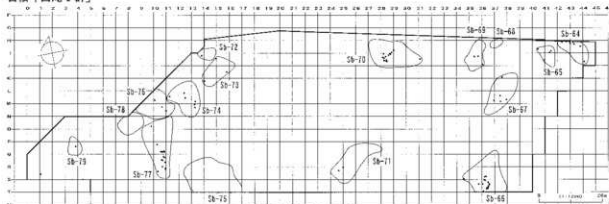
錐形石器(●)・削器(▲)「白滝Ⅰ群」



台石(●)・斧形石器(▲)「白滝Ⅰ群」

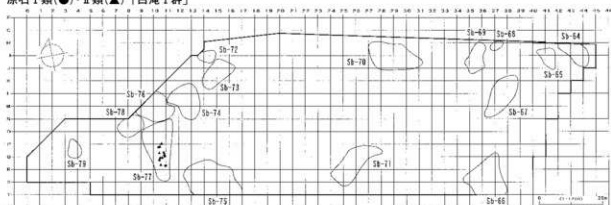


石核「白滝Ⅰ群」

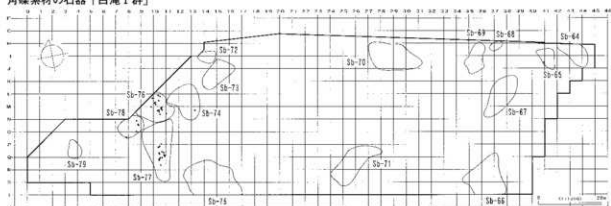


図Ⅲ-31 器種・石材別分布図(4)

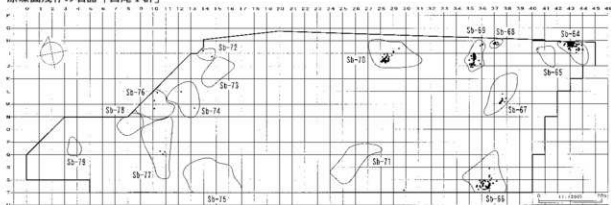
原石Ⅰ類(●)・Ⅱ類(▲)「白滝Ⅰ群」



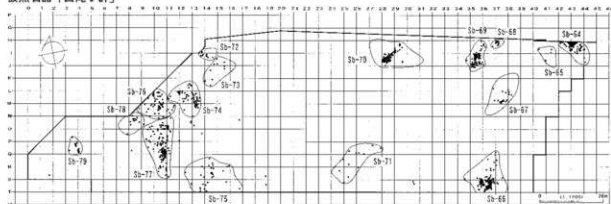
角礫素材の石器「白滝Ⅰ群」



原礫面残存の石器「白滝Ⅰ群」



被熱石器「白滝Ⅰ群」



図Ⅲ-32 器種・石材別分布図(5)

角礫素材の石器 (図Ⅲ-32)

45点出土し、Sb-65 (1点)・74 (1点)・76 (21点)・77 (16点)・78 (6点) に分布している。石器ブロック群ごとに見てみると、Sb-72~79がほとんどを占めている。なおこの分布には前述の原石Ⅱ類も含まれている。

被熱石器 (図Ⅲ-32、表Ⅲ-13)

376点 (19.4%) が被熱している。石器ブロック群ごとに見ると、Sb-64~70では全てに分布し、高い割合で被熱している (31.8%)。特に Sb-64 (55.2%) が非常に多く、Sb-69では39.2%と平均値に近い。その他は Sb-70 (25.3%)・66 (23.8%)・68 (18.6%)・67 (16.3%)・65 (7.1%) と続き、石器ブロック間での変異が大きい。Sb-72~79では少量 (1.3%) で、Sb-72・74・76・77のみに分布している。最も高いのは Sb-72の9.5%で、その他は1%前後である。被熱石器の分布は全体の遺物分布にはほぼ対応している。各石器ブロックの被熱石器と炭化木片ブロック (Cb) との関係を見ると (図Ⅲ-16)、Sb-66の被熱石器の中心部から Cb-18が確認されている。その他で被熱石器に近接した炭化木片ブロックは見られない。

原礫面残存の石器 (図Ⅲ-32、表Ⅲ-13)

1,043点 (53.8%) に残存している。全体的に高い割合で、特に Sb-79では86.2%を占め、突出した数値である。その他は60%台後半が Sb-74・75、50%台が Sb-66・69~72・76・77、40%台が Sb-64・65・68・73、30%台が Sb-78、20%台が Sb-67であり、石器ブロック間での変異が大きい。石器ブロック群ごとでは Sb-72~79が最も高い (61.5%)。原石もしくは原礫面に覆われた剥片の状態では遺跡に搬入されたものが多いことを示している。また、原礫面残存石器の分布は全体の遺物分布にはほぼ対応している。 (直江康雄)

Sb-80~111「白滝Ⅰ群」以外の石器**黒曜石製の石器 (図Ⅲ-33・34、表Ⅲ-3・7~12)**

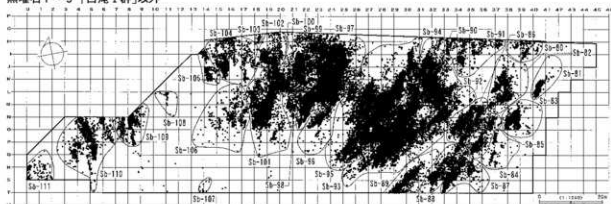
124,536点のうち124,458点 (99.9%) が黒曜石製である。黒曜石全体の中では黒曜石Ⅰ (黒色) が62,772点 (50.4%) で約半数を占め、以下黒曜石Ⅳ (黒<茶) の44,305点 (35.6%)、黒曜石Ⅲ (黒>茶) の8,885点 (7.1%)、黒曜石Ⅴ (黒>紫・茶) の5,072点 (4.1%)、黒曜石Ⅱ (梨肌) 3,424点 (2.8%) の順となっている。石質別では、黒曜石Ⅰはほぼ全域に分布するが、黒曜石Ⅳの密度が高い Sb-81~87、Sb-95 (L26区周辺) の密度は低い。黒曜石Ⅱは Sb-85・93~95・96・97・104・110にスポット的に分布する。黒曜石Ⅲ~Ⅴは石質が漸移的であることもあり、全体的に類似した分布である。黒曜石Ⅳはほぼ全域に分布するが、Sb-88、89南西部、90南東部、95南西部、102の分布密度が低く、石器群の偏りを反映したものと思われる。

黒曜石以外の石器 (図Ⅲ-34・35、表Ⅲ-3・7~12)

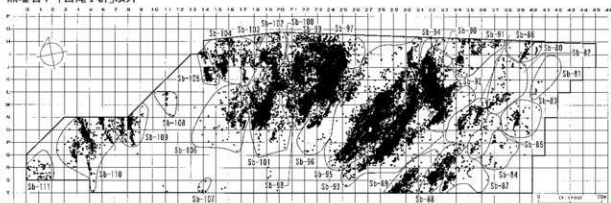
124,536点のうち78点 (0.06%) が黒曜石以外の石材で、その内訳は頁岩45点、安山岩21点、珉岩4点、めのう3点、碧玉3点、砂岩1点、緑色泥岩1点である。頁岩は Sb-93にはややまとまって、Sb-97~106には広範囲に散漫に分布し、その他は Sb-85周辺・90周辺・109周辺に少量分布する。安山岩は Sb-93・95、Sb-97周辺にややまとまって分布し、特に Sb-95のL27・28区では大型尖頭器・大型舟底形石器と分布が重複する。めのうは Sb-105・109、珉岩は Sb-95・104・105、碧玉・緑色泥岩は Sb-104に分布し、それらは巨視的に見た遺物集中域の縁辺部に位置する。また、「白滝Ⅰ群」の黒曜石以外の遺物に隣接することから「白滝Ⅰ群」と関連がある可能性がある。

器種別では、頁岩はツールの比率が高く、彫器Ⅱ類 (6点)、削器 (4点)、錐形石器 (4点)、

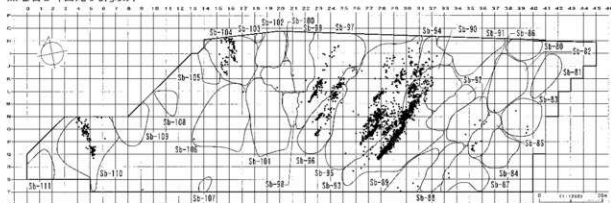
黒曜石1～5「白滝1群」以外



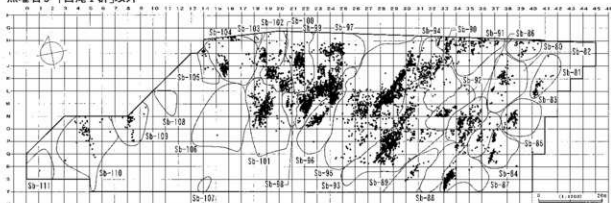
黒曜石1「白滝1群」以外



黒曜石2「白滝1群」以外

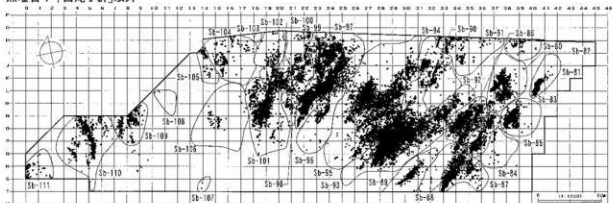


黒曜石3「白滝1群」以外

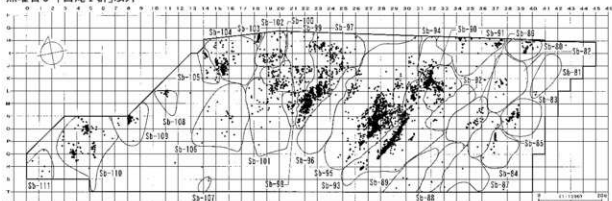


図Ⅲ-33 器種・石材別分布図(6)

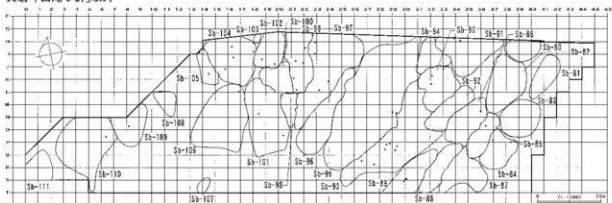
黒曜石4「白滝1群」以外



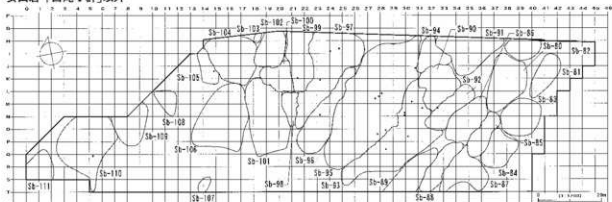
黒曜石5「白滝1群」以外



頁岩「白滝1群」以外



安山岩「白滝1群」以外



図Ⅲ-34 器種・石材別分布図(7)

石刃(5点)・縦長剥片(3点)、尖頭器削片(3点)、斧形石器(1点)が出土し、一括遺物には舟底形石器Ⅱa類(1点)、彫器削片Ⅰ類(1点)・Ⅱ類(2点)が含まれる。安山岩はツールの比率が低く、尖頭器Ⅲ類(2点)、搔器(2点)、削器(2点)、台石(2点)以外は剥片(13点)で、一括遺物には彫器削片Ⅲ類(3点)が含まれる。頁岩・安山岩以外の石材はめのう製の尖頭器Ⅰ類(1点)、珪岩製の縦長剥片(1点)、砂岩製の礫(1点)を除いて全て剥片である。

尖頭器(図Ⅲ-35・36、表Ⅲ-7~12)

397点(Ⅰ類308点、Ⅱ類40点、Ⅲ類49点)出土している。Ⅰ類が最も多く、広範囲に分布し、Sb-84・87・90・94・105~107・109・111を除くほぼ全域から出土している。Sb-83(N38区周辺)、Sb-93(P28区周辺)、Sb-95(L28区周辺)に集中が見られ、Sb-95のL28区周辺には大型品が分布する。剥片素材はSb-89・90・93・95にまとまって分布し、Sb-89・90は忍路子型細石刃核石器群に対応し、Sb-93・95は尖頭器Ⅲ類の分布に一致する。尖頭器Ⅱ類はSb-93・95のN26~P28区周辺、Sb-101のL19区周辺にまとまって分布し、それ以外にSb-82・83・92・97・99・100・102・111に分布する。尖頭器Ⅲ類はⅠ・Ⅱ類と異なり、Sb-93・95・96・97・99に限定して分布する。

尖頭器削片(図Ⅲ-36、表Ⅲ-7~12)

112点出土している。尖頭器削片の石核にあたる尖頭器Ⅱ類と概ね分布が一致するが、Sb-85には尖頭器削片のみ分布している。

両面調整石器(図Ⅲ-36、表Ⅲ-7~12)

51点出土し、点数はSb-97(15点)が多いが、集中の度合いによる偏りは見られず、ほぼ全域に散漫に分布している。また、それは、尖頭器Ⅰ類の分布とほぼ一致している。

細石刃核(図Ⅲ-37、表Ⅲ-7~12)

忍路子型細石刃核が1点出土し、Sb-90(1点)に分布する。

舟底形石器(図Ⅲ-37・38、表Ⅲ-7~12)

468点(Ⅰa類44点、Ⅱa類404点、Ⅱb類15点、Ⅱc類5点)出土している。Ⅰa類は量の多い順からSb-97~101・106、Sb-93、Sb-85周辺のP28区周辺、の3か所にまとまりがあり、それ以外はSb-94・Sb-106などに点在している。Ⅱa類の分布に概ね一致するが、Ⅰa類のほうが限定される。

Ⅱa類はSb-97(89点)、93(58点)、101(39点)、100(31点)、82(27点)、86(23点)、87(15点)、110(14点)、98(13点)、99(13点)、109(13点)、83(11点)、94(10点)、95(10点)の順に10点以上出土し、Sb-80・81・92・102・103・105・107・108・111を除くほぼ全域に分布している。これらはⅠa類の分布に重複するが、Sb-82・83・86・87・89・95中央部・96・97南部・109・110にはⅠa類がほとんど分布せず、Ⅱa類が主体的にまとって分布する。

Ⅱb・c類はSb-95(8点)、83(2点)、99(2点)、110(2点)、101(1点)、Ⅱc類はSb-95(2点)、98(2点)、97(1点)に分布し、Sb-83の2点とSb-95のL27・28区の集中は大型尖頭器に伴うものである。それ以外は小型舟底形石器(舟底形石器Ⅰ類)を含む石器群に伴うもので加工はⅡa類に似るが、Ⅱa類に比べ大型の素材が利用されている。

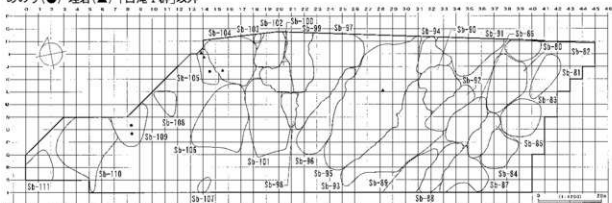
舟底形石器削片(図Ⅲ-37、表Ⅲ-7~12)

一括遺物のみ5点出土し、Sb-99周辺・103に分布する。舟底形石器削片は全て舟底形石器Ⅰa類から剥離されたもので、分布は舟底形石器Ⅰa類の分布の一部に一致する。

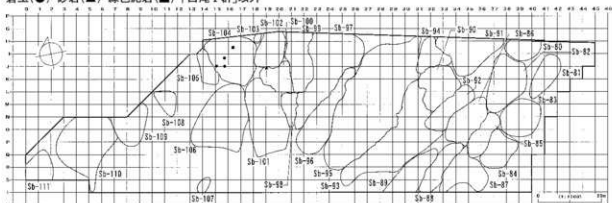
ナイフ形石器(図Ⅲ-38、表Ⅲ-7~12)

45点出土している。Sb-83(1点)、93(3点)、95(40点)、96(1点)に分布し、Sb-95の南西部にまとまっている。Sb-83の1点を除いて広郷型ナイフ形石器に関連する。

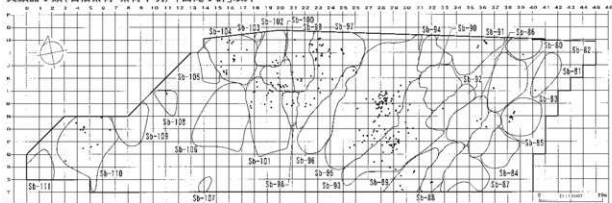
めのう(●)・珪岩(▲)「白滝Ⅰ群」以外



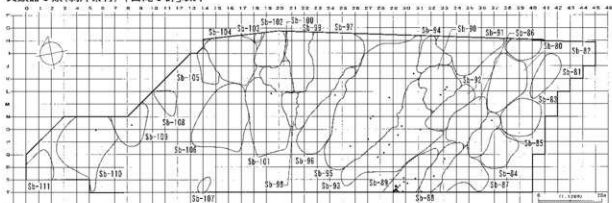
碧玉(●)・砂岩(▲)・緑色泥岩(■)「白滝Ⅰ群」以外



尖頭器Ⅰ類(石核素材・素材不明)「白滝Ⅰ群」以外

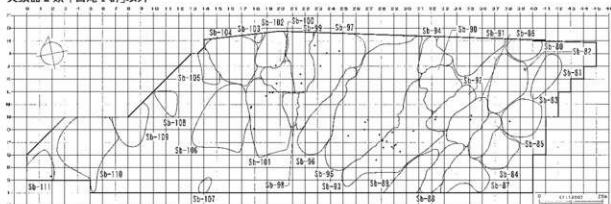


尖頭器Ⅰ類(剥片素材)「白滝Ⅰ群」以外

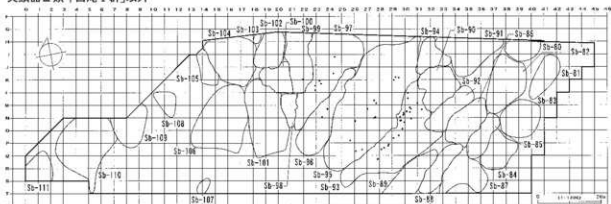


図Ⅲ-35 器種・石材別分布図(8)

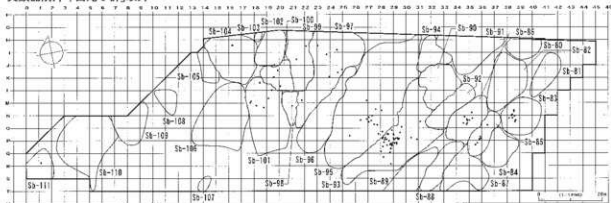
尖頭器Ⅱ類「白滝Ⅰ群」以外



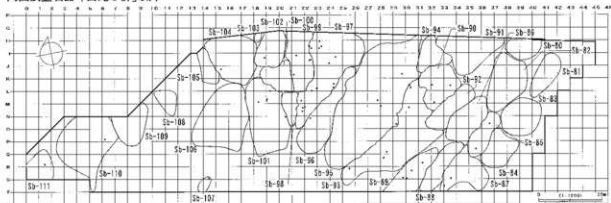
尖頭器Ⅲ類「白滝Ⅰ群」以外



尖頭器断片「白滝Ⅰ群」以外

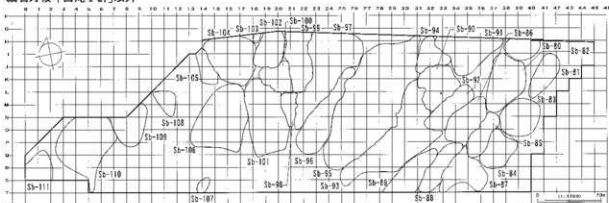


両面調整石器「白滝Ⅰ群」以外

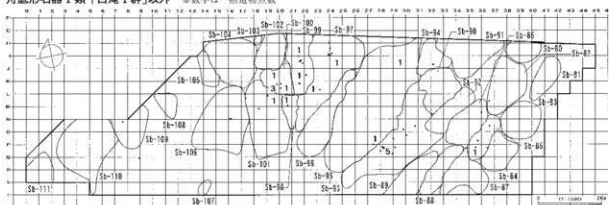


図Ⅲ-36 器種・石材別分布図(9)

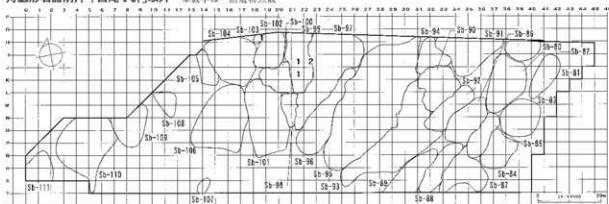
細石刃核「白滝Ⅰ群」以外



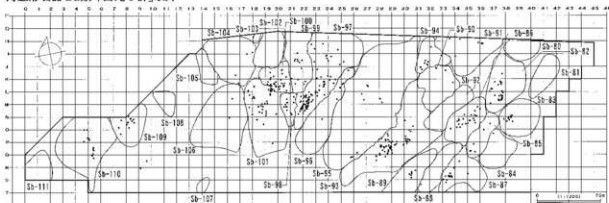
舟底形石器Ⅰ類「白滝Ⅰ群」以外 ※数字は一括遺物点数



舟底形石器Ⅰ類「白滝Ⅰ群」以外 ※数字は一括遺物点数

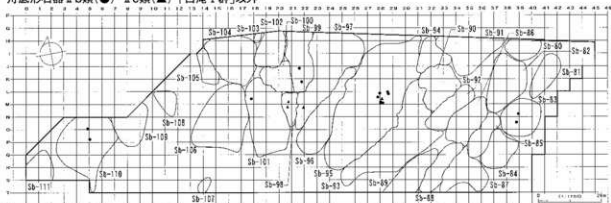


舟底形石器Ⅱa類「白滝Ⅰ群」以外

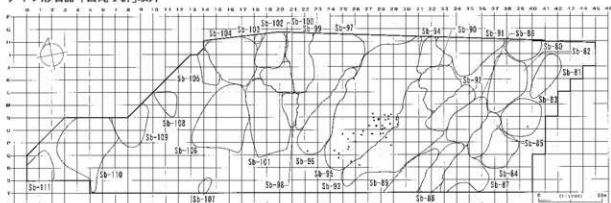


図Ⅲ-37 器種・石材別分布図(10)

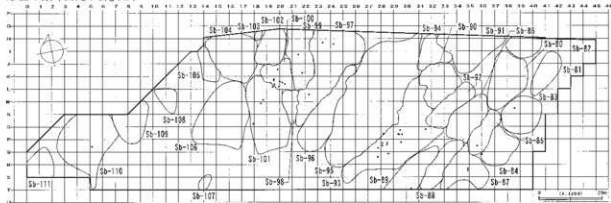
舟底形石器Ⅱb類(●)・Ⅱc類(▲)「白滝Ⅰ群」以外



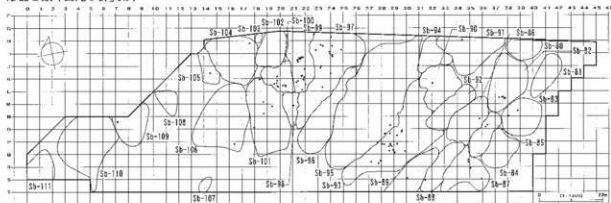
ナイフ形石器「白滝Ⅰ群」以外



彫器Ⅰ類「白滝Ⅰ群」以外

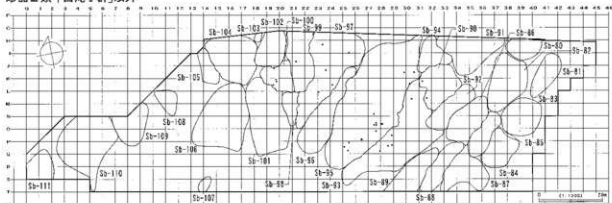


彫器Ⅱ類「白滝Ⅰ群」以外

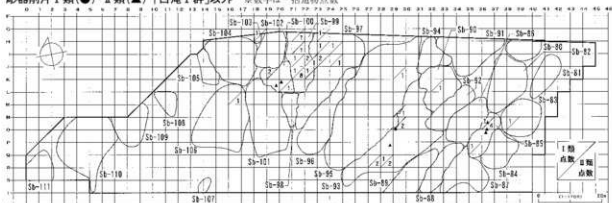


図Ⅲ-38 器種・石材別分布図(11)

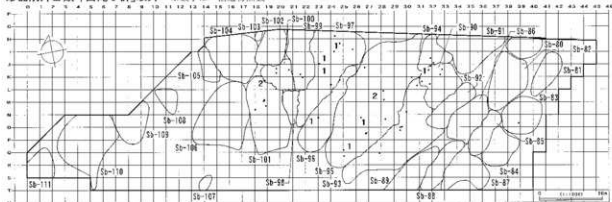
彫器Ⅲ類「白滝Ⅰ群」以外



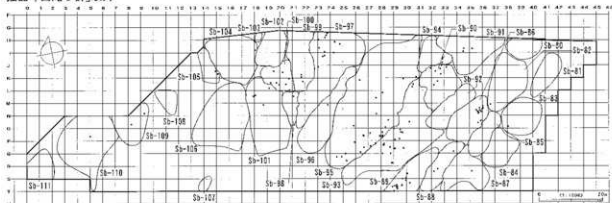
彫器削片Ⅰ類(●)・Ⅱ類(▲)「白滝Ⅰ群」以外 串数字は一括遺物点数



彫器削片Ⅲ類「白滝Ⅰ群」以外 串数字は一括遺物点数



播器「白滝Ⅰ群」以外



図Ⅲ-39 器種・石材別分布図(12)

彫器 (図Ⅲ-38・39、表Ⅲ-7~12)

164点(I類40点、II類92点、III類32点)出土している。I・II類に分布の違いは見られず、Sb-82~87、Sb-93、Sb-97~101の3か所にまとまりがある。また、Sb-109・110にも分布が見られ、これらは舟底形石器Ⅱa類の分布にはほぼ一致する。彫器I・II類はほとんどが小型舟底形石器(舟底形石器I類)を含む石器群に伴うものであるが、Sb-89・90の彫器はそれらと異なる形態で、忍路子型細石刃核に伴うものである。彫器III類はSb-90(2点)、93(5点)、95(15点)、97(5点)、99(1点)、100(4点)に分布し、このうち、Sb-93・95南西部の分布はナイフ形石器の分布に一致する。

彫器削片 (図Ⅲ-39、表Ⅲ-7~12)

53点(I類1点、II類6点、III類46点)出土している。I・II類はSb-85、Sb-93、Sb-97・99・100の3か所にまとまりがあり、その分布は剥離された本体にあたる彫器I・II類の分布と一致する。III類はSb-83(1点)、90(6点)、93(7点)、94(2点)、95(10点)、96(2点)、97(6点)、99(3点)、100(4点)、101(5点)に広範囲に分布するが、概ね彫器III類の分布と一致する。

搔器 (図Ⅲ-39、表Ⅲ-7~12)

134点出土し、5点以上のブロックはSb-95(26点)、93(21点)、89(15点)、86(14点)、97(12点)、100(10点)、90(8点)の順である。Sb-86・89・90中央に分布するのは、大型石刃素材で、両側縁に加工が少ない忍路子型細石刃核に伴うと考えられるもので、それらは他の搔器に比べ分布密度が高い。また、Sb-95南西部には両側縁に加工が少ない搔器が分布し、それらを除くとI~K区の搔器の分布は彫器I・II類の分布に一致する。一方、忍路子型細石刃核に伴うものを除くとG地区(Sb-80~89)にはほとんど分布しない。

錐形石器 (図Ⅲ-40、表Ⅲ-7~12)

29点出土し、Sb-82・84~86、Sb-93・95、Sb-97・99~102・103の3か所に分布し、概ね彫器I・II類の分布と一致する。

削器 (図Ⅲ-40、表Ⅲ-7~12)

325点出土し、Sb-88・92・103・105・108・111を除く全域に分布する。10点以上出土したブロックは多い順からSb-95(61点)、93(55点)、97(30点)、100(24点)、101(18点)、86(17点)、85(16点)、87(15点)、83(13点)、99(12点)、110(11点)である。

二次加工ある剥片 (図Ⅲ-40、表Ⅲ-7~12)

259点出土し、削器同様ほぼ全域に分布するが、K区(Sb-108~111)には少ない。10点以上出土したブロックは多い順からSb-93(66点)、97(53点)、95(35点)、82(12点)、100(10点)である。

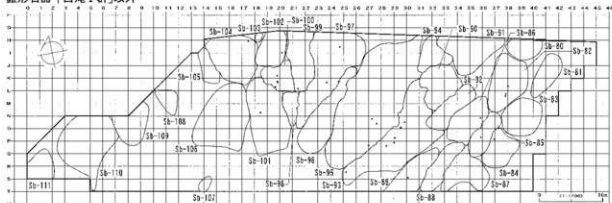
石刃 (図Ⅲ-40、表Ⅲ-7~12)

1934点出土し、Sb-80・105・107を除く全域に分布する。10点以上出土したブロックは多い順からSb-93(444点)、90(317点)、97(292点)、95(285点)、101(136点)、86(63点)、83(52点)、99(44点)、94(34点)、91(32点)、100(29点)、87(25点)、85(24点)、96(24点)、102(22点)、82(21点)、110(21点)、109(17点)、84(15点)で、特にSb-90の密度の高さは、集中的に大型石刃剥離が行われたことを反映している。

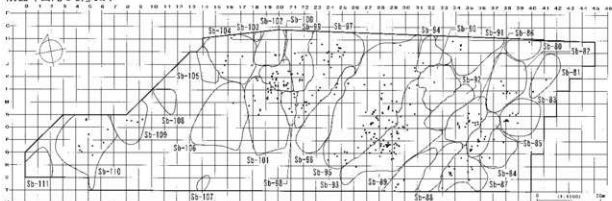
縦長剥片 (図Ⅲ-41、表Ⅲ-7~12)

1866点出土し、石刃同様、ほぼ全域に分布する。10点以上出土したブロックは多い順からSb-93(487点)、97(312点)、95(307点)、101(121点)、86(106点)、90(78点)、87(71点)、110(38点)、83(31点)、102(30点)、82(29点)、106(28点)、100(27点)、85(26点)、99(24点)、94(22点)、96(22点)、91(20点)、92(18点)、89(13点)、98(13点)、104(13点)、84(10点)で、石刃の分

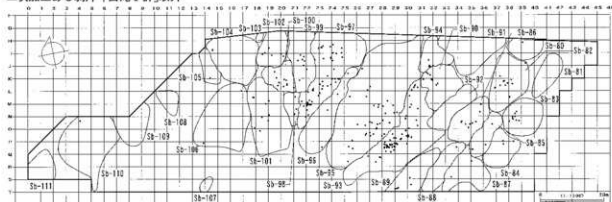
錐形石器「白滝Ⅰ群」以外



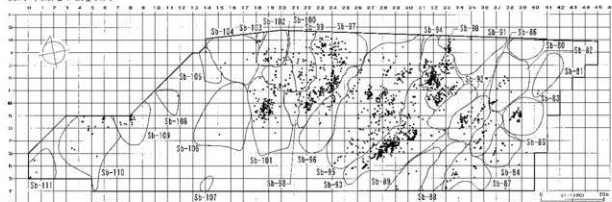
削器「白滝Ⅰ群」以外



二次加工ある剥片「白滝Ⅰ群」以外

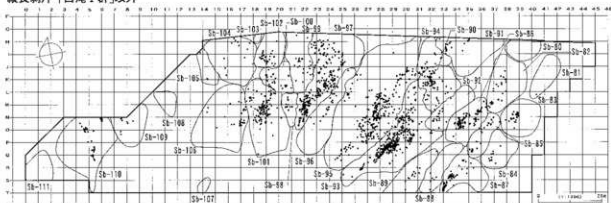


石刃「白滝Ⅰ群」以外

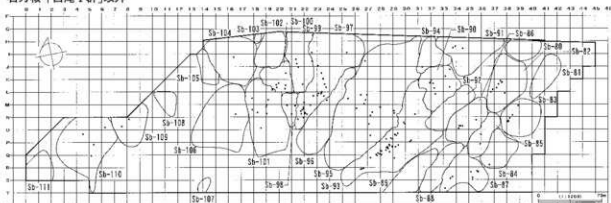


図Ⅲ-40 器種・石材別分布図(13)

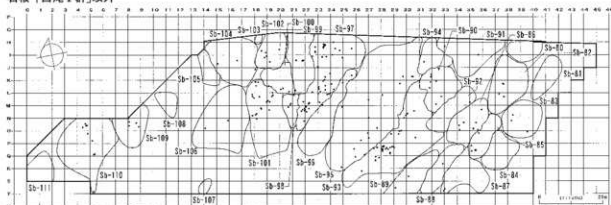
縦長剥片「白滝Ⅰ群」以外



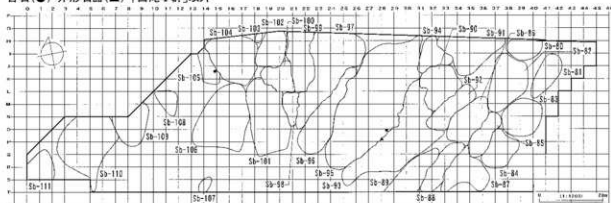
石刃核「白滝Ⅰ群」以外



石核「白滝Ⅰ群」以外

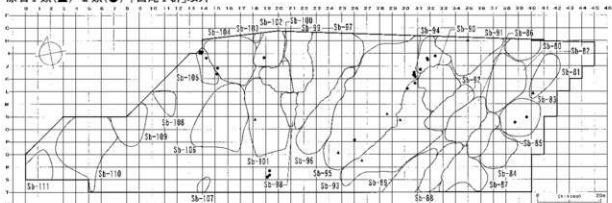


台石(●)・斧形石器(▲)「白滝Ⅰ群」以外



図Ⅲ-41 器種・石材別分布図(14)

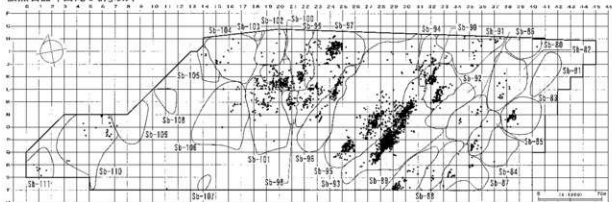
原石I類(▲)・II類(●)「白滝I群」以外



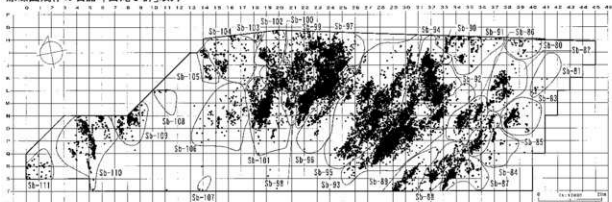
つまみ付きナイフ(●)・礫(▲)「白滝I群」以外



被熱石器「白滝I群」以外



原礫面残存の石器「白滝I群」以外



図三一42 器種・石材別分布図(15)

布に一致する。

石刃核 (図Ⅲ-41、表Ⅲ-7~12)

154点出土し、3点以上出土したブロックは多い順から Sb-93 (36点)、97 (26点)、95 (14点)、101 (10点)、90 (9点)、82 (8点)、87 (8点)、83 (6点)、86 (6点)、100 (6点)、99 (5点)、110 (4点)、91 (3点)、98 (3点) である。概ね石刃・縦長剥片の分布と一致するが、それらに比べ Sb-95は少なく、Sb-102は全く分布しない。

石核 (図Ⅲ-41、表Ⅲ-7~12)

201点出土し、3点以上出土したブロックは多い順から Sb-97 (51点)、93 (34点)、101 (20点)、95 (16点)、90 (9点)、110 (9点)、86 (7点)、85 (6点)、102 (6点)、109 (6点)、99 (5点)、82 (4点)、98 (4点)、100 (4点)、83 (3点)、96 (3点)、104 (3点) である。石刃核の分布と類似するが、Sb-95での出土位置が異なり、Sb-102には6点分布する。

台石 (図Ⅲ-41、表Ⅲ-7~12)

2点出土し、Sb-95 (1点)、105 (1点) に分布する。

斧形石器 (図Ⅲ-41、表Ⅲ-7~12)

1点出土し、Sb-95 (1点) に分布する。

原石 (図Ⅲ-42、表Ⅲ-7~12)

36点出土している。Sb-85のN38区・ブロック外のR19区には28・37cmの大型棒状原石(原石Ⅱ類)が分布し、Sb-93~95のI32~K30区には黒曜石1(黒色)、Sb-104・105のH13~J15区には黒曜石2(梨肌)の、10cm以下の小型棒状原石(原石Ⅱ類)がまとまって分布する。また、Q26区には長さ10cm、厚さ3cm程度の扁平な頁岩原石(原石Ⅰ類)が分布する。

つまみ付きナイフ (図Ⅲ-42、表Ⅲ-7~12)

1点出土し、Sb-101 (1点) に分布する。

礫 (図Ⅲ-42、表Ⅲ-7~12)

1点出土し、Sb-100 (1点) に分布する。

被熱石器 (図Ⅲ-16・42、表Ⅲ-7~12)

3,845点(3.1%)が被熱している。被熱率10%以上のブロックは無く、5~10%はSb-83・89・93・96・98・100、1~5%はSb-85・87・90・91・94・95・97・99・101・104・106・110・111、それ以外は1%以下である。約8割のブロックが被熱率5%以下で、約4割が1%以下である。全体には「白滝I群」(Sb-64~79)(19.4%)に比べ、非常に低い割合であるが、既報告で遺物総数5万以上の上白滝2(Sb-15を除く)、上白滝5、「白滝I群」を除いた奥白滝1遺跡(鈴木ほか2001、直江ほか2002)と比較するとほとんど変わらず、「白滝I群」の被熱率(上白滝8遺跡34.9%、奥白滝1遺跡26.2%)を考慮に入れると、むしろ、「白滝I群」被熱率の高さが目立ち、石器群を特徴づけている。

分布に関しては、被熱石器はほぼ全域に分布するが、いくつかの集中域があり、その中心に高密度の部分があるのが特徴である。この特徴は技術的に分類した器種毎の分布傾向とは異なり、被熱行為という全く別の要因によるものであるためと解釈できる。被熱石器と炭化木片ブロックはSb-85南部とCb-17、Sb-93中央部とCb-16の分布が一致し、Sb-93南部とCb-19が隣接し、それ以外は両者に距離がある。距離のあるものを直接的に関連付けるのは困難であるが、分布が重複・隣接するものでも形成過程やブロックの構成などを考慮に入れないと直ちにそれらに関連付けるのは危険である。

表Ⅲ-13 西地区出土原礫面残存・被熱石器一覧

ブロック	遺物点数(点取り)(点)	原礫面残存石器(点、%)		被熱石器(点、%)	
Sb-64	223	102	45.7	123	55.2
Sb-65	14	6	42.9	1	7.1
Sb-66	345	188	54.5	82	23.8
Sb-67	86	22	25.6	14	16.3
Sb-68	43	20	46.5	8	18.6
Sb-69	194	101	52.1	76	39.2
Sb-70	241	121	50.2	61	25.3
Sb-71	22	12	54.5	0	0.0
Sb-72	21	12	57.1	2	9.5
Sb-73	25	12	48.0	0	0.0
Sb-74	105	71	67.6	2	1.9
Sb-75	59	39	66.1	0	0.0
Sb-76	116	68	58.6	3	2.6
Sb-77	316	186	58.9	3	0.9
Sb-78	39	15	38.5	0	0.0
Sb-79	65	56	86.2	0	0.0
白滝I群ブロック外	25	12	48.0	1	4.0
Sb-80	282	36	12.8	2	0.7
Sb-81	852	11	1.3	0	0.0
Sb-82	2123	630	29.7	17	0.8
Sb-83	2149	464	21.6	131	6.1
Sb-84	291	83	28.5	1	0.3
Sb-85	1149	468	40.7	37	3.2
Sb-86	3264	770	23.6	13	0.4
Sb-87	3125	773	24.7	32	1.0
Sb-88	2614	614	23.5	9	0.3
Sb-89	1248	278	22.3	82	6.6
Sb-90	11266	2563	22.7	318	2.8
Sb-91	1175	303	25.8	30	2.6
Sb-92	2903	608	20.9	1	0.0
Sb-93	24138	5770	23.9	1507	6.2
Sb-94	1844	673	36.5	34	1.8
Sb-95	19344	3976	20.6	627	3.2
Sb-96	1949	405	20.8	120	6.2
Sb-97	25076	7869	31.4	319	1.3
Sb-98	457	174	38.1	42	9.2
Sb-99	3195	666	20.8	113	3.5
Sb-100	1913	590	30.8	185	9.7
Sb-101	6600	1968	29.8	97	1.5
Sb-102	1051	241	22.9	9	0.9
Sb-103	111	18	16.2	0	0.0
Sb-104	1739	198	11.4	19	1.1
Sb-105	698	116	16.6	4	0.6
Sb-106	545	144	26.4	13	2.4
Sb-107	12	2	16.7	0	0.0
Sb-108	44	4	9.1	0	0.0
Sb-109	943	368	39.0	1	0.1
Sb-110	2240	664	29.6	25	1.1
Sb-111	156	47	30.1	6	3.8
ブロック外	40	10	25.0	1	2.5
合計	126475	32547	25.7	4171	3.3

原礫面残存の石器 (図Ⅲ-42、表Ⅲ-7~12)

原礫面は31,504点(25.3%)に残存している。原礫面残存率30%以上のブロックはSb-85・94・97・98・100・109・111、20~30%はSb-82~84・86~93・95・96・99・101・102・106・110、10~20%はSb-80・103~105・107、10%以下のブロックはSb-81・108である。20%以上のブロックが8割近くを占め、全体的に高率で、原石の状態で搬入されたものが多いことが要因と考えられる。一方、Sb-81は1.3%と非常に低率であるが、原礫面のほとんど残存しない粗加工された尖頭器で搬入されているためである。このように原礫面残存率は搬入形態を反映している。(鈴木宏行)

(3) 石器ブロック64~70(Sb-64~70)の石器**出土石器** (表Ⅲ-7・8)

基部平坦加工石器2点、裏面微細加工石器23点、二次加工ある剥片9点、搔器7点、削器2点、錐形石器2点、縦長剥片1点、石核56点、剥片1,044点の計1,146点、重量26,179.7gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が最も多く86.7%を占め、以下黒曜石4(10.6%)、黒曜石5(1.0%)、黒曜石3(0.8%)、黒曜石2(0.7%)、安山岩(0.2%)、頁岩(0.1%)となっている。

基部平坦加工石器 (図Ⅲ-43-1・2、図版61)

2点(2個体)を図示している。いずれも剥片素材の石核の素材腹面(以下「石核ボジ面」と記載)を背面に持つ貝殻状の剥片を素材としている。裏面には素材の打窟部を除去するような長さ8mm前後の平坦剥離が施され、下端部の縦断面形が鋭くなっている。上端部の無加工の縁辺には微細な刃こぼれ状の剥離が見られる。1の正面下端の剥離は裏面の加工に切られており、素材作出後の剥離が確定できないが、裏面と同様の細かな平坦剥離であるため、二次加工と考えられる。産地分析の結果、赤石山産と判定された(Ⅳ章4)。2は右側が大きく欠損するもので、裏面右側の微細加工は素材剥離前のものである。正面側には加工が施されていない。

裏面微細加工石器 (図Ⅲ-43-3~23、図版61)

23点(19個体とI層出土2個体を含めた21個体)を図示している。いずれも裏面の縁辺に長さ2mm前後の微細な加工が連続して施されるものである。素材は、3~8が三角形、台形または五角形で、打面から両側縁が楕形に広がる剥片、9~15は両側縁の中央部がおおむね平行する長幅比1.8前後の寸詰まりの縦長剥片、16~23は両側縁の中央部がおおむね平行する長幅比2.0以上の縦長剥片である。背面の剥離面構成は主要剥離面に対して横方向を含むものが多く、同方向のみで構成されるものは17・19のみである。このことから素材の多くは打面転移を多数行う剥離技術によって得られたと考えられる。また、背面に「石核ボジ面」が残るものは11・12・16・17・22である。23のみ安山岩製で、その他は黒曜石を石材とする。裏面に見られる微細加工のパターンは片側縁のみ(3・7・11・13・17・18・19・22・23)、片側縁と反対側縁の打面側(4・6・8・16・20)、末端辺(打面とはほぼ平行する末端側の縁辺)のみ(5・9・15)、片側縁から末端辺にかけて(10・14・21)、片側縁から打面にかけて(12)となっている。これらの片側縁は裏面右側縁に相当する場合が多い。

二次加工ある剥片 (図Ⅲ-44-24~29、図版61・62)

6点(5個体とI層出土1個体を含めた6個体)を図示している。素材は、24・28が台形で、打面から両側縁が楕形に広がる剥片で、26は指状形の剥片・27は両側縁の中央がほぼ平行する寸詰まりの縦長剥片、29は四角形で大型の剥片である。25の素材は、変形度が大きく不明である。24・26・28は末端辺が厚手である。加工は24・25が素材の打面部を断ち切るような急角度で大きな剥離が背面側から、26~28は背面側に微細に施され、29は右側辺下部と末端辺との角に微細な加工が見られる。

挿器 (図Ⅲ-44-30、図Ⅲ-45-31、図版62)

2点(2個体)を図示している。いずれも完形品で、長さ・幅10cm程度的大型剥片を素材としている。直線的な刃部で、末端縦断面形状は30が腹面側にやや湾曲し、31は直線的である。刃部の加工は急角度で、30は素材の形状を利用した加工で加工の長さが短い。周辺加工は30が無加工、31が右側縁の両面に連続した階段状の剥離が見られる。

錐形石器 (図Ⅲ-45-32・33、図版63)

2点(2個体)を図示している。いずれも完形品で、末端部が厚手の剥片を素材としている。突出部は32が1か所、33が上下に2か所見られる。32・33下は末端辺と側辺との角部を利用し、33上は刃部が一度更新されており、打面部で突出部を作出した後、打面と側辺の折れ面との角部を利用している。32の加工は、背面右側面に微細剥離がノッチ状にみられ、末端辺に続く僅かなものである。33は上下とも錯向状の剥離で、打面側が2cm程度の大きな剥離である。33の裏面下部には長さ3cm幅1.5cmに渡って斜方向に擦痕が付着している。

削器 (図Ⅲ-45-34・35、図版63)

2点(2個体)を図示している。いずれも剥片を素材とし、末端部付近に転蹀面が残っている。背面部に連続した二次加工が施されるが、35はやや粗く下部がノッチ状になっている。

縦長剥片 (図Ⅲ-45-36、図版63)

1点(1個体)を図示している。下端に転蹀面が残るものである。背面の剥離面構成は腹面と同方向及び、左右が見られ、この剥片の剥離前に横方向の打面と作業面を入れ替える交互剥離が行われていたことを示している。平坦打面である。

石核 (図Ⅲ-45-37～図Ⅲ-52-70、図版63～66)

38点(32個体とI層出土2個体を含めた34個体)を図示している。いずれも剥離の際に打面調整・頭部調整などの石核調整は施されず剥離面のバルブが発達している特徴を持つ。

37～49は扁平で、剥離作業を主に素材の平坦面で行っているもので、後述するI類の剥片剥離が行われた際の残核と思われる。素材は37～48が剥片、49が礫である。作業面は38～46が主に素材の腹面側、37・47・48は素材の背面側に設定されている。前者は、主に末端が薄手で寸詰まりの剥片が剥離されている。38～46は裏面に転蹀面があり、剥離の比較的初期段階で得られた剥片を素材としている。37は上からの最終剥離が大きくウートラバッセを起こしている。38の上半部は節理面のため剥離が急角度となっている。39の下からの剥離は末端が階段状で、剥離角が鈍角化している。40の左側面には急角度の剥離が見られる。41の石材は黒曜石4である。42は裏面の求心状剥離の後に正面側に打面転移している。43の右側は尖頭形となっている。44の上半部は裏面の剥離の後に正面に打面転移している。裏面にはパンチ痕が残っている。45の上半部の剥離は正面→裏面→正面と交互剥離が行われ、下半部の剥離は大きくやや急角度である。46の素材腹面は平坦で、リングは丸みが強く密集している。素材のバルブ周辺のみで剥離作業が行われる。47は正面から上面にかけて横方向から剥離した後、正面上からの剥離が行われる。48はウートラバッセを起こした剥片の内反した腹面末端部を打面とし、下端の素材面に、一回の剥離が行われている。素材を剥離した打面部には複数のパンチ痕が見られる。49の上部は上から、下部は横方向の剥離が見られる。いずれの剥離も大きい。

50～58は素材の小口面で剥離作業を行っているもので、素材は全て剥片である。後述するII類の剥片剥離が行われた際の残核と思われる。打面は、50～54が素材の広い平坦面、55～58が素材の小口面にはほぼ固定されている。その結果、50～54は末端が幅広の剥片、55～58は縦長剥片が主に剥離されている。50～54の打面の位置は、50・51・54が素材の腹面、52・53が素材の背面に設定されている。原

礫面が残っているのは、51～54、57で、打面を素材の広い平坦面に設定している石核に多く見られる傾向がある。50は正面から左側面にかけて連続的に寸詰まりの縦長剥片が剥離されている。51は厚手の折損した剥片の末端側を素材とし、折れ面への剥離が一回行われている。打面側に折れ面接合するものは56である。52は上面観が三角形を呈し、正面と左側面の2か所で連続的な剥離が見られる。素材背面は原礫面に覆われている。53は剥離角が鈍角で、最終的な剥離が階段状で打面部が潰れている。54の原礫面は平滑で稜が磨滅していない角礫面である。Sb-64～70の中で角礫面を持つものは54のみであり、同一母岩の資料がないことからブロック外からの搬入品と思われる。55の右側面は素材腹面にあたる。裏面では横方向の剥離が行われている。56は折れ面を打面とするもので、51と折れ面接合している。下端部には正面側への剥離が見られる。57は両側面の小口面の他に、上面から正面にかけて横方向の剥離が見られる。58は正面が素材の打面部にあたる。素材の縁辺には微細で不規則な剥離が見られる。

59～70は打面転移を頻繁に行っているものである。後述するⅢ類の剥片剥離が行われた際の残核と思われる。打面と作業面を90°入れ替える交互剥離を基本とし、その作業部位を転移させていく傾向がある。実測図は、68・69を除き最終剥離が正面と上面との交互剥離となるよう石核を設置した。全ての石核に原礫面が残っている。素材は63・67・68が剥片、それ以外は礫である。59は正面と下面でも交互剥離が行われている。また、上面には多数のパンチ痕が見られる。60の最終剥離以前は他方向からの剥離が見られ、裏面と右側面でも交互剥離が行われている。61はやや連続して同方向の剥離が見られ、上面の剥離が左側面にかけて行われている。62は被熱により破損している。63は左側面と下面でも交互剥離が行われている。裏面が素材の腹面にあたる。64は左側面と裏面、左側面と右側面でも交互剥離が行われている。最終的に正面と左側面との稜を剥離軸に設定して縦長剥片が剥離されている。65は正面下部から裏面にかけて原礫面が残存しており、素材の状態からあまり剥離が進行せずに遺棄されている。66は各面とも激しいヒンジを起こしており、ランダムな打面転移が頻繁に行われている。67は正面の剥離角が鈍角化しており、打点部が激しく潰れている。上面と下面に多数のパンチ痕が見られる。68には上面から右側面にかけて原礫面が残存している。正面と下面との交互剥離が見られる。大型の剥離面のみで構成されている。69は横方向の剥離が上面から裏面にかけて連続して行われている。裏面の剥離は激しいヒンジを起こしている。70は大型の剥離面のみで構成されている。

石器ブロック64～70 (Sb-64～70) の分布状況

遺跡中央西寄りの広い範囲で確認された。標高は437.5～443mでブロックにより高低差がある。地形は北東側に傾斜する緩斜面上である。Sb-64と65及びSb-68と69は比較的接近しているが、その他は隣のブロックとそれぞれ20m前後の距離を隔てて分布し、最も離れたSb-66と70では52mの距離がある。東地区で報告した「白滝I群」のSb-9、11～13も比較的接近して分布している。特にSb-9は石器組成が類似している。しかし、両ブロックともSb-64～70との接合関係は見られない。

石器ブロック64 (Sb-64) の分布 (図Ⅲ-53、表Ⅲ-7・8)

H42～44、I43・44区の11.7×5mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のG42・43区にも分布が広がると考えられる。H42・43区の境に集中域があり、分布は北西-南東方向にやや間延びしている。基部平坦加工石器1点、裏面微細加工石器2点、二次加工ある剥片2点、錐形石器2点、石核8点、剥片208点の計223点、重量5,232.4gの石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック65 (Sb-65) の分布 (図Ⅲ-54、表Ⅲ-7・8)

H40・41、I40・41、J41区の5.8×4.8mの範囲で確認された。H41区にややまとまりが見られるが、非常に散漫な分布状況である。石核4点、剥片10点の計14点、重量661.3gの石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック66 (Sb-66) の分布 (図Ⅲ-54・55、表Ⅲ-7・8)

P37、Q36・37、R34・37、S35～37区の13.3×13.8mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のT35～37区にも分布が広がると考えられる。S36区に集中域があり、P～R区は散漫な分布状況である。裏面微細加工石器6点、二次加工ある剥片1点、搔器1点、削器1点、石核19点、剥片317点の計345点、重量8,567.8gの石器類が出土した。石材は、安山岩製の剥片1点以外は全て黒曜石である。

石器ブロック67 (Sb-67) の分布 (図Ⅲ-56・57、表Ⅲ-7・8)

J37・38、K36～38、L36～38、M36区の16.0×7.2mの範囲で確認された。L37区にややまとまった集中域があり、分布は北東～南西方向にやや間延びしている。基部平坦加工石器1点、裏面微細加工石器7点、二次加工ある剥片1点、縦長剥片1点、石核5点、剥片71点の計86点、重量2,109.2gの石器類が出土した。ツールの割合が高い(10.5%)。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック68 (Sb-68) の分布 (図Ⅲ-56・57、表Ⅲ-7・8)

H36・37区の4.5×2.5mの小さな範囲で確認された。H36・37区の境に集中域がある。裏面微細加工石器4点、剥片39点の計43点、重量308.5gの石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック69 (Sb-69) の分布 (図Ⅲ-58、表Ⅲ-7・8)

H35・36、I34～36、J35区の10.3×6.2mの範囲で確認された。I36区全体にまとまった集中域があり、分布は南北方向にやや間延びしている。裏面微細加工石器1点、二次加工ある剥片1点、石核3点、剥片189点の計194点、重量2,882.5gの石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック70 (Sb-70) の分布 (図Ⅲ-59・60、表Ⅲ-7・8)

H27～29、I27～29・31区の9.1×16.9mの範囲で確認された。I28区に集中域があり、分布は北東～南西方向に間延びしている。裏面微細加工石器3点、二次加工ある剥片4点、搔器6点、削器1点、石核17点、剥片210点の計241点、重量6,418.0gの石器類が出土した。石材は、安山岩製の剥片1点以外は全て黒曜石である。

石器ブロック64～70の接合状況 (図Ⅲ-61)

Sb-64～70ではブロック内の接合を中心としている。ブロック間の接合関係は、3母岩で確認され、Sb-68を除き全てのブロックに及んでいる。それぞれSb-64・65・66(母岩481・接合353)、Sb-67・69(母岩488・接合358)、Sb-66・67・70(母岩490・接合360)で接合関係が見られる。全体の剥離作業は、母岩481がSb-64・65、母岩488がSb-67、母岩490がSb-66・67で行われており、1～2点の石器類が他のブロックから出土している。母岩481では搔器30がSb-66から、母岩488では搔器31がSb-70から単独で出土し、母岩481では剥片2点がSb-69から出土している。

母岩別資料・接合資料

「白滝I群」(Sb-64～79)では多数の接合資料が得られ、それらを検討した結果、素材の形態、打面・作業面の設定場所や転移方法、得られる剥片の形態などにより剥離技術をI～Ⅲ類に大別し、さらに若干の細分を行った。なお、これは奥白滝1遺跡(直江ほか 2002)の「白滝I群」の剥離技術をもとにしている。

I類：扁平な素材の平坦面で剥離作業を行うもの。

Ia類：片側の平坦面で作業を行うもの。主に長幅比が1.0前後の貝殻形・扇形・台形・三角形の

剥片が剥離される。

I b 類…両側の平坦面で作業を行うもの。主にやや横長の剥片が剥離される。

Ⅱ類：素材の小口面で剥離作業を行うもの。

Ⅱ a 類…素材の広い面を打面に固定するもの。主に打面部が幅広く厚い剥片、両側縁の中央がほぼ平行する寸詰まりの剥片が剥離される。

Ⅱ b 類…素材の小口面を打面に固定するもの。主に縦長剥片が剥離される。

Ⅲ類：打面と作業面を頻繁に転移するもの。剥離される剥片の形態は最も多様である。主に両側縁の中央がほぼ平行する寸詰まりの剥片、やや横長の剥片、縦長剥片、片側縁が「く」の字状になる剥片などが剥離される。

Ⅲ a 類…打面と作業面を1～数打ごとに入れ替える交互剥離を基本とし、その作業部位を転移していくもの。

Ⅲ b 類…打面と作業面の転移に規則性が見られないもの。

以下、「臼滝I群」(Sb-64～70、71、72～79)に限定し、接合資料の記載に用いる。

Sb-64～70では、1,146点中702点を27母岩に母岩分類し、69個体(母岩別資料内37個体)の接合資料が得られた。その内母岩別資料4母岩を図示し、6母岩を写真のみ掲載している。

母岩別資料489・接合資料359(図Ⅲ-62、図版67-1)

母岩別資料は接合359のみである。

素材 25点(23個体)が接合し、重量は510.0g、大きさは12.2×14.2×4.9cmである。大型の剥片を素材とし、ほぼ剥片の状態で遺跡内に搬入されている。素材の末端部に半月状の「爪あと」(以下、「爪状痕」と表現)のある原礫面が見られる。

剥離工程 素材の腹面を正面、打面を右側面に設定し、I b 類の剥離を中心に作業が進行している。段階1は縁辺の細かい剥離で、他との前後関係は不明である。段階2～8は正面・右側面と裏面との交互剥離である。段階3・4の上方からの剥離は、素材腹面と打面の稜線を剥離軸に設定している。また、段階5の中央の1点は、素材背面の稜線を剥離軸に設定している。そのためどちらもやや縦長となる剥片が剥離されている。その他の剥片の形状は、末端が幅広くなる剥片が多い。また、前述の段階5の1点は頭部に細かい階段状の潰れが見られる。剥離の進行に伴い正面側への剥離角が急角度となり、作業面が小口側に変化している。最終的に石核58が遺棄される。

分布 Sb-67の集中域を中心として散漫に分布する。

母岩別資料493・接合資料365(図Ⅲ-63、図版68-1)

母岩別資料は接合365・366、剥片4点で構成され、総点数43点、総重量315.9gである。

素材 36点(35個体)が接合し、重量286.5g、大きさは5.5×8.8×8.5cmである。角が摩滅した平滑な面が部分的に残る亜円礫を素材として、原石の状態で遺跡内に搬入されている。

剥離工程 原石の平坦面を上面に設定し、I b 類の剥離によって作業が進行している。上面と正面との交互剥離(段階1～12)が連続して行われている。剥離の進行に伴い正面の作業面が左側面にも広がり、上面の中央が山形に突出していく。段階3・4の間には正面側への剥離が行われているが、欠落している。

段階6からは前段階部を外した中間の接合図を図Ⅲ-63-73に、段階9以降はさらに外した最終の接合図を図Ⅲ-63-74に図示した。段階9で得られた縦長剥片が裏面微細加工石器19の素材となっている。段階10以降の作業部位は石核の右側に偏っている。段階13・14も前段階から連続する交互剥離であるが、石核形状の変化に伴い、右側面から正面及び裏面への剥離となっている。全体的な剥片の

傾向として、上面では扁平で幅広、または末端幅広の剥片、正面では剥離軸と平行する稜があるため、やや縦長となる剥片が多く見られる。最終的にサイコロ状の石核61が遺棄される。

分布 Sb-66の集中域から2.5m程西側にまとまって分布する。

母岩別資料497・接合資料370 (図Ⅲ-64-66、図版68-2)

母岩別資料は接合370・371、剥片1点で構成され、総点数74点、総重量774.7gである。

素材 56点(35個体)が接合し、重量596.8g、大きさは11.2×9.3×7.6cmである。全体的に摩滅した転蹀を素材とし、正面・上面・左側面が大きく剥離された状態で遺跡内に搬入された可能性がある。なお、接合371は、剥片を素材とする石核の小口面を連続的に剥離するⅡa類の剥離が行われているもので、最終的な石核は出土していない。

剥離工程 Ⅲa類の剥離を中心として作業が進行している。段階1・2は上面・左側面への正面からの連続的な剥離である。その結果、上面は左右に傾斜し、中央が山形に突出する形状となる。図版作成時に個体Aの範囲を誤って図示した。図版の網掛け部分は剥離以前に存在した同方向の内在する割れの範囲に相当する。実際は右側面上部が前述の剥離にあたるため個体Aの範囲から除かれる。また、右下部分を取り込むもので、作業面が右側面側に大きく傾いている。厚手の横長剥片で、石核の素材となっている(個体A)。

段階2以降は前段階部を外した中間の接合図(図Ⅲ-65-76)で説明する。基本的には前段の実測図と同様の据え方で図示している。段階3は正面への剥離で、段階2と交互剥離となっている。それと平行して裏面への上からの剥離(段階4)、左側面への裏面からの剥離(段階5)が行われ、再び段階2・3と同様に左側面・上面と正面との交互剥離(段階6・7・9-14)が行われる。段階8は途中に行われる正面上部の剥離である。剥片の傾向として、段階11までは、平坦な作業面から剥離されるものが多いため、幅広剥片が剥離されている。その後は剥離軸と平行する稜があるため、器体中央の稜線部が最も厚くなる剥片が剥離されることが多い。

段階9からは前段階部を外した最終の接合図(図Ⅲ-65-77)に図示した。基本的には前段の実測図と同様の据え方で図示している。段階14の末端が厚手であったため、正面が突出する形状となる。その結果、段階15も前段階からの交互剥離が連続するものだが、右側面での左側面からの剥離となっている。最終的に石核62が遺棄される。

個体AはⅢa類の剥離が行われる。素材打面部と背面との交互剥離(A-段階2-4)の後、右側面側が内在する割れにより剥落する(A-段階5)。次にそれを打面として、素材の末端部と側面との交互剥離(A-段階6・7)が行われ、最終的に石核63が遺棄される。なお、前述のとおりA-段階1は、本個体には含まれない。

分布 Sb-66の集中域を中心として分布する。段階、個体による分布の違いは見られない。

母岩別資料675・接合資料468 (図Ⅲ-66-71、図版69・70-1)

母岩別資料は接合468、剥片5点で構成され、総点数101点、総重量1,344.8gである。

素材 96点(72個体)が接合し、重量1,340.2g、大きさは10.4×13.4×13.0cmである。全体的に摩滅した転蹀を素材とし、ほぼ原石の状態で遺跡内に搬入されている。

剥離工程 Ⅲa類の剥離技術を中心に作業が進行している。正面(段階1)と上面(段階2)との交互剥離の後、左側面・上面(段階3・4・6)と裏面(段階5・7)との連続的な交互剥離が行われる。段階2の上面の剥離のうち大型のものは遺跡内から出土していないため、剥片の状態では遺跡外に搬出されたものと見られる。段階5・7とも厚手の剥片であるため、段階を追うごとに石核の裏面が傾斜し、段階7の作業面は左側面に傾いている。また、段階1は末端がすぼむ大型の剥片、段階3は

幅広の剥片、段階4は縦長剥片、段階5・7は厚手の剥片、段階6は打面部が厚く末端部が薄い剥片が剥離され、それぞれ石核の素材となっている(個体A-F)。これ以降の段階の剥片とは大きさに違いが見られる。従って段階7までが石核の素材を得るための剥離で、それ以降は石器類の素材を得るための剥離になったものと考えられる。

段階8以降は前段階部を外した中間の接合図(図Ⅲ-70-84)で説明する。基本的には前段の実測図と同様の据え方で図示している。段階8は正面を打面とする上面への剥離である。上面中央部の山形の突出を除去することが狙いであったと思われる。その後、左側面・裏面(段階9・11・14)と上面(段階10・12)との連続的な交互剥離が行われる。これは、ほぼ段階6・7と同じ作業部位である。段階14の後には、さらに上面での剥離が行われているが欠落している。末端が幅広の剥片である。途中に行われる段階13は、段階9の末端部のヒンジを除去するための石核下部の剥離である。その後、交互剥離の作業部位が段階13と交互剥離となる正面(段階15)への剥離→上面・右側面(段階16)と正面(段階17)→上面(段階18・20)と左側面(段階19)と頻りに移動していく。

段階17以降は前段階部を外した最終の接合図(図Ⅲ-71-85)で説明する。基本的には前段の実測図と同様の据え方で図示している。段階18~20の作業部位は段階9~12・14と同じである。その後正面下からの剥離(段階21)を挟んで、再び上面(段階22)と左側面(段階23)との交互剥離が行われる。以降はⅢb類の剥離となり、左側面に下から(段階24)→上面に正面から(段階25)→正面・左側面に下から(段階26)の剥離が行われる。なお、終盤に行われた下からの剥離である段階15・21・24・26は全て段階13で作出された作業面を打面としている。最終的に石核59が遺棄される。剥離開始時の母岩の大きさから1/5程度まで石材を消費している。また、段階10・18・26で剥離された剥片がそれぞれ裏面微細加工石器15、二次加工ある剥片24・26の素材となっている。

個体Aは段階1の剥片を素材としており、素材腹面側への平坦剥離と側面へのI b類の剥離(A-段階1)が行われている。最終的な石核は遺跡内からは出土しておらず、遺跡外に搬出された可能性が高い。

個体Bは段階3の剥片を素材とし、素材背面を正面に設定している。打面側と右側縁が節理面により折損(B-段階1)した後、石核を周回するように急角度のI a類の剥離が裏面から行われている(B-段階2)。最終的に六角形の石核38が遺棄される。

個体Cは段階4の剥片を素材としており、器体中央で素材を半割しそれぞれ剥片剥離を行っている(個体C-a・b)。素材の上半部にあたる個体C-aは、正面側への剥離(a-段階1)と折れ面からの側面へのII b類の剥離(欠落)が行われ、最終的に石核56が遺棄される。個体C-bは素材腹面を打面として折れ面へのII a類の剥離(b-段階1)が行われ、最終的に石核51が遺棄される。

個体Dは段階5の剥片を素材として、素材の腹面を正面に設定し、I b類の剥離を中心として剥離が進行している。上面への裏面からの剥離(D-段階1)の後、正面で求心状の平坦剥離が連続的に行われる(D-段階2)。左側面への剥離(D-段階3)の後、再び正面への剥離が行われる(D-段階4)。D-段階2の左側の作業面とD-段階3・4は交互剥離状となっている。最終的に石核45が遺棄される。

個体Eは段階6の剥片を素材として、素材の背面を上面、打面部を正面に設定し、II a類の剥離が行われている。上面から正面への連続的な剥離(E-段階1)が行われ、最終的に石核53が遺棄される。剥離角が直角に近く、打面部は階段状の細かい潰れが著しい。E-段階1で得られた剥片は、厚手で末端が幅広である。裏面微細加工石器5・10と二次加工ある剥片28の素材となっている。

個体Fは段階7の剥片を素材としている。素材の腹面を上面、末端部を正面に設定し、II a類を中

心とした剥離が行われている。打面を上面に固定して正面を中心とした連続的な剥離が進行する（F-段階1・3）。途中下からの剥離が僅かに見られる（F-段階2）。最終的に石核50が遺棄される。F-段階1の剥片が割器34の素材となっている。

分布 Sb-70の集中域を中心として分布する。段階、個体による分布の違いは見られない。

写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料500・接合資料374（図版67-2）は、小型の垂円礫の平坦面を求心状に剥離した状態で遺跡内に搬入している。遺跡内でもI b類の剥離が行われ、1点が割器35に加工されている。その後、平坦面への剥離は上方からのみとなり、小口面である右側面に下方からと、左側面への正面からの剥離が行われ、石核65が遺棄される。

母岩別資料492・接合資料364（図版70-2）は、小型の垂円礫を遺跡内にほぼ原石の状態で搬入し、正面と上面とのⅢ a類の剥離を主体として剥離が進行する。最終的に石核60が遺棄される。また、終盤に剥離された3点の剥片が裏面微細加工石器3・4・6の素材となっている。

母岩別資料488・接合資料358（図版71-1）は、分割した転礫の状態を遺跡内に持ち込み、分割面（正面）と素材背面（裏面）を打面に設定し、Ⅲ b類の剥離が行われている。最終的に上面から裏面にかけて大きく原礫面が残る石核68が遺棄される。また、初期段階で剥離された厚手の剥片が石核の素材となり、素材背面でⅡ a類、腹面側でⅠ a類の剥離が行われ石核67が遺棄される。分布はブロック間の接合関係が見られる。石器類の大部分はSb-67に分布するが、剥片素材の石核から剥離された剥片のうち2点がSb-69から出土している。

母岩別資料504・接合資料388（図版71-2）は、転礫を素材とし、上面に大きな剥離面がある状態で遺跡内に搬入している。Ⅲ a類の剥離を主体的に用いて剥離が進行している。初期段階では上面の平坦面と左・右・正面との交互剥離が中心となる。途中、作業部位が転移し、正面と右側面との交互剥離が行われる段階がある。最終的にⅢ b類の剥離が行われるが、ヒンジが激しく作業面の形状が不規則となり石核66が遺棄される。初期段階で剥離された横長剥片が石核の素材となり、I b類の剥離が行われ最終的に石核39が遺棄される。

母岩別資料490・接合資料360（図版72-74-1）は、正面と上面を大きく剥離した状態で遺跡内に搬入している。上からの大型の剥離を2回のみ行い、石核は遺跡外に搬出している。得られた剥片は石核の素材91と搔器31に利用されている。

91は上半部92（個体A）と下半部（個体B）に二分割され、それぞれ剥片剥離が行われている。個体Aは分割面を打面に設定し、正裏面でI b類の剥離を行う。最終的に横方向に縦長の剥片を剥離し、石核47が遺棄される。得られた3枚の剥片がさらに石核（個体A-a・b・c）の素材となっている。個体A-aは大きくウートラバッセを起こした剥片を素材とし、内反した腹面末端部を打面として、下端の素材面にI a類の剥離を1回行い、最終的に石核48が遺棄される。個体A-bは寸詰まり縦長剥片を素材とし、素材背面側でI a類の剥離を行う。ウートラバッセが起き石核形状が変形した後も同方向から2回の剥離が行われ、石核37が遺棄される。個体A-cの素材は縦長剥片の末端部を分割したものである。素材末端から側縁にⅡ b類の剥離を連続的にいき、最終的に石核55が遺棄される。

個体Bは素材腹面を打面として、小口面で大きく1回の剥離が行われている。剥片はウートラバッセを起こし、石核の素材93（個体B-a）となっている。最終的な薄手の石核は遺跡内から出土していない。個体B-aは、Ⅲ a類の技術を用いて主に正面と上面（分割面と素材腹面）での剥離が進行している。剥離の進行とともに正面の作業面が左右に傾斜し、正面が突出していく。その後、裏面へ

上面からの連続的な剥離があり、最終的に左側面と裏面との横方向の交互剥離が行われ、石核64が遺棄される。最後の裏面の剥離は上面との稜線を作業面に設定しているため、縦長剥片36となっている。また、6点の剥片が裏面微細加工石器12・13・20・21・94と二次加工ある剥片25の素材となっている。

分布は、ブロック間の接合関係が見られ、Sb-66・67・70の3か所から出土している。Sb-66からは個体Bの剥片全てと、個体Aの前半の剥片及び個体A-bの剥片全て、Sb-67からは個体Aの石核を含む後半の剥離と個体A-bの石核、Sb-70からは搔器31のみである。このことから、全体の剥離にあたる石核の素材91と搔器31を剥離した場所は不明だが、91をSb-66で分割し、個体Bと個体Aの前半の剥離を行い、Sb-67で個体Aの後半の剥離を行ったものと考えられる。

母岩別資料499・接合資料373(図版74-2・75)は、転蹀の状態で遺跡内に持ち込み二分割して、個体A(96)・個体B(98)のそれぞれで剥片剥離を行っている。個体Aは上面(分割面)と左側面とのⅢa類の剥離と右側面の横方向の剥離が行われ、最終的に石核70が遺棄される。初期段階の厚手の剥片が石核の素材となり、Ia類の剥離が行われ、最終的に石核97が遺棄される。

個体Bは正面へ左側面からの剥離後、右側で正面と裏面とのⅢa類の剥離が集中的に行われる。正面の剥離が激しいヒンジを起こし、最終的に石核69が遺棄される。(直江康雄)

(4) 石器ブロック71(Sb-71)の石器

出土石器(表Ⅲ-7・8)

二次加工ある剥片4点、搔器1点、石核2点、剥片15点の計22点、重量1,210.0gの石器類が出土した。石材は、黒曜石2が最も多く72.7%を占め、その他は黒曜石1(27.3%)のみである。

二次加工ある剥片(図Ⅲ-72-1~3、図版76)

4点(3個体)を図示している。いずれも腹面の縁辺に加工が施されるものである。素材は、1は中央部が最も厚く幅広い細身の五角形、2は台形、3は五角形で、いずれも7cm前後のやや大型の剥片である。背面の剥離面構成は、1は左右の横方向の剥離がそれぞれ中央の稜から発生しており、交互剥離の作業部位を転移して得られた剥片が素材と見られる。2は同方向、3は横及び下方向の剥離面で構成されている。原礫面は2の下部のみに残っており、角が摩滅した平滑な原礫面である。加工は1cm前後の長いものが主体で、1のみ2mm前後の加工の中に不規則に長い加工が混じっている。加工部位は、1が腹面左側縁の中央部から上部、2は鋭い縁辺である腹面右側縁の中央部から打面の一部と末端辺(打面とはほぼ平行する末端側の縁辺)、3は下端部で背面側に大きな剥離をした後、腹面側の末端辺に加工が施されている。

搔器(図Ⅲ-72-4、図版76)

1点(1個体)を図示している。背面の大半を転蹀面に覆われた剥片を素材としている。背面の剥離面構成は横方向のものが1枚のみ見られる。打面は横方向の単剥離打面である。加工は、縁辺が原礫面部分では全体に軽微で、剥離面部分は無加工部と浅いノッチ状の加工となる。下端部の右側と右側縁の下部のみ急角度の加工であり、全体的に素材の形状を大きく変えていない。

石核(図Ⅲ-72-5、図版76)

1点(1個体)を図示している。打面が大きく、下端部がすぼまる形態で、素材は礫素材である。下面を除いて全面で上からの剥離が主体を占め、裏面から左側面にかけては、打面作出前の剥離が残っている。打面は横方向の平坦打面で、バルブによる窪みが大きい。下面は小型で、正面方向からの剥離が見られる。

石器ブロック71 (Sb-71) の分布・接合状況 (図Ⅲ-73・74、表Ⅲ-7・8)

北東方向に緩やかに傾斜する標高450m付近で確認された。P25-27、Q24-26、R24-26、S25区の16.7×6.3mの範囲で確認された。遺物は密集せず、北東-南西方向に散漫に分布が広がっている。二次加工ある剥片4点、搔器1点、石核2点、剥片15点の計22点、重量1,210.0gの石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

ブロック内のほぼ全域にわたって接合関係が認められる。また、ブロック外のS30区付近にも数点分布しており、Sb-71と1点の接合関係が確認された。

母岩別資料・接合資料

Sb-71では、22点中16点を1母岩に母岩分類し、2個体(母岩別資料内1個体)の接合資料が得られた。その内1母岩を図示する(模式・写真のみ)。

母岩別資料509・接合資料398 (図Ⅲ-75、図版76)

母岩別資料は接合398のみである。

素材 21点(16個体)が接合し、重量は1,314.2g、大きさは12.9×12.7×10.9cmである。原礫面は転礫面で、ほぼ原石の状態で遺跡内に搬入されている。

剥離工程 正面上からの剥離(段階1)の後、左側面と同方向からの剥離が見られるが遺物は欠落している。大型の剥片であり、剥片の状態では遺跡外に搬出された可能性がある。その後、左側面(段階2)と裏面(段階3)→石核下端での正面(段階4)と裏面(段階5)との交互剥離の作業部位が転移し、裏面横方向の剥離(段階6)へと続く。段階6の剥片は石器の素材となり(個体A)、末端部を背面側に大きく剥離(A-段階1)した後、腹面側に細かな連続した加工が施され、二次加工ある剥片3となっている。次に段階6の作業面の末端部で、正面(段階7)と裏面(段階8)との交互剥離が行われる。段階7は連続的で、段階4とほぼ同方向の剥離である。その後、段階8の作業面の末端部を打面に設定し、右側面への剥離(段階9)が行われ、最終的に石核5が遺棄される。なお、石核5の上面が段階8の剥離面にあたる。段階7で剥離された末端幅広の剥片が二次加工ある剥片2の素材となっている。

分布 ほとんどがSb-71に散漫に分布する。1点のみ段階4の剥片が約20m東側に離れたブロック外のS30区から出土している。この剥片は背面を原礫面に覆われた厚手の剥片である。(直江康雄)

(5) 石器ブロック72~79(Sb-72~79)の石器**出土石器** (表Ⅲ-7・8)

台形石器1点、二次加工ある剥片8点、搔器70点、削器2点、錐形石器3点、縦長剥片1点、石核31点、剥片614点、斧形石器1点、台石1点、原石14点の計746点、重量28,739.7gの石器類が出土した。石材は黒曜石1・5が多く、それぞれ54.4%、37.1%で多数を占めている。以下少量の黒曜石4(3.2%)、黒曜石3(2.3%)、珪岩(1.7%)、めのう(0.5%)、安山岩(0.4%)、黒曜石2及び泥岩(0.1%)からなっている。他の「白滝I群」に比べ黒曜石5の割合が高く、石材のパラエティームも富んでいる。

台形石器 (図Ⅲ-76-1・2、図版77)

2点(1個体とI層出土1個体を含めた2個体)を図示している。1が完形、2は基部が一部欠損している。1は上半部が広がる撥形に整形したもので、上部にはほぼ水平で鋭い縁辺がある。腹面の縦断面が緩やかに湾曲する剥片を素材とし、素材の打面部を基部に設定している。素材の打面は単剥

離打面で、剥離角が 140° と大きく、バルブがほとんど発達していない。背面の剥離面構成は、同方向と下方向からのものが認められる。加工は両側縁のみに $60\sim 70^\circ$ の連続的な加工が施されている。左側縁が直線状、右側縁がやや内湾した加工である。刃部には刃こぼれ状の微細剥離が見られる。2は両側縁がほぼ平行する菱形のもので、上半部左側に斜行する鋭い素材縁辺を残している。加工により素材の詳細は不明だが、打面幅が大きく、両側縁がほぼ平行するものである。また、末端辺(打面とほぼ平行する末端側の縁辺)が僅かに残存し、打面側のリングもバルブに近いことから、それほど長くない寸詰まりの剥片であったと思われる。背面の剥離面構成は、左右横方向と下方向のものが認められる。素材の打面を右斜め上方に設定している。加工は両側縁のみに直線的に施され、右側縁は折れた後の加工である。側縁の角度は右側縁が 90° 前後、左側縁が 75° 前後である。刃部には刃こぼれ状の微細剥離が正裏両面に見られる。

二次加工ある剥片(図Ⅲ-76-3~7、図版77)

5点(5個体)を図示している。加工は3・4が素材の背面側、5~7は素材の腹面側に施されるものである。形態・素材・加工とも斉一性が見られない。3~6が完形品、7が上下両端の欠損品である。素材は変化に富み、厚手の剥片(3)、薄手の剥片(4・5)、厚手で寸詰まりの縦長剥片(6)で、7は欠損のため不明であるが、おそらく薄手の縦長剥片であろう。原礫面は、3に角礫面、5~7に転礫面が残存している。加工は、3がノッチ状で急角度、4が部分的な平坦加工と折れ面からの剥離、5が1cm前後の連続的な平坦剥離、6が2mm前後の微細加工、7が5mm前後の平坦剥離で両側縁に施されている。

掻器(図Ⅲ-76-8~図Ⅲ-84-58、図版77~82)

65点(48個体とI層出土3個体を含めた51個体)を図示している。Sb-72~79の中で最も多く出土した石器で、本石器群を特徴付けている。素材はいずれも剥片である。素材の用い方は、12~17・20~22・24・26・28~31・35・39・44・47・48・52~54・56が縦位、9~11・18・19・23・34・36・38・42・46・50・51・58が横位、8・25・27・32・33・37・40・41・43・45・49・55・57が斜位に用いているものである。また、前述の縦位・斜位のうち、素材打面側が刃部に設定されているものは、13・41・45である。原礫面は37個体に見られ、8・12・17・20・28・31~33・36・44・48・52・56が素材の打面、9・11・18・41が素材の末端、10・21・27・34・35・38が素材の側面、14・24・30・37・49・51・54・55が素材の側面から打面にかけて、13・16・19・23・29が背面の半分近く、53が背面全体を覆うように残存するものである。これらのほとんどは転礫面であるが、9・17・27・28はざらついた岩屑面である。石材は13が珪岩、26がめうで、それ以外は黒曜石裂である。

刃部の平面形態は三者見られ、円い8~33、突出する34~51、直線的な52~56、不明の57・58に分けられる。刃部厚は最も薄い31の1.7mmから最も厚い27の24.5mmまで幅広く見られる。平均は9.4mmであった(側面の加工も含む)。加工部位は、8~10・12・15・17・20・24・29・30・34・37・39・41・47・52・56が基部を除きほぼ全周、46が全周、14・16・18・22・27・31~33・35・36・38・42・45・49~51・55が刃部のみ、19・21・23・25・26・43・44・48・53・54が刃部と側縁の一部、11・13・28・40が刃部と片側縁全体に施されている。また、11・13・27・28は、片側縁が折れ面または急角度の素材面で、そこから背面若しくは腹面に平坦剥離が施されるものである。11・13は背面側に長さ2cm前後、27は腹面側に3cm前後、28は両面に平坦剥離が見られ、それぞれ石核と複合した機能が想定される。刃角の平均は 64.3° である。刃部の厚さを便宜的に7mmによって区分して刃角を比較すると、厚手が 68.1° 、薄手が 58.8° となり、両者には 10° 近い差が見られる。8・9・11・27・28は素材面と二次加工面の表面状態が異なり、前者には細かい傷があり、面的な光沢が弱い一方、後

者には同様の傷がなく、光沢がより強い。素材腹面と二次加工面の形成には時間差があると思われる。

8～33は刃部の平面形態が円いものである。器体の平面形態と前述の刃部厚の基準によって8～18が縦長の厚刃、19～25が縦長の薄刃、26～29が円形の厚刃、30が円形の薄刃、31～33が不整形の薄刃に大きく分けられる。8は腹面のリングから大きく刃部再生が進んだ状態であると思われる。裏面基部側に楯状剥離が見られる。9はウートラパッセを起こした剥片が素材である。10は加工の度合いが大きく、素材のバルブが半分以上減じている。11は左側縁と背面の平坦剥離のバティナが素材面より新しい。産地分析の結果、赤石山産と判定された(Ⅳ章4)。12の腹面は右側縁下部から刃部にかけて擦りガラス状の痕跡があり、腹面中央には細かいパンチ痕による傷が集中して線・面状に分布している。これらは埋没後の遺物移動によって礫層や他の石器との摩擦によって起こった現象とみられ、本石器群では少なからず観察される。13の左側縁の加工は腹面側に施されている。15は筋理による折損後、右側縁の加工が折れ面を切って施されている。産地分析の結果、赤石山産と判定された(Ⅳ章4)。16は器体中央部が最も厚く、刃部に向けての縦断面形が鋭い。19は3か所で加工が施され、下端と右側縁の刃部厚が薄手で、左側縁は厚くより急角度である。22は産地分析の結果、赤石山産と判定された(Ⅳ章4)。23の素材は末端がヒンジの剥片で、外反した端部にも加工が見られる。折損後、上半部の左側縁に折れ面まで及ぶ再加工が施され、縦長の搔器となっている。24は下端部が薄手で、両側縁に厚手の加工が見られる。産地分析の結果、赤石山産と判定された(Ⅳ章4)。25は左右の折れ面を切る加工が見られる。折れ面接合した二次加工前の状態は図Ⅲ-104-91に示した。26の左側縁はノッチ状の加工が腹面側に施されている。28の下端右側の加工はノッチ状である。29の上部の欠損は内在する割れによるもので、素材剥離時に起こったと見られる。31の左側縁は欠損している。

34～51は刃部の平面形態が突出するものである。刃部の厚さが7mm以上ある厚手の34～43と、7mm以下の薄手の44～51に大きく分けられる。34の左側縁上部は両面にわたって擦れたような潰れが見られる。他の資料は観察されず、埋没後に起こった可能性もある。35の下端左側の加工はノッチ状である。36の下端右側の加工は折れ面を切って施されている。折れ面接合した二次加工前の状態は図Ⅲ-108-97に示した。37は刃部厚が突出する刃部形態の中で最も厚く23.8mmに及ぶ。39は左右の側面の角度が異なり、右側縁がより鋭い。40の下端右側の加工は折れ面を切って施されている。折れは背面の器体中央部から放射状に広がっている。折損前にも加工があり、より円い刃部であったと見られる。41の下端左側の加工は折れ面を切って施されている。腹面側が大きく内湾しているため、器体の長軸が大きく窪み、横断面形が「へ」の字状になっている。42の石材は黒曜石4である。43の左右の側縁部の加工は素材の形をほとんど変えない平坦剥離である。44は基部側の両側縁に加工が施されている。45は上下を折損した剥片を素材としており、刃部左側の加工は折れ面を切って施されている。基部側は上下の折れ面が鋭く交わり、突出した形態となっている。46の加工は、素材打面部にあたる左側縁上部が最も急角度である。上部には折れ面を切る加工が見られる。47の下端左側の加工は僅かに内湾するもので、刃部が鋭く突出している。48の下端右側の加工は折れ面を切って施されている。折れ面接合した二次加工前の状態は図Ⅲ-103-89に示した。50は下端左側縁の延長線上に当たる器体中央部に3か所のパンチ痕が背面側に見られる。折り取りを試みた痕跡と思われる。51の下端右側の加工は折れ面を切って施されている。折れ面接合した二次加工前の状態は図Ⅲ-104-92に示した。

52～56は刃部の平面形態が直線的なものである。52は素材の腹面側に刃部が作出されるものである。背面側が内湾しているためであろう。両側縁の加工は背面側に施されている。53の刃部加工は素材の形態をほとんど変えていない短い平坦剥離である。54の刃部角は85°で、非常に急角度である。

56は下端右側の大きな加工の末端から折れ面への割れが広がり、次のノッチ状の剥離時に器体が折損している。二次加工前の状態は図Ⅲ-103-90に示した。

57・58は欠損により、刃部の平面形態が不明なものである。57は末端部が欠損している。両側縁に続く加工から薄手で円い刃部であったと見られる。57は器体右側が欠損している。刃部の加工は粗い。

錐形石器 (図Ⅲ-84-59-61、図版82)

3点(3個体)を図示している。60が完形品で59・61は基部欠損品である。寸詰まりの剥片を素材としている。突出部はいずれも1か所で、59・60は素材の末端部、61は側縁に作出している。加工は59・61が背面側、60は錯向状で突出部左側の加工が背面、右側が腹面に施されている。60は素材面と二次加工面の表面状態が異なり、前者には細かい多方向の傷が不規則にあり、稜が摩滅し、面的な光沢が弱く、くもりガラス状となっている。一方、後者には同様の傷がなく、光沢がより強い。素材腹面と二次加工面の形成には時間差があると思われる。

削器 (図Ⅲ-84-62・63、図版83)

2点(2個体)を図示している。2点とも完形品である。石材は、62が黒曜石4、63が安山岩1である。素材はいずれも剥片で、63は大型で背面の大半が原礫面に覆われている。加工は、62が背面側にやや平坦な剥離で直線状となり、63は交互状の剥離で、背面には内湾する急角度な加工、腹面には平坦剥離が施されている。

縦長剥片 (図Ⅲ-84-64、図版83)

1点(1個体)を図示している。上部欠損品である。角礫を素材とし、腹面は全体的にやや風化した面に覆われ、リングが大きい。上白滝8遺跡東地区(鈴木ほか 2004)のSb-4-6及び7・8の角礫素材の資料に観察された「露頭分離面」と類似している。石核の小口面の稜を利用して剥離されたものと見られる。

石核 (図Ⅲ-85-65-65-図Ⅲ-90-85、図版83-87)

23点(17個体とⅡ層出土1個体、Ⅰ層出土3個体を含めた21個体)を図示している。いずれも剥離の際に打面調整・頭部調整などの石核調整は施されず、剥離面のバルブが発達している特徴を持つ。

65-72・74は扁平で、剥離作業を主に素材の平坦面で行っているもので、Ⅰ類の剥片剥離が行われた際の残核と思われる。素材は65・66・74が剥片、67-69が縦長剥片、70-72が礫である。剥片素材のものは素材背面に転礫面があり、剥離の比較的初期段階で得られた剥片を素材としている。作業面は主に65-67・69が素材の腹面側、68・74が背面側に設定されている。また、65-67・69は素材腹面のバルブ周辺を作業面に取り込んでいる。主に末端が薄手もしくはヒンジで、寸詰まり剥片が剥離されている。65は素材背面末端部にあたる裏面末端部に連続的な細かい加工があり、搔器としての機能も複合していたと見られる。66は上下からの剥離が見られるが、上半部の作業面が小口面化している。

67の素材の背面剥離面構成は、同方向のみで構成されている。剥離作業は平坦剥離が主体で、全体的に薄手で小型の剥片が剥離されている。68の上半部の剥離の打面には多数のパンチ痕が残存している。69は素材の背面末端部にあたる裏面右側縁に平坦で連続的な細かい加工がある。相対する正面側にはより細かく潰れたような階段状の剥離が見られる。71の上面には作業面とはほぼ90度の剥離面がある。作業面の剥離痕は大型のものが多く、末端まで抜ける剥離が上下で見られる。72は上・右方向からの剥離のみ行われ、剥離痕は大型で末端まで抜けるものも見られる。

73・75-78は素材の小口面で剥離作業を行っているもので、素材は73・75が剥片、76-78が礫である。Ⅱ類の剥片剥離が行われた際の残核と思われる。打面は73・78が素材の広い平坦面、75-77が素材の小口面にほぼ固定される。なお73の打面は素材の背面にあたる。その結果、73・78は末端が幅広く

の剥片、75～77は縦長剥片が主に剥離されている。原礫面は73・75～78の全てに残存しており、73・76・77には角礫面、75には転礫面が見られ、剥片を素材とする73・75では、素材の背面に大きく残存している。73は作業面長が約1.5cmで、厚さも小さく、石核の剥離可能な部分を十分消費し尽くしている。不規則で細かい多方向の傷が全面的にあり、稜が摩滅し、面的な光沢が弱く、くもりガラス状となっている。錐形石器（図Ⅲ-84-60）で観察された表面状態と類似するものである。同一母岩がなく搬入品であることから、移動時に付着した傷であると考えられる。75は縦長剥片を素材としており、正面の下端から左側縁にかけて搔器状の加工が見られ、折損後、上半部は裏面を含めた左右の側縁と、下面（折れ面）で剥離が行われている。下半部では裏面と折れ面との剥離の他に正面上からの細かい階段状の潰れが見られる。76の上面は折れ面である。正面と裏面で石核の幅と同様の縦長剥片が剥離され、正面は大きくウートラバッセしている。77は三角柱状の原石を斜方向に利用して剥離が行われている。打面を作出後、正面の作業面が右から左側に移動しており、最終剥離の左側の打面には多数のパンチ痕が見られる。78は幅広で薄い原石の上端部での剥離が見られる。

79・80は厚手の礫素材で、石核を輪切りにするように末端まで抜ける剥離を一方から行っているものである。いずれの原礫面も転礫面である。前述の72も同様の特徴がある。79の作業面下部には直径2cmの球顆がある。

81～85は打面転移を数多く行っているものである。素材はいずれも礫であるが、81・85は厚手の剥片であった可能性がある。全ての石核に原礫面が見られ、81・83・84は下面と裏面若しくは側面、82はほぼ全面的に、85は下面に一部残存している。81の左側面から正面にかけては上から、上面では横からの剥離が見られる。左側面の剥離は打面位置がかなり上部であった古い剥片と見られる。82の石材はめのうである。原礫面の残存状況から、原石状態からそれほど変化なく石核が遺棄されたと見られる。剥離は左側面・正面が上から、上面は正・裏面からの剥離が見られ、上面と正面は交互剥離状となっている。いずれも末端まで抜けていない短い剥離で構成されている。83は正面・右側面が上から、上面は横からの剥離が見られ、右側面と上面は交互剥離状となっている。正面と右側面との稜は直角に近い。84は正面と上面、正面と左側面、左側面と裏面の3か所で交互剥離が見られる。左側面下からの剥離は激しいヒンジとなっている。85は各面に多方向の剥離が見られる。寸詰まり剥片が多く剥離されているが、最終剥離は縦長剥片となっている。上面には横から2か所で細かい集中的な剥離が施されている。リングの状態から左側面の剥離はかなり大きな剥離面であったと予想される。

斧形石器（図Ⅲ-90-86、図版87）

1点（1個体）を図示している。石材は泥岩製である。扁平で上部がややすぼみ楕円形の礫を素材としている。原礫面は平滑で、遺跡内の礫層に多く見られる風化が進んだ礫とは異なる。正面上部と裏面上部からの剥離が見られる。加工が少なく、素材の状態をほとんど変えていない。

台石（図Ⅲ-90-87、図版87）

1点（1個体）を図示している。石材は多孔質の安山岩2である。上部・右半部・下部を欠損しており、全体の形状は不明である。原礫面は全面的に滑らかである。全体的に平坦だが所々に窪みがある。

原石（図版-88-1-102～115）

15点（14個体）を写真のみ掲載している。いずれも角礫の棒状原石及びそれに類する角礫の原石から剥離されたものである。裏面に縦方向の剥離面があるのは102・104・105・107～109・111である。いずれも搬入品で、遺跡内で剥離された痕跡がなく、他の棒状原石と同様の形態であることからここに図示した。残存状況は、下部欠損が105、上下欠損が102・107・109～111・113～116で、上下及び側面欠損が103・104・106・108・112である。原礫面は、102がやや風化し大きなリングが残る面、111

の正面がややザラついた岩屑面、それ以外は平滑な面で、剥離面が軽く風化を受けた程度である。102の原礫面は縦長剥片64で観察された「露頭分離面」と類似する。側面が大きく欠損した103・106・112以外は、裏面が平坦で正面に両側縁と平行する稜が1～3本程見られる。従って、断面形が石刃と類似する。

石器ブロック72～79 (Sb-72～79) の分布状況

遺跡西側の10ラインを中心として分布している。標高は442.5～446.5mで、ブロックにより高低差があるが、多くはより低い位置にまとまっている。地形は、ほぼ南北方向に緩やかに傾斜する緩斜面上である。北側の台地の縁に北東-南西方向に並んでSb-72・74・76・78があり、そこから南側にSb-75・77が分布している。Sb-75は標高が最も高い位置にある。Sb-72～78は近接しているが、Sb-79はそれらのまとまりから西側に25m程離れたP3区付近に分布する。

石器ブロック72 (Sb-72) の分布 (図Ⅲ-90、表Ⅲ-7・8)

H13・14、I13・14区の3.8×5.8mの範囲で確認された。北西側の調査区範囲外にも分布が僅かに広がっていたと見られるが、台地の縁にあたり、後世の浸食を受け消失したものと思われる。H・I13・14区の境に散漫な集中域がある。搔器2点、石核1点、剥片18点の計21点、重量994.9gの石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック73 (Sb-73) の分布 (図Ⅲ-91、表Ⅲ-7・8)

I14～16、J14・15、K13・14区の10.6×5.9mの範囲で確認された。ブロックの西部にあたる14ラインに散漫なまとまりがある。搔器7点、石核4点、剥片14点の計25点、重量2,876.1gの石器類が出土した。石材は搔器1点、剥片1点が珪岩製で、その他は全て黒曜石である。

石器ブロック74 (Sb-74) の分布 (図Ⅲ-92・93、表Ⅲ-7・8)

K12、L11～13、M12・13区の11.3×10.3mの範囲で確認された。L・M13区に散漫なまとまりがあり、L12区西部に直径2.5m程の環状の分布が見られる。搔器12点、錐形石器1点、二次加工ある剥片1点、石核6点、剥片85点の計105点、重量4,239.8gの石器類が出土した。搔器を高い割合で組成する(11.4%)。石材は搔器1点がめのう製で、その他は全て黒曜石である。

石器ブロック75 (Sb-75) の分布 (図Ⅲ-94、表Ⅲ-7・8)

Q13～15、R12～15、S12～16区の11.0×18.4mの範囲で確認されたが、調査区範囲外のT13～16区にも分布が広がると考えられる。非常に散漫な分布で14ラインにやや遺物がまとまっている。搔器2点、剥片57点の計59点、重量1,036.4gの石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック76 (Sb-76) の分布 (図Ⅲ-95、表Ⅲ-7・8)

L9・10、M8～11、N10区の8.9×11.6mの範囲で確認された。北西側の調査区範囲外にも分布が広がっていたと見られるが、台地の縁にあたり、後世の浸食を受け消失したものと思われる。L9・10、M10区を中心としてまばらに分布する。搔器2点、削器1点、二次加工ある剥片4点、縦長剥片1点、石核3点、剥片105点の計116点、重量5,962.0gの石器類が出土した。石材は安山岩製の削器、珪岩製の剥片2点、めのう製の剥片1点があり、その他は全て黒曜石である。

石器ブロック77 (Sb-77) の分布 (図Ⅲ-96～99、表Ⅲ-7・8)

N9～11、O9～11、P9～11、Q10・11、R10・11区の19.7×9.4mの範囲で確認された。分布は南北方向に間延びしている。P・Q10区に集中域があり、そこから北部はやや東西に広がる散漫な分布である。台形石器1点、二次加工ある剥片1点、搔器35点、削器1点、錐形石器1点、石核16点、剥片245点、斧形石器1点、台石1点、原石14点の計316点、10,783.1gの石器類が出土した。石材は

安山岩2点、珪岩9点、めのう2点、泥岩1点があり、その他は全て黒曜石である。黒曜石以外の石器を器種別に見ると安山岩製台石、泥岩製斧形石器、めのう製石核がそれぞれ1点ずつ見られ、その他は全て剥片である。

石器ブロック78 (Sb-78) の分布 (図Ⅲ-100、表Ⅲ-7・8)

M8、N7～9、O7区の7.1×8.2mの範囲で確認された。北西側の調査区範囲外にも分布が僅かに広がっていたと見られるが、台地の縁にあたり、後世の浸食を受け消失したものと思われる。N8区に散漫なまとまりがある。搔器10点、二次加工ある剥片1点、剥片28点の計39点、重量1,250.7gの石器類が出土した。搔器を高い割合で組成する(25.6%)。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック79 (Sb-79) の分布 (図Ⅲ-100、表Ⅲ-7・8)

O3、P3・4区の5.9×4.1mの範囲で確認された。P3・4区の境に南北方向に1m程細長く延びた集中域がある。錐形石器1点、二次加工ある剥片1点、石核1点、剥片62点の計65点、重量1,596.7gの石器類が出土した。石材は黒曜石のみである。

石器ブロック72～79の接合状況 (図Ⅲ-101・102)

Sb-72～79ではブロックにより接合状況が異なる。Sb-74・76～79はブロック内の接合を中心としてブロック間での接合関係が確認されている。特にSb-74・77にはブロック間の接合関係が多く見られる。その他のSb-72・73は接合関係が希薄で、Sb-75はブロック内で完結する接合状況がなく、Sb-77との関係性が強い。それぞれ濃淡はあるがブロック間での接合関係が確認されている。また、ブロック外であるSb-75の東側とSb-77の東側の2か所との接合関係がまとめて確認された。いずれも接合状況からSb-77との関係性が強い。

Sb-72～79では原礫面にざらついた岩屑面を持つ角礫を素材とした石器類が一定量見られた。Sb-74・76～78で確認され、Sb-76に主体的に見られる。接合状況はブロック内の接合が中心で、Sb-76・78で1例のブロック間接合が確認された。

母岩別資料・接合資料

746点中413点を36母岩に母岩分類し、87個体(母岩別資料内60個体)の接合資料が得られた。その内4母岩を図示し、3母岩を写真のみ掲載している。

母岩別資料533・接合資料436・437 (図Ⅲ-103～106、図版88-2・89)

母岩別資料は接合436～438・50987、剥片4点で構成され、総点数44点、総重量1,294.6gである。

素材 接合436は、22点(18個体)が接合し、重量718.2g、大きさ14.2×20.1×5.5cmである。接合437は、14点(10個体)が接合し、重量508.1g、大きさ9.6×14.2×5.2cmである。原礫面は転礫面で、扁平な正面部を平坦に大きく剥離した状態で遺跡内に搬入されている。

剥離工程 剥離の前半である接合436(図Ⅲ-103-88)から説明する。I a類の技術を用いて、正面の平坦な作業面を求心状に剥離していく(段階1～5)。いずれも大型の剥片が剥離されており、搔器7点の素材となっている(段階1:搔器34・48、段階2:搔器10、段階3:搔器56、段階4:搔器25、段階5:搔器51・31)。また、搔器21も同一母岩であり、素材の大きさから、この前後に剥離された剥片を素材としていると思われる。搔器の素材の状態を示す資料が4個体得られた(個体A～D)。個体A・C・Dとも折損後に割れた素材の形態を利用している。個体BはB-段階1の集中的な刃部加工によって折損し、搔器56が遺棄されている。

接合437(図Ⅲ-106-93)は後半の接合資料で、平坦な正面での剥離が続く。上下からの連続的な剥離(段階1・2)が見られる。段階2の作業面は急角度で、小口面に移行している。最終的に横方

向からの剥離(段階3)が行われ、石核66が遺棄される。

分布 Sb-73-75・77・78の5つの石器ブロックに分布が及んでいる。接合436では、段階1～3まで(個体Bを除く)がSb-78に散漫に分布し、個体B及び段階4(個体Cの剥片1点を除く)がSb-77の集中部から出土している。個体Cの搔器に折れ面接合する剥片1点がSb-75の中心部から出土している。段階5は先に剥離された2点がSb-74から、後の2点のうち搔器1点がSb-73から単独で出土し、その他はSb-77に分布している。接合437では段階1の中の1点がSb-75、その他は石核を含めてSb-77に分布している。Sb-77では比較的集中域にまとまっているが、北部縁付近に段階2の折れた剥片が1点見られる。

全体的にSb-77に分布する石器類が多く、最終的な石核も同ブロックから出土している。このことから全体の剥離をSb-77で行い、搔器や剥片をそれぞれ他のブロックに持ち出した可能性が高いが、剥離を行いつつブロック間を移動し、製作した搔器をさらにブロック外に持ち出していた可能性も否定できない。

母岩別資料532・接合資料432(図Ⅲ-107-110、図版90-92-1)

母岩別資料は接合432-435・50804-50806、剥片7点で構成され、総点数61点、総重量3,371.6gである。

素材 35点(26個体)が接合し、重量2,264.3g、大きさは14.5×19.3×12.7cmである。「爪状痕」のある転蹀面を素材としている。同一母岩の資料中に背面が原蹀面に覆われたものがないため、正面と上面を大きく剥離した状態で遺跡内に搬入している。

剥離工程 主にI a類の剥離を中心として作業が進行している。平坦な正面で主に上下からの剥離(段階1・3～10)が行われている。途中の段階2は正面から上面への剥離で段階1・3との交互剥離となっている。段階2の剥片は搔器18に加工されている。段階3は右側での集中的な剥離で、その結果作業面が右側面に傾く。段階4の剥離は末端がヒンジとなるものが多い。段階3と5の間には裏面横方向の剥離が行われているが欠落し、それは段階5とは交互剥離の関係となる。

段階6～8は前段階部を外した中間の接合図(図Ⅲ-108-95)、段階9はさらに前段階部を外した中間の接合図(図Ⅲ-108-96)、段階10以降は最終の接合図(図Ⅲ-109-99)で説明する。段階6～8は正面の中央部を中心とし、段階9は中央左側に偏った剥離である。これらの剥離の結果、段階3で発生した石核右側の傾斜がなくなり、再び正面全体が平坦化する。段階9の剥片は搔器及び石核の素材となっている(個体A・B)。全体的な傾向として、剥片は末端まで剥離が抜けるものが多く、正面の平坦面を大きく崩さずに同様の剥離が進行していく。剥片の形状は幅広のものが主体的であるが、段階4では素材背面の稜線に合わせて剥離軸を設定している。そのためやや縦長となる剥片が剥離されている。最終的に石核71が遺棄される。

個体Aは剥片の末端部を切断後(A-段階1)、側縁と末端部の角を利用して刃部を作出し、搔器36に加工されている。

個体Bは剥離時に末端部が折損し、その後折れ面を作業面とする剥離が行われる(B-段階1)。次に正面で平坦な剥離(B-段階2)が行われ、最終的に石核74が遺棄される。左側縁下部には搔器の加工に類似した剥離が見られるが、端部まで及ぶものではない。

分布 Sb-76・77の2か所とSb-75の東側のブロック外に分布が及んでいる。段階1の剥片がSb-76、段階9の剥片1点がブロック外に分布し、その他はSb-77の集中域及びその南側からまとまって出土している。

母岩別資料523・接合資料420(図Ⅲ-111、図版92-2)

母岩別資料は接合420・421で構成され、総点数14点、総重量739.3gである。

素材 12点（11個体）が接合し、重量718.6g、大きさ8.0×10.0×9.7cmである。平滑で角が摩滅した転礫を素材とし、正面と上面を大きく剥離した状態で遺跡内に搬入している。

剥離工程 Ⅲ a 類の剥離を中心に作業が進行している。正面と上・左側面との交互剥離（段階1・2）の後、右側面と裏面との交互剥離（段階3・4）へと続き、最終的に石核84が遺棄される。

分布 Sb-77の北部から散漫に出土している。

母岩別資料543・接合資料457（図Ⅲ-112、図版93-1）

母岩別資料は接合457のみである。

素材 9点（7個体）が接合し、重量527.9g、大きさ20.9×6.9×5.5cmである。素材は三角柱状の角礫で原礫面は平滑である。上端を剥離した状態で遺跡内に搬入されている。

剥離工程 Ⅱ 類の剥離を中心として作業が進行する。上端で作業面が裏面に傾く横方向の剥離（段階1）が行われる。段階2以降は石核の上端を左右斜めに利用している。正面上からの剥離（欠落）の後、その作業面から右側面の小口面が剥離（段階2）され、左側面と右側面との交互剥離（段階3・4）が続き、最終的に石核77が遺棄される。段階2の剥片が二次加工ある剥片3の素材となっている。細長い原石形状であるが、作業面は原石長軸より斜めに設定しているため、寸詰まりの剥片が多く剥離されている。

分布 ほとんどはSb-76のM10区にまとまって分布し、段階1の折れ接合する片側1点が4m程北側に離れたL10区から出土している。

写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料515・接合資料407（図版93-2）は、扁平な転礫を素材としている。正面を大きく剥離した状態で遺跡内に搬入されている。平坦な上面を剥離後、Ⅱ a 類の剥離が連続して行われる。最終的な石核は遺跡内から出土していない。剥片2点が搔器19・44に加工されている。

母岩別資料539・接合資料449（図版94-1）は、扁平な転礫を素材としている。ほぼ原石の状態で遺跡内に持ち込まれている。平坦な広い面を作業面としてⅠ b 類の剥離が行われている。最終的な石核は遺跡内から出土していない。

母岩別資料507・接合資料446（図版94-2）は、ザラついた岩屑面がある大型の剥片を素材としている。内在する割れにより原石の長軸で半割されている。正面左側（個体A）は、原礫面からのⅡ a 類の剥離が1回行われた石核である。右側（個体B）は分割面からのⅢ b 類の剥離が中心に行われている。個体Bの最終的な石核は遺跡内から出土していない。（直江康雄）

（6）「白滝Ⅰ群」石器ブロック外の石器

二次加工ある剥片（図Ⅲ-113-1、図版94-3）

1点（1個体）を図示している。素材は寸詰まりの剥片で、背面の剥離面構成は腹面とはほぼ同方向である。素材の打面側にあたる裏面下部の両側縁に7mm前後のやや長めの加工が鋸歯状に施されている。裏面右側縁上部には長さ約1cmの横長の剥離が見られる。右側面の平坦面は素材剥離時の割れと思われる。

搔器（図Ⅲ-113-2、図版94-3）

1点（1個体）を図示している。打面が幅広く厚手の剥片を素材としている。背面の剥離面構成は腹面とはほぼ同方向である。素材の末端部を刃部に設定し、縁辺をほぼ全周する軽微な加工が施されて

いる。刃部は円みがあり、薄手である。

石核 (図Ⅲ-113-3、図版94-3)

1点(1個体)を図示している。剥片を素材とする石核である。素材の腹面側を作業面に固定して上下からの剥離が行われている。上半部の剥離は素材のバルブ周辺にも及んでいる。主に長さ1.5cm前後の末端が薄手もしくはヒンジで、横長の剥片が剥離されている。二次加工ある剥片1と同一母岩である可能性が高い。

分布 (図Ⅲ-113)

1・3は調査区西端のR0・1区から出土し、最も近い「白滝I群」のブロックは約15m離れたSb-79である。2はK19区から出土し、Sb-73から東に18m、Sb-70から西に35m離れて単独で出土している。技術形態学的には1の類別はなく、3のような小型剥片を石核の平坦面で剥離するものはSb-64~70に多い。2はSb-72~79の搔器と類似する。(直江康雄)

(7) G区・石器ブロック80~89(Sb-80~89)の石器

出土石器 (表Ⅲ-7~10)

尖頭器49点(I類44点、II類4点、III類1点)、尖頭器削片27点、両面調整石器8点、ナイフ形石器1点、彫器25点(I類8点、II類17点)、彫器削片4点(II類3点、III類1点)、搔器35点、削器82点、錐形石器7点、舟底形石器98点(Ia類6点、IIa類90点、IIb類2点)、二次加工ある剥片45点、石刃208点、縦長剥片293点、石刃核31点、石核25点、剥片16,156点、原石3点の計17,097点、重量133,540.5gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が64.7%で最も多く、黒曜石1(26.9%)、黒曜石3(6.9%)、黒曜石5(1.2%)が続き、以下黒曜石2(0.2%)、頁岩(0.05%)である。石刃核・石核・剥片は黒曜石4が60%以上を占め、主に黒曜石4を利用した剥片剥離が行われ、削器・錐形石器も同様な傾向を示す。特に舟底形石器は黒曜石4が80%を占める。一方、尖頭器・彫器・搔器は黒曜石1が60%を占める。また、彫器(3点)・錐形石器(2点)には頁岩が含まれる。

尖頭器 (図Ⅲ-114-1~図Ⅲ-115-11、図Ⅲ-513-1・2、図版95・402、図版107-216)

18点(12個体とI層出土1個体を加えた13個体)を図示、1点(1個体)を写真のみ掲載している。1~7・図版107-216はI類である。1は薄手の大型剥片素材で、正面はほぼ全面に、裏面は縁辺部に加工が行われる。正面の加工は、中央部は平坦剥離、縁辺部はやや角度のある剥離によるもので横断面形は台形に近い。裏面の上半分の広い範囲はリングと同一方向の擦痕により磨りガラス状である。擦痕は表面を完全に研磨したような激しいもので、凹凸のある低い部分にも分布する。この擦痕の大部分は加工に切られているが、一部加工を切るものもあり、表面状態は素材面、擦痕に切られる二次加工面、擦痕を切る二次加工面の三段階に分けられる。

2~5・図Ⅲ-513-1は粗い加工の尖頭器で、2・図Ⅲ-513-1は角縁、3~5は同一母岩の転礫素材である。全て黒曜石1の剥片素材で、縁辺部調整は行われず、加工は主に反対面の剥離面の稜を打撃して行われるため、側縁の稜は交互剥離状にギザギザしている。図Ⅲ-513-2は、大きさはこれらに類似するが、正面左側縁は平坦剥離により器面が整えられ、縁辺も細かな剥離により滑らかである。2~5・図Ⅲ-513-1・2が出土しているSb-89はH区との関連が想定される(P141)ことからそれらは忍路子型細石刃核の母型の可能性がある。大きさは長さ12cm以下、幅5cm以下、厚さ2cm以下と小型で、やや細長く左右非対称である。

6は小型で薄手の尖頭器である。両面に押圧剥離と考えられる平行剥離が見られ、側縁は鋸歯状で

ある。縄文時代の遺物の混入の可能性がある。7は非常に大型の尖頭器の折損品である。両面とも大型の剥離面で構成され、縁辺部には細かい剥離面が見られる。右側縁から正面への最終剥離によって折損している。図版107-216は大型品で、比較的大型の平坦剥離面と縁辺のやや小型の剥離面で構成される。下端部周辺は折損後、再加工が行われる。

8-11はⅡ類である。石質は全て黒曜石4である。全て両側縁で削片が剥離され、8・10・11は折れ面を打面として両側縁に、8はさらに左側縁を打面として折れ面（上面）で剥離が行われる。9は下部から左側縁への剥離の後、折れ面から右側縁に削片が剥離される。11は削片剥離前に正面の最も突出した部分（最も厚い部分）が除去されている。削片剥離の際には明瞭な頭部調整は行われない。8・11、9・10はそれぞれ同一接合資料である。剥離される削片幅は尖頭器の厚さに規定され、尖頭器の厚さは1.7-2.5cmで、幅1.2-3.0cmの削片が剥離されている。

尖頭器削片（図Ⅲ-115-12～図Ⅲ-116-21、図版96）

19点（10個体）を図示している。石質は全て黒曜石4である。12-17は断面三角形の削片で、二次削片である14を除いて尖頭器の側縁が残る断面三角形の一次削片である。16の末端部には反対側縁での削片剥離痕が残り、厳密な意味での一次削片ではない。側面形は剥離される尖頭器形状を反映し、直線的で先端部が若干湾曲する。断面形は二等辺三角形に近いものが多いが、15のように傾くものもある。14は先行の削片剥離により傾いた作業面から剥離された二次削片で、最も傾いた上部右側面への後調整後に剥離されている。15・16は尖頭器本体の下端部が取り込まれている。

18-21は断面四角形の二次削片である。打面の残存する18・19には頭部調整が認められず、打点は打面である尖頭器折れ面の左右端部に位置する。18・20・21の先端部には尖頭器の下端部が取り込まれ、20・21の先端部には反対側縁での、20には折れ面から、21には下端からの削片剥離面が残る。

長さは5-16cm、幅は1-3cm、厚さは0.8-2.8cmである。①尖頭器本体の下端部を取り込む剥離が多く、それに伴い本体の長さが次第に減少すること、②折損時（削片剥離直前）の尖頭器自体の大きさに差異があることから削片の長さに差異が見られる。また、形態は作業面形状を反映して両側縁が平行である。

両面調整石器（図Ⅲ-116-22、図版96、図版107-217）

2点（1個体）を図示、2点（1個体）を写真のみ掲載している。22は角礫から剥離された厚手の剥片素材で、両面とも粗い加工が行われる。図版107-217は20cmを超える大型品である。両面とも大型の平坦剥離により加工され、中央での折損後、両破片ともに折れ面周辺を主体として再加工が行われる。その折れ面には、裏面中央やや右寄りのリングの隆起した部分に打点が残り、折り取りを意図した可能性がある。

ナイフ形石器（図Ⅲ-116-23、図版96）

1点（1個体）を図示している。23は寸詰まりの剥片素材で、素材を横方向に利用し、弧状の側縁を残し、基部両側縁を内湾するように加工し、扇状に整形される。基部加工は、腹面側は平坦、背面側は角度のあるもので、縁辺は潰れている。加工のない縁辺には両面に微細な剥離が見られる。

彫器（図Ⅲ-116-24～図Ⅲ-117-44、図版96・97）

23点（20個体とⅡ層出土1個体を加えた21個体）を図示している。24はⅠ類からⅡ類に変化したものの、25-29はⅠ類、30-44はⅡ類である。

石材は黒曜石1が多く、41・42は頁岩製で原礫面が残る。素材は石刃・縦長剥片がほとんどで、打面の残存するものは単剥離打面である。

彫刀面は全て左肩に、基部側の42・43を除いて素材先端側に作出される。彫刀面打面は直線的な24・

29・32・34・43を除きノッチ状に作出される。背面先端部調整はⅠ類には見られないが、全てのⅡ類に認められ、その半数は打点が無く、彫刀面に切られている。

周縁加工は、背面側は急角度の、腹面側は平坦な加工によって行われ、その分布は、背面側は部分的な44を除き両側縁全体に、腹面側は31・38・41～43には主に片側縁から部分的に、33・35には両側縁から面的に行われる。

大きさは、大型の44を除くと長さ27～75mm、幅15～23mm、厚さ4～8mm（厚手の41を除く）で、長さによる形態差が大きい。

明瞭な二重パティナ（多段階表面変化）は見られないが、折損品である非掲載資料（遺物番号N35-121）に1点認められる。また、37の背面は擦痕によって摩滅しているが、その分布は素材面と二次加工面にまたがり明瞭な区別が困難であることから埋没後の影響によると考えられる。

39は下部の折損後、折れ面周辺に再加工が行われる。42は端部にノッチ状の彫刀面打面を作出し、素材縁に沿って彫刀面が作出され、43は基部側から続く直線的な側縁を打面として斜めに彫刀面が作出される。42・43は①彫刀面が素材打面側に作出され、②彫刀面が直線的で、③形態軸・彫刀面交叉角が比較的小さい特徴が他の彫器（小型舟底形石器に伴うもの）と区別でき、また、それらはH区との関連が想定されるSb-89に分布することから忍路子型細石核石器群に関連するものと考えられる。

彫器削片（図Ⅲ-117-45～53、図版97）

9点（3個体とⅠ層出土3個体とⅡ層出土3個体を加えた9個体）を図示している。45～47は彫器Ⅰ類から剥離されたもので47は頁岩製。46・47には打点の無い背面先端部調整が残る。48～53は彫器Ⅱ類から剥離されたもので、全てに背面先端部調整が見られ、それには49を除いて打点が残る。

搔器（図Ⅲ-117-54～図Ⅲ-119-74、図版97・98、図版107-218）

32点（20個体とⅠ層出土1個体を加えた21個体）を図示、1点（1個体）を写真のみ掲載している。54・55は単剥離打面の頭部調整を伴う石刃核から剥離された10cm以下の石刃素材で、両側縁に急角度の加工が行われる。石質は黒曜石4・5で、小型舟底形石器に伴うタイプの搔器である。55は刃部再生が階段状になって遺棄されたものと考えられる。

56～72は石刃素材で、側縁加工がほとんど行われないものである。54～64は完形品、65～72は折損品である。石質は黒曜石1・5が多い。全て石刃素材で、62・63は20cmを超える大型石刃、63・64は大型石刃核から剥離された稜付石刃素材である。素材打面は複剥離打面のものが多く、稜付石刃や素材面に石刃核の側面調整が残るもの（58・62）が存在する。また、60・64は母岩693（図Ⅲ-198～201）、62・63は母岩702（図Ⅲ-514）、59・65～69は母岩1221（図Ⅲ-175）、72は母岩701（図版-171）に含まれ、素材は稜調整・側面調整などの石核調整のある石刃核から打面調整を行いながら剥離されたと考えられる。

刃部は平坦な剥離により比較的鋭角に作出され、刃部縁には1mm以下のやや角度のある剥離がみられる。67・71・72の刃部は軽微な剥離で加工され、71・72は刃部に素材先端部の特徴が残り、素材の減少が見られず、刃部再生の頻度は低い。刃部形状は弧状・直線的なものが多い。このタイプの搔器の背面には特徴的なパンチ痕が認められるものがある。それは、刃部の二次加工と背面との稜上ないしやや手前・奥に位置し、器体幅のほぼ中央付近にあるものが多い。二次加工の稜上にあるものは刃部側からの剥離と向かい合う両側剥離の特徴を示す。パンチ痕の直径は0.7mm程度である。この痕跡は白滝遺跡群の搔器では小型舟底形石器に伴う搔器には認められず、上白滝2遺跡Sb-15などの有舌尖頭器石器群で認められることから時期を限定する指標となる可能性がある。56～60・65・

66・68～70の側面形は直線的でほとんど反りが無く、64は上部折損後再加工が行われている。大きさは長さ①15cm以上、②10cm前後、③5cm前後の三種類があり、それぞれ素材石刃の大きさを反映している。幅は2～6cm、厚さは0.5～1.7cmと多様である。小型舟底形石器に伴う搔器が長幅厚とも類似するのに対し、全てにおいて著しい変異が認められる。その要因として素材の変異が大きいこと、側縁調整が少ないことによる規格化が行われないことが挙げられる。接合資料に含まれるものはSb-86の北東部(図Ⅲ-142)、Sb-89の南西部(図Ⅲ-146)に分布し、接合資料はH区(Sb-90)とまたがって分布していることから、このタイプの搔器は忍路子型細石刃核石器群に伴うと考えられる。分布からはSb-86には長さ①が、Sb-89には長さ②③のものが偏り、それぞれのブロックの性格を反映するものと考えられる。

73は単剥離打面を持つ厚手の石刃ないし剥片素材で、平坦な加工が両側縁・刃部に施される。裏面先端部には刃部からの剥離がみられる。74は剥片素材で側縁に平坦な、刃部に簡単な加工が施される。図版107-218は石刃素材で両面加工の搔器である。刃部は急角度の、正面右側縁・裏面は平坦剥離で加工される。両面に残る素材面は傷が多く、稜は摩滅している。傷の顔度別の分布状況は、素材面(多い)、刃部以外の二次加工面(中)、刃部(無し)の順で三段階の表面変化が観察され、石器の履歴を反映している。また、表裏ともパンチ痕が広い範囲に点在しているが前述の刃部周辺のものとは異なる性格のものと考えられ、遺跡形成過程を含めた検討を要する。

錐形石器(図Ⅲ-119-75～図Ⅲ-120-80、図版98)

6点(5個体とI層出土1個体を加えた6個体)を図示している。石材は黒曜石4(76・78・79)が多く、頁岩(75・77)が含まれる。75は剥片素材で打面部左側縁に影刀面が、先端部右側に斜めに錐状の刃部が作出される。76～80は石刃素材で、76～78・80は先端部左側に、79は先端部右側に斜めに刃部が作出される。刃部は全て両側縁の裏面からのノッチ状の加工によって、79は素材打面側に、それ以外は素材先端側に作出される。周縁加工は、細かい加工が施される78・79以外は行われない。76～78には素材打面が残る、頭部調整のある単剥離打面である。

削器(図Ⅲ-120-81～図Ⅲ-122-102、図Ⅲ-513-3、図版99・100・402、図版107-219・220)

42点(20個体とI層出土3個体を加えた23個体)を図示、3点(2個体)を写真のみ掲載している。81～94は石刃素材、95～102・図版107-219・220は剥片素材。81～87は側縁に急角度の加工が施される削器で、主に10cm以下の石刃が利用される。84は打面側に背面両側縁に急角度の加工が、右側縁先端部には影刀面打面とみられるノッチ状の加工があり、その形態から影器の母型と考えられる。

88～91・図Ⅲ-513-3・図版107-219は片側縁ないし両側縁に急角度の加工が施される削器で、81～87に比べ厚手の素材が利用されている。大型の90には15cm程度程度の石刃が利用され、89は上端部に、90は上下両端部にも加工が行われる。縁辺は細かい加工により滑らかである。図版107-219は原礫面が残る頁岩製の削器で錐形石器図Ⅲ-119-75と接合している。図Ⅲ-513-3は産地分析であじさい滝と判定されている。

92には押圧とみられる平行剥離が両側縁に施され、15cmを超える大型石刃素材の93・94には右側縁に平坦剥離による加工が施される。95は右側縁に斜角の加工が行われる。長さ10cm以下の厚手の剥片素材である96～100・図版107-220は両側縁に粗い加工が行われ、舟底形石器の初期段階である可能性がある。101・102は片側縁に非常に粗い剥離があり、石核・舟底形石器の初期段階の可能性もある。

81～95・図版107-219には黒曜石1・5が多く利用され、複剥離打面の93・図版107-219を除いて頭部調整のある単剥離打面を持つ一方、96～102・図版107-220は全て黒曜石4で頭部調整の無い単剥離打面を持つ。93・94・図版107-219は角礫面が残る、95・97～102には亜角～転礫面が残る。

舟底形石器 (図Ⅲ-122-103-図Ⅲ-127-145、図版100-102、図版107-221-223)

63点(41個体とⅠ層出土1個体とⅡ層出土1個体を加えた43個体)を図示、4点(3個体)を写真のみ掲載している。103-108・図版107-221はⅠa類で、103-106・図版107-221は剥片素材、107-108は甲板面がネガ面の石核素材である。104の裏面には平滑な原礫面が残り、106の裏面は折れ面で側面加工に切られている。107の左側面にはネガ面である甲板面に切られる素材面が残る。全て石器長軸と素材剥離軸が一致し、端部における細石刃状の剥離は、103・105・106・108が素材先端部で、104・107が素材打面側で行われる。加工は全て上下から施されているが、下縁からの剥離が甲板面からの剥離を切るものがほとんどで、下縁からの加工が器面調整の最終段階に位置付けられる。細石刃状の剥離はその後に行われ、打面調整・打面再生や明確な頭部調整は見られない。長さは26-35mm、幅4-7mm、高さ10-12mmである。

109-134・136-145はⅡa類で、109-134は完形、136-145は折損品である。109-127・136-144は剥片素材である。折損品がほとんどで、折れていないものも小型であるか、加工が順調に進行していないものが多い。

109-120は10cm以下の小型のものでほとんどが甲板面からの加工で整形される。120-124は10cm以上のもので121・122は下面に素材面が残り、厚手の石刃ないし縦長剥片素材と考えられる。123・124には上下からの加工が見られ、特に123は縁辺に細かい加工が行われ、縁辺が滑らかになっており、小型のⅡb類とみなすこともできる。125-127・137・139・141は粗い加工のみ行われ、加工の初期段階と考えられる。128-132・145・図版107-222・223は甲板面がネガ面の石核素材である。剥片素材のものと異なり、図版107-222・223を除いて下縁からの加工が行われている。剥片素材に比べ、素材が厚手で不定形であることが原因と考えられる。133・134は折損した尖頭器の縁辺から剥離された断面三角形の削片素材である。上下から加工が行われているが、素材自体の断面形が幅の狭い高さのある三角形であるため、他の舟底形石器に比べ幅が狭く、高さのある形状である。

135はⅡb類である。15cmを越える大型品で上下からの加工が行われ、特に縁辺部は細かい加工により滑らかに調整されており、B区(鈴木ほか 2004)の舟底形石器に類似する。正面端部は擦ったと思われる痕跡によって表面が白くなっている。

石材はⅠa・Ⅱa類のほとんどが黒曜石4で、Ⅱb類が黒曜石1である。原礫面が残るものが多く、角礫・亜角礫が多い。128の稜は全体的に潰れており、搬入の可能性はある。その他は表面に傷が少なく、多段階表面変化も認められない。

石刃 (図版108-224-227)

6点(4個体)を写真のみ掲載している。全て15cm以上の単剥離打面を持つ大型の石刃核から頭部調整を伴って剥離されている。227の背面には打面付近に稜調整痕が、また、下部には下面からの剥離痕が残る。これらはSb-83から出土しているが、対応する石刃核が無く、母岩別資料も無いことからSb-83に搬入されたと考えられる。但し、石器の履歴を示すような器面の表面変化は認められない。224には角礫面が残る。石材は黒曜石5が多く、大きさ・技術的特徴がB地区の大型石刃資料に類似する。

原石 (図版108-228)

1点(1個体)を写真のみ掲載している。図版108-228は長さ28cmのⅡ類の原石(棒状原石)である。調査時の欠損を除くと完形品である。

石刃核 (図Ⅲ-128-146-図Ⅲ-131-174、図版103-105、図版109-229-232)

33点(23個体とⅠ層出土6個体を加えた29個体)を図示、4点(3個体とⅠ層出土1個体を加えた

4 個体)を写真のみ掲載している。146~162・図版109~229は裏面に原礫面ないし大型の剥離面が残りに、石刃剥離が正面から裏面への一方向に進行したと考えられるものである。146~159は単剥離打面、160・161・図版109~229は原礫面打面で、ほとんどに頭部調整が見られる。作業面長は5~10cmで5~8cmが主体である。単設打面で下端部がウートラパッセになっているため剥離された石刃はそれより長かったと思われる。162は石刃剥離後、正面では左側縁から、裏面では両側縁から剥離が行われている。148の右側縁、151の左側縁では、小口面で打面縁辺りからやや奥を打撃して石刃核を分割するような最終剥離が行われる。このような剥離は石刃核を分割して舟底形石器を製作する際に見られる技術である。

163~170・図版109~230~232は石刃剥離が全周にみられるものである。打面は、複数の剥離面が残る168・原礫面打面である170を除き単剥離打面で、全てに頭部調整がみられる。作業面長は5~10cmである。正面の剥離角は60度程度であるが、その他の面は90度近く、作業面形状の悪化に伴って作業面が転移されたと思われる。

171・172は盤状の原石素材で、両側の小口面で石刃が剥離されたものである。作業面長は5cm程度である。

173・174は全周に上下方向の剥離面があり、頻繁な打面転移が行われている。作業面長は5~8cmである。

石材は黒曜石4が7割を占め、黒曜石1が3割程度である。黒曜石4は垂角礫・角礫が、黒曜石1は角礫がほとんどである。また、黒曜石1には、160・161のようなやや大きいものが含まれる。

石核 (図Ⅲ-131-175~Ⅲ-132-188、図版105・106、図版109-233~237)

17点(9個体とI層出土5個体を加えた14個体)を図示、5点(5個体)を写真のみ掲載している。175~182・図版109-233・234は裏面に原礫面、または大型の剥離面が残りに、剥片剥離が正面から裏面への一方向に進行したと考えられる単剥離打面の石核である。179・182は上下方向の打面転移が行われる。177~179・181・図版109-233の側面には頭部調整を伴う石刃剥離痕が残りに、石刃剥離後、厚手の剥片が剥離されている。それらの剥離は177・178・図版109-233では石刃剥離と同一方向で、179では逆方向で181では裏面の逆方向で行われる。

183・184には多方向で大型の剥離面が残りに、作業面を頻繁に転移させながら厚手の剥片を剥離したものと考えられる。図版109-235も同様であるが、薄手の剥片が剥離されている。

185~187は原礫面打面の石核で厚手の剥片が剥離されている。特に186は原石の角部で稜線を取り込むような厚手の剥片が剥離されている。188は正面・両側面での剥離の後、小口面である上面で剥離が行われている。

図版109-236・237は一枚の剥離面のみ残る角礫である。両者とも黒曜石4で、立方体の一つの角を頂点として斜めに切り落とした三角錐に近い形態で、大きさは10cm程度である。剥離は三角錐の底面と接する角から数mm程度内側を打撃されたものである。2点は原石の形態・特徴、剥離の状態から、赤石山の露頭付近で採取し、「試し割り」により石材の状況を確認した上で遺跡に搬入されたものと思われる。

石核の石材は、石刃核同様、黒曜石4がほとんどで、一部黒曜石1が利用される。また、同様に黒曜石4には、垂角礫・角礫が、黒曜石1には角礫が主体的に利用される。大きさは5~7cmのものが主体を占める。

石器ブロック80~89の分布状況

Sb-80~89は、遺跡を東西地区に分ける小沢(無遺物地帯)に沿って、その西側の幅24mの範囲に分布する。標高は437.5~444.5mである。小型舟底形石器を含む石器群が主体を占めるが、後述するようにSb-86・88・89の一部には忍路子型細石刃核石器群が、Sb-83の一部には単剥離打面を持つ大型石刃・舟底形石器Ⅱb類を伴う石器群が含まれる。各ブロックの規模は均質で、2,000~3,000点の小規模なものが多く、それらが10m程度の距離をおいてほぼ等間隔に分布している。

石器ブロック80 (Sb-80) の分布 (図Ⅲ-133、表Ⅲ-7・8)

G38・39、H37~40、I38・39区の12×7mの範囲で確認されたが、分布は北側の調査区外に若干伸びる可能性がある。尖頭器1点(I類1点)、削器1点、二次加工ある剥片1点、剥片279点の計282点、1,645.4gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が47.2%を占め、以下黒曜石4(24.8%)、黒曜石5(14.2%)、黒曜石3(13.8%)である。ツールがほとんど無く、小規模なブロックである。

石器ブロック81 (Sb-81) の分布 (図Ⅲ-133、表Ⅲ-7・8)

I41、J41・42、K40・41、L39・40区の15×6mの範囲で確認された。尖頭器1点(I類1点)、削器2点、石刃2点、縦長剥片1点、剥片845点、原石1点の計852点、5,620.5gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が87.8%を占め、以下黒曜石3(10.4%)、黒曜石1(1.3%)、黒曜石5(0.5%)である。ツールがほとんど無く、黒曜石4が多数を占めるのが特徴で、分布密度は高い。

石器ブロック82 (Sb-82) の分布 (図Ⅲ-134・135、表Ⅲ-7・8)

I37~39、J37~39、K36~39、L36~39、M36・37区の19×12mの範囲で確認された。尖頭器2点(I類1点、Ⅱ類1点)、彫器5点(Ⅱ類5点)、搔器1点、削器7点、錐形石器3点、舟底形石器28点(Ia類1点、Ⅱa類28点)、二次加工ある剥片12点、石刃21点、縦長剥片29点、石刃核8点、石核4点、剥片2,003点の計2,123点、19,143.9gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が84.3%を占め、以下黒曜石1(9.9%)、黒曜石3(4.9%)、黒曜石5(0.8%)、黒曜石2(0.05%)である。他のツールに比べ、搔器が少ないのが特徴である。削器・錐形石器・舟底形石器・石核類・剥片は黒曜石4が主体を占めるが、彫器は黒曜石1が主体を占め、石刃・縦長剥片は黒曜石1・4が拮抗している。分布は①高密度のK36・37区、②やや低密度のL37区、③L・M36区の3か所に分けられ、①には石核類が、②には彫器・錐形石器・削器が、③には石刃・縦長剥片が多く、舟底形石器は全域に分布する。また、③の南西端にはH区(Sb-90)と関連のある搔器が出土している。

石器ブロック83 (Sb-83) の分布 (図Ⅲ-136・137、表Ⅲ-7・8)

L38・39、M37~40、N37~39、O38・39区の14×12mの範囲で確認された。尖頭器9点(I類8点、Ⅱ類1点)、尖頭器削片10点、ナイフ形石器1点、彫器3点(I類1点、Ⅱ類2点)、彫器削片(Ⅲ類1点)、搔器1点、削器13点、舟底形石器13点(Ⅱa類11点、Ⅱb類2点)、二次加工ある剥片9点、石刃52点、縦長剥片31点、石刃核6点、石核3点、剥片1,995点、原石2点の計2,149点、13,013.5gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が82.4%を占め、以下黒曜石1(9.7%)、黒曜石3(5.0%)、黒曜石5(2.7%)、黒曜石2(0.2%)である。他のツールに比べ、搔器が少ないのが特徴である。石核類は黒曜石4・5、尖頭器・尖頭器削片・舟底形石器・剥片は黒曜石4、石刃・縦長剥片は黒曜石1・5が主体を占める。①M38・N38北西部・N37区と②N38区東側の2か所の集中域が結合したような分布形である。ほとんどのツールは①に、28cmの長大な棒状原石(図版109-228)は②に、尖頭器削片は両者に分布する。また、黒曜石1・5を利用した図版108-224~227を含む大型石刃はM38区中央の高密度域からややずれたグリッド南東部にまとまって分布し、舟底形石器Ⅱb類の135は②とまたがって分布している。黒曜石1・5を利用した単剥離打面の大型石刃と舟底形石器Ⅱb類とのセットはB区で認められており、同一石器群と認定できる。但し、隣接する高密度域の石器群は

明らかに小型舟底形石器石器群であり、それとの関連は不明である。高密度域では主に黒曜石4を利用した原石から残核まで一連の石器製作が行われているが、大型石刃石器群は搬入しないし、限定した石刃剥離が行われており、石材消費の違いも見られる。N・O39区にはナイフ形石器・石核を含む非常に少量のまとまりがある。

石器ブロック84 (Sb-84) の分布 (図III-138、表III-7~10)

O36~38、P36~38、Q35~37区の12×9mの範囲で確認された。彫器1点(I類1点)、削器5点、錐形石器1点、舟底形石器1点(IIa類1点)、二次加工ある剥片3点、石刃15点、縦長剥片10点、石刃核1点、剥片254点の計291点、4,077.5gの石器類が出土した。石材は黒曜石3が50.2%を占め、以下黒曜石1(20.3%)、黒曜石4(16.5%)、黒曜石5(12.4%)、頁岩(0.7%)である。分布は、いずれも小規模な①O36・37区、②P・Q36区、③P37に分けられる。①は高密度な、②は低密度な、③は散漫な分布である。①②にはトゥール・石核類が散漫に分布し、③には打面調整のある15cmを超える大型石刃素材の削器が分布する。

石器ブロック85 (Sb-85) の分布 (図III-139・140、表III-9・10)

M36・37、N35~37、O35・36、P34~36、Q35区の16×6mの範囲で確認された。尖頭器2点(I類2点)、尖頭器削片8点、両面調整石器2点、彫器6点(I類3点、II類3点)、彫器削片3点(II類3点)、削器16点、錐形石器1点、舟底形石器10点(Ia類4点、IIa類6点)、二次加工ある剥片3点、石刃24点、縦長剥片26点、石刃核2点、石核6点、剥片1,040点の計1,149点、14,314.0gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が87.3%を占め、以下黒曜石1(6.9%)、黒曜石3(3.9%)、黒曜石2(1.3%)、黒曜石5(0.4%)、頁岩(0.2%)である。彫器・舟底形石器Ia類が多く出土している。黒曜石1が利用される尖頭器を除いて黒曜石4が主体的に利用され、器種による利用石材の偏りは見られない。分布は大きく①N36区周辺と②P35区周辺に分かれ、①には彫器・彫器削片が、②には尖頭器削片・削器・舟底形石器・原石に近い石核を含む石核類が偏って分布する。

石器ブロック86 (Sb-86) の分布 (図III-141~143、表III-9・10)

L35・36、M34~36、N33~36、O33~35、P34区の18×9mの範囲で確認された。尖頭器4点(I類2点、II類2点)、尖頭器削片9点、彫器1点(II類1点)、搔器14点、削器17点、錐形石器1点、舟底形石器24点(Ia類1点、IIa類23点)、二次加工ある剥片9点、石刃63点、縦長剥片106点、石刃核6点、石核7点、剥片3,003点の計3,264点、26,228.8gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が77.2%を占め、以下黒曜石1(12.6%)、黒曜石3(9.1%)、黒曜石5(1.0%)、黒曜石2(0.1%)、頁岩(0.03%)である。彫器が少なく、搔器が多いのが特徴で、搔器のほとんどは接合関係・石器製作技術の特徴から忍路子型細石刃核石器群と考えられるH区(Sb-91)に関連するものである。石材は黒曜石4が8割近くを占め、概ねトゥールも同様な傾向を示すが、搔器のみ黒曜石1・5が主体的である。これらと同様な技術的特徴を持つ石刃が本ブロックから出土していないため搔器の形態で本ブロックに搬入されたと考えられる。分布は高密度の①M35区東側周辺②N34区周辺、散漫な分布の③N35・O34区に分けられる。①には忍路子型細石刃核石器群に関連する搔器がまとまって分布し、②③には尖頭器・尖頭器削片・両側縁に急角度の加工が施される搔器・錐形石器・舟底形石器・石核類、または原石で搬入された石核(図版109-236)が分布している。

石器ブロック87 (Sb-87) の分布 (図III-143・144、表III-9・10)

P34、Q33~35、R32~36、S32・33・35区の17×13mの範囲で確認された。分布は南側がわずかに調査範囲外に伸びることが想定される。両面調整石器2点、彫器6点(I類2点、II類4点)、搔器1点、削器15点、舟底形石器15点(IIa類15点)、二次加工ある剥片2点、石刃25点、縦長剥片

71点、石刃核8点、石核2点、剥片2,978点の計3,125点、22,044.2gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が81.0%を占め、以下黒曜石3(9.9%)、黒曜石1(9.0%)、黒曜石2(0.06%)、黒曜石5(0.06%)である。彫器が多く、搔器が少ない特徴がある。石材は黒曜石1が多い彫器を除きブロック全体の傾向と同様に黒曜石4が主体を占める。分布は小規模な①Q34区②R35区周辺、③大規模で非常に高密度のR・S33区周辺に分けられ、②には彫器が偏在し、石核類が剥片類を伴わずに分布し、③には舟底形石器・石核類が剥片類を伴って分布している。

石器ブロック88(Sb-88)の分布(図Ⅲ-144・145、表Ⅲ-9・10)

P32-34、Q32・33、R31-33、S31・32区の20×6mの範囲で確認された。尖頭器4点(I類4点)、彫器1点(Ⅱ類1点)、搔器3点、舟底形石器1点(Ⅱa類1点)、二次加工ある剥片1点、石刃1点、縦長剥片6点、石核1点、剥片2,596点の計2,614点、20,164.3gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が94.2%を占め、以下黒曜石4(4.9%)、黒曜石3(0.8%)、黒曜石5(0.1%)である。ツールは少なく散漫な分布である。分布は高密度のR31・32、S31・32区を中心とした集中域から北東方向にやや散漫に伸びている。尖頭器は小型のもので集中域から出土し、搔器は忍路子型細石刃核石器群に伴うタイプである。彫器・舟底形石器は集中域から外れて分布する。

石器ブロック89(Sb-89)の分布(図Ⅲ-145・146、表Ⅲ-9・10)

P31・32、Q30-32、R29-31、S28-31区の22×8mの範囲で確認された。分布は南側が調査範囲外に広がることは確実である。尖頭器26点(I類26点)、両面調整石器4点、彫器2点(I類1点、Ⅱ類1点)、搔器15点、削器6点、錐形石器1点、舟底形石器6点(Ⅱa類6点)、二次加工ある剥片5点、石刃5点、縦長剥片13点、石核2点、剥片1,163点の計2,248点、7,288.4gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が59.9%を占め、以下黒曜石4(36.7%)、黒曜石3(2.6%)、黒曜石2(0.3%)、黒曜石5(0.3%)、頁岩(0.2%)である。分布は①R30区周辺、②S29区周辺に分けられ、①には舟底形石器が、②にはH区(Sb-90)との接合関係・石器製作技術から忍路子型細石刃核石器群に関連するとみられる剥片素材の尖頭器(細石刃核母型の可能性があるものも含まれる)・彫器・搔器が出土している。また、①には黒曜石4が、②には黒曜石1が主体的であることからそれぞれは異なる石器群であると考えられる。②の搔器は同一母岩の一次剝離剥片が見られず、接合している一次剝離の接合資料がH区で出土しているものが含まれることから本ブロックには搔器の形態で搬入されたと考えられる。

石器ブロック80-89の接合状況(図Ⅲ-147)

全体的な接合分布は各ブロック内での小集中域を単位としてまとまるが、ブロックや区域をまたがる接合資料もある。ブロック間では大型幅広尖頭器関連の接合関係がSb-81・83で見られ、忍路子型細石刃核石器群に関連したSb-86・90、88・89、89・90の接合関係も認められる。区域間ではSb-89北側とSb-93南側との接合が見られる。

母岩別資料・接合資料

17,097点中5,554点を140母岩に母岩分類し、808個体(母岩別資料内414個体)の接合資料が得られた。そのうち母岩別資料22母岩、非母岩別接合資料1個体を図示し、母岩別資料33母岩を写真のみ掲載している。

母岩別資料551・接合資料2807(図Ⅲ-148-154、図版110-113)

母岩別資料は接合2807の他、剥片2点で構成され、総点数366点、総重量3,266.4gである。

素材 364点(188個体)が接合し、重量は3,265g、大きさは34×17×17cmである。原石を分割して

製作された二個体（個体A・B）の大型尖頭器の状態で搬入されている。

剥離工程 接合資料は大型尖頭器である個体A・Bで構成され、個体Aの素材腹面と個体Bの素材背面が接合し、個体A・Bは剥片と石核の関係にあたる（図版-110-238）。個体Aは横方向の剥離によって剥離された幅30cmを超える非常に大型の剥片を素材としている（図Ⅲ-149上図）。それらの搬入形態は、大型の平坦剥離面で覆われ、粗い加工が行われているが、個体Aの断面形は凸レンズ状で、両者とも表面は比較的滑らかである。個体Aは32×16×6cm、個体Bは32×15×6cmで端部が尖らないやや幅広い形態で、ほぼ同様な大きさ・形態で搬入されている。原礫面が残存せず、原石形状は不明であるが、①接合資料から復元すると少なくとも40×20×20cm程度の大きさの原石を必要とすること、②大型の尖頭器には角礫が利用される傾向があることから原石形状は角礫で、露頭周辺で素材剥離から加工が行われ、大型尖頭器で遺跡内に搬入されたと考えられる。

個体A（図Ⅲ-148-189）は、主に中央の稜を越える右側縁から正面への剥離（A-段階1・3）・裏面への剥離（A-段階4）によって厚みを減少させた後、左右からの加工が行われる（A-段階6～9）。断面は凸レンズ状で表面の滑らかな整った形態をした31×12×2cmの尖頭器で搬出される。

個体B（図Ⅲ-150-190）は、正面が凸状で、裏面が平坦な断面形がやや非対称な形状で搬入されている。遺跡内での加工は、本体の折損前と二度の折損後に分けられ、折損前は両面加工が、折損後は削片剥離が主体的に行われる。折損前の前半は平坦な裏面を中心に加工が行われ（B-段階1～6）、本体中央部にはヒンジによる段差や波状の剥離面により凹凸がある。後半は正面を中心に左右から加工が行われるが、段階13の剥離時に本体中央で折損する。

折損前の調整剥片を外した状態が191である（一部、B-段階15～17も外れており、それらは図Ⅲ-150・151に含めている）。折損によって14cmの上部破片（図Ⅲ-152-7、段階14）と16cmの下部破片に分かれ、下部破片のみ再加工が行われる。下部破片は、両面とも下端部周辺（B-段階15～18）、折れ面から正面へ（B-段階18）の加工の後、さらに、下部（B-段階19、個体a）が折損し、その上部破片では上部折れ面から1回の左側縁への削片剥離（B-段階20）の後、3回の右側縁への削片剥離（B-段階21）が行われる。段階21の図Ⅲ-153-14の打面付近には稜調整が見られる。下部破片の個体aは折れ面から左側縁への削片剥離後、削片剥離面を打面として折れ面で削片が剥離される。また、それらとの前後関係は不明であるが右側縁でも削片剥離が行われる。全体を通して削片剥離の際には頭部調整は施されない。個体aから剥離された削片（図Ⅲ-152-13・12）は、打面の小さい（残存するもので3mm以下）長さ7cm以下で小型である一方、段階20・21で剥離された削片（図Ⅲ-153-14・20）は打面厚が1cm以上で長さ9～11cmと相対的に大きい。両者は目的とする削片の大きさが異なり、後者のうち尖頭器の縁面を含む断面三角形の個体b（図Ⅲ-153-133）・c（図Ⅲ-153-134）は舟底形石器に加工される。加工は個体b・cとも腹面と側面の角度が鋭角の面に主に腹面から行われる。削片が剥離された尖頭器（図Ⅲ-152-8・図Ⅲ-153-11）は折れ面・両側縁の削片剥離面によって側面形が三角形である。

分布 Sb-81のJ41、K40、L40、Sb-82のJ39、K38、L37、Sb-83のM38・39、N37・38、Sb-86のN35区に分布する。個体AはSb-83のN37区の1点を除き、Sb-81のJ41、K・L40区に分布している。個体Bは折損の前後で分布が異なり、折損前の段階1～13はSb-81のK・L40区を主体として一部Sb-82のK39区、Sb-86のN35区に分布する。中央での折損以降（段階14以降）は①舟底形石器製作に関する個体b・cと②それ以外の削片剥離に関する段階14～22に分布が分かれる。①はSb-82のL37区周辺に、②はSb-83のM・N38区周辺に分布し、最終的な残核である尖頭器はSb-82のJ39区に分布する。

以上を整理すると個体A・Bともに両面調整段階はSb-81のK・L40区周辺に、削片剥離段階はSb-83のM・N38区周辺に、舟底形石器調整剥離段階はSb-82のL37区に分布が分かる。

母岩別資料549・接合資料2799・2800 (図Ⅲ-154・155、図版114-1・2)

母岩別資料は接合2799・2800の他、接合2801~2804・56506~56509、剥片104点で構成され、総点数235点、総重量976.6gである。

素材 接合2799は46点(30個体)が接合し、重量は306.2g、大きさは29×12×2.5cmで、接合2800は66点(41個体)が接合し、重量は520.2g、大きさは29×13×3cmである。これらは接合しないが同一個体の尖頭器調整剥片で表裏の関係にあたる。平滑な原礫面を持つ盤状の角礫を素材として大型の剥離面で構成される29×13×(5)cmの大型尖頭器で搬入される。

剥離工程 接合2799・2800ともに前半(接合2799段階1~3、接合2800段階1~5)は左右から中央の稜を越えるやや厚手の剥片剥離によって加工され、本体が薄くなり、表面状態が比較的滑らかに変化した後半(接合2799段階4、接合2800段階6・7)は薄手の剥片剥離によって加工が行われる。後半の調整剥片の打面は前半に比べ小さく、点・線状の打面が多い。本体は28×9×(1.2)cmの薄手の尖頭器で搬入されている。

分布 Sb-81のK40、L40、Sb-83のM38・39、N38区に分布し、剥離工程の前後半で分布が異なる。前半はSb-81のK・L40区に、後半はSb-83のM・N38区周辺に分布する。

母岩別資料715・接合資料3251 (図Ⅲ-156・157、図版115上)

母岩別資料は接合3251のみである。

素材 30点(17個体)が接合し、重量は647.7g、大きさは26×10×3cmである。原礫面が残存せず、原石形状は不明であるが、おそらく角礫素材と思われる。大型の尖頭器で搬入され、その形態は表面が滑らかで、両端が尖頭状のやや細身の均整のとれたものである。

剥離工程 本体の折損前と折損後に分けられ、折損前は両面調整が、折損後は両破片で削片剥離が行われる。

折損前は左右からの錯向状の剥離(段階1・2)によって加工され、段階2の剥離が原因で中央の潜在的な割れ面から折損している。折損後は両破片(個体A・B)において削片が剥離され、個体Aは折れ面から左側縁への削片剥離(A-段階1)→上端部から右側縁への削片剥離(A-段階2)→折れ面から左側縁への削片剥離(A-段階3)、個体Bは折れ面から右側縁への削片剥離(B-段階1)→折れ面から左側縁への削片剥離(B-段階2)→折れ面から右側縁への削片剥離(B-段階3)の順で作業面転移が行われる。個体Aは両側縁とも折れ面を打面としているが、個体Bは折れ面と上端部である。個体Bの右側縁には折れ面からの短い剥離が残り、その後上端部からの剥離が行われることから、折れ面と右側縁の角度が直角に近く、折れ面からの剥離によって一次削片が剥離できないため上端部から剥離されたと考えられる。

削片剥離はどちらも両側縁で行われ、尖頭器の側縁を取り込む断面三角形の一次削片が一方の側縁で剥離された後に他方の側縁で一次削片が剥離され、その後、どちらかの側縁に偏って削片剥離が行われる。これらは、①断面三角形(高さのある二等辺三角形)の削片を両端で剥離する段階(A-段階1・2、B-段階1・2)、②断面四角形ないし多角形の平行な両側縁を持つ削片を片側縁に偏って剥離する段階(A-段階3、B-段階3)に分けられる。

削片は両個体とも打面厚が3mm以下で小さく、厚手のものは剥離されていない。また、尖頭器端部を取り込むものが多く、削片の長さは16cmから10cmへと削片剥離が進むにつれて短くなる。個体B段階3で剥離された二次削片88は副器に加工されている。

分布 Sb-85のN36、O35、P35、Sb-86のM35、N34・35区に分布し、Sb-85とSb-86に二分される。Sb-85には個体A段階1・段階3の削片19、個体B段階1・2、段階3の削器88（O36区I層出土）が、Sb-86には折損前の段階1・2、個体A段階2以降（段階3の19除く）、個体B段階3以降が分布する。Sb-86に主体的に分布するが、剥離工程①に対応する断面三角形の削片・ツール・形の整った削片がSb-85から出土し、選択性が伺える。

母岩別資料628・接合資料2988（図Ⅲ-158、図版115下）

母岩別資料は接合2988の他、接合2989、剥片1点で構成され、総点数79点、総重量1,291.7gである。

素材 58点（37個体）が接合し、重量は1,059.4g、大きさは31×15×7cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として粗い剥離によって加工された大型尖頭器で搬入される。断面形は正面中央に稜があり、裏面が平坦な三角形である。

剥離工程 最初は縁辺から1cm程度内側を加撃し粗い加工が行われる（段階1・2）。その後、左右ほぼ均等に縁辺部を加撃する加工が行われ（段階3～5）、次第に正面の稜が除去され、断面が滑らかな凸レンズ状に変化している。（32）×10×（2.5）cmの尖頭器で搬出される。

分布 Sb-87のQ34、Sb-88のQ32・33、R31・32、S31・32区に分布し、R31・32、S31・32の集中部は高密度である。

母岩別資料612・接合資料2963（図Ⅲ-159・160、図版116）

母岩別資料は接合2963の他、接合2966～2971・56534～56536、剥片56点で構成され、総点数220点、総重量3,562.1gである。

素材 124点（58個体）が接合し、重量は3,214.3g、大きさは23×21×16cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として原石の状態でも搬入される。

剥離工程 正面中央の稜から左右への剥離（段階2）を挟みながら原礫面を打面とした正面右からの粗い加工（段階1）が行われ、厚さが大きく減少する。次に、上から裏面への加工（段階3）の後、下から正面（段階4）、右側面から正面（段階5）、左側面から裏面（段階6）、上から裏面（段階7）への剥離を交互に入れ替えながら加工は進行している。段階3で剥離された厚手の剥片である個体Aは舟底形石器に加工されている。段階6の後半・段階7で薄い剥離が行われるが、全体的に加工は粗く、17×12×（5.5）cmの両面調整体で搬出される。

分布 Sb-83のN37、Sb-84のO36・37、P36・37、Q37、Sb-85のN37・O36区に分布する。分布密度は高く、ほとんどが本母岩で構成される小規模な集中域を形成している。

母岩別資料637・接合資料3013・3014（図Ⅲ-160・161、図版117-1・2）

母岩別資料は接合3013・3014の他、接合3015・56544、尖頭器1点で構成され、総点数86点、総重量1,026.1gである。

素材 接合3013は56点（36個体）が接合し、重量は666.7g、大きさは18×10×8cmで、接合3014は15点（14個体）が接合し、重量は123.4g、大きさは9×7×4cmである。爪状痕のある転礫を素材として原石の状態でも搬入されたと思われる。

剥離工程 本母岩は剥片素材の尖頭器が少なくとも3点製作されている。

接合3013は、剥片素材の個体Aと石核素材の個体Bの接合資料である。個体Aは石核の長軸方向で剥離された背面に原礫面が残る厚手の剥片を素材とする。素材剥離ないし二次加工段階に中央で折損し、それぞれ個体A-1・2として加工される。個体A-1は主に腹面側の加工が行われ、途中で尖頭器4が折損している。個体A-2は剥片1点のみで構成されるが、素材腹面縁辺にはやや細かい平坦な連続した加工が見られる。個体Bは石核素材で裏面には短軸方向の剥離痕がある。正面から右側

面への加工（B-段階1）の後、上面から正面（B-段階2）、右側面から裏面（B-段階3）、右側面から正面（B-段階4）、左側面から正面（B-段階5）への加工が施される。断面形は最初長方形であるが、B-段階4の途中から正面側が弧状に変化し、それに伴い、粗い加工から縁部に打点のある剥離も見られるようになる。

接合3014は、剥片素材の尖頭器調整剥片接合資料である。素材は背面が原礫面に覆われた厚手の剥片で、背面主体の加工（段階1・2）の後、腹面側の加工（段階3）が行われる。最後まで加工は粗く、縁部調整は見られない。本体である尖頭器3の断面形は素材の形状を維持し、三角形である。

5は非接合の同一母岩資料である。断面が直角三角形に近く、加工は粗い。

以上を整理すると本母岩ではやや扁平な転礫を利用し、小口面の長軸方向・短軸方向で厚手の剥片が剥離され、剥片・石核が尖頭器の素材となっている。加工は粗いが、断面形が弧状になる後半には縁部に比較的細かい平坦剥離による加工が行われ、縁部に打点のある加工も見られる。

本接合資料はSb-90と関連のあるSb-88・89に分布している。また、尖頭器の二次加工技術が他の石器群（例えば小型舟底形石器を伴う石器群）とは異なる一方、忍路子型細石刃核石器群と見られるSb-90の母岩693個体A・B（図Ⅲ-199・120）の尖頭器加工技術と類似することから、本母岩も関連があると見られる。これらの尖頭器は、Sb-90出土の忍路子型細石刃核（図Ⅲ-176-8）に比べ加工が粗く、それとは直接的に結びつかないため、その位置付け（細石刃核母型と位置付けるか、別器種と位置付けるか）については、多角的に検討する必要がある。

分布 接合3013はSb-88のQ33、R31・32、S31・32、Sb-89のR29・30、S28～30区に分布し、接合3014はSb-89のR29・30、S29区に分布する。接合3013はSb-88・89に二分し、Sb-88には個体B段階1～3が分布し、それは断面が弧状になる以前のより粗い加工段階に対応する。個体A、個体B段階4・5はSb-89に分布するが、個体AはR30・S29区の集中域とはややずれている。Sb-89の分布は南側の調査範囲外に広がると予想され、本母岩も一部残存する可能性がある。

母岩別資料610・接合資料2959（図Ⅲ-161・162、図版117-3）

母岩別資料は接合2959の他、接合2960・2961、縦長剥片1点、剥片9点で構成され、総点数44点、総重量389.5gである。

素材 22点（12個体）が接合し、重量は324.7g、大きさは19×8×6cmである。流紋岩球顆を多く含み、平滑な原礫面を持つ扁平な角礫を素材として原石の状態でも搬入されたと考えられる。

剥離工程 石刃作業面に適した形状である側面形が弧状で断面が鋭角（70度）の縁部を作業面に設定し、左側面からの後調整（段階1）の後に石刃が剥離される（段階2）。石刃剥離には打面調整や打面縁部を擦る調整が行われ、剥離の進行に伴い石刃核高が減少している。石刃は15cm前後で2点（94・93）は削器に加工される。両者共に右側縁に連続的な平坦剥離による加工が施され、94は素材打面が除去され、上端は尖頭状である。初期段階の石刃・打面調整剥片のみ出土し、それらには欠落するものがほとんど無く、石刃核のみ搬出されたとと思われる。

分布 Sb-84のO37、P37、ブロック外のP39区に分布し、ほとんどが本母岩で構成される非常に小規模な集中域を形成している。

母岩別資料633・接合資料3000（図Ⅲ-162、図版118-1）

母岩別資料は接合3000の他、接合3001・56542で構成され、総点数48点、総重量1,262gである。

素材 44点（24個体）が接合し、重量は1,168.1g、大きさは15×12×11cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として原石の形状で搬入される。

剥離工程 1回の剥離（段階1）によって形成された打面から、頭部調整を伴って石刃が剥離される

(段階2)。ヒンジによって作業面形状が悪化した後、180度の打面転移によって下端から正面裏面に剥離が行われる(段階3)が、母岩中央に直径4cmも的大型球顆があり、それらが露出し、良形の石刃は剥離されていない。打面作出の際に既に球顆は露出していたが、作業面には露出しておらず、石刃剥離が行われたようである。

12cm程度の石刃が剥離され、初期の石刃は欠落し、搬出されたと考えられる。

分布 Sb-85のP35、Sb-87のQ34、R33・34、S32・33、Sb-88のP34区に分布し、まとまった分布を示す。Sb-85のP35区出土石器は、両側縁が平行する良形の剥片の打面剥破片である。

母岩別資料627・接合資料2986 (図Ⅲ-163、図版118-2)

母岩別資料は接合2986の他、接合2987、縦長剥片1点、剥片2点で構成され、総点数14点、総重量151.6gである。

素材 9点(9個体)が接合し、重量は108.5g、大きさは8×6×4cmである。平滑な原礫面を持ち、角の潰れた角礫を素材としておそらく原石の状態で搬入されたとと思われる。

剥離工程 上端から右側面、下部から裏面への剥離(段階1)の後、打面が作出され(段階2)、正面で頭部調整を伴う石刃剥離(段階3)が行われる。石刃は石刃核の下端部を取り込むものが多く、石刃核は小型化し、剥離される石刃も短くなる。石刃長は5~7cmで腹面に加工のある石刃が1点有り、初期の7cm程度の石刃は搬出されている。

分布 Sb-85のN36、O35区に分布し、散漫な分布である。

母岩別資料586・接合資料2903 (図Ⅲ-163・164、図版118-3)

母岩別資料は接合2903のみである。

素材 52点(31個体)が接合し、重量は791.4g、大きさは13×12×9cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として粗割りされた状態で搬入されている。

剥離工程 上設打面作出、左・正・右面に粗い剥離がなされた状態で搬入され、下面からの作業面調整(段階1)の後、上設打面から頭部調整を行いながら石刃が剥離される(段階2)。剥離される石刃長は、最初12cm程度であるが、石刃核高の減少により最後は8cm程度に小型化する。加工の施されるものが多く、4点(91・83・81・86)が削器に加工され、その他2点に不連続な加工が認められる。91の右側縁には連続した急角度の加工が、左側縁には細かい加工が見られ、83・81・86の両側縁には角度のある細かい加工が施される。初期の厚手の石刃には素材形状を変化させる厚手の加工が、後半の薄手の石刃には素材形状をあまり変えない細かい加工が行われる傾向がある。

石刃で欠落するものは少なく、石器加工率と同様に残存率も高い。

分布 Sb-81のK40、L40、Sb-83のM38、N37・38、Sb-85のN36、Sb-86のN35・36、Sb-87のR34区に分布し、大きくSb-81・83・86に分けられる。分布と剥離工程は概ね一致し、段階1・段階2の初期段階はSb-86に、段階2の大部分(段階1に先行するものを含む)・石刃核はSb-83に、段階2の最終段階はSb-81に分布する。ブロックをまたがって折れ面接合するものがあり、完全に段階で分けられないものの、以上の結果を整理すると剥片剥離の順番ではSb-83→86→83→81→83となる。また、石刃類は全てのブロックに分布するが、厚手の削器91はSb-86に、薄手の削器83・81・86はSb-83に分布し、偏りが見られる。

母岩別資料613・接合資料2964 (図Ⅲ-164、図版119上)

母岩別資料は接合2964の他、接合2965・56533、剥片11点で構成され、総点数78点、総重量1,013.7gである。

素材 63点(47個体)が接合し、重量は983.3g、大きさは12×11×11cmである。爪状痕のある原礫

面を持つ転礫を素材として粗割りされた状態で搬入されている。

剥離工程 上設の単剥離打面から最初は頭部調整を伴わない石核調整の粗い剥離の後、頭部調整を伴う石刃が剥離される(段階1)。石刃剥離の途中で下面から右側面への剥離(段階2)、正面下部作業面調整(段階3～5)が行われる。石刃のうち1点(82)は両側縁に細かい加工が施されている。

剥離される石刃長は9cm前後で、欠落するものはほとんど無く、搬出されていない。

分布 Sb-84のP36・37、Q36・37、ブロック外のQ38区に分布する。分布密度は高く、ほとんどが本母岩で構成される小規模な集中域を形成している。

母岩別資料606・接合資料2953(図Ⅲ-165・166、図版120)

母岩別資料は接合2953の他、接合2954、石刃1点、剥片20点で構成され、総点数161点、総重量2,279.6gである。

素材 138点(113個体)が接合し、重量は2,149.8g、大きさは24×17×12cmである。風化によってザラついた平坦面を持つ角礫を素材として原石の状態でも搬入される。

剥離工程 全体を通して、石刃剥離において頻繁な上下方向の打面転移が見られる。

まず、裏面から上面(段階1)、正面から上面への剥離による打面作出(段階2)後、正面で石刃剥離が行われる(段階3)。次に、下面から左側面(段階4)、下面から右側面への剥離(段階5)の後、正面から右側面下部に稜調整が行われ(段階6)、段階4の剥離面を打面として右側面で頭部調整を伴って石刃が剥離される(段階7)。さらに、打面転移により上設打面から石刃が剥離され(段階8)、以後、裏面から下面への剥離(段階9)によって作出された下設打面から左・裏面へ石刃剥離(段階10)、上設打面への転移による左側面での石刃剥離が行われる。

石刃は、最初は12cm程度のもので剥離されるが、石刃核の小型化に伴って最終的には8cm程度に変化している。また、段階8・10の上設打面から剥離された石刃が多く欠落している。舟底形石器は個体A～Eの5個体が製作され、個体Aは段階1、個体Bは段階2、個体Cは段階3、個体Eは段階9の厚手の剥片を、個体Dは段階8の厚手の石刃を素材としている。舟底形石器は一部下縁からの加工が見られる個体Cを除いて素材腹面である甲板面からのみ加工が行われる。個体D・E以外は本体が欠落し、搬出されたと考えられる。

分布 Sb-86のM34・35、N33・34、O33・34区に分布する。一つの集中域にやや散漫に分布し、段階・舟底形石器の個体による分布差は認められない。

母岩別資料593・接合資料2927(図Ⅲ-166・167、図版119下)

母岩別資料は接合2927の他、接合2928、剥片14点で構成され、総点数131点、総重量803.0gである。

素材 115点(102個体)が接合し、重量は779.6g、大きさは17×13×7cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として原石の状態でも搬入されている。

剥離工程 長軸方向の剥離による打面作出後、小口面である正面・裏面に作業面を転移させ、石刃・縦長剥片・厚手の剥片が剥離される。石刃剥離後、最終的に裏面で舟底形石器の素材となる厚手の剥片剥離が行われる。

小口面から長軸方向の剥離による打面作出(段階1)後、その剥離の先端部側の小口面で頭部調整を伴わない縦長剥片が剥離される(段階2)。作業面から原礫面がほぼ除去された後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる(段階3)。段階1の打点側である裏面では段階2の剥離と切り合いのない縦長剥片剥離(段階4前半)が見られ、段階3の後、裏面から右側面への稜調整(段階5)、さらに厚手の剥片が剥離される(段階4後半)。石核である177の右側面には正面の剥離面に切られる石刃剥離面が残る。

段階1で剥離された厚手の縦長剥片を素材として2個体(個体A・B)、段階4後半の厚手の剥片を素材として2個体(個体C・D)の舟底形石器が加工され、個体Aの欠損品である137以外、出土せず、搬出されている。加工は個体Bのみ甲板面と下縁の上下から行われる。

剥離される石刃は9cm程度で、段階3中頃に剥離された部分が欠落し、搬出されている。

分布 Sb-86のM34・35、N34・35、O34区に分布する。同一の集中域内にまとまって分布し、個体・段階による違いは認められない。

母岩別資料550・接合資料2805 (図Ⅲ-167・168、図版121-1)

母岩別資料は接合2805の他、接合2806、剥片38点で構成され、総点数214点、総重量969.5gである。

素材 173点(133個体)が接合し、重量は909.8g、大きさは16×14×6cmである。平滑な原礫面を持ち、一部角の潰れた扁平な三角形の角礫を素材として原石の形状で搬入される。

剥離工程 右側面から三角形の一片に沿った剥離(段階1)によって打面が作出され、正面で、前半は頭部調整の無い、後半は頭部調整を伴う石刃剥離が行われる(段階2)。段階2の初期には左側面から裏面への剥離(段階3)を挟んで、左側縁で断面三角形の厚手の剥片が剥離され、舟底形石器の素材(個体C)と利用されている。また、右側縁で剥離された厚手の剥片も同様に舟底形石器の素材(個体D)となっている。段階2の途中、作業面下部がヒンジになった際に下端部から石核調整(段階4)が行われる。

段階1で剥離された厚手の剥片2点、段階2の左右側面から剥離された厚手の剥片(個体A・B)を素材として舟底形石器が製作されている。加工は個体Cの初期段階を除き、全て甲板面からのものである。個体Aの本体139、個体Bの初期の欠損品138は出土し、個体B～Dの本体は出土せず、搬出されたと考えられる。

石刃は、段階2の後半に長さ9cm程度のものが剥離され、一部欠落している。また、2点が削器(87)に加工され、それらは微細な剥離が両側縁に連続するものである(1点は掲載していないが同様の加工が見られる)。

分布 Sb-82のK37・38、L36-38、M36、Sb-86のL36、M36区に分布する。主にM36区南東部に高密度に分布し、一部L37区周辺に散漫に広がる。個体・段階による分布の違いは認められない。M36区南東部の小集中域はほぼ本母岩単独で構成されている。

母岩別資料609・接合資料2958 (図Ⅲ-168・169、図版121-2)

母岩別資料は接合2958の他、剥片1点で構成され、総点数44点、総重量786.1gである。

素材 43点(40個体)が接合し、重量は785.7g、大きさは13×10×9cmである。平滑な原礫面で覆われ、表面が一部湾曲した原石を素材として原石の状態で搬入される。

剥離工程 裏面からの剥離(段階1)によって作出された打面から、その剥離の先端部にあたる正面で剥離が行われる(段階2)。最初は頭部調整の無い厚手の剥片が剥離されるが、後半には頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、後半の最初には作業面上の後の一本が上下方向の動きで磨り潰されている。

段階2初期の厚手の剥片2点(個体A・B)を素材として舟底形石器118・116が甲板面からのみの加工によって製作されるが、両者とも本体が遺棄されている。石刃は段階2後半に7cm前後のものが剥離され、後半のものが欠落している。また、1点(85)が両側縁に微細な加工が施される削器に加工されている。

分布 Sb-85のO35、P35区に分布し、P35区南西部を中心に北東方向にやや分布が広がる。舟底形石器製作の個体A・BはP35区南西部に集中して分布する一方、それ以外の石器はその集中域の北東に散漫に分布する。

母岩別資料604・接合資料2951 (図Ⅲ-169、図版122-1)

母岩別資料は接合2951のみである。

素材 30点(29個体)が接合し、重量は344.9g、大きさは12×9×7cmである。風化により少しザラついた平坦な原礫面を持ち、やや角が潰れた角礫を素材として一部粗割りされた状態で搬入されたと思われる。

剥離工程 上面の単剥離打面から正面への比較的粗い剥離(段階1)が行われ、作業面下端部にヒンジによる凹凸が生じると、下端部に正面・左側面から調整が施される(段階2)。その後、上設打面から石刃剥離(段階3)、さらに下面に作業面を転移し、左側面を打面とした石刃剥離(段階4)が行われる。最後の石核、段階3で剥離された厚手の剥片を素材として甲板面からのみの加工により舟底形石器が製作され、個体Aの本体である109は出土し、石核素材である個体Bの本体は出土していない。個体B本体部分の空隙の幅は1.5cmで加工がI類まで進行した可能性がある。

分布 Sb-86のM34・35、N33・34、O33・34区に分布する。全体的には1か所の集中域にやや散漫に分布し、個体・段階による分布の違いは見られない。

母岩別資料590・接合資料2916 (図Ⅲ-170・171、図版122-2・123・124上)

母岩別資料は接合2916の他、接合2917~2923・56522~56525、縦長剥片1点、石刃2点、剥片24点で構成され、総点数151点、総重量1,853.8gである。

素材 91点(63個体)が接合し、重量は1,573.4g、大きさは17×17×11cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れて丸くなった重角礫を素材として原石の状態でも搬入されている。

剥離工程 正面右下部からの剥離によって個体A~Cに分割され、それぞれの個体で石刃剥離が行われる。以下、石刃核の正面を基準に説明する。

個体A(図版123-239)は、左側面から右側面下部(A-段階1)、左側面から裏面(A-段階2)への石核調整後、原礫面を打面として頭部調整の無い剥離から頭部調整を伴う石刃剥離(A-段階3)が行われる。個体A段階3の途中、左側面から正面へ後調整が見られる。

個体B(図版123-240)は、上面から正面への剥離(B-段階1)、正面から左側面への剥離(B-段階2)、上面の打面作出(B-段階3)後、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる(B-段階4)。

個体C(図版124-241)は、個体C段階1の欠損、左側面下部後調整(C-段階2)、上面からの縦長剥片剥離(C-段階3)の後、打面作出(C-段階4)、頭部調整を伴う石刃剥離(C-段階5)が行われる。

石刃は個体A~Cで8cm前後のものが剥離され、それらのほとんどが欠落している。個体A段階3の前半に剥離されたやや厚手の剥片は、右側縁のみ斜角の剥離により削器95に、個体B段階3で剥離された厚手の打面作出剥片(個体a)、個体C段階4に剥離された打面作出剥片(個体b)は甲板面からのみの剥離で舟底形石器に加工され、個体bの欠損した一部である140が遺棄されている。

分布 Sb-86のM34・35、N33・34、O34区に分布する。全体的には1か所の集中域にやや散漫に分布し、個体・段階による分布の違いは見られない。

母岩別資料662・接合資料3102 (図Ⅲ-172、図版124下)

母岩別資料は接合3102の他、縦長剥片1点、石刃1点、剥片56点で構成され、総点数131点、総重量1,269.9gである。

素材 73点(55個体)が接合し、重量は1,018.7g、大きさは16×13×10cmである。一部風化した平滑な原礫面のある転礫を素材として原石の状態でも搬入されている。

剥離工程 右側面から正面へ厚手の剥片が剥離され(段階1)、その剥離面を打面とした長軸方向の

剥離（段階2）によって打面が作出される。段階3はその打面から正・左・裏面で剥離されたものであるが、前半では原礫面を除去する頭部調整の無い剥離が左側面～裏面にかけて行われ、後半には頭部調整を伴う石刃剥離が左側面～裏面で、最後に左側面で石刃核を分割するような厚手の剥片剥離が行われる。

段階1で剥離された厚手の剥片（個体A）、段階2で剥離された打面作出剥片（個体B）、段階3前半に両側面で剥離された厚手の剥片（個体C・E）、石核である個体Fを素材として舟底形石器・削器が製作される。加工は基本的には甲板面から行われ、個体Aには長軸方向の加工が、個体Fには後半に下縁からの加工が見られる。本体は、個体Bの欠損した一部である143、個体D～Fの99・126・131が出土し、個体A・Bの主体部分・Cについては欠落している。99・126は中央で欠損しているが、131は欠損していない。131の左側面右半部に残る甲板面からの最終剥離の後に左半部を除去するパンチ痕が甲板面に残り、そこを除去できなかったために廃棄されたものと考えられる。

石刃は長さ8～10cm程度のもので剥離されているが、ほとんどが欠落している。

分布 Sb-87のQ34、R33・34、S32・33区に分布する。全体的には細長い1か所の集中域にやや散漫に分布し、折れ面接合は長軸方向に伸びるように分布し、個体・段階による分布の違いは見られない。

母岩別資料596・接合資料2938（図Ⅲ-173、図版125-1）

母岩別資料は接合2938のみである。

素材 100点（72個体）が接合し、重量は1,354.2g、大きさは15×12×11cmである。角が潰れて丸くなり、表面が風化によってあばた状になった亜角礫を素材として原石の状態で搬入されている。

剥離工程 正面から上面への剥離による打面作出（段階1）後、正面で厚手の剥片が剥離される（段階2）。右側面から下面への剥離（段階3）を挟んで、上設打面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われ（段階4）、その後半には厚手の剥片が剥離される。

段階1の剥離の際に同時割れにより分割した個体A・B、段階3で剥離された厚手の剥片（個体C）、段階4で剥離された厚手の剥片（個体D）は舟底形石器に加工されている。加工は、個体Bの最終剥離には下縁からのものが見られるが、それ以外は甲板面から行われる。個体A・Bの本体は欠落し、個体C・Dは加工の初期段階と見られる二次加工ある剥片が遺棄されている。剥離される石刃長は10cm程度で、それらは欠落している。

分布 Sb-86のM34・35、N33～35、O34、Sb-92のL35区に分布する。全体的には1か所の集中域にやや散漫に分布し、個体・段階による分布の違いは見られない。

母岩別資料664・接合資料3109（図Ⅲ-174、図版125-2）

母岩別資料は接合3109の他、剥片14点で構成され、総点数58点、総重量791.4gである。

素材 44点（40個体）が接合し、重量は768.2g、大きさは17×13×8cmである。平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた角礫を素材として正面に一枚の剥離面のある状態で搬入される。

剥離工程 上面の原礫面打面から左側面・正面・裏面において縁辺から2cm程度内側の打撃により厚手の剥片である個体A～Cが剥離される。個体Aは両面調整石器が、個体B・Cは舟底形石器が製作される。個体Aは正面右からの剥離後に裏面左右から加工が行われ、折損後22が遺棄される。個体Bは甲板面からの加工の後に主に下縁から加工される。個体Cは全て甲板面から加工され、中央で折損し、115が遺棄される。

分布 Sb-89のP32、Q30・31、R30、S29、Sb-93のP29区に分布する。P29区の1点を除き、1か所の集中域にやや散漫に分布し、個体・段階による分布の違いは見られない。P29区出土石器は

舟底形石器の素材となりうる唯一の厚手の剥片で人為的に持ち込まれた可能性が高い。

母岩別資料656・接合資料3086 (図Ⅲ-175、図版127-1)

母岩別資料は接合3086のみである。

素材 20点(19個体)が接合し、重量は228.7g、大きさは9×7×5cmである。風化により少しザラついた原礫面を持つ角の潰れた亜角礫を素材として原石ないし原石に近い状態で搬入されている。

剥離工程 正面からの剥離によって上面に作出された打面から正面で剥片が剥離された後、下設打面作出(段階2)、下設打面からの厚手剥片剥離(段階3)が行われる。頭部調整は見られず、打面縁辺から5~10mm内側に打点がある。段階3で剥離された厚手の剥片(個体A)を素材として舟底形石器が製作され、石核176にも右側縁に折損の原因となった正面からの剥離が残り、石核素材の舟底形石器を製作する意図が読み取れる。本母岩は長さ10cm程度の原石を分割することによって舟底形石器の素材を得て、舟底形石器を製作することを主な目的としたものである。

分布 Sb-85のP35、Sb-87のP34、Q34、R33区に分布する。全体的には1か所の集中域にやや散漫に分布し、一部北東方向に広がる。個体・段階による分布の違いは見られず、北東部の広がりとし器の形態・技術段階に関連は見られない。

接合資料5710 (図Ⅲ-175、図版128-2)

素材 2点(2個体)が接合し、重量は0.6g、大きさは11.5×6×2.5cmである。彫刀面が素材先端側の左肩に作出されたⅡ類の彫器から剥離された削片の接合資料である。

剥離工程 先行の彫刀面再生後、彫刀面はほぼ全体に背面先端部調整が行われ、52が剥離される。次に素材腹面からの彫刀面打面再生、彫刀面打面から7mmの限定された範囲に背面先端部調整の後、50が剥離されている。彫刀面傾斜角は139度→118度→122度と52の剥離前後で若干変化が見られる。

分布 Sb-85のN36区に分布する。

母岩別資料1221・接合資料5719 (図Ⅲ-175、図版128-1)

母岩別資料は接合5719のみである。

素材 8点(6個体)が接合し、重量は68.8g、大きさは11.5×6×2.5cmである。原礫面は残存せず原石形状は不明。搬入形態は二種類の可能性があり、一つは、接合資料の両側面に正面からの稜形成による剥離が見られ、正面には石刃剥離痕が残ることから、石核調整された数本の石刃剥離が行われた石刃核で搬入された可能性、もう一つは、接合資料を構成する石器は全て搔器であることから製品ないし素材で搬入された可能性である。

剥離工程 正面からの稜形成による石核調整の行われた石刃核(側面後方・裏面・打面周辺の石核調整は接合していないため不明)から素材石刃が作業面を左右にずらしながら連続的に剥離されている。唯一打面の残存する59の打面には打面調整が認められ、打面調整の行われた可能性がある。接合している石刃は全て搔器に加工され、素材石刃は幅2cm以下(67・65)から3cm前後(69・68)のものまで変異が大きく、平面形態もバラエティーが認められるが、全ての背面に平行する2本の稜線が残る共通点がある。側縁調整はほとんど行われませんが、折れ面中央に腹面からノッチ状の加工が施されるものがある(68・65・69)。刃部の平面形状は円形、角形など変異に富むが、斜角の加工が施され、刃部縁辺部に1mm程度の細かい加工により縁辺が滑らかに調整されている。また、67を除いて刃部周辺にパンチ痕が認められる。刃部は素材先端部に作出されるが、必ずしも素材の末端部に位置せず、それには刃部再生・折損後の刃部作出などが考えられる。また、素材末端部に刃部が位置しないことは、素材末端部の反りを必要としないことを意味し、その点で小型舟底形石器に伴う搔器とは異なる。これらの石刃剥離技術・搔器の二次加工技術の特徴はSb-90を中心とした忍路子型細

石刃核石器群に共通するものであり、1点がSb-90に分布することからもその関連が認められる。

分布 Sb-86のM35・36、N35、Sb-90のJ33区に分布する。接器67の中間部がSb-90から出土しているが、中間部のみSb-90から出土する原因は不明である。

写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料546・接合資料2792・2793 (図版126-1・2) は、石核素材の尖頭器調整剥片の接合資料で表裏の関係にあたる。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として長さ33cmの粗い加工で覆われた尖頭器で搬入される。両面とも左右から加工が行われ、主に厚さを減少させて、長さ30cm程度の尖頭器で搬出される。搬出形態は先端部が丸く、幅広で、断面凸レンズ状の整った形状である。接合資料のほとんどはSb-81に高密度に分布するが、一部Sb-85・86に分布し、それらには段階に関わらずやや大型剥片が含まれる。

母岩別資料631・接合資料2994 (図版127-2) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で20cmを超える大きさの正面のみ粗割りされた状態で搬入されている。前半は縁辺から5mm程度内側を打撃する粗い加工が行われ、断面形が凸レンズ状に変化した時点で縁辺部を加撃し、薄い剥片剥離によって形態が整えられている。前半は打面の大きい厚手の剥片が、後半は打面の小さい薄い湾曲した剥片が剥離される。幅10cm、厚さ2cmの尖頭部のある比較的整った形状の尖頭器が製作され、搬出されている。ほとんど全てがSb-88に分布する。

母岩別資料629・接合資料2990 (図版128-3) は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、25cmを超える原石ないしそれに近い形状で搬入されたと思われる。粗い加工で表面の凹凸が除去された後、縁辺部を加撃した打面の小さい剥片が剥離され、形状が整えられる。長さ20cm以上の尖頭部のある比較的整った形状の尖頭器が搬出されたと考えられる。ほとんど全てがSb-88に分布する。

母岩別資料632・接合資料2995 (図版128-4) は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、28cm程度の原石ないし一部加工された状態で搬入される。前半は縁辺部調整の見られない粗い加工が、後半は縁辺部調整を伴う剥離が行われるが、両者とも縁辺からやや内側を加撃しているため剥離される剥片の打面厚は厚く、それに伴って本体の幅も狭くなっている。長さ25cm程度の尖頭器で搬出されたと推定される。ほとんど全てがSb-88に分布している。

母岩別資料630・接合資料2993 (図版129-1) は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、19cmを超える原石の状態でも搬入される。右側縁から両面に加工が行われるが、左側縁からの加工の有無は接合していないため不明である。比較的粗い段階の剥片のみ接合している。母岩別資料631・接合資料2994、母岩別資料629・接合資料2990、母岩別資料632・接合資料2995と本接合資料は全て尖頭器製作接合資料であるが、①Sb-89と接合関係のあるSb-88に高密度に分布している。②黒曜石1が利用される。③尖頭器製作技術が他(小型舟底形石器器群など)とはやや異なることから忍路子型細石刃核石器群に関連すると思われる。

母岩別資料578・接合資料2882 (図版129-2) は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として、25cmを超える大型の剥離面のある状態で搬入される。大型の剥離面である左側面から非常に粗い剥離が連続的に行われている。ほとんどがSb-83に分布し、一部が周辺のSb-82・85に分布する。

母岩別資料615・接合資料2972 (図版129-3) は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として、長さ20cm程度、原石の状態でも搬入されている。右側面から正面、正面から上面、右側面から裏面、上面から正面に全て粗い剥離が行われる。何を目的としたかは不明である。Sb-85の北側にまとまって分布する。

母岩別資料589・接合資料2915(図版130-1)は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ14cm、人為的でない剥離面のある状態で搬入される。2個体に分割され、それぞれ原礫面・打面、分割面を打面として頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。8~10cm程度の石刃が剥離され、ほとんどが搬出される。Sb-86北東部に分布する。

母岩別資料638・接合資料3016(図版130-2)は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ13cm、原石の状態で搬入される。正面からの1回の剥離で上面に打面を作出した後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われるが、原石の外観からは確認できない直径3cmの大型球顆が内在し、完全な石刃が剥離されていない。しかしながら、石刃剥離は継続され、石刃剥離が困難な段階まで石材をほぼ消費し尽くしている。10cm程度の石刃が剥離され、左右側面に近い球顆を含まないものが少量搬出されている。Sb-87南西部に近隣の2か所に分布しているが、段階の違いによるものではない。

母岩別資料618・接合資料2975(図版130-3)は、風化により少しザラついた平坦な原礫面を持つ角礫素材で搬入形態は不明である。原石からの初期段階は不明であるが、最終的に頭部調整を伴う石刃剥離が全周を巡って行われる。5・6cmの石刃が剥離されているが当初の石刃サイズ・石刃剥離の頻度・搬出量は不明である。Sb-85・87に散漫に分布している。

母岩別資料608・接合資料2957(図版131-1)は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ15cmの原石ないしそれに近い状態で搬入される。上設打面作出後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。原石の外観からは確認できない3cmの球顆が内在し、良形の石刃は剥離されていない。最終的に下端部からの剥離で球顆が露出し、石核は遺棄される。Sb-87南西部に分布し、石核のみSb-85南西部に分布する。本母岩の①原石形状(大きさ・形態・原礫面の雰囲気・色)、②内在する大型球顆、③分布(形状・密度・位置)が母岩638に極めて類似することから、両母岩は、同時に、同場所で採集されたと考えられ、さらに言えば、同一人物が剥離した可能性がある。

母岩別資料626・接合資料2985(図版131-2)は、風化してザラついた平坦な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ13cm、原石ないしそれに近い状態で搬入されている。上設打面作出後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、打面再生後、さらに左側面で石刃が剥離される。Sb-85に散漫に分布し、石刃核のみSb-87に分布する。

母岩別資料602・接合資料2948(図版131-3)は、風化によりザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れて丸くなった亜角礫を素材として、長さ18cm、原石の状態で搬入される。上・下面での剥離の後、上設打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、最後に下面から正面への剥離が行われる。上・下面で剥離された厚手の剥片2点は舟底形石器に加工され、中央で折損した120は遺棄されている。7~10cmの石刃が剥離され、それらの多くは欠落し、搬出される。全てSb-86に分布し、個体・段階による違いは見られない。

母岩別資料595・接合資料2934(図版132-1)は、風化してザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れて丸くなった亜角礫を素材として、長さ19cm、原石ないしそれに近い状態で搬入される。右側面から下面への連続した剥離(段階1)後、上設打面作出(段階2)、頭部調整を伴う石刃剥離(段階3)が行われる。石刃剥離終了後、正面から両側面に粗い剥離が行われるが、その剥離の特徴から石刃核素材の舟底形石器を製作する意図が読み取れる。段階1(2個体)・2(1個体)の厚手の剥片、段階3(1個体)の厚手の石刃を素材として舟底形石器・厚手の削器が製作され、3点(100・117・142)が遺棄されている。石刃は長さ7~10cmのものが剥離され、1点は錐形石器79に加工されるが、大部分は欠落し、搬出されている。Sb-86にまとまって分布している。

母岩別資料597・接合資料2939(図版132-2)は、風化によりややザラついた平坦な原礫面を持ち、

角がやや潰れた亜角礫を素材として、長さ14cm、原石ないしそれに近い状態で搬入されている。上設打面作出後、頭部調整を伴う石刃が剥離され、最後は下縁から剥離が行われる。打面作出剥片を素材として2個体の舟底形石器が製作されているが両方欠落している。石刃は7～10cmのものが剥離され、ほとんどが欠落し、搬出されている。全てSb-87に分布し、個体・段階による違いは見られない。

母岩別資料652・接合資料3050（図版133-1）は、風化によりザラついた平坦な原礫面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、長さ13cm、原石ないしそれに近い状態で搬入されている。上面の平坦な剥離面を打面とした正面での頭部調整を伴う石刃剥離後、下面から石刃核を分割するような粗い剥離が連続して行われる。前半の厚手の石刃1点は舟底形石器に類似する加工が単発で行われ、後半の厚手の剥片4点、石核1点の合計5点は舟底形石器に加工されているが、144・145以外は搬出されている。石刃は10cm前後のものが剥離されるが、頻度は少なく、作業面形状の悪化に伴い石刃剥離は終了する。全てSb-87に分布し、個体・段階による違いは見られない。

母岩別資料552・接合資料2808（図版133-2）は、平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた角礫を素材として、長さ9cm、原石ないしそれに近い状態で搬入される。上設打面作出後、石刃剥離が行われる。厚手の打面作出剥片・厚手の縦長剥片を素材として舟底形石器類似の粗い加工が施されるが、両者とも加工途中で遺棄される。全てSb-82の中央部にまとまって分布している。

母岩別資料577・接合資料2881（図版133-3）は、風化によりややザラついた平坦面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、長さ12cm、原石ないしそれに近い状態で搬入される。上設打面作出後、角部で厚手の剥片が剥離され、形態を整えた後、全周を巡る頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。最終剥離は頭部調整が無く、打面厚の大きい粗いものである。厚手の剥片1点は舟底形石器に加工されるが、本体は出土していない。全てSb-83にまとまって分布している。

母岩別資料622・接合資料2979（図版134-1）は、風化によりザラついた平坦面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、長さ15cm、原石ないしそれに近い状態で搬入される。小口面から長軸方向の剥離による打面作出後、両端部で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。石核は、その後、粗い剥離によって打面を甲板面とする舟底形石器に加工され、搬出される。また、打面作出の厚手の縦長剥片を素材として舟底形石器が製作され、同様に搬出されている。石刃は長さ8cm程度のものが剥離されるが頻度はそれほど高くなく、少量搬出される。全てSb-85南西部に高密度に分布している。

母岩別資料617・接合資料2974（図版134-2）は、風化によりザラついた平坦な原礫面と角の潰れた亜角礫を素材として、長さ13cm、原石の状態での搬入されている。下面から両側縁、右側面から上面、上面から正面への剥離の後、上設打面作出、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。両側縁で剥離された断面U字状の縦長剥片を素材として舟底形石器2点が製作され、搬出される。石刃は7cm程度のものが剥離され、ほとんどが搬出されている。全体的にはSb-85に散漫に分布し、個体A・Bは、ずれて分布する。

母岩別資料559・接合資料2816（図版134-3）は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、長さ11cm、原石の状態での搬入される。上設打面作出後、頭部調整を伴う石刃が剥離される。厚手の剥片・石刃素材の5個体が舟底形石器・厚手の削器に加工され、図版400-2、113、図版400-1が遺棄されている。石刃は長さ6～9cmのものが剥離され、数本が搬出されている。全てSb-82の中央部にまとまって分布している。

母岩別資料576・接合資料2879（図版135-1）は、一部平滑な原礫面を持ち、角が大きく丸くなった転礫素材で、長さ14cm、粗割りされた状態で搬入されている。裏面から上面への剥離による打面作出後、裏面側で大型の剥片が剥離され、頭部調整が行われる。その後、正面に作業面を転移し、粗

い剥離によって石核形状を整え、頭部調整を伴う石刃が剥離される。前半の厚手の剥片・縦長剥片は厚手の削器(図版399-5)・舟底形石器127に加工される。石刃は長さ6~9cmのものが剥離され、1点(84)は彫器母型に加工されている。また、ほとんど良形の石刃は得られず、ほとんどが遺棄されている。図版399-5はやや離れたブロック外のP40区に単独で分布し、それ以外はSb-83に集中して分布する。

母岩別資料724・接合資料3273(図版135-2)は、風化によりややザラついた平坦面を持ち、角が若干潰れた角礫を素材として、長さ19cm、一度のみの剥離が行われた状態で搬入される。正面で厚手の剥片を剥離した(段階1)後、正面下端から裏面へ厚手の剥片剥離(段階2)が行われ、正面から右側面(段階3)、上面から裏面(段階4)、右側面から正面への剥離(段階5)が行われる。段階1では頭部調整が行われるが、通常石刃剥離と異なり、縁辺から1cm以上内側に向点があり、厚手の剥片が剥離されている。段階3の厚手の剥片を素材として舟底形石器が製作され、本体は欠落している。分布はSb-89中央部・93中央部の2か所に分かれ、Sb-89には舟底形石器調整剥片とその他剥片が、Sb-93にはやや大型の剥片類が分布している。

母岩別資料723・接合資料3271(図版136上)は、平滑な原礫面を持ち、角が僅かに潰れた角礫を素材として、長さ13cm、原石ないしそれに近い状態で搬入されている。上設打面作出後、頭部調整の無い厚手の縦長剥片が剥離される。剥離された縦長剥片の打面厚は1cm以上で、舟底形石器の素材となる厚手の縦長剥片を目的として剥離が行われたと思われる。厚手の剥片1点と石核を素材として舟底形石器が製作され、欠損品である図版199-441と223が遺棄される。分布は集中したSb-89中央部・散漫なSb-93中央部に分けられ、Sb-89には舟底形石器関連資料・小型の一次剥離剥片が、Sb-93には舟底形石器の素材となるような厚手の剥片が分布し、素材単位で移動していると思われる。

母岩別資料591・接合資料2924(図版136下)は、風化によりザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、長さ23cm、原石の状態で搬入される。裏面から上面への剥離により上部の1/3が分割され、さらにそれが二分され、一方は舟底形石器に、もう一方は剥片が剥離され、剥離された剥片2点が舟底形石器に加工される。分割された下部は分割面である上面・裏面を打面として上面・左側面で剥離が行われ、4点が舟底形石器に加工される。全部で7点の舟底形石器が製作されているが、本体が出土したのは132のみである。分布はやや離れたSb-92から出土した石核Ⅲ-254-319を除くと全てSb-86にまとまって分布し、個体・段階による違いは見られない。

母岩別資料599・接合資料2945(図版137-1)は、平滑な原礫面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、長さ15cm、原石の状態で搬入されている。上面から正面への剥離(段階1)の後、下面から正面に厚手の剥片が剥離される(段階2)。段階1の厚手の剥片3点は舟底形石器に加工され、段階2で剥離された厚手の剥片を素材として1点は剥片剥離が行われ、2点は舟底形石器が製作される。さらに、剥片剥離によって剥離された剥片を素材として3点の舟底形石器が製作される。合計8点の舟底形石器が製作されるが、本体が出土したのは114・121のみである。分布は舟底形石器114の1破片、剥片1点がやや離れて分布するが、それ以外は個体・段階の区別無くSb-86の北東部にまとまって分布する。

母岩別資料747・接合資料3395(図版137-2)は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ17cm、原石の状態で搬入される。長軸方向の2回の剥離によって大きく三分割され、それぞれの破片や石核を素材とした縦長剥片剥離や4点の舟底形石器の加工が行われる。舟底形石器本体はⅢ-244-256、222の2点が出土した。分布はSb-89中央部・Sb-93中央部東に分けられ、Sb-89には剥片素材、石核素材の舟底形石器製作個体が、Sb-93には一次剥離剥片と縦長剥片を剥離した個体が分

布し、素材単位でSb-89に持ち込まれたと思われる。

母岩別資料584・接合資料2900 (図版137-3) は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ11cm、原石ないしそれに近い状態で搬入されている。角柱状の原石の角部で原礫面打面から厚手の剥片が剥離された後、正面から下面に剥離が行われる。厚手の剥片1点は舟底形石器に加工されるが本体は搬出される。全てSb-83にまとまって分布する。

母岩別資料581・接合資料2893 (図版138-1) は、平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた角礫を素材として、長さ13cm、原石ないしそれに近い状態で搬入されている。上面から正面、正面から上面、下面から裏面、裏面から下面、正面から上面の剥離と扁平な原石の縁辺で頻りに作業面を転移させながら断面形が台形になるような剥片剥離が行われる。そのうち剥片4点、石核1点の計5点が舟底形石器・厚手の削器に加工されるが、本体は舟底形石器の初期段階と見られる厚手の削器220のみ遺棄されている。分布はSb-83南西部、Sb-85南西部に分かれ、Sb-83には厚手の削器接合資料1個体と舟底形石器製作接合資料1個体の後半部分が、Sb-85にはそれ以外の個体、一次剥離剥片が分布している。①Sb-83・85にまたがる個体の前半部分がSb-85に、後半部分がSb-83に分布し、②一次剥離剥片がSb-85に分布することからSb-85からSb-83に移動されたと考えられる。分布密度はいずれも高い。

母岩別資料625・接合資料2984 (図版138-2上) は、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ14cm、原石の状態でも搬入されている。上面から正面、正面から上面、上面から裏・右面への剥離と作業面を転移させながら厚手の剥片が剥離される。厚手の剥片3点、石核1点を素材として4点の舟底形石器が製作されるが全て本体は搬出されている。舟底形石器調整剥片1点を除きSb-85南西部に高密度に分布する。

母岩別資料649・接合資料3046 (図版138-2下) は、平滑な原礫面を持ち、角が丸く潰れた転礫を素材として、長さ10cm、原石の状態でも搬入される。上面から正面の剥離、正面下部石核調整の後、上面からの剥離で2分割し、それぞれ舟底形石器に加工される。舟底形石器本体は出土せず、搬出されている。Sb-87西側にやや散漫に分布し、個体・段階による違いは見られない。

母岩別資料592・接合資料2925 (図版139-1) は、風化によりザラついた原礫面を持つ転礫を素材として、長さ20cm、裏面に大型の古い剥離面のある状態で搬入される。裏面から左側縁上部への粗い剥離(段階1)の後、下端部からの打撃(段階2)で2分割される。分割された石核は粗い加工で厚手の削器が製作され、剥片は上下からの剥離の後に横方向の剥離で2分割し、その剥片側を素材として舟底形石器が製作されている。また、段階1で剥離された厚手の剥片2点は舟底形石器、厚手の削器に加工される。舟底形石器製作の初期段階と見られる厚手の削器2点は遺棄され、舟底形石器2点は搬出される。やや離れたSb-92出土の1点を除きSb-86にまとまって分布し、個体による違いは見られない。

母岩別資料582・接合資料2895 (図版139-2) は、風化によりややザラついた平坦な原礫面を持ち、角が若干潰れた亜角礫を素材として、長さ15cm、原石ないしそれに近い状態で搬入される。上面の平坦面を打面として正面で石刃剥離が行われた後、正面から上面、裏面から上面へ厚手の剥片が剥離される。裏面から上面への剥離で剥離された厚手の剥片1点を素材として舟底形石器が製作されているが、本体は出土していない。また、最初に剥離された10cm前後の石刃、上面で剥離された6cm程度の石刃も欠落し、搬出されたと思われる。ほとんどがSb-83に高密度に分布し、個体による違いは見られない。

(鈴木宏行)

(8) H区・石器ブロック90(Sb-90)の石器

出土石器 (表Ⅲ-9~10)

尖頭器3点 (I類3点)、両面調整石器3点、彫器3点 (Ⅱ類1点、Ⅲ類2点)、彫器削片6点 (Ⅲ類6点)、搔器8点、削器1点、舟底形石器3点 (Ⅱa類3点)、二次加工ある剥片8点、細石刃核1点、石刃317点、縦長剥片78点、石刃核9点、石核9点、剥片10,817点の計11,266点、重量148,311.0gの石器類が出土した。石刃が多く、ツールが少ないのが特徴である。石材は黒曜石1 (91.7%) が90%以上を占め、圧倒的に多く、黒曜石5 (4.0%)、黒曜石4 (2.5%)、黒曜石3 (1.4%) が続き、以下黒曜石2 (0.3%)、頁岩 (0.03%) である。器種毎の石材構成も同様に黒曜石1が多い。「細石刃核」の部分で述べるが本ブロックを、忽路子型細石刃核を伴う石器群と認定した。

尖頭器 (図Ⅲ-176-1、図Ⅲ-513-4、図版140・402)

4点 (1個体とI層出土1個体を加えた2個体) を図示している。1・図Ⅲ-513-4はI類で両者とも細長い形状である。1は細かい平坦剥離によって加工され、中央部は右側縁から正面への加工で折損している。上端には折れ面があり、再加工が行われている。図Ⅲ-513-4は幅広い剥片素材でやや厚手の尖頭器である。両面に素材面が残り、角度のある加工によりやや厚手で左右非対称な形態である。忽路子型細石刃核母型である可能性がある。

彫器 (図Ⅲ-176-2・3、図版140)

2点 (2個体) を図示している。2は頁岩製で、形態軸・彫刀面交叉角が小さいⅡ類である。背面左側には石核調整と見られる横方向の剥離面と先行の石刃剥離後に施された後調整が残り、素材は石核調整のある石刃核から剥離されたと思われる。背面両側縁の加工後、素材先端部にノッチ状に設定された打面から、左側縁に沿って彫刀面が作出され、彫刀面に接する背面には彫刀面再生に先行する背面先端部調整が見られる。3は剥片素材で折れ面を打面として左側縁に彫刀面が作出され、下端部の両面には加工が見られる。

搔器 (図Ⅲ-176-4~6、図版140)

3点 (3個体) を図示している。全て黒曜石1の石刃素材である。4は両側面に加工が行われるもので小型舟底形石器に伴うタイプである。5は複剥離打面を持つ石刃素材で、加工は刃部のみで側縁の加工はほとんど行われない。刃部は右側縁に偏り、刃部縁辺の断面形は1mm程度の細かい剥離によって丸くなっている。6は折損しているが接合資料から打面調整のある石刃核から剥離された石刃を素材としている。加工は刃部のみで側縁にはほとんど行われない。5・6の素材背面後と刃部加工面の稜の交点付近にバンチ痕が残る。

舟底形石器 (図Ⅲ-176-7、図版140、図版154-60)

1点 (1個体) を図示し、1点 (1個体) を写真のみ掲載している。7は剥片素材で素材を横方向に利用し、加工は全て甲板面から行われる。図版154-60は図版199-440と甲板面で接合し、転蹠を分割した石核素材である。背面の剥離軸と石器長軸が一致し、加工は主に甲板面から行われ、それらを切る下縁からの加工が一部見られる。幅は10mm程度でⅡa類の加工が進んだものである。舟底形石器は①Sb-90には客体的で、通常舟底形石器に利用される黒曜石4が利用されるものがあり、②周辺の小型舟底形石器石器群の分布域に接合関係が認められ、③分布がSb-90縁辺部に位置することから、周辺の石器ブロック群からの混入と考えられる。

細石刃核 (図Ⅲ-176-8、図版140)

1点 (1個体) を図示している。8は、嵐山2遺跡 (西田ほか 1987)、北上台地遺跡 (大場ほか

1984)等の細石刃核に類似した小型のタイプの忍路子型細石刃核である。細長い両面調整体の母型を作成し、縁辺に沿った削片剥離によって打面を作成し、短軸方向で細石刃が剥離される。作業面の打面周辺には明確な調子調整は認められない。作業面長は1.6cmで剥離角は85度である。①甲板面に2枚の剥離面があり、②削片剥離面から想定される打点が打面縁辺部に近いことから細石刃剥離段階での打面再生が行われたと思われる。また、細石刃剥離面は全て削片剥離面を切っており、打面再生後、全面で細石刃が剥離される。細石刃剥離作業面の側面形は弧状で剥離された細石刃も全体にわたるかな反りを持っていたと考えられる。

本遺跡で忍路子型細石刃核はこの1点のみで、本型式関連の削片・細石刃は出土していない。また、本ブロックには大型石刃を剥離した資料がほとんどで細石刃核と直接的な関連を示す資料は少ない。しかしながら、①Sb-90には他の石器群には見られない細石刃核母型の可能性のある石器Ⅲ-513-4が出土していること、②Sb-90の高密度域には周辺の小型舟底形石器石器群の重複が見られず、細石刃核がその分布域に含まれること(Ⅲ-190)、③細石刃核の石材が黒色の黒曜石1で、大型石刃剥離資料に利用された黒曜石と肉眼観察による特徴が類似していることから細石刃核は本ブロックに主体的に出土する大型石刃資料に伴うものと判断し、Sb-90を、忍路子型細石刃核を伴う石器群と認定した。

彫器削片(Ⅲ-176-9、図版140)

2点(1個体)を図示している。9は素材の側縁の背面はほぼ全域、腹面の一部に加工のある石器から素材先端側から左側縁で剥離された削片である。加工された縁辺は細かい剥離によって滑らかになっている。峠下型細石刃核の削片の可能性もあるが、周辺に関連する遺物が無く、彫器削片Ⅲ類(Ⅲ-237-156など)に類似するものがあることから、彫器削片Ⅲ類として分類した。

削器(Ⅲ-176-10、図版140)

1点(1個体)を図示している。10は大型石刃素材で、右側縁の先端部両面に平坦剥離による加工が見られる。加工部の平面形は直線や弧状で側面形は直線的である。

石刃(Ⅲ-176-11~Ⅲ-181-31、図版140~144)

85点(20個体)を図示している。11~14は稜付石刃である。11・12は背面に稜調整のみが残る、一本目の石刃で、13・14は一部石刃剥離痕の残るものである。稜部は正面から左右への石核調整により作出され、11・12の突出部の潰れは顕著である。13の背面には石刃剥離面を切る稜調整が見られ、先行の石刃剥離後、石刃剥離に先立つ稜の再調整が行われている。11・12は長さが26・23cmで25cmを超えるような大型の石刃核母型が用意されている。また、側面形は緩やかな弧状を呈し、準備される石刃核母型の形状を反映している。15は平滑な原礫面を持つ頁岩製の石刃。16~27は完形ないしほぼ完形、28~31は欠損品である。22-24・29-31は石刃核の側面調整が残り、石刃核の側面に近い位置で剥離されたもので、幅広である。頁岩製の15を除き、20cm以上の大型の石刃核から剥離されたものが多い。

石刃剥離前の石核調整のため原礫面が残るものが少ないが、残存するものには角礫素材が多い。背面構成は、石核調整以外は全て上設打面からの石刃剥離のみで、単設の石刃核から剥離されている。打面は複剥離打面のものが多く、その打面縁辺が擦って潰れており、また、打点が背面稜の直上に位置していることから、石刃核作業面に残る稜線の頂部を打点に設定し、打面調整・縁辺を擦り潰す縁辺調整を行いながら石刃が剥離される。打面縁辺の磨り潰しは、ほぼ稜の頂部に限定され、頂部の両側の磨り潰しを伴って山形に調整される上白滝2遺跡Sb-9の射的山型(広郷型)細石刃核石器群とは異なる。上白滝2遺跡Sb-9では、頂部の両側の加工工具と見られる側縁の潰れた石刃・削片

が出土していたが本石器群には伴わず、その調整が行われていないことを示している。

石刃核 (図Ⅲ-182-32~図Ⅲ-187-43、図版145~152)

12点(9個体と1層出土3個体を加えた12個体)を図示している。35・37・39は転蹠、40・43は垂角蹠、それ以外は角蹠素材で、角蹠が多い。石核調整は、大型の粗い剥離と縁辺部の細かい剥離で構成され、左右側面から裏面へ、裏面から左右側面へ、正面稜部で正面から左右側面へ行われ(33・35など)、結果として裏面左右・正面稜に角のある断面三角形ないし五角形の母型が準備される。原蹠面は除去される場合が多いが、側面に残るもの(34・36・37)は加工が困難なものや母型作成に原石形状をそのまま利用したものがある。原石形状を利用したものには39・40のように断面四角形の母型が準備されるものがある。また、原蹠面が全体的に除去されるものでも下端部には石核調整が行われず、石刃核下端に原蹠面が残る。全て打面調整がみられ、打面の正面形は中央部が弧状に窪んだ形状である。ほとんどが黒曜石1で、32・33・35・38~40など1cm大の流紋岩球類が含まれるものも多く、原石面形状も類似していることから、採集地点が同一の可能性があり、このような特徴の原石が採取できる流紋岩球類の沢周辺で採集された可能性がある。41・43は他の石刃核に比べ、大型で、素材面や母型の調整面が大きく残り、石刃剥離が進行していないことから、石刃剥離途中で遺棄されたものと思われる。41の作業面下部調整は潰れ、石刃剥離の先端部がヒンジになっており、作業面形状を修正できないため石刃剥離の途中で終了したものと考えられる。石刃作業面長は15~23cmで20cm前後のものも多く、大型石刃が剥離されている。

石核 (図Ⅲ-187-44~図Ⅲ-189-48、図版144・145・152~154)

5点(5個体)を図示している。44・45は両面で剥片が剥離された石核で、44は円盤状を呈し、パンチ痕や傷の多い面とそれらの少ない面で構成される多段階表面変化が認められる。45は剥片素材で頭部調整などが見られず、「白滝I群」の石核に類似するが、周辺に「白滝I群」石器群が分布しないためここに含めている。46は転蹠素材で端部においてチョッパー状の剥離が行われる。47・48は石材の特徴と加工の手順から大型の石刃核母型と考えられる。47は扁平な転蹠素材で、交互剥離によって稜が形成される。母岩701(図版-171)のような石刃核の母型の可能性がある。48は長さ37cm、10kgの大型品で、全面に加工がみられる。正面稜に潰れがあり、石刃剥離が困難で遺棄されたと考えられる。大型石刃剥離には、48→41→35の様な剥離過程と47を母型とする母岩701のような剥離過程の2種類があるが、量的には前者が大部分を占める。

石器ブロック90の分布状況

Sb-90は東西の沢で区切られる段丘(高位部)のほぼ中央に位置している。標高は440.5~442.0mである。西地区最大規模の集中域であるSb-93・95の北東部に隣接し、巨視的にはそれらとの分布の連続として捉えることもできる。しかし、周辺には分布しない大型石刃・石刃核が排他的な状況でまとまって分布し、周辺の小型舟底形石器石器群の混入もほとんど見られないことからそれらとは分離した。このような隣接する異なる石器群間の排他的な分布状況から、本地点に後から訪れた人々が、既に石器が遺棄されていた場所(石器の分布域)を、(廃棄であろうと無かろうと)石器を遺棄する場所として利用しなかったと考えることができる。

石器ブロック90(Sb-90)の分布(図Ⅲ-190~192、表Ⅲ-9・10)

I32・33、J31~33、K31~34、L31~33、M31・32区の15×13mの範囲で確認された。大きく①J31・32、K31・32区周辺、②L32区周辺、③L31区の集中域に分けられる。石刃は①の中心部、②の南側にまとまりがあり、その他には散漫に分布する。①には周辺部に搔器、中心部に彫器や多く

の石核類が、②には石核・石刃核・細石刃核・細石刃核母型の可能性のある尖頭器が分布する。大型石刃を素材とした特徴的な搔器はSb-82・86とブロック間接合が見られ、その関連が認められる。舟底形石器は①②の周辺部に分布し、それらは周辺の小型舟底形石器器群から混入したものと思われる。

石器ブロック90の接合状況 (図Ⅲ-193)

接合資料のほとんどは、それぞれ①～③のいずれかの集中域に一つのまとまりを持って分布し、その分布密度は比較的高いものが多い。一部、母岩701接合3220(写真のみ掲載のため分布図は非掲載)のように②③の集中域に分布が連続するものがあり、その内容は②に調整剥片、③に石刃と異なる。①には大型石刃接合資料・大型尖頭器の調整剥片接合資料が同一地点に重複し、両者の共存関係が見られる。隣接するブロック以外のブロック間接合はSb-82・86・89との間で見られ、それらの接合資料の分布の主体は、母岩1221接合5719(全て搔器で構成される特殊な接合資料である)を除いて、Sb-90にあり、Sb-82・86・89に分布するものほとんどが搔器であることから、それらはSb-90からそれぞれのブロックに持ち込まれたと考えられる。

母岩別資料・接合資料

11,266点中2,832点を59母岩に母岩分類し、370個体(母岩別資料内183個体)の接合資料が得られた。そのうち母岩別資料10母岩を図示し、母岩別資料7母岩を写真のみ掲載している。

母岩別資料683・接合資料3159 (図Ⅲ-194～197、図版155～157)

母岩別資料は接合3159のみである。

素材 272点(102個体)が接合し、重量は8,613.2g、大きさは54×25×14cmである。平滑原礫面を持ち、角の潰れた垂角礫を素材として、正面は主に周縁部に、裏面は全体に平坦な粗い加工が行われた状態で搬入される。搬入時の形態は断面形が台形、正面形は木葉形、長さ54cmの極めて大型の両面調整体である。正面の大部分・裏面の一部に原礫面が残ることから搬入形態より一回り大きい原石が利用されたと考えられる。

剥離工程 左側縁で左側面から正面への剥離(段階1)→左側面から裏面への剥離(段階2)→左側面から正面への剥離(段階3)、右側縁で右側面から正面への剥離(段階4)→右側面から裏面への剥離(段階5)→右側面から正面への剥離(段階6)→右側面から裏面への剥離(段階7)、が行われた後、左側面から裏面への剥離(段階8)→左側面から正面への剥離(段階9)⇄右側面から正面への剥離(段階10)→右側面から裏面への剥離(段階11)→右側面から正面への剥離(段階12)→左側面から正面への剥離(段階13)→右側面から正面への剥離(段階14)が行われる。

加工の段階はその種類によって前後に分けられ、前半の段階1～6は粗い加工で大きな厚手の剥片が剥離され、後半の段階7～14は縁辺部調整のある打面の小さい薄手の剥片が剥離される。加工は主に凸状の正面側で行われ、厚さを大きく減少させている。素材原石が大型で全体的に剥離される剥片も大きい、剥離される剥片の末端部形状がヒンジになることはほとんど無く、本体の表面が滑らかな状態で加工は進行している。また、後半の加工は各段階が縁辺全域に及び、それが左右交互に秩序立って行われ、非常に順調に進行している。最終的に表面が滑らかで断面凸レンズ状の整った形態をした52×14×6cmの尖頭器が搬出されている。

分布 Sb-90のJ31・32、K31・32、Sb-94のI31区に分布する。狭い範囲に高密度に分布し、段階による違いは見られない。

母岩別資料693・接合資料3201 (図Ⅲ-198～201、図版158・159上)

母岩別資料は接合3201の他、接合56585・56613・56614、石刃1点、剥片23点で構成され、総点数

207点、総重量3,119.6gである。

素材 176点(115個体)が接合し、重量は2,995.9g、大きさは29×19×15cmである。風化によりザラついた平坦面を持ち、角のやや潰れた亜角礫を素材として原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程 上面から裏面への剥離(段階1)、正面からの稜調整である正面から左側面(段階2)・正面から右側面(段階4)・正面から右側面(段階9)、裏面から左側面調整(段階3)、裏面から上面への剥離(段階5)、上面から右側面への剥離(段階6)、裏面から右側面調整(段階7)、右側面から裏面調整(段階8)、正面から上面への剥離(段階10)によって石刃核母型が製作され、上設打面調整(段階11)⇔上設打面からの石刃剥離(段階12)が行われる。

断面形が二等辺三角形で側面形が半円形に近い原石を素材として、断面二等辺三角形の底辺を裏面に設定し、裏面調整、側面調整によって断面二等辺三角形で側面形が半円形の原石を一回り小さくした形態の石刃核母型が製作される。このことから石刃核母型製作に適した形態(類似した形態)の原石が選択されていると思われる。石刃核母型作成後は、打面調整・打面縁辺を磨り潰す頭部調整を行いながら石刃が剥離される。石刃剥離に伴う打面調整によって石刃核の高さは、25cmから18cmに減少している。

本接合資料では4点(尖頭器2点、搔器2点)のツールが製作されている。

尖頭器は、段階10で内在する節理面を分割面として事後的に剥離された厚手の剥片である個体A、石刃核である個体Bを素材としている。個体Aは粗い加工(A-段階1)の後、縁辺部調整を伴う打面の小さい薄手の剥片を剥離する加工(A-段階2~4)が行われ、12×6×2cmの尖頭器が製作される。個体Bは石刃剥離の進行によって作業面が平坦になり、厚さが薄くなった扁平な石刃核を素材としている。石刃作業面を打面とした粗い加工(B-段階1・2・3の前半)の後、縁辺部調整を伴う打面の小さい薄手の剥片を剥離する加工(B-段階3の後半~7)が行われ、16×7×2cmの尖頭器が製作される。個体A・Bの本体は搬出されているが、それらは表面が滑らかで端部が尖らない形状で、直接的な関連は不明であるが忍路子型細石刃核母型である可能性もある。

石刃は15cm程度のものが剥離され、図Ⅲ-118-64・図Ⅲ-118-60の搔器が製作される。両者とも側縁加工はほとんど行われず、推定される素材の大きさから判断して刃部再生頻度は低いと思われる。図Ⅲ-118-64は稜付石刃素材で、実測図作成後に接合したため、実測図には書かれていないが、図Ⅲ-199下段中央の遺物位置図にトーンで示した。石刃は、16のように背面に石刃核側面が残り、縁辺が直線ではないものが遺棄される一方、作業面中央で剥離されたものの大部分が欠落し、搬出されている。

分布 分布は①Sb-89のR30、S29、②Sb-90のJ31・32、K31・32、L31、Sb-94のJ31区に分けられる。個体A・Bを含む大部分は②に高密度に分布し、搔器2点のみ①に分布する。搔器2点が、素材ないし製品で①に搬入されたと考えられる。

母岩別資料690・接合資料3194(図Ⅲ-201~203、図版159下・160上)

母岩別資料は接合3194のみである。

素材 36点(24個体)が接合し、重量は5,342.7g、大きさは35×17×13cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として右側面・裏面に粗い加工が行われた状態で搬入される。

剥離工程 左側面から裏面への石核調整(段階1)、正面から左右への稜調整(段階2・3)後、左側面から上面への剥離による打面作出(段階4)が行われ、上設打面調整(段階5)⇔上設打面からの石刃剥離(段階6)が行われる。

石刃核母型は、石核調整の際に右側面中央の夾雑物を除去できていないため、右側面に瘤があり、左側面が平坦な断面D字状を呈する。石刃核母型製作後、横方向の連続した剥離で打面が作出され、打面調整を行いながら石刃が剥離される。石刃は20~25cm程度のものが剥離されるが、石刃核母型の形状が悪いためか、石刃剥離の頻度は低く、搬出される石刃も少ない。

分布 Sb-90のJ31・32、K31・32区に分布する。分布密度は高く、J32区にやや離れて30の石刃が分布する。

母岩別資料688・接合資料3185（図Ⅲ-204~206、図版161・162）

母岩別資料は接合3185の他、接合3186・56603、縦長剥片1点、剥片47点で構成され、総点数131点、総重量4,498.8gである。

素材 78点（46個体）が接合し、重量は4,181.2g、大きさは30×17×13cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として裏面全体に粗い加工が行われた状態で搬入される。

剥離工程 右側面から裏面への石核調整（段階1）、正面から左右への稜調整（段階2・4）、裏面から右側面への石核調整（段階3）後に、打面作出（段階5）が行われ、上設打面からの石刃剥離（段階6）⇨上設打面調整（段階7）が行われる。

裏面全体が加工された、断面形が三角形、側面形が細長い半円形に近い形状で搬入され、稜調整・側面調整により均整のとれた母型が製作される。その後、打面調整を繰り返しながら石刃が剥離され、石刃核高は29cmから20cmに変化している。打面調整は正面中央付近を打点として行われ、打面部の正面形は中央がやや窪んだ形状で、終盤には打面を大きく更新する粗い打面再生が行われる。最後は粗い打面再生が行われるが、裏面に抜けずにヒンジになって剥離は終了している。

石刃は20~25cmのものが剥離されているが、稜付石刃を含む初期の石刃・最終段階の石刃は遺棄され、中間の石刃は欠落し、搬出されている。遺跡に残る初期段階の最後の石刃を素材として6の搔器が製作される。

分布 Sb-90のJ31~33、K31・32区に分布する。1か所にまとまって分布し、搔器・石刃核はやや外れて分布する。

母岩別資料704・接合資料3228（図Ⅲ-207~209、図版163・164上）

母岩別資料は接合3228の他、接合3229・3230・56639、剥片2点で構成され、総点数46点、総重量6,013.8gである。

素材 33点（23個体）が接合し、重量は5,846.8g、大きさは33×19×17cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた重角礫を素材として裏面・左側面を粗く加工した状態で搬入される。

剥離工程 左右からの裏面調整（段階1・2）、裏面からの左側面調整（段階3）、正面から左側面への稜調整（段階4）、下面から右側面への調整（段階5）の後、上設打面作出・再生（段階6）を伴う石刃剥離（段階7）が行われる。石刃剥離の途中で右側面下部調整（段階8）が行われる。

裏面・両側面の加工によって断面三角形の石刃核母型が製作されるが、石刃核下部は石核調整段階で潜在的な節理と球顆を原因として分離されたため、石刃核母型は下部が切断されたような形状である。稜調整によって作出された正面の稜は最後に磨り潰されて「バリ」が除去され、直線的に修正されている。石刃剥離は打面調整を伴って行われ、最終的に打面調整に伴って作業面と打面の角度が直角近くになり終了する。石刃は20~23cmのものが剥離され、稜付石刃・一部の側面付き石刃を除く大部分は欠落し、搬出されている。

分布 Sb-90のK31・32、L31・33、Sb-93のK31区に分布する。1か所にまとまって分布し、L33区に離れて分布するのは側面付きの幅広石刃の欠損品である。

母岩別資料691・接合資料3195 (図Ⅲ-210・211、図版164下・165上)

母岩別資料は接合3195の他、接合56610、剥片12点で構成され、総点数73点、総重量5,580.9gである。

素材 59点(31個体)が接合し、重量は5,486.7g、大きさは27×19×16cmである。一部平滑な原礫面が残り、大部分の角が潰れた転礫を素材として正面に稜状の粗い加工が行われた状態で搬入されている。

剥離工程 正面から左(段階1・3)・右側面(段階2・4)への稜調整→裏面上部に打面作出(段階5)→裏面から右側面に側面調整(段階6)の後に、上設打面からの石刃剥離(段階7)⇔上設打面調整(段階8)が行われる。

断面三角形に近い原石を素材として、主に正面からの稜調整によって断面三～五角形、側面半円形の母型が作成され、打面作出後に、打面調整を伴って石刃剥離が行われる。石刃核には作業面中央にヒンジによる段差が残り、それを除去できずに遺棄されたと思われる。

剥離される石刃の長さは18cm前後で、稜付石刃・一部の側面付き石刃を除く大部分は欠落し、搬出されている。

分布 Sb-90のJ31・32、K31・32、Sb-94のI32、J31区に分布し、やや散漫であるが、ほぼ1か所にまとまった分布である。

母岩別資料699・接合資料3217 (図Ⅲ-212・213、図版165下・166-1)

母岩別資料は接合3217の他、剥片15点で構成され、総点数104点、総重量4,834.3gである。

素材 89点(53個体)が接合し、重量は4,795.2g、大きさは28×17×15cmである。爪状痕のある転礫を素材として、左側面・裏面に粗い加工が行われた状態で搬入されている。

剥離工程 正面から右側面への稜調整(段階1)⇔正面から左側面への稜調整(段階2)→右側面からの裏面調整(段階3)→左側面からの裏面調整(段階4)⇔裏面からの左側面調整(段階5)→上面からの左側面調整(段階6)の後に、上設打面からの石刃剥離(段階7)⇔上設打面調整(段階8)が行われる。

正面・側面形が楕円形で、断面形が三角形の原石が利用され、正面で交互剥離による稜形成が行われ、左側面・裏面では左側面から裏面への剥離・裏面から左側面への剥離が交互に行われ、正面形が卵形、側面形が長楕円形、断面形が三角形の石刃核母型が作成される。その後、打面調整を行いながら、石刃が剥離される。稜調整によって作出された正面の稜は磨り潰されて「バリ」が除去され、直線的に修正されている。残核の作業面右にはヒンジによる段差が残り、作業面の悪化により遺棄されたと思われる。剥離された石刃長は18~20cmで、稜付石刃・一部の側面付き石刃を除く大部分は欠落し、搬出されている。

分布 Sb-90のK32・33、L32・33、M32区に分布する。北東の斜面方向に間延びした分布で、高密度のL・M32区、やや散漫なK33区に分布状態が分けられるが、これらには段階・内容による違いは見られない。

母岩別資料700・接合資料3218 (図Ⅲ-214・215、図版167)

母岩別資料は接合3218の他、接合3219、剥片5点で構成され、総点数47点、総重量6,043.5gである。

素材 40点(30個体)が接合し、重量は5916.0g、大きさは26×22×16cmである。一部平滑な古い剥離面を持つ、爪状痕のある転礫素材で、原石ないし、それに近い状態で搬入される。

剥離工程 下面からの裏面調整(段階1)、正面から左側面への稜調整(段階2)→正面から右側面への稜調整(段階3)→正面から左側面への稜調整(段階4)→正面から左側面への稜調整(段階5)→正面から右側面への稜調整(段階6)→正面から左側面への稜調整(段階7)、正面から上面への

剥離（段階8）、左側面からの裏面調整（段階9）、裏面からの右側面調整（段階10）の後に、上設打面調整（段階11）⇔上設打面からの石刃剥離（段階12）が行われる。

側面形が円形に近く、断面形が直角三角形に近い原石を素材として、交互剥離によって正面の稜調整（段階2～7）が行われた後、裏面調整・側面調整によって断面形がいびつな五角形の石刃核母型が作成される。その後、打面調整を伴って石刃が剥離される。最終剥離は打面調整で、節理面の露出等によって良好な打面調整が困難であるため遺棄されたと考えられる。

剥離された石刃長は18cm程度で、最終段階の石刃を除いて欠落し、搬出されている。

分布 Sb-90のK32・33、L32・33、M32、Sb-92のM32区に分布する。全体的に散漫な分布であるが、1か所のまとまりとみなすことができる。

母岩別資料689・接合資料3187（図Ⅲ-216・217、図版168）

母岩別資料は接合3187の他、接合3188～3193・56604～56609、縦長剥片1点、石刃6点、剥片21点で構成され、総点数199点、総重量5,027.2gである。

素材 120点（70個体）が接合し、重量は3,266.4g、大きさは38×18×17cmである。爪状痕のある転礫素材で、原石ないし原石に近い形状で搬入される。

剥離工程 裏面からの右側面調整（段階1）⇔右側面からの裏面調整（段階2）→左側面からの裏面調整（段階3）⇔裏面からの左側面調整（段階4）、正面から左側面への稜調整（段階5）⇔正面から右側面への稜調整（段階6）→裏面からの左側面調整（段階7）⇔正面から左側面への稜調整（段階8）→右側面からの裏面調整（段階9）→裏面からの右側面調整（段階10）の後に、裏面から右側面への作業面下部調整（段階11）⇔上設打面からの石刃剥離（段階12）⇔上設打面調整（段階13）⇔左側面下部調整（段階14）が行われる。

長さ40cm程度の側面形が楕円形、正面形が長楕円形、断面形が隅丸三角形の原石を素材として、裏面と左右側面との角、正面稜の角、の3つの角を中心にそれぞれ交互剥離による石核調整が行われ、側面形がラグビーボールに近い断面三角形の石刃核母型が作成される。石刃は打面調整を行いながら剥離されるが、ヒンジによる作業面下部形状の悪化に伴って、途中で作業面下部調整が行われる。石刃核は、初めは高さ36cmであるが、最後は24cmまで減少している。

剥離される石刃は18cm以上で、稜付石刃を含む初期の石刃以外はほとんどが欠落し、搬出されている。

分布 Sb-90のJ31～33、K31・32、Sb-94のJ31区に分布する。1か所にまとまった比較的高密度な分布である。

母岩別資料702・接合資料3222（図Ⅲ-514、図版403）

母岩別資料は接合3222のみである。

素材 22点（10個体）が接合し、重量は845.8g、大きさは30×11×8cmである。平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた角礫素材で、粗加工された状態で搬入されたと思われる。

剥離工程 正面から左側面への稜形成（段階1）後、上設打面からの石刃剥離（段階2）が行われる。

原石の形態、石刃核母型形状は不明である。正面には稜調整によって鋭角の角が作成され、その稜部は磨り潰しによって「バリ」が除去され、正面観が直線的に、側面観が滑らかな弧状に仕上げられる。石刃剥離は打面調整を伴って行われ、長さ20cm程度の石刃が剥離される。遺跡には稜付石刃を含む初期の石刃が遺棄されているが、2本目の稜付石刃（断面三角形で厚手である）と初期段階の石刃（断面台形で厚手である）を素材として、それぞれ図Ⅲ-118-63、図Ⅲ-118-62の掻器が作られる。これらには、さほど素材の長さの減少が見られず、刃部再生の頻度は低い。

分布 Sb-86のM35・36、Sb-90のK32、L32区、の2か所に分かれて分布し、Sb-86には掻器2点と石刃1点、Sb-90にはそれ以外の石核調整剥片・石刃が分布する。Sb-86の掻器・石刃は、剥離工程上連続するものではなく、途中の石刃1点がSb-90に分布していることから、素材として抜き出されてSb-86に搬入されたものと考えられる。

写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料687・接合資料3172 (図版160下) は、尖頭器調整剥片の接合資料である。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、25cm程度の原石ないし原石に近い形状で搬入されている。最初は縁辺から内側に打点のある打面の大きい粗い剥離による加工が行われるが、途中から打面の小さい調整剥片が剥離される。最終的に長さ25cm程度、幅10cm程度の表面が滑らかで整った形状の尖頭器で搬出される。全てSb-90に1か所に集中して分布する。

母岩別資料682・接合資料3154 (図版166-2) は、尖頭器調整剥片の接合資料である。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、33cmを超える原石ないし原石に近い形状で搬入されている。最初は縁辺から内側に打点のある打面の大きい粗い剥離による加工が行われるが、途中から打面の小さい調整剥片が剥離される。中央縦に節理面があり、左右からの剥離がその面で止まっているが、均等に加工することで表面に段差は生じていない。最終的に長さ30cm程度、幅12cm程度の非常に薄い尖頭器が搬出されている。ほとんどがSb-90に1か所に集中して分布し、連続して一部Sb-94に分布する。

母岩別資料714・接合資料3250 (図版169) は、平滑な原礫面を持つ、角が潰れた垂角礫を素材として、長さ31cm、正面に粗い稜調整のある状態で搬入されている。側面形が三角形、正面形が長方形、断面形が五角形の原石を利用して、正面から両側面への稜調整、裏面から左側面への石核調整によって石刃核母型が作成されるが、H区の他の石刃剥離接合資料に比べ石核調整の度合いが少ない。その後、打面調整を行いながら石刃が剥離されるが、作業面右にヒンジによる段差が生じ、剥離作業は終了している。石刃剥離の頻度は少なく、ほとんど搬出されていない。全てSb-90に分布し、1か所にやや散漫に分布している。

母岩別資料694・接合資料3203 (図版170下・171上) は、原礫面が残存せず、原石形状は不明で、石刃核母型で搬入された可能性がある。石刃核母型は正面から左右側面への稜調整、左右側面からの表面調整、裏面からの左右側面調整によって断面三角形に整形される。打面調整を行いながら石刃が剥離されるが、最終的に石刃核は中央の節理面で折損している。石刃は20cm以上のものが剥離され、一部が搬出されている。全てSb-90に分布し、1か所に高密度に分布する。

母岩別資料701・接合資料3220 (図版171下) は、爪状痕のある扁平な転礫素材で、21cm以上、右側縁からの石核調整が行われた状態で搬入されている。接合資料には右側縁から正面・裏面への石核調整、左側縁から裏面への石核調整が残り、断面楕円形の母型が作出されたものと見られる。石刃は正面～左側面で頭部調整を伴って剥離され、その長さは15～20cmである。その内の1点である図版171-III-119-72は掻器に加工されるが、末端部に軽微な加工による刃部が作出され、刃部再生頻度も低い。石刃核の正面左には最終剥離のヒンジによる段差が見られ、作業面形状の悪化に伴い、遺棄されたものと思われる。石刃は中央から左側面で剥離されたものが欠落し、搬出されている。Sb-90に散漫ではあるが一つのまとまりとして分布し、掻器のみ離れてSb-82に分布する。Sb-90の分布は内容で隣接する二つに分けられ、L31区には石核調整剥片が、L32区には石刃剥離段階のものが分布する。

母岩別資料703・接合資料3227 (図版172) は、爪状痕のある扁平な転礫を素材として、長さ30cm、

原石ないし原石に近い形状で搬入されている。最初は正面左右から交互剥離による粗い稜調整が下から上へ向かって行われ、その後はやや細かい剥離で石核調整が行われる。両面調整後に近い形状の幅の狭い石刃核母型が製作される。裏面から右側面上部の調整後に打面が作出され、打面調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は25cmを超える大型品で、稜付石刃(図版172-11)や初期の石刃(図版172-25)以外は出土していない。全てがSb-90ないしその隣接するブロックに分布するが、大きくL32区とK32・L31区の2か所に分けられ、前者には2個体の石刃・一部の剥片が、後者には残りの大部分が分布する。

母岩別資料710・接合資料3239(図版170上)は、爪状痕のある扁平な転礫を素材として、長さ24cm、1枚の粗い剥離面のある状態で搬入されている。大型の剥離面を打面として正面上部で連続した粗い剥離が行われるが、何を目的として剥離されたかは不明である。Sb-90の北端部の狭い範囲に高密度に分布している。(鈴木宏行)

(9) I区・石器ブロック91~96(Sb-91~96)の石器

出土石器(表Ⅲ-9・10)

尖頭器202点(I類143点、II類18点、III類41点)、尖頭器刮片60点、両面調整石器11点、ナイフ形石器44点、彫器57点(I類14点、II類23点、III類20点)、彫器刮片23点(I類1点、II類1点、III類21点)、搔器54点、削器125点、錐形石器11点、舟底形石器113点(Ia類12点、IIa類91点、IIb類8点、IIc類2点)、二次加工ある剥片110点、石刃821点、縦長剥片876点、石刃核56点、石核57点、剥片48,712点、斧形石器1点、原石19点、台石1点の計51,353点、重量432,696.7gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が42.8%で最も多く、黒曜石1(38.7%)、黒曜石3(7.9%)、黒曜石2(5.7%)が続く、以下黒曜石5(4.8%)、安山岩(0.03%)、頁岩(0.02%)、珪岩(0.002%)である。上白滝8遺跡全体で点取り遺物点数が最多の区域である。遺物は非常に広範囲に連続して分布し、その中に小型舟底形石器器群、大型尖頭器・大型舟底形石器器群、幅広有舌尖頭器器群、広型ナイフ形石器器群などが含まれており、石器・石材組成は複数の石器群を含んでいる。

尖頭器(図Ⅲ-218-1-図Ⅲ-230-59、図版173~182、図版198-413・414)

117点(58個体とII層出土1個体を加えた59個体)を図示し、4点(1個体とI層出土1個体を加えた2個体)を写真のみ掲載している。

1~21は幅広のIII類で、11~21は未成品と思われるものである。1・2は、舌部が中央付近に位置するもので、先端角が約90度と鋭くは尖らない。かえしは両側縁とも明瞭に作出される。3~7は舌部が器体の基部側3分の1に位置するもので、細長く先端が突るタイプである。3・4は両側縁、5・6は片側縁に明瞭なかえしが作出される。7の基部は、右側縁はやや内湾し、左側縁は直線的である。8・9は幅広のもので、8は石核素材、9は剥片素材である。両者ともかえしが明瞭に作り出される。10は小型のもので、右側縁に明瞭なかえしが作出される。基部左側縁は直線的であるが、①左側縁全体には裏面からの急角度の加工が見られこと、②それらに切られる裏面の加工の打点が石器の左側縁より大きく外側であったことが想定されることから、本来左右ともかえしがあり、対称形であったものが再加工によってこのような形態に変化したものと考えられる。産地分析結果が十勝産であり、左側縁の加工とその他の平坦加工面で表面状態の違い(多段階表面変化)が見られることもこのような技術的履歴を補強するものである。11~21は未成品で、11~14・20は剥片素材、15~19は尖頭器調整剥片素材、21は石刃素材である。加工の初期段階と思われるものでも身部と区別した舌部の加工が行われ、特に19~21は舌部の作出が独立して行われる。尖頭器調整剥片素材のものは、石核素材尖頭器

の加工の際に特徴的に剥離される斜軸剥片の形態的特徴を利用して2辺の接する尖頭部を尖頭器の尖頭部に設定している。18は折損後、再加工が行われるが、その他にも折れ面が側縁に残るものが多く、基部の作出ないし全体の整形に折り取りが行われた可能性がある。加工は平坦剥離によるものが多く、2・5・10は中央の平坦面と縁辺のやや角度のある加工面で作られている。前述したように角度のある加工面を再加工によるものとする、3～7の細長い尖頭状のものから1・2の短いものへと形態が変化した可能性が考えられる。未成品の加工は比較的粗く、縁辺は直線的ではないが、完成品に近いものは直線的で滑らかである。産地分析結果(技術形態学的特徴と産地の関係性、同一地域内における地点の異なる白滝18遺跡(未報告)との利用石材の遺跡間変異の実態解明を目的として掲載単品資料全てを対象に行った)では、1・13がケショマップ、2が所山、10が十勝、3・7・8・20・21が八号沢、4・6・9・11・12・15～19が赤石山産であった。安山岩製の14を含めて石材は多様で、他産地の黒曜石、安山岩、通常利用される頻度の少ない肌である黒曜石2(産地分析では八号沢産)が利用される。舌部が中央に位置する小型の完形品は全て白滝以外の産地で、未成品については1点を除き、白滝産(赤石山・八号沢産)の黒曜石が利用される。また、白滝産のものはほとんどが母岩別資料に含まれ、遺跡内で製作される一方、他産地のものは完形品で搬入され、未成品であるケショマップ産の13は素材ないし、未成品で搬入されるものがあった可能性を示している。11・13・14・20に残存する原礫面は、全て転礫面で転礫が主に利用されたと思われる。

22～48は舌部・削片剥離痕のない尖頭器Ⅰ類である。22・23は非常に細長い細かい加工のもので、22は押圧と見られる交互剥離状の加工が施される。24～26は半月形のもので、24はやや粗く厚手で、Sb-88・89出土の尖頭器と類似する。25・26の形態は酷似し、平坦剥離によって表面・側縁共に滑らかな形状で、25は剥片素材である。27は比較的細かい加工の小型のもので、28・29はそれぞれ剥片・縦長剥片を素材として部分的な加工の段階で折損している未成品である。30・31は同一母岩で棒状原石を素材として粗い加工が行われ、折損の度に再加工が行われる。32は平坦剥離によって薄く加工され、最終的に縁辺に押圧と見られる平行剥離に近い細かい加工が施される。また、折損後、上部破片の折れ面付近で微細な加工が行われる。33は平坦剥離によって加工され、比較的厚みのあるもの。34は頁岩製で、中央部には平坦剥離が、縁辺部には押圧と思われる平行剥離が見られる。平行剥離は交互剥離状に裏面の稜を加圧するため、縁辺の側面形はギザギザとした形状である。両側縁が平行する細長い形状で、両端部には錐状の突出部が作り出される。36・37は平坦剥離で薄く加工され、縁辺部には細かい剥離が行われる表面が滑らかな20cm程度の尖頭器である。両者とも折損し、側縁の折れ面付近、正面の折れ面付近で再加工が行われる。38は平坦剥離で薄く加工されているが、表面は波打ち、滑らかではない。35・39～41は平坦剥離面で覆われる20～30cmの大型品で、41は折損後、縁辺部に角度のある粗い加工が行われる。42は厚手の折損品で、43～46は幅広の尖頭器である。43・44は表面が比較的滑らかで整った形状である。45は折損後、上部破片の折れ面付近に再加工が行われる。47・48はそれぞれ長さ29.4cm、34.4cmの両端部が尖る大型品である。47の下部には放射状の折れが認められ、両者とも直径1.5cm大の球顆を含み、黒曜石3が利用される。これらの特徴はB区の大型尖頭器に類似している。原礫面は、28には転礫面が、30・31・35・45・47・48には角礫面が残り、剥片素材には転礫が、20cmを超える大型の石核素材には角礫が利用されていたと考えられる。

49～59は尖頭器の縁辺で削片が剥離される尖頭器Ⅱ類である。49は尖頭器折損後、折れ面から削片剥離が行われる。50は尖頭器折損後、下端部から右側縁に剥離が行われた後、折れ面から左側縁に削片が剥離され、正面では折れ面・右側縁から細かい剥離が行われる。51は尖頭器折損後、折れ面から正面に削片が剥離され、さらに正面下端部では右側面から加工が行われる。52～56は左右側縁に交叉

する削片剥離面のあるもので、52・53は上端から左側縁への剥離面を打面として右側縁に交差する削片剥離が行われる。54は左側面に折れ面が残り、尖頭器折損後、上端から左側縁への剥離面を打面として右側縁で削片が剥離される。また、左側縁には下端からの剥離も見られる。全て最終剥離面の末端部形状がヒンジになって、削片剥離作業は終了している。厚さは10～15mmのものが多く、剥離された削片の両側縁は平行である。55・56は尖頭器Ⅱ類が中央の折れ面で接合した資料である。55は尖頭器折損後、上部破片では右側縁のみ、下部破片では下端から右側縁に剥離が行われた後、折れ面から左側縁に剥離が行われる。56は尖頭器折損後、上部破片では折れ面から左側縁への削片剥離後、その末端部から右側縁で削片剥離が行われ、下部破片では下端部から左側縁への削片剥離後、折れ面から右側縁で削片が剥離される。57は折損後、折れ面から右側縁への剥離→下端部から右側縁への剥離→折れ面から左側縁への剥離が行われる。57は49～56に比べ厚さが24mmと厚手で、剥離される削片も幅広である。また、左側縁の剥離には他のⅡ類には見られない頭部調整が行われている。49～57は全て黒曜石4である。58・59は折損後、折れ面から正面に剥離が行われるもので同一接合資料に含まれる。黒曜石1が利用される点・正面側で剥離が行われる点で49～56と区別される。

図版198-413・414は写真のみ掲載のものである。413はⅢ類の未成品である。剥片素材で左側縁・右側縁下部は平坦剥離によって菱形に近い形状に整形されている。基部両側縁はやや内湾している。左側縁上部には先端部からの槌状剥離痕があり、上部にはその剥離痕を切る加工が見られる。右側縁上部は簡単な加工が行われるのみでやや湾曲した素材形状を残す。414は尖頭器Ⅱ類である。上部の折れ面から右側縁、左側縁下部に槌状の剥離が行われ、下部部には尖頭器の縁辺が残る。

尖頭器削片 (図Ⅲ-230-60～73、図版182、図版198-415～418)

20点(14個体)を図示し、5点(4個体)を写真のみ掲載している。60～62・図版198-415～417は尖頭器の縁辺から剥離された断面三角形の一次削片である。60・61の末端部には下端から反対側縁への削片剥離痕が残る。63～66は正面に尖頭器の折れ面が残るもので、先行の削片剥離痕がある65以外は折れ面で剥離された一次削片である。折れ面で剥離されるものは左右に傾くものが多く、66の断面は三角形である。67～73は尖頭器の縁辺や折れ面の残らない二次削片で、断面三角形の67以外は断面四角形である。下端部を取り込むウトラパッセにより反りを持つものが多く、68～70のような直線的なものは末端部がヒンジになる特徴がある。全て長さ10cm以下で、幅は1.3cm前後のものが多い。

両面調整器 (図Ⅲ-231-74～図Ⅲ-232-77、図版183)

5点(4個体)を図示している。75は折損した尖頭器Ⅲ類の基部側の破片が再加工されたものと推される。上部の折損後、折れ面付近が背面への急角度の加工で斜めに断ち切られている。全体的に表面に傷が多く、稜が摩滅しているが、上縁の加工にはそれらが見られず多段階表面変化が確認される。76は剥片素材の厚い末端部に粗い平坦な加工が行われている。74・77は角礫の石核素材で、74は非常に粗い剥離が行われ、77は両面とも粗い平坦剥離が行われ、最終剥離である正面下端からの剥離で折損している。尖頭器製作の初期段階と考えられ、選択される利用石材の特徴を示している。

ナイフ形石器 (図Ⅲ-233-78～図Ⅲ-234-98、図版184)

27点(21個体)を図示している。78～84は剥片・石刃素材で、柿の種子のような形状の6cm以下の小型品である。78～80は残された素材縁辺と側縁加工による角がある左右非対称形、81～84は左右対称形である。85は半月形に近い不定形で、ナイフ形石器の先端部を取り込んだ側面調整剥片素材である。86～93は石刃素材の細長いタイプであるが、大きさが6cm以下の小型品である86～88と8cm以上の大型品である89～93に分けられ、前者の大きさは78～84と連続的である。二次加工の頻度は小型品が高く、背面先端側は片側縁の一部のみ加工される83・86・88を除いて、片側縁全体と片側縁の

一部に施される。また、基部は背面・腹面とも全ての石器に平坦剥離により円形に加工される。一方、大型品の二次加工は89を除いて限定的である。84は背面片側縁全体、基部の両面に加工のある大型品が左側縁からの加工により折損した後、背面の折れ面周辺、特に右側縁を中心に再加工される。腹面に加工が行われないが、小型品へと形態変化している。大小の違いは素材の大きさの違いもあるが、小型品の加工頻度が高く変形率が高いこと、折損後の再加工が見られることから大型品から小型品に形態変化した可能性がある。78・82～84・86・89は素材先端側、79～81・87・88・90～93は素材打面側が基部に設定される。

94～98は折損品で、94・95は先端部破片、96～98は基部破片である。94・95の先端部は斜めに断ち切れ、96・97は背面基部に、98は両面に平坦剥離が行われる。

石材は黒曜石1が主体的で黒曜石3～5が一部利用される。

彫器 (図Ⅲ-234-99～図Ⅲ-236-148、図版184～186)

53点(48個体とⅠ層出土1個体とⅡ層出土1個体を加えた50個体)を図示している。

99～111はⅠ類、112～132はⅡ類である。99～104、112～118は周縁加工が背面のみに、105～110、119～132は両面に施され、後者の方が厚手である。周縁加工は、背面側は急角度の、腹面側は平坦な加工によって行われ、その分布は、背面側はほぼ全周に見られるのに対して、腹面側は部分的なものから面的なものまで変異が大きい。

111は側面調整の行われない大型品で、素材は他の石刃と異なり石刃核の縁を潰すような頭部調整は見られない。112は彫刀面の反対の端部に錐状の尖頭部が作出される。117・122・123はⅠ類の彫刀面がⅡ類の彫刀面に切れられ、Ⅰ類→Ⅱ類の変化が確認できる。131・132は彫刀面が縁辺に沿って作出され、尖頭状になるもので、131は頁岩製、132の加工は広郷型ナイフ形石器に似る。

133～147はⅢ類である。133は調整打面から左側縁に削片剥離が行われる。134～138は厚手の剥片・石刃素材でノッチ状の厚形の調整打面から彫刀面打撃が行われる。134の背面側には彫刀面からの加工が見られる。135は上下に彫刀面打面が作出され、左側縁には上面からの、右側面には上下からの彫刀面が見られる。136は石刃素材であるが、素材打面に頭部調整は行われない。138は上面の折れ面から左右側面への彫刀面打撃の後、下設打面から右側面へ彫刀面剥離が行われる。139～146は彫刀面を打面として彫刀面打撃が行われる両面彫器である。139は下縁腹面の調整打面から右側縁へ削片が剥離された後、その末端部から左側縁に彫刀面剥離が行われ、さらに左側縁下部の剥離面を打面として裏面下端で削片が剥離される。140は左側縁の彫刀面を打面として右側縁で削片剥離が行われる。141は安山岩製で左側縁の彫刀面を打面として右側縁で彫刀面が作出される。142は上面の彫刀面を打面として右側縁で彫刀面が作出される。143は四角形で全ての辺で削片が剥離されており、上面と右側面、下面と左側面でそれぞれ打面を入れ替えて彫刀面剥離が行われる。

144は上部の交叉状の彫刀面作出後、下部の折れ面から左側縁で彫刀面剥離が行われる。145は上下両端での交叉状の彫刀面作出後、中央の折れ面から上部破片左側縁に彫刀面が作出される。146は上面・右側面での交叉状の彫刀面剥離後、下部が粗い剥離で錐状に加工される。147は左肩の折れ面から正面へ彫刀面剥離が行われる。148は背面周縁と腹面基部側が平坦剥離で加工され、中央での折損後、左右両側縁で削片剥離が行われる。Ⅲ類の特徴として、①彫刀面が石器の長軸に対して平行ないし垂直に作出されるものが多いこと、②彫刀面打面はやや粗い厚手の調整打面・折れ面・彫刀面であること、が挙げられる。また、周縁加工は無いものが多いが、138・140・142にはやや粗い、139・144・148には平坦な加工が見られる。

利用される石材はⅠ・Ⅱ類とⅢ類で異なり、Ⅰ・Ⅱ類は黒曜石1が60～65%、黒曜石4・5合わせ

て35%程度、Ⅲ類は黒曜石1が90%を占める。素材も同様で、Ⅰ・Ⅱ類は頭部調整のある単剥離打面の石刃がほとんどである一方、Ⅲ類は一部石刃が利用されるが剥片が多い。

彫刀面はⅠ・Ⅱ類は全て左肩に、ほとんどが素材先端側に作出されるが、Ⅲ類は多様である。背面先端部調整はⅠ類にはほとんど見られないが、ほとんどのⅡ類には認められ、その3分の2は打点が無く、彫刀面に切られている。明確な多段階表面変化は確認できない。

彫器削片 (図Ⅲ-237-149-161、図版186)

13点(6個体とⅡ層出土7個体を加えた13個体)を図示している。149はⅡ類の一次削片で、一次削片剥離段階から本体の彫器はⅡ類の特徴を備えていたことがわかる。150はⅠ類の二次削片、151-154はⅡ類の二次削片である。151は真岩製で、150・152-154には打点のある背面先端部調整が見られる。155-161・図版198-418はⅢ類の彫器削片である。155-157・図版198-418は縁辺部加工の残る一次削片で、155の加工は素材剥離前の調整の可能性もある。157の右側面の下端部にはノッチ状の加工が見られ、左側面にはその面を打面とした彫刀面が残る。図版198-418の縁辺には粗い加工が見られる。158は本体の折れ面が背面に残る一次削片に近い二次削片である。159-161は縁辺部加工の無い削片で、159・160は一次削片、161は安山岩製の二次削片である。

搔器 (図Ⅲ-237-162-図Ⅲ-239-202、図版186-188)

48点(36個体とⅠ層出土5個体を加えた41個体)を図示している。162-188は石刃素材で急角度の側縁調整が行われるものである。刃部は直線的なものが多く、素材打面は頭部調整のある平坦打面が多い。177は側縁加工が平坦で刃部は円形である。189-196は石刃素材で側縁調整がほとんど無いもので、189-191は細長く、192-196は相対的に幅広く背面中央に1本の稜線のある薄い素材のものである。前者の素材打面は頭部調整のある単剥離打面で、後者は調整打面が多い。また、刃部形状は前者が直線的であるのに対して、後者は円形に近い。195の左側縁には上端の折れ面からの彫刀面が見られ、さらに、上部破片の折損後、折れ面から右側縁に彫刀面が作出される。197-199は厚手のもので、197は側縁調整・正面の稜からの加工・腹面基部の平坦加工により基部側が細く断面三角形に整形されている。198は側縁調整と背面中央の稜からの加工により断面三角形に整形される。199は調整打面の稜付石刃素材で、断面三角形の素材が利用される。200は大型の石刃素材で背面全面の平行剥離によって加工される。201は安山岩製で、先端部に粗い加工で直線的な刃部が作出される。折損後、上部破片の左側縁において折れ面から彫刀面打撃が行われる。202は薄手の剥片素材、縁辺に平坦剥離による加工が行われる。先端部が欠損しているため刃部形状は不明であるが右下部に残る刃部形状から直線的であった可能性が高い。

175は傷が多い素材面と傷の無い加工面の間で多段階表面変化が確認できる。これは、素材剥離と二次加工の時間的隔絶を示し、具体的には素材剥離後、素材の運搬を経て消費地で二次加工が行われたという石器の履歴を示すもので、所産という産地分析結果もそれを裏付けている。200は表面全体に非常に傷が多い。178・184・185の表面全体は白く変色し、被熱によるものと思われる。本地区の搔器には刃部周辺にパンチ痕の見られるものは無い。

錐形石器 (図Ⅲ-240-203-206、図版188)

6点(4個体)を図示している。203は頭部調整のある単剥離打面を持つ石刃素材で側縁全体の加工により先端が細長く加工される。204-206は刃部のみ加工が行われ、端部にノッチ状の加工によって刃部が作出される。204は幅広い石刃素材、205は原礫面の残る剥片素材、206は頭部調整の無い原礫面打面を持つ幅広い剥片素材である。

削器 (図Ⅲ-240-207-図Ⅲ-242-236、図Ⅲ-513-5・6、図版188-190-402、図版198-419-427)

44点(32個体)を図示し、13点(8個体とⅠ層出土1個体を加えた9個体)を写真のみ掲載している。207は全周に加工が施され、左肩部は斜めに切り取られ、彫器の母型と思われる。208~217・図Ⅲ-513-5・6は縁辺に限定される比較的細かい加工が行われ、縁辺が滑らかなものである。208~216・図Ⅲ-513-5・6は石刃素材、217は剥片素材で、214~216は欠損品である。208は腹面に平坦剥離による加工が行われ、207同様、彫器母型の可能性がある。212は先端部折損後、再加工が行われる。素材石刃は小型舟底形石器に伴う頭部調整のある単剥離打面が多い。図Ⅲ-513-5・6は産地分析の結果、ともに所産であったが、図Ⅲ-513-6の表面には傷が多く、図Ⅲ-513-5の表面には明瞭な傷は確認されなかった。218・219は石刃素材で、細かい剥離で加工されるが縁辺が滑らかではなく、軽い鋸歯状で、219は腹面打面側に加工がある。220~222は大型石刃素材で、220の背面両側縁には不連続な平坦加工が、221・222は両面に粗い平坦加工が行われる。223は頁岩製で、右側縁は急角度の、左側縁は斜角の加工で直線的に、上下は急角度の加工で斜めに断ち切られている。224は石刃素材で、右側縁には連続的な急角度の加工が行われる。225は剥片素材で、下端部は平坦剥離によって尖頭状に整形される。226は剥片素材で、左側縁がやや細かい剥離で直線的に、右側縁が斜角の加工で弧状に加工されるが、素材面・左側縁の加工と右側縁の加工に多段階表面変化が確認できる。227は大型剥片素材で、大型の平坦剥離と縁辺部の細かい加工が行われる。228~230は剥片素材で、粗い平坦剥離で加工される。231~236は厚手の剥片ないし縦長剥片素材で、舟底形石器の加工に類似した粗い加工が行われ、舟底形石器の未成品の可能性がある。

図版198-419~427は写真のみ掲載のものである。419~421は石刃素材で、縁辺に限定される細かい急角度の加工が行われ、422は剥片素材で、縁辺に細かい加工が施される。423は打面の大きい縦長剥片素材で、右側縁の背面先端部・腹面縁辺に加工が行われる。424は頁岩製の頭部調整のある良形の石刃素材で、左側縁には細かい加工が、右側縁には平坦な加工が施される。425は頁岩製の幅広剥片素材で、器体中央に及ぶ平坦剥離が行われる。426は安山岩製の剥片素材で、左側縁に平坦剥離による加工が行われる。427は剥片素材で右側縁に比較的粗い加工が行われる。

舟底形石器(図Ⅲ-243-237・図Ⅲ-248-282、図版190~192、図版199-428~446)

61点(42個体とⅠ層出土1個体とⅡ層出土3個体を加えた46個体)を図示し、30点(16個体とⅠ層出土1個体とⅡ層出土2個体を加えた19個体)を写真のみ掲載している。237~249はⅠA類で、247~249は折損品である。細石刃状の剥離は、237は両端に、238~245は一端に見られ、246には見られない。また、その位置は、238・239・241・243・245は素材先端側、240・242・244は素材打面側である。245~247の側面には甲板面に切られる素材剥離面が残り、それらは尖頭器の調整剥離面と見られることから尖頭器削片素材と考えられる。245の甲板面は246・247と異なりネガ面であるため、素材は尖頭器の二次削片ないし尖頭器Ⅱ類である。被熱しているものが多く、239・241・243・244・248は被熱により表面の光沢が減少している。

250~278はⅡA類で、251・255・261・267は石核素材、それ以外は剥片素材である。250~264は左右両面に甲板面の状態からのみ加工が行われるもので、260~263は欠損品。265~272は甲板面からの加工以外に下縁からの加工のあるもので、265~269は高さがあり、下縁部の側面形が弧状で比較的厚手の素材が利用されている。他のⅡA類に比べ、整った形状である。270~272は細長い形状で前者に比べ薄手の素材である。273~278は片側面のみ加工が行われるもので、276~278は折損品。252は被熱により変色している。

279・281・282はⅡB類である。279の甲板面はリングが密な平坦面で、大型剥片素材である。280はⅡC類で甲板面が原礫面である。ⅡB・C類は、上下から加工が行われ、側縁・下縁部は細かい剥

離で整形されるのが特徴である。282は甲板面の状態から大型剥片素材と思われる。

図版199-428-446は写真のみ掲載のものである。428-431はⅠa類の折損品で、428・429の端部には細石刃状の剥離痕が残る。430には素材の単剥離打面が残存し、他の3点と異なり、ほとんどが甲板面からの加工で整形され、高さの低い断面形である。432は石核素材のⅡa類で、右側面縁辺は細かい加工により滑らかになっている。加工は甲板面からのみである。433-446は剥片素材のⅡa類で、433-439は両側面に甲板面からのみ加工が行われるもので、437-439は折損品。440・441は下縁からも加工が行われるもので、前者に比べ幅が狭い。442-446は片側面のみ加工が見られるもので全て甲板面からのみの加工である。434・436-438・442・443は被熱により変色している。

石材はⅠa・Ⅱa類のほとんどに黒曜石4が利用され、Ⅱb類には黒曜石1・4・5が利用される。

二次加工ある剥片 (図Ⅲ-248-283、図版192)

1点(Ⅰ層出土1個体)を図示している。283は尖頭器剥片素材で、左側面下部には腹面・正面から、右側面下部には正面から加工が行われる。尖頭器剥片素材の舟底形石器Ⅰ類を作成する初期段階の可能性がある。

石刃 (図Ⅲ-248-284-図Ⅲ-249-295、図版193・194)

32点(12個体)を図示している。284-294は頭部調整のある単剥離打面の石刃で、284-291は頭部調整により弧状に整形された打面縁辺近くを加撃されたため打面は小さい。291を除いて長さ8-10cmで、本区の小型舟底形石器に伴う石刃技法から剥離された標準的な大きさである。292-294は頭部調整により直線的に整形された打面縁辺よりやや内側を加撃されたため打面はやや大きい。長さは20cmを超える大型のものがある。これらは広郷型ナイフ形石器に伴う石刃で打面周辺の特徴を示している。295は複剥離打面の石刃で、右側面には下面からの剥離痕が残る。

縦長剥片 (図版200-447-449)

5点(3個体)を写真のみ掲載している。図版200-447-449は剥片の縁辺で剥離されたもので、頭部調整は見られないが448には稜調整と見られる右側面からの細かい剥離痕が残る。

石刃核 (図Ⅲ-250-296-図Ⅲ-253-314、図版194-196、図版200-450-図版203-479)

20点(18個体とⅠ層出土1個体を加えた19個体)を図示し、32点(28個体とⅠ層出土2個体を加えた30個体)を写真のみ掲載している。296-314は全て単剥離打面の石刃核である。296・297は裏面に原礫面が残る、石刃剥離が裏面方向に進んでいる。297は打面長軸方向で打面再生が行われ、最後は正面左側で石刃が剥離される。298-303は側面・裏面に原礫面・大型剥離面が残るものである。大型剥離面は初期段階で行われた粗削りによる石核調整と考えられ、その後は裏面方向に石刃剥離が進行している。302は打面・裏面が古い面構成され、打面に残る複数の剥離面も古く、石刃剥離に伴うものではないため単剥離打面と同質と考えられる。また、明確な頭部調整が見られず、下端部には裏面からの剥離面がある。304-310は作業面が全周を巡る石刃核である。304・305は円錐形で、全周で均質な石刃剥離が行われる。306-308は下縁に直線的な稜の残るもので、主に正面・裏面で石刃が剥離される。309・310は正面・裏面で剥離角が異なり、裏面では直角に近く、正面では60度程度で主に正面で石刃剥離が行われる。311は頭部調整を伴う石刃剥離後、左側面で厚手の縦長剥片を剥離し、さらに裏面で左右から剥離が行われる。裏面での最終剥離は舟底形石器の調整剥離の可能性ある。312は頭部調整を伴う石刃剥離後、頭部調整を伴わない厚手の縦長剥片が連続して剥離される。313は原礫面打面から頭部調整を伴わない厚手の縦長剥片が剥離される。314は簡単な頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。

図版200-450-図版203-479は写真のみ掲載のものである。450-470は単剥離打面の石刃核であ

る。452は頭部調整のある石刃剥離後、打面の大きい厚手の剥片が剥離されている。裏面には、大型の剥離面のみで構成される450・456以外は全て原礫面が残る。465～470は両側面に原礫面ないし素材面があり、作業面幅が限定されるもの。比較的扁平な原石・素材を利用して小口面に作業面が設定される。471・472は原礫面打面、473～476は正面で上下方向の石刃剥離が行われるものである。477～479は正面と正面以外で石刃剥離が行われるもので、477は裏面で右側面から、478は左側面で裏面から、479は上部が欠損しているが表裏両面で上からの石刃剥離が行われる。

石刃核はほとんど全てに頭部調整が見られ、主に7～10cm程度の石刃が剥離されている。石材は約3分の2が黒曜石4、4分の1が黒曜石1で、黒曜石4は角礫・亜角礫が多く、黒曜石1は転礫がほとんどである。

石核 (図Ⅲ-253-315～図Ⅲ-255-329、図版196・197、図版203-480～図版204-491)

19点(12個体とI層出土2個体とII層出土1個体を加えた15個体)を図示し、15点(11個体とI層出土1個体を加えた12個体)を写真のみ掲載している。315は裏面に原礫面が残り、原礫面打面から厚手の剥片が剥離される。315～318は裏面に原礫面・大型剥離面が残り、裏面方向に剥離が進行したもので、315は単設の原礫面打面を持つ石核である。316は上下から剥離が行われ、上面は単剥離打面、下面は複剥離打面である。317・318は、両設の単剥離打面ないしはそれに類する打面を持つ石核で、厚手の剥片が上下から剥離される。319・320は複数面に大型剥離面のある立体的な石核で大型剥片が作業面転移を繰り返しながら連続して剥離されている。321～324は一部に頭部調整を伴う石刃剥離作業面が残り、それを切る大型の剥離面が残る。頭部調整を伴う石刃剥離後、厚手の剥片剥離が行われているが、接合資料において、最終の厚手剥片がしばしば舟底形石器の素材として利用されていることから、これらの石核は石刃核を消費し尽くした最終形態とみなすことができる。325・326は作業面が全周を巡る石核で、325は複剥離打面、326は単剥離打面である。326は頭部調整が顕著で、最終剥離で幅広の剥片が剥離される。327は安山岩製で幅広の小型の剥片が剥離される。328は転礫素材で原礫面を打面として両面で剥離が行われる。329は剥片素材で、腹面縁辺の複剥離打面から背面側で剥離が行われる。

図版203-480～図版204-491は写真のみ掲載のものである。480～483は単剥離打面の石核で、480～482は作業面幅の狭いものでやや厚手の剥片が剥離され、483は幅広の剥片が剥離されている。484～488は多方向の剥離が行われるもので、484は原礫面を打面として左・右・上面の3方向から厚手の剥片が剥離される。485は正面で上下方向の剥離が行われる。486は正面では上下から、裏面下部では左側面から剥離が行われる。487の正面は上下から、裏面は上・右面から剥離が行われる。488は正面で上・右面から剥離が行われる。489～491は剥片素材で、489・490は折れ面を打面として背面側で剥離が行われ、491は両面で剥離が行われる。

石材は黒曜石4が5割程度、黒曜石1が4割程度で、石刃核に比べ黒曜石1の比率が高い。原石形状は石刃核同様、黒曜石4には角礫・亜角礫が多く、黒曜石1には転礫が多い。

剥片 (図版204-492)

1点(II層出土1個体)を写真のみ掲載している。

492は安山岩製の剥片である。背面には横方向の剥離面、右側面には折れ面があり、折損後に剥離されたものである。

斧形石器 (図Ⅲ-255-330、図版197)

1点(1個体)を図示している。330は頁岩製の局部磨製の斧形石器である。上面に幅5mmの平坦面があり、その背面側(正面)に頭部調整状の潰れが見られるため、頭部調整を受けた大型の剥片

素材と考えられる。残存する打面と考えられる平坦面は非常に小さいため判断が困難であるが、原稜面である可能性がある。加工は、正面において裏面から右側縁、左側縁の順で行われた後、右側縁から裏面下部、さらに左側縁から裏面の大部分に行われる。刃部の末端部正面の中央稜上、末端部縁辺に研磨痕があるが、前者は正面下部からの長軸方向の加工、裏面からの加工に切られ、稜上に残る。また、後者の大部分も剥離に切られているが、正面下部からの長軸方向の加工を切っており、刃部周辺では剥離による刃部再生と研磨による刃部再生が繰り返されていたと思われる。これらの研磨痕の分布から当初は末端部から2cm程度の範囲が全面的に研磨されていたと想定される。形態は平坦な裏面と正面の左右側面の三面で構成され、断面形は蒲鉾形に近い三角形である。

原石 (図版204-493-498)

10点(6個体)を写真のみ掲載している。図版204-493-498は全て棒状原石である。石材は黒曜石2(なし肌)、長さは8~10cmで特徴がほぼ一致している。これらは遺跡の立地する段丘には含まれず、搬入されたもので、全てJ30区周辺から出土している。

石器ブロック91~96の分布状況

Sb-91~96は、40~45ラインの小沢(無遺物地帯)によって分けられた西地区の中央やや東寄りに分布している。その中央には巨大なブロックSb-93・95があり、それらは複数の石器群が複雑に重複している。標高は439.5~445.0mである。

石器ブロック91 (Sb-91) の分布 (図Ⅲ-256、表Ⅲ-9・10)

G32~37、H32~37、I33~35、J34・35区の22×12mの範囲で確認されたが、分布は北側の調査範囲外に広がると思われる。尖頭器7点(I類7点)、彫器1点(Ⅱ類1点)、搔器3点、削器4点、錐形石器1点、舟底形石器6点(Ⅱa類6点)、石刃32点、縦長剥片20点、石刃核3点、石核2点、剥片1,095点、原石1点の計1,175点、10,249.5gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が41.3%を占め、以下黒曜石1(32.5%)、黒曜石3(21.5%)、黒曜石5(4.5%)、頁岩(0.2%)である。非常に小規模な集中域が散漫に分布している。石刃類はH33区、石器類はH34区周辺に、薄手の尖頭器・舟底形石器はH36区周辺にまとまりがある。白滝産以外のツールが多く、搔器1点(175)、削器2点(Ⅲ-513-5・6)が所山産、116の彫器は白色の頁岩製である。

石器ブロック92 (Sb-92) の分布 (図Ⅲ-257、表Ⅲ-9・10)

K34、L32~35、M32~34、N31~33、O32・33区の18×6mの範囲で確認された。尖頭器3点(I類1点、Ⅱ類2点)、石刃2点、縦長剥片18点、石核1点、剥片2,879点の計2,903点、17,886.7gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が66.1%を占め、以下黒曜石4(28.7%)、黒曜石3(4.9%)、黒曜石5(0.3%)、安山岩(0.03%)である。ツールが少なく、その中には正面で削片が剥離される尖頭器Ⅱ類が含まれる。分布密度は高い。

石器ブロック93 (Sb-93) の分布 (図Ⅲ-258-264、表Ⅲ-9・10)

K30・31、L29~31、M29~31、N28~31、O27~32、P27~31、Q25~30、R25~29、S25区の41×16mの範囲で確認された。尖頭器81点(I類44点、Ⅱ類11点、Ⅲ類26点)、尖頭器削片45点、両面調整石器6点、ナイフ形石器3点、彫器37点(I類13点、Ⅱ類19点、Ⅲ類5点)、彫器削片9点(I類1点、Ⅱ類1点、Ⅲ類7点)、搔器21点、削器55点、錐形石器7点、舟底形石器68点(Ia類10点、Ⅱa類58点)、二次加工ある剥片66点、石刃444点、縦長剥片487点、石刃核36点、石核34点、剥片22,735点、原石4点の計24,138点、201,769.8gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が57.7%を占め、以下黒曜石1(26.8%)、黒曜石2(7.5%)、黒曜石3(4.3%)、黒曜石5(3.7%)、頁岩(0.03%)、

安山岩(0.03%)である。Sb-95・97と並んで出土量・範囲ともに最大規模のブロックで、隣接するSb-95に連続し、それらを合わせると50×30mの巨大な集中域を形成する。小型舟底形石器石器群・幅広有舌尖頭器石器群が部分的に重複、連続して広い範囲に分布し、特にP28区を中心とした小型舟底形石器石器群の密度・規模が大きい。ツールは全体の点数に応じて多いが、特に尖頭器Ⅲ類が多く、遺跡全体の50%を占める。ブロック全体の石材組成と比べ黒曜石4の比率が高い器種は、尖頭器Ⅱ類(81%)・尖頭器削片(93%)・錐形石器(71%)・舟底形石器(96%)で、黒曜石1の比率が高い器種は、尖頭器Ⅲ類(61%)・彫器(62%)・搔器(67%)で、尖頭器Ⅲ類には黒曜石2(11%)も利用される。黒曜石2は全体でも7.5%を占め、特徴的である。ツールの分布はOラインを挟んで南北に大別でき、南側には小型舟底形石器石器群と考えられる尖頭器Ⅱ類、尖頭器削片、彫器Ⅰ・Ⅱ類、搔器、舟底形石器Ⅰa・Ⅱa類がO28・29、P28・29区周辺に分布し、北側には幅広有舌尖頭器石器群である尖頭器Ⅲ類がM29・30区を中心に分布するが、一部南側のP28区周辺に分布が伸びる。また、尖頭器Ⅰ類・削器・石核は南側に分布の中心があるが、一部北側にも分布が広がる。

石器ブロック94(Sb-94)の分布(図Ⅲ-265、表Ⅲ-9・10)

G31・32、H31・32、I31-33、J30-32区の12×10mの範囲で確認された。彫器削片2点(Ⅲ類2点)、搔器3点、削器1点、舟底形石器11点(Ⅰa類1点、Ⅱa類10点)、二次加工ある剥片5点、石刃34点、縦長剥片22点、石刃核1点、石核1点、剥片1,759点、原石5点の計1,844点、19,649.4gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が57.2%を占め、以下黒曜石4(33.4%)、黒曜石3(6.9%)、黒曜石2(1.5%)、黒曜石5(1.1%)である。舟底形石器・原石が多く、原石は全て黒曜石2(なし肌)の10cm以下の棒状原石でSb-95のJ30区を中心とした分布の縁にあたる。分布は1か所の集中域から成り、それは中規模・高密度である。舟底形石器は集中域と分布が重なり、搔器は集中域の外れに位置し、搔器のうちの2点には被熱による白色の変色が認められる。

石器ブロック95(Sb-95)の分布(図Ⅲ-266-271、表Ⅲ-9・10)

G30・31、H27-30、I26-31、J25-31、K25-30、L24-29、M24-29、N24-29、O24-28、P23-27、Q23-26、R24区の50×20mの範囲で確認された。尖頭器106点(Ⅰ類88点、Ⅱ類5点、Ⅲ類13点)、尖頭器削片15点、両面調整石器4点、ナイフ形石器40点、彫器19点(Ⅰ類1点、Ⅱ類3点、Ⅲ類15点)、彫器削片10点(Ⅲ類10点)、搔器26点、削器61点、錐形石器3点、舟底形石器21点(Ⅰa類1点、Ⅱa類10点、Ⅱb類8点、Ⅱc類2点)、二次加工ある剥片35点、石刃285点、縦長剥片307点、石刃核14点、石核16点、剥片18,371点、斧形石器1点、原石9点、台石1点の計19,344点、165,571.2gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が48.2%を占め、以下黒曜石4(29.5%)、黒曜石3(9.9%)、黒曜石5(7.6%)、黒曜石2(4.7%)、安山岩(0.03%)、頁岩(0.02%)、珪岩(0.01%)である。Sb-93・97と並んで出土量・範囲ともに最大規模のブロックである。石器組成は舟底形石器Ⅱb・c類、ナイフ形石器、斧形石器が含まれるのが特徴である。ブロック全体の石材組成と比べ黒曜石1の比率が高い器種は、ナイフ形石器(58%)、彫器Ⅰ～Ⅲ類(95%)、彫器削片Ⅲ類(90%)、搔器(62%)、削器(69%)、舟底形石器Ⅱb類(75%)、石核(69%)、黒曜石4の比率が高い器種は、尖頭器Ⅱ類(100%)、尖頭器削片(87%)、舟底形石器Ⅱa類(70%)、石刃核(64%)、黒曜石2の比率が高い器種は、尖頭器Ⅲ類(46%)である。石器群の分布は複雑で(この点で大規模原産地白滝の中でも最大規模の遺跡である本遺跡を象徴する出土状況といえる)、小型舟底形石器石器群、大型尖頭器・大型舟底形石器石器群、幅広有舌尖頭器石器群、広郷型ナイフ形石器石器群が完全に重複ないし一部重複して連続して広い範囲に分布する。なお、N・O27区の間空白部分はB調査(試掘)跡である(図Ⅲ-14)。全体の遺物分布は連続したものであるが、ツールの分布で区切るとほぼNラインの

南北に分けられる。南側には尖頭器Ⅱ類・尖頭器削片・薄手の尖頭器Ⅰ類・半月形の尖頭器Ⅰ類・ナイフ形石器・彫器・搔器・斧形石器が、北側には大型尖頭器Ⅰ類・尖頭器Ⅲ類・舟底形石器Ⅱb・c類が偏在し、削器・石核類は両側に分布する。

詳しく見ると尖頭器Ⅲ類は散漫に分布し、その内3点（1：ケショマップ、2：所山、10：十勝）は白滝産以外の黒曜石が利用されている。尖頭器Ⅱ類・尖頭器削片はN26・27区に、薄手の尖頭器Ⅰ類はO26・27区に分布の中心があり、両者ともSb-93の同器種の分布に連続する。大型尖頭器Ⅰ類はL27・28、M27・28区周辺に分布し、半月形の尖頭器Ⅰ類は他の尖頭器とは異なり、P25区に分布している。ナイフ形石器はM27・28区からQ24区まで比較的広い範囲に分布し、彫器Ⅲ類も概ね同じ分布状況であるが、一部J30区周辺にも分布し、彫器Ⅲ類の2か所の分布は周辺ブロックに分布が連続している。また、ナイフ形石器の1点は東地区の広郷型ナイフ形石器器群であるSb-61と70mを隔てて接合関係があり、両者の関連が認められる。彫器Ⅰ・Ⅱ類、側面調整が顕著なタイプの搔器、斧形石器は本ブロックの南東縁に集中し、それらは隣接するSb-93の同器種の分布に連続する。側面調整が見られるものは広い範囲に分布し、急角度の加工の見られるものはSb-93の境界近くに分布する。舟底形石器はⅡa類がK27・L26区、本ブロック南東縁に、Ⅱb・c類がL27・28区に分布する。ブロック南東縁に分布するものはSb-93の同器種に分布が連続し、Ⅱb・c類は大型尖頭器Ⅰ類と分布が一致する。石刃核はL26、M・N27区周辺に分布し、単剥離打面の石刃核である。石核はJ29・30区周辺とO-RラインのSb-93寄りに分布し、剥片素材・多方向の剥離面をもつものである。10cm以下の黒曜石2（なし肌）の棒状原石がJ30区にまとまって分布する。

以上をまとめると①N26・27、O26・27区に薄手の尖頭器Ⅰ類・尖頭器Ⅱ類・尖頭器削片がSb-93に連続して分布し、また、Nライン以南のSb-93との境界付近にSb-93に連続して彫器Ⅰ・Ⅱ類、側縁加工のある搔器、急角度の加工のある削器、斧形石器が分布し、L26区周辺には舟底形石器Ⅱa類、単剥離打面石刃核が分布する。②大型尖頭器Ⅰ類・舟底形石器Ⅱb・c類がL27・28区周辺に高密度に分布する。③尖頭器Ⅲ類がJ29～P26区にかけて散漫に分布している。④M27・28～Q24区にかけて広郷型ナイフ形石器・彫器Ⅲ類・側縁調整の無い円い刃部の搔器が分布する。また、J30区周辺には彫器Ⅲ類・棒状原石が分布しているが、どの石器群に帰属するかは不明である。

①は小型舟底形石器器群、②は大型尖頭器・大型舟底形石器器群、③は幅広有舌尖頭器石器群、④広郷型ナイフ形石器器群に相当するが、①と④、③と①②④が重複している。重複関係が見られないのは①と②、②と④のみである。

石器ブロック96（Sb-96）の分布（図Ⅲ-272、表Ⅲ-9・10）

J24・25、K24・25、L23-25、M22-24、N22-24、O21-23、P21-23区の31×6mの範囲で確認された。尖頭器5点（Ⅰ類3点、Ⅲ類2点）、側面調整石器1点、ナイフ形石器1点、彫器削片2点（Ⅲ類2点）、搔器1点、削器4点、舟底形石器7点（Ⅱa類7点）、二次加工ある剥片4点、石刃24点、縦長剥片22点、石刃核2点、石核3点、剥片1,873点の計1,949点、17,570.1gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が38.1%を占め、以下黒曜石3（30.9%）、黒曜石4（21.7%）、黒曜石2（9.1%）、黒曜石5（0.2%）、安山岩（0.05%）である。分布は北東方向に伸びる細長い形状で、尖頭器Ⅱ類はMライン以南、舟底形石器・石核類はMライン以北に分布する。ナイフ形石器は南側の外れに位置し、Sb-95のナイフ形石器の分布に連続する。西側のJ区（Sb-97）に接しているが、接合によるブロック間の結びつきがI区のほうが強いのでI区に含めた。

石器ブロック91～96の接合状況（図Ⅲ-273）

全体的には接合資料は各ブロック内の小集中域を単位としてまとまるが、Sb-93・95・96には北東方向の広い範囲(長さ10mを超える)に帯状に分布する接合資料があり、それらが小集中域を連結させ、分布を連続したものにし、巨大なブロックと認定させる原因となっている。また、Sb-95には散漫に広い範囲に分布する接合資料があり、帯状の分布同様、ブロック範囲を広げる原因となっている。ブロック間では90・93、92・93、93・95、93・96、95・96、区域間ではSb-89・93、95・97、61(東地区)・95間の接合資料があり、特にSb-95と東地区のSb-61間で接合する母岩933・接合4061は、東地区のSb-61の広郷型ナイフ形石器群と本地区の同石器群との関連を示すものである。

母岩別資料・接合資料

51,353点中18,160点を313母岩に母岩分類し、2,063個体(母岩別資料内1,223個体)の接合資料が得られた。そのうち母岩別資料66母岩、非母岩別接合資料2個体を図示し、母岩別資料66母岩、非母岩別接合資料3個体を写真のみ掲載している。

母岩別資料740・接合資料3358(図Ⅲ-274~276、図版205)

母岩別資料は接合3358の他、接合3359~3361・56685~56691で構成され、総点数189点、総重量2,236.9gである。

素材 161点(62個体)が接合し、重量は2,126.2g、大きさは28×16×11cmである。平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた亜角礫を素材として原石の状態でも搬入されている。

剥離工程 左側面から裏面への剥離(段階1)→裏面から左側面への剥離(段階2)→右側面から正面への剥離(段階3)⇔左側面から正面への剥離(段階4)⇔右側面から裏面への剥離(段階5)、上面から正面への剥離(段階6)⇔左側面から正面への剥離(段階7)→左側面から裏面への剥離(段階8)→右側面から裏面への剥離(段階9)→左側面から裏面への剥離(段階10)→右側面から裏面への剥離(段階11)

断面形が二等辺三角形に近い原石を素材として、前半(段階1~6)は縁辺部調整の無い打面の大きい剥片の剥離による粗い加工が行われる。この段階では①段階2の剥離によって左側面が作出され、断面三角形が維持され、以後の加工の打面となること、②段階6の縦方向の剥離によって厚さを減少させる加工が行われることが特徴で、このような加工は他の大型尖頭器製作技術では見られない。後半は縁辺部調整のある打面の小さい薄い剥片の剥離によって加工が進み、正面側では主に左側面から裏面側では両側縁から加工が行われる。最終的には表面が滑らかな20×7×3cmの尖頭器が製作され、搬出されている。

本接合資料では3点の調整剥片(個体A~C)を素材として石器が製作されている。個体Aは、段階3の尖頭器調整剥片に特徴的な斜軸剥片を素材として、その張り出した側縁を尖頭部に設定し、尖頭器16に加工される。幅広有舌尖頭器の未成品と思われる。個体Bは、段階5の背面が原礫面で覆われた厚手の剥片素材で片側縁に粗い加工が行われる。個体C(332)は、段階5の剥片を素材としている。一次剥離の際の同時割れによって折れた先端部破片を素材として左側縁を加工した後、折れ面から削片剥離が行われ、その後、下端部両面への平坦剥離によって打面作出を行い、下端から削片が剥離される。

本接合資料は幅広有舌尖頭器(未成品)を含み、その石器群の特徴(尖頭器製作技術・二次加工技術・伴出石器)を示す良好な資料である。

分布 Sb-93のL30・31、M29・30、N29・30、O29、Sb-95のN29区に分布する。分布は傾斜方

向である北東方向15mの範囲に間延びしているが、高密度なM29区を頂点に北東方向に広がっている。特に個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料727・接合資料3285 (図Ⅲ-277~279、図版206)

母岩別資料は接合3285の他、接合3286、剥片40点で構成され、総点数126点、総重量2,900.1gである。

素材 84点(45個体)が接合し、重量は2,649.1g、大きさは24×15×15cmである。爪状痕のある原礫面を持つ円い転礫を素材として正面側が粗削りされた状態で搬入されている。

剥離工程 下面から裏面への剥離(段階1)、左側面から正面への剥離(段階2)→右側面から正面への剥離(段階3)、左側面から裏面への剥離(段階4)→上面から裏面への剥離(段階5)→左側面から正面への剥離(段階6)、左側面から裏面への剥離(段階7)→右側面から裏面への剥離(段階8)→左側面から裏面への剥離(段階9)→右側面から裏面への剥離(段階10)

加工は主に平坦な正面側から裏面へ行われ、長軸方向の剥離(段階1・5)によって厚さを減少させている。特に段階5では縦長の剥片が剥離され、中には石刃も混じり、その内の1点は搔器202に加工される。本体の厚さが減少した時点で横方向の剥離に変化し、厚手の剥片が剥離される段階7・8以降は薄手の剥片剥離による加工が行われる。本体の表面は滑らかで、断面凸レンズ状の14×7×3cmの尖頭器が製作され、搬出されている。

本接合資料では本体を除いて3点の剥片素材の尖頭器、1点の搔器が製作されている。個体Aは段階2の、個体Bは段階3の尖頭器調整剥片に特徴的な斜軸剥片を素材として、その張り出した側縁を尖頭部に設定し、それぞれ15・17に加工される。両者とも幅広有舌尖頭器の未成品と思われる。また、個体Cは段階7の厚手の剥片素材で両面の調整剥片のみ接合している。形態は不明であるが尖頭器であると思われ、欠落しているため搬出されたと考えられる。搔器202は段階5の縦長剥片素材で両側縁、特に左側縁に斜角の連続的な加工が施され、末端部には直線的な刃部が作出されている。また、上部破片折損後、右側縁で樹状の剥離が行われる。

分布 Sb-90のJ31・33、K31、Sb-93のK30・31、L30・31、M30、Sb-94のI32、Sb-95のJ30区に分布する。K・L30区を中心に北東方向に伸びるやや散漫な分布であるが、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料783・接合資料3501 (図Ⅲ-279・280、図版208-1)

母岩別資料は接合3501の他、剥片1点で構成され、総点数51点、総重量1,539.6gである。

素材 50点(30個体)が接合し、重量は1,538.0g、大きさは20×11×9cmである。平滑な原礫面を持ち、角の潰れた黒曜石2(なし肌)の垂角礫を素材として原石の状態で搬入されている。

剥離工程 下面から正面への剥離(段階1)→下面から裏面への剥離(段階2)→下面から正面への剥離(段階3)→右側面から正面への剥離(段階4)→上面から正面への剥離(段階5)→上面から正面への剥離(段階6)→下部から正面への剥離(段階7)→下部-左側面から裏面への剥離(段階8)→左側面から正面への剥離(段階9)→左側面から裏面への剥離(段階10)

断面三角形の原石の下端部に短軸方向の剥離(段階1)が行われ、その面を打面として長軸方向の剥離(段階2)が行われる。さらにその面を打面として連続した長軸方向の剥離(段階3)が行われ、横方向の剥離(段階4)を挟んで、長軸方向の剥離(段階5・6)は継続される。その後、下部左右から尖頭部を作出する剥離(段階7)が行われ、長軸・横方向の剥離が行われる(段階8)。段階8・9で本体の両端部が欠損するとさらに薄くする加工と基部の作出(段階10)が行われるが、基部加工の際に基部が折損して、本体8が遺棄される。本接合資料は長軸方向によって器体を薄くし(この段階では縦長剥片が剥離される)、最終段階で基部を作出するという石核素材の幅広有舌尖頭器の製作

過程を示している。

分布 ① Sb-93のK31、L30・31、M29・30、N29、② Sb-97のI23、J23区の2か所に分かれて分布する。それらは直線距離で30m離れている。②に分布するのは段階1・段階2の1点でそれ以外は①に分布し、そのうち尖頭器はやや外れて分布する。段階で分けられるため、②で初期の剥離が行われた後、①に持ち込まれ最後まで剥離が行われた可能性がある。

母岩別資料1067・接合資料4433・4437 (図Ⅲ-281~285、図版207)

母岩別資料は接合4433・4437の他、接合4434~4436・4438~4451・56948~56955、縦長剥片5点、剥片118点で構成され、総点数415点、総重量4,829.9gである。

素材 接合4433は196点(104個体)が接合し、重量3,900.3g、大きさは29×22×19cmで、接合4437は4点(4個体)が接合し、重量52.9g、接合4437の個体Aの大きさは6.7×4.1×1.9cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、原石の状態で搬入されている。

剥離工程 接合4433の剥離の流れは正面から左側面への剥離(段階1)、下面から右側面への剥離(段階2)→左側面から正面への剥離(段階3)→下面から裏面への剥離(段階4)・正面から左側面への剥離(段階5)→右側面から裏面への剥離(段階6)→裏面から右側面への剥離(段階7)→左側面から正面への剥離(段階8)、上面から右側面への剥離(段階9)→下面から右側面への剥離(段階10)、上面正面から打面再生(段階11)⇔正面上面から石刃剥離(段階12)→左側面から裏面への剥離(段階13)→右側面から裏面への剥離(段階14)である。

長さ約30cmの大型の転礫を素材として、前半は長軸方向で大型剥片剥離(段階2・4)が、横方向で平坦剥離(段階1・3・5~8)が行われ、後半は打面再生(段階11)を伴って最大20cmの石刃が剥離され(段階9・12)、最後に石刃核を素材として横方向の剥離(段階13・14)でおそらく尖頭器が製作されたと考えられる。大型剥片は石刃剥離・尖頭器等の素材となっている。石刃は軽い頭部調整が行われ、打面と作業面のなす角度は直角に近い。

本母岩は接合4433個体Aを素材として石刃剥離が行われ、接合4433の個体B~E・aを素材として剥片素材の尖頭器5点(1点は尖頭器Ⅲ類)、接合4433の石核本体を素材として石核素材の尖頭器1点、接合4437の個体Aを素材として彫器1点が製作されている。

接合資料4433個体Aは段階2で剥離された大型剥片を素材としている。先端部の欠損(A-段階1)後、稜調整(A-段階2)・打面作出(A-段階3)→裏面での剥離(A-段階4)が行われ、打面調整(A-段階5)を伴って18cmの石刃が剥離される(A-段階6)。また、個体A段階4の剥片(個体a)を素材として尖頭器製作が行われる。個体B・Cは段階4で剥離された大型剥片を素材として尖頭器が製作され、個体Bでは他にも折損した破片が一部加工されている。個体Dは段階8の、個体Eは段階11の厚手の剥片を素材として尖頭器が製作され、個体Eでは尖頭器Ⅲ類である9が製作され、遺棄されている。

接合資料4437の個体A(図Ⅲ-284-336)は剥片の上縁に稜を形成し、左側縁から上縁に作出された彫刀面を打面として稜調整が施された左側縁で削片剥離が行われる。

分布 接合4433はSb-96のJ25、K24・25、L23・24、M22・23、N22・23、Sb-97のK24、L24区に分布する。分布は傾斜方向である北東方向に23mもの細長い連続した形状であるが、集中の度合いから大きく①N22区周辺、②L24区周辺に分けられる。①には個体C・Dが、②には個体A・B・E・a・個体以外が分布する。また、接合4437は①に分布する。

母岩別資料786・接合資料3509 (図Ⅲ-285・286、図版210上)

母岩別資料は接合3509の他、接合3510~3512で構成され、総点数64点、総重量2,024.3gである。

素材 29点（13個体）が接合し、重量は958.6g、大きさは26×13×8cmである。原石形状は不明、石質は黒曜石2（なし肌）で、原礫面が除去された状態で搬入されている。

剥離工程 上設打面再生（段階1）→下面から裏面への縦長剥片剥離（段階2）→正面での上設打面からの石刃剥離（段階3）

上設打面再生剥片（段階1）が接合していることから、最初にそれらに対応する石刃剥離が行われていたと思われる。次に裏面から下端部から縦長剥片が剥離され（段階2）、最後に正面で上設打面から石刃が連続的に剥離される（段階3）。石刃剥離時の石刃核の打面と作業面の角度は直角に近く、打面縁辺の打面側には磨り潰す調整が行われる。石刃は、段階1に対応する段階では20cm程度のもものが剥離され、段階3では石刃核高がウートラバッセで減少するため14～18cmのもの（295など）が剥離されている。21は段階3で剥離された石刃素材の尖頭器Ⅲ類未成品である。石刃の打面側に錯向剥離によって基部が作出されている。

分布 Sb-93のK30、Sb-95のI28、J28・29、K29、L27・28区に全体的に散漫に分布する。L27区中央に集中部があるが、その他の地点の石器とは段階・内容に違いが見られない。

母岩別資料876・接合資料3849（図Ⅲ-287～289、図版208-2・209-1）

母岩別資料は接合3849の他、剥片11点で構成され、総点数174点、総重量971.2gである。

素材 163点（110個体）が接合し、重量は956.8g、大きさは26×16×5cmである。風化によりややザラついた平坦面を持つ角礫を素材として、両面全体が加工された両面調整体で搬入されている。

剥離工程 本体の折損前後で分けられ、折損前は両面調整が、折損後はそれぞれの破片で両面調整、削片剥離が行われる。

折損前は、正面で、右側面からの剥離（段階1）→左側面からの剥離（段階2）→右側面からの剥離（段階6）、裏面で、右側面からの剥離（段階3）→左側面からの剥離（段階4）→右側面からの剥離（段階5）が行われ、中央で折損し、上部破片（個体A）と下部破片（個体B）に分割される（図版209-499は折損前の調整剥片を外した状態である）。

個体Aは、両面調整が継続され、正面では、右側面からの剥離（段階2）→左側面からの剥離（段階3）→右側面からの剥離（段階4）→左側面からの剥離（段階6）、裏面では、右側面からの剥離（段階1）→左側面からの剥離（段階5）→右側面からの剥離（段階7）が行われ、表面が滑らかな12×7×1cmの尖頭器が製作され、搬出される。

個体Bは、折れ面から裏面への平坦剥離（段階1）後、左側縁（段階2）・右側縁（段階3）で折れ面から削片剥離が行われ、それは、右側縁に偏っている。段階2の後、段階3の途中で、右側面の削片剥離面から裏面側（段階4・6）・正面側（段階5）に作業面調整が行われる。段階2の削片剥離は頭部調整が無く、厚手の削片が剥離される一方、段階3では頭部調整のある削片が剥離され、それは石刃と形態上の違いが無い。但し、接合資料の観察から段階3においても断面三角形の一次削片は厚手であったと推測され、一次削片段階と二次削片段階で目的削片が異なっていたと考えられる。

個体Bでは2個体の舟底形石器（個体a・b）、2個体の削器（210・207）、1個体の搔器（172）が製作されている。個体aは個体B段階2の厚手の二次削片、個体bは個体B段階3の厚手の二次削片を素材として甲板面である腹面から加工が行われ、両者とも搬出されている。削器210・207は両者とも個体B段階3の石刃状の二次削片を素材として、210には両側縁に連続する軽微な加工が、207には周縁に斜角の加工が施される。207はその形態から彫器未成品と見られる。搔器172は右側縁に急角度の加工が施され、末端部には右側縁に偏る弧状の刃部が作出される。

分布 Sb-93のM30、N30・31、O29・30、P28・29区に分布し、大きく①P28周辺、②N30区周

辺に分けられる。①には折損後の個体A・Bが、②には折損前の段階1～6が分布し、個体Bに含まれる掻器・削器は①の外れに分布している。

母岩別資料862・接合資料3809 (図Ⅲ-289・290、図版209-2)

母岩別資料は接合3809の他、接合3810・3811・56790・56791、剥片48点で構成され、総点数106点、総重量455.5gである。

素材 45点(37個体)が接合し、重量は326.0g、大きさは20×11×3.5cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、大型の平坦剥離で両面加工され、上部部に原礫面が残る両面調整体で搬入されている。

剥離工程 本体の3回の折損で分けられる。1回目の折損前は、正面側では、左側面からの剥離(段階1)→右側面から正面(段階4)、裏面側では、左側面からの剥離(段階2)→右側面からの剥離(段階3)→左側面からの剥離(段階5)が行われ、それらは比較的粗い加工である。

下部部の折損(1回目)後、裏面で、下部部折れ面からの剥離(段階6)→右側面からの剥離(段階7)、左側面からの剥離(段階8)が行われ、2回目の下部部の尖頭器折損(段階9)後、正面側で、左側面からの剥離(段階10)、右側面からの剥離(段階11)が行われる。これらの剥離は比較的薄く、打面の小さい剥片の剥離による加工である。

本体は段階11の剥離によって中央で折損(3回目)し、上下の破片である個体A・Bは縁辺で削片が剥離される。個体Aは折れ面から左側縁で削片が剥離され、個体Bは段階9の尖頭器折損(2回目の折損)の折れ面を打面として右側縁で削片が剥離された後、中央の折れ面打面から左側縁で削片が剥離される。

分布 Sb-93のN30・31、O30・31、P28～30、Q29区に全体的に散漫に分布する。大きく一つのまとまりと考えられ、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料849・接合資料3740 (図Ⅲ-290・291、図版210下)

母岩別資料は接合3740の他、接合3741～3744・56777・56778・61757、剥片73点で構成され、総点数131点、総重量719.0gである。

素材 22点(18個体)が接合し、重量は225.6g、大きさは23×7×2.3cmである。同一母岩の他の接合資料から判断して、平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、粗い両面調整体で搬入されている。

剥離工程 本体の折損前後で分けられ、折損前は尖頭器の調整が、折損後は尖頭器の再加工と削片剥離が行われ、尖頭器削片素材の舟底形石器I a類が製作される。

折損前は、正面では、左側面からの剥離(段階1)→右側面からの剥離(段階2)→左側面からの剥離(段階4)が、裏面では、右側面からの剥離(段階3)が行われ、段階4の最終剥離で本体は個体A・Bに分割される。

折損後、本体の約3分の2にあたる個体Aは右側縁の折れ面周辺が再加工されている。小型の破片である個体Bは、折れ面から右側縁に沿って削片剥離が行われ(B-段階1)、その後、打面を入れ替えて折れ面側で削片剥離が行われる(B-段階2)。B-段階1で剥離された断面三角形の一次削片は舟底形石器I a類である246に加工される。246は素材の剥離後、右側面には全面的に上下から加工が施され、左側面には下縁からは全体に甲板面からは素材打面側約半分が加工が施され、左側面には尖頭器調整素材面が残る。加工が集中的に施される素材打面側は細石刃状の剥離は行われませんが、それに近い形状に仕上げられている。素材打面側は甲板面の側面形が平坦で安定し、細石刃状の剥離を想定して加工されたと思われる。一方素材先端側は剥離のうねりによって甲板面が不安定で、細石刃状剥離に適していない。その他の削片は薄手の削片で、加工は見られないことから、幅が狭く、高さのある断面三角形の尖頭器一次削片が舟底形石器に適した形態のため利用されたと考えられる。本

接合資料は断面三角形の尖頭器一次削片が舟底形石器Ⅰa類の素材となっていることを示す好資料である。

分布 Sb-93のN29、O28・29、P28、Sb-95のO27・28区に散漫に分布し、折損前の削片（個体A・B以外段階1～4）と折損後の個体A・Bの分布がややずれている。

母岩別資料852・接合資料3759（図Ⅲ-292・293、図版211-1）

母岩別資料は接合3759の他、接合3760～3762・56780～56784、削片84点で構成され、総点数145点、総重量720.4gである。

素材 32点（26個体）が接合し、重量は277.7g、大きさは21×10×2.3cmである。原石形状は不明で、両面加工の大型尖頭器で搬入されている。

剥離工程 本体の折損前後で分けられ、折損前は両面調整が、折損後は削片剥離が行われる。

折損前は、右側面から正面（段階1）に加工が行われ、その最終剥離で本体は折損し、個体A・Bに分割される。

下部破片である個体Aは、左側縁から正面への剥離の加工（A-段階1）で、さらに個体A-1・A-2に分割される。個体A-1は上部折れ面で縁辺を打面として削片剥離（A-1-段階1）が、下部折れ面で交叉状の削片剥離（A-1-段階2）が行われる。個体A-2は本体尖頭器縁辺での削片剥離（A-2-段階1）後、その面を打面として交叉状に削片が剥離される（A-2-段階2）。

上部破片である個体Bは下部折れ面周辺に再加工（B-段階1）が行われ、最終剥離時に個体B-1～4に分割される。個体B-1では折れ面から本体尖頭器左側縁で削片が剥離された（B-1-段階1）後、他の折れ面で削片が剥離される（B-1-段階2）。個体B-2は正面側で剥離が行われ（B-2-段階1）、個体B-3は加工されない。個体B-4は折れ面から剥離が行われ（B-4-段階1）、さらに長軸方向の折れ面から短軸方向の加工（51の右側面から正面上・下端面への加工）が行われ、その加工は舟底形石器Ⅰ類の加工に類似し、舟底形石器Ⅰ類の製作を意図した可能性がある。

分布 Sb-93のP28、Sb-95のL26、M26・27、N26～28、O25・26区に散漫に分布する。N26・27区を中心に連続して分布するが、折損前の段階1はN28区に、個体AはM27区周辺に、個体BはN26・O25区にやや分かれて分布する。

母岩別資料807・接合資料3583（図Ⅲ-294・295、図版211-2）

母岩別資料は接合3583の他、接合3584・56741で構成され、総点数49点、総重量593.4gである。

素材 43点（32個体）が接合し、重量は561.3g、大きさは22×13×5cmである。風化によりややザラついた平坦な原礫面を持つ角礫を素材として両面を粗い平坦剥離で加工された尖頭器で搬入されている。

剥離工程 本体の折損前後で分けられ、折損前は両面調整が、折損後は両面調整後、削片剥離が行われる。

折損前は、正面では、左側縁からの剥離（段階4）→右側縁からの剥離（段階5）が、裏面では、左側縁からの剥離（段階1）→右側縁からの剥離（段階2）→左側縁からの剥離（段階3）が行われる。段階1では加工が粗いが、段階2以降は比較的薄い削片の剥離によるものに移行している。

折損後、下部破片（段階6）は再加工が行われず、上部破片に再加工が行われる。左側縁で折れ面から削片が剥離され（段階7）、正面で、右側縁からの剥離（段階8）→左側縁からの剥離（段階9）→右側縁からの剥離（段階10）が行われ、その最終剥離で折損し、個体A-Cに分割される。

344は折損前の部品を外した状態の図で、分割後は個体Cのみ縁辺で折れ面から削片が剥離される。個体Cから剥離された断面四角形の283の左側面先端部には舟底形石器Ⅰ類の加工に類似した素材腹

面からの加工が見られ、舟底形石器I類を製作しようとしていた可能性がある。

分布 Sb-93のN31、O28-30、P28・29、Q28・29、R28区に分布し、①O28区周辺と②P29・Q28区周辺に分けられる。折損前の段階1～6は②に散漫に、折損後の段階7～10・個体A～Cは①にまとまって分布する。

母岩別資料816・接合資料3617 (図Ⅲ-296、図版212上)

母岩別資料は接合3617のみである。

素材 44点(28個体)が接合し、重量は724.5g、大きさは30×11×3.6cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、表面には原礫面が残り、両端部が尖頭状に整形された両面調整の大型尖頭器で搬入されている。

剥離工程 裏面では、左側縁からの剥離(段階1)→左側縁からの剥離(段階3)→右側縁からの剥離(段階4)→左側縁からの剥離(段階5)が、正面では、左側縁からの剥離(段階2)、右側縁からの剥離(段階6)が行われる。

搬入時の本体は大型の平坦剥離面と縁辺部の調整剥離面で構成され、比較的整った形状である。遺跡内では最初から縁辺部調整のある縁辺近くを打撃する平坦な加工が行われるが、正面中央にある1.5cm大の球顆のために剥離が滑らかに進行せず階段状になっている。尖頭器本体47は3か所で折損し、上・中位の折れ面はそれぞれ、段階6・2の剥離が原因(折れの始点であり、その段階で折損したかどうかは不明)で、下位の折れ面の原因は不明であるが、放射状の折れ面である。

分布 Sb-95のK28・29、L27・28、M28区に分布する。L28区南西部に分布の中心がある一つのまとまりで傾斜方向に分布が伸びる。

母岩別資料748・接合資料3396 (図Ⅲ-297、図版212下・213-1)

母岩別資料は接合3396の他、剥片19点で構成され、総点数44点、総重量911.8gである。

素材 25点(19個体)が接合し、重量は848.0g、大きさは27×11×4.4cmである。原石形状は不明で、大型平坦剥離面と縁辺に細かい剥離面で構成される大型の尖頭器で搬入されている。

剥離工程 本体の折損前後で分けられ、折損前は両面調整が、折損後は上部破片に再加工が行われる。

折損前は、右側縁から裏面への剥離(段階1)→左側縁先端部から裏面への剥離(段階2)が行われ、段階2の剥離の際に既に存在した潜在的な割れ面で折損する(段階3)。

折損後は、より大型破片である上部破片のみ再加工が行われ、右側縁から裏面への剥離(段階4)⇔右側縁から正面への剥離(段階5)、左側縁から裏面への剥離(段階6)、左側縁・折れ面から正面への剥離(段階7)が行われるが、最終的に本体は遺棄される。

本体は搬入時に中央が凸状の断面三角形でもにその凸部を除去しようと加工が行われるが、それが困難で、結局最後まで滑らかな表面状態を作出できずに加工が終了する。

分布 Sb-95のK29、M28・29、N28区に分布する。M28区中心に分布し、K29区には段階1・2の剥片が分布する。

母岩別資料749・接合資料3397 (図Ⅲ-298、図版213-2)

母岩別資料は接合3397の他、接合3398～3400・56701、剥片33点で構成され、総点数113点、総重量686.4gである。

素材 63点(54個体)が接合し、重量は524.6g、大きさは28×9×3.5cmである。平滑な原礫面を持つ扁平な角柱状の原石を素材として原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程 本体の折損前後で分けられ、折損前後とも両面加工が行われる。

折損前は、左側縁から裏面への剥離(段階1)、右側縁から正面への剥離(段階2)が行われた後、

折損により個体A・Bに分割される。

折損後は、個体A・B共に再加工が行われ、個体Aは、右側縁から正面への剥離（段階1）→左側縁から正面への剥離（段階2）・右側縁から裏面への剥離（段階3）→左側縁から裏面への剥離（段階4）⇔左側縁から正面への剥離（段階5）の後、本体上部が折損（段階6）し、さらに、左側縁から正面への剥離（段階7）⇔左側縁から裏面への剥離（段階8）→右側縁から裏面への剥離（段階9）が行われる。

個体Bは、右側縁から裏面への剥離（段階1）→左側縁から裏面への剥離（段階2）・右側縁から正面への剥離（段階3）⇔左側縁から正面（段階4）の後に、本体上部が折損（段階5）し、左側縁から正面への剥離（段階6）が行われる。

全体を通して打面の大きい剥片剥離による粗い加工が行われ、原石段階から平行四辺形に近い断面形が凸レンズ状に変化しない。

分布 Sb-95のL27~29、M27・28、N28区に分布する。分布は全体としてはL27・28区にまたがる一つのまとまりとして認められるが、折損前（段階1・2）、個体A、Bでは若干分布差が認められる。

母岩別資料736・接合資料3336（図Ⅲ-299、図版214上）

母岩別資料は接合3336の他、剥片22点で構成され、総点数33点、総重量476.9gである。

素材 11点（8個体）が接合し、重量は40.2g、大きさは26×9×3.0cmである。原石形状は不明で、大型平坦剥離面と縁辺に細かい剥離面で構成される大型の尖頭器で搬入されている。

剥離工程 左側縁から裏面への剥離（段階1）、右側縁から正面への剥離（段階2）後に、中央で折損し、個体A・Bに分割される。

個体Aは右側縁から裏面への剥離で左側縁を取り込み、幅が減少し、左側縁から正面への剥離の後、左側縁から裏面への加工が行われ、再度折損し、遺棄される。個体Bは上部破片折損後、左右側縁から両面に再加工が行われるが、剥離が階段状になり遺棄される。

搬入時の本体は断面形が凸レンズ状に近く、表面が比較的滑らかであったが、折損後は側縁を取り込む剥離や角度のある剥離によって本体の幅が大きく減少し、断面形は菱形に変化している。

分布 Sb-95のK30、L27・28、M27区に散漫に分布し、個体Aの本体上部破片がやや離れてK30区に分布する。

母岩別資料923・接合資料4035（図Ⅲ-300~302、図版214下・215）

母岩別資料は接合4035の他、接合4036~4038・56831、剥片19点で構成され、総点数230点、総重量1,970.4gである。

素材 185点（89個体）が接合し、重量は1661.9g、大きさは28×16×9cmである。風化によりザラついた平坦な原礫面を持つ角礫素材で、非常に粗い剥離が施された2個体の両面調整体（個体A・B）で搬入される。

剥離工程 本母岩は、個体A・Bで構成され、個体Aは個体Bの加工初期段階での分割に近い大型調整剥片素材である。個体Bは個体A剥離後、さらに加工が進行した状態で遺跡に搬入され、個体Aも剥片ではなく、粗い加工が施された状態で搬入されていることから両者とも石材採取地で粗い両面加工が行われ、それぞれ両面調整体で搬入されたと思われる。

個体A（図Ⅲ-301~350）は、素材腹面のバルブ周辺である正面下部の加工（段階1）の後、左側面から正面への剥離（段階2）→右側面から正面への剥離（段階3）→左側面から正面への剥離（段階4）が行われ、本体は欠落し、搬出される。加工は縁辺部調整が無く、やや粗いものが多い。

個体B(図Ⅲ-300-349)は、左側面から正面への剥離(段階1)⇔左側面から裏面下部への剥離(段階2)→右側面から裏面上部への剥離(段階3)⇔右側面から正面上部への剥離(段階4)→右側面から裏面への剥離(段階5)・下面から正面への剥離(段階6)→上面から正面上部への剥離(段階7)・左側面から裏面への剥離(段階8)→右側面から裏面への剥離(段階9)→左側面から裏面への剥離(段階10)、左側面から正面への剥離(段階11)→右側面から正面への剥離(段階12)→左側面から正面への剥離(段階13)が行われる。

個体Bは上下端部に原礫面が残り、原石形状を残す程度の粗い加工で搬入され、遺跡内では尖頭部の作出や断面形を凸レンズ状にするような全体の形態を整える粗い加工が行われる(段階1~10)。全体の形状が粗く整った段階で、本体縁部を打撃する薄い剥片剥離による調整加工によって表面が滑らかに整形され、本体は25×11×2.5cmの尖頭器で搬出されている。

分布 Sb-93のO28・29、P27~29、Q27区に分布する。傾斜方向に向かって長さ14mの範囲に線状に分布するが、折れ面接合も同様の範囲に分布し、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料887・接合資料3883(図Ⅲ-302-305、図版216)

母岩別資料は接合3883の他、接合3884・3885、石刃1点、剥片103点で構成され、総点数273点、総重量1,732.9gである。

素材 157点(104個体)が接合し、重量は1379.3g、大きさは25×17×9cmである。平滑な原礫面を持つ、角がやや潰れた盤状の角礫を素材として原石の状態で搬入されている。

剥離工程 上部折損前は、正面で、左側面からの剥離(段階1)→右側面からの剥離(段階2)→左側面からの剥離(段階4)→右側面からの剥離(段階7)→左側面からの剥離(段階8)が、裏面で、右側面からの剥離(段階3)・下面左からの剥離(段階5)→上面からの剥離(段階6)が行われ、本体の上部折損(段階9)後、正面では、上部折れ面からの剥離(段階10)→左側面からの剥離(段階12)→右側面からの剥離(段階13)が、裏面では上部折れ面からの剥離(段階11)が行われる。

加工は原石の状態から始められるため、遺跡内では尖頭部の作出や断面形を凸レンズ状にするような全体の形態を整える粗い加工が行われ、最終的には18×6×2cmの尖頭器で搬出されるが、表面状態はあまり滑らかではなかったと見られる。

本接合資料では舟底形石器3点(個体A-1・B・D)、削器1点(個体A-2)、彫器1点(個体C)が製作されている。個体Aは段階1で剥離された厚手の剥片素材で、一次剥離の際の同時割れによってA-1・A-2に分割され、それぞれ、舟底形石器・削器に加工される。A-1の舟底形石器本体は欠落し、A-2の削器236には舟底形石器に類似した加工が施される。

個体Bは段階2で剥離された厚手の剥片素材で、舟底形石器I a類が製作されている。加工は、剥離軸と一致する素材長軸を石器長軸に設定し、両側縁ではほぼ均等に行われる。また、甲板面の縁部から2~5mmを打撃して行われ、進行と共に甲板面と側面の角度は徐々に大きくなる。接合している調整剥片と舟底形石器本体には隙間があり(舟底形石器238は調整剥片との接点はないものの甲板面で尖頭器調整剥片に接合し、248は端部で舟底形石器調整剥片に接合し、また、甲板面で他の尖頭器調整剥片に接合している)、その間の加工は具体的には不明である。しかし、舟底形石器I a類の238・248の両側面には上下からの加工(下縁からの加工が甲板面からの加工を切る)があり、それらが平行剥離で押圧と考えられることから、I a類に変化する段階で剥離技術が押圧剥離に変化し、さらに最後は下縁からの調整で整えられていたことが分かる。238・248は両者に接合関係がないが、接合資料中の位置関係はほぼ一直線上に位置し、同一の個体として加工が進んだと見られる。248の正面側の端部には折れ面があり、折れ面周辺の右側面の加工は折れ面を切って、再加工が行われるものの、

左側面の剥離面は折れ面に切られており、現状に近い段階で折損したことが読み取れる。つまり、238・248が1本の舟底形石器として剥離が進み、最終段階で折損し、248の折れ面付近の右側面では再加工が行われる。238は細石刃状の剥離痕があり、それは248側(素材の先端側)であることから、折損後、折れ面周辺を再加工し、細石刃状剥離が行われたと思われる。238と248の隙間は3cmで全て細石刃状の剥離が行われたとすると50程度程度の舟底形石器削片(幅3mm、厚さ1.5mmで計算)が剥離されたことになる。

個体Cは段階4で剥離された長さ10cm、幅5cmの縦長剥片を素材として彫器が製作されている。背面両側縁に加工が行われ、ノッチ状の彫刀面打面からⅡ類の彫刀面が作出される。基部側は折損(彫刀面作出との前後は不明)した後、基部がすばまるように再加工され、また、折損前には行われなかった腹面加工が行われる。素材末端部と本体の彫刀面までの長さは1.5cmあり、全て彫刀面再生によって長さが減少したものとすると(彫刀面再生は削片の厚さを2mmで計算、以下同じ)、7・8回の刃部再生が行われたことになる。

個体Dは段階5で剥離された厚手の縦長剥片素材である。折損した打面側の破片を利用し、片側面のみでの加工で遺棄される。

分布 Sb-88のS31、Sb-93のN29・31、O29・30、P28・29、Q27・28区に分布する。大きく一つのまとまりとして分布し、個体・段階の違いは認められないが、彫器129はQ27区、個体Dの舟底形石器Ⅲ-127-141は本体のみS31区に離れて分布する。

母岩別資料927・接合資料4044 (図Ⅲ-305・306、図版217上)

母岩別資料は接合4044の他、接合4045、剥片12点で構成され、総点数85点、総重量1,015.1gである。

素材 69点(42個体)が接合し、重量は909.5g、大きさは20×13×6.5cmである。平滑な原礫面を持つ盤状の角礫を素材として、原石ないし原石に近い形状で搬入される。

剥離工程 右側面から正面への剥離(段階1)→右側面から裏面への剥離(段階2)→左側面から正面への剥離(段階3)→左側面から裏面への剥離(段階4)・右側面から正面への剥離(段階5)→左側面から正面への剥離(段階6)・右側面から裏面への剥離(段階7)→右側面から正面への剥離(段階8)→左側面から正面への剥離(段階9)→左側面から裏面への剥離(段階10)→右側面から裏面への剥離(段階11)→本体上部折損(段階12)→左側面から正面への剥離(段階13)・右側面から裏面への剥離(段階14)

加工は原石から始められるため、前半は上下端や側縁の突出部を除去する粗い加工が行われる(段階1～7)。その後、中央の稜を越える平坦剥離によって石器の表面が滑らかに変化し、17×10×2cmの尖頭器で搬出される。

段階6で剥離された厚手の剥片は、両側縁縁辺部に平坦剥離、左側縁上部に急角度の加工が行われ、削器217が製作される。

分布 Sb-93のO29、P27～29、Q27区に分布する。傾斜方向に伸びた分布であるが、一つのまとまりとして認められ、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料789・接合資料3515 (図Ⅲ-307・308、図版218・219)

母岩別資料は接合3515のみである。

素材 111点(59個体)が接合し、重量は3,496.5g、大きさは33×20×12cmである。平滑な原礫面を持つ黒曜石2(なし肌)の盤状の角礫を素材として、正面に大型の古い剥離面が残る原石の状態で搬入されている。

剥離工程 上面から正面への剥離(段階1)→右側面から正面への剥離(段階2)→右側面から裏面

への剥離(段階3)→右側面から正面への剥離→(段階4)→右側面から裏面への剥離(段階5)→右側面から正面への剥離(段階6)・左側面から裏面への剥離(段階7)→右側面から裏面への剥離(段階8)→左側面から裏面への剥離(段階9)→左側面から正面への剥離(段階10)→右側面から正面への剥離(段階11)

搬入時の断面形は右側面付近が厚い四角形で、段階1～5ではその厚い部分が粗い剥離で除去され、断面形が菱形に近い形状に変化する。段階6～11では縁辺部調整のある打面の小さい加工が行われ、それらは中央の稜を越えることにより、表面が滑らかになり、断面形が凸レンズ状に変化する。段階10の剥片には反対側縁を取り込むものがあり、その側縁は弧状ではなく、二直線が鈍角に交わる角を持つ形態であることから本体の尖頭器には舌部があった可能性がある。本体は29×12×2.5cmの尖頭器で搬出されている。

分布 Sb-95のM27・28、N26～28、O26・27、Sb-97のL22区に分布する。L22区出土の1点を除いてやや散漫に分布し、それらは①N26、N27西北部、M27区周辺と②O26・27、N27南東部、N28区周辺に分けられ、①には段階1～6の比較的大型の剥片が、②にはそれ以外の剥片が分布する。また、20m程度離れてL22区に分布するものは段階2で剥離された剥片の1小破片で、そこに遺棄された脈絡は不明である。

母岩別資料717・接合資料3257(図Ⅲ-309、図版217下)

母岩別資料は接合3257の他、接合56649、石刃1点、剥片24点で構成され、総点数107点、総重量2,009.0gである。

素材 80点(43個体)が接合し、重量は1,625.1g、大きさは33×13×10cmである。平滑な原礫面を持つ角柱状の角礫を素材として原石の状態で搬入されている。

剥離工程 右側面から下面への剥離(段階1)→下部～右側面から裏面への剥離(段階2)⇔右側面から正面への剥離(段階3)→左側面から正面への剥離(段階4)⇔左側面から裏面への剥離(段階5)→右側面から裏面への剥離(段階6)→右側面から正面への剥離(段階7)→左側面から正面への剥離(段階8)

短軸方向の剥離(段階1)の後、段階2の初めに長軸方向の剥離が行われ、続けて段階2・3及び段階4・5で交互剥離によって粗い整形が行われる。その後、中央の稜を越える両側縁からの加工(段階6～8)によって尖頭器本体は表面が滑らかに、断面形が凸レンズ状に変化している。原石から剥離が行われ、加工はやや粗いが、段階2で既に頭部調整が行われ、打面も比較的小さい。最終的に30×9×3cmの尖頭器が搬出されている。

分布 Sb-90のM32、Sb-92のM32・33、N32区に分布する。1か所にまとまって比較的高密度に分布する。

母岩別資料716・接合資料3252(図Ⅲ-310・311、図版220)

母岩別資料は接合3252の他、接合3253～3256・56648、剥片41点で構成され、総点数157点、総重量1,847.7gである。

素材 85点(48個体)が接合し、重量は1,185.1g、大きさは33×15×6cmである。平滑な原礫面を持つ角礫から剥離された大型の剥片素材で、素材ないし素材に近い形状で搬入されている。

剥離工程 下端部折損(段階1)→右側面から裏面への剥離(段階2)⇔右側面から正面への剥離(段階3)→左側面から正面への剥離(段階4)→本体下端部折損(段階5)→左側面から正面への剥離(段階6)・右側面から正面への剥離(段階7)が行われ、本体が折損した後、個体B-1・2の再加工が行われる。

扁平で平面形がやや湾曲した大型剥片を素材として、粗い剥離による下端部の折損（段階1）後、左右からの加工が行われる。加工は段階2・3の下端の折損面付近での粗い剥離を除くと中央の稜を越える平坦剥離で、本体は早い段階から表面が滑らかで、断面形が凸レンズ状であった。

段階5で折損した尖頭器先端部である個体Aは折れ面から正面へ剥離が行われ、尖頭器Ⅲ類である59に加工される。段階7の後、本体は折損し、個体B-1、B-2に分割され、B-1は両面調整が継続され、B-2は個体A同様に折れ面から正面に剥離が行われ、尖頭器Ⅲ類である58に加工される。58の側縁には縁辺を擦るような調整は見られない。本母岩には5mm大の球顆が多く含まれ、折損の原因や剥離が滑らかに進まない原因となっているが、このような石材の特徴はSb-90の大型石刃の接合資料に類似する。最終的に個体B-1の7×4.5×3cmの本体が搬出されている。

分布 Sb-90のL31、Sb-92のM32、N31・32区に分布する。N32区北西部に中心のある分布で、N31区の小さなまとまりには段階2・段階3（前半）が、L31区には段階1の厚手の剥片が分布する。

母岩別資料850・接合資料3745（図Ⅲ-311～313、図版221-1）

母岩別資料は接合3745の他、接合3764～3767、剥片68点で構成され、総点数182点、総重量2,240.1gである。

素材 89点（56個体）が接合し、重量は1,972.8g、大きさは22×14×11cmである。一部平滑面が残りはほとんどの角が潰れた転礫を素材として1枚の大型剥離面のある状態で搬入される。

剥離工程 左側面から裏面への剥離（段階1）→右側面から裏面への剥離（段階2）⇔裏面から右側面への剥離（段階3）の後、正面では、下面からの剥離（段階4）→上面からの剥離（段階5）→左側面からの剥離（段階7）・正面から稜調整（段階9）→右側面からの剥離（段階10）→左側面からの剥離（段階13）が、裏面では、左側面からの剥離（段階6）→右側面からの剥離（段階8）→右側面からの剥離（段階11）→左側面からの剥離（段階12）が行われる。

正面に大型剥離面、右側面・裏面の原礫面の3面で構成される断面三角形の素材に、打面の大きい粗い剥離（段階1～9）が行われ、途中で厚みを減少させる長軸方向の加工（段階4・5）が行われる。その後、段階10～13の打面の小さい中央の稜を越える平坦剥離が行われ、表面が滑らかで断面形が弧状に変化している。本体は、16×7×3cmの尖頭器で搬出される。

分布 Sb-93のM29、Sb-95のL27・28、M27～29、N26～28、O26・27、P26区に分布する。分布は①O26・27区周辺、②N26区周辺、③L28・M27区周辺に分けられ、①には段階1・2（最初）・3の大部分が、②③にはそれ以降の段階が混在して分布している。

母岩別資料737・接合資料3337（図Ⅲ-313、図版221-2）

母岩別資料は接合3337の他、接合3338で構成され、総点数18点、総重量315.6gである。

素材 12点（8個体）が接合し、重量は271.5g、大きさは14×11×3.3cmである。爪状痕のある原礫面をもつ転礫から剥離された剥片素材である。母岩別資料には他に接合資料1個体が含まれるが、それぞれがどのような状態で搬入されたかは不明である。

剥離工程 素材剥片の右側縁から裏面への剥離（段階1）の後、右側縁から正面への剥離（段階2）が行われ、その最終剥離で折損し、本体は遺棄される。加工には縁辺部調整は見られない。

分布 Sb-95のM27、N27～29、O27・28区に分布する。散漫な分布で、M・N27区には尖頭器本体と段階2の剥片1点が、N28・29、O27・28区にはそれ以外の剥片が分布する。

母岩別資料725・接合資料3276（図Ⅲ-314～317、図版222～224上）

母岩別資料は接合3276の他、接合3277～3282・56656～56666、縦長剥片5点、石刃1点、剥片171点で構成され、総点数443点、総重量5,721.9gである。

素材 226点(126個体)が接合し、重量は4,783.1g、大きさは31×23×15cmである。爪状痕のある原礫面を持つ大型の転礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程 長さ30cmを超える扁平な大型の転礫を長軸方向に打撃し、ほぼ同様な大きさの、剥片の個体Aと石核の個体Bに分割し、個体Aは単設打面、個体Bは両設打面からの石刃剥離が行われる。

個体Aは、裏面上部(段階1)・左側面(段階3)の作業面調整後、上設打面から打面再生・打面調整(段階2)・頭部調整を伴って石刃が剥離される(段階4)。末端部がヒンジの石刃剥離によって作業面形状が悪化すると左側縁から作業面調整が行われ(段階5)、同時に左側縁から裏面への側面調整が行われる(段階6)。再度、石刃が剥離された(段階7)後、左側縁から正面下部(段階8)・右側縁から正面下部(段階9)への剥離が行われるが、それらによって石刃核下部は両面調整の尖頭状になっており、石刃核自体が尖頭器に整形された可能性がある。石刃は反りが少なく、長さ17cm前後のものが剥離され、一部欠落している。

個体Bは、最初、正面下部稜調整(段階1)・下設打面作出(段階2)後、打面調整(段階4)を伴う下設打面からの石刃剥離(段階3)が行われ、末端部形状がヒンジの石刃剥離によって作業面形状が悪化すると、上設打面が作出され(段階5)、上設打面からの石刃剥離(段階6)が下設打面からの石刃剥離と交互に行われる。また、段階6の途中で正面稜調整(段階7)・裏面から右側面調整(段階8)が行われる。その後、石刃核は、正面から右側面への剥離(段階9)、裏面から右側面への剥離(段階10)、正面から右側面への剥離(段階11)、正面から左側面への剥離(段階12)、裏面から右側面への剥離(段階13)、正面から右側面への剥離(段階14)によって尖頭器に加工されている。石刃は、両設打面から剥離されているため反りが少なく、17cm前後のものが剥離され、少量欠落している。石刃核素材の尖頭器は個体A・B共に欠落し、搬出されている。

分布 Sb-95のL27~29、M26~28、N26~28、O26・27、Sb-96のL23・24、M23、N23、Sb-97のI26区に分布する。分布は大きくSb-95とSb-96に分けられ、Sb-95はさらに①O26南東部・27区周辺、②N26区南西部、③M27区周辺の3か所に分けられ、①は散漫で、②③は比較的高密度が高い。個体Aは段階1、段階2・4の前半段階がSb-95①に、段階3のほとんどがSb-95②に、段階2~4の後半段階以降はSb-96に分布する。個体Bは最終剥離である段階14のみSb-96に分布し、段階1・2、3・4の一部(段階3・4の他の石器とは違いが見られない)がSb-95②に、それ以外の大部分はSb-95③に分布する。以上のことを整理すると両者ともSb-95に前半段階が、Sb-96に後半段階が分布している点で一致するが、内容では個体Aの石刃剥離が両地点にまたがるのに対し、個体Bは最終剥離のみが分布する点で異なる。また、Sb-95では個体Aのほとんどが①に、個体Bのほとんどが③に分布する。

母岩別資料728・接合資料3287(図Ⅲ-318~320、図版225上)

母岩別資料は接合3287の他、接合3288~3291・56667~56669、縦長剥片1点、剥片38点で構成され、総点数165点、総重量1,815.8gである。

素材 107点(58個体)が接合し、重量は1,617.3g、大きさは25×15×10cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れて円くなった垂角礫を素材として、裏面に大型の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 裏面からの右側面調整(段階1)→上設打面作出・再生(段階2)⇔上設打面から正面への石刃剥離(段階3)→裏面から下設打面作出(段階4)→下設打面から左側面への石刃剥離(段階5)→裏面からの右側面調整(段階6)→上面から正面への剥離(段階7)→左側面から正面下部への剥離(段階8)→右側面から正面への剥離(段階9)

工程は、上設打面作出・再生(段階2)・上設打面からの石刃剥離(段階3)、打面転移による下設

打面作出(段階4)・下設打面からの石刃剥離(段階5)、石刃核の尖頭器への加工(段階6～9)の3つに大別される。石刃剥離によって石刃核本体を薄くし、最終的に尖頭器に加工する一連の流れが認められる。石刃剥離には打面調整、縁辺を擦る頭部調整が行われる。石刃は先端部に反りが少ない直線的なものが多く、最大17cm程度である。

段階2で剥離された打面再生剥片(個体A)は、折損後、個体A-1・A-2としてそれぞれ彫器の素材となる。個体A-1(図Ⅲ-318-362)は左側縁両面に粗い加工が施された後、折れ面から削片剥離が行われる。個体A-2(図Ⅲ-319-138)は折れ面から両側縁に彫り面剥離が行われた後、下端に腹面からのノッチ状の剥離で作出された打面から右側縁に彫り面剥離が行われる。

段階4で剥離された厚手の打面作出剥片(個体B)は、腹面を打面として打面調整を伴って全周で剥離が行われる。

分布 Sb-90のJ31、Sb-93のK30、L30、M29・30、N29、Sb-95のJ28～30、K28～30、L27・28、M27・28、N27・28、O26・27区に分布する。大きく、①M・N27区周辺、②J28・29、K28・29、L27・28区、③J・K30区、④M29・30、N29区に分けられる。分布は④の密度が比較的高いが、それ以外は散漫で特に、②は広範囲に広がる。①には段階6～9が、②には段階1の大部分、個体Aを除く段階2、段階3・5が、③には段階1の最初の剥片、個体Aが、④には段階4である個体Bが分布する。これらを整理すると二次的な剥離を受けた個体A・Bはそれぞれ③・④に、後半の尖頭器加工段階の段階6～9は①に、それ以外の石刃剥離段階は②に分布している。

母岩別資料757・接合資料3430(図Ⅲ-321、図版225下)

母岩別資料は接合3430の他、接合3431～3433・56715・56716、剥片93点で構成され、総点数221点、総重量1,733.3gである。

素材 88点(29個体)が接合し、重量は1,316.4g、大きさは23×12×9cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程 上面に打面作出(段階1)後、正面で長軸方向の剥離(段階2)が行われ、また、下面でも裏面への長軸方向の剥離(段階4)・打面再生剥離(段階3)が行われる。その後、右側面から裏面上半部に連続的な剥離が行われ(段階5)、続けて正面では上設打面再生・縦長剥片剥離(段階8)、下面から正面への剥離(段階9)が行われ、裏面でも長軸方向の剥離(段階6)、右側面から裏面への剥離(段階7)が行われる。

扁平な原石を素材として、途中で横方向の剥離を挟みながらも、全体的には上下端部に設定された打面から上下両面で長軸方向の剥離が行われ、石核自体の厚さが薄くなっている。最終的に横方向の加工が行われ、石核素材の尖頭器に加工された可能性がある。

分布 Sb-93のM30、O28・29、P28・29、Q27・28区に分布する。線状の細長い範囲に分布しているが段階による偏りは見られない。

母岩別資料788・接合資料3514(図Ⅲ-322、図版224下)

母岩別資料は接合3514のみである。

素材 58点(31個体)が接合し、重量は742.9g、大きさは23×8×8cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた黒曜石2(なし肌)の垂角礫を素材として原石の形状で搬入されている。

剥離工程 上設打面作出(段階1)・左側面からの正面下部調整(段階2)→上設打面から正面への石刃剥離(段階3)⇄上設打面再生(段階4)、右側面下部調整(段階5)→右側面から下設打面作出(段階6)→下設打面から正面への石刃剥離(段階7)→左側面から正面下部調整(段階8)・上設打面から正面への石刃剥離(段階9)→下設打面から正面への石刃剥離(段階10)→正面上設石刃

(段階11)→左側面から正面への剥離(段階12)

石刃は、上設打面から(段階3)→下設打面から(段階7)→上設打面から(段階9)→下設打面から(段階10)→上設打面から(段階11)と打面転移しながら剥離され、主に上設打面から剥離されている。最後(段階12)に尖頭器の調整剥片に類似した剥離が行われることから石刃核が尖頭器に加工された可能性があり、それは搬出されている。また、石刃剥離には頭部調整が行われ、打面調整が一部に認められる。石刃は最大17cm程度のもので剥離されるが、ほとんど欠落せず、搬出されていない。

段階9で剥離された17cmの石刃を素材として尖頭器29が製作される。素材は先端部がウートラバツセにより厚く反りのある形状で、先端部を尖頭部に設定し、両側縁から両面への加工によって厚みを減少させ、反りを修正している。基部は両面とも平坦剥離によってやや円く加工されるが、最終的に背面側の剥離が先端部に抜けて本体中央で折損している。本石器には他に素材基部側の破片があり、その破片も平坦剥離によって円く加工される。基部加工の後に折損し、29の基部が再加工されている。このような平坦加工は広郷型ナイフ形石器の加工に類似している。

分布 Sb-93のM30、N29・30、O28・29、P28、Q27・28区に分布する。線状の細長い範囲に分布しているが段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料732・接合資料3316(図Ⅲ-323~325、図版226・227)

母岩別資料は接合3316の他、接合3317~3321・5941・56678・56679、削片1点、縦長剥片1点、石刃3点、彫器1点、剥片49点で構成され、総点数191点、総重量7,347.5gである。

素材 113点(52個体)が接合し、重量は6,656.9g、大きさは27×24×20cmである。爪状痕のある原稜面を持つ大型の転礫素材で、上面に1枚の大型剥離面がある状態で搬入されている。

剥離工程 上設の単剥離打面から正面・左右側面で頭部調整を伴う石刃剥離(段階1)の後、下設の単剥離打面作出が行われ(段階2)、下設打面から石刃が剥離される(段階3)。その後、再度、打面転移が行われ、上設打面からの石刃剥離(段階4)、さらに、下設打面からの石刃剥離(段階5)が行われる。石刃の打面は打面厚が1cm程度の大きいものも多く、長さは15cm程度のものが多いが、内在する節理面の影響もあり良形の石刃はあまり剥離されていない。

本母岩では、段階1の石刃を素材として97・98、非接合のため段階不明の87・96の4点のナイフ形石器と段階4の石刃(個体A)、段階5の石刃(個体B)を素材として144・136、非接合のため段階不明の135の3点の彫器が製作される。

ナイフ形石器97・98・96は先端部を欠損し、打面を残すように基部に加工が施される。基部加工は、97は背面右側縁に急角度の、98は背面両側縁に急角度の、腹面に右側縁から平坦剥離が行われ、96は背面両側縁に平坦剥離が行われる。87は、基部側は両面の平坦剥離によって円く整形され、先端側は右側縁全体・左側縁先端部に斜角の加工が行われ、尖頭状に整形される。87は完成品で、97・98・96は未成品と思われる。

個体Aは、両端が折損した石刃の先端側の破片を利用し、上部の折れ面と左側縁で交叉状の削片剥離の後、下端の折れ面から左側縁で削片剥離が行われるが、ヒンジになっている。右側縁には下端の折れ面を切る不規則な平坦加工があり、縁辺部には1mm程度の細かい剥離が見られる。個体Bは、石刃先端部の背面に角度のある加工により作出された打面から、腹面側に傾く影刀面が作出される。影刀面再生は行われない。非接合の母岩別資料である135は厚手の素材で上下とも急角度の剥離によってノッチ状に右肩下がりの打面が作出される。左側面には上から、右側面には上下から剥離された影刀面が残り、打面作出と影刀面作出の順番は、下端部打面作出→下端部から右側面への影刀面作出→

上端部から右側面への彫刀面作出→上端部打面作出→上端部から左側面への彫刀面作出である。

分布 Sb-95のJ26、K25・26、L25、M26・28、N26~29、O24・26・27、P25、Sb-96のJ25、L24・25区に分布する。分布は①J26、K25・26、L24・25区、②M26~28、N26~28、O26・27、P25区に分けられ、①は比較的集中した、②は非常に散漫な分布である。②には全てのツールとやや形のよい石刃類が、①にはそれ以外の一次剥片類が分布する。

母岩別資料933・接合資料4061 (図Ⅲ-326~328、図版228・229-1)

母岩別資料は接合4061の他、接合4062・56844、彫器1点、剥片4点で構成され、総点数77点、総重量3,047.7gである。

素材 68点(40個体)が接合し、重量は2,975.2g、大きさは25×14×14cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として、左側面・上面に大型剥離面がある状態で搬入されている。

剥離工程 円筒状の原石に石核調整を行わないで、上端部に設定された単剥離打面から頭部調整を伴って石刃が剥離される。途中にも核調整などの石核調整は見られず、最後は末端部形状がヒンジの石刃が連続的に剥離され、遺棄される。石刃の打面は厚さ5~10mmの大きいものが多く、石刃の長さは最大23cm(294)で、15cm程度(293)のものが多い。また、内側(後半)の石刃が欠落し、搬出されたと考えられる。

本母岩では2点のナイフ形石器(95・個体A)、1点の彫器(137)、1点の削器(228)が製作されている。全て石刃素材と見られ、彫器・削器は非接合資料である。ナイフ形石器95は先端部破片で、素材先端部の背面左側縁に斜めに平坦剥離による加工が行われる。個体A(369)は、長さ18cm、厚さ1.3cmのやや厚手の石刃素材で、素材のバルブ周辺を裁ち切るような左側縁への急角度の加工が行われるが、途中で階段状の剥離が連続し瘤状になっている。その一連の剥離の途中、上部を切り取るように右側縁に剥離が抜けてしまい、本体上部を大きく欠損するが、それによって瘤が除去され、また、器厚が薄くなる。その後、先端部背面側には左側縁全体・右側縁先端部に平坦な加工が、基部には両面への平坦剥離が行われ、楯の種子状の形態に整形される。最終的には背面の基部加工が腹面に抜けて器体が二分され、82が遺棄される。137は長さ1.7cmの厚手の石刃素材で、背材先端部に左肩下がりに急角度の裁ち切る加工により作出された打面から右側縁で彫刀面が作出されている。228は背面右側縁に素材を裁ち切る連続的な斜角の加工が行われる。打面が残される点で個体Aと異なるが、二次加工は個体Aの初期の加工に類似する。Ⅲ-510-3は幅広の石刃で、80m離れた東地区のSb-61から出土した。Sb-61は広型ナイフ形石器器群が出土したブロックで西地区の当該石器群との関連を裏付けている。

分布 Sb-61のP45、Sb-93のN29、P29、Sb-95のJ26、K25・26、L25、M27、N25・28、O24~27、P24・26、Q24区に分布する。分布は①J26、K25・26、L25区、②N25~29、O24~27、P24、Q24区周辺、③P45区に分けられ、①には原礫面のある石刃や最終段階のヒンジの石刃を含む石器が、②にはナイフ形石器・彫器・削器・石刃が散漫に、③には石刃1点が分布している。ツールは全て②に、また、②③に分布する石刃は比較的良形でツールや欠落した石刃と同様に石刃剥離工程の中間段階で剥離されたものであることから、中間段階で剥離された石刃が目的剥片で、それらが①から②や③に選択されて持ち込まれたと考えられる。

母岩別資料934・接合資料4063 (図Ⅲ-329、図版229-2)

母岩別資料は接合4063のみである。

素材 49点(37個体)が接合し、重量は408.9g、大きさは11×9×8cmである。角が潰れた垂角礫ないし転礫を素材として上面に単剥離打面、全周に上からの剥離面で覆われた石刃核で搬入されてい

る。

剥離工程 正面形がV字状の石刃核の上設打面から頭部調整を伴って石刃(段階1)が連続的に剥離される。途中、右側面で剥離された石刃がヒンジになり、作業面形状を修正するために右側面下部調整が行われるが、それ以外に石核調整は見られず、石刃剥離は順調に行われる。石刃剥離後半は下端部を取り込む剥離が連続し、石刃核の高さが減少している。石刃の打面厚は5mm前後でやや大きい。頭部調整は縁辺が直線的になるように行われ、292のように作業面に残る二本の稜間の、縁辺から5mm程度内側を打撃して比較的幅広の石刃を剥離する意識が伺える。

石刃は10cm前後のものが主体で、欠落しているものはほとんど無いが、2点(91・86)がナイフ形石器に加工されている。91は加工の頻度が低く、軽いヒンジによる反りの見られる背面先端部左側縁が斜めに加工され、右側縁には微細な剥離面が全体に見られる。86は長さ7cmの石刃素材で反りのある素材先端部を基部に設定し、基部側は両面への平坦剥離によって円形に、打面側は、素材左側縁上半部・右側縁先端部の平坦剥離によって打面を除去し、尖頭状に整形される。

分布 Sb-93のO28、P27・28、Q26・27、R25、Sb-95のM29、N26-29、O26、P25、Q24区に分布する。大きく①M29、N26-29、O26、P25、Q24区、②O28、P27・28、Q26・27、R25区に分けられ、ともに散漫な分布であるが、①はより広い範囲に散漫に分布する。①には全てのツール・石刃の一部が、②にはそれ以外の遺物が分布している。

母岩別資料738・接合資料3339 (図Ⅲ-330・331、図版230)

母岩別資料は接合3339の他、接合56683・56684、石刃1点、剥片20点で構成され、総点数103点、総重量1,384.3gである。

素材 78点(52個体)が接合し、重量は1,313.2g、大きさは21×11×9cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、長さ21cmの作業面を持つ大型の石刃核で搬入されている。

剥離工程 上面・裏面は風化の進んだ古い剥離面で構成され、正面は上設打面から剥離された石刃剥離面のある状態で搬入され、遺跡内でも最初は正面から右側面にかけて上設打面から石刃が剥離される(段階1)。末端部がヒンジの石刃が連続して剥離され、作業面形状が悪化した段階で作業面下部調整が下端部(段階3)、右側面(段階4)から行われ、再度、上設打面から正面・両側面で石刃が剥離される(段階4)。段階4の途中で裏面から右側面調整が行われる。段階4の最終段階では、ウートラパッセにより大きく下端部が取り込まれ、石刃核の高さが8cm減少し、さらにヒンジの石刃剥離によって作業面に段差ができた時点で、最後に下面で裏面から連続して寸詰まりの剥片が剥離される(段階6)。石刃剥離の際には簡単な頭部調整が行われ、石刃の打面は大きい。搬入時の石刃核作業面には20cmを超える石刃が剥離された跡があるが、遺跡内ではそれほど長い石刃は剥離されず、欠落する石刃も少ない。

本接合資料では石刃を素材として削器2点(220・222)が製作され、1点の厚手の剥片(個体A)を素材として剥片剥離が行われる。220は段階1の石刃素材で両側縁に不規則な平坦剥離が施され、222は段階3の石刃素材で両面に不規則な粗い平坦剥離が施される。段階4で下端部を大きく取り込んだ個体Aは、その両端部で寸詰まりの剥片が剥離される。

分布 Sb-95のK27-29、L27-29、M27・28、N27区に分布する。散漫な分布であるが一つのまとまりとして認められ、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料829・接合資料3660 (図Ⅲ-331・332、図版231-1)

母岩別資料は接合3660の他、剥片8点で構成され、総点数64点、総重量1,100.7gである。

素材 56点(36個体)が接合し、重量は1,086.9g、大きさは19×11×8cmである。平滑な原礫面を

持つ角礫を素材として原石の形状で搬入されている。

剥離工程 打面と作業面の角度が約60度の小口面を作業面に設定し、石核調整無しで上面の原礫面打面から頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階1）。ヒンジによって作業面下部に段差が生ずると途中で左側面から正面に稜調整（段階2）が行われる。最後はヒンジとなる剥離が連続し、石刃核は遺棄される。12cm 前後の石刃が剥離されるが、ほとんど搬出されていない。

分布 Sb-95のM27~29、N26~28、O26区に分布する。一つのまとまりとして分布し、段階による偏りは見られない。

母岩別資料758・接合資料3434（図Ⅲ-332・333、図版231-2・232）

母岩別資料は接合3434のみである。

素材 73点（31個体）が接合し、重量は3,452.1g、大きさは17×16×16cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、正面に1枚の大型剥離面がある状態で搬入されている。

剥離工程 正面から上面への打面作出（段階1）後、上面から頭部調整を伴わない粗い剥離（段階2）によって石核形状が整えられる。その後、主に裏面側から正面に向かって石刃が剥離され、最終的には作業面が全周を巡っている（段階3）。途中で右側面から裏面作業面に稜調整（段階4）が行われるが、石刃剥離段階ではほとんど石核調整が行われずに剥離が進行する。石刃は10~12cm程度のものが剥離され、中央で剥離されたものが欠落し、搬出されている。

2点の削器（218・214）が製作され、218は右側縁に、214は両側縁に、細かい急角度の加工が施される。

分布 Sb-93のM30、N29、O29・30、P27~30、Q28・29区に分布する。分布は①P28、P29区の北東部周辺、②O30、P29南東部、Q29区周辺に分けられ、①には段階1・2、段階3の初期、②には段階3初期以降の遺物が分布し、①は高密度の、②は散漫な分布である。

母岩別資料904・接合資料3964（図Ⅲ-334・335、図版233）

母岩別資料は接合3964の他、接合3965、剥片67点で構成され、総点数180点、総重量2,181.0gである。

素材 98点（62個体）が接合し、重量は1,808.4g、大きさは20×17×11cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた重角礫を素材として、上面に1枚の大型剥離面のある状態で搬入される。

剥離工程 正面中央から右側面への剥離（段階1）の後、石核幅を決めるような上面から頭部調整の無い粗い剥離が左右側面で行われる（段階2）。正面から右側面下部への剥離（段階3）の後、正面で上面から頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階4）。

本接合資料では舟底形石器5点（個体A~E）が製作されている。個体Aは段階1で剥離された厚手の縦長剥片素材で右側面のみ加工され、本体275は折損後、遺棄される。個体B~Dは段階2で剥離された厚手の剥片素材で全て甲板面からのみ加工が行われ、折損品263が残される個体B以外は本体が欠落する。個体Eは石刃核素材で、その加工は段階4の剥離と区別ができ、打面縁辺から1cm以上内側に打点のある粗い剥離によって加工される。個体Eの本体は欠落している。

石刃剥離の頻度は低いが一部欠落している。

分布 Sb-93のN29、O29、P28・29区に分布する。1か所に高密度に分布し、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料922・接合資料4032（図Ⅲ-335・336、図版234-1）

母岩別資料は接合4032の他、接合4033・4034で構成され、総点数80点、総重量658.1gである。

素材 59点（29個体）が接合し、重量は417.5g、大きさは10×10×10cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、石刃核で搬入される。

剥離工程 上設の単剥離打面から正面で、数回石刃が剥離された石刃核で搬入され、遺跡内では打面縁辺を磨り潰す頭部調整を伴う石刃剥離が継続して行われる。石核調整は最初から行われず、石刃剥離の途中でも行われぬ。正面形がU字状の原石を利用しているため順調に石刃剥離が進行する。石刃の長さは10cm程度で、原礫面を持たない作業面中央で剥離されたものが欠落し、搬出されている。

分布 Sb-93のO29、P28区の1か所に非常に高密度に分布する。

母岩別資料667・接合資料3122 (図Ⅲ-336、図版234-2)

母岩別資料は接合3122の他、接合3123で構成され、総点数28点、総重量458.7gである。

素材 23点(17個体)が接合し、重量は272.3g、大きさは9×9×7cmである。小型の転礫素材で原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程 上設の単剥離打面から左右側面での粗い石核調整の後に、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される。剥離される石刃の長さは8cm程度で、中央付近で剥離されたものが一部欠落している。

分布 Sb-90のI32、J32、Sb-91のH33、Sb-94のI33区に分布する。やや離れた2点を除いて1か所にまとまって分布するが、これらに形態などの違いは見られない。

母岩別資料878・接合資料3851 (図Ⅲ-336・337、図版235-1)

母岩別資料は接合3851の他、縦長剥片1点、彫器1点、剥片14点で構成され、総点数36点、総重量476.7gである。

素材 20点(17個体)が接合し、重量は410.7g、大きさは12×10×8cmである。平滑な原礫面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程 右側面から正面下部(段階1)、正面から左側面下部(段階2)への石核調整後、上面(原礫面)から左側面への剥離(段階3)が行われ、正面下部調整を挟んで(段階4)、上面から裏面への石刃剥離(遺物は欠落する)、上面から正面への石刃剥離(段階5)、上面から裏面への粗い剥離(段階6)が行われる。主に正面・裏面の石刃剥離によって石刃核の全周に上面からの剥離痕が見られる。本母岩では非接合であるが彫器130が製作されている。130は、背面に原礫面が残り、原石の外側で剥離された素材を利用して、背面両側縁、腹面片側縁に加工が施され、直線的な打面から影刀面が作出されたⅡ類の彫器である。

分布 Sb-93のM29、O29・30、P28・29、Q28・29区に分布する。大きく①O29・30、P29、Q28・29区、②M29、P28区に分けられ、①には段階1～5が、②には段階6・石刃核・彫器130が分布する。

母岩別資料856・接合資料3781 (図Ⅲ-337～339、図版235-2)

母岩別資料は接合3781の他、接合3782・56786、縦長剥片1点、剥片11点で構成され、総点数74点、総重量923.7gである。

素材 58点(44個体)が接合し、重量は882.9g、大きさは19×11×9cmである。平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた亜角礫を素材として原石の状態で搬入されている。

剥離工程 上設打面作出(段階1)後、石刃が剥離され(段階2)、左側面から正面下部調整(段階3)を挟んで、再度、石刃剥離(段階4)、さらに打面再生(段階5)後に、石刃剥離(段階6)が行われる。残存する石刃には顕著な頭部調整は認められない。剥離される石刃の長さは13cm前後が多いが、段階6ではウートラパッセになって石刃核高・石刃長ともに著しく減少し、最終的には5cm程度の石刃が剥離される。また、石刃は原礫面の無い段階4・6で剥離されたものが欠落している。

本接合資料では舟底形石器2点(個体A・B)、彫器1点(102)、削器3点(224・235・個体C)

が製作されている。

舟底形石器が製作される個体Aは段階1の打面作出剥片素材で、主に甲板面から両側面に加工が施され、右側面には初期段階と最終段階で下縁から加工が行われる。個体Bは段階4の厚手の縦長剥片素材で主に甲板面から両側面に加工が施され、左側縁中央には下縁からの加工が残るが、それらは甲板面からの加工に切られている。

I類の影器102は段階2の原礫面が残る石刃を素材として背面両側縁に加工が施され、ノッチ状の打面から彫刀面が作出される。

削器224は段階2の石刃素材で右側縁に急角度の加工が施され、段階2の235・段階6の個体Cは共に厚手の石刃素材で舟底形石器に類似した粗い加工が片側縁に施される。

分布 Sb-89のR30、Sb-93のM30、N30・31、O29-31、Sb-95のO27、P27区に分布する。分布は①N・O30区周辺、②R30区、③O・P27、Q25区に分けられ、ほとんどが①に分布し、②には段階6後半・石刃核が、③には舟底形石器272・削器224の下部破片・235が分布する。また、影器は①の外れのO31区に分布する。ツールの多くが①以外に分布することから、それらは持ち出されたものと考えられ、同様に段階6初期段階の石刃核がR30区に持ち出されたものと考えられる。

母岩別資料857・接合資料3783 (図Ⅲ-340・341、図版236-1)

母岩別資料は接合3783の他、接合3784・3785、二次加工ある剥片1点で構成され、総点数74点、総重量518.0gである。

素材 66点(48個体)が接合し、重量は465.3g、大きさは12×10×7cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程 正面形がV字状の原石を素材として、最初に石核調整を行わずに上面の原礫面打面から正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される(段階1)。段階1の途中で作業面下部に段差が生じると、左側面から作業面下部に調整が行われる(段階2)。その後、長軸方向の打面再生(段階3)を行いながら左側面で石刃が剥離される(段階4)。原石形状が良く、段階1では反りの少ない10cm程度の石刃(286など)が安定的に連続して剥離されるが、段階4ではウートラパッセになり、先端部に反りのある石刃が剥離され、長さも短くなる。石刃素材の多くの石器が製作されるが、搬出される石刃は少ない。

本接合資料では影器4点(112・113・個体A・120)、錐形石器1点(203)、削器6点(215・211・216・212・209・208)が製作され、影器112・113、錐形石器203、削器215・211は段階1、影器120、削器216・212・209・208は段階4の石刃素材、個体Aは段階1の剥片素材である。

影器112・113・120はII類、個体A(133)はIII類である。個体Aを除いて大きさ、彫刀面傾斜角、形態軸・彫刀面交叉角が類似している。

112は長さ8.1cm幅(不明)の反りのない石刃素材で背面両側縁に加工が行われ、素材先端側に彫刀面が、打面側に錐状の刃部が作出される。錐状の刃部は素材打面端部に近く、再生はほとんど行われない。素材端部と彫刀面の距離は5.0cmで全てが彫刀面再生によって長さが減少したとすると20数回再生が行われたことになる。

113は長さ7.4cm幅(3.5)cmの反りのない石刃素材で背面両側縁に加工が行われ、素材先端側に彫刀面が作出される。素材端部と彫刀面の距離は2.7cmで、全てが彫刀面再生によって長さが減少したとすると10数回再生が行われたことになる。

個体A(380)は作業面中央で剥離された幅広の剥片素材で、左側縁の腹面に細かい加工が施され、打面付近に作出された粗いノッチ状の打面から左側縁に沿って幅広い削片が剥離される。削片剥離は

1回のみで彫刀面再生は行われない。

120は長さ7.0cm幅2.3cmの先端部に反りのある石刃素材で、素材打面側に彫刀面が作出される。側縁調整は背面両側縁、腹面基部に施され、腹面加工によって素材先端部の反りが除去されている。素材端部から彫刀面の距離は2.5cmで、全て彫刀面再生によるものとして10数回の再生が行われたことになる。

錐形石器203は細かい剥離で加工され、中央から先端にかけて細長い刃部が作出される。

削器(215・211・216・212・209・208)は、背面両側縁に素材形状を大きく変えない細かい加工が施される。素材は全て石刃であるが、段階1が薄く、段階4がやや厚い。また、208には腹面加工も見られ、その形態から彫器母型と思われる。

彫器の加工技術・形態、削器・錐形石器の加工技術が本母岩内で類似することから同一人物による剥離・加工が想定される。

分布 Sb-86のM35、Sb-93のM30、N29-31、O29・30、P27-30、Q29、R26区に分布する。分布は①O30区周辺、②O29区周辺、③P28区、④①-③以外に分けられ、①には彫器・削器を除く段階1・2の前半、②には彫器・削器を除く段階1・2の後半、③には段階3～5の遺物が分布する。また、③から20m離れたM35区には段階1の薄手の石刃の折損品が分布する。ツールは①の集中域の周辺部に多く分布する。以上のことから段階1・2前半、後半、段階3～5の3回に分けて剥離が行われ、それぞれの地点に遺棄され、ツールは抜き出されて、P28区からR26区にかけて遺棄されたと考えられる。

母岩別資料867・接合資料3823 (図Ⅲ-342、図版236-2)

母岩別資料は接合3823の他、接合3824-3828・3900・61749、剥片18点で構成され、総点数116点、総重量845.1gである。

素材 80点(62個体)が接合し、重量は668.9g、大きさは17×11×9cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として原石ないし原石に近い形状で搬入される。

剥離工程 打面再生(段階2)を伴う下設打面からの石刃剥離(段階1)の後、打面再生(段階4)を伴う上設打面からの石刃剥離(段階3)が行われる。右側面調整(段階5)の後、続けて打面を上下に転移させながら、下設打面からの石刃剥離(段階6)・下設打面再生(段階7)、上設打面からの石刃剥離(段階8)が行われる。その後、右側面からの剥離で大きく上設打面を再生し、正面～右側面にかけて石刃が剥離される(段階9)。ヒンジにより段差の生じた作業面下部に横方向の石核調整(段階10)が行われ、段階9の最後に打面縁辺から1cm内側を打撃し、石刃核を分割して剥離は終了する。

段階1～8の石刃は両設の石刃核から剥離されるため、側面形は直線的で、段階9の石刃は単設であるため剥離される石刃の先端には反りが見られる。長さは両者とも10cm以下が主体で段階1～8の石刃は正面中央で剥離されたものが、段階9の石刃は右側面で剥離されたものがほとんど欠落し、搬出されたと考えられる。

彫器104は、段階1で剥離された側面形が直線的な長さ8.0cm幅2.3cmの石刃素材で、側縁調整は背面両側縁に細かい加工が施され、直線的な打面から素材先端側に彫刀面が作出される。素材端部から彫刀面まで1.4cmあり、全て彫刀面再生によるものとしても数回の再生が行われた程度である。

分布 Sb-92のN32、Sb-93のM30、N29・31、O29・30、P28・29区に分布する。O30区に高密度の集中域があり、それ以外は周辺に散漫に分布する。周辺には、彫器104がO29区、石核がP29区に分布するが、それ以外の遺物は縦長剥片や調整剥片である。

母岩別資料866・接合資料3822 (図Ⅲ-343・344、図版237-1)

母岩別資料は接合3822の他、縦長剥片1点、剥片42点で構成され、総点数81点、総重量807.9gである。

素材 38点(33個体)が接合し、重量は661.0g、大きさは16×11×6cmである。平滑な原礫面を持つ角柱状の角礫を素材として上面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 角柱状の原石の小口面で上面の単剥離打面から石刃が剥離(段階1)された後、下設打面作出・再生(段階2)、下設打面からの石刃剥離(段階3)が行われる。再度、打面転移により、上設打面再生(段階4)、上設打面からの石刃剥離(段階5)が行われ、最後は石刃核を素材として舟底形石器が製作される。一連の石刃剥離には頭部調整が見られる。

石刃は打面転移が頻繁な段階1・3では直線的な側面形であるが、上設打面に固定される段階5では先端部に反りのある形態である。段階1・3では最大14cmの、段階5の初期(打面再生前)には12cm、後半(打面再生後)には9cmの石刃が剥離され、主に段階5の初期の石刃が欠落する。

本接合資料では舟底形石器3点(個体A～C)、削器1点が製作される。

個体Aは段階2の厚手の打面作出剥片素材で甲板面である腹面からのみ加工が行われる。個体Bは段階5のウートラパッセによって石刃核が分割された最終剥離の剥片素材で、甲板面である腹面からのみ加工が行われる。個体Cは石刃核素材で、作業面に残る最終剥離面である個体Bの剥離面を甲板面に設定し、裏面からの加工の後、甲板面から加工が施される。

削器は掲載していないが、段階5で剥離された石刃素材で、図Ⅲ-240-209に類似した細かい加工が両側縁に見られる折損品である。

分布 Sb-92のN32、Sb-93のN30・31、O30、P28・30区に分布する。個体A～C以外はO30区に高密度に分布するが、個体A～CはO30区を含めた周辺に散漫に分布し、削器はやや離れたP28区に分布する。

母岩別資料842・接合資料3703 (図Ⅲ-344、図版237-2)

母岩別資料は接合3703の他、接合3704・3705・56768、剥片44点で構成され、総点数80点、総重量598.8gである。

素材 25点(15個体)が接合し、重量は424.7g、大きさは20×7×4.6cmである。平滑な原礫面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として原石ないし原石に近い形状で搬入される。

剥離工程 最初は正面に上面からの石刃剥離(段階1)が行われる。その最終剥離時にウートラパッセによって下端部が大きく取り込まれ、その際、下端部にできた傾斜を下設打面に設定し、裏面で下面から石刃剥離(段階2)が行われる。再度、打面転移によって、上面打面調整(段階3)後、石刃核を二分する厚手の縦長剥片が右側面で剥離され(段階4)、最後は、裏面で下面から石刃剥離(段階5)が行われる。

石刃剥離の際に頭部調整は見られず、剥離された石刃はほとんど遺棄されている。

段階4の厚手の縦長剥片(個体A)は舟底形石器の素材となり、加工は全て甲板面である腹面から行われる。舟底形石器本体は欠落している。

分布 Sb-93のP28・29、Q27区に分布する。全体ではP28区周辺にまとまって分布するが、個体Aとそれ以外ではややずれて分布する。

母岩別資料926・接合資料4043 (図Ⅲ-345、図版238上)

母岩別資料は接合4043の他、剥片3点で構成され、総点数62点、総重量1,782.1gである。

素材 59点(47個体)が接合し、重量は1,473.5g、大きさは18×17×13cmである。平滑な原礫面を

持つ角礫を素材として原石の形状で搬入される。

剥離工程 正面からの上設打面作出(段階1)後、裏面から右側面への剥離(段階2)、下面から裏面への剥離(段階3)、上設打面から全周でのやや粗い剥離(段階4)、裏面から左側面への剥離、左側面から上面への剥離(段階5)が行われる。裏面から上面への打面再生(段階6)後、裏面で上設打面から頭部調整を伴って石刃が剥離される(段階7)。

石刃は10cm程度で、ほとんどが欠落している。

本接合資料では舟底形石器2点(個体A・B)が製作される。個体Aは段階1の厚手の打面作出剥片、個体Bは段階6の厚手の打面再生剥片で、両者とも甲板面である腹面からのみ加工が行われ、本体は欠落し、搬出される。

分布 Sb-93のO29、P28・29区に分布する。細長い範囲にやや高密度に分布し、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料931・接合資料4053(図Ⅲ-346、図版238下)

母岩別資料は接合4053の他、接合4054、剥片4点で構成され、総点数122点、総重量1,799.1gである。

素材 115点(70個体)が接合し、重量は1,778.2g、大きさは16×13×12cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、正面に1枚の剥離面のある状態で搬入される。

剥離工程 左側面と裏面の角を粗い剥離によって整形(段階1)した後、上面から正面へ頭部調整を伴わない粗い剥離が行われる(段階2)。その後、右側面と裏面の角で上面から縦長剥片が剥離される(段階3)、その途中、上面と左側面の角での裏面からの剥離(段階4)、正面から左側面上部への石刃状の剥離(段階5)、下面から右側面への剥離(段階6)が行われる。さらに、裏面から下面に打面が作出され(段階7)、正面・左側面・裏面で石刃が剥離される(段階8)。段階8の途中で正面上からの作業面調整が行われる(段階9)。

三角錐状の原石の角で、石刃状の剥離が作業面を転移させながら行われるが、連続した石刃剥離には至っていない。段階6までの剥離によって石刃核の形態が整い、段階7で作出された打面から連続的な石刃剥離が行われる。その段階での石刃核高は9cmで、剥離される石刃も9cm以下で最終的には6cmの小型のものになっており、それらのほとんどは遺棄されている。

分布 Sb-93のO28・29、P28・29区に分布し、非常に高密度な分布である。

母岩別資料722・接合資料3268(図Ⅲ-347・348、図版239)

母岩別資料は接合3268の他、接合3269・3270・56655、剥片1点で構成され、総点数103点、総重量1,946.2gである。

素材 91点(74個体)が接合し、重量は1,880.8g、大きさは18×18×16cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程 最初に、正面から上面→右側面への剥離(段階1)、上面から正面への剥離(段階2)が、打面と作業面を入れ替えながら交互に行われる。右側面から裏面への剥離(段階3)の後、右側面から下面への剥離で打面が作出され(段階4)、その下設打面から右側面へ頭部調整を伴って石刃が剥離され(段階5)、その途中で右側面から正面へ石核調整(段階6)、左側面から裏面へ石核調整(段階7)が行われる。

段階1・2の粗い剥離で石核形状を粗く整えた後に、段階4の打面作出が行われる。その時点での石刃核高は13cm程度で、剥離される石刃長は8~13cmである。石刃は初期の10~13cmのものが欠落し、搬出される一方、後半の8~13cmのものは遺棄されている。

本接合資料では舟底形石器3点(個体A~C)が製作されている。個体Aは段階2の厚手の剥片、

個体Bは段階1の大型剥片、個体Cは段階4の厚手の打面作出剥片素材で、全て甲板面である素材腹面からのみ加工が行われる。本体は、遺棄される個体A（Ⅲ-124-125）を除いて欠落する。

分布 Sb-86のN34、Sb-89のR30、S29、Sb-92のM32、N32・33、Sb-93のM29・31、O29・31・32、P28・31区に分布する。分布は①P28・29区、②M31・32、N32-34、O31・32、P31区、③R30、S29区に分けられ、①には個体A・Bを除く段階1・2の前半（相対的に粗い剥離）が、②には個体A（折れた一次剥片を除く）・B、個体Cの本体を除く調整剥片、個体A～C以外の段階1・2の後半（相対的に細かい剥離）、3～7が、③には個体Bの調整剥片1点（調整剥離工程の最初や最後の剥片ではなく途中の剥片）、個体Cの本体であるⅢ-124-125が分布する。分布密度は①は高く、②③は低い。以上を整理すると①に初期段階の遺物が分布し、②に後半段階と舟底形石器の調整剥片が分布することから、①での初期の剥離後、②に石核と舟底形石器の素材が持ち込まれ、石刃剥離・舟底形石器調整剥離が行われたと考えられる。また、さらに舟底形石器の一部は③に持ち込まれたと思われる。

母岩別資料911・接合資料3989（図Ⅲ-349・350、図版240上）

母岩別資料は接合3989の他、剥片1点で構成され、総点数66点、総重量1,443.5gである。

素材 65点（60個体）が接合し、重量は1,442.3g、大きさは18×15×9cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程 裏面から上面への剥離（段階1）で打面が作出され、正面で厚手の縦長剥片が剥離される（段階2）。その後、段階2の剥離面の末端部を打面として右側面と裏面の角部で剥離が行われ（段階3）、次に打面を180度転移させ、上面から剥離が行われる（段階4）。正面から右側面への後調整（段階5）後、上面から正面に厚手の剥片が剥離され（段階6）、左側面から下面（段階7）、下面から左側面（段階8）への後調整後、上設打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる（段階9）。剥離される石刃の長さは9cm程度で先端部に反りが見られる。そのほとんどが欠落し、搬出されたものと考えられる。

本接合資料では舟底形石器3点（個体A～C）が製作されている。個体Aは段階1、個体Bは段階2、個体Cは段階6の厚手の剥片素材で全て甲板面である腹面からのみ加工され、個体Bのみ折損した本体264が遺跡に残されている。

分布 Sb-93のN29、O29、P28・29、Q29区に分布する。分布は比較的高密度で、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料928・接合資料4046（図Ⅲ-350・351、図版240下）

母岩別資料は接合4046の他、接合4047-4049・56833、剥片34点で構成され、総点数114点、総重量1,527.0gである。

素材 68点（60個体）が接合し、重量は1,277.1g、大きさは17×15×9cmである。平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた亜角礫を素材として原石の形状で搬入されている。

剥離工程 正面から上面への長軸方向の剥離で打面が作出された（段階1）後、右側面で石核の幅を減少させる粗い剥離（段階2）、右側面に正面からの後調整（段階3）を挟みながら、正面の小口面で上設打面から頭部調整を伴う石刃剥離（段階4）が行われる。右側面から作業面下部後調整（段階5）後に、引き続き、上設打面からの石刃剥離（段階6）が行われ、その剥離がヒンジになると、裏面下部に180度打面を転移させ、裏面から下面へ剥離を行い（段階7）、さらに打面を転移させ、右側面から正面（段階8）、正面から右側面（段階9）の粗い剥離で厚手の剥片が剥離される。段階7～9の頻繁な打面転移の結果、石核324には多方向の大型の剥離面が残る。

剥離される石刃は長さ10cm程度で、剥離される稜は少なく、ほとんど欠落していない。

本接合資料では舟底形石器4点(個体B・D・E・F)、削器1点(個体A)、二次加工ある剥片1点(個体C)が製作される。

舟底形石器に加工される、個体Bは段階4の厚手の石刃、個体Dは段階7の厚手の石刃、個体Eは段階8の厚手の剥片、個体Fは段階9の厚手の剥片素材で、全て甲板面である腹面からのみ加工が行われ、本体は欠落している。

削器に加工される個体Aは段階1の厚手で縦長の打面作出剥片を素材として片側縁のみ加工が行われる。本体である233に残る粗い加工は舟底形石器の加工に類似する。

個体Cは本体を掲載していないが段階6の剥片で舟底形石器の加工に類似した数回の加工が施されるのみである。

分布 Sb-93のO29、P28・29区に分布する。分布は比較的高密度で、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料827・接合資料3658(図Ⅲ-351・352、図版241-1)

母岩別資料は接合3658の他、剥片5点で構成され、総点数55点、総重量417.5gである。

素材 50点(49個体)が接合し、重量は410.4g、大きさは13×11×6cmである。風化によってザラついた平坦面を持ち、角の潰れた垂角礫を素材として原石で搬入されている。

剥離工程 正面からの上設打面作出(段階1)後、上設打面から正面への剥離(段階2)、上設打面から裏面への厚手の縦長剥片剥離が行われる(段階3)。剥離された剥片の多くと石核自体が舟底形石器に加工され、舟底形石器を製作することを目的とした母岩である。

本接合資料では舟底形石器4点(個体A～D)が製作されている。

個体Aは段階1の厚手の縦長剥片、個体B・Cは段階3の厚手の縦長剥片、個体Dは石核を素材としている。個体A・Bは素材腹面が、個体Cは素材背面が、個体Dは作業面が甲板面に設定され、全て甲板面からのみ加工が行われ、折損した一部(277)が残存する個体Aを除いて全て本体は欠落している。

分布 Sb-93のN29、O28・29、P27・28、Q27・28区に分布する。全体としてはやや高密度の細長い分布で個体・段階による大きな違いは見られない。

母岩別資料814・接合資料3611(図Ⅲ-352・353、図版241-2)

母岩別資料は接合3611の他、接合56748で構成され、総点数47点、総重量1541.7gである。

素材 45点(18個体)が接合し、重量は1,492.3g、大きさは23×15×13cmである。一部平滑な面のある転礫素材で上面に1枚の剥離面が残る状態で搬入される。

剥離工程 上設の単剥離打面から正面で石刃が剥離された(段階1)後、裏面で石刃が剥離され(段階2)、再度、正面で石刃剥離(段階3)が行われる。最初から石核調整は施されず縦方向の剥離が行われる。段階2・3の最終剥離には頭部調整が見られるが、それ以外は打面が潰れ、おそらく頭部調整は行われなれないと思われる。石刃は15cm程度のものが剥離されるが、その頻度は低く、最終剥離に頭部調整が見られることから、石刃剥離が可能な石刃核が製作され、搬出されたと考えられる。

分布 Sb-95のK28、L27-29、M27-29、N29区にやや散漫に分布する。

母岩別資料708・接合資料3237(図Ⅲ-353・354、図版242-1)

母岩別資料は接合3237のみである。

素材 88点(49個体)が接合し、重量は1,339.3g、大きさは16×14×11cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として原石の状態での搬入される。

剥離工程 左側面後方からの剥離で作出された(段階1)打面から、左側面に粗い石核調整が行われた後、正面から左側面にかけて頭部調整を伴う石刃剥離が行われる(段階2)。その後、石刃核は打面の大きい粗い加工によって舟底形石器に加工される。

剥離される石刃の長さは7~11cmでほとんどが欠落している。

本接合資料では舟底形石器3点(個体A-1・A-2・B)が製作されている。個体Aは打面作出剥片で剥離時に同時割れてA-1・A-2に分割される。それぞれ甲板面である腹面からのみ加工が行われ、A-1の本体は欠落し、A-2の本体273は遺棄される。個体Bは石刃核素材で、石刃核が小型化し、頭部調整を伴う石刃剥離がヒンジになった時点で粗い加工に変化し、舟底形石器が製作される。加工は打面からのみ行われ、本体は欠落し、搬出される。

分布 Sb-90のJ32・33、Sb-94のI31・32、J31区に分布する。分布は比較的高密度で、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料830・接合資料3661(図Ⅲ-354・355、図版242-2)

母岩別資料は接合3661のみである。

素材 32点(26個体)が接合し、重量は932.9g、大きさは15×13×10cmである。風化によりザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、上面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 正面から上面への打面作出(段階1)後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる(段階2)。その後、正面下部石核調整(段階3)が行われ、石刃核を分割するように下面から正面へ厚手の剥片が剥離される(段階4)。剥離される石刃の長さは10cm前後で、後半に剥離された石刃が欠落する。

本母岩では舟底形石器2点(個体A・B)が製作される。個体Aは段階2の厚手の剥片、個体Bは段階4の厚手の剥片で、両者とも甲板面である腹面からのみ加工が行われ、本体は欠落する。

分布 Sb-95のK26、L26・27区に、やや高密度にまとまって分布する。

母岩別資料778・接合資料3496(図Ⅲ-355・356、図版243-1)

母岩別資料は接合3496のみである。

素材 28点(17個体)が接合し、重量は1,668.8g、大きさは16×15×8cmである。爪状痕のある原礫面を持つ扁平な転礫を素材として、上面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 正面から長軸方向の剥離による上設打面作出(段階1)後、上設打面からの粗い石核調整剥離・頭部調整を伴う打面の大きい石刃剥離(段階2)が行われる。正面作業面にヒンジによる段差が生じた時点で、下設打面が作出され(段階3)、下設打面から剥離が行われるが、石刃は剥離できず、打面転移によって再び上設打面から頭部調整を伴う打面の小さい石刃が剥離される(段階4)。

剥離される石刃の長さは段階2が11cm程度、段階4が9cm程度で、段階4の石刃が主に欠落している。

分布 Sb-93のO30、P27・28・30、Q26・27区に分布する。分布は①P27・28、Q26・27区、②O30区に分けられ、①には段階1・段階2の一部(剥離の連続したものではない)・石刃核が非常に散漫に分布し、②にはそれ以外の遺物が高密度に分布する。

母岩別資料755・接合資料3420(図Ⅲ-356・357、図版243-2)

母岩別資料は接合3420の他、接合3421・3422で構成され、総点数59点、総重量1,099.7gである。

素材 54点(41個体)が接合し、重量は1,081.6g、大きさは14×11×10cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として上面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 上面から右側面への剥離(段階1)後、正面から上面への剥離(段階2)によって打面が

作出され、上設打面から頭部調整の無い粗い石核調整が行われる(段階3)。その後、頭部調整を伴って打面の小さい石刃が剥離される(段階4)。

剥離される石刃は長さ8cm程度で、大部分が欠落し、搬出される。

本接合資料では彫器1点(125)、舟底形石器1点(個体A)が製作される。彫器Ⅱ類の125は段階4の石刃素材(素材大きさ不明)で、背面両側縁に斜角の、腹面基部にバルブを除去する平坦な加工が行われ、素材先端部に彫刀面が作出される。接合資料の状態から彫刀面側は3cm程度素材端部から短くなっており、全てが彫刀面再生によって長さが減少したとすると10数回再生が繰り返されたことになる。個体Aは段階3の厚手の剥片素材で、甲板面である腹面からのみ加工が行われ、破損品である260が遺棄される。

分布 Sb-93のM31、N30・31、O30、P27・28・30、Q27、R26区に分布する。分布は、①P27・28、Q27、R26区、②O30区周辺に分けられ、①には彫器・石刃核・良形の石刃・大型剥片が非常に散漫に、②にはそれ以外の遺物が高密度に分布する。

母岩別資料773・接合資料3489(図Ⅲ-357・358、図版244)

母岩別資料は接合3489のみである。

素材 47点(27個体)が接合し、重量は2,783.8g、大きさは25×16×7cmである。爪状痕のある原礫面を持つ扁平な転礫素材で、右側面下部に1枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 正面から上面への剥離(段階1)によって打面が作出され、正面で頭部調整を伴わない粗い縦長剥片剥離(段階2)が行われる。次に段階2の剥離面下部から下面への剥離(段階3)、正面から上面への剥離(段階4)、上面から正面への剥離(段階5)が行われ、下面から正面への作業面調整剥離(段階6)後、正面において上設打面から頭部調整を伴って石刃が剥離される(段階7)。最後に、下面から正面へ頭部調整を伴わないやや粗い縦長剥片剥離が行われる(段階8)。

剥離される石刃の長さは10cm程度で、頭部調整を伴うものは少ない。

段階1の厚手の打面作出剥片である個体A(図版244-503)は、正面から下面への剥離(個体A段階1)で作出された下設打面から、正面で縦方向の剥離(個体A段階2)が行われた後、正面から上面への剥離(個体A段階3)によって作出された上設打面から、正面で縦方向の剥離が行われる(個体A段階4)。

分布 Sb-93のO29、P27・28、Q26・27、R26区に分布する。分布は大きく①P27・28区周辺、②Q・R26区に分けられるが、それらに個体・段階・内容による違いが見られない。

母岩別資料929・接合資料4050(図Ⅲ-359、図版245-1)

母岩別資料は接合4050の他、縦長剥片1点、剥片4点で構成され、総点数68点、総重量1,008.2gである。

素材 63点(54個体)が接合し、重量は993.8g、大きさは18×11×8cmである。風化した平坦な原礫面を持ち、角の潰れた垂角礫を素材として、上面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 上設の単剥離打面から頭部調整を伴わない打面の大きい剥離(段階1)の後、下設打面が作出され(段階2)、下設打面から頭部調整を伴う打面の小さい石刃剥離(段階3)が、上設打面からの頭部調整を伴う石刃剥離(段階4)と打面を転移させながら交互に行われる。石刃核が7cmに小型化した時点で、下面から裏面への最終剥離(段階5)によって、石刃核は2分割される。

石刃の形状は、段階3・4の前半では側面形が直線的で長さは10~13cm程度、後半(290など)では先端部に反りがあり7~10cm程度で、両者共に欠落し、搬出されている。

本接合資料では舟底形石器1点(個体B)が製作される。個体Bは段階2の厚手の打面作出剥片で、

加工は、最初、甲板面である腹面から両側面に行われ、断面が三角形に変化する段階で下縁から行われ、その後甲板面から行われる。後半の加工には、前半にはなかった縁辺部調整が見られ、断面三角形に近づく後半には甲板面の縁辺を滑らかにしながら加工が進行したと思われる。個体Aは段階1の厚手の剥片で1回の粗い加工により中央で折損している。

分布 Sb-93のO29、P27-29、Q27区に分布する。分布はQ27区を中心としてO29区まで伸びるが、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料726・接合資料3283 (図Ⅲ-360、図版245-2)

母岩別資料は接合3283の他、接合3284、剥片5点で構成され、総点数42点、総重量633.3gである。

素材 31点(22個体)が接合し、重量は540.4g、大きさは15×12×10cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として、粗い剥離のある状態で搬入される。

剥離工程 上設の単剥離打面から正面への剥離(段階1)、正面から下面への剥離(段階2)後、途中で正面から下面への剥離(段階5)を挟みながら、下設打面から(段階3)、上設打面から(段階4)、下設打面から(段階6)、上設打面から(段階7)、下設打面から(段階8)と頻りに上下に打面を転移させて頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。幅広剥片の剥離によって作業面に直線的な稜線が無くなった時点で、作業面を下面に転移させ、右側面を打面として石刃が剥離される(段階9)。

段階3～8の石刃は長さ10cm程度で、両設打面のため側面形が直線的で、段階9の石刃は、長さは段階3～8と同様であるが単設打面のため先端に反りが残る。

本接合資料では影器2点(103・128)、削器1点(221)が製作される。

影器I類の103は長さ9.3cm幅2.1cmの先端部にやや反りのある石刃素材で、背面両側縁に加工が施され、素材先端側に影刀面が作出される。素材先端部から影刀面の距離は4.4cmあり、全て影刀面再生によるものだとすると20数回の再生が行われたことになる。

影器II類の128は素材の大きさは不明で、素材先端側に影刀面が作出される。側縁調整は背面両側縁、腹面基部に施され、腹面加工によって素材のバルブが除去されている。素材形状は不明であるが、接合状況から判断すると素材から3cm程度は短くなり、影刀面再生が頻繁に行われたと思われる。

削器221は右側縁の背面に粗い剥離が、左側縁の打面側の背面・先端側の腹面に加工が施される。

分布 Sb-93のM29、N29・30、O28・29、P28、Sb-95のL27、O27・28、P26区に分布する。広範囲に散漫に分布し、影器2点がO29区に近接して分布するものの、その他の段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料798・接合資料3543 (図Ⅲ-361、図版246-1)

母岩別資料は接合3543の他、接合3544、剥片1点で構成され、総点数45点、総重量434.5gである。

素材 41点(29個体)が接合し、重量は427.0g、大きさは16×6×6cmである。一部平滑な原礫面を持ち、角が円く潰れた転礫を素材として原石の状態で搬入される。

剥離工程 細長い原石を縦割りする上端部からの剥離(段階1)後、下端部に生じた平坦面を打面として正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる(段階2)。

段階2の石刃剥離では、最初からウートラバッセによって石刃核高が減少し、7～11cmの石刃が剥離されるが、良好な石刃はほとんど無く、その大部分が遺棄されている。

個体Aは段階1で剥離された剥片で、そのウートラバッセの先端部破片を利用して頭部調整のある小型(5cm程度)の石刃が剥離される。個体Bは段階2で剥離された厚手の縦長剥片素材で末端部の反りを除去する加工が行われる。

分布 Sb-93のN29、O28・29、P27・28、Sb-95のO27・28区の比較的広い範囲に散漫に分布し、

個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料864・接合資料3813 (図Ⅲ-361・362、図版246-2)

母岩別資料は接合3813の他、接合3814、剥片2点で構成され、総点数27点、総重量354.0gである。

素材 23点(17個体)が接合し、重量は337.1g、大きさは $9 \times 8 \times 8$ cmである。やや風化した平坦な原礫面を持つ角礫を素材として、下面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 上面から正面への剥離(段階1)→下面から正面への剥離(段階2)→上面から正面への剥離(段階3)→下面から左側面への剥離(段階4)と打面を上下に移動させながら剥離が進行する。全体を通して明確な頭部調整は見られない。

本接合資料では舟底形石器1点(個体A)が製作される。個体Aは段階1で剥離された厚手の剥片で、甲板面である腹面からのみ加工が行われる。最終的に、本体は欠落し、搬出される。

分布 Sb-93のP28・29、Q27区に散漫に分布する。個体AはP28・Q27区、個体A以外はP28区北東部・P29区に分布し、それらは一部重複しながらも分布の中心は異なる。

母岩別資料889・接合資料3898 (図Ⅲ-362、図版246-3)

母岩別資料は接合3898の他、接合3899、剥片11点で構成され、総点数40点、総重量327.3gである。

素材 25点(23個体)が接合し、重量は257.9g、大きさは $9 \times 8 \times 5$ cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、原石ないし原石に近い形状で搬入される。

剥離工程 裏面から上面への剥離面を打面として、正面で厚手の剥片が剥離される(段階1)。

本母岩では削器1点(個体A)、舟底形石器1点(個体B)が製作される。個体Aは段階1で剥離された厚手の剥片素材で、左側縁への連続的な加工の後、背面の稜から右への加工で厚さを減少させ、再度、左側縁に加工が行われる。加工は舟底形石器に類似して粗い。個体Bは石核素材で、小口面での剥離である段階1と異なり、側面で剥離が行われる。加工は、打面を甲板面に設定し、甲板面からのみ施される。個体Aは232が遺棄され、個体Bの本体は欠落する。

分布 Sb-89のR30、S29、Sb-93のP28・29区に分布する。分布は①P28・29区、②R30、S29区に分けられ、①には比較的高密度に個体Aとその直後の剥片が、②には非常に散漫に個体Bとその直前の厚手の縦長剥片が分布する。①には前半、②には後半の遺物が分布し、両者に舟底形石器製作剥片が含まれる。

母岩別資料912・接合資料3990 (図Ⅲ-363、図版247-1)

母岩別資料は接合3990の他、剥片10点で構成され、総点数91点、総重量511.1gである。

素材 81点(65個体)が接合し、重量は494.7g、大きさは $14 \times 9 \times 8$ cmである。転礫を素材として原石の状態でも搬入される。

剥離工程 左側面上部の瘤を取り除く左側面中央から上面への剥離(段階1)後、上面から正面へ剥離が行われ(段階2)、正面から上面への剥離(段階3)によって打面が作出される。下面から右側面への剥離(段階4)後、上面から右側面への剥離(段階5)、上面から正面への剥離が行われる(段階6)。

本接合資料では舟底形石器4点(個体A～D)が製作される。

個体Aは段階1の厚手の剥片、個体Bは段階3の厚手の剥片、個体Cは段階6の厚手の剥片素材で、個体A・Cの加工は甲板面である腹面からのみ行われ、個体Bも同様であるが、最終剥離のみ下縁から行われる。欠損品の一部(262)が遺棄される個体Aを除いて本体は欠落している。

個体Dは石核素材で、最初に頭部調整のある縦長剥片剥離後、下部を裏面からの剥離で除去し、甲板面である石核打面から両側面に加工が行われる。舟底形石器本体は欠落している。

分布 Sb-93のO29、P28・29、Q27・28区に分布する。細長い範囲に比較的高密度に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料914・接合資料3992 (図Ⅲ-363・364、図版247-2)

母岩別資料は接合3992の他、接合3993・3994・61733、剥片6点で構成され、総点数56点、総重量546.4gである。

素材 44点(37個体)が接合し、重量は513.4g、大きさは10×9×8cmである。風化によってややザラついた平坦面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、上面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 上面から正面への粗い剥離(段階1)後、下面から正面への粗い剥離が行われる(段階2)。段階1・2とも厚手の剥片を目的としたもので、打面縁辺から1.5cm程内側に打点がある。

本接合資料では舟底形石器2点(個体A・B)が製作される。個体Aは段階1の厚手の剥片素材で、加工は甲板面である腹面から行われ、本体は欠落する。個体Bは石核素材で、作業面の大型剥離面を甲板面に設定し、甲板面から両側面に加工が行われる。加工は、最初は打面厚が1cm程度の非常に粗いものであるが、最後は4mm以下の比較的細かいものに変化している。また、加工の途中で261を欠損し、再加工が行われる。本体は欠落し、搬出される。

分布 Sb-93のN29、P28・29、Q27・28区を中心とした高密度の分布で、N29区の剥片は個体Aの調整剥片である。

母岩別資料883・接合資料3875 (図Ⅲ-364・365、図版248-1)

母岩別資料は接合3875の他、剥片2点で構成され、総点数31点、総重量357.1gである。

素材 29点(24個体)が接合し、重量は352.9g、大きさは13×8×5cmである。風化によりややザラついた平坦面を持ち、角の潰れた亜角礫を素材として、正面右に1枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 厚手の剥片を目的とした上面から左側面への粗い剥離(段階1)後、下面から裏面右側面寄りに剥離が行われる(段階2)。再度、厚手の剥片を目的とする上面から右側面へ剥離(段階3)が行われ、正面から上面へ同様の剥離が行われる(段階4)。打面転移を繰り返して厚手の剥片が剥離されている。

本接合資料では舟底形石器3点(個体A～C)が製作される。個体A・Cはそれぞれ段階1・4の厚手の剥片素材で、甲板面である腹面からの剥離で加工され、本体は欠落する。個体Bは段階3の厚手の剥片素材で、甲板面である腹面からの剥離で加工され、折損して本体252が遺棄される。

分布 Sb-93のO27・28、P27区に分布する。P27区を中心とした非常に高密度な分布である。

母岩別資料813・接合資料3610 (図Ⅲ-365、図版248-2)

母岩別資料は接合3610の他、剥片1点で構成され、総点数40点、総重量1,452.7gである。

素材 39点(28個体)が接合し、重量は1448.6g、大きさは18×13×9cmである。一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫を素材として、おそらく原石の形状で搬入される。

剥離工程 本接合資料は厚手の大型剥片を素材として舟底形石器が製作された個体である。

甲板面から左側面(段階1)・右側面(段階2)への粗い剥離が行われ、断面形が三角形になった時点で下縁から左側面への剥離(段階3)が行われる。その後、再度、甲板面から左側面(段階4)・右側面(段階5)への加工が行われる。本体の空隙部は長さ15cm、幅3cm、高さ4cm程度で、大型の舟底形石器Ⅱb類が搬出されている。

分布 Sb-95のL27・28、M27・28区に、比較的高密度に分布する。

母岩別資料939・接合資料4078 (図Ⅲ-366、図版249)

母岩別資料は接合4078の他、接合4079～4086・56849～56857、縦長剥片7点、二次加工ある剥片1点、剥片329点で構成され、総点数655点、総重量5,170.7gである。

素材 276点(158個体)が接合し、重量は4,148.4g、大きさは28×20×19cmである。一部平滑な面を持ち、角が潰れて円くなった転蹠を素材として、原石の状態でも搬入される。

剥離工程 接合資料全体の写真は図版249～505で、写真のみ掲載している。

右側面と交互に、右側面から裏面上部への剥離(段階1)、裏面から右側面への剥離(段階2)、右側面から裏面への剥離(段階3)が行われた後、上面の打面調整(段階5)を伴って縦長剥片が剥離される(段階4)。その後、正面下部調整(段階6)、右側面から裏面への剥離(段階7)、下面から裏面への剥離(段階8)、左側面から正面への剥離(段階9)、左側面から裏面への剥離(段階10)、下面から裏面への剥離(段階11)、下面から正面への剥離(段階12)によって石核調整が行われ、上面の打面調整(段階14)を伴う正面での縦長剥片剥離(段階13)、正面下部調整(段階15)が行われる。

最初に粗い横方向の剥離によって整形された後、正面で打面調整を伴う縦長剥片剥離が行われ、再度横方向の剥離の後に、打面調整を伴う縦長剥片剥離が行われる。一連の横方向の剥離によって石核は扁平に変化している。

本接合資料では剥片素材の尖頭器5点(個体A～C)が製作されている。個体A・Bは段階2、個体C～Eは段階3の剥片素材で、長さ13～20cmで厚みのある素材が利用される。加工は最初から粗くなく、打面が小さく平坦で奥行きのある加工が行われ、最終的には比較的薄い尖頭器に整形されている。図示していないが、個体Eの途中の平面形態は菱形に近い。図示した個体C(405)は右側面上部を除いて菱形に近い形状に加工され、左側縁上部に削片状の剥離(個体C段階4)後、裏面から上端部への粗い剥離によって上部を欠損している。

分布 Sb-93のM29・30、N29、Sb-95のL27・28、M26～29、N26～29、O25～27、P26区に分布する。分布はN27・28、O26・27、P26区を中心に高密度であるが、周辺地域にも広がる。特にM27、N26区は集中域の斜面方向とは異なる広がり、個体Bの前半部が多い特徴がある。また、個体Cの尖頭器本体(図版249-413)はやや外れてN26、O25区に分布し、それを除くと個体・段階による偏りは見られない。

接合資料5744 (図Ⅲ-366、図版250-1)

素材 7点(5個体)が接合し、重量は88.4g、大きさは16×6×1.4cmである。原石形状は不明、薄手の尖頭器で搬入される。

剥離工程 本体の尖頭器の正面中央には左右からの加工が中央の稜線を越えられないために生じた瘤が残る。その瘤を除去する右側縁からの加工の際に尖頭器が折損し、個体A・Bに分割される。上部破片である個体Aは折れ面から左側縁での削片剥離(段階1)後、その剥離面を打面として右側縁で削片が剥離される(段階2)。個体Bは折れ面から右側縁への削片剥離後、左側縁で折れ面からの削片剥離(下端まで抜かず打点近くで階段状になる)、下端からの削片剥離が行われる。個体A・Bとも一方の側縁で折れ面からの削片剥離後、その剥離面を打面としてもう一方の側縁で削片が剥離されているが、各側縁での削片剥離は1回のみで、その頻度は少ない。

分布 Sb-93のO28、P28・29、Q27・28区に分布し、個体A・Bとも散漫な分布である。

母岩別資料729・接合資料3294・3295 (図Ⅲ-367、図版250-2・3)

母岩別資料は接合3294・3295の他、接合3292・3293・3296～3308・56670～56677、縦長剥片3点、石刃1点、剥片77点で構成され、総点数198点、総重量2,956.3gである。

素材 接合3294は9点(6個体)が接合し、重量は182.1g、接合3294に含まれる個体Aの大きさは9.6×7.5×2.5cmである。接合3295は12点(8個体)が接合し、重量は143.8g、接合3295に含まれる個体Aの大きさは6.3×5.7×1.6cmである。爪状痕のある転礫を素材として、おそらく原石の形状で搬入されている。

剥離工程 本母岩は接合状況が良好ではないが、接合資料・非接合剥片から判断すると明瞭な石刃剥離は行われず、両面調整に近い剥離が行われたと推測される。

接合3294は厚手の剥片素材で背面両側縁に加工が行われた後、素材末端部で縦長剥片が剥離され(段階1)、打面再生(段階2)後、縦長剥片剥離が行われる(段階3)。

接合3295は正面に稜形成剥離が残る、縦折れした幅広剥片素材で、剥片の末端部である上部に作出されたノッチ状の打面から右側縁で削片が剥離される。

分布 接合3294はSb-95のL27、M27・29、N27に、接合3295はSb-93のO28、Q27、Sb-95のN26-28、O27に分布し、両者の分布域は異なる。接合3294の個体Aは散漫な分布で、接合3295は最初の剥片がN26・27区に、それ以降の剥片はN28、O27区にまとまって分布し、個体AはO28、Q27区に散漫に分布する。

接合資料5749 (図Ⅲ-367、図版250-4)

素材 3点(3個体)が接合し、重量は21.7g、大きさは6.6×3.6×1.0cmである。原石形状・搬入形態は不明である。

剥離工程 反りのある剥片を素材として、側縁調整が背面両側縁に施された後、素材打面側の端部背面にノッチ状に作出された打面から左側縁に沿って削片が剥離される(段階1)。次に、下端部両面に加工が施され、左側縁下部のノッチ状の加工から下端部に腹面側に傾く削片剥離が行われた後、下端から右側縁に削片剥離が行われる(段階2)。

分布 Sb-95のJ29、L28区に分布し、削片はL28区に、彫器はやや離れてJ29区に分布する。

母岩別資料734・接合資料3324・3326 (図Ⅲ-368、図版250-5・6)

母岩別資料は接合3324・3326の他、接合3325、剥片7点で構成され、総点数28点、総重量1,129.7gである。

素材 接合3324は14点(9個体)が接合し、重量は710.8g、接合3324に含まれる個体Bの大きさは6.1×5.4×1.9cmである。接合3326は2点(2個体)が接合し、重量は42.0g、大きさは7.3×4.3×1.5cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、原石ないし原石に近い形状で搬入されている。

剥離工程 本母岩は、原石段階で石核調整を行わずに単剥離打面から簡単な頭部調整を伴って粗い石刃が剥離される。接合3324は粗い石刃剥離の接合資料で、縦長剥片2点(個体A・B)が加工される。個体Aは非掲載であるが、先端部が2度の粗い加工で尖頭状に整形される。個体Bは打面部・中央部・先端部に3分割された後、中央部の四角形の破片が利用される。削片剥離は、四辺で頻りに打面・作業面を入れ替えて行われ、①下縁から右側縁に行われた後、下縁・左側縁では、②右側縁から下縁→③左側縁から下縁(158)→④下縁から左側縁→⑤上縁から左側縁、の順に、右側縁・上縁では、⑥上縁から右側縁→⑦右側縁から上縁、の順に行われ、⑤上縁から左側縁の剥離は⑦右側縁から上縁の剥離に切られる。

接合3326は末端部がヒンジの幅広剥片で、背面から打面部への粗い加工後、素材打面側である左肩で削片(図版250-6-418)が剥離される。さらにその剥離面を打面として剥片の先端側である右側縁で削片が剥離されている。最初の削片剥離後、彫器の左側縁が加工される。

分布 Sb-95のJ26、L25、M26、N27・28、O26・27、P25、Q24区に分布する。全体に散漫な分布であるが、大きく①J26、L25区、②N27・28、O26・27、P25、Q24区に分けられ、彫器類は②に分布する。

母岩別資料944・接合資料4093 (図Ⅲ-368、図版250-7)

母岩別資料は接合4093の他、接合56862、削片1点、剥片2点で構成され、総点数9点、総重量26.3gである。

素材 4点(4個体)が接合し、重量は17.1g、大きさは5.3×2.5×1.8cmである。原石形状は不明、安山岩製で、剥片で搬入される。

剥離工程 角柱状の素材の上端部から左側縁での削片剥離後、その剥離面を打面として右側縁で削片が剥離される(段階1)。中央で折損(段階2)後、下部破片は折れ面から右側面への剥離、正面から右側面への剥離(段階3)が行われる。

分布 全て一括遺物でSb-95のL27区に分布する。

写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料785・接合資料3506 (図版251・252-1) は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた黒曜石2(なし肌)の亜角礫を素材として、長さ26cmの原石の形状で搬入される。両面への、縁辺部調整のない打面の大きい粗い加工(一部縦方向の剥離を含む)の後、打面の小さい中央の稜線を越える平坦剥離が行われ、最後は側縁からの加工で本体が折損し、遺棄される。本体である尖頭器Ⅲ類の7に作出される基部は、最終段階に作出されたものではなく、平坦剥離段階の当初より形成される。最初の粗加工段階で剥離された厚手の剥片(個体A)は、複剥離打面から背面側で剥離が行われ、石核329が残される。分布はSb-95の①J30区周辺、②M27区周辺、③O28区周辺に分けられ、①には個体Aとその周辺の剥片が、②には粗加工段階のより大型の剥片と平坦剥離段階の後半と尖頭器本体が、③にはそれ以外の剥片が分布する。整理すると、粗加工と平坦剥離の前半が③に、それから抜き出された大型剥片が①②に分布し、①では剥片を素材とした剥離が行われる。また、平坦剥離の後半段階は②に分布する。

母岩別資料1054・接合資料4387 (図版252-2) は、平坦な面が残り、角の潰れた茶色の混じる黒曜石2(なし肌)の亜角礫を素材として、長さ25cm程度の粗割りされた状態で搬入される。平坦な裏面からやや粗い剥離により整形された後、打面の小さい平坦剥離が行われ、長さ20cm程度の尖頭器で搬出される。また、初期の段階で剥離された厚手の剥片は尖頭器Ⅲ類の20に加工されるが、加工は素材打面側には舌部の作出が、先端側には素材先端部の反りの除去が行われる。その工程は、両面調整によって徐々に器体の整形が行われ、最後に舌部が作出されるものではなく、舌部と先端部の加工がそれぞれ独立して行われる。分布はSb-93と96に分けられ、Sb-96には前半のやや粗い剥離段階が、Sb-93には後半の平坦剥離段階が分布し、尖頭器20はその剥離が帰属する段階と同じくSb-96に分布する。

母岩別資料754・接合資料3418・3417 (図版253・254) は、石核素材の尖頭器調整剥片の接合資料で表裏の関係にあたる。平滑な原礫面を持ち、角の潰れた亜角礫素材で、長さ36cmの右側縁が粗割りされた状態で搬入される。最初から縁辺近くを打撃する平坦加工が行われ、断面形は凸レンズ状である。同様な加工が継続し、33cmの比較的薄い尖頭器が搬出される。図版253-19は尖頭器Ⅲ類の折損品で、接合3418の右側縁からの剥離で得られた幅広の剥片を素材として、基部の左側縁が内湾するように、右側縁が直線的に、それぞれ背面・腹面に錯向状の加工が行われる。Sb-95南半部に分

布し、長径20mの広い範囲に散漫に分布する。

母岩別資料796・接合資料3531 (図版255) は、原石形状は不明で、両面とも粗い平坦剥離によって加工された長さ27cm程度の尖頭器で搬入される。遺跡内では当初より縁辺部を打撃する打面の小さい平坦剥離が裏面を中心に行われるが、裏面は平坦であるため剥離が波打ち、器面に凹凸が見られる。後半は正面で加工が行われ、正面上部での右側縁からの加工によって上部の欠損が起こるが、両者とも尖頭器の調整が継続され、上部破片・下部破片はそれぞれ15・20cm程度の尖頭器として搬出される。分布は①Sb-93 (M26区周辺) ②Sb-95 (P28区周辺) に分けられ、①には前半の一部と後半部分が、②には一部を除く前半部分が分布する。

母岩別資料861・接合資料3807 (図版256-1) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、正面側が凸状の長さ28cmの大型尖頭器で搬入される。両面で左右から打面の小さい平坦剥離が行われるが、右側縁上部に残る原礫面を除去できずに中央で折損し、遺棄されている。Sb-90・92・93・95の広い範囲に散漫に分布し、段階による明瞭な偏りは見られない。

母岩別資料812・接合資料3600 (図版256-2) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、原礫面を持つ同一母岩資料が多く含まれることから長さ30cm弱の原石ないし原石に近い状態で搬入される。両面へ左右からの加工によって、徐々に形態が整えられ、最後に左側面から正面への加工で折損し、本体は遺棄される。Sb-95北東部 (L29区周辺) に分布し、その密度は高い。

母岩別資料853・接合資料3763 (図版257上) は、原石形状は不明で、長さ21cmの両面調整の尖頭器で搬入される。主に正面下半部で加工が行われるが、反対側縁を取り込む剥離によって大きく下端部を欠損し、遺棄される。Sb-93 (P28・29区) にやや高密度にまとまって分布し、尖頭器の上端部のみQ27区に分布する。

母岩別資料787・接合資料3513 (図版257下) は、風化によりややザラついた平坦な原礫面を持ち、角が少し潰れた黒曜石2 (なし肌) の垂角礫を素材として長さ28cmの原石で搬入される。正面での粗い剥離で厚みを減少させた後、平坦剥離が行われ、本体は20cm程度の尖頭器で搬出される。Sb-93の長径22mの範囲に帯状に分布するが、段階による偏りは見られない。また、分布の主体を占めるP28区は高密度である。

母岩別資料811・接合資料3596 (図版258) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ30cmの原石で搬入される。原礫面を打面とした左側面から裏面への剥離の後、その面を打面として正面で加工が行われる。その後、表面が滑らかに凸レンズ状に変化すると縁辺部調整を伴う打面の小さい加工が行われ、本体は25cm程度の尖頭器で搬出される。ほとんどがSb-95のL28・29区に、高密度に分布し、その他の遺物もその周辺に分布する。

母岩別資料907・接合資料3969 (図版259) は、風化によりザラついた平坦面を持ち、角がやや潰れた垂角礫を素材として、正面形が卵形に近い長さ26cmの原石で搬入される。左側面から裏面の上下を中心に表面がなだらかになるように瘤を除去するような粗い加工が行われた後、正面左・上方からの剥離、裏面右からの剥離によって概ね原型が作られる。その後は両側縁から両面への打面の小さい平坦剥離による加工が行われ、器面が滑らかに変化している。本体は、22cm程度の尖頭器で搬出される。Sb-93の長径14mの範囲に帯状に分布するが、段階による偏りは見られない。また、分布の主体を占めるP28区は高密度である。

母岩別資料941・接合資料4088 (図版260上) は、爪状痕のある原礫面を持つ角礫素材で、30cmを超える原石ないし原石に近い形状で搬入される。正面左右からの粗い剥離の後、上端が折損する。その後、中央の稜を越える打面の小さい幅広の平坦剥離が行われ、長さ20cm程度の尖頭器で搬出され

る。後半の尖頭器調整剥片素材の削器422は、背面縁辺に細かい加工が施される。Sb-93の長径17mの範囲に帯状に分布するが、分布の濃淡は明瞭ではなく、段階による偏りも見られない。

母岩別資料681・接合資料3152(図版260下)は、一部平坦面が残り、角が丸くなった厚みのある転礫素材で、長さ23cmの原石ないし原石に近い形状で搬入される。最初は、右側面から正面・裏面への交互剥離、上面・正面から左側面への剥離によって、左側面・正面・裏面の3面で構成される断面三角形の形状になる。その後、それらの角から横方向の剥離を行いながら、長軸方向の剥離によって厚みを減少させ、扁平な形状に変化した段階で、縁辺部調整のある打面の小さい横方向の剥離が行われ、それによって尖頭器の表面は滑らかに整形され、最終的に15cm程度の尖頭器で搬出される。本接合資料には、図示していないが、背面が原礫面で覆われた初期の剥片を素材とした彫器Ⅲ類が接合している。厚手の剥片の折れ面を打面として側縁で削片剥離が行われるが、最後の削片剥離の際には腹面から折れ面へ急角度の彫刀面打面が作出される。また、最終の削片剥離後、削片剥離面から背面に連続した加工が施される。分布は、Sb-93のL30区を中心に高密度に分布し、隣接するSb-90にも広がるが、それらは一つのまとまりとして認められ、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料940・接合資料4087(図版261)は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ21cmの原石の状態での搬入される。横方向の比較的粗い加工の後、横方向の剥離と同様に、縦方向の剥離が行われ、厚みを減少させた後、横方向の平坦剥離によって整形される。本体は11cm程度の小型の両面調整体で搬出される。本接合資料では、縦方向の剥離ないしその段階の縦長剥片・剥片を素材として、両面調整石器1点、彫器1点が製作される。両面調整石器(76)は本体の下端部を取り込んだ縦長剥片素材で反りのある先端部の主に腹面に加工が施される。彫器はⅢ類で、図示していないが、厚手の剥片を素材として縁辺に加工が見られ、中央から放射状の折損後、折れ面から削片剥離、さらに急角度の腹面加工により尖頭状に整形されている。1点を除きSb-95の長径18mの範囲に帯状に散漫に分布するが、段階による偏りは見られない。1点は彫器削片で、それらから8m離れて分布する。

母岩別資料938・接合資料4077(図版262-1)は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ23cmの原石の状態での搬入される。縦方向の剥離を含む粗い加工の後に、横方向の打面の小さい平坦剥離が行われ、17cm程度の尖頭器で搬出される。分布はSb-95のL・M27区を中心にまとまり、段階による偏りは見られない。

母岩別資料761・接合資料3446(図版262-2)は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ19cmの原石の状態での搬入される。最初に行われた裏面右からの剥離の際に、節理面を境に裏面左側が大きく剥落し、裏面が平坦に変化する。次に、正面で縦方向の剥離を含む粗い加工が主体的に行われ、裏面では縦方向の剥離が行われ、器体が薄くなる。次に、打面の小さい横方向の平坦剥離が行われ、器面がさらに薄く、滑らかに整形され、本体は14cm程度の薄手の尖頭器で搬出される。

本母岩では錐形石器1点が製作され、縦方向に剥離された縦長剥片1点を素材として縦長剥片剥離が行われる。錐形石器は図示していないが、剥片の端部に連続する2回のノッチによってその中間部に突出部が作出される。縦長剥片剥離を行った素材の縦長剥片は、先端部が反って肥厚する形状で、その末端部を打面として側縁で縦長剥片剥離が行われ、途中で打面再生、180度の打面転移が行われる。その石核が485であるが、作業面にヒンジによる段差が生じ、遺棄されている。ほとんどがSb-95の長径25mの広い範囲に帯状に分布し、主体を占めるQ25区周辺は高密度である一方、それ以外は非常に散漫である。分布には段階・個体による明確な偏りは見られない。

母岩別資料768・接合資料3479(図版263上)は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、

長さ25cmの一部粗い加工のある状態で搬入される。裏面で縦方向の剥離を含む少量の剥離と正面を中心とした粗い加工が行われた後、打面の小さい平坦剥離が行われる。本体は途中下部を欠損したためやや短くなり、長さ18cm程度の尖頭器で搬出される。全てSb-95の長径22mの広い範囲に帯状に分布し、P25区周辺にやや集中が見られるが、段階による分布の偏りは見られない。

母岩別資料784・接合資料3502 (図版263下) は、一部平坦面が残り、角が丸くなった黒曜石2 (なし肌) の転礫素材で、長さ18cm程度の粗い剥離の両面調整体で搬入される。打面の大きいやや粗い平坦剥離の後、打面の小さい平坦剥離が行われ、16cm程度の器面が滑らかに変化した尖頭器で搬出される。加工は両面で行われるが、主に断面凸状の正面側での頻度が高い。Sb-93のK30区を中心に高密度に分布し、一部北東方向に広がるが、段階による偏りは見られない。

母岩別資料759・接合資料3435 (図版264-1) は、一部平坦面が残り、角が丸くなった長さ20cmの角柱状の転礫素材で、原石の状態で搬入される。最初は正面から上下端部への剥離で作出された打面から正面で縦長剥片が剥離される。次にその剥離面を打面として左右側面で上下を中心とした粗い加工が行われ、尖頭器の原形が製作される。さらに、打面の小さい左右からの平坦剥離によって薄く仕上げられるが、その段階で先端部(27)が欠損している。本体下部は出土しておらず、搬出された可能性がある。Sb-93の長径19mの広い範囲に帯状に分布し、P28区周辺は高密度、それ以外は散漫な分布である。段階による分布の偏りは見られない。

母岩別資料707・接合資料3236 (図版264-2) は、一部平坦面が残り、角が丸くなった長さ14cm程度の黒曜石2 (なし肌) の転礫素材で原石の状態で搬入される。裏面を中心とした原礫面打面からの粗い加工後、やや粗い加工が両面で行われ、打面の小さい平坦剥離は、最終段階のみ見られる。本体は、9cm程度の小型の尖頭器で搬出される。Sb-93のM29・30、N29区にやや高密度に分布し、北東方向に散漫に広がるが、段階による分布の偏りは見られない。

母岩別資料935・接合資料4064 (図版265) は、一部平坦面が残り、角が丸くなった長さ26cm程度の転礫素材で、右側面に裏面からの粗い剥離面があり、正面・裏面・右側面で構成される断面三角形の状態で搬入される。前半は、主に頭部調整・打面調整を伴う縦方向の剥離が、左側縁上部から正面と裏面で交互に行われ、器体が薄くなっている。その後、正面右側で上下から頭部調整を伴う縦方向の剥離が行われる。本体は長さ17cm程度の両面調整体で搬出される。横方向の剥離が少ないが、推定される石核が正面・裏面の2面で構成されることから尖頭器製作を目的としていたと思われる。本接合資料では縦方向で剥離された厚手の剥片2点が削器(229・230)に加工される。229は折損した縦長剥片素材で、折損後、左側縁の折れ面付近を斜めに裁ち切るように粗い平坦剥離が行われ、230は先端が尖る幅広い斜軸の剥片素材で、左側縁に粗い平坦加工が施される。Sb-93の長径28mの広い範囲に帯状に分布し、P28区周辺がやや多いものの分布の濃淡は明瞭ではなく、段階による偏りも見られない。また、削器230のみやや離れたK30区に分布する。

母岩別資料932・接合資料4055 (図版266) は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ25cm程度の原石ないしそれに近い状態で搬入される。前半では主に上部から正面・裏面に、一部下部から左右側面に交互剥離が行われ、厚みが減少する。この段階では一部頭部調整・打面調整が見られ、縦長剥片も剥離される。最後には上下左右から多方向の剥離が行われる。剥離目的・目的剥片等は不明である。分布の集中域は①O27区周辺と②M27区周辺の2か所あり、②の北東部の広い範囲にも散漫な分布が見られる。前半の遺物は②に、前半の一部(これらに剥離の連続性はない)、後半の多方向の剥離による遺物は①に分布する。

母岩別資料797・接合資料3540 (図版267) は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ30cm

の原石の状態で搬入される。両側面、上部両面での石核調整後、右側面から上部への剥離で石核は二分される。下部の石核は上面・裏面・左側面の石核調整後、上設打面から打面調整を伴って縦長剥片が剥離され、最後は正面・裏面で多方向の剥離によって、15cm程度の尖頭器に加工され、搬出される。上部の破片は両面で粗い加工の後、打面の小さい平坦剥離が行われ、15cm程度の表面が滑らかな尖頭器で搬出される。全体では、Sb-95のI30区からL27区にかけて連続した分布であるが、上部破片素材の調整剥片とそれ以外では約半分は重複するものの1グリッド分程度ずれて分布する。

母岩別資料665・接合資料3110(図版268-1)は、爪状痕のある原礫面を持つ角礫素材で、長さ22cmの粗い剥離が行われた状態で搬入される。粗い剥離の後、縁部調整のあるやや大きい打面の平坦剥離が行われ、最後は縁部調整のある小さい打面の平坦剥離の加工により、尖頭器本体の表面は滑らかに整形される。加工は主に、正面側で行われる。本体は欠落し、20cm程度の尖頭器で搬出される。全てSb-91のI34区に高密度に分布し、一つの集中域を形成している。

母岩別資料925・接合資料4042(図版268-2)は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ19cm、下面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。正面から上面への剥離で作出された打面から正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される。石刃剥離の途中、作業面下部の稜調整が行われ、石刃剥離は末端部形状がヒンジになる石刃が連続して剥離され、作業面に段差が生じた段階で終了する。石刃は10cm程度のものが剥離され、後半の石刃が欠落し、搬出される。また、厚手の打面作出剥片を素材として舟底形石器が製作される。加工は主に甲板面である腹面から行われ、最後に下縁から加工が施される。P29区周辺に比較的高密度に分布し、段階・個体による分布の偏りは見られない。

母岩別資料916・接合資料4001(図版269上)は、平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた角礫素材で、長さ18cm程度の原石の状態で搬入される。正面から上面への厚手の剥片剥離によって作出された上設打面から頭部調整を伴って石刃が剥離される。石刃は9cm程度のものが剥離され、ほとんどが欠落し、搬出されている。また、打面作出剥片を素材として、2点の舟底形石器が製作され、両者とも甲板面である素材腹面からのみ加工が行われ、搬出される。P28区周辺にまとまって分布し、舟底形石器調整剥片はやや散漫に、それ以外は高密度に分布する。

母岩別資料924・接合資料4039(図版269下)は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、14cm以上の原石ないし原石に近い形状で搬入される。中央で2個体に分割された後、一つはその分割面を打面として、もう一つは上面に作出された単剥離打面から、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。両者とも7~9cm程度の石刃が剥離され、その多くは欠落し、搬出される。また、厚手の打面作出剥片を素材として、舟底形石器が製作される。加工は甲板面である腹面からのみ、片側面での連続した加工を単位として左側面、右側面、左側面の順で行われ、順調に進行する。本体は欠落し、搬出される。全てP28区の狭い範囲に、非常に高密度に分布している。

母岩別資料818・接合資料3624(図版270-1)は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ20cmの原石の状態で搬入される。正面から上面への剥離で作出された打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われた後、左側面・下面・裏面で粗い剥離が行われる。その後、下面を打面として裏面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。7~9cmの石刃が剥離され、そのほとんどが欠落し、搬出される。本接合資料では打面作出剥片や厚手の石核調整剥片を素材として舟底形石器5点が製作される。加工は全て甲板面である腹面から行われ、欠損した2点(439と非掲載の二次加工ある剥片1点)を除いて本体は欠落し、搬出される。Sb-95のL26区周辺にまとまって分布し、段階・個体による分布の偏りは見られない。

母岩別資料799・接合資料3545(図版270-2)は、風化によりややザラついた平坦面を持ち、角が

潰れた垂角礫を素材として、長さ13cmの原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面から上面への剥離による上設打面作出後、正面で下面から剥離が行われ、その後、上設打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は7~10cmで、中間段階で剥離されたものが欠落し、搬出される。また、上設打面作出剥片を素材として甲板面である腹面からのみの加工で舟底形石器が製作され、搬出される。分布はSb-89 (R30区)とSb-93 (O30区周辺)に分けられ、Sb-93には前半~後半途中までの剥片・石刃が、Sb-89には最終段階の石刃・石刃核が分布していることから最終段階でSb-89に持ち込まれたと思われる。

母岩別資料824・接合資料3646 (図版271-1) は、風化によりザラついた平坦面を持ち、角がやや潰れた角礫を素材として、長さ14cm程度の原石の状態でも搬入される。裏面で上下から粗い剥離が行われた後、正面から上面への剥離で上設打面が作出され、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される。その後、左側面から裏面への粗い剥離の後、その剥離面を打面として(石刃核裏面を甲板面として)石刃核両側面で加工が行われ、舟底形石器に整形されるが、本体である251は遺棄される。舟底形石器は石核素材以外に3点製作され、各段階の厚手の剥片が利用される。それらは甲板面である腹面から加工が行われ、本体は欠落し、搬出されている。剥離される石刃は7~10cmで、一部は欠落している。先端部に反りのある石刃素材の削器213は両側縁に細かい加工が施される。Sb-93の21×9mの広い範囲に散漫に分布し、舟底形石器調整剥片はO30区周辺に分布する傾向があるが、その他の遺物はO30区以外に多く、より散漫に分布する。

母岩別資料870・接合資料3835 (図版271-2) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ14cmの上面に粗い剥離のある状態で搬入される。左側面からの剥離で作出された上設打面から正面で頭部調整を伴って石刃が剥離され、その後、打面転移が行われ、左側面から作出された下設打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は7~10cmで、最終段階を除く石刃が欠落している。全てP28区周辺に分布する。

母岩別資料835・接合資料3676 (図版272-1) は、平滑な原礫面を持つ扁平な角礫素材で、18cm程度の原石ないし原石に近い形状で搬入される。最初は、小口面である正面で打面再生を繰り返しながら石刃が剥離される。その後、正面から下面への剥離によって下設打面が作出され、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃の長さは、前半は14cm程度、後半は9cm程度で、両者とも多くが欠落している。本接合資料では舟底形石器2点が製作され、1点は最初に上設打面から剥離された断面三角形の縦長剥片素材で、甲板面である腹面から加工されるが、折損し、本体444は遺棄される。もう1点は下設打面作出剥片素材で甲板面である腹面から加工されるが、同様に本体256は遺棄されている。全てSb-93のP27・28区周辺にやや高密度に分布している。

母岩別資料884・接合資料3876 (図版272-2) は、平滑な原礫面を持つ扁平な角礫素材で、17cm程度の原石ないし原石に近い形状で搬入される。上面から裏面への剥離、上面から正面への剥離の後、裏面から上面への剥離、正面から上面への剥離が行われる。その後、上面から正面への剥離が行われ、裏面を打面として正面下部で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。本接合資料では、上面・左右側面の小口面で剥離された厚手の縦長剥片を素材として舟底形石器3点が製作される。裏面で剥離された個体Aは下縁からの加工を挟みながら主に甲板面である腹面から加工が行われ、正面で剥離された個体Bは甲板面である腹面から加工が行われ、上面で剥離された個体Cは背面を甲板面に設定し、背面から加工が行われる。個体B (257)を除いて本体は欠落している。石刃は長さ9cm程度のものが剥離されるが、その頻度は少ない。Sb-93・95にまたがる20×10mの広い範囲に散漫に分布し、分布差は明確ではないが、個体A~CはO28区周辺に、それ以外はO27区周辺に偏る傾向がある。

母岩別資料900・接合資料3950(図版273-1)は、平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた亜角礫素材で、長さ15cmの上面・裏面に剥離面のある状態で搬入される。裏面から下面への剥離の後、上面から正面へ剥離が行われるが、最初は頭部調整の無い粗い剥離で、途中から頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は8cm程度で、約半分が欠落し、2点(189・180)が挿器に加工されている。189は、先端部に反りがあり、平面形は撥形に先端部が広がる幅広の石刃(長さ6.5cm幅3.2cm)素材で、両側縁に細かい加工が施され、先端部に弧状の刃部が作出される。189自体は長さ4.3cmで、その末端部は素材の反りが始まる変曲点付近に位置する。180は長さ8cm程度の先端部にやや反りのある石刃素材で、両側縁に細かい加工が施され、先端部に弧状の刃部が作出される。180自体は長さ6.6cmで、189と異なり、先端部に反りが残る。挿器の他には、最初に正面・下面で剥離された厚手の剥片を素材として舟底形石器2点が製作され、それらは甲板面である腹面から加工され、本体は欠落している。Sb-93・95にまたがる16×7mの範囲に散漫に分布し、段階・個体による偏りは見られないが、挿器は2点ともO27区に近接して分布する。

母岩別資料825・接合資料3655(図版273-2)は、平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた亜角礫素材で、長さ13cmの原石ないし原石に近い状態で搬入される。下面から裏面への剥離、裏面から下面への剥離後、正面からの剥離で作出された上設打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。石刃剥離の途中では作業面下部調整が見られる。剥離される石刃は長さ10~12cmで、一部欠落している。本母岩では舟底形石器1点(個体A)が製作される。個体Aは、裏面で剥離された厚手の剥片を素材として甲板面である腹面から加工が行われ、本体は欠落し、搬出される。全てSb-93のO30区周辺にまとまって分布する。

母岩別資料869・接合資料3831(図版273-3)は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、搬入形態は不明である。上設の平坦打面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、全体的には直線的で、先端に若干反りのある、長さ11cm程度の石刃が剥離される。挿器190は先端部に反りのある石刃素材で、基部両側縁に細かい加工が施され、先端部に直線的な刃部が作出され、石器本体にも反りが残る。Sb-93の12×3mの範囲に非常に散漫に分布する。

母岩別資料901・接合資料3951(図版274-1)は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ12cmの原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面から右側面下部への剥離の後、正面からの剥離で上設打面が作出され、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は9cm程度で一部欠落する。全てSb-93のP28・29周辺にまとまって分布する。

母岩別資料897・接合資料3934(図版274-2)は、平滑な原礫面を持ち、一部角が潰れた角礫素材で、長さ19cmの原石で搬入される。上部から裏面への厚手の剥片剥離後、その剥離面を打面として正面で剥離が行われ、さらに、上面左側面からの剥離で単剥離打面が作出される。正面から下面への剥離、右側面から正面への剥離後、上設打面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は7cm程度でほとんどが欠落し、搬出される。最初に裏面で剥離された厚手の剥片(個体A)、打面作出剥片(個体B)は、甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に加工され、本体は欠落している。分布はSb-93の①P28区周辺、②O30区周辺に分けられ、①には個体A・Bを含む前半部分が、②には後半部分が分布する。

母岩別資料865・接合資料3815(図版274-3)は、平滑な原礫面を持ち、一部角が潰れた角礫素材で、長さ15cm程度の原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面から裏面への剥離後、左側面から長軸方向の剥離で打面が作出され、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は長さ6~10cmで、そのほとんどが欠落している。打面作出剥片(個体A)は舟底形石器に加工されるが、

加工は主に甲板面である腹面から両側面に行われ、途中及び最終段階で下縁からの加工が見られる。本体は途中、中央で折損するが、兩個体とも再加工が行われ、一方(266)が遺棄され、もう一方は搬出される。分布は主にSb-93のP28区周辺にまとまっているが、やや離れたN30区には舟底形石器266が、O30区には最終段階の石刃と石刃核が分布する。

母岩別資料855・接合資料3768(図版275)は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ18cm程度の原石で搬入される。原石(545)は、縦方向の打撃によって、個体A(546)、個体B(547)に分割される。

個体Aは、右側面から上面への剥離、下面から裏面への剥離、左側面から上面への剥離後、分割面である裏面を打面として左側面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。その後、180度の打面転移によって、正面から左側面への剥離が行われる。最後は石核(個体c)の作業面を甲板面に設定し、両側面への加工で舟底形石器が製作される。舟底形石器は、その他に初期の厚手の剥片(個体a・b)を素材として甲板面である腹面からの加工で製作されるが、個体a～cの本体は全て欠落し、搬出される。剥離される石刃は長さ9cm程度で、その剥離傾度は低い。

個体Bは、左側縁上部から右側縁上部への剥離、下部から右側縁への剥離によって個体d～fに分割され、舟底形石器に加工される。剥片素材の個体d・eは腹面を、石核素材の個体fは作業面を甲板面に設定し、加工は甲板面からのみ行われ、本体は全て欠落し、搬出される。分布は①Sb-93のP28区周辺と②Sb-93のO30区を中心としてSb-92のM32区にまたがる範囲に分けられ、個体A・Bにかかわらず、①には一次剥離の剥片が、②には舟底形石器調整剥片が分布する。①で一次剥離が行われ、②で二次剥離が行われたと思われる。

母岩別資料847・接合資料3732(図版276-1)は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ16cmの原石の状態で搬入される。石核調整を行わずに原礫面を打面として正面・左右側面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われるが、ほとんどの末端部がヒンジ・ウートラバッセになり、良形の石刃は剥離されていない。全てSb-95のM・N27区周辺にまとまって分布している。

母岩別資料741・接合資料3362(図版276-2～278)は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ23cmの正面に1枚の剥離面がある状態(550)で搬入される。正面から上面への剥離で作出された上設打面から、裏面・左右側面の張り出した角を中心に打面調整の無い打面の大きい剥離によって石核調整が行われた後、石核調整を挟みながら全周(主に正面・裏面)で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は、最初は10cm程度であるが、全周で石刃が剥離されるため、石刃核が円錐形になり、石刃剥離の進行に伴い、石刃核高が減少し、剥離される石刃長も短くなる。最終的に石刃長は6cm程度に減少する。石刃は主に正面・裏面で剥離されたものが欠落し、搬出されている。これらの状況は打面作出剥片を外した状態の551上面を見ると分かりやすい。

本接合資料では大型の打面作出剥片である個体Aを素材として石刃剥離が行われ、石刃を素材として彫器111が製作される。個体A(549)は下面の石核調整・上面の打面作出後、右側面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。7cm程度の石刃が剥離され、一部欠落している。彫器I類の111は長さ10.5cm幅3.2cmの直線的で反りの無い石刃素材で、彫刀面打面・彫刀面付近のみ加工が行われ、素材先端側に彫刀面が作出される。素材端部から彫刀面の距離は9mmで、彫刀面再生はほとんど行われなかったと考えられる。Sb-93のP27・28、Q26・27、R26区周辺に連続して分布し、特にR26区は高密度な分布である。個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料772・接合資料3488(図版279-1)は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、右側面に1枚の大型剥離面がある、長さ21cmの扁平な形状で搬入される。縁辺に沿った下面から裏面への

石核調整、正面から上面への打面作出の後、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、最後にヒンジによる作業面の段差を除去する調整が施されるが、それらを除去できずに剥離は終了する。剥離される石刃は11cm程度で後半の一部が欠落する。分布はSb-93のQ26区周辺とP27区周辺に分かれるが、内容の違いは見られない。

母岩別資料779・接合資料3497(図版279-2)は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ18cm、裏面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。正面と上面の粗い交互剥離による石核調整後、正面からの剥離で作出された下設打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は長さ9cm程度で、ほとんどが遺棄されている。Sb-93の南西部に位置し、12mの範囲でやや散漫に分布するが、段階・内容による偏りは見られない。

母岩別資料776・接合資料3494(図版280上)は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ16cm、上面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。上面から正面への剥離の後、正面から上面への剥離が行われ、その剥離面を打面として正面で頭部調整を伴う剥離が行われるが、石刃剥離には至っていない。次に、上面から裏面への剥離によって打面が作出され、主に正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される。剥離される石刃は長さ8~10cmで、長い石刃が欠落している。Sb-93の南西部に位置し、21mの範囲でやや散漫に分布するが、段階・内容による偏りは見られない。

母岩別資料771・接合資料3487(図版280下)は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ14cm程度の原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面から正面への剥離の後、正面から上面への剥離で打面が作出され、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される。剥離される石刃は長さ9cm程度で、その多くは欠落している。最後に剥離された末端部がヒンジで側面形が直線的な石刃は、右側縁の背面・左側縁の腹面に細かい加工が行われ、削器419が製作される。また、初期の厚手の剥片・打面作出剥片は、甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に加工され、本体は欠落し、搬出される。分布はSb-93の①O30区周辺と②N29~P27区の範囲に分けられ、①には個体A・Bが分布し、個体A・B以外は①・②両方に、特に、削器・石刃核は②に分布する。

母岩別資料666・接合資料3117(図版281-1)は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、17cm程度の原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面から下設打面作出後、下面から正面で剥離が行われる。次に正面から上設打面が作出され、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は長さ10cm程度で、大部分が欠落しているが、調査区の端に位置しているため、搬出されたかどうかは不明である。全てSb-91のH35区周辺にまとまって分布するが、調査区の北側に分布が伸びる可能性がある。

母岩別資料836・接合資料3678(図版281-2)は、風化によりザラついた平坦面を持ち、角の潰れた重角礫素材で、13cm程度の原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面から上面・右側面への粗い剥離の後、正面で上設打面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、途中から下設の原礫面打面と交互に打面を転移させながら石刃剥離が進行する。剥離される石刃は長さ9cm程度で、一部欠落する。また、初期の厚手の剥片3点(個体A~C)は甲板面である腹面からの加工により舟底形石器に整形され、全て本体は欠落し、搬出される。全てSb-95のK27、L26区周辺に比較的高密度に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料805・接合資料3578(図版282上)は、風化によりザラついた平坦面を持ち、角の潰れた重角礫素材で、14cm程度の原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面から上面、下面から右側面への粗い剥離の後、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は長さ8cm程度でほとんどが欠落している。初期の粗い剥離による厚手の剥片4点(個体A~D)は舟底形石器に加

工される。個体Aの加工は連続した剥離が単位となって左右側面でも交互に行われる。加工は主に甲板面である腹面から行われるが、加工が進んだ段階で下縁からの加工が見られ、その後は腹面から行われる。個体B～Cは甲板面である腹面からのみ加工が行われる。舟底形石器4点は全て本体が欠落し、搬出される。全てSb-95のK27、L26区周辺に比較的高密度に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料711・接合資料3240 (図版282下) は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ14cmの原石の状態でも搬入される。正面から上面への剥離によって作出された打面から正面で厚手の縦長剥片、石刃が剥離され、最後は石刃核の裏面に左右から剥離が行われる。剥離される石刃は長さ8cm程度で、剥離頻度は低いが、そのほとんどは搬出されている。厚手の打面作出剥片1点(個体A)・縦長剥片3点(個体B～C)は甲板面である腹面からの加工によって舟底形石器に整形され、本体は253が遺棄される個体Cを除いて欠落し、搬出されている。Sb-94のI31、J31区に高密度に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料942・接合資料4091 (図版283-1) は、一部平坦面が残り、角が潰れて丸くなった転礫素材で、長さ17cm程度の原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面から上面への剥離で上設打面作出後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は長さ8cm程度のものが主体で、ほとんどが欠落している。全てSb-93に分布するが、厚手の打面作出剥片、石刃核はそれぞれP27、R26区に分布し、それ以外はO30区に分布する。

母岩別資料846・接合資料3731 (図版283-2) は、風化によりザラついた平坦面を持ち、角の潰れた扁平な亜角礫素材で、長さ17cmの原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面の縁辺に沿って作出された打面から小口面である正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される。石刃剥離の途中で1度打面再生が行われる。剥離される石刃は9cm程度で、ほとんどが欠落している。打面再生剥片(個体A)・厚手の縦長剥片(個体B)は甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に整形され、両者とも本体は欠落し、搬出される。Sb-93のO29～Q27区の範囲に分布し、段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料671・接合資料3134 (図版283-3) は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、搬入時の大きさは不明、粗い剥離のある状態で搬入される。正面から左側面への剥離、左側面から下面への剥離、裏面から右側面への剥離後、上設の単剥離打面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は8cm程度で約半分が欠落している。全てSb-91のH33区周辺にまとまって分布し、石刃核がやらずれて分布する。

母岩別資料709・接合資料3238 (図版284・285上) は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ18cm、上面に1枚の剥離がある状態で搬入される。上面から正面への粗い剥離によって厚手の剥片(個体A)が剥離された後、左側面・下面に石核調整が行われ、上設石刃から頭部調整を伴って石刃が剥離される。その後、作業面下部に石核調整が行われ、再度、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。最後に上設打面から打面の大きい大型の剥片が剥離され、その面を甲板面に設定し、甲板面からの加工で石核素材の舟底形石器(個体C)が製作される。個体Cの本体255は、石器下端部を大きく取り込む側面加工後、遺棄される。剥離される石刃は長さ10cm程度で、良形の石刃は少なく、ほとんどが遺棄されている。

厚手の大型剥片である個体A(564)は、上面に腹面からの剥離で打面が作出され、厚手の縦長剥片剥離後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。最後に打面縁辺から1cm程奥を打撃し、石刃核を分割し、厚手の剥片(個体a)、石核(個体b)の両者で舟底形石器が製作される。個体aは甲板面

である腹面からのみ、個体bは甲板面に設定された石核作業面からの加工の後、下縁からの加工が行われる。個体aは最後に折損し、278が遺棄され、個体bは完形のまま267が遺棄される。

本母岩では、舟底形石器が製作される個体C・a・b以外に、舟底形石器に類似した加工が行われるものが3点あり、1点は厚手の石刃（個体B）を素材とした削器234で、残りの2点は、個体Aの打面作出剥片素材の二次加工ある剥片2点（非掲載）である。

分布は①Sb-94のI・J31区と②その周辺部に分けられ、①には個体に関わらず大部分の遺物が高密度に分布し、②には石刃類が散漫に分布する。

母岩別資料733・接合資料3322(図版285下)は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ17cm、おそらく粗い剥離の行われた石核で搬入される。下面から右側面への剥離の後、正面から上面への剥離、正面で上設打面から打面調整を伴う石刃剥離が行われ、最後に下部から正面に剥離が行われる。打面調整が頻繁に行われるため、石刃の長さは15cm程度から8cm程度まで減少している。本接合資料では石刃2点が加工されている。1点(490)はウトラパッセによって末端部が肥厚した石刃素材で、厚手の先端部を素材として折れ面から背面側に剥離が行われる。側縁にも剥離痕があり、彫器Ⅲ類に類似する。もう1点は削器420で、右側縁に細かい加工が施される。Sb-95南西部25×10mの広い範囲に散漫に分布し、O26区に分布の中心がある。段階・個体による偏りは見られない。

母岩別資料915・接合資料3995(図版286上)は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ23cm、原石に近い状態で搬入されたと考えられる。上設の単剥離打面から正面への剥離の後、下面・右側面から裏面、右側面から正面への剥離が交互に行われ、再度、正面で上設打面から軽い頭部調整を伴う剥離が行われる。途中、下設打面が作出されるが、下設打面からの剥離頻度は低い。上設打面からの剥離では打面の大きい厚手の縦長剥片が剥離される。全てSb-93のO28区周辺に分布し、段階による偏りは見られない。

母岩別資料877・接合資料3850(図版286下・287-1)は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ20cmの原石ないし原石に近い状態で搬入されている。正面で、上面の原礫面打面、下縁から交互に剥離が行われた後、左側面で上設打面から厚手の剥片(個体A)が剥離される。次に、下縁から裏面・正面に交互剥離が行われ、最後は上面から正面へ厚手の縦長剥片剥離後、頭部調整を伴う石刃剥離が少量行われる。本接合資料では削器1点(個体B)、舟底形石器2点(個体A・C)が製作される。個体B(427)は下縁から裏面への剥離で剥離された厚手の剥片で右側縁に粗い加工が施される。個体Aは甲板面である腹面から加工され、折損した438が遺棄される。個体Cは最終段階に剥離された厚手の縦長剥片素材で甲板面である腹面から加工され、本体は欠落し、搬出される。全てSb-93のO28区周辺に連続して分布するが、個体A～CはO・P28区に、個体A～C以外はO28・29区に分布し、重複しながらも、ずれた分布を示す。

母岩別資料892・接合資料3908(図版287-2)は、風化によりややザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ18cm、おそらく原石に近い状態で搬入される。粗い剥離が行われた後、上面から正面・裏面への粗い交互剥離、下面から左側面への剥離による石核調整が行われる。次に、途中で左側面から裏面への剥離を挟んで、正面で軽い頭部調整を伴う打面の大きい厚手の縦長剥片が剥離される。最後に石核(個体B)は、作業面を甲板面に設定して、甲板面からの加工で舟底形石器に整形され、本体432は遺棄される。初期の石核調整段階で剥離された厚手の剥片(個体A)は、舟底形石器に加工され、その前半は甲板面である腹面から行われ、加工が進み、舟底形石器の幅が狭くなった段階で下縁・甲板面から行われる。本体は欠落し、搬出される。全てSb-93のN30、O29区周辺に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料894・接合資料3927 (図版287-3) は、平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた亜角礫素材で、長さ12cmの小型の原石で搬入される。右側面から上面への剥離で作出された打面から正面で頭部調整を伴わない厚手の剥片剥離が行われる。原石に節理が内在するため同時割れと思われる剥落が認められるが、その剥片(個体A)を利用して加工が行われている。個体A(二次加工ある剥片)は舟底形石器に類似した粗い加工が見られるが、加工頻度が少なく、定形ではない。分布はSb-93の①P28区周辺、②O30区周辺に分けられ、個体Aは②に、それ以外は①に偏りが見られる。

母岩別資料895・接合資料3928 (図版288-1) は、平滑な原礫面を持つ扁平な角礫素材で、長さ14cmの原石の状態でも搬入される。正面から上面への剥離によって作出された打面から正面の小口面で頭部調整を伴わない剥離が行われ、途中、打面再生を挟みながら最後まで継続する。厚手の打面再生剥片(個体A)は甲板面である腹面からの剥離で舟底形石器に加工されるが、本体は欠落し、搬出されている。全てSb-93のP28区周辺に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料832・接合資料3666 (図版288-2) は、風化によりザラついた表面を持ち、角が丸くなった亜角礫素材で、長さ15cmの原石の状態でも搬入される。正面から上面への剥離の後、上面から正面に剥離が行われる。次に、下面に打面が作出され、下設打面から正面・裏面で、軽い頭部調整を伴う打面の大きい厚手の縦長剥片剥離が行われる。本接合資料では舟底形石器3点(個体A~C)が製作される。個体Aは正面から裏面への剥離で得られた厚手の縦長剥片で、甲板面である腹面から加工され、本体254は遺棄される。個体Bは下設打面から正面で剥離された断面三角形の剥片で、甲板面である腹面から加工され、本体は欠落する。個体Cは石核を素材として、作業面を甲板面に設定し、甲板面から加工が行われ、本体は欠落する。全てSb-93のQ27区周辺に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料913・接合資料3991 (図版288-3) は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた扁平な亜角礫素材で、長さ11cmの原石の形状で搬入される。交互剥離によって稜状に整形された上縁から正面で縦長剥片が剥離された後、左側面側に偏って剥離が行われる。次に、上縁から右側面へ縦長剥片が剥離され、最後に上縁から裏面に厚手の縦長剥片剥離が行われる。6~11cmの縦長剥片が剥離され、それらは搬出されないが、側縁に細かい加工が施されるものが多く、削器421・二次加工ある剥片3点に見られる。分布はSb-93の高密度な①P28区、②P29区、散漫な③Q27区に分けられるが、段階による偏りは見られない。

母岩別資料930・接合資料4051 (図版289) は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ15cm、正面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。上面の平坦な原礫面を打面として正面・左右側面で頭部調整を伴わない打面の大きい厚手の剥片が連続的に剥離され、最後に裏面から下面へ石核を2分割する剥離が行われる。本接合資料では舟底形石器9点(個体A~I)が製作される。個体A~Hは上面の原礫面打面から剥離された厚手の剥片素材、個体Iは最後に裏面から下面へ剥離された厚手の剥片素材で、全て甲板面である腹面から加工が施される。個体A(446)、B(436)、C(437)、D(443)、F(445)、G(434)、H(442)は本体が折損し、遺棄され、そのうち個体Aのみ再加工が行われ、再加工された本体は欠落し、本体の欠落した個体E・Iと共に搬出されたと思われる。また、個体C・Fは、遺棄されているのは本体の一部で、残りの破片が搬出された可能性がある。全てSb-93のP28区周辺に高密度に分布するが、個体A・E・IはP28区西側、個体BはP28区東側、個体CはP28区中央、個体D・H・個体A~I以外はP28区の広い範囲、個体FはQ27区、個体GはO28区に分布するなど細かい位置関係に偏りが見られる。

母岩別資料868・接合資料3829 (図版290-1) は、風化によりザラついた平坦な原礫面を持つ角礫

素材で、長さ13cm程度、上面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。右側面から上面、上面から正面への剥離の後、正面から上面への剥離が行われ、次に、上面から正面、上面から裏面への剥離が行われる。最後に石核(個体F)を素材として裏面の作業面を甲板面に設定して舟底形石器が製作される。加工はほとんどが甲板面から行われるが、途中で下縁からの加工が見られる。本接合資料では個体F以外に5点(個体A-E)の舟底形石器が製作される。全て厚手の剥片素材で、甲板面である腹面から加工が行われ、本体は欠落し、搬出される。本接合資料は、角部の打面縁辺から1.5~2cm内側を加撃して断面三角形に近い厚手の剥片が剥離され、そのほとんどが舟底形石器に加工されていることから、舟底形石器製作を目的として剥離されたものと考えられる。Sb-93のO30区を中心として北東方向に連続して分布し、個体・段階による偏りは見られないが、個体Cの最終剥離の調整剥片がやや離れたP28区に分布する。

母岩別資料769・接合資料3480(図版290-2)は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ17cm程度の原石ないし原石に近い状態で搬入される。裏面から上面、右側面から上面、正面から右側面、上面から右側面への剥離が打面転移を繰り返しながら進行し、残骸である488には多方向の剥離痕が残る。剥離は全て頭部調整を伴わずに不定形の剥片が剥離され、また、原石には直径1.5cm程度大型球類や潜在的な割れ面が内在するため、ほとんどまともに割れていない。二次的な剥離が行われる個体は4点あり、厚手の剥片2点(個体A・B)は縁辺で交互剥離による剥片剥離が行われ、厚手の剥片1点(個体C)は粗い加工が行われ、やや薄手の剥片は、素材の尖頭部の一側縁にノッチ状の加工を施し、錐形石器(非掲載)が製作される。Sb-93・95のO28~R24区にまたがる19×7mの広い範囲に非常に散漫に分布するが、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料826・接合資料3657(図版290-3)は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ14cmの原石ないし原石に近い状態で搬入される。原石に内在する節理面から上部を欠損した後、正面で頭部調整を伴わない厚手の縦長剥片剥離が行われるが、5回の剥離のみで終了する。Sb-95のM27区周辺にやや散漫に分布し、段階による偏りは見られない。

母岩別資料777・接合資料3495(図版291-1)は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ23cm、上部両面に剥離のある状態で搬入される。正面から上面への剥離で作出された打面から正面へ剥離が行われた後、正面から下設打面が作出される。次に、下設打面から右側面・正面への剥離後、上面から正面への剥離が行われ、最後に正面から下面への剥離が行われるがひどく階段状になり、剥離は終了する。分布はほとんどがSb-93のQ・R26区にまとまり、剥片2点がやや離れたP27・28区に分布する。

接合資料5738(図版291-2)は、原石形状・搬入形態は不明である。中央に平坦剥離面、縁辺部に一部平行剥離が見られる厚さ6mmの薄手の尖頭器が左側縁から正面への加工時に折損し、折れ面から右側縁へ一次削片が剥離される。削片に加工痕は見られない。全てSb-93のO28区に分布する。

接合資料5736(図版291-3)は、原石形状・搬入形態は不明である。両面に平坦剥離面が残る厚さ11mmの薄手の尖頭器の上部、左下部が折損し、下端部から右側縁へ削片剥離が行われる。接合資料の右側縁には削片と同一方向の削片剥離痕が残る、少なくとも2回の削片剥離が行われている。全てSb-93のP28区に分布する。

接合資料5743(図版291-4)は、原石形状・搬入形態は不明である。中央に平坦剥離面、縁辺部の一部に平行剥離が見られる厚さ9mmの薄手の尖頭器が左側縁から正面への加工の傷が原因で折損し、折れ面から右側縁へ一次削片剥離を含め2回の削片剥離が行われる。削片に加工痕は見られない。両者ともSb-93の、尖頭器はO28区、尖頭器削片はP28区に分布する。(鈴木宏行)

(10) J区・石器ブロック97~107(Sb-97~107)の石器

出土石器(表Ⅲ-9~12)

尖頭器125点(I類101点、II類16点、III類8点)、尖頭器削片24点、両面調整石器27点、彫器77点(I類17点、II類50点、III類10点)、彫器削片20点(II類2点、III類18点)、搔器34点、削器101点、鏟形石器11点、舟底形石器221点(I類24点、II類191点、IIb類3点、IIc類3点)、二次加工ある剥片95点、石刃539点、縦長剥片571点、石刃核52点、石核95点、剥片39,392点、つまみ付きナイフ1点、原石10点、台石1点、礫1点の計41,397点、重量479,327.4gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が64.1%で最も多く、黒曜石4(22.9%)、黒曜石3(8.1%)、黒曜石5(4.1%)が続き、以下黒曜石2(0.7%)、頁岩(0.05%)、安山岩(0.01%)、珪岩(0.007%)、碧玉(0.007%)、めのう(0.002%)、砂岩(0.002%)、緑色泥岩(0.002%)である。上白滝8遺跡全体でI区に次ぐ規模の区域である。石器群は、幅広有舌尖頭器石器群が一部含まれるが、ほとんどが小型舟底形石器石器群である。そのため、彫器・舟底形石器・石刃核の量が多く、特に舟底形石器はI類・石核素材のIIa類が多い。彫器(80%)、搔器(94%)は黒曜石1の比率が高く、舟底形石器(43%)は黒曜石4の比率が高いが、いずれも小型舟底形石器石器群を含むG・I区に比べ、黒曜石1の割合が高い。尖頭器(図Ⅲ-369-1~図Ⅲ-375-35、図版292~296、図版318-392~396)

63点(32個体とI層出土3個体を加えた35個体)を図示し、7点(4個体とI層出土1個体を加えた5個体)を写真のみ掲載している。1~6はIII類で、5・6は未成品である。3・6は剥片素材で、その他は不明。加工は平坦剥離によって行われ、縁辺は細かい剥離によって滑らかに整形される。1~4の舌部は、中央~やや下部に位置し、1・2・4はかえしが明瞭に作出され、3は舌部側縁がやや内湾する程度である。1・3は所山産、4は安山岩製、2・5・6は赤石山産である。完形品と見られる1~4の内2を除く3点が白滝産黒曜石以外の石材が利用されている一方、未成品と見られる5・6は赤石山産である。I区同様、小型の完形品は他産地から石器の状態でも搬入されたと思われる。一方、I区と異なり、他の赤石山産の小型品・未成品も、母岩に含まれず、また、未成品は折損していないことから搬入された可能性がある。

7~25はI類である。7は小型の尖頭器で、比較的厚手で加工も粗い。8~11は細身の尖頭器で、加工は、平坦剥離による中央の平坦面と押圧剥離によると思われる縁辺部の角度のある細かい剥離で構成され、平坦剥離後、縁辺の押圧剥離が行われる。断面形は平坦な上下面と角度のある両側縁によって潰れた六角形を呈するが8の先端部のように片面に偏る錯向状の剥離によって平行四辺形に近い形状になるものもある。10は正面中央左からの剥離で折損し、下部破片は折れ面から再加工され、11は下端部の折損後、折れ面・両側縁から再加工が行われる。12~15は相対的にやや幅広のタイプである。8~11と厚さ・平坦剥離による加工は変わらないが、縁辺部の角度のある加工が見られず、それらの前段階と考えられる。12は折損後、折れ面から右側縁で削片状の剥離が行われ、13は下端部の折損後、再加工が行われる。16~18はやや厚手のもので8~15に比べ相対的に加工が粗い。16は正面中央右からの加工で折損している。17は先端部の両側縁が裏面からの急角度の粗い加工によって大きく変形している。18は両側縁中央がやや内湾し、左側縁から中央裏面への剥離によって折損している。19~22は幅広のもので、22を除き比較的薄く、加工は平坦剥離によって行われる。全て折損し、19は上部の折損後、再加工が行われている。22は先端部折損後、上部を再加工しているため幅広の形状を示す。さらに、右側縁から裏面への加工で折損している。23は約30cmの大型品である。上下の2破片で構成され、中間部は出土しなかったが接合資料から位置関係が復元された。上部破片の下部破

片の中央部には放射状の折れが見られる。全体的に大型の平坦剥離で加工されている。24は非常に粗い加工が行われ、平滑な原礫面と一部転礫面が残る。凸状の正面と平坦な裏面により断面三角形である。特に正面左側縁はやや粗い急角度の加工が施される。25は角礫から剥離された剥片ないし縦長剥片素材で、正面には斜角の剥離が、裏面基部には平坦剥離が行われる。また、上部折損後、折れ面から加工が行われる。

26～35はⅡ類である。35を除き、折損後、折れ面から削片状の剥離が行われる。打面となる折れ面は、打点のあるものではなく、調整剥離時に折損した特徴(尖頭器の調整剥離が折れ面の始点となっている)を持っているため、目的的に折損が行われたものではなく、折損した尖頭器を利用して削片状の剥離が行われたと思われる。削片剥離は、26・28・29・31～34は片側縁で、27・30・35は両側縁で行われ、27は両側縁とも折れ面から、30は左側縁が下部から、右側縁が折れ面から、35の右側縁は削片剥離面打面から行われ、左側縁は不明である。尖頭器本体が先細りの形状をしているため剥離される削片は、ヒンジになる27・33を除いてウートラパッセになっている。

26・27は厚さ7mmと薄く精巧な加工が見られ、特に27の正面には平行剥離が見られる。28・29は厚さ11mmである。28の裏面には平滑な原礫面が大きく残り、短冊状の角礫素材と考えられ、29は右側縁での槌状剥離後、折れ面から正面に器厚を減少させる剥離が行われる。30～32は厚さ13～16mmで、平坦剥離によって加工される。33・34は厚さ27mmで、粗い加工が施される。35は厚さ9mmと薄い。以上のことを整理すると、尖頭器Ⅱ類による削片剥離は、折損した尖頭器を素材としているが、①折れ面が「折り取り」によるものではなく、尖頭器の調整による事故によるものであること、②厚さ・表面に残る加工状態に違いが見られ、素材尖頭器が尖頭器製作の特定の段階に限定されないことから、尖頭器の折損に伴って副次的に行われたものと考えられる。また、厚手のものは幅広の、薄手のものは幅の狭い尖頭器削片が剥離される。

図版318～392～396は写真のみ掲載のものである。392はやや厚手のものであるが表面は滑らかで、幅が比較的狭い。左側縁の裏面上部に削片状の剥離が残るが、下部の折損との前後関係は不明である。393は幅広のもので、比較的薄い。394はやや厚手のもので、相対的に加工が粗い。395は厚さ31mmで厚手のものである。平坦剥離による加工は大型であるが、表面は比較的滑らかである。396は厚さ50mmで非常に厚手で、加工も非常に粗い。

尖頭器削片(図Ⅲ-375-36～44、図版296・297、図版318～397～図版319-401)

11点(9個体)を図示し、7点(3個体とI層出土2個体を加えた5個体)を写真のみ掲載している。36～41は折れ面打面の削片で、36～39は断面三角形の一次削片、40・41は二次削片である。末端部は全てウートラパッセにより尖頭器本体の末端部を取り込んでいる。打面形状が不明な42は、断面三角形であるが、背面的下部に反対方向の先行剥離面が残る。43は両側面に両面調整の剥離痕があり、石器の打面周辺には横方向の擦痕のある研磨面が残る。局部磨製の斧形石器の側縁においてその刃部を打面にして剥離された削片である。背面には先行剥離面が3枚あり、特に他端からの剥離による最終面はヒンジによって段差になっている。44は稜状の打面から剥離されている。38・43・44は白色の真岩製である。

図版318～397～図版319-401は写真のみ掲載のものである。397～399は断面三角形の一次削片、400・401は二次削片である。397は尖頭器の端部を打面として剥離されたものである。398の打面は不明であるが、399は尖頭器が非常に粗い加工の段階で折損した後、折れ面から側縁で剥離されている。400は先行の削片剥離によってヒンジとなった末端部を除去する加工が行われた後に剥離されている。399・400はウートラパッセにより尖頭器下部部を取り込み、398・401の末端部はヒンジになって

いる。

石核である尖頭器本体の厚さを反映する削片幅は8～31mmで、本体の厚さの変異が想定される。

両面調整石器 (図Ⅲ-376-45～図Ⅲ-380-54、図版297-300、図版319-402・403)

20点(10個体)を図示し、2点(2個体)を写真のみ掲載している。45-48は角礫、49-54は転礫素材で、53・54は剥片素材、49も剥片素材の可能性があり、全て非常に粗い剥離で加工されている。45-48は扁平で細長い角礫を素材とし、45-47には長軸方向の加工が見られる。45は中央で折損後、両破片とも折れ面から加工が施され、48は折損後、上部破片に右側縁から再加工が行われる。51の裏面にはリングが密集した大型の平坦な剥離面が残し、大型の転礫から分割された素材を利用している。主に正面で加工が行われるが、途中で潜在的な折れが原因で上部・左側縁の一部を折損している。52は両面で大型の剥片が剥離されている。53は厚さ3cmの大型剥片を素材として、裏面はバルブ周辺を、正面は左側縁を加工しているが途中で折損している。54は厚さ6cmを超える厚手の剥片を素材として、正面は凸状に、裏面は平坦に加工されるが、中央で折損している。その後、下部破片の左側縁で幅6cmの幅広削片が剥離されている。

図版319-402・403は写真のみ掲載のものである。402は亜角礫素材で、右側縁から正面へ、左側縁から裏面へと錯向状の剥離が行われる。403は亜角礫素材で主に正面左側縁から剥離が行われ、上部が折損している。

彫器 (図Ⅲ-381-55～図Ⅲ-384-126、図版301-303、図版319-404-406)

79点(61個体とI層出土11個体を加えた72個体)を図示し、3点(3個体)を写真のみ掲載している。

55-68はI類である。55-61は周縁加工が背面のみ行われるもの、62-65は腹面にも見られるもので、66-68は周縁加工のないもの、ないしは軽微なものである。

69-118はII類である。69-87は周縁加工が背面のみ行われるもので、69-72は形態軸・彫刀面交角が概ね50度以下の斜刃のもの、73-81は50-70度の中間的なもの、82-87は70度以上の横刃に近いものである。88-104は腹面にも周縁加工が見られるもので、88は形態軸・彫刀面交角が概ね50度以下の斜刃のもの、89-100は50-70度の中間的なもの、101-104は70度以上の横刃に近いものである。これらの形態軸・彫刀面交角は連続したものであり、分離できるものではない。105-113は彫刀面打面以外加工がほとんど見られないか、もしくは周縁加工が軽微なもので、105・106は細長く、111-113は幅広である。108は頁岩製。114-118は大型ないし素材が石刃以外のものである。114・115は大型の縦長剥片素材で、114の素材打面には頭部調整は見られない。116・117は両面調整体の調整剥片素材で、116には全周に周縁加工が施され、117には彫刀面周辺以外に周縁加工が見られない。118は頁岩製の両面調整体の削片素材で、素材打面側である上部部では主に左側面で削片剥離が行われ、素材先端側である下部部では右側面にノッチ状に作出された彫刀面打面から下面に向けて彫刀面が作出される。

119は彫刀面再生過程を残すもので、先行の彫刀面を除去する加工が上部部から行われる。加工は彫刀面打面周辺では裏面から行われ、彫刀面が完全に除去され、彫刀面先端部側では背面先端部調整と同様な彫刀面を打面とした加工が行われる。また、ノッチ状の彫刀面打面が右側縁上部に作出されており、彫刀面再生が意図されていたと思われる。彫刀面は下部部にも作出され、それは右刃である。

I・II類の周縁加工は、背面側は急角度のものが多く、61のような厚手の素材の場合、斜角の加工が行われ、断面三角形の基部が作出されるものがある。腹面側は平坦剥離によって加工され、その分布は、背面側がほぼ全周に見られるのに対して、腹面側は部分的なものから面的なものまで変異が見られる。素材は、ほとんどが頭部調整のある単剥離打面の石刃素材で、彫刀面は119の下部を除く

て左肩に作出される。彫刀面は主体的に素材先端側に作出されるが、掲載資料中19%が素材打面側に作出され、その比率が非常に小さいG・I区に比べて比率が高い。背面先端部調整はI類にはほとんど行われぬが、多くのII類には認められ、その70%は打点が無く、彫刀面に切られている。明確な多段階表面変化は確認できないが、62・65・95・101の表面には他の彫器に比べ傷が多い。また、60・61・68・74・76・78・87の表面は被熱により白色に変化している。

120~126はⅢ類で、全て剥片素材と思われる。120は正面両側縁・裏面上部に加工があり、上部には稜状の打面から、右側縁下部には下端の折れ面から彫刀面が作出される。121は上端から剥離された左側縁の彫刀面を打面として上面の彫刀面が作出される。また、正面には左側縁の彫刀面を切る下端部からの剥離が見られる。122は両面調整によって稜状に調整された上端部で左側縁から彫刀面が作出され、さらにその面を打面として左側縁で彫刀面が作出される。123~126は面的な片面加工石器が折損した後、側縁で折れ面を打面として削片剥離が行われるものである。123・125には表面調整も認められるが、石器本体は尖頭器のような整った両面調整体ではない。123~125は片側縁で、126は両側縁で削片剥離が行われる。123・126は基端部が弧状に作出され、123の裏面・126の正面には折れ面からの加工が見られる。123・125・126の彫刀面の最終剥離面形状はヒンジで、彫刀面の悪化に伴い遺棄されたものと思われる。

図版319~404~406は写真のみ掲載のものである。404はI類、405・406はII類である。素材は全て石刃で、406は断面三角形で非常に厚手である。周縁加工は404・405の背面に見られ、406には行われない。彫刀面は全て素材打面側に作出される。

彫器削片 (図Ⅲ-385-127~148、図版303・304)

23点(4個体とI層出土1個体とII層出土17個体を加えた22個体)を図示している。

127~130は彫器削片Ⅲ類である。127・128は半両面加工により稜状に整形された側縁から剥離されたもので、127は彫刀面である側面の右側縁側(先行の彫刀面と右側面の角付近)の打撃によって剥離される。128は彫刀面と見られる数条の複剥離打面から剥離されている。129は片面加工の折れ面打面を持つ彫器から剥離されたもので、127と同様に彫刀面左側縁側に打点がある。縁辺から5mmほど内側に打点があり、残存する打面は比較的大きく、末端部はウトラパッセとなり下端部を大きく取り込んでいる。130は原稜面打面から剥離されたもので正面右に大きく素材面が残る。

131~148は彫器削片I・II類である。131~134は一次削片ないしそれに近いもので、131はI類、132~134はII類である。131は一枚の彫刀面が残る二番目の彫器削片である。正面に残る母型作成時の周縁加工は比較的大きい斜角の剥離と縁辺の微細な剥離で構成される。132~134は131に比べ直線的であることから、II類の彫器は直線的な彫刀面を想定し、母型作成時からその形状に近い整形をしていた可能性がある。132・134は比較の薄手の彫器から剥離されている。131が打面から背面側に斜めに力が加えられ、剥離されるのに対し、打面が残る132・134は腹面側に力が加えられ、剥離されている。132の右側縁先端部には裏面から細かい加工により錐状の先端部が作出される。

135~148は二次削片で、135~141はI類、142~148はII類である。135は直前の彫刀面剥離後、彫刀面を一新する加工が腹面から行われる。136には直前の彫刀面剥離後に、137には直前の彫刀面剥離前に背面先端部調整が行われる。142は直前の彫刀面剥離後に背面先端部調整が行われ、彫刀面打面周辺は腹面から彫刀面を除去する加工が行われた後に剥離されている。また、剥離の際にはII類の一次削片同様に腹面側に力が加えられる。142が剥離される直前の彫刀面形状(彫刀面再生直前の形状)は彫器119と全く同じで、このような彫刀面再生技術が本地区の彫刀面再生技術に存在したことを示している。このような再生技術はI類にはしばしば見られるものの他の地区や他の遺跡では確認でき

ておらず、本地区特有の再生技術の可能性がある。148は素材背面を取り込まない断面三角形の削片である。Ⅱ類の削片には、本体の背面が残存せず不明な148を除いて142～147の全てに打点のある背面先端部調整が見られる。一方、彫器本体の背面先端部調整に打点が残るものの割合が30%であることから背面先端部調整は彫刀面再生に先立つ調整と考えることができる。

Ⅰ・Ⅱ類の削片は、他の区域に比べ幅広く、彫器本体の彫刀面は幅広い傾向がある。また、Ⅱ類から剥離された彫器削片はⅠ類に比べて直線的な傾向があり、刃部形状がⅠ類は弧状、Ⅱ類はより直線的であったと思われる。

搔器 (ⅢⅢ-385-149～ⅢⅢ-386-173、図版304・305、図版319-407・408)

29点 (18個体とⅠ層出土6個体とⅡ層出土1個体を加えた25個体) を図示し、2点 (2個体) を写真のみ掲載している。149～161は連続的な側縁加工が行われるものである。149～156は相対的に細長い形状のもの、157～161は相対的に幅広いもので前者には狭長な、後者には幅広いの石刃が素材となっている。158は頁岩製である。

162～172は側縁加工がほとんど行われないもので、162は左側縁上部に錐状の刃部が作出される。

173は粗い加工の施されるもので、刃部作出後正面の稜から右側面に加工が行われ、さらに、左側縁に中央の稜に達する加工が行われる。

剥片素材である172を除いて石刃素材で、素材打面の残るものは全て頭部調整を伴う単側面打面から剥離されている。また、素材は中央に1本の稜のあるものが多く、断面形は二等辺三角形に近い。刃部形状は円形に近いものが多く、刃部周辺のパンチ痕は確認できない。151・160・162・167は被熱により表面が白く変化している。

図版319-407・408は写真のみ掲載のものである。407は周縁加工の行われる細身の搔器である。408は石刃核下端部を取り込む厚手の石刃素材で周縁加工は行われず、刃部加工は粗い。

錐形石器 (ⅢⅢ-387-174～182、図版305、図版320-409)

9点 (7個体とⅠ層出土2個体を加えた9個体) を図示し、1点 (1個体) を写真のみ掲載している。174・175は相対的に狭長な石刃素材、176～179は幅広く短い石刃素材、180は彫器削片Ⅲ類素材、頁岩製の181・182は尖頭器削片素材である。側縁調整は微細なもの以外は行われず、刃部は、石刃素材のものは素材先端側、削片素材のものは素材打面・先端側に作出され、刃部の軸は両者とも素材の長軸方向に一致する。刃部の加工は、181・182を除いて素材腹面から両側縁へのノッチ状の剥離によって行われる。また、断面三角形の素材である181の右側面には腹面から、左側縁には正面の稜からの剥離で刃部が作出され、同様に182は左側面から腹面への剥離で刃部が作出される。174～177・179・181の刃部には使用によると思われる種々の剥離痕が残る。

図版320-409は細身の石刃素材で、側縁調整は見られず、両側縁のノッチ状の加工によって刃部が作出される。

削器 (ⅢⅢ-387-183～ⅢⅢ-388-194、図版305・306、図版320-410～414)

18点 (9個体とⅠ層出土3個体を加えた12個体) を図示し、6点 (4個体とⅠ層出土1個体を加えた5個体) を写真のみ掲載している。183～188は連続的な急角度の加工が施されるものである。全て石刃素材で、188の素材は大型である。188は折損後、上端の折れ面から加工が行われる。189は剥片素材で左側縁先端部は平坦剥離によって、右側縁は細かい剥離によって加工され、正面上からの加工によって中央で折損している。190は幅広い剥片素材で求心状の加工が行われる。191は角礫から剥離された石刃素材で正面左側縁の角度のある加工の後、左側縁から裏面に平坦剥離によって面的な加工が行われ、最終剥離で下部を折損している。192は安山岩製の剥片素材で、先端部は両側縁への急角

度の加工で尖頭状に整形される。193・194は大型の剥片素材で左側縁には粗い加工が施される。素材・加工の種類が舟底形石器に類似しているため、舟底形石器の初期段階と考えられる。183・187・190・193・194には転蹠・亜角礫面が、188・191には角礫面が残る。

図版320-410-414は写真のみ掲載のものである。410は石刃素材で両側縁に微細な加工が施される。411は幅広の剥片素材で押圧剥離と見られる斜角の平行剥離によって三角形に整形される。412は左側縁上半部・右側縁の上下端に平坦剥離による加工が見られ、広型ナイフ形石器に類似する。413は右側縁に粗い急角度の加工が、下端部の折れ面から正面・右側縁に加工が施される。414は厚手の剥片素材で、打面側の両側縁には内湾するように急角度の加工が行われ、撥形に広がる先端部には微細な剥離が見られる。

舟底形石器 (図Ⅲ-389-195-図Ⅲ-398-275、図版306-310、図版320-415-図版323-450)

101点(64個体とI層出土17個体を加えた81個体)を図示し、57点(25個体とI層出土11個体を加えた36個体)を写真のみ掲載している。

195-221はI a類で、195-217は端部に細石刃状の剥離痕のあるもの、218-221は細石刃状の剥離痕の無いものである。195-213・216-221は完形、214・215は折損品である。細石刃状剥離は、195-215は連続して行われ、216・217は頻度が少なく、また、両端で行われる195以外は、197-199・201・202・204・207-209・211-215が素材先端側で、196・203・206・210が素材打面側で行われ、素材先端側が80%程度を占める。細石刃状剥離には顕著な頭部調整は見られない。側面調整は上下から行われるものが多く、下縁からの加工が後から行われることが多い。197は尖頭器削片、219は尖頭器削片ないし彫器削片Ⅲ類素材、213は石核素材で、それ以外は全て剥片素材である。素材剥離軸と石器長軸は、直交する200・205を除いて一致する。大きさはG・I地区や他の遺跡のI類に比べ、若干大きい。多段階表面変化が観察されるものがなく、母岩別資料に含まれるものが比較的多いことから遺跡内で製作されたものが多いと考えられる。

222-258は剥片素材のII a類である。222-247は両側面への甲板面からの加工のみで整形されるもので、222-235は甲板面縁辺に比較的細かい加工が施され、236-242には粗い加工のみが見られる。243-247は側面調整が進行せず、幅広のもので原礫面が残存する。248-257は甲板面からの加工に加え、下縁からの加工を含むもので、248-256は両面加工、257は片面加工である。甲板面からのみ加工されるものに比べ幅・高さともに小さく、加工が進行した状態である。248はやや特殊で折損した両面調整体を利用して折れ面・下縁から加工が行われる。

259-270は甲板面がネガ面の石核素材のII a類で、259-268は甲板面からのみ、269・270は下縁からも加工が施されるものである。271・272は両面調整石器の縁辺で剥離された縦長剥片素材のII a類である。素材打面側は欠損して不明であるが、側面に残る素材面と甲板面の切り合いから判断して大型の粗い両面調整石器から剥離されたと思われる。273はII c類である。角礫の原石素材で原礫面を甲板面に設定し、両面加工が行われる。素材(原石)の利用方法がII c類と同一であるが、本来のII c類の加工とは異なる。

274・275は剥片素材のII b類である。274は大型の剥片素材で、左右両側面で甲板面からのみ加工が行われる。275は甲板面・左側面の大型剥離面である素材面、右側面の素材腹面の三面で構成される断面三角形の素材を利用して両面とも上下からの加工によって整形されるが、右側面のやや内側の剥離によって折損している。これらは素材の大きさからII b類に分類したが、加工の種類はII a類に近く、大型のII a類とみなすことも可能である。234・236-238・249・252・253・255・267・270は剥離軸(石核素材の場合は作業面の剥離軸)と石器長軸が直交し、それ以外は一致する。

被熱と見られる光沢が減少する表面変化は、I類は196・198～200・206・214・216に、II類は252に認められ、I類に偏りがある。

図版320～415～図版323～450は写真のみ掲載のものである。415はI類の折損品で、細石刃状剥離は見られない。

416～442は剥片素材のIIa類である。416～427・429～438は甲板面からのみ加工が行われるもので、436～438は折損品である。416～423・438には甲板面縁辺に比較的細かい加工が施され、424～427・429～437には粗い加工のみが見られる。435は中央で折損後、折れ面から下縁部の長軸方向に剥離が行われる。428・439～441は上下からの加工が見られるものである。428は甲板面からの細かい剥離の後、左側面で下縁からの加工が行われ、右側面で細かい剥離面を取り去るような縁辺から7・8mm内側を加撃する粗い加工が行われる。440は甲板面からの加工によって瘤状の段差になった部分を除去するために下縁から加工が施されるが、うまく除去されていない。441は、ヒンジによる段差を解消するために下縁から加工され、442は片側面のみ加工が行われる。

443～450は石核素材のIIa類で、449・450には上下からの加工が見られる。

舟底形石器削片 (図Ⅲ-399-276～279、図版311)

4点(II層出土4個体)を図示している。長さは12～15mmで舟底形石器I類の細石刃状剥離面長に対応している。全てに舟底形石器本体の側面が残存し、それは、幅の狭い作業面形状を反映したもので、削片の多くに側縁が取り込まれていたと思われる。打面の残る276・278は単剥離打面で、舟底形石器I類同様、顕著な頭部調整は認められない。277の右側縁先端部には裏面からの加工により錐状の尖頭部が作出されている。

二次加工ある剥片 (図Ⅲ-399-280・281、図版311、図版323-451)

3点(2個体)を図示し、1点(1個体)を写真のみ掲載している。280は石刃核の下端を取り込む石刃素材で左側縁先端部に平坦剥離による加工が見られる。281は剥片素材で左側縁上部の両面に平坦剥離による加工が行われる。281は東地区(D区)に主体的に分布する接合資料(母岩328接合1658)の一部である。

図版323-451は頁岩製の縦長剥片素材で右側縁先端側に微細な加工が施される。

つまみ付きナイフ (図Ⅲ-399-282、図版311)

1点(1個体)を図示している。282は素材剥片の打面側の両側縁に腹面からのノッチ状の加工によりつまみ部が作出され、つまみ部以外の加工は見られない。分析の結果、産地は赤石山産、水と層年代は18,909±869(H-171)であった。

石刃 (図Ⅲ-399-283～図Ⅲ-401-299、図版311・312)

29点(14個体とI層出土3個体を加えた17個体)を図示している。283～296は相対的に細身のもので、283～292は完形ないしほぼ完形品、294・295は打面部、293・296は先端部である。283～285・287・288は10cm以下の小型、286・289・290は10～15cmの中型、291・292は15cm以上の大型品である。283の先端部には彫刀面状の剥離面があるが、新しい剥離と判断して石刃に分類した。297・298は相対的に幅広の石刃である。299は頁岩製の複剥離打面を持つ石刃で、打面は比較的大きい。

打面は、複剥離打面の299を除いて頭部調整のある単剥離打面である。285・289・291・292・295には稜調整痕が残り、291は先行の石刃剥離の際にヒンジによる段差を除去する稜調整が行われる。背面の剥離面は、下からの剥離面のある297を除いて全て上からの剥離面で構成される。284・286・288・289には角稜面が、291には転稜面が残る。

縦長剥片 (図版323-452～458)

8点(6個体とI層出土1個体を加えた7個体)を写真のみ掲載している。図版323-452は緑色の碧玉、453・455・456は白色の頁岩、454は珪岩製である。打面形状は、452・453は頭部調整のある単剥離打面、457は頭部調整の無い単剥離打面、454は原礫面打面で、455・456・458は欠損のため不明である。厚さにバラつきが見られるが、長さは6~8cmで類似する。457・458は折損した尖頭器の縁で剥離されたものであるが、幅広で大型であるため縦長剥片とした。

石刃核 (図Ⅲ-401-300-図Ⅲ-405-323、図版312~315、図版323-459~図版326-486)

24点(18個体とI層出土6個体を加えた24個体)を図示し、30点(22個体とI層出土6個体を加えた28個体)を写真のみ掲載している。

300~306は裏面に原礫面が残る単設打面の石刃核で、作業面を正面に限定して裏面方向に石刃剥離が進行する。300・301・304は7cm以下の小型のもの、302・303・305は作業面が平坦で幅広の石刃が剥離されるもの、306は15cmを超える大型のものである。306の下面には裏面からの潰れた剥離面が残る。原礫面打面である304を除き全て単剥離打面で、全て頭部調整が見られる。

307~309は両設打面の石刃核で、308・309は上下の剥離が同一作業面で行われるが、307はそれらと異なり、上設打面からは左・正・右面で、下設打面からは右側面で石刃が剥離される。

310・311は単設打面の石刃核で裏面に横方向の剥離面のあるものである。310の裏面には正面の剥離面に切られる下からの剥離と正面の剥離を切る上・横からの剥離がある。311は正面での石刃剥離後、裏面上部で左右から横方向の剥離が行われる。311は複剥離打面である。312は裏面下からの石刃剥離後、正面右側縁で横方向の剥離が行われ、最後に正面左側で石刃剥離が行われる。

313~320は作業面が正面に限定されず、側面でも石刃剥離が行われるもので、特に317・319は作業面が全周を巡っている。頭部調整は313~317に認められ、318~320には見られない。318は剥片素材で、裏面から左側面への剥離の後、正・右・裏面で剥離が行われる。321は原礫面打面の石刃核で石核調整・頭部調整は見られない。322は折損した粗い加工の尖頭器の縁で石刃剥離が行われ、323は右・裏・左面の加工により断面三角形の母型から正面で石刃が剥離される。

304・306~309・311~313・320・321は角礫素材、301・302・315・316は角の潰れた亜角礫、300・314は平滑な曲面とあばた状の曲面を持つ円礫、303・305・323は転礫素材、310・317~319・322は不明である。

図版323-459~図版326-486は写真のみ掲載の石刃核である。459~474は裏面に原礫面が残る、正面に限定された作業面で石刃剥離のみ行われた上設の単剥離打面を持つ石刃核で、459以外には頭部調整が見られる。468・469は石刃剥離の後、正面から上面に剥離が行われる。473は幅の狭い原石を素材としている。

475~484は正面の石刃剥離以外に異なる方向の剥離が見られるものである。475は裏面に上からの剥離が行われた後、正面からの打面作出が行われ、正面で石刃が剥離される。476の裏面には左側面からの剥離面がある。477は剥片素材で左側面に素材腹面が残る、右側面と裏面で頭部調整を伴う石刃剥離後、正面で厚手の石刃が剥離されている。478の左側面には裏面からの剥離が見られ、479の裏面には左側面からの大型の分割面が残る。480は下部から裏面への剥離の後、上面に打面が作出され、正面での石刃剥離後、左側縁から裏面・正面、下縁から正面下部に剥離が行われる。481は上設の単剥離打面から正面で石刃剥離が行われるが、途中、下縁から正面下部への剥離面を打面として裏面への石刃剥離が行われる。482は主に下面の単剥離打面から左・裏面で剥片剥離が行われた後、そのウトラパッセとなった剥離面を打面として正面で石刃剥離が行われる。483は正面上からの石刃剥離後、下面に左側面からの剥離で打面が作出され、左側面で石刃剥離が行われる。裏面には下設打面より古

い原礫面打面から剥離された大型の剥離面が残る。484は上設の単剥離打面から左・正面で石刃剥離が行われ、最後に左側面で下端から粗い剥離が行われる。

485・486は正・裏面の剥離により石核の厚みを減少させたもので、485は正・裏面の粗い剥離により薄くなった石核の小口面で石刃剥離が行われる。486は主に正面での石刃剥離後、裏面で石核の厚みを大きく減少させる非常に粗い剥離が行われる。

464・473・474・478・481・484は角礫、475・483は垂角礫、459・462・466・468は平滑な曲面とあばた状の曲面を持つ円礫、460・461・463・465・467・469～472・477・482・485・486は転礫、476・479・480は不明である。

作業面長は4～16cmまでバラつきがあるが、6～8cmのものが多く、残核は石刃剥離の進行に伴い作業面長が短くなることを考慮に入れると7～10cm程度の石刃が主に剥離されたと考えられる。石材は黒曜石1が70%を占める。

石核 (図Ⅲ-406-324～図Ⅲ-408-334、図版316・317、図版326-487～図版329-510)

11点(9個体とI層出土2個体を加えた11個体)を図示し、24点(20個体とI層出土4個体を加えた24個体)を写真のみ掲載している。

324～326は平坦な作業面を持つ石核で、剥離される剥片は幅広である。324・326は大型剥片剥離によって作出された単設打面から剥片剥離が行われ、打面縁辺には念入りな頭部調整が行われる。325は上設の単剥離打面から正面で幅広の剥片が剥離されるが、途中、右側面・裏面の剥離面を打面として正面へ横方向の剥離が行われる。327は単設の単剥離打面から左・正・右面で頭部調整を伴わずに剥片が剥離される。

328～332は打面・作業面転移による多方向の剥離面が残るものである。328は下設打面から裏面への剥離後、上設打面の作出・正面での剥離が行われる。頭部調整は行われず、打面縁辺の内側を打撃し、厚手の剥片が剥離される。上設打面には10ヶ所以上のパンチ痕が残り、最終剥離後も執拗に打撃されたと思われる。329・330は正面から左側面・上面・右側面(330のみ)への剥離後、打面と作業面を入れ替えて上から正面で剥離が行われる。331は主に上設の単設打面から剥離が行われるが、途中左側面からの剥離を挟む。332は正面から上面→裏面から右側面→左側面から裏面→正面から左側面→上面から正面の剥離と類繁な打面転移が行われる。333・334は両面とも求心状の剥離が行われる円盤状の石核である。

327・330は角礫素材、328・331は垂角礫素材、324～326・329・334は転礫素材で、332・333は不明である。

図版326-487～図版329-510は写真のみ掲載の石核である。487～491は裏面に原礫面が残る単設打面の石核で、487～489は頭部調整のある単剥離打面を持ち、当初は石刃が剥離されていたと思われる。488の打面には最後に正面から小型の剥離が行われる。491は原礫面打面で、490・491には頭部調整が見られない。

492は剥片素材で上面の長軸方向の剥離面を打面として両端の小口面で細長い剥片が剥離され、正面形は三角形である。493～495は正面での頭部調整を伴う石刃剥離後、別方向の剥離が行われるものである。石刃剥離後に、493は右側面下部から左側面への大型の剥離が、494は正面下部から裏面への剥離後、正面で下からの剥離が、495は下縁から裏面下部、正面下部に剥離が行われる。496は裏面を打面とした右側面での石刃剥離後、正面から上面への剥離面を打面として正面で石刃に類する剥片が剥離されている。

497～499は打面転移が類繁に行われるもので、497は下部左側面・右側面で剥離が行われた後、正

面・上面で剥離が行われる。498は左側面に上から剥離が行われた後、左側面から裏面への剥離→裏面から上面への剥離→上面から正面への剥離が行われる。499は正面から下面への剥離の後、下面から左側面、上面から正面への剥離が行われる。

500・501は幅広く平坦な作業面を持ち、念入りな頭部調整が行われる石核で、500は単剥離打面、501の打面は大型の二枚の剥離面で構成される。

502～506は頭部調整を伴わずに厚手の剥片が剥離される石核である。502は原礫面打面で、503は左から上面への剥離後、右側面から正面、上面から正面への剥離が行われる。504は上面に裏面からの剥離の後、右側面から裏面、上面から正面へ剥離が行われる。505は下から裏面への剥離後、正面から上面への剥離・上面から正面への剥離が行われる。506は正面から上面への剥離の後、上面から正面に剥離が行われる。

507は正面で上・右・下面から求心状の剥離が行われる石核で、508～510は打面・作業面を入れ替えるチョッパー状の剥離が行われるものである。508・509は小型の転礫素材、510は角礫から剥離された剥片素材である。

488～491・492・494・497・502・504・506は角礫、493・499・503・507は垂角礫、505は平滑な曲面とあばた状の曲面を持つ円礫、487・495・496・498・500・501は転礫素材である。

石材は、黒曜石1が最も多く65%で、黒曜石4が24%である。

剥片 (図Ⅲ-408-335、図版317)

1点(1個体)を図示している。335は緑色泥岩製の磨製石斧の調整剥片である。正面左には縦方向の擦痕により稜が作出され、下部には横方向の剥離によって丸みがつけられている。

台石 (図Ⅲ-408-336、図版317)

3点(1個体)を図示している。336は安山岩製で、厚さ1～1.5cmの扁平な素材が利用される。右側縁下部には両面への打ち欠きが見られる。正面は平坦であるが、風化のため擦痕は確認できない。

石器ブロック97～107の分布状況

Sb-97～107は、40～45ラインの小沢(無遺物地帯)によって分けられた西地区の西半分位置し、西側は沢によって侵食された段丘の縁に接している。東側にはSb-91～96が隣接し、大局的に見ると分布はそれらに連続し、非常に大規模な集中域とみなすことができる。標高は442.0～446.5mである。

石器ブロック97 (Sb-97) の分布 (図Ⅲ-409～416、表Ⅲ-9・10)

G22～26、H22～26、I22～26、J22～25、K22～24、L21～24、M21～23、N21・22区の35×17mの範囲で確認された。尖頭器46点(I類35点、II類4点、III類7点)、尖頭器削片7点、両面調整石器15点、彫器22点(I類3点、II類14点、III類5点)、彫器削片6点(III類6点)、搔器12点、削器30点、錐形石器3点、舟底形石器97点(Ia類7点、IIa類89点、IIc類1点)、二次加工ある剥片53点、石刃292点、縦長剥片312点、石刃核26点、石核51点、剥片24,104点の計25,076点、307,176.0gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が64.2%を占め、以下黒曜石4(23.8%)、黒曜石3(7.3%)、黒曜石5(4.0%)、黒曜石2(0.7%)、頁岩(0.02%)、安山岩(0.01%)である。本ブロックは東西地区合わせて最も多くの点取り遺物が出土し、それらは高密度の連続した分布で、Sb-93・95と並んで出土量・範囲ともに最大規模である。ブロック全体の石材組成と比べ黒曜石1の比率が高いのは彫器(82%)・搔器(100%)で、黒曜石4の比率が高いのは舟底形石器I類(71%)・舟底形石器II類(40%)である。小型舟底形石器石器群が主体で、一部幅広く有尖頭器石器群が重複している。

分布は、高密度な分布が北東方向に連続する①I25、J24、K23・24、L23区周辺・②L21・22、M21・22、N21区周辺とそれらより相対的に低密度な③H22～23、I22～24区周辺に分けられる。尖頭器Ⅲ類は①に、尖頭器Ⅰ類は②③に主に分布し、Ⅰ類は③にはより薄手のものが、②にはより加工の粗い厚手の破片が分布する。尖頭器Ⅱ類・尖頭器削片は①③に分布するが、主に③に分布する。両面調整石器は②③に分布する。彫器・搔器は主に③に分布する。削器は、②③に分布するが、②には舟底形石器の未成品に近い削器が多く、③には石刃素材で側縁加工が彫器・搔器に類似する削器が多い。舟底形石器はⅠ類が③にⅡ類が①～③に分布するが、②③の密度が高い。石刃核は①②に高密度に分布し、石核は①～③に分布する。これらを整理すると①には尖頭器Ⅲ類・舟底形石器Ⅱ類・石刃核・石核が、②には厚手の粗い加工の尖頭器片・両面調整石器・粗い加工の削器・舟底形石器Ⅱ類・石刃核・石核が、③には大小の薄手の尖頭器Ⅰ類・尖頭器Ⅱ類・尖頭器削片・両面調整石器・彫器Ⅰ～Ⅲ類・彫器削片Ⅰ～Ⅲ類・搔器・石刃素材の削器・舟底形石器Ⅰ・Ⅱ類・石核が偏在する。

石器ブロック98 (Sb-98) の分布 (図Ⅲ-417、表Ⅲ-9・10)

L20・21、M20・21、N20・21区の11×5mの範囲で確認された。尖頭器5点(Ⅰ類5点)、尖頭器削片1点、彫器1点(Ⅱ類1点)、搔器1点、削器5点、舟底形石器16点(Ⅰa類1点、Ⅰa類13点、Ⅱc類2点)、二次加工ある剥片3点、石刃7点、縦長剥片13点、石刃核3点、石核4点、剥片398点の計457点、12,938.0gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が59.5%を占め、以下黒曜石4(21.9%)、黒曜石3(11.6%)、黒曜石5(7.0%)である。非常に小規模なブロックであるが、ツールが多いのが特徴で、特に舟底形石器が多い。

石器ブロック99 (Sb-99) の分布 (図Ⅲ-418～421、表Ⅲ-11・12)

G20～22、H20～22、I20～22、J20～22、K21・22、L21区の19×8mの範囲で確認された。尖頭器11点(Ⅰ類8点、Ⅱ類2点、Ⅲ類1点)、尖頭器削片2点、両面調整石器4点、彫器20点(Ⅰ類2点、Ⅱ類17点、Ⅲ類1点)、彫器削片3点(Ⅲ類3点)、搔器3点、削器12点、錐形石器1点、舟底形石器23点(Ⅰa類8点、Ⅰa類13点、Ⅱb類2点)、二次加工ある剥片9点、石刃44点、縦長剥片24点、石刃核5点、石核5点、剥片3,029点の計3,195点、32,665.3gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が71.3%を占め、以下黒曜石4(16.0%)、黒曜石3(9.9%)、黒曜石5(2.6%)、頁岩(0.2%)、黒曜石2(0.06%)、安山岩(0.03%)である。彫器・舟底形石器Ⅰ類が多いのが特徴である。分布は①I21区周辺、②J・K21区周辺に分けられ、ツール全体もそれらに対応するが、②に搔器が偏在する以外は、器種毎の分布の偏りは見られない。

石器ブロック100 (Sb-100) の分布 (図Ⅲ-421～423、表Ⅲ-11・12)

I20、J18～20、K18～21、L20区の12×10mの範囲で確認された。尖頭器14点(Ⅰ類13点、Ⅱ類1点)、尖頭器削片3点、彫器21点(Ⅰ類8点、Ⅱ類9点、Ⅲ類4点)、彫器削片6点(Ⅱ類2点、Ⅲ類4点)、搔器10点、削器24点、錐形石器4点、舟底形石器34点(Ⅰa類3点、Ⅰa類31点)、二次加工ある剥片10点、石刃29点、縦長剥片27点、石刃核6点、石核4点、剥片1,720点、礫1点の計1,913点、25,030.2gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が51.6%を占め、以下黒曜石4(27.2%)、黒曜石3(16.3%)、黒曜石5(4.8%)、黒曜石2(0.05%)、砂岩(0.05%)である。全体的にツールが多く、特に彫器・舟底形石器Ⅰ類・錐形石器・削器・搔器が多い。分布は①J19区、②K19・20区に分けられ、ツールは②にやや偏る。

石器ブロック101 (Sb-101) の分布 (図Ⅲ-424～427、表Ⅲ-11・12)

K17～19、L17～20、M17～20、N17～20、O18～20、P18～20、Q18区の25×13mの範囲で確認された。尖頭器25点(Ⅰ類17点、Ⅱ類8点)、尖頭器削片8点、両面調整石器5点、彫器10点(Ⅰ

類4点、Ⅱ類6点)、彫器削片5点(Ⅲ類5点)、搔器4点、削器18点、錐形石器1点、舟底形石器43点(I a類3点、II a類39点、II b類1点)、二次加工ある剥片9点、石刃136点、縦長剥片121点、石刃核10点、石核20点、剥片6,183点、つまみ付きナイフ1点、原石1点の計6,600点、59,745.8gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が66.8%を占め、以下黒曜石4(25.6%)、黒曜石3(6.9%)、黒曜石5(0.7%)、頁岩(0.03%)である。尖頭器Ⅱ類・尖頭器削片・彫器・舟底形石器・石刃・石刃核が多い。分布は①高密度のM・N18区周辺、②K・L19区、③散漫なK18・L17・18区に分けられ、尖頭器類は②③に、彫器・搔器・舟底形石器・石核類は①の北西部と②・③に分布する。

石器ブロック102(Sb-102)の分布(図Ⅲ-428、表Ⅲ-11・12)

G18~20、H18~20、I18~20、J19区の11×9mの範囲で確認された。尖頭器6点(I類5点、Ⅱ類1点)、尖頭器削片2点、両面調整石器1点、削器3点、錐形石器1点、二次加工ある剥片6点、石刃22点、縦長剥片30点、石核6点、剥片973点、原石1点の計1,051点、14,752.0gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が70.8%を占め、以下黒曜石4(11.7%)、黒曜石3(10.7%)、黒曜石5(6.7%)、頁岩(0.2%)である。分布は①H・I18区、②I19区周辺に分けられ、石核類は①に、尖頭器・削器は②に偏在する。①に分布する石核類は転蹀素材の単剥離打面から念入りな頭部調整を行う幅広い作業面を持つタイプである。

石器ブロック103(Sb-103)の分布(図Ⅲ-429、表Ⅲ-11・12)

G18、H18区の3×2mの範囲で確認された。石刃2点、剥片109点の計111点、322.7gの石器類が出土した。石材は黒曜石5が76.6%を占め、以下黒曜石1(21.6%)、黒曜石3(1.8%)である。ほぼ同一母岩の尖頭器調整剥片で構成される小規模なブロックである。

石器ブロック104(Sb-104)の分布(図Ⅲ-429・430、表Ⅲ-11・12)

G14~17、H14~18、I14~18、J14~18、K16・17区の16×15mの範囲で確認された。尖頭器18点(I類18点)、尖頭器削片1点、両面調整石器1点、彫器1点(Ⅱ類1点)、搔器1点、削器8点、錐形石器1点、舟底形石器4点(Ⅱa類4点)、二次加工ある剥片2点、石刃5点、縦長剥片13点、石刃核1点、石核3点、剥片1,679点、原石1点の計1,739点、15,187.2gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が52.3%を占め、以下黒曜石3(15.0%)、黒曜石5(13.3%)、黒曜石4(11.7%)、黒曜石2(7.1%)、頁岩(0.2%)、碧玉(0.2%)、珪岩(0.06%)、緑色泥岩(0.06%)、である。器種に偏りは無く、少量ながらも各器種が出土している。尖頭器は大型の折損品が多く、頁岩製の尖頭器削片、磨製斧形石器破片、台石等が出土し、石核類は作業面が扁平なタイプである。分布はI・J15区の高密度の集中域とそれ以外の散漫な分布に分けられる。ツールは全体的に散漫に分布している。

石器ブロック105(Sb-105)の分布(図Ⅲ-431、表Ⅲ-11・12)

H13・14、I13・14、J14・15、K14・15区の12×6mの範囲で確認された。彫器1点(Ⅱ類1点)、搔器3点、二次加工ある剥片1点、石刃1点、縦長剥片3点、剥片681点、原石7点、台石1点の計698点、4,348.6gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が48.0%を占め、以下黒曜石4(43.3%)、黒曜石5(5.7%)、黒曜石3(2.1%)、珪岩(0.3%)、頁岩(0.3%)、めのう(0.1%)、安山岩(0.1%)である。分布は①H13・14、I13・14区、②J14区周辺に分けられ、両者とも尖頭器調整剥片が主体である。①には10cm以下の小型の棒状原石がまとまって出土し、②には搔器・頁岩製の彫器・台石が出土している。

石器ブロック106(Sb-106)の分布(図Ⅲ-432・433、表Ⅲ-11・12)

K15・16、L15~17、M14~17、N13~17、O13~16、P13・14・16区の23×15mの範囲で確認された。彫器1点(Ⅱ類1点)、削器1点、舟底形石器4点(I a類2点、II a類2点)、二次加工あ

る剥片2点、石刃1点、縦長剥片28点、石刃核1点、石核2点、剥片505点の計545点、7,119.0gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が84.2%を占め、以下黒曜石4(11.0%)、黒曜石5(4.0%)、黒曜石2(0.4%)、黒曜石3(0.2%)、頁岩(0.2%)である。散漫な分布が比較的広い範囲に広がる。ツールは少なく、全体の分布同様、散漫である。

石器ブロック107(Sb-107)の分布(図Ⅲ-433、表Ⅲ-11-12)

R4、S13-14区の5×3mの範囲で確認された。両面調整石器1点、剥片11点の計12点、42.6gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が66.7%を占め、以下黒曜石4(16.7%)、黒曜石5(16.7%)である。尖頭器調整剥片で構成される非常に小規模なブロックである。

石器ブロック97~107の接合状況(図Ⅲ-434)

最も大規模なSb-97は北西部を除いて、濃密な分布で、その中に分布する接合資料の主体は近接した小集中域内で収束している。しかし、それらの接合資料の一部はSb-97北東部や周辺のSb-98~100・102・一部101に分布するものが多く、それらのブロックに分布する遺物の多数は、Sb-97に分布の主体がある接合資料の一部である。そのため、接合資料の分布を示す接合線は、Sb-97から東西方向の周辺部に伸びるものが多い。白滝遺跡群では傾斜方向である南北方向への遺物の動きが一般的に観察されるが、このような東西方向の分布は、通常は自然の営力では起こりえない。また、周辺ブロックに分布する内容がツールや石刃などが多いため、それらは抜き出され、人為的に移動されたものと思われる。このような分布の傾向は他の石器ブロック群では観察されず、特徴的である。その他のSb-101~106の接合資料はブロック内で収束するものが多い。

母岩別資料・接合資料

41,397点中10,051点を259母岩に母岩分類し、1,493個体(母岩別資料内800個体)の接合資料が得られた。そのうち母岩別資料42母岩、非母岩別接合資料4個体を図示し、母岩別資料66母岩、非母岩別接合資料2個体を写真のみ掲載している。

母岩別資料1029・接合資料4324(図Ⅲ-435~437、図版330~332)

母岩別資料は接合4324の他、接合4325・4326・56916・56917、剥片27点で構成され、総点数118点、総重量5,324.7gである。

素材 83点(60個体)が接合し、重量は4,867.8g、大きさは25×19×18cmである。一部平坦面が残りの、爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として、右側面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 最初に、長軸方向の加撃によって、大型の原石が個体A・Bに分割される。

個体Aは、打面の大きい頭部調整の無い上面から正面への剥離(A-段階1)の後、正面から長軸方向の剥離による上段打面作出、正面下部に左側面からの石核調整(A-段階2)が行われ、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される(A-段階3)。段階3の最後には打面の大きい粗い剥離が行われ、石核の打面にも打面縁辺から1.5cm内側に打撃痕が残り、厚手の剥片を剥離しようとした意図が認められる。

剥離される石刃の長さは主に10~13cmで、大小のものが欠落している。石刃の1点は影器68に加工される。68は側縁に加工が見られず、影刀面打面のみ加工が施され、素材打面側にI類の影刀面が作出される。素材端部と影刀面の距離は5mm程度で影刀面再生はほとんど行われぬ。

個体Bは、右側面から正面(B-段階1)、右側面から裏面(B-段階2)、左側面から裏面(B-段階3)、左側面から正面(B-段階4)、右側面から正面(B-段階5)への加工が行われ、厚さ6cmの粗い両面調整の中央で折損する(B-段階6)。その後、下部破片の左側縁で削片が剥離される

(B-段階7)。一次削片は両面調整石器縁辺から2cm内側を加撃して剥離され、厚さ4cmの厚手の断面三角形の形状である。接合資料には、その後の二次削片が欠落し、少なくとも1回の削片剥離が行われ、その形状は一次削片同様厚手である。

分布 Sb-97のJ23、K22-24、L21-23、M21・22、Sb-99のI21、J21、K21区に分布する。個体AはSb-97・99に分布し、Sb-97にはほとんどの遺物が比較的高密度に、Sb-99には彫器や良形の石刃・大きめの剥片などがやや散漫に分布するが、Sb-97の遺物と比べ明確な違いは見られない。個体Bは広い範囲に散漫に分布し、段階による偏りは見られない。個体A・Bは分布範囲が一部重複するが、全体的に、ずれており、その密度にも違いが見られる。

母岩別資料1134・接合資料4613 (図Ⅲ-438・439、図版333)

母岩別資料は接合4613の他、剥片18点で構成され、総点数56点、総重量1,829.6gである。

素材 38点(28個体)が接合し、重量は1,703.1g、大きさは28×15×8cmである。平滑な風化した古い剥離面と爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、古い風化面を原礫面とすると原石に近い形状で搬入される。

剥離工程 縁辺調整の見られない打面の大きい粗い加工が、左側面から裏面(段階1)、左側面から正面(段階2)、上面から裏面(段階3)、右側面から正面(段階4)、左側面から裏面(段階5)、左側面から正面(段階6)へ行われた後、右側面から正面への粗い加工(段階7)により粗い両面調整石器である本体が中央で斜めに折損する。折損後、下面から左側面に長軸方向の剥離が行われ(段階8)、縦割りされた両面調整石器(個体A)を素材として甲板面からの加工で舟底形石器(271)が製作される。

分布 Sb-97のK22・23、L22・23、M22、Sb-100のJ19、Sb-101のL19区に分布する。ほとんどはSb-97に散漫に分布し、段階による偏りは見られない。2点が離れて分布し、Sb-100(J19区)には舟底形石器271が(調整剥片はSb-97に分布)、Sb-101(L19区)には大きめの剥片が分布する。

母岩別資料975・接合資料4201 (図Ⅲ-440~442、図版334)

母岩別資料は接合4201の他、接合4202~4204・56892・56893、剥片28点で構成され、総点数162点、総重量6,273.7gである。

素材 123点(73個体)が接合し、重量は5,885.8g、大きさは31×24×12cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫を素材として、右側面に複数の剥離面、裏面に1枚の平坦な剥離面のある状態で搬入される。

剥離工程 縁辺加工の見られない打面の大きい非常に粗い加工が、右側面から正面(段階1)、左側面から正面(段階2)、左側面から裏面(段階3)、右側面から裏面(段階4)、右側面から正面(段階5)、左側面から正面(段階6)、右側面から正面(段階7)へ行われ、尖頭器の厚さが5cm程度、断面が凸レンズ状に大きく変化する。その後、やや粗い縁辺部調整を伴う打面の小さい平坦剥離が、左側面から裏面(段階8)、右側面から裏面(段階9)、左側面から正面(段階10)、右側面から正面(段階11)へ行われ、より薄く、表面が滑らかに変化し、本体は17×9×2.5cmの尖頭器で搬入される。段階7の幅広の調整剥片は縁辺に平坦な加工が施され、削器(非掲載)に整形されている。

分布 Sb-97のH22、I24、J23・24、K23・24、L22・23、Sb-99のH22、I22、J22・K21・22区に分布する。分布は①Sb-97のK23・24区周辺、②Sb-99に分けられ、①には、ほとんどの遺物がやや高密度に分布し、それらに段階による偏りは見られない。また、②には、削器や相対的に大型の剥片が多く、それらは散漫に分布している。

母岩別資料985・接合資料4225 (図Ⅲ-442・443、図版335)

母岩別資料は接合4225の他、剥片1点で構成され、総点数15点、総重量1,999.8gである。

素材 14点（8個体）が接合し、重量は1,978.0g、大きさは29×14×6.5cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、表面にリングが密集する平坦な分割面、正面に粗い平坦剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 正面で打面のやや大きい剥離が、右側面から（段階1）、左側面から（段階2）、右側面から（段階3）、左側面から（段階4）行われた後、潜在的な割れ面から本体が四分割される。左側縁で分割された破片（段階5）は、欠損前の本体の裏面を甲板面に設定し、両側面で甲板面・下縁から加工が行われるが、階段状の剥離が連続し、側面が瘤状になり、折損した段階で本体256gが遺棄される。他の三破片（51）は、再加工されずに遺棄されている。

分布 Sb-97のL22・23、M21・22区に散漫に分布するが、一括遺物である両面調整石器51は、やや離れたSb-99のJ21区に分布する。

母岩別資料947・接合資料4116（図Ⅲ-444～448、図版336・337）

母岩別資料は接合4116の他、接合4117～4124・56881～56883、剥片86点で構成され、総点数285点、総重量4,390.2gである。

素材 175点（89個体）が接合し、重量は3,882.6g、大きさは34×23×10cmである。風化によりザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、正面に粗い剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 縁辺部調整の無い粗い加工が、下面から裏面（段階1）、左側面から裏面（段階2）、下面から正面（段階3）へ行われ、段階3の剥離と同時に下端部（段階4）が欠損する。次に、左側面から裏面への剥離（段階5）の後、欠損した下部の折れ面周辺に、右側面から正面（段階6）、右側面から裏面（段階7）への粗い加工が行われる。その後、やや打面が小さい平坦剥離が、左側面から正面（段階8）、左側面から裏面（段階9）、右側面から正面（段階10）へ行われ、最後に打面の小さい薄い平坦剥離が、右側面から裏面（段階11）、左側面から裏面（段階12）、左側面から正面（段階13）へ行われ、本体が薄く、表面が滑らかに変化している。尖頭器は段階13で折損（段階14）した後、左側面から正面へ加工が行われる（段階15）が、本体は折損した状態で遺棄される。遺棄された尖頭器の縁辺に残された調整は軽いもので、擦るような調整は見られず、縁辺も滑らかではない。

本接合資料では2点の彫器（個体A・114）が製作され、1つの個体（個体B）で石刃剥離・舟底形石器製作が行われる。

個体A（343）は、段階2の幅広の調整剥片で、折損後、三角形に近い破片を利用して上縁・右側縁の削片剥離部の先端部が弧状になるように加工が行われ、交叉状に削片が剥離される。右側縁では最後に下端から削片剥離が行われるが、二辺とも削片剥離は3～5回と少ない。

彫器Ⅱ類の114は、厚手の縦長剥片素材で両側縁に加工が施され、素材先端部に作出されたノッチ状の彫刀面打面から斜めに彫刀面が作出される。接合資料からは素材の大きさは不明であるが、接合状況・背面の状況などから判断すると素材から長さの減少は少なく、彫刀面再生はほとんど行われていないと思われる。

個体B（344）は、本体下部が折損した段階4の厚手の個体である。上面の平坦な折れ面を打面として正面で一部頭部調整を伴う石刃が剥離された（B-段階1）後、右側面から上面に剥離が行われ（B-段階3）、最後は石核を素材として舟底形石器が製作される（B-段階4）。段階1の石刃剥離の際には左側面調整（B-段階2）が行われる。剥離される石刃は長さ11cm程度で、良形の初期のものが欠落している。

分布 Sb-97のG23・24、H22~25、I22~25、J23・24、K23、Sb-101のN17区に分布し、大きく①散漫なG23・24、H22~24、I22・23区、②高密度のJ24区周辺、に分けられ、①には大型の剥片が多い段階1・2の大部分、段階5・7の大型剥片、尖頭器、個体A、個体B（段階1前半の石刃の一部・段階1後半以降）の遺物が、②にはそれ以外の遺物が分布し、離れたSb-101のN17区には彫形114が分布する。整理すると①には大型剥片、石刃の一部、個体A、個体Bの後半、尖頭器が分布し、②には大型を除く尖頭器調整剥片、個体Bの前半が分布し、②から素材、ツールが抜き出されて①に持ち込まれたと考えられる。

母岩別資料1185・接合資料4734（図Ⅲ-449~451、図版338）

母岩別資料は接合4734の他、接合4735~4743・56993~56997、縦長剥片1点、剥片125点で構成され、総点数323点、総重量3,225.3gである。

素材 159点（91個体）が接合し、重量は2,632.8g、大きさは26×16×14cmである。一部平坦面が残り、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程 正面では、下面から（段階1）、左側面から（段階2）、下面から（段階3）粗い剥離が行われ、主に縦方向の剥離によって、裏面では、右側面から（段階4）の粗い剥離が行われ、主に横方向の剥離によって厚さを大きく減少させている。その後は、横方向の細かい縁辺部調整の無いやや粗い剥離が、右側面から正面（段階5）、右側面から裏面（段階6）、右側面から正面（段階7）、右側面から裏面（段階8）、左側面から正面（段階9）に行われ、20×9×3cmの尖頭器で搬出される。

本接合資料では舟底形石器4点（個体A・B-1・B-2・C）が製作される。個体Aは段階1の、個体B（折損してB-1・2に分割）は段階2の、個体Cは段階4の厚手の剥片で全て甲板面である腹面から加工される。縦方向に剥離された縦長剥片素材の個体Aは剥片剥離軸と石器の長軸が一致し、横方向に剥離された横長剥片素材の個体B-1・2、Cは直交する。個体B-1・Cの本体は最後に折損し、それぞれ239・237が遺棄され、個体A・B-2は本体が欠落し、搬出されたと思われる。

分布 Sb-98のN20、Sb-100のK19、Sb-101のK17~19、L17~19、M17~19、N17~20、P20、ブロック外のP21区にやや散漫に分布し、集中部の遺物と周辺部に散在する遺物では違いが見られない。個体A~Cと個体A~C以外の分布密度を比べると前者が散漫で、後者はより密集している。また、個体A・Bは分布が類似し、L18・19区に、個体CはM18区に、個体A~C以外はM・N18区に多く分布し、分布密度同様若干異なる。

母岩別資料1133・接合資料4611（図Ⅲ-452・453、図版339）

母岩別資料は接合4611の他、接合4612・56968、剥片55点で構成され、総点数143点、総重量2,336.9gである。

素材 83点（59個体）が接合し、重量は2,112.4g、大きさは23×14×10cmである。わずかにザラついた平坦原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、裏面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 縁辺部調整が見られない打面の大きい加工が、左側面から裏面（段階1）、右側面から裏面（段階2）、左側面から裏面（段階3）、右側面から裏面（段階4）、左側面から裏面（段階5）、左側面から正面（段階6）に行われ、粗く整形される。その後、縁辺部調整を伴う打面の小さい薄手の平坦剥離が、右側面から裏面（段階7）、左側面から裏面（段階8）、右側面から正面（段階9）、左側面から正面（段階10）、右側面から正面（段階11）、右側面から裏面（段階12）に行われ、本体は断面凸レンズ状で、表面は滑らかな状態に変化するが、最後に左側縁から裏面に非常に粗い剥離が行われて折損し、尖頭器18が遺棄される。

本接合資料では段階1の厚手の剥片（個体A）を素材として舟底形石器が製作される。個体Aは甲板面である腹面から加工が行われ、本体は欠落し、搬出される。

分布 Sb-97のK22・23、L21~23、M21・22、N21、Sb-100のK19、Sb-101のM20区に分布する。個体AはK22・23、L21~23区に分布し、個体A以外は個体Aより広い範囲に分布し、M21・22区には段階2・3の剥片が多い。また、尖頭器はやや離れてK19区に分布する。

母岩別資料952・接合資料4136（図Ⅲ-454、図版340-1）

母岩別資料は接合4136の他、接合56887、縦長剥片1点、石刃4点、剥片17点で構成され、総点数61点、総重量1,293.9gである。

素材 37点（26個体）が接合し、重量は1,166.5g、大きさは22×12×9cmである。爪状痕のある原礫面を持つ軋礫を素材として、原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程 原礫面を除去する粗い剥離が、左側面から裏面（段階1）、下面から正面（段階2）へ行われた後、右側面から正面（段階3）、左側面から裏面（段階4）、右側面から裏面（段階5）、右側面から正面（段階6）への打面の小さい平坦剥離が行われる。特に正面で斜めに剥離される段階3・6には石刃技法と同様の頭部調整が見られ、薄手でやや幅広い縦長剥片が剥離されている。加工される尖頭器の形態は薄く幅広く、最終的に左から正面への加工で折損し、20が遺棄される。20の両面にはヒンジによる段差が残り、加工は順調には進行していない。

分布 Sb-97のG23、H22~24、I22・24、J23~25区に分布する。分布は①J24・25区、②H22・23区周辺に分けられ、①には原礫面除去の段階1・2が、②には段階3以降が分布する。両者ともやや散漫な分布である。

母岩別資料1046・接合資料4366（図Ⅲ-455、図版341-2）

母岩別資料は接合4366のみである。

素材 50点（31個体）が接合し、重量は1,925.3g、大きさは25×16×9cmである。正面に平滑な原礫面、裏面に風化した古い剥離面のある盤状の角礫を素材として原石の形状で搬入される。

剥離工程 原礫面を打面とした左右方向からの粗い剥離が、右側面から裏面（段階1）、左側面から裏面（段階2）、左側面から正面（段階3）へ行われた後、下端部を中心として、下面から正面（段階4）、下面から裏面（段階5）、右側面から裏面（段階6）、左側面から正面（段階7）、下面から正面（段階8）、右側面から正面（段階9）への剥離が行われる。後半の下端部周辺の加工は、縁辺部調整を伴わない粗いもの（段階4）から縁辺部調整を伴う打面の小さい平坦なもの（段階5~9）へと変化する。本体は18×12×3.5cmの幅広い尖頭器で搬出される。

分布 Sb-97のK22、L21・22、M21・22区に比較的高密度に分布する。

母岩別資料1147・接合資料4632（図Ⅲ-456、図版340-2・341-1）

母岩別資料は接合4632の他、接合4633~4635、剥片11点で構成され、総点数45点、総重量1,513.5gである。

素材 28点（18個体）が接合し、重量は1,450.5g、大きさは22×11×7cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、原石の状態で搬入される。

剥離工程 右側面から裏面（段階1）、左側面から正面（段階2）、右側面から正面（段階3）、左側面から正面（段階4）、左側面から裏面（段階5）、右側面から正面（段階6）、左側面から正面（段階7）、右側面から裏面（段階8）への剥離が行われる。全て縁辺部調整の無い、粗い加工で、最後は左側面から裏面への剥離で折損し、46が遺棄される。

分布 Sb-97のJ23、K24、Sb-101のM18、N18、P18区に分布する。分布は①Sb-97のK24区

周辺、② Sb-101のM18区周辺に分けられ、①には段階6後半以降が、②には段階1～6前半が分布し、両者とも比較的高密度である。前半の剥離後、K24区に持ち込まれたと考えられる。

母岩別資料982・接合資料4217 (図Ⅲ-457・458、図版342)

母岩別資料は接合4217の他、接合56895、剥片8点で構成され、総点数51点、総重量4,709.1gである。

素材 41点(29個体)が接合し、重量は4,682.0g、大きさは24×20×13cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、右側面上部に1枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 上端から左側面への剥離(段階1)、上縁中央からの調整(段階2)、上面から裏面への剥離(段階3)の後、裏面から上面への剥離(段階4)で上設打面が作出される。頭部調整の無い裏面(段階5)、正面(段階6)への剥離後、正面から打面再生(段階7)が行われ、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される(段階8)。石刃剥離は、作業面にヒンジによる段差が生じて終了し、石刃核Ⅲ-511-5が遺棄される。剥離される石刃は、長さ10cm程度で、前半に良形のもの無く、後半に剥離されたものが数本欠落している。

分布 Sb-96のL23、M23、Sb-97のK23・24、L23、Sb-100のJ20区に分布する。分布は、① Sb-96・97のK24区周辺、② Sb-100のJ20区に分けられ、②には石刃剥離最終段階の末端部がヒンジの剥片が分布し、①にはそれ以前の段階の遺物が分布する。②に分布する遺物を接合した石刃核の作業面状態は、最終剥離面の末端部がヒンジになり、それ以前の剥離には目立ったヒンジによる段差は認められない。このことから、①では原石に近い状態から石刃剥離までが行われ、その石刃剥離も1回の末端部がヒンジになる剥離後に終了している。②では作業面に1回のヒンジによる剥離面が残る状態から剥離が行われ、その当初からヒンジになり、最後まで継続し、最後は遺棄される。

母岩別資料1006・接合資料4274 (図Ⅲ-458・459、図版343-1)

母岩別資料は接合4274のみである。

素材 20点(14個体)が接合し、重量は895.2g、大きさは14×14×7cmである。上面に平滑な原礫面、側面に風化によりザラついた原礫面を持ち、角がやや潰れた扁平な亜角礫を素材として、原石に近い状態で搬入される。

剥離工程 上面から正面への剥離(段階1)の後、正面から上面への剥離で打面が作出される(段階2)。上設打面から正面へ頭部調整を伴わない厚手の縦長剥片剥離と一部頭部調整を伴う石刃剥離(段階3)が行われた後、上面正面から打面再生(段階4)、右側面(段階5)・左側面(段階6)への裏面下部調整が行われる。段階3の厚手の縦長剥片2点は二次加工ある剥片(非掲載)に加工され、1点は部分的に斜角の加工が、1点は舟底形石器の加工に類似した1回の粗い加工が施される。

分布 Sb-97のK22、L22、M21・22、Sb-98のM20、Sb-100のK20区に分布する。Sb-97のM21区周辺とそれ以外に分けられ、M21区にはほとんどの遺物が高密度に分布し、やや離れたSb-100のK20区には斜角の加工の二次加工ある剥片が、Sb-98のM20区には厚手の剥片が分布する。

母岩別資料1038・接合資料4347 (図Ⅲ-459・460、図版343-2)

母岩別資料は接合4347の他、剥片10点で構成され、総点数80点、総重量4,186.3gである。

素材 70点(53個体)が接合し、重量は4,143.5g、大きさは22×13×13cmである。平滑な原礫面を持つ角柱状の角礫素材で、原石ないし原石に近い形状で搬入される。原石には5mm程度の球顆が列状に内在する。

剥離工程 上面から正面右(段階1)、左側面から上面(段階2)への剥離の後、上面に右側面からの剥離で打面が作出され(段階3)、正面から右側面にかけて、頭部調整の無い粗い石核調整、頭部

調整を伴う石刃剥離が行われる（段階4）。正面の剥離が内在する球顆にぶつかり、ヒンジになった段階で、右側面からの剥離で打面が再生され（段階5）、再度、正面で粗い剥離が行われる（段階6）。最後に、作業面を上面に転移させ、正面を打面として頭部調整の無い粗い石核調整剥離が行われた後、頭部調整を伴って石刃が剥離される（段階7）。

石刃は段階4後半、段階7後半で剥離され、段階4後半の長さ14cm程度の石刃は、ほとんどが遺跡に遺棄され、段階7後半の長さ9cm程度の石刃は欠落している。

本接合資料では舟底形石器1点（個体A）が製作される。個体Aは、段階3の厚手の打面作出剥片で、石器長軸と素材剥離軸が直交するように加工される。加工は、甲板面である腹面から頭部調整の無い打面の大きい粗いものが行われ、幅が約4cmになった段階で縁辺部を直線的に滑らかにする調整が施される。また、直線的になった後は、片側面での端から端までの加工を一単位として、側面を入れ替えながら交互に均等に加工が行われる。最終的に下縁部を取り込む加工が連続し、高さが3.5cmから1.9cmに減少した段階で、本体238が遺棄される。

分布 Sb-97のK22・23、L21-23、M21・22、Sb-98のL21、Sb-101のL19区に分布する。高密度のL・M22区とその周辺に散漫に分布する状態で、個体・段階による偏りは見られないが、個体Aはその他の遺物に比べやや散漫な分布である。離れてSb-101のL19区に分布するのは段階7の石刃で、その石刃が良形であること、同一段階の石刃が欠落し、抜き出されていることから、選択されて持ち込まれたものと思われる。

母岩別資料990・接合資料4230（図Ⅲ-461・462、図版344）

母岩別資料は接合4230のみである。

素材 58点（41個体）が接合し、重量は1,390.3g、大きさは17×16×11cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた垂角礫を素材として、原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程 裏面から上面（段階1）、上面から正面（段階2）、左側面から正面（段階3）への剥離の後、上面に正面からの剥離で打面が作出される（段階4）。上設打面から正面で頭部調整を伴う良好な石刃が連続的に剥離され（段階5）、末端部がヒンジの剥片が剥離された時点で、打面を裏面に、作業面を上面に転移させ、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる（段階6）。再度、打面近くで階段状の剥離が発生すると、打面を左側面に、作業面を下面に転移させ、縦長剥片が剥離（段階7）された後、裏面から右側面（段階8）、右側面から裏面へ剥離が行われ、剥離は終了する。

石刃は段階5・6で剥離され、段階5（289など）では石刃核の小型化が著しく、長さ10～13cmの直線的な、段階6では7cm程度の反りのある石刃が得られている。また、段階5は多くの石刃が、段階6は前半の石刃が欠落し、搬出されたと思われる。

本接合資料では彫器1点（96）、舟底形石器1点（個体A）が製作される。Ⅱ類の彫器96は段階7で剥離された長さ7cm程度、幅不明の直線的な縦長剥片素材で、素材打面側に彫刀面が作出される。縦線調整は背面両側縁に急角度の加工が、腹面基部に平坦な加工が施され、腹面加工によって素材先端部の反りが修正されている。素材端部から彫刀面まで2.0cmあり、全て彫刀面再生によるものとする10回程度の再生が行われたことになる。個体Aは段階4の厚手の打面作出剥片素材で、素材剥離時に一部が欠損（A-段階1）した後、右側面で甲板面である腹面から加工が施され（A-段階2）、端部折損（A-段階3）後、左側面で腹面から再加工（A-段階4）が行われるが、本体246は遺棄される。

分布 Sb-96のK24、Sb-97のI25、J24、K23・24、Sb-99のI21、J22、K21、Sb-100のJ20区に分布する。分布は①Sb-97のK24区周辺、②Sb-99・100のI21、J20・22、K21区に分けら

れ、①には個体A（端部の欠損品除く）、段階1～6（段階6の最終段階の剥片除く）が、②には個体Aの端部欠損品、段階6の最終段階以降の遺物（石刃核含む）が分布する。また、①では個体Aが散漫に、個体Aを除く一次剥離の遺物が高密度に分布する。以上のことから①で剥離が行われた後、②に石刃核が持ち込まれ、剥離が行われたものと考えられる。但し、②ではすぐに作業面が階段状になり、良形の石刃は剥離されず、作業面転移によって縦長剥片が剥離され、影器の素材となっている。

母岩別資料958・接合資料4152（図Ⅲ-463・464、図版345-1）

母岩別資料は接合4152の他、剥片3点で構成され、総点数37点、総重量619.6gである。

素材 34点（28個体）が接合し、重量は598.8g、大きさは14×10×9cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、原石の状態でも搬入される。

剥離工程 原礫面の上面から正面への剥離（段階1）後、正面から上面への剥離で打面が作出され（段階2）、頭部調整を伴わない厚手の剥片剥離後、頭部調整を伴う石刃剥離（段階3）が連続的に行われる。石刃剥離が困難になった段階で、左側面から正面、正面から左側面下部、と多方向のやや粗い剥離が行われ、剥離は終了する。

剥離される石刃（288など）は、長さ8cm程度で、全般的に欠落している。石刃1点は影器82に加工される。Ⅱ類の影器82は長さ6.8cm幅3.0cmの側面形が直線的な石刃素材で、背面両側縁に急角度の調整が施され、素材先端側に影刀面が作出される。素材端部から影刀面までの距離は2.7cmで、全て影刀面再生によるものとすると10数回の再生が行われたことになる。段階2の打面作出剥片（個体A）は、素材先端側の縁辺部に後調整が行われ、原礫面打面から削片（130など）が連続的に剥離される。

分布 Sb-97のH23、I23、J23、K22～24、Sb-98のL21、Sb-99のK21、Sb-100のK18・20、Sb-101のL18、M18区に分布する。分布は、①Sb-97のK24区周辺、②Sb-97のH23、I23、K22・23西側、③Sb-98・100、④Sb-99のK21区、⑤Sb-101のL18区周辺に分けられ、①④⑤は高密度、②③は散漫な分布である。①には個体Aを除く大部分の遺物、②には影器・石刃・厚手剥片、③には石刃、④には個体Aの前半部、⑤には個体Aの後半部が分布する。このことから②～⑤の遺物は①から持ち込まれたことが想定され、さらに個体Aは途中で④から⑤への移動が想定される。

母岩別資料1000・接合資料4257（図Ⅲ-464・465、図版345-2）

母岩別資料は接合4257のみある。

素材 50点（42個体）が接合し、重量は925.7g、大きさは14×13×9cmである。風化によりザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、原石の状態でも搬入される。

剥離工程 正面から上面への剥離で打面が作出され（段階1）、正面での粗い剥離の後、正面・右側面・裏面で頭部調整を伴って石刃が連続的に剥離される（段階2）。

剥離される石刃は、8cm程度で、多くが欠落している。段階1の断面三角形の打面作出剥片（個体A）は、甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に整形され、搬出される。

分布 Sb-97のJ24、K23・24、L23、Sb-98のL20、Sb-99のI21区に分布する。個体Aを含むほとんどの遺物がSb-97のK23・24区に高密度に分布し、良形の石刃がSb-98のL20区、石刃核がSb-99のI21区に分布することから、それらの遺物がK23・24区からL20、I21区に持ち込まれたと考えられる。

母岩別資料1141・接合資料4623（図Ⅲ-465、図版346-1）

母岩別資料は接合4623の他、接合4624・4625、縦長剥片3点、剥片14点で構成され、総点数53点、総重量585.2gである。

素材 31点 (16個体) が接合し、重量は541.9g、大きさは12×11×10cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、原石ないし上面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 上設の単剥離打面から粗い剥離による石核調整後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。

剥離される石刃は、長さ9～12cmで全般的に欠落し、搬出される。

本接合資料では石刃を素材として彫器1点 (60)、搔器1点 (164) が製作される。I類の彫器60は長さ10.7cm幅 (2.5) cmの石刃素材で、先端部折損後、素材先端側に彫刀面が作出される。側縁調整は背面基部側の両側縁に斜角の加工が施され、基部がすばまる形状に整形される。先端部は、彫刀面側は不明であるが、右側縁は彫刀面打面のみ加工が施される。素材形状と残存する彫器の形態から彫刀面再生の可能性は数回程度で少ないと思われる。搔器164は先端部にやや反りのある石刃素材で、両側縁には加工が施されず、素材先端部の刃部右側のみ加工が行われ、弧状の刃部が作出される。素材と比較して、長さはほとんど、幅は全く変化が無く、刃部再生は全くと言っていいほど行われない。これらの彫器60と搔器164を比較すると、彫器には背面中央に稜線が残るやや厚手で側面が直線に近い石刃が利用され、搔器には背面左側に稜線が偏るやや薄手で先端部に反りのある石刃が利用され、それぞれの選択性が認められる。

分布 Sb-97のH24・J23、Sb-101のL18、M18、N18区に分布する。Sb-97のH24、J23区に分布する搔器164を除いてSb-101のM18区周辺にまとまって分布し、搔器のみ持ち出されたと考えられる。

母岩別資料1164・接合資料4678 (図Ⅲ-466、図版346-2)

母岩別資料は接合4678の他、接合4679・4680、剥片10点で構成され、総点数62点、総重量678.9gである。

素材 46点 (36個体) が接合し、重量は643.5g、大きさは13×9×9cmである。風化によってザラついた平坦面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、原石の状態でも搬入される。

剥離工程 上面の原礫面打面から正面・左右側面で頭部調整を伴わない打面の大きい粗い剥離 (段階1) が行われ、それによって作出された正面の峰状の角で頭部調整を伴って石刃が剥離される (段階2)。

剥離される石刃は長さ7cm程度で、良形の石刃は少なく、欠落するのは一部である。段階1で剥離された厚手の剥片 (個体A) は甲板面である腹面からの加工によって舟底形石器に整形され、本体は搬出される。

分布 Sb-101のL19、M18・19、N18区にまとまって分布し、周辺のN20、O19区の遺物を含め、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料1007・接合資料4275 (図Ⅲ-466、図版347-1)

母岩別資料は接合4275のみである。

素材 13点 (13個体) が接合し、重量は298.3g、大きさは10×8×5.5cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、右側面に大型のボジ面がある大型剥片の形状で搬入される。

剥離工程 正面から上面への剥離で打面が作出され (段階1)、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる (段階2)。剥離される石刃の長さは6・7cmで、部分的に欠落し、搬出される。

分布 Sb-97のK23、Sb-99のJ21、J21・22、K22、Sb-100のK20区に散漫に分布し、Kライン周辺には初期の石刃が多い。

母岩別資料1142・接合資料4626 (図Ⅲ-467、図版347-2)

母岩別資料は接合4626の他、剥片5点で構成され、総点数51点、総重量2,997.0gである。

素材 46点(20個体)が接合し、重量は2,948.0g、大きさは22×18×12cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程 上面から正面への剥離(段階1)の後、正面から上面への剥離で打面が作出され(段階2)、正面で剥離が行われる(段階3)。下部の稜調整(段階4・5)後に、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離され(段階6)、最終的に石核324の作業面には両端を取り込み非常に幅広い剥離面が残る。

剥離される石刃は長さ13~17cmで、作業面形状が平坦な状態で剥離が進行するため、幅広く、両側縁が平行するものが少ない。石刃・縦長剥片は中間段階のものが主に欠落している。

分布 Sb-102のH18・19、I18・19区にまとまって分布する。

母岩別資料965・接合資料4173・4174 (図Ⅲ-468~470、図版348)

母岩別資料は接合4173・4174の他、剥片6点で構成され、総点数39点、総重量1,132.1gである。

素材 接合4173は15点(10個体)が接合し、重量は514.7g、大きさは16×11×7cmで、接合4174は18点(16個体)が接合し、重量は538.4g、大きさは15×8.5×8cmである。平滑な原礫面と爪状痕のある原礫面の両方を持つ転礫素材で、おそらく粗い剥離の行われた状態で搬入される。

剥離工程 接合4173・4174は石刃が欠落しているために接合できないが、両方の左側面に同一面と見られる大型の剥離面があり、同一母岩と認定できる。本母岩では粗い石核調整後、上設の単剥離打面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、接合4173は左側面~正面、接合4174は正面~右側面に相当し、接合4174では下面から正面への剥離(段階2)が見られる。

剥離される石刃(290・291・293・296・294・287など)は、石刃核高の減少に伴って長さの変異が大きく、初期段階では最大16cm(291)、最終段階では最小6cmの石刃が剥離される。また、石刃には特徴的に先端部に反りが見られる。剥離される石刃自体も多く、良形の石刃が連続的に剥離されているため、多くの石刃が欠落し、搬出されている。

本母岩では影器1点(57)、搔器3点(173・152・154)、削器1点(184)が製作される。I類の影器57は、長さは推定で11cm、幅は不明のおそらく先端部に反りのある石刃素材で、素材先端側に影刀面が作出される。側縁調整は背面基部側の両側縁に急角度の加工が行われ、素材打面が除去され、基部がすぼまる形状に整形される。先端側は、影刀面側は不明であるが、右側縁は影刀面打面のみ加工が施される。推定される素材端部から影刀面まで5cmあり、全て影刀面再生によるものとする二十数回の再生が行われたことになるが、先端部の反りの除去などを考慮に入れるともっと少ないと思われる。

搔器173は長さ・幅不明の先端部に反りのある石刃素材で、左側縁先端側が平坦剥離で加工され、先端部に弧状の刃部が作出される。素材と比較して、長さ・幅ともにほとんど変化が無く、刃部再生は全くと言っていいほど行われない。搔器152は、長さ8.3cm幅3.0cmの先端部に反りのある石刃素材で、背面基部側の両側縁に斜角の加工が施され、先端部に弧状の刃部が作出される。長さは素材と比べ5mm減少しているが、刃部再生の頻度は少ないと思われる。搔器154は、長さ6.9cm幅(2.8)cmの先端部に反りのある石刃素材で、背面両側縁に不連続な加工が施され、先端部に弧状の刃部が作出される。長さは素材と比べ3mm減少しただけで刃部再生は全くと言っていいほど行われない。

削器184は長さ8.9cm幅2.1cmの先端部に反りのある石刃素材で、左側縁先端部・右側縁中央部に急角度の加工が見られる。

このほか、二次加工ある剥片280の左側縁先端部には平坦剥離による加工が施される。

器種毎の素材を比較すると、影器には側面形が直線的な石刃が、搔器には先端部が肥厚して反りのあるやや厚手の甲高の石刃が、削器・二次加工ある剥片には末端部を取り込んだ石刃が利用される。

分布 接合4173はSb-97のH24、K22・23、L22・23、M21・22、N21、Sb-100のJ19、K19・20に分布し、接合4174はSb-97のH23、L22・23、M22、Sb-100のK19・20に分布する。分布は①Sb-97のK23～N21区、②Sb-97のH23・24区、③Sb-100のJ19、K19・20区に分けられ、全て散漫な分布である。①には搔器154、石刃、剥片が、②には彫器57、大型石刃が、③には搔器152・173、削器184・二次加工ある剥片280、石刃核、石刃が分布する。分布の主体は①で、そこから②③に搬入されたと考えられる。

母岩別資料1016・接合資料4287 (図Ⅲ-470・471、図版349-1)

母岩別資料は接合4287のみである。

素材 10点(8個体)が接合し、重量は477.9g、大きさは9×8×7cmである。平坦面とガスが抜けたようなあばた状の原礫面(蜂の巣沢の原石に類似する)を持ち、角が丸い亜角礫を素材として原石の状態でも搬入される。

剥離工程 正面から上面への剥離で打面が作出された(段階1)後、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる(段階2)。原石が小さいため、剥離される石刃の本数は少なく、ほとんど欠落していない。

分布 Sb-97のL22・23、M21、Sb-100のK19区に分布する。Sb-100のK19区に離れて分布するのは厚手の打面作出剥片である。

母岩別資料1028・接合資料4322 (図Ⅲ-471、図版350-1)

母岩別資料は接合4322の他、接合4323、剥片1点で構成され、総点数34点、総重量1,571.1gである。

素材 28点(27個体)が接合し、重量は1,517.5g、大きさは16×12×9cmである。ややザラついた平坦面を持ち、角が丸くなった転礫を素材として、原石の状態でも搬入される。

剥離工程 正面から上面へ打面作出(段階1)後、頭部調整の無い打面の大きい剥離が、上面から正面(段階2)、下面から正面(段階3)へ行われる。その後、上下打面を入れ替えながら頭部調整を伴って石刃が剥離され(段階4～10)、途中、打面が潰れると下設打面再生(段階7)が行われる。最終的にはヒンジによって作業面に段差が生じ、修復するための下設打面からの剥離も階段状になり、剥離は終了する。

剥離される石刃は長さ10～12cmで、中間段階で剥離されたものが一部欠落する。石刃は1点(174)が錐形石器に加工されている。174は長さ(10.0)cm幅1.8cmの石刃素材で、両側縁に微細な加工が施され、先端部の左側縁には急角度の、右側縁には平坦な加工によって刃部が作出され、刃部先端右側縁には使用によると思われる櫛状剥離痕が残る。残存する石器端部と素材端部にはほとんど距離が無く、刃部再生の頻度は低い。石刃283の先端部には彫刀面状の剥離痕があるが、その表面状態から新しい剥離と判断した。また、同一母岩資料には下設打面作出剥片と見られる舟底形石器調整剥片の接合資料があり、舟底形石器1点が製作されている。

分布 Sb-97のJ22・23、K22・23、L22、Sb-99のJ21・22区に分布する。K23区を中心に分布し、北西側の周辺部に石刃が分布する。

母岩別資料1034・接合資料4337 (図Ⅲ-472・473、図版349-2)

母岩別資料は接合4337の他、接合4338・4339・56923～56925、舟底形石器1点、縦長剥片3点、剥片21点で構成され、総点数84点、総重量3,986.8gである。

素材 47点(29個体)が接合し、重量は3,058.8g、大きさは19×19×13cmである。一部平滑面が残り、角が丸くなった転礫を素材として、原石ないし原石に近い状態で搬入されている。

剥離工程 左側面から下面への剥離(段階1)、正面から上面への打面作出(段階2)後、左右側面での粗い剥離(段階3)、左側面下部(段階4)・正面下部(段階5)の石核調整、上面から正面への剥離(段階6)、左側面正面から石核調整(段階7)が行われ、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される(段階8)。階段状の剥離が連続して打面が潰れると、正面から打面再生(段階9)が行われ、再度石刃剥離が継続され(段階10)、階段状の剥離が連続し、作業面形状が悪化した状態で剥離は終了する。

剥離される石刃は長さ8~13cmで、段階10の11cm以下の石刃が欠落し、搬出されている。

本接合資料では段階3で剥離された厚手の剥片を素材として舟底形石器1点(個体A)・削器1点(個体B)が製作されている。個体A(247)は右側面で剥離された剥片素材で、甲板面である腹面から加工が行われるが、両側縁とも階段状の剥離が連続して粗い加工段階で遺棄される。個体B(193)は左側面で剥離された剥片素材で、左側縁に舟底形石器に類似する粗い加工が行われる。また、それら以外に段階2の厚手の剥片(二次加工ある剥片)にも粗い加工が見られる。

分布 Sb-97のK23、L21~23、M21・22、Sb-98のL20、M20・21、Sb-100のJ19、K19・20、Sb-102のI19区に分布する。分布は①Sb-97のM22区周辺、②Sb-98のL・M20区、③Sb-100のK20区周辺に分けられ、①に分布の主体がある。しかし、個体Aの調整剥片が③に分布する以外は、それぞれにまたがる折れ面接合が認められ、明確な内容の違いは認められない。

母岩別資料1108・接合資料4556(図Ⅲ-474・475、図版350-2)

母岩別資料は接合4556のみである。

素材 64点(46個体)が接合し、重量は1,850.1g、大きさは18×16×14cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、原石の状態でも搬入される。

剥離工程 正面から左側面(段階1)、上面から右側面(段階2)、正面から上面(段階3)への剥離の後、正面で頭部調整を伴わない剥離が行われる(段階4)。その後、正面から下面への剥離で下設打面が作出され(段階5)、頭部調整の無い上(段階4後半)下(段階6前半)からの剥離の後に、下設打面から正面で頭部調整を伴って石刃が剥離される(段階6)。

剥離される石刃は8cm前後が多く、最後は6cm程度で、その多くは欠落している。

本接合資料では削器1点(186)、舟底形石器4点(個体A~D)が製作される。削器186は段階6で剥離された長さ7.4cm幅(4.2)cmの剥片素材で両側縁に急角度の加工が施され、長さは変化が無く、幅は1cm程度減少している。個体Aは段階4の厚手の剥片で、先端部折損後、甲板面である腹面から加工が行われ、縁辺が潰れた時点で下縁からの加工で潰れを除去し、再び、甲板面から加工が施される。本体は欠落している。個体Bは段階5の下設打面作出剥片、個体C・Dは段階6前半の厚手の縦長剥片で一部下縁からの剥離が見られる個体Dを除き、甲板面である腹面から加工が施される。個体B~Dは全て側縁に階段状の剥離による潰れがあり、無理な加工により折損し、遺棄されている。

分布 Sb-97のK22・23、L22・23、M21・22、Sb-98のL20、M20、Sb-99のJ21、Sb-100のJ19・20、K19・20区に散漫に分布する。分布は①Sb-97のL22区周辺、②Sb-99のJ21区周辺、③Sb-98のL・M20区、④Sb-100のJ・K19周辺に分けられる。分布の主体は①で、②には舟底形石器の調整剥片のほとんど(一括遺物が多い)が、③には全ての舟底形石器が、④には多くの初期段階の剥片と削器・石刃核が分布する。

母岩別資料948・接合資料4125(図Ⅲ-476・477、図版351-1)

母岩別資料は接合4125の他、接合4126・56884、縦長剥片1点、石刃1点、搔器2点、剥片5点、

で構成され、総点数82点、総重量2,418.8gである。

素材 69点 (49個体) が接合し、重量は2,355.8g、大きさは20×16×12cmである。平坦な原礫面が残り、角が丸くなった転礫を素材として、原石の形状で搬入される。

剥離工程 右側面から左側面上部 (段階1)、上面から右側面 (段階2)、上面から正面 (段階3)、右側面から正面 (段階4)、正面から右側面上部 (段階5) への粗い剥離の後、正面から上面への剥離で打面作出 (段階6) が行われ、頭部調整を伴って石刃が剥離される (段階7)。石刃剥離の途中で、左側面下部 (段階8)・正面・右側面下部 (段階9) の石核調整が行われる。石刃剥離の最後がヒンジになり、剥離が終了している。

剥離される石刃 (295・286など) は長さ8~11cmで、ほとんどが欠落し、搬出される。

本接合資料には搔器2点 (155・170)、錐形石器1点 (176) が、非接合の同一母岩資料には搔器2点 (149・150) が含まれ、合わせて4点の搔器が製作されている。搔器155は段階7の先端部にやや反りのある石刃素材 (長さは不明) で、右側縁に平坦な加工が施され、先端部には急角度の剥離で円形の刃部が作出される。長さは不明であるが、接合資料から判断すると素材から3cm程度短くなっている可能性があり、刃部再生が頻繁に行われた可能性がある。搔器170は段階7最終段階に剥離された長さ7.6cm幅2.0cmの先端部に反りのある石刃素材で、両側縁に加工は施されず、先端部に平坦剥離による斜角の刃部が作出される。素材末端と刃部の距離は1.1cmであるが、素材の先端部は先細りの形状であるためほとんど刃部再生は行われていないと思われる。錐形石器176は段階8の最終段階で剥離された長さ6.1cm幅2.9cmの石刃素材で、素材形状は側面が直線的、平面形の左右先端部が張り出している。加工は末端部のみ施され、素材の右側縁末端部の張り出しを利用して斜めに錐状の刃部が作出される。刃部右側縁には使用によると思われる槓状剥離が残る。素材末端部と刃部の距離は0.6cmで、刃部再生頻度は低いと考えられる。同一母岩資料である搔器149・150は、両側縁とも連続的な斜角の加工が施され、刃部は、149が左に偏って斜めに、150が円形に加工される。また、149の先端部には素材の反りが残り、150は相対的に直線的である。

分布 Sb-96のJ25、Sb-97のG22~24、H22~24、I22・23、Sb-99のG22、I20、Sb-100のI20、J19・20、K19、Sb-102のH20、I18・20、Sb-103のH18、Sb-104のH17・18区に非常に広範囲に散漫に分布する。Sb-97に分布の主体があり、G23区には搔器149・150を含め全ての搔器が分布し、Sb-100には初期の大型剥片が、Sb-99・102~104には石刃などが、Sb-102には錐形石器176・二次加工ある剥片が分布する。

母岩別資料1104・接合資料4552 (図Ⅲ-477・478、図版351-2)

母岩別資料は接合4552の他、剥片5点で構成され、総点数30点、総重量932.1gである。

素材 25点 (17個体) が接合し、重量は914.3g、大きさは14×12×7cmである。角が丸くなったやや扁平な転礫素材で原石の状態でも搬入される。

剥離工程 頭部調整を伴わない厚手の剥片・縦長剥片が、上面から正面 (段階1)、正面から上面 (段階2) の交互剥離によって剥離される。

段階2の厚手の剥片 (個体A)、石核 (個体B) が舟底形石器に加工され、個体A (229) は先端部折損後、甲板面である腹面から両側面に加工が施され、本体は遺棄される。個体B (235) は作業面の最終剥離面を甲板面に設定し、甲板面から両側面に加工が行われるが、下縁を大きく取り去る加工の後、遺棄される。本接合資料は頭部調整を伴わない厚手の縦長剥片剥離が連続して行われ、舟底形石器が2点製作されていることから、主に舟底形石器製作を目的として剥離されたものと考えられる。

分布 全て Sb-97の K23、L23区に高密度に分布する。

母岩別資料1089・接合資料4520 (図Ⅲ-478・479、図版352上)

母岩別資料は接合4520のみである。

素材 40点(35個体)が接合し、重量は2,199.9g、大きさは16×14×9cmである。角が丸くなったやや扁平な転礫素材で原石の状態でも搬入される。

剥離工程 上面から左側面(段階1)、左側面から裏面(段階2)への剥離で2枚の扁平な剥片に分割された後、石核側では、上面から左側面(段階3)、正面から左側面(段階4)への剥離が行われる。次に、舟底形石器の調整剥離に類似する裏面から左側面への剥離(段階5)で大きく幅を減少させ、その最終剥離の際に本体が中央で折損すると、下部破片を利用して折れ面打面から正面・右側面で頭部調整を伴わない石刃剥離が行われる(段階6)。

剥離される石刃は少なく、ほとんどがアウトパッセで下端部を取り込み、遺棄されている。

段階2で分割された厚手の大型剥片(個体A)は、縦折れ(A-段階1)によってさらに分割された大型破片に舟底形石器に類似した粗い加工が腹面から左側縁に行われるが、本体の割器194は遺棄される。段階3の大型剥片(個体B)は、上部の剥離(B-段階1)後、若干の縦方向の剥離が行われ、遺棄される。

分布 Sb-97の H23・24、I23、L21・22、M21・22、Sb-98の L21区に分布する。分布は①Sb-97の L21・22、M21・22区、②H23・24、I23区に分けられ、①には大部分の遺物が高密度に分布し、②には個体Aの前半部、個体Bが分布する。

母岩別資料1079・接合資料4498 (図Ⅲ-479~481、図版352下)

母岩別資料は接合4498の他、剥片22点で構成され、総点数116点、総重量1,794.3gである。

素材 94点(76個体)が接合し、重量は1,717.1g、大きさは20×18×11cmである。爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、原石の状態でも搬入される。

剥離工程 右側面と正面の角を打撃し、上面で大型剥片が剥離(段階1)された後、上面から左側面・裏面・右側面で大型剥片剥離(段階2)、左側面から正面上部で粗い剥離(段階3)が行われる。

本接合資料では舟底形石器6点(個体A~C・E~G)、二次加工ある剥片1点(個体D)が製作される。

個体Aは段階1の非常に大型の剥片素材で、甲板面である腹面から左右側面に加工が行われ(A-段階1・2)、断面が三角形になった後、下縁からの加工が施され(A-段階3)、その後は甲板面から左右交互に加工が行われ(A-段階4~6)、段階6の打面は相対的に小さくなっている。本体は欠落し、その空隙部分は幅が狭く、小型であることからI類で搬出された可能性がある。

個体Bは個体A段階1の厚手の剥片素材で、甲板面である腹面から両側面に加工が施されるが、断面三角形になる前に加工は終了し、本体244は遺棄される。

個体Cは段階2の厚手の剥片素材で、接合資料は片側の初期の調整剥片と本体の舟底形石器I a類である220で構成される。本来はもう一方の調整剥片・後半の調整剥片が存在するはずであるが接合していない。部分的に残る接合資料から復元すると最初は甲板面である腹面から粗い加工が行われ、ある段階で押圧と見られる加工に変化し(舟底形石器II類からI類の変化に対応する)、最後に下縁部からの剥離で形状が整えられる。遺棄されている220の正面端部には折れ面が残り、左右側面には折れ面を切る加工が見られ、折れ面周辺に再加工が行われている。その折れ面は素材のほぼ中央付近にあたり、本体が中央付近で折損したものと思われる。また、折れ面はその状況からそれほど古いものではなく、I類に変化した後に折れたものと考えられ、220同様もう一方の舟底形石器の破片も再

加工され、製品で搬出された可能性が想定される。

個体Dは段階2の剥片素材で、縦折れ後、片側縁で比較的軽い平坦な加工が行われるが、ほとんど素材形状を変えずに本体（非掲載）は遺棄される。

個体Eは段階3の厚手の剥片素材で、甲板面である腹面から加工が施されるが、断面三角形になった段階で加工は終了し、遺棄される。

個体Fは石核素材で、裏面に残る段階2の大型剥離面を甲板面に設定し、甲板面から両側面に加工が施される。断面が三角形になった段階で下縁から下縁部調整が行われた後、再度、甲板面から加工される。本体は欠落し、搬出される。

個体Gは個体Fの調整剥片素材で、背面を甲板面に、腹面を側面に設定し、甲板面から加工が施される。断面が三角形になった段階で下縁調整が行われた後、打面の小さい加工が甲板面から行われ、折損後、一方のより大型の破片に甲板面から再加工が行われる。再加工の剥離が階段状になり、本体270は遺棄される。

本接合資料は厚手の剥片が連続して剥離され、多くの舟底形石器が製作されていることから、舟底形石器を目的として剥離されたものと考えられる。

分布 Sb-97のJ24、K23、L23、Sb-99のI21区に分布する。分布は①Sb-97のK・L23区周辺、②Sb-99のI21区に分けられ、ほとんどが①に高密度に分布し、②には個体A段階6の調整剥片、個体Cの舟底形石器I a類である220、個体Dの一部が分布する。このことから、一次剥離、舟底形石器調整の前半段階は①で行われ、舟底形石器II類からI類に変化する段階が②で行われた可能性がある。

母岩別資料1174・接合資料4701（図Ⅲ-482-484、図版353-1）

母岩別資料は接合4701の他、接合4702・4703、舟底形石器1点、剥片2点で構成され、総点数96点、総重量885.5gである。

素材 87点（69個体）が接合し、重量は791.7g、大きさは16×13×9cmである。角が丸くなった転礫素材で、原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程 裏面から上面への短軸方向の剥離面を打面として、上面から左側面（段階1）への剥離の後、上面から右側面（段階2）への剥離が行われる。

剥離される剥片は厚手で、薄手の剥片1点を除いて全て舟底形石器（個体A～C）に加工され、また、石核（個体D）も舟底形石器に加工されているため、全部で4点の舟底形石器が製作され、1点を除く全てが舟底形石器に加工されている。

個体A（371）は段階1の厚手の剥片で、甲板面である腹面から右側面（A-段階1・3）、左側面（A-段階2）に加工が施される。本体である舟底形石器I a類の211には下縁からの加工が残り、II類からI類に変化する段階で下縁部調整が行われている。また、端部には細石刃状の剥離痕が残り、舟底形石器削片が剥離されている。本体211の長さは素材の半分程度で、全てが削片剥離によって長さが減少したとすると90本程度の削片（幅4mm、厚さ1.5mmで計算）が剥離されたことになる。

個体B（372）は段階2の厚手の剥片で、甲板面である腹面から加工が行われるが、本体は粗い加工段階で折損し、遺棄される。

個体C（373）は段階2の厚手の剥片で、背面を甲板面に設定し、甲板面から右側面（B-段階1）、左側面（B-段階2）に加工が行われる。素材背面が甲板面に設定されるのは、素材の断面形が三角形でその最も長い辺が背面であったためと思われる。本体は欠落し、搬出されている。

個体D（374）は両側面がそれぞれ1枚の大型の剥離面で構成される石核素材で、打面である上面

が甲板面に設定される。下部から右側面への粗い剥離(D-段階1)によって高さを減少させた後、左側面(D-段階2)、右側面(D-段階3)で加工が行われ、段階3の途中で下縁から両側面に加工が見られる。本体は欠落し、搬出されている。

非接合の同一母岩資料である舟底形石器I A類の215は両側面とも甲板面・下縁からの加工が行われ、裏面には折れ面が、正面には細石刃状の剥離面が残る。

分布 Sb-96のL23、Sb-97のK23・24、Sb-98のM20、Sb-99のI21、Sb-100のJ19・20、K19・20、Sb-102のI19区に分布する。個体に関わらず、ほとんどがJ・K20区周辺に分布し、Sb-96・97のK24区周辺には個体Aの後半段階、個体Dの最終段階が分布する。Sb-99のI21区には舟底形石器I A類の211・215が分布し、それらはI21区に持ち込まれ、I A類に加工された可能性がある。

母岩別資料1120・接合資料4583 (図Ⅲ-484~486、図版353-2)

母岩別資料は接合4583のみである。

素材 77点(60個体)が接合し、重量は2,294.2g、大きさは17×15×15cmである。角が丸くなった転蹠素材で、原石の状態でも搬入される。

剥離工程 上面から正面への剥離(段階1)で二分割された後、その剥離面を甲板面として右側面で加工が施される(段階2)が、その後、裏面から左側面への剥離(段階3)が行われ、石核素材の舟底形石器の甲板面に設定される。

本接合資料では舟底形石器4点(個体A~D)が製作される。個体Aは段階1で剥離された厚手の大型剥片で、非常に粗い加工が左側面(A-段階1)、右側面(A-段階2)で行われるが、直径1.5cmの球顆が原因で折損し、本体の268が遺棄される。個体Bは個体Aの大型の調整剥片で、甲板面である腹面から両側面への粗い加工(B-段階1・2)によって素材剥離軸と舟底形石器長軸が直交するように整形される。最終剥離で端部を欠損し、本体の234が遺棄される。個体Cは段階3の厚手の剥片で、甲板面である腹面を打面として左側面(C-段階1)、右側面(C-段階2)、左側面(C-段階3)と順番に加工される。本体は欠落し、搬出される。個体Dは石核素材で段階3の剥離面を甲板面に設定し、甲板面から両側面に粗い加工が行われる(D-段階1・2)。その後、下縁部から加工が施され、さらに、甲板面から側縁が滑らかになるように細かい剥離が行われるが、中央で折損し、本体255は遺棄される。

分布 Sb-97のK22、L21~23、M21・22、N21、Sb-98のM20、Sb-100のK19、Sb-101のL19区に分布する。ほとんどがSb-97のL・M22区周辺に、一部Sb-98・100・101に分布するが、Sb-98のM20区に分布する個体Bの舟底形石器234以外は他の剥片との明確な違いは無い。

母岩別資料1186・接合資料4744 (図Ⅲ-487、図版354-1)

母岩別資料は接合4744のみである。

素材 29点(26個体)が接合し、重量は330.6g、大きさは11×11×7cmである。平滑な原礫面を持ち、角がやや潰れた亜角礫を素材として原石の状態でも搬入される。

剥離工程 正面から上面への剥離(段階1)によって原石が二分割され、それぞれ舟底形石器に加工される。個体Aは断面三角形の厚手の剥片素材で下縁からの剥離後、甲板面である腹面から加工が行われる。個体Bは石核素材で上面を甲板面に設定し、甲板面から両側面に加工が施される。最初に剥離された厚手の調整剥片(個体C)は甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に整形される。個体A~Cは全て本体が欠落し、搬出されたと思われる。

分布 Sb-101のL18・19、M18~20、N18~20、O19区に分布する。分布は①M18区北東部周辺、

②M19区南西部周辺に分けられ、①には個体B後半、②には個体Cを含む個体B前半が分布し、個体Aは明瞭な段階差を持たずに両者に分布する。

母岩別資料1091・接合資料4522 (図Ⅲ-487、図版354-2)

母岩別資料は接合4522のみである。

素材 6点(5個体)が接合し、重量は140.7g、大きさは8×6×3cmである。角が丸くなったやや扁平な非常に小型の転礫素材で、原石ないし原石に近い状態で搬入されている。

剥離工程 上面の剥離面から右側面への剥離(段階1)の後、上面から左側面へ剥離が行われる(段階2)。本接合資料の剥離目的は不明である。

分布 Sb-97のK22・23、L22区にやや散漫に分布する。

母岩別資料1191・接合資料4752 (図Ⅲ-488・489、図版354-3)

母岩別資料は接合4752の他、接合57000、剥片1点で構成され、総点数64点、総重量2,612.2gである。

素材 61点(35個体)が接合し、重量は2,570.5g、大きさは26×19×8cmである。爪状痕のある原礫面を持つ扁平な転礫素材で裏面に大型の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 左側面下部で、左側面から正面(段階1)→正面から左側面(段階2)→左側面から正面(段階3)への交互剥離が、右側面で、裏面から右側面(段階4)→右側面から裏面(段階5)→裏面から右側面(段階6)→右側面から裏面(段階7)→裏面から右側面(段階8)→右側面から裏面(段階9)への交互剥離が行われた後、打面・作業面を入れ替えながら、左側面から正面(段階10)→左側面から裏面(段階11)→裏面から上面(段階12)→裏面から右側面(段階13)→右側面から正面(段階14)→右側面から裏面(段階15)への剥離が行われる。頻繁に作業面が転移された結果、本体52は両面調整石器になるが、ほとんど縁辺部調整が行われず、また、断面形を凸レンズ状に変化させる意図も認められないため、尖頭器の未成品とは異なっている。

段階13の厚手の剥片である個体A、段階15の厚手の剥片である個体Bには二次剥離が行われる。個体Aは本体が折損した素材の表面で軽微な頭部調整を伴う縦長剥片剥離が行われ、そのうち1点は縁辺部に軽微な加工を施して削器189が製作される。個体Bも本体が折損した素材で横方向の剥離が行われる。

分布 Sb-104のI15、J15、K17区に高密度に一つの集中域を形成して分布する。

母岩別資料1074・接合資料4480 (図Ⅲ-489、図版355-1)

母岩別資料は接合4480のみである。

素材 17点(14個体)が接合し、重量は649.0g、大きさは19×9×7cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた垂角礫を素材として原石の状態で搬入される。

剥離工程 上面から正面(段階1)、左側面から裏面(段階2)への剥離が交互剥離で行われた後、右側面から裏面下部(段階3)、下面から裏面(段階4)への剥離が下面から正面への剥離と交互に行われる。さらに、右側面から正面上部(段階5)、上面から裏面(段階6)、上面から正面(段階7)への剥離が交互に行われる。細長く扁平な原石の上下端部で正面・裏面に交互剥離が行われるが、全て頭部調整の無い粗い剥離で、一部段階4の縦長剥片が欠落している。

分布 Sb-97のL21・22、M21・22区にやや散漫に分布する。

接合資料5951 (図Ⅲ-490、図版355-2)

素材 4点(3個体)が接合し、重量は29.1g、大きさは12×3.5×1cmである。原石形状は不明で、小型の尖頭器で搬入された可能性がある。

剥離工程 縁辺の一部に平行剥離が見られる薄手で小型の尖頭器が、右側縁から裏面への剥離の際に折損する。その後、下部破片の右側縁で折れ面の縁辺から5mm程度内側を加撃して削片が剥離される。削片剥離は1回のみで、削片の腹面は波打ち、加工は行われない。

分布 Sb-101のL17、M17区に近接して分布する。

接合資料5822 (図Ⅲ-490、図版355-3)

素材 5点(5個体)が接合し、重量は156.5g、大きさは19×6×1.7cmである。原石形状は不明で、20cm程度の尖頭器で搬入された可能性がある。

剥離工程 表面全体が平坦剥離面で覆われた尖頭器が左側縁から裏面への剥離面が原因で折損し、個体A・Bに分割される。個体Aは上端から左側縁への削片剥離後、右側縁で折れ面から最低2回の削片剥離が行われ、その腹面末端部は波打っている。また、削片剥離後に正面中央付近の稜に削片剥離面から細かい加工が行われる。個体Bは左側縁で折れ面から大きく2回の削片剥離が行われ、正面の折れ面との角には潰れた加工が見られる。削片は全て末端部を取り込んでおり、遺棄されている削片には加工が見られない。個体Bの断面三角形の一次削片は折れ面の縁辺から9mm程度内側を加撃して剥離され、個体Aの欠落部分が一次削片剥離によるものとする10mm程度内側を加撃したものと推定される。一方、個体A・Bの二次削片は折れ面の縁辺から2mm程度内側(打面厚に相当)を加撃して剥離されており、両者の違いが認められる。

分布 Sb-98のM21、Sb-101のK19、L19区に分布し、M21区に分布する個体Bの一次削片37を除いて非常に近接して分布する。

母岩別資料1039・接合資料4349 (図Ⅲ-491、図版355-4)

母岩別資料は接合4349の他、接合4348・4350、削片18点で構成され、総点数67点、総重量1,293.7gである。

素材 23点(17個体)が接合し、重量は676.5g、尖頭器折損時(382)の大きさは20.5×7×1.7cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として粗い剥離による大型の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 接合4349の全体図は掲載していないが、382に尖頭器調整削片が接合し、その幅は13cmで、表面は粗い剥離面で構成される。最初は打面の大きい粗い加工が行われ、次第に打面の小さい平坦な加工が行われる。正面には段差が生じ、その段差を除去するような右側縁からの加工の際に本体は折損する(段階1)。折損後、下部破片の左側縁で折れ面から削片剥離が行われる(段階2)。本資料には削片(図版355-400)1点が接合しているが、その背面には先行の削片剥離痕が残り、その剥離面を切る稜調整状の加工が見られる。また、尖頭器32の正面の折れ面の角には細かい加工が施される。同一母岩には全周を加工された削器(図Ⅲ-388-190)がある。

分布 Sb-97のK22・23、L22・23、M22、N21、Sb-100のK20、Sb-101のL19区に分布する。分布は①Sb-97のL22区周辺、②Sb-100のK20区周辺に分けられ、粗い加工段階は①にやや散漫に、打面の小さい平坦剥離段階以降(削片剥離を含む)は②に分布する。また、同一母岩の削器は両者と異なるI23区に分布する。

母岩別資料972・接合資料4197 (図Ⅲ-491・492、図版356-1)

母岩別資料は接合4197のみである。

素材 7点(6個体)が接合し、重量は548.6g、全体(図版356-512)の大きさは22×9×3.7cm、尖頭器折損時(383)の大きさは22×8×3.3cmである。原石形状は不明で、粗い両面調整体で搬入された可能性がある。

剥離工程 図版356-512は接合資料4197全体の写真で、383は尖頭器折損時の図である。やや粗い平坦剥離が両面左右から行われ、左側縁から正面の剥離で上部を折損する（段階1）。その後、折れ面縁辺から15mm内側を加撃して右側面で削片（図版356-399）が剥離される（段階2）。削片は尖頭器の下端部を大きく取り込み、中央で折損し、加工は行われない。

分布 Sb-97のH22・23、I24・25、J24区に分布する。分布は①I24南東部周辺、②H22・23区に分けられ、①には尖頭器調整剥片と削片の先端側が、②には尖頭器と削片の打面側が分布する。

母岩別資料1087・接合資料4508（図Ⅲ-492、図版358-1）

母岩別資料は接合4508の他、接合4509-4518・56958、剥片21点で構成され、総点数108点、総重量1,796.7gである。

素材 38点（25個体）が接合し、重量は824.8g、全体（図版358-514）の大きさは22×15×6.5cm、削片と尖頭器の接合資料（384）の大きさは13×7×2.7cmである。風化した古い剥離面と爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程 図版358-514は接合資料4508全体の写真で、384は削片剥離時の図である。最初は打面の大きい粗い加工が行われ、次第に打面の小さい平坦な加工が行われる。折損の原因は不明であるが、折損後は折れ面から右側縁に削片剥離が行われる。一次削片1点（図版358-398）、二次削片1点（図版358-401）が接合し、その他二次削片1点が欠落する。末端部がヒンジの一次削片剥離後にその段差を除去する調整が行われるが、以後の削片も末端部はヒンジになっている。

分布 Sb-97のJ24、K23・24、L23、Sb-99のI21、K21、Sb-100のK20区に分布する。ほとんどの遺物がSb-97のK23・24区周辺にやや散漫に分布し、尖頭器加工の最終段階・尖頭器削片・尖頭器がSb-99・100に非常に散漫に分布する。

母岩別資料1121・接合資料4584（図Ⅲ-493、図版357-1）

母岩別資料は接合4584の他、接合4585、尖頭器1点、剥片42点で構成され、総点数76点、総重量1,815.3gである。

素材 31点（25個体）が接合し、重量は1,136.7g、全体（図版357-513）の大きさは22×16×9cm、尖頭器折損時（385）の大きさは20×11×4cmである。平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程 図版357-513は接合資料4584全体の写真で、385は尖頭器折損時の図である。最初は打面の大きい粗い加工が行われ、次第に打面の小さい平坦な加工が行われる。やや粗い加工の段階で内在する傷から尖頭器は折損し、下部破片を利用して縦長剥片（図版357-457・458）が剥離される。縦長剥片は連続して剥離され、石刃核322は非常に薄くなっている。322には頭部調整が見られ、縦長剥片剥離後半には頭部調整が行われたと考えられ、それらの縦長剥片・石刃は欠落している。

分布 Sb-97のL22・23、M21・22、N21区にやや散漫に分布し、尖頭器折損前後で分布の偏りは見られない。

接合資料5837（図Ⅲ-493、図版356-2）

素材 3点（3個体）が接合し、重量は63.5g、大きさは13.5×4×1.6cmである。原石形状・搬入形態は不明である。

剥離工程 幅広い剥片素材で、剥離軸と直行する方向で折損した素材を利用して、両側縁に平坦な加工が行われ、その途中で折損する。折損後、両破片で削片剥離が行われる。上部の小破片である個体Aは折れ面から右側縁で1・2回削片が剥離されるが、末端部がヒンジになり終了する。下部の大きい破片である個体Bは折れ面から左側縁で最低2回削片が剥離され、削片129の背面に残る先行の削

片は直線的で、削片129は下端部を取り込んでいる。

分布 Sb-100のJ19、K19区に分布し、個体の偏りは見られない。

母岩別資料1220・接合資料5801・5843 (図Ⅲ-494、図版356-3・4)

母岩別資料は接合5801・5843の他、削片1点で構成され、総点数7点、総重量36.2gである。

素材 接合5801は3点(3個体)が接合し、重量は15.1g、大きさは11×2.2×1.2cmで、接合5843は3点(3個体)が接合し、重量は19.9g、大きさは8.8×3.3×1.2cmである。原石形状不明の白色の頁岩製で、おそらく扁平な斧形石器で搬入される。接合資料5801・5843は石質・模様・技術的特徴などから同一斧形石器と判断でき、おそらく同一個縁で、本体折損後にそれぞれの破片の個縁で削片剥離が行われたと思われる。具体的には接合資料5801の上部が刃部、下部が折れ面側で、接合資料5843の下部が折れ面側、上部が基部側に相当し、そのように想定すると搬入時の斧形石器は長さ20cm程度であったと推定される。

剥離工程 接合資料5801の上下両面の限定された範囲(縁辺から5mm程度)には研磨面があり、局部磨製の斧形石器刃部と考えられる。両面には個縁からの平坦剥離面が残し、上部には端部から長軸方向の剥離面が残し、研磨面が剥離面を切っている。上部に残る刃部の輪郭、個縁の輪郭から素材の斧形石器の形状を復元すると、平面形は尖頭器の一方の端部を弧状(刃部に相当)に裁ち切った形状で、また、断面形は扁平な凸レンズ状で尖頭器のそれに類似する。

接合資料5801の削片剥離は、最初に基部部から2回(断面三角形の一次削片182、二次削片44)行われ(段階1)、次に刃部両面への剥離でノッチ状に作出された打面から二次削片43が剥離される(段階2)。このうち、一次削片182の打面側には背面側からの加工により錐状の刃部が作出される。

接合資料5843は推定される折れ面側から1回、削片(一次削片181)が剥離された(段階1)後、個縁から横方向の剥離が行われ(段階2)、基部部から二次削片118が剥離される(段階3)。一次削片181の先端側には右個縁には腹面から、左側縁には正面の稜からの剥離で錐状の刃部が作出され、刃部には使用によると考えられる錐状の剥離が残る。二次削片118は、素材打面側である上部部では主に左側面で削片剥離が行われ、素材先端側である下部部では右側面にノッチ状に作出された影刀面打面から下面に向けて影刀面が作出される。

分布 接合5801はSb-99のH22、I21、Sb-101のM18区に分布し、接合5843はSb-99のJ21、K21区に分布する。Sb-99に散漫に分布し、錐形石器182のみSb-101に分布する。

母岩別資料1158・接合資料4663 (図Ⅲ-495、図版357-2)

母岩別資料は接合4663の他、接合4662・4664で構成され、総点数25点、総重量856.4gである。

素材 4点(4個体)が接合し、重量は393.0g、大きさは14×8×4cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程 389は正面に石刃剥離面が残し、裏面の剥離はそれらを切っている。石刃剥離後に裏面の横方向の剥離が行われる。その後、下面の折れ面から左側縁で頭部調整の無い縦長削片が剥離され、剥離が裏面に大きく傾いた時点で剥離は終了する。

分布 Sb-101のM18、N18に散漫に分布する。

接合資料5823 (図Ⅲ-495、図版358-2)

素材 3点(2個体)が接合し、重量は112.3g、大きさは17.2×4.8×1.5cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、尖頭器の状態で搬入された可能性がある。

剥離工程 表面が滑らかで形態の整った尖頭器の先端部から裏面左側縁に削片が剥離される。下部の折損との前後関係、削片剥離の目的(尖頭器整形の可能性も考えられる)は不明である。

分布 Sb-101のL18、M17・18区に分布する。

母岩別資料1179・接合資料4719 (図Ⅲ-495、図版358-3)

母岩別資料は接合4719の他、接合4720~4728・56990~56992、剥片77点で構成され、総点数113点、総重量311.8gである。

素材 2点(2個体)が接合し、重量は4.8g、大きさは4.2×1.9×0.8cmである。平滑な原礫面を持つ角礫素材で、搬入形態は不明である。

剥離工程 尖頭器の側縁で一次削片42が剥離される(段階1)。197はおそらく二次削片素材と考えられ、背面を甲板面に設定し、左側面は主に下縁から、右側面は上下から加工が施され、舟底形石器I a類に整形される。加工によって幅は素材7mmから5mmに減少し、最後に端部で細石刃状の剥離が行われる。両者とも打面が残存せず、折れ面打面かどうかは不明である。

分布 42はSb-101のM18区に、197は一括遺物でL19区に分布する。

写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料962・接合資料4157 (図版359) は、爪状痕のある原礫面を持つ扁平な転礫素材で、長さ28cm、正面に粗い剥離がある状態で搬入される。右側面から裏面への剥離を中心に両面左右から粗い加工が行われるが、中央で折損し、粗い尖頭器396は遺棄される。Sb-99のJ21区に高密度に分布し、一部は北側に散漫に広がる。

母岩別資料1022・接合資料4300 (図版360) は、両面に平坦面が残り、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ21cm、正面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。前半は打面転移を頻繁に繰り返しながら周縁からやや粗い平坦剥離が行われ、厚みを減少させている。後半は打面の小さい薄い平坦剥離に変化し、長さ17cm程度の尖頭器で搬出される。前半に剥離された厚手の剥片は、甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に整形され、搬出される。Sb-97のK23区を中心に比較的高密度に分布し、個体・段階による偏りは見られない。また、初期の剥片2点がやや離れたSb-99(K21区)・101(K19区)に分布する。

母岩別資料1112・接合資料4563 (図版361) は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ27cm、裏面に1枚の大型剥離面がある状態で搬入される。前半は両面左右から非常に粗い加工が行われ、また、正面中央に生じた稜を除去する長軸方向の剥離も見られる。後半は縁調整のある打面の小さい平坦剥離に変化し、本体の表面が滑らかに変化していく。加工が進み、厚さが1cm程度になった段階で14が欠損し、残りの10cm程度の尖頭器が搬出された可能性がある。分布は①Sb-97のK23~M21区、②Sb-100のK20区周辺に分けられ、両者ともやや散漫に分布する。ほとんどの遺物が①に、大型の剥片・尖頭器14が②に分布する。

母岩別資料1137・接合資料4619 (図版362上) は、一部平坦面が残り、角が丸くなったやや扁平な転礫素材で、長さ23cm、粗い剥離面がある状態で搬入される。両面で左右側縁から粗い加工が行われ、その段階で本体50は折損し、遺棄される。遺物はSb-97の南西端(K22~M21区)に散漫に分布する。

母岩別資料991・接合資料4231 (図版362下) は、平滑面と風化した剥離面と一部転礫面で構成される原礫面を持つ断面三角形の角張った転礫素材で、長さ27cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面の稜を除去し、厚さを減少させる上下から長軸方向の粗い剥離の後、左右側面から打面の小さい平坦剥離が行われる。左右からの剥離は中央の稜を越えるもので表面は滑らかである。最終的に表面が滑らかで断面形も整った23cm程度の尖頭器が搬出される。遺物はSb-97のK24区周辺にや

や高密度に分布し、離れた Sb-100 (K20区) に分布する遺物は剥片で他の遺物とは違いが見られない。

母岩別資料1109・接合資料4557 (図版363) は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ27cm、正面に大型の剥離面がある状態で搬入される。正面左側面からの粗い剥離を中心として厚みを減少させる剥離が行われるが、大きく上部を欠損し、403は遺棄される。遺物は Sb-99 の J21 区西側を中心に非常に高密度に分布する。

母岩別資料1153・接合資料4652 (図版364-1) は、ややザラついた平坦な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ28cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面で下面からの粗い剥離の後、右側面から粗い剥離が行われ、その際、本体は4つの破片に分割される。そのうち2個体で7cm前後の石刃(図版364-285など)が剥離される。遺物は Sb-101 の K19-N18区に散漫に分布し、分割された個体や段階による偏りは見られない。

母岩別資料1151・接合資料4648 (図版364-2) は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ20cm以上の原石に近い状態で搬入される。両面で左右側面からやや粗い平坦剥離が行われ、下部で折損する。折損後、上部破片である47には折れ面から右側面に削片剥離が行われ、さらに削片剥離面からの加工・上端の長軸方向の剥離・折れ面付近の再加工が行われる。下部破片には折れ面から左側面に削片剥離が行われ、さらに削片剥離面から裏面に横方向の剥離が行われる。削片には腹面から加工が施される。遺物は Sb-101 の K19-N18区に散漫に分布し、分割された個体による偏りは見られない。

母岩別資料1045・接合資料4365 (図版365-1) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ27cm、正面に粗い剥離面がある状態で搬入される。加工は主に左側面から裏面に行われ、それらは、原礫面打面からの粗い平坦剥離である。最後に下端部が折損し、下部破片である402にはその折れ面付近で縦長剥片が剥離される。上部破片は欠落し、搬出された可能性がある。遺物は Sb-97 の K22-M21 区にやや高密度に帯状に分布し、段階による偏りは見られない。

母岩別資料966・接合資料4175 (図版365-2) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ26cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。左側面の原礫面から正面に粗い剥離が行われた後、下面から正面への長軸方向の粗い剥離、左右側面から両面への粗い剥離によって下端部が薄く整形され、最後に両側縁から正面に中央の稜を越える平坦剥離が行われ、本体の表面が滑らかに変化している。本体の尖頭器は欠落し、搬出されたと思われる。遺物は Sb-97 の L22、M21・22区の狭い範囲に高密度に分布している。

母岩別資料1152・接合資料4650 (図版366-1) は、平滑な原礫面を持つ断面三角形の扁平な角礫素材で、15cm以上のおそらく原石の状態で搬入される。正面から上面への剥離で作出された打面から正面で石刃状の剥離が行われ、端部の厚みが減少した後、左右から打面の小さい中央の稜を越える平坦剥離が行われる。本体は欠落しているが、表面が滑らかで薄手の、断面が凸レンズ状の整った形態であったと思われる。遺物は Sb-101 の L18・19区周辺にまとまって分布している。

母岩別資料963・接合資料4159 (図版366-2) は、風化によりザラついた平坦な原礫面を持つ角礫素材で、長さ20cm以上の、粗い剥離が行われた状態で搬入される。比較的打面の小さい平坦剥離が上面・左右側縁から行われる。右側縁から剥離された剥片117は彫刀面打面のみ加工が施され、Ⅱ類の彫刀面作出後、彫刀面先端部調整が行われる。緻密な素材の大きさは不明であるが、剥離面の状況から彫刀面再生頻度は低いと思われる。遺物は Sb-97 の K24区周辺にまとまって分布し、彫器117は Sb-97 の H24、I23区に、大型剥片1点は Sb-99 の K21区に離れて分布する。

母岩別資料1044・接合資料4363 (図版366-3) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ28cm程度程度の粗加工された尖頭器で搬入される。左右両側縁から正面に中央の稜を越える平坦な加工が行われ、25cm程度の尖頭器で搬出される。遺物はSb-97のL22区周辺にやや散漫に分布する。

母岩別資料1058・接合資料4396 (図版367-1) は、風化によりザラついた原礫面を持つ角礫ないし亜角礫素材で、長さ22cmの粗い加工の尖頭器で搬入される。両面とも左右からの打面の小さい平坦剥離によって加工が行われ、一部端部からの加工も見られる。左側縁の裏面に残った瘤を除去する剥離の際に中央で折損し、上下破片とも再加工が行われる。上部破片(個体A)には主に右側縁から正面に加工が行われ、上端からの加工時に折損し、19が遺棄される。下部破片(個体B)には左側縁で折れ面を打面として削片39が剥離され、その後、その面を打面として折れ面で削片が剥離され、左側縁・折れ面で交互に削片が剥離される。最終的な本体は35で、削片剥離面から両面に加工が行われる。分布は①比較的高密度のSb-97のH25~J24区、②散漫なSb-97のH24、I23区周辺に分けられ、①には折損前のほとんどの削片、個体Aの前半部、個体Bの削片39が、②には個体Aの後半部、個体Bの削片39以外が分布する。

母岩別資料977・接合資料4207 (図版367-2) は、転礫面と風化した古い剥離面がある転礫素材で、長さ20cm程度、粗い剥離が行われた石刃核母型で搬入された可能性がある。正面から両側面への粗い石核調整の後、稜調整が行われる。上面の単剥離打面から頭部調整を伴う石刃が行われ、最後に、頭部調整の無い石刃が下面から剥離される。石刃核は高さ20cm程度と大型で、剥離される石刃(292)も19cmと長い。石刃核は無く、搬出された可能性がある。分布は①Sb-97のI24区周辺、②Sb-99のJ22区周辺に分けられ、②には良形の石刃が分布する。

母岩別資料1015・接合資料4286 (図版368) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ21cm、上下面に剥離面がある状態で搬入される。上面・正面での打面の大きい粗い剥離による石核整形後、上設の単剥離打面から正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われるが、石刃剥離頻度は低く、良形の石刃はほとんど無い。遺物はSb-97のK24区周辺にまとまって分布する。

母岩別資料1156・接合資料4655 (図版369-1) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ21cm、左側面に大型の剥離面がある状態で搬入される。上面から正面への粗い剥離の後、正面で稜形成が行われ、上設打面から頭部調整を伴って石刃が剥離され、その最終段階では下縁調整が見られる。剥離される石刃は長さ10~14cmで、初期の大型品が欠落する。側縁部で剥離された断面三角形の厚手の石刃は舟底形石器435に加工され、折損後は折れ面から長軸方向の剥離が見られる。また、後半の小型の石刃には縁辺に細かい加工が行われ、削器410が製作される。その他、初期の厚手の削片を素材として、三辺で縦長削片が剥離され、その石核492は遺棄される。遺物はSb-101のK18~N18区の広い範囲に散漫に分布し、初期段階の削片が北側に偏って分布する。

母岩別資料1145・接合資料4630 (図版369-2) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ16cm、上面に粗い剥離面がある状態で搬入される。上面・正面での粗い剥離、正面の稜調整後、上設の単剥離打面から正面へ頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。石刃核474は厚さが2cm程度まで減少し、ほぼ消費され、石刃剥離が順調に行われたと思われる。石刃は長さ8~10cmで、ほとんどが欠落する。初期の厚手の石刃1点には舟底形石器に類似する加工が行われる。遺物はSb-101のL19~N18区にやや散漫に分布する。

母岩別資料1050・接合資料4370 (図版370-1) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ15cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。右側面下部調整、上設打面作出後、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。長さ9cm前後の石刃が剥離され、トゥールに加工されるものを除くとほとん

どが欠落している。本接合資料では彫器1点(107)、搔器1点(161)、削器1点(185)が製作されている。Ⅱ類の彫器107は、先端部に反りの少ない長さ(8.5)cm幅3.1cmの石刃素材で、両側縁に軽微な加工が施され、先端側に彫刀面が作出される。素材先端部と彫刀面との距離は1.4cm程度で、全て彫刀面再生によるものとしても彫刀面再生は回数程度と思われる。搔器161は長さ9cm程度の先端部が肥厚する反りのある石刃素材で、両側縁に加工が施され、先端部に弧状の厚手の刃部が作出される。素材からの変化が少なく、刃部再生頻度は低い。削器185は長さ8cm程度の先端部にやや反りのある石刃素材で、両側縁に加工が施され、特に、右側縁に湾曲した素材の形状を残す加工が行われる。彫器には反りの少ない、搔器には反りのある石刃が特徴的に選択されている。遺物はSb-97のL23、N21、Sb-98のM21、Sb-100のJ19、Sb-101のL19、M19区の広い範囲に非常に散漫に分布し、段階・器種による偏りは見られない。

母岩別資料954・接合資料4138(図版370-2)は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ16cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。左側面・上面の粗い交互剥離による石核調整後、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。石刃の剥離頻度は低く、そのうち、1点が彫器109に加工される。Ⅱ類の彫器109は長さ6.8cm幅2.9cmの石刃素材で彫刀面周辺のみ加工が施され、先端側に彫刀面が作出される。素材端部と彫刀面の距離は1cm程度で彫刀面再生頻度は低いと思われる。遺物はSb-97のH23区周辺、I22・24区に分布する。

母岩別資料967・接合資料4176(図版370-3)は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ16cm、原石ないし原石に近い形状で搬入される。正面から上面への剥離によって打面が作出され、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われるが、その頻度は低い。打面作出剥片は腹面を、石核は打面をそれぞれ甲板面に設定し、甲板面からの剥離で舟底形石器に加工され、両者とも搬出される。舟底形石器は、その他に、同一母岩の接合資料に舟底形石器調整剥片があることから、1、2個体製作されている。遺物はSb-97のK24区周辺にまとまって分布し、石刃の打面部1点がやや離れたI24区に分布する。

母岩別資料997・接合資料4251(図版371上)は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ14cm、上面に剥離面がある状態で搬入される。右側面下部の剥離以外の石核調整は行われず、正面で頭部調整を伴って石刃が剥離され、途中で右側面調整が行われる。剥離される石刃(298など)の長さは6~9cmで、石刃剥離の頻度は高く、その多くは欠落し、搬出される。後半に剥離された石刃1点は彫器111に加工される。Ⅱ類の彫器111は長さ7.8cm幅3.7cmの幅広で先端に軽く反りのある石刃素材で、彫刀面付近のみ加工が施され、先端側に彫刀面が作出される。彫刀面は腹面に傾き、その周辺にも剥離が見られる。素材端部と彫刀面の距離は1cm程度で、彫刀面再生頻度は低い。ほとんどがSb-97のJ24~L23区にやや散漫に分布し、Sb-98のM21区に彫器、Sb-99のI21区に石刃核、Sb-101のK19区に折れていない良形の縦長剥片がやや離れて分布する。

母岩別資料1140・接合資料4622(図版371下)は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ15cm、原石の状態で搬入される。上面の平坦な原礫面を打面として、粗い剥離による石核調整後、やや打面の大きい頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。その後、180度の打面転移により、下面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、再度、打面転移によって上設打面から頭部調整の無い石刃が剥離される。剥離される石刃は長さ8~11cmで、欠落するものが多い。初期の粗い剥離段階での厚手の剥片は、素材左側面を打面として打面側・先端側の両端部で5cm前後の縦長剥片が剥離され、石核327が遺棄される。遺物はSb-101のK18~N18区に散漫に分布し、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料1187・接合資料4745(図版372-1)は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ11cm、原石の状態で搬入される。上面に打面作出後、正面で頭部調整を伴って6~9cmの石刃が剥離され、

最後に石刃核は、右側面下部への剥離によって二分割される。石刃剥離の途中で作業面下部調整が行われる。石刃は一部欠落し、厚手の打面作出剥片は甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に整形され、本体は欠落する。ほとんどがSb-101のM18区周辺に分布し、石刃核を分割した最終段階の剥片と石核がやや離れてK18・L17区に分布する。また、同様にO19区にも2点分布するが、他の石器との違いは見られない。

母岩別資料984・接合資料4220 (図版372-2) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ25cm、原石の状態で搬入される。正面から下面、右側面から上面への剥離後、上面から右側面にかけて裏面から剥離が行われ、その後半では頭部調整を伴って石刃が剥離される。その後、同一作業面で180度の打面転移が2回繰り返される。石刃剥離の頻度は低く、整った石刃はほとんど剥離されない。前半で剥離された厚手の剥片2点は、甲板面である腹面から加工され、舟底形石器に整形されるが、両者とも折損し、本体442・431は遺棄される。ほとんどがSb-97のI22～L21区にやや散漫に分布し、離れたSb-95のI26区には大型剥片が、Sb-100のH20、I20・21区には石刃1点以外は普通の剥片が分布する。

母岩別資料1138・接合資料4620 (図版373-1) は、平坦面が残り、角が潰れた亜角礫素材で、長さ17cm、上下に剥離面がある状態で搬入される。上面に作出された単剥離打面から正面・右側面で頭部調整を伴って石刃が剥離された後、下面・左側面で交互剥離が行われ、最後に左側面を打面として下面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は長さ8cm程度で、ほとんどが欠落している。左側面で剥離された厚手の剥片は両側縁にやや粗い加工が施され、削器414に整形される。分布は非常に散漫で、①Sb-97のK23～L22、②Sb-99のI21・K21区に分けられ、①に主体的に分布し、②には厚手の大型剥片・石核が分布する。

母岩別資料999・接合資料4256 (図版373-2) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ21cm、右側縁から両面に粗い剥離のある状態で搬入される。両面調整の途中、下面から正面への剥離の際に本体が二分割され、上部破片は横方向の石核調整の後、頭部調整を伴って8cm程度の石刃が剥離され、下部破片は打面と作業面を入れ替えながら交互剥離が行われる。最終剥離の剥片の側面には頭部調整に類似した剥離面が残り、下部破片でも石刃が剥離された可能性がある。上部破片では比較的整った石刃が剥離され、ほとんどが欠落している。下部破片で剥離された厚手の剥片は、片側面に主に腹面である甲板面から加工が施され、舟底形石器に整形されるが、本体257は遺棄される。ほとんどがSb-97のL22区周辺に分布し、石刃核のみSb-101のK19区に分布する。

母岩別資料1149・接合資料4640 (図版374) は、爪状痕のある原礫面を持ち、直径2cm大の大型球顆を多く含む転礫素材で、長さ27cm、上面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。正面で粗い剥離の後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。上設打面からの石刃剥離は、悪化した作業面形状を修復する下部調整を挟みながら継続され、最後はウートラパッセになった右側面下部を打面として左側面で頭部調整を伴う石刃が剥離される。石刃は、前半では15cm程度の整っていない形状のものが少量、後半では10cm程度の整った形状のものが連続して剥離され、後半の石刃が多く欠落している。前半の先細りの石刃1点は、先端部が尖頭状の削器(非掲載)に加工されている。遺物はSb-101・106のK17～N16区に分布し、M17区、N17区周辺の2か所に集中するが、それらには折れ面接合関係があり、本来一つの集中域が分断されたような分布形である。

母岩別資料1168・接合資料4687 (図版375-1) は、爪状痕のある原礫面を持つ扁平な転礫素材で、長さ17cm、裏面に大型の剥離面がある状態で搬入される。石核調整を行わずに、裏面上部への剥離で打面が作出され、打面再生を繰り返しながら、正面の平坦な作業面で頭部調整を伴う幅広の石刃が

剥離される。扁平な原石形状を反映して、作業面は平坦で、側面調整などが行われずに石刃剥離が進行するため、石核の作業面も平坦である。剥離される石刃は、幅広く、長さ12cm程度で、一部欠落している。遺物はSb-102のI18区周辺にまとまって分布する。

母岩別資料1143・接合資料4627 (図版375-2) は、爪状痕のある原礫面を持つ扁平な転礫素材で、長さ15cm、裏面上部に1枚の剥離面がある状態で搬入される。裏面上部の単剥離打面から頭部調整を伴い、幅広く長さ10cm程度の石刃が剥離され、石刃の一部は欠落する。石核調整は、剥離の最初の段階では見られないが、石刃剥離途中で左側面調整が行われる。本母岩は、大きさはやや小さいものの原石の形状・利用の仕方が母岩1168に類似する。遺物はSb-102のI18区周辺にまとまって分布する。

母岩別資料1047・接合資料4367 (図版376) は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ24cm、原石の状態での搬入される。下部を中心とする剥離の後、上面・正面で交互剥離が行われ、最後に正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は8~10cmで、ほとんどが欠落する。正面で上下から剥離された厚手の剥片は甲板面である腹面から加工が施され、舟底形石器に整形されるが、両者とも折損し、本体433・233は遺棄される。また、上面で剥離された厚手の剥片も部分的に加工が施される。遺物はSb-97のL・M22区周辺にやや散漫に分布するが、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料1122・接合資料4586 (図版377) は、一部平坦面が残り、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ26cm、裏面に大型の剥離面がある状態で搬入される。上下に打面が作出され、正面で上下から頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。上下の作業面は、最初は異なる平面で側面が「く」の字状であるが、後半には側面が弧状で同一の平面になる。剥離される石刃は、長さ10cm程度で、ほとんどが欠落している。初期の下設打面から剥離された石刃3点は、削器(413)・錐形石器(175)・舟底形石器に加工される。削器413は7cm程度の石刃素材で、右側縁にやや粗い加工が施され、折れ面である先端部から彫刀面状の剥離が見られる。錐形石器175は8cm程度の石刃素材で、刃部のみ加工が施される。刃部は両側縁にノッチ状の剥離によって作出され、刃部には桶状の剥離面が残る。舟底形石器(非掲載)は厚手の石刃素材で、腹面から片側縁に数回粗い加工が行われる。分布は、段階によって偏りが見られ、上下の打面作出・初期の下設打面からの石刃剥離段階の遺物はSb-97のH23~J24区の広い範囲に散漫に分布し、それ以降の遺物はSb-97のK・L23区に高密度に分布する。また、それらと離れて、削器413がSb-99のI21区、錐形石器175がSb-100のJ19区、縦長剥片1点がSb-102のI19区に分布する。

母岩別資料994・接合資料4248 (図版378上) は、一部平坦面が残り、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ24cm、原石の状態での搬入される。上面に打面作出後、厚手の剥片が正面で剥離される。その後、下設打面が作出され、一部上設打面からの剥離を挟み、下設打面から頭部調整を伴って11~13cmの石刃が剥離される。石刃は整ったものが少なく、ほとんど欠落しない。初期の厚手の剥片2点には1回の粗い加工が施される。遺物はSb-97のJ24~L23区に散漫に分布するが、段階・個体の違いは見られない。

母岩別資料1063・接合資料4401 (図版378下) は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫を素材として、長さ17cm、原石の状態での搬入される。正面からの剥離で上設打面作出後、主に正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。剥離される石刃は長さ10cm程度で、後半の比較的良形のもの欠落している。断面三角形の厚手で大型の打面作出剥片(個体A)は、甲板面である腹面から加工が施され、舟底形石器に加工され、搬出されている。ほとんどがSb-97のH24区周辺に分布し、離れた

K・L23区には個体Aの最終段階の調整剥片が分布するため、個体Aの最終段階のみK・L23区で行われた可能性がある。

母岩別資料1170・接合資料4692 (図版379) は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ21cm、原石ないし原石の状態で搬入される。正面からの剥離で上設打面作出後、上面から正面・右側面、左側面下部、正面下部で粗い剥離による石核調整が行われ、正面で頭部調整を伴って連続的に多くの石刃が剥離される。剥離される石刃は10~13cmで、約半数が欠落している。本接合資料では打面作出剥片(個体A)・初期の厚手の石核調整剥片(個体B~D)を素材として4点の舟底形石器が製作されている。加工は全て甲板面である腹面から行われ、本体は個体Bの438を除いて欠落している。遺物はL19~N18区にやや散漫に分布し、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1119・接合資料4579 (図版380-1) は、風化した古い剥離面とザラついた平坦な原礫面を持つ亜角礫素材で、長さ15cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面から右側面への剥離の後、正面から上面への剥離によって打面が作出され、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。最終剥離は打面の大きい粗い剥離である。剥離される石刃は長さ7~11cmで、後半段階の石刃のほとんどが欠落している。打面作出剥片(個体A)は甲板面である腹面から加工が施され、舟底形石器に加工されるが、本体は欠落し、搬出されている。ほとんどの遺物がSb-97のL23~M21区に分布し、個体・段階の偏りは見られず、最初に剥離された剥片1点がやや離れたSb-100のK19区に分布する。

母岩別資料953・接合資料4137 (図版380-2) は、風化した古い剥離面とあばた状の原礫面を持つ亜角礫素材で、長さ15cm、上面に剥離面のある状態で搬入される。上面への剥離で作出された打面から打面の大きい粗い剥離によって石核調整が行われ、頭部調整を伴って7~11cmの石刃が剥離される。石刃剥離頻度は高くないが、良形の石刃が剥離され、数本が欠落している。最終剥離面が波打ち、剥離が終了した残核466の右側面の稜は潰れ、その周辺にはパンチ痕が見られる。石核調整の際に正面で剥離された厚手の剥片(個体A)は甲板面である腹面から加工が施され、舟底形石器に整形されるが、本体は欠落している。ほとんどがSb-97のK23区南東部周辺にまとまって分布し、やや離れたSb-98・99のK21・M21区には良形の石刃が、Sb-99のI22区には石刃核が分布する。

母岩別資料1161・接合資料4667 (図版381-1) は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ15cm、原石の状態で搬入される。正面からの剥離で上設打面が作出され、正面・左右側面で原礫面を除去する頭部調整の無い粗い石核調整後、頭部調整を伴って長さ7・8cmの石刃が剥離される。石刃剥離頻度は比較的高く、欠落する石刃が多い。厚手の打面作出剥片(個体A)は、甲板面である腹面から加工が施されるが、本体は欠落している。遺物はM18・19区周辺にまとまって分布し、個体A・石刃はその中心部に、石核調整剥片は周辺部に分布する。

母岩別資料981・接合資料4216 (図版381-2) は、平坦面が残り、角が丸くなった亜角礫素材で、長さ17cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面の原礫面から裏面への粗い剥離の後、左側面・正面で粗い剥離が行われる。その後、左側面から下面への剥離面を打面として左側面で剥離が行われる。その後半に、頭部調整を伴う剥離が正面・左側面で行われるが、良形の石刃は剥離されていない。ほとんどの遺物がSb-97のJ23区周辺に分布し、やや離れたH22区に厚手の剥片が分布している。

母岩別資料989・接合資料4229 (図版381-3) は、あばた状の原礫面を持つ転礫素材で、長さ11cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面からの剥離で上設打面が作出され、正面・左側面で原礫面を除去する頭部調整の無い粗い石核調整後、頭部調整を伴って長さ8cm前後の石刃が剥離され

る。作業面に凹凸ができた段階で正面から上面に剥離が行われ、剥離が終了する。石刃の剥離頻度は高くは無いが、一部の石刃が欠落している。遺物のほとんどがSb-97のM21区周辺に分布するが、石刃2点・石刃核はその周辺部に分布している。

母岩別資料1166・接合資料4682(図版382-1)は、あばた状の原礫面を持つ転礫素材で、長さ11cm、上面に剥離面がある状態で搬入される。上設の単剥離打面から正面で頭部調整を伴う石刃が剥離された後、右側面から打面再生が行われ、右側面に作業面を転移し、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。前半に正面で剥離される石刃は8・9cm、後半に右側面で剥離される石刃は5・6cmで、両者とも多くが欠落している。遺物はSb-101のL19~O19区にまとまって分布する。

母岩別資料988・接合資料4228(図版382-2)は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ16cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。正面からの剥離で上設打面が作出された後、正面・右側面で頭部調整を伴って石刃が剥離されるが、良形の石刃は剥離されていない。最後は石刃核を縦に二分する粗い剥離が行われ、石核(個体A)を素材として舟底形石器が製作される。個体Aは作業面を甲板面に設定し、甲板面から加工が施されるが、本体(図版402-12)は遺棄されている。遺物は全てI24・25、J24・25区にまとまって分布している。

母岩別資料1162・接合資料4668(図版382-3)は、あばた状の原礫面を持つ非常に小型の転礫素材で、長さ9cm、おそらく原石の状態で搬入される。正面からの剥離で上設打面作出後、両側面で粗い石核調整が行われ、作業面幅を減少させた後、頭部調整を伴って5cm程度の小型の石刃が剥離される。石刃剥離頻度は低く、欠落するものも少ない。遺物はやや離れたSb-101のL17区に分布する石刃核を除いて、Sb-101のM18・19区に高密度に分布する。

母岩別資料1128・接合資料4597(図版383-1)は、風化した古い剥離面とザラついた転礫面を持つ転礫素材で、搬入形態は不明である。大型の原石を分割したような扁平な分割面を持つ大型の剥片素材で、裏面から右側面への大型の平坦剥離が行われ、中央で折損する。折損後は両破片とも折れ面を打面として側面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。8~10cmの石刃が剥離され、一部は欠落している。本接合資料では、錐形石器2点(177・179)、舟底形石器1点(437)が製作されている。錐形石器177は、長さ6.7cm幅2.5cmの短い石刃素材である。素材端部と刃部末端部の距離は1.2cmで、刃部再生がある程度行われた可能性がある。錐形石器179は、長さ不明、幅3.0cmの石刃素材である。素材の長さは厳密には不明であるが、剥離面の状況から素材と石器の長さはほとんど違いが無いと思われる。錐形石器は同一母岩の接合資料4596でも1点(178)製作されている。接合4596は接合4597との関係は不明であるが、石刃剥離が行われている。錐形石器178は、長さ7.5cm幅2.6cmの石刃素材である。素材端部と刃部末端部の距離は2.6cmで、刃部再生がある程度行われた可能性がある。これら3点の錐形石器の加工は酷似し、全て刃部のみに施され、両側縁へのノッチ状の加工によって刃部が作出される。また、177・179の刃部には極状剥離が見られる。大きさは177・178が類似し、刃部が左側に偏る形状も一致する。舟底形石器437は折損前の幅広の剥片を素材として甲板面である腹面から加工が行われ、折損後、遺棄される。

分布は①Sb-97のK23~M22区、②Sb-98・100~102に分けられ、両者ともに散漫な分布である。①に分布の主体があり、②のSb-98(L22区)には舟底形石器437、Sb-100~102(I19~M19区)には錐形石器・石刃の一部が分布し、特にSb-100(K19区)には錐形石器2点が分布する。

母岩別資料1030・接合資料4327(図版383-2)は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ19cm、正面に剥離面がある状態で搬入される。左側面に上面からの剥離の後、正面から上面、上面から正面への頭部調整が無い打面の大きい粗い剥離が交互に行われ、厚手の剥片が剥離される。遺物は全てSb

—97のL21・22、M21・22区に分布する。

母岩別資料1090・接合資料4521 (図版384-1) は、一部平坦面が残り、角が丸くなった小型の転礫素材で、長さ10cm、粗い剥離面がある状態で搬入される。上面の平坦剥離面を打面として正面で頭部調整の無い打面の大きい厚手の剥片が連続して行われるが、ほとんどが途中で階段状に割れ、加工されるものは無い。石核・剥片1点を除き、Sb-97のJ24・25区に高密度に分布し、石核はやや離れてK24区に、剥片1点はL24区に分布する。

母岩別資料1060・接合資料4398 (図版384-2) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ9cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面の原礫面を打面として頭部調整を伴わずに正面で剥片が剥離されるが、階段状になるものが多く、まともに剥離されていない。全てSb-97のL・M22区に近接して分布している。

母岩別資料1118・接合資料4578 (図版384-3) は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ17cm、原石の状態で搬入される。正面から上面への剥離で打面が作出された後、裏面・両側面で原礫面を除去する打面の大きい頭部調整の無い粗い石核調整が行われる。その後、裏面で石刃を剥離しようとしているが打面が潰れ、石刃は剥離されていない。次に、右側面から打面再生が行われ、裏面で頭部調整を伴う長さ8cm程度の石刃が剥離され、それらは欠落し、搬出される。厚手の打面作出剥片(個体A)は甲板面である腹面から加工が行われ、本体は欠落している。分布は①Sb-97のK23区周辺、②Sb-97のM21区周辺に分けられ、①はやや散漫な、②は高密度な分布である。①には個体A、②には打面再生後の石刃・石刃核が、それら以外は①②両方に分布する。

母岩別資料1123・接合資料4588 (図版385-1) は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ19cm、原石の状態で搬入される。右側面で上面から粗い剥離が行われた後、右側面から上面への剥離で打面が作出される。次に正面・右側に粗い剥離によって石核調整が行われた後、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。その後、正面からの打面再生、裏面上部に両側縁から石核調整が行われ、再度正面で石刃が剥離される。剥離される石刃は長さ10cm程度で、剥離頻度は低いが、良形のものが剥離され、そのうち数本は欠落している。また、石刃素材の削器187は右側縁に連続的な加工が施されるが、加工の最終剥離で折損し、遺棄される。分布は①Sb-97のL22区周辺、②Sb-98のM20区周辺、③Sb-101のL19区周辺に分けられ、全て散漫な分布である。分布の主体は①で、②には石刃核と厚手の剥片1点が、③には削器・良形の石刃1点が分布する。

母岩別資料1042・接合資料4353 (図版385-2) は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ17cm、上面に剥離面がある状態で搬入される。正面・左右側面で原礫面を除去する打面の大きい頭部調整の無い粗い剥離が行われ、最後に右側面を取り去る剥離により石核形状が大きく変化した状態で剥離が終了する。このような粗い剥離は、頭部調整を伴う石刃剥離直前の石核調整段階で頻繁に見られるもので、本接合資料はその段階で石核形状が悪化し、遺棄されたものと思われる。遺物は全てSb-97のL22、M21・22区の狭い範囲に集中して分布している。

母岩別資料1181・接合資料4730 (図版386上) は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ12cm、上面に剥離面がある状態で搬入される。右側面で下面から厚手の剥片剥離後、正面で打面厚1.5cm程度の厚手の縦長剥片が剥離される。右側面の剥片1点(個体A)、正面の剥片1点(個体B)、石核(個体C)は舟底形石器に加工される。個体Aは甲板面である腹面から加工が行われ、折損後、本体426が遺棄される。個体Bは、甲板面である腹面からの加工によって断面が三角形になった時点で下縁からの加工が行われ、さらに甲板面から加工される。個体Cは作業面を甲板面に設定し、甲板面から加工が行われる。個体B・Cは本体が欠落し、搬出される。個体に関わらずSb-97のL・

M22区周辺に分布し、舟底形石器426と個体A・Bの調整剥片の一部が周辺のSb-98・100に分布する。

母岩別資料1005・接合資料4272(図版386中)は、平滑な曲面とあばた状の原礫面を持つ亜角礫素材で、長さ18cm、原石の形状で搬入される。正面から上面への剥離後、上面から正面、正面から下面への剥離が行われ、最後に下面から両側面に剥離が行われる。遺物は1点を除き、Sb-97のK23～M22区に非常に散漫に分布し、厚手の剥片1点はSb-100のK20区に分布する

母岩別資料1116・接合資料4576(図版386下)は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ21cm、正面に大型の剥離面がある状態で搬入される。上面から左側面へ大型剥片の剥離後、左側面から下面、正面から下面に粗い剥離が行われる。その後、左側面から裏面への剥離が行われ、最後は石核(個体C)を素材として正面の作業面を甲板面に設定し、甲板面からの加工で舟底形石器が製作される。左側面の剥片(個体A)は、小口面で厚手の縦長剥片が剥離され、下面の剥片(個体B)は、甲板面である腹面からの加工により舟底形石器に整形されるが、本体は欠落する。分布は①Sb-97のK23～M21区、②Sb-98・100に分けられ、①はやや散漫に、②は散漫に分布する。個体Aは②のSb-98(L20区)、Sb-100(K20区)に、大型剥片2点はSb-98(L21・M20区)に分布し、それ以外は①のL21区に分布する。

母岩別資料986・接合資料4226(図版387-1)は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ18cm、上・左・裏面に大型の剥離面がある状態で搬入される。左側面から正面への粗い剥離の後、右側面で細長い縦長剥片が剥離される。左側面から正面で剥離された厚手の剥片である個体Aは削器に、個体Bは舟底形石器に、右側面で剥離された縦長剥片(個体C)、石核(個体D)は舟底形石器に加工される。個体Aは左側縁に粗い加工が施され、削器本体(図版402-11)は遺棄される。個体Bは腹面を、個体Cは右側面を、個体Dは作業面を甲板面に設定し、個体B・Dは甲板面からのみ加工が行われ、個体Cは下縁からの加工も行われる。舟底形石器本体は個体B・Dが欠落し、個体Cは折損後、275が遺棄される。遺物はSb-97のJ24～L23区に散漫に分布し、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1078・接合資料4493(図版387-2)は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ17cm、原石の状態で搬入される。左側面上部に正面から剥離が行われた後、その剥離面を打面として右側面上部で剥離が行われる。以後、それらの剥離面が傾き、上面と正面で交互剥離が行われ、最後に下面からの剥離で石核が分割される。交互剥離で剥離された厚手の剥片3点(個体A～C)と石核(個体E)は舟底形石器に加工され、最後に分割された剥片(個体D)は剥片が剥離される。個体A～Cは素材腹面を、個体Eは作業面を甲板面に設定し、加工は甲板面から施され、個体B・Eの最終段階には下縁からの加工も見られる。舟底形石器本体は、個体Bは折損後に439が、個体Eは折損した破片450が遺棄され、個体A・Cは欠落している。遺物は個体に関わらず、Sb-97のI・J24区周辺に比較的高密度に分布し、やや離れたH23区に厚手の剥片、Sb-99のH21区に個体Eの本体450が分布する。

母岩別資料987・接合資料4227(図版388-1)は、あばた状の原礫面を持つ転礫素材で、長さ16cm、原石の状態で搬入される。正面から裏面、上面から左側面、左側面から正面上部、裏面から左側面への打面の大きい粗い剥離が打面を転移させながら行われ、厚手の剥片が剥離される。上面から左側面で剥離された剥片を除き、石核を含めた4個体(個体A～D)が舟底形石器に加工される。剥片素材は全て腹面を、石核素材は作業面を甲板面に設定し、個体C、石核素材の個体Dは甲板面からのみ加工が行われ、個体A・Bは下縁からの加工も見られる。折損した個体A(441)、完形の個体C(443)・

D (446) の本体は遺棄され、個体Bの本体は欠落し、搬出されている。遺物は個体に関係なく Sb-97のL23～N21区にやや散漫に分布し、個体Dの舟底形石器446のみが離れた Sb-101のL19区に分布する。

母岩別資料1178・接合資料4718 (図版388-2) は、一部平坦面が残り、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ18cm、原石の形状で搬入される。上面から下面への剥離で大型剥片が剥離された後、その面を打面として左右側面に粗い石核調整が行われ、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。石刃剥離は打面が潰れて、良形の石刃は剥離されず、最後まで打面は潰れ、石刃核485にも階段状の剥離面が残る。最初に右側面で剥離された大型剥片(個体A)、石核調整時の厚手の剥片(個体B)は甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に加工される。個体Aの本体422は折損後、遺棄され、個体Bの本体429は粗い加工段階で遺棄される。分布は①Sb-101のL19・M18区周辺、②Sb-101のK18・L17区周辺に分けられ、両者とも散漫な分布である。①には最終段階を除く遺物が、②には最終段階の遺物が多く、個体Aは両者に、個体Bは②に分布する。

母岩別資料1106・接合資料4554 (図版389-1) は、爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ15cm、正面に大きい剥離面がある状態で搬入される。上面から正面への剥離の後、石核は下面から右側面への剥離で縦に二分され、それぞれ舟底形石器に加工される。剥片素材の個体Aは腹面を、石核素材の個体Bは作業面を甲板面に設定し、甲板面からの加工で整形され、個体Bの最初の段階では端部に下縁からの加工が見られる。本体は個体A・Bとも折損後、それぞれ424・445が遺棄される。遺物は個体に関わらず Sb-97のK22～M22区に散漫に分布する。

母岩別資料1080・接合資料4499 (図版389-2) は、平滑な原礫面と平坦な転礫面を持ち、角が潰れた転礫素材で、長さ15cm、原石の状態で搬入される。上下面で剥離後、正面からの剥離で石核が二分され、剥片(個体A)・石核(個体B)は舟底形石器に加工される。個体Aは甲板面である腹面から加工され、個体Bは作業面を甲板面に設定し、甲板面からの加工によって断面三角形になった段階で下縁調整が行われ、再び甲板面から加工される。両者とも本体は欠落している。分布は①Sb-97のI・J24区周辺、②Sb-97のI23区に分けられ、②には厚手の剥片2点が、①にはそれ以外の遺物が個体に関わらず分布する。

母岩別資料1107・接合資料4555 (図版389-3) は、一部平坦面が残り、角が丸くなった転礫素材で、長さ12cm、原石の状態で搬入される。上面から正面への剥離が4回行われ、その最終剥離で石核が二分され、最終剥離の剥片(個体A)と石核(個体B)は舟底形石器に加工される。個体Aは腹面を、個体Bは作業面を甲板面に設定し、甲板面から加工が行われ、個体A・Bとも粗い加工段階で、本体44・434が遺棄される。遺物は個体に関わらず Sb-97のL・M22区に散漫に分布する。

母岩別資料1184・接合資料4733 (図版389-4) は、平滑な原礫面を持つ角礫素材で、長さ10cm、原石の状態で搬入される。上面から正面への剥離で二分割した後、折れた剥片(個体A)の肥厚した先端側で剥離が行われ、その石核(個体a)を素材として舟底形石器が製作される。個体aは作業面を甲板面に設定し、甲板面から加工が行われ、最終的に本体は欠落している。遺物はSb-101のM19区周辺に分布し、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1165・接合資料4681 (図版390-1) は、あばた状の原礫面を持つ転礫素材で、長さ11cm、原石の状態で搬入される。中央で縦に二分割した後、剥片(個体A)は甲板面である腹面からの加工により舟底形石器に加工され、石核は右側面・下面・裏面に粗い剥離が行われる。個体Aは最終剥離で中央から折損し、428が遺棄される。遺物はSb-101のL19～N18区に分布し、個体Aは散漫に、個体A以外は近接して分布する。

母岩別資料1048・接合資料4368(図版390-2)は、風化によりザラついた平坦な原礫面を持ち、角が丸くなった転礫素材で、長さ12cm、正面に1枚の剥離面がある状態で搬入される。正面から上面への粗い剥離、正面から右側面へ厚手の剥片剥離後、石核を素材として上面を甲板面に設定し、甲板面からの加工で舟底形石器が製作される。最終的に本体は折損し、448が遺棄される。上面・右側面で剥離された厚手の剥片は粗い加工が行われるが、両者とも折損し、本体(二次加工ある剥片)は遺棄される。遺物はSb-97のK22~M21区にまとまって分布し、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1021・接合資料4298(図版390-3)は、平滑な原礫面を持つ転礫素材で、長さ14cm、上面に剥離面がある状態で搬入される。裏面の小口面で厚手の縦長剥片剥離後、上面を甲板面とした舟底形石器の調整剥離が行われる。まず、上面から右側面への加工が行われ、その剥離がヒンジになり、段差が生じた時点でその段差を除去するように左側面下部から右側面へ加工が行われる。さらに、その面を打面として左側面に下縁調整が施され、再度甲板面から左側面に加工が行われる。本体は欠落し、搬出されている。遺物はSb-97のK22~M22区に散漫に分布する。

母岩別資料1008・接合資料4276(図版391-1)は、あばた状の原礫面を持つ転礫素材で、おそらく原石の状態で搬入される。原石を二分割したと思われる半球状の剥片素材で甲板面である腹面からの加工で舟底形石器が製作される。加工は、初期段階から側縁が直線的になるように行われ、側縁全体を一剥離単位として、両側縁で交互に進行する。舟底形石器436の折損後、再加工が行われ、本体は搬出される。遺物はSb-97のL21~N21区にやや散漫に分布し、1点(厚手の剥片)はSb-101のL19区に、1点(普通の剥片)はSb-100のK20区に離れて分布する。

母岩別資料1075・接合資料4481(図版391-2)は、平坦な原礫面が残り、角が潰れた転礫素材で、長さ9cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面から正面への剥離後、上部両面で交互剥離が行われる。遺物は石核を除いてSb-97のK23区周辺に分布し、石核はSb-101のL19区に分布する。

接合資料5821(図版391-3)は、原石形状は不明で、尖頭器で搬入された可能性がある。器体の中央に平坦剥離、縁辺に平行剥離が見られる薄手の尖頭器が、正面右からの加工で折損した後、右側縁で折れ面から削片剥離が行われる。削片は一次削片のみ剥離され、尖頭器本体の3分の1を取り込み、加工は見られない。尖頭器はL19区、削片はSb-101のL18区に分布し、両者は近接している。

接合資料5824(図版391-4)は、表面が平坦剥離で覆われ、正面にやや凹凸が見られる薄手の尖頭器が、左側縁から正面への剥離で折損した後、右側縁で折れ面から削片剥離が行われる。削片は一次削片のみ剥離され、尖頭器末端部を取り込み、加工は見られない。尖頭器はSb-100のK19区、削片はSb-102のJ19区に分布し、両者は比較的接近している。(鈴木宏行)

(11) K区・石器ブロック108~111(Sb-108~111)の石器

出土石器(表III-11-12)

尖頭器17点(I類16点、II類1点)、尖頭器削片1点、両面調整石器2点、彫器2点(I類1点、II類1点)、搔器3点、削器15点、舟底形石器30点(Ia類1点、IIa類27点、IIb類2点)、二次加工ある剥片1点、石刃43点、縦長剥片48点、石刃核6点、石核15点、剥片3,200点の計3,383点、重量32,904.8gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が43.0%で最も多く、黒曜石1(41.6%)、黒曜石5(8.0%)、黒曜石2(3.7%)が続く、以下黒曜石3(3.5%)、安山岩(0.06%)、頁岩(0.06%)、めのう(0.06%)である。小型舟底形石器石器群にはほぼ限定される、西地区で最も小規模な石器ブロック群である。ブロック群全体の石材組成と比べ、黒曜石1の比率が高いのは石刃(58%)で、黒曜

石4の比率が高いのは舟底形石器(77%)、縦長剥片(63%)、石刃核(83%)、石核(73%)である。

尖頭器 (図Ⅲ-496-1~図Ⅲ-497-5、図版392、図版394-27)

8点(4個体とI層出土1個体を加えた5個体)を図示し、1点(1個体)を写真のみ掲載している。1は最大幅が基部側の3分の1に位置する小型の柳葉形の尖頭器で、押圧剥離と見られる細かい剥離面で覆われ、先端部には衝撃剥離の可能性のある楕状剥離が見られる。産地分析では赤石山産、水と層年代測定では20,230±679年 B.P.という結果が得られている。2は両端を欠損している薄手の細長い尖頭器で、加工は平坦剥離と平行剥離面で構成される。3~5は大部分の比較的粗い平坦剥離面と縁辺の細かい平坦剥離面で構成されるやや粗い段階のもので、表面には剥離面の段差や瘤が残る。滑らかではなく、全て最終的に器体中央付近の厚みを除去するための調整剥離が原因で折損している。4・5は25cmを超える大型品である。5の裏面には平滑な角稜面が大きく残存し、右側面の瘤状の原礫面を除去できずに折損している。図版394-27はめこの製の剥片素材で、加工が判別しにくい左側縁に加工が見られる。

両面調整石器 (図Ⅲ-497-6、図Ⅲ-498-7、図版393)

2点(1個体とI層出土1個体を加えた2個体)を図示している。6は非常に厚手の大型剥片素材で、正面では斜角の求心状の剥離が、裏面では正面の加工を切る平坦剥離が行われる。平面形は楕円形で、断面形は半月形に近い。7は転礫から剥離された厚手の大型剥片素材で、正面は両側縁全体に加工が行われ、裏面は両側縁の一部に加工が行われる。加工は大型の平坦剥離と縁辺部の細かい剥離で構成される。

彫器 (図Ⅲ-498-8・9、図版393)

2点(2個体)を図示している。8はI類の斜刃の彫器で、彫刀面の背面側には微細剥離痕がある。9はII類の彫器である。両者とも石刃素材で周縁加工は両面に行われるが、9は加工による変形度が高く、裏面加工の範囲も広い。彫刀面は素材先端側に作出され、9には背面先端部調整が見られる。

掻器 (図Ⅲ-498-10・11、図版393)

2点(2個体)を図示している。10は石刃素材で、周縁加工は背面両側縁・腹面基部に行われ、刃部は直線的で斜めに傾く。11は扇形の剥片素材で、背面両側縁に加工が行われ、刃部は弧状である。素材面の稜線は潰れ、表面は傷が多く、二次加工面にはそれらが認められず、多段階表面変化が確認できる。産地分析では、所山産の結果が得られた。

削器 (図Ⅲ-498-12・13、図Ⅲ-513-7、図版393・402、図版394-28)

3点(3個体)を図示し、2点(1個体)を写真のみ掲載している。12は打面調整・頭部調整が認められ、縁辺部が直線の(山形ではない)に潰された打面のある良形の石刃素材で、左側縁下半部に細かい平坦剥離が連続する加工が見られ、それ以外には部分的に不連続な加工が見られる。13・図版394-28は背面に転礫面が残る剥片素材で、13は両側縁に、図版394-28は左側縁に粗い加工が行われる。図Ⅲ-513-7は頭部調整のある石刃素材で両側縁に連続した細かい加工が施される。素材面の稜線は潰れ、表面に傷が見られる。産地分析では、所山産の結果が得られた。

舟底形石器 (図Ⅲ-498-14~図Ⅲ-499-19、図版393・394、図版394-29・30)

7点(5個体とI層出土1個体を加えた6個体)を図示し、2点(2個体)を写真のみ掲載している。14は尖頭器剥片素材のIa類である。加工は、左側面は下縁から、右側面は上下から行われるが、端部で細石刃状の剥離は行われない。15~19・図版394-29・30はIIa類で、石核素材である18以外は剥片素材である。加工は全て甲板面からのみ行われ、素材長軸と石器長軸は、直交する図版394-30以外全て一致する。15・図版394-30には転礫面が、16~19には角稜面が残る。

石刃 (図Ⅲ-499-20、図版394)

1点(1個体)を図示している。20は頭部調整のある単剥離打面を持つ頁岩製の石刃である。長さは6cmで、下端部には原礫面があることから石刃核もほぼ同じ高さの小型品であったと考えられる。

石刃核 (図Ⅲ-499-21、図版394、図版394-31~33)

1点(1個体)を図示し、3点(2個体とI層出土1個体を加えた3個体)を写真のみ掲載している。21は裏面に大型の剥離面が残り、頭部調整のある単剥離打面を持つ石刃核である。左側面には正面の石刃剥離面を切る大型の剥離面があり、最後にその面を打面として裏面に剥離が行われる。左側面にはパンチ痕が残り、さらに石刃核を分割する意図が伺える。頭部調整を伴う石刃剥離後、舟底形石器の素材にするために石刃核を分割する剥離が左側面・裏面で行われたと思われる。図版394-31は裏面で下部からの剥離の後、上設打面が作出され、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。図版394-32は単剥離打面から頭部調整を伴う正面での石刃剥離後、下から左側面・裏面から右側面への剥離が行われる。図版394-33は打面・裏面に平滑な原礫面が残り、原礫面打面から正面で石刃が剥離される。図版394-31~33は角礫素材である。

石核 (図Ⅲ-499-22・23、図版394、図版395-34~36)

3点(2個体)を図示し、3点(3個体)を写真のみ掲載している。22は剥片素材で原礫面打面から細長い剥片が剥離され、23・図版395-34は10cm以下の小型の原石を素材として単剥離打面から頭部調整なしで厚手の剥片が剥離される。図版395-35・36は1・2枚の剥離のみ行われた原石に近い石核で、選択された原石形状を反映している。垂角礫である22を除き乾礫である。

石器ブロック108~111の分布状況

調査区の西端に位置し、西側は段丘の縁に接している。標高は443.5~446.0mである。本遺跡は巨視的に見ると東地区では全体(A~F区)が連続し、西地区でもG~J区が連続した、それぞれ8万点、12万点の巨大な集中域を形成している。本ブロック群はこれらに比べ非常に小規模(3,383点)であるが、G~J区とは空白域を挟んで独立して分布する特徴的なあり方を示している。また、調査区の北側は深い沢によって侵食され、石器ブロックの一部が失われている可能性がある。

石器ブロック108 (Sb-108) の分布 (図Ⅲ-500、表Ⅲ-11・12)

L10・11、M11区の9×6mの範囲で確認された。尖頭器2点(I類2点)、石刃1点、剥片41点の計44点、181.1gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が63.6%を占め、以下黒曜石5(31.8%)、黒曜石4(4.5%)である。尖頭器調整剥片が分布する非常に小規模なブロックである。

石器ブロック109 (Sb-109) の分布 (図Ⅲ-500・501、表Ⅲ-11・12)

M8・9、N6~9、O7・8、P8区の14×12mの範囲で確認され、分布は北側の調査区外に若干広がっていた可能性がある。尖頭器1点(I類1点)、彫器1点(Ⅱ類1点)、搔器2点、削器4点、舟底形石器14点(Ia類1点、Ⅱa類13点)、石刃17点、縦長剥片9点、石刃核2点、石核6点、剥片887点の計943点、10,639.3gの石器類が出土した。石材は黒曜石1が46.9%を占め、以下黒曜石4(40.5%)、黒曜石5(6.4%)、黒曜石3(5.9%)、めのう(0.2%)、頁岩(0.1%)である。ツールは舟底形石器が多数出土している。ブロック全体の石材組成と比べ、石刃(76%)・石刃素材の石器類は黒曜石1の比率が高く、舟底形石器(86%)・石核(83%)は黒曜石4の比率が高い。分布は高密度のN8区とその周辺の小規模な集中域に分けられ、ツールはN8区にまとまって分布し、一部N・O7区に分布する。

石器ブロック110 (Sb-110) の分布 (図Ⅲ-501・502、表Ⅲ-11・12)

N3～6、O2～7、P2～6、Q3～5、R4・5、S5区の24×19mの範囲で確認され、分布は北側の調査区外に若干広がっていた可能性がある。尖頭器13点(I類13点)、両面調整石器1点、彫器1点(I類1点)、搔器1点、削器11点、舟底形石器16点(Ⅱa類14点、Ⅱb類2点)、二次加工ある剥片1点、石刃21点、縦長剥片38点、石刃核4点、石核9点、剥片2, 124点の計2, 240点、20, 019.6gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が44.1%を占め、以下黒曜石1(38.9%)、黒曜石5(8.4%)、黒曜石2(5.6%)、黒曜石3(2.8%)、安山岩(0.09%)、頁岩(0.05%)である。本ブロック群では最も点数の多いブロックである。ブロック全体の石材組成と比べ、舟底形石器(69%)・縦長剥片(71%)・石刃核(100%)・石核(67%)は黒曜石4の比率が高い。分布は①高密度のN4、O4・5、P5、Q5区、小規模な②N5・6区周辺、③P3・4、Q3区周辺に分けられ、ほとんどのツールは①に分布し、②には石刃類がまとまっている。柳葉形の小型の尖頭器1は③の外れに分布する。

石器ブロック111 (Sb-111) の分布 (図Ⅲ-503、表Ⅲ-11・12)

P1、Q0・1、R0～2区の10×8mの範囲で確認された。尖頭器1点(Ⅱ類1点)、尖頭器削片1点、両面調整石器1点、石刃4点、縦長剥片1点、剥片148点の計156点、2,064.8gの石器類が出土した。石材は黒曜石4が53.2%を占め、以下黒曜石1(41.7%)、黒曜石5(4.5%)、黒曜石3(0.6%)である。ツールは少なく、尖頭器調整剥片がほとんどで、分布は非常に散漫である。

石器ブロック108～111の接合状況 (図Ⅲ-504)

接合資料は全てブロック内で収束している。接合線は傾斜方向である北北西方向へ伸び、特にSb-110では顕著である。

母岩別資料・接合資料

3,383点中26点を785母岩に母岩分類し、169個体(母岩別資料内73個体)の接合資料が得られた。そのうち母岩別資料3母岩を図示し、母岩別資料5母岩を写真のみ掲載している。

母岩別資料1198・接合資料4773 (図Ⅲ-505～507、図版396)

母岩別資料は接合4773の他、接合4774～4776・57004・57005、剥片11点で構成され、総点数93点、総重量1,491.9gである。

素材 67点(37個体)が接合し、重量は1,329.9g、大きさは29×14×9cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程 前半は、左側面から裏面(段階1)、右側面から正面(段階2)、右側面から裏面(段階3)、左側面から正面(段階4)、左側面から裏面(段階5)、左側面から正面(段階6)、左側面から裏面(段階7)、左側面から正面(段階8)、左側面から裏面(段階9)、右側面から正面(段階10)、左側面から正面(段階11)、右側面から正面(段階12)、右側面から裏面(段階13)への打面の大きい粗い平坦剥離による加工が、頻繁に面・側縁を入れ替えながら行われ、粗い整形が施される。その後、徐々に打面の小さい相対的に薄い平坦剥離に変化し、左側面から正面(段階14)、右側面から正面(段階15)、左側面から裏面(段階16)、左側面から正面(段階17)への加工が行われ、最後に右側面から正面(段階18)への剥離で尖頭器3が折損する。折損時の本体は表面が滑らかで断面形が凸レンズ状の整った形態であったと推測され、本体の12×7×2cmの上部破片は欠落し、搬出された可能性がある。

分布 Sb-110のN4、O4、P3～5、Q4・5、R4・5、S5区に帯状に分布する。分布は①

高密度のP4・5、R4・5区、②散漫なO4周辺に分けられるが、段階・大きさなどの内容による偏りは見られない。

母岩別資料1203・接合資料4784 (図III-507・508、図版395-2)

母岩別資料は接合4784の他、接合4785~4787、剥片1点で構成され、総点数81点、総重量748.1gである。

素材 73点(66個体)が接合し、重量は709.3g、大きさは15×13×9cmである。平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫を素材として、右側面に大型の剥離面がある状態で搬入される。

剥離工程 正面から上面への剥離(段階1)で打面が作出され、上設打面から正面(段階2)・右側面(段階3)への粗い剥離、裏面から左側面(段階4)、裏面から下面(段階5)への剥離で石核調整が行われる。その後、正面~右側面を中心に全周で頭部調整を伴って石刃が剥離され(段階6)、最後に左側面から裏面に粗い剥離(段階7)が行われる。

剥離される石刃は長さ6~9cmで、ほとんどが欠落し、搬出される。

本接合資料では段階1の厚手の打面作出剥片1点(個体A)、段階2の厚手の縦長剥片2点(個体B・C)、段階3の厚手の剥片1点(個体D)を素材として舟底形石器が製作される。個体A~Dは全て甲板面である腹面から加工が行われ、最終的に本体は欠落し、搬出される。

分布 Sb-110のN4・5、O4・5、P5、Q5区に帯状に分布し、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1202・接合資料4783 (図III-508・509、図版397-1)

母岩別資料は接合4783のみである。

素材 48点(42個体)が接合し、重量は755.2g、大きさは18×9×7cmである。平滑な原礫面を持つ角礫を素材として、原石ないし原石に近い状態で搬入される。

剥離工程 正面から上面(段階1)へ打面の大きい粗い剥離が連続して行われた後、上面から正面(段階2)への粗い剥離が行われる。

本接合資料では段階1の厚手の剥片2点(個体A・B)、段階2の厚手の剥片1点(個体D)、石核(個体E)を素材として舟底形石器が製作され、段階2の厚手の剥片1点(個体C)を素材として、縦長剥片が剥離される。個体Bは甲板面である腹面からの加工の後、加工が進行した段階で下縁からの加工が施され、再度甲板面から加工が行われる。左側面の裏面端部近くにてきた瘤を除去する剥離によって端部が大きく取り除かれた時点で本体19は遺棄されている。個体Dは甲板面である腹面からの加工途中で、ヒンジによって生じた段差を除去するために下縁からの剥離が行われ、その後、甲板面からの加工が継続されるが、個体B同様、端部の瘤を除去する際に、端部を大きく取り込み、その時点で本体17が遺棄される。個体Aは腹面を、個体Eは作業面を甲板面に設定し、甲板面から加工が行われ、最終的に、本体は欠落している。

個体Cは舟底形石器の加工に類似した腹面からの粗い剥離(C-段階2)を挟んで素材長軸方向で縦長剥片剥離(C-段階1)が行われる。

分布 Sb-110のN4、O4・5、P5、Q5区に帯状に分布する。個体CがN4区周辺に偏るが、それ以外は明瞭な偏りは見られない。

写真のみ掲載の接合資料

母岩別資料1216・接合資料4817(図版397-2)は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた亜角礫素材で、長さ21cm、原石ないし原石に近い状態で搬入される。上面から正面への剥離、裏面から右側面への大型の剥片剥離、正面から上面への打面作出後に、正面で頭部調整を伴う石刃剥離が行われ、最

後は、下設打面から右側面で厚手の縦長剥片が剥離される。石刃剥離の途中、下設打面から頭部調整のある石刃が剥離される。剥離される石刃は長さ11cm前後で、ほとんどが欠落している。右側面で剥離された大型剥片（個体A）は、甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に整形され、本体は欠落している。上設打面作出剥片（個体B）は、左側面に腹面から舟底形石器に類似した粗い加工が行われ、途中で折損し、削器28は遺棄される。遺物はSb-110のN4～Q5区に帯状に分布しているが、個体・段階による偏りは見られない。

母岩別資料1211・接合資料4804（図版398-1）は、一部平坦面と爪状痕のある原礫面を持つ転礫素材で、長さ9cm、原石の状態でも搬入される。上面から正面への剥離の後、正面から上面への剥離で打面が作出され、正面で厚手の剥片が剥離される。打面作出剥片（個体A）、厚手の剥片1点（個体C）は舟底形石器に、厚手の剥片1点（個体B）は削器に加工される。個体A・Bはそれぞれ長さ6・5cmの小型の剥片素材で、甲板面である腹面から加工が施される。本体は両者とも完形であるが、15・29が遺棄されている。個体Bは素材形状が個体Cに類似するが、加工は右側縁全体・左側縁上部のみ施され、本体13は遺棄される。遺物はSb-110のP・Q5区を中心に分布し、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1217・接合資料4823（図版398-2）は、平滑な原礫面を持ち、角が潰れた垂角礫素材で、長さ14cm、原石の状態でも搬入される。上面から左側面、左側面から上面、上面から左側面への剥離の後、裏面から上面への厚手の剥片剥離によって打面が作出される。その後、左側面で縦長剥片が剥離された後、続けて上設打面からの剥離による舟底形石器の調整剥離が行われ、石核（個体B）素材の舟底形石器が製作される。個体Bの舟底形石器18の縁辺には細かい加工が見られ、比較的整った形状で遺棄される。厚手の打面作出剥片（個体A）は、甲板面である腹面からの加工で舟底形石器に整形されるが、本体16は折損し、遺棄される。分布は①Sb-110のP・Q5区、②Sb-101のN・O4区に分けられ、ほとんどの遺物が①に高密度に分布し、少量の遺物が②に散漫に分布するが、これらには、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1214・接合資料4810（図版398-3）は、平坦面が残り、角が潰れた垂角礫素材で、長さ14cm、原石の状態でも搬入される。右側面から上面への剥離の後、正面から上面への粗い剥離と上面から正面への粗い剥離が交互に行われ、厚手の剥片が剥離される。正面から上面で剥離された厚手の剥片2点（個体A・B）と石核（個体C）は舟底形石器に加工され、個体A・Bは甲板面である腹面からの加工で整形され、個体Cには途中で下縁からの加工が見られる。個体A～Cの本体は全て欠落し、搬出されている。遺物はSb-110のN4～Q5区に帯状に分布しているが、個体による偏りは見られない。

母岩別資料1200・接合資料4779（図版398-4）は、平坦面が残り、角が潰れた垂角礫素材で、長さ11cm、原石の状態でも搬入される。上面から正面への剥離が、打点を左右に移動させながら行われ、厚手の剥片が剥離される。最後に石核を素材として作業面を甲板面に設定し、舟底形石器が製作される。加工は主に甲板面から行われ、途中、端部で下縁からの加工が見られる。遺物はSb-110のO4～Q5区に帯状に分布する。
（鈴木宏行）

(12) 「白滝I群」以外石器ブロック外の石器

尖頭器（図Ⅲ-510-1・2、図版399）

2点（1個体とI層出土1個体を加えた2個体）を図示している。1は柳葉形の小型の尖頭器である。器面には押圧による平行剥離が整然と並び、薄く非常に端正な形態である。裏面の加工は正面の

加工に切れ、最終的には正面両側縁の加工で仕上げられている。押圧による加工は両面とも左側は上から下へ、右側は下から上へ進み、約1mmずつずらしながら行われ、側縁は鋸歯状である。産地分析ではあじさい滝、水相層年代測定では17,874±412年B.P.の結果が得られている。なお、同様な尖頭器は旧白滝5遺跡(北海道埋蔵文化財センター 2004)でまとまって出土している。2は剥片素材で、正面両側縁、裏面片側縁・上端部に平坦剥離による加工が見られる。右側縁には上端からの桶状剥離面があり、細石刃核母型である可能性もある。

石刃 (図Ⅲ-510-3・4、図版399)

2点(1個体とI層出土1個体を加えた2個体)を図示している。3は広郷型ナイフ形石器を含む母岩933接合4061に含まれる石刃である。比較的大きい単剥離打面を持ち、簡単な頭部調整が行われ、幅広である。背面には2本の稜線が平行し、稜間のやや奥を加撃することによって両方の稜を取り込む幅広の石刃が剥離される。4は角稜面の残る、頭部調整のある単剥離打面を持つ石刃である。打面縁辺より内側を加撃しているため打面は大きい。

削器 (図版399-5)

1点(1個体)を写真のみ掲載している。図版399-5は転礫から剥離された厚手の剥片素材で下端面に連続的な加工が行われる。

舟底形石器 (図版399-6)

2点(1個体)を写真のみ掲載している。図版399-6は転礫から剥離された剥片素材で、甲板面からのみ加工が行われる。縁辺の加工は比較的細かい。

石刃核 (図版399-7)

1点(1個体)を写真のみ掲載している。図版399-7は亜角礫素材で、正・左・裏面の上設打面からの剥離が行われる。石刃は正面で頭部調整を伴って剥離される。

原石 (図版399-8)

4点(1個体)を写真のみ掲載している。図版399-8は長さ37cmの長大な棒状原石である。断面形は不整な五角形で、搬入時には完形品であったと考えられる。

分布 (図Ⅲ-510、表Ⅲ-510)

1のタイプの尖頭器はG区(Sb-86、図Ⅲ-114-6)で出土しているが、まとまった出土状況ではなく、これらと他の石器群との関連は不明である。2は細石刃核母型の可能性があり、Sb-90の忍路子型細石刃核石器群との関連も考えられるが、他に類似した石器が出土していないため不明である。3は東地区に分布するが、Sb-95に分布する母岩933接合4061に含まれ、両地区を関連付けている。4・図版399-5～7は周辺の小型舟底形石器石器群と関連があり、図版399-8もSb-83で同様な棒状原石(図版108-228)が小型舟底形石器石器群に伴って出土していることから、それに関連するものと考えられる。(鈴木宏行)

(13) 表土(重機調査)の石器

ここでは、調査の最初の段階で行われた重機による笹根除去作業の際の掘土中から得られた遺物について説明する。遺物は一定の区画単位で集められた土から採集されているが、詳細な出土地点は不明である。

両面調整石器 (図版402-10)

1点(1個体)を写真のみ掲載している。図版402-10は幅広の剥片素材で、横方向に素材を用い

て加工される。背面側は全体に、腹面側はバルブを除去する平坦剥離が行われ、背面側の縁辺にはさらに1mm程度の細かい角度のある加工が施され、縁辺が滑らかに整形される。このような加工はG区の忍路子型細石刃核石器群に伴う掻器の刃部の加工に類似する。

削器 (図Ⅲ-511-1、図版400、図版402-11)

1点(1個体)を図示し、1点(1個体)を写真のみ掲載している。1は厚手の石刃素材で、両側縁に角度のある加工が行われる。図版402-11は転礫面を持つ大型の剥片素材で、左側縁には粗い加工が見られる。

舟底形石器 (図Ⅲ-511-2・3、図版400、図版402-12)

2点(2個体)を図示し、1点(1個体)を写真のみ掲載している。2は剥片素材で、両側面とも甲板面からのみ加工されるが、左側面は潰れて階段状になっている。3は甲板面右端に頭部調整の痕跡が見られ、下面が本来の打面で、頭部調整のある単剥離打面を持つ石刃核を素材としている。正面の作業面を甲板面に設定し、両側面に甲板面から粗い加工が行われる。甲板面の左側面側の張り出し部にはパンチ痕が残し、瘤を除去できずに廃棄されたと思われる。図版402-12は石核素材で、作業面を甲板面に設定し、両側面に甲板面から加工が行われ、縁辺部には細かい加工が見られる。

石刃核 (図Ⅲ-511-4・5、図Ⅲ-512-7~9、図版400・401、図版402-13)

5点(5個体)を図示し、1点(1個体)を写真のみ掲載している。4・5・図版402-13は背面に原礫面が残る単剥離打面の石刃核で、4・図版402-13には頭部調整が見られる。5の作業面の中央にはヒンジによる段差があり、作業面形状の悪化に伴い廃棄されたものと思われる。図版402-13の正面左の最終剥離面は石刃核の分割を意図したものと思われ、打面中央付近にも分割を意図するパンチ痕が残る。

7~9はSb-90の接合資料に含まれる打面調整のある大型の石刃核である。7は、石核調整が右側縁全体の両面に、左側縁下端部の両面に見られ、石刃剥離の進行により作業面が平坦になった扁平な形状である。8は、石核調整が裏面左右から、左右側面には正面から行われる。9は、石核調整が裏面には主に左側面から、両側面には正面から行われる。これらは断面三角形ないし五角形の母型が準備され、石刃剥離が行われたものと思われる。また、打面はこれらの石核調整とは別に正面からの剥離で準備され、その正面形はやや窪んだ形状で、頭部調整も見られる。4・5は角礫、図版402-13は亜角礫、7~9は転礫素材である。

石核 (図Ⅲ-511-6、図版400)

1点(1個体)を図示している。6は転礫素材で、単剥離打面の石核である。左側面に頭部調整が残り、石刃剥離後、大型剥片が剥離されている。(鈴木宏行)

IV 自然科学的分析等

1 放射性炭素年代測定

(株)地球科学研究所

放射性炭素年代測定結果報告書

放射性炭素年代測定の依頼を受けました試料について、別表の結果を得ましたのでご報告申し上げます。

報告内容の説明

未補正14C年代 (yBP)	: (同位体分別未補正) ¹⁴ C年代 "measured radiocarbon age" 試料の ¹⁴ C/ ¹² C比から、単純に現在 (A D 1950年) から何年前 (B P) かを計算した年代。
14C年代 (yBP)	: (同位体分別補正) ¹⁴ C年代 "conventional radiocarbon age" 試料の炭素安定同位体比 (¹³ C/ ¹² C) を測定して試料の炭素の同位体分別を知り14C/12Cの測定値に補正値を加えた上で、算出した年代。 試料のδ ¹³ C値を-25 (‰) に標準化することによって得られる年代値である。 (Stuiver, M. and Polach, H.A. (1977) Discussion: Reporting of ¹³ C data. Radiocarbon, 19を参照のこと) 暦年代を得る際にはこの年代値をもちいる。
δ ¹³ C (permil)	試料の測定 ¹³ C/ ¹² C比を補正するための ¹³ C/ ¹² C比。 この安定同位体比は、下式のように標準物質 (PDB) の同位体比からの千分偏差(‰)で表現する。 $\delta^{13}\text{C} (\text{‰}) = \frac{(^{13}\text{C}/^{12}\text{C})[\text{試料}] - (^{13}\text{C}/^{12}\text{C})[\text{標準}]}{(^{13}\text{C}/^{12}\text{C})[\text{標準}]} \times 1000$ ここで、 ¹³ C/ ¹² C [標準] = 0.0112372である。
暦年代	: 過去の宇宙線強度の変動による大気中14C濃度の変動に対する補正により、暦年代を算出する。具体的には年代既知の樹木年輪の ¹⁴ Cの測定、サンゴのU-Th年代と ¹⁴ C年代の比較により、補正曲線を作成し、暦年代を算出する。最新のデータベース ('INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration' Stuiver et al, 1998, Radiocarbon 40(3)) により約19,000yBPまでの換算が可能となった。*

*但し、10,000yBP以前のデータはまだ不完全であり今後も改善される可能性が高いので、補正前のデータの保管を推奨します。
"The calendar calibrations were calculated using the newest calibration data as published in Radiocarbon, Vol.40, No.3, 1998 using the cubic spline fit mathematics as published by Talma and Vogel, Radiocarbon, Vol.35, No.2, pg 317-322, 1993: A Simplified Approach to Calibrating C14 Dates. Results are reported both as cal BC and cal BP. Note that calibration for samples beyond about 10,000 years is still very subjective. The calibration data beyond about 13,000 years is a "best fit" compilation of modeled data and, although an improvement on the accuracy of the radiocarbon date, should be considered illustrative. It is very likely that calibration data beyond 10,000 years will change in the future. Because of this, it is very important to quote the original BP dates and these references in your publications so that future refinements can be applied to your results."

測定方法などに関するデータ

測定方法	AMS : 加速器質量分析 Radiometric : 液体シンチレーションカウンタによるβ-線計数法
処理・調製・その他	: 試料の前処理、調製などの情報
前処理	acid-alkali-acid : 酸-アルカリ-酸洗浄 acid washes : 酸洗浄 acid etch : 酸によるエッチング none : 未処理
調製、その他	Bulk-Low Carbon Material : 低濃度有機物処理 Bone Collagen Extraction : 骨、歯などのコラーゲン抽出 Cellulose Extraction : 木材のセルロース抽出 Extended Counting : Radiometricによる測定の際、測定時間を延長する
分析機関	BETA ANALYTIC INC. 4985 SW 74 Court, Miami, FL, U.S.A 33155

1 放射性炭素年代測定

測定番号	試料名	試料種	14C age (yBP)	δ13C (permil)	補正14C age (yBP)	暦年代
Beta-101789	No.3	charred material	10280±50	-25.2	10280±50	交点 Cal BC 1030 and Cal BC 1090 and Cal BC 1030 2 SIGMA Cal BC 10630 to 10570 95%probability Cal BC 10420 to 9880 1 SIGMA Cal BC 10400 to 9950 68%probability
整理番号 4513	測定方法 AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
	LNL		graphite			
Beta-101793	No.7	charred material	18470±270	-22.4	18510±270	交点 Cal BC 20030 2 SIGMA Cal BC 21020 to 19090 95%probability 1 SIGMA Cal BC 20700 to 19390 68%probability
整理番号 4517	測定方法 AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
	Kiel		graphite			
Beta-101794	No.8	charred material	15850±170	-22.5	15890±170	交点 Cal BC 17020 2 SIGMA Cal BC 17710 to 16350 95%probability 1 SIGMA Cal BC 17320 to 16540 68%probability
整理番号 4518	測定方法 AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
	Kiel		graphite			
Beta-112897	SHIRA-25	charred material	15670±240	-25.7	15660±240	交点 Cal BC 16750 2 SIGMA Cal BC 17610 to 15940 95%probability 1 SIGMA Cal BC 17330 to 16200 68%probability
整理番号 7088	測定方法 AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
			graphite			
Beta-112898	SHIRA-26	charred material	16420±150	-25.6	16410±150	交点 Cal BC 17610 2 SIGMA Cal BC 18270 to 16980 95%probability 1 SIGMA Cal BC 18100 to 17140 68%probability
整理番号 7089	測定方法 AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
			graphite			
Beta-112903	SHIRA-31	charred material	21980±210	-24.9	21980±210	交点 2 SIGMA 95%probability 1 SIGMA 68%probability
整理番号 7094	測定方法 AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
			graphite			
Beta-112904	SHIRA-32	charred material	14030±110	-26.2	14010±110	交点 Cal BC 14850 2 SIGMA Cal BC 15330 to 14360 95%probability 1 SIGMA Cal BC 15210 to 14480 68%probability
整理番号 7095	測定方法 AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
			graphite			
Beta-112905	SHIRA-33	charred material	13790±170	-25.5	13780±170	交点 Cal BC 14590 2 SIGMA Cal BC 15210 to 13990 95%probability 1 SIGMA Cal BC 15020 to 14160 68%probability
整理番号 7096	測定方法 AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid			
			graphite			

測定番号	試料名	試料種	14C age (yBP)	$\delta^{13}C$ (permil)	補正14C age (yBP)	暦年代
Beta-112906	SHIRA-34	charred material	18840±160	-23.3	18870±160	交点
						Cal BC 20440
						2 SIGMA
						95%probability
						Cal BC 21180 to 19740
						1 SIGMA
						Cal BC 20990 to 19930
						68%probability
整理番号 7097	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite		
Beta-112907	SHIRA-35	charred material	23620±310	-23.7	23640±310	交点
						2 SIGMA
						95%probability
						1 SIGMA
						68%probability
整理番号 7098	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite		
Beta-112908	SHIRA-36	charred material	25870±290	-24.6	25880±290	交点
						2 SIGMA
						95%probability
						1 SIGMA
						68%probability
整理番号 7099	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite		
Beta-112909	SHIRA-37	charred material	14140±110	-25.3	14140±110	交点
						Cal BC 15000
						2 SIGMA
						95%probability
						Cal BC 15490 to 14500
						1 SIGMA
						Cal BC 15360 to 14630
						68%probability
整理番号 7100	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite		
Beta-112910	SHIRA-38	charred material	15750±130	-26.0	15730±130	交点
						Cal BC 16830
						2 SIGMA
						95%probability
						Cal BC 17430 to 16260
						1 SIGMA
						Cal BC 17280 to 16400
						68%probability
整理番号 7101	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid graphite		
Beta-126163	SHIRA-52	charred material	15790±110	-25.0	15790±110	交点
						Cal BC 16900
						2 SIGMA
						95%probability
						Cal BC 17460 to 16370
						1 SIGMA
						Cal BC 17330 to 16490
						68%probability
整理番号 10337	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid		
Beta-150448	SHIRA-81	charred material	15890±90	-26.2	15870±90	交点
						Cal BC 16990
						2 SIGMA
						95%probability
						Cal BC 17500 to 16500
						1 SIGMA
						Cal BC 17400 to 16600
						68%probability
整理番号 16451	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid		
Beta-150449	SHIRA-82	charred material	15590±130	-25.3	15590±130	交点
						Cal BC 16670
						2 SIGMA
						95%probability
						Cal BC 17270 to 16100
						1 SIGMA
						Cal BC 17120 to 16250
						68%probability
整理番号 16452	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid		

1 放射性炭素年代測定

測定番号	試料名	試料種	14C age (yBP)	$\delta^{13}C$ (permil)	補正14C age (yBP)	暦年代	
Beta-150450	SHIRA-83	charred material	15450±90	-24.4	15460±90	交点	Cal BC 16520
						2 SIGMA	Cal BC 17020 to 16050
						95% probability	
						1 SIGMA	Cal BC 16920 to 16150
68% probability							
整理番号 16453	測定方法	AMS	処理・調整・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150451	SHIRA-84	charred material	15950±110	-25.8	15940±110	交点	Cal BC 17070
						2 SIGMA	Cal BC 17630 to 16540
						95% probability	
						1 SIGMA	Cal BC 17300 to 16660
68% probability							
整理番号 16454	測定方法	AMS	処理・調整・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150452	SHIRA-85	charred material	13630±40	-25.0	13630±40	交点	Cal BC 14420
						2 SIGMA	Cal BC 14770 to 14100
						95% probability	
						1 SIGMA	Cal BC 14730 to 14140
68% probability							
整理番号 16455	測定方法	AMS	処理・調整・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150453	SHIRA-86	charred material	13730±80	-25.5	13720±80	交点	Cal BC 14520
						2 SIGMA	Cal BC 14950 to 14110
						95% probability	
						1 SIGMA	Cal BC 14870 to 14190
68% probability							
整理番号 16456	測定方法	AMS	処理・調整・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150454	SHIRA-87	charred material	13730±80	-24.8	13730±80	交点	Cal BC 14530
						2 SIGMA	Cal BC 14960 to 14120
						95% probability	
						1 SIGMA	Cal BC 14880 to 14200
68% probability							
整理番号 16457	測定方法	AMS	処理・調整・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150455	SHIRA-88	charred material	13730±90	-25.3	13730±90	交点	Cal BC 14530
						2 SIGMA	Cal BC 14980 to 14100
						95% probability	
						1 SIGMA	Cal BC 14890 to 14190
68% probability							
整理番号 16458	測定方法	AMS	処理・調整・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150456	SHIRA-89	charred material	18660±130	-24.3	18670±130	交点	Cal BC 20210
						2 SIGMA	Cal BC 20870 to 19590
						95% probability	
						1 SIGMA	Cal BC 20720 to 19730
68% probability							
整理番号 16459	測定方法	AMS	処理・調整・その他	acid-alkali-acid			
Beta-150457	SHIRA-90	charred material	18570±130	-25.7	18560±130	交点	Cal BC 20090
						2 SIGMA	Cal BC 20740 to 19460
						95% probability	
						1 SIGMA	Cal BC 20390 to 19610
68% probability							
整理番号 16460	測定方法	AMS	処理・調整・その他	acid-alkali-acid			

測定番号	試料名	試料種	14C age (yBP)	$\delta^{13}C$ (permil)	補正14C age (yBP)	暦年代
Beta-174487	SHIRA-93	charred material	24340±160	-22.4	24380±160	交点 2 SIGMA 95%probability 1 SIGMA 68%probability
整理番号 21693	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid		
Beta-174488	SHIRA-94	charred material	13930±50	-25.6	13920±50	交点 Cal BC 14750 2 SIGMA Cal BC 15100 to 14390 95%probability 1 SIGMA Cal BC 15040 to 14440 68%probability
整理番号 21694	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid		
Beta-186196	SHIRA-111	charred material	10390±50	-26.0	10370±50	交点 Cal BC 10370 2 SIGMA Cal BC 10840 to 9970 95%probability 1 SIGMA Cal BC 10680 to 10520 and 68%probability Cal BC 10440 to 10000
整理番号 23883	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid		
Beta-186197	SHIRA-112	charred material	13530±50	-24.0	13550±50	交点 Cal BC 14320 2 SIGMA Cal BC 14710 to 14000 95%probability 1 SIGMA Cal BC 14660 to 14050 68%probability
整理番号 23884	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid		
Beta-186198	SHIRA-113	charred material	22210±110	-24.0	22230±110	交点 2 SIGMA 95%probability 1 SIGMA 68%probability
整理番号 23885	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid		
Beta-186199	SHIRA-114	charred material	28120±180	-25.2	28120±180	交点 2 SIGMA 95%probability 1 SIGMA 68%probability
整理番号 23886	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid		
Beta-186200	SHIRA-115	charred material	13910±80	-24.0	13930±80	交点 Cal BC 14760 2 SIGMA Cal BC 15180 to 14330 95%probability 1 SIGMA Cal BC 15090 to 14420 68%probability
整理番号 23887	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid		
Beta-186201	SHIRA-116	charred material	15980±90	-23.6	16000±90	交点 Cal BC 17140 2 SIGMA Cal BC 17660 to 16630 95%probability 1 SIGMA Cal BC 17550 to 16730 68%probability
整理番号 23888	測定方法	AMS	処理・調製・その他	acid-alkali-acid		

1 放射性炭素年代測定

表N-1 放射性炭素年代測定一覧

測定番号	試料名	遺跡名	出土地点	層位	14C年代 (y BP)	修正14C年代 (y BP)	暦年代	
							交点	1 σ
Beta-101789	No.3	上白滝8	Cb-3(1)	Ⅱ a	10280±50	10280±50	Cal BC 10150 and Cal BC 10060 and Cal BC 10020	Cal BC 10400 to 9950
Beta-101793	No.7	上白滝8	Cb-17(3)	Ⅱ a	18470±270	18510±270	Cal BC 20030	Cal BC 20700 to 19390
Beta-101794	No.8	上白滝8	Cb-21(2)	Ⅱ a	15850±170	15890±170	Cal BC 17020	Cal BC 17520 to 16540
Beta-112897	SHIRA-25	上白滝8	Cb-9(1)	Ⅱ a	15670±240	15660±240	Cal BC 16750	Cal BC 17330 to 16200
Beta-112898	SHIRA-26	上白滝8	Cb-9(3)	Ⅱ c	16420±150	16410±150	Cal BC 17610	Cal BC 18100 to 17140
Beta-112903	SHIRA-31	上白滝8	Cb-14	Ⅲ層直上	21980±210	21980±210		
Beta-112904	SHIRA-32	上白滝8	Cb-15	Ⅲ層直上	14000±110	14010±110	Cal BC 14850	Cal BC 15210 to 14480
Beta-112905	SHIRA-33	上白滝8	Cb-16(2)	Ⅱ c	13790±170	13780±170	Cal BC 14590	Cal BC 15020 to 14160
Beta-112906	SHIRA-34	上白滝8	Cb-17(1)	Ⅱ c	18840±160	18870±160	Cal BC 20440	Cal BC 20990 to 19930
Beta-112907	SHIRA-35	上白滝8	Cb-18(3)	Ⅱ c	23620±310	23640±310		
Beta-112908	SHIRA-36	上白滝8	Cb-19	Ⅱ c	25870±290	25880±290		
Beta-112909	SHIRA-37	上白滝8	Cb-20	Ⅱ a	14140±110	14140±110	Cal BC 15000	Cal BC 15360 to 14630
Beta-112910	SHIRA-38	上白滝8	Cb-21(2)	Ⅱ a	15750±130	15730±130	Cal BC 16830	Cal BC 17280 to 16400
Beta-126163	SHIRA-52	上白滝8	Cb-22(1)	Ⅱ a	15790±110	15790±110	Cal BC 16900	Cal BC 17330 to 16490
Beta-150448	SHIRA-81	上白滝8	Cb-23(3)	Ⅱ a	15890±90	15870±90	Cal BC 16990	Cal BC 17400 to 16600
Beta-150449	SHIRA-82	上白滝8	Cb-23(3)	Ⅱ a	15590±130	15590±130	Cal BC 16670	Cal BC 17120 to 16250
Beta-150450	SHIRA-83	上白滝8	Cb-24(2)	Ⅱ a	15450±90	15460±90	Cal BC 16520	Cal BC 16920 to 16150
Beta-150451	SHIRA-84	上白滝8	Cb-24(1)	Ⅱ a	15950±110	15940±110	Cal BC 17070	Cal BC 17500 to 16660
Beta-150452	SHIRA-85	上白滝8	Cb-25(I 22-2)	Ⅱ a	13630±40	13630±40	Cal BC 14420	Cal BC 14730 to 14140
Beta-150453	SHIRA-86	上白滝8	Cb-25(I 22-3)	Ⅱ a	13730±80	13720±80	Cal BC 14520	Cal BC 14870 to 14190
Beta-150454	SHIRA-87	上白滝8	Cb-26(I 24-14)	Ⅱ a	13730±80	13730±80	Cal BC 14530	Cal BC 14880 to 14200
Beta-150455	SHIRA-88	上白滝8	Cb-26(I 24-10)	Ⅱ a	13730±90	13730±90	Cal BC 14530	Cal BC 14890 to 14190
Beta-150456	SHIRA-89	上白滝8	Cb-27(G 34-2)	Ⅱ a	18660±130	18670±130	Cal BC 20210	Cal BC 20720 to 19730
Beta-150457	SHIRA-90	上白滝8	Cb-27(G 34-3)	Ⅱ a	18570±130	18560±130	Cal BC 20090	Cal BC 20590 to 19610
Beta-174487	SHIRA-93	上白滝8	Cb-14	Ⅲ層直上	24340±160	24380±160		
Beta-174488	SHIRA-94	上白滝8	Cb-15	Ⅲ層直上	13930±50	13920±50	Cal BC 14750	Cal BC 15040 to 14440
Beta-186196	SHIRA-111	上白滝8	Cb-3(9)	Ⅱ a	10390±50	10370±50	Cal BC 10370	Cal BC 10680 to 10520 to and Cal BC 10440 to 10000
Beta-186197	SHIRA-112	上白滝8	Cb-16(1)	Ⅱ c	13530±50	13550±50	Cal BC 14320	Cal BC 14660 to 14050
Beta-186198	SHIRA-113	上白滝8	Cb-18(3)	Ⅱ c	22210±110	22230±110		
Beta-186199	SHIRA-114	上白滝8	Cb-19	Ⅱ c	28120±180	28120±180		
Beta-186200	SHIRA-115	上白滝8	Cb-20	Ⅱ a	13910±80	13930±80	Cal BC 14760	Cal BC 15090 to 14420
Beta-186201	SHIRA-116	上白滝8	Cb-22(1)	Ⅱ a	15980±90	16000±90	Cal BC 17140	Cal BC 17550 to 16750

2 上白滝 8 遺跡出土炭化材の樹種同定

植田弥生 (パレオ・ラボ)

(1) はじめに

ここでは、旧石器時代の炭化物集中から出土した炭化材 6 点の樹種同定結果を報告する。

旧石器時代の炭化物集中から出土する炭化材は、非常に小さな破片であることが多く、石器・剥片類・礫群と共伴して出土することが多い。小田・金山 (1978) や工藤ほか (1983) などにより、炭化物集中の成因が自然か人為的なものか、考古学的意味を検討する試みが提起され、炭化材の樹種を明らかにする取り組みがなされるようになってきた。当遺跡の炭化材も 5 mm 角前後の小さな破片がほとんどであり、石器ブロックに近接して出土している。炭化した経緯や、集中出土する経緯を明らかにしてゆくための基礎資料として、炭化材の樹種を明らかにすることは重要と思われる。

(2) 試料と方法

同定は、炭化材の横断面 (木口) を手で割り実体顕微鏡で予察し、次に材の 3 方向 (横断面・接線断面・放射断面) の断面を片刃の剃刀で弾くように割り、走査電子顕微鏡で拡大された材組織を観察した。走査電子顕微鏡用の試料は、3 断面を 5 mm 角以下の大きさに整え、直径 1 cm の真鍮製試料台に両面テープで固定し、試料を充分乾燥させた後、金蒸着を施し、走査電子顕微鏡 (日本電子㈱製 JSM-T100型) で観察と写真撮影を行った。

同定した炭化材の残り破片は、財団法人北海道埋蔵文化財センターに保管されている。

(3) 結果

同定結果の一覧を、表 IV-2 に示した。試料 6 点はすべて針葉樹で、白滝-73 (図 IV-1 1 a ~ 1 c) はトウヒ属と特定できた。同定結果を針葉樹と表示した炭化材は、接線断面と放射断面の材組織の保存が悪く、分類群を特定できる形質が観察できなかつたためである。これらは、仮道管にらせん肥厚は無く、分野壁孔は窓状では無いようで、イチイやマツ属の可能性は非常に低い。白滝-72 (図 IV-1 2 a ~ 2 c) と白滝-70 (図 IV-2 3 a ~ 3 c) は、水平樹脂道は不明だが、垂直樹脂道が認められ、白滝-72 は内壁が肥厚した放射仮道管が存在するようにも見えた。白滝-70 と白滝-72 は、トウヒ属やカラマツ属の可能性が高い。

白滝-73 (図 IV-1 1 a ~ 1 c) をトウヒ属と同定した、材組織の特徴を詳しく記載する。垂直と水平の樹脂道は不明であるが、径が小さい垂直樹脂道があるようにも見える。仮道管にらせん肥厚は見られない。分野壁孔は小型で複数あり、放射柔細胞壁に単壁孔が目立ち、接線壁に数珠状肥厚がある。放射仮道管が存在し、有縁壁孔対はトウヒ型、有縁壁孔対の先端は角張ったものが多く、壁内にも突起状の肥厚が目立つ。放射仮道管にもらせん肥厚は無い。

(4) まとめ

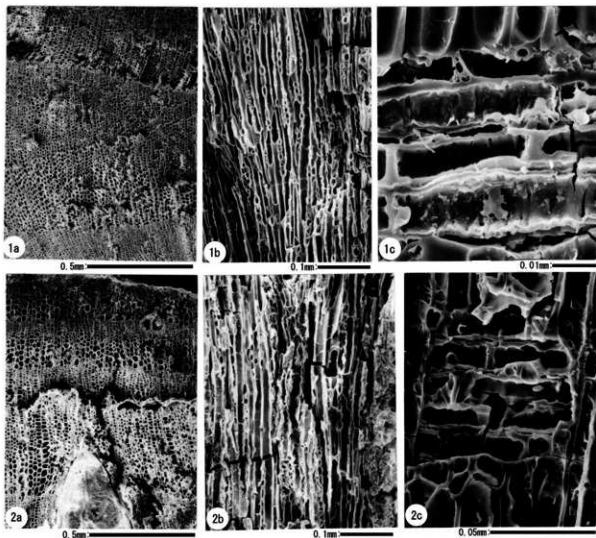
石器ブロックに近接して出土した炭化材 6 試料は、すべて針葉樹であった。白滝-73 (図 IV-1 1 a ~ 1 c) はトウヒ属であり、そのほかの針葉樹にもトウヒ属やカラマツ属の可能性のあるものが含まれていた。炭化材 6 試料は単一分類群であるとは断定できないが、トウヒ属またはカラマツ属の材が多く、冷温帯~亜寒帯に分布する針葉樹であった。

引用文献

小田静夫・金山喜昭 (1978) 先土器時代の炭化物片分布—先土器時代研究の新たな視点—第四紀研究17(3): 125-141.
 工藤敏久・千野裕道・安部祥人 (1983) 先土器時代における火の使用—木炭片の分布状態と樹種同定からの接近—考古学ジャーナル222: 2-9.

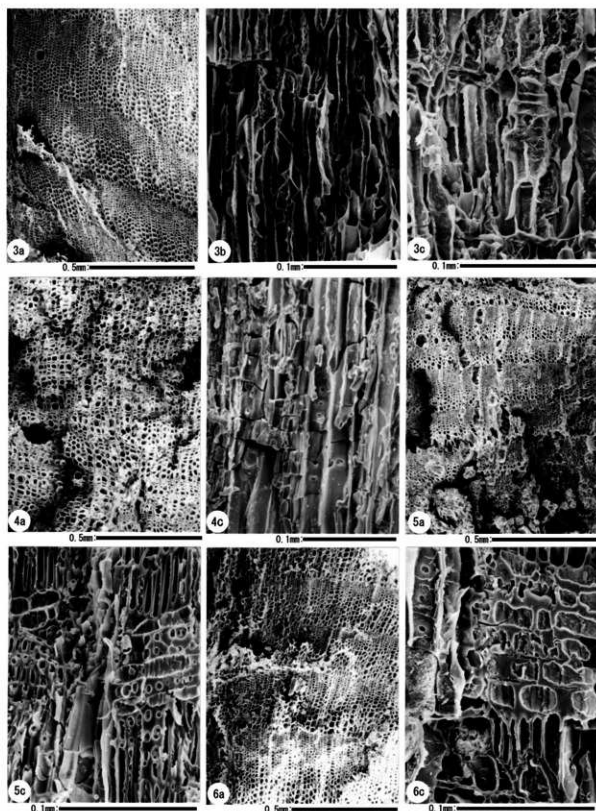
表Ⅳ-2 上白滝8遺跡出土炭化材樹種同定結果

試料番号	試料の種類	採取遺構/(発掘区)	層位	樹種	備考	得られている ¹⁴ C年代値
白滝-68	炭化材	Cb-23(1) 炭化物集中	Ⅱ層	針葉樹		15500~ 15800y.B.P.
白滝-69	炭化材	Cb-23(2) 炭化物集中	Ⅱ層	針葉樹		
白滝-70	炭化材	Cb-23(3) 炭化物集中	Ⅱ層	針葉樹	垂直樹脂道あり	
白滝-71	炭化材	Cb-23(3) 炭化物集中	Ⅱ層	針葉樹		
白滝-72	炭化材	Cb-24(1) 炭化物集中	Ⅱ層	針葉樹	垂直樹脂道あり	15950y.B.P.
白滝-73	炭化材	Cb-24(1) 炭化物集中	Ⅱ層	トウヒ属		



1a-1c: トウヒ属 (白滝-73) 2a-2c: 針葉樹 (白滝-72) a: 横断面 b: 接線断面 c: 放射断面

図Ⅳ-1 上白滝8遺跡出土炭化材材組織の走査電子顕微鏡写真(1)



3a-3c: 針葉樹 (白鹿-70) 4a-4c: 針葉樹 (白鹿-68) 5a-5c: 針葉樹 (白鹿-69) 6a-6c: 針葉樹 (白鹿-71)
a: 橫断面 b: 接線断面 c: 放射断面

圖IV-2 上白灣8遺跡出土炭化材材組織の走査電子顯微鏡写真(2)

3 上白滝8遺跡・服部台2遺跡から検出された植物種子について

椿坂恭代（札幌国際大学博物館／客員研究員）

(1) 遺跡と調査の概要

遺跡の名称：上白滝8遺跡、服部台2遺跡

遺跡の所在：北海道紋別郡白滝村字上白滝179-3, 181-3（上白滝8）

北海道紋別郡白滝村字奥白滝190-1・2（服部台2）

調査の機関：財団法人北海道埋蔵文化財センター

調査担当者：長沼 孝、越田雅司、鈴木宏行、直江康雄

調査期間：平成12年5月8日～10月27日

遺跡の立地：白滝市街の西方約4.5km、湧別川の右岸の河岸段丘（上白滝面）上に位置している。やや上流には、赤石山に通じる八号沢川との合流点があり、周辺には大規模で学史的に著名な遺跡（服部台遺跡、白滝第13地点遺跡、白滝第32地点遺跡など）が隣接している。標高は435～460m、湧別川との比高は35～40mである。

遺構の年代：分析資料は、いずれも旧石器時代の石器ブロックの中で確認された炭化物集中（Cb）中から検出されている。炭化物は放射性炭素年代測定を行っており、上白滝8遺跡のCb-23が約15,800y.B.P.、服部台2遺跡のCb-5が13,400～13,800y.B.Pと測定されている。詳細については本文を参照していただきたい。

(2) 扱った資料

分析試料は、旧石器時代の層準、上白滝8遺跡のCb-23(3)、服部台2遺跡のCb-5(3)・(6)から土壌を採取し、フローテーション法で処理後、種子の第一次選別を経て送付されてきた。これらの資料について実体顕微鏡で観察ならびに撮影を行った。

(3) 同定結果

各遺構から検出された試料を実体顕微鏡で観察を行った結果、表Ⅳ-3に示したように、すべての試料が細かく破損しており同定することが不可能であった。

表Ⅳ-3 白滝遺跡群炭化種子同定結果

試料番号	遺跡名	遺構名	層位	試料点数	同定結果
白滝-4	上白滝8	Cb-23(3)	Ⅱ層	2	試料の保存状態がきわめて悪いため同定不可
白滝-5	服部台2	Cb-5(3)	Ⅱ層	1	試料の保存状態がきわめて悪いため同定不可
白滝-6	服部台2	Cb-5(6)	Ⅱ層	2	試料の保存状態がきわめて悪いため同定不可

4 上白滝8遺跡出土の黒曜石製石器の原材産地分析・水和層測定

有限会社 遺物分析研究所

(1) はじめに

石器石材の産地を自然科学的な手法を用いて、客観的に、かつ定量的に推定し、古代の交流、交易および文化圏、交易圏を探るという目的で、蛍光X線分析法によりサヌカイトおよび黒曜石製遺物の石材産地推定を行っている^{1, 2, 3)}。最近の黒曜石の伝播距離に関する研究では、伝播距離は数千キロメートルは一般的で、6千キロメートルを推測する学者もでてきている。正確に産地を判定すると言うことは、原理原則に従って同定を行うことである。原理原則は、同じ組成の黒曜石が異なった産地では生成されないという理論がないために、少なくとも遺跡から半径数千キロメートルの内にある石器の原材産地の原石と遺物を比較し、必要条件と十分条件を満たす必要がある。『遺物原材とある産地の原石が一致したという「必要条件」を満たしても、他の産地の原石にも一致する可能性が残っているから、他の産地には一致しないという「十分条件」を満たして、一致した産地の原石が使用されていると言い切れる。また、十分条件を求めることにより、一致しなかった産地との交流がなかったと結論でき、考古学に重要な資料が提供される。』

(2) 産地分析の方法

先ず原石採取であるが、本来、一つの産地から産出する全ての原石を採取し分析する必要があるが不可能である。そこで、産地から抽出した数十個の原石でも、産地全ての原石を分析して比較した結果と同じ結果が推測される方法として、理論的に証明されている方法で、マハラノビスの距離を求めて行う、ホテリングのT²乗検定がある。ホテリングのT²乗検定法の同定とクラスター判定法(同定ではなく分類)、元素散布図法(散布図範囲に入るか否かで判定)を比較する。

クラスター判定法はクラスターを作る産地の組み合わせを変えることにより、クラスターが変動する。例えば、A原石製の遺物とA、B、C産地の原石でクラスター判定を行うとその遺物はA原石とクラスターを作る。ところが、A原石を抜いて、D、E産地の原石を加えてクラスター判定を行うと、A原石製遺物がE産地とクラスターを作る。このことから、A産地が調査されていないとA原石製遺物はE原石製遺物と判定される可能性があり、結果の信頼性に疑問が生じる。A原石製遺物と分かっていたら、E原石とクラスターを作らないようにできる。これには、クラスター分析を行う遺物の原石産地を予め推測しクラスターを組み立てる必要がある、主観的な判定になる。

元素散布図法は目視で原石群元素散布の中に遺物の結果が入るか図示する方法であり、原石の含有元素の違いを絶対定量値で求めて地球科学的に議論するには地質学では最も適した方法である。しかし、産地分析からみるとクラスター法よりさらに主観的な方法であり、いくつの原石を分析すればその産地を正確に表現できるのか分からない。また、分析する原石数が少ないときはA産地とB産地が区別できていたのに、分析する原石数を増やすとA産地、B産地の区別ができなくなる可能性があり(クラスター判定法でも同じ危険性がある)、判定結果に疑問が残る。産地分析は地質学の常識的な知識さえあればよく火山学、堆積学など専門知識が必要なく行え、また実際の分析においては非破壊で遺物の形態の違いによる相対定量値の影響を評価しながら同定を行うことが必要であり、地球科学的なことは関係なく如何に原理原則に従って正確な判定を行うことが出来るかである。クラスター判定法、元素散布図法の欠点を解決できる方法が理論的に証明された判定法のホテリングのT²

乗検定法である。ある産地の原石組成と遺物組成が一致すれば、その産地の原石と決定できるといいう理論がないために、多数の産地の原石と遺物を比較して、必要条件と十分条件を満たす必要がある。

考古学では、人工品の様式が一致すると言う結果が非常に重要な意味があり、見える様式としての形態、文様、見えない様式として土器、青銅器、ガラスなどの人手が加わった調査素材があり、一致すると言うことは古代人が意識して一致させた可能性があり、一致すると言うことは、古代人の思考が一致すると考えてもよく、相互関係を調査する重要な意味をもつ結果である。石器の様式による分類ではなく、自然の法則で決定した石材の元素組成を指標にした分類では、十分条件のかわりに例えば石材産地が遺跡から近い、移動キャンプ地のルート上に位置する、産地地方との交流を示す土器が出土しているなどを用いると産地分析は正確な結果とならず、遠距離伝播した石材を近くの産地と誤判定する可能性がある。人が移動させた石器の元素組成とA産地原石の組成が一致し必要条件を満たしたとき、A産地との交流で伝播した可能性が生じるが、偶然（産地分析法が不完全なために）に一致した可能性もあり他のB、C、D・・・の産地でないと証拠がないために、A産地だと言い切れない。ここで、十分条件として、可能なかぎり地球上の全ての原産地（A、B、C、D・・・）の原石群・遺物群と比較して、A産地以外の産地とは一致しないことを十分条件として証明すれば、石器がA産地の原石と決定することができる。この十分条件を肉眼観察で求めることは主観が入るため分類基準が混乱し不可能であると思われる。また、自然科学的分析を用いても、全ての産地が区別できるかは、それぞれが使用している産地分析法によって、それぞれ異なり実際に行ってみなければ分からない。産地分析の結果の信頼性はいかに多くの原産地の原石と客観的に比較するかによるため、比較した産地が少なければ、信頼性の低い結果と言える。黒曜石、安山岩などの主成分組成は、原産地ごとに大きな差はみられないが、不純物として含有される微量成分組成には違いがあると考えられるため、微量成分を中心に元素分析を行い、これを産地を特定する指標とした。そして、分類の指標とする元素組成を遺物について求め、あらかじめ、各原産地ごとに数十個の原石を分析して求めておいた各原石群の元素組成の平均値、分散などと遺物の元素組成を対比して、各平均値からの離れ具合（マハラノビスの距離）を求める。しかし、古代人が採取した原石産出地点と現代人が分析のために採取した原石産出地と異なる地点の可能性は十分に考えられる。従って、分析した有限個の原石から産地全体の無限の個数の平均値と分散を推測して判定を行うホテリングのT2乗検定を行う。この検定を全ての産地について行い、ある原石遺物原材と同じ成分組成の原石はA産地では10個中に1個みられ、B産地では1万個中に1個、C産地では百万個中に1個、D産地では・・・1個と各産地毎に求められるような、客観的な検定結果からA産地の原石を使用した可能性が高いと同定する。即ち多変量解析の手法を用いて、各産地に帰属される確率を求めて産地を同定する。

今回分析した遺物は白滝村上白滝8遺跡出土の黒曜石製石器、剥片45個の産地分析そして黒曜石製石器12個について非破壊分析による水和層厚の結果が得られたので報告する。

(3) 黒曜石原石の分析

黒曜石原石の自然面を打ち欠き、新鮮面を出し、塊状の試料を作り、エネルギー分散型蛍光X線分析装置によって各元素の定量分析を行う。分析元素はAl、Si、K、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Sr、Y、Zr、Nbの12元素をそれぞれ分析した。分析試料の形状差による分析値への影響を打ち消すために各元素の分析値の比を取り、それをもって産地を特定する指標とした。黒曜石は、Ca/K、Ti/K、Mn/Zr、Fe/Zr、Rb/Zr、Sr/Zr、Y/Zr、Nb/Zrの値を産地を区別する指標としてそれぞれ用いる。黒曜石の原産地は北海道、東北、北陸、東関東、中信高原、伊豆箱根、伊豆七島の神津島、山陰、九州の各地に

表IV-4 各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(1)

原産地	原石群名	分析回数	元素比									
			Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Alr/Zr	Sc/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
北海道	岩倉群 第一	114	0.476±0.011	0.121±0.003	0.053±0.002	2.011±0.062	0.614±0.022	0.574±0.022	0.120±0.017	0.024±0.004	0.033±0.002	0.41±0.010
	岩倉群 第二	35	0.200±0.015	0.033±0.005	0.027±0.006	1.774±0.055	0.496±0.044	0.264±0.015	0.201±0.022	0.028±0.020	0.028±0.007	0.29±0.010
	赤石山	130	0.173±0.014	0.061±0.003	0.079±0.003	2.714±0.142	1.369±0.059	0.283±0.019	0.341±0.030	0.073±0.030	0.028±0.010	0.17±0.010
	白土沢	27	0.130±0.004	0.021±0.002	0.102±0.015	3.049±0.184	1.853±0.098	0.987±0.016	0.622±0.020	0.107±0.019	0.027±0.002	0.26±0.006
	八号沢	30	0.136±0.010	0.022±0.002	0.103±0.017	3.123±0.127	1.848±0.063	1.105±0.019	0.473±0.043	0.076±0.046	0.027±0.008	0.39±0.042
	龍加沢	50	0.140±0.003	0.024±0.007	0.101±0.009	3.027±0.183	1.855±0.142	0.939±0.047	0.680±0.042	0.104±0.044	0.027±0.001	0.38±0.003
	赤上土川	34	0.139±0.003	0.023±0.003	0.099±0.007	2.950±0.129	1.782±0.101	1.102±0.046	0.472±0.020	0.098±0.046	0.027±0.001	0.36±0.003
	成文台群 第一	30	0.829±0.023	0.043±0.006	0.091±0.019	3.366±0.117	1.694±0.023	0.941±0.030	0.355±0.020	0.039±0.016	0.029±0.002	0.42±0.008
	成文台群 第二	107	0.517±0.011	0.099±0.003	0.067±0.009	2.773±0.097	0.822±0.027	0.838±0.034	0.197±0.024	0.041±0.019	0.051±0.012	0.44±0.009
	成文台群 第三	47	0.529±0.014	0.096±0.006	0.068±0.018	2.746±0.282	0.838±0.100	0.796±0.081	0.233±0.043	0.055±0.021	0.036±0.004	0.43±0.011
	台場群 第一	50	1.078±0.062	0.142±0.005	0.022±0.011	2.912±0.117	0.291±0.028	0.678±0.035	0.128±0.022	0.022±0.012	0.049±0.006	0.31±0.014
	台場群 第二	42	0.670±0.038	0.128±0.006	0.024±0.017	3.066±0.143	0.739±0.044	0.849±0.043	0.204±0.032	0.035±0.018	0.028±0.004	0.43±0.010
	秩父別群 第一	51	0.249±0.017	0.122±0.006	0.078±0.011	1.614±0.068	0.905±0.027	0.438±0.023	0.254±0.024	0.023±0.021	0.022±0.004	0.28±0.013
	秩父別群 第二	48	0.529±0.016	0.097±0.005	0.065±0.010	2.705±0.125	0.814±0.034	0.804±0.035	0.203±0.025	0.022±0.016	0.027±0.003	0.42±0.016
	成川群 第一	31	0.233±0.028	0.122±0.006	0.077±0.049	1.615±0.088	1.017±0.043	0.439±0.025	0.233±0.029	0.038±0.018	0.025±0.003	0.39±0.023
成川群 第二	40	0.238±0.016	0.101±0.010	0.068±0.019	2.731±0.140	0.809±0.053	0.780±0.044	0.201±0.030	0.040±0.019	0.026±0.003	0.43±0.011	
鹿戸・西山	65	0.326±0.008	0.128±0.003	0.065±0.008	1.813±0.062	0.924±0.034	0.634±0.020	0.179±0.023	0.044±0.020	0.030±0.002	0.42±0.010	
鹿戸・東戸山	58	0.464±0.016	0.138±0.005	0.069±0.009	1.728±0.072	0.849±0.024	0.627±0.023	0.133±0.019	0.028±0.014	0.032±0.002	0.48±0.010	
込込 込込群 第一	48	0.548±0.025	0.145±0.007	0.037±0.007	1.691±0.134	0.280±0.024	0.609±0.020	0.120±0.015	0.011±0.012	0.039±0.004	0.47±0.010	
込込 込込群 第二	48	0.300±0.011	0.137±0.006	0.030±0.006	1.510±0.059	0.322±0.028	0.238±0.014	0.179±0.019	0.029±0.015	0.033±0.004	0.44±0.011	
込込 込込群 第三	50	0.291±0.017	0.109±0.008	0.068±0.012	1.812±0.088	0.807±0.041	0.443±0.029	0.182±0.023	0.034±0.015	0.031±0.003	0.36±0.023	
ソフツワ 群	68	0.673±0.016	0.110±0.011	0.014±0.011	2.050±0.086	0.365±0.038	0.628±0.027	0.167±0.027	0.037±0.020	0.030±0.003	0.36±0.010	
ソフツワ 群 第二	65	0.678±0.011	0.145±0.003	0.016±0.014	2.511±0.128	0.496±0.030	0.712±0.032	0.170±0.028	0.030±0.015	0.030±0.003	0.38±0.010	
十勝 第一	60	0.256±0.018	0.074±0.003	0.068±0.019	2.284±0.087	1.097±0.053	0.424±0.023	0.304±0.029	0.064±0.025	0.029±0.002	0.28±0.013	
美瑛群 第一	41	0.499±0.020	0.124±0.017	0.052±0.019	2.610±0.181	0.802±0.061	0.707±0.044	0.199±0.029	0.039±0.023	0.033±0.002	0.42±0.013	
美瑛群 第二	28	0.303±0.006	0.144±0.012	0.056±0.019	3.028±0.251	0.762±0.049	0.784±0.051	0.197±0.038	0.038±0.022	0.034±0.002	0.49±0.009	
赤井川群 第一	50	0.254±0.029	0.070±0.004	0.086±0.019	2.213±0.184	0.909±0.060	0.428±0.021	0.249±0.024	0.058±0.023	0.027±0.002	0.37±0.009	
赤井川群 第二	30	0.238±0.063	0.072±0.002	0.080±0.019	2.207±0.085	0.950±0.043	0.436±0.028	0.243±0.032	0.021±0.029	0.025±0.007	0.37±0.007	
豊原群 第一	75	0.473±0.019	0.148±0.007	0.060±0.015	1.784±0.072	0.438±0.027	0.607±0.028	0.137±0.020	0.025±0.017	0.022±0.002	0.49±0.013	
豊原群 第二	40	0.377±0.009	0.133±0.006	0.055±0.008	1.723±0.096	0.518±0.019	0.513±0.018	0.177±0.016	0.007±0.015	0.030±0.003	0.44±0.010	
釧路群 西内山	48	0.285±0.026	0.087±0.005	0.103±0.022	1.824±0.182	1.043±0.224	1.472±0.257	0.289±0.099	0.056±0.031	0.011±0.004	0.34±0.011	
釧路群 東内山	35	0.190±0.015	0.075±0.003	0.040±0.008	1.575±0.068	1.241±0.066	0.538±0.014	0.144±0.013	0.038±0.012	0.014±0.002	0.34±0.010	
青森県	西米島	27	0.348±0.027	0.132±0.007	0.211±0.019	2.288±0.095	0.865±0.044	1.106±0.056	0.399±0.030	0.179±0.013	0.038±0.003	0.48±0.013
	六角山	36	0.600±0.008	0.097±0.011	0.013±0.002	0.697±0.021	0.128±0.008	0.932±0.002	0.064±0.003	0.033±0.004	0.028±0.002	0.39±0.010
	八森山	41	0.077±0.005	0.088±0.003	0.013±0.002	0.361±0.028	0.24±0.005	0.902±0.002	0.030±0.006	0.024±0.006	0.027±0.001	0.38±0.009
	戸門群 第一	28	0.984±0.024	0.093±0.003	0.068±0.012	2.368±0.127	1.368±0.027	0.521±0.063	0.277±0.060	0.036±0.023	0.025±0.002	0.58±0.013
	戸門群 第二	28	0.984±0.024	0.134±0.004	0.013±0.002	0.697±0.021	0.127±0.006	0.902±0.002	0.069±0.010	0.033±0.003	0.025±0.002	0.38±0.013
	鶴ヶ尻	33	0.344±0.017	0.102±0.004	0.232±0.023	2.261±0.143	0.861±0.052	0.901±0.060	0.300±0.019	0.164±0.037	0.027±0.002	0.48±0.010
	下藤川	45	0.290±0.009	0.066±0.005	0.074±0.009	2.547±0.121	1.232±0.066	0.531±0.021	0.284±0.021	0.026±0.027	0.028±0.006	0.28±0.010
	大森山	36	0.673±0.019	0.203±0.119	0.287±0.217	21.848±1.009	0.890±0.021	1.798±0.302	0.133±0.012	0.169±0.013	0.033±0.002	0.38±0.008
	大森山 第二	54	0.252±0.012	0.066±0.003	0.040±0.003	2.575±0.145	1.119±0.027	0.548±0.012	0.184±0.012	0.044±0.003	0.025±0.001	0.28±0.013
	星石	41	0.805±0.243	0.084±0.003	0.011±0.018	7.320±0.328	0.988±0.014	1.821±0.042	0.244±0.022	0.027±0.014	0.124±0.014	1.08±0.014
	金ヶ崎	43	0.294±0.009	0.087±0.004	0.220±0.018	1.644±0.061	1.487±0.041	0.920±0.027	0.287±0.019	0.068±0.040	0.029±0.002	0.39±0.009
	山本	43	0.200±0.008	0.123±0.004	0.219±0.017	1.671±0.077	1.303±0.027	0.939±0.014	0.286±0.042	0.108±0.014	0.028±0.006	0.28±0.008
	月山	44	0.286±0.021	0.073±0.007	0.182±0.016	1.906±0.296	0.940±0.068	1.022±0.077	0.278±0.036	0.119±0.033	0.033±0.002	0.42±0.011
	東河津	48	0.385±0.008	0.156±0.005	0.049±0.017	1.806±0.054	0.360±0.025	0.441±0.027	0.717±0.020	0.056±0.015	0.033±0.003	0.46±0.010
	宇石	25	0.826±0.023	0.027±0.012	0.052±0.007	1.784±0.061	0.263±0.018	0.423±0.027	0.290±0.016	0.043±0.014	0.011±0.003	0.58±0.011
岩手県	西沢群 1群	37	0.826±0.002	0.185±0.013	0.052±0.002	1.786±0.068	0.387±0.017	0.429±0.038	0.203±0.015	0.039±0.016	0.040±0.001	0.39±0.013
	西沢群 2群	54	0.708±0.003	0.143±0.008	0.061±0.002	1.828±0.068	0.179±0.019	0.248±0.022	0.144±0.012	0.112±0.014	0.027±0.001	0.48±0.012
	虎堂	29	0.602±0.014	0.175±0.015	0.053±0.003	1.781±0.068	0.323±0.020	0.438±0.027	0.214±0.013	0.030±0.016	0.040±0.002	0.39±0.013
	虎堂 第二	21	2.174±0.068	0.349±0.017	0.057±0.005	2.544±0.149	0.126±0.009	0.629±0.024	0.138±0.015	0.033±0.013	0.023±0.003	0.96±0.040
	佐藤	37	4.628±0.189	1.400±0.194	0.138±0.017	11.362±1.100	0.398±0.018	1.298±0.063	0.103±0.018	0.027±0.018	0.077±0.012	0.77±0.012
宮城県	高森山	40	0.738±0.007	0.200±0.010	0.044±0.007	2.016±0.131	0.381±0.025	0.902±0.028	0.180±0.017	0.025±0.014	0.026±0.002	0.59±0.012
	神津島群 第一	56	0.301±0.014	0.136±0.003	0.102±0.011	1.729±0.079	0.471±0.027	0.689±0.027	0.247±0.021	0.090±0.026	0.026±0.003	0.36±0.012
	神津島群 第二	46	0.317±0.021	0.120±0.007	0.114±0.005	1.823±0.089	0.615±0.044	0.606±0.064	0.303±0.029	0.107±0.017	0.023±0.001	0.47±0.012
	長根	40	0.318±0.023	0.120±0.005	0.118±0.014	1.805±0.096	0.614±0.036	0.664±0.043	0.291±0.029	0.093±0.019	0.024±0.006	0.43±0.012
	船越・船越 第一	30	0.763±0.024	0.239±0.017	0.228±0.019	3.282±0.422	0.668±0.017	1.757±0.063	0.252±0.017	0.025±0.019	0.140±0.006	0.12±0.012
神奈川県	船越・船越 第二	41	0.604±0.016	0.069±0.019	0.076±0.007	2.912±0.104	0.862±0.057	0.680±0.029	0.202±0.011	0.011±0.010	0.080±0.005	1.18±0.013
	船越 第三	31	0.623±0.071	0.081±0.019	0.066±0.007	2.139±0.087	0.473±0.008	0.629±0.025	0.154±0.011	0.011±0.009	0.027±0.001	0.96±0.020
	熱海群 第一	52	2.255±0.149	0.066±0.015	0.062±0.009	2.228±0.184	0.905±0.008	0.737±0.029	0.135±0.012	0.067±0.007	0.071±0.006	0.80±0.013
	上多賀	31	1.329±0.028	0.284±0.018	0.041±0.006	1.697±0.068	0.907±0.009	0.551±0.023	0.128±0.012	0.030±0.009	0.019±0.004	0.80±0.010
	相模群 第一	25	1.213±0.184	0.214±0.028	0.031±0.004	1.699±0.167	0.113±0.017	0.395±0.022	0.143±0.047	0		

表N-5 各黒曜石の原産地ににおける原石群の元素比の平均値と標準偏差値(2)

原産地原石名	分析 回数	元素比										
		Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Th/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K	
黒川群	黒川第一群	27	0.144±0.017	0.025±0.004	0.991±0.009	3.773±0.190	1.211±0.027	0.266±0.030	0.263±0.038	0.990±0.022	0.022±0.003	0.201±0.019
	黒川第二群	47	0.176±0.019	0.025±0.001	0.973±0.011	2.982±0.089	0.823±0.196	0.273±0.058	0.184±0.042	0.986±0.023	0.022±0.002	0.200±0.013
	黒川第三群	53	0.156±0.011	0.030±0.005	0.965±0.012	3.733±0.064	1.323±0.000	0.134±0.011	0.279±0.039	0.993±0.017	0.021±0.003	0.213±0.012
	黒川・黒川	53	0.128±0.004	0.042±0.002	0.123±0.010	2.299±0.041	1.878±0.067	0.193±0.010	0.279±0.039	0.993±0.017	0.022±0.002	0.202±0.010
	男女池	101	0.223±0.024	0.103±0.009	0.958±0.008	1.64±0.078	0.803±0.104	0.409±0.068	0.126±0.022	0.972±0.017	0.020±0.001	0.204±0.008
	高松宮	55	0.206±0.017	0.030±0.005	0.964±0.008	2.527±0.080	0.860±0.037	0.357±0.034	0.149±0.028	0.986±0.017	0.022±0.002	0.213±0.008
	うづ戸沢	41	0.222±0.014	0.080±0.006	0.958±0.008	1.89±0.060	0.748±0.053	0.382±0.041	0.140±0.022	0.988±0.021	0.020±0.001	0.240±0.008
	宇井	49	0.155±0.007	0.098±0.001	0.102±0.018	3.29±0.077	1.023±0.023	0.392±0.040	0.285±0.035	0.990±0.003	0.020±0.001	0.256±0.011
	豊後野	97	0.174±0.017	0.106±0.010	0.931±0.012	3.97±0.009	0.542±0.098	0.736±0.044	0.119±0.024	0.983±0.017	0.019±0.001	0.263±0.013
	反古池	83	0.252±0.027	0.129±0.007	0.959±0.010	4.030±0.129	0.669±0.032	0.802±0.058	0.111±0.024	0.977±0.022	0.027±0.007	0.401±0.011
新島群	方山	47	0.397±0.041	0.134±0.006	0.948±0.013	3.802±0.066	0.548±0.038	0.727±0.036	0.199±0.031	0.983±0.022	0.031±0.004	0.361±0.011
	大塚沢	42	1.461±0.117	0.406±0.021	0.942±0.006	2.006±0.135	0.182±0.021	0.841±0.044	0.395±0.030	0.999±0.008	0.033±0.004	0.493±0.012
	橋川	41	2.947±0.066	1.077±0.028	0.115±0.015	3.280±0.306	0.158±0.039	0.833±0.040	0.186±0.015	0.927±0.012	0.040±0.003	0.513±0.021
	住津第一群	34	0.228±0.013	0.028±0.006	0.939±0.005	1.492±0.029	0.821±0.047	0.288±0.018	0.142±0.018	0.990±0.017	0.021±0.004	0.238±0.013
	住津第二群	12	0.203±0.032	0.097±0.018	0.929±0.006	1.901±0.033	0.717±0.106	0.326±0.029	0.091±0.022	0.986±0.015	0.026±0.002	0.238±0.009
	上石川	45	0.321±0.007	0.142±0.006	0.969±0.011	2.051±0.020	0.971±0.042	0.773±0.034	0.182±0.025	0.988±0.027	0.026±0.007	0.393±0.009
	帆山	44	0.232±0.011	0.098±0.003	0.169±0.017	2.178±0.110	1.772±0.036	0.772±0.046	0.374±0.047	0.184±0.034	0.027±0.002	0.399±0.006
	大白川	47	0.369±0.006	0.142±0.006	0.933±0.001	1.608±0.034	0.261±0.009	0.332±0.009	0.100±0.008	0.993±0.009	0.030±0.001	0.491±0.014
	金津	46	0.321±0.011	0.097±0.017	0.930±0.007	1.711±0.066	0.618±0.027	0.283±0.012	0.381±0.016	0.976±0.018	0.027±0.001	0.402±0.012
	岩淵川	55	0.163±0.019	0.033±0.009	0.999±0.011	1.354±0.058	1.415±0.001	0.084±0.012	0.309±0.036	0.993±0.019	0.023±0.001	0.360±0.010
石川群	比羅	48	0.170±0.009	0.082±0.005	0.960±0.003	2.699±0.088	0.626±0.021	0.334±0.028	0.172±0.011	0.982±0.025	0.022±0.002	0.266±0.016
	安島	42	0.402±0.006	0.123±0.006	0.938±0.002	1.628±0.048	0.643±0.028	0.475±0.023	0.143±0.008	0.987±0.022	0.022±0.001	0.430±0.010
	三葉山	37	0.260±0.020	0.127±0.008	0.935±0.003	1.411±0.095	0.387±0.021	0.740±0.013	0.114±0.019	0.987±0.012	0.027±0.001	0.324±0.007
	香住第一群	20	0.216±0.006	0.092±0.002	0.945±0.007	1.828±0.056	0.883±0.034	0.260±0.012	0.097±0.021	0.979±0.018	0.021±0.001	0.361±0.008
	香住第二群	40	0.278±0.012	0.103±0.004	0.948±0.009	1.784±0.066	0.813±0.045	0.397±0.023	0.112±0.026	0.978±0.024	0.026±0.012	0.446±0.012
	香住(飯敷)	48	0.123±0.004	0.036±0.002	0.983±0.012	1.967±0.061	1.171±0.040	0.157±0.013	0.383±0.044	0.971±0.021	0.026±0.023	0.218±0.006
	加茂	20	0.166±0.006	0.033±0.006	0.914±0.003	0.899±0.011	0.278±0.017	0.099±0.003	0.661±0.015	0.924±0.018	0.020±0.001	0.249±0.016
	津草	35	0.181±0.008	0.132±0.182	0.913±0.003	0.940±0.041	0.301±0.014	0.015±0.006	0.090±0.013	0.948±0.029	0.023±0.002	0.244±0.008
	久見	31	0.145±0.006	0.063±0.001	0.921±0.004	0.980±0.023	0.386±0.011	0.097±0.003	0.109±0.013	0.928±0.011	0.023±0.002	0.315±0.008
	津	48	0.288±0.009	0.028±0.001	0.977±0.014	1.927±0.150	1.721±0.113	0.808±0.040	0.244±0.041	0.983±0.038	0.031±0.004	0.367±0.009
新島群	熊田第一群	51	1.202±0.017	0.141±0.010	0.932±0.008	3.126±0.170	0.686±0.061	1.300±0.042	0.026±0.028	0.960±0.019	0.041±0.004	0.507±0.011
	熊田第二群	50	1.985±0.126	0.194±0.018	0.935±0.007	2.800±0.160	0.423±0.104	1.044±0.077	0.024±0.019	0.962±0.013	0.040±0.004	0.507±0.013
	熊田	50	1.224±0.011	0.144±0.011	0.935±0.012	3.126±0.165	0.669±0.028	1.335±0.041	0.023±0.027	0.961±0.020	0.041±0.004	0.500±0.012
	神行・西山	51	1.186±0.057	0.143±0.008	0.939±0.012	3.242±0.163	0.703±0.061	1.088±0.068	0.029±0.025	0.973±0.021	0.041±0.004	0.500±0.014
	大塚山第一群	39	1.467±0.120	0.203±0.027	0.942±0.009	3.125±0.179	0.494±0.100	1.010±0.013	0.026±0.025	0.967±0.021	0.041±0.001	0.487±0.016
	大塚山第二群	34	1.018±0.043	0.126±0.012	0.943±0.014	3.306±0.199	0.896±0.198	1.256±0.060	0.029±0.030	0.972±0.018	0.036±0.004	0.478±0.012
	八咫和志野	68	0.261±0.010	0.121±0.007	0.933±0.003	0.798±0.027	0.326±0.017	0.348±0.015	0.071±0.004	0.988±0.008	0.021±0.006	0.259±0.009
	熊田第三群	49	0.287±0.007	0.082±0.001	0.927±0.001	1.619±0.083	0.628±0.028	0.283±0.015	0.303±0.018	0.975±0.018	0.023±0.007	0.321±0.011
	中野第一群	40	0.345±0.007	0.194±0.023	0.927±0.009	3.335±0.019	0.455±0.017	0.397±0.014	0.069±0.018	0.989±0.011	0.026±0.001	0.328±0.018
	熊野	39	0.287±0.014	0.202±0.008	0.977±0.011	1.239±0.391	1.040±0.066	1.299±0.058	0.194±0.032	0.981±0.047	0.028±0.001	0.343±0.009
住吉群	熊野	44	0.211±0.009	0.033±0.005	0.975±0.019	0.572±0.212	1.044±0.042	0.311±0.046	0.246±0.043	0.922±0.042	0.023±0.002	0.325±0.008
	熊野第一	49	0.414±0.009	0.071±0.003	0.991±0.017	2.947±0.142	1.233±0.064	0.201±0.049	0.147±0.015	0.923±0.049	0.019±0.007	0.288±0.018
	松尾第一群	60	0.800±0.067	0.123±0.029	0.125±0.018	4.002±0.280	1.170±0.114	2.023±0.122	0.171±0.022	0.920±0.027	0.022±0.003	0.378±0.008
	松尾第二群	49	0.923±0.027	0.337±0.019	0.128±0.011	0.466±0.342	0.856±0.059	1.907±0.119	0.147±0.029	0.294±0.028	0.023±0.003	0.263±0.019
	熊野第二群	42	0.207±0.019	0.048±0.005	0.949±0.061	0.481±0.829	1.800±0.227	1.562±0.231	0.344±0.027	0.979±0.128	0.019±0.003	0.409±0.011
	熊野第三群	51	0.220±0.011	0.043±0.003	0.911±0.066	0.743±0.900	1.843±0.204	1.323±0.200	0.338±0.047	0.980±0.144	0.029±0.004	0.401±0.012
	熊野第四群	50	0.649±0.044	0.144±0.019	0.186±0.046	4.325±0.683	0.633±0.093	3.017±0.439	0.142±0.030	0.288±0.036	0.041±0.006	0.427±0.014
	熊野第五群	46	1.038±0.131	0.211±0.024	0.110±0.027	3.267±0.617	0.311±0.096	3.766±0.668	0.195±0.030	0.084±0.027	0.042±0.012	0.442±0.021
	熊野第六群	45	0.690±0.018	0.145±0.013	0.148±0.027	4.397±0.778	0.622±0.061	3.000±0.478	0.147±0.046	0.384±0.040	0.041±0.003	0.421±0.015
	熊野第七群	30	0.313±0.023	0.127±0.009	0.965±0.010	1.489±0.124	0.809±0.061	0.686±0.082	0.175±0.018	0.921±0.020	0.029±0.002	0.321±0.009
大分群	熊野八群	50	1.485±0.042	0.430±0.013	0.996±0.008	0.309±0.209	0.284±0.011	1.328±0.013	0.097±0.016	0.922±0.018	0.022±0.001	0.310±0.011
	熊野九群	64	0.482±0.006	0.286±0.015	0.931±0.008	1.361±0.095	0.303±0.019	0.712±0.043	0.080±0.018	0.955±0.012	0.021±0.010	0.288±0.016
	大分	37	0.172±0.009	0.060±0.002	0.930±0.003	1.176±0.023	0.363±0.012	0.011±0.004	0.135±0.018	0.974±0.014	0.023±0.001	0.278±0.007
	久吉ノ辻	28	0.174±0.007	0.065±0.002	0.932±0.006	1.174±0.025	0.363±0.012	0.013±0.005	0.135±0.018	0.976±0.012	0.023±0.001	0.275±0.008
	丸川	49	0.146±0.009	0.036±0.002	0.939±0.009	1.491±0.100	1.736±0.091	0.035±0.008	0.344±0.040	0.977±0.047	0.023±0.002	0.238±0.010
	貝嶺	49	0.135±0.010	0.027±0.002	0.956±0.009	1.746±0.073	1.834±0.064	0.022±0.013	0.324±0.046	0.974±0.060	0.021±0.009	0.339±0.015
	住津第一群	42	0.213±0.005	0.031±0.004	0.973±0.008	2.543±0.134	1.379±0.019	0.430±0.014	0.392±0.019	0.928±0.017	0.027±0.001	0.341±0.011
	住津第二群	42	0.190±0.012	0.042±0.006	0.968±0.011	2.371±0.323	1.832±0.199	0.313±0.069	0.278±0.065	0.930±0.066	0.026±0.004	0.306±0.010
	住津第三群	42	0.244±0.016	0.040±0.010	0.949±0.007	1.880±0.200	0.806±0.121	0.368±0.088	0.145±0.019	0.927±0.019	0.026±0.001	0.329±0.020
	住津第四群	41	0.288±0.014	0.092±0.006	0.942±0.003	1.833±0.086	0.717±0.129	0.431±0.046	0.111±0.010	0.930±0.012	0.027±0.001	0.343±0.012
長崎群	流籠	44	0.324±0.014	0.080±0.004	0.944±0.009	1.744±0.060	0.333±0.030	0.485±0.039	0.094±0.022	0.139±0.017	0.027±0.002	0.333±0.011
	中野第一群	42	0.244±0.011	0.060±0.010	0.957±0.004	1.866±0.080	0.801±0.067	0.398±0.039	0.130±0.017	0.1		

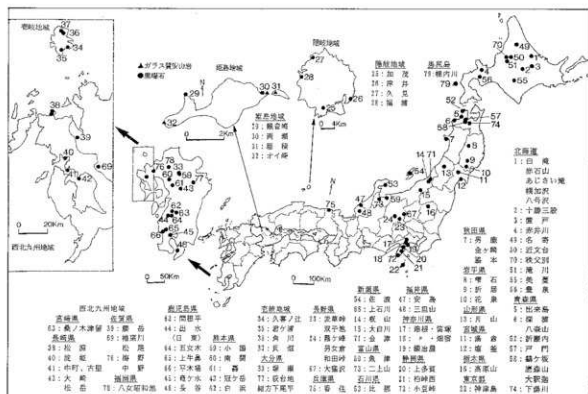
表IV-6 各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(3)

取産地(原石群名)	分析 個数	元素比												
		Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	U/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K			
熊本県	大畑	51	1.526±0.129	0.966±0.037	0.975±0.009	4.495±0.489	0.327±0.014	1.298±0.027	0.900±0.038	0.941±0.012	0.630±0.010	0.281±0.013		
	笹ヶ岳	21	0.261±0.012	0.021±0.000	0.032±0.003	0.280±0.028	0.021±0.001	0.279±0.017	0.064±0.011	0.037±0.006	0.025±0.002	0.277±0.009		
	高瀬原	57	1.999±0.017	0.722±0.046	0.983±0.011	6.205±0.306	0.296±0.018	1.134±0.010	0.703±0.014	0.947±0.013	0.671±0.004	0.147±0.010		
	新石川	84	0.791±0.082	0.279±0.009	0.945±0.003	1.238±0.025	0.279±0.014	0.811±0.046	0.664±0.012	0.829±0.014	0.517±0.009	0.268±0.011		
	五ヶ所	51	0.899±0.165	0.084±0.016	0.980±0.019	4.977±0.347	0.253±0.013	1.375±0.016	0.988±0.036	0.940±0.006	0.671±0.003	0.295±0.012		
	長ノ瀬川	43	1.471±0.136	0.992±0.041	0.678±0.011	4.828±0.434	0.292±0.016	1.288±0.124	0.911±0.014	0.943±0.013	0.617±0.003	0.289±0.010		
	船倉	49	1.308±0.148	0.651±0.040	0.975±0.011	4.371±0.345	0.237±0.018	1.232±0.112	0.901±0.018	0.940±0.004	0.630±0.004	0.281±0.013		
	白土	78	0.298±0.021	0.012±0.009	0.924±0.006	1.392±0.086	0.927±0.009	0.363±0.027	0.382±0.027	0.627±0.022	0.022±0.007	0.217±0.009		
	長ノ瀬川(原産地)	47	0.207±0.015	0.094±0.006	0.959±0.009	1.527±0.075	1.980±0.848	0.418±0.020	0.266±0.014	0.963±0.018	0.630±0.010	0.314±0.011		
	長ノ瀬川(原石群)	23	0.261±0.015	0.094±0.006	0.966±0.010	1.743±0.095	1.222±0.060	0.753±0.039	0.265±0.029	0.947±0.016	0.622±0.012	0.323±0.010		
愛知県	錦島	36	35.159±1.118	5.001±0.175	0.941±0.082	0.038±0.002	0.989±0.004	0.150±0.001	0.031±0.019	0.900±0.000	0.031±0.019	0.446±0.022		
	隠岐ノ平(原産地)	45	0.186±0.010	0.083±0.003	0.947±0.008	1.611±0.109	0.568±0.035	0.349±0.022	0.281±0.021	0.941±0.032	0.022±0.006	0.739±0.014		
	隠岐ノ平(原石群)	45	0.217±0.018	0.101±0.006	0.947±0.008	1.688±0.051	0.798±0.034	0.428±0.049	0.233±0.021	0.939±0.027	0.034±0.004	0.739±0.014		
	隠岐ノ平(原石群)	42	0.184±0.012	0.128±0.005	0.937±0.007	1.484±0.087	0.449±0.011	0.673±0.049	0.143±0.021	0.928±0.013	0.023±0.014	0.673±0.011		
	日東	42	0.262±0.028	0.143±0.006	0.922±0.004	1.128±0.048	0.712±0.028	0.408±0.025	0.100±0.018	0.929±0.013	0.019±0.001	0.725±0.006		
	五友木	37	0.664±0.031	0.101±0.006	0.938±0.003	1.170±0.064	0.765±0.027	0.403±0.021	0.108±0.015	0.928±0.013	0.019±0.001	0.725±0.006		
	上宇井	41	1.629±0.068	0.904±0.007	0.933±0.006	3.342±0.215	0.388±0.013	1.105±0.056	0.907±0.000	0.922±0.000	0.066±0.002	0.319±0.011		
	平水畑	24	1.944±0.104	0.912±0.028	0.962±0.005	3.975±0.182	0.384±0.011	1.286±0.049	0.031±0.010	0.921±0.019	0.028±0.003	0.489±0.010		
	坂ヶ谷	48	0.533±0.029	0.187±0.006	0.961±0.013	1.494±0.093	0.611±0.039	0.688±0.052	0.147±0.021	0.909±0.022	0.033±0.003	0.489±0.011		
	長持	30	0.033±0.002	0.137±0.006	0.965±0.019	1.810±0.082	0.644±0.028	0.333±0.029	0.145±0.012	0.966±0.020	0.037±0.005	0.533±0.012		
台湾	台東(原石群)	37	0.510±0.010	0.188±0.004	0.938±0.007	1.862±0.079	0.303±0.019	0.519±0.017	0.123±0.012	0.924±0.017	0.039±0.007	0.487±0.010		
	イリスヤヤ山	40	18.739±1.451	0.963±0.328	0.292±0.014	32.421±4.984	0.690±0.018	2.809±0.412	1.756±0.027	0.025±0.016	0.186±0.026	1.531±0.152		
	ナナキ	48	0.231±0.008	0.104±0.004	0.999±0.018	1.261±0.062	0.498±0.028	0.300±0.028	0.122±0.010	0.964±0.023	0.024±0.003	0.340±0.009		
	鹿耳 LAKI-1	40	1.434±0.092	0.130±0.003	0.914±0.082	1.238±0.027	0.619±0.028	0.911±0.049	0.065±0.016	0.944±0.021	0.023±0.000	0.349±0.003		
	アラスカ	「パイプ」産地	48	0.264±0.008	0.084±0.002	0.964±0.025	0.869±0.181	1.179±0.039	0.921±0.058	0.908±0.022	0.259±0.018	0.791±0.025	2.989±0.279	
		白狼山(原石群)	50	1.634±0.099	0.987±0.043	0.938±0.005	1.081±0.028	0.200±0.012	0.981±0.000	0.151±0.015	0.928±0.012	0.027±0.003	0.389±0.010	
		北朝鮮	HS-1 産物群	67	0.241±0.021	0.107±0.005	0.938±0.006	1.296±0.077	0.430±0.018	0.121±0.009	0.140±0.015	0.908±0.013	0.018±0.012	0.323±0.042
			HS-2 産物群	60	0.433±0.011	0.130±0.008	0.941±0.008	1.765±0.075	0.448±0.021	0.419±0.019	0.130±0.015	0.915±0.019	0.018±0.010	0.569±0.013
			FR-1 産物群	51	0.643±0.012	0.124±0.008	0.932±0.007	2.547±0.143	0.300±0.012	0.689±0.032	0.136±0.015	0.916±0.006	0.029±0.011	0.487±0.047
			FR-2 産物群	59	0.335±0.061	0.102±0.012	0.923±0.009	2.545±0.138	0.307±0.014	0.801±0.029	0.163±0.012	0.916±0.022	0.027±0.009	0.373±0.043
FR-3 産物群			37	0.380±0.037	0.084±0.017	0.932±0.009	2.548±0.145	0.396±0.056	0.691±0.033	0.164±0.012	0.917±0.023	0.023±0.006	0.281±0.037	
FR-4 産物群			44	0.281±0.043	0.103±0.010	0.911±0.008	2.900±0.117	0.639±0.017	0.679±0.012	0.153±0.012	0.909±0.017	0.018±0.008	0.238±0.010	
FR-5 産物群			32	0.898±0.032	0.221±0.017	0.954±0.006	2.540±0.101	0.428±0.018	0.802±0.023	0.109±0.013	0.917±0.011	0.017±0.003	0.447±0.011	
KT-1 産物群			56	1.103±0.060	0.164±0.007	0.981±0.008	2.942±0.133	0.314±0.014	0.775±0.062	0.133±0.016	0.919±0.013	0.033±0.007	0.538±0.013	
KT-2 産物群	38		0.939±0.027	0.154±0.005	0.955±0.019	2.882±0.092	0.342±0.028	1.111±0.040	0.107±0.015	0.912±0.016	0.042±0.008	0.539±0.019		
KS-1 産物群	32		0.275±0.007	0.107±0.005	0.947±0.010	1.751±0.061	0.806±0.018	0.668±0.021	0.160±0.019	0.912±0.018	0.023±0.008	0.346±0.010		
北海道	KS-2 産物群	62	0.244±0.011	0.059±0.004	0.956±0.013	1.749±0.168	1.909±0.108	0.424±0.016	0.327±0.042	0.913±0.011	0.023±0.011	0.739±0.011		
	KS-3 産物群	48	0.384±0.006	0.041±0.002	0.960±0.013	2.465±0.128	1.489±0.015	0.512±0.019	0.389±0.092	0.969±0.038	0.044±0.012	0.321±0.013		
	KY-1 産物群	48	0.385±0.007	0.049±0.003	0.961±0.013	2.342±0.122	1.671±0.041	0.435±0.023	0.283±0.058	0.915±0.019	0.023±0.012	0.286±0.009		
	NZ-1 産物群	51	3.443±0.122	2.391±0.074	0.297±0.018	13.421±1.113	0.312±0.014	1.839±0.118	0.297±0.012	0.187±0.011	0.969±0.008	0.627±0.011		
	ST-10 産物群	48	0.190±0.008	0.088±0.006	0.979±0.013	2.090±0.139	1.285±0.019	0.266±0.022	0.238±0.040	0.958±0.023	0.028±0.003	0.211±0.019		
	青森県	HY 産物群	31	0.299±0.011	0.121±0.006	0.968±0.008	1.636±0.068	0.438±0.028	1.441±0.012	0.482±0.014	0.929±0.028	0.030±0.015	0.481±0.009	
		SN-1 産物群	23	0.287±0.006	0.087±0.004	0.923±0.005	1.975±0.077	0.281±0.011	0.238±0.011	0.281±0.012	0.900±0.012	0.011±0.006	0.259±0.006	
		SN-2 産物群	0.209±0.006	0.116±0.006	0.976±0.008	1.571±0.062	0.736±0.031	0.292±0.017	0.264±0.029	0.929±0.030	0.029±0.008	0.365±0.011		
		SN-3 産物群	107	0.261±0.011	0.121±0.006	0.953±0.007	1.983±0.071	0.347±0.019	0.419±0.014	0.238±0.015	0.954±0.017	0.029±0.011	0.425±0.010	
		TD 産物群	60	0.282±0.014	0.113±0.007	0.124±0.015	1.803±0.068	0.675±0.036	0.663±0.038	0.772±0.029	0.983±0.037	0.026±0.008	0.378±0.012	
HR 産物群		48	0.294±0.008	0.083±0.003	0.967±0.011	2.055±0.092	0.741±0.028	0.297±0.016	0.331±0.012	0.944±0.019	0.038±0.003	0.444±0.010		
岩手県		AJ-1 産物群	41	1.519±0.028	0.277±0.010	0.978±0.006	2.689±0.075	0.320±0.010	0.528±0.017	0.251±0.013	0.909±0.012	0.066±0.017	0.859±0.013	
		AJ-2 産物群	61	1.314±0.014	0.022±0.002	0.980±0.008	2.732±0.082	0.984±0.009	0.718±0.019	0.242±0.011	0.908±0.014	0.083±0.029	1.201±0.043	
		AJ-3 産物群	61	0.950±0.013	0.215±0.004	0.117±0.009	4.386±0.180	0.114±0.006	0.809±0.028	0.288±0.012	0.914±0.016	0.038±0.004	0.380±0.003	
		AJ-4 産物群	122	1.860±0.029	0.474±0.025	0.967±0.007	2.055±0.077	0.982±0.006	0.531±0.010	0.170±0.010	0.911±0.013	0.064±0.025	1.061±0.101	
	AJ-5 産物群	122	3.167±0.082	0.996±0.027	0.101±0.009	3.787±0.196	0.114±0.010	0.892±0.028	0.241±0.012	0.906±0.012	0.061±0.020	1.258±0.012		
	FS 産物群	45	0.272±0.000	0.097±0.009	0.653±0.007	1.791±0.081	0.327±0.019	0.453±0.024	0.207±0.018	0.925±0.027	0.017±0.011	0.339±0.011		
	SD 産物群	48	2.900±0.090	0.741±0.015	0.118±0.010	3.922±0.077	0.117±0.012	0.906±0.028	0.248±0.013	0.908±0.017	0.083±0.013	1.181±0.028		
	UNS1 産物群	45	2.901±0.121	0.542±0.016	0.104±0.003	3.847±0.090	0.118±0.012	0.851±0.023	0.288±0.016	0.922±0.032	0.085±0.004	1.286±0.061		
	新潟県	AC-1 産物群	63	0.479±0.014	0.192±0.006	0.984±0.008	1.561±0.075	0.400±0.017	0.449±0.019	0.169±0.019	0.911±0.015	0.033±0.015	0.427±0.016	
		AC-2 産物群	48	0.251±0.009	0.081±0.003	0.112±0.013	2.081±0.058	0.964±0.010	0.400±0.020	0.409±0.014	0.908±0.023	0.026±0.003	0.439±0.003	
AC-3 産物群		36	0.617±0.016	0.144±0.005	0.983±0.019	1.891±0.011	0.382±0.010	0.381±0.017	0.286±0.018	0.941±0.012	0.049±0.006	0.630±0.013		
IN-1 産物群		56	0.320±0.010	0.082±0.003	0.963±0.006	2.009±0.109	0.903±0.010	0.472±0.013	0.171±0.010	0.964±0.030	0.027±0.001	0.333±0.011		
IN-2 産物群		48	0.745±0.013	0.110±0.004	0.149±0.015	2.178±0.122	0.728±0.019	1.382±0.016	0.164±0.010	0.938±0.013	0.064±0.003	0.386±0.010		
IN-3 産物群		45	0.311±0.015	0.089±0.008	0.961±0.003	2.037±0.204	0.867±0.030	0.738±0.013	0.170±0.010	0.927±0.025	0.027±0.001			

表N-7 各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(4)

原産地原石名	分析数	元素比										
		Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Th/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K	
宮崎県	H11-1遺物群	48	0.197±0.053	0.754±0.065	0.098±0.042	2.099±0.841	0.434±0.062	0.973±0.130	0.360±0.039	0.258±0.079	0.061±0.022	0.912±0.120
	H12-1遺物群	100	0.245±0.100	1.327±0.474	0.119±0.044	9.900±1.592	0.176±0.058	1.209±0.439	0.278±0.052	0.178±0.049	0.178±0.049	0.920±1.532
	U1-1遺物群	46	0.297±0.013	0.137±0.005	0.052±0.010	4.828±0.198	1.023±0.036	0.736±0.039	0.168±0.027	0.084±0.028	0.021±0.011	0.360±0.014
	K1-1遺物群	48	1.871±0.385	1.058±0.094	3.790±0.785	14.990±4.008	0.673±0.061	2.083±0.223	0.732±0.079	0.066±0.065	0.000±0.027	0.420±0.296
	K2-1遺物群	45	0.383±0.012	0.183±0.005	0.061±0.024	1.913±0.136	0.980±0.057	0.327±0.038	0.197±0.030	0.079±0.028	0.028±0.004	0.409±0.008
	K3-1遺物群	46	0.402±0.015	0.165±0.008	0.069±0.017	5.259±0.418	0.729±0.032	0.965±0.038	0.137±0.024	0.082±0.020	0.029±0.003	0.443±0.022
	K4-2遺物群	48	1.545±0.144	0.837±0.043	0.074±0.011	3.746±0.455	0.284±0.028	0.703±0.044	0.106±0.021	0.028±0.011	0.047±0.006	0.499±0.021
	K3-3遺物群	56	0.228±0.019	0.072±0.136	0.093±0.007	8.627±0.602	0.255±0.015	0.906±0.074	0.397±0.009	0.011±0.015	0.002±0.007	0.977±0.028
	K5-3遺物群	52	0.306±0.012	0.064±0.007	0.061±0.004	3.259±0.071	1.213±0.061	0.728±0.036	0.224±0.013	0.044±0.009	0.014±0.001	0.259±0.028
	K23-2遺物群	46	0.447±0.011	0.122±0.006	0.045±0.020	1.737±0.046	0.687±0.025	0.817±0.039	0.149±0.009	0.092±0.024	0.000±0.001	0.428±0.008
	K84-2遺物群	48	0.605±0.009	0.102±0.009	0.028±0.001	1.515±0.020	0.322±0.011	0.340±0.011	0.102±0.005	0.051±0.011	0.022±0.004	0.433±0.007
	SG-遺物群	48	1.468±0.034	0.778±0.038	0.082±0.010	4.106±0.222	0.202±0.014	0.699±0.025	0.133±0.013	0.035±0.020	0.027±0.021	0.523±0.033
OK-遺物群	32	1.371±0.014	0.087±0.025	0.061±0.008	3.109±0.161	2.022±0.052	0.379±0.027	0.122±0.014	0.009±0.014	0.027±0.018	0.518±0.021	
H1-1遺物群	48	0.347±0.019	0.090±0.003	0.081±0.012	3.063±0.135	0.883±0.030	1.047±0.003	0.118±0.009	0.284±0.025	0.022±0.010	0.360±0.009	
HK-2遺物群	45	0.521±0.012	0.122±0.004	0.076±0.013	3.125±0.222	0.877±0.048	1.000±0.074	0.109±0.034	0.387±0.022	0.035±0.004	0.309±0.010	
HM-1遺物群	44	0.493±0.024	0.043±0.021	0.063±0.013	8.678±0.663	0.642±0.039	0.739±0.054	0.127±0.034	0.065±0.018	0.027±0.003	0.240±0.008	
OM-1遺物群	50	0.483±0.022	0.123±0.006	0.054±0.014	1.973±0.122	0.665±0.040	0.454±0.034	0.191±0.028	0.098±0.028	0.000±0.000	0.474±0.016	
H1-2遺物群	54	0.303±0.012	0.167±0.006	0.038±0.007	1.157±0.044	0.447±0.031	0.435±0.016	0.126±0.025	0.039±0.016	0.032±0.004	0.378±0.012	
M1-2遺物群	46	0.276±0.019	0.033±0.004	0.084±0.017	2.491±0.128	1.492±0.088	0.667±0.066	0.211±0.022	0.308±0.028	0.025±0.000	0.343±0.011	
OK-2遺物群	45	0.282±0.010	0.010±0.000	0.064±0.003	4.468±0.046	1.017±0.036	0.496±0.033	0.275±0.018	0.087±0.049	0.023±0.004	0.361±0.005	
M1-3遺物群	45	0.777±0.003	0.154±0.008	0.029±0.002	1.627±0.105	0.287±0.019	0.345±0.042	0.120±0.008	0.018±0.016	0.035±0.001	0.466±0.005	
Y1-3遺物群	70	0.135±0.012	0.002±0.000	0.017±0.003	1.118±0.051	0.855±0.006	0.068±0.019	0.130±0.022	0.272±0.050	0.022±0.004	0.139±0.012	
イリヌヤク	26	38.88±1.260	0.198±0.068	0.297±0.022	27.963±2.698	0.055±0.017	2.716±1.362	1.363±0.019	0.058±0.009	0.173±0.029	1.674±0.240	
IMA-1遺物群	43	26.16±1.493	0.108±0.636	0.240±0.010	26.696±1.014	0.176±0.011	1.337±0.082	0.350±0.025	0.011±0.041	0.222±0.013	1.176±1.123	
IMA-2遺物群	43	27.26±1.462	0.128±0.382	0.218±0.009	24.174±0.833	0.183±0.023	2.233±0.079	0.899±0.022	0.009±0.011	0.193±0.012	1.548±1.104	
IMA-4遺物群	43	20.60±3.592	0.780±1.292	0.263±0.010	27.839±1.089	0.179±0.021	2.709±0.089	0.121±0.009	0.225±0.028	0.205±0.282	1.200±0.282	
IMA-5遺物群	27	38.00±1.836	0.965±0.667	0.290±0.010	27.523±1.037	0.189±0.029	2.287±0.088	0.111±0.029	0.031±0.009	0.219±0.013	1.177±1.127	
IMA-1遺物群	43	28.212±2.767	8.423±1.106	0.241±0.010	27.096±1.027	0.189±0.036	2.132±0.066	0.124±0.022	0.089±0.032	0.182±0.022	1.904±0.221	
IMA-1遺物群	43	35.615±1.491	8.739±0.627	0.211±0.009	23.337±0.721	0.176±0.037	2.219±0.075	0.097±0.019	0.027±0.041	0.136±0.011	1.504±1.308	
IMA-1遺物群	43	36.950±1.432	1.993±0.713	0.150±0.006	18.028±0.496	0.133±0.038	2.464±0.073	0.071±0.020	0.042±0.030	0.133±0.012	1.600±1.120	
IMA-1遺物群	43	35.252±1.229	7.622±0.361	0.131±0.006	17.579±0.609	0.133±0.036	2.633±0.073	0.063±0.018	0.041±0.022	0.128±0.019	1.290±1.098	
IMA-1遺物群	47	0.349±0.008	0.108±0.003	0.113±0.006	1.362±0.060	0.219±0.017	0.304±0.028	0.109±0.012	0.049±0.011	0.008±0.019	0.641±0.013	
パワリ遺物群	45	0.200±0.019	0.080±0.007	0.019±0.002	1.198±0.106	0.729±0.028	0.007±0.028	0.228±0.036	0.069±0.012	0.035±0.040	0.502±0.040	
パワリ遺物群	48	0.128±0.014	0.045±0.002	0.012±0.001	0.899±0.071	0.749±0.056	0.008±0.006	0.289±0.021	0.048±0.018	0.023±0.001	0.342±0.007	
パワリ遺物群	48	0.275±0.009	0.112±0.003	0.069±0.002	1.239±0.027	0.412±0.014	0.369±0.026	0.121±0.013	0.061±0.028	0.029±0.001	0.386±0.011	
パワリ遺物群	45	0.286±0.000	0.048±0.008	0.056±0.012	1.341±0.010	0.318±0.010	0.425±0.013	0.382±0.014	0.048±0.020	0.000±0.001	0.291±0.007	
パワリ遺物群	46	0.795±0.048	0.225±0.021	0.048±0.010	1.851±0.180	0.246±0.014	0.732±0.059	0.075±0.025	0.068±0.008	0.041±0.004	0.682±0.022	
パワリ遺物群	1	0.717±0.018	0.209±0.006	0.031±0.006	1.684±0.043	0.1719±0.007	0.398±0.016	0.065±0.006	0.048±0.008	0.011±0.001	0.642±0.019	
パワリ遺物群	48	0.281±0.008	0.067±0.004	0.043±0.007	1.642±0.053	0.282±0.011	0.753±0.026	0.066±0.026	0.033±0.002	0.037±0.010	0.178±0.019	
パワリ遺物群	48	0.141±0.007	0.031±0.003	0.029±0.004	1.400±0.022	0.201±0.007	0.159±0.008	0.106±0.009	0.014±0.008	0.019±0.002	0.149±0.014	
アラスカ	40	0.255±0.007	0.160±0.005	0.029±0.004	1.217±0.034	0.362±0.007	0.151±0.006	0.106±0.009	0.021±0.007	0.025±0.003	0.303±0.007	
アラスカ	45	0.487±0.009	0.153±0.005	0.043±0.002	3.288±0.047	0.186±0.015	0.400±0.019	0.118±0.011	0.019±0.013	0.022±0.001	0.448±0.010	
Ushib-1遺物群	44	0.184±0.006	0.074±0.003	0.075±0.004	4.496±0.979	0.728±0.028	0.423±0.042	0.151±0.027	0.281±0.079	0.022±0.004	0.328±0.004	
Ushib-1遺物群	40	0.537±0.015	0.186±0.011	0.061±0.004	3.84±0.082	0.253±0.021	1.423±0.046	0.080±0.048	0.029±0.023	0.090±0.010	0.397±0.012	
Ushib-1遺物群	50	0.281±0.005	0.141±0.003	0.068±0.002	2.290±0.329	0.777±0.017	0.669±0.022	0.114±0.013	0.21±0.052	0.028±0.000	0.366±0.004	
Ushib-1遺物群	40	0.197±0.017	0.074±0.003	0.035±0.002	4.08±0.030	0.975±0.027	0.214±0.023	0.220±0.018	0.120±0.028	0.023±0.000	0.327±0.003	
GM1-2遺物群	40	2.887±0.065	1.686±0.046	0.078±0.001	4.355±0.074	0.300±0.007	0.821±0.018	0.313±0.006	0.043±0.018	0.047±0.001	0.508±0.014	
YUKI-1遺物群	40	0.150±0.003	0.041±0.002	0.026±0.002	3.200±0.051	1.022±0.027	0.097±0.019	0.253±0.017	0.166±0.013	0.022±0.001	0.331±0.010	
YUKI-1遺物群	40	1.54±0.007	0.066±0.004	0.017±0.002	4.06±0.039	1.046±0.028	0.178±0.017	0.232±0.014	0.348±0.026	0.033±0.002	0.272±0.007	
YUKI-1遺物群	40	0.172±0.003	0.086±0.003	0.022±0.002	4.05±0.041	0.830±0.028	0.312±0.022	0.177±0.017	0.088±0.043	0.022±0.001	0.327±0.004	
YUKI-1遺物群	40	0.427±0.005	0.170±0.002	0.024±0.001	1.842±0.009	1.128±0.005	0.136±0.005	0.129±0.004	0.077±0.001	0.027±0.001	0.261±0.004	
YUKI-1遺物群	40	0.428±0.027	0.240±0.017	0.039±0.001	2.115±0.022	0.242±0.007	0.308±0.009	0.087±0.006	0.011±0.019	0.015±0.001	0.324±0.004	
CHUBI-2遺物群	40	0.606±0.008	0.200±0.029	0.043±0.001	1.774±0.045	0.1065±0.007	0.365±0.007	0.306±0.007	0.041±0.011	0.025±0.001	0.429±0.016	
CBRG-1遺物群	40	0.089±0.003	0.103±0.001	0.006±0.000	4.111±0.004	0.074±0.002	0.000±0.001	0.064±0.002	0.219±0.004	0.021±0.001	0.313±0.001	
MK1-2遺物群	41	0.438±0.007	0.165±0.005	0.027±0.001	1.409±0.029	0.243±0.009	0.560±0.016	0.068±0.009	0.020±0.017	0.029±0.001	0.271±0.007	
MK1-2遺物群	41	0.126±0.004	0.086±0.001	0.066±0.003	1.091±0.011	0.830±0.010	0.646±0.016	0.211±0.013	0.338±0.017	0.020±0.001	0.333±0.004	
HAI-1遺物群	41	0.222±0.007	0.100±0.004	0.021±0.001	1.338±0.135	0.454±0.028	0.412±0.018	0.134±0.014	0.022±0.022	0.020±0.001	0.279±0.001	
HAI-1遺物群	41	0.235±0.005	0.082±0.003	0.028±0.002	1.843±0.080	1.066±0.015	0.307±0.028	0.311±0.011	0.082±0.008	0.028±0.001	0.363±0.016	
HMD-1遺物群	41	0.073±0.004	0.234±0.004	0.008±0.000	0.721±0.004	0.063±0.002	0.001±0.001	0.067±0.004	0.179±0.004	0.019±0.002	0.322±0.001	
MDF-1遺物群	41	0.274±0.006	0.170±0.003	0.031±0.001	1.293±0.020	0.400±0.010	0.412±0.017	0.090±0.015	0.001±0.025	0.008±0.001	0.309±0.001	
MDF-1遺物群	41	0.156±0.004	0.048±0.001	0.131±0.006	1.244±0.141	0.225±0.001	0.031±0.023	0.030±0.024	0.290±0.002	0.043±0.001	0.242±0.002	
NOA-1遺物群	41											

黒曜石の原産地は分布する。調査を終えた原産地を図IV-3に示す。元素組成によってこれら原石を分類した結果を表IV-4～7に示す。この原石群に原産地不明の遺物で作った遺物群を加えると281個の群の数になる。ここでは北海道地域および一部の東北地域の産地について記述すると、白滝地域の原産地は、北海道紋別郡白滝村に位置し、鹿砦北方2kmの採石場の赤石山の露頭、鹿砦東方約2kmの幌加沢地点、他に白土沢、八号沢などより転礫として黒曜石が採取できる。赤石山の産地は大規模であり、黒曜石は色に関係無く赤石山群（旧白滝第一群）にまとまる。次に、あじさいの滝の露頭からは赤石山と肉眼観察では区別できない原石が採取でき、あじさい滝群を作った（旧白滝第二群）。それから、八号沢の黒曜石原石と白土沢の転礫は黒曜石で、元素組成はあじさい滝群に似るが、石肌が梨肌でありそれで区別できる。幌加沢の転礫の中で70%は幌加沢群になり、あじさい滝群と元素組成から両群を区別できず、残りの30%は赤石山群に一致する。置戸地域産原石のうち、北海道常呂郡置戸町の清水の沢林道より採取された原石の元素組成は置戸・所山群にまとまり、また同町の秋田林道で採取される原石の元素組成は置戸山群にまとまる。留辺蘂町のケシヨマップ川一帯で採取される原石はケシヨマップ第一および第二群に分類される。また、白滝地域、ケシヨマップ、置戸地域産原石は、湧別川および常呂川に通じる流域にあり、その両河川の流域では黒曜石の円礫が採取される。そのうち湧別川下流域から採取した黒曜石円礫247個の元素組成の分類結果を表IV-8に示した。それから、中ノ島、北見大橋間の常呂川流域から採取した37個の円礫の中には、独特な元素組成の原石も見られるため新しい原石群を追加し分類結果を表IV-9に示した。十勝三股産原石の採取場所は、北海道河東郡上士幌町の十勝三股の十三ノ沢の谷筋および沢の中であり、その元素組成は十勝三股群にまとまる。この十勝三股産原石は十三ノ沢から音更川さらに十勝川に流れた可能性があり、十勝川から採取される黒曜石円礫の元素組成は、十勝三股産の原石の元素組成ととてもよく似ている。また、上士幌町のサンケオルベ川より採取される黒曜石円礫の元素組成も十勝三股産原石の元素組成ととてもよく似ている。これら元素組成のよく似た原石の原産地は互いに区別できないため、遺物石材の産地分析でたとえ十勝三股群に同定されたとしても、他に音更川、十勝川、サンケオルベ川の複数の地点を考えなければならない。しかし、これら複数の産地をまとめて十勝地域としても、古代の地域間の交流を考察する場合、問題はないと考えられる。また、清水町、新得町、鹿追町にかけて広がる美蔓台地から産出する黒曜石から2個の美蔓原石群を作った。この原石は産地近傍の遺跡で使用されている。名寄市の智南地域、智恵文川および忠烈布貯水池から上名寄の地域にかけて黒曜石の円礫が採集される。これらを元素組成で分類すると88%は名寄第一群、12%は名寄第二群にそれぞれなる。旭川市の近文台、台場、嵐山遺跡付近および雨文台北部などから採集される黒曜石の円礫は、20%が近文台第一群、69%が近文台第二群、11%が近文台第三群にそれぞれ分類される。そのうち台場の砂礫採取場からは近文台諸群に一致するもの以外に黒、灰色系統の円礫も見られ、それらから台場第一、二群を作った。滝川市江別乙で採集される親指大の黒曜石の礫は、元素組成で分類すると約79%が滝川群にまとまり、21%が近文台第二、三群に元素組成が一致する。このうち滝川群に一致する元素組成の原石は、北竜市恵袋別川のほりにある培本社からも採取される。秩父別第一、二群の黒曜石原石は秩父別町の雨竜川に開けた平野を見下す丘陵中腹の緩斜面から小さな円礫として採取される。これらの黒曜石原石の産出状況や礫の状態は滝川産黒曜石と同じであり、そして秩父別第一群は滝川第一群に元素組成が一致し、秩父別第二群は滝川第二群に一致し、さらに近文台第二群にも一致する。赤井川産原石は、北海道余市郡赤井川村の土木沢上流域およびこの付近の山腹より採取できる。この原石のうち、少球顆状の列が何層にも重なり石器の原材として良質とはいえない原石で赤井川第一群を作り、また、球顆状のものが非常に少ない握り拳半分大の良質な原石などで赤井川第二群を作った。



図N-3 黒曜石原産地

表N-8 湧別川河口域の河床から採取した247個の黒曜石円礫の分類結果

原石群名	個数	百分率	備考
赤石山群	90個	36%	白滝産地赤石山群に一致
八号沢・白土沢群	120個	49%	割れ面が梨肌の黒曜石
あじさい滝群、梶加沢	31個	13%	割れ面が梨肌でないもの
ケショマップ第二群	5個	2%	
K.S.3遺物群	1個	0.04%	

注：八号沢、白土沢、あじさい滝、梶加沢の一部は組成が類似し、分類は割れ面が梨肌か否かで区別した。

表N-9 常呂川(中ノ島～北見大橋)から採取した37個の黒曜石円礫の分類結果

原石群名	個数	百分率	備考
所山群	21個	57%	
置戸山群	8個	22%	HS 2 遺物群に似る
ケショマップ第二群	1個	3%	FR 1、FR 2 遺物群に似る
八号沢群	1個	3%	割れ面梨肌
常呂川第1群	1個	3%	
常呂川第2群	2個	5%	
常呂川第3群	1個	3%	
常呂川第4群	2個	5%	K.S.1 遺物群、所山群に似る

注：常呂川第1～2群は分析場所を変えて複数回測定して作る。

これら第一、二群の元素組成は非常に似ていて、遺物を分析したとき、しばしば赤井川両群に同定される。豊泉産原石は豊浦町から産出し、元素組成によって豊泉第一、二群の2群に区別される。そのうち豊泉第二群の原石は斑晶が少なく良質な黒曜石である。豊泉産原石の使用圏は道南地方に広がり、一部は青森県に伝播している。また、青森県教育庁の青森岳氏提供の奥尻島帆内川産黒曜石で原石群が確立されている。出来島群は、青森県西津軽郡木造町七里長浜の海岸部より採取された円礫の原石で作られた群であり、この出来島群と互いに似た元素組成の原石は、岩木山の西側を流れ鯉ヶ沢地区に流入する中村川の上流で1点採取され、その他には青森市の鶴ヶ坂および西津軽郡森田村鶴ばみ地区より採取されている。青森県西津軽郡深浦町の海岸や同町の六角沢およびこの沢筋に位置する露頭より採取された原石で六角沢群を作り、また八森山産出の原石で八森山群をそれぞれ作った。深浦の両群とよく似た群は青森市戸門地区より産出する黒曜石で作られた戸門第二群である。戸門第一群、成田群、浪岡町泉の森地区より産出した原石で作った大釈迦群（旧浪岡群）は赤井川産原石の第一、二群と弁別は可能であるが原石の元素組成は比較的似ている。戸門、大釈迦産黒曜石の産出量は非常に少なく、その中には石鎌が作れる大きさのものが稀にみられる程度である。しかし、鷹森山群は鷹森山麓の成田地区産出の黒曜石でありその中には5 cm 大のものもみられる。その他に考古学者の話題になる下湯川産黒曜石についても原石群を作った。産地分析は、上記の産地を含む日本各地、近隣諸国を含めた産地の合計281個の原石群、原石産地不明の遺物群と比較し、必要条件と十分条件を求めて遺物の原石産地を同定する。

(4) 結果と考察

遺跡から出土した黒曜石製石器、石片は風化に対して安定で、表面に薄い水和層が形成されているにすぎないため、表面の泥を水洗するだけで完全な非破壊分析が可能であると考えられる。黒曜石製の石器で、水和層の影響を考慮するとすれば、軽い元素の分析ほど表面分析になるため、水和層の影響を受けやすいと考えられる。Ca/K、Ti/Kの両軽元素比の値を除いて産地分析を行った場合と、また除かず産地分析を行った場合の、いずれの場合でも同定される産地は同じである。他の元素比の値についても風化の影響を完全に否定することができないので、得られた確率の数値にはやや不確実さを伴うが、遺物の石材産地の判定を誤るようなことはない。

今回分析した上白滝8遺跡出土の黒曜石製遺物の各元素比の値を表Ⅳ-10に示した。石器の分析結果から石材産地を同定するためには数理統計の手法を用いて各原石群との比較をする。説明を簡単にするため例としてRb/Zrの一変量だけを考えて、表Ⅳ-10の分析番号95226番の遺物ではRb/Zrの値は1.345である。そこでこの値を赤石山群と比較すると、赤石山の[平均値] ± [標準偏差値]は1.340 ± 0.059であるので、分析番号95226番の遺物と原石群の差を標準偏差値(σ)を基準にして考えると、遺物は赤石山群の平均値から0.08σ離れている。ところで赤石山群原産地から100個の原石を採ってきて分析すると、平均値から±0.08σのずれより大きいものが93個ある。すなわち、この遺物が、赤石山群の原石から作られていたと仮定しても、0.08σ以上離れる確率は93%であると言える。だから、赤石山群の平均値から0.08σしか離れていないときには、この遺物が赤石山群の原石から作られたものでないとは、到底言い切れない。ところがこの遺物を滝川第一群と比較すると、滝川第一群の[平均値] ± [標準偏差値]は1.017 ± 0.045であるので、その平均値からの隔たりは7.29σである。これを確率の言葉で表現すると、滝川第一群の原石を採ってきて分析したとき、平均値から7.29σ以上離れている確率は、一兆分の一であると言える。このように、一兆個に一個しかないような原石をたまたま採取して、この遺物が作られたとは考えられないから、この遺物は、滝川第一群の原石

表N-10 上白滝 8 遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果

分析 番号	元 素 比									
	Ca/ K	Ti/ K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/ K	Si/ K
63853	0.526	0.108	0.057	2.520	0.594	0.620	0.204	0.034	0.027	0.409
63854	0.098	0.018	0.098	2.642	1.765	0.111	0.501	0.040	0.019	0.263
63949	0.156	0.062	0.048	2.436	1.194	0.242	0.294	0.130	0.033	0.379
63950	0.182	0.065	0.061	2.557	1.326	0.240	0.362	0.085	0.022	0.357
63951	0.188	0.065	0.041	2.638	1.294	0.279	0.343	0.042	0.027	0.354
63958	0.137	0.047	0.057	2.632	1.307	0.287	0.378	0.089	0.021	0.290
63959	0.168	0.067	0.107	2.797	1.436	0.298	0.361	0.050	0.026	0.374
92343	0.172	0.065	0.080	2.882	1.392	0.327	0.338	0.052	0.028	0.366
92344	0.176	0.069	0.083	2.961	1.473	0.325	0.370	0.067	0.026	0.359
92345	0.167	0.062	0.083	2.809	1.427	0.362	0.403	0.124	0.025	0.329
92346	0.171	0.053	0.081	2.934	1.402	0.378	0.383	0.077	0.027	0.365
92347	0.175	0.063	0.080	2.857	1.401	0.316	0.358	0.000	0.027	0.359
92348	0.325	0.129	0.044	1.829	0.842	0.464	0.176	0.146	0.028	0.383
92349	0.326	0.129	0.048	1.822	0.820	0.439	0.180	0.056	0.029	0.398
92350	0.141	0.023	0.092	2.953	1.876	0.010	0.488	0.160	0.024	0.332
92351	0.335	0.132	0.045	1.841	0.855	0.449	0.172	0.053	0.029	0.400
92352	0.319	0.118	0.049	1.841	0.887	0.440	0.172	0.008	0.028	0.393
92353	0.332	0.125	0.046	1.803	0.825	0.432	0.176	0.005	0.029	0.404
92354	0.174	0.064	0.075	2.619	1.189	0.270	0.333	0.007	0.026	0.361
92355	0.331	0.119	0.046	1.812	0.839	0.453	0.179	0.063	0.028	0.391
92356	0.327	0.128	0.049	1.834	0.815	0.429	0.162	0.073	0.028	0.389
92357	0.175	0.066	0.083	2.875	1.366	0.212	0.325	0.032	0.026	0.366
92358	0.141	0.022	0.100	3.026	1.832	0.087	0.471	0.119	0.026	0.357
92359	0.176	0.061	0.086	2.710	1.443	0.321	0.372	0.111	0.027	0.360
95222	0.550	0.107	0.047	2.381	0.620	0.607	0.188	0.028	0.025	0.327
95223	0.177	0.059	0.076	2.610	1.309	0.311	0.348	0.092	0.026	0.356
95224	0.179	0.067	0.071	2.346	1.245	0.259	0.330	0.028	0.027	0.362
95225	0.185	0.082	0.078	2.541	1.356	0.274	0.327	0.060	0.020	0.288
95226	0.174	0.071	0.082	2.731	1.345	0.238	0.295	0.034	0.026	0.353
95227	0.163	0.064	0.083	2.704	1.381	0.260	0.332	0.062	0.024	0.321
95228	0.176	0.067	0.077	2.674	1.277	0.234	0.334	0.056	0.027	0.356
95229	0.265	0.085	0.073	2.370	1.131	0.463	0.337	0.076	0.028	0.376
95230	0.173	0.057	0.074	2.486	1.277	0.309	0.311	0.003	0.028	0.372
95231	0.177	0.062	0.084	2.754	1.504	0.343	0.353	0.011	0.027	0.358
95232	0.169	0.062	0.078	2.612	1.335	0.249	0.331	0.078	0.026	0.352
95233	0.136	0.022	0.096	2.885	1.838	0.058	0.475	0.113	0.026	0.348
95234	0.178	0.067	0.077	2.487	1.326	0.284	0.344	0.044	0.027	0.372
95235	0.144	0.028	0.103	2.744	1.744	0.087	0.508	0.136	0.027	0.352
95236	0.175	0.064	0.084	2.937	1.405	0.321	0.379	0.112	0.026	0.353
95237	0.137	0.023	0.103	3.013	1.973	0.119	0.506	0.137	0.025	0.346
95238	0.180	0.064	0.084	2.695	1.384	0.263	0.340	0.046	0.027	0.354
95239	0.177	0.064	0.078	2.628	1.293	0.311	0.343	0.114	0.027	0.369
95240	0.140	0.021	0.101	2.965	1.810	0.120	0.460	0.171	0.026	0.348
95305	0.330	0.129	0.043	1.869	0.825	0.446	0.173	0.002	0.028	0.384
95306	0.143	0.021	0.110	3.152	2.084	0.126	0.563	0.142	0.026	0.347
JG-1	0.780	0.208	0.072	4.113	0.969	1.260	0.310	0.047	0.031	0.317

JG-1: 標準試料—Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E. 1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. *Geochemical Journal*, Vol. 8 175-192(1974)

から作られたものではないと断定できる。これらのことを簡単にまとめて言うと、「この遺物は赤石山群に93%の確率で帰属され、信頼限界の0.1%を満たしていることから赤石山群産原石が使用されていると断定される。さらに滝川第一群に百億分の1%の低い確率で帰属され、信頼限界の0.1%を満たさないことから滝川第一群の原石でないと判断される」。遺物が1か所の産地（赤石山群産地）と一致したからと言って、たとえ赤石山群と滝川第一群の原石は成分が異なっている、分析している試料は原石でなく遺物であり、さらに分析誤差が大きくなる不定形（非破壊分析）であることから、他の産地に一致しないとは断定できない。また同種岩石の中での分類である以上、他の産地にも同定される可能性が考えられる。即ちある産地（赤石山群産地）に同定され必要条件を満足したと言っても同定された産地の原石とは限らないために、帰属確率による判定を表IV-4~7の281個全ての原石群、遺物群について行い十分条件を求め、低い確率で帰属された原石群、遺物群の石材は使用していないとして消していくことにより、はじめて赤石山群産地の石材のみが使用されていると判定される。実際はRb/Zrといった唯一の変量だけでなく、前述した八つの変量で取り扱うので変量間の相関を考慮しなければならない。例えば、A原産地のA群でCa元素とRb元素との間に相関があり、Caの量を計ればRbの量は分析しなくても分かるようなときは、A群の石材で作られた遺物であれば、A群と比較したとき、Ca量が一致すれば当然Rb量も一致するはずである。従って、もしRb量だけが少すれている場合には、この試料はA群に属していないと言わなければならない。このことを数的に導き出せるようにしたのが相関を考慮した多変量統計の手法であるマハラノビスの距離を求めて行うホテリングのT²乗検定である。これによって、それぞれの群に帰属する確率を求めて産地を同定する^{4,5)}。産地の同定結果は1個の遺物に対して、黒曜石では281個の推定確率結果が得られている。今回産地分析を行った遺物の産地推定結果については低い確率で帰属された原産地の推定確率は紙面の都合上記入を省略しているが、本研究ではこれら産地の可能性が非常に低いことを確認したという非常に重要な意味を含んでいる。すなわち赤石山産原石と判定された遺物に対して、カムチャッカ産原石とカロシア、北朝鮮の遺跡で使用されている原石および信州和田峠産の原石の可能性を考慮する必要がないという結果であり、ここでは高い確率で同定された産地のみの結果を表IV-11に記入している。原石群、遺物群を作った石材試料は直径3cm以上である。しかし遺物試料は多数を決められた時間で処理するために、小さな遺物試料の分析に多くの時間をかけられない事情があり、短時間で測定を打ち切る。このため、得られた遺物の測定値には大きな誤差範囲が含まれ、ときには原石群、遺物群の元素組成のバラツキの範囲を越えて大きくなる。従って、小さな遺物の産地推定を行ったときに、判定の信頼限界としている0.1%に達しない確率を示す場合が比較的多くみられる。この場合には、石材産地（確率）の欄の確率値に替えて、マハラノビスの距離D²乗の値を記した。この遺物については、記入されたD²乗の値が原石群、遺物群の中で最も小さなD²乗値であり、この値が小さい程、遺物の元素組成はその原石群、遺物群の元素組成と似ていると言えるため、推定確率は低いが、その石材産地と考えてはほぼ間違いないと判断されたものである。白滝地域産黒曜石の中で、赤石山産原石の割れ面はガラス光沢を持っているが、元素組成が互いに似たあじさい滝、八号沢、白土沢、幌加沢の各群の原石のうちあじさい滝、幌加沢産はガラス光沢を示し、そして八号沢、白土沢産は梨肌を示すため、原石産地の判定に梨肌が、ガラス光沢かを判定の指標に加えた。赤井川および十勝産原石を使用した遺物の判定は複雑である。これは青森市戸門、鷹森山地区、浪岡町大釈迦より産出する黒曜石でそれぞれ作られた戸門第一、鷹森山、大釈迦の各群の元素組成が赤井川第一、二群、十勝三股群に比較的近似しているために、遺物の産地を同定したときに、戸門原産地と赤井川または十勝産地、またこれら3か所の原産地に同時に同定される場合がしばしば見られる。このとき戸門産地の

表N-11 上白滝 8 遺跡出土黒曜石製遺物の原産地推定結果

分析番号	試料番号	遺跡名	プロット	分析番号	分析番号	分析番号	検出番号	ホナリソのT4検定結果		判定	産地	表面状態
								ホナリソのT4検定結果	判定			
63853	SHIRA X12	上白滝 8	95	L27	1151	-	-	Ⅱ-218-1	ケソマツコ第一群 (58%), 東夷群I群2遺物群 (22%), 東夷第一群 (3%), 西田第二群 (2%), 高文白第三群 (1%)	ケソマツコ	右面 左面	
63854	SHIRA X13	上白滝 8	95	P 25	25	-	5748	Ⅱ-233-64	あじさい洞 (0.1%)	あじさい洞	右面 左面	肌肌ではない
63849	SHIRA W 8	上白滝 8	77	P 10	33	-	56808	Ⅱ-63-50	赤石山 (3%)	赤石山	両面	
63860	SHIRA W 9	上白滝 8	77	P 10	95	320	-	Ⅱ-60-36	赤石山 (12%)	赤石山	両面	
63851	SHIRA W10	上白滝 8	77	R 11	3	332	432	Ⅱ-77-13	赤石山 (12%)	赤石山	両面	
63858	SHIRA W17	上白滝 8	95	M28	654	-	-	Ⅱ-253-80	赤石山 (0.2%)	赤石山	両面	
63856	SHIRA W18	上白滝 8	95	N 28	250	-	-	Ⅱ-233-63	赤石山 (30%)	赤石山	両面	
62343	SHIRA X177	上白滝 8	73	K 14	1	512	-	Ⅱ-77-17	赤石山 (54%), 観加沢 (0.5%)	赤石山	両面	
62344	SHIRA X178	上白滝 8	77	N 10	1	-	-	Ⅱ-78-19	赤石山 (35%), 観加沢 (0.3%)	赤石山	両面	
62345	SHIRA X179	上白滝 8	76	L 10	29	-	-	Ⅱ-76-11	赤石山 (14%)	赤石山	両面	
62346	SHIRA X180	上白滝 8	74	L 12	21	-	-	Ⅱ-60-34	赤石山 (6%)	赤石山	両面	
62347	SHIRA X181	上白滝 8	67	K 37	415	-	-	Ⅱ-43-1	赤石山 (30%), 観加沢 (2%)	赤石山	両面 両面 両面	
62348	SHIRA X182	上白滝 8	91	H 34	25	-	-	Ⅱ-237-175	所山 (19%)	所山	両面	
62349	SHIRA X183	上白滝 8	109	N 8	24	-	-	Ⅱ-488-11	所山 (97%), 赤石山第 4 群 (23%)	所山	両面	
62350	SHIRA X184	上白滝 8	85	O 36	31	-	-	Ⅱ-513-3	白土沢 (23%), 観加沢 (5%), あじさい洞 (2%), 八号沢 (0.4%)	あじさい洞	両面	肌肌ではない
62351	SHIRA X185	上白滝 8	91	H 34	5	-	58007	Ⅱ-513-6	所山 (57%), 赤石山第 4 群 (3%), 東夷第一群 (0.1%)	所山	両面	
62352	SHIRA X186	上白滝 8	91	H 33	53	-	-	Ⅱ-513-5	所山 (9%), 赤石山第 4 群 (2%)	所山	両面	
62353	SHIRA X187	上白滝 8	109	N 8	130	-	-	Ⅱ-513-7	所山 (77%), 赤石山第 4 群 (9%)	所山	両面	
62354	SHIRA X188	上白滝 8	83	N 38	775	-	57856	関取108-226	赤石山 (49%), 観加沢 (0.9%)	赤石山	右面	
62355	SHIRA H169	上白滝 8	97	K 22	503	-	-	Ⅱ-369-1	所山 (56%), 赤石山第 4 群 (10%)	所山	両面	
62356	SHIRA H170	上白滝 8	97	K 22	520	-	-	Ⅱ-369-3	所山 (35%), 赤石山第 4 群 (6%)	所山	両面	
62357	SHIRA H171	上白滝 8	101	L 11	1	-	-	Ⅱ-399-282	赤石山 (21%), 観加沢 (0.2%)	赤石山	両面 両面	
62358	SHIRA H172	上白滝 8	-	L 41	1-1	-	-	Ⅱ-510-1	観加沢 (96.6%), 白土沢 (58%), あじさい洞 (96%), 八号沢 (92%)	あじさい洞	両面	肌肌ではない
62359	SHIRA H173	上白滝 8	110	Q 3	44	-	-	Ⅱ-496-1	赤石山 (62%), 観加沢 (0.6%)	赤石山	両面	
62322	SHIRA X248	上白滝 8	93	L 30	270	-	-	Ⅱ-219-13	東夷群I群2遺物群 (30%), ケソマツコ第一群 (10%), 東夷第一群 (4%), 東夷第二群 (3%), 東夷群I群3遺物群 (0.1%), 高文白第三群 (0.1%)	ケソマツコ	両面	
62323	SHIRA X249	上白滝 8	93	O 29	464	-	-	Ⅱ-219-11	赤石山 (93%), 観加沢 (2%)	赤石山	両面	
62324	SHIRA X250	上白滝 8	93	P 28	5760	-	57990	Ⅱ-219-12	赤石山 (45%), 上白滝 5 ST139 (3%)	赤石山	両面	
62325	SHIRA X251	上白滝 8	93	M 29	662	-	57993	Ⅱ-218-4	上白滝 5 ST139 (49%) 【赤石山 (90%), 上白滝 5 ST139 (24%), 観加沢 (3%), 白土沢 (0.2%)】	赤石山	両面	
62326	SHIRA X252	上白滝 8	93	P 28	5634	-	57997	Ⅱ-218-6	赤石山 (30%), 上白滝 5 ST139 (1%)	赤石山	両面	
62327	SHIRA X253	上白滝 8	93	M 30	4193	807	4072	Ⅱ-218-5	赤石山 (70%)	赤石山	両面	
62328	SHIRA X254	上白滝 8	93	P 28	811	725	3329	Ⅱ-220-18	赤石山 (80%), 観加沢 (0.3%), 上白滝 5 ST139 (0.2%)	赤石山	両面	
62329	SHIRA X255	上白滝 8	95	K 29	321	-	-	Ⅱ-219-10	十勝三鼓 (62%), 大帆渡 (0.3%), 戸川第一群 (0.3%)	十勝	両面	
62330	SHIRA X256	上白滝 8	97	J 24	1666	-	-	Ⅱ-369-5	赤石山 (19%), 観加沢 (0.7%)	赤石山	両面	
62331	SHIRA X257	上白滝 8	99	J 21	250	-	-	Ⅱ-369-2	赤石山 (15%), 観加沢 (0.1%)	赤石山	両面	
62332	SHIRA X258	上白滝 8	-	K 24	1-1	-	-	Ⅱ-369-6	赤石山 (97%), 観加沢 (0.3%), 上白滝 5 ST139 (0.1%)	赤石山	両面	
62333	SHIRA X259	上白滝 8	97	J 23	878	783	3301	Ⅱ-279-334	白土沢 (92%), 観加沢 (92%), あじさい洞 (53%), 八号沢 (32%)	八号沢	両面	肌肌
62334	SHIRA X360	上白滝 8	93	L 30	828	727	3285	Ⅱ-277-333	赤石山 (85%), 上白滝 5 ST139 (5%)	赤石山	両面	
62335	SHIRA X361	上白滝 8	96	N 23	117	1054	4267	関取252-503	白土沢 (8%), あじさい洞 (8%), 観加沢 (2%)	八号沢	両面	肌肌
62336	SHIRA X362	上白滝 8	97	K 24	427	1067	4333	Ⅱ-281-335	赤石山 (74%), 観加沢 (0.5%)	赤石山	両面	
62327	SHIRA X363	上白滝 8	95	M 27	1152	265	3306	関取251-506	観加沢 (72%), あじさい洞 (65%), 白土沢 (53%), 八号沢 (13%)	八号沢	両面	肌肌
62338	SHIRA X364	上白滝 8	93	N 29	674	740	3358	Ⅱ-274-331	赤石山 (65%), 上白滝 5 ST139 (1%)	赤石山	両面	
62329	SHIRA X365	上白滝 8	95	P 25	26	754	3418	関取253-508	赤石山 (92%), 観加沢 (0.5%)	赤石山	両面	
62340	SHIRA X366	上白滝 8	93	K 30	82	286	3309	Ⅱ-285-337	観加沢 (90%), 白土沢 (84%), あじさい洞 (60%), 八号沢 (54%)	八号沢	両面	肌肌
62300	SHIRA H187	上白滝 8	95	J 29	96	-	-	Ⅱ-218-2	所山 (90%), 赤石山第 4 群 (3%), ケウス NS 1 遺物群 (0.2%), 東夷第一群 (0.1%)	所山	両面	
63006	SHIRA H188	上白滝 8	95	M 27	286	-	-	Ⅱ-218-3	観加沢 (40%), 白土沢 (24%), あじさい洞 (19%), 八号沢 (0.6%)	八号沢	両面	

【注】は、ホナリソのT4検定結果 (確率) を算出するために Ca/Ci 比率を仮定して得られた結果。

注: 近年産地分析を行う所が多くなりましたが、判定根拠が曖昧にも関わらず結果のみを報告する場合があります。本報告では日本における各遺跡の産地分析の判定基準を一定にして、産地分析を行っていますが、判定基準の異なる研究機関 (生産地別の産地分析結果を異なるように) にも関わらず、産地分析の結果が異なるように思われるが、あくまでも「報告」(報告) であり、あくまでも、本報告結果に優先しては本報告の判定結果が優先する必要があります。本報告の分析結果を参考とする場合は注意して報告していただく必要がございます。

原石が使用されたか否かは、その遺跡で多数の遺物を分析し戸門第一群と第二群に同定される割合を求め、これを戸門産地の原石を分析したときの第一群（50%）と第二群（50%）の出現割合と比較し戸門産地の可能性を推定する。今回分析した遺物のなかに全く戸門第二群に帰属される遺物が見られないことから戸門産地からの原石は使用されなかったと推測できる。また浪岡町大釈迦産原石は非常に小さい原石が多く使用された可能性は低いと思われる。

また、赤石山、八号沢・白土沢、あじさい滝、幌加沢群、ケショマップ第二群に一致する元素組成の原石は白滝地域、ケショマップ産地以外に湧別川下流域でも円礫状のものが採取される（表Ⅳ-8）。また、所山群、置戸山群、ケショマップ第二群、割れ面が梨肌で親指大の石材で八号沢群であるものに各々一致する元素組成の円礫状の原石が北見・常呂川流域で採取される（表Ⅳ-9）。分析した遺物が、白滝地域、置戸地域、留辺蘂・ケショマップ地域の露頭産か、また湧別川下流域、常呂川流域産のいずれかの産地から伝播したかを推測するには、多数の遺物を分析して各群に同定される頻度を求め、湧別川、常呂川採取黒曜石原石の頻度分布と比較して決定される。原石・遺物群の中で、所山群、常呂川第4群、KS1遺物群、滝川第二群はそれぞれ元素組成が似ているので水と層の影響（K元素比が少し小さくなる傾向）を受けた黒曜石製遺物では、複数の産地に信頼限界の0.1%を越えて同定される。遺物が複数の群に同定されその遺物に原石の自然面が残る場合は、円礫であるか、角礫であるか、河川産であるか、露頭産であるかによって判断する。

今回分析した上白滝8遺跡出土の黒曜石製石器、剥片の45個の中で赤石山産が58%（26個）、所山産が18%（8個）、八号沢産が11%（5個）、あじさい滝産が7%（3個）、ケショマップ産が4%（2個）、そして十勝産が2%（1個）と同定された。なお、上白滝5ST139遺物群はSHIRA-X139の片面によって作成した遺物群であり、もう片面の方は赤石山群に一致する。なお、分析番号95225番の判定結果であるが、以前の判定結果は上白滝5ST139遺物群であったが、改めて軽元素を抜いて同定を行ったところ、上白滝5ST139遺物群よりも高い確率で赤石山群と同定されたため、上白滝5ST139遺物群は赤石山群の石材の風化面を分析したものと考えられるので赤石山群と判定した。所山産と同定された1個が常呂川流域から採取された可能性は否定できないが、45個の遺物の中に常呂川流域でのみ見られる常呂川第1、2、3群が見られないことから、上記と同様に常呂川流域から採取した証拠はない。

また、分析番号95222番は東麓郷FR2遺物群が一番パーセンテージが高いが、分析した遺物の特徴や検定結果から、ケショマップ産と判定した。

（5）非破壊分析による黒曜石製遺物の水と層測定

今回分析した上白滝8遺跡出土の黒曜石製石器の12個について非破壊分析による水と層厚の結果が得られたので報告する。

分析方法は、黒曜石の表面に顕微鏡を通して光を照射したとき、黒曜石の表面で反射する光と、水と層を透過して水と和していない部分との境界で反射する光で生じる干渉波の波長から水と層の厚さを求めるやり方である。光の反射を利用するため、遺物の表面にできた使用痕および埋土中にできた摩耗傷などが水と層測定の障害になり測定できない場合が多々ある。また、水と層と新鮮面との境界面での反射光が非常に弱いので、境界面が明確に発達した部分を探して測定しなければならない。従って、傷のない場所を顕微鏡下で探して分析を行うため、試料によっては1個に数時間かかることもある。石器について3か所を分析し、代表的な水と層の干渉波スペクトルを図Ⅳ-4に示した。なお、分析番号63949～63951番と分析番号63959番の水と層の干渉波スペクトルのデータは無い。また測定

表 N-12 上白滝 8 遺跡出土黒曜石製遺物の水和層測定結果

分析 番号	試料番号	遺跡名	プロ ト ン	プロ ト ン 濃 度 %	結晶 率 %	結合 率 %	検出番号	判 定	水熱帯の厚さ 3ヶ所			析出年代 (kaP.)	水和速度 (μm/100ka)	遺 物 名	
									測定 1	測定 2	測定 3				
92949	SHIRA W 8	上白滝 8	77	P 30	33	—	S0806	黒-83-50	赤石山	4.99	5.23	4.30	16,279±1,991	1.48	掻替
92950	SHIRA W 9	上白滝 8	77	P 10	95	520	—	黒-80-36	赤石山	4.14	4.18	4.36	16,259±1,115	1.48	掻替
92951	SHIRA W 10	上白滝 8	77	R 11	3	532	432	黒-77-13	赤石山	4.73	4.90	5.10	16,250±1,005	1.48	掻替
92958	SHIRA W 17	上白滝 8	95	M28	664	—	—	黒-223-80	赤石山	—	—	—	—	1.48	ナイフ形石器
92959	SHIRA W 18	上白滝 8	95	N 28	250	—	—	黒-223-83	赤石山	6.17	6.30	6.10	25,844±695	1.48	ナイフ形石器
92353	SHIRA H169	上白滝 8	97	K 22	503	—	—	黒-369-1	所山	3.4723	3.4825	3.3622	9,104±284	1.35	矢頭部
92356	SHIRA H170	上白滝 8	97	K 22	520	—	—	黒-369-3	所山	4.7795	4.8001	4.8230	17,019±126	1.35	矢頭部
92357	SHIRA H171	上白滝 8	101	L 19	11	—	—	黒-399-282	赤石山	3.6238	5.3640	5.3396	18,909±869	1.60	つまみ付きナイフ
92358	SHIRA H172	上白滝 8	—	L 11	1-1	—	—	黒-510-1	あてきい成	3.0096	5.2988	5.1727	17,874±412	1.48	矢頭部
92359	SHIRA H173	上白滝 8	110	O 2	44	—	—	黒-496-1	赤石山	3.3606	3.5247	5.3686	20,230±679	1.48	矢頭部
92360	SHIRA H157	上白滝 8	95	J 29	96	—	—	黒-218-2	所山	3.8230	3.7261	3.7454	10,479±244	1.25	矢頭部
92366	SHIRA H188	上白滝 8	95	M 27	386	—	—	黒-218-3	丸割沢	4.7182	4.4232	4.5255	13,104±731	1.48	矢頭部

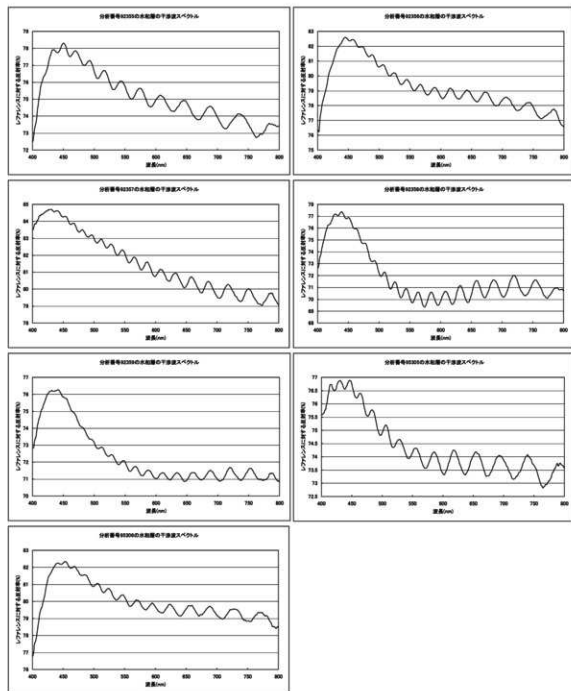


図 N-4 黒曜石水和層の干渉波スペクトル

した3か所の分析値、そしてそこから算出された3か所の経過年代、その3か所の経過年代の平均、標準偏差を表IV-12に記した。水和層の厚さを経過年代に換算するには、水和層を分析した黒曜石の経過年代を炭素-14法、フィッシュオントラック法で求めた絶対年代から、水和速度を求めて行う。この水和速度は黒曜石の埋土中に受ける温度によって異なるため、黒曜石が環境から受けた温度を正確に求めなければ、正確な年代の換算はできない。従って、遺物が経過した年代の間に受けた温度を旧石器時代では約7.5°Cを平均効果温度として水和速度^⑥を推定して、赤石山産・八号沢産・あじさい滝産原石は1.48 ($\mu\text{m}^2/1000\text{年}$)、所山産原石は1.35 ($\mu\text{m}^2/1000\text{年}$)とし、また縄文時代では約8.5°Cを平均効果温度として水和速度^⑥を推定して、赤石山産原石は1.6 ($\mu\text{m}^2/1000\text{年}$)とした。これらの水和速度の値を用いて下記の式により水和層の厚さを経過年代に換算した。なお、下記の式の中で分析した時の西暦年数から1,950を引いた値を前の式から引いているが、これは水和層による経過年代の計算が西暦1,950年を基準にしていることによるものである。

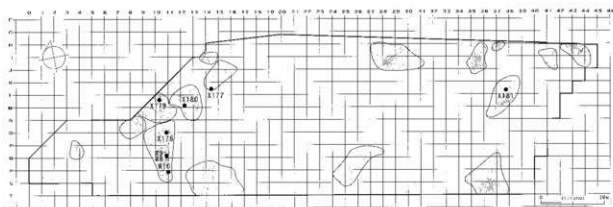
$$\text{推定経過年代 (B.P.) (年)} = \frac{\text{測定水和層の厚さ}(\mu\text{m}) \times \text{測定水和層の厚さ}(\mu\text{m})}{\text{水和速度}(\mu\text{m}^2/1000\text{年})} \times 1000$$

- (分析した時の西暦年数 - 1950)

今回非破壊分析で水和層が測定できた遺物の経過年代の結果を表IV-12に示した。今回測定した遺物の中で、分析番号63958番のものが測定不能であったが、これらの遺物は、干渉波が全く見られなかったり、干渉波の波長が測定箇所により変化し真の値が分らなかったものである。水和層の厚さを経過年代に換算するときの重要な係数である水和速度を決める重要な要因は、黒曜石の化学組成と温度であるため、自然科学者の実験室での水と実験によって水和速度を決定できるが、国内産黒曜石に関して研究はそこまで進んでいないのが現状である。現在は水和速度の決定については考古学者の協力なしでは決定できない。実験室での水和層生成が困難である限り、水和速度の決定の舞台は遺跡になる。今回の年代が炭素-14年代に比べて古すぎる場合は、温泉地とか温度の高い地下水などで埋土中の遺物温度が異常に高かったことが推測され、水和層は非常に厚くなり推定換算年代は古くなる。これは遺物の埋土位置の地温測定で推測できるが、しかし、過去の地温の測定はできない。炭素-14年代などで年代の分かる層から出土する黒曜石の水和層の厚さから水和速度を決定するため、発掘が重要な鍵を握ることは言うまでもない。石器の組成(原産地)さえ分かれば、考古学者が炭素-14年代と水和層のデータを集積し整理するだけで、正確な水和層年代が得られるようになる。これら考古学的作業により求められた水和速度は、水和機構(理論)が証明されていないが、考古学試料として実用するには問題ないと推測できる。従って、水和層年代は考古学者が企画するだけで実用的な年代が得られるため、将来、水和層年代が石器における土器編年のように身近な存在になると推測できる。

参考文献

- 1) 藁科哲男・東村武信(1975), 蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定(II)。考古学と自然科学, 8: 61-69
- 2) 藁科哲男・東村武信・鎌木義昌(1977), (1978), 蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定(III), (IV)。考古学と自然科学, 10, 11: 53-81: 33-47
- 3) 藁科哲男・東村武信(1983), 石器原料の産地分析。考古学と自然科学, 16: 59-89
- 4) 東村武信(1976), 産地推定における統計的手法。考古学と自然科学, 9: 77-90
- 5) 東村武信(1990), 考古学と物理化学。学生社
- 6) 近堂祐弘(1986), 北海道における黒曜石年代測定法について。北海道考古学, 22: 1-15



Sb-67



X151
赤石山

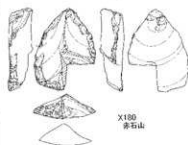
Sb-73

標高512



X177
赤石山

Sb-74



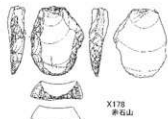
X180
赤石山

Sb-76



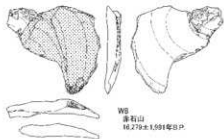
X179
赤石山

Sb-77



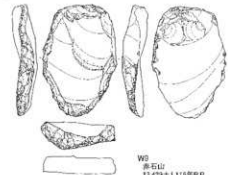
X178
赤石山

標高5095



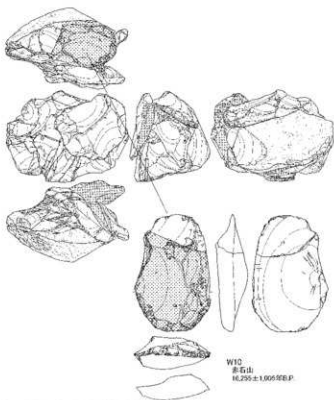
W3
赤石山
16,270±1,591年BP

標高520



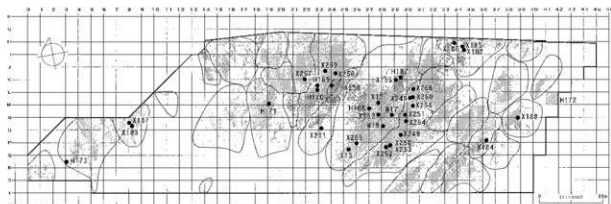
W3
赤石山
12,429±1,110年BP

標高522-標高432



W10
赤石山
16,295±1,005年BP

図N-5 産地分析・水和層測定試料(1)



Sb-83

標合57956

X188
赤石山

Sb-85

X184
赤石山

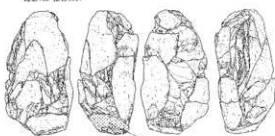
Sb-91

X182
赤石山X189
赤石山X185
赤石山

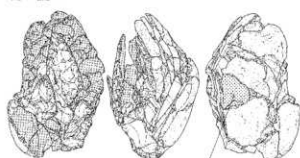
標合58007

Sb-93

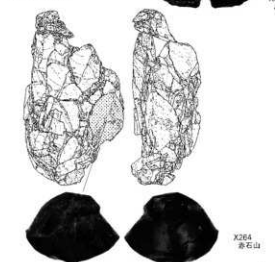
標合762-標合2961



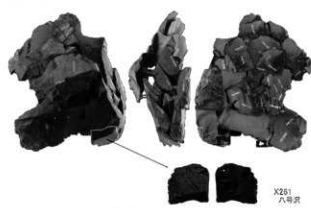
標合727-標合3265



標合740-標合2356

X259
八号沢X280
赤石山

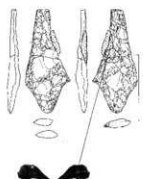
標合1054-標合4267

X264
赤石山X261
八号沢

図IV-6 産地分析・水和層測定試料(2)

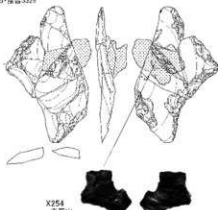
Sb-93

品目827・種合6072

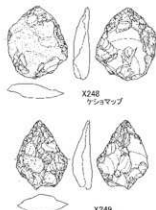


X253
赤石山

品目725・種合3325



X254
赤石山



X248
ケンヨマツ

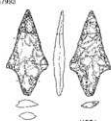
X249
赤石山

種合57990



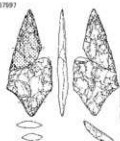
X250
赤石山

種合57982



X251
赤石山

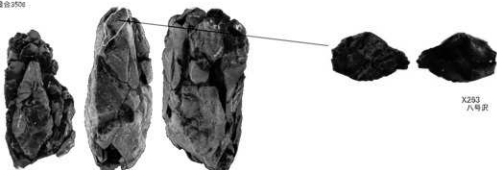
種合97997



X252
赤石山

Sb-95

品目785・種合3508



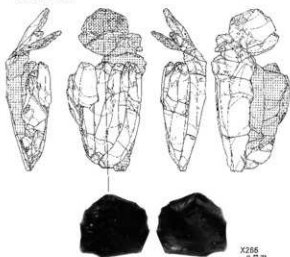
X253
八号沢

品目754・種合3418



X265
赤石山

品目764・種合3509



X266
八号沢

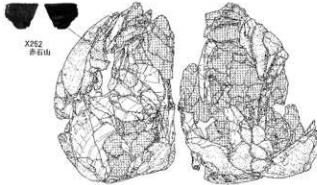
図N-7 産地分析・水和層測定試料(3)

Sb-95



Sb-96

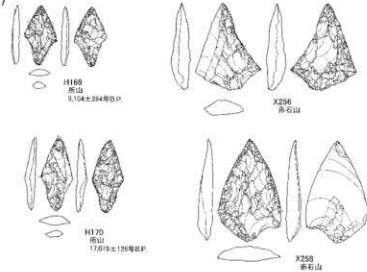
標本1067・残存4433



標本5748



Sb-97



Sb-99



Sb-101



Sb-109



Sb-110



石器ブロック外



図IV-8 産地分析・水和層測定試料(4)

V ま と め

1 「白滝Ⅰ群」(Sb-64~79)について

上白滝8遺跡の西地区では、剥片剥離技術・二次加工技術などから「白滝Ⅰ群」と呼称する後期旧石器時代前半期に対比できる石器群が2,055点、61,533.5g出土している。この内、点取り遺物は1,939点、56,776.6gである。これらは主に遺物分布から16か所の石器ブロックに分け(Sb-64~79)、さらに母岩分布や接合分布・石器組成から同時性が高いと思われるSb-64~70、71、72~79の三つの石器ブロック群に分けて報告を行った。ここでは各石器ブロック群について石器・石材組成、石材消費の流れ、分布と石器ブロック群の構造、年代について整理し、各石器ブロック群間の関係と編年的位置付けについて東地区で出土した遺物(鈴木ほか 2004)を含めたまとめを行う。

各石器ブロック群のまとめの前に、今回新たに細分した器種と石器製作技術について若干説明する。本報告では、前回までの「白滝Ⅰ群」の二次加工ある剥片を、表面微細加工石器、基部平坦加工石器、台形石器、二次加工ある剥片の四種に細分している。「白滝Ⅰ群」の出土数が最も多い上白滝8遺跡の整理を終え、技術形態学的なまとまりが認められる石器を抽出することが可能と判断したためである。以下にそれぞれの特徴を記述する。

表面微細加工石器は、腹面の縁辺に長さ2mm前後の微細な加工が連続して施されるものである。素材は三角形、台形または寸詰まりの縦長剥片など、変異に富み、素材を得る剥離技術が多様であったことを示しているが、二次加工の技術及び場所に斉一性が見られる。東地区のまとめ(直江 2004)の中で素材(a)・(b)・(d)の腹面側に加工(ア)が施されるものに対応する。

基部平坦加工石器は、主に貝殻状の剥片を素材とし、素材腹面の打縮部を除去するような長さ8mm前後の平坦剥離が施され、下端部の縦断面形が鋭く尖るものである。背面側にも同様の剥離が施され、基部が両面加工となる場合もある。上端部は鋭い素材面を残し、横刃、突刃となる。東地区のまとめの中で素材(c)若しくは(d)に加工(イ)が施されるものに対応する。

台形石器は、素材の両側縁を平行ないしは撥形に整形し、上端部に素材の縁辺を残すものである。前述の二者に比べて加工の度合いが高く、急角度の調整であり、横刃・斜刃となるものがある。東地区のまとめの中で加工(ウ)が施されるものに対応する。

本報告ではこれらに含まれないものを二次加工ある剥片として分類しており、前回までの「白滝Ⅰ群」の分類基準と異なっている。今回新たに認定した器種は、上白滝8遺跡東地区のまとめでも述べたとおり、大枠としては汎列高的に見られる台形様石器の中に含まれる可能性が高い。しかし、表面微細加工石器、基部平坦加工石器には北海道独自の特徴があり、基部平坦加工石器の加工技術は広郷型ナイフ形石器の基部加工に類似する。また台形様石器は機能的な石器と認識されているため器種認定において、かなり広範囲の石器に認定できる。このことは、全体を表象する名称としては有効であるが、石器としての実態が不明となりつつある。白滝遺跡群では、まとまった量の石器類が出土し、技術形態学的なグルーピングが可能な状況であった。本州と同様の台形様石器が数少ない中で、これらを台形様石器と認定してしまうと、その言葉によって、北海道的な特徴が霞み、編年的な位置や系統関係を機械的に位置してしまう恐れがある。従って表面微細加工石器、基部平坦加工石器を認定することは、石器自体は勿論のこと、北海道という地理的な環境や後半期の細石刃石器群との関連も視野に入れた研究を行っていくために肝要となると考えられる(直江・長崎 2005)。

石器製作技術については、以下のとおりⅠ~Ⅲ類に大別し、さらにそれぞれa・bに細分している。

全体的な特徴として、剥離作業の際に頭部調整や打面調整などの石核調整技術は用いられない。また、いずれの剥離でも打面が大きくバルブが発達する傾向が強い。

I類：扁平な素材の平坦面で剥離作業を行うもの。

I a類…片側の平坦面で作業を行うもの。主に長幅比が1.0前後の貝殻形・扇形・台形・三角形の剥片が剥離される。

I b類…両側の平坦面で作業を行うもの。主にやや横長の剥片が剥離される。

II類：素材の小口面で剥離作業を行うもの。

II a類…素材の広い面を打面に固定するもの。主に打面部が幅広く厚い剥片、両側縁の中央がほぼ平行する寸詰まりの剥片が剥離される。

II b類…素材の小口面を打面に固定するもの。主に縦長剥片が剥離される。

III類：打面と作業面を頻繁に転移するもの。剥離される剥片の形態は最も多様である。主に両側縁の中央がほぼ平行する寸詰まりの剥片、やや横長の剥片、縦長剥片、片側縁が「く」の字状になる剥片などが剥離される。

III a類…打面と作業面を1~数打ごとに入れ替える交互剥離を基本とし、作業場所(交互剥離の二つの作業面)を転移していくもの。

III b類…打面と作業面の転移に規則性が見られないもの。

(1) 石器ブロック64~70 (Sb-64~70)

石器・石材組成 (図V-1) 点取り遺物1,146点、重量26,179.7gの石器類が出土した。定形的な石器は、基部平坦加工石器・裏面微細加工石器・二次加工ある剥片・掻器・削器・錐形石器・縦長剥片・石核が出土している。石核の点数が非常に多いことが特徴である。石材は、黒曜石1が最も多く86.7%を占め、以下黒曜石4 (10.6%)、黒曜石5 (1.0%)、黒曜石3 (0.8%)、黒曜石2 (0.7%)、安山岩 (0.2%)、頁岩 (0.1%) となっている。

石材消費の流れ 搬入形態、剥片剥離技術・進行度、二次加工技術、搬出形態に分けて説明する。二次加工技術以外は本報告で掲載した10母岩 (30個体) を元に分析を行った。

〈搬入形態〉 接合状態及び非接合同一母岩の内容から搬入時の石核の状態を以下の四つに分類した。

(a) 無剥離若しくはやや剥離が行われた状態、(b) 少数の大きな剥離が行われた状態、(c) 全体が剥離面に覆われ、搬入前に本格的な剥離が行われた状態。その他に (d) 遺跡内で分割若しくは剥片剥離によって素材を得たもの (表V-1)。まず (a)~(c) の石核について検討すると、(a) が最も多く、搬入前の剥離が少ないものが主体的である。これを素材ごとに見ると、転蹀素材で (a) 若しくは (b) が最も多い。すなわち付近で採取した原石を遺跡内に持ち込んだ可能性が高い。この他に剥片素材の (a) (母岩489) や、同一母岩のない石器類の存在から、石器・剥片の状態を持ち込まれたものが少数存在していたと見られる。この他に (d) として、これら (a)~(c) の剥離によって得られた剥片を素材とする石核が20個体見られる。

〈剥片剥離技術・進行度〉 蹀 (転蹀)・分割蹀を素材とした石核 (11個体) と、剥片・分割剥片を素材とした石核 (19個体) に用いられる剥離技術を比較する (表V-2)。前者は、III類が最も多く用いられ (7個体)、後者の技術にはI・II類の技術が多く用いられる傾向がある (17個体)。これらの異なる技術は同一母岩中に共存することが一般的であり、主に原石などの一次素材にIII類、剥片などの二次素材にI・II類の技術を用いていたと捉えることができる。また、一つの母岩の中から生産される剥片素材の石核 (d) の平均は2個体であった。最も多いもので7個体の剥片が石核に利用さ

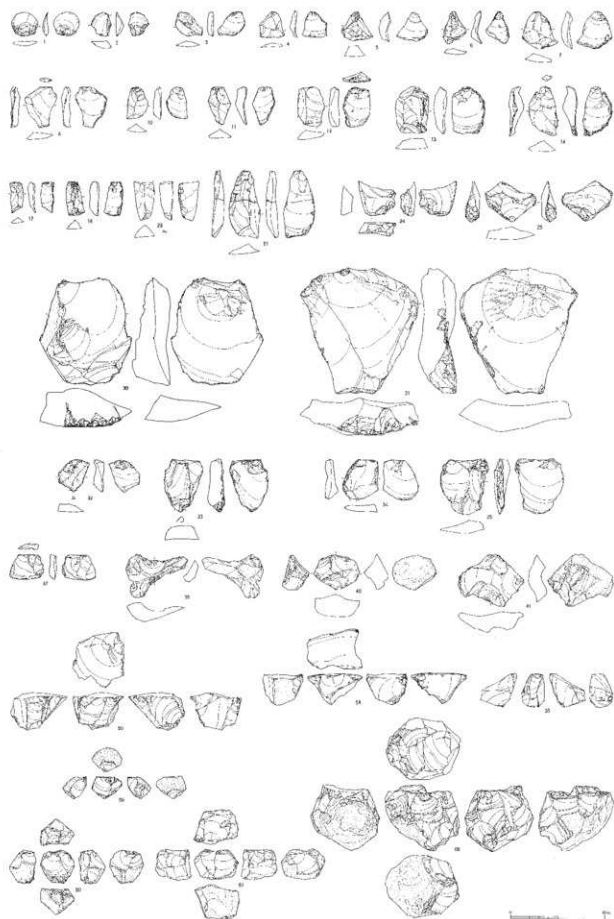
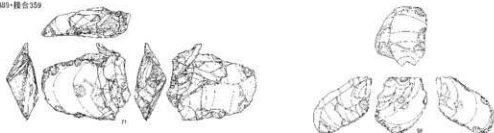
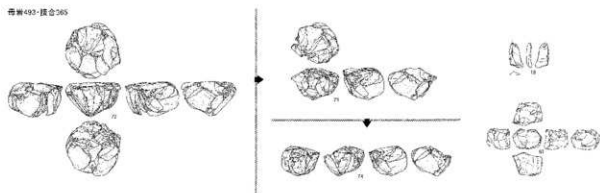


図 V-1 Sb-64~70石器組成図

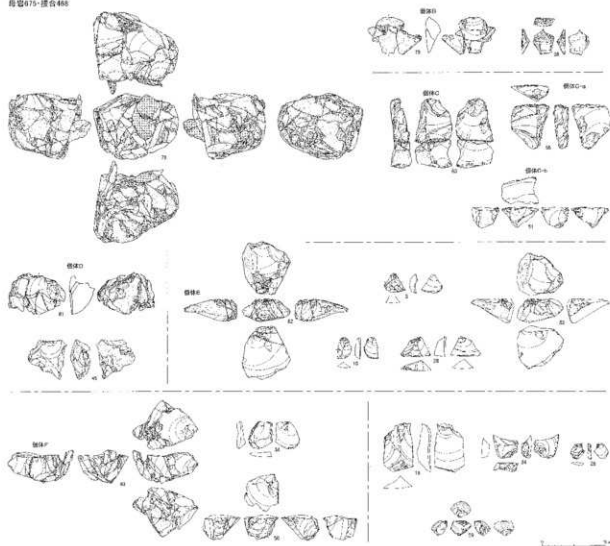
母岩489-組合359



母岩493-組合365



母岩475-組合488



図V-2 Sb-64~70母岩別資料

れている例がある（母岩675・接合468）。

剥離開始時の石核の大きさの平均は、 $8.2 \times 9.9 \times 6.6$ cmであった（表V-3）。素材ごとに見ると転蹀・分割蹀・分割剥片が平均より大きく、剥片素材はより小型で、 $6.1 \times 8.3 \times 5.0$ cmであった。これは剥片素材の石核の多くが、本石器ブロック群内で礫素材の石核から生産されたためと考えられる。

剥離の進行度は、石核の大きさの変化を観察し、最終的な形態が（イ）開始時の2/3以上の軽微なもの、（ロ）開始時の2/3-1/3となるもの、（ハ）開始時の1/3以下となる集中的なもの三つに分類した。その結果、遺跡内での剥離の進行度は（イ）・（ロ）が同率でほとんどを占めている（表V-4）（30個体中13個体ずつ）。これを素材ごとに見ると、剥片素材のものに（イ）が多い（17個体中10個体）。それ以外の蹀・分割蹀・分割剥片などの大型の素材については（ロ）が最も多く12個体中6個体で、（イ）・（ハ）は同率で（ロ）の半数となっている。また、剥離技術ごとに見ると、I b・II a類では（イ）が主体的であり、I a・II b類では（イ）と（ロ）が同数となり、III類では（ロ）が主体的で、（イ）・（ハ）が少数見られる結果となった（表V-5）。進行度が最も高い（ハ）はIII類で多く見られる。従って、剥片素材でI類の技術が用いられた個体は進行度が軽微で、礫素材でIII類の技術が用いられた個体は集中的な剥離が行われていると捉えることができる。

これらの剥離の結果、剥離終了時の大きさは、搬出された個体も含め平均で $5.7 \times 7.1 \times 3.9$ cmとなる。素材ごとに見ると分割蹀・分割剥片は平均より大きいのが、全体としてそれほどばらつきがなく、剥片素材と転蹀素材の大きさが同様となり、前者が $5.2 \times 6.4 \times 3.6$ cm、後者が $5.5 \times 7.4 \times 3.9$ cmとなっている（表V-3）。これは、前述の礫素材のものは剥離の進行度が高く、剥片素材のものは低いことに関連すると見られる。結果的に剥離終了時の石核の大きさについては全体としてまとまりが見られ、おおよそ同様の大きさで終了している。

〔二次加工技術〕 裏面微細加工石器の加工は前述のとおり、2mm前後の微細な加工が連続して施されるものである。素材については変異に富み、三角形・台形・五角形で打面から両側縁が撥形に広がるもの（図V-1-4~8）、両側縁の中央部がほぼ平行する寸詰まりの剥片（図V-1-12・13）や縦長剥片（図V-1-17-21）などが素材となっている。また、剥片素材の石核の素材腹面（以下「石核ボジ面」）が見られる個体や背面の剥離面構成が他方向の個体もあり、素材を供給する剥離技術に関しても多様であったと考えられる。微細加工の位置は片側縁のみが最も多く、片側縁と反対側

表V-1 素材と搬入形態

石器ブロック群	素材	搬入形態					総計
		a	b	c	d	不明	
Sb-64-70	転蹀	3	3	2			8
	剥片	1			16		17
	分割剥片					2	2
	分割蹀	1				2	3
	小計	5	3	2	20		30
Sb-71	転蹀	1					1
	角蹀	1					1
Sb-72-79	転蹀		2	3			5
	剥片					1	1
	分割剥片					2	2
	小計	1	2	3	3	1	10
総計	7	5	5	23	1	41	

表V-2 素材と剥離技術

石器ブロック群	剥離技術	素材				総計	
		転蹀	角蹀	分割蹀	剥片		分割剥片
Sb-64-70	I a				4	4	
	I b	2			4	1	7
	I a + II a				1	1	1
	II a	1			4	1	6
	II b					2	2
	III a	2		2	2		6
	III b			1			1
	III a + III b	2					2
	分割	1					1
	小計	8		3	17	2	30
Sb-71	III a	1					1
	小計	1					1
Sb-72-79	I a	2					2
	I b	1					1
	II a	1				1	2
	II b		1				1
	III a + I b				1		1
	III a	1					1
	III b					1	1
	分割				1		1
小計	5	1		2	2	10	
総計	14	1	3	19	4	41	

表V-3 石核の大きさ

石器ブロック群	素材	石核剥離開始時(平均)			石核剥離終了時(平均)		
		長さ	幅	厚さ	長さ	幅	厚さ
Sb-64~70	剥片	6.1	8.3	5.0	5.2	6.4	3.6
	転離	9.9	11.7	9.2	5.5	7.4	3.9
	分割剥片	10.4	11.8	7.1	7.8	8.4	2.3
	分割剥離	13.8	12.8	8.2	7.4	9.5	6.3
	全体	8.2	9.9	6.6	5.7	7.1	3.9
Sb-71	転離	12.9	12.7	10.9	5.1	6.2	4.5
	全体	12.9	12.7	10.9	5.1	6.2	4.5
Sb-72~79	剥片	12.3	13.7	5.9	7.3	11.7	2.7
	角離	20.9	6.9	5.5	13.7	5.8	4.7
	転離	10.7	14.2	9.3	7.9	11.0	4.3
	分割剥片	7.0	10.2	-	7.0	10.2	12.0
	全体	11.3	12.6	7.8	8.3	10.3	5.2

表V-4 素材ごとの剥離の進行度

石器ブロック群	素材	遺跡内での剥離の進行度				総計
		イ	ロ	ハ	不明	
Sb-64~70	剥片	10	7			17
	転離	3	2	2	2	9
	分割剥片		1	1		2
	分割剥離		3			3
	小計	13	13	3	2	31
Sb-71	転離		1			1
	小計		1			1
Sb-72~79	剥片	1			1	2
	角離		1			1
	転離	1		2	2	5
	分割剥片	1			1	2
	小計	3	1	2	4	10
総計		16	15	5	6	42

緑の打面側、末端辺のみ、片側縁から末端辺にかけて、片側縁から打面にかけて施されるのがみられる。全体的な傾向として、加工が施されるのは裏面の右側縁に多く見られる。加工が施される縁辺と無加工の縁辺を比較すると、より急角度の縁辺に二次加工が施される個体が多い傾向が見られた。さらに微細加工により縁辺の角度は局部的に鈍角化しており、無加工の側縁よりも急角度となっている。また、僅かであるが背面側への加工より腹面側への加工の方が、素材の長さ・幅に対する変形度が小さいことが予想される。これらのことから、素材をなるべく小型化せずに縁辺を鈍角化するための技術として裏面側への微細加工が採用されたものと考えられる。

基部平坦加工石器は、いずれも「石核ボジ面」をもつ剥片を素材としている。加工は裏面側のみ素材のバルブを除去するような平坦剥離が施されるもの(図V-1-2)と、正裏面に加工が及ぶもの(図V-1-1)がある。いずれも下端部の縦断面が鋭く尖っている。無加工の上端部は丸みがある横刃となっている。

二次加工ある剥片は、多様な素材と加工が施されるものの中で、急角度の調整を行い、素材の形

状を大きく変えるもの(図V-1-24・25)が2点見られた。1点は加工が粗く、もう1点は形態が不安定なため、台形石器に分類していない。しかし、素材の形状を大きく変化させるような急角度の調整加工が存在することは注目すべきであろう。その他に素材の背面側に部分的な二次加工が施されるものと、搔器の素材と同様の大型剥片を素材とし、側縁と末端辺との角部の両面に微細な加工を施すものが見られる。

搔器はいずれも大型で、刃部だけに急角度の加工が施される(図V-1-30・31)。また、裏面の縁辺に連続的な階段状の剥離が見られるものもある。

錐形石器はいずれも素材の末端部と側縁の角部に突出部が作出され(図V-1-32・33)、さらに打面側でも突出部が作出されるものが1点見られる。加工は個体ごとに異なり、微細な加工のみと錯向状の剥離の2種が見られる。

削器はいずれも素材の背面片側縁に連続した二次加工が施されるもので(図V-1-34・35)、刃部が僅かに外湾するもの(図V-1-34)と内湾する加工(図V-1-35)の二種が見られる。

〈搬出形態〉 遺跡内で生産された剥片素材の石核も含めた30個体中26個体の石核が遺棄されている。86.7%と非常に高率である。搬出された石核は4個体で、内訳は搬入石核がさらに搬出されたもの1個体、遺跡内で生産された剥片素材の石核が搬出されたもの3個体となっている(表V-6)。遺跡内で生産された剥片素材の石核がやや多く搬出される傾向が見られる。

分布と石器ブロック群の構造 北東側に傾斜する緩斜面上で広範囲に分布している。標高は437.5~

443mでブロックにより高低差がある。Sb-64と65及びSb-68と69は比較的近接しているが、その他は隣のブロックとそれぞれ20m前後の距離を隔てて分布し、最も離れたSb-66と70では52mの距離がある。東地区で報告した「白滝I群」のSb-9、Sb-11~13とも比較的近接して分布しているが、ブロック間の接合関係は確認されなかった。

接合関係は、ブロック内を中心としている。ブロック間の接合関係は、3母岩で確認され、Sb-68を除き全てのブロックに及んでいる。それぞれSb-64・65・66(母岩481・接合353)、Sb-67・69(母岩488・接合358)、Sb-66・67・70(母岩490・接合360)で接合関係が見られた。これらと掲載母岩を含めた分布状況を見てみる(11母岩)。母岩ごとの分布状況は、(i)1か所にまとまって分布するもの(5母岩)、(ii)全体的には1か所にまとまって分布するが、数点の石器類がブロック内を含めた離れた地点から出土するもの(5母岩)、(iii)石器製作の段階によって2か所以上にまとまって分布するもの(0母岩)、(ii)・(iii)の両方の特徴を持つもの(1母岩)であった(表V-7)。上述のまとまった分布(集中域の分布傾向)を細かく見ると、散漫に広がる場合と集中する場合があります、両者はほぼ同率で見られた。また分布類型(ii)の内、人為的に石器が持ち出された可能性が高いのは、異なるブロックから単独で出土する石器がある母岩であろう。母岩481・488・490の三母岩である。分布傾向(iii)の時間的な前後関係は、母岩490はSb-66~67となる。

石器類の分布傾向は、裏面微細加工石器がSb-66~68・70に多い。特にSb-68では、ブロックの規模は小さいが、まとまって出土している。基部平坦加工石器はSb-64・67のみに見られ、二次加工ある剥片は各石器ブロックにまばらに分布する。また、搔器はSb-70に多く、削器はSb-66・70のみ、錐形石器がSb-64にのみ見られる。石核はSb-68を除いた各石器ブロックで確認されている。石核は多量に見られ、他の加工のある石器類全ての数量よりも多く出土している。これは、先に観察した接合資料中の石核の傾向と一致する。これらのことをまとめると、本石器ブロック群には、主に多くの原石と少数の剥片・石器類が遺跡内に持ち込まれている。原石は転蹀が多いことから付近の河原で採取したものと考えられる。また、1点のみ角礫面を持つ石核が出土しており、露頭付近の石材も認識されていたものと思われる。これらの持ち込まれた原石は、主にⅢ型の剥離技術を用いて集中的な剥片剥離が行われている。生産された剥片は、裏面微細加工石器などの石器類の素材となるが、それ以外にも石核の素材となるものが多くある。それらは、遺跡内に持ち込まれた剥片も含めてⅠ・Ⅱ型の技術を用いた剥片剥離が行われるものが主体である。剥離開始時では素材により大きさが異なる

表V-5 技術ごとの剥離の進行度

石器ブロック群	剥離技術	遺跡内での剥離の進行度				総計
		イ	ロ	ハ	不明	
Sb-64-70	I a	2	2			4
	I b	5	2			7
	I a+II a	1				1
	II a	3	2	1		6
	II b	1	1			2
	III a		5	1		6
	III b		1		1	2
	III a→III b	1		1		2
	分割				1	1
	小計	13	13	3	2	31
Sb-71	III a		1			1
Sb-72-79	I a			2		2
	I b				1	1
	II a	1			1	2
	II b		1			1
	III a→I b	1				1
	III a	1				1
	III b				1	1
	分割				1	1
	小計	3	1	2	4	10
	総計		16	15	5	6

表V-6 搬入形態と遺棄・搬出

石器ブロック群	搬入形態	石核			総計
		遺棄	搬出	分割	
Sb-64-70	a	4		1	5
	b	3			3
	c	1	1		2
	d	17	3		20
	小計	25	4	1	30
Sb-71	a	1			1
	a	1			1
Sb-72-79	b		2		2
	c	3			3
	d	2	1		3
	不明			1	1
	小計	6	3	1	10
総計		32	7	2	41

表V-7 母岩別資料分布状況

石器ブロック群	母岩・接合番号	出土ブロック	中心ブロック	集中域の分布傾向	離れた地点での接合状況	類型
Sb-64~70	母岩489-接合309	67	-	散逸	折れ接合する剥片1点が北東部に8.4m離れて出土	ii
	母岩493-接合305	66	-	集中	2点が北側に3.9m離れて出土	i
	母岩497-接合370-371	66	-	集中	なし	i
	母岩675-接合408	70	-	集中	なし	i
	母岩500-接合374	66	-	散逸	なし	i
	母岩492-接合364	66	-	散逸	なし	i
	母岩488-接合336	67・69	67	散逸	個体A中の剥片2点がSb-69から出土	ii
	母岩504-接合388	69	-	集中	なし	i
	母岩490-接合360	66・67・70	66・67	66-集中 67-集中	個体Aの剥離の途中から最終的な石核までSb-67に分布。個体A-aの石核がSb-66の北側に6.7m離れて出土し、掻器がSb-70から単独で出土。それ以外は全てSb-66に分布	ii+iii
	母岩499-接合373	66	-	集中	個体Bの残片で剥離された剥片2点が北側に7.5m離れて出土	ii
母岩481-接合333	64・65・66	64	散逸	剥片がSb-65から、掻器がSb-66から単独で出土	ii	
Sb-71	母岩509-接合398	71・ブロック外	-	散逸	ほぼ中間で剥離された剥片1点が東側に約20m離れたブロック外から出土	ii
Sb-72~79	母岩533-接合436-437	73・74・75 72・78	77	散逸	接合436の段階1~3の剥片(個体Bを除く)がSb-78に散逸に分布し、個体C(段階4)の掻器が折れ接合する剥片1点と接合437の段階1の剥片1点がSb-75から出土。段階5の内、先に剥離された2点がSb-74から、その次の掻器1点がSb-73から単独で出土。また、Sb-77の集中域から北側に3.5m離れて接合437の段階2の折れた剥片が1点出土。それ以外は全てSb-77に分布	ii
	母岩532-接合432	76・77 ブロック外	77	集中	段階1の剥片がSb-76から出土し、段階5の剥片1点が集中域から東側に33m離れたブロック外から単独で出土	ii
	母岩529-接合430	77	-	散逸	なし	i
	母岩543-接合457	76	-	集中	段階1の剥片1点が北側に4.2m離れて出土	ii
	母岩515-接合407	74	-	散逸	初期段階の折れ接合する剥片1点が北側に6.5m離れて出土	ii
	母岩507-接合446	76	-	散逸	なし	i
	母岩529-接合449	75・79	79	集中	最後に剥離された石核2点がSb-75から散逸に出土	ii or iii

るが、剥離終了時には大きさの差が均等に近くなり、全体的に同様の大きさの石核が残されることとなる。さらに、遺跡内には多量の石核が遺棄されており、剥離作業が完結する集中的な剥片剥離が行われていたことが判明した。従って石核や石器の素材となりうる剥片や石器類を中心とする搬出形態が想定される。

年代 炭化木片による放射性炭素年代測定を行った。現在のところ炭化木片ブロックは近接した石器ブロックとの関係性が最も高いと捉えている。しかし、必ずしも石器ブロックのそばで火を焚いた確証はなく、炭化木片ブロック自体が焼土を伴わないため、本来的な位置を示す確証も完全にはない。また、上白滝8遺跡では、包含層中に「白滝I群」を含め様々な石器群の分布が重なる状況である。これらのことから年代値をそのまま採用する事は注意を要する。そのような状況の中でSb-66の中心部から確認されたCb-18に23,620±310y.B.P(Beta-112907・SHIRA-35)、22,210±110y.B.P(Beta-186198・SHIRA-113)の測定結果が得られた。また、Sb-66の被熱石器の分布とCb-18が一致する。本石器ブロック群は、2万年以前とされる後期旧石器時代前半期の台形椀石器を主体とする石器群と類似(山原 1996)している点で、測定結果との整合性が認められる。また、石器組成と石器製作技術から「白滝I a群」(直江 2004)に区分できる。千歳市祝梅遺跡三角地点(吉崎・横山 1974)や帯広市若葉の森遺跡(北沢ほか 2004)の石器群と類似する。

(2) 石器ブロック71 (Sb-71)

石器・石材組成(図V-3) 点取り遺物22点、重量1,210.0gの石器類が出土した。定形的な石器は、二次加工ある剥片、掻器、石核が出土している。石材は、黒曜石2が最も多く72.7%を占め、その他は黒曜石1(27.3%)のみである。これは本石器ブロックで集中的に剥離された母岩が一つで、それが黒曜石2であったためデータが偏ったものと考えられる。

石材消費の流れ 剥片剥離技術と二次加工技術に分けて説明する。

〈剥片剥離技術〉 本石器ブロックでは主に1母岩の剥離作業が行われている。Ⅲa類の剥離を中心とした作業が行われ、比較的大型の剥片が剥離されている(表V-1)。

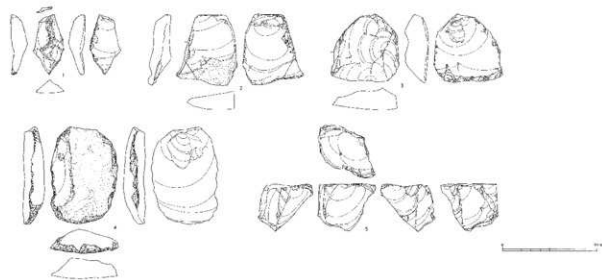
〈二次加工技術〉 二次加工ある剥片はいずれも裏面に長さ1cm程のやや大型の剥離が不規則に施されるもの(図V-3-1~3)である。素材の斉一性はないが、いずれも大型で6・7cm程である。

搔器は背面の大半を転礫面に覆われる剥片を素材としている。加工は、刃部以外にも軽微な加工が縁辺をほぼ全周するもの(図V-3-4)である。

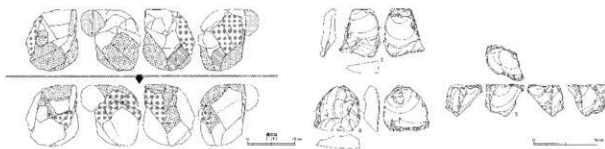
分布と石器ブロック群の構造 北東方向に緩やかに傾斜する標高450m付近で確認された。遺物は密集せず、北東-南西方向に散漫に分布が広がっている。接合関係は、ブロック内のほぼ全域にわたって認められる。また、ブロック外のS30区付近にも数点の「白滝I群」の剥片が分布している。その内1点で本石器ブロックとの接合関係が確認された。

黒曜石2の原石と搔器・二次加工ある剥片などを持ち込み、ブロック内でⅢa類の技術を用いて石核を遺棄する集中的な剥離が行われている(1母岩のみ)。また、東側に20m程離れた地点にも本ブロックとの接合関係を持つ小規模なまとまりがある。全体的に石器や接合資料が少ないため、石器群の内容・構造については不明瞭な部分が多い。

年代 本ブロック中に炭化木片ブロックは確認されていない。最も近接するのは東側7.5m程の地点に検出されたCb-19である。Cb-19では2点について放射性炭素年代測定を行い、25,870±290y.B.P (Beta-112908・SHIRA-36)、28,120±180y.B.P (Beta-186199・SHIRA-114)の測定結果が得ら



母岩500・種合368



図V-3 Sb-71石器組成・母岩別資料

れた。本石器ブロックは2万年以前とされる後期旧石器時代前半期の石器群と類似(山原 1996)している。2万5千年を越える年代値であり、年代的には整合しているが、やや離れた地点であり、炭化木片ブロックとの伴同関係については可能性の指摘に留める。また、縁辺の加工範囲が広い搔器や、大型の石核や剥片・石器類から、本石器ブロックは「白滝I b群」(直江 2004)にあたる可能性がある。

(3) 石器ブロック72~79 (Sb-72~79)

石器・石材組成 (図V-4) 点取り遺物746点、重量28,739.7gの石器類が出土した。定形的な石器は、台形石器・二次加工ある剥片・搔器・削器・錐形石器・石核・斧形石器・台石が出土している。搔器の点数が非常に多いことが特徴である。石材は、黒曜石1・5がそれぞれ54.4%、37.1%で多数を占めている。以下少量の黒曜石4 (3.2%)、黒曜石3 (2.3%)、珪岩 (1.7%)、めのう (0.5%)、安山岩 (0.4%)、黒曜石2及び泥岩 (0.1%) からなっている。他の「白滝I群」に比べ黒曜石5の割合が高く、石材の種類にも富んでいる。また、被熱石器が非常に少ない (1.3%) ことも特徴である。

石材消費の流れ 搬入形態、剥片剥離技術・進行度、二次加工技術、搬出形態に分けて説明する。二次加工技術以外は本報告で掲載した7母岩 (10個体) を元に分析を行った。なお、分類項目及び分類基準についてはSb-64~70と同様である。

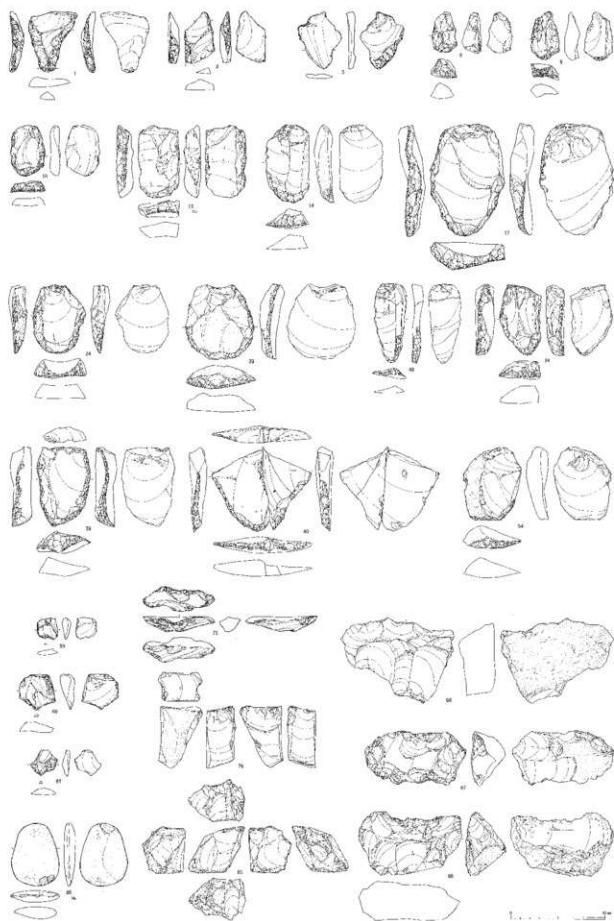
〈搬入形態〉 分類可能な6個体の内、(c) が最も多く3個体で、(b) が2個体、(a) が1個体の順となっている (表V-1)。全体に剥離が及んだ状態 (剥離がある程度進行した状態) で搬入される個体が主体的と見ることができる。しかし剥片素材で単体出土した石核は、背面が原石面に覆われているものが多く、同じ様相が搔器の一部にも確認できる。これらは剥離の初期段階で得られる剥片であることから、遺跡内で剥離された初期段階の剥片が搬出された場合も考えられ、分類した搬入形態 (c) は実態を反映していない可能性がある。

〈剥片剥離技術〉 礫素材の石核に対する剥離技術にはI類が最も多く用いられる (3個体)。II類が2個体で、III類が1個体である。また、剥片素材の石核にもI類の技術が用いられる (表V-2)。遺跡内で石核の素材を生産する (d) は少なく、7母岩中1個体のみである。

剥離開始時の石核の大きさについては、個数が少ないため偏った数値になる恐れがあるが、その場合は付記する。剥離開始時の石核の大きさの平均は $11.3 \times 12.6 \times 7.8$ cmであった (表V-3)。素材ごとに見ると、それぞれいずれかの項目が全体の平均値から離れた数値であり、素材ごとのばらつきが大きいことを示している。平均より長さが大きいのは角礫素材、長さ幅が大きいのは剥片素材である。特に前者の長さが突出して大きく20.9cmであった。幅・厚さ共に平均より大きいのは角礫素材である。この内、角礫素材は1個体のみ、剥片素材と分割剥片素材は2個体からのデータであり、平均値を示しているとはいい難い。全体的な傾向として、大型の剥片を石核の素材としている傾向がある。

剥離の進行度は、分類可能な6個体中3個体が (イ) で、(ハ) が2個体、(ロ) が1個体となっている。これを素材ごとに見ると (表V-4)、(イ) は剥片・分割剥片・角礫で構成されている。(ロ) は角礫素材であった。(ハ) は2個体とも角礫である。また、剥離技術ごとに見ると (表V-5)、進行度が最も高い (ハ) はいずれもI a類で見られる。III a類の技術では (イ) しか進行度が見られない。II類の技術には (イ) が2個体、(ロ) が1個体であった。

これらの結果、剥離終了時の石核の大きさは平均で $8.3 \times 10.3 \times 5.2$ cmとなる (表V-3)。素材



図V-4 Sb-72~79石器組成図

ごとに見ると、剥離開始時の大きさと同様にいずれかの項目が全体の平均値から離れた値であり、開始時に見られたばらつきがそれほど変化していないことを示している。その中で、剥離開始時に平均を上回っていた数値が、残核時に平均を下回る素材の部位として、転礫素材の厚さと剥片素材の長さがある。前者は9.3cm→4.3cm、後者は12.3cm→7.3cmと大きく変化している。この結果は、転礫を素材としてI類の剥離技術を集中的に行うため、石核の厚さを多く消費することと関連すると考えられる。

〈二次加工技術〉 共通する技術として、台形石器・搔器の中には折れ面を切って二次加工が施されるものが一定量見られる(図V-4-2・40・48)。素材を切断して整形する技術が存在したものと見られる。

台形石器は、前述のとおり、素材の両側縁を平行ないしは撥形に整形し、上端部に素材の縁面を残すものである(図V-4-1・2)。加工は急角度で素材の変形度が高く、横刃・斜刃となるものがある。

二次加工ある剥片は、素材・形態共に斉性が見られない(図V-4-3)。加工の位置は、素材の背面側と腹面側の二種があるが、角度と長さにはばらつきがある。

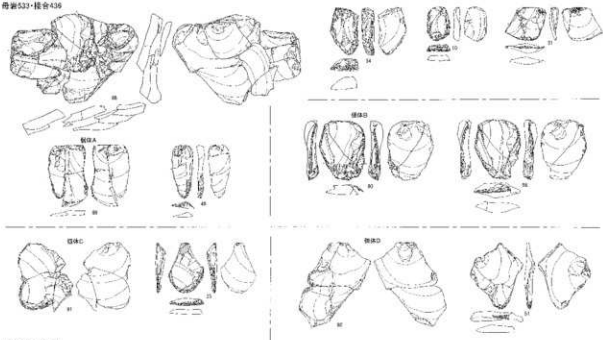
搔器(図V-4-8~54)は、本石器ブロック群で最も多く出土した石器であり、数量的にまとまっているため、掲載した51個体を中心に詳しく説明する。素材は全て剥片で、形態的な変異が大きい。加工および刃部再生による変形度が高い石器であるためと考えられる。素材の用い方は剥離軸に対して、縦位(24個体)・横位(14個体)・斜位(13個体)の三種が見られる。縦位・斜位のうち刃部が素材の打面側に作出されるものが3個体ある。原礫面は37個体に残存し、その内角礫面を持つものは4個体であった。石材は珪岩・めのうが1個体ずつ見られ、それ以外は黒曜石裂である。

刃部形態は円いもの(26個体)・突出するもの(18個体)・直線的なもの(5個体)の三種に分けられる(不明2個体)。また、刃部厚は4mm前後と13mm前後に2モード見られ(図V-6)、便宜的に7mmで薄厚を区切ると薄手が23個体、厚手が28個体であった。側縁の加工は変異に富み、基部を除いて全周するもの・刃部のみ(共に17個体)・刃部と側縁の一部(10個体)・刃部と片側縁(4個体)・全周(1個体)・不明(2個体)であり、統一性が見られない。刃部の平均は64.3°である(5°区切りで計測)。前述の刃部厚の基準で刃角を比較すると、厚手が68.1°、薄手が58.8°となり、両者には10°近い格差が見られるが、両者ともピークは65°にまとまっている(図V-7)。また、側縁の折れ面または急角度の素材面から背面若しくは腹面に大型の平坦剥離が施されるものが4個体あり、石核と複合した機能が想定されるものもある(図V-8)。

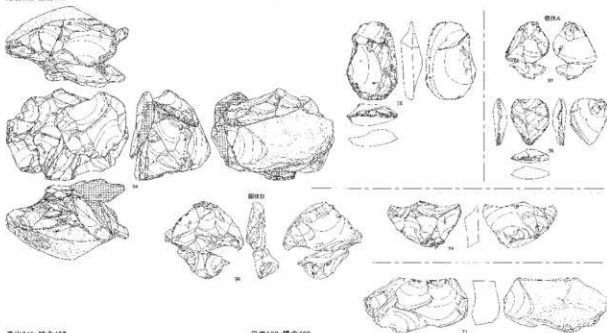
その結果平面形態は、(a)両側縁がほぼ平行するもの(11個体)、(b)最大幅が基部付近にあるもの(9個体)、(c)最大幅が刃部付近にあるもの(9個体)、(d)最大幅が中央部にあり両端が直線的にすぼまるもの(17個体)、(e)最大幅が中央部にある円形のもの(3個体)、(f)不定形なもの(2個体)の六種が見られる。これを刃部の形態ごとに観察すると、円い刃部には(a)・(c)・(d)が多く器体の下半部が大きく、突出する刃部は(b)・(d)が多く器体の上半部が大きい。直線的な刃部は少数であるが(a)~(d)がほぼ均等に見られる(表V-8)。

これらのことから本石器ブロック群の搔器は、素材の形態・素材の用い方・刃部の厚さにはばらつきがあるが、刃角の多くは65°前後にまとまり、刃部の厚手のものがより急角度である傾向が見られた。刃部の形態は円いもの・突出するもの・直線的なもの三種を基本とする。形態の変異幅は大きいものの、円い刃部が器体中央~下部に最大幅を持ち、突出する刃部が器体中央~上部に最大幅を持つ傾向性がある。

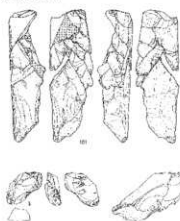
母岩532-標本436



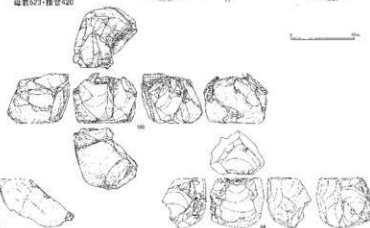
母岩532-標本437



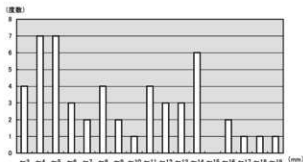
母岩543-標本457



母岩523-標本420



図V-5 Sb-72~79母岩別資料



図V-6 Sb-72~79掻器刃厚

錐形石器は、いずれも寸詰まりの剥片を素材としている(図V-4-59~61)。突出部は1か所で、素材の末端部と側縁に作出されるものがある。突出部の加工は背面側と錯向状の二種が見られる。

削器は、黒曜石裂で背面に直線状の加工が施されるものと、安山岩裂で片側縁の上半と下半で交互状の加工が見られるものがある。後者は大型で長さが12cm程あり、背面側の大半を原石面が覆っている。

斧形石器は、小型で扁平な裸素材の端部に僅かな加工が見られるもの(図V-4-86)であり、明確な刃部加工は認められない。

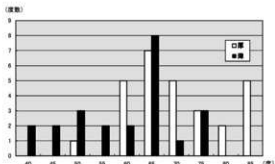
また、掻器・錐形石器・石核の中には、素材面と二次加工面の表面状態が異なるものがある(図V-8)。前者には細かい傷があり、面的な光沢が弱い一方、後者には同様の傷がなく、光沢がより強い。二重パティナと考えられ、素材腹面と二次加工面の形成には時間差が想定できる。

〈搬出形態〉 9個体中6個体の石核が遺棄されており、66.7%の割合である。搬出された石核は3個体で、内訳は搬入形態(a)~(c)がさらに搬出されたもの1個体、搬入形態(d)が搬出されたものの2個体となっている(表V-6)。

分布と石器ブロック群の構造 遺跡西側のほぼ南北方向に緩やかに傾斜する10ラインを中心として分布している。標高は442.5~446.5mで、ブロックにより高低差があるが、北側の台地の縁に北東~南西方向に並んでSb-72~74・76・78がまとまっている。そこから南側にSb-75・77が分布しており、Sb-77は出土数及び石器組成から本石器ブロック群の中心的なブロックとなっている。Sb-75は標高が最も高い南側にあり、Sb-79は西側にやや離れて分布する。

接合状況は、Sb-74・76~79がブロック内の接合を中心とし、ブロック間での接合関係が確認されている。その他のSb-72・73・75は接合関係が希薄で、Sb-75はブロック内で完結する接合状況がなく、全てSb-77との接合関係が見られる。それぞれ濃淡はあるがSb-74・77を中心としてブロック間での接合関係が確認されている。さらに掲載母岩の分布状況をSb-64~70の基準で見ても、母岩の分布状況は(i)が2個体、(ii)が4個体、(iii)がなく、(ii)と(iii)のどちらか判別できないものが1個体あった(表V-5)。集中域の分布傾向は、散漫に広がる場合と集中する場合があり、両者はほぼ同率で見られた。また、分布傾向(ii)の内、人為的に石器が持ち出された可能性が高いのは、異なるブロックから単独で出土する石器がある母岩であろう。母岩532・533・539の三母岩である。分布傾向(iii)の可能性のある母岩507の時間的前後関係はSb-79~75となる。

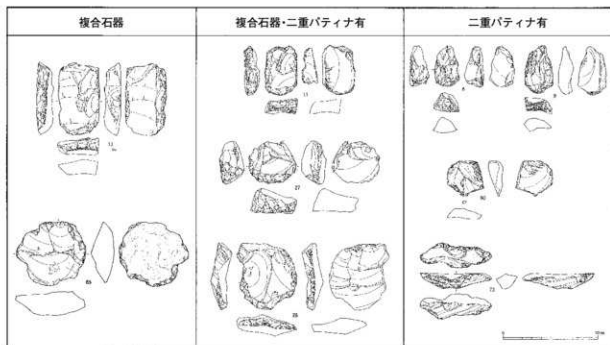
また、原礫面にザラついた岩屑面を持つ角礫を素材とした石器類が一定量見られた。Sb-74・76



図V-7 Sb-72~79掻器刃角

表V-8 Sb-72~79掻器の平面形態と刃部形態

平面形態	刃部形態				総計
	凹刃	突出刃	直刃	不明	
a:平行	7	3	1		11
b:上広	1	7	1		9
c:下広	6	1	1	1	9
d:中広	8	7	2		17
e:円形	2			1	3
f:不定形	2				2
総計	26	18	5	2	51



図V-8 Sb-72~79複合石器・二重パティナ有石器

~78で確認され、Sb-76で主体的に見られる。それに関連すると見られる同様の原礫面を持つ棒状原石がSb-77からまとも出土している。

石器類の分布傾向は、台形石器がSb-77にあり、二次加工ある剥片がSb-76に多く、搔器はSb-73・74・77・78に多い。錐形石器はSb-74・77、削器はSb-76・77にあり、斧形石器・台石・棒状原石はいずれもSb-77から出土している。全ての器種がSb-77に分布している。石核もSb-77を中心として見られるが、全体で31点しか出土していない。Sb-64~70と比較すると非常に少ない量である。先に見た接合資料中の石核についても同様の傾向で、全体の約3割が遺跡外に搬出されている。これらのことから一定量の石核が遺跡外に持ち出されている可能性が高い。

以上のことから、本石器ブロック群には、付近で採取した原石及びある程度剥離が進行した状態の石核（礫・剥片素材を含む）、搔器などの石器類が搬入されている。原礫面は転礫面が多いことから、素材は湧別川の河原で採取されたものと考えられる。また、角礫面を持つ石核及び棒状原石も持ち込まれており、露頭付近の石材もある程度採取されている。これらの原石及び搬入石核には主にI類の剥離技術を用いて剥片剥離を行っている。生産された剥片は主に搔器を中心に台形石器などの素材となる。遺跡内で生産される剥片素材の石核の内、遺跡内に遺棄されるものは少なく、それらは主にI類の剥離技術が用いられている。遺跡内での剥離の進行度は個体によりばらつきが大きい、主に礫素材のものは進行度が高く、剥片・分割剥片など礫以外の素材は、進行度が低い傾向がある。礫素材のものはI類の剥離技術を用い、主に厚さを大きく減じる石材の消費となっていた。剥離終了時の石核の形態・大きさは素材によって変化に富み、統一性がない。最終的に遺跡内には約六割の石核が残される事となり、三割を超える石核が搬出されている。石核・石器類の中には二重パティナが観察されるものがあり、また、搔器の中には石核としての機能を共有、若しくは器種転用したと見られるもの（複合石器）が存在する（図V-8）。これらのことから、石器類は管理的な様相が強いと言えよう。しかもこれらの黒曜石の原産地は肉眼的に白滝産である。また、石材消費戦略としては、原産地において採取した原石及び剥離途中の石核を遺跡内に搬入し、集中的な石器製作を行い、石核若しく

は搔器を中心とした石器、またその素材となりうる剥片を一定量搬出している。さらに、大型石器が多い点、石核の搬出率が高い点、管理的な石器類の存在から、白滝を回路的に遊動する比較的地域性の高い行動領域であった可能性がある。

年代 Sb-77の搔器に16,279±1,991y.B.P(W8)、12,429±1,115y.B.P(W9)、16,255±1,005y.B.P(W10)の水和層年代測定値が得られている。2点が16,000年代にまとまっている。しかし、本石器ブロック群は2万年以前とされる後期旧石器時代前半期の搔器を主体とした石器群に類似(山原1996)しており、従来の編年観とは整合しない。また、石器組成と石器製作技術から「白滝I b群」(直江 2004)に区分できる。上土幌町嶋木遺跡(辻 1973、加藤・山田 1988)や千歳市柏台1遺跡(福井 1999)に類似する石器群が見られる。

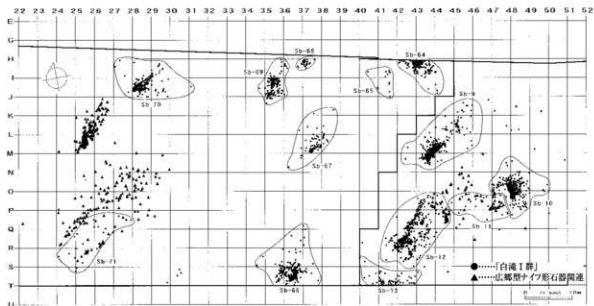
(4) 「白滝I a・I b群」の関係

ここでは上白滝8遺跡の東地区で報告(鈴木ほか 2004)した「白滝I群」も含め、各石器ブロック群の関係を整理し「白滝I群」全体のまとめを行う。東地区ではSb-1~13の石器ブロックが検出され、主に接合関係からSb-1~3、4~6、7・8、9、10、11~13の六つの石器ブロック群に区分された。それらは石器組成や石器製作技術から「白滝I a群」と「白滝I b群」に区分されている(直江 2004)。前者はSb-1~3、4~6、7・8、9、11~13の五つの石器ブロック群、後者はSb-10である。本報告では、前者にSb-64~70が、後者にSb-71、72~79が相当し、特に今回Sb-72~79により「白滝I b群」の様相が一層明らかとなった。上白滝8遺跡の「白滝I群」は、調査区内の広い範囲から検出され、主に中央から東側にI a群が多く分布している。I b群は、西端部に大規模な石器ブロック群があり、中央と東部に小規模で単独の石器ブロックが点在している。

以下に本報告を含めたI a群とI b群の相違を石器組成、剥片剥離技術、石材消費戦略、行動領域から記述する。石器組成では、I a群に裏面微細加工石器が多く、基部平坦加工石器が見られ、石器類が小型である。それに対してI b群には搔器が多く、台形石器が見られ、石器類が大型である。また、石材については、I a群が黒曜石1の割合が高く、I b群の方が、黒曜石2・5を多く利用し、黒曜石以外の石材が豊富に見られる。

剥片剥離技術では、両者ともにI~III類の剥片剥離技術が見られるが、I a群は一次素材にIII類、二次素材にI・II類の技術が多く用いられ、一母岩中に利用される剥片素材の石核の比率が高い。I b群は一次・二次素材ともにI類の技術が多く用いられ、素材による技術の変化が顕著ではない。これは目的とする剥片の大きさの相違によるものと思われる。

石材消費戦略と行動領域については、(直江・長崎 2005)で東地区及び奥白滝1遺跡の「白滝I a群」についての分析を行った。その中で、白滝遺跡群を対象とした石材原産地では、①遺跡内に原石の状態を持ち込み、集中的な剥片剥離が行われている。②素材・搬入形態にかかわらず石核の多くは遺跡内に遺棄されており、剥片(石核の素材を含む)・石器類が遺跡外に主体的に搬出されている。視梅遺跡三角山地点を対象とした消費地遺跡では、③石核、石器類が白滝より小型であり、石核を徹底的に消費し尽くしている。④剥片若しくは剥離が進行した石核から剥離が開始されている。⑤在地の石材がほとんど利用されず、直線距離で約75km離れた赤井川産の黒曜石を主体として利用している。⑥白滝産黒曜石が少量出土している。①~④により、両遺跡の関係は遺跡間連鎖に基づく原産地と消費地の関係にあり、石材は直接採取によって入手したと想定できる。また、⑤・⑥から、黒曜石(良質石材)に対する依存度の高さを指摘できる。従って複数の良質原産地を取り込む広範囲の行動領域であったことが考察された。これは本報告で検討されたSb-64~70の石材消費戦略と矛盾しな



図V-9 「白滝I群」と広郷型ナイフ形石器関連の石器分布

い。

I b群は原石及びある程度剥離の進行した状態の石核を搬入し、原産地で集中的な石器製作を行い、剥片素材の石核及び搔器を中心とした石器類若しくはそれらの素材となりうる剥片を遺跡外に搬出している。I a群と比べると接合資料及び単体の石核の遺棄・出土率が低いことから、石核も一定量搬出されたものと見られる。また、大型の石器類、白滝産黒曜石製と見られる二重パティナが観察できる石器や複合した機能を持つ石器(図V-8)の存在から白滝を回帰的に遊動する比較的地域性の高い、行動領域であった可能性がある。

以上のような相違は、同一の石材環境において観察され、お互いに類似した石器製作技術を保持している中で、それぞれ特色のある技術の用い方が確認された。従って石器製作上の遺跡連鎖によるつながりとは認めがたく、石器・石材組成、石材消費戦略及び行動領域の違いも含めて考えると、時間的な前後関係による可能性が高いと思われる。また、両群とも石器製作技術から凡例的に出土する「台形椀石器群」と同じ枠組みで理解することが可能であろう。

両群の関係について考察する際には、広郷型ナイフ形石器を含む石器群(以下、広郷ナイフ石器群)が重要と考えられる。広郷ナイフ石器群は、I a・I b群の双方に類似点が見られる。すなわち石材消費戦略は、原産地で石材採取を行い、石刃技法を主として剥片剥離・石器製作までが集中的に行われ、多量の石核が遺棄され、石器・石刃を中心とした装備形態が復元されている(坂本 2003)。これは、石器製作技術の違いを除けばI a群と類似している。また、ナイフ形石器の裏面基部加工は、寺崎(2005)も指摘するように、I a群の基部平坦加工石器のものと類似する。さらにI a群中のSb-11~13では、縦長剥片を剥離する比率が高く、縦長剥片を素材とする基部平坦加工石器が存在している。また、広郷ナイフ石器群に伴う搔器は、加工や形態・大きさにおいてI b群に伴う搔器と類似するものが多い。これらのことから、広郷ナイフ石器群は白滝I a・I b群の両者に類似した要素があり、中間的若しくは両者のいずれかに共伴する位置付けが可能と思われる。ここで上白滝8遺跡での広郷ナイフ石器群の分布を見よう(図V-9)。広郷ナイフ石器群は「白滝I群」以外として報告され、F区とI区の2か所で出土している。前者ではI b群のSb-10に隣接し、I a群のSb-11~13と一部重複している。後者ではI b群のSb-71と一部重複して分布している。以上のように

分布からも白滝I群との関連性が指摘できる。

白滝を含めた北海道の後期旧石器時代前半期の編年的な研究によれば、絶対年代的な位置付けや石器群の組み合わせに相違があるものの、技術形態学的には台形様石器を主体とする石器群→搔器を主体とする石器群への変遷を想定しているものが多い（佐藤 2003、寺崎・山原 1999、寺崎 2005など）。また、地質編年によれば、帯広市若葉の森遺跡と千歳市柏台1遺跡が議論に耐えうる遺跡として評価され、若葉の森を古く位置付けている（出穂・赤井 2005）。これは前述の技術形態学的な変遷観と矛盾しない。これらを石器組成の類似により「白滝I群」に当てはめると、I a群→I b群への関係に対応し、今回考察した行動領域の観点から見ると、広範囲の領域から地域的な領域へと変遷したことになる。しかし、行動領域と良質石材の依存性を合わせて考慮すれば、前述の変遷観は、後続する細石刃石器群との類似性が希薄であり、I a群の方がより細石刃石器群との類似性を認めることができる。この類似性が時間軸に沿って連続的に変遷する属性であるのかどうかは現時点では不明である。従って、今後とも様々な視点から石器群を分析し、当該期の社会を復元・検証していく必要がある。そのためには、前半期から後半期にかけての石器群単位での連続性、系統関係、集団関係を視野に入れた分析が不可欠であろう。（直江康雄）

2 「白滝I群」以外について

上白滝8遺跡では、技術的特徴から剥片レベルでも分離可能な「白滝I群」を分離して整理を行ってきた。「白滝I群」以外は、文字通り遺跡全体から「白滝I群」を除いた全ての石器群が含まれており、西地区遺物の99.7%（626,305点）を占める。また、東地区・斜面部等を含めた遺跡全体では99.2%（1,344,457点）である。

これらの遺物の分布は、東地区同様、西地区においても広範囲に連続し、巨視的に見ると直径50m規模の集中域とみなせる場所がI・J区で確認される。これまで白滝遺跡群の報告は、遺跡を分布上の集中域である「石器ブロック」に分け、単体石器・接合資料で関連付けられる複数の「石器ブロック」を「石器ブロック群」として括り、行ってきた。「石器ブロック群」は基本的には単一の「石器群」に対応し、さらに同一時期の所産と考えられるまとまりを示すものと考えており、このような整理は「石器ブロック群」が分布上、独立している場合に有効であった。上白滝8遺跡の「白滝I群」以外では、複数の石器群が複雑に重複・連続しているため、このような資料操作を経ることが困難な状況であった。そのため連続した分布を把握・記述するための資料操作単位として便宜的に等密度線図からブロック設定を行い、さらに最大公約数的な「石器群」の分類を目的として、特徴的な石器・近距離での接合関係を基に「区域」の設定を行った。

今回（西地区）の報告では、「区域」「石器ブロック」（分類基準についてはⅢ章2（2）参照）を単位として報告する中で、さらに石器群に帰属可能な単体石器・接合資料を基準として「区域」を石器群の単位に分けてその構造を明らかにすることに努めてきた。本節では、G～Kの五つの「区域」毎にまとめを行うが、「石器群」「石器・石器組成」「各石器群」の項目に分けて記述する。「石器群」では区域を構成する石器群を示し、「石器・石器組成」では区域全体の点取り遺物点数・重量を示したが、全ての遺物に対して構成する石器群に分離することは困難であるので石器群単位の集計は行っていない。そのため、区域全体の遺物点数・重量、石器組成、石材組成を検討した後、「各石器群」の特徴を述べる。

(1) G区・石器ブロック80~89 (Sb-80~89)

石器群 ①小型舟底形石器を含む石器群、②大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群、③忍路子型細石刃核を含む石器群が認められる。

①が主体を占め、一部 (Sb-89) はI区 (Sb-93南東部) と接合関係があり、②はSb-83中央部にスポット的に、③はSb-86北東部 (スポット的)・Sb-88・Sb-89南西部にH区 (Sb-90) と接合関係を持って分布する。なお、③のSb-89は南側の調査範囲外に分布が広がると推定される。区域全体では石器ブロックの規模は均質で、2,000~3,000点の小規模なものが多く、それらが10m程度の間隔でほぼ等間隔に分布している。

石器・石材組成 区域全体で取戻り遺物17,097点、133,540.5gの石器類が出土している。定形的な石器は尖頭器 (I・II・III類)・尖頭器削片・両面調整石器・ナイフ形石器・彫器 (I・II類)・彫器削片 (II・III類)・搔器・削器・錐形石器・舟底形石器 (I a・II a・II b類)・石刃・縦長剥片・石刃核・石核・原石が出土している。石材は黒曜石4 (64.7%) が最も多く、次いで黒曜石1 (26.9%)、黒曜石3 (6.9%)、黒曜石5 (1.2%)、黒曜石2 (0.2%)、頁岩 (0.05%) である。削器・錐形石器・舟底形石器・石核類・剥片には黒曜石4が、尖頭器・彫器・搔器には黒曜石1が多用され、彫器・錐形石器には頁岩製のものが含まれる。

①小型舟底形石器を含む石器群 (図V-10・12~14)

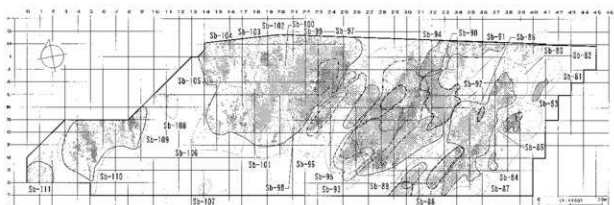
石器製作技術 尖頭器製作技術と石刃剥離技術を含む剥片剥離技術に分けられる。

<尖頭器製作技術> 剥片素材 (図V-12-1) と石核素材 (図V-12-7) があるが、石核素材がほとんどである。石核素材は30cmを超える大型の角礫を素材として、粗加工され、類似した形状 (長さ29~32cm、幅13~16cm、厚さ5・6cm) の大型尖頭器で搬入されている (図V-13-母岩551・接合2807)。①全て角礫素材であること、②搬入形態が揃っていること、③母岩551に2個体の搬入品があることからそれらは露頭付近で一次加工が行われ、遺跡内に搬入されたと考えられ、Sb-81にまとまって分布する母岩 (母岩549・551・546) は1回の補給で遺跡内に搬入され、遺跡内に残されたものと考えられる。

搬入された大型尖頭器は、遺跡内で主に厚さを減少させる加工が行われ、長さ30cm前後、幅9~12cm、厚さ1~2cmの尖頭器で搬入される (図V-13-母岩551・接合2807個体A)。また、加工途中で折損した場合、主に折れ面を打面として (一部、削片剥離面を打面とする) 側縁で削片剥離が行われる (図V-13-母岩551・接合2807個体B)。削片剥離の際に頭部調整は施されない。断面三角形の一次削片が両側縁で剥離された後、二次削片は片側縁に偏って剥離される。剥離された断面三角形の一次削片は舟底形石器の素材として利用される (図V-13-133・134)。削片の長さは①尖頭器本体の下端部を取り込むもの (図V-12-18) が多く、それに伴い本体の長さが次第に減少すること、②折損時 (削片剥離直前) の尖頭器自体の大きさに変異があることから差異が見られる。削片剥離後の尖頭器II類本体の正面形はV字状である (図V-12-10・8)。

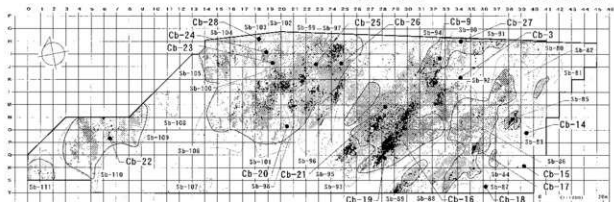
<削片剥離技術> 石刃剥離と剥片剥離の2種類に分けられ、全て原石ないし原石に近い形状で搬入される。

①10~25cm、主に長さ15cm程度の角礫・亜角礫を素材として1回ないし数回の厚手の剥片剥離によって作出された単剥離打面 (一部原礫面打面有り) から頭部調整を伴って7~10cm程度の石刃が剥離される。石刃剥離は裏面に向かって一方向に進行し、石刃核裏面に原礫面が残存するもの (図V

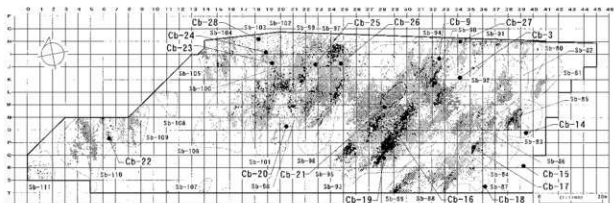


「白滝I群」以外の石器群分布

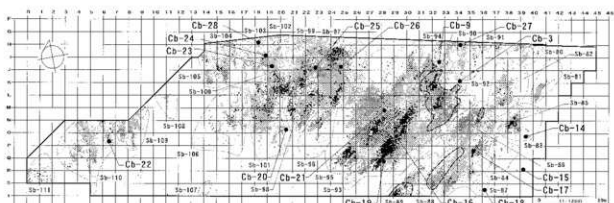
—— 小型舟底形石器を含む石器群 - - - 大型石刀・大型舟底形石器を含む石器群 刃跡子型細石刃核を含む石器群
 〰 幅広い背状頭部を含む石器群



小型舟底形石器を含む石器群と炭化木片ブロック・被熱石器の分布

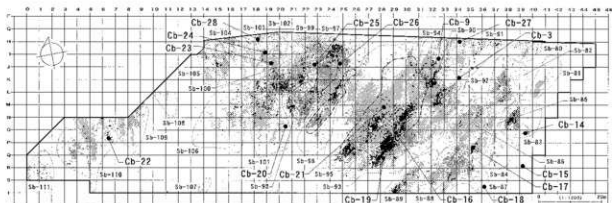


大型石刀・大型舟底形石器を含む石器群と炭化木片ブロック・被熱石器の分布

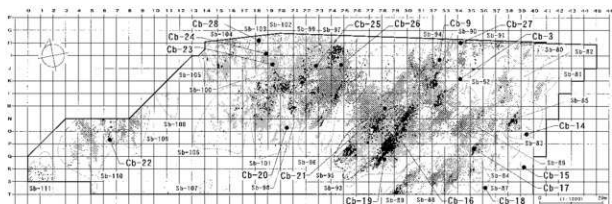


刃跡子型細石刃核を含む石器群と炭化木片ブロック・被熱石器の分布

図V-10 「白滝I群」以外の石器群分布図(1)



幅広有舌尖頭器を含む石器群と炭化木片ブロック・被熟石器の分布



広頭型ナイフ形石器を含む石器群と炭化木片ブロック・被熟石器の分布

図V-11 「白滝I群」以外の石器群分布図(2)

12-151) と、全周を巡るもの(図V-12-164)がある。一部、両設打面も見られるが、ほとんどが単設打面である。石核調整は、打面作出後、主に石核の形態を整えるために頭部調整を伴わない厚手の剥片剥離が行われるものや、石刃剥離中に核調整や下縁調整などが行われるものがある。また、石刃剥離後の最終段階で石刃核を分割する剥離が行われることがある(図V-12-151)。厚手の打面作出剥片や石核調整剥片や石刃剥離後の厚手の剥片・石核・石刃核は舟底形石器の素材となる。逆に言えば一連の工程内で得られた厚手の剥片は舟底形石器の素材として利用され、多くの舟底形石器が製作されている。剥離された石刃は影器・搔器・錐形石器・削器の素材となる。

石材は黒曜石4が7割を占め、黒曜石1が3割程度である。黒曜石4は亜角礫・角礫が、黒曜石1は角礫がほとんどである。

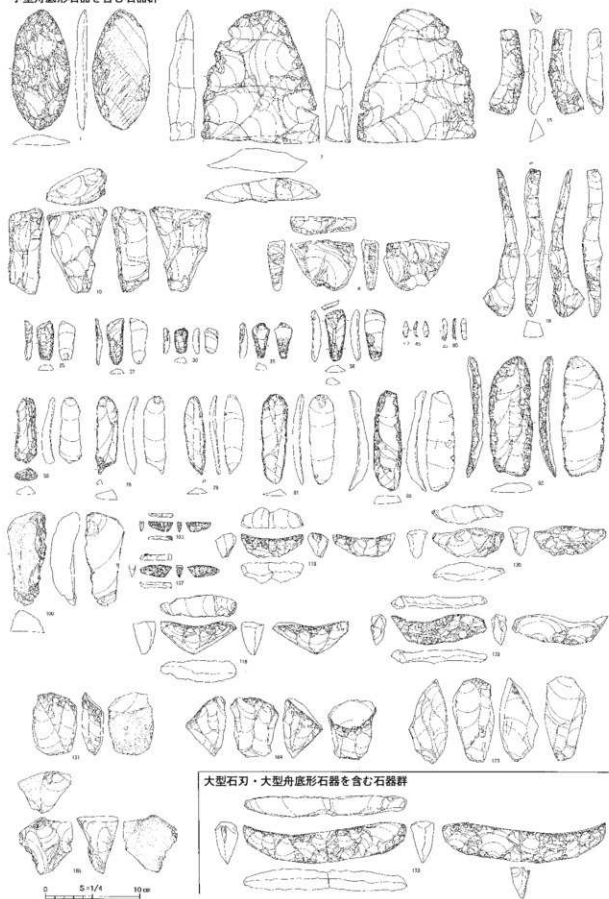
②長さ10~20cmの角礫・亜角礫を素材として石刃が剥離される①と同様に既ね打面を固定し、頭部調整を行わずに打面縁辺から0.5~2cm内側を加撃して縦長の厚手の剥片が剥離される。

③長さ10~20cmの角礫・亜角礫を素材として打面・作業面を頻繁に転移させ、頭部調整を行わずに打面縁辺から10mm以上内側を加撃して厚手の剥片が剥離される。

①の前半で行われる粗い石核調整(多方向に認められることもある)は②③の頭部調整の無い粗い剥離に類似する。また、②にも打面と作業面を転移させる多方向の剥離が見られるものがあり、それらと③のタイプは漸移的である。このことから①~③は原石形状や剥離の進行に伴う石核形状の変化に対応して流動的に運用されるものと考えられる。

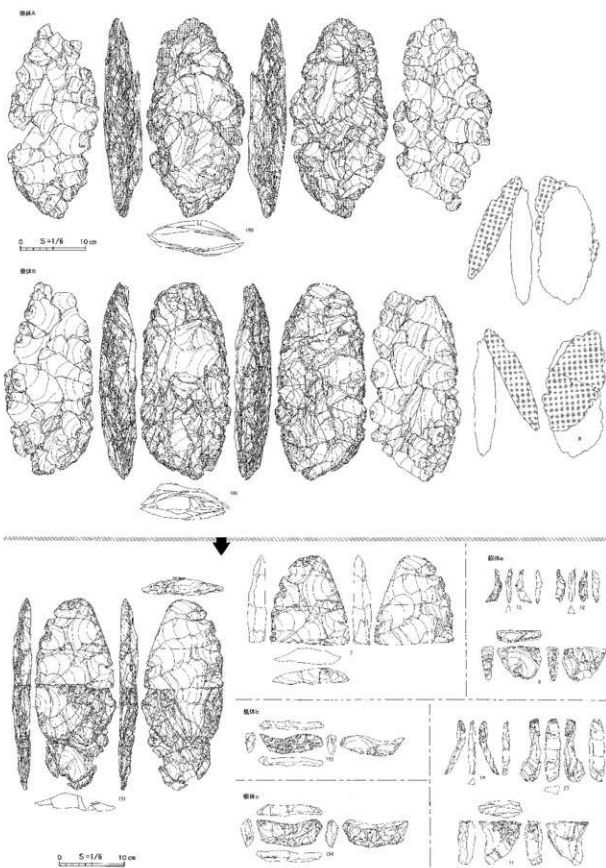
<二次加工技術> 彫器はI(図V-12-25・27)・II類(図V-12-30・35・38)が認められ、石

小型舟底形石器を含む石器群



小型舟底形石器を含む石器群

母岩別資料(1)



図V-13 G区 (Sb-80~89) 母岩別資料(1)

刃・縦長剥片素材がほとんどである。彫刀面は素材先端部の左肩に主にノッチ状の彫刀面打面から作出され、背面先端部調整はI類には見られないが、全てのII類に認められ、その半数は打点が無く、彫刀面に切られている。周縁加工は、背面側にはほぼ全て、腹面側には約3分の1の彫器に施され、背面加工は両側縁全体に急角度の調整が、腹面加工は片側縁に施されるものには部分的な、両側縁に施されるものには面的な平坦加工が施される。

搔器(図V-12-55)は長さ10cm以下の石刃素材で、両側縁に急角度の加工が施される。

錐形石器(図V-12-78・79)はほとんどが石刃素材で、両側縁の加工は軽微ないしは認められない。刃部は両側縁の裏面からのノッチ状の加工によって作出され、素材先端部の左側に傾くものが多く、刃部には使用によると考えられる端部からの樋状の剥離痕が認められるものがある。

削器は、薄手の石刃素材で側縁に細かい急角度の加工が施されるもの(図V-12-81)、厚手の石刃素材で側縁に厚手の急角度の加工が施されるもの(図V-12-89)、押圧と見られる加工が施されるもの(図V-12-92)、厚手の剥片素材で舟底形石器の加工に類似する粗い加工が施されるもの(図V-12-100)がある。

舟底形石器はI a・II a類があり、これらは、上白滝2(Sb-11・12、13)・上白滝5(Sb-6～11)・上白滝8遺跡東地区(A・C・D区)同様、上白滝5遺跡で模式化したもの(鈴木 2002、P 371下図)と同じく、甲板面からの粗い剥離が行われるII a類から上下からの押圧剥離と見られる細かい加工によるI a類への工程上の形態変化に位置付けられる。両者とも甲板面がボジ面で剥片素材のもの(図V-12-103；I a類、図V-12-113・118；II a類)とネガ面で石核素材のもの(図V-12-107；I a類、図V-12-130；II a類)があり、後者のII a類は下縁からの加工が認められる。これは、素材石核が厚手で形状が不安定であるためと思われる。また、II a類には尖頭器一次削片素材のもの(図V-12-133)があり、素材自体の形状を反映して他のII a類に比べ幅が狭く、高さのある形状である。

石材消費 大型の尖頭器は大型の平坦剥離で加工された両面調整体で搬入され、遺跡内では一回り小型化する加工が行われ、搬出され、折損品には削片剥離が行われるものがある。石刃・剥片剥離には主に角礫・亜角礫が原石ないし原石に近い状態で搬入され、石刃・舟底形石器II a類が多量に製作され、搬出されている。舟底形石器I a類・彫器のほとんどは母岩別資料に含まれず、単体で搬入されている可能性が高いが、多段階表面変化(二重パティナ)が認められない点上白滝5遺跡Sb-6～11と異なる。石材消費の脈絡が違っていたことが考えられ、それらの違いの要因については、今後検討したい。

Sb-85出土の削器1点はあじさい滝産(X184)と判定されている。

分布 ここでは大型石刃・大型舟底形石器を伴う石器群であるSb-83中央部、忍路子型細石刃核を含む石器群であるSb-86北東部(スポット的)・Sb-88・Sb-89南西部を除いた分布について概観する(図V-10)。

本区域には、忍路子型細石刃核を含む石器群に伴うものを除くと搔器が非常に少ないのが特徴である。尖頭器I・II類、尖頭器削片はSb-83・85・86に、舟底形石器II a類・石核類はSb-80・81を除くほぼ全域に、舟底形石器I a類はSb-85に偏って分布する。彫器I・II類はSb-80・83・85・87のそれぞれ狭い範囲内に、削器・石刃類はほぼ全域に分布する。Sb-83には長さ28cmの長大な棒状原石が分布している。

接合資料は基本的にはブロック内にまとまって分布するものが多いが、前半段階と後半段階、尖頭器の折損前後、また、調整剥片を含む舟底形石器の素材単位、ツール・良形の素材とそれ以外の剥

片類などで分布が分かれるものがある。

炭化木片ブロックはSb-83の南東部（O39区）にCb-14、Sb-85の南西部（P35区）にCb-17、Sb-87の南東部（S36区）にCb-18が分布する。Cb-17は被熱石器の分布と重複し、Cb-14・18の周辺には被熱石器は見られない。

年代 Cb-14には21,980±210yBP (Beta-112903・SHIRA-31)、24,340±160yBP (Beta-174487・SHIRA-93)、Cb-17(1)には18,840±160yBP (Beta-112906・SHIRA-34)、(3)には18,470±270yBP (Beta-101793・No7)、Cb-18(3)には23,620±310yBP (Beta-112907・SHIRA-35)、22,210±110yBP (Beta-186198・SHIRA-113)の放射性炭素年代測定値が得られている。

Cb-17は被熱石器と重なって分布し、(3)と重複する被熱石器の中に母岩609接合2958が含まれ、その内容が、小型舟底形石器を含む石器群に対応することから、炭化木片ブロックとこれらの被熱石器の重複を根拠に関連性を認めるとすると当該石器群の年代値は、¹⁴C年代値で18,000～19,000yBPとすることができる。現在想定されている年代観（後期旧石器時代終末期）と隔たりがあるが、可能性のある数字として提示しておく。なお、今後もこれまでの年代測定値を整理し、検討していく必要がある。

②大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群（図V-10・12下段）

石器製作技術 石刃剥離技術が認められる。

＜石刃剥離技術＞ 石刃（図版108-224～227）は15cm以上の単剥離打面を持つ角礫素材の大型石刃核から頭部調整を伴って剥離され、一部稜調整痕・下面からの剥離面が残る。石材は黒曜石が多く、大きさ・技術的特徴がB地区の大型石刃資料に類似している。これらは接合せず、石刃剥離の痕跡が認められないため、石刃の形態でSb-83に持ち込まれたと見られる。

＜二次加工技術＞ 図V-12-135は15cmを超える大型剥片を素材として甲板面・下縁からの剥離で加工され、特に縁辺部は細かい加工により滑らかに調整される。これらは舟底形石器Ⅱb類の特徴で、石刃同様B区の石器群に類似する。

石材消費 Sb-83出土の大型石刃は赤石山産（X188）と判定されている。同一の石器群と思われるB区の大型石刃接合資料には石刃が搬出された痕跡があり、B区との接合は認められないもののそのような石器製作の本体が遺跡周辺にあり、そのようなところから持ち込まれたものと思われる。舟底形石器Ⅱb類も単体で搬入されたものと見られる。両者とも多段階表面変化は認められない。

分布 Sb-83のM38区南東部の2×1mの狭い範囲に、小型舟底形石器石器群に隣接して分布している（図V-10）。

炭化木片ブロックは、本石器群の分布域の南東6m（O39区）にCb-14が分布しているが、本石器群との関係は不明である。

年代 Cb-14には21,980±210yBP (Beta-112903・SHIRA-31)、24,340±160yBP (Beta-174487・SHIRA-93)の放射性炭素年代測定値が得られている。この年代値は後期旧石器時代前半期に相当し、採用するのは難しい。

③刃路子型細石刃核を含む石器群（図V-10・14中・下段）

石器製作技術 尖頭器製作技術と大型石刃剥離技術に分けられる。

＜尖頭器製作技術＞ 石核素材と剥片素材に分けられる。

石核素材は20～30cmの黒曜石1の角礫を素材として原石ないし原石に近い粗い加工が行われた状

態で搬入される。遺跡内では当初、縁辺から0.5～1 cmを打撃して粗い加工が行われ、表面の凹凸が減少した後、縁辺部付近を加撃して薄い剥片剥離によって形態が整えられる。本体は長さ25cm以上、幅10cm程度、厚さ2 cm程度の大形の尖頭器で搬出される。①黒曜石1が主に利用される特徴、②粗い剥離段階での剥離角が大きいため、横断面形の湾曲が強く、器体が相対的に幅狭で、縁辺の調整が潰れがちな特徴は小型舟底形石器器群に伴う薄手の幅広の尖頭器と異なっている。

剥片素材は、長さ20cm程度のやや扁平な転礫を素材として、小口面の長軸方向・短軸方向で厚手の剥片が剥離され、その剥片・石核が尖頭器の素材となっている(図V-14-母岩637・接合3013・3014)。二次加工は粗く、縁辺部調整は行われず、加工は主に裏面の剥離面の稜を打撃して行われるため、側縁の稜は交互剥離状にギザギザしている。断面形が弧状に変化すると縁辺に比較的細かい平坦剥離が行われ、縁辺部に打点のある加工も見られ、忽略子型細石刃核の母型の可能性がある長さ12 cm以下、幅5 cm以下、厚さ2 cm以下の細長い左右非対称のものもある(図V-12-2)。

<石刃剥離技術> 本区には断片的な石刃接合資料と大型石刃素材の掻器が出土している。前者は、母岩1221・接合5719(図V-14)で、6点の掻器が接合している。接合資料の左右側面には正面からの稜調整剥離が残り、石刃剥離に先立つ石核調整が行われる。石刃剥離は打面調整を伴い、作業面を左右にずらしながら行われる。単体で出土する大型石刃素材の掻器は、H区の接合資料に含まれるものが多く、母岩1221と同様にH区の石刃剥離技術に一致する。

<二次加工技術> 彫器(図V-12-42・43)は石刃素材で、背面側は両側縁に角度のある、腹面側は基部周辺に平坦な加工が施される。彫刀面は素材打面側の左肩に直線的に作出され、形態軸・彫刀面交叉角が比較的小さい。

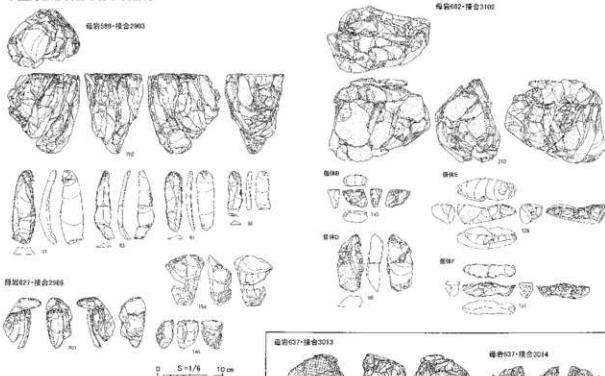
掻器(図V-12-56・60など)は稜調整・側面調整などの石核調整のある石刃核から打面調整を行いながら剥離された大型の石刃素材で、一部稜付石刃も利用される。側縁加工はほとんど行われず、基部側の折れ面に腹面からノッチ状の加工が施されるものがある。刃部形状は弧状のものが多く、一部直線的なものも見られる。刃部は平坦剥離により比較的鋭角に作出され、刃部縁辺は1 mm以下のやや角度のある剥離により縁辺部が滑らかに調整されている。背面にパンチ痕が認められるものがあり、刃部の二次加工と背面との稜上ないしやや手前・奥に位置し、器体幅のほぼ中央付近にあるものが多い。二次加工の稜上にあるものは刃部側からの剥離に対向する両極剥離の特徴を示す。パンチ痕の直径は0.7 mm程度である。このような痕跡は小型舟底形石器に伴う掻器には認められず、上白滝2遺跡Sb-15などの有舌尖頭器石器群で認められることから時期を限定する指標となる可能性がある。側面形は直線的なものも多く、先端部に反りのある掻器が多い小型舟底形石器器群のものも異なる。長さは15 cm以上(図V-12-52・53)、10 cm前後(図V-12-60・64・70)、5 cm前後(図V-12-56・59)の三種類があり、素材石刃の長さを反映している。また、幅は2～5 cm、厚さは0.5～1.7 cmと多様である。小型舟底形石器に伴う掻器が長幅厚とも類似するのに対し、全てにおいて変異が認められ、その要因に素材の変異が大きいこと、側面調整が少ないために規格化が行われないことが挙げられる。

石材消費 H区で説明を行う。

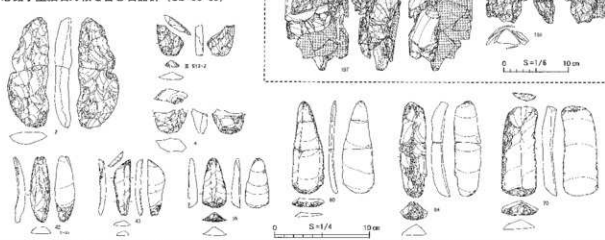
分布 石核素材の尖頭器調整剥片接合資料はSb-88に、剥片素材の尖頭器・尖頭器調整剥片接合資料は、主にSb-89に一部Sb-88に分布し、Sb-89の分布はさらに南側の調査区外に広がることは確実である(図V-10)。掻器はSb-86の北東部・89の南西部に分布し、Sb-86には15 cmを超える大型品が分布する。また、Sb-89では剥片素材の尖頭器・彫器と分布が一致する。

年代 炭化木片ブロックは周辺には分布せず、水と層年代測定値も得られていない。(鈴木宏行)

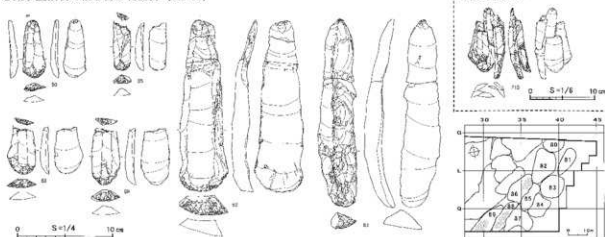
小型舟底形石器を含む石器群



忍路子型細石刀核を含む石器群 (Sb-88~89)



忍路子型細石刀核を含む石器群 (Sb-86)



図V-14 G区 (Sb-80~89) 石器組成図(2)・母岩別資料(2)

(2) H区・石器ブロック90 (Sb-90)

石器群 忍路子型細石刃核を含む石器群が認められる。

石器・石材組成 点取り遺物11,266点、148,311.0gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器（I類）・両面調整石器・彫器（II・III類）・彫器削片（III類）・搔器・削器・舟底形石器（II a類）・細石刃核・石刃・縦長剥片・石刃核・石核が出土した。石材は黒曜石1（91.7%）が最も多く、以下、黒曜石5（4.0%）、黒曜石4（2.5%）、黒曜石3（1.4%）、黒曜石2（0.3%）、頁岩（0.03%）である。点数に比べ、ツールの量が少ない。また、黒曜石1が圧倒的に多いのが特徴で、直径1cm大の流紋岩球類が含まれるものが多く、そのような特徴の原石が採取できる流紋岩球類の沢周辺で採取された可能性がある。また、出土している細石刃核は1点のみであるが、それが分布するSb-90の中央部には他の石器群の重複が見られないこと、大型石刃接合資料と細石刃核の石材が類似すること、彫器・搔器の特徴が忍路子型細石刃核石器群に類似すること、他の石器群には含まれない細石刃核母型の可能性がある石器が含まれることから本区域を忍路子型細石刃核を含む石器群として認定した。

忍路子型細石刃核を含む石器群（図V-10・15・16）

ここでは、I区（Sb-92）の当該石器群（石核素材尖頭器）を含めて記述する。

石器製作技術 尖頭器製作技術と大型石刃剥離技術と細石刃剥離技術に分けられる。

<尖頭器製作技術> 尖頭器製作技術には石核素材と剥片素材がある。

石核素材は、25cm以上の主に黒曜石1の角礫を素材として原石ないし部分的に粗い加工の行われた原石に近い形状で搬入される。特に母岩683（図V-16）は50cmを超える超大型の垂角礫素材である。遺跡内では打面縁辺から0.5cm以上内側を打撃して、打面の大きい厚手の剥片剥離による粗い加工によって表面の凹凸を減少させた後、縁辺部調整を伴って縁辺近くを打撃する打面の小さい剥片剥離による加工が行われ、表面が滑らかになる。加工は片面に偏る傾向がある。折損後、再加工が行われるもの（母岩716・接合3252）があり、折れ面から側縁ではなく正面で器体を薄くする加工が行われ、削片状のウートラパッセの剥離後、遺棄されている。完形の尖頭器本体は長さ25～52cm、幅9～14cm、厚さ2～6cmのやや厚手の尖頭器で搬出され、折損品は長さ7cm程度である。

剥片素材は、素材が判明するもので、大型石刃剥離の石核調整時に剥離された長さ15cm程度の厚手の剥片・長さ18cm程度の石刃核を素材とするものがある（図V-15-母岩693・接合3201）。素材となる石刃核は、石刃剥離が進行し、石刃剥離がほぼ可能なまで消費され、厚さ6cm程度の盤状の形状である。粗い加工の後、縁辺部調整を伴う打面の小さい薄手の剥片剥離による加工が行われ、長さ12～16cm、幅6cm程度、厚さ2cmの尖頭器が搬出される。ブロック内には、尖頭器の単体資料（図V-12-III-513-4）があり、それは幅広の剥片素材で、両面に素材面が残り、角度のある加工によりやや厚手で左右非対称の形態である。これは、忍路子型細石刃核母型の可能性がある。

<石刃剥離技術> 角礫は長さ30～35cm程度のものが利用され、転礫は長さ25～30cm程度の角礫に比べやや小さいものが主体で、一部40cm程度の大型の転礫が利用される。また、角礫は粗い加工による石核調整の行われた石刃核母型で搬入される一方、転礫は原石の状態で搬入される。原石形状は、断面三角形で、側面形が半円形・楕円形・円形などがあり、石刃核母型の形状に近いものが選択されている。

原石の正面縁から左右側面への剥離、裏面と左右側面での交互剥離によって石核調整が行われ、側面形が半月形～ラグビーボール状、断面形が左右側面・裏面で構成される三角形ないし五角形の石刃

核母型が製作される。正面の稜は磨り潰して「バリ」が除去され、正面観が直線的に、側面観が滑らかな弧状に仕上げられる。

石刃は、単設打面の石刃核作業面に残る稜線の頂部を打点に設定し、打面調整・縁辺を擦り潰す縁辺部調整を伴って剥離される。打面縁辺の擦り潰しは、ほぼ稜の頂部に限定され、頂部の両側の擦り潰しを伴って山形に調整される上白滝2遺跡（鈴木ほか 2001）Sb-9の射的山型（広郷型）細石刃核石器群とは異なる。原石サイズを反映して、角礫素材からは20~25cm程度、転礫からは18~20cm程度の石刃が剥離される。石刃は量産され、稜付石刃を含む初期段階の石刃・石刃核の側面付き石刃・最終段階の石刃を除いて大部分が欠落し、搬出されている。稜付石刃を含む石刃は掻器の素材となっている。また、大型の石核調整剥片や石刃核を素材として尖頭器に加工されるものがある（図V-15-1母岩693・接合3201）。石刃核は遺跡に残されるものが多い。

<細石刃剥離技術> 忍路子型細石刃核（図V-15-8）が1点出土し、それは嵐山2遺跡（西田ほか 1987）、北上台地遺跡（大場ほか 1984）等の細石刃核に類似した小型のタイプである。素材形状は不明であるが、細長い両面調整体の母型を作成し、縁辺に沿った削片剥離により打面を作成し、短軸方向で細石刃が剥離される。細石刃剥離の途中で打面再生が行われた可能性がある。細石刃剥離角は85度、細石刃剥離面長は1.6cmで、細石刃剥離作業面には反りが残り、細石刃にも反りがあったと考えられる。

<二次加工技術> 削器（図V-15-2）は、頁岩製で、稜調整のある石刃核から剥離された石刃を素材として、両側縁加工後、素材先端側の端部にノッチ状に作出された打面から縁辺に沿って彫刀面が作出される。彫刀面に接する背面には彫刀面に切られる背面先端部調整が残り、形態軸・彫刀面交叉角は小さい。

掻器（図V-15-5・6）は、G区の当該石器群同様、側縁の加工はほとんどなく、刃部のみ加工され、素材背面稜と刃部加工の稜の交点付近にパンチ痕が残る。素材は打面調整のある石刃核から剥離された石刃である。

削器（図V-15-10）は大型石刃素材で、右側縁の先端部両面に平坦剥離による加工が施される。

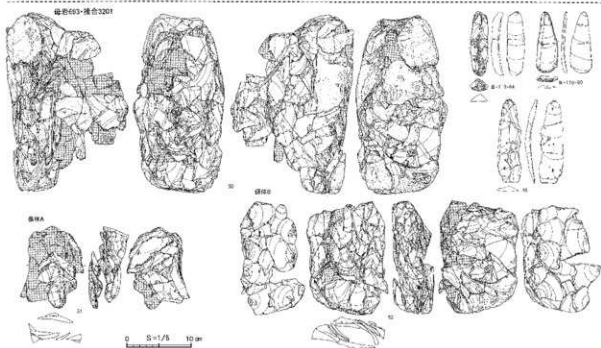
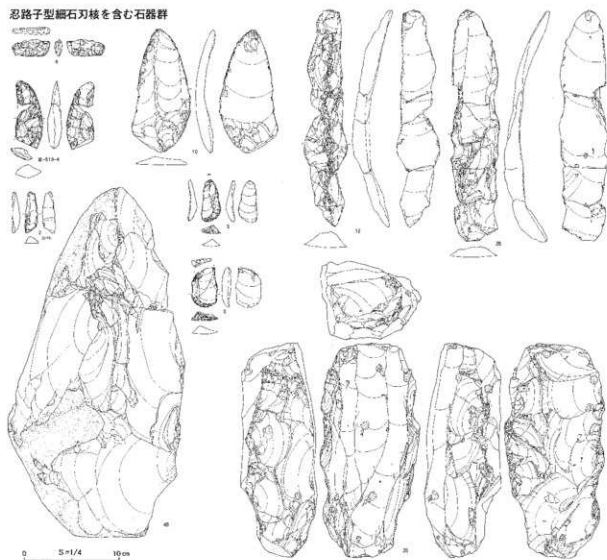
石材消費 当該石器群はG・H区の両区域に分布し、ここでは両者を含めて説明する。

H区のSb-90では集中的な石刃剥離、石核素材の大型尖頭器製作、一部剥片素材の小型の尖頭器製作が行われ、ほとんどの石刃、大型尖頭器、小型尖頭器が搬出されている。一方、石刃核は残存するものが多く、あまり搬出されていないと思われる。また、G区のSb-88では石核素材の尖頭器、Sb-89南東部とSb-88の一部には剥片素材の尖頭器（忍路子型細石刃核母型の可能性あり）が製作されている。H区で剥離された石刃は掻器に加工され、Sb-86の北東部・89の南西部に持ち込まれている。ツールが少なく、尖頭器製作・石刃剥離が場所を違えてそれぞれが集中的に行われていることから、比較的短期間に尖頭器や石刃の補給が行われた結果、残されたものと思われる。

分布 Sb-90は①J31・32、K31・32（北西部）、L31区と②K32（南東部）・33、L32・33区に分けられ、ツールは①に彫器・掻器・削器が、②に細石刃核・細石刃核母型の可能性がある尖頭器が分布する（図V-10）。接合資料は①に角礫ないし重角礫・転礫素材の大型石刃剥離資料、石核素材尖頭器調整剥片資料が、②に転礫素材の大型石刃剥離資料が分布する。また、①とSb-89（G区）、②とSb-86（G区）に接合関係が見られる。Sb-92（I区）には石核素材尖頭器調整剥片接合資料が分布する。

炭化木片ブロックはSb-90の北部（I32区）にCb-9、北東部（J34区）にCb-3が分布するが、両者とも当該石器群の遺物とは重複していない。

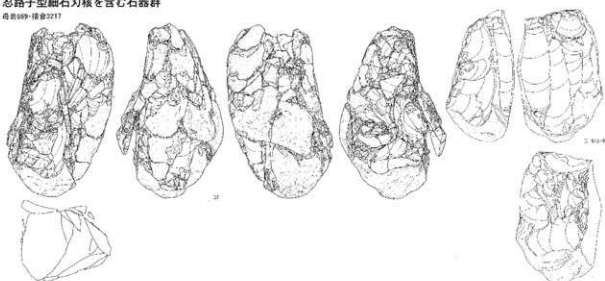
忍路子型細石刃核を含む石器群



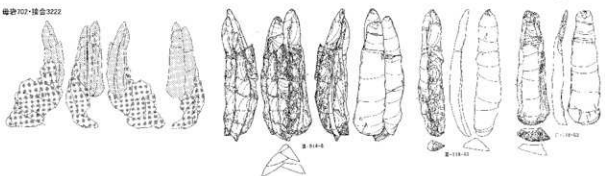
図V-15 H区 (Sb-90) 石器組成図・母岩別資料(1)

忍路子型細石刃核を含む石器群

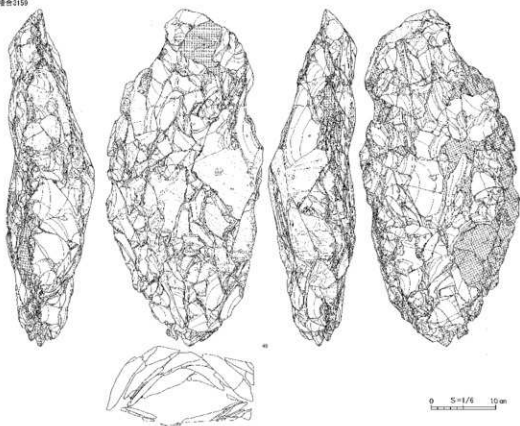
母岩689・種名2217



母岩707・種名3222



母岩683・種名2150



図V-16 H区 (Sb-90) 母岩別資料(2)

年代 Cb-3(1)には10280±50yBP (Beta-101789-№3)、Cb-3(9)には10390±50yBP (Beta-186196-SHIRA-111)、Cb-9(1)には15670±240yBP (Beta-112897-SHIRA-25)、Cb-9(3)には16420±150yBP (Beta-112898-SHIRA-26)の放射性炭素年代測定値が得られている。どちらも分布上、遺物と直接関連付ける要素は無い。本石器群は、後期旧石器時代終末期に位置付けられ、10,300yBP前後の数値はこの編年の位置付けに比較的近いが、これまで当該石器群に対応する実年代値は得られていないため採用するには検討を要する。(鈴木宏行)

(3) I区・石器ブロック91～96 (Sb-91～96)

石器群 ①小型舟底形石器を含む石器群、②大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群、③幅広有舌尖頭器を含む石器群、④広薄型ナイフ形石器を含む石器群が認められる。H区に連続するSb-92は分布とそこに含まれる尖頭器製作接合資料の石材・技術的特徴から最終的に忍路子型細石刃核を含む石器群と判断し、それについてはH区で説明する。

石器・石材組成 (図Ⅷ-16) 点取り遺物51,353点、432,696.7gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器(I・II・III類)・尖頭器削片・両面調整石器・ナイフ形石器・彫器(I・II・III類)・彫器削片(I・II・III類)・搔器・削器・錐形石器・舟底形石器(Ia・IIa・IIb・IIc類)・石刃・縦長剥片・石刃核・石核・斧形石器・原石・台石である。石材は黒曜石4(42.8%)が最も多く、以下、黒曜石1(38.7%)、黒曜石3(7.9%)、黒曜石2(5.7%)、黒曜石5(4.8%)、安山岩(0.03%)、頁岩(0.02%)、珪岩(0.002%)である。点取り遺物点数が遺跡内で最大の区域である。

①小型舟底形石器を含む石器群 (図Ⅴ-10・17～20)

石器製作技術 尖頭器製作技術と石刃剥離技術を含む剥片剥離技術に分けられる。

<尖頭器製作技術> 大型原石を分割した大型の剥片を除くと、全て石核素材である。搬入形態は①原石の状態の角礫(図Ⅴ-19-母岩887・接合3883)、②角礫素材で粗い平坦剥離によって両面加工された大型尖頭器(図Ⅴ-19-母岩876・接合3849、母岩849・接合3740、母岩852・接合3759)、③加工が進行し、中央の平坦剥離面と縁辺部の押圧と見られる平行剥離面で構成された、厚さ5mm程度の非常に薄い尖頭器(多段階表面変化は認められないが同一母岩資料が無い)(接合5744・図Ⅴ-17-32・36)、がある。搬入サイズは、①が長さ20～25cm、幅13～17cm、厚さ6～9cm、②が長さ20～28cm、幅10～15cm、厚さ2～5cm、③は長さ15～20cm、幅5cm程度、厚さ0.7～1.1cm程度で、大型尖頭器に比べ原石のほうが幅・厚さが大きい。上白滝5遺跡の成果から③は剥離の進行した状態(鈴木 2002、図Ⅳ-24)の「尖頭器II・III類」に対応している。

加工は、原石(搬入形態①)には最初、粗い加工が施され、全体の形状が粗く整った段階で、縁辺部を打撃する打面の小さい平坦剥離が行われ、大型尖頭器(搬入形態②)には当初より縁辺部を打撃する比較的打面の小さい平坦剥離が行われる。加工の進行した状態で搬入されたもの(搬入形態③)は調整剥片が接合せず、折損が見られる。おそらく搬入後、早い段階で折損したものと考えられる。それらは、折損後、折れ面周辺に再加工が行われるもの、折れ面から側縁で削片剥離が行われるものがある。初期の粗加工段階で剥離された厚手の剥片は舟底形石器の素材として利用される。

大型尖頭器で搬入されたものは、加工が行われ、一回り小型化して搬出されるが、加工の途中で折損した後、削片剥離が行われるものがある。削片剥離は、尖頭器の長軸方向に対して垂直に折れる場合(素材はV字形に近い)(図Ⅴ-19-母岩876・接合3849、接合5744)、折れ面打面から側縁、一部末端部から側縁へ行われるものが多いが、縁辺から斜めに折れる場合(不定形な三角形が多い)(図

V-19-母岩849・接合3740、母岩852・接合3759)は、多様で、尖頭器縁辺・折れ面などの各辺で打面・作業面を入れ替えながら削片剥離が行われる。また、両者ともに、素材の縁辺を取り込む断面三角形の削片はほぼ全ての縁辺で剥離されている。削片剥離が行われた尖頭器Ⅱ類は厚さ1.0~1.5cmのものが多く、搬入形態③のものよりやや大きい。それらから剥離された断面三角形の一次削片は舟底形石器Ⅰ類に形状が類似し、その素材となっている。母岩876・接合3849(図V-19)の尖頭器Ⅱ類は、厚さが2.4cmで、他の尖頭器Ⅱ類に比べ、厚手である。削片剥離は両側縁で行われた後、一方の側縁に偏って頭部調整を伴って行われる。最初に側縁で剥離された厚手の削片は舟底形石器の、その後、連続的に剥離された幅2cm程度の側縁が平行した削片は、彫器未成品・搔器に加工されている。

また、尖頭器のうち、不自然な折れ面を持つものがあることから、故意に「折り取り」が行われた可能性がある。

縁辺で削片剥離が行われるのは搬入形態が②(大型尖頭器)、③(薄手の尖頭器)で搬入されたものが多く、原石で搬入されたものは無い。

加工された尖頭器は長さ17~25cm、幅6~11cm、厚さ2~3cmで搬出される。

<削片剥離技術> 石刃剥離と剥片剥離に分けられる。

石刃剥離は原石に近い形状で搬入され、一枚の剥離面がある状態で搬入されたものは「試し割り」されて搬入されたと思われる。角礫・転礫とも長さ17~20cmの原石が利用される。石材は黒曜石4が約3分の2、黒曜石1が約4分の1で、黒曜石4は角礫・亜角礫が多く、黒曜石1は転礫が多い。打面は1~数回の剥離によって作出された単剥離打面から頭部調整を伴う石刃剥離が行われる。基本的には単設打面(図V-20-母岩758・接合3434など)であるが両設打面(図V-20-母岩866・接合3822、母岩929・接合4050)も見られる。

また、石刃剥離は①長さ・幅・厚さが類似した原石を素材として全周で行われるもの(図V-20-母岩758・接合3434)、②扁平な原石を素材として小口面で行われるもの(図V-20-母岩866・接合3822)、③扁平な原石を素材として小口面ではない広い面で行われるもの(図V-20-母岩857・接合3783、母岩856・接合3781)がある。

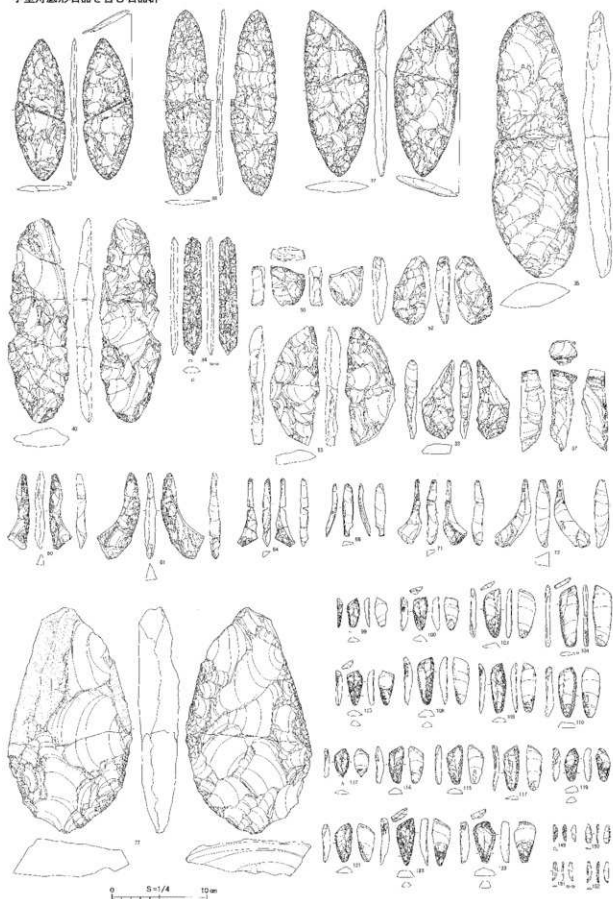
剥離される石刃の長さは8~10cm程度で多くの石刃が搬出されている。石刃は彫器・搔器・錐形石器・削器などの素材になり、厚手の打面作出剥片・石核調整剥片・石刃核・石刃核を分割した剥片は舟底形石器の素材となっている。

剥片剥離は原石に近い形状で搬入され、石刃剥離同様「試し割り」されて搬入されたと思われるものがある。亜角礫主体で10~15cmの小型の原石が利用される。頭部調整無しで縁辺より内側を加撃し、厚手の剥片が剥離される。両設打面のもの(図V-20-母岩864・接合3813)・単設打面のもの・打面と作業面を入れ替えて剥離するもの(図V-20-母岩883・接合3875)など多様である。剥離された厚手の剥片は舟底形石器の素材となっている。

<二次加工技術> 彫器Ⅰ(図V-17-99・100など)・Ⅱ類(図V-17-112・114など)が見られ、石質は黒曜石1が約65%、黒曜石4・5が合わせて約35%程度である。周縁加工は、背面には全周に急角度の加工が施され、腹面には部分的ないし面的に平坦加工が施される。彫刀面はほとんどが素材先端側の左肩に作出される。背面先端部調整はⅡ類のほとんどに認められるが、それらの3分の2は彫刀面に切られている。明確な多段階表面変化は確認できない。素材は搔器には先端部に反りのある石刃が利用されるのに対し、彫器には側面が直線的なものが多く利用される。

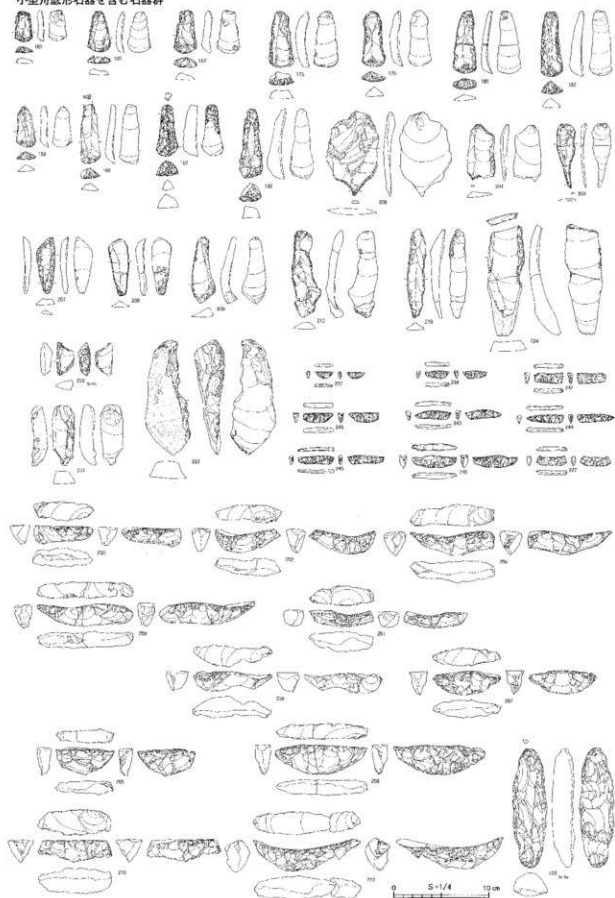
搔器は両側縁に急角度の加工が施されるもの(図V-18-162・165など)と両側縁に加工がほとんど

小型舟底形石器を含む石器群



図V-17 I区 (Sb-91~96) 石器組成図(1)

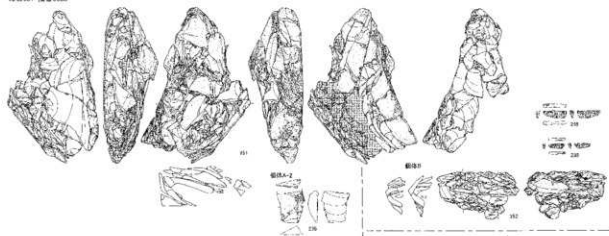
小型舟底形石器を含む石器群



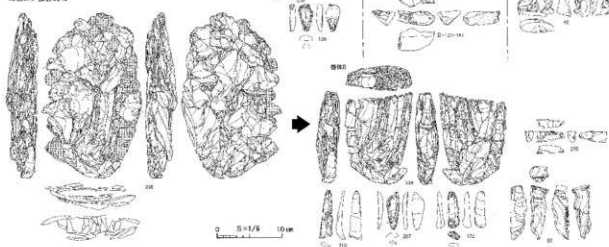
図V-18 I区 (Sb-91~96) 石器組成図(2)

小型舟底形石器を含む石器群

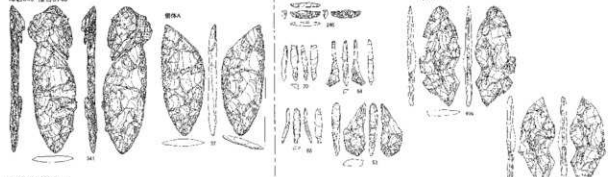
母岩967-種合3883



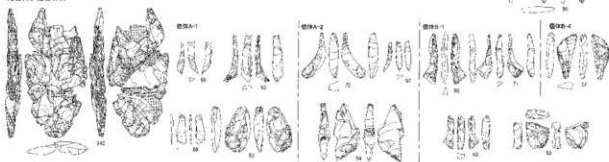
母岩976-種合3883



母岩949-種合3740



母岩952-種合3796



図V-19 I区 (Sb-91~96) 母岩別資料(1)

ど無いもの(図V-18-189・190)があるが、前者が主体的である。幅は類似し、忍路子型細石刃核石器群に含まれるものに比べ、形態的な変異が少ない。この違いは着柄や使用方法に関連するものと思われる。刃部と側縁の交点に角をもつものがあり、刃部は直線-弧状である。

錐形石器(図V-18-206・204)は剥片ないし石刃素材で、端部にノッチ状の加工によって刃部が作出される。側縁全体の加工によって細長い刃部が作出されるもの(図V-18-203)もある。

削器は石刃素材で、彫器の母型と思われるもの(図V-18-207・208)、両側縁に細かい加工が施され縁辺が滑らかなもの(図V-18-209・212)、両側縁に細かい加工が施され縁辺が軽い鋸歯状のもの(図V-18-219)、厚手の剥片ないし縦長剥片素材で、舟底形石器の加工に類似した粗い加工が施されるもの(図V-18-231・233)などがある。

舟底形石器はI a・II a類があり、石質は両者ともほとんどが黒曜石4である。上白滝5遺跡(鈴木 2002)で復元されたような形態変化(粗い段階のII a類からI a類への変化)が接合資料(図V-19-母岩887・接合3883)で確認され、素材腹面から両側面への粗い加工が行われ、進行に伴い甲板面と側面の角度は徐々に大きくなる。その後、押圧と見られる加工が上下から行われ、特にその最終段階では下縁からの剥離によって形状が整えられ、最終的に削片が剥離される。I a類は細石刃状の剥離が両端(図V-18-237)・一端にあるもの(図V-18-238・240など)と無いもの(図V-18-246・247)があり、その位置は素材先端側・打面側の両者がある。母岩887・接合3883個体B(図V-19)には2個体の舟底形石器I a類が接合し、それらは、一直線状に位置し、本来同一の個体であったと思われる。I a類段階での本体折損後、両者とも再加工が行われ、一方(図V-19-238)には素材先端側で細石刃状の剥離が行われたと想定される。通常II a類段階では中央付近で折損した場合、遺棄されることが多い。折損後、両者とも再加工される本接合資料から、舟底形石器はI a類段階では折損後も再加工され、遺棄されることが少なかったことが想定され、I a類とII a類の大きさの隔絶は技術的な変化による折損率の違いと折損時の遺棄率(再加工率)の違いが要因と考えられる。また、細石刃状の剥離程度であるが、本接合資料では細石刃状の剥離面ともう一点のI a類(図V-19-248)との隙間は3 cmあり、細石刃状の剥離によって最大3 cm長さが減少している。

素材は剥片が主体で、尖頭器一次削片と尖頭器二次削片ないし尖頭器II類が含まれる。I a類に加工される母岩849・接合3740(図V-19)の尖頭器一次削片には最初から押圧と見られる加工が行われ、薄い尖頭器II類から剥離された幅1 cm以下の一次削片がI a類に形態が類似し、通常のII a類の加工段階を省略できることからI a類製作に適していたと考えられる。I a類には被熱しているものが多い。II a類は剥片素材(図V-18-250・252など)・石核素材(図V-18-251・255など)があり、加工は甲板面からのみ(図V-18-250・252など)と上下から行われるもの(図V-18-265・268など)があり、後者には素材の厚いものがある。

斧形石器(図V-18-330)はやや粗粒の頁岩製で長さ12.7 cmの局部磨製のものである。大型の剥片素材と見られ、加工は裏面から正面両側縁に行われた後、左右側面から裏面に平坦な加工が施され、断面形は蒲鉾形に近い三角形である。刃部から長軸方向への剥離面と研磨面との切り合いから判断して、剥離による刃部再生と研磨が繰り返行われていたと思われる。また、研磨痕の分布から当初は末端部から2 cm程度の範囲が全面的に研磨されていたと想定される。

石材消費 尖頭器は原石・大型尖頭器・薄手の尖頭器で搬入され、原石・大型尖頭器で搬入されたものは加工され、尖頭器で搬入される。大型尖頭器で搬入されたものは薄く加工された後、「折り取り」の可能性のある折損後、削片剥離が行われるものがあり、薄手の尖頭器で搬入されたものも同様に、削片剥離が行われるものがある。

石刃・剥片関連は黒曜石4の角礫・亜角礫を原石ないし「試し割り」を行った状態で搬入し、集中的な石刃剥離・舟底形石器Ⅱa類製作が行われ、多くの石刃・Ⅰa類を含む舟底形石器Ⅱa類が搬出される。また、彫器・搔器が製作され、搔器に比べ彫器のほうが刃部再生による素材長さの減少が大きい。刃部再生による消耗度の違い（彫器のほうが一回の刃部再生剥離による石器本体の長さの減少が大きい）も影響しているが、彫器は頻繁な刃部再生が行われる一方、搔器は刃部再生の頻度が低く、素材長さをそれほど減少させずに遺棄されている。Sb-91出土の搔器(X182)、削器(X185・186)は所山産と判定され、搔器には多段階表面変化が認められ、削器1点には傷が多く、削器1点には明瞭な傷は確認されなかった。それ以外には多段階表面変化が認められるものはほとんど無く、上白滝5遺跡Sb-6~11とは石材消費の様相が異なっていたと考えられる。

分布 ①Sb-91・94のH32~37、I31・32区周辺、②Sb-93・95のN26~32、O26~32、P27~30、Q26~29区周辺、③Sb-95のK27、L26・27、M25・26、N25区周辺に分けられる(図V-10)。①のSb-91には白滝産以外のツールが多い。②はP28区を中心として最も遺物量が多く、西半分は幅広有舌尖頭器石器群・広郷型ナイフ形石器石器群と分布が重複している。尖頭器Ⅱ類・尖頭器削片は②のN27~P28区周辺に、彫器Ⅰ・Ⅱ類、搔器、舟底形石器Ⅰa類はP28区を中心としてN30区まで分布し、舟底形石器Ⅱa類・石核類は①~③全域に分布しているが、舟底形石器Ⅱa類は②のP28・O30区の密度が高い。

接合資料の分布は、①③では比較的高密度な分布で、②ではP28区周辺で非常に高密度である一方、その周辺やSb-95では散漫な分布を示す。また、尖頭器の調整段階と折損後の削片剥離段階、石刃剥離における一次剥離段階と舟底形石器調整剥離段階の分布が異なるものがある。舟底形石器関連の接合資料は①~③に分布するが、尖頭器関連の接合資料は②に多い。

炭化木片ブロックは、当該石器群の範囲内ではSb-91の北西部(G34区)にCb-27、Sb-93の南西部(Q28区)にCb-19、中央西寄り(O29区)にCb-16、Sb-94の東寄り(I32区)にCb-9が分布し、範囲に隣接した②の北側、③の東側にCb-21が分布する。Cb-16は被熱石器の分布と重なり、Cb-19は被熱石器に隣接し、その他は近隣に被熱石器は認められない。

年代 Cb-9(1)には15,670±240yBP(Beta-112897・SHIRA-25)、Cb-9(3)には16,420±150yBP(Beta-112898・SHIRA-26)、Cb-16(1)には13,530±50yBP(Beta-186197・SHIRA-112)、Cb-16(2)には13,790±170yBP(Beta-112905・SHIRA-33)、Cb-19には25,870±290yBP(Beta-112908・SHIRA-36)、28,120±180yBP(Beta-186199・SHIRA-114)、Cb-21(2)には15,850±170yBP(Beta-101794・No.8)、15,750±130yBP(Beta-112910・SHIRA-38)、Cb-27(G34-2)には18,660±130yBP(Beta-150456・SHIRA-89)、Cb-27(G34-3)には18,570±130yBP(Beta-150457・SHIRA-90)の放射性炭素年代測定値が得られている。

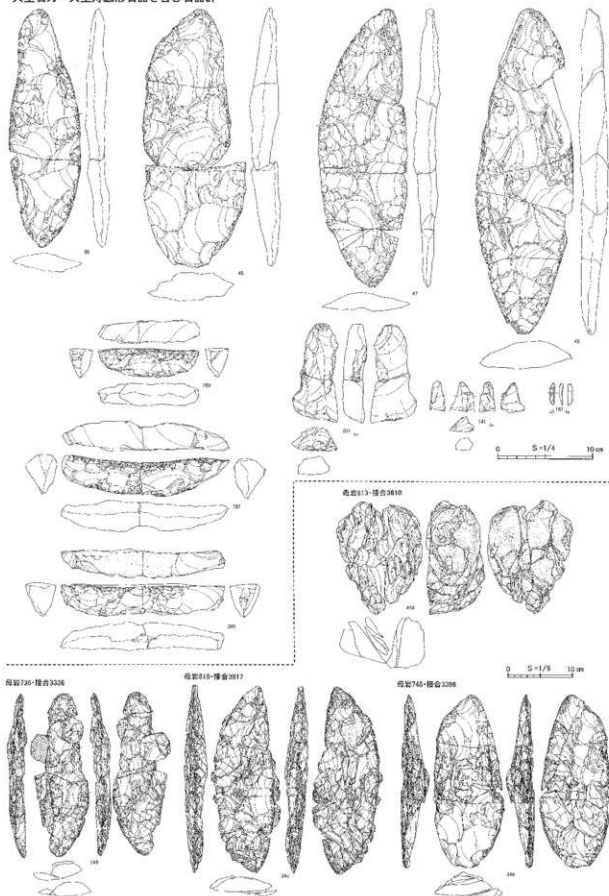
被熱石器と重複し、それとの関連の可能性がCb-16は13,000年後半であるが、その地点は幅広有舌尖頭器・広郷型ナイフ形石器石器群と重複しているため本石器群との関連は不明である。被熱石器に隣接するCb-19は25,000・28,000年代と古すぎて採用できない。その他は15,700~16,500、18,500~18,700年であり、後者はG区の年代値と一致する。

②大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群(図V-10・21)

石器製作技術 尖頭器製作技術と大型石刃剥離技術に分けられる。

<尖頭器製作技術> 搬入形態は原石と大型尖頭器があり、前者は30cm、幅15cm、厚さ8cmの角礫で、後者は30cm前後の角礫を素材とした長さ25~30cm幅9~11cm厚さ3~4cmの尖頭部のあ

大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群



図V-21 I区 (Sb-91~96) 石器組成図(3)・母岩別資料(3)

る大型尖頭器で搬入される。搬入形態は大型尖頭器が主体を占め、中には34.3cmの尖頭器(図V-21-48)もある。大型のものには黒曜石3が利用され、放射状の折れが認められ、直径1.5cm大の球顆を含む石材の特徴がB区の大型尖頭器に類似している。折損や再加工後、遺棄されるものが多いが、大型尖頭器の一回り小型化した状態で搬出されるものもある。

〈剥片剥離技術〉 単剥離打面と頭部調整の見られる大型の石刃が少量含まれる。それらには同一母岩が無く、本地点で剥離された痕跡は認められない。石刃の特徴はB区の大型石刃に類似する。

〈二次加工技術〉 舟底形石器Ⅱb(図V-21-281)・c類(図V-21-280)がまとまって出土している。それらは、大型剥片素材で、上下から加工が行われ、側縁・下縁部が細かい剥離で整形される特徴がある。舟底形石器で搬入されたものと原石(転礫)で搬入されたものがあり、原石で搬入されたものは長さ18cmの大型剥片が素材となっている。Ⅱb・c類は尖頭器・石刃同様B区の石器に類似する。安山岩製の影器Ⅲ類・搔器が含まれ、影器Ⅲ類(図V-21-141)は彫刀面打面から彫刀面が作出される。搔器(図V-21-201)は厚手の剥片の側縁に粗い加工が行われ、先端部には粗い加工で直線的な刃部が作出される。折損後、折れ面から彫刀面打撃が行われる。

石材消費 尖頭器製作の素材は大型尖頭器で搬入され、一部、原石の状態(角礫)で搬入される。平坦剥離による加工が行われ、一回り小型化した状態で搬出される。折損するものが多く、再加工が行われるが削片は剥離されない。石刃は少量持ち込まれ、舟底形石器は単体で持ち込まれたものと原石で持ち込まれたものがある。安山岩製の影器・搔器が素材ないし石器で搬入されている。

分布 Sb-95のL28・29区周辺の狭い範囲にスポット的に分布し、幅広有舌尖頭器石器群と重複している(図V-10)。25cmを超える大型の尖頭器Ⅰ類、舟底形石器Ⅱb・c類、一部大型石刃が高密度に分布し、大型尖頭器の接合資料の分布範囲も同様である。

炭化木片ブロックは、Cb-21が本石器群の分布域の南縁に分布しているが、被熱石器を伴っていない。

年代 Cb-21(2)には15,850±170yBP(Beta-101794・No.8)、Cb-21(2)には15,750±130yBP(Beta-112910・SHIRA-38)の放射性炭素年代測定値が得られているが、石器群との関係は不明である。

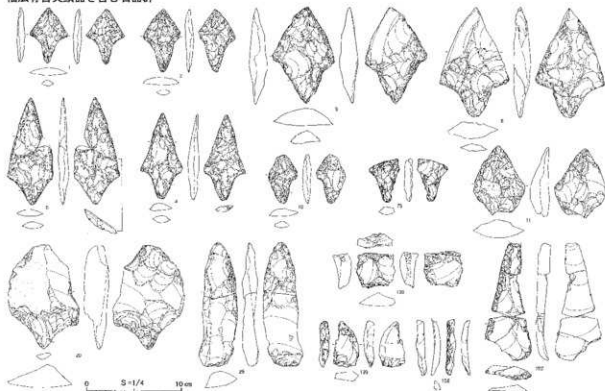
③幅広有舌尖頭器を含む石器群(図V-10・11・22・23・27下段)

ここでは、J区(Sb-97)の当該石器群を含めて記述する。

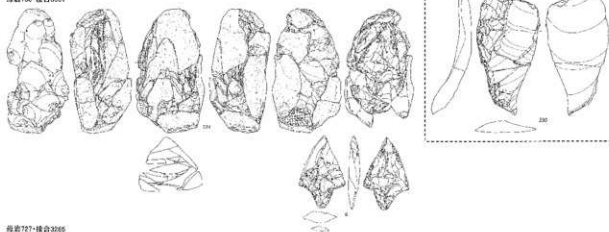
石器製作技術 尖頭器製作技術と一部の石刃剥離技術に分けられ、石刃ないし縦長剥片剥離が尖頭器製作の初期段階で行われるものについては尖頭器剥離技術で説明する。

〈尖頭器製作技術〉 石核素材と剥片素材は、石核素材は石核素材の尖頭器の調整剥片素材である。転礫・亜角礫が利用され、転礫が主体的である。原石の大きさは長さ20~35cm、幅8~23cm、厚さ8~19cm程度で個体による変異が非常に大きい。形状は、亜角礫は盤状や断面三角形であるが、転礫は塊状でゴロツとしている。ほとんどが原石の形状で搬入され、塊状の原石には、最初は端部を断ち切るような剥離で打面を作出し、縦方向の剥離が行われ、器体が薄く変化する。その後、縁辺付近を打撃する横方向の剥離によって尖頭器の調整が行われる。縦方向の剥離では軽い打面調整を伴って石刃ないし縦長剥片が剥離されるものもあり、その時の打面と作業面のなす角度は90度に近い。剥離される石刃は17cm前後のものが多い。また、断面三角形の側面から連続的な横方向の剥離によって薄くなるものやより扁平な原石は横方向の剥離のみで加工されるものがある。最終的に製作される石核素材の尖頭器は、大型のものは長さ30cm前後、幅12cm前後、厚さ3cm程度、中型のものは長さ10~20cm、幅7cm程度、厚さは2~3cmで、中型のものが主体を占める。その長さは原石の大

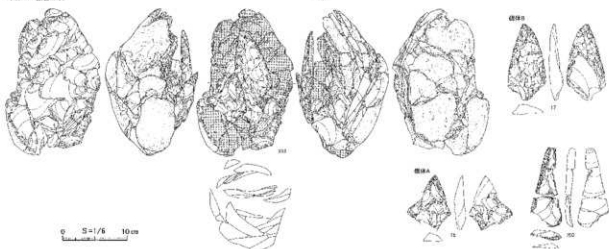
幅広有舌尖頭器を含む石器群



標本763-種合3501



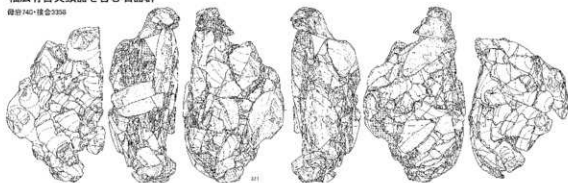
標本727-種合3285



図V-22 I区 (Sb-91~96) 石器組成図(4)・母岩別資料(4)

幅広有舌尖頭器を含む石器群

標号740-標合3358



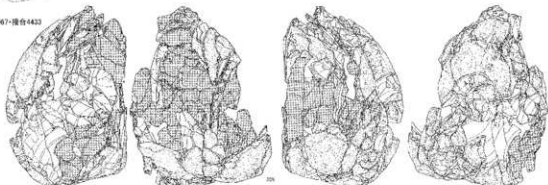
標本A



標本B



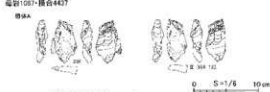
標号1067-標合4433



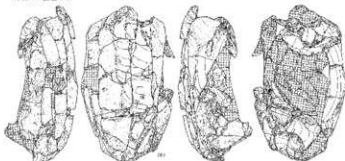
標本A



標号1087-標合4437



標号724-標合3287



標本A-1



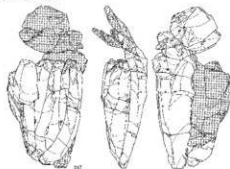
標本A-2



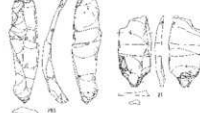
標本B



標号786-標合3506



標本A



0 5-1/8 10 cm

図V-23 I区 (Sb-91~96) 母岩別資料(5)

きさの変異を反映してバラつきがあり、幅・厚さはそれとは異なり近似する。また、長さは縦方向の剥離の打面作出工程によって原石サイズから大きく減少する。この変化は、原石からほとんど長さが減少しない特徴を持つ小型舟底形石器器群に伴う盤状の角礫素材の大型尖頭器と対照的である。石核素材の尖頭器は平坦剥離の当初より尖頭器本体の両側縁に角を持ち、最大幅が基部側3分の1付近にある偏った菱形をとるものがある一方、舌部の作出が最後に行われるもの(図V-22-母岩783・接合3501)がある。

剥片素材の尖頭器は、尖頭器調整剥片に特徴的な斜軸剥片を素材として、その形態的特徴を利用して二辺の接する尖頭部を尖頭器の尖頭部に設定している(図V-22-15・17)。また、尖頭器未成品の側縁に折れ面が残るものが多いことから基部の作出不いし全体の整形に折り取りが行われた可能性がある。

尖頭器は、①舌部が中央付近に位置し、先端角が90度程度のもの(図V-22-1・2)、②舌部が器体の基部側3分の1に位置し、先端角が40度程度で尖るもの(図V-22-4・5)、③幅広のもの(図V-22-8・9)があり、明瞭な舌部が作出されるものが多い。J区の舌部のあるもの(図V-27-1・2)は①と②の中間的な形態である。また、図V-22-10・75には多段階表面変化が認められ、技術的特徴・石材産地(10は十勝産、75は未分析)から判断して再加工によって尖頭器から形態変化したと思われる。また、縁辺部の急角度の加工面を再加工によるものとする②③から①へ一連の形態変化で位置付けられる可能性がある。

<石刃剥離技術> 母岩786・接合3509(図V-23)は黒曜石2を素材として原礫面が除去された状態で搬入される。正面で打面調整を伴って石刃剥離が行われた後、裏面下から、正面上から打面・作業面を転移させながら石刃が剥離される。打面と作業面の角度は直角に近く、打面縁辺の打面側には磨り潰す加工が行われる。剥離された石刃は錯角剥離による基部加工が行われ、尖頭器の未成品(図V-23-21)が製作されている。本接合資料は石刃剥離のみ行われているが、石刃核は薄く、他の接合資料同様、石刃剥離後、尖頭器に加工された可能性が想定される。

<二次加工技術> 器器はⅢ類が伴い、主に剥片を素材として、側縁調整後、折れ面打面・影刀面打面・端部に稜状やノッチ状に作出された打面から側縁に沿って影刀面が作出される。掻器は縦方向の剥離で剥離された縦長剥片を素材として両側縁に斜角の加工が施され、末端部には直線的な刃部が作出される。また、折損後、側縁で槌状の剥離が行われる。

石材消費 尖頭器本体は、ケシヨマップ・所山・十勝・白滝(八号沢・赤石山)産の黒曜石や安山岩など多様な石材が利用され、また、黒曜石の中には他の石器群では利用頻度の低い黒曜石2(なし肌)が利用されている。舌部が中央に位置する小型の完形品と1点を除くJ区の完形品ないしそれに近いものは全て白滝以外の産地で、未成品については1点を除き、白滝産(赤石山・八号沢)の黒曜石が利用される。また、I区の白滝産のものは折損するものが多く、ほとんどが母岩別資料に含まれ、遺跡内で製作される一方、他産地のものは完形品で搬入され、ケシヨマップ産の未成品があることから一部未成品で搬入された可能性がある。I区と異なりJ区の赤石山産の小型品・未成品は母岩別資料に含まれず、未成品は折損していないことから搬入された可能性がある。

接合資料では多くの剥片・石核素材の尖頭器が製作され、搬出されている。このような単体石器と接合資料の構成から、白滝以外の多種類の石材を利用した尖頭器が製品や一部未成品として持ち込まれ、遺跡内では多くの尖頭器が製作され、搬出される石材消費の形態があったことが復元される。また、このような形態は、奥白滝1遺跡・上白滝2遺跡・上白滝6遺跡・北支湧別4遺跡の幅広ではない通常の有舌尖頭器石器群にも認められ、有舌尖頭器石器群に共通するものといえる。

分布 ① Sb-93・95のI28-30、J28-30、K28-30、L28-30、M27-30、N26-30、O25-29、P26-28、Q27区周辺の広い範囲に、② Sb-96のJ25、K24、L24、M23、N22・23区周辺に線状に、③ Sb-97のI23・24、J23・24、K23区周辺に尖頭器のみ非常に散漫に分布し、①の南側で小型舟底形石器石器群・広郷型ナイフ形石器石器群、北側で大型石刃・大型舟底形石器石器群と重複している(図V-10・11)。尖頭器Ⅲ類は①のP28-L30区周辺には線状にややまとまって、P26-J29区周辺には散漫に、②のM23区に少量、③に散漫に分布している。

接合資料は、①のSb-93・②の範囲では比較的高密度に線状に伸びるように、Sb-95では散漫に広い範囲で分布し、J区の③には接合資料は含まれず、ほとんど単体の尖頭器のみ分布する。

炭化木片ブロックは、当該石器群の範囲内ではSb-93の南西部(Q28区)にCb-19、中央西寄り(O29区)にCb-16、Sb-95の中央東寄り(M28区)にCb-21が分布し、範囲に隣接して、①の6m北東(I32区)にCb-9、②の3m北西(I24区)かつ③の北東縁にCb-26、③の北西縁(I22区)にCb-25が分布する。

Cb-16は被熱石器の分布と重なり、Cb-19は被熱石器に隣接し、その他は近隣に被熱石器は認められない。

年代 Cb-9(1)には15,670±240yBP(Beta-112897・SHIRA-25)、Cb-9(3)には16,420±150yBP(Beta-112898・SHIRA-26)、Cb-16(1)には13,530±50yBP(Beta-186197・SHIRA-112)、Cb-16(2)には13,790±170yBP(Beta-112905・SHIRA-33)、Cb-19には25,870±290yBP(Beta-112908・SHIRA-36)、28,120±180yBP(Beta-186199・SHIRA-114)、Cb-21(2)には15,850±170yBP(Beta-101794・No8)、15,750±130yBP(Beta-112910・SHIRA-38)、Cb-25(I22-2)には13,630±40yBP(Beta-150452・SHIRA-85)、Cb-25(I22-3)には13,730±80yBP(Beta-150453・SHIRA-86)、Cb-26(I24-10)には13,730±90yBP(Beta-150455・SHIRA-88)、Cb-26(I24-14)には13,730±80yBP(Beta-150454・SHIRA-87)の放射性炭素年代測定値が得られている。

被熱石器と重複し、それとの関連の可能性があるCb-16は13,000年後半であるが、その地点は幅広有舌尖頭器・広郷型ナイフ形石器石器群と重複している。被熱石器に隣接するCb-19は25,000・28,000年代と古すぎて採用できない。その他は13,600-13,750、15,700-16,500年であり、前者はCb-16の年代値と一致する。Cb-16の分布域周辺で、重複する他の石器群に比べ、本石器群の母岩単位での被熱率が高いこと、本石器群の分布域に隣接するCb-25・26で同様の年代値が得られていることから13,500-13,750年を可能性のある数字として提示しておく。

水と層年代測定では、I区の尖頭器Ⅲ類2点に10,479±244(H187)、13,974±751(H188)、J区の尖頭器Ⅲ類2点に9,104±284(H169)、17,019±126(H170)の結果が得られている。9,100-17,000年とバラつきが大きく、採用するのは困難である。

④ 広郷型ナイフ形石器を含む石器群(図V-10・11・24)

石器製作技術 石刃剥離技術のみ見られる。

<石刃剥離技術> 長さ30cm程度の大型の転礫を素材として打面や側面に大型剥離面がある状態で搬入される(図V-24-母岩732・接合3316)。原石の幅や厚さは14cm-24cmとバラつきがある。また、石刃核で搬入されたと思われるもの(図V-24-母岩934・接合4063)は先行する石刃剥離がウートルパッセになることによって高さが減少しており、接合状態は長さ11cmと小型である。端部に大型の剥離によって作出された単剥離打面から頭部調整を伴って石刃が剥離される。頭部調整は後の頂

部を除去し、直線的に改変するものではなく、縁部形状を残す比較的小さいものである。最初に石核調整は行われず、石刃剥離の途中で下端に単剥離打面が作出され、両設打面から石刃が剥離されるものもある。石刃剥離の際には打面縁辺から0.5～1cmを加撃し、石刃の打面厚は小型舟底形石器石器群に比べ厚い。剥離される石刃は原石に近い形状で搬入されたものは15cm程度で、石刃核で搬入されたものは10cm程度である。

<二次加工技術> ナイフ形石器は①石刃・剥片素材で柿の種子状の6cm以下の小型品(図V-24-78・80・81・82・85)、石刃素材で細長いタイプのもので②6cm以下の小型品(図V-24-87・88)と③8cm以上の大型品(図V-24-89・90)がある。素材石刃には反りの無い側面が直線的なものが選択されている。先端部の加工は背面のみ行われ、その範囲は小型の①②が広く、一側縁全体と残りの側縁の一部に施される一方、大型の③は限定的である。基部の加工は①～③とも背面・腹面に平坦剥離が行われ、円形に加工される。大きさの違いは素材の大きさにも関連するが、小型品の加工頻度が高く、変形度が高いこと、折損後の再加工が認められることから大型品から小型品に形態変化した可能性がある。

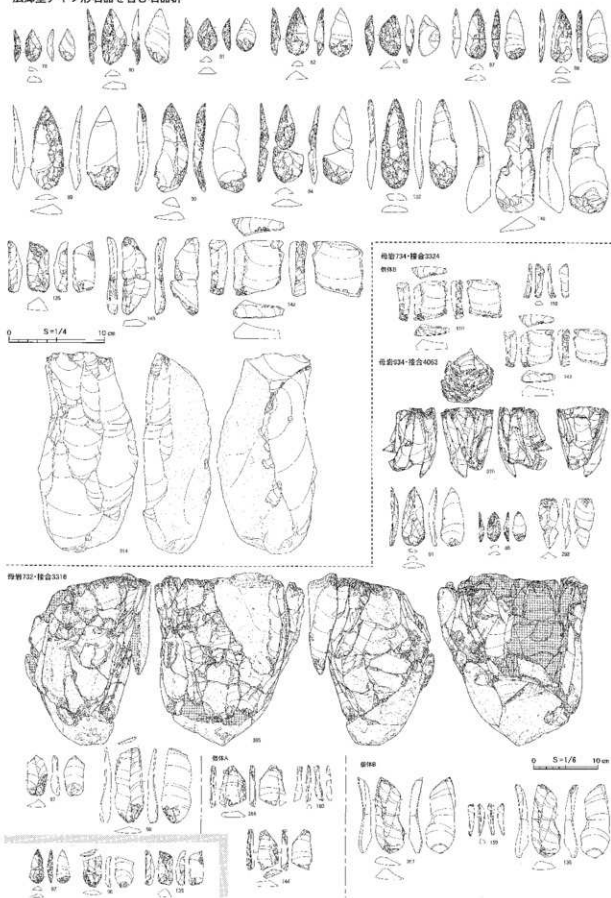
彫器はⅢ類が伴い、厚手の剥片・石刃素材で、彫り面打面はノッチ状の厚形の調整剥離面(図V-24-135)、彫り面(図V-24-145・143)、折れ面(図V-24-148・145)があり、一つの石器に複数の彫り面が複合するものが多い。また、彫り面は石器の長軸に対して平行ないし垂直に作出される傾向がある。周縁加工は行われないものが多いが、やや粗い加工や平坦加工が見られるものがある。

石材消費 本石器群に該当すると判断した母岩別資料は、ナイフ形石器が接合している3母岩(母岩732・933・934)(図V-24)、剥片剥離技術や彫器の特徴から判定した1母岩(母岩734)で、石刃剥離の行われた量が非常に少ない。搬入形態は、原石に近い形状が3母岩、石刃核と見られるものが1母岩である。4母岩とも石刃剥離が行われ、石刃の剥離頻度が不明な母岩734を除いて、ほぼ石材を消費し尽くしている。また、これらにはナイフ形石器・彫器の製作が行われるものの、石刃の抜き出しはほとんど見られない。これらの母岩以外のナイフ形石器は接合せず、単体で搬入されたと思われる。接合しないナイフ形石器のうち1点があじさい滝産(X13)、2点が赤石山産(W17・W18)と分析され、その他のナイフ形石器にも肉眼的に白滝産以外と見られるものは無いため本石器群は白滝産の黒曜石のみで構成されると思われる。

①石刃剥離の行われた母岩が少ない、②母岩単位では石材が消費し尽くされる、③遺跡内で剥離される石刃を素材としてツールが製作される、④搬出される石刃が少ない、⑤ナイフ形石器の多くが単体で搬入される、⑥石材は白滝産に限定される特徴は東地区(F区)の当該石器群と一致する。また、上白滝7遺跡(坂本ほか 2000、坂本 2003)とは、大量に石刃剥離が行われ、石刃が大量に石刃が搬出される点で①④と違いが見られるが、②③⑤⑥の特徴は一致する。両遺跡には石器製作技術的特徴が一致しており、一連の石材消費システムに位置付けられるとすれば、これらの違いは遺跡の機能的な違いと見ることができるとは、その内容の検討については今後の課題としたい。

分布 ①Sb-93・95のM28・29、N26-28、O25-28、P24-27、Q24-26、R25区周辺、②Sb-95のJ26、K25・26、L25区周辺に分布し、①は幅広く有尖頭器石器群とはほぼ全域で、小型舟底形石器石器群と中央部で重複する(図V-10・11)。広郷型ナイフ形石器・彫器Ⅲ類は①のQ24～N28区周辺に分布する。接合資料は、石刃核で搬入されたものは①の東縁に、原石に近い形状で搬入されたものは②に分布の主体があり、両者ともツールや良形の石刃が①のQ24～N28区周辺に非常に散漫に分布する。また、母岩933・接合4061は東地区(Sb-61)と接合関係が認められ、両者は同一時期に形成された可能性がある。

広頭型ナイフ形石器を含む石器群



図V-24 I区(Sb-91~96)石器組成図(5)・母岩別資料(6)

炭化木片ブロックは本石器群分布域の2m南東(Q28区)にCb-19、東に隣接してCb-16、北東に隣接してCb-21が分布する。

年代 Cb-16(1)には13,530±50yBP(Beta-186197・SHIRA-112)、Cb-16(2)には13,790±170yBP(Beta-112905・SHIRA-33)、Cb-19には25,870±290yBP(Beta-112908・SHIRA-36)、28,120±180yBP(Beta-186199・SHIRA-114)、Cb-21(2)には15,850±170yBP(Beta-101794・No 8)、15,750±130yBP(Beta-112910・SHIRA-38)の放射性炭素年代測定値が得られている。それぞれ13,500~13,800、15,700~15,900、25,800~28,200であるが、出土状況などから石器群と直接関連付けることは難しい。

水和層年代測定では、Sb-95出土の広郷型ナイフ形石器に25,844±695(W18)の結果が得られているが、同様に直接採用するのは困難である。(鈴木宏行)

(4) J区・石器ブロック97~107(Sb-97~107)

石器群 ①小型舟底形石器を含む石器群、②幅広有舌尖頭器を含む石器群が認められる。②については、ほぼ単品の尖頭器Ⅲ類に限定され、分布がI区から連続していることからI区で説明を行う。

石器・石材組成(図Ⅳ-18・19) 点取り遺物41,397点、479,327.4gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器(I・II・Ⅲ類)・尖頭器削片・両面調整石器・彫器(I・II・Ⅲ類)・彫器削片(II・Ⅲ類)・搔器・削器・錐形石器・舟底形石器(Ia・IIa・IIb・IIc類)・石刃・縦長剥片・石刃核・石核・つまみ付きナイフ・原石・台石・礫である。石材は黒曜石1(64.1%)が最も多く、以下、黒曜石4(22.9%)、黒曜石3(8.1%)、黒曜石5(4.1%)、黒曜石2(0.7%)、頁岩(0.05%)、安山岩(0.01%)、珪岩(0.007%)、碧玉(0.007%)、めのう(0.002%)、砂岩(0.002%)、緑色泥岩(0.002%)である。上白滝8遺跡全体でI区に次ぐ規模の区域で、ほとんどが小型舟底形石器を含む石器群である。彫器(80%)、搔器(94%)は黒曜石1、舟底形石器(43%)は黒曜石4の比率が高く、この傾向は小型舟底形石器石器群と一致するが、同一石器群のG・I区に比べ全体的に黒曜石1の比率が高い。

①小型舟底形石器を含む石器群(図V-10・25~30)

石器製作技術 尖頭器製作技術と石刃剥離技術を含む剥片剥離技術に分けられる。

<尖頭器製作技術> 尖頭器は石核素材と剥片素材に分けられ、石核素材には転礫・垂角礫・角礫が利用され、剥片素材には転礫から剥離された大型の剥片が利用される。

石核素材の尖頭器の50%程度が転礫、30%程度が角礫、20%程度が垂角礫素材である。利用される原石は、形状に関わらず長さ22~34cm、幅12~24cm、厚さ7~14cm程度で大きさにバラつきが大きい。両面は平坦で断面が長方形に近いものが多い。搬入形態は原石ないし原石に近い形状が主体的であるが、角礫素材には粗い加工の行われた尖頭器が含まれる。

加工は、最初は縁辺部調整の無い打面の大きい粗いものであるが、途中で縁辺部調整のある打面の小さい平坦剥離に移行する。また、初期段階では縦方向の剥離が行われ、厚さを減少させるものがある(図V-25-46)。平坦剥離によって器体が薄くなると、縁辺部に角度のある細かい剥離が行われ、断面形が潰れた六角形を呈する(図V-25-8・9)。これらの形態変化は上白滝5遺跡の復元例に類似する(鈴木 2002)。本体の尖頭器は長さ17~20cm程度、幅9~12cm以下、厚さ3cm以下で搬出される。

また、尖頭器は調整剥離途中で折損した後、折れ面から側縁で削片剥離が行われる(図V-25-27・

28・32・34・54、図V-28-母岩1029・接合4324個体B、接合5822)。尖頭器Ⅱ類の厚さは9～27mmで、それらの表面に残る加工状態には違いが見られ、素材尖頭器は尖頭器製作の特定の段階に限定されない。また、剥離される削片（図V-25-36・40）の幅（尖頭器Ⅱ類の厚さに対応）は8～31mmでバラつきが見られる。削片剥離は、断面三角形の一次削片が両側縁で剥離されるG・I区と違い、片側縁に偏る傾向がある。

初期の粗い加工で剥離された厚手の調整削片や削片は舟底形石器や石核の素材となり、調整削片の一部は影器Ⅱ・Ⅲ類の素材になっている。

＜削片剥離技術＞ 石刃剥離と削片剥離に分けられる。

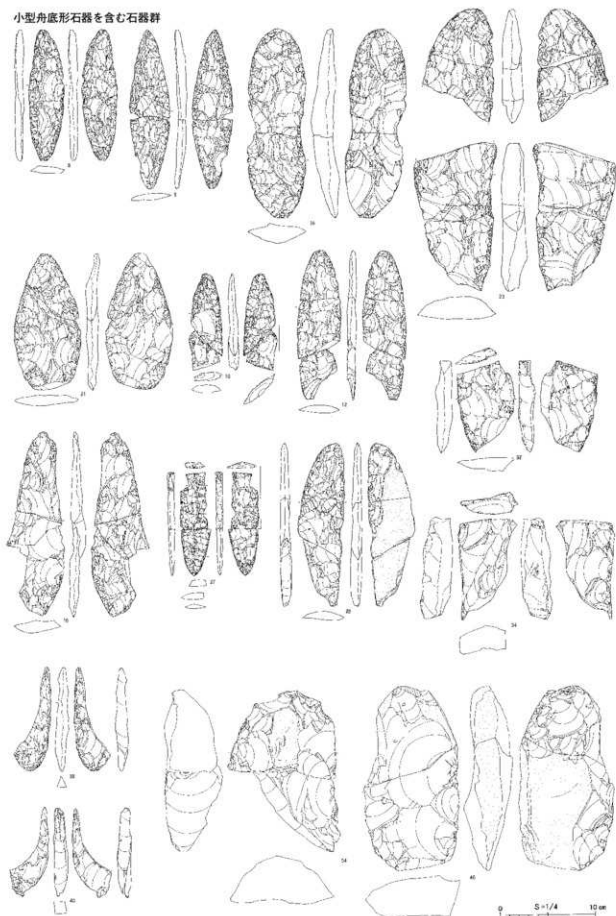
石刃剥離には転礫が50%程度、角礫が30%程度、垂角礫が20%程度利用され、尖頭器と違いは見られない。利用される原石の大きさは長さ8～27cm、幅8～20cm、厚さ5～14cmと変異が大きく、垂角礫に20cm以上の大型のものが無い点以外は石材による大きさの違いは見られない。遺跡には原石ないし原石に近い状態で搬入されるものが多く、「試し割り」の可能性のある大型の剥離面がある状態で搬入されるものもある。石刃は単剥離打面から頭部調整を伴って剥離され、長さは7～12cm程度のものが多く、それらの多くは欠落し、搬出されている。小型の原石（図V-29-母岩1007・接合4275、母岩1016・接合4287）には、原石の高さをあまり減少させない上面への一度ないしは数回の剥離によって打面が作出され、大型の原石（図V-29-母岩982・接合4217、母岩1108・接合4556、母岩948・接合4125）には上面と正面ないし側面の剥離を交互に行なって石刃核の高さを減少させ、両者からは類似した形態の石刃が剥離されるように石刃核高が調整される。細長い形状の原石には上下に打面が作出され、両設になるものがある。また、20cmを超える大型の原石（図V-30-母岩965・接合4173・4174）には15cmを超えるような石刃が剥離されるものがあり、石核調整段階で石刃核が小型化していない。その母岩は、ウートルバッセの石刃が連続して剥離されることによって、石刃核高が減少した結果、最終的には石刃長が6cm程度に変化している。また、大型のものには後調整が行われるものがある。厚手の石核調整削片や打面作出削片は舟底形石器の素材となり、石刃は影器・搔器・錐形石器・削器の素材となっている。

石刃剥離の中で本石器群に伴うかどうか不明であるが本区域には幅広い石刃が剥離され、石刃核の作業面形状が平坦になる技術（図V-30-母岩1142・接合4626）が含まれ、東地区（C区）のH55区出土資料に類似する。

石刃剥離を伴わない削片剥離には転礫が75%程度、角礫が10%程度、垂角礫が10%程度利用され、尖頭器・石刃剥離に比べ転礫の割合が高い。利用される原石は長さ8～21cm、幅6～18cm、厚さ3～15cmと変異が大きいが、石刃剥離に利用される原石に比べ小さめである。搬入形態は原石がほとんどであるが、一部大型の剥離面があるものも含まれる。石刃剥離の初期段階で見られる上面と正面の交互剥離で削片が剥離されるもの（図V-30-母岩1079・接合4498）や原石を二分割するもの（図V-30-母岩1186・接合4744）、または分割面を打面として両端部で削片が剥離されるもの（図V-30-母岩1174・接合4701）があり、頭部調整は行われずに打面縁辺から内側を加撃することによって厚手の削片が剥離されている。これらの削片の多くは舟底形石器の素材となっている。

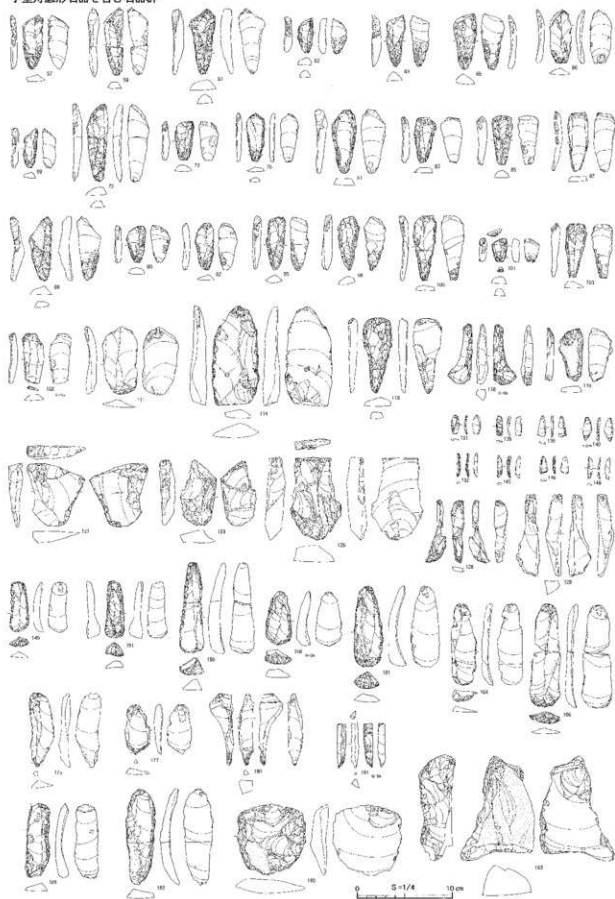
＜二次加工技術＞ 多量の影器が出土しているが、そのほとんどがⅠ（図V-26-57・59など）・Ⅱ類（図V-26-69・72など）で、主に単剥離打面の石刃核から頭部調整を伴って剥離された7～11cm程度の石刃を素材としている。搔器には先端部に反りのある石刃が利用されるのに対し、側面形が直線的な石刃が選択される。周縁加工は、背面側は両側縁に急角度に施されるものが多いが、厚手の素材の場合、斜角の加工により断面三角形の基部が作出されるものがある。腹面側は平坦剥離によって

小型舟底形石器を含む石器群



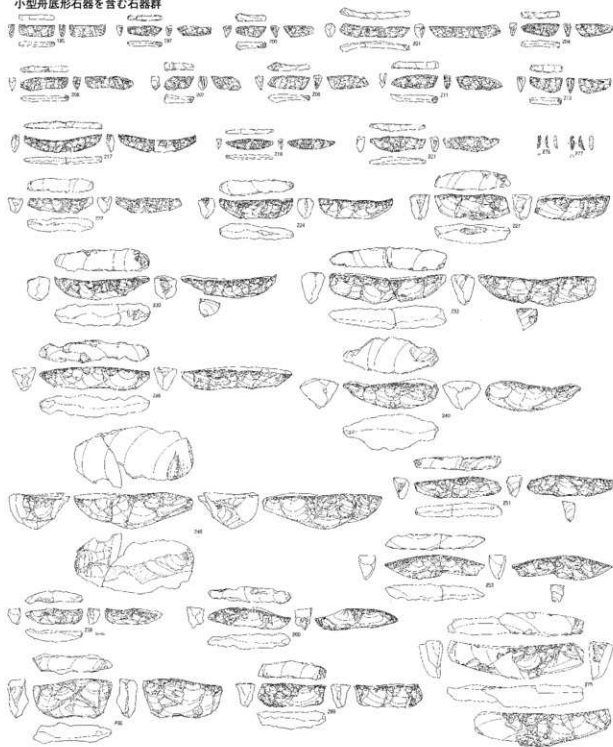
図V-25 J区 (Sb-97~107) 石器組成図(1)

小型舟底形石器を含む石器群

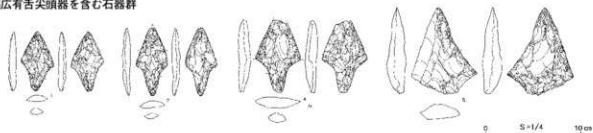


図V-26 J区 (Sb-97~107) 石器組成図(2)

小型舟底形石器を含む石器群



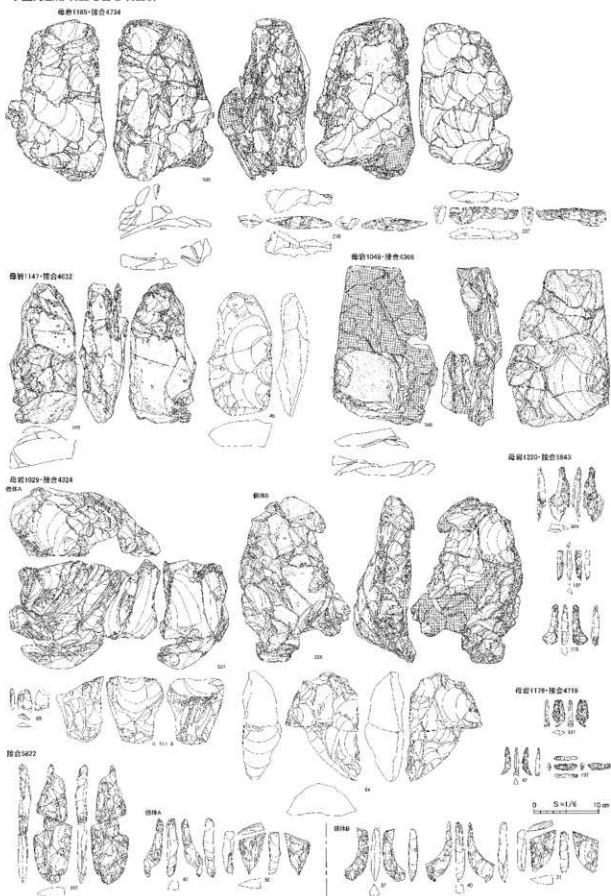
幅広有舌尖石器を含む石器群



0 S=1/4 10cm

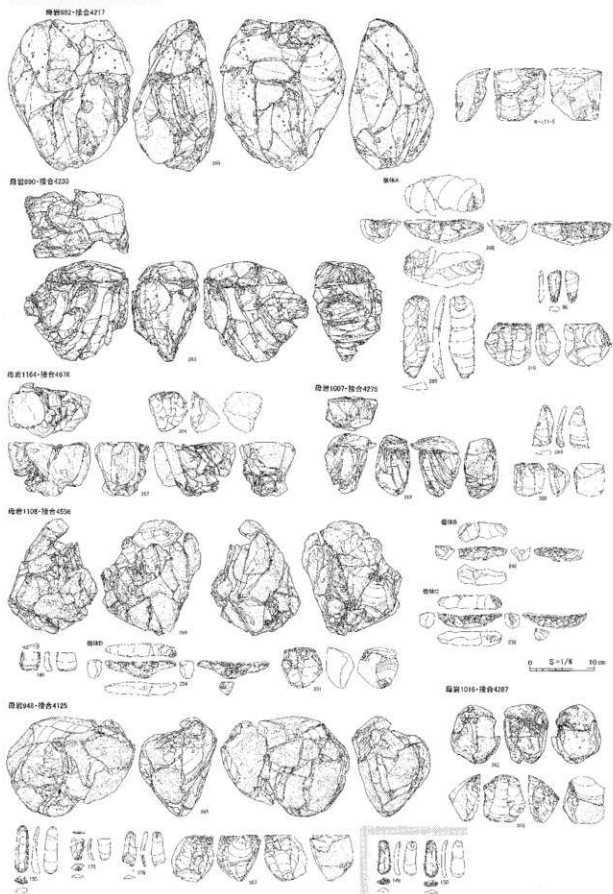
図V-27 J区 (Sb-97~107) 石器組成図(3)

小型舟底形石器を含む石器群



図V-28 J区 (Sb-97~107) 母岩別資料(1)

小型舟底形石器を含む石器群



図V-29 J区 (Sb-97~107) 母岩別資料(2)

加工され、その範囲は部分的なものから面的なものまで変異が大きい。彫刀面は素材先端側に主体的に作出されるが、掲載資料中19%が素材打面側に作出され、その比率が極めて低いG・I地区に比べて高い。形態軸・彫刀面交叉角は40~90度で、そのうち50~80度が主体を占める。背面先端部調整はI類にはほとんど行われず、多くのII類に認められ、その70%は打点が無く、彫刀面に切られる。彫刀面の形状は、I類は弧状、II類は直線的なものが多く、II類の彫器削片(図V-26-132)から判断して母型作成時から直線的な彫刀面を作出していた可能性がある。

III類(図V-26-121・123・126)は剥片素材で、片面が面的に加工された片面ないし半両面加工石器(尖頭器のような整った両面調整体ではない)が折損した後、側縁で削片剥離が行われる。また、それらの素材の端部は弧状に整形されるものがある。

搔器は、側面形を除き彫器とはほぼ同様の素材が利用されている。側面形は先端部に反りのあるものが利用され、搔き取る作業に関連したものと考えられる。また、接合資料では彫器が素材の大きさから最大2cm程度長さの減少が見られるのに対し、搔器は0.5cm程度で刃部再生頻度が低い。刃部再生に伴う消耗度の違いも影響しているが、機能的な問題から反りの確保できる部分までしか再生が行われなかったために搔器の刃部再生頻度が低かったと考えられる。側縁調整は行われるもの(図V-26-149・151など)と行われないもの(図V-26-164・166)があり、前者にはほぼ両側縁に施される。刃部形状は円形に近いものが多く、刃部周辺のパンチ痕は確認できない。

錐形石器は、石刃(図V-26-175・177)・彫器削片III類(図V-26-180)・尖頭器削片素材(図V-26-181)があり、側縁調整は微細なもの以外行われない。刃部は石刃・彫器削片III類の先端部に腹面から両側縁へのノッチ状の剥離によって石器長軸に一致するように作出される。また、断面三角形の尖頭器剥片には腹面・側面から加工が行われ、刃部が作出される。

削器は、石刃の側縁に急角度の加工が行われるもの(図V-26-185・183)や剥片素材で粗い加工が施されるもの(図V-26-193)などがあり、後者は舟底形石器の初期段階と考えられる。

舟底形石器はI a(図V-27-195・197など)・II a類(図V-27-222・224など)が主体を占め、一部、II b(図V-27-275)・c類が含まれる。II b類は素材の大きさから区別したが、B・I区出土のものに比べ加工の種類はII a類に近く、大型のII a類とみなすことができる。素材は厚手の石核調整剥片や打面作出剥片や厚手石刃、石刃核や石核、尖頭器削片が利用されるが、剥片の割合が最も高い。上白滝5遺跡(鈴木 2002)で復元されたような形態変化(粗い段階のII a類からI a類への変化)が接合資料で確認され、素材腹面から両側面への粗い加工の後、押圧と見られる加工が上下から行われ、特にその最終段階では下縁からの剥離によって形状が整えられ、最終的に削片が剥離される。厚さが1cm以下の薄い尖頭器II類から剥離された尖頭器削片を素材とした舟底形石器は、最初から押圧と見られる細かい加工が行われ、I a類が製作され、さらに、細石刃状の剥離も行われる(図V-28-母岩1179・接合4719)。母岩1079・接合4498個体C(図V-30)の本体であるI a類(図V-30-220)は、おそらくI a類の段階に素材中央で折損しているが、折れ面付近で再加工が行われている。通常II a類段階では中央付近で折損した場合、遺棄されることが多い。I a類段階では折損後も再加工され、遺棄されることが少なかったことが想定され、I a類とII a類の大きさの隔絶は技術的な変化による折損率の違いと折損時の遺棄率(再加工率)の違いが要因と考えられる。I a類の細石刃状剥離は素材先端側で行われるものが80%を占める。本区のI a類はG・I地区に比べ若干大きい。また、I a類に多段階表面変化が観察されるものが無く、母岩別資料に含まれるもの(図V-30-母岩1174・接合4701など)が一定量含まれることから遺跡内で製作されたものが多いと考えられる。舟底形石器II a類は折損品が多く、その多くが母岩別資料に含まれ、本体の欠落する個体が多く

含まれていることから多量の舟底形石器が搬出されたと思われる。

斧形石器に関連するものは緑色泥岩製の磨製石斧の調整剥片が1点、白色の頁岩製の尖頭器削片と剥片の母岩別資料1点(図V-28-母岩1220・接合5843・5801)がある。後者は本来長さ20cm程度の斧形石器と見られ、想定される本体の平面形は尖頭器の一端を弧状(刃部に相当)に断ち切った形状で、断面形は凸レンズ状で尖頭器に類似する。刃部は縁辺から5mm程度の限定された範囲の両面が研磨されている。加工は、尖頭器状の両面加工、刃部からの長軸方向の剥離の後、刃部の両面に研磨が行われている。本体の折損後、側縁で削片剥離が行われ、断面三角形の一次削片は錐形石器に、断面四角形の二次削片は彫器に加工されている。

石材消費 尖頭器製作、石刃剥離、剥片剥離いずれも転蹠・角蹠・垂角蹠が利用され、ほとんどが原石ないし原石に近い形状で搬入される。原石サイズは原石形状による違いが見られず、尖頭器製作(22~34cm)、石刃剥離(8~27cm)、剥片剥離(8~21cm)の順で小さく、また、それらの中のバラつきが大きい。遺跡内ではそれぞれ加工・剥離が行われ、多量の彫器・搔器の製作が行われ、尖頭器や多量の石刃類・I a類を含む舟底形石器II a類が搬出されている。尖頭器は、全ての加工の段階で折損したものに削片剥離が行われ、折損した尖頭器の母岩自体が遺跡内で消費し尽くされている。彫器・搔器は遺跡内で刃部再生が行われ、その頻度は彫器のほうが高い。舟底形石器はI a類まで加工されるものがあり、細石刃状の削片剥離も行われる。また、舟底形石器I a類に多段階表面変化が観察されるものが無く、母岩別資料に含まれるものが一定量含まれることから多くが遺跡内で製作されたと考えられる。

石器群全体として原石から石器の最終的な整形までが行われ、全ての石材が消費しつくされている。このような特徴は他の小型舟底形石器石器群には見られないものである。

分布 J区は幅広い舌尖頭器を含む石器群など一部を除いてほとんどが当該石器群に相当する。分布の連続した石器群単位で比較すると遺跡群内で最大級の規模である(図V-10)。

ツールはSb-97の北西部からSb-101の北部にかけて分布するものが多く、尖頭器II類、尖頭器削片、舟底形石器I a類、舟底形石器削片、彫器I・II類、彫器削片I~III類、搔器、錐形石器はその範囲に限定的に分布する。尖頭器I類・削器は、その範囲に加えてSb-97南部・Sb-98・Sb-104に、両面調整石器はSb-97南部に、舟底形石器II a類・石刃核はSb-97南部・Sb-98に分布する。また、石刃・縦長剥片・石核はSb-104・106には少ないもののほぼ全域に分布している。

最も大規模なSb-97は相対的に密度の低い北西部を除いて濃密な分布を示し、その中に分布する接合資料の主体は比較的狭い範囲内に分布している。それらの接合資料に含まれる一部はツールの集中するSb-97北東部や周辺のSb-98-100・101の北部に分布するものが多く、そのほとんどがツールや石刃であることから、それらは人為的に選択されて、その場所に残されたものと考えられる。

炭化木片ブロックは、当該石器群分布範囲内の、Sb-97北東部(I 24区)にCb-26、西部(I 22区)にCb-25、Sb-101南東部(N20区)にCb-20、Sb-102の南部(I 19区)にCb-23、西寄り(H18)にCb-24が分布する。それらは全て被熱石器との関連は認められない。

年代 Cb-20には14,140±110yBP(Beta-112909・SHIRA-37)、13,910±80yBP(Beta-186200・SHIRA-115)、Cb-23(3)には15,890±90yBP(Beta-150448・SHIRA-81)、15,590±130yBP(Beta-150449・SHIRA-82)、Cb-24(1)には15,950±110yBP(Beta-150451・SHIRA-84)、Cb-24(2)には15,450±90yBP(Beta-150450・SHIRA-83)、Cb-25(I 22-2)には13,630±40yBP(Beta-150452・SHIRA-85)、Cb-25(I 22-3)には13,730±80yBP(Beta-150453・SHIRA-86)、Cb-26(I 24-10)には13,730±90yBP(Beta-150455・SHIRA-88)、Cb-26(I 24-14)には13,730

±80yBP (Beta-150454・SHIRA-87)の放射性炭素年代測定値が得られている。これらの年代値は13,600~14,200、15,400~15,900年に分かれる。I区の幅広有舌尖頭器を含む石器群で可能性を示した13,600~14,200年をその石器群に採用した場合、15,400~15,900年が残り、その年代値との関連の可能性が考えられる。しかし、①被熱石器との関連が見られないこと、②G区の舟底形石器石器群で可能性のある年代として考えた18,000年と整合しないこと、③13,600~14,200年が幅広有舌尖頭器石器群に対応する根拠も弱いこと、現段階では不明である。

水と層年代測定ではSb-101出土のつまみ付きナイフに18,909±869 (H171)の結果が得られており、旧石器時代の遺物であると考えられる。(鈴木宏行)

(5) K区・石器ブロック108~111 (Sb-108~111)

石器群 小型舟底形石器を含む石器群が認められる。

石器・石材組成 (図Ⅷ-22上段) 点取り遺物3,383点、32,904.8gの石器類が出土した。定形的な石器は尖頭器(I・Ⅱ類)・尖頭器削片・両面調整石器・彫器(I・Ⅱ類)・搔器・削器・舟底形石器(Ia・Ⅱa・Ⅱb類)・石刃・縦長剥片・石刃核・石核である。石材は黒曜石4(43.0%)が最も多く、以下、黒曜石1(41.6%)、黒曜石5(8.0%)、黒曜石2(3.7%)、黒曜石3(3.5%)、安山岩(0.06%)、頁岩(0.06%)、めのう(0.06%)である。西地区では最も小規模な区域である。

小型舟底形石器を含む石器群 (図Ⅴ-10・31)

石器製作技術 尖頭器製作技術と石刃剥離技術を含む剥片剥離技術に分けられる。

<尖頭器製作技術> 母岩1198・接合4773(図Ⅴ-31)は、長さ30cm、幅15cm、厚さ10cm程度の角礫が利用され、原石ないしそれに近い形状で搬入される。遺跡内では、打面の大きい粗い剥離が行われた後、打面の小さい平坦剥離に変化している。尖頭器は25cmを超える大型品(図Ⅴ-31-4・5)が含まれるが、調整剥離によって折損している。また、平坦剥離と縁辺部の平行剥離面で構成される細長いものが含まれる。これらの多くは尖頭器の状態であると思われる。

<剥片剥離技術> 石刃剥離技術と剥片剥離技術に分けられる。

石刃剥離には長さ15~20cm、幅10~13cm、厚さ9cm程度の亜角礫が利用され、原石ないし原石に近い形状で搬入される。粗い剥離による石核調整後、単剥離打面が作出され、頭部調整を伴う石刃剥離が行われる(図Ⅴ-31-母岩1203・接合4784)。石刃は長さ6~11cm程度のものが剥離され、ほとんどが搬出されている。

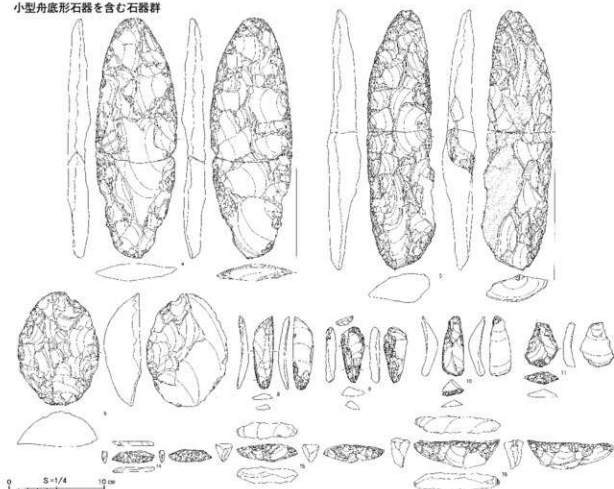
剥片剥離には長さ9~18cm、幅8~10cm、厚さ7~10cmの亜角礫を主体として角礫・転礫が利用され、原石ないし原石に近い状態で搬入されている。打面と作業面を入れ替えながら粗い剥離によって厚手の剥片が剥離されるもの(図Ⅴ-31-母岩1202・接合4784)が多く、それらの多くは舟底形石器の素材となっている。

<二次加工技術> 彫器はI(図Ⅴ-31-8)・Ⅱ類(図Ⅴ-31-9)があり、I類は斜刃である。両者とも石刃素材で周縁加工は両面に施される。

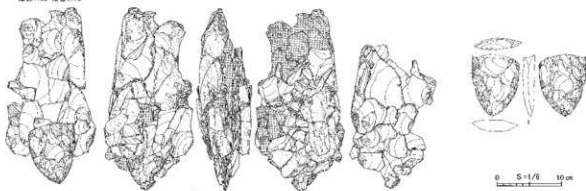
搔器は石刃素材(図Ⅴ-31-10)と剥片素材(図Ⅴ-31-11)があり、石刃素材は両側縁に加工があり、刃部は弧状である。剥片素材は所山産の黒曜石製で、稜線は潰れ、表面は傷が多く、二次加工面にはそれが認められない多段階表面変化の特徴が見られる。

削器は石刃素材と剥片素材があり、石刃素材には細かい加工が施され、剥片素材には舟底形石器の調整に似た粗い加工が施される。石刃素材の1点は所山産で稜線の潰れと表面の傷が確認できる。

小型舟底形石器を含む石器群

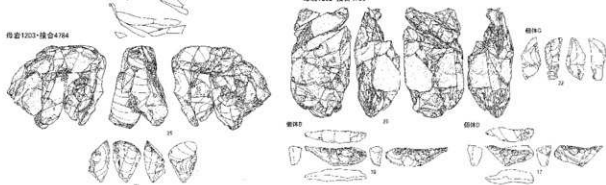


母岩1190-種合4773



母岩1202-種合4783

母岩1203-種合4784



図V-31 K区 (Sb-108~111) 石器組成図・母岩別資料

舟底形石器はI a (図V-31-14)・II a類(図V-31-15・18)がある。I a類は尖頭器刮片素材で、細石刃状剥離は見られない。II a類は剥片・石核が素材で剥片素材が主体を占める。加工は主に甲板面から行われ、素材長軸と石器長軸は一致する。

石材消費 尖頭器製作には角礫が利用され、大型尖頭器、原石ないし原石に近い形状で搬入され、加工後、搬出される。石刃剥離には垂角礫、剥片剥離には垂角礫を主体として角礫・転礫が利用され、両者とも原石ないし原石に近い形状で搬入される。石刃・剥片剥離後、石刃・舟底形石器II a類が搬出される。他の区域の同一石器群と比較して尖頭器製作、石刃・剥片剥離頻度が低く、主に舟底形石器II a類が製作されている。Sb-109出土の搔器(X183)、削器(X187)は所産と判定され、搔器には多段階表面変化が、削器には稜線の潰れと表面の傷が観察される。Sb-110出土の小型尖頭器(H173)は赤石山産と判定されている。

分布 G~I区と異なり、小型舟底形石器を含む石器群のみの小規模な区域である(図V-10)。Sb-109・110にやや規模の大きい集中域があり、それらに舟底形石器が分布し、その他は、小規模な尖頭器調整剥片の集中域である。

接合資料はブロック内で収束し、接合資料分布は傾斜方向に線状に伸びている。

炭化木片ブロックは、Cb-22がSb-110の東寄り(O6区)に分布し、少量の被熱石器と重複している。

年代 Cb-22(1)には15,790±110yBP(Beta-126163・SHIRA-52)、15,980±90yBP(Beta-186201・SHIRA-116)の放射性炭素年代測定値が得られている。15,700~16,000年の値はJ区の小型舟底形石器石器群でも得られた年代値であるが、J区では石器群と炭化木片ブロックの関係は不明である。ここでは被熱石器との重複が認められるが、I区での年代値と一致していない。今後、被熱石器と分布パターンや遺跡形成過程を含めて検討して行きたい。

水相層年代測定では、Sb-110出土の尖頭器に20,230±679(H173)の結果が得られているが、年代値としては古く、採用は困難である。(鈴木宏行)

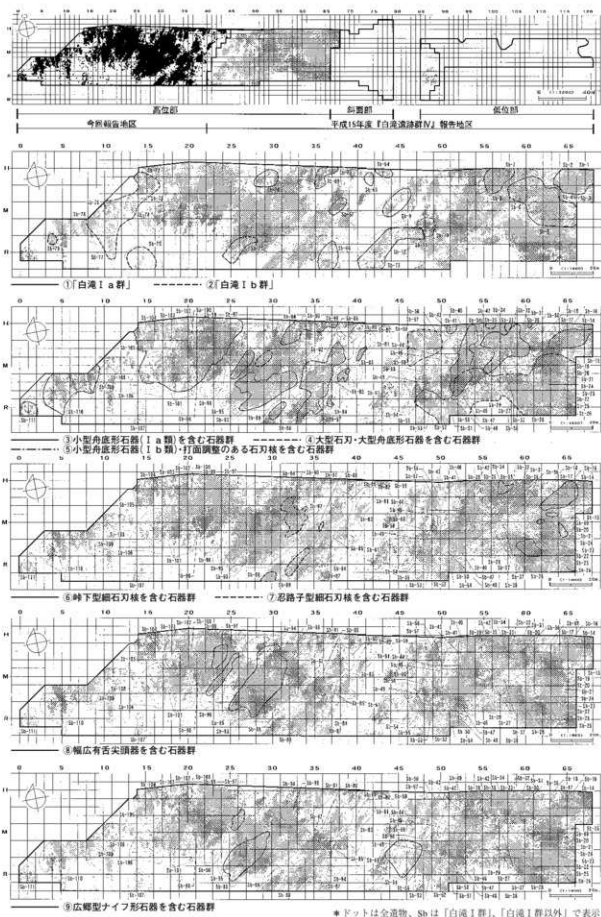
3 上白滝8遺跡の総括

本遺跡では総点数1,354,567点(点取り216,346点)、総重量3,499,923.0gもの大量の石器類が出土したため、高位部中央やや東寄りの小沢が入る空白地帯を境に、東地区「白滝遺跡群IV」と西地区「白滝遺跡群VI」に分けて報告を行った。ここでは、両者を合わせて遺跡全体を概観する。

上白滝8遺跡は北海道の北東部の白滝村上白滝地区に位置し、黒曜石の原石山として知られる赤石山の南麓、湧別川と八号沢川の合流点から約1.1km下流の湧別川右岸段丘上に立地する。本合流点付近は白滝第13地点遺跡をはじめ、服部台、服部台2、白滝第32・33地点、奥白滝1遺跡など大規模な遺跡が集中し、白滝遺跡群の中でも中核をなしている。

発掘調査は、高規格道路建設に伴って平成7~10・12年に行われ、当センターが調査した本地域の遺跡の中で最多の遺物が出土した。調査区は高位部・斜面部・低位部に分けられ、高位部は上白滝面、低位部は東白滝面に対比される。基本土層はI層：表土、II a層：褐色粘質土、II b層：灰白色~青灰白色粘質土、II c層：赤褐色~灰褐色砂質土、III層：赤褐色~褐色砂質土層である。遺物はI・II a層に主体的に含まれ、II a層が本来の包含層であったと考えられる。II c層には大雲御鉢平軽石(Ds-Oh)が含まれており、石器群の上限を設定している。

確認された遺構は炭化木片ブロックのみで、28か所確認されている。出土している遺物は全て石器



図V-32 上白滝8遺跡石器群分布図

類（そのうち99%以上が黒曜石製）で、定形的な石器は、有舌尖頭器・尖頭器・尖頭器切片・両面調整石器、ナイフ形石器、彫器、彫器切片、搔器、削器、錐形石器、舟底形石器、細石刃、細石刃核、細石刃核切片、石刃、石刃核、斧形石器、台石、蔽石などが出土し、加工のある遺物は全体の1%以下である。遺跡で行われた石器製作活動を具体的に明らかにするために接合作業を行った結果、62,117点が接合し、740母岩（43,133点）が抽出された。

遺物分布は広範囲に連続し、巨視的に見ると直径50m規模の集中域とみなせる場所が東西地区で確認される。その集中域には複数の石器群が重複し、複雑な状況を示している（図V-32）。技術的特徴から剥片単位でも分離可能な「白滝I群」については、分布からブロックを分離し、Sb-1~13、64~79を設定し、さらに単体石器・接合資料の分布から「白滝I a群」に分類されるSb-1~3、Sb-4~6、Sb-7・8、Sb-9、Sb-11~13、Sb-64~70、「白滝I b類」に分類されるSb-10、Sb-71、Sb-72~79の石器ブロック群に分けた。また、「白滝I群」以外については複数の石器群が重複しているため、分布状況から石器ブロックを分離し、単体石器・接合資料からおおよそのまとまりである「区域」（A~K区）に分離した。東西地区とも「区域」を単位として報告し、西地区についてはV章2で石器群単位に分離した。ここでは、「区域」単位の分析を経て、可能な限り石器群の分布範囲の抽出を試み、東地区を合わせて、大きく図V-32のように分けた。

石器群は高位部全体で、①「白滝I a群」、②「白滝I b群」、③小型舟底形石器（舟底形石器I a類）を含む石器群、④大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群、⑤小型舟底形石器（舟底形石器I b類）・打面調整のある石刃核を含む石器群、⑥峠下型細石刃核を含む石器群、⑦忍路子型細石刃核を含む石器群、⑧幅広有舌尖頭器を含む石器群、⑨広郷型ナイフ形石器を含む石器群に分けられる。これら以外に、単体の有舌尖頭器が1点出土し、打面調整のある石刃技法がスポット的に分布しており、幅広ではない有舌尖頭器石器群が含まれる可能性もある。また、東地区では③と④に属すると考えられる大型尖頭器が連続的に分布し、それらの分離を困難にしている。石器群に帰属が不明な接合資料も存在し、完全に分離できない部分もある。⑤については③と分離できるかどうか不明であるが、地点が異なるためここでは分離した。

①には裏面微細加工石器、基部平坦加工石器の小型の石器が含まれ、一部大型の角礫素材のものが混じる。②には多くの搔器の他、台形石器などのやや大型の石器が含まれる。③には舟底形石器I a類の他、大型尖頭器（尖頭器I類の大型品）、切片剥離の行われた尖頭器（尖頭器II類）、周縁加工彫器（彫器I・II類）、周縁加工搔器、舟底形石器II a類、単剥離打面の石刃核が含まれる。④には単剥離打面を持つ大型石刃・舟底形石器II b・c類の他、大型尖頭器（尖頭器I類の大型品）が含まれる。⑤には舟底形石器I b類の他、尖頭器、舟底形石器II b・c類、打面調整のある石刃核が含まれる。⑥には峠下型細石刃核の他、その素材を剥離した単剥離打面石刃核・円盤状石核が含まれる。⑦には忍路子型細石刃核の他、打面調整を伴う大型石刃、側縁加工がほとんど行われない刃部周辺にパンチ痕のある搔器が含まれ、接合資料には石器本体の無い50cmを超える尖頭器製作の資料がある。⑧には幅広の尖頭器III類・彫器III類が含まれ、尖頭器は剥片ないし石核素材で、通常の有舌尖頭器に比べ幅広である。また、尖頭器製作技術には縦方向の剥離によって器体を薄くするものがある。⑨には広郷型ナイフ形石器の他、彫器III類が含まれ、単剥離打面の石刃技法が伴い、頭部調整は比較的軽い。

斜面部には峠下型細石刃核、幌加型細石刃核、蘭越型類似細石刃核、美利河型類似細石刃核が、低位部には縄文時代に属すると考えられる石器群が分布する。石器群の詳細についてはV章1・2、「白滝遺跡群IV」（Ⅷ章1・2）、（鈴木 2004）を参照してもらいたい。

石器群の分布は、①が東地区の東西縁部、西地区の東縁に、②が西地区西側を中心に、一部西地区中央・東地区西側に分布する。③は東西とも最も広い範囲に分布し、量的にも最大である。④は東地区南側を主体として西地区にスポット的に、⑤は東地区西側に、⑥は東地区の東半分はSb-17を主体として①③④に重複して分布する。⑦は西地区の東寄りに③の隙間を埋めるように分布し、⑧は西地区中央に③④⑨と重複して分布する。⑨は東地区西端、西地区中央に位置し、両者に接合関係が認められる。全体的には東地区北東部、西地区中央東寄りに石器群の重複が認められ、重複の多い石器群は①⑥⑧で、重複の少ない石器群は②④⑤⑦である。③⑨は広い範囲に分布し、各石器群との重複が認められるが両者の重複は少ない。このような分布パターンの違いについては今後検討していきたい。

いずれにしても、このように多数の石器群が分布する状況は、何度も本遺跡が利用されたことを示すものであり、原産地遺跡の中でも最大規模の本遺跡が繰り返しの利用によって形成されたことを示している。

平成7年の発掘調査以来、他の遺跡の整理・報告と並行しながらも10年の歳月をかけて整理を行ってきた。これまで、本遺跡に匹敵する規模の原産地遺跡における調査は皆無で、その整理には多大な労力を必要とした。最終的には、おおよその石器群に分けることができ、原産地遺跡の中でも最大規模の遺跡の実態把握に一步近づけたと思われる。しかしながら、それでもなお、遺跡の全容を十分に解明できたとは言いがたい。原産地遺跡で行われた作業は石材消費戦略の中で非常に重要な位置づけがなされ、当時の行動論的理解においても重要な情報を提供する。そのため、今後も石器群の分類の妥当性やその構成、接合資料を基にした遺跡の形成過程などを辛抱強く検討していく必要がある。

(鈴木宏行)

引用文献

- 出穂雅実・赤井文人 2005 「北海道の旧石器編年 - 遺跡形成過程論とジオアーケオロジーの適応 -」『旧石器研究』第1号 日本旧石器学会
- 大場利夫・近堂祐弘・久保勝範・宮 宏明 1984 「北上台地遺跡発掘調査報告」『北見郷土博物館紀要』第14集 北見市北見郷土博物館
- 加藤晋平・山田昌久編 1988 「北海道河東郡土幌町鴨木遺跡の石器文化 - 北海道最古の石器群の発掘調査報告 -」『歴史人類』筑波大学歴史・人類学系紀要第16号
- 北沢 実・笹島香織・西沢千鶴・葦科哲男・三野紀雄・花岡正光 2004 「帯広・若葉の森遺跡」帯広市埋蔵文化財調査報告第24冊 帯広市教育委員会
- 木村英明 2003 「白滝村加沢遺跡遠間地点と黒曜石原産地」『第九次調査概報』札幌大学埋蔵文化財展示室
- 坂本尚史・長沼 孝・直江康雄・鈴木宏行 2000 「白滝遺跡群Ⅰ」(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第140集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 坂本尚史 2003 「広郷型ナイフ形石器を伴う石器群への一理解」『古代文化』第55巻第4号
- 佐藤宏之 2003 「北海道の後期旧石器時代前半期の様相」『古代文化』第55巻第4号
- 札幌大学木村英明ゼミナール 1988 「白滝村加沢遺跡遠間地点における考古学的調査」『札幌大学教養ゼミナール論集』14
- 札幌大学木村英明ゼミナール 1989 「白滝村加沢遺跡遠間地点における考古学的調査」『札幌大学教養ゼミナール論集』15
- 札幌大学木村英明ゼミナール 1990 「白滝村加沢遺跡遠間地点における考古学的調査」『札幌大学教養ゼミナール

ル論集」16

- 札幌大学木村英明セミナー 1996 「白滝村観加沢遺跡遠岡地点における考古学的調査」『札幌大学教養セミナー論集』22
- 白滝団体研究会 1963 「白滝遺跡の研究」
- 杉原莊介・戸沢充則 1975 「北海道白滝服部台における細石器文化」明治大学文学部研究報告考古学5 明治大学
- 鈴木宏行 2002 「Ⅵ章2 上白滝5遺跡について」『白滝遺跡群Ⅲ』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第169集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 鈴木宏行 2004 「原産地遺跡における細石刃石器群の技術構造」『シンポジウム 日本の細石刃文化Ⅲ』ハッ缶旧石器研究グループ
- 鈴木宏行・直江康雄・長沼 孝 2004 「白滝遺跡群Ⅳ」(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第195集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 鈴木宏行・長沼 孝・越田雅司・直江康雄 2001 「白滝遺跡群Ⅱ」(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第154集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 高橋和樹・鈴木宏行・愛場和人・直江康雄 2003 「北海道白滝遺跡群(旧白滝5遺跡)の調査」『第17回東北日本の旧石器文化を語る会予稿集』
- 千葉英一・畑 宏明 1982 「服部台2遺跡・近藤台1遺跡」白滝村教育委員会
- 辻 秀子 1973 「北海道上土幌嶋木遺跡の調査報告」『石器時代』10号
- 寺崎康史 2005 「北海道地方」『公開シンポジウム「旧石器時代の地域幅年とその比較」予稿集』公開シンポジウム実行委員会、東京大学大学院人文社会系研究科考古学研究室
- 寺崎康史・山原敏朗 1999 「北海道地方」『旧石器考古学』58 旧石器文化談話会
- 豊原照司・松村倫文・坂井通子 2003 「湧別川上流域・白滝村出土の土器」『北方探求』5 北方懇話会
- 直江康雄 2004 「Ⅷ章1 上白滝8遺跡「白滝1群」(Sb-1~13)について」『白滝遺跡群Ⅳ』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第195集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 直江康雄・鈴木宏行・長沼 孝 2002 「白滝遺跡群Ⅲ」(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第169集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 直江康雄・高橋和樹・立田 理・鈴木宏行 2004 「白滝遺跡群Ⅴ」(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第210集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 直江康雄・長崎潤一 2005 「北海道後期旧石器時代前半期の石材消費戦略 - 白滝1a群と祝梅遺跡三角山地点 -」『北海道旧石器文化研究』第10号 北海道旧石器文化研究会
- 中村有吾・平川一臣 1998 「北海道・白滝遺跡周辺のテフラ層序と地形環境」『日本地理学会発表要旨集』54 日本地理学会
- 中村有吾・平川一臣・長沼 孝 1999 「白滝遺跡と周辺地域のテフラ」『地学雑誌』108-5 東京地学協会
- 西田 茂・石川 朗・佐藤和雄・谷島由貴 1987 「鷹栖町嵐山2遺跡」(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第40集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 平川一臣・中村有吾・石川 守 2000 「Ⅳ章3 北海道白滝遺跡と周辺地域のテフラ層序と地形環境」『白滝遺跡群Ⅰ』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第140集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 福井淳一・越田賢一郎 1999 「柏台1遺跡」(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第138集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 北大調査団 1960 「白滝遺跡出土の遺物」『北方文化研究報告』15 北海道大学
- (財)北海道埋蔵文化財センター 1996 「上白滝8遺跡」『調査年報』8
- (財)北海道埋蔵文化財センター 1997 「上白滝8・2遺跡」『調査年報』9
- (財)北海道埋蔵文化財センター 1998 「白滝遺跡群・奥白滝1・上白滝8・2・5・7遺跡」『調査年報』10
- (財)北海道埋蔵文化財センター 1999 「白滝遺跡群・服部台2・奥白滝1・上白滝5・6・7・8・北支湧別4遺跡」『調査年報』11

- (財)北海道埋蔵文化財センター 2000 「白滝遺跡群・服部台2・奥白滝11遺跡」『調査年報』12
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2001 「白滝遺跡群・服部台2・奥白滝1・上白滝8・白滝第30地点・白滝8・18遺跡」『調査年報』13
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2002 「白滝遺跡群・上白滝6・白滝3・下白滝遺跡」『調査年報』14
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2004 「白滝遺跡群・旧白滝5・旧白滝8・中島遺跡」『調査年報』16
- 松村倫文 1995 「白滝第4地点・第30地点遺跡」白滝村教育委員会
- 松村倫文・瀬下直人 2002 「白滝第4地点」白滝村教育委員会
- 松村倫文・瀬下直人 2003 「白滝第30地点」白滝村教育委員会
- 松谷純一 1987 a 「白滝第4地点遺跡」白滝村教育委員会
- 松谷純一 1987 b 「白滝村の遺跡」白滝村教育委員会
- 三野紀雄 2002 「白滝遺跡群の旧石器文化層から検出された炭化材」『白滝遺跡群Ⅲ』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第169集 (財)北海道埋蔵文化財センター
- 宗像公司 1999 「白滝村赤石山採集の石器について」『北海道旧石器文化研究』第4号 北海道旧石器文化研究会
- 山田秀三 1977 「黒曜石のアイヌ地名を尋ねて」『北海道の文化』38 北海道文化財保護協会
- 山原敏朗 1996 「北海道における細石刃文化以前の石器群について—十勝地域の恵庭 a 火山灰降下以前の石器群の分析から—」『帯広百年記念館紀要』第14号
- 吉崎昌一 1959 「北海道白滝村 Loc. 30の石器群」『考古学手帖』6
- 吉崎昌一 1961 「白滝遺跡と北海道の無土器文化」『民族学研究』26-1 民族学研究会
- 吉崎昌一・横山英介 1974 「祝梅三角山地点」千歳市教育委員会
- 米村哲英 1975 「白滝遺跡」『日本の旧石器文化』2 雄山閣
- 米村哲英 1977 「白滝遺跡—観加川遺跡・遠間地点」白滝村教育委員会

The Kami-shirataki 8 Site

Report of the excavations, 1995-1998 and 2000

H. Suzuki

The Kami-shirataki 8 site yielded a total of 1,354,567 artifacts (216,346 piece-mapped), which weigh up to 3,499,923.0g. Because of the large quantity, the publication of the report is divided into two volumes: the one for the eastern area (Suzuki et al. 2004) and the one for the western area (this volume). This summary provides an overview of the whole site including both areas.

The site belongs to the Upper Palaeolithic, and is located in Shirataki village, Monbetsu county, in the northeastern part of Hokkaido. It is situated on the terrace of the Yubetsu River flowing into the southern foothills of Mt. Akaishi, which is famous as an obsidian source. The site is at 1.1km downstream from the confluence of the Yubetsu River and the Hachigozawa River that originates near the mountaintop. Many large Palaeolithic sites such as Hattoridai, Hattoridai 2, Shirataki Locs. 32 and 33 are clustered around the confluence, suggesting that Palaeolithic people visited frequently for the abundant high-quality obsidian resources.

The site has been excavated prior to highway construction in 1995-1998 and 2000, yielding the largest quantity of artifacts among all the 17 sites excavated in Shirataki area by the Hokkaido Archaeological Operations Center for the past ten years. The excavation area of 17,849 m² is divided topographically into three areas: higher terrace, slope area and lower terrace. The higher terrace, yielding more than 98% of the artifacts, belongs to Kami-shirataki terrace, and the lower terrace, Higashi-shirataki terrace.

The feature of stratigraphy at the site is described as follows:

Layer I: black humus soil on the surface;

Layer IIa: brown clayish soil;

Layer IIb: light gray or bluish gray clayish soil;

Layer IIc: reddish brown or grayish brown sandy soil;

Layer III: reddish brown or brown sandy soil.

Artifacts were mainly discovered from layer IIa, which indicates that this is the primary cultural horizon. Daisetsu-Ohachidaira tephra (Ds-Oh), dated to 30,000 years ago or older, was identified in layer IIc, indicating that the date of the artifacts is younger than the date of Ds-Oh tephra.

Twenty-eight concentrations of small charcoal pieces were the only recognizable features at the site other than clusters of lithic artifacts. Lithics are the only artifacts unearthened, including points, tanged points, point spalls (facit-like detachments from beveled ends of points), bifaces, burins, burin spalls, endscrapers, sidescrapers, drills, boat-shaped tools, microblades, wedge-shaped microblade cores, spalls of microblade cores (platform preparation flakes of wedge-shaped microblade cores), blades, blade cores, axes, anvil stones, and hammer stones. For the purpose of reconstructing specific tool manufacture activities and patterns of raw material procurement at an obsidian source, we patiently carried out refitting of the artifacts. As a result, we were able to obtain 19,148 refittings composed of 62,117 pieces, and to identify 740 groups of raw materials.

On the basis of these refittings and retouched tools, more than ten industries were recognized at the site. Industries recognized at the higher terrace are: industry including small flake tools (Shirataki Ia industry); industry including flake endscraper (Shirataki Ib industry); industry including small boat-shaped tools (Ia type); industry including large blades and large boat-shaped tools; industry including small boat-shaped tools (Ib type) and blade cores with prepared platform; industry including Togeshita type microblade core; industry including Osyorokko type microblade core; industry including wide type tanged points, industry including Hirosato type point.

In addition to the above, an industry including narrow type tanged points appears to have existed at this site, because one narrow type tanged point, as well as some blade cores with prepared platform and refitted pieces, were found in a few spot. In the eastern area, it is difficult to determine which industry large points belong to, because large points possibly belonging to an industry with small boat-shaped tools (Ia type) and to an industry with large blades and large boat-shaped tools are distributed continuously in space. It is also difficult to determine which industry some refitted pieces belong to.

In the slope area Togeshita type microblade cores, Horoka type microblade cores, Rankoshi type-like microblade cores, and Pirika type-like microblade cores were unearthed, and in the lower terrace, the artifacts probably belonging to the Jomon period were recognized.

Through analyses of these conjoined pieces as well as retouched tools, we have analyzed, for each lithic industry, types of artifacts imported to the site, techniques of tool manufacture employed at the site, and possible types of artifacts exported from the site. The details of the analyses are found in chapter VIII-1 and-2 (Suzuki et al. 2004), in chapter V-1 and-2 (this volume), as well as in Suzuki (2004).

The clusters of artifacts are found continuously in a large area, showing a complex spatial distribution. In one case, the distribution of artifacts belonging to different industries overlaps in space, forming a large lithic cluster of about 50 m in the major axis.

The presence of many different industries at this site suggests that the site was formed by numerous visits by Palaeolithic people in different phases, and a large number of refittings obtained suggests that tool manufacture activities were practiced intensively at the site throughout the period.

表1 上白滝8遺跡(2)掲載石器一覧

種別	図版	番号	器種名	石部アット	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	報告番号	備	考	
■	-43	61	1	基部平坦加工石器	67	K37		415	25	27	5	3.0	黒曜石1				前地分析 X181
■	-43	61	2	基部平坦加工石器	64	H42		38	25	(22)	7	(2.6)	黒曜石1				
■	-43	61	3	裏面微細加工石器		S36	1	6	25	30	6	3.3	黒曜石1	492	364		
■	-43	61	4	裏面微細加工石器		S36		40	27	27	6	3.6	黒曜石1	492	364		
■	-43	61	5	裏面微細加工石器	70	I.28		49	31	34	11	7.8	黒曜石1	675	468		
■	-43	61	6	裏面微細加工石器	66	S35		23	34	(25)	7	(3.6)	黒曜石1	492	364		
■	-43	61	7	裏面微細加工石器	68	H37		41	39	39	9	9.8	黒曜石1				
■	-43	61	8	裏面微細加工石器	64	H42		22	43	34	7	9.1	黒曜石1				
■	-43	61	9	裏面微細加工石器	66	S35		28	32	21	12	5.3	黒曜石1		377		
■	-43	61	10	裏面微細加工石器	70	I.28		91	34	22	9	4.9	黒曜石1	675	468		
■	-43	61	11	裏面微細加工石器		S36	1	8	45	24	9	5.9	黒曜石1		377		
■	-43	61	12	裏面微細加工石器	67	L37		303	(42)	29	10	(12.2)	黒曜石1	490	360		
■	-43	61	13	裏面微細加工石器	67	L37		406	49	35	12	23.4	黒曜石1	490	360		
■	-43	61	14	裏面微細加工石器	69	I.35		132	54	32	12	11.4	黒曜石1				
■	-43	61	15	裏面微細加工石器	70	I.28		118	78	47	21	64.0	黒曜石1	675	468		
■	-43	61	16	裏面微細加工石器	68	H36		46	(30)	17	8	(3.1)	黒曜石1				
■	-43	61	17	裏面微細加工石器	68	H37		43	33	13	8	2.5	黒曜石3	501			
■	-43	61	18	裏面微細加工石器	68	H36		19	36	20	9	6.3	黒曜石1				
■	-43	61	19	裏面微細加工石器	66	S35		18	(40)	22	7	(4.6)	黒曜石1	493	365		
■	-43	61	20	裏面微細加工石器	67	L37		115	40	22	6	3.8	黒曜石1	490	360		
						L38		6									
■	-43	61	21	裏面微細加工石器	67	L37		398	71	34	9	18.6	黒曜石1	490	360		
						L37		418									
■	-43	61	22	裏面微細加工石器	64	H43		92	(32)	16	11	(4.2)	黒曜石1				
■	-43	61	23	裏面微細加工石器	66	S36		241	(41)	22	13	(10.8)	安山岩1				
■	-44	61	24	二次加工ある剥片	70	H29		8	37	40	13	15.9	黒曜石1	675	468		
■	-44	61	25	二次加工ある剥片	67	L37		150	43	55	13	23.4	黒曜石1	490	360		
■	-44	61	26	二次加工ある剥片	70	I.28		66	23	(22)	5	(2.7)	黒曜石1	675	468		
■	-44	61	27	二次加工ある剥片	64	H43		30	46	24	9	6.8	黒曜石1		355		
■	-44	61	28	二次加工ある剥片	70	I.28		97	31	48	16	15.1	黒曜石1	675	468		
■	-44	62	29	二次加工ある剥片		H43	1	3	106	95	35	328.7	黒曜石1	481	353		
■	-44	62	30	剥片	66	S35		39	114	97	35	330.6	黒曜石1	481	353		
■	-45	62	31	剥片	70	I.28		121	133	125	30	546.5	黒曜石1	490	360		
■	-45	63	32	鐘形石器	64	H43		194	34	34	10	8.3	黒曜石1				
■	-45	63	33	鐘形石器	64	H43		70	56	41	13	34.7	黒曜石1				
■	-45	63	34	筒器	70	I.28		131	(42)	38	10	(15.5)	黒曜石1	675	468		
■	-45	63	35	筒器	66	R36		15	59	51	14	38.3	黒曜石1	500	374		
■	-45	63	36	縦長剥片	67	L38		100	59	23	15	14.2	黒曜石1	490	360		
■	-45	63	37	石核		R37	1	1	26	36	8	7.6	黒曜石1	490	360		
■	-45	63	38	石核	70	I.28		43	39	33	13	12.4	黒曜石1	675	468		
■	-45	63	39	石核	69	I.35		85	45	65	19	23.0	黒曜石1	504	388		
■	-45	63	40	石核	64	H43		5	37	59	22	35.3	黒曜石1	487	469		
■	-46	63	41	石核	64	H43		129	55	70	23	50.9	黒曜石4	482			
■	-46	63	42	石核	65	H40		10	47	78	26	90.2	黒曜石5	484			
■	-46	63	43	石核	64	H42		60	48	80	32	95.1	黒曜石1				
■	-46	63	44	石核	64	H43		21	55	69	29	91.1	黒曜石1	485			
■	-46	63	45	石核	70	I.28		42	62	61	31	83.5	黒曜石1	675	468		
■	-46	63	46	石核	70	I.28		163	68	89	31	203.1	黒曜石2				
■	-46	64	47	石核		Q37	1	2	106	75	33	309.3	黒曜石1	490	360		
■	-47	64	48	石核	67	J37		65	107	92	44	323.4	黒曜石1	490	360		
■	-47	64	49	石核	70	H28		5	158	134	90	1914.8	黒曜石1		397		
■	-47	65	50	石核	70	I.28		187	39	54	62	88.7	黒曜石1	675	468		
■	-48	65	51	石核	70	H29		19	33	59	42	56.1	黒曜石1	675	468		
■	-48	65	52	石核	64	H42		10	31	79	58	100.9	黒曜石1				
■	-48	65	53	石核	70	I.28		78	37	74	66	133.6	黒曜石1	675	468		
■	-48	65	54	石核	65	I.40		1	31	87	94	157.5	黒曜石5				
■	-48	65	55	石核	66	S36		222	35	25	27	25.9	黒曜石1	490	360		
■	-49	65	56	石核	70	I.28		50	70	61	26	74.0	黒曜石1	675	468		
■	-49	65	57	石核	64	H43		55	49	41	20	49.4	黒曜石1				
■	-49	65	58	石核	67	L37		332	87	83	41	321.6	黒曜石1	489	359		
■	-49	65	59	石核	70	I.28		32	24	33	19	12.6	黒曜石1	675	468		
■	-49	65	60	石核	66	S35		39	36	36	26	30.1	黒曜石1	492	364		
■	-49	65	61	石核	66	R36		3	32	47	30	65.0	黒曜石1	493	365		
■	-50	65	62	石核	66	S36		24	32	54	37	66.4	黒曜石1	497	370		

上白滝8遺跡(2)

神田	図取	番号	形種名	石部アット	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
					S36		29								
					S36		82								
					S36		183								
Ⅲ-50	65	63	石核	66	S36		135	36	67	31	66.7	黒曜石		497	370
Ⅲ-50	65	64	石核	67	L37		293	63	54	55	134.0	黒曜石		490	360
Ⅲ-50	66	65	石核	66	S36		232	82	73	90	258.1	黒曜石		500	374
					S36		255								
Ⅲ-51	66	66	石核	69	I35		67	70	80	71	343.0	黒曜石		504	388
Ⅲ-51	66	67	石核	67	L36		103	61	90	48	264.9	黒曜石		488	358
Ⅲ-52	66	68	石核	67	L37		423	72	91	76	448.2	黒曜石		488	358
Ⅲ-52	66	69	石核	66	S36		182	69	89	60	453.3	黒曜石		499	373
Ⅲ-52	66	70	石核	66	S36		143	80	105	54	459.4	黒曜石		499	373
Ⅲ-72	76	1	二次加工ある剥片	71	R24		2	64	33	15	20.6	黒曜石			399
Ⅲ-72	76	2	二次加工ある剥片	71	Q24		1	75	65	19	83.2	黒曜石		509	398
					R25		26								
Ⅲ-72	76	3	二次加工ある剥片	71	P25		147	72	72	24	114.1	黒曜石		509	398
Ⅲ-72	76	4	核部	71	P27		413	104	72	21	159.0	黒曜石			
Ⅲ-72	76	5	石核	71	R25		33	51	62	45	100.9	黒曜石		509	398
Ⅲ-76	77	1	台形石器	L11	I		1	65	53	12	25.4	黒曜石			
Ⅲ-76	77	2	台形石器	77	Q10		11	(54)	32	11	(15.7)	黒曜石		517	
Ⅲ-76	77	3	二次加工ある剥片	76	M10		32	32	35	21	53.0	黒曜石		543	457
Ⅲ-76	77	4	二次加工ある剥片	79	P03		63	40	57	13	26.4	黒曜石			
Ⅲ-76	77	5	二次加工ある剥片	76	M09		1	60	46	7	13.8	黒曜石			
Ⅲ-76	77	6	二次加工ある剥片	74	L11		14	105	57	24	121.3	黒曜石			
Ⅲ-76	77	7	二次加工ある剥片	76	L10		29	(28)	25	10	(7.3)	黒曜石			
Ⅲ-76	77	8	核部	77	O10		1	43	27	18	17.5	黒曜石		525	
Ⅲ-76	77	9	核部	77	Q10		55	51	30	11	16.3	黒曜石			
Ⅲ-76	77	10	核部	78	N08		32	33	37	10	19.9	黒曜石		533	436
Ⅲ-76	77	11	核部	76	L10		39	33	35	16	32.1	黒曜石			
Ⅲ-76	77	12	核部	74	L13		5	59	44	13	37.8	黒曜石		518	411
Ⅲ-77	77	13	核部	73	I14		135	76	44	18	74.3	珩岩		544	
Ⅲ-77	77	14	核部	77	N10		18	83	46	18	72.1	黒曜石			444
Ⅲ-77	77	15	核部	74	L12		21	88	66	25	94.1	黒曜石			産地分析 X389
Ⅲ-77	78	16	核部	74	L11		29	100	59	35	151.4	黒曜石		517	409
Ⅲ-77	78	17	核部	77	P10		95	117	79	18	201.7	黒曜石		520	水和層 W9
Ⅲ-78	78	18	核部	77	R10		17	123	81	29	279.7	黒曜石		532	432
					R11		3								水和層 W10
Ⅲ-78	78	19	核部	74	L13		10	65	41	17	38.0	黒曜石		515	407
Ⅲ-78	78	20	核部	74	K12		5	67	44	14	34.2	黒曜石			
Ⅲ-78	78	21	核部	78	N08		109	74	47	8	20.8	黒曜石		533	50867
					N08		336								
Ⅲ-78	78	22	核部	73	K14		1	69	52	11	35.2	黒曜石		512	産地分析 X177
Ⅲ-78	78	23	核部	77	P10		57	(49)	79	13	(45.5)	黒曜石			50809
					P10		60								
					Q10		71								
Ⅲ-79	78	24	核部	77	N10		1	73	57	16	69.7	黒曜石			産地分析 X178
Ⅲ-79	79	25	核部	77	P10		44	80	56	13	46.1	黒曜石		533	436
Ⅲ-79	79	26	核部	74	M13		10	44	45	17	29.5	めのう			
Ⅲ-79	79	27	核部	77	R10		2	45	(51)	24	(52.2)	黒曜石		525	423
Ⅲ-79	79	28	核部	77	Q10		16	70	64	16	62.8	黒曜石		525	423
Ⅲ-79	79	29	核部	77	N10		17	80	74	22	116.5	黒曜石		516	408
Ⅲ-79	79	30	核部	I14	I		1	67	70	19	72.3	黒曜石			
Ⅲ-80	79	31	核部	77	P10		8	52	(65)	14	(47.6)	黒曜石		533	436
Ⅲ-80	79	32	核部	73	J14		223	74	(81)	24	(83.7)	黒曜石			
Ⅲ-80	79	33	核部	73	J14		71	116	79	21	131.8	黒曜石			
Ⅲ-80	79	34	核部	78	N08		215	75	45	19	74.0	黒曜石		533	436
Ⅲ-80	80	35	核部	77	P10		85	78	62	18	78.1	黒曜石			
Ⅲ-80	80	36	核部	77	Q10		44	74	61	19	69.9	黒曜石		532	432
Ⅲ-81	80	37	核部	78	N08		52	78	70	24	106.3	黒曜石		517	409
Ⅲ-81	80	38	核部	77	Q10		72	84	60	16	64.2	黒曜石			
Ⅲ-81	80	39	核部	N08	I		1	85	57	19	95.6	黒曜石		514	406
Ⅲ-81	80	40	核部	78	N08		55	(89)	106	17	(118.8)	黒曜石		532	50805
					N08		159								
					N08		354								
Ⅲ-81	80	41	核部	77	P10		105	100	80	25	146.5	黒曜石			

種別	図版	番号	器種名	石器プロット	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	保存番号	備考
Ⅲ-82	80	42	棒器	77	R11		2	100	79	29	190.1	黒曜石	G4	526	424
Ⅲ-82	81	43	棒器	74	L12		22	122	90	21	185.1	黒曜石	G5	516	408
Ⅲ-82	81	44	棒器	74	L13		12	52	34	11	16.0	黒曜石	G5	515	407
Ⅲ-82	81	45	刮片	77	R10 R10 R10		11	68	78	16	63.8	黒曜石	G1	532	50804
			棒器	75	S15		5								
Ⅲ-82	81	46	棒器		S13	I	1	84	50	10	36.1	黒曜石	G1		
Ⅲ-82	81	47	棒器	77	Q10		14	75	52	13	40.8	黒曜石	G3	526	
Ⅲ-82	81	48	棒器	78	N08 N08		41	84	35	11	22.4	黒曜石	G5	533	436
Ⅲ-83	81	49	棒器	77	N11		2	82	67	12	60.2	黒曜石	G5		444
Ⅲ-83	81	50	棒器	77	P10 P10		33	93	99	14	77.4	黒曜石	G1	50808	水和層 W 8
Ⅲ-83	82	51	棒器	73	J14		115	106	83	15	84.4	黒曜石	G5	533	436
Ⅲ-83	82	52	棒器	74	L13		1	46	32	13	13.6	黒曜石	G5	518	410
Ⅲ-83	82	53	棒器	74	L13		11	49	44	13	19.7	黒曜石	G5		
Ⅲ-83	82	54	棒器	72	I14		169	82	65	23	85.1	黒曜石	G1		403
Ⅲ-83	82	55	棒器	74	L12		30	86	57	15	68.8	黒曜石	G1	524	422
Ⅲ-84	82	56	棒器	77	P10 P11		12	94	74	17	74.1	黒曜石	G5	533	436
Ⅲ-84	82	57	棒器	77	O10 O10 Q10 Q10		13	(83)	76	16	(77.1)	黒曜石	G1	532	50806
Ⅲ-84	82	58	棒器	75	S14		7	70	(61)	15	(59.4)	黒曜石	G1		
Ⅲ-84	82	59	鐮形石器	79	P04		48	(23)	22	8	(3.6)	黒曜石	G1		
Ⅲ-84	82	60	鐮形石器	77	P10		21	37	39	12	15.8	黒曜石	G1		
Ⅲ-84	82	61	鐮形石器	74	L12		31	(27)	29	7	(3.9)	黒曜石	G5		
Ⅲ-84	83	62	刮器	77	Q10		39	66	70	24	84.7	黒曜石	G4		
Ⅲ-84	83	63	刮器	76	M10		26	126	97	21	262.6	安山岩	G1		
Ⅲ-84	83	64	短長刮片	76	L09		7	(76)	24	14	(23.7)	黒曜石	G1		
Ⅲ-85	83	65	石核	73	K14		3	69	74	24	96.2	黒曜石	G5	517	
Ⅲ-85	83	66	石核	77	P10		19	91	120	34	296.4	黒曜石	G5	533	437
Ⅲ-85	83	67	石核		R14	I	1	57	108	35	187.8	黒曜石	G1		
Ⅲ-85	84	68	石核		P10	I	1	67	109	40	243.3	黒曜石	G1	532	433
Ⅲ-85	84	69	石核	77	P10		18	73	133	37	283.6	黒曜石	G5	531	431
Ⅲ-86	84	70	石核	77	P10		13	76	86	36	172.2	黒曜石	G5	529	427
Ⅲ-86	84	71	石核	77	Q10		52	87	164	39	562.6	黒曜石	G1	532	432
Ⅲ-86	85	72	石核		J14	II	1	110	220	81	2114.4	黒曜石	G1		
Ⅲ-87	85	73	石核	77	Q10		51	18	75	23	21.9	黒曜石	G3		
Ⅲ-87	85	74	石核	77	P10 R10		84	73	117	27	171.2	黒曜石	G1	532	432
Ⅲ-87	85	75	石核	74	L12 L12		3	115	55	31	165.6	黒曜石	G5	516	408
Ⅲ-87	85	76	石核	74	M13		15	65	47	30	94.5	黒曜石	G3		
Ⅲ-87	86	77	石核	76	M10		19	77	123	61	297.7	黒曜石	G1	543	457
Ⅲ-88	86	78	石核	76	M11		7	228	119	80	1770.0	黒曜石	G1	545	458
Ⅲ-88	86	79	石核	72	I13		9	74	80	59	339.2	黒曜石	G1		
Ⅲ-89	87	80	石核	73	K13		2	94	90	57	550.8	黒曜石	G1		413
Ⅲ-89	87	81	石核		N10	I	1	94	49	34	52.7	黒曜石	G1	530	430
Ⅲ-89	87	82	石核	77	Q10		10	39	57	46	101.9	めのみ			
Ⅲ-89	87	83	石核	79	P03		112	63	58	49	197.9	黒曜石	G1	541	453
Ⅲ-89	87	84	石核	77	P10		17	80	86	65	463.8	黒曜石	G5	523	420
Ⅲ-90	87	85	石核	73	I14		41	49	60	43	104.9	黒曜石	G1		404
Ⅲ-90	87	86	鐮形石器	77	P10		20	67	52	11	50.0	泥岩			
Ⅲ-90	87	87	台石	77	P10		100	(130)	(77)	(51)	(634.8)	安山岩	G2		
—	88	102	原石		Q10	II	3	(25)	(6)	5	(0.8)	黒曜石	G1		
—	88	103	原石	77	P10		73	(31)	6	3	(0.6)	黒曜石	G1		
—	88	104	原石		Q10	II	1	(31)	9	4	(1.2)	黒曜石	G1		
—	88	105	原石	77	Q10		3	(38)	10	4	(1.3)	黒曜石	G1		
—	88	106	原石	77	P10		23	(42)	5	2	(0.6)	黒曜石	G5		
—	88	107	原石	77	P10		68	(43)	7	5	(1.8)	黒曜石	G5		
—	88	108	原石	77	P10		52	(49)	7	3	(1.1)	黒曜石	G5		
—	88	109	原石	77	Q10		46	(53)	11	6	(3.1)	黒曜石	G1		
—	88	110	原石	77	P10		34	(57)	12	6	(3.1)	黒曜石	G5		

上白滝8遺跡(2)

神田	図版	番号	器物名	石部アット	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
—	88	111	原石	77	P10		45	(58)	8	6	(2.5)	黒曜石1			
—	88	112	原石	77	P10		14	(58)	11	5	(2.8)	黒曜石1			
—	88	113	原石	77	O10		25	(83)	17	8	(10.3)	黒曜石1			
—	88	114	原石	77	Q10		20	(113)	20	8	(17.5)	黒曜石1			
—	88	115	原石	77	Q10		4	(126)	13	5	(8.5)	黒曜石1	50815		
Ⅲ-113	94	1	二次加工ある削片	94	R00		47	70	54	16	53.6	黒曜石3			
Ⅲ-113	94	2	核部	94	K19		370	66	56	17	43.8	黒曜石5			
Ⅲ-113	94	3	石核	94	R01		18	38	52	13	22.0	黒曜石1			
Ⅲ-114	95	1	尖頭器	85	N36		230	128	62	12	97.6	黒曜石1			
Ⅲ-114	95	2	尖頭器	89	S29		360	117	45	16	85.1	黒曜石1	57940		
					S29		485								
Ⅲ-114	95	3	尖頭器	89	R29		24	75	41	22	60.0	黒曜石1	637	3014	
Ⅲ-114	95	4	尖頭器	89	S29		470	(26)	(35)	(13)	(10.4)	黒曜石1	637	3013	
Ⅲ-114	95	5	尖頭器	89	R30		499	(31)	(36)	(14)	(14.3)	黒曜石1	637		
Ⅲ-114	95	6	尖頭器	N33		I	8	(20)	(15)	(4)	(1.3)	黒曜石1			
Ⅲ-114	95	7	尖頭器	83	M38		38	(142)	(125)	(27)	(44.8)	黒曜石4	551	2807	
					N38		146								
					N38		318								
					N38		728								
					N38		1070								
Ⅲ-115	95	8	尖頭器	83	N38		420	54	70	17	62.6	黒曜石4	551	2807	
Ⅲ-115	95	9	尖頭器	86	M35		65	89	34	24	106.2	黒曜石4	715	3251	
Ⅲ-115	95	10	尖頭器	86	N35		100	91	40	28	168.1	黒曜石4	715	3251	
Ⅲ-115	95	11	尖頭器	82	J39		3	64	67	25	112.0	黒曜石4	551	2807	
Ⅲ-115	96	12	尖頭器削片	83	N38		506	(51)	11	13	(5.8)	黒曜石4	551	2807	
Ⅲ-115	96	13	尖頭器削片	83	N38		119	(52)	11	13	(4.6)	黒曜石4	551	2807	
Ⅲ-115	96	14	尖頭器削片	83	N38		500	84	12	13	8.7	黒曜石4	551	2807	
					N38		501								
Ⅲ-115	96	15	尖頭器削片	85	P35		382	(90)	18	28	(39.8)	黒曜石4	715	3251	
Ⅲ-115	96	16	尖頭器削片	85	O35		3	(105)	20	21	(22.5)	黒曜石3	715	3251	
					O35		4								
Ⅲ-116	96	17	尖頭器削片	85	O35		73	(136)	17	17	(22.4)	黒曜石4	715	3251	
					P35		539								
Ⅲ-116	96	18	尖頭器削片	85	N36		6	157	23	31	(99.0)	黒曜石4	715	3251	
					O35		167								
					N36		22								
Ⅲ-116	96	19	尖頭器削片	85	O35		179	97	26	8	22.4	黒曜石4	715	3251	
					O35		30								
Ⅲ-116	96	20	尖頭器削片	83	M38		155	104	26	28	52.5	黒曜石4	551	2807	
					N38		44								
Ⅲ-116	96	21	尖頭器削片	86	N34		1287	(102)	24	24	(30.2)	黒曜石4	715	3251	
					N34		1358								
					N35		67								
Ⅲ-116	96	22	両面調整石器	89	Q31		4	87	31	18	31.1	黒曜石4	664	3109	
					R30		82								
Ⅲ-116	96	23	ナイフ形石器	83	N39		4	26	29	6	3.0	黒曜石1			
Ⅲ-116	96	24	彫器		L37	Ⅱ	1	38	17	7	5.0	黒曜石1			
Ⅲ-116	96	25	彫器	85	N37		100	42	19	7	6.1	黒曜石4			
Ⅲ-116	96	26	彫器	83	M38		466	48	21	5	5.2	黒曜石1			
Ⅲ-116	96	27	彫器	87	R34		92	49	19	6	4.9	黒曜石1			
Ⅲ-116	96	28	彫器	84	Q35		1	52	20	4	4.5	黒曜石1			
Ⅲ-116	96	29	彫器	85	P35		91	56	15	7	6.5	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	30	彫器	88	S31		18	27	15	6	2.8	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	31	彫器	82	L37		394	29	15	6	2.2	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	32	彫器	82	L37		256	34	15	6	3.5	黒曜石4			
Ⅲ-117	96	33	彫器	83	M38		290	34	17	7	3.9	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	34	彫器	82	L37		357	35	18	6	3.5	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	35	彫器	87	R34		88	37	19	7	4.6	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	36	彫器	82	L37		300	43	21	8	5.8	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	37	彫器	87	Q34		92	45	19	4	4.9	黒曜石1			
Ⅲ-117	96	38	彫器	87	R35		5	55	23	8	9.9	黒曜石1			
Ⅲ-117	97	39	彫器	87	Q34		93	59	20	6	6.3	黒曜石4	5718		
					R35		4								
Ⅲ-117	97	40	彫器	83	M38		459	20	23	8	11.3	黒曜石5	607	2955	

種別	図版	番号	器種名	石器プロファイル	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	組合番号	備	考
III-117	97	41	彫器	85	N36 N36		85 89	75	21	13	17.1	頁岩		57941		
III-117	97	42	彫器	89	R30		503	60	22	8	13.8	頁岩				
III-117	97	43	彫器	89	S30		63	60	19	6	6.4	黒曜石1				
III-117	97	44	彫器	85	N36		95	(94)	40	10	(34.0)	黒曜石4				
III-117	97	45	彫器削片		P35	I	5	17	6	2	0.3	黒曜石1				
III-117	97	46	彫器削片		N38	II	1	21	8	3	0.3	黒曜石1				
III-117	97	47	彫器削片		N36	II	6	(23)	(7)	2	(0.3)	頁岩				
III-117	97	48	彫器削片	85	N36		139	22	5	2	0.1	黒曜石4				
III-117	97	49	彫器削片		N36	I	1	20	5	1	0.2	黒曜石1				
III-117	97	50	彫器削片	85	N36		7	23	6	3	0.4	黒曜石1		5710		
III-117	97	51	彫器削片		N36	II	5	(15)	(6)	2	(0.1)	黒曜石1				
III-117	97	52	彫器削片		N36	I	2	(18)	(5)	2	(0.2)	黒曜石1		5710		
III-117	97	53	彫器削片	85	O36		68	(24)	(6)	3	(0.4)	黒曜石1				
III-117	97	54	掻器	87	R35		36	52	19	8	7.9	黒曜石4	651	3048		
III-117	97	55	掻器	86	N35		18	69	19	10	15.6	黒曜石5				
III-117	97	56	掻器	89	S29		450	53	26	9	10.4	黒曜石1				
III-117	97	57	掻器	89	S29		113	47	30	6	8.6	黒曜石1				
III-117	97	58	掻器	89	R29		21	55	32	10	14.9	黒曜石1				
III-118	97	59	掻器	86	M35		442	61	24	7	9.1	黒曜石5	1221	5719		
III-118	97	60	掻器	89	S29 S29 R29		133 294 1	97	32	5	16.2	黒曜石1	693	3201		
III-118	97	61	掻器	86	M35		1	118	47	13	56.3	黒曜石5				
III-118	97	62	掻器	86	M35 M35 M35		14 300 550	182	53	17	143.6	黒曜石5	702	3222		
III-118	97	63	掻器	86	M35 M35		405 502	200	40	17	107.7	黒曜石5	702	3222		
III-118	98	64	掻器	89	R30 S29		28 222	101	29	13	33.7	黒曜石1	693	3201		
III-118	98	65	掻器	86	M36		75	(52)	18	8	(7.1)	黒曜石4	1221	5719		
III-118	98	66	掻器	86	M35		2	(71)	23	7	(13.1)	黒曜石3	1221	5719		
III-118	98	67	掻器	90	J33 M35 N35		24 462 41	(102)	20	5	(10.1)	黒曜石5	1221	5719		
III-119	98	68	掻器		M36	I	1	(50)	30	8	(11.3)	黒曜石5	1221	5719		
III-119	98	69	掻器	86	M35		538	(60)	29	8	(18.1)	黒曜石5	1221	5719		
III-119	98	70	掻器	89	S29		424	95	37	11	44.8	黒曜石5				
III-119	98	71	掻器	88	R32		116	(103)	32	8	(22.0)	黒曜石1				
III-119	98	72	石刀 掻器 石刀 掻器	90 82	K33 M36 K32 M36		50 65 12 3	(181)	47	9	(67.0)	黒曜石1	701	3220		
III-119	98	73	掻器	83	N38		1	113	62	18	121.1	黒曜石1				
III-119	98	74	掻器	88	P33		26	66	46	7	22.6	黒曜石1				
III-119	98	75	鎌形石器	89	R30		221	53	30	6	8.7	頁岩		5626		
III-119	98	76	鎌形石器	82	L37		285	72	29	9	18.6	黒曜石4	562	2819		
III-119	98	77	鎌形石器	84	O36		37	75	16	8	8.2	頁岩				
III-119	98	78	鎌形石器	85	O35		173	83	25	9	16.9	黒曜石4				
III-120	98	79	鎌形石器		M37	I	1	84	22	7	10.8	黒曜石4	595	2934		
III-120	98	80	鎌形石器	86	N35		123	100	29	8	18.9	黒曜石5				
III-120	99	81	削器		M38	I	8	95	28	7	20.7	黒曜石5	586	2903		
III-120	99	82	削器	84	Q36		25	99	45	13	44.7	黒曜石3	613	2964		
III-120	99	83	削器	83	L40 N37 N38		139 102 900	100	32	8	17.8	黒曜石5	586	2903		
III-120	99	84	削器	83	N38		1119	59	26	6	8.1	黒曜石3	576	2879		
III-120	99	85	削器	85	P35		607	(45)	23	8	(8.1)	黒曜石1	609	2958		
III-120	99	86	削器	83	M38		65	(61)	24	7	(8.7)	黒曜石5	586	2903		
III-120	99	87	削器	82	L38		51	(60)	(25)	(6)	(6.8)	黒曜石1	550	2895		
III-120	99	88	削器		O36 O36	I I	2 31	81	34	10	(25.0)	黒曜石4	715	3251		
III-120	99	89	削器	84	Q36		9	107	31	10	35.2	黒曜石5				
III-120	99	90	削器		M39	I	1	131	37	15	82.8	黒曜石5				

上白滝8遺跡(2)

神国	図版	番号	形種名	石部アロップ	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	材質	母岩番号	接合番号	備考
III-120	99	91	簡器	86	N35 N36		1 115	116	38	35	64.8	黒曜石5	586	2903	
III-121	99	92	簡器	85	P35 P35		1 4	127	48	10	66.1	黒曜石1		57945	
III-121	99	93	石刀 簡器	84	P37 P37 P37 P38	I I I I	2 1 18 2	170	29	13	56.8	黒曜石1	610	2959	
III-121	99	94	簡器	84	P37 P37 P37	I I I	16 2 3	116	35	18	64.7	黒曜石1	610	2959	
III-121	99	95	簡器	86	N34		400	85	42	22	67.8	黒曜石1	590	2916	
III-121	99	96	簡器	85	P35 P35		580 589	78	28	12	25.8	黒曜石4	624	2983	
III-121	100	97	簡器	85	P35 P35 P35		2 167 478	(85)	37	18	(35.6)	黒曜石4	624	2982	
III-121	100	98	簡器	82	K37 K37		218 358	88	48	18	74.9	黒曜石4	552	2808	
III-121	100	99	簡器	87	R33 R33 S32		316 465 273	91	41	19	75.0	黒曜石4	662	3102	
III-122	100	100	簡器	86	M35 N34		76 415	99	42	23	94.2	黒曜石4	565	2934	
III-122	100	101	簡器	86	N34 N35		980 54	115	50	32	180.5	黒曜石4	562	2925	
III-122	100	102	簡器	86	N34 N34		946 1221	115	63	23	146.1	黒曜石4	562	2925	
III-122	100	103	舟底形石器		P35	II	3	10	26	4	1.0	黒曜石4			
III-122	100	104	舟底形石器	85	O35		122	10	27	4	1.2	黒曜石4			
III-122	100	105	舟底形石器	86	M35		384	10	30	4	1.2	黒曜石4			
III-122	100	106	舟底形石器	82	L36		10	13	32	5	1.7	黒曜石1			
III-122	100	107	舟底形石器	85	P36		6	13	35	7	2.7	黒曜石5			
III-122	100	108	舟底形石器	85	N36		227	13	37	6	2.2	黒曜石4			
III-122	100	109	舟底形石器	86	N34		937	25	51	18	19.6	黒曜石4	604	2951	
III-122	100	110	舟底形石器	83	N38		498	23	63	15	15.0	黒曜石4			
III-122	100	111	舟底形石器	87	R33		595	22	62	16	21.0	黒曜石4			
III-122	100	112	舟底形石器	83	N38		725	28	64	13	16.3	黒曜石4			
III-123	100	113	舟底形石器	82	K36 K37		39 428	36	67	20	25.9	黒曜石4	559	2816	
III-123	100	114	舟底形石器	86	N33 N35		129 268	34	73	20	32.0	黒曜石4	589	2945	
III-123	100	115	舟底形石器	89	R30 R30		404 420	27	80	19	22.1	黒曜石4	664	3109	
III-123	100	116	舟底形石器	85	P35		464	25	80	19	30.9	黒曜石1	609	2958	
III-123	101	117	舟底形石器	86	N34		1186	25	84	22	38.5	黒曜石4	595	2934	
III-123	101	118	舟底形石器	85	P35		513	35	80	22	46.2	黒曜石1	609	2958	
III-123	101	119	舟底形石器	86	N34 N34		763 1408	33	77	17	35.4	黒曜石4	606	2953	
III-123	101	120	舟底形石器	86	M35 M35		3 4	22	92	19	29.5	黒曜石4	602	2948	
III-124	101	121	舟底形石器	86	M35 M35 N35		370 544 224	24	115	21	48.5	黒曜石4	599	2945	
III-124	101	122	舟底形石器	86	N34 N34		430 1302	35	112	24	54.3	黒曜石4	606	2953	
III-124	101	123	舟底形石器	83	N38 N38		726 727	27	120	15	36.9	黒曜石3		57935	
III-124	101	124	舟底形石器	86	N35		122	28	119	20	47.8	黒曜石4			
III-124	101	125	舟底形石器	89	R30 不明		419 不明	45	117	48	159.7	黒曜石4	722	3268	
III-125	101	126	舟底形石器	87	R33 R33		114 855	31	93	34	82.8	黒曜石4	662	3102	
III-125	101	127	舟底形石器	83	N38 M38	I	1105 7	44	107	46	179.3	黒曜石4	576	2879	

種別	国産	番号	器種名	器型コード	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	報告番号	備考
III-125	101	128	舟底形石器	85	N36		91	23	58	15	15.0	黒曜石			
III-125	101	129	舟底形石器	85	O36		65	28	76	19	32.2	黒曜石	G24	2983	
III-125	102	130	舟底形石器	82	L37		67	31	77	18	32.4	黒曜石		563	2820
III-125	102	131	舟底形石器	87	S33		43	24	83	21	36.3	黒曜石		662	3102
III-126	102	132	舟底形石器	86	N35		66	37	89	30	66.0	黒曜石		591	2924
					N35		136								
III-126	102	133	舟底形石器	82	L37		157	33	101	12	30.4	黒曜石		551	2807
					L37	II	29								
III-126	102	134	舟底形石器	82	L37		205	44	103	17	(67.5)	黒曜石		551	2897
					L37		283								
III-126	102	135	舟底形石器	83	M38		5	45	174	21	138.4	黒曜石		57934	
					N38		668								
III-127	102	136	舟底形石器	82	K37		718	22	57	16	18.3	黒曜石	G3		
III-127	102	137	舟底形石器	86	N34		95	(13)	(29)	(17)	(4.6)	黒曜石	G4	593	2927
III-127	102	138	舟底形石器	82	L36		80	(19)	(32)	(23)	(14.1)	黒曜石	G1	550	2805
III-127	102	139	舟底形石器	82	L37		227	(23)	(57)	(23)	(28.7)	黒曜石	G1	550	2805
					L37		331								
					L37		383								
					L37	II	24								
III-127	102	140	舟底形石器	86	M34		27	(19)	(29)	(22)	(9.4)	黒曜石	G1	590	2916
III-127	102	141	舟底形石器	88	S31		4	24	(56)	35	(34.7)	黒曜石	G4	887	3883
III-127	102	142	舟底形石器	86	N35		96	28	(72)	33	(57.0)	黒曜石	G4	595	2934
III-127	102	143	舟底形石器	87	S33		443	(29)	(39)	18	(18.5)	黒曜石	G4	662	3102
III-127	102	144	舟底形石器	87	Q34		149	26	80	28	49.7	黒曜石	G4	652	3050
					R33		782								
III-127	102	145	舟底形石器		P35	I	2	21	66	14	16.5	黒曜石	G4	652	3050
III-128	103	146	石刃核		O36	I	3	45	34	23	38.5	黒曜石	G4	627	2986
III-128	103	147	石刃核	87	R35		2	35	42	44	76.9	黒曜石	G4	626	2985
III-128	103	148	石刃核	85	O35		61	54	33	24	38.6	黒曜石	G4	617	2974
III-128	103	149	石刃核		Q30	I	1	48	53	22	68.0	黒曜石	G4	856	3781
III-128	103	150	石刃核		O36	I	4	62	54	30	99.8	黒曜石	G1	609	2958
III-128	103	151	石刃核	82	L37		22	66	48	23	75.3	黒曜石	G1	550	2805
III-128	103	152	石刃核	82	K37		7	71	61	34	126.9	黒曜石	G4	552	2808
III-128	103	153	石刃核	86	N34		1013	75	54	29	114.0	黒曜石	G4	606	2953
III-128	103	154	石刃核	83	M38		148	80	61	33	(120.0)	黒曜石	G5	586	2903
					M38		455								
					N38		525								
					N38		617								
					N38		848								
III-128	103	155	石刃核	87	R33		1190	84	63	34	148.3	黒曜石	G1	638	3016
III-128	103	156	石刃核	86	N34		581	73	55	36	171.5	黒曜石	G1	590	2916
III-129	103	157	石刃核	86	N34		1030	74	63	48	239.0	黒曜石	G1	590	2916
III-129	104	158	石刃核	82	K36		173	70	81	48	239.4	黒曜石	G4	568	2853
III-129	104	159	石刃核	86	N34		920	58	71	46	231.7	黒曜石	G1	590	2916
III-129	104	160	石刃核	86	N35		249	101	108	39	396.0	黒曜石	G1	589	2915
III-129	104	161	石刃核		M38	I	5	95	122	79	834.9	黒曜石	G1	575	2878
III-130	104	162	石刃核	86	N34		393	88	65	27	129.1	黒曜石	G4	595	2934
III-130	104	163	石刃核	82	L36		107	60	49	30	75.0	黒曜石	G4	559	2816
III-130	104	164	石刃核	87	R35		3	49	52	41	94.4	黒曜石	G4	663	3104
III-130	104	165	石刃核		N38	I	11	50	53	42	96.8	黒曜石	G4	577	2881
III-130	105	166	石刃核	83	N38		992	65	48	39	110.3	黒曜石	G4	576	2879
III-130	105	167	石刃核	82	K37		10	44	59	50	111.2	黒曜石	G4	573	2871
III-130	105	168	石刃核	82	K37		86	78	81	78	278.0	黒曜石	G4	570	2861
III-130	105	169	石刃核	84	Q36		1	99	59	69	364.5	黒曜石	G4		
III-131	105	170	石刃核	87	R35		77	37	56	62	112.1	黒曜石	G4	618	2975
III-131	105	171	石刃核	87	R35		1	40	35	57	77.6	黒曜石	G4	619	2976
III-131	105	172	石刃核	85	P35		238	45	32	42	57.6	黒曜石	G4	619	2976
III-131	105	173	石刃核		Q36	I	1	89	44	40	139.3	黒曜石	G1	588	2913
III-131	105	174	石刃核	87	R33		836	58	34	32	53.7	黒曜石	G4	650	3047
III-131	105	175	石核		N33	I	1	50	57	39	98.8	黒曜石	G4	798	3543
III-131	105	176	石核		Q33	I	8	68	45	32	88.1	黒曜石	G4	656	3086
					Q33	I	9								
III-131	105	177	石核	86	N35		124	55	66	35	97.8	黒曜石	G4	593	2927
III-131	105	178	石核	86	M35		588	55	67	24	85.4	黒曜石	G4	601	2947
III-131	106	179	石核	87	S32		20	65	73	37	153.8	黒曜石	G4	597	2939

上白滝8遺跡(2)

神田	図版	番号	器物名	石部アワック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
III-131	106	180	石核	86	N34		582	67	70	44	196.0	黒曜石	586	2938	
III-132	106	181	石核		Q34	I	1	83	53	36	176.4	黒曜石	633	3000	
III-132	106	182	石核	85	P35 P35 P35		222 401 402	113	85	62	574.2	黒曜石	608	2957	
III-132	106	183	石核	86	N35		213	71	48	24	71.3	黒曜石	589	2945	
III-132	106	184	石核	83	N38		1101	52	23	18	33.7	黒曜石	582	2895	
III-132	106	185	石核		Q31	I	1	50	55	77	150.0	黒曜石	664	3109	
III-132	106	186	石核		M38	I	38	69	45	36	90.8	黒曜石	584	2900	
III-132	106	187	石核	86	N34		996	40	88	34	132.9	黒曜石	591	2924	
III-132	106	188	石核	86	N34		330	67	47	71	231.0	黒曜石	592	2925	
-	107	216	矢頭器	86	N35		49	149	73	15	183.0	黒曜石			
-	107	217	両面調整石器	85	N36 P35		25 433	240	130	25	664.3	黒曜石		5717	
-	107	218	掻器	88	R32		29	(48)	(35)	(12)	(20.0)	黒曜石			
-	107	219	削器	89	S29		57	(63)	29	10	(15.7)	頁岩		5926	
-	107	230	削器	83	N38 N38		512 2	89	53	25	90.8	黒曜石	581	2893	
-	107	231	舟底形石器	85	P35		288	12	(33)	6	(2.2)	黒曜石			
-	107	222	舟底形石器	89	R30 R30		184 392	23	(64)	18	(16.6)	黒曜石	747	3395	
-	107	223	舟底形石器	89	R30		488	33	85	44	71.1	黒曜石	723	3271	
-	108	224	石刃	83	N38 N38		641 775	164	46	11	66.0	黒曜石	5796		
-	108	225	石刃	83	N38 N38		431 639	(152)	(59)	12	(115.8)	黒曜石	5796		産地分析 X388
-	108	226	石刃	83	M38		319	143	40	15	68.7	黒曜石			
-	108	227	石刃	83	N38		640	219	60	21	242.6	黒曜石			
-	108	228	曜石	83	N38		669	279	30	20	(212.1)	黒曜石			
-	109	229	石刃核	87	S33		708	54	43	27	32.4	黒曜石			
-	109	230	石刃核		Q35	I	10	62	45	34	92.9	黒曜石			
-	109	231	石刃核	82	K37		808	60	55	35	94.0	黒曜石			
-	109	232	石刃核	82	K37		877	50	69	59	169.5	黒曜石			
-	109	233	石核	87	S33		704	55	38	20	37.2	黒曜石		5727	
-	109	234	石核	89	R30		222	54	56	42	134.8	黒曜石	799	3545	
-	109	235	石核	83	M38		265	48	58	38	94.4	黒曜石			
-	109	236	石核	86	N35		125	85	94	72	542.5	黒曜石			
-	109	237	石核	85	P35		274	115	117	58	632.7	黒曜石			
III-176	140	1	矢頭器		J33 J33	I	2 3	142	38	10	54.4	黒曜石		57982	
III-176	140	2	彫器	90	K32		1417	43	19	7	3.8	頁岩			
III-176	140	3	彫器	90	L31		166	83	46	17	65.2	黒曜石	740	3358	
III-176	140	4	掻器	90	I32		85	58	23	8	10.9	黒曜石			
III-176	140	5	掻器	90	K32		1661	44	21	7	4.8	黒曜石			
III-176	140	6	掻器	90	J32		24	(42)	28	9	(9.6)	黒曜石	688	3185	
III-176	140	7	舟底形石器	90	J32		778	26	87	18	27.8	黒曜石			
III-176	140	8	細石刃核	90	L32		2623	18	35	8	5.6	黒曜石			
III-176	140	9	彫器削片	90	J32 J32		335 743	(95)	7	10	(4.9)	黒曜石		57975	
III-176	140	10	削器	90	K32		1409	130	63	12	73.4	黒曜石			
III-176	140	11	石刃	90	L31 L31 L31		123 160 299	(255)	(30)	(17)	(77.0)	黒曜石	703	3227	
III-177	140	12	石刃	90	K32 L31 L31 L31		328 115 189 643	228	47	18	129.6	黒曜石	704	3228	
III-177	141	13	石刃	90	K31		464	(160)	46	21	(126.6)	黒曜石	691	3195	
III-177	141	14	石刃	90	K32 K32 K32		713 1015 1120	172	49	16	96.3	黒曜石	688	3185	
III-177	141	15	石刃	90	J33		27	66	16	7	7.6	頁岩			
III-177	141	16	石刃	90	K32 K32 K32		536 1063 1573	131	39	8	35.3	黒曜石	693	3201	

上白滝8遺跡(2)

神田	図取	番号	器種名	石部アット	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
					J32		60B								
III-181	144	31	石刃	90	J32		258	(211)	56	16	(132.6)	黒曜石	688	3185	
					K32		480								
					K32		668								
					K32		1996								
III-182	145	32	石刃核	90	K33		1	162	110	64	1237.7	黒曜石	684	3160	
III-182	146	33	石刃核	90	L32	I	8	197	112	76	1683.0	黒曜石	704	3228	
III-182	146	34	石刃核	90	J33		12	218	132	82	2336.4	黒曜石	688	3185	
III-183	147	35	石刃核	90	K31		1	225	106	81	2053.2	黒曜石	697	3210	
III-183	148	36	石刃核	90	K32		1943	215	124	102	3697.2	黒曜石	690	3194	
III-184	147	37	石刃核	90	K32	I	3	191	123	107	2821.3	黒曜石	700	3218	
III-184	149	38	石刃核	90	K32		700	205	162	101	4173.3	黒曜石	704	3228	
III-185	150	39	石刃核	90	L32		1000	196	113	128	2508.7	黒曜石	705	3231	
III-185	150	40	石刃核	90	J33		20	224	120	120	3616.3	黒曜石	686	3162	
III-186	151	41	石刃核	90	K31		2	253	140	128	5091.1	黒曜石	696	3207	
III-186	152	42	石刃核	90	K32		777	92	145	64	893.1	黒曜石	694	3203	
III-187	152	43	石刃核	90	J33	I	1	231	125	180	5800.0	黒曜石	714	3250	
III-187	152	44	石核	90	L32		1504	64	63	30	121.6	黒曜石			
III-187	152	45	石核	90	K31		1041	45	64	17	56.3	黒曜石			
III-188	153	46	石核	90	J32		790	202	151	91	2232.6	黒曜石	710	3239	
III-188	154	47	石核	90	J31		271	268	111	158	4438.0	黒曜石	685	3161	
III-189	144	48	石核	90	K31		160	368	186	155	10439.0	黒曜石	713	3247	
—	154	60	舟底形石器	90	J33		25	20	80	10	14.0	黒曜石		5946	
III-218	173	1	尖頭器	95	L27		1151	59	41	8	10.5	黒曜石			産地分析 X32
III-218	173	2	尖頭器	95	J29		96	68	40	9	15.4	黒曜石			水和層 H187
III-218	173	3	尖頭器	95	M27		286	77	37	12	17.3	黒曜石			水和層 H188
III-218	173	4	尖頭器	95	M29		662	91	45	11	27.3	黒曜石	57993		産地分析 X251
					M29		868								
III-218	173	5	尖頭器	95	N29		418	(110)	48	11	(36.7)	黒曜石	937	4072	
					O29		1206								
III-218	173	6	尖頭器	95	P28		5634	113	49	12	(41.0)	黒曜石	57997		産地分析 X252
					P28		7596								
III-218	173	7	尖頭器	95	M27		290	(157)	68	16	(139.0)	黒曜石	785	3506	
					N27		336								
III-219	173	8	尖頭器	95	N29		1041	116	73	17	94.5	黒曜石	783	3501	
					N29		1206								
					N29		1310								
III-219	173	9	尖頭器	95	M23		373	101	66	19	80.4	黒曜石	1067	4433	
III-219	173	10	尖頭器	95	K29		321	52	32	9	11.7	黒曜石			産地分析 X255
III-219	173	11	尖頭器	95	O29		464	74	55	21	58.4	黒曜石			産地分析 X219
III-219	174	12	尖頭器	95	P28		5760	77	56	18	(48.4)	黒曜石	57990		産地分析 X250
					Q27		906								
					Q27		908								
III-219	174	13	尖頭器	95	L30		270	77	64	17	77.0	黒曜石			産地分析 X218
III-219	174	14	尖頭器	95	M31		1	77	67	16	70.3	安山岩			
III-219	174	15	尖頭器	95	M30		795	(86)	69	16	(63.5)	黒曜石	727	3285	
III-220	174	16	尖頭器	95	M29		731	109	69	16	91.8	黒曜石	740	3358	
					M29		782								
					M30		439								
					N29		1175								
III-220	174	17	尖頭器	95	L30		50	121	61	16	(99.0)	黒曜石	727	3285	
III-220	174	18	尖頭器	95	L30		70	143	88	13	(103.2)	黒曜石	735	3329	
					M30		184								
					M30		538								
					N30		432								
III-220	174	19	尖頭器	95	P26		167	(88)	(69)	(14)	(61.0)	黒曜石	754	3418	
					P26		235								
III-220	175	20	尖頭器	95	M23		82	109	75	24	148.9	黒曜石	1054	4387	
III-220	175	21	尖頭器	95	J29		124	113	53	11	52.4	黒曜石	786	3509	
					L27		1250								
					L27		1251								
III-221	175	22	尖頭器	95	P25		513	(36)	(17)	(6)	(4.5)	黒曜石			
III-221	175	23	尖頭器	95	P28	II	11	(21)	(14)	(4)	(1.1)	黒曜石			
III-221	175	24	尖頭器	95	R29		35	59	26	16	19.8	黒曜石			
III-221	175	25	尖頭器	95	P25		212	95	43	14	51.8	黒曜石	775	3493	

群団	図版	番号	器種名	石器プロファイル	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	採集番号	備考
III-221	175	26	尖頭器	95	P.25		288	97	45	13	51.7	黒曜石1	767		
III-221	175	27	尖頭器	93	P.28		6159	148	29	10	111.1	黒曜石5	759	3435	
III-221	175	28	尖頭器	95	M27 N27		609 1649	135	82	23	219.5	黒曜石1	737	3337	
III-221	175	29	尖頭器	93	N.29 P.28		1094 6480	132	40	16	72.4	黒曜石2	788	3514	
III-221	175	30	尖頭器	95	L.28 M28		1302 2	126	39	16	85.2	黒曜石1	749	3397	
III-221	176	31	尖頭器	95	L.28 L.28 M28	I	370 854 1	168	50	23	198.4	黒曜石1	749	3397	
III-222	176	32	尖頭器	93	P.28 P.29		7692 493	150	54	8	60.1	黒曜石4		5740	
III-222	176	33	尖頭器	95	L.28 L.28 L.28		328 1299 1300	134	63	17	133.0	黒曜石1		57985	
III-222	176	34	尖頭器	93	P.29		1048	126	21	7	21.9	頁岩			
III-222	176	35	尖頭器	93	N.29 O.29		631 2001	282	93	25	619.1	黒曜石4	861	3897	
III-223	177	36	尖頭器	95 93	M29 P.28 Q.28 O.28	I	1 28 35 2	195	51	7	63.8	黒曜石4		5955	
III-223	177	37	尖頭器	95	O.27 O.28		1449 1024	176	69	12	139.8	黒曜石4	849	3740	
III-223	177	38	尖頭器	93	P.28 P.29 O.29	I	3207 808 1	193	57	13	111.6	黒曜石4		5954	
III-223	177	39	尖頭器	95	L.29 L.29		27 225	251	72	19	344.5	黒曜石3	812	3600	
III-224	178	40	尖頭器	93	P.28 P.28 P.29 P.29 Q.27		1318 1900 388 1251 427	215	65	21	235.1	黒曜石4	853	3763	
III-224	178	41	尖頭器	95	K.30 L.27 L.28 M27		105 1150 191 1150	259	70	22	318.2	黒曜石1	736	3336	
III-224	178	42	尖頭器	93	P.29		903	147	57	21	43.7	黒曜石4	887	3883	
III-225	179	43	尖頭器	95	K.29 L.28		77 55	219	92	18	359.2	黒曜石1		57984	
III-225	178	44	尖頭器	95	M28 M28		1 856	221	110	23	521.9	黒曜石1		57998	
III-226	179	45	尖頭器	95	M28 M28 M28		3 422 831	273	108	30	699.5	黒曜石1	748	3396	
III-226	180	46	尖頭器	93	R.28		1	95	117	24	192.2	黒曜石4	807	3583	
III-227	180	47	尖頭器	95	L.28 L.28 L.28 L.28 L.28 L.28 L.28 M28		43 151 468 990 1536 1714 1787 140	295	94	23	542.1	黒曜石3	816	3617	
III-228	181	48	尖頭器	95	L.28 M27 M27 M28 L.28	I	800 1047 1048 139 1	343	104	28	700.3	黒曜石3		5924	
III-229	181	49	尖頭器	93	O.28		552	47	30	9	11.9	黒曜石4	807	3583	
III-229	181	50	尖頭器	95	O.25		181	43	37	12	24.1	黒曜石4	852	3759	
III-229	181	51	尖頭器	93	P.28		3322	71	31	10	17.6	黒曜石4	852	3759	
III-229	181	52	尖頭器	95	N.26		220	71	41	14	39.0	黒曜石4	852	3759	

上白滝8遺跡(2)

神田	図版	番号	器種名	石部アット	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	組合番号	備考
III-229	181	53	尖頭器	95	O27		175	84	35	11	29.0	黒曜石	849	3740	
III-229	181	54	尖頭器	95	N26		320	90	42	16	48.0	黒曜石	852	3759	
III-229	181	55	尖頭器	93	O30		1451	127	52	13	88.1	黒曜石	862	3809	
					P29		360								
III-229	182	56	尖頭器	93	P28		6836	140	58	12	77.1	黒曜石		5744	
					P29		386								
					Q27		560								
III-229	182	57	尖頭器	93	P29		1097	86	29	25	52.1	黒曜石	876	3849	
III-229	182	58	尖頭器	92	N32		64	55	47	19	39.3	黒曜石	716	3252	
III-229	182	59	尖頭器	92	M32		511	58	72	26	84.6	黒曜石	716	3252	
III-229	182	60	尖頭器断片	95	N26		293	89	11	21	10.0	黒曜石	852	3759	
					O25		179								
III-229	182	61	尖頭器断片	93	O30		448	91	13	31	23.8	黒曜石	862	3809	
					O30		642								
III-229	182	62	尖頭器断片	93	N31		218	(61)	14	22	(14.1)	黒曜石	862	3809	
III-229	182	63	尖頭器断片	95	N27		1740	54	13	14	7.8	黒曜石	852	3759	
III-229	182	64	尖頭器断片	95	O27		1149	73	9	17	5.2	黒曜石	849	3740	
					O28		967								
					O28		1690								
III-229	182	65	尖頭器断片	95	M27		27	(73)	18	12	(11.1)	黒曜石	852	3759	
					M27	I	5								
III-229	182	66	尖頭器断片	95	L26		185	(50)	19	9	(3.0)	黒曜石	852	3759	
III-229	182	67	尖頭器断片	95	N27		530	(47)	10	6	(2.2)	黒曜石	852	3759	
III-229	182	68	尖頭器断片	93	P28		3521	56	12	6	3.4	黒曜石	849	3740	
III-229	182	69	尖頭器断片	95	N27		1681	(47)	15	3	(2.2)	黒曜石	852	3759	
III-229	182	70	尖頭器断片	93	P28		67	(56)	12	7	(4.1)	黒曜石	849	3740	
III-229	182	71	尖頭器断片	95	N26		206	69	13	19	9.2	黒曜石	852	3759	
					M26	II	11								
III-229	182	72	尖頭器断片	95	N27		95	72	21	17	18.5	黒曜石	852	3759	
III-229	182	73	尖頭器断片	93	O28		840	(49)	12	15	(5.5)	黒曜石	807	3583	
III-231	183	74	両面調整石器	95	M28		393	185	118	66	1051.3	黒曜石			
III-231	183	75	両面調整石器	95	J29		81	46	33	9	9.7	黒曜石			
III-231	183	76	両面調整石器	95	L27		259	(101)	73	26	(173.4)	黒曜石	940	4087	
III-232	183	77	両面調整石器	93	P28		2680	210	133	42	1178.3	黒曜石		5742	
					Q28		428								
III-233	184	78	ナイフ形石器	95	P22		1	35	18	6	2.9	黒曜石			
III-233	184	79	ナイフ形石器	95	O27		507	48	23	6	5.4	黒曜石			
III-233	184	80	ナイフ形石器	95	M28		464	59	27	7	8.3	黒曜石		水和層 W17	
III-233	184	81	ナイフ形石器	95	N27		160	35	21	9	4.1	黒曜石			
III-233	184	82	ナイフ形石器	95	N28		47	52	25	10	8.0	黒曜石	933	4061	
					O27		410								
III-233	184	83	ナイフ形石器	95	N28		250	54	24	7	5.9	黒曜石		水和層 W18	
III-233	184	84	ナイフ形石器	95	P25		25	84	33	8	14.3	黒曜石	5748	産地分析 X13	
					Q25		15								
III-233	184	85	ナイフ形石器	93	Q26		147	44	23	7	5.7	黒曜石			
III-233	184	86	ナイフ形石器	95	N27		1717	47	21	7	5.1	黒曜石	934	4063	
III-233	184	87	ナイフ形石器	95	M27		734	54	22	7	6.0	黒曜石	732	56678	
					O25		36								
III-233	184	88	ナイフ形石器	95	O27		1111	57	23	6	6.2	黒曜石			
III-233	184	89	ナイフ形石器	95	N28		165	90	36	11	24.0	黒曜石		54241	
					P45	III	1								
III-233	184	90	ナイフ形石器	95	N28		248	95	37	9	23.3	黒曜石		58001	
					N28		333								
III-233	184	91	ナイフ形石器	95	N29		544	94	37	11	31.7	黒曜石		934	4063
III-233	184	92	ナイフ形石器	95	N27		535	(88)	30	11	(17.6)	黒曜石			
III-233	184	93	ナイフ形石器	95	M28		85	97	30	7	17.0	黒曜石			
III-234	184	94	ナイフ形石器	95	J25		11	(48)	(32)	(11)	(11.0)	黒曜石			
III-234	184	95	ナイフ形石器	95	O25		255	(60)	(36)	(13)	(30.0)	黒曜石	933	4061	
					P25	I	15								
III-234	184	96	ナイフ形石器	95	P24		23	(49)	(29)	(84)	(11.7)	黒曜石	732	3317	
III-234	184	97	ナイフ形石器	95	N27		209	(64)	33	13	(20.3)	黒曜石	732	3316	
III-234	184	98	ナイフ形石器	95	N29		330	(118)	47	18	(67.3)	黒曜石	732	3316	
III-234	184	99	彫器	93	Q28		366	31	15	5	2.1	黒曜石			
III-234	184	100	彫器	93	O29		1004	36	17	7	4.0	黒曜石			
III-234	184	101	彫器	93	O29		59	45	19	4	3.8	黒曜石			

種別	図版	番号	器種名	心器フリップ	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	採合番号	備	考
III-234	184	102	彫器	93	O31		88	52	20	4	4.5	黒曜石G4	856	3781		
III-234	184	103	彫器	93	O29		72	52	19	6	6.1	黒曜石G1	726	3283		
III-234	184	104	彫器	93	O29		909	65	26	5	6.5	黒曜石G4	867	3823		
III-234	185	105	彫器	93	P28		7594	37	18	6	3.5	黒曜石G1				
III-234	185	106	彫器	93	P29		492	37	15	6	2.9	黒曜石G1				
III-234	185	107	彫器	93	Q27		469	43	18	6	4.5	黒曜石G4				
III-234	185	108	彫器	93	P28		1418	51	18	8	7.0	黒曜石G5				
III-234	185	109	彫器	95	O28		423	52	17	6	4.6	黒曜石G1				
III-234	185	110	彫器	93	P28		3741	53	19	7	8.2	黒曜石G1				
III-234	185	111	彫器	93	P27		419	98	34	9	27.9	黒曜石G5	741	3362		
III-234	185	112	彫器	93	P28		5040	30	16	5	2.4	黒曜石G4	857	3783		
III-234	185	113	彫器	93	P28		2760	37	15	6	3.2	黒曜石G4	857	3783		
III-234	185	114	彫器	93	P29		359	39	17	8	4.3	黒曜石G1				
III-234	185	115	彫器	93	O28		1042	41	18	6	4.7	黒曜石G1				
III-234	185	116	彫器	91	G34		42	43	17	9	6.0	頁岩				
III-234	185	117	彫器	93	P28		4992	47	17	5	4.4	黒曜石G1				
III-234	185	118	彫器	93	O29		1840	75	25	8	15.9	黒曜石G1				
III-235	185	119	彫器	95	O28		430	35	15	7	3.8	黒曜石G1				
III-235	185	120	彫器	93	O29		2440	39	17	7	4.6	黒曜石G4	857	3783		
III-235	185	121	彫器	93	P28		7860	40	19	7	4.9	黒曜石G4				
III-235	185	122	彫器	93	P29		237	43	17	8	5.4	黒曜石G1				
III-235	185	123	彫器	93	Q27		261	50	20	8	7.5	黒曜石G1				
III-235	185	124	彫器	93	P28		4518	50	20	6	5.9	黒曜石G1				
III-235	185	125	彫器	93	Q27		411	54	18	7	7.0	黒曜石G1	755	3420		
III-235	185	126	彫器	93	P29		158	36	16	6	3.3	黒曜石G1				
III-235	185	127	彫器	93	P28		5392	37	19	8	4.5	黒曜石G1				
III-235	185	128	彫器	93	O29		1442	46	21	8	6.4	黒曜石G1	726	3283		
III-235	185	129	彫器	93	Q27		97	44	24	9	9.4	黒曜石G4	867	3883		
III-235	185	130	彫器	93	P28		7818	51	24	7	7.1	黒曜石G4	878			
III-235	185	131	彫器		Q25	I	7	34	13	5	2.4	頁岩				
III-235	185	132	彫器	95	N28		80	95	29	8	19.9	黒曜石G1				
III-235	185	133	彫器	93	P28		2311	64	38	6	13.1	黒曜石G4	857	3783		
III-235	185	134	彫器	93	O28		1989	58	41	14	27.6	黒曜石G1	729	3295		
III-235	185	135	彫器	95	P25		213	54	24	14	20.5	黒曜石G1	732			
III-235	185	136	彫器	95	N28 N29		55 56	116	46	17	72.3	黒曜石G1	732	3316		
III-235	185	137	彫器	95	P25		447	(29)	(43)	(16)	(14.0)	黒曜石G1	933			
III-235	186	138	彫器	95	J30		183	38	41	15	23.3	黒曜石G1	728	3287		
III-236	186	139	彫器	95	J29		162	49	27	11	13.8	黒曜石G1		5749		
III-236	186	140	彫器	95	O27		645	59	37	13	29.1	黒曜石G1	734	3326		
III-236	186	141	彫器		L27	II	4	(32)	(25)	(16)	(10.6)	安山岩	944	4093		
III-236	186	142	彫器	95	M27		911	82	55	24	107.1	黒曜石G1	729	3294		
III-236	186	143	彫器	95	P25		421	58	54	18	66.8	黒曜石G1	734	3324		
III-236	186	144	彫器	95	O26		63	64	33	11	23.1	黒曜石G1	732	3316		
III-236	186	145	彫器	95	N27 N28		99 160	82	30	10	19.3	黒曜石G1		5956		
III-236	186	146	彫器	93	P27		321	109	62	27	137.0	黒曜石G1	732	3415		
III-236	186	147	彫器	95	K30		469	(29)	30	7	(5.6)	黒曜石G1	728	3287		
III-236	186	148	彫器	95	N27 N27		129 285	119	42	14	49.5	黒曜石G1		5750		
III-237	186	149	彫器削片		Q27	II	2	18	5	3	0.2	黒曜石G1				
III-237	186	150	彫器削片		Q28	II	1	20	6	1	0.2	黒曜石G1				
III-237	186	151	彫器削片		Q28	II	2	20	4	1	0.2	頁岩				
III-237	186	152	彫器削片		N29	II	5	23	5	2	0.2	黒曜石G1				
III-237	186	153	彫器削片		Q28	II	3	(8)	(5)	(2)	(0.1)	頁岩				
III-237	186	154	彫器削片		J29	II	2	(32)	(8)	(3)	(0.7)	黒曜石G1				
III-237	186	155	彫器削片	93	Q27		815	62	16	10	7.6	黒曜石G1	729	3295		
III-237	186	156	彫器削片	95	L28		1199	(59)	10	9	(3.1)	黒曜石G1		5749		
III-237	186	157	彫器削片	95	L28		1733	(41)	12	15	(4.8)	黒曜石G1		5749		
III-237	186	158	彫器削片	95	O26		324	54	16	8	4.8	黒曜石G1	734	3324		
III-237	186	159	彫器削片	95	O26		357	51	11	8	3.5	黒曜石G1	732	3316		
III-237	186	160	彫器削片	95	N26		34	(58)	8	10	(4.0)	黒曜石G1	732	3316		
III-237	186	161	彫器削片		L27	II	11	24	6	4	0.4	安山岩	944	4093		
III-237	186	162	隕器	93	O29		2190	33	19	7	4.3	黒曜石G5				
III-237	186	163	隕器	95	O28		1327	38	19	6	4.8	黒曜石G1				

上白滝8遺跡(2)

神田	図版	番号	器種名	石部アワック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備	考
III-237	186	164	鉢部	95	O28		100	39	20	9	6.0	黒曜石1				
III-237	186	165	鉢部	95	P27		188	44	25	7	7.2	黒曜石4				
III-237	186	166	鉢部	95	N28		383	44	22	9	6.5	黒曜石4				
III-237	186	167	鉢部		N28	I	1	46	24	9	9.2	黒曜石1				
III-237	186	168	鉢部	93	P28		5898	48	24	7	7.5	黒曜石1				
III-237	186	169	鉢部	93	O29		307	50	26	13	14.2	黒曜石1				
III-237	186	170	鉢部	93	P28		3220	53	25	11	14.1	黒曜石1				
III-237	186	171	鉢部	93	P29		1212	54	24	7	11.0	黒曜石5				
III-237	186	172	鉢部	93	P28		7717	58	19	8	9.9	黒曜石4	876	3849		
III-237	187	173	鉢部	93	O29		1108	57	29	8	12.3	黒曜石1				
III-237	187	174	鉢部	93	P28		5091	58	26	10	14.2	黒曜石1				
III-237	187	175	鉢部	91	H34		25	60	27	11	17.4	黒曜石1				産地分析 X182
III-237	187	176	鉢部	95	N25	1	61	25	10	10	13.3	黒曜石1				
III-237	187	177	鉢部	95	O26		200	39	28	10	15.7	黒曜石1				
III-238	187	178	鉢部	94	I32		150	60	30	8	12.6	黒曜石1				
III-238	187	179	鉢部		O29	I	2	64	23	9	12.8	黒曜石1				
III-238	187	180	鉢部	95	O27		25	66	26	7	11.2	黒曜石4	900	3950		
III-238	187	181	鉢部	93	O29		819	67	27	9	15.8	黒曜石3				
III-238	187	182	鉢部	95	O28		1689	70	23	13	16.3	黒曜石1				
III-238	187	183	鉢部	95	P26		105	71	27	12	20.2	黒曜石4				
III-238	187	184	鉢部	94	I32		201	72	31	11	17.4	黒曜石1				
III-238	187	185	鉢部	91	H34		75	72	32	9	21.3	黒曜石1				
III-238	187	186	鉢部	93	Q28		236	74	29	10	18.1	黒曜石1				58005
III-238	187	187	鉢部		Q28		296									
III-238	187	187	鉢部		G33	I	1	80	28	9	21.8	黒曜石4				
III-238	187	188	鉢部	93	P28		4533	89	29	11	25.6	黒曜石4				
III-238	187	189	鉢部	95	O27		719	43	21	7	5.9	黒曜石4	900	3950		
III-238	187	190	鉢部	93	O29		400	(64)	21	9	(9.3)	黒曜石4	869	3831		
III-238	187	191	鉢部	91	H35		86	86	28	9	19.8	黒曜石1				
III-239	187	192	鉢部		Q25	I	2	50	26	6	6.8	黒曜石1				
III-239	187	193	鉢部		Q25	I	9	50	27	6	6.6	黒曜石1				
III-239	187	194	鉢部	94	I32		200	71	33	6	(14.5)	黒曜石3				
III-239	187	195	鉢部	95	Q24		44	68	33	9	19.7	黒曜石3				58004
III-239	187	195	鉢部		Q24		65									
III-239	187	196	鉢部	95	O26		2	65	28	7	9.8	黒曜石1				
III-239	187	197	鉢部	93	P29		491	55	24	14	15.7	黒曜石1				
III-239	188	198	鉢部	93	P29		38	75	25	16	21.0	黒曜石4				
III-239	188	199	鉢部	95	K29		78	106	27	18	46.9	黒曜石1				5751
III-239	188	200	鉢部	95	P26		1	142	33	14	64.5	黒曜石1				58003
III-239	188	200	鉢部		Q25		1									
III-239	188	201	鉢部	95	L27		1114	104	48	21	110.6	安山岩1				58006
III-239	188	201	鉢部		L28		992									
III-239	188	202	鉢部	95	J30		126	(125)	(47)	8	(35.2)	黒曜石1	727	3285		
III-239	188	202	鉢部	90	J31		546									
III-239	188	202	鉢部	93	K30		401									
III-239	188	202	鉢部	93	K30		447									
III-240	188	203	鎌形石器	93	N29		46	69	21	5	4.1	黒曜石4	857	3783		
III-240	188	203	鎌形石器		N29		123									
III-240	188	203	鎌形石器		O29		1809									
III-240	188	204	鎌形石器	91	G35		23	59	30	7	9.6	黒曜石4				
III-240	188	205	鎌形石器	93	P29		92	(53)	(52)	(14)	(23.7)	黒曜石4				
III-240	188	206	鎌形石器	93	N29		665	89	56	8	34.2	黒曜石4				
III-240	188	207	削部	93	P28		1308	60	20	7	8.2	黒曜石4	876	3849		
III-240	188	208	削部	93	P28		6150	60	22	7	7.8	黒曜石4	857	3783		
III-240	188	209	削部	93	P28		8039									
III-240	188	209	削部	93	P28		421	71	26	13	14.1	黒曜石4	857	3783		
III-240	188	210	削部	93	P29		1046	76	21	10	9.5	黒曜石4	876	3849		
III-240	188	210	削部		P29		1125									
III-240	188	211	削部	93	R26	1	80	24	6	8.8	黒曜石4	857	3783			
III-240	188	212	削部	93	P28		2483	92	31	9	17.8	黒曜石4	857	3783		
III-240	188	212	削部		P28		4239									
III-240	188	212	削部		P28		7474									
III-240	188	213	削部	93	P27		408	77	44	14	32.9	黒曜石4	824	3646		
III-240	188	213	削部		P28		5519									
III-240	188	214	削部	93	P29		603	(48)	(20)	(7)	(6.1)	黒曜石1	758	3434		

種別	国産	番号	器種名	石器ブロー	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	採集番号	備考
III-240	188	215	簡器	93	P27		258	(56)	23	8	(9.1)	黒曜石G4	857	3783	
III-240	189	216	簡器	93	Q29		52	(79)	24	9	(18.1)	黒曜石G4	857	3783	
						I	1								
III-240	189	217	簡器	93	P28		10	95	55	18	78.0	黒曜石G4	927	4044	
III-240	189	218	簡器	93	Q28		335	77	29	10	18.8	黒曜石G1	758	3434	
III-241	189	219	簡器	93	N29		348	95	20	11	14.5	黒曜石G1		58008	
					P28	II	239								
III-241	189	220	簡器	95	L28		10	(133)	49	17	(80.9)	黒曜石G1	738	3339	
III-241	189	221	簡器	93	N29		1697	92	33	19	51.8	黒曜石G1	726	3283	
III-241	189	222	簡器	95	N27		446	(85)	(30)	(14)	(54.1)	黒曜石G1	738	3339	
III-241	189	223	簡器	93	P29		317	35	19	11	6.3	頁岩			
III-241	189	224	簡器	93	N30		278	(116)	40	13	(62.8)	黒曜石G4	856	3781	
					O27		349								
III-241	189	225	簡器	95	N28		330	(89)	(51)	(8)	(35.8)	黒曜石G1			
III-241	189	226	簡器	95	P25		637	89	51	10	38.9	黒曜石G1			
III-241	189	227	簡器	95	N27		1248	93	72	18	122.5	黒曜石G1	729	3293	
III-242	189	228	簡器	95	N26		684	(46)	(28)	(11)	(15.3)	黒曜石G5	933	56844	
					P27	I	9								
III-242	189	229	簡器	93	N29		886	(100)	(47)	(18)	(76.5)	黒曜石G5	935	4064	
					P28		5304								
III-242	190	230	簡器	93	K30		57	142	67	17	114.4	黒曜石G3	935	4064	
					K30		408								
III-242	190	231	簡器	93	O30		1718	64	25	13	26.6	黒曜石G4	856	3781	
III-242	190	232	簡器	93	P28		2635	(65)	37	18	(44.6)	黒曜石G4	889	3898	
III-242	190	233	簡器	93	P29		157	121	48	31	127.5	黒曜石G4	928	4046	
III-242	190	234	簡器	94	I31		37	97	44	19	66.0	黒曜石G4	709	3238	
III-242	190	235	簡器	95	P27		425	(51)	(32)	(17)	(28.2)	黒曜石G4	856	3781	
III-242	190	236	簡器	93	P29		14	(56)	44	15	(24.4)	黒曜石G4	887	3883	
III-243	190	237	舟底形石器		P28	II	12	8	19	3	0.4	黒曜石G4			
III-243	190	238	舟底形石器		P28	II	8	8	25	4	0.8	黒曜石G4	887	3883	
III-243	190	239	舟底形石器		P28	II	10	9	32	3	1.0	黒曜石G4			
III-243	190	240	舟底形石器	93	P28		5008	11	32	5	1.7	黒曜石G4			
III-243	190	241	舟底形石器	93	P29		675	10	35	6	1.3	黒曜石G4			
III-243	190	242	舟底形石器	95	O27		197	11	32	5	1.6	黒曜石G4			
III-243	190	243	舟底形石器	93	P28		3106	11	39	4	1.4	黒曜石G4			
III-243	190	244	舟底形石器	93	P28		5009	10	39	5	1.4	黒曜石G4			
III-243	190	245	舟底形石器	93	P28		6025	10	39	3	1.4	黒曜石G4			
III-243	190	246	舟底形石器	93	N29		304	14	48	7	4.1	黒曜石G4	849	3740	
III-243	190	247	舟底形石器	94	I32		10	10	32	4	1.5	黒曜石G4			
III-243	190	248	舟底形石器	93	P28		4059	11	36	5	2.3	黒曜石G4	887	3883	
III-243	190	249	舟底形石器	93	O29		2307	(12)	(43)	7	(3.1)	黒曜石G4		57979	
					O30		42								
III-243	190	250	舟底形石器	93	P28		2448	20	64	19	21.6	黒曜石G4	873	3840	
III-243	190	251	舟底形石器	93	P28		1639	18	69	22	21.9	黒曜石G4	824	3646	
III-243	190	252	舟底形石器	93	P28		5900	25	70	19	21.1	黒曜石G4	883	3875	
					P28		6280								
III-243	190	253	舟底形石器	94	J31		1387	24	80	19	22.9	黒曜石G4	711	3240	
					J31		2223								
III-243	191	254	舟底形石器	93	P28		425	23	80	21	30.4	黒曜石G4	832	3666	
III-243	191	255	舟底形石器	94	I31		1086	25	83	22	26.3	黒曜石G4	709	3238	
III-244	191	256	舟底形石器	93	P29		602	25	90	22	38.1	黒曜石G4	835	3676	
III-244	191	257	舟底形石器	93	O28		260	20	95	20	(31.4)	黒曜石G4	884	3876	
					O28	I	7								
III-244	191	258	舟底形石器	93	P28		6388	23	100	18	31.8	黒曜石G4	747	3395	
					P29		361								
III-244	191	259	舟底形石器	96	K25		57	24	101	16	37.9	黒曜石G4		57977	
					K25		130								
III-244	191	260	舟底形石器	93	O30		1207	20	(38)	21	(7.8)	黒曜石G1	755	3420	
III-244	191	261	舟底形石器	93	Q28		57	(20)	(27)	(19)	(7.8)	黒曜石G4	914	3992	
III-244	191	262	舟底形石器	93	P28		631	(22)	(32)	(19)	(9.7)	黒曜石G4	912	3990	
III-244	191	263	舟底形石器	93	P29		972	(23)	(46)	(22)	(19.5)	黒曜石G4	904	3964	
III-244	191	264	舟底形石器	93	P28		6494	27	(83)	21	(31.5)	黒曜石G4	911	3989	
					P29		494								
III-245	191	265	舟底形石器	91	H35		17	30	62	14	20.1	黒曜石G4			
III-245	191	266	舟底形石器	93	N30		296	28	69	20	30.9	黒曜石G4	865	3815	

上白滝8遺跡(2)

神田	図版	番号	器種名	石部アワック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	材質	母岩番号	接合番号	備	考
III-245	191	307	舟底形石器	94	H32		1	25	72	18	27.3	黒曜石	789	3238		
III-245	191	308	舟底形石器	96	K24		874	30	98	16	47.9	黒曜石	1069	4456		
					K24		1688									
III-245	191	309	舟底形石器	95	L28		1202	32	108	23	81.4	黒曜石	57978			
					L28		1305									
III-245	191	270	舟底形石器	93	O30		64	24	78	27	39.4	黒曜石	856	3781		
III-245	191	271	舟底形石器	91	I34		21	28	104	16	32.1	黒曜石	670	3132		
					I34	I	1									
III-246	191	272	舟底形石器	93	O30		319	33	112	23	53.4	黒曜石	856	3781		
				95	Q25		2									
III-246	192	273	舟底形石器	94	I31		641	25	53	28	40.4	黒曜石	708	3237		
III-246	192	274	舟底形石器	93	P29		53	32	76	21	52.6	黒曜石	824	3651		
III-246	192	275	舟底形石器	93	O29		1776	25	105	28	65.5	黒曜石	904	3964		
					P28		5499									
III-246	192	276	舟底形石器	93	P29		1158	(17)	(43)	(16)	(9.0)	黒曜石	876	3849		
III-246	192	277	舟底形石器	93	Q27		196	37	44	28	22.2	黒曜石	827	3658		
III-246	192	278	舟底形石器	94	J31		1878	(27)	(59)	(18)	(19.3)	黒曜石	709	3238		
III-247	192	279	舟底形石器	95	L28		994	37	178	29	131.5	黒曜石		5733		
					L28		1298									
III-247	192	280	舟底形石器	95	L28		1306	36	174	27	180.9	黒曜石	57976			
					L28		1785									
III-247	192	281	舟底形石器	95	L27		119	43	177	32	170.1	黒曜石	730	3309		
					L27		870									
III-248	192	282	舟底形石器		G34	I	1	45	102	32	113.2	黒曜石				
III-248	192	283	二次加工ある石片		N29	I	2	(50)	12	16	(7.1)	黒曜石	807	3583		
III-248	193	284	石刃	93	P28		2745	79	24	7	9.9	黒曜石	755	3420		
					P28		5639									
III-248	193	285	石刃	95	L26		324	90	25	10	22.0	黒曜石	830	3661		
					L27		355									
III-248	193	286	石刃	93	O30		1119	88	30	5	14.5	黒曜石	857	3783		
					O30		1289									
III-248	193	287	石刃	93	O29		520	100	34	7	18.1	黒曜石	922	4032		
					P28		4647									
III-248	193	288	石刃	93	O30		155	(106)	39	13	(24.5)	黒曜石	758	3434		
					O30		1367									
III-248	193	289	石刃	94	J31		704	104	45	9	35.2	黒曜石	708	3237		
				90	J31		2212									
					J33		6									
III-248	193	290	石刃	93	Q27		222	103	51	15	41.0	黒曜石	929	4050		
					Q27		305									
III-249	193	291	石刃	96	L24		49	172	63	12	(106.6)	黒曜石	725	3276		
					L24		56									
					L24		185									
					M23		141									
					M23		328									
					L24	I	52									
III-249	193	292	石刃	95	N27		124	79	37	11	(20.5)	黒曜石	934	4063		
					N28		52									
III-249	193	293	石刃	95	K26		27	113	30	10	28.9	黒曜石	933	4061		
				93	N29		169									
III-249	193	294	石刃	96	L25		3	222	62	25	305.3	黒曜石	933	4061		
					L25	I	1									
					七北13-29		26									
III-249	194	295	石刃	95	L27		1137	173	48	18	97.0	黒曜石	786	3509		
					L27		1183									
					L28		1029									
					L28		1158									
III-250	194	296	石刃核	93	R26		29	75	62	42	172.2	黒曜石	735	3420		
III-250	194	297	石刃核	93	P28		5007	59	61	33	110.5	黒曜石	857	3783		
III-250	194	298	石刃核	91	H33		6	62	49	54	114.2	黒曜石	671	3134		
					H34		16									
III-250	194	299	石刃核	93	P27		260	88	73	46	259.0	黒曜石	778	3496		
III-250	194	300	石刃核	93	P29		235	89	76	48	326.0	黒曜石	926	4043		
III-250	194	301	石刃核	93	P28		380	105	66	52	349.9	黒曜石	741	3362		
III-251	194	302	石刃核	95	M27		1500	99	81	38	273.4	黒曜石	738	3339		

種別	図版	番号	器種名	石器ブローク	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	組合番号	備	考
III-251	194	303	石舟核		K35	I	1	85	75	64	512.7	黒曜石3	666	3117		
III-251	195	304	石舟核	93	R26		137	54	65	73	227.1	黒曜石5	741	3362		
III-251	196	305	石舟核	95	M29		391	53	51	35	82.4	黒曜石1				
III-251	195	306	石舟核	93	P28		8052	44	54	40	68.1	黒曜石4	931	4053		
III-251	195	307	石舟核	95	M29		265	40	51	51	96.1	黒曜石1				
III-251	195	308	石舟核	93	P28		7694	44	60	62	147.3	黒曜石4	878	3851		
III-252	195	309	石舟核	93	P29		236	84	66	51	235.7	黒曜石4	911	3889		
III-252	195	310	石舟核	93	Q29		7	80	61	37	141.4	黒曜石1	758	3434		
III-252	195	311	石舟核	94	J31		1887	70	55	29	77.9	黒曜石4	711	3240		
III-252	195	312	石舟核	91	H33		7	103	68	67	444.7	黒曜石4	672	3136		
III-252	195	313	石舟核	95	N27		1156	137	61	66	448.8	黒曜石4	829	3660		
III-253	196	314	石舟核	95	L25		136	212	106	69	1548.3	黒曜石5	933	4061		
III-253	196	315	石核	93	P28		185	50	38	24	37.3	黒曜石4	864	3813		
III-253	196	316	石核	93	Q27		236	103	77	38	316.2	黒曜石1	773	3489		
III-253	196	317	石核		P27	I	1	94	69	74	499.4	黒曜石1	773	3489		
III-254	196	318	石核	96	J25		111	138	121	99	1651.1	黒曜石1				
III-254	197	319	石核	92	L35		24	45	59	31	91.1	黒曜石4	591	2924		
III-254	197	320	石核	93	P28		2587	42	63	47	102.3	黒曜石4	883	3875		
					P28		3580									
III-254	197	321	石核	93	P29		1182	57	57	24	69.2	黒曜石4	867	3823		
III-254	197	322	石核	93	Q27		303	33	45	23	40.5	黒曜石4	929	4050		
III-254	197	323	石核	95	L27		345	81	55	28	105.4	黒曜石4	830	3661		
III-255	197	324	石核	93	P28		7728	82	87	29	226.7	黒曜石4	928	4046		
III-255	197	325	石核	93	M29		279	56	73	72	(196.2)	黒曜石1	728	3287		
					M29		364									
					M30		421									
					O31	I	13									
III-255	197	326	石核		P26	I	1	93	103	43	331.6	黒曜石1				
III-255	197	327	石核		L27	II	7	14	29	10	2.9	安山岩1	944	4093		
III-255	197	328	石核	93	M30		541	28	62	19	29.5	黒曜石1				
III-255	197	329	石核	95	J29		242	72	57	22	88.9	黒曜石2	785	3506		
III-255	197	330	斧形石器	95	O28		1390	127	37	22	122.4	頁岩				
-	198	413	尖頭器	95	N26		162	96	87	17	97.9	黒曜石4	939	4078		
					O25		82									
-	198	414	尖頭器		O29	I	124	82	52	10	36.4	黒曜石4	807	3583		
					O29	I	165									
-	198	415	尖頭器断片	95	M28		317	(30)	7	7	(1.5)	黒曜石5	939	4078		
-	198	416	尖頭器断片	93	P28		4486	38	4	7	0.9	黒曜石4	5744			
-	198	417	尖頭器断片	93	O28		580	(160)	8	26	(8.7)	黒曜石4	5744			
					Q28		316									
-	198	418	彫器断片	95	N28		443	56	16	17	12.9	黒曜石1	734	3326		
-	198	419	削器	93	P28		1769	65	29	6	10.3	黒曜石1	771	3487		
-	198	420	削器	95	M28		451	85	32	7	4.9	黒曜石1	733	3322		
					O26		439									
-	198	421	削器	93	P28		6437	103	35	22	(32.3)	黒曜石4	913	3991		
					P29		842									
-	198	422	削器	93	P28		756	86	65	16	67.2	黒曜石5	941	4088		
					P28		1627									
-	198	423	削器	95	H29		2	97	40	18	54.0	黒曜石1	1224	5965		
-	198	424	削器	95	M29		486	96	27	10	20.9	頁岩		58010		
					M29		518									
-	198	425	削器		H34	I	1	87	83	13	94.1	頁岩				
-	198	426	削器	95	J30		168	(43)	(29)	5	(5.4)	安山岩1				
-	198	427	削器	93	O28		835	67	40	16	37.1	黒曜石4	877	3850		
-	199	428	舟底形石器		P28	II	4	(8)	(21)	3	(0.6)	黒曜石4				
-	199	429	舟底形石器		I29	I	1	(12)	(27)	4	(1.3)	黒曜石3				
-	199	430	舟底形石器		O27	II	1	7	(20)	5	(0.7)	黒曜石4				
-	199	431	舟底形石器	93	N30		114	13	34	5	(2.5)	黒曜石4				
-	199	432	舟底形石器	93	O30		67	21	(58)	19	(16.3)	黒曜石4	892	3908		
-	199	433	舟底形石器	96	N23		14	19	87	17	22.6	黒曜石4		58079		
					N23	I	1									
-	199	434	舟底形石器	93	O28		1047	20	86	24	38.5	黒曜石4	930	4051		
					O28		1583									
-	199	435	舟底形石器	96	L24		367	26	114	24	53.3	黒曜石4		58078		
					七北13-29		13									

上白滝8遺跡(2)

神田	図版	番号	器物名	石部アロツク	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
-	199	436	舟底形石器	93	P28		1009	33	122	45	106.6	黒曜石	930	4051	
					P28		6286								
					P28		6506								
					P28		6816								
					P28		7650								
-	199	437	舟底形石器	93	P28		2136	(30)	(60)	30	(39.0)	黒曜石	930	4051	
-	199	438	舟底形石器	93	O28		1856	(27)	(60)	(36)	(56.9)	黒曜石	930	4051	
-	199	439	舟底形石器	96	L26		260	(39)	(87)	(43)	(97.0)	黒曜石	930	4051	
-	199	440	舟底形石器	94	I32		127	25	75	10	16.2	黒曜石			5946
-	199	441	舟底形石器	93	O28		1241	(23)	(28)	15	(12.8)	黒曜石	723	3271	
-	199	442	舟底形石器	93	O29		522	30	88	35	56.9	黒曜石	930	4051	
					P28		2359								
-	199	443	舟底形石器	93	O28		1101	40	119	47	150.6	黒曜石	930	4051	
					P28		1037								
					P28		3696								
					Q27		600								
-	199	444	舟底形石器	93	P28		5489	(29)	(63)	19	(29.3)	黒曜石	930	3676	
-	199	445	舟底形石器	93	Q27		297	(20)	(48)	(28)	(20.8)	黒曜石	930	4051	
-	199	446	舟底形石器	93	P28		5552	(23)	(50)	(32)	(21.6)	黒曜石	930	4051	
-	200	447	縦長削片	95	N27		1234	54	8	6	1.9	黒曜石	729	3294	
					N27		1237								
-	200	448	縦長削片	95	L27		413	76	16	12	10.8	黒曜石	729	3294	
-	200	449	縦長削片	95	M27		422	82	16	10	12.2	黒曜石	729	3294	
					N27		384								
-	200	450	石刃核		K27	I	2	63	56	47	93.5	黒曜石	818	3624	
-	200	451	石刃核	93	O30		168	55	58	29	171.6	黒曜石	865	3815	
-	200	452	石刃核	93	O29		2002	62	64	24	89.9	黒曜石			5767
-	200	453	石刃核	95	M26		200	57	53	26	106.9	黒曜石	803	3268	
-	200	454	石刃核	95	L26		150	54	65	37	156.6	黒曜石	805	3578	
-	200	455	石刃核	93	P28		1	76	60	42	172.5	黒曜石	776	3494	
-	200	456	石刃核	95	L26		415	80	74	45	197.3	黒曜石	804	3575	
-	200	457	石刃核	93	P28		1390	63	83	72	239.1	黒曜石	924	4039	
-	200	458	石刃核	93	P28		7515	77	82	53	296.3	黒曜石	924	4039	
-	200	459	石刃核	93	R26		138	62	77	72	318.4	黒曜石	942	4091	
-	201	460	石刃核	93	P28		787	82	68	41	246.2	黒曜石	916	4001	
-	201	461	石刃核	93	N29		990	85	83	29	195.4	黒曜石			
-	201	462	石刃核	93	P28		7513	76	103	66	515.4	黒曜石	925	4042	
-	201	463	石刃核	93	P27		427	92	92	57	476.2	黒曜石	771	3487	
-	201	464	石刃核	93	Q27		280	90	89	48	472.8	黒曜石	779	3497	
-	201	465	石刃核	93	P28		1997	66	46	29	95.5	黒曜石	901	3951	
-	201	466	石刃核	93	M30		66	52	48	38	124.1	黒曜石			
-	201	467	石刃核	93	P28		7693	80	60	55	185.7	黒曜石	870	3835	
-	202	468	石刃核	93	P27		88	90	52	41	199.0	黒曜石	846	3731	
-	202	469	石刃核	93	N29		419	100	53	45	264.3	黒曜石	825	3655	
-	202	470	石刃核	93	Q27		616	74	126	55	476.0	黒曜石	772	3488	
-	202	471	石刃核	95	M27		1	81	53	26	159.4	黒曜石	847	3732	
-	202	472	石刃核	93	O28		476	87	70	29	121.2	黒曜石	877	3850	
					O28		667								
					O29		28								
-	202	473	石刃核	95	O27		714	66	39	37	88.8	黒曜石	884	3876	
-	202	474	石刃核		P29	I	19	64	49	34	117.3	黒曜石			
-	202	475	石刃核	95	L26		234	68	52	35	103.5	黒曜石	836	3678	
-	203	476	石刃核	93	P28		1409	67	57	47	167.3	黒曜石	835	3676	
-	203	477	石刃核	93	O30		680	70	71	30	89.1	黒曜石	897	3934	
-	203	478	石刃核	95	I26		10	70	62	28	119.8	黒曜石			5869
-	203	479	石刃核	93	P28		565	(60)	48	31	(84.4)	黒曜石	913	3991	
-	203	480	石核	96	K24		1194	56	44	27	72.0	黒曜石	1090	4521	
-	203	481	石核	93	P28		7475	58	42	40	99.6	黒曜石	894	3927	
-	203	482	石核	93	P28		7356	66	75	32	170.8	黒曜石	895	3928	
-	203	483	石核	93	P27		526	80	91	32	243.5	黒曜石	915	3995	
-	203	484	石核	93	P28		1109	68	83	36	149.4	黒曜石	930	4051	
					P28		1594								
					P28		1747								
					P28		3877								
-	203	485	石核		Q25	I	10	70	54	35	122.1	黒曜石	761	3446	

種別	図版	番号	器物名	石器プロトタイプ	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	組合番号	備	考
—	204	486	石核	93	R26		156	115	123	82	1033.5	黒曜石G5	777	3486		
—	204	487	石核	95	O27		901	64	73	43	170.3	黒曜石G1	733	3322		
—	204	488	石核	95	P26		32	65	83	43	262.6	黒曜石G1	769	3480		
—	204	489	石核	93	P28		6568	18	19	9	25.5	黒曜石G4	747	3395		
—	204	490	石核	95	N27		106	45	35	18	31.9	黒曜石G1	733	3322		
—	204	491	石核	95	J30		257	38	46	17	86.5	黒曜石G4				
—	204	492	潤片		L27	II	6	62	63	26	3.2	安山岩I1	944	4093		
—	204	493	原石	94	J31		480	85	10	7	6.0	黒曜石G2		58016		
				93	K30		405									
—	204	494	原石	95	J30		241	86	10	9	5.6	黒曜石G2		58017		
				93	K30		295									
—	204	495	原石	94	J31		841	84	17	13	15.6	黒曜石G2				
—	204	496	原石	95	J30		289	87	11	10	11.1	黒曜石G2				
—	204	497	原石	94	I31		456	92	10	8	9.2	黒曜石G2		58013		
				95	J30		288									
—	204	498	原石	95	J30		231	96	17	10	14.7	黒曜石G2		58015		
				J30			258									
III-369	292	1	尖頭器	97	K22		503	63	35	7	11.4	黒曜石G1			水和層 H169	
III-369	292	2	尖頭器	99	J21		250	(72)	34	8	(11.9)	黒曜石G3			産地分析 X257	
III-369	292	3	尖頭器	97	K22		520	78	34	10	17.0	黒曜石G1			水和層 H170	
III-369	292	4	尖頭器	97	K23		2249	(80)	49	11	(32.9)	安山岩I1				
III-369	292	5	尖頭器	97	J24		1646	92	70	19	67.6	黒曜石G4			産地分析 X26	
III-369	292	6	尖頭器		K24	I	1	108	68	15	85.1	黒曜石G3			産地分析 X28	
III-369	292	7	尖頭器	102	I19		121	82	28	15	26.5	黒曜石G1				
III-369	292	8	尖頭器		L15	I	1	139	38	9	50.9	黒曜石G1				
III-369	292	9	尖頭器	97	I23		340	168	44	10	(65.6)	黒曜石G1		58096		
					水牛		10									
III-370	292	10	尖頭器	101	K18		123	103	37	11	34.2	黒曜石G4		5825		
					L19		447									
III-370	292	11	尖頭器	97	I23		675	129	37	9	42.7	黒曜石G1		58097		
				99	J22		133									
III-370	293	12	尖頭器	97	H24		834	158	47	9	65.2	黒曜石G1		5953		
				101	L17		90									
					M17		145									
III-370	293	13	尖頭器	101	K19		274	134	53	12	84.3	黒曜石G4	1113	4564		
					K20	I	1									
III-370	293	14	尖頭器	100	K20		299	(56)	(51)	(11)	(26.7)	黒曜石G4	1112	4563		
III-370	293	15	尖頭器	97	H24		804	(102)	(55)	(9)	(41.9)	黒曜石G4	1066	4432		
					I25	I	248									
					G26		2									
III-370	293	16	尖頭器	97	H22		151	194	(62)	13	(117.8)	黒曜石G1		58094		
					I22		310									
					I23		1075									
III-371	293	17	尖頭器	100	K20		495	187	65	16	187.9	黒曜石G1		5966		
					J20	I	5									
III-371	294	18	尖頭器	100	K19		203	205	64	21	242.8	黒曜石G5	1133	4611		
					J19	I	4									
III-371	294	19	尖頭器	97	H23		654	116	57	12	77.2	黒曜石G4	1058	4396		
					H24	I	2									
III-371	294	20	尖頭器	97	H23		838	144	65	14	136.0	黒曜石G1	952	4136		
					J23		1185									
III-372	295	21	尖頭器	97	H22		159	145	71	11	118.9	黒曜石G1		58093		
					H22		217									
III-372	294	22	尖頭器	104	J15		300	276	105	27	610.8	黒曜石G2		5827		
					J15		499									
					J15		500									
III-373	295	23	尖頭器	97	G23		72	(288)	(89)	(23)	(457.8)	黒曜石G1	947	4116		
					G23		129									
					G23		136									
					G23		150									
					H22		102									
					H23		142									
					I22		230									
					I23		1056									
III-373	295	24	尖頭器	104	J15		339	200	79	34	421.0	黒曜石G5		5826		

上白滝8遺跡(2)

神田	図取	番号	器種名	石部アワック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
					J15		417								
III-373	295	25	尖頭器	101	L19		230	110	50	17	88.6	黒曜石1			
III-374	295	26	尖頭器	101	M17		147	54	22	7	9.5	黒曜石3		5961	
III-374	296	27	尖頭器	99	K21		372	110	34	7	24.5	黒曜石1		5818	
					J23	I	1								
III-374	296	28	尖頭器	101	K19		130	173	50	11	87.9	黒曜石1		5952	
					K19		217								
					N17		98								
III-374	296	29	尖頭器	97	I23		255	46	57	11	27.8	黒曜石4	1066		
III-374	296	30	尖頭器	101	L19		422	67	42	15	33.8	黒曜石1		5822	
III-374	296	31	尖頭器	101	L19		496	68	41	13	35.9	黒曜石1		5822	
III-374	296	32	尖頭器	101	L19		495	97	61	16	86.7	黒曜石1	1039	4349	
III-374	296	33	尖頭器		I21	I	1	122	52	27	163.7	黒曜石4	1067	4508	
III-375	296	34	尖頭器	97	H22		390	108	68	27	179.5	黒曜石1	972	4197	
III-375	296	35	尖頭器	97	H23		942	45	27	9	15.3	黒曜石4	1058	4396	
III-375	296	36	尖頭器断片	101	L17		114	(67)	(8)	(21)	(5.8)	黒曜石4		5951	
					L17		124								
III-375	296	37	尖頭器断片	98	M21		282	(83)	15	24	(23.4)	黒曜石1		5822	
III-375	296	38	尖頭器断片	104	H16		90	110	14	32	27.2	頁岩			
III-375	297	39	尖頭器断片	97	J23		537	110	18	36	51.1	黒曜石4	1058	4396	
					J24		448								
III-375	297	40	尖頭器断片	101	K19		188	94	17	32	31.9	黒曜石1		5822	
III-375	297	41	尖頭器断片	101	K19		189	92	18	23	31.5	黒曜石1		5822	
III-375	297	42	尖頭器断片	101	M18		2499	44	8	9	2.4	黒曜石4	1179	4719	
III-375	297	43	尖頭器断片	99	I21		514	53	13	9	6.9	頁岩	1220	5801	
III-375	297	44	尖頭器断片	99	H22		47	70	13	6	3.9	頁岩	1220	5801	
III-376	297	45	両面調整石器	101	L19		135	176	97	45	755.7	黒曜石1	1154	4653	
					L19		290								
III-376	297	46	両面調整石器	97	K24		1319	195	102	42	912.3	黒曜石1	1147	4632	
					K24		1521								
III-377	298	47	両面調整石器	101	L18		439	127	69	30	290.8	黒曜石1	1151	4648	
III-377	298	48	両面調整石器	102	I18		66	269	91	32	755.0	黒曜石1		5832	
					N22		53								
III-378	298	49	両面調整石器	97	H23		131	181	93	32	683.2	黒曜石1		58111	
					H23		662								
III-378	299	50	両面調整石器	97	K22		762	213	112	34	855.5	黒曜石5	1137	4619	
					M21		1025								
III-379	299	51	両面調整石器		J21	I	2	280	122	50	1415.9	黒曜石1	985	4225	
					J21	I	34								
					中9		35								
III-379	300	52	両面調整石器	104	J15		170	145	84	54	537.2	黒曜石1	1191	4752	
III-380	300	53	両面調整石器	97	H22		155	197	100	29	(616.1)	黒曜石1	970	4190	
					I22		57								
					I22		95								
III-380	300	54	両面調整石器	97	K22		524	169	130	59	816.9	黒曜石1	1029	4324	
					L22	I	1								
III-381	301	55	彫器	100	K19		432	52	22	7	7.9	黒曜石4			
III-381	301	56	彫器	97	L22		969	55	22	8	8.6	黒曜石1			
III-381	301	57	彫器	97	H24		200	57	23	6	8.7	黒曜石1	965	4173	
III-381	301	58	彫器	97	H23		174	70	22	6	9.0	黒曜石4			
III-381	301	59	彫器	100	J19		84	73	21	10	12.8	黒曜石4	1173	4700	
					K20		670								
III-381	301	60	彫器	101	L18		409	77	25	9	15.2	黒曜石1	1141	4623	
					M18		1159								
III-381	301	61	彫器	100	K19		272	79	28	11	18.4	黒曜石1			
III-381	301	62	彫器	101	N17		73	38	17	9	5.1	黒曜石1			
III-381	301	63	彫器		J23	I	2	55	20	10	8.7	黒曜石4			
III-381	301	64	彫器		K17	I	1	59	20	7	8.1	黒曜石1			
III-381	301	65	彫器	100	K20		735	59	26	10	13.0	黒曜石1			
III-381	301	66	彫器	100	K20		441	58	24	6	7.8	黒曜石1			
III-381	301	67	彫器	100	K19		224	105	37	10	(28.8)	黒曜石1		58116	
					K19		350								
III-381	301	68	彫器	99	J21		508	(35)	(22)	(6)	(4.3)	黒曜石1	1029	4324	
III-381	301	69	彫器	101	M19		735	42	16	7	4.6	黒曜石4			
III-381	301	70	彫器	101	M18		1493	47	17	6	4.3	黒曜石1			

種別	図版	番号	器種名	石器ブランク	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	採集番号	備	考
III-381	301	71	彫器	99	K21		197	49	20	7	6.6	黒曜石	1023	4308		
III-381	301	72	彫器	101	K18 K18		9 10	82	23	9	16.6	黒曜石		58115		
III-381	301	73	彫器	101	L18		410	41	21	7	6.3	黒曜石				
III-381	301	74	彫器		K19	I	2	48	19	9	7.0	黒曜石				
III-381	301	75	彫器	99	J21		1051	48	19	6	5.9	黒曜石				
III-381	301	76	彫器	100	J19		212	52	20	5	5.0	黒曜石				
III-381	301	77	彫器	97	H24		499	48	26	8	9.3	黒曜石				
III-381	301	78	彫器	99	J21		236	50	21	7	7.4	黒曜石				
III-381	301	79	彫器	100	K20		164	66	22	10	12.9	黒曜石				
III-382	301	80	彫器	100	K19		287	62	22	5	8.5	黒曜石				
III-382	301	81	彫器		K20	I	5	68	26	11	18.4	黒曜石				
III-382	301	82	彫器	97	H23		427	44	20	7	7.1	黒曜石	958	4152		
III-382	301	83	彫器	97	K23		2250	48	24	7	9.2	黒曜石				
III-382	301	84	彫器	99	J21		695	48	25	7	8.6	黒曜石				
III-382	301	85	彫器	99	J21		942	52	22	11	10.4	黒曜石				
III-382	302	86	彫器	99	K21		50	55	25	7	10.0	黒曜石				
III-382	302	87	彫器	99	J21		88	62	23	6	9.5	黒曜石				
III-382	302	88	彫器	100	K20		387	69	25	10	14.7	黒曜石				
III-382	302	89	彫器	99	J21		738	140	17	7	(4.7)	黒曜石	1023	4308		
III-382	302	90	彫器	99	J21		519	40	21	7	5.8	黒曜石				
III-382	302	91	彫器	99	J21		1054	45	19	8	7.9	黒曜石				
III-382	302	92	彫器	99	K21		240	50	20	6	5.9	黒曜石				
III-382	302	93	彫器	100	K19		364	52	21	8	7.7	黒曜石				
III-382	302	94	彫器	99	K22		623	53	22	9	8.1	黒曜石				
III-382	302	95	彫器	104	H17		45	55	21	9	10.2	黒曜石				
III-382	302	96	彫器	99	J21		245	51	23	8	8.9	黒曜石	990	4230		
III-382	302	97	彫器	99	J21		943	52	21	7	6.5	黒曜石				
III-382	302	98	彫器		K16	I	1	58	24	11	12.9	黒曜石				
III-382	302	99	彫器	97	H22		218	61	22	7	8.6	黒曜石				
III-382	302	100	彫器		I22	I	9 19	69	25	8	11.4	黒曜石		58113		
III-382	302	101	彫器	106	P16		2	25	17	8	3.8	黒曜石				
III-382	302	102	彫器	99	K21		306	52	19	7	7.4	黒曜石				
III-382	302	103	彫器		J21	I	15	57	23	8	11.4	黒曜石				
III-382	302	104	彫器	100	K20		535	63	25	13	14.7	黒曜石				
III-382	302	105	彫器	97	J23		1184	90	25	10	18.5	黒曜石				
III-382	302	106	彫器	97	H23 J24		117 191	103	31	14	31.3	黒曜石		58112		
III-382	302	107	彫器		K21	I	1	(60)	30	11	(18.6)	黒曜石	1050	4370		
III-382	302	108	彫器	105	J14		210	53	23	6	9.9	頁岩				
III-382	302	109	彫器	97	J24		465	62	31	9	16.4	黒曜石	954	4138		
III-382	302	110	彫器		J20	I	2	67	30	6	11.0	黒曜石				
III-382	302	111	彫器	98	M21		93	72	39	10	23.3	黒曜石	997	4251		
III-382	302	112	彫器		J22	I	3	79	36	9	29.1	黒曜石	1023	4306		
III-382	303	113	彫器	100	K19		444	87	43	13	38.8	黒曜石				
III-382	303	114	彫器	101	N17		77	105	51	18	82.2	黒曜石	947	4116		
III-382	303	115	彫器	99	J21		941	93	38	10	29.9	黒曜石				
III-384	303	116	彫器	100	K19		366	80	31	9	23.7	黒曜石				
III-384	303	117	彫器	97	H24 I23		836 262	93	51	10	40.7	黒曜石	963	4150		
III-384	303	118	彫器		J21	I	1	64	13	24	12.0	頁岩	1220	5843		
III-384	303	119	彫器	97	I23		889	56	26	6	11.0	黒曜石				
III-384	303	120	彫器	97	J23		499	80	52	16	39.8	黒曜石				
III-384	303	121	彫器	97	H23		337	62	67	14	43.7	黒曜石	947	4116		
III-384	303	122	彫器	97	K24		1854	67	32	17	33.1	黒曜石	1067	4437		
III-384	303	123	彫器	99	J21		851	69	39	16	37.1	黒曜石				
III-384	303	124	彫器	100	K19		231	67	29	13	20.2	黒曜石		5837		
III-384	303	125	彫器	100	K19		137	53	36	10	21.5	黒曜石		5837		
III-384	303	126	彫器	100	K19		255	87	55	17	83.9	黒曜石				
III-385	303	127	彫器断片	97	I23		167	53	13	9	7.1	黒曜石	947	4116		
III-385	303	128	彫器断片	97	H24 H24 H24		56 482 5	61	15	14	7.2	黒曜石	947	4116		
III-385	303	129	彫器断片	100	J19		309	87	17	24	21.8	黒曜石		5837		

上白滝8遺跡(2)

種別	図版	番号	器物名	石部アワック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	検出番号	備考
III-385	303	130	彫器削片	101	M18		2414	20	16	7	7.1	黒曜石	958	4152	
III-385	304	131	彫器削片		H23	II	2	20	8	2	0.3	黒曜石			
III-385	304	132	彫器削片		H21	I	1	24	4	3	0.2	黒曜石			
III-385	304	133	彫器削片		K20	II	13	(20)	4	2	(0.1)	黒曜石			
III-385	304	134	彫器削片		J21	II	8	28	4	3	0.3	黒曜石			
III-385	304	135	彫器削片		J22	II	4	20	7	3	0.3	黒曜石			
III-385	304	136	彫器削片		I23	II	4	21	7	2	0.2	黒曜石			
III-385	304	137	彫器削片		G23	II	2	(22)	7	1	(0.2)	黒曜石			
III-385	304	138	彫器削片		I23	II	3	20	9	3	0.4	黒曜石			
III-385	304	139	彫器削片		J19	II	14	23	7	2	0.4	黒曜石			
III-385	304	140	彫器削片		H24	II	3	25	9	2	0.4	黒曜石			
III-385	304	141	彫器削片		I22	II	4	26	6	2	0.4	黒曜石			
III-385	304	142	彫器削片		J21	II	6	18	5	3	0.2	黒曜石			
III-385	304	143	彫器削片		L16	II	1	20	5	2	0.2	黒曜石			
III-385	304	144	彫器削片		J21	II	9	18	4	3	0.2	黒曜石			
III-385	304	145	彫器削片		I24	II	3	24	5	3	0.4	黒曜石			
III-385	304	146	彫器削片		J21	II	12	19	9	3	0.5	黒曜石			
III-385	304	147	彫器削片		I22	II	5	(20)	3	3	(0.3)	黒曜石			
III-385	304	148	彫器削片		J21	II	10	23	5	2	0.1	黒曜石			
III-385	304	149	撚器	97	G23		44	33	21	7	8.5	黒曜石		948	
III-385	304	150	撚器	97	G23		73	58	23	7	9.0	黒曜石		948	
III-385	304	151	撚器	99	K21		232	61	21	12	12.0	黒曜石			
III-385	304	152	撚器		J19	I	6	64	24	10	14.3	黒曜石		965	4174
III-385	304	153	撚器		L20	I	1	62	25	8	13.5	黒曜石			
III-385	304	154	撚器		L21	I	1	67	25	9	12.9	黒曜石		965	4174
III-385	304	155	撚器	97	G23		141	76	22	9	13.1	黒曜石		948	4125
III-385	304	156	撚器	101	L17		104	96	26	13	27.7	黒曜石			58117
					M18		2013								
III-385	304	157	撚器	100	K19		248	57	28	8	12.5	黒曜石			
III-385	304	158	撚器	104	H18		89	58	27	13	17.4	頁岩			
III-385	304	159	撚器	101	L18		337	60	28	12	18.7	黒曜石			
III-386	304	160	撚器	97	H24	I	1	72	32	12	36.3	黒曜石			
III-386	304	161	撚器	100	K19		7	86	32	13	29.4	黒曜石		1050	4370
III-386	304	162	撚器	101	K19		25	54	19	7	4.7	黒曜石			
III-386	304	163	撚器		J20	I	3	75	23	7	9.0	黒曜石			
III-386	304	164	撚器	97	H24		11	86	28	8	15.4	黒曜石		1141	4623
					J23		733								
III-386	304	165	撚器		G23	I	1	91	30	9	25.1	黒曜石			
III-386	304	166	撚器	105	J15		150	109	33	8	(25.1)	黒曜石			58118
					J15		459								
III-386	304	167	撚器		M18	II	3	58	25	7	8.7	黒曜石			
III-386	304	168	撚器	98	L21		310	66	29	7	14.7	黒曜石			
III-386	304	169	撚器		J19	I	7	70	32	12	24.8	黒曜石			
III-386	304	170	撚器	97	G23		149	(35)	(21)	6	(3.8)	黒曜石		948	4125
III-386	305	171	撚器	100	J19		487	(86)	27	11	(18.8)	黒曜石		1173	4700
III-386	305	172	撚器	99	J21		337	50	22	6	6.0	黒曜石			
III-386	305	173	撚器	100	J19		490	132	35	34	76.5	黒曜石		965	4173
					K19		412								
III-387	305	174	鎌形石器	97	K23		958	(86)	22	6	(11.9)	黒曜石		1028	4322
III-387	305	175	鎌形石器	100	J19		432	77	27	9	14.0	黒曜石		1122	4586
III-387	305	176	鎌形石器	102	H20		10	55	23	7	6.5	黒曜石		948	4125
III-387	305	177	鎌形石器	100	K19		297	53	26	8	9.6	黒曜石		1128	4597
III-387	305	178	鎌形石器		J20	I	26	54	27	7	8.5	黒曜石		1128	4596
III-387	305	179	鎌形石器	100	K19		311	74	35	7	17.8	黒曜石		1128	4597
III-387	305	180	鎌形石器		J22	I	33	75	16	23	17.7	黒曜石			
III-387	305	181	鎌形石器	99	K21		157	(48)	9	10	(2.9)	頁岩		1220	5843
III-387	305	182	鎌形石器	101	M18		77	(46)	9	(13)	(4.3)	頁岩		1220	5840
III-387	305	183	削器	101	L19		95	102	32	11	31.6	黒曜石			58128
					L19		252								
III-387	305	184	削器		J19	I	8	(59)	(18)	14	(12.7)	黒曜石		965	4174
III-387	305	185	削器	98	M21		605	(79)	26	11	(20.4)	黒曜石		1050	4370
III-387	305	186	削器	100	K19		333	(30)	(34)	9	(10.4)	黒曜石		1108	4556
III-387	305	187	削器	101	K19		325	(90)	40	9	(37.7)	黒曜石		1123	4588
					L19		545								
III-387	305	188	削器	97	H23		428	101	59	14	83.1	黒曜石		964	4172

種目	図版	番号	器種名	石部フロッグ	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	採合番号	備	考
Ⅲ-388	305	180	甗器	104	I 15 J 15		331 436	90	48	17	66.9	黒曜石	1191	4732		
Ⅲ-388	306	190	甗器		I 23	I	1	75	72	16	86.3	黒曜石	1039	4348		
Ⅲ-388	306	191	甗器	100	J 19 J 19 K 19 K 19		132 320 371 442	112	38	10	40.8	黒曜石		58125		
Ⅲ-388	306	192	甗器	97	H 24		213	65	45	12	38.2	安山岩				
Ⅲ-388	306	193	甗器		K 21	I	6	111	78	30	220.3	黒曜石	1034	4337		
Ⅲ-388	306	194	甗器	98	L 21		120	141	73	50	432.5	黒曜石	1089	4520		
Ⅲ-389	306	195	舟底形石器		H 21	I	2	13	38	5	3.0	黒曜石				
Ⅲ-389	306	196	舟底形石器	97	H 24 I 24	I II	687 7	12	33	4	1.9	黒曜石		58076		
Ⅲ-389	306	197	舟底形石器		L 19	I	4	11	36	5	2.4	黒曜石	1179	4719		
Ⅲ-389	306	198	舟底形石器	97	H 24		117	12	42	8	3.4	黒曜石				
Ⅲ-389	306	199	舟底形石器	97	G 23		74	12	35	5	2.5	黒曜石				
Ⅲ-389	306	200	舟底形石器		K 19	I	10	12	33	8	2.5	黒曜石				
Ⅲ-389	306	201	舟底形石器	101	L 19 L 19		559 560	14	74	8	6.6	黒曜石		58086		
Ⅲ-389	306	202	舟底形石器		K 19	I	11	14	36	6	2.8	黒曜石				
Ⅲ-389	306	203	舟底形石器	100	K 20		660	13	40	7	3.2	黒曜石				
Ⅲ-389	306	204	舟底形石器	98	L 20		10	14	40	6	3.4	黒曜石	1176	4705		
Ⅲ-389	306	205	舟底形石器	99	I 21		512	14	42	7	3.7	黒曜石				
Ⅲ-389	306	206	舟底形石器	97	H 24		131	15	51	6	4.5	黒曜石				
Ⅲ-389	306	207	舟底形石器		K 20	I	7	14	32	8	3.6	黒曜石				
Ⅲ-389	306	208	舟底形石器		K 22	I	1	15	45	8	4.5	黒曜石				
Ⅲ-389	306	209	舟底形石器	97	K 23		373	15	35	6	3.2	黒曜石				
Ⅲ-389	306	210	舟底形石器	99	K 21		320	14	35	8	3.7	黒曜石				
Ⅲ-389	306	211	舟底形石器	99	I 21		739	14	50	7	5.6	黒曜石	1171	4701		
Ⅲ-389	306	212	舟底形石器	100	K 19		234	15	37	7	3.4	黒曜石				
Ⅲ-389	306	213	舟底形石器	99	I 21		973	16	34	8	3.9	黒曜石				
Ⅲ-389	306	214	舟底形石器	97	H 23		836	12	(34)	6	(2.4)	黒曜石				
Ⅲ-389	306	215	舟底形石器	99	I 21		513	(14)	(31)	(6)	(3.4)	黒曜石	1174			
Ⅲ-389	307	216	舟底形石器	99	J 22		50	14	50	6	3.5	黒曜石				
Ⅲ-389	307	217	舟底形石器	106	M 16 M 16		99 100	20	83	7	8.7	黒曜石		58084		
Ⅲ-389	307	218	舟底形石器	99	K 21		183	12	50	5	2.7	黒曜石				
Ⅲ-389	307	219	舟底形石器	100	K 20		451	10	53	8	3.3	黒曜石	1066			
Ⅲ-389	307	220	舟底形石器	99	I 21		945	16	47	7	5.5	黒曜石	1079	4498		
Ⅲ-389	307	221	舟底形石器		K 19	I	1	17	59	8	6.7	黒曜石				
Ⅲ-390	307	222	舟底形石器		J 16	I	1	17	70	14	16.0	黒曜石				
Ⅲ-390	307	223	舟底形石器		J 16	I	2	18	94	16	21.9	黒曜石				
Ⅲ-390	307	224	舟底形石器	97	J 23		251	22	79	15	26.8	黒曜石				
Ⅲ-390	307	225	舟底形石器	100	K 19		252	25	82	20	33.7	黒曜石				
Ⅲ-390	307	226	舟底形石器		J 23	I	6	23	98	20	36.1	黒曜石				
Ⅲ-390	307	227	舟底形石器		J 19	I	1	28	81	20	40.6	黒曜石		5945		
Ⅲ-390	307	228	舟底形石器	97	K 23		4201	26	70	21	39.8	黒曜石	1079	4498		
Ⅲ-390	307	229	舟底形石器	97	L 23		1447	24	65	25	32.2	黒曜石	1104	4502		
Ⅲ-391	307	230	舟底形石器	98	M 20 K 20		28 9	25	102	23	50.1	黒曜石	1108	4556		
Ⅲ-391	307	231	舟底形石器		J 24	I	3	31	79	22	41.5	黒曜石				
Ⅲ-391	307	232	舟底形石器	101	M 18		1	28	75	22	46.9	黒曜石		5968		
Ⅲ-391	307	233	舟底形石器	97	M 22 L 21		1900 2	33	124	23	78.1	黒曜石	1047	4367		
Ⅲ-391	307	234	舟底形石器	98	M 20		123	24	64	18	20.8	黒曜石	1120	4583		
Ⅲ-391	307	235	舟底形石器	97	K 23		3990	26	(62)	19	(22.6)	黒曜石	1104	4502		
Ⅲ-391	307	236	舟底形石器	97	M 22		118	31	69	15	25.3	黒曜石	1135	4617		
Ⅲ-392	307	237	舟底形石器	101	K 17 M 18		43 1	23	108	16	41.2	黒曜石	1185	4734		
Ⅲ-392	308	238	舟底形石器	97	M 21		953	25	117	23	53.0	黒曜石	1038	4347		
Ⅲ-392	308	239	舟底形石器	101	L 18 M 17		507 48	20	104	36	51.1	黒曜石	1185	4734		
Ⅲ-392	308	240	舟底形石器	97	J 24		527	33	101	37	93.4	黒曜石				
Ⅲ-392	308	241	舟底形石器	97	M 22		678	40	121	31	120.4	黒曜石	1044	4285		
Ⅲ-393	308	242	舟底形石器	98	L 20		113	22	78	25	45.8	黒曜石	1108	4556		

上白滝8遺跡(2)

神田	図取	番号	器種名	石部アワツ	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
					M20		47								
III-303	308	243	舟底形石器	97	K22		788	42	67	24	53.4	黒曜石G4	1091	4522	
III-303	308	244	舟底形石器	97	K23		4162	30	73	40	74.1	黒曜石G4	1079	4498	
III-303	308	245	舟底形石器	101	M19		178	36	91	32	71.9	黒曜石G1			
III-303	308	246	舟底形石器	99	K21		312	38	126	60	258.4	黒曜石G1	990	4230	
				97	K24		876								
III-304	308	247	舟底形石器	98	M21		92	53	114	62	343.6	黒曜石G1	1034	4337	
III-304	308	248	舟底形石器	100	K19		166	51	103	31	152.9	黒曜石G1			
III-304	308	249	舟底形石器	97	M22		430	21	63	16	15.5	黒曜石G4			
III-304	308	250	舟底形石器	104	K16		16	22	72	15	22.8	黒曜石G1			
III-304	308	251	舟底形石器	100	K19		10	22	92	14	30.4	黒曜石G1		58085	
				101	M19		732								
III-305	309	252	舟底形石器	101	L17		42	23	102	14	30.2	黒曜石G1		58083	
					L18		400								
III-305	309	253	舟底形石器	100	K20		143	25	106	17	39.6	黒曜石G3		58082	
					K20		330								
III-305	309	254	舟底形石器	98	M20		29	29	114	20	49.0	黒曜石G4	1108	4556	
					L20	I	2								
III-305	309	255	舟底形石器	100	K19		309	35	118	22	69.1	黒曜石G4	1129	4583	
				97	M22		1525								
III-305	309	256	舟底形石器	97	M21		695	38	137	33	169.2	黒曜石G1	985	4225	
					M21		999								
III-306	309	257	舟底形石器	97	L22		324	26	99	17	33.4	黒曜石G1	999	4256	
III-306	309	258	舟底形石器	97	M21		84	(30)	(61)	(17)	(31.8)	黒曜石G3		5969	
III-306	309	259	舟底形石器		N18	I	1	17	61	12	12.5	頁岩			
III-306	309	260	舟底形石器	97	M21		375	25	88	15	23.6	黒曜石G3		5969	
III-306	309	301	舟底形石器	97	L22		1779	25	58	20	21.0	黒曜石G4	1103	4551	
III-306	309	302	舟底形石器	97	J23		285	24	75	17	25.7	黒曜石G1			
III-306	309	303	舟底形石器	100	J20		100	29	82	16	39.5	黒曜石G4		5813	
III-306	309	304	舟底形石器	101	M18		1679	36	60	22	42.9	黒曜石G4		5968	
III-306	309	305	舟底形石器	97	L22		1312	35	96	17	51.8	黒曜石G4	1076	4482	
					M22		131								
III-307	309	266	舟底形石器	100	K19		365	42	84	17	68.9	黒曜石G1			
III-307	310	267	舟底形石器	97	M22		94	51	121	28	117.4	黒曜石G5	1135	4617	
					M22		96								
III-307	310	268	舟底形石器		K19	I	4	51	93	45	170.0	黒曜石G4	1120	4583	
III-307	310	269	舟底形石器		J19	I	9	26	73	18	31.6	黒曜石G4		5945	
III-307	310	270	舟底形石器	97	K23		2587	37	87	15	42.8	黒曜石G4	1079	4498	
					K23		4120								
III-308	310	271	舟底形石器	100	J19		186	(60)	(89)	(34)	(117.5)	黒曜石G5	1134	4613	
III-308	310	272	舟底形石器		L18	I	2	38	74	15	44.1	黒曜石G1			
III-308	310	273	舟底形石器	98	L20		63	43	91	25	90.7	黒曜石G1			
III-308	310	274	舟底形石器	99	J21		324	47	145	28	120.1	黒曜石G1		58074	
					K21		205								
III-308	310	275	舟底形石器		J24	I	2	38	144	23	115.5	黒曜石G1	986	4226	
					K23	I	1								
III-309	311	276	舟底形石器断片		I22	II	6	14	3	2	0.1	黒曜石G1			
III-309	311	277	舟底形石器断片		J21	II	14	15	4	4	0.2	黒曜石G1			
III-309	311	278	舟底形石器断片		I21	II	5	(14)	(4)	1	(0.1)	黒曜石G3			
III-309	311	279	舟底形石器断片		I22	II	3	12	4	2	0.1	黒曜石G3			
III-309	311	280	二次加工ある断片	100	K19		394	100	35	19	42.1	黒曜石G1	965	4174	
					J19	I	44								
III-309	311	281	二次加工ある断片	98	L21		427	92	67	18	68.0	黒曜石G3	328	1658	
III-309	311	282	つまみ付きナイフ	101	L19		11	37	21	2	2.2	黒曜石G1			水和層 H171
III-309	311	283	石刃		J22	I	23	79	21	10	13.2	黒曜石G1	1028	4322	
III-309	311	284	石刃		J22	I	17	65	33	11	14.8	黒曜石G1	1007	4275	
III-309	311	285	石刃	101	K19		126	73	27	8	15.3	黒曜石G1	1153	4652	
III-309	311	286	石刃	104	H18		104	104	31	12	(34.1)	黒曜石G5	948	4125	
				103	H18		106								
					H18	II	1								
III-309	311	287	石刃	97	M22		730	88	22	11	21.2	黒曜石G1	965	4174	
III-309	311	288	石刃	97	K23		4098	85	39	9	(21.5)	黒曜石G1	958	4152	
					J24	I	129								
III-309	311	289	石刃	97	K24		175	131	41	13	75.7	黒曜石G1	990	4230	
					掘土		132								

種別	図版	番号	器種名	石部プロット	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	採合番号	備考
III-000	311	290	石月	100	K20 K22	I	464 39	137	49	17	84.4	黒曜石	965	4173	
III-000	311	291	石月	97	L22 M21		151 533	155	46	19	126.3	黒曜石	965	4173	
III-000	311	292	石月	97	I24 I24 I24 J22		795 895 1068 29	185	53	21	161.1	黒曜石	977	4207	
III-000	312	293	石月	100	J19 I19	I	459 4	(111)	29	11	(28.8)	黒曜石	965	4173	
III-000	312	294	石月	100	K20		491	(75)	(40)	(15)	(39.8)	黒曜石	965	4174	
III-000	312	295	石月	99	G22		38	90	29	14	(23.1)	黒曜石	948	4125	
III-000	312	296	石月	97	H23		703	(11)	49	13	(63.6)	黒曜石	965	4174	
III-000	312	297	石月		P19	I	1	139	72	20	157.8	黒曜石			
III-001	312	298	石月	97	K23 K23 K23		2733 4042 4156	89	42	9	29.9	黒曜石	997	4251	
III-001	312	299	石月	97	K23		1313	50	23	3	5.2	頁岩			
III-001	312	300	石月核	99	J21		756	53	49	31	90.4	黒曜石	1007	4275	
III-001	312	301	石月核	100	K20		379	65	65	42	125.4	黒曜石	1108	4556	
III-001	312	302	石月核	99	I21		225	72	97	39	273.8	黒曜石	997	4251	
III-001	313	303	石月核	104	I16		52	85	89	125	963.1	黒曜石			
III-001	313	304	石月核	101	M19		511	65	62	42	132.7	黒曜石	1164	4678	
III-001	313	305	石月核		G16	I	1	134	102	42	582.1	黒曜石			
III-002	313	306	石月核	97	K23		4031	170	138	10	2066.5	黒曜石	1015	4286	
III-003	314	307	石月核		I20	I	2	72	65	58	336.1	黒曜石	948	4125	
III-003	314	308	石月核	97	K23		1691	105	87	51	464.9	黒曜石	1028	4322	
III-003	314	309	石月核	97	L23		1740	103	91	46	433.7	黒曜石	1122	4586	
III-003	314	310	石月核	100	J20		35	68	75	38	182.1	黒曜石	990	4230	
III-003	314	311	石月核	98	M21		91	91	83	43	389.1	黒曜石	1123	4588	
III-004	314	312	石月核	101	N18		1120	100	65	32	196.2	黒曜石	1158	4663	
III-004	314	313	石月核	100	K19		451	65	42	33	99.4	黒曜石	965	4174	
III-004	315	314	石月核	99	I21		944	71	72	38	173.9	黒曜石	1000	4257	
III-004	315	315	石月核	97	L23		1050	75	72	52	210.8	黒曜石	1016	4287	
III-004	315	316	石月核	100	K20		201	101	63	57	296.7	黒曜石			
III-004	315	317	石月核		I20	I	1	70	64	51	177.9	黒曜石			
III-005	315	318	石月核	97	L21		411	35	42	23	34.1	黒曜石	1089	4520	
III-005	315	319	石月核		H23	I	1	54	51	41	92.6	黒曜石			
III-005	315	320	石月核	97	H25		81	82	81	85	463.1	黒曜石			
III-005	315	321	石月核		L18	I	7	59	50	32	97.8	黒曜石	1140	4622	
III-005	315	322	石月核	97	M21		1017	85	42	22	85.6	黒曜石	1121	4584	
III-005	315	323	石月核		I21	I	3	121	69	45	323.4	黒曜石			
III-006	316	324	石核	102	H18		57	131	108	94	1292.2	黒曜石	1142	4626	
III-006	316	325	石核	104	I16		42	68	63	27	107.1	黒曜石			
III-006	316	326	石核	102	I18		67	132	159	90	1837.0	黒曜石	1168	4687	
III-006	316	327	石核	101	L19		141	44	47	40	68.0	黒曜石	1140	4622	
III-007	316	328	石核	97	M21		656	69	71	29	122.9	黒曜石	1074	4480	
III-007	316	329	石核		J20	I	9	70	66	50	200.4	黒曜石	1034	4337	
III-007	317	330	石核	97	K23		2760	97	109	105	1090.3	黒曜石	1038	4347	
III-008	317	331	石核		I22	I	1	63	65	31	131.4	黒曜石	958	4152	
III-008	317	332	石核	99	I21		757	55	54	28	111.5	黒曜石			
III-008	317	333	石核	97	J23		1262	49	54	31	65.4	黒曜石	1072	4468	
III-008	317	334	石核	97	J23		1181	83	75	40	238.4	黒曜石	1072	4469	
III-008	317	335	薄片	104	H16		2	45	20	3	3.2	緑色泥岩			
III-008	317	336	台石	105	J14 J15 K14	I I I	36 5 1	243	(130)	17	(618.9)	安山岩		61034	
-	318	392	尖頭器	101	L18 M17		528 157	162	49	14	106.4	黒曜石		5823	
-	318	393	尖頭器		J20	I	1	(89)	(77)	(14)	(70.9)	黒曜石	1039	4349	
-	318	394	尖頭器	97	H23		363	(72)	(77)	(18)	(102.3)	黒曜石	972	4197	
-	318	395	尖頭器	97	L22		700	(66)	(96)	(31)	(170.1)	黒曜石	1121	4584	
-	318	396	尖頭器	99	G21 J21		75 430	(160)	(114)	(50)	(620.9)	黒曜石	962	4157	
-	318	397	尖頭器薄片	101	M18		876	57	9	19	5.9	黒曜石		5823	

上白滝8遺跡(2)

神田	図版	番号	器種名	石部アワック	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	組合番号	備考
-	318	308	尖頭器削片	100	K20 K19	I	496 8	669)	18	15	(15.7)	黒曜石	1087	4508	
-	319	309	尖頭器削片	97	H23 J24		170 1323	159)	31	38	115.4	黒曜石	972	4197	
-	319	400	尖頭器削片		L21	I	41	(55)	12	35	(15.8)	黒曜石	1039	4349	
-	319	401	尖頭器削片		J22	I	13	(74)	(20)	14	(16.2)	黒曜石	1087	4508	
-	319	402	両面調整石器	97	M22		1561	86	90	34	241.4	黒曜石	1045	4365	
-	319	403	両面調整石器	99	J21		670	158	136	66	1555.3	黒曜石	1109	4557	
-	319	404	彫器	99	I21		87	(41)	20	(6)	(5.0)	黒曜石			
-	319	405	彫器	97	G24		69	36	21	5	4.8	黒曜石			
-	319	406	彫器	97	I24		810	99	33	19	48.9	黒曜石		5834	
-	319	407	掻器	97	H23		661	58	21	7	8.4	黒曜石		5943	
-	319	408	掻器	100	J20		9	96	42	18	55.5	黒曜石			
-	320	409	鎌形石器	104	H17		42	91	(30)	18	(26.7)	黒曜石		5943	
-	320	410	削器	101	K18		7	(48)	(23)	(6)	(5.2)	黒曜石	1156	4655	
-	320	411	削器	102	I19 I19		191 218	(85))	(9)		(38.7)	黒曜石		58130	
-	320	412	削器	97	L22		2824	50	28	6	9.3	黒曜石			
-	320	413	削器	99	I21		554	50	26	7	7.6	黒曜石	1122	4586	
-	320	414	削器		J23	I	3	82	41	21	45.1	黒曜石	1138	4620	
-	320	415	舟底形石器		J21	I	3	(13)	(41)	(5)	(2.4)	黒曜石			
-	320	416	舟底形石器		K19	I	6	22	68	20	20.1	黒曜石			
-	320	417	舟底形石器	101	L19 L19		486 527	21	91	21	38.4	黒曜石		58087	
-	320	418	舟底形石器	104	H17 I17		1 1	25	103	15	41.4	黒曜石		58090	
-	320	419	舟底形石器	97	H23		68	29	82	20	42.4	黒曜石			
-	320	420	舟底形石器		O19	I	1	36	(79)	19	(40.9)	黒曜石			
-	320	421	舟底形石器	101	L18 M18 N18		124 1537 602	31	100	20	41.1	黒曜石		58088	
-	320	422	舟底形石器	101	K19 M18		31 866	43	111	21	74.4	黒曜石	1178	4718	
-	320	423	舟底形石器		J20	I	7	28	135	35	132.3	黒曜石			
-	321	424	舟底形石器	97	L22		751	36	(70)	24	(57.5)	黒曜石	1106	4554	
-	321	425	舟底形石器		L22	I	9	27	83	27	58.4	黒曜石			
-	321	426	舟底形石器	100	K19 M21		92 574	33	(94)	35	(87.9)	黒曜石	1181	4730	
-	321	427	舟底形石器		I23 J23	I	2 7	28	100	21	46.4	黒曜石		58073	
-	321	428	舟底形石器	101	L19 M19		191 375	38	107	24	63.3	黒曜石	1165	4681	
-	321	429	舟底形石器	101	K18		60	38	98	33	105.9	黒曜石	1178	4718	
-	321	430	舟底形石器		K20 K20 K21	I I I	10 56 3	37	12	37	150.6	黒曜石		58089	
-	321	431	舟底形石器	97	M21 L22		748 13	42	133	48	191.3	黒曜石	984	4220	
-	321	432	舟底形石器	99 97	K22 K24		320 875	54	144	40	203.0	黒曜石		58077	
-	321	433	舟底形石器	97	L22 M22 L22		660 873 254	40	103	56	(202.2)	黒曜石	1047	4367	
-	322	434	舟底形石器	97	L22		135	49	82	38	137.8	黒曜石	1107	4555	
-	322	435	舟底形石器	101	L19 M18		386 2411	39	114	29	57.3	黒曜石	1156	4655	
-	322	436	舟底形石器		L22	I	8	(42)	(52)	(17)	(33.2)	黒曜石	1008	4276	
-	322	437	舟底形石器	98	L20		17	(24)	(46)	(23)	(21.7)	黒曜石	1128	4597	
-	322	438	舟底形石器	101	N18		57	(22)	(63)	21	(36.3)	黒曜石	1170	4692	
-	322	439	舟底形石器	97	I24		1282	29	68	14	24.0	黒曜石	1078	4493	
-	322	440	舟底形石器	97	M21		808	35	87	24	63.7	黒曜石			
-	322	441	舟底形石器	97	M22 L22		112 7	35	93	19	46.9	黒曜石	987	4227	
-	322	442	舟底形石器	97	L22 L22		778 2298	35	94	33	85.9	黒曜石	984	4220	

種別	図版	番号	器種名	石器ブランク	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	採合番号	備	考
-	322	443	舟底形石器	97	L22		1994	26	66	23	29.0	黒曜石	G1	987	4227	
-	322	444	舟底形石器		L22	I	40	63	59	26	(30.6)	黒曜石	G4	1107	4555	
-	322	445	舟底形石器		L22	I	41	28	90	25	46.6	黒曜石	G1	1106	4554	
-	322	446	舟底形石器	101	L19		530	32	96	19	51.6	黒曜石	G1	987	4227	
-	322	447	舟底形石器	97	H24 I23 I24	I	99 467 1	(35)	(129)	22	(99.0)	黒曜石	G4		58075	
-	322	448	舟底形石器	97	L22 L22		513 539	33	114	33	64.9	黒曜石	G1	1048	4368	
-	323	449	舟底形石器		L17	I	1	28	77	18	37.6	黒曜石	G3			
-	323	450	舟底形石器	99	H21		62	(27)	(43)	(13)	(15.4)	黒曜石	G3	1078	4493	
-	323	451	二次加工ある薄片	106	K16		18	75	28	11	14.3	頁岩				
-	323	452	縦長薄片	104	I15		1	67	25	5	6.7	碧玉				
-	323	453	縦長薄片	97	H22		1	67	28	18	26.3	頁岩				
-	323	454	縦長薄片		H15	I	1	65	31	13	24.3	頁岩				
-	323	455	縦長薄片	102	I19		217	(58)	22	(4)	(4.4)	頁岩				
-	323	456	縦長薄片	97	H22		160	(76)	31	13	(18.0)	頁岩				
-	323	457	縦長薄片	97	L22 M22		901 1480	143	47	23	113.5	黒曜石	G4	1121	4584	
-	323	458	縦長薄片	97	L22		1849	(99)	31	14	(38.8)	黒曜石	G4	1121	4584	
-	323	459	石斧核	101	L17		105	42	45	39	77.3	黒曜石	G1	1162	4668	
-	323	460	石斧核	101	M19		200	65	46	35	83.5	黒曜石	G1			
-	323	461	石斧核	97	M21		1029	59	53	35	124.5	黒曜石	G1			
-	323	462	石斧核	101	K19		310	63	69	33	163.0	黒曜石	G1			
-	323	463	石斧核		M19	I	16	58	64	40	156.2	黒曜石	G1	1161	4667	
-	323	464	石斧核	97	M22		1225	65	78	39	204.1	黒曜石	G1			
-	324	465	石斧核	97	K23		1912	65	68	29	146.9	黒曜石	G1		3671	
-	324	466	石斧核	99	I22		143	78	69	28	160.4	黒曜石	G1	953	4137	
-	324	467	石斧核	97	L22 M21 M22		294 526 1197	73	78	44	232.6	黒曜石	G1	1047	4367	
-	324	468	石斧核	98	M21		60	75	85	59	349.7	黒曜石	G1	989	4229	
-	324	469	石斧核		I19	I	1	80	82	61	403.4	黒曜石	G1			
-	324	470	石斧核	101	L19		456	77	70	43	223.2	黒曜石	G4	1170	4692	
-	324	471	石斧核	97	L23		1346	109	71	40	265.0	黒曜石	G1	994	4248	
-	324	472	石斧核	99	K21		231	78	93	52	507.8	黒曜石	G1			
-	325	473	石斧核	97	N21		73	87	42	36	123.2	黒曜石	G1			
-	325	474	石斧核		L18	I	6	75	59	22	119.1	黒曜石	G1	1145	4630	
-	325	475	石斧核		L18	I	4	50	53	26	77.3	黒曜石	G1	1166	4682	
-	325	476	石斧核	101	M18		572	46	55	26	73.8	黒曜石	G5	1153	4652	
-	325	477	石斧核	97	M21		448	71	47	40	108.2	黒曜石	G4	1118	4578	
-	325	478	石斧核	97	M21		1039	76	57	38	142.5	黒曜石	G1			
-	325	479	石斧核		K23	I	3	66	57	46	167.8	黒曜石	G1		5870	
-	325	480	石斧核	100	K19		88	62	57	27	91.0	黒曜石	G1			
-	325	481	石斧核	101	K19		263	75	55	34	161.0	黒曜石	G1	999	4256	
-	325	482	石斧核	106	M16		47	78	70	47	263.3	黒曜石	G1	1149	4640	
-	326	483	石斧核	97	I23		561	80	75	88	550.9	黒曜石	G1	981	4216	
-	326	484	石斧核	98	M20		70	90	73	50	279.8	黒曜石	G5			
-	326	485	石斧核	101	M17		143	77	86	47	294.8	黒曜石	G4	1178	4718	
-	326	486	石斧核		K21	I	5	106	129	63	934.9	黒曜石	G1	1042	4353	
-	326	487	石核	100	K20		563	65	53	33	121.8	黒曜石	G1			
-	326	488	石核	97	N21		103	75	70	29	155.0	黒曜石	G1	1050	4370	
-	327	489	石核	98	I21		100	70	70	51	297.9	黒曜石	G1			
-	327	490	石核	97	H22		157	62	50	30	68.7	黒曜石	G1			
-	327	491	石核	97	L22		1073	56	59	54	186.7	黒曜石	G4	1060	4398	
-	327	492	石核	101	M18		1554	52	37	33	62.1	黒曜石	G1	1156	4655	
-	327	493	石核	101	L17		52	42	42	30	40.1	黒曜石	G4	1187	4745	
-	327	494	石核	100	K19		112	58	62	49	163.5	黒曜石	G1			
-	327	495	石核	101	K19		222	70	73	34	190.5	黒曜石	G1			
-	327	496	石核	99	K21		229	78	84	36	251.1	黒曜石	G1	1138	4620	
-	327	497	石核	101	M17		132	59	57	58	187.7	黒曜石	G5	1139	4621	
-	327	498	石核	97	I22		264	64	56	53	196.4	黒曜石	G4			
-	327	499	石核		J24	I	11	75	60	44	202.3	黒曜石	G1			
-	328	500	石核	102	I18		68	106	135	73	1035.6	黒曜石	G5	1143	4627	

上白滝8遺跡(2)

神田	図版	番号	形種名	石部アット	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	接合番号	備考
-	328	301	石核	102	I 19		296	110	148	74	1570.1	黒曜石	1144	4629	
-	328	302	石核	101	M19		246	58	61	32	100.0	黒曜石	1184	4733	
-	328	303	石核		L18	I	5	60	74	36	158.8	黒曜石			
-	328	304	石核		K24	I	3	60	64	49	323.1	黒曜石			
-	328	305	石核	101	M18		1168	77	70	39	163.6	黒曜石	1165	4681	
-	329	506	石核	97	M22		1760	80	97	62	629.7	黒曜石	1030	4327	
-	329	507	石核		L18	I	3	138	126	57	995.5	黒曜石	1153	4652	
-	329	508	石核	101	L19		490	57	46	25	65.9	黒曜石	1075	4481	
-	329	509	石核	102	H19		62	75	48	23	73.9	黒曜石			
-	329	510	石核	97	H24		322	(70)	(112)	(41)	(321.5)	黒曜石			
III-496	392	1	尖頭器	110	Q03		44	(61)	15	4	(3.7)	黒曜石			水和層 H173
III-496	392	2	尖頭器	110	O04		300	(70)	(32)	(8)	(18.9)	黒曜石			
III-496	392	3	尖頭器	110	P04		33	(97)	(75)	(17)	(136.3)	黒曜石	1198	4773	
III-496	392	4	尖頭器		Q00	I	1	254	88	22	432.0	黒曜石		58140	
					R-01	I	1								
III-497	392	5	尖頭器	110	O04		272	275	73	33	534.8	黒曜石		5830	
					O04		359								
					N04	I	1								
III-497	393	6	両面調整石器		Q00	I	2	120	86	28	354.9	黒曜石			
III-498	393	7	両面調整石器	111	Q01	I	1	153	94	36	589.6	黒曜石			
III-498	393	8	彫器	110	P05		83	78	23	7	11.9	黒曜石			
III-498	393	9	彫器	109	N07		28	59	26	10	13.7	黒曜石			
III-498	393	10	挿器	110	O05		148	64	24	12	13.1	黒曜石			
III-498	393	11	挿器	109	N08		24	(48)	36	9	(12.3)	黒曜石			産地分析 X383
III-498	393	12	削器	109	N08		255	(123)	(36)	10	(35.4)	黒曜石			
III-498	393	13	削器	110	Q05		12	61	35	15	25.6	黒曜石	1211	4804	
III-498	393	14	舟底形石器	109	N07		106	13	46	4	2.8	黒曜石			
III-498	393	15	舟底形石器	110	O04		86	20	63	16	17.6	黒曜石	1211	4804	
III-499	393	16	舟底形石器	110	Q05		98	22	70	20	22.8	黒曜石	1217	4823	
					Q05		137								
III-499	393	17	舟底形石器	110	O05		124	33	75	19	37.1	黒曜石	1202	4783	
III-499	394	18	舟底形石器		N04	I	2	31	90	18	39.7	黒曜石	1217	4823	
III-499	394	19	舟底形石器	110	O04		185	30	97	19	45.5	黒曜石	1202	4783	
III-499	394	20	石刃	109	N08		451	63	31	12	15.0	頁岩			
III-499	394	21	石刃核	110	Q05		115	66	45	28	67.4	黒曜石	1203	4784	
III-499	394	22	石核	110	N04		223	67	28	29	39.8	黒曜石	1202	4783	
					N04		249								
III-499	394	23	石核	110	P05		338	55	48	31	84.8	黒曜石	1211	4804	
-	394	27	尖頭器	109	N08		116	(21)	(31)	(8)	(4.2)	めのろ			
-	394	28	削器	110	O05		109	73	55	25	74.5	黒曜石	1216	4817	
					P05		17								
-	394	29	舟底形石器	110	P05		310	18	50	15	11.1	黒曜石	1211	4804	
-	394	30	舟底形石器	109	N08		119	23	65	20	23.8	黒曜石			
-	394	31	石刃核		Q01	I	1	52	39	30	53.4	黒曜石			
-	394	32	石刃核	110	O04		37	(54)	(49)	(31)	(76.6)	黒曜石	1216	4817	
-	394	33	石刃核	109	N08		549	85	89	26	221.9	黒曜石			
-	395	34	石核	109	N08		167	51	68	52	145.4	黒曜石			
-	395	35	石核	110	N04		150	105	100	67	566.4	黒曜石		5866	
-	395	36	石核	109	N08		120	117	135	102	1556.9	黒曜石		5864	
III-510	399	1	尖頭器		L41	I	1	64	18	4	3.9	黒曜石			水和層 H172
III-510	399	2	尖頭器	94	G29		1	110	90	15	76.3	黒曜石			
III-510	399	3	石刃	61	P45		8	101	50	11	45.4	黒曜石	933	4061	
III-510	399	4	石刃		Q20	I	1	125	50	13	82.5	黒曜石			
-	399	5	削器	94	P29		3	87	84	31	206.6	黒曜石	576	2879	
-	399	6	舟底形石器	94	Q09		3	19	82	21	33.5	黒曜石		58091	
					R09		1								
-	399	7	石刃核	94	R-02		130	82	57	39	159.4	黒曜石			
-	399	8	礫石	94	R19		1	374	33	29	306.3	黒曜石		58139	
					R19		2								
					R19		3								
					R19		4								
III-511	400	1	削器		B調		13	72	23	16	21.1	黒曜石	559	2816	
III-511	400	2	舟底形石器		B調		9	18	(51)	17	(12.1)	黒曜石	558	2816	
III-511	400	3	舟底形石器		B調		16	32	97	41	94.2	黒曜石	572	2864	
III-511	400	4	石刃核		七北30-12		3	88	90	45	322.3	黒曜石	589	2915	

種別	国産	番号	器種名	石器プロット	発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	母岩番号	採合番号	備	考
Ⅲ-511	400	5	石片核			掘土	63	82	83	51	358.3	黒曜石	982	4217		
Ⅲ-511	400	6	石核			七北13-29	18	105	90	70	547.9	黒曜石	1029	4324		
Ⅲ-512	400	7	石片核			ボヤ	6	175	106	60	1276.3	黒曜石	701	3220		
Ⅲ-512	401	8	石片核			七北30-31	4	191	148	125	3402.3	黒曜石	691	3195		
Ⅲ-512	401	9	石片核			七北30-31	5	208	135	93	2986.0	黒曜石	699	3217		
—	402	10	両面調整石器			七北1-30	3	92	46	13	47.7	黒曜石	5	9833		
—	402	11	刮器			七北13-29	8	104	71	33	191.9	黒曜石	986	4236		
—	402	12	舟底形石器			ボヤ	11	23	101	23	49.2	黒曜石	988	4228		
—	402	13	石片核			七北13-29	16	54	63	43	142.6	黒曜石	1119	4579		
Ⅲ-513	402	1	尖頭器	89		S29	110	107	48	22	78.3	黒曜石		5959		
Ⅲ-513	402	2	尖頭器	89		S29	95	(32)	(29)	(8)	(6.4)	黒曜石				
Ⅲ-513	402	3	刮器	85		O36	31	129	28	13	19.2	黒曜石			産地分析 X184	
Ⅲ-513	402	4	尖頭器	90		K33 L32	30	(133)	(32)	(13)	(21.7)	黒曜石		62144		
Ⅲ-513	402	5	刮器	91		H33	53	120	43	16	27.9	黒曜石			産地分析 X186	
Ⅲ-513	402	6	刮器	91		H34 H34	5	122	22	8	14.0	黒曜石		58007		産地分析 X185
Ⅲ-513	402	7	刮器	109		N08	130	68	35	7	8.6	黒曜石			産地分析 X187	

表2 上白滝8遺跡(2)掲載採合資料一覧

種別	国産	番号	器種名	%	発掘区	層位	遺物番号	重量	長さ(mm)	石質	母岩番号	採合%
Ⅲ-42	67	71	採合資料	67			309.0	25	1	489	259	
			刮片	67	J38		2	0.9	1			
			刮片	67	L37		147	8.1	1			
			刮片	67	K28		58	0.0	1			
			刮片	67	L37		49	23.4	1			
			刮片	67	L37		50	19.4	1			
			刮片	67	L37		100	13.8	1			
			刮片	67	L37		117	2.9	1			
			刮片	67	L37		148	6.5	1			
			刮片	67	L37		134	10.3	1			
			刮片	67	L37		162	11.8	1			
			刮片	67	L37		209	26.4	1			
			刮片	67	L37		210	4.0	1			
			刮片	67	L37		221	3.0	1			
			刮片	67	L37		242	10.3	1			
			刮片	67	L37	Ⅱ	28	0.3	1			
			刮片	67	L37		286	0.4	1			
			刮片	67	L37		271	3.9	1			
			刮片	67	L37		291	1.0	1			
Ⅲ-49	40	58	石核	62	L37		332	321.6	1			
			刮片	67	L37		408	3.2	1			
			刮片	67	L37		409	12.7	1			
			刮片	67	L36		48	7.8	1			
			刮片	67	M26		34	15.2	1			
			刮片	67	M38		70	1.0	1			
			刮片	67	M38		81	1.9	1			
Ⅲ-43	68	72	採合資料	66			296.3	36	1	491	263	
			刮片	66	K25		23	6.7	1			
			刮片	66	K25		40	3.7	1			
			刮片	66	K25		91	3.4	1			
			刮片	66	K25		92	1.8	1			
			刮片	66	K25		94	2.6	1			
			刮片	66	K25	I	1	1.2	1			
Ⅲ-49	40	61	石核	66	K06		3	63.0	1			
			刮片	66	K06		8	4.9	1			
			刮片	66	K06		22	3.1	1			
			刮片	66	K25		2	13.0	1			
			刮片	66	K25		3	3.3	1			
			刮片	66	K25		9	0.0	1			
			刮片	66	K25		10	6.9	1			
			刮片	66	K25		11	3.6	1			
			刮片	66	K25		12	12.6	1			
			刮片	66	K25		13	3.3	1			
			刮片	66	K25		14	0.8	1			

種別	国産	番号	器種名	%	発掘区	層位	遺物番号	重量	長さ(mm)	石質	母岩番号	採合%
			刮片	66	K25		15	16.2	1			
			刮片	66	K25		17	7.2	1			
Ⅲ-43	61	19	表面調整加工石器	66	S25		18	4.6	1			
			刮片	66	K25		19	11.2	1			
			刮片	66	K25		21	6.7	1			
			刮片	66	K25		22	0.6	1			
			刮片	66	K25		24	2.0	1			
			刮片	66	K25		231	1.1	1			
			刮片	66	K25		25	6.6	1			
			刮片	66	K25		26	3.0	1			
			刮片	66	K25		32	17.4	1			
			刮片	66	K25		37	2.7	1			
			刮片	66	K25		38	4.6	1			
			刮片	66	K25		62	3.0	1			
			刮片	66	K25		122	12.7	1			
			刮片	66	K25		192	8.0	1			
			刮片	66	K25		254	7.6	1			
			刮片	66	K25		258	8.4	1			
			刮片	66	K25		1	0	4.8	1		
Ⅲ-64	68	75	採合資料	66			396.8	36	1	497	330	
			刮片	66	K26		5	23.9	1			
			刮片	66	K26		103	2.5	1			
			刮片	66	K26		9	11.2	1			
			刮片	66	K26		23	3.8	1			
			刮片	66	K26		186	13.6	1			
			刮片	66	K26		229	14.9	1			
			刮片	66	K26		3	1.7	1			
			刮片	66	K26		20	28.3	1			
			刮片	66	K26		119	17.8	1			
			刮片	66	K26		100	13.3	1			
			刮片	66	K26		231	4.8	1			
			刮片	66	K26		14	3.5	1			
			刮片	66	K26		17	5.9	1			
			刮片	66	K26		44	8.0	1			
			刮片	66	K26		19	5.5	1			
Ⅲ-50	40	62	石核	66	K26		24	3.6	1			
			刮片	66	K26		29	31.5	1			
			刮片	66	K26		82	3.0	1			
			刮片	66	K26		183	28.3	1			
			刮片	66	K26		42	4.1	1			
			刮片	66	K26		43	1.9	1			
			刮片	66	K26		245	1.2	1			
			刮片	66	K26		34	4.9	1			
			刮片	66	K26		233	1.3	1			

上白港8道跡(2)

線区	種別	番号	取替等	SS	変則区	幅尺	乗物重量	車重	車体長さ	石質	母材%	配合%
			鋼骨	66	5.36	69	6.0	1				
				66	5.36	107	6.2	1				
			鋼骨	66	5.36	61	5.8	1				
				66	5.36	205	26.7	1				
			鋼骨	66	5.36	70	5.8	1				
			鋼骨	66	5.36	74	5.9	1				
				66	5.36	100	8.7	1				
			鋼骨	66	5.36	75	5.6	1				
			鋼骨	66	5.36	76	5.0	1				
				66	5.36	184	8.0	1				
			鋼骨	66	5.36	98	8.4	1				
			鋼骨	66	5.36	104	2.6	1				
			鋼骨	66	5.36	108	19.6	1				
			鋼骨	66	5.36	112	3.2	1				
				66	5.36	217	21.2	1				
			鋼骨	66	5.36	122	3.2	1				
第-50	60	63	石積	66	5.36	135	66.7	1				
			鋼骨	66	5.36	144	22.8	1				
			鋼骨	66	5.36	130	3.8	1				
			鋼骨	66	5.36	132	17.6	1				
			鋼骨	66	5.36	133	22.6	1				
			鋼骨	66	5.36	135	3.7	1				
				66	5.36	132	3.4	1				
			鋼骨	66	5.36	166	6.9	1				
			鋼骨	66	5.36	173	4.5	1				
				66	5.36	108	1.0	1				
			鋼骨	66	5.36	180	27.9	1				
			鋼骨	66	5.36	206	3.0	1				
			鋼骨	66	5.36	208	3.8	1				
				66	5.36	216	1.0	1				
			鋼骨	66	5.36	225	19.4	1				
			鋼骨	66	5.36	227	10.4	1				
第-66	69	78	総合資料	70			1340.2	96	1	675	608	
			鋼骨	70	1128	6	2.7	1				
				70	1128	14	4.1	1				
				70	1128	111	13.2	1				
				70	1128	115	14.9	1				
				70	1128	133	5.3	1				
			鋼骨	70	1129	5	33.9	1				
			鋼骨	70	1129	6	8.6	1				
			鋼骨	70	1129	7	7.9	1				
第-44	61	24	二次加工木合板引	70	1129	8	13.9	1				
			鋼骨	70	1129	9	2.5	1				
				70	1129	17	2.9	1				
			鋼骨	70	1129	17	13.2	1				
第-68	65	54	石積	70	1129	19	96.1	1				
			鋼骨	70	1129	26	6.9	1				
				70	1128	129	4.2	1				
				70	1128	162	5.1	1				
			鋼骨	70	127	2	6.8	1				
			鋼骨	70	128	30	22.9	1				
第-49	65	59	石積	70	128	32	12.6	1				
			鋼骨	70	128	33	2.4	1				
				70	128	35	2.1	1				
			鋼骨	70	128	34	12.9	1				
			鋼骨	70	128	36	51.6	1				
			鋼骨	70	128	38	26.7	1				
			鋼骨	70	128	61	6.9	1				
第-66	63	45	石積	70	128	42	83.5	1				
第-65	63	36	石積	70	128	43	12.4	1				
			鋼骨	70	128	44	6.0	1				
				70	128	100	2.4	1				
				70	128	101	14.8	1				
			鋼骨	70	128	48	34.4	1				
第-43	61	5	鉄筋コンクリート工	70	128	49	7.8	1				

第-69	65	56	石積	70	128	50	74.0	1				
			鋼骨	70	128	53	32.0	1				
				70	128	61	1.3	1				
				70	128	62	2.1	1				
				70	128	64	14.1	1				
				70	128	65	7.7	1				
				70	128	76	3.0	1				
				70	128	122	6.8	1				
				70	128	204	3.3	1				
			鋼骨	70	128	14	3.9	1				
			鋼骨	70	128	96	2.6	1				
			鋼骨	70	128	60	1.9	1				
第-44	61	26	二次加工木合板引	70	128	66	2.7	1				
			鋼骨	70	128	70	1.7	1				
				70	128	130	9.8	1				
			鋼骨	70	128	71	16.7	1				
				70	128	139	13.1	1				
			鋼骨	70	128	72	4.7	1				
			鋼骨	70	128	75	1.6	1				
第-48	65	53	石積	70	128	78	135.6	1				
			鋼骨	70	128	80	3.8	1				
				70	128	128	2.7	1				
			鋼骨	70	128	84	16.8	1				
			鋼骨	70	128	85	2.8	1				
				70	128	86	7.1	1				
			鋼骨	70	128	90	3.7	1				
				70	128	169	2.5	1				
第-43	61	10	鉄筋コンクリート工	70	128	91	4.9	1				
			鋼骨	70	128	92	6.1	1				
第-44	61	28	二次加工木合板引	70	128	97	15.1	1				
			鋼骨	70	128	102	7.4	1				
			鋼骨	70	128	104	2.8	1				
			鋼骨	70	128	107	4.1	1				
			鋼骨	70	128	109	36.3	1				
			鋼骨	70	128	112	3.2	1				
			鋼骨	70	128	113	5.4	1				
				70	128	114	2.4	1				
			鋼骨	70	128	117	11.7	1				
第-43	61	15	鉄筋コンクリート工	70	128	118	64.0	1				
			鋼骨	70	128	120	2.3	1				
			鋼骨	70	128	123	1.5	1				
			鋼骨	70	128	124	5.4	1				
			鋼骨	70	128	125	1.5	1				
			鋼骨	70	128	127	36.1	1				
第-45	63	34	石積	70	128	121	15.5	1				
			鋼骨	70	128	132	2.6	1				
				70	128	174	5.6	1				
			鋼骨	70	128	135	3.3	1				
			鋼骨	70	128	138	2.9	1				
			鋼骨	70	128	140	10.6	1				
			鋼骨	70	128	144	10.3	1				
			鋼骨	70	128	149	10.9	1				
			鋼骨	70	128	155	4.7	1				
			鋼骨	70	128	157	5.2	1				
			鋼骨	70	128	160	11.2	1				
			鋼骨	70	128	164	12.7	1				
			鋼骨	70	128	165	14.7	1				
			鋼骨	70	128	172	21.7	1				
			鋼骨	70	128	173	3.5	1				
			鋼骨	70	128	182	2.0	1				
第-47	65	50	石積	70	128	187	86.7	1				
			鋼骨	70	128	193	1.8	1				
				70	129	78	6.9	1				
			鋼骨	70	128	203	6.8	1				
--	62	86	総合資料	66			326.0	6	1	100	214	

図号	図名	番号	図形等	№	図面丈	単位	遺物番号	重量	長さ	石質	埋没%	保存%				
第-45	63	35	銅片	66	5.36	15	26.3	1								
				66	5.36	16	46.8	1								
				66	5.36	171	12.9	1								
				66	5.36	220	2.3	1								
				66	5.36	232	115.3	1								
第-50	66	65	石核	66	5.36	235	142.8	1								
				66	5.36	235	142.8	1								
一	70	47	総合資料	66			73.7	14	1	480	364					
第-49	65	60	石核	66	5.35	20	39.1	1								
				66	5.35	23	3.6	1								
第-43	61	4	黄銅酸銅加工石器	66	5.35	42	2.6	1								
				66	5.36	1	3.3	1								
				66	5.36	31	7.6	1								
				66	5.36	36	4.1	1								
				66	5.36	40	3.6	1								
第-43	61	4	黄銅酸銅加工石器	66	5.36	48	6.9	1								
				66	5.36	92	1.7	1								
				66	5.36	123	2.8	1								
				66	5.36	181	1.2	1								
				66	5.36	190	2.4	1								
第-43	61	3	黄銅酸銅加工石器	66	5.36	1	1.4	1								
				66	5.36	1	0.3	1								
一	71	88	総合資料	67-69			868.0	12	1	488	258					
				69	1.34	182	69.6	1								
				69	1.35	80	11.7	1								
				67	3.38	48	25.7	1								
				第-61	66	47	石核	67	1.36	103	264.9	1				
								67	1.37	43	3.9	1				
								67	1.37	118	14.1	1				
								67	1.37	56	6.4	1				
								67	1.37	17	13.3	1				
				第-62	66	68	石核	67	1.37	27	4.6	1				
67	1.37	142	17.2					1								
67	1.37	297	7.3					1								
67	1.37	423	448.2					1								
67	1.37	423	448.2					1								
一	71	89	総合資料	69			644.6	91	1-1	308	386					
				69	3.35	190	16.3	1								
				69	3.35	196	6.8	1								
				69	3.35	113	21.1	1								
				69	3.35	1	5	2.9	1							
				69	1.35	34	2.2	1								
				69	1.35	106	3.8	1								
				69	1.35	124	6.9	1								
				69	1.35	125	5.9	1								
				69	3.35	1	9	2.1	1							
				69	3.35	1	10	20.4	1							
				69	3.35	1	4	6.3	1							
				69	1.35	56	6.1	1								
				69	1.35	107	13.3	1								
				69	1.35	123	6.5	1								
69	1.35	8	1.7	1												
69	1.35	8	16.9	1												
69	1.35	145	2.8	1												
69	1.35	14	1.1	1												
69	1.35	141	3.5	1												
69	1.35	18	1.8	1												
69	1.35	31	7.3	1												
69	1.35	33	16.3	1												
69	1.35	172	36.5	1												
69	1.35	173	3.9	1												
69	1.35	33	25.8	1												
69	1.35	38	1.6	1												
69	1.35	41	6.5	1												
69	1.35	39	6.3	1												
69	1.35	41	2.1	1												
69	1.35	46	6.9	1												

図号	図名	番号	図形等	№	図面丈	単位	遺物番号	重量	長さ	石質	埋没%	保存%				
			銅片	69	1.35	47	17.5	1								
				69	1.35	90	23.5	1								
				69	1.35	86	26.9	1								
				69	1.35	61	27.7	1								
				69	1.35	175	1.8	1								
第-51	66	66	石核	69	1.35	47	303.0	1								
				69	1.35	80	1.7	1								
第-45	63	39	石核	69	1.35	85	23.9	1								
				69	1.35	98	12.0	1								
			銅片	69	1.35	109	6.9	1								
				69	1.35	105	22.4	1								
				69	1.35	127	2.8	1								
				69	1.35	130	1.0	1								
				69	1.35	137	3.3	1								
				69	1.35	139	16.3	1								
				69	1.35	100	1.9	1								
				69	1.35	161	13.3	1								
				69	1.35	4	2.7	1								
				69	1.35	166	3.3	1								
				69	1.35	167	20.0	1								
				69	1.35	10	15.6	1								
				一	72	90	総合資料	69-79			261.9	79	1	480	380	
				第-45	62	31	銅片	79	1.28	121	546.3	1				
								79	1.28	65	321.4	1				
第-47	64	48	石核	67	1.37	65	321.4	1								
				67	1.38	1	3.4	1								
			銅片	67	1.37	10	3.4	1								
				67	1.37	77	1.1	1								
				67	1.37	11	4.9	1								
				67	1.37	51	1.4	1								
				67	1.38	3	0.6	1								
			銅片	67	1.37	37	4.9	1								
				67	1.37	44	2.2	1								
			銅片	67	1.37	43	0.3	1								
				67	1.37	55	9.1	1								
				67	1.37	76	3.4	1								
第-43	61	20	黄銅酸銅加工石器	67	1.37	115	2.0	1								
				67	1.38	6	1.8	1								
				67	1.37	121	8.4	1								
				67	1.37	130	1.0	1								
				67	1.37	145	1.6	1								
			銅片	67	1.37	146	3.2	1								
				67	1.37	218	6.5	1								
				67	1.37	20	0.5	1								
				67	1.37	2	1.4	1								
				67	1.37	130	23.4	1								
第-44	61	25	二次加工赤土銅片	67	1.37	101	8.9	1								
				67	1.37	102	1.9	1								
			銅片	67	1.37	22	0.4	1								
				67	1.37	368	21.9	1								
			銅片	67	1.37	251	12.7	1								
				67	1.37	264	26.6	1								
第-50	65	64	石核	67	1.37	252	1.1	1								
				67	1.37	293	134.0	1								
			銅片	67	1.37	302	1.6	1								
				67	1.37	303	12.2	1								
第-43	61	12	黄銅酸銅加工石器	67	1.37	305	6.3	1								
				67	1.37	307	9.0	1								
			銅片	67	1.37	23	0.3	1								
				67	1.37	308	7.7	1								
				67	1.37	300	12.7	1								
第-43	61	21	黄銅酸銅加工石器	67	1.37	308	7.0	1								
				67	1.37	418	11.6	1								
第-43	61	13	黄銅酸銅加工石器	67	1.37	406	23.4	1								
				67	1.37	6	13.5	1								
			銅片	67	1.37	9	1.0	1								
				67	1.37	9	1.0	1								

探検	探検	番号	品物名	№	発掘区	種別	発掘番号	重量	容積(立方)	石質	埋没%	埋没%
				77	F11		3	48.1	0			
				77	P18		32	107.9	0			
				75	R14		12	16.5	1			
第-79	79	25	磁器	77	P19		44	46.1	5			
				77	P19		79	1.6	1			
				77	P19		92	9.7	1			
				77	Q19		9	4.3	0			
				77	Q19		40	40.0	0			
				77	Q19		66	46.0	0			
第-80	80	10	综合資料	75-77			106.1	14	1-5	520	432	
				77	S06		3	45.3	0			
				77	P19		3	4.4	0			
				77	Q19		26	7.6	1			
				77	P19		4	10.0	0			
第-85	85	66	石核	77	P19		19	206.4	0			
				77	P19		61	15.3	0			
				77	P19		62	6.2	0			
				77	P19		82	12.9	0			
				77	P19		86	47.7	0			
				77	P19		86	1.0	1			
				77	Q19		66	5.9	1			
				77	P19		96	1.0	1			
				77	Q19		49	22.7	1			
				77	Q19		75	16.5	1			
第-87	90	94	综合資料	75-78			2206.3	35	1	520	432	
				76	L19		30	233.7	1			
				77	P19		2	24.7	1			
				77	P19		22	108.5	1			
				77	Q19		47	25.5	1			
				77	P19		28	4.0	1			
				77	P19		29	6.6	1			
				77	P19		31	3.7	1			
				77	Q19		36	7.1	1			
				77	Q19		52	3.3	1			
				77	P19		47	52.3	1			
				77	P19		48	32.4	1			
				77	P19		67	1.6	0			
				77	P19		45	9.9	1			
				77	P19		63	112.2	1			
第-87	85	74	石核	77	P19		84	20.5	1			
				77	R10		12	130.7	1			
				77	P19		102	12.6	1			
				77	F11		6	2.6	1			
				77	Q19		7	29.8	1			
				77	Q19		18	45.5	1			
				77	Q19		23	6.2	0			
				77	Q19		23	46.9	1			
				77	Q19		24	11.9	1			
				77	Q19		5	16.0	1			
				77	Q19		62	7.9	1			
				77	F11		1	77.9	1			
第-80	80	30	磁器	77	Q19		44	40.9	1			
第-86	84	71	石核	77	Q19		52	162.4	1			
				77	Q19		75	12.2	1			
				77	R10		9	23.0	1			
				77	R10		14	22.2	1			
				77	R10		15	25.9	1			
第-79	79	18	磁器	77	R10		17	37.0	1			
				77	F11		3	242.7	1			
				77	R18		1	24.8	1			
第-111	82	100	综合資料	77			718.6	12	1-5	520	432	
				77	C09		1	36.9	0			
				77	C09		6	41.5	0			
				77	C19		5	4.3	1			
				77	C19		7	25.3	0			

探検	探検	番号	品物名	№	発掘区	種別	発掘番号	重量	容積(立方)	石質	埋没%	埋没%
				77	O10		9	0.7	0			
				77	O10		12	15.5	1			
				77	O10		1	4	45.0	0		
第-89	87	84	石核	77	P10		17	463.8	0			
				77	P10		30	26.5	0			
				77	P10		64	15.9	0			
				77	P10		71	51.5	0			
				77	F11		1	11.7	0			
第-112	89	108	综合資料	76			527.9	9	1	543	432	
				76	L10		7	13.0	1			
				76	M10		33	29.3	1			
				76	L10		1	26.0	1			
				76	M10		18	14.0	1			
				76	M10		14	23.4	1			
第-97	86	77	石核	76	M10		19	267.7	1			
第-76	77	3	二次加工済み石核	76	M10		32	33.0	1			
				76	M10		34	16.0	1			
				76	M10		1	12.0	1			
-	109	136	综合資料	74			263.4	14	1-9	510	408	
				74	K12		6	3.3	1			
				74	M13		6	1.2	0			
				74	L12		14	2.4	0			
				74	L13		4	2.4	0			
第-79	79	19	磁器	74	L13		10	36.0	0			
第-82	81	44	磁器	74	L13		12	16.0	0			
				74	L13		10	6.8	0			
				74	M13		5	2.7	0			
				74	L13		20	32.3	0			
				74	L13		1	15.5	0			
				74	M13		4	8.3	0			
				74	M13		6	262.6	0			
				74	M13		12	46.9	0			
				74	M13		17	11.0	0			
-	94	117	综合資料	75-79			310.2	18	1-5	530	448	
				79	O60		11	4.9	1			
				79	P03		135	28.0	1			
				79	P04		166	7.4	1			
				79	P05		124	13.6	1			
				79	P05		151	16.7	1			
				79	P04		73	2.0	1			
				79	P04		93	5.3	1			
				79	P04		78	38.6	1			
				79	P04		67	26.3	1			
				79	P04		66	34.2	1			
				79	P04		50	1.7	1			
				79	P04		96	11.2	1			
				79	P04		110	8.6	1			
				79	P04		107	56.4	1			
				75	Q14		4	23.8	1			
				75	R12		2	11.2	0			
				75	R14		4	1.5	1			
				75	R14		8	24.2	1			
-	108	134	综合資料	76			952.6	5	1	507	448	
				76	M10		20	496.1	1			
				76	M10		24	26.7	1			
				76	M10		25	465.8	1			
-	110	126	综合資料	64-68			326.0	164	2-4	553	2807	
第-115	95	11	瓦磁器	82	J30		3	112.0	4			
				81	J41		1	2.6	4			
				81	K40		139	12.2	4			
				81	J41		6	1.4	4			
				81	L40		362	9.5	4			
				81	J41		8	3.2	4			
				81	J41		9	4.7	4			
				81	J41		11	1.0	4			

上白滝8道跡(2)

線区	国	番号	路線名	SS	変換区	種別	通過車種	重量	車体長さ	石炭	使用%	使用%
			調子	J41	E	1	0.3	4				
				K1	L40	328	1.7	4				
			調子	J41	E	2	1.0	4				
			調子	J41	E	3	0.7	4				
				K1	K40	208	1.2	4				
			調子	J41	E	4	0.8	4				
				K1	K40	340	1.8	4				
			調子	J41	E	5	0.9	4				
				K1	K40	193	1.3	4				
			調子	J41	E	6	0.8	4				
			調子	K2	K38	60	0.1	4				
			調子	K2	K39	1	1.2	4				
				K40	E	31	0.9	4				
				K1	L40	132	0.3	4				
				K1	L40	189	0.9	4				
			調子	K1	K40	1	1.2	4				
			調子	K1	K40	2	10.2	4				
				K1	K40	15	5.1	4				
				K40	I	1	20.3	4				
				K40	I	7	1.0	4				
				K1	L40	217	1.1	4				
			調子	K1	K40	3	1.6	4				
				K1	L40	44	2.3	4				
				K1	L40	99	0.7	3				
				K1	L40	107	1.4	4				
				K1	L40	112	19.9	4				
				K1	L40	281	21.2	4				
			調子	K1	K40	4	2.5	4				
				K1	L40	310	7.2	4				
			調子	K1	K40	10	2.7	4				
				K1	K40	95	13.4	4				
				K1	K40	148	6.6	4				
				K1	K40	203	8.1	4				
				K1	K40	232	9.2	4				
				K1	K40	233	14.6	4				
				K1	K40	299	3.0	4				
				K40	I	6	1.5	4				
				K40	E	19	0.9	4				
				K40	E	29	0.9	4				
				K40	E	33	0.8	4				
				K40	E	34	0.8	4				
				K1	L40	14	23.0	4				
				K1	L40	109	3.2	4				
				K1	L40	245	4.4	4				
				K1	L40	298	0.7	4				
				K1	L40	358	13.3	4				
			調子	K1	K40	16	3.0	4				
				K1	K40	17	4.1	4				
				K1	K40	257	28.6	4				
				K1	K40	366	0.9	4				
				K40	E	41	0.5	4				
			調子	K1	K40	25	1.5	4				
				K1	K40	231	1.1	4				
			調子	K1	K40	27	7.2	4				
				K1	K40	132	2.9	4				
				K1	L40	140	1.8	4				
			調子	K1	K40	28	16.6	4				
				K1	K40	240	1.7	4				
				K1	L40	221	20.3	4				
				K1	L40	262	1.2	4				
				K1	L40	313	1.2	4				
				K1	L40	367	1.4	4				
			調子	K1	K40	22	6.8	4				
				K1	L40	259	2.1	4				
			調子	K1	K40	34	2.2	4				
				K1	L40	10	2.1	4				
				K1	L40	280	1.0	4				
			調子	K1	K40	35	1.3	4				
			調子	K1	K40	38	4.9	4				
				K1	K40	90	14.9	4				
				K1	K40	378	4.7	4				
			調子	K1	K40	10	6.3	4				
				K1	K40	17	0.8	4				
				K1	K40	276	5.9	4				
				K1	K40	448	6.5	4				
				K1	L40	88	10.3	4				
				K1	L40	87	2.6	4				
				K1	L40	146	5.7	4				
			調子	K1	K40	61	2.7	4				
				K1	K40	247	0.8	4				
				K40	E	22	1.1	4				
			調子	K1	K40	66	1.8	4				
				K1	K40	343	7.0	4				
				K1	K40	377	8.7	4				
				K1	L40	88	1.2	4				
				K1	L40	207	0.8	4				
			調子	K1	K40	67	1.4	3				
			調子	K1	K40	72	2.2	4				
				K1	K40	438	4.4	4				
			調子	K1	K40	74	2.5	4				
				K1	L40	180	0.8	4				
			調子	K1	K40	75	13.9	4				
				K1	K40	85	1.6	4				
				K1	K40	86	45.0	4				
				K1	L40	308	4.8	4				
			調子	K1	K40	76	0.8	4				
				K40	E	21	1.4	4				
				K1	L40	238	17.6	4				
				K1	L40	240	13.6	4				
				K1	L40	243	2.9	4				
				K1	L40	269	16.2	4				
			調子	K1	K40	78	14.5	4				
			調子	K1	K40	82	12.9	4				
			調子	K1	K40	90	12.4	4				
				K1	L40	191	1.8	4				
			調子	K1	K40	91	1.4	4				
				K1	L40	57	1.0	4				
			調子	K1	K40	92	1.1	4				
			調子	K1	K40	98	3.6	4				
				K1	K40	294	0.8	4				
				K1	K40	289	0.9	4				
				K1	K40	354	9.9	4				
				K1	K40	431	14.5	4				
				K40	E	26	0.7	4				
				K40	E	27	1.0	4				
				K40	E	30	1.2	4				
				K1	L40	312	46.3	4				
			調子	K1	K40	107	2.3	4				
				K1	K40	154	2.4	4				
				K1	K40	414	0.9	4				
			調子	K1	K40	108	4.4	4				
			調子	K1	K40	116	7.4	4				
				K1	K40	244	1.5	4				
				K1	K40	245	2.3	4				
				K1	K40	302	38.2	4				
				K1	K40	306	4.3	4				
				K1	K40	374	1.9	4				
				K1	K40	420	6.0	4				
				K40	E	54	0.5	4				
				K40	E	48	1.1	4				

上白滝8道跡(2)

線区	区画	番号	路線名	SS	変換区	種別	道幅(歩)	重量	歩道幅	石質	歩道幅	歩道幅
			側溝	81	1.40	17	6.6	4				
				81	1.40	203	6.9	4				
			側溝	81	1.40	19	33.3	4				
				81	1.40	21	63.4	4				
				81	1.40	52	7.9	4				
			側溝	81	1.40	23	4.4	4				
				81	1.40	26	9.2	4				
				81	1.40	244	1.1	4				
			側溝	81	1.40	32	1.6	4				
				81	1.40	33	2.4	4				
				81	1.40	303	2.9	4				
				81	1.40	330	4.3	4				
			側溝	81	1.40	38	130.7	4				
				81	1.40	276	6.1	4				
			側溝	81	1.40	39	4.9	4				
				81	1.40	291	17.8	4				
				81	1.40	316	5.9	4				
			側溝	81	1.40	41	6.2	4				
				81	1.40	45	13.2	4				
			側溝	81	1.40	53	6.8	4				
				81	1.40	66	2.3	4				
			側溝	81	1.40	67	10.8	4				
				81	1.40	134	0.9	4				
			側溝	81	1.40	76	31.9	4				
				81	1.40	124	1.8	4				
			側溝	81	1.40	80	0.5	4				
				81	1.40	92	1.0	4				
			側溝	81	1.40	94	1.6	4				
				81	1.40	98	1.3	4				
			側溝	81	1.40	106	2.4	3				
			側溝	81	1.40	114	2.4	4				
				86	7/35	214	16.5	4				
				86	7/35	206	48.0	4				
			側溝	81	1.40	127	1.5	4				
			側溝	81	1.40	130	2.3	4				
			側溝	81	1.40	133	1.9	4				
			側溝	81	1.40	147	21.7	4				
			側溝	81	1.40	154	25.1	4				
			側溝	81	1.40	132	5.7	4				
			側溝	81	1.40	186	0.8	4				
			側溝	81	1.40	204	0.8	4				
			側溝	81	1.40	209	1.0	4				
			側溝	81	1.40	227	3.0	4				
			側溝	81	1.40	264	1.1	4				
			側溝	81	1.40	279	13.1	4				
			側溝	81	1.40	282	1.8	4				
			側溝	81	1.40	329	1.2	4				
			側溝	81	1.40	347	11.5	4				
				81	1.40	361	1.9	4				
			側溝	81	1.40	349	38.4	4				
			縦溝側溝	81	1.40	371	16.7	4				
			側溝	83	M38	38	24.3	4				
				83	M38	148	215.3	4				
				83	M38	218	22.1	4				
				83	M38	728	147.9	4				
				83	M38	1059	25.2	4				
			側溝	83	M38	45	2.4	4				
			天網器側溝	83	M38	56	2.3	4				
			側溝	83	M38	150	45.7	4				
				83	M38	44	6.8	3				
			側溝	83	M38	194	0.6	4				
			天網器側溝	83	M38	243	1.4	4				
			側溝	83	M38	685	2.4	4				
			側溝	M38	Ⅱ	48	0.4	4				
			側溝	M38	Ⅱ	49	0.3	4				

線区	区画	番号	路線名	SS	変換区	種別	重量	歩道幅	石質	歩道幅	歩道幅	
			側溝	83	M38	1	30	0.9	4			
				83	M38		287	0.9	4			
			側溝	83	M38	Ⅱ	51	0.3	4			
				83	M38		595	0.7	4			
			側溝	83	M38		8	0.6	4			
			側溝	83	M38		111	1.9	4			
				83	M38		8	2.4	3			
			側溝	83	M38		32	0.6	4			
				83	M38		28	5.5	4			
			側溝	83	M38		119	4.6	4			
				83	M38		134	1.2	3			
			側溝	83	M38		319	1.9	3			
			側溝	83	M38		420	62.6	4			
				83	M38		465	1.7	4			
				83	M38		1033	0.8	4			
				M38	Ⅰ	4	16.6	4				
			側溝	83	M38		489	0.6	3			
			側溝	83	M38		500	2.7	4			
				83	M38		501	5.0	4			
			側溝	83	M38		306	5.8	4			
				83	M38		683	2.2	4			
			天網器側溝	83	M38		712	2.1	4			
				83	M38		776	1.7	4			
				83	M38		828	2.4	4			
			側溝	83	M38		823	2.6	4			
				83	M38		1079	2.2	4			
				83	M38		1081	2.8	4			
			側溝	83	M38		831	0.7	3			
			天網器側溝	83	M38		1043	2.7	4			
				83	M38		1049	7.4	4			
				83	M38		1079	1.3	4			
			側溝	83	M38		18	10.8	4			
				83	M38		29	68.7	4			
			側溝	83	M40		43	1.6	4			
				83	M40		274	2.2	4			
				83	M40		322	13.3	4			
			側溝	83	M40		51	19.5	4			
				83	M40		71	1.0	4			
				83	M40		29	32.1	4			
				83	M40		345	4.4	4			
			側溝	83	M40		88	5.8	4			
				83	M40		142	10.9	4			
			側溝	83	M40		157	11.7	4			
				83	M40		238	2.9	4			
			側溝	83	M40		286	1.0	4			
				83	M40		36	2.7	4			
				83	M40		210	5.0	4			
				83	M40		212	2.9	4			
			側溝	83	M40		301	6.3	4			
				83	M40		317	6.3	4			
				83	M40		351	14.0	4			
				83	M40		400	16.3	4			
				83	M40		403	9.4	4			
				83	M40		413	3.3	4			
				M40	Ⅱ	17	0.6	4				
				M40	Ⅱ	62	1.3	4				
				M40	Ⅱ	66	1.6	4				
			側溝	83	M40		187	1.0	4			
				83	M40		206	3.3	4			
			側溝	83	M38		277	2.9	4			
				83	M38		348	2.6	4			
				83	M38		1187	1.6	4			
			側溝	83	M38		319	2.7	4			
				83	M38		342	1.9	4			

種別	国名	番号	品類等	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	石質	材質%	容積%
			鏡片	83	5/28		526	3.7		+		
			鏡片	83	5/28		543	2.9		+		
			鏡片	83	5/28		723	3.7		+		
			鏡片	83	5/28		1052	1.4		+		
			鏡片	83	5/28	I	13	0.3		+		
			鏡片	83	5/28		391	1.9		+		
			鏡片	83	5/28		39	2.0		+		
			鏡片	83	5/28		11	1.5		+		
			鏡片	83	5/28		84	1.7		+		
			鏡片	83	5/28		324	2.0		+		
			鏡片	83	5/28		499	1.6		+		
			鏡片	83	5/28		693	1.6		+		
			鏡片	83	5/28		1308	3.0		+		
群-114	114	103	組合資料	群-83			533.2	06	+	+	549	2800
			鏡片	81	5/40		22	27.9		+		
			鏡片	81	5/40		30	4.1		+		
			鏡片	81	5/40		126	27.1		+		
			鏡片	81	L/40		282	3.7		+		
			鏡片	81	5/40		34	6.9		+		
			鏡片	81	5/40		38	13.1		+		
			鏡片	81	5/40		146	3.9		+		
			鏡片	81	5/40	II	39	0.7		+		
			鏡片	81	5/40		115	3.5		+		
			鏡片	81	L/40		122	12.1		+		
			鏡片	81	L/40		144	3.9		+		
			鏡片	81	5/40		117	27.2		+		
			鏡片	81	L/40		295	2.8		+		
			鏡片	81	5/40		143	18.6		+		
			鏡片	81	5/40		147	6.1		+		
			鏡片	81	5/40	II	81	0.8		+		
			鏡片	81	5/40	II	84	2.4		+		
			鏡片	81	5/40		126	60.1		+		
			鏡片	81	5/40		291	7.2		+		
			鏡片	81	5/40		383	6.4		+		
			鏡片	81	L/40		13	9.0		+		
			鏡片	81	5/40		190	2.7		+		
			鏡片	81	L/40		65	7.0		+		
			鏡片	81	5/40		272	1.2		+		
			鏡片	81	L/40		43	12.4		+		
			鏡片	81	5/40		200	2.4		+		
			鏡片	81	5/40		392	14.0		+		
			鏡片	81	5/40		337	2.2		+		
			鏡片	81	5/40		422	1.0		+		
			鏡片	81	5/40		426	3.4		+		
			鏡片	81	5/40	II	38	1.0		+		
			鏡片	81	5/40	II	60	0.7		+		
			鏡片	81	5/40	II	63	1.0		+		
			鏡片	81	L/40		62	14.6		+		
			鏡片	81	L/40		333	2.6		+		
			鏡片	81	L/40		346	7.3		+		
			鏡片	81	5/40	II	60	0.5		+		
			鏡片	81	L/40		1	6.9		+		
			鏡片	81	L/40		11	2.0		+		
			鏡片	81	L/40		22	0.7		+		
			鏡片	81	L/40		69	3.7		+		
			鏡片	81	L/40		75	3.5		+		
			鏡片	81	L/40		110	7.8		+		
			鏡片	81	L/40		128	1.6		+		
			鏡片	81	L/40		300	49.3		+		
			鏡片	81	L/40		130	2.3		+		
			鏡片	81	L/40		285	29.1		+		
			鏡片	81	L/40		131	32.0		+		
			鏡片	81	L/40		282	2.4		+		
			鏡片	81	L/40		272	7.0		+		
			鏡片	81	5/28		114	2.2		+		
			鏡片	83	5/28		533	06	+	+	549	2800
群-116	116	126	組合資料	群-86			641.7	30	3-4		713	3234
群-115	85	9	矢頭部	86	5/30		65	106.2		+		
			鏡片	86	5/30		89	2.7		+		
			矢頭部鏡片	86	5/30		287	2.5		+		
			矢頭部鏡片		5/30	I	1	13.9		+		
			鏡片	86	5/34		68	46.6		+		
			鏡片	86	5/34		421	15.4		+		
			矢頭部鏡片	86	5/34		253	3.6		+		
			矢頭部鏡片	86	5/34		616	13.1		+		
			鏡片	86	5/34		791	1.8		+		
			鏡片	86	5/34		1296	8.3		+		
群-116	86	21	矢頭部鏡片	86	5/34		1297	13.6		+		
			鏡片	86	5/34		1318	14.7		+		
			鏡片	86	5/30		67	1.9		+		
			鏡片	86	5/34		1317	16.4		+		
			鏡片	86	5/30		82	0.5		+		
			矢頭部鏡片		5/34	II	136	6.2		+		
			鏡片	86	5/35		86	28.7		+		
群-115	85	10	矢頭部	86	5/30		100	166.1		+		
群-116	86	18	矢頭部鏡片	85	5/30		6	21.1		+		
			鏡片	86	5/36	I	22	28.0		+		
			鏡片	85	5/30		107	9.3		+		
群-115	86	16	矢頭部鏡片	85	5/35		2	16.9		3		
			鏡片	85	5/35		4	6.5		3		
群-116	86	17	矢頭部鏡片	85	5/35		73	7.6		3		
			鏡片	85	5/35		339	14.8		4		
群-116	86	19	矢頭部鏡片	85	5/35		179	17.7		4		
			鏡片	85	5/35	I	20	4.7		4		
群-120	89	86	筒部		5/30	I	2	18.2		4		
			鏡片		5/30	I	21	5.7		4		
群-115	86	15	矢頭部鏡片	85	5/30		382	39.8		4		
群-116	115	186	組合資料	群-87			1038.4	58	1	+	628	2988
			鏡片	88	5/23		8	3.0		1		
			鏡片	88	5/32		35	19.1		1		
			鏡片		5/32	I	3	28.5		1		
			鏡片		5/32	I	14	11.5		1		
			鏡片	88	5/33		10	6.6		1		
			鏡片	88	5/32		202	45.6		1		
			鏡片	88	5/21		27	11.9		1		
			鏡片	88	5/32		302	1.4		1		
			鏡片	88	5/33		216	2.0		1		
			鏡片	88	5/33		223	22.2		1		
			鏡片	88	5/33		230	9.7		1		
			鏡片	88	5/31		215	14.8		1		
			鏡片	87	5/34		84	18.6		1		
			鏡片		5/34	I	77	8.6		1		
			鏡片	88	5/31		44	9.0		1		
			鏡片	88	5/21		64	28.5		1		
			鏡片	88	5/31		87	58.5		1		
			鏡片	88	5/31		139	14.7		1		

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変位(%)	石質	傾斜(%)	積石率
			測り	88	F.31		192	11.7	1			
				88	F.32		654	3.4	1			
			測り	88	F.31		179	22.8	1			
			測り	88	F.31		206	7.1	1			
				88	F.31		227	6.0	1			
				88	F.32		889	30.1	1			
				88	F.31		106	3.8	1			
			測り	88	F.31		241	10.1	1			
			測り	88	F.32		48	11.6	1			
			測り	88	F.32		317	7.0	1			
				88	F.32		348	7.6	1			
				88	F.32		363	9.7	1			
				88	F.32		631	51.7	1			
			測り	88	F.32		371	4.2	1			
				88	F.31		77	17.1	1			
			測り	88	F.32		538	2.7	1			
			測り	88	F.32		549	14.4	1			
			測り	88	F.32		571	73.1	1			
				88	F.31		251	3.8	1			
			測り	88	F.32		640	0.5	1			
			測り	88	F.32		628	65.5	1			
			測り	88	F.32		736	8.5	1			
			測り	88	F.32		746	2.8	1			
			測り	88	F.31		83	8.9	1			
				88	F.32		626	6.5	1			
			測り	88	F.31		84	17.3	1			
			測り	88	F.31		101	34.4	1			
				88	F.31		118	6.1	1			
				88	F.31		203	4.3	1			
				88	F.32		391	24.2	1			
			測り	88	F.31		119	6.2	1			
			測り	88	F.31		148	8.0	1			
			測り	88	F.31		180	8.0	1			
				88	F.32		575	19.7	1			
			測り	88	F.31		184	19.3	1			
				88	F.31		224	3.4	1			
			測り	88	F.31		248	6.4	1			
				88	F.32		113	73.0	1			
			測り	88	F.32		16	9.9	1			
			測り	88	F.32		97	9.4	1			
B-139 136 136 総合資料 40-44-45							214.3	124	1744	612	2963	
			測り	85	N.27		24	26.0	3			
			測り	85	N.27		25	60.9	3			
			測り	85	N.27		46	4.3	4			
				84	O.27		55	2.0	3			
					O.27	1	8	8.3	3			
					O.27	1	25	2.7	3			
			測り		N.27	1	11	21.6	3			
					O.27	1	6	301.4	3			
			測り		N.27	1	33	5.0	3			
			測り	84	O.36		9	4.7	3			
				84	O.36		62	2.0	3			
				84	O.27		62	8.2	3			
					F.37	1	11	3.0	3			
			測り	84	O.36		6	2.2	3			
				84	O.27		57	3.5	4			
			測り	84	O.36		52	8.6	3			
				84	O.36		39	60.8	3			
				84	O.36		80	2.1	3			
				84	O.36		80	3.2	3			
				84	O.36		123	3.7	3			
				84	O.27		6	56.6	3			
			測り	84	O.36		53	8.4	3			
			測り	84	O.36		58	36.5	3			

線区	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変位(%)	石質	傾斜(%)	積石率
				85	O.36		118	172.2	3			
				85	O.36		122	30.8	3			
			測り	84	O.36		63	2.3	3			
				84	O.36		64	1.9	3			
				84	O.36		102	9.9	3			
				84	O.36		127	1.5	3			
				84	O.36		137	58.6	3			
				84	O.27		11	13.9	1			
				84	O.27		14	5.9	5			
				84	O.27		28	7.6	4			
				84	O.27		49	28.5	5			
					O.27	1	13	13.5	5			
					O.27	1	27	3.7	1			
				84	F.36		16	254.8	5			
					F.36	2	7	0.8	5			
			測り	84	O.36		83	2.4	3			
					O.27	1	15	9.2	5			
			測り	84	O.36		85	2.4	3			
				84	O.27		10	10.2	4			
				84	O.27		16	11.7	4			
				84	O.27		20	4.0	4			
				84	O.27		67	1.5	4			
			測り	84	O.36		91	67.7	3			
				84	O.27		25	10.1	4			
					O.27	1	3	27.7	3			
					O.27	1	24	2.4	3			
					O.27	1	32	1.2	3			
			測り	84	O.36		92	2.8	3			
				84	F.36		34	2.5	4			
			測り	84	O.36		96	3.8	3			
				84	O.36		129	24.9	3			
				84	O.27		24	23.1	5			
			測り	84	O.36		98	8.1	3			
			測り	84	O.36		99	100.0	3			
				84	F.36		35	3.3	4			
				84	F.36		36	2.2	4			
			測り	84	O.36		104	12.0	3			
				84	O.36		124	3.8	3			
			測り	84	O.36		107	3.2	3			
			測り	84	O.36		108	38.6	3			
				84	O.36		119	4.0	3			
				84	O.36		132	2.6	3			
				84	O.27		13	56.3	4			
					O.27	1	10	21.4	3			
			測り	84	O.36		113	30.7	3			
			測り	84	O.36		120	28.4	3			
				84	O.27		7	18.5	5			
				84	O.27		8	18.4	5			
				84	O.27		49	6.5	5			
			測り	84	O.36		121	2.8	3			
			測り	84	O.36		138	8.1	3			
					O.27	1	5	32.2	3			
					O.27	1	29	2.4	3			
			測り	84	O.36		141	15.9	3			
				84	O.36		148	86.3	3			
			測り	84	O.36		147	4.0	3			
					F.36	1	3	206.1	3			
			測り	85	O.36		156	4.4	3			
				84	O.27		3	3.7	5			
			測り	84	O.27		5	5.6	3			
			測り	84	O.27		9	4.1	5			
				84	O.27		71	21.1	5			
			測り	84	O.27		12	25.1	3			
				84	Q.27		11	20.8	3			
			測り	84	O.27		17	1.5	3			

線区	区間	番号	設備番号	№	架設区	種別	乗務番号	乗車	降車	石段	付2%	保安%
					032	1	1	26.2		3		
					84	032		20	6.1	4		
					84	032		22	26.2	5		
					84	032		29	54.6	4		
					84	032		30	6.0	5		
					84	032		32	1.5	4		
					84	032		34	4.1	3		
					84	032		42	27.6	4		
					84	032		46	26.1	4		
					032	1	4	68.6		3		
					84	032		48	15.6	4		
					84	032		53	2.4	5		
					84	032		61	4.9	4		
					84	032		72	10.0	5		
					84	032		73	112.0	5		
					84	032		77	2.4	5		
					032	1	42	6.9		3		
					032	1	2	10.9		1		
					032	1	7	10.0		3		
					P32	1	13	10.2		1		
					P32	1	17	106.1		1		
					032	1	11	26.1		2		
					032	1	12	13.2		3		
					032	1	16	7.3		3		
					032	1	17	6.7		3		
					032	1	19	3.1		3		
					032	1	26	2.4		3		
					84	P36		19	1.5	5		
					84	P36		24	13.1	5		
					P32	1	9	105.8		5		
					P32	1	14	2.3		5		
					P36	1	7	26.6		3		
					84	P36		37	3.6	4		
					84	P32		11	2.8	4		
					P32	1	12	3.2		5		
東96	117	107	総合資料	86-89			666.7	56	1	607	20.3	
				88	Q33		8	6.9		1		
				86	E32		222	52.3		1		
				86	E32		261	3.1		1		
				88	Q32		10	21.4		1		
				88	E32		249	20.0		1		
				88	Q33	1	36	35.4		1		
				89	E29		4	14.3		1		
				89	E29		484	23.0		1		
				89	E30		29	8.0		1		
				89	E30		230	5.2		1		
				89	E29		134	4.9		1		
				89	E29		206	3.8		1		
				89	E29		435	25.2		1		
				89	E30		303	7.6		1		
				89	E30	1	4	6.5		1		
				89	E29		24	23.2		1		
				89	E29		436	3.4		1		
				89	E30		18	28.7		1		
				89	E30	1	3	7.7		1		
				89	E29		475	4.3		1		
				88	E31		10	2.5		1		
				88	E31		229	5.7		1		
				88	E31		294	3.8		1		
				88	E32		162	4.4		1		
				88	E31		36	16.9		1		
				88	E32		105	4.2		1		
				88	E32		364	10.3		1		
				86	E32		472	5.2		1		
				90	E32		532	16.2		1		

線区	区間	番号	設備番号	№	架設区	種別	乗務番号	乗車	降車	石段	付2%	保安%
					E32	1	20	4.0		1		
					89	E28		4	7.3	1		
					89	E29		35	26.1	1		
					89	E29		67	26.9	1		
					89	E29		430	11.6	1		
					89	E29		92	1.5	1		
					89	E29		109	10.3	1		
					89	E29		210	6.2	1		
					89	E29		205	14.1	1		
					職員用	89	E29	203	15.9	1		
					89	E29		209	1.5	1		
					89	E29		302	42.6	1		
					89	E29		305	8.2	1		
					89	E29		330	2.8	1		
					89	E29		337	13.3	1		
東114	第 4		無線器	89	E29		430	10.4		1		
				89	E29		471	1.1		1		
				89	E29		423	3.3		1		
				89	E30		43	2.0		1		
				89	E30		44	4.2		1		
				89	E30		72	5.4		1		
				89	E30		1	3.9		1		
				89	E30		24	15.3		1		
				89	E30		38	3.7		1		
				89	E30		58	3.3		1		
				89	E30	1	1	6.0		1		
				88	E32		329	6.7		1		
東96	117	106	総合資料	89			123.4	15	1	637	20.4	
				89	E29		8	2.3		1		
				89	E29		17	2.5		1		
東114	第 3		無線器	89	E29		24	60.0		1		
				89	E30		23	3.5		1		
				89	E30		38	4.4		1		
				89	E30		54	6.4		1		
				89	E30		80	8.5		1		
				89	E29		30	5.9		1		
				89	E29		132	8.0		1		
				89	E29		263	3.5		1		
				89	E29		264	2.0		1		
				89	E29		268	4.1		1		
				89	E29		371	5.2		1		
				89	E29		335	5.5		1		
				89	E29	1	4	1.6		1		
東94	117	108	総合資料	89-91			324.7	22	1	633	20.6	
				92	N39	1	1	12.9		1		
				一次加工車台用	84	032		1	7.2	1		
				84	P32		13	22.6		1		
東121	90	93	石段	84	P32		2	3.6		1		
				簡器	P32	1	1	36.1		1		
					P32	1	18	7.1		1		
					P36	1	2	11.0		1		
				石段	84	P32		7	25.0	1		
					85	P30		1	11.0	1		
					85	E29		2	18.7	1		
				石段	84	P32		8	14.5	1		
					P32	1	5	25.3		1		
					P32	1	6	12.8		1		
				84	P32		14	8.4		1		
東121	90	94	簡器	84	P32		16	4.2		1		
					P32	1	2	26.4		1		
					P32	1	3	24.1		1		
				石段	P32	1	4	21.2		1		
				石段	P32	1	7	8.8		1		
				簡器	P32	1	20	1.4		1		
				職員用	P36	1	1	3.8		1		

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	路側帯	SS	変換区	標高	道路幅員	車道	車道幅員	石積	母材%	積込%					
第-9区	118	200	複合資料	66-67-68	7-30	1	8	6.6	1								
					80	7-34	16	24.0	1								
					85	7-30	403	36.2	1								
			側溝	82	7-32		177	70.6	1								
				87	5-33		444	4.4	1								
第-9区	118	201	縦溝側溝		87	Q24	30	17.8	1								
						Q24	I	75	16.1	1							
					87	R33	520	48.4	1								
					87	R33	691	63.9	1								
					87	5-32	628	6.2	1								
					87	Q24	160	9.0	1								
					87	Q24	176	11.4	1								
					87	Q24	196	19.7	1								
第-9区	118	202	側溝		87	R33	6	6.5	1								
					87	5-33	20	6.7	1								
					87	5-33	531	11.6	1								
					87	5-33	537	26.9	1								
					87	5-33	810	4.1	1								
					87	5-33	8	2.5	1								
					87	Q24	I	178.4	1								
					87	R33	217	4.0	1								
第-9区	118	203	側溝		87	R33	328	10.8	1								
					87	5-33	167	6.5	1								
					87	R33	435	30.2	1								
第-9区	118	204	縦溝側溝		87	R33	442	4.8	1								
					87	5-33	512	29.0	1								
					87	R33	569	7.1	1								
					87	R33	661	5.7	1								
					87	R33	643	5.7	1								
					87	R33	1006	167.0	1								
					87	5-33	686	130.0	1								
					87	R33	1214	5.1	1								
第-9区	118	205	側溝		87	5-33	392	6.4	1								
					87	R34	113	4.0	1								
					87	5-33	120	17.4	1								
					87	5-32	639	5.7	1								
					87	5-33	49	4.3	1								
					87	5-33	494	26.3	1								
					87	5-33	77	2.6	1								
					87	5-33	309	3.3	1								
第-9区	118	206	縦溝側溝		87	5-33	321	4.7	1								
					87	5-33	299	3.4	1								
					87	5-33	326	4.3	1								
第-9区	118	207	側溝		87	5-33	406	2.3	1								
					87	5-33	688	14.3	1								
					87	5-33	688	14.3	1								
第-9区	118	208	複合資料		85			108.5	9	3-4	627	2984					
					石段	85	7-36	1	4.8	4							
					側溝		7-36	1	9	26.0	4						
					石段		7-36	1	10	14.0	4						
					石段	80	Q36	38	4.1	3							
					石段		Q36	1	9	11.5	4						
					縦溝側溝		Q36	1	8	5.9	4						
					側溝		Q36	1	9	5.9	4						
					第-12区	118	146	石段		Q36	1	3	36.5	4			
								二次加工木本側溝		Q36	1	7	5.7	4			
第-9区	118	212	複合資料	666666				291.4	12	3-4-5	386	2903					
					側溝	81	R40	110	22.0	3							
						80	7-38	608	16.4	5							
					側溝	81	R40	287	1.5	4							
					第-12区	90	83	側溝		81	L40	130	4.3	5			
										80	7-37	192	6.0	5			
										80	7-38	900	7.5	5			
										側溝	81	L40	152	27.0	5		
										石段	81	L40	221	9.6	5		

					82	L40	280	9.0	5			
						M35	I	60	14.0	3		
					石段	80	M38	48	2.8	5		
						耕土		121	7.6	5		
第-12区	90	86	側溝		80	M38	65	8.7	5			
第-12区	103	154	石段		80	M38	148	2.6	5			
					80	M38	420	2.2	3			
					80	N38	520	83.7	5			
					80	N38	617	12.0	5			
					80	N38	848	14.5	5			
					側溝	80	M38	177	13.6	5		
					石段	80	M38	376	37.2	5		
					石段	80	M38	546	10.5	5		
						M39	I	11	9.6	3		
					石段	80	M38	645	23.0	5		
					二次加工木本側溝	80	M38	606	3.1	5		
						80	N38	527	9.3	5		
					石段	80	M38	679	1.8	5		
						80	N38	903	7.6	5		
					側溝	80	M38	661	1.6	5		
第-12区	90	87	側溝			M39	I	8	20.7	5		
					石段		M39	I	9	6.4	3	
							M39	I	10	12.8	3	
							M39	I	12	12.6	3	
第-12区	90	91	側溝		86	N35	1	60.9	5			
					86	N36	113	3.9	5			
					縦溝側溝	80	N35	23	2.6	5		
						80	N35	250	8.7	5		
						80	N38	660	5.9	5		
					二次加工木本側溝	86	N35	131	34.8	5		
						86	N35	307	18.4	5		
					縦溝側溝	86	N35	161	1.3	5		
						87	R34	16	5.5	5		
					側溝	86	N35	300	15.4	5		
			側溝	80	N36	16	25.0	5				
			側溝	80	N37	20	21.8	5				
			側溝	80	N38	306	6.9	5				
				80	N38	306	2.5	5				
				石段	80	N38	729	11.2	5			
				石段	80	N38	734	3.5	5			
					80	N38	991	1.6	5			
					石段	80	N38	850	27.6	5		
					石段	80	N38	1225	40.7	5		
					石段	N38	I	12	62.4	3		
第-9区	118	213	複合資料	84-95				362.3	63	3-4	613	2864
					石段	84	Q37	1	18	31.9	4	
					石段	84	Q36	45	4.8	3		
					石段	84	P36	17	22.4	3		
					石段	84	P36	18	9.1	3		
						84	P36	47	7.8	3		
					側溝	84	P36	20	5.3	3		
						84	Q36	47	9.4	3		
						80	Q36	53	6.0	3		
					縦溝側溝	84	P36	28	4.6	3		
						84	Q36	5	9.0	3		
						84	Q36	6	8.6	3		
					縦溝側溝	84	P36	27	20.6	3		
					側溝	84	P36	28	1.2	3		
					側溝	84	P36	30	17.2	3		
						84	Q37	12	13.3	3		
					側溝	84	P36	41	8.3	3		
						84	Q36	29	1.0	3		
					側溝	84	P36	42	22.6	3		
						84	Q36	32	15.6	3		
					側溝	84	P36	46	37.1	3		

探検	探検	番号	品物名	No.	発掘区	種別	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	保存%
				84	F36		37	6.9	3			
			銀装鏡片	84	F36		48	21.0	3			
			鏡片	84	F36		49	122.8	3			
			鏡片	84	F36		56	9.6	3			
			石笏	84	F37		3	22.7	3			
					Q36	Ⅱ	10	0.9	3			
			鏡片	84	F37		6	47.2	3			
			銀装鏡片	84	F37		9	1.1	3			
			鏡片	84	F37		18	20.6	3			
			石笏		F37	I	10	21.8	3			
					Q36		25	6.0	3			
			鏡片	84	Q36		10	4.6	3			
			鏡片	84	Q36		11	7.2	3			
			銀装鏡片	84	Q36		12	18.8	3			
			鏡片	84	Q36		13	17.0	3			
			鏡片	84	Q36		14	36.0	3			
			鏡片	84	Q36		18	7.4	3			
					Q36		26	7.4	3			
			鏡片	84	Q36		22	2.3	3			
			鏡片	84	Q36		23	4.2	3			
					Q36		44	11.8	3			
第120	99	82	銀器	84	Q36		25	44.7	3			
			銀装鏡片	84	Q36		30	9.9	3			
			鏡片	84	Q36		31	6.3	3			
			鏡片	84	Q36		33	1.5	3			
			石笏	84	Q36		36	33.2	3			
			鏡片	84	Q36		38	2.0	3			
			鏡片	84	Q36		40	1.6	3			
			銀装鏡片	84	Q36		42	28.5	3			
			鏡片	84	Q36		46	22.7	3			
			石笏	84	Q36		49	6.2	3			
			鏡片	84	Q36		50	1.7	3			
			鏡片	84	Q36		51	4.0	3			
			鏡片	84	Q36		54	7.6	3			
			鏡片	84	Q36		55	4.8	3			
			鏡片		Q36	I	6	25.2	4			
			鏡片		Q36	Ⅱ	9	0.9	4			
			鏡片		Q36	Ⅲ	11	0.4	3			
			銀装鏡片	84	Q37		18	32.0	3			
			石笏	84	Q37		19	23.2	3			
			鏡片	79	Q38		1	7.7	3			
			79	Q38		2	2.8	3				
			79	Q38		3	13.9	3				
第120	120	204	総合資料	86			2102.2	130	3.4	696	2803	
			鏡片	86	M34		24	8.5	4			
			銀装鏡片	86	M34		86	7.3	4			
					M34		213	14.7	4			
			鏡片	86	M34		136	13.1	4			
			鏡片	86	M34		133	10.5	4			
					M34		228	111.8	4			
					M34		484	2.1	4			
					M34		1225	3.1	4			
					O33		21	46.7	4			
			鏡片	86	M34		180	21.8	4			
			石笏	86	M34		192	13.4	4			
					M34		720	4.7	4			
			銀装鏡片	86	M34		183	24.6	4			
					O33		102	10.2	4			
			鏡片	86	M34		186	3.6	4			
			鏡片	86	M34		228	17.5	4			
			鏡片	86	M34		228	2.5	4			
			鏡片	86	M35		80	2.1	4			
			鏡片		M35	I	58	2.0	4			
			鏡片		M35	I	62	11.8	4			
			鏡片		M35	I	63	3.1	4			

探検	探検	番号	品物名	No.	発掘区	種別	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	保存%
				86	S33		125	4.1	4			
					S34		1123	3.2	4			
			鏡片	86	S34		3	48.4	4			
			鏡片	86	S34		13	3.4	4			
			鏡片	86	S34		21	5.0	4			
			銀装鏡片	86	S34		25	32.1	4			
					S35	I	4	4.1	4			
			鏡片	86	S34		63	15.2	4			
					S34		100	14.8	4			
			石笏	86	S34		67	38.9	4			
			鏡片	86	S34		69	2.1	4			
			鏡片	86	S34		86	2.0	4			
			鏡片	86	S34		96	13.7	4			
			銀装鏡片	86	S34		113	18.1	4			
					S34		905	16.0	4			
			銀装鏡片	86	S34		138	8.4	4			
					S34		227	12.9	4			
			鏡片	86	S34		129	8.6	4			
			鏡片	86	S34		140	4.8	4			
			鏡片	86	S34		141	2.3	4			
					S34		1277	34.9	4			
			鏡片	86	S34		146	16.2	4			
			鏡片	86	S34		175	8.6	4			
			鏡片	86	S34		183	1.7	4			
			鏡片	86	S34		221	24.3	3			
			鏡片	86	S34		222	4.1	4			
			銀装鏡片	86	S34		229	5.3	4			
					S34		632	6.2	4			
			鏡片	86	S34		246	4.6	4			
			鏡片	86	S34		247	3.8	4			
			鏡片	86	S34		255	4.7	4			
			鏡片	86	S34		261	5.4	4			
			鏡片	86	S34		283	5.0	4			
			鏡片	86	S34		321	9.6	4			
			鏡片	86	S34		323	85.5	4			
			鏡片	86	S34		328	3.0	4			
			石笏	86	S34		347	8.4	4			
			鏡片	86	S34		363	15.1	4			
第124	101	122	赤坂彫石器	86	S34		420	36.1	4			
					S34		1302	18.2	4			
			鏡片	86	S34		431	105.0	4			
			鏡片	86	S34		434	8.6	4			
			鏡片	86	S34		444	2.5	4			
			鏡片	86	S34		504	7.2	4			
			鏡片	86	S34		546	17.7	4			
			鏡片	86	S34		548	14.5	4			
			鏡片	86	S34		557	2.5	4			
			銀装鏡片	86	S34		569	7.4	4			
			銀装鏡片	86	S34		574	84.7	4			
			鏡片	86	S34		600	12.1	4			
			鏡片	86	S34		604	10.1	4			
			鏡片	86	S34		610	6.5	4			
			銀装鏡片	86	S34		612	6.0	4			
					S34		1251	28.2	4			
			鏡片	86	S34		641	2.8	4			
			鏡片	86	S34		669	4.1	4			
			鏡片	86	S34		719	3.4	4			
第123	101	119	赤坂彫石器	86	S34		763	20.1	4			
					S34		1408	14.3	4			
			鏡片	86	S34		773	1.8	4			
					S34		908	2.0	4			
					S34	Ⅱ	133	2.9	4			
			鏡片	86	S34		263	8.7	4			
			鏡片	86	S34		397	2.8	4			
			鏡片	86	S34		398	25.7	4			

上白滝8道跡(2)

線区	区画	番号	道路種別	SS	築設年次	幅員	道路幅員	車道幅員	車道	車道幅員	石積	歩道幅員	積石割合
			側溝	86	N234	803	63.0						
			側溝	86	N234	805	2.0						
			側溝	86	N234	809	6.2						
			側溝	86	N234	810	2.2						
			側溝	86	N234	829	13.8						
			側溝	86	N234	830	6.7						
			側溝	86	N234	860	2.0						
			側溝	86	N234	900	15.1						
			縦溝側溝	86	N234	945	7.2						
			側溝	86	N234	985	3.7						
			側溝	86	N234	978	49.7						
			側溝	86	N234	989	6.8						
			側溝	86	N234	993	9.5						
			側溝	86	N234	994	4.0						
			側溝	86	N234	996	10.8						
東-128	108	153	石段林	86	N234	1013	114.0						
			側溝	86	N234	1032	2.3						
			側溝	86	N234	1030	25.1						
				86	N234	100	2.2						
			側溝	86	N234	1030	3.0						
			側溝	86	N234	1054	19.1						
			側溝	86	N234	1082	13.3						
			石段	86	N234	1091	3.3						
			側溝	86	N234	1302	4.3						
			側溝	86	N234	1405	2.4						
			側溝	86	N234	1394	7.1						
			側溝	86	N234	1113	10.6						
			側溝	86	N234	1121	21.9						
			側溝	86	N234	1411	11.5						
			側溝	86	N234	1134	15.6						
			縦溝側溝	86	N234	1222	2.9						
			側溝	86	N234	1280	6.3						
				86	N234	142	1.2						
			側溝	86	N234	1293	21.3						
			側溝	86	N234	1316	20.7						
			側溝	86	N234	1258	3.5						
			側溝	86	N234	1219	3.0						
			側溝	86	N234	1331	4.9						
			側溝	86	N234	1341	6.4						
			側溝	86	N234	1406	6.1						
				86	N234	138	6.8						
			側溝	86	N234	1407	125.0						
				86	N234	131	2.8						
			側溝	86	N234	134	2.0						
			側溝	86	N234	136	3.7						
			側溝	86	N234	137	2.6						
			側溝	86	N234	161	81.1						
			側溝	86	N234	1	3						
			側溝	86	N234	38	10.4						
			側溝	86	N234	111	24.3						
			側溝	86	N234	243	1.4						
			側溝	86	N234	267	13.6						
			側溝	86	N234	630	2.4						
東-196	119	205	綜合資料	86	N234	786-4	126	3-4	305	262			
			側溝	86	N234	40	16.8						
			側溝	86	N234	1128	4.0						
			側溝	86	N234	95	4.2						
			石段	86	N234	96	10.9						
			側溝	86	N234	1080	4.6						
			側溝	86	N234	206	4.1						
			側溝	86	N234	209	29.4						
			側溝	86	N234	46	4.1						
			側溝	86	N234	228	7.4						
			側溝	86	N234	600	6.8						
			縦溝側溝	86	N234	1	3						

線区	区画	番号	道路種別	SS	築設年次	幅員	道路幅員	車道幅員	車道	車道幅員	石積	歩道幅員	積石割合
			側溝	86	N234	1	8	2.1					
			側溝	86	N234	1	12	1.4					
			側溝	86	N234	1	13	1.4					
			側溝	86	N234	10	5.3						
			側溝	86	N234	33	2.2						
			側溝	86	N234	37	3.6						
			側溝	86	N234	40	5.2						
			側溝	86	N234	10	7.8						
東-227	102	137	倉庫野石置	86	N234	95	4.6						
			縦溝側溝	86	N234	100	5.8						
				86	N234	117	3.6						
			石段	86	N234	102	1.4						
				86	N234	1052	1.4						
			側溝	86	N234	107	1.0						
			側溝	86	N234	108	1.1						
			縦溝側溝	86	N234	111	1.2						
				86	N234	130	1.3						
				86	N234	138	1.7						
			縦溝側溝	86	N234	114	5.0						
				86	N234	208	5.6						
			側溝	86	N234	122	2.4						
			側溝	86	N234	137	96.8						
			側溝	86	N234	139	3.9						
			側溝	86	N234	160	6.9						
			側溝	86	N234	180	5.1						
			側溝	86	N234	198	1.5						
				86	N234	1312	2.8						
			側溝	86	N234	212	1.3						
			側溝	86	N234	219	1.9						
			側溝	86	N234	237	1.0						
			側溝	86	N234	238	2.0						
			側溝	86	N234	262	2.6						
			側溝	86	N234	263	3.4						
			側溝	86	N234	280	0.9						
			側溝	86	N234	284	11.9						
				86	N234	608	17.0						
			側溝	86	N234	297	4.3						
			側溝	86	N234	326	8.2						
			側溝	86	N234	349	25.9						
			側溝	86	N234	368	3.3						
			石段	86	N234	375	6.1						
				86	N234	30	1.7						
			側溝	86	N234	458	4.3						
				86	N234	1333	25.6						
			側溝	86	N234	516	3.6						
			側溝	86	N234	531	1.8						
			側溝	86	N234	526	0.9						
			側溝	86	N234	555	4.3						
			側溝	86	N234	556	7.4						
			側溝	86	N234	566	1.7						
			側溝	86	N234	660	14.8						
			側溝	86	N234	666	9.0						
			側溝	86	N234	669	3.9						
			側溝	86	N234	718	3.5						
			側溝	86	N234	789	3.8						
			側溝	86	N234	770	2.6						
			側溝	86	N234	776	3.3						
			側溝	86	N234	785	4.5						
			側溝	86	N234	793	1.5						
			側溝	86	N234	888	1.7						
			側溝	86	N234	919	5.0						
			側溝	86	N234	958	2.9						
			側溝	86	N234	969	2.5						
			側溝	86	N234	987	1.5						
			側溝	86	N234	1015	2.4						

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	道標等	SS	変換区	標尺	測物番号	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
			石灯	82	L38	58	4.3	1				
			測片	82	L38	100	1.4	1				
			測片	82	L38	101	3.7	1				
			測片	82	L38	100	8.3	1				
			測片	1.38	E	1	1.7	1				
			測片	1.38	E	3	1.3	1				
			測片	1.38	E	4	1.1	1				
			測片	1.38	E	5	0.8	1				
			測片	1.38	E	6	0.5	1				
			測片	1.38	E	7	0.9	1				
			測片	1.38	E	9	0.8	1				
			測片	1.38	E	11	0.2	1				
			測片	1.38	E	12	1.2	1				
			測片	1.38	E	13	1.9	1				
			測片	M36	E	5	3.1	1				
			測片	1.38	E	14	0.7	1				
			測片	82	L37	189	1.6	1				
			測片	1.38	E	18	0.3	1				
			測片	1.38	E	20	0.4	1				
			測片	1.38	E	22	0.7	1				
			測片	82	M36	68	11.8	1				
			測片	1.38	E	23	0.6	1				
			測片	1.38	E	24	0.3	1				
			測片	1.38	E	25	0.3	1				
			石灯	82	L37	13	21.6	1				
8-128	100	131	石灯柱	82	L37	22	15.3	1				
			測片	82	L37	25	0.2	1				
			測片	1.37	E	3	2.1	1				
			測片	82	L37	14	1.0	1				
			測片	82	L37	15	0.9	1				
			断面	82	L37	18	6.2	1				
			測片	82	L37	65	1.3	1				
			測片	82	L37	39	0.9	1				
			測片	82	L37	71	6.4	1				
			縦長測片	82	L36	72	2.1	1				
			測片	1.37	E	10	0.4	1				
			測片	82	L37	73	2.3	1				
			測片	82	L37	74	25.6	4				
			測片	82	L37	95	3.3	4				
			測片	86	M36	73	2.8	1				
			測片	82	L37	125	6.4	1				
			測片	82	L37	126	4.0	1				
			測片	82	L37	131	3.2	1				
			測片	82	L37	143	4.6	1				
			測片	82	L37	153	6.4	1				
			測片	82	L37	187	1.0	1				
			測片	82	M36	48	1.0	1				
			縦長測片	82	L37	214	1.1	1				
			測片	82	L37	308	1.4	1				
			測片	1.37	E	26	0.8	1				
8-127	102	139	有収射石灯	82	L37	227	11.2	1				
			測片	82	L37	231	11.9	1				
			測片	82	L37	280	4.6	1				
			測片	1.37	E	24	1.0	1				
			測片	82	L37	233	2.6	1				
			縦長測片	82	L37	226	1.7	1				
			測片	82	L37	288	1.8	1				
			測片	82	L37	339	0.8	1				
			測片	82	L37	372	1.3	1				
			測片	82	L37	413	2.8	1				
			測片	1.37	E	4	0.8	1				
			測片	1.37	E	7	0.7	1				
			測片	1.37	E	14	1.5	1				
			測片	1.37	E	16	0.8	1				
			測片	1.37	E	17	0.6	1				

線区	区間	番号	道標等	SS	変換区	標尺	測物番号	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
			石灯	82	L38	28	2.6	1				
			測片	82	L38	47	1.9	1				
8-120	99	82	断面	82	L38	51	6.8	1				
			測片	82	M36	9	0.6	1				
			測片	82	M36	10	0.7	1				
			測片	82	M36	62	13.6	1				
			測片	82	M36	66	0.9	1				
			測片	82	M36	67	7.3	1				
			測片	82	M36	69	1.3	1				
			測片	82	M36	82	3.0	1				
			測片	82	M36	87	9.5	1				
			測片	82	M36	89	4.0	1				
			測片	M36	E	6	1.4	1				
			測片	M36	E	7	1.1	1				
			測片	M36	E	8	0.5	1				
			測片	M36	E	12	0.4	1				
			測片	M36	E	13	0.3	1				
			測片	M36	E	15	0.2	1				
			測片	M36	E	16	0.2	1				
8-104	121	207	複合測片	85			285.7	43	1	400	250	
			石灯	85	O35	100	2.9	1				
			測片	85	P35	296	1.8	1				
			測片	85	O35	146	0.4	1				
			測片	85	O35	160	32.0	1				
8-128	103	130	石灯柱	O36	1	4	95.8	1				
			測片	85	P35	14	1.3	1				
			測片	85	P35	24	1.4	1				
			測片	85	P35	39	1.5	1				
			測片	85	P35	62	1.8	1				
			測片	85	P35	65	3.0	1				
			測片	85	P35	135	2.3	1				
			測片	85	P35	128	9.7	1				
			測片	85	P35	162	0.7	1				
			測片	85	P35	166	2.1	1				
			石灯	85	P35	219	36.2	1				
			測片	85	P35	254	35.3	1				
			測片	85	P35	280	2.7	1				
			測片	85	P35	284	54.3	1				
			測片	85	P35	496	13.5	1				
			測片	85	P35	300	4.6	1				
			測片	85	P35	303	1.0	1				
			測片	85	P35	304	2.1	1				
			測片	85	P35	305	0.6	1				
			測片	85	P35	308	4.9	1				
			測片	85	P35	323	4.0	1				
			測片	85	P35	348	3.0	1				
			測片	85	P35	354	3.4	1				
			石灯	85	P35	429	8.5	1				
			測片	85	P35	435	24.3	1				
8-121	100	116	有収射石灯	85	P35	454	30.9	1				
			測片	85	P35	490	3.8	1				
			測片	85	P35	512	0.9	1				
8-121	101	118	有収射石灯	85	P35	513	46.2	1				
			測片	85	P35	523	4.1	1				
			測片	85	P35	526	2.4	1				
			測片	85	P35	596	6.5	1				
			測片	85	P35	601	0.3	1				
			測片	85	P35	605	3.5	1				
8-120	99	85	断面	85	P35	607	8.1	1				
			測片	85	P35	617	2.1	1				
			測片	85	P35	623	3.2	1				
			測片	85	P35	630	1.7	1				
			測片	85	P35	1	28	2.9	1			
8-109	122	208	複合測片	86			344.9	30	4	400	250	
			縦長測片	86	M34	6	1.2	4				

上白滝8道跡(2)

線区	区別	番号	道形等	SS	変則区	幅巾	道幅	重量	道幅比	石質	母岩%	粘土%
			湧出		5/34	1	54	5.7	4			
				砂	5/32		620	5.1	4			
			湧出		砂	砂	27	36.6	4			
				砂	砂		64	43.6	4			
				砂	5/32		201	17.7	4			
				砂	5/32		294	2.1	4			
			湧出		砂	砂	62	7.9	4			
				砂	5/32		200	5.6	4			
			湧出		砂	砂	72	12.9	4			
第-120	108	120	有機形石群		砂	砂	114	51.8	4			
				砂	砂		850	31.0	4			
			湧出		砂	砂	106	25.9	4			
				砂	砂		233	77.4	4			
第-121	100	99	湧出		砂	砂	316	39.7	4			
				砂	砂		460	7.0	4			
				砂	5/32		273	29.3	4			
			湧出		砂	砂	540	6.2	4			
			縦長湧出		砂	砂	403	14.7	4			
				砂	砂		780	5.7	4			
			石質		砂	砂	471	2.4	4			
				砂	砂		754	6.2	4			
			湧出		砂	砂	673	2.1	4			
			湧出		砂	砂	690	42.3	4			
			湧出		砂	砂	697	6.9	4			
			石質		砂	砂	776	3.0	4			
				砂	5/32		126	21.6	4			
			湧出		砂	砂	988	3.9	4			
			湧出		砂	砂	931	46.1	4			
				砂	5/32		817	4.2	4			
			縦長湧出		砂	砂	809	3.3	4			
				砂	砂		1232	2.2	4			
				砂	5/32		4	42.1	4			
			縦長湧出		砂	砂	1091	12.9	4			
			湧出		砂	砂	1121	7.1	4			
			湧出		砂	砂	1126	2.7	4			
			湧出		砂	砂	1185	9.3	4			
			湧出		砂	砂	1230	3.2	4			
				砂	砂		1546	7.6	4			
			湧出		砂	砂	1264	6.5	4			
			縦長湧出		砂	砂	1305	11.6	4			
				砂	5/32		171	27.7	4			
			湧出		砂	砂	1334	10.0	4			
			湧出		砂	砂	1347	1.3	4			
			湧出		砂	砂	27	2.7	4			
			湧出		砂	砂	21	11.6	4			
			湧出		砂	砂	1	3	4			
			湧出		砂	砂	1	19	4			
			湧出		砂	砂	68	16.6	4			
				砂	5/32		638	4.2	4			
			湧出		砂	砂	146	9.5	4			
			湧出		砂	砂	29	3.6	4			
第-122	102	131	有機形石群		砂	砂	43	36.3	4			
			湧出		砂	砂	306	5.8	4			
			湧出		砂	砂	308	5.9	4			
			湧出		砂	砂	166	5.9	4			
			湧出		砂	砂	403	4.1	4			
第-122	102	143	有機形石群		砂	砂	443	16.5	4			
			湧出		砂	砂	457	0.0	4			
			湧出		砂	砂	498	6.9	4			
			湧出		砂	砂	575	10.6	4			
			湧出		砂	砂	597	2.5	4			
			湧出		砂	砂	651	5.6	4			
			湧出		砂	砂	745	4.0	4			
			湧出		砂	砂	778	3.0	4			
			湧出		砂	砂	874	6.9	4			

線区	区別	番号	道形等	SS	変則区	幅巾	道幅	重量	道幅比	石質	母岩%	粘土%
第-123	120	211	複合湧出		66/92			1264.2	100	4	100	2000
			湧出		92	L35	9	12.1	4			
			石質		砂	L35	1	14.6	4			
				砂	砂	N34	291	16.2	4			
			石質		砂	砂	11	6.5	4			
				砂	砂	N34	2	73	1.2	4		
			湧出		砂	砂	43	4.4	4			
			湧出		砂	砂	67	2.1	4			
				砂	砂	砂	191	2.4	4			
			湧出		砂	砂	60	13.4	4			
			湧出		砂	砂	93	4.2	4			
				砂	砂	砂	45	0.6	4			
			湧出		砂	砂	107	3.7	4			
			湧出		砂	砂	100	2.4	4			
			湧出		砂	砂	119	2.4	4			
			湧出		砂	砂	143	17.0	4			
				砂	砂	砂	2	1.0	4			
			湧出		砂	砂	136	2.5	4			
			湧出		砂	砂	17	2.0	4			
				砂	砂	砂	122	0.6	4			
			湧出		砂	砂	260	1.4	4			
				砂	砂	砂	855	28.2	4			
				砂	砂	砂	171	0.5	4			
			湧出		砂	砂	310	2.3	4			
				砂	砂	砂	911	22.3	4			
			縦長湧出		M35	I	6	4.3	4			
			湧出		砂	砂	122	45.7	4			
			湧出		砂	砂	97	6.4	4			
			湧出		砂	砂	92	4.8	4			
				砂	砂	砂	379	14.6	4			
				砂	砂	砂	442	23.9	4			
				砂	砂	砂	473	25.2	4			
				砂	砂	砂	925	143.5	4			
				砂	砂	砂	950	1.8	4			
			湧出		砂	砂	104	1.5	4			
			湧出		砂	砂	113	3.4	4			
			湧出		砂	砂	200	1.8	4			
				砂	砂	砂	24	1.0	4			
			湧出		砂	砂	227	7.3	4			
			湧出		砂	砂	300	2.8	4			
				砂	砂	砂	632	16.9	4			
			湧出		砂	砂	377	3.1	4			
			湧出		砂	砂	438	6.0	4			
			石質		砂	砂	493	3.5	4			
				砂	砂	砂	886	5.0	4			
				砂	砂	砂	1023	12.9	4			
			湧出		砂	砂	983	1.9	4			
第-124	106	180	石質		砂	砂	562	296.0	4			
			湧出		砂	砂	615	2.8	4			
			二次加工木心湧出		砂	砂	671	140.3	4			
			湧出		砂	砂	694	9.5	4			
			湧出		砂	砂	744	86.6	4			
			湧出		砂	砂	757	4.3	4			
				砂	砂	砂	86	1.1	4			
			湧出		砂	砂	798	16.2	4			
			湧出		砂	砂	845	4.0	4			
			湧出		砂	砂	849	3.3	4			
			二次加工木心湧出		砂	砂	850	42.9	4			
			石質		砂	砂	879	3.9	4			
			湧出		砂	砂	950	5.5	4			
				砂	砂	砂	179	0.4	4			
			湧出		砂	砂	960	3.9	4			
			湧出		砂	砂	1010	21.8	4			
				砂	砂	砂	55	41.4	4			
				砂	砂	砂	121	4.0	4			

探検	探検	番号	品物名	No.	発掘区	種別	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	保存%
			鏡片	86	S24		1132	2.9		+		
			鏡片	86	S24		1149	6.6		+		
			鏡片	86	S24	Σ	22	1.7		+		
			鏡片	86	S24		1162	12.5		+		
			鏡片	86	S24		1198	6.1		+		
			鏡片	86	S24		1192	3.4		+		
			鏡片	86	S24		1213	7.3		+		
			鏡片	86	S24	Σ	184	1.5		+		
			鏡片	86	S24		1243	13.6		+		
			鏡片	86	S24		1285	26.8		+		
			鏡片	86	S24		1321	22.8		+		
			鏡片	86	S24		1329	6.1		+		
			鏡片	86	S24		1344	2.8		+		
			鏡片	86	S24		1343	2.9		+		
			鏡片	86	S24	Σ	3	2.2		+		
			鏡片	86	S24	Σ	19	1.1		+		
			鏡片	86	S24	Σ	30	0.9		+		
			鏡片	86	S24	Σ	21	1.9		+		
			鏡片	86	S24	Σ	175	8.7		+		
			鏡片	86	S24	Σ	25	1.6		+		
			鏡片	86	S24	Σ	25	2.4		+		
			鏡片	86	S24	Σ	28	1.8		+		
			鏡片	86	S24	Σ	136	9.3		+		
			鏡片	86	S24	Σ	30	0.9		+		
			鏡片	86	S24	Σ	38	0.6		+		
			鏡片	86	S24	Σ	46	0.6		+		
			鏡片	86	S24	Σ	123	8.5		+		
			鏡片	86	S24	Σ	55	1.9		+		
			鏡片	86	S24	Σ	59	0.9		+		
			鏡片	86	S24	Σ	57	1.4		+		
			鏡片	86	S24	Σ	68	1.4		+		
			鏡片	86	S24	Σ	70	1.4		+		
			鏡片	86	S24	Σ	143	1.1		+		
			鏡片	86	S24	Σ	174	0.2		+		
			鏡片	86	S24	Σ	136	0.4		+		
			鏡片	86	S24	Σ	177	0.3		+		
第115	125	212	混合資料	86-93			286.2	84	+	664	3388	
			鏡片	93	P29		629	196.8		+		
			鏡片	93	P32		2	28.1		+		
			鏡片	80	Q30		1	20.8		+		
			鏡片	89	Q30		13	1.4		+		
第116	96	22	両面調整石器	89	Q31		4	23.8		+		
				89	E30		82	7.5		+		
			鏡片	89	Q31		9	12.1		+		
			鏡片	89	Q31		11	5.7		+		
			鏡片	89	Q31		17	14.5		+		
第117	106	185	石核	Q31	1	1	130.0			+		
			鏡片	Q31	1	2	2.5			+		
			鏡片	89	E30		97	4.8		+		
			鏡片	89	E30		114	12.9		+		
			鏡片	89	E30		162	7.4		+		
			鏡片	89	E30		185	3.0		+		
			鏡片	89	E30		226	3.3		+		
			鏡片	89	E30		271	7.4		+		
			鏡片	89	E30		239	17.3		+		
			鏡片	89	E30		243	2.7		+		
			鏡片	89	E30		286	9.7		+		
			鏡片	89	E30		292	2.2		+		
			鏡片	89	E30		310	18.0		+		
			鏡片	89	E30		306	3.6		+		
			鏡片	89	S29		267	28.0		+		
			鏡片	89	E30		319	1.7		+		
			鏡片	89	E30		321	1.1		+		
			鏡片	89	E30		339	7.0		+		
			鏡片	89	E30		343	2.8		+		

探検	探検	番号	品物名	No.	発掘区	種別	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	保存%
			鏡片	89	E30		377	1.8		+		
			鏡片	89	E30		383	2.9		+		
			鏡片	89	E30		385	41.2		+		
第122	100	115	両面調整石器	89	E30		404	9.5		+		
				89	E30		420	12.8		+		
			鏡片	89	E30		433	6.7		+		
			鏡片	89	E30		438	2.9		+		
			鏡片	89	E30		396	0.8		+		
			鏡片	89	E30		399	11.0		+		
			鏡片	89	E30		511	1.9		+		
			鏡片	89	E30		524	18.0		+		
			鏡片	89	S29		271	18.2		+		
			鏡片	89	S29		272	8.1		+		
			鏡片	89	S29		333	20.6		+		
			鏡片	89	S29		362	7.0		+		
			鏡片	89	S29		364	2.1		+		
第123	127	233	混合資料	85-87			226.7	30	+	638	3086	
			鏡片	87	P24		9	3.9		+		
			鏡片	89	P30		172	3.8		+		
			鏡片	85	P25		248	4.9		+		
第131	105	136	石核	Q33	1	8	61.9			+		
				Q33	1	9	26.2			+		
			鏡片	87	Q34		200	4.3		+		
			鏡片	87	Q35	1	12	53.4		+		
			鏡片	87	E33		40	2.5		+		
			鏡片	87	E33		51	6.7		+		
			鏡片	87	E33		78	15.4		+		
			鏡片	87	E33		262	2.9		+		
			鏡片	87	E33		334	3.3		+		
			鏡片	87	E33		351	2.0		+		
			鏡片	87	E33		470	1.4		+		
			鏡片	87	E33		365	1.9		+		
			鏡片	87	E33		625	4.0		+		
			鏡片	87	E33		760	9.5		+		
			鏡片	87	E33		825	2.7		+		
			鏡片	87	E33		659	13.1		+		
			鏡片	87	E33		1947	2.9		+		
第175	128	214	混合資料	85			6.6	2	1	—	3210	
第177	97	30	磨石	85	N36		7	6.4	1			
第177	97	32	磨石	85	N36	1	2	0.2	1			
第175	128	233	混合資料	86-90			66.8	8	3-4-5	1221	3219	
第118	98	67	鏡部	99	J33		21	5.2		5		
				86	M35		402	3.6		5		
				86	N30		41	1.3		5		
第118	98	66	鏡部	86	M25		2	13.1		3		
第118	97	59	鏡部	86	M25		442	8.1		3		
第118	98	69	鏡部	86	M25		528	18.1		5		
第118	98	65	鏡部	86	M26		75	7.1		4		
第118	98	68	鏡部	86	M26	1	1	11.3		5		
—	128	242	混合資料	81-89			890.0	77	3-4	546	2282	
			鏡片	81	J41		10	18.4		4		
			鏡片	81	K40		9	1.4		4		
			鏡片	81	K40		153	1.6		3		
			鏡片	81	K40		304	4.1		3		
			鏡片	81	K40		439	2.7		3		
			鏡片	81	K40		21	2.6		3		
			鏡片	81	K40		31	1.0		4		
			鏡片	81	K40		42	2.0		4		
			鏡片	81	L40		373	3.3		3		
			鏡片	81	K40		53	8.4		4		
			鏡片	81	K40		216	3.1		4		
			鏡片	81	L40		334	1.7		4		
			鏡片	81	L40		327	1.1		4		
			鏡片	81	K40		94	1.9		4		
			鏡片	81	K40		102	2.3		4		

上白滝8道跡(2)

線区	国区	番号	路線等	SS	変換区	幅尺	測点番号	重量	変位 [%]	石質	母岩 [%]	粘土 [%]
			測り	K1	K40	106	4.1	3				
				K1	K40	100	1.4	3				
				K1	K40	110	6.8	3				
				K1	K40	219	3.2	4				
			測り	K1	K40	109	17.4	3				
				K1	K40	40	2.5	4				
				K1	K40	140	4.4	4				
			測り	K1	K40	331	1.5	4				
				K1	K40	56	11.4	4				
				K1	K40	79	1.2	4				
			測り	K1	K40	151	8.0	4				
				K1	K40	176	2.7	4				
			測り	K1	K40	228	22.9	4				
			測り	K1	K40	248	1.4	4				
			測り	K1	K40	256	9.0	4				
				K1	K40	126	3.7	3				
			測り	K1	K40	273	4.0	4				
				K1	K40	258	1.9	4				
			測り	K1	K40	288	1.3	4				
				K1	K40	289	3.9	4				
				K1	K40	309	25.9	4				
			測り	K1	K40	304	2.1	4				
				K1	K40	294	3.1	4				
				K1	K40	194	9.1	4				
			測り	K1	K40	306	3.7	4				
				86	N20	312	47.0	3				
				K1	K40	381	4.4	4				
				K1	K40	416	2.0	4				
			測り	K40	1	13	1.2	4				
				K1	K40	3	14.0	4				
				K1	K40	352	4.8	3				
			測り	K1	K40	386	3.0	4				
			測り	K1	K40	419	15.5	4				
				K1	K40	171	1.0	4				
				K1	K40	263	29.7	4				
			測り	K1	K40	442	13.0	4				
				K1	K40	443	25.8	4				
				K1	K40	193	13.8	3				
			測り	K1	K40	18	12.1	4				
				K1	K40	263	4.2	3				
				K1	K40	24	37.0	3				
			測り	K1	K40	31	1.1	4				
			測り	K1	K40	75	12.0	4				
				K1	K40	254	1.0	3				
			測り	K1	K40	162	14.2	4				
				K1	K40	196	8.0	4				
			測り	K1	K40	283	1.3	4				
				K1	K40	179	2.1	3				
			測り	K1	K40	227	3.0	4				
			測り	K1	K40	235	4.4	4				
			測り	K1	K40	248	16.2	4				
			測り	K1	K40	265	2.9	4				
			測り	K1	K40	277	4.9	4				
			測り	K1	K40	278	2.3	4				
			測り	K1	K40	290	4.1	3				
			測り	K1	K40	292	9.7	3				
			測り	K1	K40	301	21.2	4				
				K1	K40	305	17.0	4				
			測り	K1	K40	300	3.8	3				
			測り	K1	M28	250	2.8	4				
				K1	M28	251	3.2	4				
			測り	K1	M28	303	1.3	4				
-	18	243	総合資料	K1-K3			323.5	40	3-4	346	2793	
			測り	K1	J41	18	2.8	3				
				K1	K40	412	1.7	4				

線区	国区	番号	路線等	SS	変換区	幅尺	測点番号	重量	変位 [%]	石質	母岩 [%]	粘土 [%]
			測り	K1	J41	19	1.1	3				
				K1	K40	56	4.6	4				
				K1	K40	424	6.8	3				
				K1	K40	136	2.4	3				
			測り	K1	K40	188	1.8	3				
				K1	K40	197	1.6	4				
				K1	K40	273	2.7	4				
			測り	K1	K40	19	31.1	3				
				K1	K40	298	5.1	3				
			測り	K1	K40	99	0.9	4				
				K1	K40	177	1.4	4				
			測り	K1	K40	191	8.9	3				
			測り	K1	K40	194	2.1	3				
				K1	K40	185	5.7	3				
				K1	K40	369	26.6	3				
			測り	K1	K40	313	6.4	3				
				K1	K40	111	9.1	4				
				K1	K40	162	3.2	4				
			測り	K1	K40	173	4.8	4				
				K1	K40	71	2.4	3				
				K1	K40	215	1.4	4				
			測り	K1	K40	121	2.1	4				
			測り	K1	K40	141	7.7	3				
				K1	K40	350	10.7	3				
				K40	3	10	0.7	4				
				K1	K40	200	2.9	3				
			測り	K1	L40	251	1.2	3				
				K1	L40	5	22.6	4				
				K1	K40	173	25.0	4				
			測り	K1	K40	303	1.0	4				
				K1	K40	136	0.6	4				
			測り	K1	K40	206	2.8	3				
				K1	L40	295	2.9	3				
			測り	K1	K40	217	0.9	3				
				K1	L40	8	8.7	4				
			測り	K1	K40	235	1.7	4				
				K1	L40	211	1.0	4				
				K1	K40	241	4.8	4				
			測り	K1	K40	339	2.2	3				
				K1	K40	430	7.8	3				
				K1	L40	78	5.5	3				
			測り	K1	L40	223	3.2	4				
				K1	L40	253	4.0	3				
			測り	K1	K40	243	1.6	4				
				K1	K40	239	3.0	3				
			測り	K1	L40	288	5.5	4				
				K1	K40	275	5.2	4				
			測り	K1	L40	51	2.2	4				
				K1	L40	70	12.3	3				
				K1	L40	175	11.9	4				
			測り	K1	K40	281	2.9	4				
				K1	K40	353	7.8	4				
			測り	K1	K40	332	1.1	4				
				K1	K40	418	3.4	4				
			測り	K1	K40	334	1.1	4				
				K1	K40	335	0.9	4				
			測り	K1	K40	341	1.0	4				
				K1	K40	348	2.6	4				
				K1	L40	280	0.7	4				
			測り	K1	K40	371	35.2	4				
				K1	K40	283	2.2	4				
			測り	K1	K40	386	2.7	4				
				K1	L40	80	2.6	4				
			測り	K1	K40	9	1.8	4				
				K1	L40	285	4.4	4				

探検	探検	番号	品名等	№	発掘区	種別	遺物番号	重量	容積(L)	石量	埋没%	検出%
			鏡片		E-60	1	12	12.7				
			鏡片	81	L-60		10	25.8				
			鏡片	81	L-60		16	9.4				
			鏡片	82	L-60		228	5.2				
			鏡片	82	L-60		74	11.3				
			鏡片	81	L-60		113	3.8				
			鏡片	81	L-60		151	30.8				
			鏡片	81	L-60		207	8.6				
			鏡片	82	L-60		195	5.8				
			鏡片	81	L-60		199	2.0				
			鏡片	81	L-60		196	5.9				
			鏡片	81	L-60		511	3.4				
			鏡片	82	L-60		232	5.0				
			鏡片	81	L-60		200	6.0				
			鏡片	81	L-60		341	12.3				
			鏡片	81	L-60		301	2.8				
127	284	総合資料	K7-88				1840.7	80	1	630	2068	
			鏡片	88	P-33		1	4.4				
			鏡片	88	E-32		103	4.7				
			鏡片	88	S-31		76	106.3				
			鏡片	88	P-33		4	16.7				
			鏡片	88	P-34	1	32	12.0				
			鏡片	88	S-31		54	13.7				
			鏡片		P-34	1	31	14.3				
			鏡片		Q-32	1	2	4.9				
			鏡片	88	E-31		381	11.1				
			鏡片	88	S-32		407	8.8				
			鏡片	88	Q-31		1	900.4				
			鏡片	88	E-32		692	12.4				
			鏡片	88	S-32		771	2.1				
			鏡片	88	Q-33		23	7.4				
			鏡片	88	Q-33		49	9.3				
			鏡片	88	Q-33		121	2.1				
			鏡片	88	Q-33		234	2.9				
			鏡片	88	E-32		536	4.5				
			鏡片		Q-33	1	30	7.3				
			鏡片	87	E-32		132	7.1				
			鏡片	88	S-32		229	7.8				
			鏡片	88	E-31		69	11.8				
			鏡片	88	E-31		245	8.1				
			鏡片	88	E-31		138	12.2				
			鏡片	88	E-31		162	2.7				
			鏡片	88	E-32		380	4.6				
			鏡片	88	S-32		192	34.8				
			鏡片	88	S-32		428	43.1				
			鏡片	88	E-31		275	2.0				
			鏡片	88	E-32	1	5	56.7				
			鏡片	88	S-32		605	5.4				
			鏡片	88	E-31		284	3.7				
			鏡片	88	S-31		129	3.5				
			鏡片	88	E-31		292	13.8				
			鏡片	88	S-31		139	9.5				
			鏡片	88	S-31		280	2.6				
			鏡片	88	E-32		31	13.1				
			鏡片	88	E-32		113	11.0				
			鏡片	88	E-32		107	2.9				
			鏡片	88	E-32		72	20.7				
			鏡片	88	E-32		106	4.4				
			鏡片	88	E-32		120	36.5				
			鏡片	88	E-32		338	15.0				
			鏡片	88	E-32		229	6.6				
			鏡片	88	E-32		325	19.5				
			鏡片	88	E-32	1	6	26.2				
			鏡片	88	E-32		471	9.2				
			鏡片	88	E-32		483	5.1				
			鏡片	88	E-32		107	5.0				
			鏡片	88	E-32		102	6.1				
			鏡片	88	S-32		322	21.1				
			鏡片	88	S-32		612	2.4				
			鏡片	88	E-32		304	27.6				
			鏡片	88	E-32		230	17.7				
			鏡片	88	E-32		614	4.6				
			鏡片	88	E-32		730	18.4				
			鏡片	88	E-32		751	1.8				
			鏡片	88	E-32		922	3.3				
			鏡片	88	S-31		66	18.1				
			鏡片	88	E-32		963	7.3				
			鏡片	88	E-32		903	7.0				
			鏡片	88	E-33		210	13.4				
			鏡片	88	S-31		110	8.2				
			鏡片	88	S-31		130	43.4				
			鏡片	88	S-32		43	28.4				
			鏡片	88	S-32		49	3.3				
			鏡片	88	S-32		225	4.4				
			鏡片	88	S-32		234	26.2				
			鏡片	88	S-32		663	12.4				
128	285	総合資料	K7-88				930.7	46	1	629	2090	
			鏡片	87	Q-33		58	33.2				
			鏡片	88	E-32		862	27.3				
			鏡片		Q-33	1	29	5.7				
			鏡片	88	E-32		42	4.6				
			鏡片	88	E-31		96	5.1				
			鏡片	88	E-31		97	77.3				
			鏡片	88	E-32		43	2.5				
			鏡片	88	E-32		251	8.9				
			鏡片	88	E-32		958	3.1				
			鏡片	88	S-31		87	23.1				
			鏡片	88	E-32		60	2.1				
			鏡片	88	S-31		31	8.2				
			鏡片	88	S-31		103	4.3				
			鏡片	88	E-32		108	74.6				
			鏡片	88	E-32		238	47.0				
			鏡片	88	E-32		368	7.1				
			鏡片	88	S-31		78	16.1				
			鏡片	88	S-32		302	17.0				
			鏡片	88	E-32		268	6.1				
			鏡片	88	S-32		257	30.4				
			鏡片	88	S-32		238	2.3				
			鏡片	88	S-32		696	2.9				
			鏡片	88	E-32		261	9.0				
			鏡片	88	E-32		305	8.3				
			鏡片	88	E-32		333	3.3				
			鏡片	88	E-32		406	95.1				
			鏡片	88	E-32		416	7.6				
			鏡片	88	E-32		776	6.5				
			鏡片	88	S-31		30	8.4				
			鏡片	88	S-31		46	14.5				
			鏡片	88	S-32		708	11.3				
			鏡片	88	E-32		794	54.4				
			鏡片	88	E-32	1	8	2.5				
			鏡片	88	S-32		107	5.1				
			鏡片	88	S-31		2	42.0				
			鏡片	88	S-31		21	26.2				
			鏡片		B-鋼		149	12.9				
			鏡片	88	S-31		59	72.4				
			鏡片	88	S-32		726	4.6				
			鏡片	88	S-32		14	16.9				
			鏡片	88	S-32		421	11.6				
			鏡片	88	S-32		407	4.1				
			鏡片	88	S-32		302	8.2				

上白滝8道跡(2)

線区	区画	番号	道路種別	SS	変換区	幅巾	構造物番号	重量	延長(m)	石質	母材%	積込%
			側溝	80	S:32			338	13.3	1		
			側溝	80	S:32			671	27.3	1		
			側溝	80	S:32			700	6.1	1		
-	128	245	綜合資料	87-88				696.9	27	1	632	2895
			側溝	80	F:33			6	22.0	1		
			側溝	80	F:33	1	1	20.1	1	1		
			側溝	80	Q:23			5	17.8	1		
			側溝	87	Q:23			35	3.4	1		
			側溝	80	Q:23			113	35.8	1		
			側溝	80	S:31			235	86.0	1		
			側溝	80	R:31			204	45.0	1		
			側溝	80	S:32			497	21.7	1		
			側溝	80	R:32			118	72.3	1		
			側溝	80	R:32			137	6.3	1		
			側溝	80	R:32			203	2.1	1		
			側溝	80	R:32			349	7.2	1		
			側溝	80	R:32			295	45.1	1		
			側溝	80	S:31			128	26.9	1		
			側溝	80	R:32			323	2.4	1		
			側溝	80	R:32			821	2.4	1		
			側溝	80	S:32			309	0.5	1		
			側溝	80	S:32			489	3.9	1		
			側溝	80	S:32			727	2.8	1		
			側溝	80	R:32			387	28.2	1		
			側溝	80	R:32			531	12.1	1		
			側溝	80	R:32			100	19.8	1		
			側溝	80	R:32			982	58.1	1		
			側溝	80	S:31			38	60.8	1		
			側溝	80	S:31			75	41.1	1		
			側溝	80	S:32			185	11.0	1		
			側溝	80	S:32			732	1.8	1		
-	129	247	綜合資料	80				815.0	36	1-5	600	2893
			側溝	80	Q:23			15	12.1	1		
			側溝	80	Q:23	1	1	40	6.4	1		
			側溝	80	Q:23	1	1	41	2.3	1		
			側溝	80	R:31			258	18.0	1		
			側溝	80	S:32			660	5.3	1		
			側溝	80	R:31			238	20.9	1		
			側溝	80	R:32			462	1.3	1		
			側溝	80	S:31			149	8.5	1		
			側溝	80	S:32			692	0.9	1		
			側溝	80	R:32			32	10.4	1		
			側溝	80	R:32	1	4	27.5	3	1		
			側溝	80	R:32			130	2.7	1		
			側溝	80	R:32			215	2.7	1		
			側溝	80	R:32	1	9	14.9	3	1		
			側溝	80	R:32			297	27.9	1		
			側溝	80	R:32			326	37.4	1		
			側溝	80	S:31			179	8.3	1		
			側溝	80	R:32			739	20.5	1		
			側溝	80	R:32			875	1.4	1		
			側溝	80	S:32			200	44.7	1		
			側溝	80	S:32			725	5.5	3		
			側溝	80	R:32			779	2.4	1		
			側溝	80	S:31			114	26.8	1		
			側溝	80	R:32	1	2	10.2	1	1		
			側溝	80	S:32			449	39.5	1		
			側溝	80	S:31			51	34.9	1		
			側溝	80	S:31			108	23.3	1		
			側溝	80	S:31			64	58.4	1		
			側溝	80	S:31			102	12.0	1		
			側溝	80	S:31			125	14.7	1		
			側溝	80	S:31			197	20.8	1		
			側溝	80	S:32			56	43.7	1		
			側溝	80	S:32			232	7.2	1		

線区	区画	番号	道路種別	SS	変換区	幅巾	構造物番号	重量	延長(m)	石質	母材%	積込%
			側溝	80	S:32			467	149.4	1		
-	129	248	綜合資料	80-83-80				1740.8	49	3-4	158	2892
			側溝	80	M:6			51	34.4	4		
			側溝	80	M:6			72	66.5	4		
			側溝	80	M:7			4	5.8	4		
			側溝	80	M:8	1		45	3.5	4		
			側溝	80	N:36			103	4.7	4		
			側溝	80	N:36			117	104.1	4		
			側溝	80	N:36			158	3.7	4		
			側溝	80	N:37			4	2.5	4		
			側溝	80	N:37			6	8.7	4		
			側溝	80	N:37			7	73.6	4		
			側溝	80	N:37			9	1.0	4		
			側溝	80	N:37			14	1.2	4		
			側溝	80	N:37			17	37.7	4		
			側溝	80	N:37			33	2.8	4		
			側溝	80	N:37			42	1.6	4		
			側溝	80	N:37			44	4.1	4		
			側溝	80	N:37			53	114.2	4		
			側溝	80	N:37			58	181.9	4		
			側溝	80	N:37			69	8.5	4		
			側溝	80	N:37			65	3.7	4		
			側溝	80	N:37			64	13.2	4		
			側溝	80	N:37			69	79.3	4		
			側溝	80	N:37			72	1.2	4		
			側溝	80	N:37			73	4.6	4		
			側溝	80	N:37			93	2.4	4		
			側溝	80	N:37	1		7	6.9	4		
			側溝	80	N:38			255	1.2	4		
			側溝	80	N:38			429	7.3	4		
			側溝	80	N:38			1116	2.3	4		
			側溝	80	N:38			1205	9.5	4		
			側溝	80	N:38			1208	4.1	4		
			側溝	80	M:7	1	4	6.5	4	4		
			側溝	80	N:36			56	2.5	4		
			側溝	80	N:36			57	209.2	4		
			側溝	80	N:37			13	18.3	4		
			側溝	80	N:37			29	4.8	4		
			側溝	80	N:37			36	4.2	4		
			側溝	80	N:37			28	17.6	4		
			側溝	80	N:37			48	1.5	4		
			側溝	80	N:37	1	8	2.1	4	1		
			側溝	80	N:37			50	22.1	4		
			側溝	80	N:37			91	1.1	4		
			側溝	80	N:37			52	32.4	4		
			側溝	80	N:37			57	101.7	4		
			側溝	80	N:37			63	2.5	4		
			側溝	80	N:37			96	4.5	4		
			側溝	80	N:38			160	10.7	3		
			側溝	80	N:38			420	153.5	4		
			側溝	80	N:38			1203	8.4	4		
-	129	249	綜合資料	80-83-80				1312.1	34	4	435	2892
			側溝	80	M:6			1	5.1	4		
			側溝	80	N:36			180	9.1	4		
			側溝	80	N:36			249	1.3	4		
			側溝	80	M:7			6	255.3	4		
			側溝	80	M:7			8	4.4	4		
			側溝	80	N:36			252	3.7	4		
			側溝	80	M:7			9	33.0	4		
			側溝	80	M:7	1	6	4.9	4	1		
			二次加工基本舗装	80	N:36			5	302.6	4		
			側溝	80	N:36			43	63.4	4		
			側溝	80	N:36			70	13.6	4		
			側溝	80	N:36			233	58.9	4		
			側溝	80	N:36			91	43.7	4		

上白滝8道跡(2)

線区	区段	番号	道標等	SS	変換区	標尺	測点番号	重量	変位量	石質	母材%	配合%
				86	N234		1328	5.0	0			
			縦筋測片	86	N234		318	20.9	0			
				86	N234		558	12.1	0			
			測片	86	N234		425	4.8	0			
			測片	86	N234		436	7.2	0			
			測片	86	N234		430	0.2	0			
			測片	86	N234		491	22.0	0			
				86	N234		1106	19.0	0			
			測片	86	N234		303	29.6	0			
				86	N234		657	26.9	0			
				86	N234		1267	7.1	0			
			測片	86	N234		637	5.8	0			
			測片	86	N234		652	32.6	0			
			測片	86	N234		733	44.2	0			
			測片	86	N234		983	33.0	0			
			測片	86	N234		1053	40.9	0			
			測片	86	N234		1156	6.1	0			
			測片	86	N234		1299	41.9	0			
			測片	86	N234		1210	1.8	0			
			測片	86	N234		1532	2.2	0			
			石目	86	N234		1538	21.4	0			
			測片	86	N234		1381	4.5	0			
			石目	86	O334		173	10.4	0			
一	132	256	複合資料	86			1979.2	87	0	100	2054	
			測片	86	M234		29	5.8	0			
				86	N234		260	2.5	0			
			測片	86	M234		49	2.2	0			
				86	N233		103	14.3	0			
			測片	86	M234		144	5.0	0			
			測片	86	M234		151	7.5	0			
			測片	86	M234		165	2.1	0			
			測片	86	M234		167	4.3	0			
			測片	86	M234		170	14.8	0			
				86	N234	Ⅱ	130	2.0	0			
			測片	86	M234		171	11.3	0			
				86	M233		118	7.2	0			
			測片	86	M234		178	1.4	0			
			測片	86	M234		214	5.2	0			
				86	N234	Ⅱ	147	3.8	0			
			測片	86	M234		223	2.1	0			
			測片	86	M233		54	0.0	0			
Ⅱ-122	100	100	断面	86	M233		76	1.6	0			
				86	N234		415	62.6	0			
			測片	86	M233		105	1.4	0			
			測片	86	M233		697	24.6	0			
			測片	86	M233		617	11.1	0			
			二次加工木七測片	M233	Ⅰ	2	20.5	0				
				M233	Ⅰ	10	1.7	0				
			縦筋測片	M233	Ⅰ	17	6.9	0				
				86	N233		181	12.3	0			
				86	N234		1234	3.8	0			
				86	N234	Ⅱ	66	1.7	0			
			測片	M233	Ⅰ	19	1.9	0				
Ⅱ-123	98	79	断面形跡	M237	Ⅰ	1	10.8	0				
			測片	86	N234		83	2.4	0			
			測片	86	N234		98	3.5	0			
				86	N234		839	8.9	0			
			測片	86	N234		103	3.7	0			
			縦筋測片	86	N234		209	19.3	0			
				86	N234		941	11.9	0			
			測片	86	N234		202	2.9	0			
			測片	86	N234		339	1.5	0			
			測片	86	N234		255	4.1	0			
Ⅱ-124	218	162	石目跡	86	N234		303	129.1	0			
			測片	86	N234		410	5.2	0			

			測片	86	N234		420	2.1	0			
				86	N234		1189	5.6	0			
			測片	86	N234		509	5.1	0			
			測片	86	N234		510	22.9	0			
				86	N234		1279	2.8	0			
			測片	86	N234		520	4.4	0			
			測片	86	N234		560	5.1	0			
			測片	86	N234		691	1.7	0			
				86	N234		1097	15.6	0			
				86	N234		1347	1.7	0			
			測片	86	N234		689	1.4	0			
			縦筋測片	86	N234		704	28.6	0			
			測片	86	N234		207	37.9	0			
			測片	86	N234		742	15.4	0			
			測片	86	N234		743	24.8	0			
			測片	86	N234		850	10.8	0			
			測片	86	N234		862	1.6	0			
			測片	86	N234		963	4.2	0			
				86	N234		928	2.7	0			
			測片	86	N234		921	3.2	0			
			測片	86	N234		924	9.2	0			
			測片	86	N234		929	2.9	0			
			縦筋測片	86	N234		951	9.5	0			
			測片	86	N234		1003	2.8	0			
			測片	86	N234		1030	40.6	0			
			測片	86	N234		1054	3.1	0			
			不明	不明		不明	不明	0.9	0			
			測片	86	N234		1147	34.7	0			
			測片	86	N234		1148	14.6	0			
Ⅱ-125	101	117	断面形跡	86	N234		1186	38.5	0			
			測片	86	N234		1213	8.7	0			
			測片	86	N234		1265	6.9	0			
			測片	86	N234		1286	3.0	0			
			測片	86	N234		1273	2.8	0			
			測片	86	N234		1284	0.8	0			
			測片	86	N234		1288	5.7	0			
			測片	86	N234		1289	6.3	0			
			石目	86	N234		1325	3.7	0			
				86	N234		1413	10.0	0			
			測片	86	N234		1327	2.2	0			
			測片	86	N234	Ⅱ	1363	21.0	0			
				N234	Ⅱ	19	1.1	0				
				N234	Ⅱ	1	1.4	0				
			測片	N234	Ⅱ	17	1.8	0				
			測片	N234	Ⅱ	27	1.9	0				
			測片	N234	Ⅱ	34	1.0	0				
			測片	N234	Ⅱ	71	1.3	0				
			測片	N234	Ⅱ	85	1.5	0				
			測片	N234	Ⅱ	149	0.7	0				
			測片	N234	Ⅱ	148	1.2	0				
			測片	N234	Ⅱ	149	0.5	0				
			測片	N234	Ⅱ	150	0.5	0				
			測片	N234	Ⅱ	151	0.6	0				
			測片	N234	Ⅱ	152	0.3	0				
Ⅱ-127	102	142	断面形跡	86	N235		96	37.0	0			
			測片	不明		不明	不明	2.0	0			
一	132	257	複合資料	87			303.0	32	0	107	2039	
			測片	87	P234		14	16.5	0			
				P234	Ⅰ	23	3.5	0				
				Q234	Ⅰ	33	15.2	0				
			測片	87	Q234		29	3.7	0			
			縦筋測片	87	Q234		70	6.3	0			
				87	H234		117	23.7	0			
			測片	87	H235		152	46.6	0			
			測片	87	H235		170	6.5	0			

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	路地型	SS	変換区	種別	道幅(%)	車道	車道幅	石畳	歩道幅	歩道幅
			調子	85	0306	42	4.4	4				
			調子	85	0306	74	21.0	4				
			調子		0306	1	6	22.9	4			
			調子		0306	1	15	7.9	4			
			調子		0306	1	23	2.0	4			
			調子	85	7335	31	16.7	4				
			調子	85	7335	180	29.8	4				
			調子	85	7335	205	22.1	4				
			調子	85	7335	228	6.2	4				
			調子	85	7335	253	2.3	4				
			調子	85	7335	271	11.4	4				
			石畳	87	8335	72	5.8	4				
一	134	263	複合資料	82			408.7	88	4	509	2856	
			石畳	82	J37	34	8.6	4				
				K37	E	191	13.1	4				
				K37	E	241	4.4	4				
			調子	82	J37	47	5.9	4				
			調子	82	J37	52	6.9	4				
			調子		K33	E	1	3.4	4			
			調子		K33	E	26	0.8	4			
番(12)	100	113	舟底型石畳	82	K36	39	13.6	4				
				82	K37	428	12.3	4				
			調子	82	K36	184	3.3	4				
			調子	82	K37	143	1.8	4				
			調子	82	K37	439	2.1	4				
			調子	82	K37	280	17.3	4				
			調子	82	K37	383	16.1	4				
			調子	82	K37	336	3.1	4				
			調子	82	K37	382	22.2	4				
			調子	82	K37	389	8.3	4				
			調子	82	K37	427	17.1	4				
				K37	I	51	30.8	4				
			石畳	82	K37	430	7.6	4				
			調子	82	K37	434	13.0	4				
				K37	E	281	1.6	4				
			調子	82	K37	582	15.1	4				
			調子	82	K37	351	3.2	4				
			調子	82	K37	370	1.4	4				
			調子	82	K37	736	1.8	4				
				K37	E	228	3.0	4				
			調子	82	K37	824	3.0	4				
			調子	82	K37	834	2.8	4				
			調子	82	K37	1	54	28.5	4			
			調子	82	K37	1	61	3.0	4			
			調子	82	K37	1	67	3.6	4			
			調子	85	K37	1	76	1.8	4			
				昇調	81	2.2	3					
			調子	K37	E	144	1.8	4				
			調子	K37	E	151	1.0	4				
			船長調子	K37	E	198	2.1	4				
			調子	K37	E	211	1.1	4				
			調子	K37	E	239	3.5	4				
			調子	K37	E	280	1.8	4				
			調子	82	K38	41	7.4	4				
番(13)	118	163	石舳	82	136	107	75.0	4				
番(14)	400	2	舟底型石畳	昇調	9	12.1	4					
番(15)	400	1	船頭	昇調	13	21.1	4					
			調子	昇調	28	18.7	4					
			調子	昇調	34	11.4	4					
			調子	昇調	37	3.5	4					
			調子	昇調	39	12.3	4					
一	135	264	複合資料	85-95			1128.8	28	3-4	576	2873	
			調子	85	M38	235	54.2	3				
				85	M38	1071	48.6	3				
				85	M38	1382	2.3	3				

線区	区間	番号	路地型	SS	変換区	種別	車道	車道幅	石畳	歩道幅	歩道幅	
			調子	85	M38	221	8.7	3				
				85	M38	478	18.1	3				
				85	M38	690	3.6	3				
				M38	I	59	20.5	3				
			石舳	85	M38	232	1.9	4				
				85	N38	1000	23.4	3				
			調子	85	M38	272	3.6	3				
			石舳	85	M38	469	15.0	3				
			石舳	85	M38	529	9.5	3				
			石舳	85	M38	547	16.1	3				
			石舳	85	M38	685	3.3	4				
番(12)	101	127	舟底型石畳	M38	I	7	73.5	4				
				85	N38	1305	39.9	3				
			石舳	M38	I	32	18.6	3				
			調子	M38	I	60	15.2	3				
			調子	M38	I	2	67.0	4				
			調子	85	N38	297	26.2	4				
				85	N38	307	43.1	4				
				85	N38	630	72.9	3				
			調子	85	N38	713	3.4	4				
			調子	85	N38	732	26.2	4				
			調子	85	N38	864	28.6	3				
番(13)	105	166	石舳	85	N38	952	110.3	4				
番(12)	99	81	船頭	85	N38	1119	8.1	3				
一	309	5	船頭	75	739	3	206.6	3				
一	135	265	複合資料	89-93			1351.1	38	4	724	3273	
			調子	93	P38	1289	147.2	4				
				93	P38	2780	46.7	4				
			調子	93	P38	2712	177.2	4				
			調子	93	P38	3147	55.8	4				
			船長調子	93	P38	4452	89.3	4				
				89	R30	213	33.4	4				
			調子	93	P39	640	87.4	4				
				93	P39	757	69.1	4				
			調子	99	Q31	21	35.7	4				
				99	R30	278	68.2	4				
			調子	99	R30	96	18.8	4				
				89	R30	241	18.7	4				
				89	R30	373	2.0	4				
				89	R30	496	4.8	4				
			調子	89	R30	128	9.8	4				
			調子	89	R30	130	137.8	4				
				89	R30	426	12.0	4				
				89	R30	524	106.2	4				
			船長調子	99	R30	157	25.4	4				
				89	R30	374	37.7	4				
				89	R31	5	2.8	4				
			調子	89	R30	315	8.5	4				
			船長調子	89	R30	387	14.8	4				
				89	S39	264	75.5	4				
			調子	89	R30	430	80.8	4				
			調子	89	R30	435	8.4	4				
一	136	266	複合資料	89-93			756.0	44	3-4	923	3271	
一	199	441	舟底型石畳	93	Q28	1241	12.8	4				
			船長調子	93	P38	846	63.0	4				
				93	P38	1319	36.1	4				
				93	P38	2636	88.5	4				
			調子	89	R30	462	1.1	4				
				89	R31	22	2.8	4				
			調子	93	P38	285	53.3	4				
				93	P38	3212	19.9	4				
				93	Q37	231	30.8	4				
				89	R30	262	45.5	4				
			調子	93	P39	812	65.2	4				
				93	P39	935	98.4	4				

探検	探検	番号	品物名	No.	発掘区	種別	器物番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	保存%
				80	E-30	鏡片	442	2.4	4			
				80	Q31	鏡片	6	5.9	3			
				80	Q31	鏡片	8	4.8	3			
				80	Q31	鏡片	3	2.7	4			
				80	E-30	鏡片	18	2.5	4			
				80	E-30	鏡片	72	1.4	4			
				80	E-30	鏡片	87	9.7	4			
				80	E-30	鏡片	172	6.9	4			
				80	E-30	鏡片	185	1.8	4			
				80	E-30	鏡片	224	2.9	4			
				80	E-30	鏡片	288	6.6	4			
				80	E-30	鏡片	295	2.3	4			
				80	E-30	鏡片	303	1.4	4			
				80	E-30	鏡片	317	1.2	4			
				80	E-30	鏡片	324	1.5	4			
				80	E-30	鏡片	348	4.5	4			
				80	E-30	鏡片	400	6.2	4			
				80	E-30	鏡片	2	2.2	4			
				80	E-30	鏡片	391	4.4	4			
				80	E-30	鏡片	423	6.5	4			
				80	E-30	鏡片	434	4.5	4			
				80	E-30	鏡片	438	2.2	4			
				80	E-30	鏡片	494	23.4	4			
				80	E-30	鏡片	474	2.1	4			
				80	E-30	鏡片	479	2.3	4			
				80	E-30	鏡片	484	1.1	4			
一	107	223	舟形彫石器	80	E-30	鏡片	488	71.1	4			
				80	E-30	鏡片	513	16.9	4			
				80	E-30	鏡片	532	3.3	4			
				80	E-30	鏡片	541	1.5	4			
				80	S-29	鏡片	298	1.4	4			
				80	S-29	鏡片	320	3.9	4			
一	136	267	組合材料	80-92			102.4	109	3-4	100	20%	
■	104	197	石核	92	L-30	24	91.1	4				
				80	S24	3	3.8	4				
				80	S24	203	79.4	4				
				80	S24	1208	16.7	4				
				80	S24	7	29.9	4				
				80	S24	9	7.8	4				
				80	S24	28	10.0	4				
				80	S24	41	4.1	4				
				80	S24	44	3.5	4				
				80	S24	71	3.5	4				
				80	S24	84	12.3	4				
				80	S24	126	20.0	4				
				80	S24	36	2.1	4				
				80	S24	133	1.3	4				
				80	S24	149	2.5	4				
				80	S24	211	29.5	4				
				80	S24	40	2.5	4				
				80	S24	1	20	32.2	4			
				80	S24	503	111.3	4				
				80	S24	1130	37.0	4				
				80	S24	1264	29.3	4				
				80	S24	1	10	4.9	4			
				80	S24	509	12.6	4				
				80	S23	388	2.4	4				
				80	S24	714	37.9	4				
				80	S23	389	2.7	4				
				80	S24	633	22.7	4				
				80	S24	1297	6.0	3				
				80	S23	128	26.8	4				
				80	S24	120	15.0	4				
				80	S24	1201	3.7	4				
				80	S24	102	2.0	4				
				80	S24	754	288	6.0	4			
				80	S24	189	5.4	3				
				80	S24	202	8.7	4				
				80	S24	206	15.6	4				
				80	S24	208	7.3	4				
				80	S24	214	20.1	4				
				80	S24	216	12.9	4				
				80	S24	220	3.3	4				
				80	S24	225	21.8	4				
				80	S24	234	6.7	4				
				80	S24	234	334	8.5	4			
				80	S24	234	334	334	8.5	4		
				80	S24	356	27.2	4				
				80	S24	716	6.9	4				
				80	S24	903	9.6	4				
				80	S24	431	3.7	4				
				80	S24	1145	3.7	4				
				80	S24	471	5.4	4				
				不明	不明	不明	不明	不明				
				80	S24	477	5.0	4				
				80	S24	502	11.5	4				
				80	S24	1206	25.8	4				
				80	S24	208	2.2	4				
				80	S24	542	3.9	4				
				80	S24	609	4.6	4				
				80	S24	579	69.1	4				
				80	S24	1078	36.8	4				
				80	S24	1222	5.2	4				
				80	S24	383	86.8	4				
				80	S24	613	8.5	4				
				80	S24	621	5.1	4				
				80	S24	651	22.4	4				
				80	S24	651	28.5	4				
				80	S24	683	8.3	4				
				80	S24	958	4.9	4				
				80	S24	692	10.9	4				
				80	S24	201	11.7	4				
				80	S24	705	7.3	4				
				80	S24	774	36.1	4				
				80	S24	822	16.5	4				
				80	S24	830	16.4	4				
				80	S24	854	16.3	4				
				80	S24	847	3.4	4				
				80	S24	854	11.6	4				
				80	S24	861	32.3	4				
				80	S24	875	2.6	4				
				80	S24	882	1.6	4				
				80	S24	891	7.0	4				
				80	S24	904	2.9	4				
				80	S24	908	21.8	4				
				80	S24	1108	19.2	4				
				80	S24	953	14.3	4				
				80	S24	957	2.7	4				
				80	S24	1108	2.7	4				
				80	S24	952	14.5	4				
■	106	187	石核	80	S24	986	132.9	4				
				80	S24	1006	2.3	4				
				80	S24	1008	6.3	4				
				80	S24	1040	5.7	4				
				80	S24	1047	9.2	4				
				80	S24	1090	2.6	4				
				80	S24	1210	6.7	4				
				80	S24	1192	7.8	4				
				80	S24	1208	3.9	4				
				80	S24	1220	4.1	4				
				80	S24	1209	16.4	4				

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	道型等	SS	変換区	種別	道幅(等)	車道	車道幅	石畳	歩道幅	積石%
			側溝	86	N234		1272	10.4	4			
			側溝	86	N234		1278	6.1	4			
			側溝	86	N234		1330	6.9	4			
			側溝	86	N234		1359	46.5	4			
			側溝	86	N234		1383	2.3	4			
			側溝	86	N234	Ⅱ	137	1.5	4			
			側溝	86	N234		1401	4.6	4			
			側溝	86	N234	Ⅱ	146	1.5	4			
第128	100	132	舟形型石帯	86	N235		95	40.5	4			
				86	N235		136	25.5	4			
				86	O24		168	12.7	4			
				86	O24		227	5.9	4			
—	137	208	複合資料	K2-86			460.9	13	4	309	2943	
			側溝		L20	I	2	3.5	4			
			側溝	82	L26		32	3.9	4			
			側溝	86	M20		6	36.6	4			
			側溝	86	M20		7	26.6	4			
			側溝	86	M20		220	1.4	4			
			側溝	86	M20		23	4.1	4			
			側溝	86	M20		255	1.5	4			
			側溝	86	M20		28	4.7	4			
			側溝	86	M20		131	3.2	4			
			側溝	86	M20		141	3.2	4			
			側溝	86	M20		161	2.8	4			
			側溝	86	M20		195	5.4	4			
			側溝	86	M20		206	1.7	4			
			側溝	86	N225		289	1.6	4			
			側溝	86	M20		288	3.8	4			
			側溝	86	M20		225	2.2	4			
			側溝	86	M20		251	8.4	4			
			側溝	86	M20		258	3.4	4			
			側溝	86	M20		600	7.7	4			
			側溝	86	M20		263	4.9	4			
			側溝	86	M20		277	6.8	4			
			側溝	86	M20		528	16.1	4			
			側溝	86	N235		192	42.3	4			
			側溝	86	N235		183	5.3	4			
			側溝	86	M20		219	6.7	4			
			側溝	86	M20		206	2.8	4			
			側溝	86	M20		263	3.0	4			
第128	108	121	舟形型石帯	86	N235		370	23.2	4			
				86	N235		544	20.8	4			
				86	N235		224	4.5	4			
			側溝	86	M20		437	14.2	4			
			側溝	86	M20		461	21.5	4			
			側溝	86	M20		477	8.2	4			
			側溝	86	M20		487	1.8	4			
			側溝	86	M20		496	7.6	4			
			二次加工木本欄	86	M20		505	31.4	4			
			側溝	86	M20		308	7.2	4			
			側溝	86	M20		514	2.3	4			
			側溝	86	M20		526	50.4	4			
			側溝	86	M20		565	5.9	4			
			側溝	86	M20		594	9.1	4			
			側溝	86	M20	Ⅱ	22	2.3	4			
第127	109	114	舟形型石帯	86	N235		129	21.1	4			
				86	N235		268	19.9	4			
第132	106	183	石積	86	N235		213	71.3	4			
			側溝	86	N235		216	7.3	4			
			側溝	86	N235		217	24.1	4			
			側溝	86	N235		222	1.6	4			
			側溝	86	N235		231	6.1	4			
			側溝	86	N235		264	10.2	4			
			側溝	86	N235		267	19.3	4			
			側溝	86	N235		276	12.3	4			

線区	区間	番号	道型等	SS	変換区	種別	道幅(等)	車道	車道幅	石畳	歩道幅	積石%
			側溝	86	N236		221	2.9	4			
—	137	209	複合資料	89-93			1221.8	73	4	242	2386	
			二次加工木本欄	95	O29		620	148.4	4			
				95	O29		59	19.2	4			
				95	O29		1030	2.2	4			
				95	P29		334	36.2	4			
				95	P29		1060	30.9	4			
			龍長測尺	95	O29		908	17.0	4			
			龍長測尺	95	O29		1266	32.5	4			
				95	P28		6030	26.5	4			
			側溝	95	O29		1414	24.4	4			
			側溝	95	O29		1717	24.1	4			
				95	P28		8060	11.0	4			
			側溝	95	P28		2234	16.5	4			
				95	P28		6349	44.4	4			
					Q27	Ⅱ	11	4.7	4			
			側溝	95	P28		2766	31.6	4			
				95	P28		3558	4.4	4			
				95	P28		4163	17.4	4			
			側溝	95	P28		4919	78.1	4			
				95	P28		5450	15.9	4			
				95	P28		7190	10.7	4			
				95	P28		7721	63.7	4			
第144	191	258	舟形型石帯	95	P28		3648	16.4	4			
				95	P28		4208	12.5	4			
				95	P29		261	19.3	4			
			側溝	95	P28		4561	64.2	4			
—	208	409	石積	95	P28		6168	25.5	4			
			側溝	95	P28		7153	8.9	4			
			龍長測尺	95	P28		7464	32.0	4			
			龍長測尺	95	P28		2646	6.2	4			
			側溝	95	P28		2867	68.0	4			
				95	P28		7943	10.2	4			
			龍長測尺	95	P29		852	5.3	4			
			側溝	99	Q31		22	28.2	4			
			側溝	99	R30		11	4.0	4			
			側溝	99	R30		20	2.2	4			
			側溝	99	R30		79	5.4	4			
			側溝	86	R30		192	4.4	4			
			側溝	86	R30		111	3.3	4			
			側溝	86	R30		126	2.7	4			
			側溝	86	R30		151	1.6	4			
			側溝	86	R30		164	1.9	4			
			側溝	86	R30		439	6.9	4			
—	107	222	舟形型石帯	89	R30		184	2.7	4			
				89	R30		262	13.9	4			
			側溝	86	R30		191	2.0	4			
			側溝	86	R30		233	8.9	4			
			側溝	86	R30		238	4.9	4			
			側溝	86	R30		254	9.6	4			
			側溝	86	R30		279	2.7	4			
			側溝	86	R30		294	3.8	4			
			側溝	86	R30		305	4.4	4			
			側溝	86	R30		320	1.5	4			
			側溝	86	R30		351	28.0	4			
			側溝	86	R30		370	1.3	4			
			側溝	86	R30		333	1.5	4			
			側溝	86	R30		403	1.9	4			
			側溝	86	R30		436	1.2	4			
			側溝	86	R30		440	4.5	4			
			側溝	86	R30		443	2.1	4			
			側溝	86	R30		456	3.4	4			
			側溝	86	R30		465	2.3	4			
			側溝	86	R30		475	1.5	4			
			側溝	86	R30		486	8.9	4			

種別	国産	品名	造物等	№	品名	種別	造物等	重量	自重	石質	積立%	積立%
			鏡片	80	S30		518	3.2	4			
			鏡片	80	S30		522	2.0	4			
			鏡片	80	S30	1	1	36.7	4			
			鏡片	80	S29		396	12.5	4			
			鏡片	80	S29		397	3.0	4			
			鏡片	80	S29		389	18.4	4			
			鏡片	80	S29		275	11.2	4			
			鏡片	80	S29		328	4.0	4			
一	127	220	総合資料	83			2365.9	10	4	364	2888	
			鏡片	83	S38		83	11.4	4			
			鏡片	83	S38		295	80.9	4			
			鏡片	83	S38		807	2.9	4			
			鏡片	83	S38		860	7.2	4			
			鏡片	83	S38		233	16.5	4			
			鏡片	83	S38		380	11.4	4			
			鏡片	83	S38		1138	48.9	4			
			鏡片	83	S38		447	26.2	4			
			鏡片	83	S38	1	40	24.2	4			
			鏡片	83	S38		493	1.9	4			
			鏡片	83	S38		527	4.3	4			
			鏡片	83	S38	1	20	4.8	4			
重	106	186	石鉄	82	S28	1	38	90.8	4			
			板状鏡片	83	S38		394	3.0	4			
			鏡片	83	S38		1182	3.9	4			
			鏡片	83	S38		1230	4.7	4			
一	128	221	総合資料	85-85			433.2	47	4	361	2883	
			鏡片	85	S28		136	8.9	4			
			鏡片	85	S28		371	4.1	4			
			鏡片	85	S28		421	3.7	4			
			鏡片	85	S28		244	1.1	4			
			鏡片	85	S28		349	3.3	4			
			鏡片	85	S28		783	4.4	4			
			鏡片	85	S28		426	1.9	4			
一	107	220	防塵	83	S38		512	43.7	4			
			鏡片	83	S38	1	2	27.1	4			
			鏡片	83	S38		613	1.0	4			
			鏡片	83	S38		786	3.3	4			
			鏡片	83	S38		877	3.8	4			
			鏡片	83	S38		983	6.2	4			
			鏡片	83	S38		993	2.1	4			
			鏡片	83	S38		1127	1.5	4			
			鏡片	83	S38		1134	1.6	4			
			鏡片	85	P35		8	8.1	4			
			鏡片	85	P35		447	3.4	4			
			鏡片	85	P35		9	3.0	4			
			鏡片	85	P35		11	2.3	4			
			鏡片	85	P35		49	4.3	4			
			鏡片	85	P35		80	3.8	4			
			鏡片	85	P35		517	1.3	4			
			鏡片	85	P35	1	8	11.5	4			
			鏡片	85	P35		10	6.2	4			
			鏡片	85	P35		80	4.4	4			
			鏡片	85	P35		81	3.9	4			
			鏡片	85	P35		254	4.6	4			
			鏡片	85	P35		35	14.7	4			
			鏡片	85	P35		604	3.5	4			
			鏡片	85	P35		393	9.9	4			
			鏡片	85	P35		130	1.9	4			
			鏡片	85	P35		112	9.6	4			
			鏡片	85	P35		138	6.7	4			
			鏡片	85	P35		382	2.4	4			
			鏡片	85	P35		538	1.4	4			
			鏡片	85	P35		125	1.6	4			
			鏡片	85	P35		129	3.3	4			
			鏡片	85	P35		134	1.1	4			

種別	国産	品名	造物等	№	品名	種別	造物等	重量	自重	石質	積立%	積立%
			鏡片	85	P35		256	1.1	4			
			鏡片	85	P35		307	3.7	4			
			鏡片	85	P35		420	6.7	4			
			鏡片	85	P35		226	5.0	4			
			鏡片	85	P35		319	4.4	4			
			鏡片	85	P35		443	11.0	4			
			鏡片	85	P35		334	1.1	4			
			鏡片	85	P35		361	5.2	4			
			鏡片	85	P35		364	3.6	4			
			鏡片	85	P35		351	2.2	4			
			鏡片	85	P35		449	15.4	4			
			鏡片	85	P35		453	3.7	4			
			鏡片	85	P35		454	13.2	4			
			鏡片	85	P35		498	1.1	4			
			鏡片	85	P35		473	4.6	4			
			鏡片	85	P35		476	11.7	4			
			鏡片	85	P35		499	15.4	4			
			鏡片	85	P35		505	1.1	4			
			鏡片	85	P35		526	7.9	4			
			鏡片	85	P35		524	1.3	4			
			鏡片	85	P35		542	4.7	4			
			鏡片	85	P35		551	6.5	4			
			鏡片	85	P35		564	3.1	4			
			鏡片	85	P35		586	3.0	4			
			鏡片	85	P35		368	22.9	4			
			鏡片	85	P35		390	4.4	4			
			鏡片	85	P35	1	7	11.5	4			
			鏡片	85	P35	1	10	2.1	4			
一	128	222	総合資料	85-86			439.6	66	4	625	2884	
			鏡片	86	S30		142	2.4	4			
			鏡片	85	O35	1	13	18.6	4			
			鏡片	85	O35	1	14	18.4	4			
			板状鏡片	85	O35	1	13	3.2	4			
			鏡片	85	P35		498	2.5	4			
			鏡片	85	O35	1	20	0.8	4			
			鏡片	85	P35		367	1.9	4			
			鏡片	85	P35		32	3.1	4			
			鏡片	85	P35		966	21.2	4			
			鏡片	85	P35		603	16.6	4			
			鏡片	85	P35		53	6.4	4			
			鏡片	85	P35		113	5.2	4			
			鏡片	85	P35		83	2.9	4			
			鏡片	85	P35		107	0.8	4			
			鏡片	85	P35		301	24.8	4			
			鏡片	85	P35	1	6	23.3	4			
			鏡片	85	P35		114	2.3	4			
			鏡片	85	P35		424	9.9	4			
			鏡片	85	P35		150	3.4	4			
			鏡片	85	P35		398	1.6	4			
			鏡片	85	P35		171	4.2	4			
			鏡片	85	P35		381	6.8	4			
			鏡片	85	P35		280	5.4	4			
			鏡片	85	P35		193	9.0	4			
			鏡片	85	P35		225	11.5	4			
			鏡片	85	P35		383	46.1	4			
			鏡片	85	P35		238	17.6	4			
			鏡片	85	P35		367	11.5	4			
			鏡片	85	P35		299	1.1	4			
			鏡片	85	P35		317	6.4	4			
			鏡片	85	P35		421	3.7	4			
			鏡片	85	P35		325	1.7	4			
			鏡片	85	P35		328	5.5	4			
			鏡片	85	P35		330	5.5	4			
			鏡片	85	P35		338	16.8	4			
			鏡片	85	P35		351	16.4	4			

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	乗車券区	車費	乗付区	石炭	労務%	煤合%
			調片	85	7-35		339	4.1	4			
				85	7-35		455	8.6	4			
			調片	85	7-35		349	5.2	4			
			調片	85	7-35		342	4.4	4			
			調片	85	7-35		343	5.4	4			
			調片	85	7-35		411	1.2	4			
			調片	85	7-35		439	1.1	4			
			調片	85	7-35		448	8.4	4			
			調片	85	7-35		430	2.0	4			
			調片	85	7-35		458	3.8	4			
			調片	85	7-35		475	3.1	4			
			調片	85	7-35		492	2.6	4			
					7-35	I	11	3.2	4			
			調片	85	7-35		503	3.1	4			
					7-35		506	7.0	4			
			調片	85	7-35		504	3.3	4			
			調片	85	7-35		515	4.9	4			
			調片	85	7-35		533	1.2	4			
					7-35	I	10	4.4	4			
			調片	85	7-35		545	2.8	4			
			調片	85	7-35		552	2.0	4			
			縦横調片	85	7-35		568	1.4	4			
			調片	85	7-35		583	3.7	4			
			調片	85	7-35		584	2.9	4			
			調片	85	7-35		587	4.8	4			
			調片	85	7-35		588	6.9	4			
			調片	85	7-35		589	11.9	4			
			調片	85	7-35		638	1.5	4			
			調片	85	7-35		627	17.4	4			
					7-35	I	9	5.8	4			
一	138	273	総合資料	87				405.4	38	4	649	2068
			調片		Q34	I	17	33.2	4			
					R33		448	9.6	4			
					S33		528	9.7	4			
					S33		667	41.0	4			
					S33		786	4.6	4			
			調片	87	Q33		185	6.8	4			
					S32		144	5.6	4			
			調片	87	Q34		305	2.4	4			
			調片	87	Q34		130	2.7	4			
					S33		45	5.6	4			
			調片	87	Q34		211	2.1	4			
					Q34	I	38	6.0	4			
					R33		238	18.9	4			
			調片	87	R33		77	2.7	4			
			調片	87	R33		232	23.3	4			
					R33		426	1.9	4			
			調片	87	R33		498	4.9	4			
					R34	I	18	3.3	4			
			調片	87	R33		529	2.7	4			
			調片	87	R33		574	6.0	4			
					R33		1124	64.3	4			
			調片	87	R33		287	3.3	4			
			調片	87	R33		1134	10.6	4			
			調片	87	R33		1170	8.4	4			
					R33		1256	5.8	4			
					R34		43	3.2	4			
			調片	87	R33		1245	6.2	4			
			調片	87	R33		1289	37.4	4			
			調片	87	S32		209	6.0	4			
			調片	87	S33		283	8.0	4			
					S33		283	13.9	4			
			調片	87	S33		484	37.0	4			
			調片	87	S33		519	7.6	4			
			調片	87	S33		554	3.8	4			

線区	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	乗車券区	車費	乗付区	石炭	労務%	煤合%
一	139	274	総合資料	86-92				1121.9	97	3-4	982	2820
			調片	86	L35		4	106.1	4			
					N34	II	123	1.1	4			
			調片	92	L35		22	10.8	4			
			調片	86	M34		192	2.1	4			
			調片	86	M34		157	5.5	4			
			調片	86	M35		70	3.3	4			
			調片	86	M35		86	1.8	4			
			調片	86	M35		97	0.9	4			
			調片	86	M35		243	3.0	4			
			調片	86	M35	I	4	13.3	4			
			調片	86	M35	I	18	2.8	4			
					N34		1404	10.5	4			
			調片	86	M35	I	20	3.9	4			
			調片	86	M35	I	21	3.3	4			
			調片	86	M35	I	22	3.3	4			
			調片	86	M35	I	24	2.1	4			
			調片	86	M35	I	42	3.5	4			
			調片	86	N34		68	1.2	4			
			調片	86	N34		80	6.9	4			
			調片	86	N34		91	3.1	4			
					N34	II	170	0.6	4			
			調片	86	N34		131	25.7	4			
			調片	86	N34		150	1.6	4			
			調片	86	N34		203	1.0	4			
			調片	86	N34		287	2.2	4			
			調片	86	N34		303	6.5	4			
			調片	86	N34		313	15.4	4			
■-121	106	108	石炭	86	N34		303	201.0	4			
			調片	86	N34		401	7.0	4			
					N34		1291	2.8	4			
			調片	86	N34		455	1.3	4			
			調片	86	N34		480	5.1	4			
			調片	86	N34		525	17.3	3			
			調片	86	N34		610	4.2	4			
			調片	86	N34		667	2.7	4			
			調片	86	N34		676	6.9	4			
			調片	86	N34		709	16.1	4			
			調片	86	N34		735	12.5	4			
			調片	86	N34		741	19.0	3			
			調片	86	N34		750	2.5	4			
			調片	86	N34		780	2.7	4			
			調片	86	N34		872	4.7	4			
			調片	86	N34		883	3.7	4			
			調片	86	N34		884	2.5	4			
			調片	86	N34		922	3.2	4			
			縦横調片	86	N34		905	2.5	4			
					N35		132	7.0	3			
					N35		134	21.7	3			
■-122	109	102	簡冊	86	N34		946	68.0	4			
					N34		1221	77.1	4			
			調片	86	N34		967	6.0	4			
					N34	II	6	1.6	4			
■-123	108	101	簡冊	86	N34		980	50.0	4			
					N35		54	130.5	4			
					N34		1007	6.8	4			
			調片	86	N34		1011	8.4	4			
					N34		1281	4.7	4			
					N34	II	132	1.2	3			
			調片	86	N34		1045	21.1	4			
					N34	II	1236	21.2	4			
					N34	II	65	2.0	4			
					N34	II	82	0.7	4			
			調片	86	N34		1150	10.8	4			
			調片	86	N34		1206	8.2	4			

掲載道物一覧

線区	区間	番号	路線等	№	乗降区	種別	乗降番号	乗車	降車	石段	段差%	段差%
			複線	86	S24		1249	23.5	4			
			複線	86	S24		1255	2.8	4			
			複線	86	S24		1259	3.1	4			
			複線	86	S24		1265	3.5	4			
			複線	86	S24		1333	4.5	4			
			複線		S24	Ⅱ	29	1.8	4			
			複線	86	S24		1391	10.4	4			
			複線	86	S24		1399	9.9	4			
			複線	86	S24		1402	2.1	4			
			複線	86	S24		1409	4.7	4			
			複線		S24	Ⅱ	16	1.8	4			
			複線		S24	Ⅱ	18	1.2	4			
			複線		S24	Ⅱ	21	1.5	2			
			複線		S24	Ⅱ	26	0.9	4			
			複線		S24	Ⅱ	41	1.0	4			
			複線		S24	Ⅱ	43	0.7	4			
			複線		S24	Ⅱ	51	0.3	4			
			複線		S24	Ⅱ	54	0.6	4			
			複線		S24	Ⅱ	58	1.2	4			
			複線		S24	Ⅱ	60	0.8	4			
			複線		S24	Ⅱ	63	0.5	4			
			複線		S24	Ⅱ	76	1.1	4			
			複線		S24	Ⅱ	81	0.8	4			
			複線		S24	Ⅱ	82	0.8	4			
			複線		S24	Ⅱ	91	0.4	4			
			複線		S24	Ⅱ	134	0.5	3			
			複線		S24	Ⅱ	145	0.6	4			
			複線	86	S25		139	3.1	4			
			複線		S25	Ⅰ	1	7.9	4			
			複線	86	O34		106	2.9	4			
			複線	86	O34		109	3.1	4			
			複線	86	O34		171	12.6	4			
			複線	86	O34		209	0.9	4			
一	130	273	複合資料	80-85			206.4	28	3	682	2865	
			二次加工A&B線内	83	S28		32	16.8	4			
			複線	83	S28		39	2.3	4			
			複線	83	S28		142	41.9	4			
			複線	83	S28		150	32.4	4			
			複線		S28	Ⅰ	31	2.5	4			
			複線	83	S28		154	4.0	4			
			複線	83	S28		226	4.1	4			
			複線	83	S28		271	22.3	4			
			複線	83	S28		362	9.4	4			
			複線	83	S28		508	4.4	4			
			複線	83	S28		528	3.4	4			
			複線	83	S28		601	0.8	4			
			複線	83	S28		605	1.8	4			
			複線		S28	Ⅰ	24	40.9	4			
			複線		S28	Ⅰ	29	4.4	4			
			複線		S28	Ⅰ	36	3.4	4			
			複線		S28	Ⅰ	54	3.9	4			
			複線		S28	Ⅰ	56	2.0	4			
			複線複線	85	S27		98	13.9	4			
					S27		490	4.3	4			
			二次加工A&B線内	83	S28		209	9.2	4			
			複線	83	S28		405	6.1	4			
			複線	83	S28		809	43.2	4			
			複線	83	S28		866	10.0	4			
			複線	83	S28		900	11.9	4			
			二次加工A&B線内	83	S28		1000	15.1	4			
			石段	83	S28		1101	31.7	4			
			複線		S28	Ⅰ	9	3.3	4			
三	136	49	複合資料	90-94			8622.2	272	1.5	683	3128	
			複線	94	I 31		803	20.3	1			
			複線	90	S22		270	127.2	1			

線区	区間	番号	路線等	№	乗降区	種別	乗降番号	乗車	降車	石段	段差%	段差%
				90	S22		407	4.2	1			
				90	S22		1674	25.4	1			
			複線	90	J11		67	194.1	1			
			複線	90	J11		129	61.3	1			
			複線	90	J11		280	9.0	1			
			複線	90	J11		257	107.9	1			
			複線	90	J11		1748	3.6	1			
			複線	90	J12		95	11.3	1			
			複線	90	J12		117	3.8	1			
			複線	90	J12		351	33.3	1			
			複線	90	K21		929	16.6	1			
			複線	90	K21		2129	12.2	1			
			複線	90	K22		667	41.3	1			
			複線	90	K22		1008	40.0	1			
			複線	90	K22		1490	3.7	1			
			複線	90	K22		1844	4.0	1			
			複線	90	J11		67	21.3	1			
			複線	90	J11		1832	23.7	1			
			複線	90	J11		145	12.0	1			
			複線	90	K22		801	74.9	1			
			複線	90	J11		219	77.2	1			
			複線	90	K21		1840	21.7	1			
			複線	90	J11		301	5.6	1			
			複線	90	J11		2005	1.0	1			
			複線	90	J12		362	32.7	1			
			複線	90	J12	Ⅰ	18	14.3	1			
			複線	90	K21		679	100.1	1			
			複線	90	K21		1543	8.0	1			
			複線	90	K21		1696	2.9	1			
			複線	90	K21		2007	8.2	1			
			複線	90	K22		1932	25.3	1			
			複線	90	J11		653	8.5	1			
			複線	90	J11		2040	15.2	1			
			複線	90	K21		48	112.7	5			
			複線	90	K21		1725	8.5	1			
			複線	90	K21		2322	10.9	1			
			複線	90	K22		217	10.2	1			
			複線	90	J11		286	10.2	1			
			複線	90	J11		805	5.8	1			
			複線	90	J11		858	5.3	1			
			複線	90	J11		1426	7.1	1			
			複線	90	K22		140	68.1	1			
			複線	90	K22		231	4.1	1			
			複線	90	K22		1416	5.1	1			
			複線	90	K22		1443	9.5	1			
			複線	90	J11		883	6.8	1			
			複線	90	J12		395	3.5	1			
			複線	90	K22		963	82.6	1			
			複線	90	K22		1936	10.7	1			
			複線	90	J11		1182	4.2	1			
			複線	90	J11		2087	7.2	1			
			複線	90	K22		1679	3.6	1			
			複線	90	K22		1980	20.7	1			
			複線	90	K22		1845	16.5	1			
			複線	90	J11		1295	3.1	1			
			複線	90	K21		1325	20.6	5			
			複線	90	K22		805	12.2	1			
			複線	90	K22		1524	20.3	1			
			複線	90	J11		1290	5.4	1			
			複線	90	K22		133	123.1	1			
			複線	90	K22		563	2.3	1			
			複線	90	K22		1288	5.4	1			
			複線	90	J11		1445	7.5	1			
			複線	90	K22		1477	9.4	1			
			複線	90	K22		1710	16.2	1			

上白滝8道跡(2)

線区	国区	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	量測回数	石質	母岩%	粘土%
				90	J32		1764	26.2	1			
			測り	90	J31		1435	4.3	1			
				90	K31		1726	3.7	1			
				90	K32		226	26.5	1			
			測り	90	K32		802	30.9	1			
				90	J31		1521	3.8	1			
				90	J32		300	26.3	1			
			測り	90	K32		1433	26.9	1			
				90	J31		1564	4.5	1			
			測り	90	J31		1749	4.4	1			
				90	J31		2152	3.5	1			
				90	K32		1219	25.5	1			
				90	K32		1878	31.3	1			
			測り	90	J31		1808	18.2	1			
				90	K31		873	6.0	1			
				90	K31		1335	36.7	1			
				90	K32		282	34.6	1			
				90	K32		829	8.5	2			
			測り	90	J31		1981	3.1	1			
				90	K31		1957	29.3	1			
				90	K32		936	30.2	1			
				90	K32		1082	2.2	1			
			測り	90	J31		2061	3.2	1			
			測り	90	J32		9	144.8	1			
				90	J32	I	22	4.5	1			
				90	K31		438	35.4	5			
				90	K31		1829	8.2	1			
			測り	90	K31	I	2	215.2	1			
				90	K31	I	3	8.2	1			
				90	J32		136	3.9	1			
			測り	90	K32		236	37.1	1			
				90	K32		1282	3.4	1			
			測り	90	J32		180	17.9	1			
				90	K32		1304	12.4	1			
				90	K32		1303	8.0	1			
			測り	90	J32		231	9.5	1			
				90	J32		358	17.6	1			
				90	K32		486	18.1	1			
				90	K32		730	146.3	1			
				90	K32		844	30.4	1			
			測り	90	J32		284	11.7	1			
				90	K31		1387	20.1	1			
			測り	90	J32		301	2.2	1			
				90	J32	I	21	8.8	1			
			測り	90	J32		306	3.8	1			
			測り	90	J32		367	15.9	1			
			測り	90	J32		414	6.9	1			
				90	K31		1346	6.0	1			
				90	K32		644	36.3	1			
			測り	90	J32		422	19.3	1			
				90	J32		429	7.5	1			
				90	K31		775	17.8	1			
				90	K31		1042	235.7	1			
				90	K32		932	43.7	1			
				測り	90	J32		438	3.2	1		
			90		J32		614	4.8	1			
			測り	90	J32		387	3.7	1			
			測り	90	J32		612	60.7	1			
				90	K32		1733	15.2	1			
			測り	90	J32		621	18.3	1			
			測り	90	J32		645	86.8	1			
				90	J32		688	4.9	1			
				90	K32		1129	8.0	1			
			測り	90	J32		662	112.4	1			
				90	K32		801	61.5	1			

線区	国区	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	量測回数	石質	母岩%	粘土%
			測り	90	J32		622	19.0	1			
				90	J32		681	6.4	1			
				90	K31		1039	12.3	1			
			測り	90	J32	I	7	48.9	1			
				90	K31		37	146.9	5			
			測り	90	J32	I	19	9.6	1			
				90	K31		1724	11.0	1			
				90	K32		562	9.2	1			
				90	K32		1509	9.3	1			
				90	K32		1537	2.4	1			
			測り	90	K32		1730	3.0	1			
				90	K32		1782	63.8	1			
				90	K32		1286	81.3	1			
				90	K31		56	17.8	5			
			測り	90	K32		1027	37.6	1			
				90	K31		312	111.8	5			
			測り	90	K31		427	113.0	5			
			測り	90	K31		510	5.5	1			
				90	K31		797	16.3	1			
				90	K31		921	15.2	1			
			測り	90	K31		967	239.8	5			
				90	K31		638	11.2	5			
			測り	90	K31		641	86.3	5			
			測り	90	K31		689	16.9	3			
				90	K31		850	6.2	1			
			測り	90	K31		955	3.6	1			
				90	K31		2068	4.7	1			
				90	K32		461	68.4	1			
				90	K32		642	83.1	1			
				90	K32		1440	7.2	1			
			測り	90	K31		810	12.0	5			
			測り	90	K31		1284	71.3	1			
				90	K32		368	28.0	1			
			測り	90	K31		1337	4.7	1			
				90	K32		893	38.7	1			
				90	K32		1528	2.6	5			
			測り	90	K31		1338	143.8	5			
			測り	90	K31		1340	38.6	5			
				90	K32		267	5.7	1			
				90	K32		1347	2.4	1			
			測り	90	K31		1386	7.3	5			
				90	K32		1937	4.8	1			
				90	K31		1449	19.6	1			
			測り	90	K31		1584	34.8	1			
				90	K31		1487	14.9	1			
			測り	90	K31		1634	8.4	1			
				90	K31		2219	4.3	1			
				90	K32		1981	6.1	1			
				90	K31		1833	26.6	5			
			測り	90	K31		1834	2.1	1			
				90	K31		1836	10.9	5			
				90	K32		548	8.1	1			
				90	K31		1937	11.0	5			
			測り	90	K31		2109	11.3	1			
				90	K32		306	24.1	1			
				90	K32		638	13.7	1			
				90	K32		1281	22.7	1			
				90	K32		1776	8.0	1			
			測り	90	K31		1838	236.6	5			
				90	K31		2031	7.8	1			
				90	K32		824	16.7	1			
			測り	90	K31		1866	7.9	1			
				90	K31		2142	2.7	1			
				90	K32		988	32.2	1			
			測り	90	K32		1019	2.0	1			

路線	区間	番号	設備等	№	乗降区	種別	乗降番号	乗車	降車	石賃	積7%	積5%
			複線	90	K31		1971	26.6	0			
			複線	90	K31		1972	42.9	0			
			複線	90	K31		2050	5.7	1			
			複線	90	K31		2125	16.1	1			
			複線	90	K32		902	12.4	1			
			複線	90	K32		3009	1.9	1			
			複線	90	K31		2084	19.3	0			
			複線	90	K32		2011	8.6	1			
			複線	90	K31		2235	7.0	1			
			複線	90	K31		2242	4.3	1			
			複線	90	K32		3100	28.0	1			
			複線	90	K32		1193	22.9	1			
			複線	90	K32		3027	7.9	1			
			複線	90	K32		131	43.8	1			
			複線	90	K32		143	42.1	1			
			複線	90	K32		793	15.9	1			
			複線	90	K32		134	603.3	1			
			複線	90	K32		141	24.2	1			
			複線	90	K32		2084	16.6	1			
			複線	90	K32		142	16.2	1			
			複線	90	K32		216	14.8	1			
			複線	90	K32		807	2.7	1			
			複線	90	K32		830	5.8	1			
			複線	90	K32		280	13.5	1			
			複線	90	K32		204	62.5	1			
			複線	90	K32		2542	7.5	1			
			複線	90	K32		271	5.7	1			
			複線	90	K32		987	29.7	1			
			複線	90	K32		5	67.8	1			
			複線	90	K32		307	123.7	1			
			複線	90	K32		306	20.0	1			
			複線	90	K32		401	10.0	0			
			複線	90	K32		800	8.3	1			
			複線	90	K32		301	4.3	1			
			複線	90	K32		430	48.2	1			
			複線	90	K32		550	8.3	1			
			複線	90	K32		311	103.0	0			
			複線	90	K32		624	8.2	1			
			複線	90	K32		712	9.6	1			
			複線	90	K32		1051	10.9	1			
			複線	90	K32		722	11.9	1			
			複線	90	K32		723	9.3	1			
			複線	90	K32		1261	4.7	1			
			複線	90	K32		800	143.3	1			
			複線	90	K32		840	136.2	1			
			複線	90	K32		301	6.2	1			
			複線	90	K32		1238	7.2	1			
			複線	90	K32		842	5.8	1			
			複線	90	K32		1351	14.3	1			
			複線	90	K32		1397	10.1	1			
			複線	90	K32		1732	15.7	0			
			複線	90	K32		1792	6.7	1			
			複線	90	K32		11	180.6	1			
			複線	90	K32		3088	9.6	1			
			複線	90	K32		3090	5.7	1			
			複線	90	K32		3086	15.2	1			
			複線	90	K32		1121	13.6	1			
			複線	90	K32		1192	25.5	1			
			複線	90	K32		2065	12.5	1			
			複線	90	K32		1158	70.8	1			
			複線	90	K32		1261	10.1	1			
			複線	90	K32		1480	10.3	1			
			複線	90	K32		2228	6.9	0			
			複線	90	K32		1272	14.3	1			
			複線	90	K32		1503	15.2	1			
			複線	90	K32		1344	2.3	1			
			複線	90	K32		1354	28.4	1			
			複線	90	K32		1717	32.3	1			
			複線	90	K32		1442	6.1	1			
			複線	90	K32		1511	27.4	1			
			複線	90	K32		1541	4.0	1			
			複線	90	K32		1700	10.4	1			
			複線	90	K32		1603	3.5	1			
			複線	90	K32		1674	3.9	1			
			複線	90	K32		1907	12.9	1			
			複線	90	K32		1907	12.9	1			
伊予	138	30	複合資料	伊予96				2895.9	126	1	800	3200
			石段	90	J31		2	2.7	1			
			石段	94	J31		1070	1.2	1			
			複線	90	J31		5	44.7	1			
			複線	90	K31		631	18.8	1			
			複線	90	J31		14	47.5	1			
			複線	90	K31		236	94.5	1			
			複線	90	J31		26	13.5	1			
			複線	90	J31		121	6.2	1			
			複線	90	K31		300	22.1	1			
			複線	90	J31		168	18.4	1			
			複線	90	J31		1538	4.3	1			
			複線	90	J32		304	16.9	1			
			複線	90	J31		223	10.0	1			
			石段	90	J31		205	11.9	1			
			複線	90	J32		746	16.9	1			
			複線	90	K31		699	14.6	1			
			石段	90	J31		209	5.7	1			
			複線	90	J32		365	1.5	1			
			複線	90	J31		321	16.1	1			
			複線	90	J31		321	4.1	1			
			複線	90	K31		2196	4.3	1			
			複線	90	J31		338	1.0	1			
			複線	90	J31		566	10.0	1			
			複線	90	K31		1109	1.3	1			
			石段	90	J31		371	10.8	1			
			複線	90	J32		261	5.5	1			
			複線	90	J31		433	6.2	1			
			複線	90	K31		698	351.1	1			
			複線	90	J31		329	13.1	1			
			複線	90	J31		536	7.1	1			
			複線	90	J31		540	19.5	1			
			複線	90	J31		549	33.3	1			
			複線	90	K31		425	7.1	1			
			複線	94	J21		109	3.5	1			
			複線	90	J31		606	2.6	1			
			複線	90	J31		602	11.9	1			
			複線	90	J31		1770	7.7	1			
			複線	90	J31		690	14.7	1			
			複線	90	J31		795	18.4	1			
			複線	90	J32		203	80.3	1			
			複線	90	J31		803	24.1	1			
			複線	90	K31		817	17.4	1			
			複線	90	K31		1704	20.4	1			
			複線	90	J31		806	16.2	1			
			複線	90	K31		1029	5.9	1			
			複線	90	J31		828	57.6	1			
			複線	90	J32		57	10.6	1			
			複線	90	J31		805	16.8	1			
			複線	90	J31		817	70.8	1			
			複線	90	J31		1406	3.2	1			
			複線	90	J31		2010	2.0	1			
			複線	90	J31		1022	14.9	1			
			複線	90	J31		1037	20.0	1			
			複線	90	J31		1042	27.9	1			

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	測距単位	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
			測片	90	J31		1390	5.1	1			
				90	J31		1454	31.6	1			
				90	K31		52	86.3	1			
			測片	90	J31		1279	6.9	1			
				90	K31		349	9.6	1			
			測片	90	J31		1284	6.9	1			
				90	J31		2346	5.6	1			
			測片	90	J31		1286	2.1	1			
				90	J32		437	2.1	1			
			測片	90	J31		1287	1.4	1			
				90	J31		1992	2.4	1			
				90	K31		422	3.7	1			
				90	K31		1176	5.5	1			
			測片	90	J31		1313	4.7	1			
			測片	90	J31		1330	3.0	1			
			測片	90	J31		1540	2.8	1			
			測片	90	J31		1662	22.3	1			
			測片	90	J31		1739	16.1	1			
				90	J32		431	16.5	1			
				90	J32		432	45.4	1			
			測片	90	J31		1811	9.8	1			
			測片	90	J31		1832	2.4	1			
				90	K31		2149	23.2	1			
			測片	90	J31		1964	5.3	1			
			測片	90	J31		2028	7.1	1			
			測片	90	J31		2148	29.0	1			
				90	K32		527	2.7	1			
			測片	90	J31		2154	6.5	1			
				90	K31		1890	3.8	1			
			測片	94	J31		2224	12.7	1			
			測片	90	J31		2276	21.4	1			
				90	K31		1330	5.4	1			
			測片	90	J31		2282	7.5	1			
			測片	90	J31		2526	5.1	1			
			測片	90	J31		2415	6.4	1			
				90	J32		198	6.8	1			
				90	K31		613	3.4	1			
				90	K31		994	3.5	1			
				90	K31		1565	26.2	1			
			石質		J31	1	3	14.2	1			
			測片	90	J32		22	10.7	1			
				90	K32		1808	24.0	1			
			測片	90	J32		46	6.6	1			
			測片	90	J32		53	6.5	1			
			測片	90	J32		127	16.5	1			
			測片	90	J32		128	25.9	1			
			測片	90	J32		164	22.2	1			
			石質	90	J32		242	6.0	1			
				90	K31		41	28.7	1			
			測片	90	J32		239	10.9	1			
			測片	90	J32		307	21.0	1			
				90	J32		449	26.7	1			
			測片	90	J32		333	4.4	1			
			測片	90	J32		368	6.4	1			
				90	K31		1131	14.1	1			
				90	K31		1531	12.3	1			
			測片	90	J32		427	2.8	1			
				90	J32		568	2.9	1			
			測片	90	J32		428	10.9	1			
			測片	90	J32		507	10.7	1			
			石質	90	J32		613	2.6	1			
				90	J32		653	5.5	1			
			測片	90	J32		670	11.1	1			
			測片	90	J32		708	7.9	1			
			測片	90	J32		710	127.6	1			

線区	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	測距単位	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
			測片	90	K31		201	2.5	1			
				90	K31		1323	13.3	1			
			測片	90	K31		227	24.8	1			
				90	K31		416	12.8	1			
			測片	90	K31		300	9.3	1			
			測片	90	K31		326	6.2	1			
				90	K31		1979	18.0	1			
			測片	90	K31		283	14.7	1			
			測片	90	K31		298	5.0	1			
			測片	90	K31		473	4.9	1			
			測片	90	K31		486	8.3	1			
			測片	90	K31		526	8.7	1			
			測片	90	K31		597	5.0	1			
			測片	90	K31		602	24.4	1			
			測片	90	K31		603	5.0	1			
			測片	90	K31		617	13.2	1			
			測片	90	K31		731	15.0	1			
			測片	90	K31		828	6.7	1			
			測片	90	K31		1021	9.5	1			
			測片	90	K31		1044	6.3	1			
			測片	90	K31		1049	3.8	1			
			測片	90	K31		1154	16.3	1			
			測片	90	K31		1156	16.9	1			
			測片	90	K31		1229	10.4	1			
			測片	90	K31		1336	6.4	1			
				90	K31		1710	14.9	1			
				90	K31		2251	26.3	1			
			測片	90	K31		1416	6.8	1			
			測片	90	K31		1417	21.4	1			
			測片	90	K31		1644	4.5	1			
			測片	90	K31		1646	3.6	1			
			測片	90	K31		1672	3.8	1			
				90	K31		2248	3.3	1			
			測片	90	K31		1684	7.7	1			
				90	K31		1886	13.4	1			
			測片	90	K31		1761	6.7	1			
			測片	90	K31		1977	7.4	1			
			測片	90	K31		2090	2.4	1			
			測片	90	K31		2151	60.1	1			
			測片	90	K31		2172	9.3	1			
			測片	90	K31		2178	9.7	1			
			測片	90	K31		2383	14.6	1			
			測片	90	K32		516	7.4	1			
				90	K32		1063	11.4	1			
				90	K32		1573	16.5	1			
			測片	90	K32		620	9.3	1			
			測片	90	K32		944	3.5	1			
				90	K32		1196	8.1	1			
			測片	90	K32		947	13.2	1			
			測片	90	K32		1332	2.1	1			
				90	K32		1697	6.2	1			
			測片	90	L31		941	7.2	1			
			測片	90	L31		1	10.0	1			
				89	S29		153	4.5	1			
				89	S29		294	1.7	1			
			測片	89	S30		28	13.6	1			
				89	S29		222	20.1	1			
			測片	90	J31		74	26.2	1			
			測片	90	J31		110	64.1	1			
			測片	90	J31		1596	28.1	1			
				90	K31		760	13.2	5			
			測片	90	J32		210	12.9	1			
				90	J32		486	13.6	1			
				90	J32		603	26.7	1			

探検	探検	番号	品類等	№	発掘区	種別	器物番号	重量	容積(L)	石量	埋7%	埋5%	
B-081	143	29	石片	J-32	1	2	80.4		1				
				90	K31	1267	37.1	0					
			90	K31	35	305.8	1						
			90	K31	109	19.8	1						
			90	K31	1239	14.9	1						
			90	K31	441	69.5	1						
			90	K31	1081	7.2	5						
			90	K32	491	5.8	1						
			90	K32	861	43.6	1						
			90	K31	308	169.7	0						
90	K31	752	118.6	0									
90	K31	861	27.7	0									
B-081	143	28	石片	90	K31	1133	13.9	0					
				90	K32	1146	11.1	1					
				90	K32	1306	13.8	1					
				90	K31	1174	31.2	0					
			90	K31	1177	10.2	1						
90	K31	1298	10.9	0									
90	K31	1694	18.1	0									
90	K31	1692	13.8	0									
90	K31	1665	28.0	0									
B-081	143	27	石片	90	K32	11	41.8	1					
				90	K32	213	20.8	1					
				90	K32	908	28.4	1					
			90	K32	847	35.2	1						
			90	K32	940	54.0	1						
			90	K32	1985	119.3	1						
90	K32	1984	16.1	1									
90	K32	1983	309.2	0									
B-081	141	54	複合資料	90			4181.2	28	1	600	1185		
				石片	90	J31	85	8.8	1				
			90	K32	1000	7.3	1						
			90	J31	84	22.4	1						
			90	J31	567	37.2	1						
			B-081	142	30	石片	90	J31	133	18.6	1		
							90	K31	1921	65.0	1		
							90	K31	1981	41.8	0		
							90	J31	349	4.7	1		
						90	K31	1024	14.2	1			
B-081	143	26	石片	90	J31	421	49.4	1					
				90	J31	643	56.1	1					
				90	K31	1037	6.8	1					
				90	K32	212	39.1	1					
				90	K32	485	39.2	1					
				90	J31	661	3.6	1					
90	K32	826	6.1	0									
90	J31	672	56.4	1									
90	J31	796	12.7	1									
90	J31	1844	2.9	1									
B-081	143	25	石片	90	J31	782	2.8	1					
				90	J31	1717	1.8	1					
				90	J31	885	3.4	1					
			90	K31	1314	14.8	1						
			90	J31	1941	14.1	1						
			90	J31	1325	32.0	1						
90	K31	442	47.7	1									
90	J31	1206	5.5	1									
90	J31	1078	9.8	1									
B-081	142	21	石片	90	J31	1782	3.6	1					
				90	J32	211	18.1	1					
			90	J32	430	5.7	1						
			J32	1	3	28.5	1						
			J32	1	4	23.6	0						
90	J31	1036	8.9	1									
90	K31	1042	12.7	1									

探検	探検	番号	品類等	№	発掘区	種別	器物番号	重量	容積(L)	石量	埋7%	埋5%	
B-081	149	6	漆器	90	J32		21	5.6	1				
				90	J32		47	39.2	1				
			90	J32		103	2.0	1					
B-081	144	31	石片	90	J32		158	66.9	1				
				90	K32		1241	19.8	1				
			90	J32		238	15.5	1					
			90	K31		1491	4.3	1					
			90	K32		668	50.4	1					
90	K32		1906	62.4	1								
90	J32		331	17.9	1								
90	K31		2104	8.1	1								
B-081	142	23	石片	90	J32		426	12.2	1				
				90	K31		1279	2.5	1				
				90	K31		1510	85.3	1				
90	K31		1516	12.1	1								
B-081	146	54	石片	90	J33	12	239.4	1					
				90	K31	102	11.9	1					
			90	K32	1706	34.8	1						
			90	K31	651	198.0	1						
			90	K31	895	6.6	1						
			90	K31	938	13.5	1						
			90	K31	264	85.0	1						
			90	K31	852	6.0	1						
			90	K31	902	8.9	1						
			90	K31	1509	104.8	1						
90	K31	1603	5.7	1									
90	K31	1714	6.7	1									
90	K31	1782	13.2	1									
90	K31	1900	86.8	1									
90	K31	1911	4.9	1									
90	K31	1928	15.8	1									
90	K31	2041	18.9	1									
90	K32	832	13.3	1									
90	K31	2163	6.4	1									
90	K31	2171	28.4	1									
90	K31	2177	13.4	1									
B-081	141	14	石片	90	K32		713	38.9	1				
				90	K32		1015	31.5	1				
			90	K32		1120	13.9	1					
			90	K32		1128	6.9	1					
			90	K32		1141	2.0	1					
90	K32		1306	4.8	1								
90	K32		1528	2.9	1								
B-081	142	22	複合資料	90	013		1646.8	23	1-5	104	3228		
				90	K31		129	33.5	5				
90	K31		121	38.5	5								
90	K31		128	96.7	5								
90	K31		130	6.4	1								
90	K31		258	38.8	1								
90	K32		44	16.8	1								
90	L31		633	3.9	1								
90	K32		75	22.6	1								
90	K32		85	22.9	1								
90	K32		86	117.3	1								
90	L31		628	112.0	1								
90	K32		300	74.0	1								
B-081	149	12	石片	90	K32		328	23.3	1				
				90	L31		115	49.2	1				
			90	L31		189	13.1	1					
			90	L31		643	44.0	1					
			90	K32		700	473.3	1					
90	L31		22	44.0	1								
90	L31		228	7.7	1								
90	L31		42	34.4	1								
90	L31		57	85.5	1								

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	道跡番号	SS	変換区	種別	道跡番号	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
				測片	90	L31	121	43.2	1			
				測片	90	L31	254	2.2	1			
				測片	90	L31	444	46.6	1			
				測片	90	L31	525	17.5	1			
				測片	90	L31	610	42.0	1			
				測片	90	L31	616	68.2	1			
				測片	90	L31	654	8.0	1			
				測片	90	L31	728	26.2	1			
				測片	90	L31	745	94.6	1			
				測片	90	L31	806	176.6	1			
				石質		L31	1	6	44.0	1		
				石質	90	L33	147	133.3	1			
管-230	164	56	総合資料	90-94			5696.7	78	1-5	601	2190	
				測片	94	J32	6	175.8	5			
				測片	90	J31	739	8.8	1			
				測片	90	J32	124	19.1	1			
				測片	90	J32	9	82.0	1			
管-230	141	18	石質	90	J31	43	4.5	1				
				測片	90	J31	723	6.3	1			
				測片	90	J31	2134	28.5	5			
				測片	90	J32	392	6.1	1			
				測片	90	J32	383	8.3	1			
				測片	90	J31	132	12.1	1			
				測片	90	J31	1798	45.1	1			
				測片	90	J32	513	77.3	1			
				測片	90	J31	330	16.6	1			
				測片	90	J31	382	44.4	1			
				測片	90	K31	439	79.6	5			
				測片	90	J31	524	16.3	1			
				測片	94	J31	608	15.1	1			
				測片	90	J31	1302	22.5	1			
				測片	94	J31	1681	8.0	1			
				測片	90	J31	2261	0.8	1			
				測片	90	K31	329	18.3	5			
				測片	90	K31	333	42.4	5			
				測片	90	K31	2063	6.5	5			
				測片	90	J31	342	9.3	1			
				測片	90	J31	626	5.8	1			
				測片	90	J32	246	24.8	1			
				測片	90	J31	391	13.6	1			
				測片	90	J31	2333	2.7	1			
				測片	90	J31	1132	20.7	1			
				測片	90	J31	1139	25.0	1			
				測片	90	J31	1253	11.8	1			
				測片	90	J31	1777	14.4	1			
				測片	90	J31	1539	27.5	1			
				測片	90	J31	1655	3.4	1			
				測片	90	K32	172	13.9	1			
				測片	90	K32	748	8.8	1			
				測片	90	K32	1385	5.1	1			
				測片	90	J31	1982	18.2	1			
				測片	90	J32	555	7.7	1			
				測片	90	J31	2298	6.0	1			
				測片	90	J32	1	16	9.5	1		
				測片	90	K31	337	11.5	5			
				測片	90	J32	49	24.5	1			
				測片	90	J32	157	11.5	1			
管-138	141	17	石質	90	J32	291	29.1	1				
				測片	90	K31	1681	20.8	5			
				測片	90	K31	2144	9.5	5			
				測片	90	J32	332	11.7	1			
				測片	90	K31	38	51.3	5			
				測片	90	K31	79	60.5	5			
				測片	90	K31	968	8.8	1			
				測片	90	K31	91	11.5	1			

線区	区間	番号	道跡番号	SS	変換区	種別	道跡番号	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
				測片	90	K31	180	8.1	5			
				測片	90	K31	335	54.2	5			
				測片	90	K31	397	8.0	5			
管-177	141	13	G/G	90	K31	494	126.6	5				
				G/G	90	K31	647	11.0	1			
				測片	90	K32	10	628.0	1			
管-142	401	8	石質/石	93B-15	4	2402.3	1					
管-212	185	52	総合資料	90			4795.2	40	1-5	608	2217	
				測片	90	K32	513	4.7	1			
				測片	90	K33	36	5.4	1			
				測片	90	K32	1379	44.8	1			
				測片	90	L32	262	7.4	1			
				測片	90	K32	1639	27.2	1			
				測片	90	L32	294	20.4	1			
				測片	90	K32	1657	1.4	1			
				測片	90	K32	1838	3.7	1			
				測片	90	K33	9	10.9	1			
				測片	90	K33	79	5.7	1			
				G/G	90	K33	10	35.7	5			
				測片	90	L32	1980	11.2	1			
				測片	90	K33	18	128.0	1			
				測片	90	K33	22	34.7	1			
				測片	90	K33	189	14.5	1			
				測片	90	K33	28	105.0	1			
				G/G	90	K33	27	55.3	1			
				測片	90	L32	293	65.1	5			
				測片	90	K33	41	12.4	1			
				測片	90	K33	69	2.8	1			
				測片	90	K33	1	33	1.4	1		
				測片	90	K33	30	6.7	1			
				測片	90	K33	73	3.6	1			
				測片	90	K33	89	6.8	1			
				測片	90	K33	146	6.0	1			
				測片	90	K33	199	3.1	1			
				測片	90	K33	134	13.9	1			
				測片	90	M32	818	6.5	1			
				G/G	90	K33	138	4.3	1			
				測片	90	K33	150	53.8	1			
				G/G	90	K33	191	88.4	5			
				測片	90	L32	1	45	12.5	1		
				測片	90	L32	100	3.5	1			
				測片	90	L32	165	16.7	1			
				測片	90	L32	246	6.9	1			
				測片	90	L32	1334	3.0	1			
				測片	90	L32	2441	14.9	1			
				G/G	90	L32	189	2.7	1			
				測片	90	L32	241	26.9	1			
				測片	90	L32	474	24.5	1			
				測片	90	L32	245	11.7	1			
				測片	90	L32	2051	16.1	1			
				測片	90	L32	346	1.4	1			
				測片	90	L32	901	14.2	1			
				測片	90	L32	1679	4.6	1			
				測片	90	M32	461	2.2	1			
				測片	90	M32	669	2.8	1			
				測片	90	L32	637	26.1	1			
				測片	90	L32	2122	13.3	1			
				測片	90	M32	820	91.2	1			
				測片	90	M32	954	6.6	1			
				測片	90	L32	822	7.9	1			
				測片	90	L32	1157	7.9	1			
				測片	90	L32	956	4.3	1			
				測片	90	L32	1985	7.1	1			
				測片	90	L32	1	9	15.5	1		
				測片	90	L32	1196	4.7	1			

上白滝8道跡(2)

線区	国区	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
			石垣	90	K31		14	42.2		1		
				90	K32		1915	17.4		5		
			測り	90	K31		207	47.5		5		
			測り	90	K31		290	7.2		5		
				90	K32		206	14.8		1		
			石垣	90	K31		419	10.3		1		
			測り	90	K31		421	116.8		5		
				90	K31		1596	49.4		1		
			測り	90	K31		528	37.4		5		
			測り	90	K31		630	17.7		5		
				90	K31		1052	18.6		5		
				90	K32		1223	4.7		1		
				90	K32		1436	9.4		5		
			覆瓦測り	90	K31		811	49.6		1		
			測り	90	K31		893	2.9		5		
			測り	90	K31		944	13.2		1		
				90	K31		1102	43.8		1		
			測り	90	K31		1097	26.9		5		
				90	K31		2213	20.1		5		
			測り	90	K31		1019	28.0		5		
			測り	90	K31		1281	5.1		5		
			測り	90	K31		1354	10.0		1		
			測り	90	K31		1408	11.0		1		
			測り	90	K31		1389	10.6		1		
				90	K31		1758	46.6		1		
			測り	90	K31		1623	25.1		1		
			測り	90	K31		1682	18.2		1		
			測り	90	K31		1777	61.8		5		
			測り	90	K31		1797	3.8		5		
				90	K32		1090	26.6		5		
			測り	90	K31		1808	27.3		1		
			測り	90	K31		1815	276.9		1		
			測り	90	K31		2009	32.6		1		
				90	K32		807	26.7		5		
			測り	90	K31		2125	4.0		5		
			測り	90	K32		7	278.1		1		
				90	K32		209	21.3		1		
			測り	90	K32		137	111.8		1		
			測り	90	K32		213	37.9		1		
			測り	90	K32		268	9.0		5		
				90	K32		1527	6.7		5		
			測り	90	K32		598	17.1		5		
				90	K32		827	8.1		1		
				90	K32		1017	27.8		5		
			測り	90	K32		641	64.6		5		
			測り	90	K32		816	44.7		5		
				90	K32		1239	7.0		5		
			測り	90	K32		1178	17.7		1		
			測り	90	K32		1182	3.1		1		
				90	K32		1183	5.3		1		
			測り	90	K32		1243	16.3		1		
			測り	90	K32		1356	13.4		1		
				90	K32		1382	13.5		1		
				90	K32		1385	9.4		1		
			測り	90	K32		1480	1.7		1		
			石垣	90	K32		1599	8.8		1		
				90	K32		1757	5.4		1		
				90	K32		1869	13.4		5		
			測り	90	K32		1692	69.3		1		
			測り	90	K32		1695	17.3		1		
				90	K32		1885	6.8		1		
			測り	90	K32		1759	40.4		5		
			測り	90	K32		1856	25.5		5		
			石垣	90	K32		1907	9.8		1		
一	10	61	総合資料	90			196.9	28	13	687	3172	

線区	国区	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
			測り	90	J31		40	26.7		1		
				90	K31		372	24.0		1		
				90	K31		1978	18.0		1		
				90	K31		2225	4.6		1		
			測り	90	J31		68	32.8		1		
			測り	90	J31		70	8.3		1		
				90	K32		1248	13.0		1		
			測り	90	J31		127	7.8		1		
			測り	90	J31		179	6.0		1		
				90	J32		932	2.4		1		
				90	K31		1276	9.7		1		
				90	K32		1580	4.6		1		
			測り	90	J31		218	37.7		1		
				90	J31		2403	4.0		1		
			測り	90	J31		304	74.2		1		
				90	K31		241	10.5		1		
				90	K31		1171	4.1		1		
				90	K31		1173	3.7		1		
			測り	90	J31		620	2.2		1		
				90	K31		1170	6.0		1		
			測り	90	J31		926	18.9		1		
			測り	90	J31		1228	1.6		1		
				90	K32		498	8.6		1		
			測り	90	J31		1003	2.3		1		
				90	K32		197	28.8		1		
				90	K32		954	2.2		1		
				90	K32		1539	25.5		1		
			測り	J31	I		18	28.5		1		
				90	J32		141	3.8		1		
				90	K31		881	9.4		1		
			測り	90	J32		38	11.0		1		
				90	K31		722	2.6		1		
			測り	90	J32		349	40.0		1		
			測り	90	J32		566	10.2		1		
			測り	J32	I		33	5.5		1		
			測り	90	K31		29	23.1		1		
				90	K31		672	3.2		1		
				90	K31		881	12.0		1		
				90	K31		1234	8.9		5		
				90	K31		1459	6.9		1		
			測り	90	K31		277	35.0		5		
			測り	90	K31		336	45.7		1		
				90	K31		877	8.4		1		
				90	K31		1003	5.0		1		
			測り	90	K31		423	16.1		1		
				90	K31		503	8.7		1		
			測り	90	K31		490	11.2		1		
			測り	90	K31		286	3.5		1		
				90	K31		295	1.9		1		
				90	K31		1198	6.1		1		
			測り	90	K31		824	3.1		1		
				90	K31		1612	1.1		1		
			測り	90	K31		903	15.0		1		
				90	K31		976	3.3		1		
				90	K31		1498	11.6		5		
				90	K32		1707	8.9		1		
				90	K32		1787	7.6		1		
			測り	90	K31		1006	28.5		1		
			測り	90	K31		1050	7.0		1		
				90	K31		1880	18.4		1		
			測り	90	K31		1333	5.3		1		
				90	K31		1391	13.4		1		
			測り	90	K31		1474	2.7		1		
				90	K32		979	27.5		1		
			測り	90	K31		1868	3.3		1		

探出	探出	番号	品類等	№	発掘区	探出	遺物番号	重量	長さ(㎝)	石質	埋深(㎝)	検出率	検出率
			鏡片	90	K31		1994	5.8	1				
			鏡片	90	K31		2117	6.3	1				
			鏡片	90	K31		2548	1.5	1				
			鏡片	90	K32		208	15.8	1				
			鏡片	90	K32		139	48.9	1				
			鏡片	90	K32		897	1.0	1				
			鏡片	90	K32		903	5.6	1				
			鏡片	90	K32		1278	5.8	1				
			鏡片	90	K32		1529	2.2	1				
			鏡片	90	K32		1611	4.8	1				
			鏡片	90	K32		1758	8.0	1				
			鏡片	90	K32		1901	2.8	1				
			鏡片	90	K32		1946	11.9	1				
一	106	位	総合資料	90-94			1198.0	85	1-5	662	3154		
			鏡片	94	J32		100	5.4	1				
			鏡片	90	J31		208	5.8	1				
			鏡片	90	J31		416	23.2	1				
			鏡片	90	J31		1718	12.7	1				
			鏡片	90	J31		1796	18.7	1				
			鏡片	94	J32		144	4.2	1				
			鏡片	90	K31		737	12.5	1				
			鏡片	90	J31		78	22.1	1				
			鏡片	90	J31		968	27.2	1				
			鏡片	90	J31		1005	3.8	1				
			鏡片	90	K31		1279	9.9	1				
			鏡片	90	J31		189	28.2	1				
			鏡片	90	J31		2032	8.2	1				
			鏡片	90	J31		259	8.7	1				
			鏡片	90	K31		95	120.1	1				
			鏡片	90	K31		95	6.3	1				
			鏡片	90	K31		1964	6.1	1				
			鏡片	90	J31		303	7.6	1				
			鏡片	90	J31		2292	1.6	1				
			鏡片	90	J31		381	8.4	1				
			鏡片	90	J31		1434	13.5	1				
			鏡片	90	J31		2094	8.1	1				
			鏡片	90	J32		85	18.6	1				
			鏡片	90	K32		2272	7.0	1				
			鏡片	90	J31		325	5.3	1				
			鏡片	94	J31		510	1.5	1				
			鏡片	90	J31		575	35.5	1				
			鏡片	90	J31		430	4.2	1				
			鏡片	90	J31		3045	8.2	1				
			鏡片	90	J32		661	7.2	1				
			鏡片	90	K31		2641	2.5	1				
			鏡片	90	J31		814	1.9	1				
			鏡片	90	J31		2961	17.5	1				
			鏡片	90	J31		418	6.2	1				
			鏡片	90	J31		1017	2.9	1				
			鏡片	90	J32		72	2.9	1				
			鏡片	90	K31		412	3.4	1				
			鏡片	90	J31		534	15.9	1				
			鏡片	90	J31		2289	18.7	1				
			鏡片	90	J31		1035	10.7	1				
			鏡片	90	J31		1036	42.3	1				
			鏡片	90	J32		48	2.4	1				
			鏡片	90	J31		1033	3.9	1				
			鏡片	90	K31		2280	9.8	1				
			鏡片	90	J31		1122	3.0	1				
			鏡片	90	J31		1280	12.5	1				
			鏡片	90	J31		1425	8.1	1				
			鏡片	90	J31		1808	18.4	1				
			鏡片	90	J31		1721	11.6	1				
			鏡片	90	K31		1735	6.4	1				
			鏡片	90	K32		315	2.1	1				
			鏡片	90	J31		1789	6.2	1				
			鏡片	90	J31		1787	8.0	1				
			鏡片	90	K31		1643	18.0	1				
			鏡片	90	J31		1906	1.7	1				
			鏡片	90	K31		604	48.9	1				
			鏡片	90	K32		6	31.0	1				
			鏡片	90	J31		1900	25.4	1				
			鏡片	90	J31		2258	12.3	1				
			鏡片	90	J31		17	56.5	1				
			鏡片	90	K31		1023	8.7	1				
			鏡片	90	J31		19	8.0	1				
			鏡片	90	J32		631	15.9	1				
			鏡片	90	J32		30	7.0	1				
			鏡片	90	K31		324	18.5	1				
			鏡片	90	J32		51	24.8	1				
			鏡片	90	J32		271	9.9	1				
			鏡片	90	J32		443	12.2	1				
			鏡片	90	K31		5	3.1	1				
			鏡片	90	K31		1652	78.4	1				
			鏡片	90	K31		1670	8.1	1				
			鏡片	90	K31		985	4.7	1				
			鏡片	90	K32		985	5.4	1				
			鏡片	90	K31		972	3.7	1				
			鏡片	90	K31		5	8.4	1				
			鏡片	90	K31		1605	11.2	1				
			鏡片	90	K31		2042	15.3	1				
			鏡片	90	K31		1694	6.4	1				
			鏡片	90	K31		1942	5.2	1				
			鏡片	90	K31		2216	31.3	1				
			鏡片	90	K31		2217	28.3	1				
			鏡片	90	K31		2218	37.4	1				
			鏡片	90	K31		2259	8.7	1				
			鏡片	90	K32		728	4.5	1				
			鏡片	90	K32		895	12.7	1				
一	109	位	総合資料	90-94			4633.5	28	1-5	714	3239		
			鏡片	94	J32		8	23.5	1				
			鏡片	90	K31		1630	61.8	1				
			鏡片	90	K31		1937	19.6	1				
			石片	90	J31		422	28.2	1				
			石片	90	J32		408	35.4	1				
			鏡片	90	J31		665	18.2	1				
			鏡片	90	J31		1024	27.4	1				
			鏡片	90	J31		938	21.2	1				
			鏡片	90	J31		1017	42.5	1				
			鏡片	90	J31		1227	4.6	1				
			石片	90	J31		1433	38.4	1				
			石片	90	J31		1673	27.1	1				
			鏡片	90	J31		1657	42.0	1				
			鏡片	90	K31		16	28.2	1				
			石片	90	J31		2375	18.6	1				
			鏡片	90	J31		8	18.9	1				
			鏡片	90	J32		42	34.8	1				
			鏡片	90	J32		103	4.4	1				
中	102	位	総合資料	90-94			1988.0	9	1	2888.0	9		
			鏡片	90	K31		40	48.1	1				
			鏡片	90	K31		228	30.5	1				
			鏡片	90	K31		311	8.3	1				
			鏡片	90	K31		1076	3.9	1				
			鏡片	90	K31		1982	8.9	1				
			鏡片	90	K31		2077	7.9	1				
			石片	90	K31		2250	45.2	1				
			鏡片	90	K32		1291	126.5	1				
			鏡片	90	K32		1865	43.8	1				
一	120	位	総合資料	90-94			3121.2	21	3-4	710	3239		
			鏡片	90	J32		46	25.8	1				

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	架線等	SS	架線区	種別	架線番号	重量	架線長さ	石質	架設%	架設%
				90	J32		735	20.4	4			
			鋼片	90	J32		86	5.5	4			
				90	J32		164	197.7	4			
				90	J32		283	9.2	4			
			鋼片	90	J32		715	13.9	3			
				90	J32		284	5.6	4			
			鋼片	90	J32		719	11.3	3			
				90	J32		354	42.6	4			
			鋼片	90	J32		736	102.3	4			
				90	J32		736	2.5	4			
			鋼片	90	J32		739	26.6	4			
			鋼片	90	J32		740	20.0	4			
			鋼片	90	J32		738	51.4	4			
			鋼片	90	J32		760	20.4	4			
				90	J32		792	20.6	4			
				90	J32		385	14.8	4			
			鋼片	90	J32		739	100.6	4			
			鋼片	90	J32		787	4.9	4			
第108	102	65	石質	90	J32		790	202.6	4			
			鋼片	90	J32		791	20.5	4			
-	120	65	複合架料	90			1074.4	17	1-3	694	3203	
第109	142	24	石質	90	J32		65	56.8	1			
				90	J32		100	36.6	1			
				90	K31		1568	15.3	1			
			鋼片	90	K31		57	127.9	3			
			鋼片	90	K31		436	128.1	3			
			石質	90	K31		636	84.2	2			
			石質	90	K31		934	36.9	1			
				90	K32		934	8.1	1			
			鋼片	90	K31		915	29.7	1			
			石質	90	K31		1032	33.4	1			
			石質	90	K31		2000	25.7	1			
			鋼片	90	K31		2003	28.8	1			
			石質	90	K31		2006	4.2	1			
				90	K32		914	5.0	1			
				90	K32		1143	8.7	1			
			鋼鉄鋼片	90	K32		201	5.7	1			
第108	102	42	石質	90	K32		777	803.1	1			
-	171	66	複合架料	82-90			1940.9	41	1-3	261	3229	
			鋼片		J32	1	28	4.2	1			
			石質	90	K31		148	75.4	5			
				90	L32		495	3.9	1			
				90	L32		809	4.1	1			
				90	L32		1850	4.5	1			
				90	L32		2025	5.0	1			
第109	98	72	石質		K32	1	42	9.6	1			
				90	K33		30	4.1	1			
			鋼筋	82	M36		65	19.1	1			
					M36	1	3	26.2	1			
			鋼片		K32	1	16	11.4	1			
			石質		K32	1	17	9.8	1			
				90	L32		926	1.7	1			
			鋼片		K32	1	19	102.9	1			
					K32	1	29	46.1	1			
			鋼片	90	L31		38	20.6	1			
			鋼片	90	L31		228	19.5	1			
				90	L31		282	6.7	1			
				90	L31		519	6.1	1			
			石質	90	L31		345	31.8	1			
				90	L32		80	27.2	1			
			鋼片	90	L31		434	4.0	1			
				90	L31		736	48.9	1			
			石質	90	L31		911	29.2	1			
			石質		L31	1	14	43.1	1			
			石質	90	L32		33	4.3	1			

線別	区別	番号	架線等	SS	架線区	種別	架線番号	重量	架線長さ	石質	架設%	架設%
				90	L32		45	2.6	1			
				90	L32		213	4.9	1			
				90	L32		541	5.0	1			
			G架	90	L32		175	18.1	1			
				90	L32		190	6.8	1			
				90	L32		712	5.5	1			
				90	L32		1378	7.5	1			
			G架	90	L32		250	2.6	1			
				90	L32		451	1.7	1			
				90	L32		2634	1.6	1			
			鋼片	90	L32		282	11.6	1			
				90	L32		1491	4.0	1			
				90	L32		1448	2.7	1			
			鋼片	90	L32		552	2.6	1			
第102	400	7	石質		K31		6	1276.3	1			
-	172	67	複合架料	90-93				2962.3	100	1-3	703	3227
			鋼片		J32	1	26	11.8	1			
				90	K32		157	5.4	1			
			鋼片	90	K31		139	43.2	5			
				90	L31		46	41.0	1			
			鋼片	90	K31		262	17.0	5			
			鋼片	90	K31		285	7.0	5			
				90	K32		74	16.5	1			
				90	K32		87	5.3	1			
			鋼片	90	K32		93	27.1	1			
			鋼片	90	K32		96	137.6	1			
			鋼片	90	K32		101	52.3	1			
			鋼片	90	K32		100	84.2	1			
			鋼片	90	K32		106	17.7	1			
			鋼片	90	K32		386	25.6	1			
			鋼片	90	K32		385	20.5	1			
				90	L31		969	8.1	1			
			鋼片	90	K32		434	16.0	1			
				90	K32		1968	24.2	5			
				90	L31		89	31.4	1			
				90	L31		158	25.9	1			
				90	L31		164	13.3	1			
				90	L31		455	10.3	1			
				90	L31		850	36.4	1			
			鋼片	90	K32		595	7.4	1			
			鋼片	90	K32		1697	14.3	1			
			鋼片		K32	1	6	52.1	1			
				90	L31		325	15.3	1			
			鋼片		K32	1	14	24.1	1			
				90	L31		24	82.0	1			
			鋼片	90	L31		25	33.0	1			
				90	L31		106	35.9	1			
				90	L31		112	43.5	1			
				L31	1	4	28.5	1				
				L31	1	5	18.9	1				
			鋼鉄鋼片	90	L31		37	7.1	1			
				L31	1	12	16.3	1				
			鋼片	90	L31		52	36.9	1			
				90	L31		558	21.6	1			
			石質	90	L31		95	12.1	1			
			鋼片	90	L31		61	16.1	1			
				90	L31		168	26.8	1			
				90	L31		596	10.4	1			
			鋼片	90	L31		88	80.9	1			
				90	L31		356	21.3	1			
				90	L31		758	12.8	1			
				90	L31		771	5.0	1			
			鋼片	90	L31		107	28.7	1			
				90	L31		618	23.3	1			
			鋼片	90	L31		134	7.9	1			

路線	区間	番号	設備等	№	架間長	積立	積物番号	重量	積立高さ	石質	積立%	積立%				
東15	149	11	石瓦	90	1.31	123	15.4	1								
				90	1.31	180	17.1	1								
				90	1.31	209	4.3	1								
				90	1.31	133	13.8	1								
				90	1.31	210	16.2	1								
				90	1.31	215	2.4	1								
				90	1.31	225	2.5	1								
				90	1.31	220	22.8	1								
				90	1.31	221	28.0	1								
				90	1.31	441	19.1	1								
				90	1.31	289	15.9	1								
				90	1.31	349	104.4	1								
				90	1.31	322	43.1	2								
				90	1.31	389	14.2	1								
				90	1.31	401	12.6	1								
				90	1.31	418	23.5	1								
				90	1.31	404	6.3	1								
				90	1.31	412	43.7	1								
				90	1.31	425	15.3	1								
				90	1.31	430	21.3	1								
				90	1.31	511	136.6	1								
				90	1.31	532	18.4	1								
				90	1.31	552	13.7	1								
				90	1.31	594	12.4	1								
90	1.31	606	20.1	1												
90	1.31	611	113.3	1												
90	1.31	859	42.0	1												
90	1.31	617	22.4	1												
90	1.31	749	10.7	1												
90	1.31	17	23.6	1												
90	1.31	1	18	21.1	1											
東16	143	25	石瓦	90	1.32	82	9.9	1								
				90	1.32	284	14.3	1								
				90	1.32	302	36.0	1								
				90	1.32	843	26.9	1								
				90	1.32	858	14.3	1								
				90	1.32	859	7.0	1								
				90	1.32	864	6.2	1								
				90	1.32	1211	5.9	1								
				90	1.32	1232	3.8	1								
				90	1.32	1233	6.3	1								
				90	1.32	1234	10.7	1								
				90	1.32	1240	3.2	1								
				90	1.32	1323	10.4	1								
				90	1.32	1282	6.9	1								
				90	1.32	1303	10.7	1								
				90	1.32	1849	30.8	1								
				90	1.32	2016	4.6	1								
				90	1.32	2212	34.1	1								
				90	1.32	2419	7.2	1								
				90	1.32	1	20	12.4	1							
				90	1.32	1	44	18.9	1							
				90	1.32	127	10.2	1								
				90	1.32	490	14.2	1								
				90	1.32	1244	13.5	1								
				90	1.32	2543	2.7	1								
				90	1.32	1839	10.5	1								
				90	1.32	1	77	10.6	1							
				90	1.32	1	90	7.5	1							
				90	1.32	1	1	36.5	1							
				東17	205	321	総合資料	90	1.30		2126.2	161	740	2308		
				東18	205	321	総合資料	90	1.30	108	7.8	1				
								90	1.30	1	11	10.4	1			
								90	1.30	332	13.2	1				
								90	1.30	140	6.9	1				
								90	1.30	177	5.2	1				
								90	1.30	529	68	10.1	1			
90	1.30	529	291					7.8	1							
90	1.30	529	801					2.6	1							
90	1.30	530	324					3.4	1							
90	1.30	529	1700					4.1	1							
東19	205	321	総合資料	90	1.30	408	13.8	1								
				90	1.30	529	410	3.6	1							
				90	1.30	529	800	6.6	1							
				90	1.30	530	48	6.2	1							
				90	1.30	529	403	28.2	1							
				90	1.30	530	603	5.0	1							
				90	1.30	529	487	8.8	1							
				90	1.30	529	906	7.8	1							
				90	1.30	529	1714	13.7	1							
				90	1.30	531	634	6.3	1							
東20	205	321	総合資料	90	1.31	16	5.1	1								
				90	1.31	124	13.8	1								
				90	1.30	751	41.2	1								
				90	1.31	106	65.2	1								
				90	1.31	280	25.1	1								
				90	1.31	925	12.8	1								
				90	1.30	530	640	4.1	1							
				90	1.31	814	13.4	1								
				90	1.30	839	1.7	1								
				90	1.30	529	1907	10.6	1							
東21	205	321	総合資料	90	1.31	817	15.6	1								
				90	1.31	824	11.1	1								
				90	1.31	856	4.5	1								
				90	1.31	1203	28.2	1								
				90	1.31	966	2.7	1								
				90	1.31	803	3.2	1								
				90	1.31	829	630	2.1	1							
				90	1.31	1200	18.7	1								
				90	1.31	101	60.4	1								
				90	1.31	178	24.0	1								
東22	205	321	総合資料	90	1.31	103	10.9	1								
				90	1.31	603	2.7	1								
				90	1.31	804	2.7	1								
				90	1.31	272	8.2	1								
				90	1.31	274	1.9	1								
				90	1.31	267	4.0	1								
				90	1.31	124	1.4	1								
				90	1.31	805	13.8	1								
				90	1.31	403	22.2	1								
				90	1.31	1694	16.0	1								
東23	205	321	総合資料	90	1.31	225	2.7	1								
				90	1.31	777	4.9	1								
				90	1.31	406	8.9	1								
				90	1.31	939	21.2	1								
				90	1.31	1196	4.1	1								
				90	1.31	1319	5.0	1								
				90	1.31	1541	6.6	1								
				90	1.31	1397	12.1	1								
				90	1.31	1670	16.8	1								
				90	1.31	207	1.7	1								
東24	205	321	総合資料	90	1.31	818	7.8	1								
				90	1.31	287	18.9	1								
				90	1.31	632	4.5	1								
				90	1.31	800	12.5	1								
				90	1.31	801	5.2	1								
				90	1.31	208	13.9	1								
				90	1.31	902	4.1	1								
				90	1.31	221	3.6	1								

上白滝8道跡(2)

線区	種別	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
				90	M20	測片	403	4.3	1			
				90	M20	測片	406	3.8	1			
				90	M30	測片	410	12.9	1			
				90	M20	測片	409	1.7	1			
				90	M20	測片	814	12.5	1			
				90	M20	測片	403	1.5	1			
				90	M20	測片	404	3.7	1			
				90	M20	測片	408	3.2	1			
				90	M20	測片	300	3.0	1			
				90	M20	測片	639	9.8	1			
				90	M30	測片	171	9.1	1			
				90	M20	測片	1590	5.1	1			
				90	M20	測片	307	3.7	1			
				90	M20	測片	719	2.6	1			
				90	M20	測片	523	32.5	1			
				90	M20	測片	531	20.0	1			
				90	M20	測片	555	21.9	1			
				90	M20	測片	1341	4.6	1			
				90	M20	測片	525	2.6	1			
				90	M30	測片	107	23.3	1			
				90	M20	測片	826	8.5	1			
				90	M20	測片	640	8.4	1			
				90	M20	測片	896	2.3	1			
				90	M20	測片	663	5.2	1			
				90	M20	測片	904	8.7	1			
				90	M20	測片	1733	8.5	1			
				90	M20	測片	724	1.6	1			
				90	M20	測片	390	4.3	1			
				90	M30	測片	94	3.7	1			
				90	M20	測片	1492	5.4	1			
中-200	174	16	実測跡	90	M20	測片	731	7.6	1			
				90	M20	測片	792	21.9	1			
				90	M30	測片	439	46.4	1			
				90	M20	測片	1175	13.9	1			
				90	M20	測片	806	16.4	1			
				90	M30	測片	832	26.0	1			
				90	M30	測片	833	26.3	1			
				90	M20	測片	871	4.4	1			
				90	M30	測片	736	3.1	1			
				90	M20	測片	1185	8.7	1			
				90	M20	測片	898	7.1	1			
				90	M30	測片	142	7.3	1			
				90	M30	測片	290	5.1	1			
				90	M20	測片	1291	2.0	1			
				縦長測片	90	M20	測片	88	163.2	1		
				測片	90	M30	測片	188	25.9	1		
				90	M20	測片	974	4.7	1			
				測片	90	M30	測片	278	2.2	1		
				90	M30	測片	751	2.6	1			
				測片	90	M30	測片	330	6.9	1		
				90	M30	測片	606	17.2	1			
				90	M30	測片	286	4.9	1			
				測片	90	M30	測片	336	2.3	1		
				90	M30	測片	746	26.9	1			
				90	M20	測片	823	12.8	1			
				測片	90	M30	測片	340	3.3	1		
				測片	90	M30	測片	362	2.8	1		
				測片	90	M30	測片	380	2.5	1		
				測片	90	M30	測片	494	19.1	1		
				測片	90	M30	測片	522	3.4	1		
				測片	90	M30	測片	637	1.7	1		
				90	M30	測片	663	3.6	1			
				測片	90	M20	測片	731	6.7	1		
				90	M20	測片	1602	6.9	1			
				90	M20	測片	1664	7.0	1			

線区	種別	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
				90	M30	測片	797	6.5	1			
				90	M20	測片	1408	2.4	1			
				90	M30	測片	800	4.7	1			
				90	M20	測片	674	117.8	1			
				90	M30	測片	336	2.1	1			
				90	M20	測片	998	6.1	1			
				90	M20	測片	1171	2.6	1			
				90	M20	測片	1475	18.2	1			
				90	M20	測片	1530	67.6	1			
				90	M20	測片	1510	4.2	1			
				90	O20	測片	1675	6.1	1			
				90	M20	測片	1044	1.9	1			
				90	O20	測片	1842	20.1	1			
				90	O20	測片	2138	11.9	1			
				90	M20	測片	1616	4.9	1			
				90	M20	測片	1630	1.9	1			
				90	M20	測片	1670	4.6	1			
				90	M20	測片	1681	4.3	1			
				90	M20	測片	1719	12.4	1			
				90	M20	測片	1726	11.2	1			
				90	M30	測片	463	3.4	1			
				90	M30	測片	525	16.7	1			
				90	M30	測片	527	2.1	1			
				M30	測片	91	28.9	1				
				90	O20	測片	2323	4.0	1			
				90	O20	測片	2443	12.3	1			
				90	O20	測片	2339	8.5	1			
中-277	208	333	総合資料	総合資料				2603.1	84	1-3	127	3280
				二次加工基本測片	90	J32	43	33.7	1			
				90	J31	測片	107	106.5	1			
				90	K30	測片	360	6.2	1			
				90	K30	測片	363	75.9	1			
				測片	90	J30	124	15.0	1			
				90	K30	測片	337	87.5	1			
				90	L30	測片	72	16.4	1			
				90	L30	測片	442	6.6	1			
				90	L30	測片	623	48.1	1			
				90	L30	測片	822	12.8	1			
中-229	186	202	横筋	90	J30	測片	126	8.3	1			
				90	J31	測片	546	8.1	1			
				90	K30	測片	401	6.1	1			
				90	K30	測片	447	12.7	1			
				G.石	90	J31	測片	561	44.0	1		
				90	K31	測片	363	12.8	1			
				測片	90	J31	1046	42.3	1			
				測片	90	J31	2302	173.4	1			
				90	K30	測片	629	11.4	1			
				測片	90	J33	26	21.8	1			
				二次加工基本測片	90	K30	測片	96	38.3	1		
				90	K30	測片	118	61.9	1			
				測片	90	K30	169	22.0	1			
				90	K30	測片	303	113.3	1			
				90	L30	測片	330	2.7	1			
				測片	90	K30	176	21.5	1			
				G.石	90	K30	231	28.7	1			
				90	K30	測片	376	14.5	1			
				90	K30	測片	448	8.7	1			
				90	L30	測片	596	11.6	1			
				G.石	90	K30	248	4.5	1			
				90	K31	測片	532	26.7	1			
				90	L30	測片	259	35.6	1			
				90	L30	測片	586	2.9	1			
				測片	90	K30	283	48.3	1			
				90	L30	測片	196	23.0	1			
				測片	90	K30	308	4.3	1			

国名	種別	番号	品名	No.	発掘区	種別	遺物番号	重量	容積	石室	埋没率	埋没率
				93	K30	銅片	391	4.4		1		
				93	L30	銅片	510	4.2		1		
			銅片	93	K30	銅片	437	22.9				
			銅片	93	K31	銅片	209	21.8		1		
			銅片	93	K31	銅片	348	4.9		1		
			銅片	93	L30	銅片	692	4.9		1		
			銅片	93	K31	銅片	369	22.3		1		
			銅片	93	K31	銅片	393	19.5		1		
群29	174	17	穴部群	93	L20	銅片	30	99.0		1		
			銅片	93	L30	銅片	351	4.4		1		
			銅片	93	L30	銅片	414	6.1		1		
			二次加工未名銅片	93	L30	銅片	332	175.4		1		
			銅片	93	L30	銅片	333	7.1		2		
			銅片	93	L30	銅片	399	19.6		5		
			銅片	93	L30	銅片	422	4.9		1		
			銅片	93	L30	銅片	543	3.9		1		
			銅片	93	L30	銅片	695	14.4		1		
			銅片	93	L30	銅片	717	3.6		1		
			銅片	93	L30	銅片	439	19.4		1		
			銅片	93	L30	銅片	472	6.1		1		
			銅片	93	L30	銅片	482	4.7		1		
			銅片	93	L30	銅片	730	19.1		1		
			銅片	93	L30	銅片	833	1.7		1		
			銅片	93	L30	銅片	487	13.3		1		
			銅片	93	L30	銅片	707	3.1		1		
			銅片	93	L30	銅片	488	32.1		1		
			銅片	93	L30	銅片	527	41.9		1		
			銅片	93	L30	銅片	489	195.9		1		
			銅片	93	L30	銅片	828	46.8		5		
			銅片	93	L30	銅片	532	1.7		1		
			銅片	93	L30	銅片	533	28.7		1		
			銅片	93	L31	銅片	836	48.6		1		
			銅片	93	L30	銅片	544	15.7		1		
			銅片	93	L30	銅片	554	24.9		1		
			銅片	93	L30	銅片	564	32.5		1		
			銅片	93	L30	銅片	600	1.8		1		
			銅片	93	L30	銅片	606	19.9		1		
			銅片	93	L30	銅片	595	3.1		1		
			銅片	93	L30	銅片	739	4.9		5		
			銅片	93	L30	銅片	633	9.3		1		
			銅片	93	L30	銅片	636	8.4		1		
			石片	93	L30	銅片	714	39.9		5		
			銅片	93	M20	銅片	838	55.0		1		
			銅片	93	L30	銅片	738	3.2		1		
			銅片	93	L30	銅片	746	3.1		1		
			銅片	93	L30	銅片	796	19.2		1		
群29	174	15	穴部群	93	M20	銅片	795	63.5		1		
群29	206	204	組合資料	93-97			1139.0	50	2	793	2903	
			銅片	93	J23	銅片	172	129.7		2		
			銅片	93	J23	銅片	408	96.9		2		
			銅片	93	K31	銅片	354	3.8		2		
			石片	93	K31	銅片	361	25.6		2		
			銅片	93	L30	銅片	437	3.2		2		
			銅片	93	L30	銅片	75	13.4		2		
			銅片	93	L30	銅片	377	65.8		2		
			銅片	93	L30	銅片	127	29.8		2		
			銅片	93	L30	銅片	148	2.4		2		
			銅片	93	L30	銅片	598	8.9		2		
			銅片	93	L30	銅片	136	12.4		2		
			銅片	93	L30	銅片	480	9.2		2		
			銅片	93	L71	銅片	921	4.8		2		
			銅片	93	M20	銅片	692	7.4		2		
			銅片	93	M20	銅片	739	45.4		2		
			銅片	93	L30	銅片	179	22.5		2		
			銅片	93	L30	銅片	354	2.9		2		

国名	種別	番号	品名	No.	発掘区	種別	遺物番号	重量	容積	石室	埋没率	埋没率
				93	L31	銅片	951	17.9		2		
			銅片	93	L30	銅片	298	129.2		2		
			銅片	93	L30	銅片	436	42.8		2		
			銅片	93	L30	銅片	463	90.3		2		
			銅片	93	L30	銅片	477	21.5		2		
			銅片	93	L30	銅片	491	24.8		2		
			銅片	93	L30	銅片	533	17.2		2		
			銅片	93	L30	銅片	666	22.0		2		
			銅片	93	M20	銅片	679	16.3		2		
			銅片		L30	I	4	113.3		1		
			銅片	93	M20	銅片	622	32.6		2		
			銅片	93	L31	銅片	852	6.6		2		
			銅片	93	M20	銅片	877	14.9		2		
			銅片	93	L31	銅片	892	18.2		2		
			銅片	93	M20	銅片	282	2.1		2		
			銅片	93	M20	銅片	117	1.9		2		
			銅片	93	M20	銅片	295	44.0		2		
			銅片	93	M20	銅片	477	28.2		2		
			銅片	93	M20	銅片	497	5.7		2		
			銅片	93	M20	銅片	336	11.1		2		
			銅片	93	M20	銅片	391	6.9		2		
			銅片	93	M20	銅片	399	92.3		2		
			銅片	93	M20	銅片	710	32.0		2		
			銅片	93	M20	銅片	745	18.7		2		
			銅片	93	M20	銅片	394	31.4		2		
			銅片	93	M20	銅片	647	4.6		2		
			銅片	93	M20	銅片	678	3.5		2		
			銅片	93	M20	銅片	690	17.9		2		
			銅片	93	M20	銅片	747	28.0		2		
			銅片	93	M20	銅片	805	69.9		2		
群219	173	8	穴部群	93	N20	銅片	1941	78.0		2		
			銅片	93	N20	銅片	1296	13.2		2		
			銅片	93	N20	銅片	1319	5.3		2		
群283	207	333	組合資料	96-97			3993.3	196	3-4	1987	4433	
			銅片		K23	I	16	3.2		4		
			銅片		K23	I	87	7.0		4		
			銅片	96	K23		14	138.8		4		
			銅片	96	L24		114	4.2		3		
			銅片	96	L24		301	42.2		3		
			銅片		J24	I	56	5.2		4		
			銅片	96	L24		23	7.8		3		
			銅片		J24	I	251	5.9		4		
			銅片	96	J25		53	49.6		4		
			銅片		J25	I	8	29.0		3		
			銅片	96	K24		863	27.4		3		
			銅片	96	K24		1694	43.2		3		
			銅片	96	L24		102	4.7		3		
			銅片	96	L24		341	7.4		3		
			銅片	96	L24		201	277.2		3		
			銅片	96	L24		265	1.7		3		
			銅片	96	L24		514	6.9		3		
			銅片	96	M23		54	6.9		4		
			銅片	96	J25		4	96.1		4		
			銅片	96	L24		162	2.2		3		
			銅片	96	L24		385	145.9		3		
			銅片	96	L24		287	5.5		3		
			銅片	96	L24		296	21.9		3		
			銅片	96	L24		454	492.6		3		
			銅片	96	L24		455	4.9		3		
			銅片	96	N23		171	2.6		4		
			二次加工未名銅片	96	J25		90	15.4		4		
			銅片	96	J25		109	2.6		4		
			銅片		J25	I	7	39.2		4		
			銅片		J25	I	9	4.1		3		
			銅片	96	M23		21	152.1		4		

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	道跡番号	SS	変換区	種別	測点番号	東経	北緯	石積	方位%	長さ%
				96	M23		99	12.0	4			
				96	N23		105	25.1	3			
				96	N23		115	4.0	3			
			測点	96	K24		100	16.7	3			
				97	K24		1221	11.7	4			
					K24	I	21	11.3	3			
				96	L24		257	14.1	3			
				96	M23		23	24.4	4			
			測点	96	K24		187	3.7	4			
				96	M23		415	6.0	4			
			測点	96	K24		336	6.9	3			
				96	N22		202	9.1	3			
			測点	96	K24		359	1.8	4			
			測点	97	K24		472	7.0	4			
					K24	II	87	1.1	4			
				96	L24		297	3.0	3			
				96	L24		503	4.2	3			
			測点	96	K24		558	1.3	3			
			測点	96	K24		582	5.0	3			
			測点	96	K24		697	11.9	3			
				96	L24		27	21.6	4			
			測点	96	K24		878	8.4	3			
			測点	96	K24		1202	7.7	3			
				96	M23		149	12.8	4			
			測点	96	K24		1210	1.8	4			
			測点	97	K24		1335	21.8	3			
			測点	96	K24		1868	5.3	3			
			測点	96	K24		1917	14.6	4			
			測点		K24	I	95	1.7	4			
			測点		K24	I	96	3.9	4			
			測点		K24	I	98	4.7	4			
				96	N22		233	0.9	3			
			石見	96	L23		614	22.4	3			
				96	L24		12	19.0	3			
				96	M23		130	20.0	4			
				96	M23		320	7.7	4			
			測点	96	L23		636	6.7	4			
				96	L24		104	3.0	3			
					L24	I	6	6.7	4			
			測点	96	L23		1496	7.0	4			
				97	L24		136	6.7	3			
				96	L24		480	9.4	3			
					L24	I	19	227.8	4			
				96	M23		492	161.0	4			
				96	N23		132	28.8	3			
			測点		L23	I	2	6.8	4			
			測点	96	L24		31	5.6	3			
				96	L24		41	4.8	3			
				96	L24		389	7.1	3			
			測点	96	L24		65	0.8	3			
				96	L24		71	7.7	3			
			測点	96	L24		61	4.0	3			
				96	M23		438	5.0	4			
			石見	96	L24		68	3.2	3			
				96	L24		277	6.7	3			
				96	L24		428	5.8	3			
			測点	96	L24		106	19.7	3			
			測点	96	L24		109	2.3	3			
				96	L24		312	16.3	3			
				96	L24		339	2.4	3			
					L24	II	64	5.4	4			
					L24	II	65	0.9	4			
			測点	96	L24		110	5.0	3			
			測点	96	L24		122	5.8	3			
			測点	96	L24		142	4.5	3			

線別	区別	番号	道跡番号	SS	変換区	種別	測点番号	東経	北緯	石積	方位%	長さ%
				測点	96	L24	158	4.7	3			
					96	L24	201	2.2	3			
				測点	96	L24	171	4.2	3			
				測点	96	L24	175	6.7	3			
				測点	96	L24	188	2.3	3			
				測点	96	L24	197	11.5	3			
				測点	96	L24	223	2.8	3			
				測点	96	L24	228	25.6	3			
				測点	96	L24	253	16.4	3			
					96	L24	564	1.3	3			
					L24	I	5	13.5	4			
					96	M23	346	4.8	4			
				測点	96	L24	236	8.0	3			
				測点	96	L24	260	2.5	3			
				測点	96	L24	264	5.2	3			
				測点	96	L24	281	20.0	3			
					96	L24	316	21.9	3			
					96	M23	25	2.9	4			
					96	M23	313	1.3	4			
				石見	96	L24	283	9.0	3			
					L24	II	72	0.6	4			
				測点	96	L24	284	19.8	3			
				測点	96	L24	286	9.3	3			
					M23	I	2	5.8	4			
				測点	96	L24	311	1.8	3			
				測点	96	L24	329	2.6	3			
				測点	96	L24	343	31.4	3			
					96	L24	351	9.2	3			
					L24	I	29	2.0	4			
					L24	II	67	1.5	4			
					L24	II	68	1.5	4			
					96	M23	99	16.9	4			
					96	M23	280	2.3	4			
				測点	96	L24	349	11.3	3			
				測点	96	L24	441	15.5	3			
					96	L24	477	19.8	3			
				測点	96	L24	456	28.3	3			
				測点	96	L24	506	7.8	3			
					96	L24	529	4.9	3			
				測点	96	L24	544	14.2	3			
				測点	96	L24	550	7.1	3			
				測点	96	L24	571	38.4	3			
					L24	I	13	43.5	4			
				測点		L24	I	14	6.6	4		
				測点		L24	I	15	4.0	4		
					96	M23	243	7.6	4			
				測点		L24	I	17	3.8	4		
				測点		L24	I	20	64.1	4		
				測点		L24	I	21	15.2	4		
				測点		L24	I	24	6.5	4		
				測点		L24	I	33	5.5	4		
				測点		L24	I	34	3.1	4		
				測点		L24	II	69	0.7	4		
					96	M23	277	3.1	4			
					96	M23	412	7.0	4			
					96	N23	177	12.1	3			
				測点	96	M22	337	10.0	4			
				測点	96	M22	617	20.9	4			
				測点	96	M23	45	9.1	4			
				測点	96	M23	218	3.5	3			
				二次加工本心測点	96	M23	239	154.0	4			
				測点	96	M23	253	9.7	4			
				測点	96	M23	287	5.6	4			
				測点	96	M23	319	2.4	4			
				測点	96	M23	343	7.1	4			

探検	探検	番号	品名等	№	発掘区	種別	発掘番号	重量	容積(L)	石質	埋7%	埋5%
			鏡片	96	S22		304	13.9	4			
			鏡片	96	S22		372	1.7	4			
第29	113	9	矢羽鎌	96	S22		323	80.4	4			
			鏡片	96	S22		389	11.1	4			
					S22	I	6	3.0	4			
			鏡片	96	S22		21	2.7	3			
			鏡片	96	S22		25	2.4	3			
			鏡片	96	S22		10	6.7	3			
			鏡片	96	S22		15	6.7	3			
			鏡片	96	S22		21	6.3	3			
			鏡片	96	S22		23	3.2	3			
			鏡片	96	S22		30	4.1	3			
			鏡片	96	S22		127	36.9	3			
			鏡片	96	S22		145	11.1	3			
			鏡片	96	S22		188	2.8	3			
			鏡片	96	S22		40	31.3	3			
			鏡片	96	S22		237	18.6	3			
			鏡片	96	S22		40	13.9	3			
			鏡片	96	S22		100	28.1	3			
			鏡片	96	S22		61	9.5	3			
			鏡片	96	S22		215	1.6	3			
			鏡片	96	S22		135	2.6	3			
			鏡片	96	S22		174	6.7	3			
			鏡片	96	S22		184	11.3	3			
			鏡片	96	S22		236	31.7	3			
			鏡片	96	S22		141	13.7	3			
			鏡片	96	S22		259	1.6	3			
			鏡片	96	S22		104	13.0	3			
			鏡片	96	S22		210	6.4	3			
			鏡片	96	S22		228	12.8	3			
			鏡片	96	S22		242	17.3	3			
			鏡片	96	S22		36	13.2	3			
			鏡片	96	S22		80	6.6	4			
			鏡片	96	S22		101	3.6	3			
			鏡片	96	S22		138	13.9	3			
第26	207	338	総合資料	96-97			52.9	4	4	1987	4427	
			鏡片		I 20	I	2	15.2	4			
			彫像鏡片	96	S24		83	3.1	4			
第26	203	122	彫像	97	S24		104	33.1	4			
			彫像鏡片	S22	II	I	1	1.5	4			
第26	210	337	総合資料	96-97			98.6	20	2	786	3009	
			石片	95	J 28		20	19.5	2			
			鏡片	95	J 29		45	13.3	2			
			鏡片	95	L 28		47	11.6	2			
			鏡片	95	L 28		126	12.6	2			
			鏡片	95	J 28		33	28.3	2			
			石片	95	J 29		70	101.8	2			
			鏡片	95	J 29		95	27.4	2			
			鏡片	95	L 28		173	47.6	2			
			彫像鏡片	95	J 29		122	129.9	2			
			鏡片	95	J 28		123	18.5	2			
			鏡片	95	S 29		347	32.8	2			
第26	175	21	矢羽鎌	95	J 28		134	26.4	2			
			鏡片	95	L 27		1250	16.0	2			
			鏡片	95	L 27		1214	12.0	2			
			鏡片	95	J 28		137	26.2	2			
			鏡片	95	S 28	I	4	18.3	2			
			鏡片	93	S 30		82	67.2	2			
			石片	95	L 27		1093	39.1	2			
第26	194	205	石片	95	L 27		1137	30.2	2			
			鏡片	95	L 27		1183	43.0	2			
			鏡片	95	L 28		1029	24.8	2			
			鏡片	95	L 28		1158	19.0	2			
			鏡片	95	L 27		1207	3.5	2			
			鏡片	95	L 27		1215	97.1	2			
			石片	95	L 27		1213	7.7	2			
			鏡片	95	L 27		1224	15.9	2			
			鏡片	95	L 28		25	5.8	2			
			鏡片	95	L 27		1226	44.1	2			
			鏡片	95	L 27		1249	31.6	2			
第27	208	338	総合資料	93			961.6	164	3-4	876	3849	
			鏡片	93	S30		19	29.9	4			
			鏡片	93	S30		207	1.6	4			
			鏡片	93	S31	I	17	20.9	4			
			鏡片	93	S30		8	5.4	4			
			鏡片	93	S30		20	20.3	4			
			鏡片	93	S30		109	4.5	4			
			鏡片	93	O29	II	43	0.5	4			
			鏡片	93	S30		67	37.9	4			
			鏡片	93	S30		80	1.6	4			
			鏡片	93	S30		124	4.9	4			
			鏡片	93	O30	I	9	2.0	4			
			鏡片	93	S30		147	3.8	4			
			鏡片	93	S30		179	3.9	4			
			鏡片	93	O30		137	0.9	4			
			鏡片	93	O30		2131	1.5	4			
			鏡片	93	不明		不明	4.8	4			
			鏡片	93	S30		262	2.7	4			
			鏡片	93	S30		341	8.0	4			
			鏡片	93	S31		25	27.9	4			
			鏡片	93	S30		222	8.3	4			
			鏡片	93	S30	I	69	0.5	4			
			鏡片	93	S30		265	7.3	4			
			鏡片	93	O29	II	42	0.6	4			
			鏡片	93	O30	II	19	0.4	4			
			鏡片	93	S30		209	8.7	4			
			鏡片	93	S30		230	1.0	4			
			鏡片	93	S30		333	2.4	4			
			鏡片	93	S30		275	1.6	4			
			鏡片	93	S30		280	2.2	4			
			鏡片	93	S30		282	1.4	4			
			鏡片	93	S30		289	6.0	4			
			鏡片	93	S30	I	66	0.9	4			
			鏡片	93	O29		234	5.7	4			
			鏡片	93	S30		300	4.6	4			
			鏡片	93	S30		342	11.6	4			
			鏡片	93	S30		300	1.2	4			
			鏡片	93	O30	I	7	4.7	4			
			鏡片	93	S30		301	1.7	4			
			鏡片	93	S30		466	2.6	4			
			鏡片	93	S30		488	8.2	4			
			鏡片	93	O30		1421	1.2	4			
			鏡片	93	O30		1932	8.3	4			
			鏡片	93	S30		409	11.6	4			
			鏡片	93	S30	I	64	1.6	4			
			鏡片	93	S30	I	60	1.3	4			
			鏡片	93	S30	I	62	5.9	4			
			鏡片	93	S30	I	68	2.9	4			
			鏡片	93	S31		49	1.0	4			
			鏡片	93	O29		1164	4.2	4			
			鏡片	93	O29		2041	15.5	4			
			鏡片	93	S31	I	18	3.3	4			
			鏡片	93	O29		352	6.3	4			
			鏡片	93	O29		526	7.9	4			
			鏡片	93	P 28		6009	37.1	4			
			矢羽鎌鏡片	93	O29		658	9.9	4			
			矢羽鎌鏡片	93	O29	II	83	2.3	4			
			矢羽鎌鏡片	93	O29		925	13.8	4			
			矢羽鎌鏡片	93	O29		1017	5.1	4			
			矢羽鎌鏡片	93	O29		1105	2.5	4			

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	乗降者数	乗車	乗車回数	石炭	乗込%	乗出%
			調子	93	029		1371	5.7	4			
			調子	93	029		1398	2.2	4			
			調子	93	029		1425	1.6	4			
			矢野原駅	93	029		1780	1.7	4			
			調子	93	029	Σ	31	3.0	4			
			矢野原駅	93	029		1782	3.3	4			
			矢野原駅	93	029		1820	16.9	4			
			調子	93	029		1833	1.7	4			
			調子	93	029		1937	1.4	4			
			調子	93	029		1148	6.1	4			
			矢野原駅	93	029		1949	1.1	4			
			二水加工本々調子	93	029		1951	11.9	4			
			調子	93	029		2238	4.2	4			
			調子	93	029		2399	2.3	4			
			調子	93	029		6786	3.4	4			
			調子	93	029		8060	3.2	4			
			調子	93	029		8063	6.7	4			
			調子		029	Σ	27	0.3	4			
			調子		029	Σ	32	1.0	4			
			調子		029	Σ	39	0.9	4			
			調子	93	028		7648	11.1	4			
			調子	93	028	Σ	75	0.9	4			
			調子	93	029		754	6.9	4			
			調子		029	Σ	89	1.1	4			
			調子		029	Σ	41	0.8	4			
			調子	93	028		8096	3.6	4			
			調子		029	Σ	47	0.6	4			
			調子	93	029		30	0.7	4			
			調子	93	029		895	0.8	4			
			調子	93	030		149	3.1	4			
			調子	93	030		141	1.9	4			
			調子	93	030		498	23.6	4			
			調子	93	030		1437	2.4	4			
			調子	93	030		1850	8.1	4			
			調子	93	030		2027	1.5	4			
			調子		030	Σ	4	0.8	4			
			矢野原駅	93	028		389	5.2	4			
			調子	93	028		949	3.3	4			
			調子	93	028		5123	2.0	4			
			矢野原駅	93	028		1224	1.7	4			
■-248	188	202	機器	93	028		1336	8.2	4			
			調子	93	028		2562	1.7	4			
			調子	93	028		7632	3.0	4			
			調子	93	028		2621	1.8	4			
			調子	93	028		3045	2.6	4			
			調子	93	028		8886	6.3	4			
			調子	93	028		2623	3.2	4			
			調子	93	028		7621	3.4	4			
			調子	93	028		2736	5.7	4			
			調子	93	028		3140	1.3	4			
			調子	93	028		3901	2.3	4			
			調子	93	028		4341	6.2	4			
			調子	93	028		5239	6.1	4			
			調子	93	028		6528	3.8	4			
			調子	93	028		4862	2.9	4			
			調子	93	028		6638	6.8	4			
			調子	93	028		5642	2.6	4			
			調子	93	028		5662	2.4	4			
			調子	93	028		6313	7.3	3			
			調子	93	028		8983	5.6	4			
			調子	93	028	Σ	29	0.7	4			
			調子	93	028		5679	2.2	4			
			調子	93	028		7259	2.3	4			
			調子	93	028		6150	2.2	4			
			矢野原駅	93	028		6295	15.5	4			

線区	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	乗降者数	乗車	乗車回数	石炭	乗込%	乗出%
				93	029		525	26.3	4			
			矢野原駅	93	028		6505	8.9	4			
			調子	93	029		585	3.2	4			
			調子	93	028		6842	2.2	4			
			調子	93	028		7017	9.4	4			
			調子	93	028		7635	4.3	4			
			調子	93	028		7942	2.7	4			
			矢野原駅	93	028		7981	11.8	4			
			矢野原駅	93	028		7101	12.4	4			
			矢野原駅	93	028		7132	14.9	4			
			調子	93	028	Σ	7920	8.6	4			
			調子	93	029		8	1.1	4			
			調子	93	028		7228	9.0	4			
			調子	93	028		7481	1.6	4			
■-257	186	172	機器	93	028		7717	9.9	4			
			調子	93	028		7761	2.0	4			
			調子	93	028		7790	1.3	4			
			矢野原駅	93	028		2849	27.3	4			
			調子	93	028		8039	11.4	4			
			調子	93	028		8061	2.0	4			
			調子	93	028		8086	2.2	4			
			調子	028	Σ	30	0.6	4				
			調子	028	Σ	49	0.4	4				
			調子	028	Σ	59	1.3	4				
			調子	028	Σ	58	1.0	4				
			調子	028	Σ	95	0.6	4				
			調子	028	Σ	103	2.3	4				
			調子	028	Σ	112	1.1	4				
			調子	028	Σ	113	1.0	4				
			矢野原駅	93	029		915	22.1	4			
■-249	186	210	機器	93	029		1946	3.2	4			
			調子	93	029		1125	6.3	4			
■-259	182	67	矢野原駅	93	029		1090	10.1	4			
■-246	182	276	寺尾駅石炭	93	029		1158	9.0	4			
			調子	93	029		1562	1.8	4			
			調子	93	029		3219	1.8	4			
			調子	029	1	85	1.1	4				
			調子	029	Σ	3	1.2	4				
			調子	029	Σ	10	0.8	4				
			矢野原駅	029	Σ	14	0.5	4				
■-260	209	240	報告資料	93				26.0	45	4	862	3909
			調子	93	N300		39	7.0	4			
			調子	93	030		1908	2.5	4			
			調子	93	N300		203	0.7	4			
			調子	93	030		2175	2.2	4			
			調子	N300	1	41	5.9	4				
			調子	N300	1	42	7.8	4				
			調子	93	030		1653	18.5	4			
			調子	030	1	77	1.1	4				
			調子	N300	1	44	2.6	4				
			調子	029	Σ	111	1.6	4				
■-250	182	62	矢野原駅	93	N311		218	14.1	4			
			調子	93	030		99	4.0	4			
			調子	93	030		1263	9.7	4			
			調子	93	030		116	1.9	4			
			矢野原駅	93	030		196	6.2	4			
			調子	93	030		243	15.0	4			
■-230	182	61	矢野原駅	93	030		448	2.0	4			
			調子	93	030		642	21.8	4			
			調子	93	030		476	1.9	4			
			調子	93	030		1164	1.3	4			
			調子	93	030		1236	3.9	4			
■-229	181	55	矢野原駅	93	030		1451	44.6	4			
			調子	93	029		360	45.5	4			
			調子	93	030		1266	2.5	4			

国名	種別	番号	品名等	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	石量	付2%	付5%
			鏡片	95	030		1998	4.7				
			鏡片	95	030		2052	3.3				
			鏡片	95	030		2000	3.3				
			鏡片	95	030		1980	1.4				
			鏡片	95	030		2012	7.5				
			鏡片	95	030	I	72	2.4				
			鏡片	95	030	I	74	2.0				
			鏡片	95	031		18	7.7				
			鏡片	95	031		25	3.4				
			鏡片	95	031		34	11.4				
			鏡片	95	031		64	1.2				
			鏡片	95	031	I	6	3.4				
			鏡片	95	P28		099	4.7				
			鏡片	95	P29		47	3.9				
			鏡片	95	P29		229	11.0				
			鏡片	95	P29		230	11.0				
			鏡片	95	P30		73	4.7				
			鏡片	95	P30		12	8.4				
			鏡片	95	P30		26	10.7				
			鏡片	95	P30		37	6.8				
			鏡片	95	Q29		31	11.8				
■206	210	341	総合資料	95-95			225.6	22	4	849	3708	
■210	190	246	片状形石器	95	N29		304	4.1				
			矢頭器断片	95	N29		639	1.2				
■229	181	53	矢頭器	95	O27		175	29.0				
■234	182	64	矢頭器断片	95	O27		1149	1.9				
			鏡片	95	O28		967	1.2				
			鏡片	95	O28		1090	2.0				
■222	177	37	矢頭器	95	O27		1449	94.1				
			鏡片	95	O28		1024	65.7				
			鏡片	95	O28		943	2.5				
			鏡片	95	O28		1308	6.1				
			鏡片	95	O28	I	28	0.9				
			鏡片	95	O29		200	1.2				
			鏡片	95	O29	I	140	3.0				
			鏡片	95	O29	I	141	3.8				
			鏡片	95	O29	Ⅱ	126	1.3				
■226	182	70	矢頭器断片	95	P28		97	4.1				
			鏡片	95	P28		1091	4.1				
			鏡片	95	P28		2092	2.7				
			鏡片	95	P28		2171	1.3				
■232	182	68	矢頭器断片	95	P28		3521	3.4				
			鏡片	95	P28		1858	3.4				
			鏡片	95	P28		2829	6.5				
■232	211	342	総合資料	95-95			271.7	32	3-4	852	3738	
■236	182	66	矢頭器断片	95	L26		185	3.0				
			鏡片	95	M26		118	3.4				
■236	182	71	矢頭器断片	95	M26	Ⅱ	11	9.8				
			鏡片	95	N26		206	8.4				
■238	182	65	矢頭器断片	95	M27		27	9.9				
			鏡片	95	M27	I	5	1.2				
			鏡片	95	M27		139	5.1				
			鏡片	95	M27		291	11.7				
			鏡片	95	N26		133	1.3				
			鏡片	95	N26		226	2.8				
			鏡片	95	O25		182	6.0				
			鏡片	95	N26		210	2.3				
■229	181	52	矢頭器	95	N26		220	19.0				
			鏡片	95	N26		290	1.2				
■238	182	60	矢頭器断片	95	N26		203	1.9				
			鏡片	95	O25		179	8.1				
■238	181	54	矢頭器	95	N26		320	48.0				
			矢頭器	95	N26		326	6.5				
■236	182	72	矢頭器断片	95	N27		93	18.5				
■238	182	67	矢頭器断片	95	N27		100	2.2				

国名	種別	番号	品名等	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	付2%	付5%	
			矢頭器断片	95	N27		422	1.8				
			矢頭器断片	95	N27		749	1.2				
			矢頭器断片	95	N27		1613	3.8				
■220	182	69	矢頭器断片	95	N27		1981	2.2				
■230	182	63	矢頭器断片	95	N27		1740	7.8				
			鏡片	95	N28		145	21.2				
			矢頭器断片	95	N29	I	1	2.2				
			鏡片	95	N29	I	37	9.0				
■228	181	50	矢頭器	95	O25	Ⅱ	181	24.1				
			矢頭器断片	95	O25	Ⅱ	1	0.9				
			鏡片	95	O26		228	2.8				
■229	181	51	矢頭器	95	P28		1012	17.6				
■234	211	343	総合資料	95			361.3	43	4	807	3983	
■244	192	283	次室(土庫)鏡片	95	N29	I	2	7.1				
			鏡片	95	N31		17	15.1				
			鏡片	95	P28		7881	12.2				
			鏡片	95	P29	I	22	3.8				
			鏡片	95	O28		25	3.2				
			鏡片	95	O28		79	12.7				
			鏡片	95	O28		130	5.9				
			鏡片	95	O28		171	2.1				
			鏡片	95	O28		290	1.7				
■229	181	49	矢頭器	95	O28		352	11.9				
			鏡片	95	O28		563	8.0				
			鏡片	95	O29		1126	1.8				
■236	182	73	矢頭器断片	95	O28		840	5.5				
			鏡片	95	O28		952	3.0				
			鏡片	95	O28		986	3.4				
			鏡片	95	O28		1365	6.0				
			鏡片	95	O28		1387	6.1				
			鏡片	95	O28		1753	1.7				
			矢頭器	95	O28	I	31	18.8				
			鏡片	95	O28	I	33	2.2				
			鏡片	95	O29		733	10.3				
			鏡片	95	O29		481	4.1				
-	198	414	矢頭器	95	O29	I	124	21.2				
			鏡片	95	O29	I	163	15.2				
			矢頭器断片	95	O29	I	125	18.5				
			鏡片	95	O29	I	186	2.6				
			鏡片	95	O29	I	173	0.7				
			鏡片	95	O30		22	10.6				
			鏡片	95	P29		42	1.9				
			鏡片	95	Q29		9	10.8				
			鏡片	95	O30	I	84	54.8				
			鏡片	95	P28		1397	8.8				
			鏡片	95	P29		1361	5.2				
			鏡片	95	P29		203	1.4				
			鏡片	95	P29		604	33.4				
			鏡片	95	P29		1292	6.1				
			鏡片	95	Q26		203	16.1				
			鏡片	95	Q26		294	11.0				
			鏡片	95	P29	I	80	1.0				
			鏡片	95	Q29		268	3.1				
			鏡片	95	Q26		205	13.5				
■228	180	46	矢頭器	95	N26		1	102.2				
■236	212	345	総合資料	95			724.5	44	1-3-4	856	3817	
			鏡片	95	N28		102	1.0				
			鏡片	95	N29		401	1.3				
			鏡片	95	N29		552	1.7				
			鏡片	95	L26		1535	1.1				
			鏡片	95	L28		1796	11.6				
			鏡片	95	L27		993	8.7				
			鏡片	95	L28		987	10.5				
			鏡片	95	L27		995	10.8				

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	路線名	SS	変則区	種別	測点番号	重量	変位	石質	母材%	配合%			
第2区	180	47	矢張り線	95	L.28		1892	5.3	1						
				95	L.28	43	213.4	3							
				95	L.28	111	39.8	3							
				95	L.28	408	4.0	3							
				95	L.28	980	131.8	3							
				95	L.28	1536	5.1	3							
				95	L.28	1714	3.7	3							
				95	L.28	1392	3.9	3							
				95	M28	140	149.4	2							
				測り	95	L.28	457	6.5	4						
				測り	95	L.28	478	6.8	1						
				95	L.28	479	1.9	1							
				95	L.28	1572	2.2	1							
				測り	95	L.28	797	1.8	2						
				測り	95	L.28	988	1.3	3						
				測り	95	L.28	1085	2.4	3						
				95	L.28	1237	6.5	3							
				測り	95	L.28	1238	3.2	3						
				測り	95	L.28	1210	6.1	4						
				95	L.28	1623	2.6	4							
測り	95	L.28	1412	2.5	1										
測り	95	L.28	1421	19.8	2										
測り	95	L.28	1429	2.8	4										
測り	95	L.28	1432	5.9	3										
測り	95	L.28	1485	4.6	3										
95	L.28	1841	4.6	3											
測り	95	L.28	1549	2.7	2										
測り	95	L.28	1361	11.8	3										
測り	95	L.28	1560	5.9	2										
測り	95	L.28	1570	3.0	3										
測り	95	L.28	1668	7.5	2										
測り	95	L.28	1692	2.2	3										
測り	95	L.28	1396	2.8	3										
測り	95	L.28	1740	13.8	3										
測り	95	L.28	1810	2.8	2										
測り	95	L.28	1852	2.2	2										
第2区	212	248	総合資料	95			848.9	26	1	748	3206				
			測り	95	K29		71	8.7	1						
			95	M28		499	18.0	1							
			測り	95	K29		305	9.6	1						
			95	K29		534	1.7	1							
			測り		K29	1	33	7.0	1						
第2区	179	45	矢張り線	95	M28		3	226.9	1						
				95	M28	422	291.7	1							
				95	M28	831	138.9	1							
				測り	95	M28	176	11.4	1						
				95	M28	792	7.2	1							
				95	M28	387	9.2	1							
				測り	95	M28	441	4.5	1						
				95	M28	452	2.7	1							
				測り	95	M28	530	4.9	1						
				95	M28	568	5.2	1							
				測り	95	M28	716	2.7	1						
				測り	95	M28	788	11.6	1						
				測り	95	M28	794	19.6	1						
				測り	95	M28	823	3.6	1						
				測り	95	M28	845	2.3	1						
				測り	95	M28	852	2.5	1						
				測り	95	M29	129	2.1	1						
				95	M28	435	6.1	1							
				測り	95	M29	479	3.7	1						
				95	M28	513	3.2	1							

				95	L.27		527	2.5	1					
			測り	95	L.27		497	2.8	1					
			95	L.28		2	4.1	1						
			測り	95	L.27		491	3.6	1					
			測り	95	L.27		496	5.5	1					
			95	L.27		498	1.5	1						
			95	L.27		504	1.6	1						
			95	L.27		534	3.4	1						
			測り	95	L.27		493	6.0	2					
			測り	95	L.27		712	2.8	1					
			測り	95	L.27		796	2.5	1					
			測り	95	L.27		798	7.6	1					
			測り	95	L.27		830	0.9	1					
			測り	95	L.27		844	1.6	1					
			測り	95	L.27		878	4.8	1					
			測り	95	L.27		1030	1.9	1					
			測り	95	L.27		1051	4.1	1					
			測り		L.27	2	29	1.7	2					
			測り	95	L.28		74	3.1	1					
			測り	95	L.28		46	15.4	1					
			測り	95	L.28		121	2.0	1					
			95	L.28		140	3.1	1						
			測り	95	L.28		129	4.2	1					
			測り	95	L.28		162	7.4	1					
			95	L.28		374	1.3	1						
			測り	95	L.28		219	2.9	1					
			測り	95	L.28		226	4.3	1					
			測り	95	L.28		308	4.2	1					
第2区	178	31	矢張り線	95	L.28		370	83.4	1					
				95	L.28		854	19.6	1					
					M28	1	1	44.4	1					
				測り	95	L.28		443	2.9	1				
				測り	95	L.28		453	2.3	1				
				測り	95	L.28		455	6.1	1				
				測り	95	L.28		853	3.6	1				
				測り	95	L.28		859	2.5	1				
				測り	95	L.28		963	8.0	1				
				測り	95	L.28		977	8.8	1				
			95	L.28		1205	6.3	1						
				L.28	2	24	1.8	1						
			測り	95	L.28		1228	4.6	1					
第2区	175	30	矢張り線	95	L.28		1302	42.1	1					
				95	M28		2	43.1	1					
				測り	95	L.28		1414	14.1	1				
				測り	95	L.28		1595	2.8	1				
				測り	95	L.28		1788	2.8	1				
				測り	95	L.28		1897	3.3	1				
				測り	95	L.28		1934	1.7	1				
				測り		L.28	2	26	1.8	1				
				測り		L.28	2	41	1.4	1				
				測り		L.28	2	43	2.8	1				
測り	95	L.29		31	9.2	1								
測り	95	M27		1259	3.6	1								
測り	95	M27		1323	7.2	1								
測り	95	M27		1377	1.8	1								
測り	95	M27		1544	7.6	1								
測り	95	M27		1354	4.1	1								
測り		M27	2	9	4.5	1								
測り		M27	2	15	0.9	1								
測り	95	M28		594	4.6	1								
測り	95	M28		432	4.5	1								
第2区	214	249	総合資料	95			482.0	13	1	736	3236			
第2区	178	41	矢張り線	95	K30		105	121.6	1					
				95	L.27		1150	45.6	1					
				95	L.28		191	127.6	1					

種類	国産	番号	名称等	№	発願日	特許番号	発明	発明日誌	石炭	特許%	授与%
				95	S27	1130	35.4		1		
			鏡片	95	L28	300	16.9		1		
				95	L28	1111	13.5		1		
				95	S27	3026	9.6		1		
			鏡片	95	L28	934	7.2				
			鏡片	95	L28	3981	2.3		1		
			鏡片	95	L28	1494	18.1		1		
			鏡片	95	S27	1124	15.2		1		
一	214	500	総合資料	93		5460,9	185	4	822	4025	
			鏡片	93	F27	201	16.6		4		
				93	F27	138	1.9		4		
				93	F27	139	2.4		4		
				93	F27	300	39.0		4		
				93	F27	436	62.1		4		
				93	F28	2129	2.9		4		
				93	F28	7196	26.7		4		
				93	F28	2437	13.7		4		
				93	F28	180	2.8		4		
				93	Q27	608	11.0		4		
			鏡片	93	F28	469	4.4		4		
				93	F28	33	14.4		4		
				93	F28	935	1.1		4		
			鏡片	93	F28	99	3.9		4		
				93	F28	2849	9.0		4		
				93	F28	5492	1.4		4		
			鏡片	93	F28	361	7.6		4		
				93	F28	1729	2.3		4		
			鏡片	93	F28	168	16.4		4		
				93	F28	2616	1.4		4		
			鏡片	93	F27	714	23.6		4		
				93	F27	305	2.2		4		
				93	F28	527	7.9		4		
				93	F28	6629	3.9		4		
				93	F28	197	4.9		4		
				93	Q27	217	1.1		4		
			鏡片	93	F28	942	1.3		4		
				93	F28	1860	1.3		4		
				93	F28	885	2.9		4		
				93	F28	2736	3.1		4		
			鏡片	93	F28	1105	1.2		4		
				93	F27	126	8.7		4		
				93	F28	2263	7.6		4		
			鏡片	93	F28	18	7.2		4		
				93	F27	514	2.6		4		
				93	F28	1867	12.3		4		
				93	F28	4119	3.1		4		
				93	F28	3263	6.5		4		
			鏡片	93	F27	18	3.4		4		
				93	Q27	491	6.2		4		
				93	Q27	515	4.4		4		
			鏡片	93	F27	37	2.8		4		
				93	F27	230	6.8		4		
				93	F28	1365	1.2		4		
				93	F28	1794	1.1		4		
			鏡片	93	F27	42	1.3		4		
				93	Q27	692	16.7		4		
			鏡片	93	F27	115	6.5		4		
				93	F28	4270	54.2		4		
			鏡片	93	F27	161	4.4		4		
			鏡片	93	F27	162	4.1		4		
			鏡片	93	F27	214	1.6		4		
				93	Q27	529	12.2		4		
				93	Q27	571	1.9		4		
			鏡片	93	F27	217	4.1		4		
			鏡片	93	F27	219	36.8		4		
				93	Q27	451	1.4		4		
				93	Q27	710	3.4		4		
			鏡片	93	F27	226	4.6		4		
				93	F27	400	8.5		4		
				93	Q27	117	21.2		4		
			鏡片	93	F27	301	2.3		4		
				93	F26	136	2.2		4		
				93	F26	6900	9.6		4		
				93	F28	7368	4.1		4		
			鏡片	93	F27	304	2.2		4		
				93	Q27	302	42.2		4		
			鏡片	93	F27	312	1.2		4		
			鏡片	93	F27	315	7.5		4		
				93	F28	390	11.5		4		
				93	F28	4109	6.8		4		
				93	Q27	118	3.2		4		
				93	Q27	304	13.3		4		
			鏡片	93	F27	440	1.9		4		
			鏡片	93	F27	106	4.1		4		
			鏡片	93	F26	22	3.3		4		
				93	F28	465	5.2		4		
			鏡片	93	F26	31	18.2		4		
				93	F28	800	3.3		4		
				93	F28	853	1.5		4		
				93	Q27	676	1.8		4		
			鏡片	93	F26	36	2.2		4		
				93	F28	267	6.8		4		
				93	F28	1963	11.2		4		
				93	F26	2635	6.2		4		
				93	F28	2014	3.3		4		
				93	Q27	496	3.9		4		
			鏡片	93	F26	55	31.6		4		
				93	F28	1105	32.7		4		
			鏡片	93	F26	158	3.1		4		
				93	F28	2625	13.8		4		
			鏡片	93	F28	214	4.5		4		
			鏡片	93	F28	215	2.1		4		
				93	F26	6473	2.6		4		
				93	F29	1213	3.6		4		
			鏡片	93	F28	210	1.9		4		
				93	F26	839	7.1		4		
			鏡片	93	F26	239	5.7		4		
				93	F26	3261	3.7		4		
				93	F28	3984	5.0		4		
			鏡片	93	F26	314	2.7		4		
			鏡片	93	F26	325	1.4		4		
				93	F29	1506	14.3		4		
			鏡片	93	F26	363	2.5		4		
			鏡片	93	F28	476	2.1		4		
			鏡片	93	F28	479	2.5		4		
			鏡片	93	F26	491	3.2		4		
				93	F26	1782	7.8		4		
				93	F28	4700	1.4		4		
			鏡片	93	F26	724	4.3		4		
				93	F26	6124	1.5		4		
			鏡片	93	F26	778	35.2		4		
			鏡片	93	F26	790	1.1		4		
			鏡片	93	F26	798	31.3		4		
				93	F26	851	18.9		4		
				93	F28	1112	1.9		4		
			鏡片	93	F26	1577	51.9		4		
				93	F28	1697	3.8		4		
				93	F29	2438	26.6		4		
			鏡片	93	F26	930	3.2		4		
			鏡片	93	F26	1501	12.5		4		

上白滝8道跡(2)

線区	国区	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	経緯度	石質	母材%	配合%
				93	F-28		3274	4.4	4			
				93	F-28		3212	7.1	4			
			測片	93	F-28		1196	5.4	4			
			測片	93	F-28		1123	3.5	4			
			測片	93	F-28		1151	9.8	4			
			測片	93	F-28		1366	6.3	4			
				93	F-28		3283	8.4	4			
			測片	93	F-28		1394	3.6	4			
				93	F-28		1567	2.8	4			
				93	F-28		4113	25.2	4			
			測片	93	F-28		1514	15.7	4			
			測片	93	F-28		1591	23.9	4			
			測片	93	F-28		1724	2.2	4			
			縦横測片	93	F-28		1725	16.9	4			
				93	Q27		696	26.3	4			
			測片	93	F-28		1775	12.2	4			
				93	Q27		664	1.6	4			
			測片	93	F-28		1777	4.5	4			
				93	F-28		1593	5.5	4			
			測片	93	F-28		1779	3.2	4			
				93	F-28		3991	3.6	4			
				93	F-28		6829	5.6	4			
				93	Q27		633	14.7	4			
			測片	93	F-28		1801	6.4	4			
			測片	93	F-28		1803	22.3	4			
				93	F-28		2714	6.9	4			
				93	F-28		4969	7.4	4			
				93	F-28		7385	38.4	4			
				93	Q27		711	2.7	4			
			測片	93	F-28		2273	4.4	4			
				93	F-28		4638	12.1	4			
			測片	93	F-28		2330	6.3	4			
			測片	93	F-28		2362	3.9	4			
			測片	93	F-28		2395	6.7	4			
			測片	93	F-28		2493	11.6	4			
			測片	93	F-28		2629	2.6	4			
				93	F-28		3955	6.1	4			
			測片	93	F-28		3267	16.2	4			
			測片	93	F-28		3344	2.1	4			
				93	F-28		4961	4.9	4			
			測片	93	F-28		3235	3.6	4			
			測片	93	F-28		4222	5.7	4			
			測片	93	F-28		4313	2.9	4			
				93	Q27		289	117.1	4			
			測片	93	F-28		4666	6.9	4			
			測片	93	F-28		4656	2.8	4			
			測片	93	F-28		5736	3.9	4			
			測片	93	F-28		6137	5.6	4			
			測片	93	F-28		6295	2.9	4			
			測片	93	F-28		7123	12.9	4			
			測片	93	F-28		7440	4.3	4			
			測片	93	F-29		83	2.0	4			
			測片	93	F-29		728	4.9	4			
			測片	93	Q27		648	5.9	4			
			測片	93	Q27		656	3.7	4			
			測片	93	Q27		620	4.5	4			
			測片	93	Q27		671	3.2	4			
			測片	93	Q27		703	3.2	4			
			測片	93	Q27		705	2.7	4			
			測片	93	Q27		712	16.1	4			
			測片	93	Q27		708	2.8	4			
			測片	93	Q27		769	2.4	4			
			測片	93	Q27		770	20.1	4			
				93	Q27		825	5.8	4			
8-362	236	351	総合資料	88-93				1376.2	137	4	887	3683

線区	国区	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	経緯度	石質	母材%	配合%
			測片	93	F-29		291	2.8	4			
			縦横測片	93	F-29	I	21	16.1	4			
				93	F-28		4164	27.2	4			
				93	F-29		380	3.0	4			
			測片	93	N31		83	4.6	4			
			測片	93	O29		56	1.6	4			
				93	F-29		647	4.2	4			
			縦横測片	93	O29		451	4.9	4			
				93	O29		1693	13.9	4			
				93	F-28		7388	25.5	4			
			測片	93	O29		633	1.1	4			
			測片	93	O29		609	1.6	4			
				93	O29		1541	3.5	4			
			測片	93	O29		665	2.1	4			
			測片	93	O29		632	6.7	4			
				93	F-28		4338	8.6	4			
			測片	93	O29		910	4.9	4			
				93	O29		2005	1.7	4			
			測片	93	O29		1010	6.2	4			
				93	F-29		259	8.0	4			
			測片	93	O29		1614	3.1	4			
				93	O29		1715	10.0	4			
				93	F-28		7719	11.1	4			
			測片	93	O29		1195	11.7	4			
			測片	93	O29		1201	4.6	4			
			測片	93	O29		1251	1.6	4			
				93	O29		2432	8.3	4			
				F-28	Ⅱ		212	11.5	4			
				93	F-29		396	11.2	4			
			測片	93	O29		1300	10.7	4			
				93	F-28		2769	8.3	4			
				93	F-28		3342	13.5	4			
				93	F-28		7675	3.9	4			
			測片	93	O29		1410	13.9	4			
				93	F-28		2633	1.7	4			
				93	F-28		4426	2.5	4			
				93	F-28		4132	1.9	4			
				93	F-29		1069	12.4	4			
			測片	93	O29		1417	2.5	4			
			測片	93	O29		1513	2.2	4			
			測片	93	O29		1610	4.9	4			
			測片	93	O29		1627	11.7	4			
				93	F-28		7984	4.7	4			
			測片	93	O29	Ⅱ	1636	4.3	4			
				F-28		207	1.9	4				
				93	F-29		277	1.6	4			
			測片	93	O29		1696	3.5	4			
			測片	93	O29		1719	8.3	4			
			測片	93	O29		1784	2.4	4			
				93	F-28		4981	3.5	4			
			測片	93	O29		1613	4.9	4			
				93	F-28		5412	1.9	4			
				93	F-28		5623	8.6	4			
			測片	93	O29		1695	3.3	4			
				93	O29		1612	3.5	4			
				93	F-28		5288	21.5	4			
				93	F-28		6231	34.3	4			
			測片	93	O29		1809	1.7	4			
			測片	93	O29		1930	3.1	4			
			測片	93	O29		1934	2.1	4			
			測片	93	O29		1977	21.9	4			
				93	O29		2039	2.7	4			
			測片	93	O29		2013	2.4	4			
			測片	93	O29		2051	3.7	4			
			測片	93	O29		2214	5.3	4			

図号	図名	番号	品名等	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	検出%
			鏡片		O28	I	397	6.3	4			
			鏡片		P29		398	7.0	4			
			鏡片		O29	II	389	1.9	4			
			鏡片		O29	III	381	0.8	4			
			鏡片		O30		389	1.8	4			
			磨器		P28		325	2.2	4			
			鏡片		P28		358	3.6	4			
			鏡片		P28		3294	2.8	4			
			鏡片		P28		2392	26.2	4			
			鏡片		P28		2217	6.1	4			
			鏡片		P28		3024	6.0	4			
			鏡片		P28		4059	2.3	4			
			鏡片		P28		4484	4.0	4			
			鏡片		P28		4484	1.4	4			
			鏡片		P28		4382	2.7	4			
			鏡片		P28		3005	1.7	4			
			鏡片		P28		4631	16.1	4			
			鏡片		P28		558	22.1	4			
			鏡片		P28		4940	5.6	4			
			鏡片		P28		552	26.5	4			
			鏡片		P28		5203	3.4	4			
			鏡片		P28		5285	14.3	4			
			鏡片		P28		2980	17.8	4			
			鏡片		P28		5288	3.2	4			
			鏡片		P28		5492	4.5	4			
			鏡片		P28		4686	3.3	4			
			鏡片		P28		3915	3.4	4			
			鏡片		P28		4612	6.3	4			
			鏡片鏡片		P28		4626	6.2	4			
			鏡片		P28		1102	12.1	4			
			鏡片		P28		4234	6.7	4			
			鏡片		P28		7117	6.5	4			
			鏡片		P28		2947	26.1	4			
			鏡片		P28		830	7.2	4			
			鏡片		P28		846	26.1	4			
			鏡片		P28		1238	3.9	4			
			鏡片		P28		4543	16.8	4			
			鏡片		P28		4501	2.9	4			
			鏡片		P28		4612	5.1	4			
			鏡片		P28		4936	3.2	4			
			鏡片		P28		4989	11.8	4			
			鏡片		P28		2947	1.9	4			
			鏡片		P28		2961	4.4	4			
			鏡片		P28		2990	5.9	4			
			鏡片		P28		7128	16.4	4			
			鏡片		P28		3972	47.0	4			
			鏡片		P28		7128	6.8	4			
			鏡片		P28		1278	3.1	4			
			鏡片		P28		7215	13.4	4			
			鏡片		P28		4604	13.3	4			
			鏡片		P28		411	1.9	4			
			鏡片		P28		2234	3.4	4			
			鏡片		P28		2346	25.4	4			
			鏡片		P28		2668	2.6	4			
			鏡片		P28		2577	1.7	4			
			鏡片		P28		2639	5.3	4			
			鏡片		P28		1139	3.4	4			
			鏡片		P28		30	4.3	4			
			鏡片		P28		2660	0.9	4			
			鏡片		P28		2686	6.9	4			
			鏡片		P28		236	1.8	4			
			鏡片		P28		2756	3.6	4			
			鏡片		P28		2926	23.6	4			
			鏡片		P28		2910	4.2	4			
			鏡片		P28		2954	7.6	4			
			鏡片		P28		2973	2.2	4			
			鏡片		P28		5013	3.4	4			
			磨削石器		P28		8	0.8	4			
			鏡片		P28		208	1.7	4			
			鏡片		P28		209	3.0	4			
			鏡片		P28		210	2.1	4			
			鏡片		P28		211	2.2	4			
			磨器		P20		14	24.4	4			
			鏡片		P20		172	15.0	4			
			鏡片		P20		301	3.0	4			
			鏡片		P20		461	4.5	4			
			鏡片		P20		729	0.7	4			
			鏡片		P20		800	3.8	4			
			五稜磨		P20		903	43.7	4			
			鏡片		P20		924	2.8	4			
			鏡片		P20		1025	2.2	4			
			鏡片		P20		1054	5.3	4			
			鏡片		P20		1062	5.8	4			
			鏡片		P20		1091	1.1	4			
			鏡片		P20		1163	6.3	4			
			鏡片		P20		1184	1.9	4			
			鏡片		P20		1187	16.2	4			
			鏡片		P20		1224	4.8	4			
			鏡片		P20		1246	1.9	4			
			磨器		Q27		57	5.4	4			
			鏡片		Q28		200	23.9	4			
			磨削石器		S31		4	34.7	4			
			磨合磨器				308.5	69	4	307	404	
			鏡片		O29		253	1.0	4			
			鏡片		O29		302	3.1	4			
			鏡片		P28		3200	2.9	4			
			鏡片		Q27		338	26.6	4			
			鏡片		O29		774	2.0	4			
			鏡片		P28		823	6.6	4			
			鏡片		O29		845	16.3	4			
			鏡片		P28		1602	1.4	4			
			鏡片		P28		1831	3.7	4			
			鏡片		Q27		229	1.1	4			
			鏡片		Q27		429	1.7	4			
			鏡片		O29		900	3.1	4			
			鏡片		O29	I	356	2.4	4			
			鏡片		P27		13	2.5	4			
			鏡片		P27		24	2.5	4			
			鏡片		P27		120	4.8	4			
			鏡片		P28		462	3.1	4			
			鏡片		Q27		382	1.5	4			
			鏡片		P27		122	32.9	4			
			鏡片		P28		462	4.4	4			
			鏡片		P27		120	6.4	4			
			鏡片		P27		133	4.1	4			
			鏡片		P28		600	6.9	4			
			鏡片		P28		1506	9.2	4			
			鏡片		P27		223	90.2	4			
			鏡片		P27		122	28.6	4			
			鏡片		P28		1255	2.3	4			
			鏡片		Q27		112	1.9	4			
			磨器		P28		20	28.0	4			
			鏡片		P28		55	22.7	4			
			鏡片		Q27		300	1.0	4			
			鏡片		P28		58	22.1	4			
			鏡片		P28		106	84.2	4			
			鏡片		P28		120	6.8	4			
			鏡片		P28		245	3.6	4			
			鏡片		P28		2143	1.2	4			
			鏡片		P20	I	62	0.7	4			

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	路線名	SS	変換区	種別	道幅(歩)	車道	車道幅	石畳	歩道幅	歩道幅
				93	Q27		138	5.8	4			
			側溝	93	F28		394	2.9	4			
				93	F28		1137	2.9	4			
			側溝	93	F28		731	25.1	4			
			側溝	93	F28		821	2.3	4			
			側溝	93	F28		835	6.3	4			
				93	F28		1774	33.1	4			
				93	F28		6925	3.7	4			
			側溝	93	F28		830	2.5	4			
				93	Q27		394	2.2	4			
			側溝	93	F28		1066	1.5	4			
			側溝	93	F28		1149	3.8	4			
				93	Q28	1	8	12.9	4			
				93	Q28	1	9	10.8	4			
			側溝	93	F28		1801	7.5	4			
				93	Q27		115	6.2	4			
			側溝	93	F28		2824	8.9	4			
			側溝	93	F28		2825	1.7	4			
			側溝	93	F28		321	2.9	4			
			側溝	93	Q27		82	2.4	4			
			側溝	93	Q27		86	31.3	4			
			左側溝	93	Q27		206	31.3	4			
			側溝	93	Q27		231	2.8	4			
			側溝	93	Q27		294	31.7	4			
			側溝	93	Q27		311	8.5	4			
			側溝	93	Q27		400	1.4	4			
				93	Q27		433	8.5	4			
			側溝	93	Q27		430	2.2	4			
			側溝	93	Q27		557	31.2	4			
			側溝	93	Q27		385	9.9	4			
			側溝	93	Q27		633	43.4	4			
			側溝	93	Q27	1	10	2.7	4			
東(河)	28	354	総合資料	93-97			3096.3	111	2	289	3013	
			側溝	93	L22		3206	13.9	2			
				93	M27		621	5.9	2			
				93	O28		190	161.2	2			
			側溝	93	M27		141	6.9	2			
				93	M28		18	2.5	2			
				93	N26		624	12.1	2			
			側溝	93	M27		169	32.8	2			
				93	N26		688	44.2	2			
			側溝	93	M27		214	8.9	2			
				93	M27		508	12.1	2			
				93	N26		581	16.6	2			
			側溝	93	M27		218	141.3	2			
				93	M27	1	13	2.2	2			
				93	N27		858	13.7	2			
			側溝	93	M27		379	17.5	2			
				93	M27		859	151.4	2			
			側溝	93	M27		434	19.6	2			
				93	N27		84	8.8	2			
				93	N27		229	29.9	2			
				93	O27		779	64.5	2			
			側溝	93	M27		470	43.5	2			
				93	M28		681	15.8	2			
				93	N26		649	15.7	2			
				93	O27		1134	19.8	2			
			側溝	93	M27		620	430.3	2			
			側溝	93	M27		632	16.8	2			
				93	M27		748	33.6	2			
			側溝	93	M27		740	12.7	2			
				93	N26		654	4.7	2			
				93	N27		1689	1.6	2			
			側溝	93	M27		861	2.8	2			
				93	M28		314	1.5	2			

線別	区別	番号	路線名	SS	変換区	種別	道幅(歩)	車道	車道幅	石畳	歩道幅	歩道幅
				93	M28		562	19.9	2			
				93	側溝		154	11.2	2			
				93	側溝		180	3.1	2			
			側溝	93	M27		1254	78.1	2			
				93	N26		620	7.3	2			
				93	N27		1445	24.2	2			
			側溝	93	M27		1478	85.2	2			
			側溝	93	M28	1	13	15.0	2			
				93	N27		1512	6.0	2			
				93	O27		1237	24.6	2			
			側溝	93	M29	1	18	5.9	2			
			側溝	93	M32	1	26	8.6	2			
				93	側溝		139	6.4	2			
			側溝	93	N26		633	63.3	2			
				93	N26		625	218.9	2			
			側溝	93	N26		633	85.9	2			
				93	N26		642	3.7	2			
			側溝	93	N26		646	72.0	2			
			側溝	93	N27		23	7.0	2			
			側溝	93	N27		37	7.5	2			
				93	O27		619	6.8	2			
				93	O27		3980	34.9	2			
			側溝	93	N27		33	16.2	2			
			側溝	93	N27		79	10.4	2			
				93	O27		883	33.7	2			
			側溝	93	N27		308	17.9	2			
			側溝	93	N27		348	15.8	2			
				93	N27		732	12.7	2			
			側溝	93	N27		303	8.1	2			
				93	N27		697	35.2	2			
			側溝	93	N27		357	2.9	2			
			側溝	93	N27		665	36.3	2			
			側溝	93	N27		746	54.9	2			
				93	O26		598	11.7	2			
			側溝	93	N27		1234	3.7	2			
				93	O28		314	28.9	2			
				93	O27		441	13.4	2			
				93	O27		1965	43.8	2			
			側溝	93	N27		1419	12.7	2			
			側溝	93	N28		42	233.5	2			
				93	O27		931	5.4	2			
				93	O27		1644	33.8	2			
			側溝	93	N28		119	5.8	2			
				93	O27		548	9.9	2			
			側溝	93	N28		122	3.3	2			
			側溝	93	N28		157	2.8	2			
				93	O27		531	12.4	2			
			側溝	93	N28		223	20.9	2			
			側溝	93	N28		264	17.6	2			
			側溝	93	N28		319	12.0	2			
				93	O27		627	8.3	2			
			側溝	93	N28		450	33.0	2			
			側溝	93	O26		171	24.9	2			
				93	O26		528	9.0	2			
			側溝	93	O28		174	2.9	2			
			側溝	93	O26		180	10.3	2			
			側溝	93	O26		243	17.2	2			
			側溝	93	O26		496	36.6	2			
				93	O27		36	78.1	2			
				93	O27		618	11.4	2			
			側溝	93	O27		113	18.6	2			
			側溝	93	O27		257	40.5	2			
			側溝	93	O27		279	9.7	2			
			側溝	93	O27		416	9.6	2			
			側溝	93	O27		432	31.2	2			

探検	探検	番号	品名	No.	発掘区	種別	発掘番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	検出%
				95	O27		898	14.2		2		
			銅片	95	O27		876	12.1		2		
				95	O27		791	4.2		2		
			銅片	95	O27		733	4.9		2		
			銅片	95	O27		789	7.5		2		
			銅片	95	O27		1347	6.4		2		
				95	O27		1548	8.9		2		
					非調		345	5.1		2		
			銅片	95	O27		1452	11.6		2		
			銅片		非調		351	18.4		2		
					非調		352	5.5		2		
					非調		343	6.9		2		
					非調		394	10.5		2		
			銅片		非調		179	41.1		2		
B-309	217	316	複合資料	90-92			1625.1	80	1	717	3252	
			銅片		E33	1	80	86.2				
			銅片		L33	1	26	6.8		1		
			銅片	90	M32		124	41.7		1		
				92	M32		160	24.9		1		
			銅片	92	M32		138	39.2		1		
				92	M32		576	5.5		1		
			銅片	92	M32		152	7.5		1		
			銅片	92	M32		227	65.1		1		
				92	M33		218	3.9		1		
					M33	1	10	1.5		1		
			銅片	92	M32		236	24.4		1		
			銅片	92	M32		234	2.5		1		
				92	M32		344	12.3		1		
					M32		390	28.6		1		
			銅片	92	M32		348	5.6		1		
				92	M32		307	32.0		1		
			銅片	92	M32		348	9.9		1		
				92	M32		92	5.9		1		
				92	M32		474	10.3		1		
				92	M32		888	14.7		1		
			銅片	92	M32		286	16.0		1		
				92	M33		261	14.4		1		
				92	M32		1068	10.0		1		
			銅片	92	M32		422	8.6		1		
				92	M32		283	27.7		1		
				92	M32		646	7.6		1		
				92	M32		889	8.8		1		
			銅片	92	M32		435	20.9		1		
			銅片調片	92	M32		487	22.3		1		
			銅片	92	M32		503	40.8		1		
				92	M32		898	7.5		1		
			銅片	92	M32		507	7.4		1		
				92	M32		894	27.0		1		
			銅片	92	M32		531	62.8		1		
				92	M32		391	13.1		1		
				92	M32		895	81.2		1		
			銅片調片	92	M32		541	25.8		1		
			銅片	92	M32		789	194.5		1		
				92	M32		1063	25.3		1		
			銅片	92	M32		934	9.6		1		
				92	M32		497	12.4		1		
				92	M32		726	14.6		1		
			銅片	92	M32		1065	4.6		1		
			銅片	92	M32	1	27	22.7		1		
				92	M32		617	41.7		1		
			銅片		M32	1	28	56.8		1		
				92	M32		675	3.5		1		
					M32	1	28	1.6		1		
			銅片		M32	1	31	63.4		1		
			銅片		M32	1	32	27.5		1		
			銅片		M32	1	20	5.2		1		
			銅片		M32	1	37	26.5		1		
			銅片	92	M32		123	3.8		1		
				92	M32		677	4.2		1		
				92	M32		773	2.9		1		
			銅片	92	M32		347	7.7		1		
				92	M32		643	7.4		1		
				92	M32		671	7.2		1		
			銅片	92	M32		356	23.6		1		
			銅片	92	M32		423	8.4		1		
				92	M32		430	62.8		1		
				92	M32		491	28.2		1		
				92	M32		729	13.9		1		
			銅片	92	M32		494	7.2		1		
				92	M32		1033	4.6		1		
			銅片	92	M32		602	6.8		1		
				92	M32		608	2.9		1		
			銅片	92	M32		522	19.3		1		
			銅片	92	M32		490	11.4		1		
				92	M32		907	68.2		1		
			銅片	92	M32		676	7.4		1		
				92	M32		861	27.1		1		
				92	M32		1041	14.1		1		
			銅片	92	M32		497	5.6		1		
					M32	1	37	3.0		1		
			銅片	92	M32		854	3.0		1		
			銅片	92	M32		659	33.8		1		
				92	M32		919	28.1		1		
			銅片	92	M32		1049	26.8		1		
B-310	229	336	複合資料	90-92			1185.1	85	1	716	3252	
			銅片	90	L31		414	152.6				
			銅片	92	M32		275	4.4		1		
				92	M32		323	19.7		1		
			銅片	92	M32		319	11.5		1		
					M32	1	40	22.5		1		
B-320	182	38	玉環類	92	M32		551	84.6		1		
			銅片	92	M32		688	12.9		1		
				92	M32		209	2.4		1		
				92	M32		827	24.9		1		
				92	M32		1035	4.7		1		
			銅片	92	M32		852	2.2		1		
				92	M31		473	4.3		1		
				92	M32		74	2.2		1		
			銅片	92	M32		1967	6.1		1		
				92	M32	1	45	2.6		1		
			銅片		M32	1	2	4.8		1		
				92	M32		297	12.9		1		
			銅片		M32	1	3	4.9		1		
				92	M32		315	11.6		1		
			銅片		M32	1	38	20.9		1		
				92	M32	1	39	8.2		1		
			銅片		M32	1	41	8.2		1		
				92	M32	1	42	9.7		1		
			銅片		M32	1	43	16.5		1		
				92	M32	1	44	9.7		1		
			銅片		M32	1	45	3.2		1		
				92	M31		103	3.1		1		
					M31	1	35	27.8		1		
			銅片		M32	1	48	6.2		1		
				92	M32		72	22.9		1		
				92	M33		443	5.9		1		
			銅片		M31		94	2.7		1		
			銅片	92	M31		119	4.9		1		
			銅片	92	M31		118	35.0		1		

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	東経	北緯	石積	母点%	積点%
				92	N31		351	2.2	1			
			測行	92	N31		120	1.5	1			
				92	N32		134	7.1	1			
				92	N32		229	12.3	1			
			測行	92	N31		128	2.1	1			
				92	N32		443	11.3	1			
				92	N32		632	4.0	1			
				92	N32		1000	6.6	1			
				92	N32	I	42	9.1	1			
				92	N32	I	47	6.3	1			
			測行	92	N31		138	36.3	1			
			測行	92	N31		361	9.6	1			
				92	N32	I	48	5.2	1			
			測行	92	N31		522	7.1	1			
				92	N31	I	37	12.8	1			
			測行	92	N31		523	4.4	1			
				92	N31		538	5.8	1			
			測行	92	N31	I	26	7.9	1			
			測行	92	N32		35	7.9	1			
			測行	92	N32		39	8.7	1			
				92	N32		705	23.4	1			
				92	N32	I	44	3.7	1			
			測行	92	N32		63	6.3	1			
			測行	92	N32		54	1.5	1			
				92	N32	I	40	6.6	1			
B-28	102	08	先頭部	92	N32		64	39.3	1			
			測行	92	N32		69	23.5	1			
				92	N32		129	1.4	1			
				92	N32		566	10.2	1			
				92	N32		897	5.4	1			
			測行	92	N32		126	25.7	1			
			測行	92	N32		130	31.9	1			
			測行	92	N32		220	3.4	1			
			測行	92	N32		290	1.4	1			
				92	N32		321	20.1	1			
			測行	92	N32		316	14.1	1			
				92	N32		402	35.5	1			
			測行	92	N32		309	32.3	1			
				92	N32		422	1.6	1			
			測行	92	N32		439	7.8	1			
			測行	92	N32		523	32.7	1			
			測行	92	N32		606	1.6	1			
			測行	92	N32		624	1.9	1			
			測行	92	N32		654	2.7	1			
			測行	92	N32		696	5.1	1			
				92	N32		707	9.5	1			
			測行	92	N32		761	37.4	1			
				92	N32		795	10.3	1			
			測行	92	N32		826	13.0	1			
			測行	92	N32		902	20.5	1			
			測行	92	N32	I	43	7.5	1			
B-311	221	332	総合資料	95			1072.8	40	5-4	800	3743	
			測行	95	L27		519	6.1	3			
			測行	95	L27		839	9.5	4			
			測行	95	L27		853	5.6	3			
			測行	95	L27		875	6.3	4			
			測行	95	L27		931	27.2	4			
			測行	95	L27		932	6.4	3			
				95	M27		1216	26.8	3			
				95	O27		478	1.4	4			
			縦長測行	95	L27		1140	6.1	4			
				95	M27	I	1	12.3	4			
			測行	95	L27		1145	61.1	4			
				95	M27		357	19.3	4			
				95	N27		1099	5.9	3			

				95	O27		369	7.4	4			
			測行	95	L28		19	8.6	3			
				95	L28		172	3.1	3			
				95	M27		1066	13.0	4			
			測行	95	L28		362	12.6	3			
			測行	95	L28		386	30.1	4			
			測行	95	L28		518	22.5	3			
				95	L28		1649	4.8	3			
				95	N26		313	4.8	4			
				95	P28		218	1.1	4			
			測行	95	L28		794	18.0	3			
			測行	95	L28		796	82.8	3			
			測行	95	L28		1573	3.4	3			
			測行	95	L28		1775	6.9	3			
			測行	95	L28		1866	4.7	3			
			測行	95	L28		1895	8.7	3			
				L28	Ⅱ		13	0.4	4			
				95	M28		125	3.5	4			
			縦長測行	95	L28		1934	11.2	3			
			測行	95	L28	Ⅱ	9	0.9	4			
				95	M27		1136	15.6	4			
			測行	95	M27		236	14.7	4			
				95	M27		602	35.3	3			
				95	M27		1539	4.4	3			
			測行	95	M27		640	17.6	4			
			測行	95	M27		680	37.0	3			
				95	N26		584	25.6	4			
			測行	95	M27		1190	21.1	3			
			測行	95	M27		1407	6.6	4			
			測行	95	M27		1529	18.1	3			
			測行	95	M27		1329	18.3	3			
			測行	95	M27		1541	11.6	3			
			測行	95	M27		1696	6.6	3			
				95	N26		11	24.8	3			
			測行	95	M28		374	15.1	4			
				95	N26		288	9.4	4			
				95	N26		385	18.2	4			
			測行	95	M29		130	12.9	4			
			測行	95	M29		340	406.4	3			
			測行	95	M29		381	20.5	4			
			測行	95	N26		136	10.2	3			
			縦長測行	95	N26		176	4.4	4			
				95	N26		224	3.8	4			
			縦長測行	95	N26		223	13.9	4			
			測行	95	N26		308	13.5	4			
				95	N26		303	3.3	4			
			測行	95	N26		338	7.5	4			
				95	N26		375	86.7	4			
				95	N27		707	10.4	3			
			測行	95	N26		568	25.3	4			
			測行	95	N26		606	6.8	4			
			測行	95	N27		279	1.9	4			
				95	N28		171	15.9	3			
				95	O26		682	28.7	4			
			測行	95	N28		257	18.7	3			
				95	N28		258	1.7	4			
			測行	95	O26		118	36.5	4			
				95	O26		465	4.0	4			
				95	O26		684	1.6	4			
				95	O27		440	119.3	4			
			測行	95	O26		202	141.2	4			
				95	O26		580	7.9	4			
				95	O27		272	25.1	4			
			測行	95	O26		342	1.5	4			
			測行	95	O26		458	5.9	4			

種別	国名	番号	品名等	№	発掘区	種目	発掘番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	検出%	検出%
							027	1	3	17.2			
			鏡片	95	026		494	3.9	4				
				95	027		616	6.1	4				
			鏡片	95	026		531	53.5	4				
				95	026		386	6.4	4				
			鏡片	95	026		534	1.7	4				
			鏡片	95	026		538	11.8	4				
				95	027		1382	5.9	4				
			鏡片	95	026		426	3.8	4				
			鏡片	95	026		640	46.6	4				
			鏡片	95	026		65	7.1	4				
非311	221	338	組合資料	95			271.5	12	1	137	3337		
非321	175	28	実銅器	95	M27		609	122.9	1				
				95	M27		3649	96.6	1				
			鏡片	95	N27		1777	4.1	1				
				95	N28		521	2.5	1				
			鏡片	95	N28		438	2.9	1				
				95	N29		285	3.9	1				
			鏡片	95	N29		439	4.3	1				
			鏡片	95	N29		964	4.4	1				
				95	026		3945	1.2	1				
			鏡片	95	027		26	13.2	1				
			鏡片	95	026		3842	4.3	1				
			鏡片	95	026		3847	11.2	1				
一	222	301	組合資料	95-96-97			4760.1	238	1	123	3238		
			石刃	97	126		16	13.6	1				
				96	124		440	42.2	1				
				96	M23		519	1.8	1				
			鏡片	96	123		20	46.6	1				
			鏡片	96	124		38	19.4	1				
			鏡片	96	124		42	6.9	1				
				96	124		90	21.4	1				
				96	124		165	9.6	1				
				96	124		487	16.1	1				
非310	193	291	石刃	96	124		49	1.7	1				
				96	124		96	49.6	1				
				96	124		185	3.9	1				
				124	1		32	24.8	1				
				96	M23		141	3.2	1				
				96	M23		328	23.4	1				
			鏡片	96	124		80	2.6	1				
			鏡片	96	124		105	1.8	1				
				124	1		57	24.5	1				
			鏡片	96	124		307	12.7	1				
			鏡片	96	124		338	6.7	1				
				96	124		326	14.5	1				
				124	1		62	3.9	1				
			鏡片	96	124		115	7.5	1				
				124	1		33	19.1	1				
			鏡片	96	124		366	22.0	1				
			鏡片	96	124		191	17.7	1				
				96	M23		392	5.9	1				
			鏡片	96	124		196	3.7	1				
			鏡片	96	124		199	10.9	1				
			鏡片	96	124		200	11.8	1				
			鏡片	96	124		206	21.1	1				
				96	124		341	10.5	1				
				96	124		353	4.1	1				
			鏡片	96	124		282	4.4	1				
			鏡片	96	124		308	6.9	1				
			鏡片	96	124		330	12.0	1				
			鏡片	96	124		303	14.1	1				
			鏡片	96	124		446	26.1	1				
			鏡片鏡片	96	124		430	31.2	1				
				96	M23		341	15.4	1				
				96	M23		401	15.9	1				
				96	M23		413	23.6	1				
			鏡片	96	124		461	16.1	1				
			鏡片	96	124		541	2.9	1				
				96	M23		365	18.7	1				
			鏡片	96	124		43	19.7	1				
			鏡片	96	124		1	54	16.0	1			
			石刃	96	124		1	50	54.1	1			
				96	M23		329	38.1	1				
				96	M23		403	48.1	1				
			鏡片	96	124		1	36	3.8	1			
			鏡片	96	124		1	60	5.8	1			
			鏡片	96	124		1	30	1.6	1			
				96	M23		398	9.0	1				
			鏡片	95	L27		530	6.9	1				
				95	L27		717	4.3	1				
				95	M27		296	4.6	1				
			石刃	95	L27		542	6.8	1				
				95	M27		732	27.6	1				
				95	M27		233	6.8	1				
			鏡片	95	L27		545	2.0	1				
				95	L27		715	16.2	1				
				95	M27		1039	28.5	1				
			鏡片	95	L27		898	22.1	1				
				95	L28		123	30.1	1				
				95	M27		932	17.4	1				
			鏡片	95	L27		966	122.4	1				
				95	M27		1138	9.7	1				
			鏡片	95	L27		1142	3.7	1				
				95	N26		568	12.4	1				
			鏡片	95	L28		7	46.9	1				
			鏡片	95	L28		18	2.7	1				
				95	M27		1191	6.9	1				
				95	M27		1374	18.8	1				
			鏡片鏡片	95	L28		1177	17.0	1				
				95	M27		94	36.9	1				
				95	M27		330	137.0	1				
				95	N26		462	44.9	1				
				95	N26		466	3.5	1				
			石刃	95	L28		1498	18.2	1				
				95	M27		850	37.5	1				
			鏡片	95	L28		1593	5.2	1				
				95	N26		547	6.8	1				
			鏡片	95	L28		1	28	9.8	1			
				95	M27		105	9.7	1				
				95	N26		665	5.6	1				
			鏡片	95	L29		417	12.3	1				
				95	M27		613	9.9	1				
				95	M28		296	7.8	1				
			鏡片	96	M23		58	6.9	1				
				96	M23		304	11.2	1				
			鏡片	96	M23		171	1.4	1				
			鏡片	96	M23		194	1.5	1				
				96	M23		211	2.9	1				
			鏡片	96	M23		219	66.3	1				
			鏡片	96	M23		265	27.5	1				
			鏡片	96	M23		300	4.0	1				
			鏡片	95	M26		247	21.1	1				
			鏡片鏡片	95	M26		367	15.5	1				
				95	N26		414	3.7	1				
				95	N26		416	5.2	1				
				95	N26		436	43.4	1				

上白滝8道跡(2)

線区	種別	番号	路線名	SS	変換区	種別	乗務員番号	車番	乗込区	石炭	煤打%	煤合%
				95	M27		1082	5.2	1			
				95	N26		483	16.0	1			
			調行	95	M26		491	3.5	1			
			調行	95	M27		232	10.9	1			
				95	M27		480	7.0	1			
				95	M27	Ⅱ	19	2.9	1			
			調行	95	M27		241	7.5	1			
				95	M27		434	2.4	1			
			調行	95	M27		308	46.7	1			
				95	M27		1156	146.7	1			
			調行	95	M27		488	22.6	1			
				95	N26		470	92.4	1			
			石炭	95	M27		373	54.4	1			
				95	N27		794	44.8	1			
			調行	95	M27		586	12.4	1			
			調行	95	M27		614	131.1	1			
			調行	95	M27		662	21.7	1			
				95	M27		672	10.2	1			
				95	N26		389	3.6	1			
			調行	95	M27		676	4.0	1			
			調行	95	M27		710	36.5	1			
			調行	95	M27		712	20.6	1			
			調行	95	M27		716	22.8	1			
				95	M27		892	8.8	1			
			調行	95	M27		719	1.6	1			
			石炭	95	M27		727	47.9	1			
			調行	95	M27		794	2.3	1			
				95	M27		883	4.0	1			
				95	M27		1301	3.0	1			
				95	M27		1330	12.1	1			
			石炭	95	M27		869	5.2	1			
				95	M27		1382	3.6	1			
			調行	95	M27		875	8.3	1			
			調行	95	M27		890	12.7	1			
			機関調行	95	M27		913	43.4	1			
				95	N26		430	52.1	1			
			調行	95	M27		921	2.5	1			
				95	M26		116	24.9	1			
				95	N27		869	4.6	1			
			調行	95	M27		1030	3.3	1			
				95	M27		1282	2.7	1			
				95	N26		424	2.8	1			
			調行	95	M27		1088	141.0	1			
			調行	95	M27		1184	2.9	1			
			調行	95	M27		1282	2.9	1			
			調行	95	M27		1228	2.7	1			
			調行	95	M27		1282	10.4	1			
			調行	95	M27		1386	13.5	1			
			調行	95	M27		1305	12.1	1			
			調行	95	M27		1326	17.3	1			
			調行	95	M27		1377	9.3	1			
			調行	95	M27		1381	7.7	1			
				95	N26		492	2.3	1			
				95	N26		582	7.0	1			
			調行	95	M27		1095	15.1	1			
			調行		M27	I	16	27.4	1			
					M27	I	17	3.4	1			
				95	N26		653	11.0	1			
			調行		M27	Ⅱ	18	0.9	1			
			調行	95	M26		647	6.9	1			
			調行	95	M26		664	3.2	1			
				95	O26		610	9.3	1			
				95	O27		1080	50.8	1			
			調行	95	M26		675	11.8	1			
			調行	95	N27		185	6.8	1			

線区	種別	番号	路線名	SS	変換区	種別	乗務員番号	車番	乗込区	石炭	煤打%	煤合%
				95	N23		180	6.2	1			
			調行	95	N26		123	12.2	1			
				95	N26		300	2.1	1			
				95	N26		351	52.8	1			
			調行	95	N26		327	7.8	1			
				95	N26		328	4.9	1			
				95	N26		567	11.7	1			
			調行	95	N26		284	9.1	1			
			調行	95	N26		408	235.2	1			
			調行	95	N26		423	14.5	1			
				95	N26		449	7.6	1			
			調行	95	N26		443	2.7	1			
				95	N26		999	13.0	1			
			調行	95	N26		430	2.0	1			
				95	N27		132	8.7	1			
				95	N27		138	18.2	1			
				95	N27		1287	3.8	1			
				95	O26		157	2.6	1			
			調行	95	N26		463	3.0	1			
				95	N26		577	24.3	1			
			調行	95	N26		567	30.7	1			
			調行	95	N26		498	2.6	1			
				95	N26		543	1.8	1			
			調行	95	N26		488	5.4	1			
			調行	95	N26		512	12.0	1			
			調行	95	N26		531	45.4	1			
				95	N26		529	48.2	1			
			調行	95	N26		533	3.0	1			
			調行	95	N26		535	19.1	1			
			調行	95	N26		536	10.1	1			
			調行	95	N26		546	4.3	1			
			調行	95	N26		566	14.5	1			
			調行	95	N26		580	2.3	1			
			調行	95	N27		83	4.3	1			
				95	O26		406	3.2	1			
				95	O27		1447	40.1	1			
				95	O27		1448	8.4	1			
			調行	95	N27		83	4.2	1			
				95	N27		194	31.8	1			
				95	N26		151	35.5	1			
			調行	95	N27		1322	6.9	1			
			調行	95	N26		262	13.6	1			
				95	N26		270	17.4	1			
				95	O27		1318	3.4	1			
			調行	95	O26		182	4.2	1			
			調行	95	O26		361	17.8	1			
				95	N26		133	9.6	1			
			調行	95	O26		377	20.6	1			
			調行	95	O26		622	16.9	1			
				95	O26		678	6.7	1			
			調行	95	O26		636	42.4	1			
			調行	95	O27		1024	17.5	1			
				95	O27		1343	26.4	1			
			調行	95	O27		1028	46.3	1			
			調行	95	O27	I	19	7.0	1			
				95	N26		176	1.8	1			
第12区	225	363	組合資料	95-95-95			1817.3	107	1	728	3267	
			石炭	95	J28		2	30.5	1			
				95	J28		17	15.5	1			
				95	J28		20	8.0	1			
				95	J29		25	4.9	1			
				95	K28	I	3	51.1	1			
				95	K29		82	24.5	1			
				95	L28		1159	11.2	1			
			調行	95	J28		3	48.2	1			

上白滝8道跡(2)

線区	区画	番号	路線等	SS	変換区	種別	道幅(歩)	重量	道幅(石)	石質	母岩%	積石%
				93	F28		3699	5.3	1			
			測行	93	F28		3296	2.7	1			
				93	F28		3349	16.3	1			
				93	Q27		1006	5.2	1			
			測行	93	F28		2609	41.7	1			
				93	F28		5919	4.9	1			
				93	F28		6311	36.3	1			
			測行	93	F28		4333	3.5	1			
				93	F28		4717	61.7	1			
			測行	93	F28		4335	14.2	1			
				93	F28		4361	16.5	1			
				93	F28		5267	10.8	1			
				93	F28		7190	17.9	1			
				93	Q28		389	26.1	1			
			測行	93	F28		4375	22.4	1			
				93	F28		4825	3.1	1			
				93	F28		5264	4.8	1			
				93	F28		5603	14.2	1			
				93	F28		6568	27.4	1			
				93	F28		6255	8.8	1			
				93	F28		6713	5.9	1			
				93	F28		6999	8.3	1			
				93	F28		7041	10.4	1			
				93	F28		7441	47.4	1			
				93	F28		7836	4.0	1			
			測行	93	F28		4697	3.3	1			
				93	F28		4398	13.1	1			
				93	F28		6603	8.1	1			
				93	F28		6790	15.9	1			
			測行	93	F28		4901	22.2	1			
			縦長測行	93	F28		4914	2.1	1			
				93	F28		6903	13.4	1			
				93	F28		7367	2.1	1			
				93	Q27		391	12.6	1			
			測行	93	F28		5280	2.7	1			
			縦長測行	93	F28		5274	10.8	1			
				93	F28		6719	8.9	1			
				93	F28		7198	10.5	1			
				93	Q27		1610	5.0	1			
			縦長測行	93	F28		6111	20.3	1			
				93	F28		7021	10.9	1			
				93	F28		7170	5.5	1			
				93	F29		1244	2.9	1			
				93	Q27		834	8.3	1			
			測行	93	F28		6255	2.3	1			
				93	F28		7071	5.4	1			
			測行	93	F28		6757	67.9	1			
				93	F28		7736	46.6	1			
				93	Q28		568	2.3	1			
			測行	93	F28		7220	30.9	1			
			測行	93	F28		7520	23.1	1			
				93	Q27		967	8.6	1			
			測行	93	F28		7503	5.0	1			
			縦長測行	93	F28		7742	21.7	1			
				93	F28		7811	12.2	1			
			測行	93	Q27		864	6.8	1			
				93	Q27		907	4.4	1			
			測行	93	Q27		996	13.1	1			
区画	228	364	総合資料	93			742.9	98	2	288	3144	
			測行	93	M30		197	11.9	2			
				93	N29		275	8.9	2			
			縦長測行	93	N29		251	19.7	2			
				93	N29		428	4.7	2			
				93	F28		6994	16.9	2			
			縦長測行	93	N29		562	5.4	2			

線区	区画	番号	路線等	SS	変換区	種別	道幅(歩)	重量	道幅(石)	石質	母岩%	積石%
				93	F28		5291	11.8	2			
				93	F28		7569	12.6	2			
区画	125	29	矢野原	93	N29		1094	43.6	2			
				93	F28		6680	26.8	2			
			測行	93	O26		2075	43.5	2			
				93	F28		6096	5.6	2			
			測行	93	O29		804	4.0	2			
				93	F28		1821	2.4	2			
				93	F28		1827	5.3	2			
				93	Q27		897	4.5	2			
				93	Q27		901	4.4	2			
			測行	93	O29		1147	2.7	2			
			縦長測行	93	O29		1343	20.7	2			
				93	F28		6195	18.2	2			
				93	Q27		929	14.7	2			
			測行	93	O29		1512	5.3	2			
				93	F28		7632	17.0	2			
			測行	93	O29		1592	5.6	2			
			測行	93	O29		1389	4.6	2			
				93	Q27		842	12.5	2			
			測行	93	O29		2117	11.7	2			
			縦長測行	93	F28		396	4.0	2			
				93	F28		3221	13.2	2			
				93	F28		4308	7.5	2			
			二次加工済み測行	93	F28		1281	36.2	2			
				93	F28		4638	7.2	2			
				93	F28		7121	3.8	2			
			測行	93	F28		2427	7.6	2			
				93	Q28		300	10.0	2			
			石段	93	F28		3359	3.2	2			
				93	F28		6950	26.6	2			
			測行	93	F28		4722	2.3	2			
				93	F28		6972	3.4	2			
			測行	93	F28		4813	3.0	2			
			測行	93	F28		4914	13.0	2			
			石段	93	F28		4911	10.5	2			
				93	F28		7031	4.6	2			
				93	F28		7148	4.9	2			
			測行	93	F28		5280	36.9	2			
				93	F28		2860	18.4	2			
				93	Q27		990	77.0	2			
			測行	93	F28		5635	29.6	2			
				93	F28		6643	3.6	2			
			縦長測行	93	F28		4097	1.2	2			
			縦長測行	93	F28		4598	3.2	2			
			測行	93	F28		6025	13.8	2			
			縦長測行	93	F28		6905	5.1	2			
				93	F28		2914	2.2	2			
			測行	93	F28		7585	4.0	2			
			縦長測行	93	F28		7524	1.3	2			
			測行	93	F28		7890	5.5	2			
			二次加工済み測行	93	Q27		849	11.8	2			
区画	228	365	総合資料	93/96			8636.9	113	1	232	3258	
			測行	96	J25		92	22.3	1			
				96	K25		196	9.3	1			
			測行	96	J26		7	54.3	1			
				96	K25		18	34.2	1			
				96	L24		368	296.9	1			
			測行	96	J26		8	28.3	1			
				96	J26		1	53.3	1			
				96	K25		98	7.3	1			
				96	L26		90	118.8	1			
			測行	96	J26		10	38.6	1			
			測行	96	J26		12	13.4	1			
				96	K26		144	8.3	1			

図録	図版	番号	品類等	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	長さ	石質	埋没%	保存%
				95	L25		11	45.5		1		
				95	L25		43	6.9		1		
				95	L25		90	307.1		1		
				95	L25		119	40.3		1		
				95	L25	1	4	234.7		1		
			鏡片	95	J26		14	103.3		1		
				95	L25		118	37.8		1		
			鏡片	95	J26		15	6.5		1		
				95	K25		40	28.2		1		
				95	L25		9	25.9		1		
				95	L25		10	30.4		1		
				95	L25		12	4.4		1		
				95	L25		79	2.7		1		
			鏡片	95	J26		16	23.4		1		
				95	L25		108	2.7		1		
				95	L25		116	74.7		1		
			鏡片	95	J26		17	11.8		1		
				95	K25		151	26.2		1		
			鏡片	95	J26		20	10.3		1		
				95	K25		183	25.5		1		
			鏡片	95	J26		21	3.7		1		
			鏡片	95	J26		29	10.0		1		
				95	L25		131	30.0		1		
			鏡片	95	J26		31	130.4		1		
				95	J26		35	6.0		1		
				95	L25		40	322.4		1		
				95	L25		152	16.1		1		
			鏡片	95	J26		33	0.5		1		
			次加工ある鏡片		J27	1	1	105.8		1		
			鏡片		J27	1	3	4.5		1		
				95	K25		75	5.2		1		
			鏡片	95	K25		25	25.7		1		
			鏡片	95	K25		71	2.1		1		
				95	K26		83	72.5		1		
				95	K26		149	3.2		1		
				95	K26	1	3	47.5		1		
				95	L25		1	8.9		1		
				95	L25		22	64.0		1		
				95	L25		96	60.0		1		
				95	L25		97	93.7		1		
				95	L25		145	2.1		1		
			鏡片鏡片	95	K25		74	90.9		1		
				95	L25		74	12.6		1		
				95	P25		290	56.8		1		
			石片	95	K25		76	12.6		1		
				95	L24		476	20.2		1		
				95	L25		45	7.8		1		
			鏡片	95	K25		106	63.6		1		
			鏡片	95	K25		110	47.7		1		
				95	L25		16	274.2		1		
				95	L25		17	46.9		1		
				95	L25		137	470.1		1		
			鏡片	95	K25		132	20.8		1		
			鏡片	95	K25		154	8.3		1		
				95	K25		164	7.1		1		
				95	L25		35	1.3		1		
				95	L25		76	4.6		1		
			鏡片	95	K25		193	10.0		1		
			鏡片	95	K26		29	2.5		1		
				95	L25		35	41.8		1		
			鏡片鏡片	95	K26		32	35.6		1		
				95	L25		33	133.1		1		
				95	L25	1	7	12.5		1		
			鏡片鏡片	95	L25		2	9.5		1		
				95	K26		97	2.8		1		
			鏡片	95	L25		5	2.2		1		
			鏡片	95	L25		7	5.9		1		
			石片	95	L25		15	2.4		1		
			鏡片	95	L25		19	27.4		1		
				95	L25		20	26.3		1		
			鏡片	95	L25		33	15.3		1		
			鏡片	95	L25		44	14.5		1		
			石片	95	L25		47	3.9		1		
				95	O27		101	12.8		1		
				95	O27		400	12.0		1		
			鏡片	95	L25		67	108.6		1		
				95	L25		93	7.7		1		
				95	L25		103	24.5		1		
				95	L25	1	7	41.0		1		
			鏡片	95	L25		83	5.8		1		
			鏡片	95	L25		87	12.7		1		
			鏡片	95	L25		94	54.9		1		
			鏡片	95	L25		115	8.1		1		
			鏡片	95	L25		127	79.8		1		
			鏡片	95	L25		131	16.3		1		
			鏡片	95	L25		129	30.0		1		
			鏡片	95	L25		135	109.2		1		
			鏡片	95	M26		267	7.9		1		
				95	O26		45	2.5		1		
				95	O26		294	3.1		1		
			鏡片	95	N26		34	4.0		1		
			鏡片	95	N27		209	20.3		1		
			鏡片	95	N28		53	25.0		1		
				95	N29	1	56	43.3		1		
			鏡片	95	N28		327	3.6		1		
				95	P25		181	4.7		1		
				95	P25		600	86.4		1		
			鏡片	95	N29		340	67.3		1		
			鏡片	95	O24		3	3.3		1		
			鏡片	95	O26		63	23.1		1		
			鏡片	95	O26		337	3.5		1		
			石片	95	P25		62	12.7		1		
			鏡片鏡片	95	J26	1	11	31.5		5		
				95	J26	30	54.0		5			
			石片	95	J26	22	7.9		5			
				95	L25	132	35.1		5			
			石片	95	J26	32	2.4		5			
			石片	95	J26	37	25.5		5			
				95	L25	21	11.8		5			
				95	L25	31	42.9		5			
			鏡片	95	K26	1	2	1.1		5		
				95	K26	37	0.7		5			
			鏡片	95	J26	1	3	0.7		5		
			鏡片鏡片	95	J26	1	4	2.6		5		
			鏡片	95	J27	1	2	11.2		5		
			鏡片	95	K25	29	1.4		5			
				95	K25	119	60.8		5			
			鏡片	95	K25	33	1.5		5			
			鏡片	95	K25	35	5.9		5			
			鏡片	95	K25	80	11.0		5			
				95	L25	46	2.9		5			
				95	L25	1	8	14.1		5		
			鏡片	95	K25	130	1.4		5			
			鏡片	95	K25	165	1.3		5			
			鏡片	95	K25	186	8.3		5			
			鏡片	95	K25	192	3.0		5			
				95	K25	194	4.7		5			
			鏡片	95	K26	23	1.8		1			
			鏡片	95	K26	27	8.2		5			
				95	N29	169	20.7		5			

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	乗降者数	乗車	乗込比率	石炭	付与%	乗込%	
			石炭	95	K26		55	4.1	3				
			観光	95	K26		54	4.6	3				
			観光	95	K26		55	2.9	3				
			観光	95	K26		81	3.0	3				
			観光	95	K26		148	3.8	3				
			観光	95	K25		130	10.6	3				
E-109	193	294	石炭	95	L25		3	196.5	3				
					L25	I	1	146.0	3				
					E23-29		28	460.8	3				
			観光	95	L25		8	3.3	3				
					脚上	137	2.8	3					
			観光調剤	95	L25		18	26.9	3				
					E	11	0.9	3					
			観光	95	L25		42	1.7	3				
E-210	196	314	石炭積	95	L25		136	1549.3	3				
				95	L25		199	372.3	3				
				95	L25		194	4.2	3				
			観光		L25	I	9	5.1	3				
					L25	E	10	1.2	3				
					M25	E	3	1.2	3				
			観光調剤	95	M27		192	10.7	3				
					O28		553	3.7	3				
					P24		19	2.3	1				
					P24		33	19.8	1				
					P24		37	17.7	1				
					Q24		37	49.6	3				
					Q24		28	20.8	3				
					Q24		54	25.8	3				
					Q25	I	14	5.5	3				
			観光	95	N25		16	4.9	3				
E-211	188	82	ナイフ形石炭	95	N28		47	4.6	3				
				95	O27		419	3.4	3				
				95	O24		1	24.7	3				
E-214	188	93	ナイフ形石炭	95	O25		235	4.9	3				
					P25	I	13	15.1	3				
				95	P26		91	5.3	1				
					Q24		49	4.1	1				
					Q24		50	2.3	1				
			観光	95	P29		942	4.9	3				
E-216	209	3	石炭	95	P45		8	43.4	3				
E-219	229	370	総合資料	95-95			408.9	40	1-9	934	4063		
			石炭		J25	I	10	10.6	3				
					M29		190	2.1	1				
					P23	I	1	13.2	3				
					P25		433	8.2	1				
			二次加工も観光	95	P26		297	8.2	1				
					P25		395	3.8	1				
E-249	193	282	石炭	95	N27		124	3.8	1				
				95	N28		52	16.7	1				
				95	N27		1203	22.0	3				
			二次加工も観光	95	N28		105	20.9	1				
E-251	186	86	ナイフ形石炭	95	N27		1717	5.1	1				
			石炭	95	N28		41	2.8	1				
E-252	184	91	ナイフ形石炭	95	N29		544	31.7	1				
					二次加工も観光	95	O28		199	8.4	1		
				95	O28		1396	2.0	1				
			観光	95	P25		398	6.6	1				
			石炭		P25	I	12	1.5	3				
					R25		36	2.8	1				
					R25	E	4	0.6	3				
			石炭	95	P27		189	2.7	1				
			石炭	95	P27		261	10.7	3				
			観光	95	P27		423	2.1	1				
			石炭	95	P28		29	5.7	1				
			石炭	95	P28		414	19.8	1				

線区	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	乗降者数	乗車	乗込比率	石炭	付与%	乗込%	
			石炭	95	P28		4972	32.6	1				
					Q24		10	0.8	1				
			観光調剤	95	Q24		11	8.3	1				
					Q25	I	12	7.9	3				
					R25		29	29.4	1				
			観光	95	Q26		123	3.7	1				
					Q26		124	2.1	1				
					R25		24	1.2	1				
			石炭	95	Q26		125	1.2	1				
			観光	95	Q26		130	2.0	1				
					Q26		146	1.0	1				
			観光	95	Q26		148	5.5	1				
					Q26		151	1.2	1				
			石炭	95	Q26		156	32.2	3				
					Q26	E	1	0.7	1				
			観光調剤		Q26	E	2	0.3	1				
					Q26	E	3	0.2	1				
			石炭	95	Q27		267	8.2	1				
					R25		8	9.3	1				
			石炭	95	R25		17	15.6	1				
			観光	95	R25		30	1.1	1				
					R25	E	3	0.5	3				
			石炭	95	R25		31	3.7	1				
			観光	95	R25		37	1.4	1				
					R26		157	2.7	3				
E-253	230	371	総合資料	95				1313.2	38	1	736	3339	
				95	K27		162	4.1	1				
				95	K28		95	3.4	1				
			観光	95	K29		1	2.9	1				
					L28	I	18	22.2	1				
					L28	I	40	14.4	1				
			観光	95	K29		7	4.1	1				
					K29		280	0.7	1				
					K29		350	1.8	1				
			石炭	95	K29		112	0.6	1				
					L29		268	20.1	1				
			観光調剤	95	K29		348	3.9	1				
					K29		481	1.3	1				
			観光	95	K29		467	4.0	1				
					K29		512	2.9	1				
					K29		525	2.6	1				
			観光調剤	95	K29		498	5.5	1				
					K29	I	18	4.3	1				
			観光調剤	95	L27		269	13.3	1				
					L27		778	1.8	1				
					L28		342	1.9	1				
			石炭	95	L27		979	6.1	1				
					M28		748	12.8	1				
			観光	95	L27		936	2.3	1				
E-241	189	220	脚跡	95	L28		10	80.9	1				
				95	L28		23	6.9	1				
				95	M27		1213	25.3	1				
			観光	95	L28		161	3.1	1				
					L28		660	6.0	1				
					L28		1055	5.6	1				
					M27		1543	4.7	1				
			観光	95	L28		379	19.8	1				
					L28		429	4.1	1				
			観光	95	L28		514	2.8	1				
					L28		550	5.4	1				
					L28		1637	9.5	1				
			石炭	95	L28		993	10.0	1				
					L28		749	12.7	1				
					L29		295	4.4	1				
			石炭	95	L28		677	1.3	1				

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変換区	石質	母材%	配合%
				93	F-28		4489	4.9	1			
				93	F-28		7097	38.0	1			
				93	F-28		7961	122.5	1			
			測片	93	F-28		492	3.4	1			
				93	F-28		2941	84.7	1			
				93	F-28		4196	45.0	1			
				93	F-28		4411	2.3	1			
				93	F-28		5437	121.5	1			
				93	F-28		6233	95.2	1			
				93	F-28		7256	6.1	1			
				93	F-28		7783	22.5	1			
				93	F-28		7969	7.7	1			
				93	F-28		7871	7.3	1			
				93	F-28	E	238	1.4	1			
			測片	93	F-28		1988	206.1	1			
				93	F-28		4816	182.7	1			
				93	F-28		7643	3.0	1			
			測片	93	F-28		2252	23.2	1			
			測片	93	F-28		3938	90.8	1			
				93	F-28		5383	8.1	1			
				93	F-28		6175	8.9	1			
				93	F-28		6405	3.6	1			
				93	F-28		7821	108.8	1			
			測片	93	F-28		5386	31.1	1			
			測片	93	F-28		5744	5.1	1			
			測片	93	F-28		5809	5.4	1			
			測片	93	F-28		7837	13.2	1			
第-288	188	214	調整	93	F-29		603	6.1	1			
			測片	93	F-29		606	7.3	1			
				93	F-29	I	88	11.2	1			
				93	Q-29		65	30.6	1			
			石質	93	F-30	E	6	71.7	1			
B-288	189	218	調整	93	Q-28		335	18.8	1			
B-282	195	339	G-28	93	Q-29	I	141.4	1				
			測片	93	Q-29		8	85.0	1			
			測片	93	Q-29		24	52.8	1			
			測片	93	Q-29		27	45.2	1			
			測片	93	Q-29		33	1.1	1			
			測片	93	Q-29		81	41.8	1			
			測片	93	Q-29		66	60.5	1			
B-334	233	374	総合資料	93			922.2	98	4	908	3064	
			測片	93	F-28		9	34.2	4			
				93	F-28	I	21	5.4	4			
				93	F-28		3099	47.0	4			
				93	F-28		6336	5.0	4			
				93	F-28		6996	3.7	4			
				93	F-28		7331	9.7	4			
				93	F-28		7414	12.0	4			
				93	F-28		8022	99.1	4			
				93	F-29		830	5.4	4			
				93	F-29		1296	4.0	4			
			測片	93	Q-29		432	3.1	4			
				93	F-28		8030	22.7	4			
				93	F-29		697	3.2	4			
				93	F-29	I	27	39.4	4			
				93	F-29	E	28	4.7	4			
			測片	93	Q-28		818	2.9	4			
			測片	93	Q-28		519	4.9	4			
			測片	93	Q-29		1701	6.0	4			
				93	F-29		369	13.7	4			
				93	F-29		695	6.3	4			
第-288	192	275	有機質石質	93	Q-28		1776	22.7	4			
				93	F-28		5639	42.8	4			
			測片	93	Q-29		1980	11.5	4			
				93	F-28		2996	1.0	4			

			測片	93	F-28		1329	1	42	19.8	4	
				93	F-28		4297	7.3	4			
				93	F-28		3339	12.4	4			
			測片	93	F-28		1359	21.1	4			
				93	F-28		2007	54.3	4			
				93	F-29		1138	22.2	4			
			測片	93	F-28		2208	11.4	4			
				93	F-28		2542	17.7	4			
			測片	93	F-28		2908	39.6	4			
				93	F-28		4489	2.8	4			
			測片	93	F-28		2957	18.1	4			
				93	F-28		3323	14.3	4			
				93	F-28		3468	32.8	4			
			測片	93	F-28		4964	4.3	4			
			測片	93	F-28		3361	15.8	4			
				93	F-28		7333	14.7	4			
			測片	93	F-28		5690	3.5	4			
				93	F-28		5633	12.4	4			
				93	F-28		8051	5.2	4			
				不明			478	13.8	4			
			測片	93	F-28		3820	49.5	4			
			測片	93	F-28		6229	3.9	4			
				93	F-28		6335	25.1	4			
			測片	93	F-28		6344	3.0	4			
			測片	93	F-28		6371	3.4	4			
			G-28	93	F-28		6280	14.9	4			
				93	F-29		3111	4.1	4			
			測片	93	F-28		6802	19.1	4			
				93	F-28		6821	11.4	4			
				93	F-28		3060	8.8	4			
				93	F-29		1143	4.5	4			
			二次加工土と測片	93	F-28		7342	85.5	4			
			測片	93	F-28		7100	13.3	4			
				93	F-28		8035	12.4	4			
				93	F-29		373	30.9	4			
				93	F-29		1258	3.7	4			
			測片	93	F-28		7303	9.4	4			
				93	F-29		628	24.1	4			
			測片	93	F-28		7519	12.8	4			
			測片	93	F-28		7796	2.2	4			
			測片	93	F-28		7830	12.3	4			
				93	F-29		8802	28.7	4			
			G-28	93	F-28		7835	4.6	4			
				93	F-29		1284	9.1	4			
			職員測片	93	F-28		7987	10.2	4			
			職員測片	93	F-28		8029	2.6	4			
				93	F-29		965	2.0	4			
				93	F-29		1175	1.8	4			
			測片	93	F-29		62	96.6	4			
			G-28	93	F-29		117	3.0	4			
				93	F-29		1135	4.8	4			
			測片	93	F-29		204	5.4	4			
			測片	93	F-29		287	2.1	4			
				93	F-29		290	13.1	4			
				93	F-29		291	360.7	4			
				93	F-29		323	20.5	4			
			測片	93	F-29		306	20.7	4			
			測片	93	F-29		312	11.6	4			
			測片	93	F-29		316	2.6	4			
			測片	93	F-29		323	14.3	4			
				93	F-29		413	3.9	4			
			G-28	93	F-29		440	8.7	4			
			測片	93	F-29		493	3.2	4			
			測片	93	F-29		496	2.3	4			
			測片	93	F-29		524	10.0	4			

探検	探検	番号	発掘層	No.	発掘日	種別	遺物番号	重量	容積(L)	石量	埋7%	埋5%
			溝	95	F28		586	6.3				
			溝	95	F29		606	7.1				
			溝	95	F29		839	30.4				
			溝	95	F29		857	32.0				
			溝	95	F29		933	7.0				
普-244	191	203	片状形石器	95	F29		972	19.5				
			溝	95	F29		994	5.4				
			溝	95	F29		3508	10.7				
			溝	95	F29		1300	28.8				
			溝	95	F29	I	38	15.3				
普-250	224	275	統合資料	95			417.3	39		922	902	
普-250	193	287	石	95	O29		529	10.4				
			溝	95	F28		4647	7.7				
			石	95	F28		221	11.7				
			溝	95	F28		4439	18.7				
			石	95	F28		284	2.6				
			溝	95	F28		2851	6.6				
			溝	95	F28		2383	8.4				
			縦溝	95	F28		711	16.1				
			溝	95	F28		4251	6.0				
			石	95	F28		3529	10.2				
			溝	95	F28		3508	15.3				
			縦溝	95	F28		3949	7.3				
			溝	95	F28		3332	5.4				
			溝	95	F28	II	117	1.6				
			縦溝	95	F28		1886	10.6				
			石	95	F28		1254	1.7				
			溝	95	F28		2717	4.7				
			溝	95	F28		4268	7.5				
			溝	95	F28	III	124	0.7				
			石	95	F28		1414	12.8				
			溝	95	F28		6420	6.4				
			溝	95	F28	II	126	1.5				
			石	95	F28		1000	6.0				
			溝	95	F28		2241	14.1				
			溝	95	F28		4342	1.5				
			二次加工木心削片	95	F28		3950	5.6				
			石	95	F28		3958	5.1				
			石	95	F28		2297	10.5				
			溝	95	F28		2825	10.5				
			溝	95	F28		4827	14.2				
			石	95	F28		2712	7.3				
			溝	95	F28		6235	5.2				
			二次加工木心削片	95	F28		3630	1.6				
			溝	95	F28		3829	2.6				
			溝	95	F28		3666	6.4				
			二次加工木心削片	95	F28		2725	22.2				
			石	95	F28		2762	14.3				
			石	95	F28		2738	8.2				
			石	95	F28		3252	1.8				
			溝	95	F28		7172	3.9				
			石	95	F28		3274	11.2				
			溝	95	F28		3614	16.0				
			溝	95	F28	II	129	1.3				
			石	95	F28		3963	5.2				
			溝	95	F28		6147	12.4				
			縦溝	95	F28		3902	1.7				
			溝	95	F28		4303	2.9				
			溝	95	F28	II	119	2.0				
			縦溝	95	F28		4459	2.6				
			溝	95	F28		5547	6.1				
			溝	95	F28	II	136	2.2				
			石	95	F28		4842	4.9				
			縦溝	95	F28		1879	5.0				
			石	95	F28		6432	5.2				

探検	探検	番号	発掘層	No.	発掘日	種別	遺物番号	重量	容積(L)	石量	埋7%	埋5%
			縦溝	95	F28		7998	4.5				
			石	95	F28		7830	16.6				
			溝	95	F28		1965	2.9				
			溝	95	F28	II	123	1.0				
			石	95	F28	III	129	1.9				
普-256	234	276	統合資料	95-96			272.3	23		2-4	967	3122
			石	95	II32	I	1	9.8				
			溝	95	II33		32	22.6				
			石	95	II33		40	1.7				
			石	95	II33		41	1.9				
			溝	95	II33		32	2.7				
			溝	95	II33		42	16.7				
			溝	94	I33		30	6.3				
			石	95	II33		43	11.8				
			溝	95	II33		54	6.7				
			石	95	II33		44	16.4				
			石	95	II33		46	5.7				
			溝	95	II33		114	6.5				
			石	95	II33		51	12.3				
			溝	95	II33		96	11.1				
			石	95	II33		106	8.7				
			溝	95	II33		112	2.9				
			溝	95	II33		119	15.8				
			溝	95	II33		131	3.2				
			溝	95	II33		135	12.8				
			溝	95	II33		156	4.6				
			石	95	II33		157	18.9				
			石	95	I32		151	9.0				
			溝	95	I32		288	15.1				
普-258	235	277	統合資料	95			439.7	20		4	826	2861
			溝	95	M29		768	4.3				
			溝	95	F28		8515	3.8				
			溝	95	O29		337	12.5				
			溝	95	O30		178	2.3				
			溝	95	O30		179	18.3				
			溝	95	O30		1390	7.5				
			溝	95	O30	I	30	12.4				
			溝	95	O30	I	28	18.7				
			溝	95	F28		6745	1.9				
普-254	195	308	石片状	95	F28		2094	147.3				
			溝	95	F28		7794	11.8				
			溝	95	F29		46	6.4				
			溝	95	F29		251	11.0				
			溝	95	F29		302	21.5				
			溝	95	F29		196	2.3				
			溝	95	F29		681	23.2				
			溝	95	F29		469	4.8				
			石	95	F29		268	15.2				
			縦溝	95	Q28		200	75.1				
			溝	95	Q29		48	9.4				
普-257	220	326	統合資料	95-97			482.9	39		4	806	2381
			溝	95	M30		6	6.4				
			溝	95	M30		82	41.7				
			二次加工木心削片	95	M35	I	0	11.0				
			溝	95	O29		1169	29.8				
			溝	95	N26	I	13	26.0				
			石	95	N30		106	9.2				
			溝	95	N30		230	6.6				
			縦溝	95	N30		116	4.6				
			溝	95	O29		1389	19.1				
			溝	95	N30		221	7.4				
			溝	95	O30		481	32.7				
			石	95	N30		250	10.5				
普-241	189	228	細器	95	N30		278	32.1				
			溝	95	O27		349	30.7				

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	路地番号	SS	変換区	種別	建物の重量	重量	容積率	石積	坪当り	坪当り
			調子	93	7530		397	5.9	4			
			調子	93	7530		402	6.6	4			
			縦張調子	93	7530		434	6.8	4			
			調子	93	7530		494	21.6	4			
			調子	93	7531		53	9.5	4			
			縦張調子	93	7530	1	26	3.3	4			
			調子	93	0300		2033	23.1	4			
			石垣	93	7530	1	63	11.7	4			
			調子	93	N21	1	23	5.6	4			
			石垣	93	029		311	2.2	4			
			石垣	93	029		397	22.2	4			
			調子	93	0300		1149	8.0	4			
			縦張調子	93	029		608	39.8	4			
			調子	93	0300		832	13.8	4			
			縦張調子	93	029		851	6.2	4			
			調子	93	029		951	6.3	4			
			石垣	93	029		908	3.2	4			
			縦張調子	93	029		1234	1.5	4			
			調子	93	0300		38	6.0	4			
			調子	93	0300		51	22.6	4			
			調子	93	0300		52	4.5	4			
第242	195	270	有坂形石部	93	0300		64	39.4	4			
第246	195	272	有坂形石部	93	0300		319	7.0	4			
			調子	93	025	2	46.4	4				
			調子	93	0300		492	6.3	4			
			調子	93	0300		1831	16.3	4			
			調子	93	0300		1423	2.6	4			
			調子	93	0300		1721	6.7	4			
			石垣	93	0300		1495	5.6	4			
			調子	93	0300		1492	36.4	4			
第242	190	231	階廊	93	0300		1718	26.6	4			
			調子	93	0300		1843	30.4	4			
			調子	93	0300		1917	2.2	4			
			縦張調子	93	0300		2137	5.2	4			
			調子	93	0300	1	197	5.6	4			
			調子	93	0300	2	57	1.5	4			
第236	184	192	階廊	93	0310		88	6.5	4			
第242	180	235	階廊	93	F27		425	28.2	4			
第238	181	149	G石積	93	Q30	1	68.0	4				
			調子	89	F30		207	3.2	4			
			調子	89	F30		264	16.1	4			
			調子	89	F30		330	3.7	4			
			調子	89	F30		360	5.8	4			
			調子	89	F30		549	2.0	4			
第240	230	279	綜合資料	86-93	465.2	86	3-4	857	2763			
			調子	93	7630		241	1.0	4			
			調子	93	M30	1	2	2.6	4			
			調子	93	7630		51	2.0	4			
			調子	86	M30		491	3.8	4			
第240	186	203	鎌形石部	93	N29		46	1.3	4			
			調子	93	N29		123	2.3	4			
			調子	93	029		1809	6.5	4			
			調子	93	N29		177	1.4	4			
			石垣	93	N29		329	15.1	4			
			石垣	93	N29		878	11.3	4			
			調子	93	F28		6029	10.8	4			
			調子	93	7630		409	4.1	4			
			調子	93	0300		1333	1.5	4			
			調子	93	N31		192	3.2	4			
			調子	93	029		1259	2.0	4			
			縦張調子	93	029		1447	13.6	4			
			調子	93	029		1552	6.9	4			
			調子	93	029		1552	2.3	4			
			調子	93	029		1653	5.5	4			
			石垣	93	029		1865	7.5	4			

線区	区間	番号	路地番号	SS	変換区	種別	建物の重量	重量	容積率	石積	坪当り	坪当り
			調子	93	029		2538	7.7	4			
			調子	93	029		1630	4.0	4			
			調子	93	029		2097	6.2	4			
			調子	93	029		2220	18.5	3			
第235	185	120	階廊	93	029		2440	4.6	4			
			調子	93	0300		508	2.6	4			
			G石積	93	0300		709	4.2	4			
第240	193	286	G石積	93	0300		1119	7.5	4			
			調子	93	0300		1280	2.0	4			
			石垣	93	0300		1383	4.2	4			
			石垣	93	0300		1385	2.2	4			
			調子	93	0300		2118	11.2	4			
			調子	93	0300		1894	3.6	4			
第240	188	213	階廊	93	F27		258	9.1	4			
			縦張調子	93	F28		108	12.6	4			
第240	189	209	階廊	93	F28		424	14.1	4			
			階廊調子	93	F28		710	2.3	4			
			調子	93	F28		868	2.8	4			
			調子	93	F28		1795	2.0	4			
			調子	93	F28		3690	5.5	4			
			調子	93	F28		2114	1.2	4			
			G石積	93	F28		2286	2.0	4			
			調子	93	F28		4635	6.3	4			
第235	185	133	階廊	93	F28		2311	13.1	4			
第240	189	212	階廊	93	F28		2483	2.7	4			
			調子	93	F28		4239	3.2	4			
			調子	93	F28		5124	11.9	4			
			調子	93	F28		2738	4.2	4			
第234	185	113	階廊	93	F28		2780	3.2	4			
			G石積	93	F28		2767	2.7	4			
			調子	93	F28		4429	9.3	4			
			G石積	93	F28		2671	0.8	4			
			調子	93	F28		7923	6.9	4			
			G石積	93	F28		4093	3.7	4			
			調子	93	F28		4938	6.7	4			
第236	184	287	石垣積	93	F28		5007	108.5	3			
第234	185	112	階廊	93	F28		5689	2.4	4			
第240	189	208	階廊	93	F28		6130	2.3	4			
			調子	93	F28		8039	5.5	4			
			調子	93	F28		6485	4.6	4			
			G石積	93	F28		7239	2.5	4			
			調子	93	F29		196	5.1	4			
			縦張調子	93	F30		30	2.2	4			
第240	189	216	階廊	93	Q39		52	5.0	4			
			調子	93	I	1	13.1	4				
第240	189	211	階廊	93	3126		1	8.8	4			
第242	236	361	綜合資料	92-93	468.9	80	4	867	2623			
			縦張調子	93	M00		694	5.9	4			
			調子	93	029	2	77	0.6	4			
			調子	93	F28	2	154	1.7	4			
			調子	93	M31	1	10	14.4	4			
			調子	93	N29		1194	3.7	4			
			調子	93	0300		2083	5.2	4			
			調子	93	0300	2	55	0.7	4			
			調子	93	F30	2	1.1	4				
			調子	93	N00	2	21	0.6	4			
			縦張調子	93	N31		58	25.7	4			
			縦張調子	93	N31		206	4.4	4			
			縦張調子	92	N32		87	8.5	4			
			調子	93	029		399	3.4	4			
			調子	93	F28		7686	11.8	4			
第234	184	194	階廊	93	029		909	6.5	4			
			調子	93	029		1724	3.1	4			
			調子	93	F28		7792	5.8	4			
			調子	93	029	2	36	0.5	4			

探検	探検	番号	品名	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積	石質	埋没率	保存率
			銅片	90	030	Ⅰ	22.3	4				
			銅片	90	030	Ⅱ	132.9	4				
			銅片	90	030		228	4.1	4			
			銅片調片	90	030		312	32.5	4			
				90	030		1961	12.3	4			
				90	030		2074	4.9	4			
						F30	Ⅱ	4	0.9	4		
			銅片調片	90	030		334	13.1	4			
				90	030		1894	24.5	4			
				90	030		1896	3.1	4			
			銅片調片	90	030		401	2.8	4			
			銅片	90	030		597	8.5	4			
			銅片	90	030		623	12.3	4			
			銅片調片	90	030		633	1.3	4			
				90	030		1549	1.1	4			
			銅片	90	030		722	3.7	4			
			銅片	90	030		730	1.2	4			
			銅片	90	030		750	45.3	4			
			銅片	90	030		786	8.8	4			
			銅片調片	90	030		792	1.9	4			
			銅片	90	030		848	1.9	4			
			銅片	90	030		828	1.6	4			
			石片	90	030		933	5.1	4			
			銅片調片	90	030		949	1.5	4			
				90	030		1322	1.1	4			
			石片	90	030		960	6.0	4			
			銅片	90	030		977	3.2	4			
			銅片	90	030		1074	1.2	4			
			銅片	90	030		1115	4.4	4			
			銅片	90	030		1220	9.9	4			
			銅片調片	90	030		1238	1.6	4			
			銅片	90	030		1260	17.9	4			
			銅片	90	030		1301	1.6	4			
			銅片調片	90	030		1406	9.2	4			
			銅片	90	030		1500	11.1	4			
			銅片調片	90	030		1543	2.9	4			
				90	030		Ⅱ	32	0.5	4		
			銅片調片	90	030		1560	8.7	4			
			銅片調片	90	030		1563	3.4	4			
			銅片	90	030		1688	1.7	4			
			銅片	90	030		1711	4.9	4			
			銅片調片	90	030		1745	3.8	4			
						2261	2.4	4				
			銅片	90	030		1784	1.6	4			
			銅片	90	030		1883	3.1	4			
						2244	9.2	4				
			銅片調片	90	030		2058	1.6	4			
			銅片	90	030		2071	1.2	4			
			銅片	90	030		2138	1.2	4			
			銅片	90	030		2243	12.2	4			
			銅片		030	I	22	7.7	4			
			銅片調片	030	I	46	2.4	4				
							F28	Ⅱ	132	1.3	4	
			銅片		030	Ⅱ	30	0.6	4			
			銅片		030	Ⅱ	51	2.9	4			
			銅片		030	Ⅱ	53	0.3	4			
			銅片		030	Ⅱ	54	0.8	4			
			銅片		030	Ⅱ	56	0.7	4			
			銅片		F28	Ⅱ	131	1.2	4			
			銅片		F28	Ⅱ	133	1.1	4			
Ⅱ-254	197	321	石核	90	F30	Ⅱ	1282	48.2	4			
			銅片		F30	Ⅱ	3	0.5	4			
Ⅱ-342	227	382	銅片調片	90	030		661.0	38	4	669	382	
			銅片		030	I	12	9.1	4			
			銅片	90	030		77	5.3	4			

探検	探検	番号	品名	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積	石質	埋没率	保存率
			銅片		030	Ⅱ	32	0.5	4			
			銅片	90	030		751	19	8.2	4		
			銅片	90	030		751	179	5.6	4		
			銅片	90	030		751	184	7.3	4		
			銅片	90	030		751	276	7.1	4		
			銅片	90	030		751	390	2.0	4		
						030		1279	2.0	4		
			銅片			030	I	9	24.2	4		
			銅片	92	030		2322	89	14.7	4		
			銅片		029	I	54	36.6	4			
			銅片		029	Ⅱ	79	1.5	4			
						030		1198	13.3	4		
					030		1338	6.1	4			
			銅片	90	030		365	42.3	4			
			銅片	90	030		377	27.7	4			
			銅片	90	030		396	14.0	4			
			銅片	90	030		552	7.9	4			
						992	21.5	4				
			銅片	90	030		603	4.2	4			
			銅片	90	030		688	11.5	4			
			銅片	90	030		1008	25.7	4			
			石片	90	030		1076	7.6	4			
						030		1526	17.4	4		
			銅片	90	030		1196	2.7	4			
			銅片	90	030		1266	6.9	4			
			銅片	90	030		1273	86.5	4			
			銅片	90	030		1290	29.6	4			
			石片	90	030		1312	32.2	4			
			石片	90	030		1326	15.8	4			
			銅片	90	030		1796	16.1	4			
			銅片	90	030		1875	2.2	4			
			銅片	90	030		1877	7.7	4			
			銅片	90	030		2172	3.3	4			
			銅片	90	F28		4394	11.0	4			
			銅片	90	F30		76	47.1	4			
			銅片		028	I	4	11.6	4			
Ⅱ-344	227	382	銅片調片	90	030		637.7	29	4	642	378	
			銅片調片	90	F28		283	12.9	4			
					90	F28	7497	361.4	4			
					90	F28	331	43.5	4			
			銅片	90	F28		986	23.0	4			
						1888	6.0	4				
						7576	13.7	4				
			銅片	90	F28		1962	2.5	4			
			銅片調片	90	F28		1614	4.6	4			
					90	F28	1772	28.4	4			
					90	F28	3215	19.8	4			
			銅片	90	F28		2195	8.2	4			
			銅片	90	F28		2243	2.9	4			
						3477	2.3	4				
						5470	11.3	4				
						203	2.1	4				
			銅片	90	F28		2900	9.9	4			
			銅片	90	F28		4218	7.8	4			
			銅片	90	F28		4446	2.7	4			
			銅片	90	F28		4472	3.4	4			
			銅片調片	90	F28		5439	7.5	4			
						200	40.3	4				
			銅片	90	F28		5981	7.7	4			
			銅片	90	F28		6017	11.5	4			
			銅片	90	Q27		309	3.1	4			
			銅片	90	Q27		441	4.9	4			
Ⅱ-342	228	384	銅片調片	90	030		1798.9	39	4	328	492	
			銅片		029		357	11.9	4			
			銅片	90	029		669	6.2	4			

上白滝8道跡(2)

線区	国線	番号	道番号	SS	変換区	種別	道幅(歩)	重量	長さ(歩)	石積	母石%	積石%
			測片	93	O29		836	6.2	4			
				93	F28		5491	4.9	4			
				93	F28		6733	36.5	4			
				93	F29		286	7.1	4			
			測片	93	O29		1407	39.4	4			
				93	F29		444	86.2	4			
			測片	93	O29		1808	8.1	4			
				93	F29	I	53	21.7	4			
			測片	93	F28		71	49.4	4			
				93	F28		5773	2.5	4			
			測片	93	F28		1332	4.3	4			
				93	F28		1343	18.8	4			
			測片	93	F28		1894	32.2	4			
				93	F29		524	8.9	4			
			測片	93	F28		5848	43.6	4			
				93	F28		5890	6.9	4			
			測片	93	F28		5984	5.9	4			
				93	F28		5992	5.3	4			
			測片	93	F28		5994	16.2	4			
				93	F28		379	8.3	4			
			測片	93	F28		6341	62.6	4			
				93	F29		1282	6.6	4			
			測片	93	F28		6548	16.9	4			
			測片	93	F28		6728	8.6	4			
			測片	93	F28		6746	18.3	4			
			測片	93	F28		6791	14.3	4			
			測片	93	F28		7387	54.7	4			
			測片	93	F28		7580	26.4	4			
			測片	93	F28		7592	78.2	4			
			測片	93	F28		7599	20.8	4			
			測片	93	F28		7770	56.6	4			
				93	F29		289	18.4	4			
			測片	93	F28		7862	6.9	4			
				93	F28		7896	7.4	4			
			測片	93	F28		7914	37.4	4			
			測片	93	F28		7954	7.3	4			
			測片	93	F28		8039	18.4	4			
			測片	93	F29		125	20.9	4			
				93	F29		843	42.3	4			
E-288	196	300	石灯篭	93	F29		235	326.0	4			
			石灯	93	F29		327	10.6	4			
			縦長測片	93	F29		333	8.1	4			
			測片	93	F29		363	49.1	4			
			測片	93	F29		443	46.9	4			
				93	F29		729	18.6	4			
			測片	93	F28		832	19.4	4			
			測片	93	F29		864	16.4	4			
			測片	93	F29		772	5.5	4			
			測片	93	F29		780	13.0	4			
			縦長測片	93	F29		811	29.3	4			
			測片	93	F29		841	107.0	4			
			測片	93	F29		1064	20.9	4			
			測片	93	F29		1113	14.7	4			
			測片	93	F29		1241	15.0	4			
			測片	93	F29		1289	16.5	4			
				93	F29	I	24	28.4	4			
			測片	93	F29	I	25	36.9	4			
E-288	238	365	綜合資料	93				1778.2	115	4	931	4053
			縦長測片	93	O28		1265	8.9	4			
				93	F28		7445	12.3	4			
			測片	93	O29		243	52.4	4			
				93	F28		3352	36.0	4			
			縦長測片	93	O29		1817	1.6	4			
				93	F28		4867	7.1	4			
				93	F28	II	174	9.8	4			

			測片	93	O29		2241	2.1	4			
			測片	93	O29		2422	2.1	4			
			測片	93	O29		2511	1.2	4			
			測片		O29	I	55	96.7	4			
				93	F28		7313	0.5	4			
			縦長測片		O29	I	56	31.0	4			
				93	F28		1880	9.8	4			
				93	F28		5641	5.3	4			
				93	F28		6434	20.2	4			
			縦長測片	93	F28		30	22.6	4			
				93	F28		7638	18.9	4			
			測片	93	F28		54	1.9	4			
				93	F28		2291	14.5	4			
				93	F28		3159	14.3	4			
				93	F28		3865	2.8	4			
			縦長測片	93	F28		538	14.7	4			
			縦長測片	93	F28		547	15.0	4			
			石灯	93	F28		663	13.9	4			
				93	F28		3363	22.7	4			
			測片	93	F28		668	5.0	4			
			石灯	93	F28		1989	2.3	4			
				93	F28		3170	3.3	4			
			測片	93	F28		1271	7.4	4			
				93	F28		7434	4.2	4			
			石灯	93	F28		1236	20.4	4			
			測片	93	F28		1284	45.1	4			
			測片	93	F28		1391	18.9	4			
				93	F28		1392	48.8	4			
				93	F28		2283	2.7	4			
				93	F28		6151	5.9	4			
					F28	II	171	0.8	4			
			測片	93	F28		1403	106.6	4			
				93	F28		6388	4.0	4			
					F28	II	173	1.8	4			
			測片	93	F28		1524	24.5	4			
			測片	93	F28		1533	1.6	4			
				93	F28		8089	3.8	4			
			測片	93	F28		1866	7.3	4			
				93	F28		2661	1.4	4			
			測片	93	F28		1807	71.6	4			
			測片	93	F28		1808	4.4	4			
				93	F28		1829	3.4	4			
			測片	93	F28		1921	13.0	4			
			測片	93	F28		2263	0.5	4			
			測片	93	F28		2289	2.0	4			
				93	F28		4229	3.3	4			
			縦長測片	93	F28		2402	1.4	4			
				93	F28		6292	11.3	4			
			測片	93	F28		2462	6.0	4			
			測片	93	F28		2474	2.0	4			
			測片	93	F28		2664	4.9	4			
				93	F28		8075	25.2	4			
			縦長測片	93	F28		3239	0.9	4			
				93	F28		3911	0.8	4			
			縦長測片	93	F28		3282	7.2	4			
				93	F28		7261	41.0	4			
			石灯	93	F28		3288	4.3	4			
				93	F28		3532	2.1	4			
			測片	93	F28		3718	0.7	4			
			縦長測片	93	F28		3781	4.5	4			
			測片	93	F28		3883	4.2	4			
				93	F28		7614	14.9	4			
					F28	II	175	1.2	4			
			石灯	93	F28		3896	18.9	4			
			縦長測片	93	F28		3960	26.5	4			

種類	国産	番号	造物名	№	造物区分	積立	積立率	積立	積立率	積立	積立率	積立	積立率	積立	積立率	積立	積立率
			石見	93	F-28	4192	2.9	4									
			調子	93	F-28	4198	9.5	4									
			調子	93	F-28	4197	8.4	4									
			船員調子	93	F-28	4236	5.6	4									
			石見	93	F-28	4087	4.5	4									
				93	F-28	2287	19.0	4									
			調子	93	F-28	5109	4.1	4									
				93	F-28	2264	84.5	4									
				93	F-28	2625	11.7	4									
			調子	93	F-28	5297	2.0	4									
			調子	93	F-28	5381	2.8	4									
				93	F-28	6038	8.1	4									
			調子	93	F-28	5394	3.3	4									
				93	F-28	7611	2.6	4									
			船員調子	93	F-28	6100	13.8	4									
				93	F-28	6216	4.7	4									
				93	F-28	8663	3.2	4									
				F-28	177	1.2	4										
			石見	93	F-28	6117	3.7	4									
			調子	93	F-28	6902	12.3	4									
				93	F-28	3108	10.1	4									
			調子	93	F-28	6996	12.7	4									
				93	F-28	7249	9.6	4									
				93	F-28	8076	2.1	4									
			石見	93	F-28	4616	29.1	4									
			調子	93	F-28	4619	56.5	4									
			調子	93	F-28	2927	19.0	4									
			調子	93	F-28	7248	117.2	4									
				93	F-28	7248	12.3	4									
			船員調子	93	F-28	7254	69.2	4									
			石見	93	F-28	7276	9.1	4									
				93	F-28	7471	7.0	4									
			石見	93	F-28	7280	29.5	4									
			石見	93	F-28	2149	9.5	4									
			船員調子	93	F-28	2901	2.8	4									
			調子	93	F-28	8011	5.8	4									
		190	308	石見舞	93	F-28	8052	69.1	4								
			調子	93	F-28	8053	29.2	4									
			調子	93	F-28	8094	9.6	4									
			調子	93	F-28	8204	12.8	4									
			調子	93	F-28	8202	3.4	4									
			調子		F-28	172	2.3	4									
			調子		F-28	176	0.7	4									
		250	398	総合資料	総合資料			1029.1	93	1	722	3308					
			調子		L-31	1	2	128.7	4								
			調子	93	M-28	176	28.4	4									
			調子	93	M-31	24	16.4	4									
			船員調子	92	M-32	46	9.9	4									
				93	F-31	13	9.6	4									
			船員調子	92	M-32	146	21.7	4									
			調子	92	M-32	572	10.8	4									
			船員調子	92	M-32	297	10.4	4									
			船員調子	M-32	1	5	28.8	4									
			次加工・水巻調子	M-32	1	6	29.6	4									
			調子	M-32	1	7	82.0	4									
			調子	M-32	1	8	12.6	4									
			調子	M-32	1	9	6.7	4									
			調子	M-32	1	10	9.7	4									
			調子	M-32	1	11	9.9	4									
			調子	M-31	1	1	4.3	4									
			調子	92	M-32	1	20.0	4									
			調子	92	M-32	2	34.8	4									
				93	O-31	147	13.2	4									
			船員調子	92	F-32	93	14.8	4									
				M-32	1	17	2.6	4									
								7632	1	10	2.3	4					
			船員調子	92	M-32	102	332	102	25.8	4							
								380	3.5	4							
								283	26.5	4							
								7632	205	4.3	4						
								324	2.4	4							
								362	3.1	4							
								330	3.1	4							
								331	2.7	4							
								327	3.6	4							
								328	11.2	4							
								327	2.8	4							
								322	5.1	4							
								322	1	6	21.4	4					
								322	1	7	13.9	4					
								322	1	23	1.1	4					
								322	1	9	8.3	4					
								322	1	11	4.4	4					
								322	1	29	0.5	4					
								322	1	12	3.9	4					
								322	1	14	3.0	4					
								322	1	15	2.9	4					
								322	1	21	1.2	4					
								323	38	57.4	4						
								323	1	6	14.5	4					
								323	1	2	2.3	4					
								323	1	3	2.7	4					
								323	1	4	2.4	4					
								324	69	2.8	4						
								O-29	841	9.9	4						
								F-28	180	9.1	4						
								F-28	5720	28.1	4						
								O-31	59	2.9	4						
								O-31	115	8.6	4						
								O-31	124	8.8	4						
								O-31	125	32.7	4						
								O-31	129	12.2	4						
								O-31	130	28.5	4						
								O-31	146	21.1	4						
								O-31	154	16.9	4						
								O-32	6	13.1	4						
								O-32	16	43.5	4						
								O-32	29	14.7	4						
								O-32	30	13.6	4						
								O-32	31	7.3	4						
								O-32	32	1.8	4						
								O-32	33	3.3	4						
								O-32	50	18.2	4						
								O-32	35	9.0	4						
								O-32	36	15.0	4						
								O-32	48	5.8	4						
								O-32	50	2.3	4						
								O-32	1	1	25.0	4					
								O-32	1	2	22.8	4					
								O-32	1	2	13.4	4					
								O-32	1	4	7.3	4					
								O-32	1	12	17.6	4					
								O-32	1	13	3.0	4					
								F-28	262	86.2	4						
								F-30	1	7	4.2	4					
								F-28	718	93.8	4						
								F-28	5759	23.0	4						
								F-28	727	31.5	4						
								F-28	2294	28.1	4						

上白堊8道跡(2)

線区	国区	番号	品名等	SS	変換区	単位	産出量	重量	品位%	石炭	品位%	割合%		
			湖片	93	F28		613	17.1	4					
			湖片	93	F28		632	23.7	4					
			湖片	93	F28		708	71.2	4					
B-124	105	125	赤城形石膏	99	F30		419	115.8	4					
				不明			43.9	4						
				89	S29		227	27.0	4					
				不明			4.4	4						
B-189	340	367	混合骨料	93			142.3	90	4	911	3989			
				93	N29		1274	5.0	4					
				93	O29		1053	13.2	4					
				93	O29		1086	8.9	4					
				93	F28		3469	5.4	4					
				93	O29		1638	3.7	4					
				93	O29		1777	39.8	4					
				93	O29		1962	7.5	4					
				93	O29	I	37	11.9	4					
				93	F28		1334	19.6	4					
				93	F28		2029	27.0	4					
				93	F28		2325	5.9	4					
				93	F28		2228	5.7	4					
				93	F28		2834	63.8	4					
				93	F28		5481	7.7	4					
				93	F28		5484	71.7	4					
				93	F29		307	4.3	4					
				93	F29		807	44.5	4					
				93	F28		5833	32.8	4					
				93	F28		5982	4.1	4					
93	F28		5996	36.2	4									
93	F28		6033	37.9	4									
93	F28		6043	6.9	4									
93	F28		6345	7.9	4									
93	F28		6336	9.8	4									
93	F28		6378	20.0	4									
93	F29	I	29	18.3	4									
B-244	191	264	赤城形石膏	93	F28		6494	13.1	4					
				93	F28		494	18.4	4					
				93	F28		6633	16.6	4					
				93	F28		6696	11.8	4					
				93	F28		6990	9.6	4					
				93	F28		6992	7.2	4					
				93	F28		7332	6.2	4					
				93	F28		7333	46.9	4					
				93	F28		7417	22.1	4					
				93	F28		7384	26.4	4					
				93	F28		7727	19.4	4					
				93	F28		7772	16.7	4					
				93	F28		7893	6.3	4					
				93	F28		8014	6.0	4					
				93	F28		8036	21.2	4					
				93	F28		8036	9.3	4					
				93	F28		8043	12.8	4					
93	F28		8048	5.6	4									
93	F28		8392	5.2	4									
93	F29		148	11.3	4									
93	F29		179	19.8	4									
B-252	195	300	石灰質	93	F29		226	251.7	4					
				93	F29		308	7.7	4					
				93	F29		313	77.6	4					
				93	F29		336	2.8	4					
				93	F29		469	15.6	4					
				93	F29		584	8.0	4					
				93	F29		732	3.7	4					
				93	F29		774	9.5	4					
				93	F29		776	9.9	4					
				93	F29		848	2.4	4					

線区	国区	番号	品名等	SS	変換区	単位	産出量	重量	品位%	石炭	品位%	割合%			
			湖片	93	F29		863	19.8	4						
			湖片	93	F29		913	35.9	4						
			湖片	93	F29		951	9.2	4						
			湖片	93	F29		1066	10.2	4						
			湖片	93	F29		1144	3.8	4						
			湖片	93	F29		1284	10.9	4						
			湖片		F29	I	32	48.4	4						
			湖片	93	O29		33	10.9	4						
B-259	249	368	混合骨料	93			1277.1	99	4	928	4968				
				93	O29		154	10.1	4						
				93	O29		454	9.3	4						
				93	O29		1370	2.9	4						
				93	O29		1896	3.1	4						
				93	O29		1930	2.7	4						
				93	O29		2236	5.2	4						
				93	F28		6336	35.9	4						
				93	F28		1018	6.2	4						
				93	F28		1336	27.8	4						
				93	F28		2012	10.2	4						
				93	F28		2251	81.9	4						
				93	F28		3317	20.4	4						
				93	F28		3325	2.6	4						
				93	F28		3651	7.7	4						
				93	F28		6226	5.1	4						
				93	F28		8033	6.1	4						
				93	F28		8034	4.6	4						
				93	F28		8221	40.0	4						
				93	F29		72	10.3	4						
93	F28		6226	9.0	4										
93	F28		6274	2.2	4										
93	F28		6645	6.4	4										
93	F28		2077	5.5	4										
93	F28		7136	2.1	4										
93	F28		7348	2.1	4										
93	F28		7394	2.8	4										
93	F28		7419	4.4	4										
93	F28		7536	12.7	4										
93	F29		465	1.9	4										
93	F28		3664	2.2	4										
93	F28		7798	13.5	4										
93	F28		7711	4.6	4										
93	F28		7720	11.3	4										
G/L	93	F28		7723	19.9	4									
93	F29		773	11.4	4										
B-259	197	324	石灰	93	F28		7728	286.7	4						
				93	F28		7427	7.8	4						
				93	F28		7722	6.6	4						
				93	F28		2843	11.6	4						
				93	F28		2889	11.9	4						
				93	F28		2952	3.0	4						
				G/L	93	F28		8030	11.5	4					
				93	F29		9	27.1	4						
				93	F29		47	36.9	4						
				93	F29		81	42.9	4						
B-262	190	233	無毒	93	F29		137	127.5	4						
				93	F29		174	2.0	4						
				93	F29		180	8.3	4						
				93	F29		298	28.4	4						
				93	F29		310	10.2	4						
				93	F29		361	1.3	4						
				93	F29		329	22.1	4						
				93	F29		333	1.7	4						
93	F29		417	2.5	4										
93	F29		424	15.3	4										
93	F29		502	3.6	4										

図号	図名	番号	品類等	№	発掘区	種別	器物番号	重量	径×高さ	石質	埋深%	出土%
			銅器	95	F-28		371	22.3	φ			
			銅片	95	F-29		382	66.3	φ			
			銅片	95	F-29		686	5.9	φ			
			銅片	95	F-29		809	9.1	φ			
			銅片	95	F-29		866	11.1	φ			
			銅片	95	F-29		962	27.0	φ			
			銅片	95	F-29		989	3.6	φ			
			銅片	95	F-29		1139	3.1	φ			
			銅片	95	F-29		1196	2.4	φ			
			銅片	95	F-29		1191	2.5	φ			
			銅片	95	F-29		1257	3.7	φ			
			銅片	F-29	I		15	5.2	φ			
第3区	241	389	総合資料	95			439.4	90	φ		827	369
			銅片	95	O-29		3	5.7	φ			
			銅片	95	F-28		6	3.7	φ			
			石片	95	F-28		33	21.4	φ			
			銅片	95	F-28		61	2.7	φ			
			銅片	95	F-28		82	2.2	φ			
			銅片	95	F-28		125	3.5	φ			
			銅片	95	F-28		149	1.8	φ			
			銅片	95	F-28		342	7.9	φ			
			銅片	95	F-28		400	22.5	φ			
			銅片	95	F-28		427	3.1	φ			
			銅片	95	F-28		431	2.9	φ			
			銅片	95	F-28		433	2.2	φ			
			銅片	95	F-28		406	19.6	φ			
			銅片	95	F-28		847	4.2	φ			
			銅片	95	F-28		868	6.7	φ			
			銅片	95	F-28		1136	2.5	φ			
			銅片	95	F-28		1191	1.9	φ			
			石片	95	F-28		1199	20.7	φ			
			銅片	95	F-28		1368	19.8	φ			
			銅片	95	F-28		3897	2.1	φ			
			銅片	F-28	I		184	15.0	φ			
			銅片	F-28	I		180	6.3	φ			
			銅片	95	F-29		82	9.8	φ			
			銅片	95	F-29		163	5.4	φ			
			銅片	F-29	I		16	8.4	φ			
			銅片	95	Q-27		130	27.1	φ			
第3区	192	277	骨板彫石器	95	Q-27		196	22.2	φ			
			銅片	95	Q-27		198	6.5	φ			
			銅片	95	Q-27		200	2.9	φ			
			銅片	95	Q-27		226	3.9	φ			
			銅片	95	Q-27		252	4.4	φ			
			銅片	95	Q-27		291	7.5	φ			
			銅片	95	Q-27		601	26.8	φ			
			銅片	95	Q-27		527	29.4	φ			
			銅片	95	Q-27		371	5.8	φ			
			銅片	95	Q-27		373	2.9	φ			
			銅片	95	Q-27		375	6.1	φ			
			銅片	95	Q-27		383	2.5	φ			
			銅片	95	Q-27		385	12.3	φ			
			銅片	95	Q-27		386	15.6	φ			
			銅片	95	Q-27		477	1.6	φ			
			銅片	95	Q-27		486	1.4	φ			
			銅片	95	Q-27		581	3.9	φ			
			銅片	95	Q-27		618	11.2	φ			
			銅片	95	Q-27		627	1.5	φ			
			銅片	95	Q-27		784	6.5	φ			
			銅片	95	Q-28		2	2.8	φ			
			銅片	95	Q-28		341	1.3	φ			
			銅片	95	Q-28		384	1.7	φ			
			銅片	95	Q-28		228	2.4	φ			
第3区	241	390	総合資料	95			1495.3	43	3-4		814	361
			石片	95	F-28		128	5.9	φ			

図号	図名	番号	品類等	№	発掘区	種別	器物番号	重量	径×高さ	石質	埋深%	出土%
				95	L-28		12	4.2	φ			
				95	L-28		829	4.7	φ			
				95	L-28	I	16	9.1	φ			
				95	L-28	I	17	8.6	φ			
			銅片	95	L-27		331	20.0	φ			
				95	L-27		892	9.5	φ			
				95	L-26		17	23.4	φ			
			銅片	95	L-27		664	9.5	φ			
				95	L-28		1009	9.5	φ			
				95	L-28		1095	7.7	φ			
			銅片	95	L-27		797	8.5	φ			
				95	L-28		147	49.3	φ			
			銅片	95	L-27		919	2.7	φ			
				95	L-28		138	4.9	φ			
				95	L-28		225	7.9	φ			
				95	M-28		827	19.7	φ			
				95	M-28		829	6.7	φ			
			銅片	95	L-27		964	7.4	φ			
				95	M-27		1370	6.0	φ			
				95	M-26	I	4	29.2	φ			
			石片	95	L-27		983	7.3	φ			
				95	L-28		3	56.2	φ			
				95	L-28		148	15.6	φ			
			銅片	95	L-27		1016	3.8	φ			
				95	L-28		402	17.9	φ			
				95	L-28		446	2.9	φ			
				95	L-28		1841	7.9	φ			
				95	M-27		1308	7.9	φ			
			銅片	95	L-28		124	9.8	φ			
			銅片	95	L-28		212	329.1	φ			
			銅片	95	L-28		371	41.7	φ			
				95	M-29		384	28.1	φ			
				95	M-29		857	48.6	φ			
			銅片	95	L-28		307	107.0	φ			
			銅片	95	L-28		1498	1.2	φ			
				95	M-27		1397	12.3	φ			
			銅片	95	L-28		1625	19.9	φ			
			銅片	95	L-29		226	290.7	φ			
				95	M-29		44	49.1	φ			
			銅片	95	M-27		41	6.7	φ			
				95	M-27		198	1.6	φ			
				95	M-27		1210	2.2	φ			
				95	M-27		1337	2.6	φ			
			銅片	95	M-27		1991	2.7	φ			
第3区	242	391	総合資料	95-94			1329.3	88	3-4	708	327	
			銅片	94	F-34	I	6	18.1	φ			
			銅片	94	F-31		31	7.9	φ			
			銅片	94	F-31		34	3.1	φ			
			銅片	94	F-31		46	29.9	φ			
			銅片	94	F-31		53	14.4	φ			
			銅片	94	F-31		54	11.2	φ			
				94	F-31		110	1.5	φ			
				94	F-31		164	3.5	φ			
				94	F-31		200	19.5	φ			
				94	F-31		359	45.9	φ			
			銅片	94	F-31		72	47.9	φ			
				94	F-31		962	61.9	φ			
			銅片	94	F-31		82	42.6	φ			
				94	F-31		198	25.9	φ			
				94	F-31		251	7.6	φ			
				94	F-31		382	13.9	φ			
				94	F-31		983	19.0	φ			
				94	F-31		1359	7.5	φ			
			銅片	94	F-31		112	28.2	φ			
			銅片	94	F-31		117	6.3	φ			

上白堊8道跡(2)

線区	国区	番号	路線名	SS	変換区	種別	動物番号	重量	変換区	石炭	収率%	収率%
			測片	94	1.31		186	16.4				
			測片	94	1.31		210	18.5				
			測片	94	1.31		374	3.2				
			測片	94	1.31		403	1.8				
			測片	94	1.31		1309	5.9				
			測片	94	1.31		1314	17.6				
			測片	94	1.31		258	5.2				
			測片	94	1.31		275	5.7				
			測片	94	1.31		296	3.4				
			測片	94	1.31		1041	1.9				
			測片	94	1.31		308	8.5				
			測片	94	1.31		484	1.9				
			測片	94	1.31		732	4.3				
			測片	94	1.31		311	5.1				
			測片	94	1.31		2186	5.3				
			測片	94	1.31		416	13.3				
			測片	94	1.31		460	8.3				
			測片	94	1.31		728	2.2				
			測片	94	1.31		485	4.1				
			測片	94	1.31		569	8.5				
			測片	94	1.31		2191	5.4				
			測片	94	1.31		525	26.1				
			測片	94	1.31		860	3.8				
			測片	94	1.31		1376	6.0				
			測片	94	1.31		531	1.7				
			測片	94	1.31		508	2.7				
			測片	94	1.31		838	7.1				
			測片	94	1.31		1608	6.1				
			測片	94	1.31		388	11.4				
			測片	94	1.31		713	23.5				
			測片	94	1.31		1406	7.1				
			測片	94	1.31		632	3.4				
			測片	94	1.31		640	8.5				
			測片	94	1.31		641	40.4				
			測片	94	1.31		682	82.5				
			測片	94	1.31		680	11.2				
			測片	94	1.31		732	103.8				
			測片	94	1.31		766	10.7				
			測片	94	1.31		1051	64.1				
			測片	94	1.31		848	99.3				
			測片	94	1.31		844	11.4				
			測片	94	1.31		833	2.3				
			測片	94	1.31		922	5.4				
			石炭	94	1.31		1001	5.4				
			測片	94	1.31		1050	5.0				
			縦向き測片	94	1.31		193	17.7				
			測片	94	1.31		194	7.6				
			測片	94	1.31		2323	5.7				
			測片	94	1.31		605	3.1				
			石炭	94	1.31		394	12.7				
			測片	94	1.31		2212	8.2				
			測片	94	1.31		6	16.3				
			測片	94	1.31		1088	4.3				
			測片	94	1.31		1089	5.4				
			測片	94	1.31		1522	4.9				
			測片	94	1.31		1537	6.8	3			
			石炭	94	1.31		1343	2.9				
			測片	94	1.31		1630	17.9				
			測片	94	1.31		2213	14.8				
			測片	94	1.31		1380	3.6	3			
			測片	94	1.31		1522	4.5				
			測片	94	1.31		1638	5.1				
			測片	94	1.31		1889	11.9				
			測片	94	1.31		2195	14.5	3			
			測片	94	1.31		2290	12.0				

線区	国区	番号	路線名	SS	変換区	種別	動物番号	重量	変換区	石炭	収率%	収率%
			測片	95	1.31		2206	2.9				
			測片	95	1.31		2207	2.8				
			石炭	95	1.31		682	78.9				
			綜合資料	95				952.9	32	4	800	3961
			測片	95	K26		78	1.6				
			測片	95	K27	I	25	4.3				
			石炭	95	L26		26	9.7				
			石炭	95	L26		63	32.7				
			測片	95	L26		362	13.0				
			測片	95	L26		118	17.0				
			測片	95	L26		130	289.1				
			測片	95	L26		307	2.7				
			測片	95	L27		235	8.3				
			測片	95	L26		266	2.6				
			測片	95	L27		199	68.6				
			測片	95	L26		285	5.3				
			石炭	95	L26		324	8.8				
			測片	95	L27		355	12.2				
			測片	95	L26		424	3.6				
			測片	95	L26		982	3.7				
			測片	95	L26		623	2.0				
			石炭	95	L26		837	13.0				
			測片	95	L26		774	32.7				
			測片	95	L26		701	2.1				
			測片	95	L26		730	2.2				
			測片	95	L26		760	11.3				
			測片	95	L26		766	1.5				
			測片	95	L26		781	1.1				
			石炭	95	L27		65	3.0				
			測片	95	L27		124	4.0				
			測片	95	L27		181	4.9				
			測片	95	L27		208	7.9				
			石炭	95	L27		343	10.4				
			測片	95	L27		586	3.0				
			測片	95	L27		661	8.8				
			測片	95	L27		93	93.8				
			綜合資料	95				1068.8	28	1	728	3696
			石炭	95	O00		2	96.9				
			測片	95	O00		57	51.0				
			測片	95	O00		181	71.2				
			測片	95	O00		182	11.5				
			測片	95	O00		394	22.4				
			測片	95	O00		339	154.3				
			測片	95	O00		344	96.8				
			測片	95	O00		727	38.0				
			測片	95	O00		746	3.8				
			測片	95	O00		1202	24.2				
			石炭	95	O00		791	21.7				
			測片	95	O00		1237	16.2				
			測片	95	O00		932	2.5				
			測片	95	P28		1733	84.9				
			測片	95	P28		4071	6.6				
			石炭	95	O00		893	2.5				
			測片	95	O00		1179	4.2				
			測片	95	O00		1624	5.2				
			測片	95	O00		1022	13.1				
			測片	95	O00		1196	16.7				
			測片	95	P30		45	22.9				
			測片	95	O00		1228	86.0				
			測片	95	O00		117	5.8				
			石炭	95	P27		280	256.0				
			石炭	95	P27		280	107.8				
			測片	95	P28		1540	22.0				
			測片	95	Q26		96	173.3				
			石炭	95	Q27		96	27.3				

図号	図名	番号	品物名	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	保存%			
B-004	243	284	総合資料	93				2585.6	94	1	720	2420			
			鏡片	93	S21	39	17.8	1							
			鏡片	93	S29	1	40	4.9	1						
			石片	93	S30	108	14.7	1							
			鏡片	93	S31	434	9.2	1							
			鏡片	93	O30	93	8.1	1							
			鏡片	93	O30	326	1.7	1							
			石片	93	O30	306	2.6	1							
			鏡片	93	O30	227	1.5	1							
			石片	93	O30	443	3.7	1							
			鏡片	93	O30	853	2.5	1							
			鏡片	93	O30	615	1.5	1							
			鏡片	93	O30	2260	11.5	1							
			鏡片	93	O30	122	1.2	1							
			B-044	291	280	片状形石器	93	O30	1207	7.8	1				
鏡片	93	O30				2211	6.7	1							
鏡片	93	O30				1254	3.1	1							
鏡片	93	E26				136	430.7	1							
鏡片	93	O30				1261	4.2	1							
鏡片	93	O30				1403	5.4	1							
鏡片	93	O30				1384	2.4	1							
鏡片	93	O30				1398	4.1	1							
鏡片鏡片	93	O30				1632	8.2	1							
鏡片	93	O30				2201	14.5	1							
鏡片	93	O30				2202	4.6	1							
鏡片	93	O30				1634	6.6	1							
鏡片	93	O30				1962	4.2	1							
石片	93	O30				1667	2.6	1							
鏡片鏡片	93	O30				1261	3.7	1							
石片	93	O30	1262	6.4	1										
鏡片	93	O30	2066	3.9	1										
石片	93	O30	2217	12.4	1										
鏡片	93	O30	2220	4.3	1										
石片	93	O30	2280	1.6	1										
鏡片	93	O30	E 121	6.5	1										
鏡片	93	O30	E 124	6.8	1										
鏡片	93	O30	E 125	4.1	1										
鏡片	93	O30	E 126	6.4	1										
鏡片	93	O30	E 127	9.7	1										
鏡片	93	F27	63	1.9	1										
石片	93	F27	259	9.1	1										
B-044	283	284	石片	93	F28	2243	3.4	1							
			鏡片	93	F28	2639	6.5	1							
			鏡片	93	F30	21	28.9	1							
B-025	285	225	彫部	93	Q27	411	7.0	1							
			石片鏡	93	E28	29	122.2	1							
B-032	244	295	総合資料	93			2283.8	47	1-5	773	3489				
			鏡片	93	S29	1	47.0	1							
			鏡片	93	O29	235	94.5	1							
			鏡片	93	F27	301	62.5	1							
			鏡片	93	F28	3126	2.6	1							
			鏡片	93	Q26	98	13.2	1							
			鏡片	93	O29	1237	4.8	1							
			鏡片	93	F28	2226	4.4	1							
			鏡片	93	F28	3065	5.5	1							
			鏡片	93	F28	3066	6.2	1							
			B-025	245	296	鏡片	93	O29	1	108	733.4	1			
						鏡片	93	F27	32	35.3	1				
						鏡片	93	F27	451	3.7	1				
						鏡片鏡片	93	F27	111	272.0	1				
						鏡片	93	F27	331	17.5	1				
鏡片	93	F27				406	3.5	1							
鏡片	93	F27				396	120.9	1							
石片	93	F27				493	48.5	1							
鏡片	93	F28				2228	16.2	1							
鏡片	93	F27				513	16.9	1							
鏡片	93	F27				517	28.2	1							
B-025	296	317				石鏡	93	F27	1	490.4	1				
						鏡片	93	F28	337	32.0	1				
						鏡片	93	F28	3730	28.0	1				
鏡片鏡片	93	F28				306	66.9	1							
			354	16.0	1										
			357	7.4	1										
二次加工木心鏡片	93	F28	309	148.6	1										
			3230	16.6	1										
			鏡片	93	F28	1369	21.2	1							
鏡片	93	F28	1371	4.8	1										
			1786	11.0	1										
			鏡片	93	F28	1556	26.8	1							
鏡片鏡片	93	F28	1596	37.0	1										
			二次加工木心鏡片	93	F28	3548	51.6	1							
			鏡片	93	F28	3538	51.1	1							
鏡片	93	F28	2290	8.1	1										
			鏡片	93	F28	4034	51.9	1							
			鏡片	93	F29	1	80	51.3	1						
鏡片	93	E26	129	37.3	5										
			鏡片	93	Q26	78	124.2	1							
			鏡片	93	Q26	126	25.1	1							
鏡片	93	E26	106	17.6	5										
			鏡片	93	Q27	22	5.8	1							
			鏡片	93	Q27	23	3.9	1							
B-025	296	316	石鏡	93	Q27	226	216.2	1							
			鏡片	93	Q27	369	4.9	1							
			鏡片	93	E26	119	8.4	5							
B-039	245	296	総合資料	93			953.8	63	4	929	4050				
			鏡片	93	O29	1425	28.1	4							
			鏡片	93	F28	946	5.5	4							
			石片	93	F27	125	3.6	4							
						鏡片	93	Q27	41	5.3	4				
						鏡片鏡片	93	F27	129	38.0	4				
			鏡片	93	F27	269	13.0	4							
			鏡片	93	Q27	369	1.8	4							
			鏡片	93	F27	386	21.4	4							
			石片	93	F28	70	18.8	4							
			鏡片	93	F28	75	2.0	4							
			鏡片	93	F28	543	63.7	4							
			鏡片	93	F28	528	25.5	4							
			鏡片	93	F28	600	11.3	4							
			鏡片	93	F28	702	5.0	4							
鏡片鏡片	93	F28	825	33.9	4										
鏡片	93	F28	1019	8.8	4										
鏡片	93	F28	1163	4.0	4										
鏡片	93	F28	1384	6.4	4										
鏡片	93	F28	1720	13.1	4										
鏡片	93	F28	2418	8.9	4										
鏡片	93	F28	2494	4.5	4										
鏡片	93	F28	1	169	2.5	4									
鏡片	93	F29	98	24.3	4										
鏡片	93	Q27	9	5.1	4										
鏡片	93	Q27	24	7.5	4										
二次加工木心鏡片	93	Q27	27	123.8	4										

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	形質等	SS	変換尺	単位	測功単位	重量	重量	重量	石積	母材%	割合%
				石	0.27		303	66.5	4				
			測片	石	0.27		111	1.3	4				
				測片	石	0.27	109	12.0	4				
				石	0.27		481	13.4	4				
			測片	石	0.27		211	15.5	4				
			測片	石	0.27		216	26.8	4				
第-248	193	250	石積	石	0.27		222	26.6	4				
				石	0.27		300	14.4	4				
			測片	石	0.27		238	7.8	4				
第-254	193	322	石積	石	0.27		303	66.5	4				
			石積	石	0.27		314	13.1	4				
			測片	石	0.27		374	11.0	4				
			測片	石	0.27		390	7.3	4				
			石積	石	0.27		391	7.6	4				
			測片	石	0.27		392	6.9	4				
			石積	石	0.27		396	11.3	4				
			測片	石	0.27		397	5.8	4				
			測片	石	0.27		398	11.3	4				
			測片	石	0.27		410	1.8	4				
			測片	石	0.27		417	1.6	4				
			測片	石	0.27		422	3.7	4				
			測片	石	0.27		474	7.5	4				
			測片	石	0.27		486	7.7	4				
			石積	石	0.27		566	4.6	4				
			石	0.27			520	3.1	4				
			測片	石	0.27		566	8.7	4				
			測片	石	0.27		587	26.6	4				
			石	0.27			643	8.2	4				
			測片	石	0.27		588	8.0	4				
			石積	石	0.27		596	4.0	4				
			測片	石	0.27		599	5.1	4				
			測片	石	0.27		631	2.8	4				
			測片	石	0.27		660	1.7	4				
			測片	石	0.27		669	1.5	4				
			測片	石	0.27		721	6.0	4				
			石積	石	0.27		737	6.1	4				
			測片	石	0.27		765	8.1	4				
第-266	245	397	複合資料	石-石			560.4	31	1-3	726	1283		
			測片	石	1.27		714	3.7	3				
				石	N29		1286	26.0	0				
			測片	石	M29		776	8.0	1				
				石	N29		396	16.5	0				
			測片	石	N29		460	42.3	1				
			石積	石	N29		977	15.6	1				
			測片	石	N29		1136	6.0	1				
			測片	石	N29		1139	26.7	1				
			測片	石	N29		1145	14.3	1				
			測片	石	N29		1303	9.4	1				
			測片	石	N29		1680	7.9	1				
				石	0.28		797	10.2	1				
				石	P28		2398	6.0	1				
第-211	180	221	築部	石	N29		1697	52.8	1				
			次加工及左測片	石	N30		66	106.3	0				
			測片	石	N30		167	14.9	1				
			測片	石	0.27		359	15.6	1				
			測片	石	0.27	I	21	17.6	1				
			測片	石	0.28		508	10.9	1				
				石	0.28		1625	6.0	1				
			測片	石	0.28		713	6.8	1				
				石	0.29		147	1.2	1				
				石	0.29		244	8.8	1				
第-264	184	193	築部	石	0.29		72	6.1	1				
			測片	石	0.29		562	3.6	1				
第-235	195	128	築部	石	0.29		1442	6.4	1				
			測片	石	0.29		2396	14.2	1				

				石積	石	P28	92	26.5	1				
			築部測片	石	P28		1783	5.6	1				
				石	P28		4177	6.4	1				
				石	P28		2603	2.2	1				
第-261	246	388	複合資料	石-石			427.0	41	4	798	3543		
				石	N29		966	2.6	4				
			築部測片	石	N29		770	25.2	4				
				石	P28	II	190	0.6	4				
第-211	195	175	石積	石	N33	I	1	96.8	4				
			築部測片	石	0.27		342	3.3	4				
				石	0.27		1892	12.4	4				
			測片	石	0.28		162	1.5	4				
				石	0.28		1736	4.3	4				
			築部測片	石	0.28		362	5.0	4				
				石	0.28		654	11.6	4				
				石	0.28		757	12.7	4				
				石	0.28		1203	52.4	4				
				石	0.29		647	2.3	4				
				石	0.29	I	104	27.6	4				
			測片	石	0.28		496	6.8	4				
			測片	石	0.28		506	1.9	4				
				石	0.28		1695	22.8	4				
				石	P27		38	9.6	4				
			測片	石	0.28		711	7.4	4				
			測片	石	0.28		728	1.1	4				
			測片	石	0.28		1249	2.8	4				
			測片	石	0.28		1504	2.2	4				
			測片	石	0.28		1675	2.9	4				
				石	0.29	II	112	6.4	4				
			測片	石	0.28		1775	16.4	4				
			測片	石	0.28		1797	1.8	4				
				石	0.28	I	24	2.2	4				
			測片	石	0.29		36	5.9	4				
				石	P28		4064	8.5	4				
			測片	石	0.29		239	2.2	4				
			測片	石	0.29		362	3.2	4				
			測片	石	0.29		467	1.3	4				
			築部測片	石	0.29		1067	33.3	4				
			測片	石	0.29		1282	2.0	4				
			築部測片	石	0.30	I	66	2.7	4				
				石	P28		1439	26.8	4				
			測片	石	P28		2528	2.2	4				
			測片	石	P28		3037	1.9	4				
			測片	石	P28		3649	1.2	4				
			測片	石	P28		5942	1.5	4				
			測片	石	P28		6276	1.4	4				
第-261	246	389	複合資料	石			357.1	23	4	864	3813		
			測片	石	P28		7	1.8	4				
			測片	石	P28		122	27.9	4				
第-213	196	315	石積	石	P28		185	37.3	4				
			測片	石	P28		1298	5.0	4				
			測片	石	P28		1363	13.4	4				
			測片	石	P28		2162	6.6	4				
				石	P29	I	36	23.6	4				
			測片	石	P28		2794	10.5	4				
				石	0.27		263	20.9	4				
			測片	石	P28		3311	18.6	4				
				石	P28		7666	14.0	4				
				石	P29		1938	46.9	4				
			測片	石	P28		3431	6.6	4				
			測片	石	P28		3790	2.0	4				
			測片	石	P28		4447	3.5	4				
			築部測片	石	P29		301	14.1	4				
				石	P29		713	25.5	4				
			測片	石	P29		798	4.3	4				

探出	探出	番号	品類等	№	発掘区	種別	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋深%	検出%
			鏡片	93	Q27		532	19.6	4			
			鏡片	93	Q27		532	19.6	4			
			鏡片	93	Q27		772	4.3	4			
			鏡片	93	Q27		773	5.1	4			
			鏡片	93	Q27		774	6.9	4			
B-362	246	600	総合資料	抄-93			257.9	25	4	609	3688	
			鏡片	93	F28		494	1.9	4			
			鏡片	93	F28		522	1.8	4			
			鏡片	93	F28		862	3.4	4			
B-362	180	1232	銅器	93	F28		3635	44.6	4			
			鏡片	93	F28		2641	2.7	4			
			鏡片	93	F28		3959	7.6	4			
			鏡片	93	F28		4933	4.9	4			
			鏡片	93	F29		672	1.9	4			
			鏡片	93	F28		7966	9.4	4			
			鏡片	93	F28		7791	22.5	4			
			鏡片	93	F28		2842	6.6	4			
			鏡片	93	F29		533	3.5	4			
			鏡片	93	F29		634	3.5	4			
			鏡片	93	F29		649	2.1	4			
			鏡片	93	F29		815	6.2	4			
			鏡片	93	F29		916	6.4	4			
			鏡片	93	F29		943	6.8	4			
			鏡片	89	B30		139	2.6	4			
			鏡片	89	B30		430	3.5	4			
			鏡片	89	B30		494	11.1	4			
			鏡片	89	S29		455	66.1	4			
			鏡片	89	B30		537	16.9	4			
			鏡片	89	B30	I	3	0.3	4			
			鏡片	89	S29		229	3.9	4			
			鏡片	89	S29		399	2.7	4			
B-363	247	401	総合資料	93			494.7	81	3-4	912	3989	
			鏡片	93	O29		1385	16.8	4			
			鏡片	93	F28	Ⅱ	169	3.6	4			
			鏡片	93	F28		79	2.8	4			
			鏡片	93	Q28		190	1.4	4			
			鏡片	93	F28		191	1.2	3			
			鏡片	93	F28		246	1.9	4			
			鏡片	93	F28		286	16.0	4			
			鏡片	93	F28		597	2.4	4			
			鏡片	93	F28		1226	17.3	4			
			鏡片	93	Q27	Ⅱ	9	2.2	4			
			鏡片	93	Q28		342	63.2	4			
B-364	193	282	赤褐色石器	93	F28		431	9.7	4			
			鏡片	93	F28		1014	3.4	4			
			鏡片	93	F28		1198	1.8	4			
			鏡片	93	Q28		592	17.1	4			
			鏡片	93	F28		1199	16.1	4			
			鏡片	93	F28		1249	6.6	4			
			鏡片	93	F28		4492	4.8	4			
			鏡片	93	F28		1267	1.8	4			
			鏡片	93	F28		1211	4.9	4			
			鏡片	93	F28		1317	2.2	4			
			鏡片	93	F28		1436	3.5	4			
			鏡片	93	F28		3699	2.9	4			
			鏡片	93	F28		3613	4.8	4			
			鏡片	93	F28		1968	1.9	4			
			鏡片	93	F28		2982	6.3	4			
			鏡片	93	F28		1899	12.2	4			
			鏡片	93	F28		2994	1.9	4			
			鏡片	93	F28		2999	5.9	4			
			鏡片	93	F28		2547	4.3	4			
			鏡片	93	F28		4629	6.8	4			
			鏡片	93	F28		2296	39.4	4			
			鏡片	93	F28		2299	1.6	4			

探出	探出	番号	品類等	№	発掘区	種別	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋深%	検出%
			鏡片	93	F28		2243	2.2	4			
			鏡片	93	F28		2487	12.8	4			
			鏡片	93	F28		2542	4.6	4			
			鏡片	93	Q27		441	1.9	4			
			鏡片	93	F28		2816	4.4	4			
			鏡片	93	F28		2628	2.2	4			
			鏡片	93	F28		2877	8.7	4			
			鏡片	93	F28		2977	2.4	4			
			鏡片	93	F28		2982	2.7	4			
			鏡片	93	F28		3042	16.9	4			
			鏡片	93	F28		3232	2.5	4			
			鏡片	93	F28		3296	2.4	4			
			鏡片	93	F28		3856	4.0	4			
			鏡片	93	F28		3969	6.9	4			
			鏡片	93	F28		4433	3.9	4			
			鏡片	93	F28		5495	2.9	4			
			鏡片	93	Q27	Ⅱ	7	1.9	4			
			鏡片	93	Q27	Ⅱ	8	1.7	4			
			鏡片	93	F28		4469	5.3	4			
			鏡片	93	F28		4886	17.9	4			
			鏡片	93	F28		6421	1.8	4			
			鏡片	93	F28	Ⅱ	163	3.2	4			
			鏡片	93	F28	Ⅱ	184	1.7	4			
			鏡片	93	F28	Ⅱ	188	3.1	4			
			鏡片	93	F28	Ⅱ	179	2.8	4			
			鏡片	93	F28	Ⅱ	170	0.8	4			
			羅漢石	93	F29		427	3.4	4			
			鏡片	93	Q27		449	3.3	4			
			鏡片	93	F29		226	4.2	4			
			鏡片	93	F29	I	34	1.6	4			
			鏡片	93	F29		49	0.9	4			
			鏡片	93	Q27		57	11.0	4			
			鏡片	93	Q27		227	4.9	4			
			鏡片	93	Q27		357	2.6	4			
			鏡片	93	Q27		443	12.9	4			
			鏡片	93	Q27		597	2.0	4			
			鏡片	93	Q27		723	6.4	4			
			鏡片	93	Q27		486	2.1	4			
			鏡片	93	Q27		528	3.6	4			
			鏡片	93	Q27		580	2.1	4			
			鏡片	93	Q27		565	3.5	4			
			鏡片	93	Q27		714	2.8	4			
			鏡片	93	Q27		754	5.3	4			
			鏡片	93	Q27		800	14.2	4			
			鏡片	93	Q27	Ⅱ	5	1.2	4			
			鏡片	93	Q27	Ⅱ	8	2.9	4			
			鏡片	93	Q28		180	2.5	4			
			鏡片	93	Q28		220	7.5	4			
B-365	247	402	総合資料	93			513.4	44	4	914	3992	
			鏡片	93	F29		261	4.5	4			
			鏡片	93	F28		363	2.6	4			
			鏡片	93	F28		391	3.9	4			
			鏡片	93	F28		616	3.3	4			
			鏡片	93	F29		843	5.0	4			
			鏡片	93	Q27		468	54.3	4			
			鏡片	93	F28		670	3.1	4			
			鏡片	93	F28		1126	1.7	4			
			鏡片	93	F28		1560	15.5	4			
			鏡片	93	F28		1531	2.4	4			
			鏡片	93	F28	I	148	5.8	4			
			鏡片	93	F28	I	147	4.6	4			
			鏡片	93	F28	I	155	0.4	4			
			鏡片	93	F29		17	16.1	4			
			鏡片	93	F29		79	3.5	4			
			鏡片	93	Q27		228	74.8	4			

上白滝8道跡(2)

線区	国線	番号	路線名	SS	変換区	種別	道幅(歩)	重量	長さ(歩)	石積	母岩%	積石%
			湖片	95	F28		149	22.8	4			
			湖片	95	Q27		117	7.4	4			
			湖片	95	Q27		119	10.5	4			
			湖片	95	Q27		149	5.9	4			
			湖片	95	Q27		147	11.0	4			
			湖片	95	Q27		132	8.5	4			
			湖片	95	Q27		528	27.8	4			
			湖片	95	Q27		137	8.4	4			
			湖片	95	Q27		336	2.4	4			
			湖片	95	Q27		326	43.5	4			
			湖片	95	Q27		359	2.4	4			
			湖片	95	Q27		368	7.7	4			
			湖片	95	Q27		378	23.4	4			
			湖片	95	Q27		467	26.4	4			
			湖片	95	Q27		392	8.0	4			
			湖片	95	Q27		399	2.8	4			
			湖片	95	Q27		992	12.1	4			
			湖片	95	Q27		990	4.0	4			
			湖片	95	Q28		178	4.8	4			
			湖片	95	Q27		640	13.3	4			
			湖片	95	Q27		729	5.0	4			
			湖片	95	Q28		25	2.7	4			
			湖片	95	Q28		16	26.7	4			
			湖片	95	Q28		194	3.5	4			
B-244	195	264	赤城形石碇	95	Q28		57	1.8	4			
			湖片	95	Q28		90	5.8	4			
			湖片	95	Q28		198	2.0	4			
			湖片	95	Q28		174	3.3	4			
B-246	248	443	混合資料	95			332.9	29	4	863	3623	
			湖片	95	Q28		186	10.6	4			
			湖片	95	Q28		1286	5.0	4			
			湖片	95	Q28		1311	2.8	4			
			湖片	95	Q28		1481	2.3	4			
			湖片	95	F28		64	2.5	4			
B-248	197	320	石碇	95	F28		2987	11.4	4			
			湖片	95	F28		3280	90.9	4			
			湖片	95	F28		3059	5.7	4			
			湖片	95	F28		3097	10.7	4			
			湖片	95	F28		6271	9.3	4			
			湖片	95	F28		3100	40.5	4			
			湖片	95	F28		9092	33.1	4			
			湖片	95	F28		3379	5.1	4			
			湖片	95	F28		3756	5.9	4			
			湖片	95	F28		6228	11.2	4			
			湖片	95	F28		4950	23.5	4			
			湖片	95	F28		4855	11.0	4			
			湖片	95	F28		5066	3.1	4			
			湖片	95	F28		5613	7.6	4			
			湖片	95	F28		5534	1.6	4			
			湖片	95	F28		5535	4.8	4			
			湖片	95	F28		5555	3.1	4			
B-252	190	252	赤城形石碇	95	F28		5900	8.1	4			
			湖片	95	F28		6280	13.0	4			
			湖片	95	F28		6621	7.5	4			
			湖片	95	F28		6955	11.0	4			
			湖片	95	F28		6973	2.1	4			
			湖片	95	F28		7194	5.7	4			
			湖片	95	F28		7251	2.8	4			
B-261	248	404	混合資料	95			1448.6	39	3-4	813	3639	
			湖片	95	L27		409	11.3	4			
			縦長湖片	95	L27		1027	4.5	4			
			湖片	95	L28		1125	13.4	4			
			湖片	95	M27		1530	12.1	4			
			湖片	95	M27		1575	10.8	4			
			湖片	95	L27		1036	96.4	4			

線区	国線	番号	路線名	SS	変換区	種別	道幅(歩)	重量	長さ(歩)	石積	母岩%	積石%
				95	L28		499	97.1	4			
				95	L28		1703	11.7	3			
			湖片	95	L27		1066	27.6	4			
			縦長湖片	95	L28		20	28.0	4			
			湖片	95	L28		217	7.6	4			
			湖片	95	L28		1499	13.0	3			
			湖片	95	L28		376	17.8	4			
			湖片	95	L28		393	83.3	3			
			湖片	95	L28		323	5.3	4			
			湖片	95	L28		522	8.8	4			
			湖片	95	L28		784	24.5	3			
			湖片	95	L28		1867	2.3	3			
			湖片	95	L28		792	44.7	3			
			湖片	95	L28		1128	48.0	3			
			湖片	95	L28		478	11.3	3			
			湖片	95	L28		899	10.0	3			
			湖片	95	L28		1129	109.3	4			
			湖片	95	L28		1288	22.6	4			
			湖片	95	L28		1146	4.5	4			
			湖片	95	L28		1411	3.9	4			
			湖片	95	L28		1185	179.3	4			
			湖片	95	L28		1590	6.2	4			
			湖片	95	L28		1399	4.0	4			
			湖片	95	L28		1741	4.6	4			
			湖片	95	L28		1839	3.5	3			
			湖片	95	L28		1924	52.8	4			
			湖片	95	M27		572	12.8	3			
			湖片	95	M27		1482	3.7	4			
			湖片	95	M27		1497	63.7	4			
			湖片	95	M27		1509	21.1	4			
			湖片	95	M27		1853	2.8	4			
			湖片	95	M27		1615	6.5	4			
			湖片	95	M28		35	57.4	4			
B-269	190	340	混合資料	95-96			418.4	4	256	10-15	908	4038
			湖片	95	L27		840	46.1	3			
			湖片	95	M27		1226	13.6	3			
			湖片	95	L28		139	21.3	3			
			湖片	95	M27		1516	96.7	3			
			湖片	95	N26		340	3.4	5			
			湖片	95	N27		1169	2.9	5			
			湖片	95	L28	I	22	77.8	5			
			湖片	95	M26		522	5.5	3			
			縦長湖片	95	M27		9	1.2	1			
			湖片	95	N29		1740	8.1	5			
			湖片	95	O26		261	34.5	4			
			湖片	95	O27		846	14.2	5			
			湖片	95	O27		928	1.2	5			
			湖片	95	M27		477	11.9	5			
			湖片	95	M27		1288	13.5	5			
			湖片	95	N36		337	25.9	3			
			湖片	95	N27		828	1.8	5			
			湖片	95	M27		1262	15.3	5			
			湖片	95	N36		270	10.3	5			
			湖片	95	N27		560	4.1	5			
			湖片	95	N27		908	3.5	5			
			湖片	95	M27		1355	25.5	5			
			湖片	95	N36		289	5.0	5			
			湖片	95	N36		309	12.3	5			
			湖片	95	N27		1	33.1	5			
			湖片	95	M28		24	2.4	5			
			湖片	95	F28		296	4.8	5			
			湖片	95	M28		92	1.4	5			
			湖片	95	N27		498	2.3	5			
			湖片	95	N28		126	2.5	5			
B-289	190	415	混合資料	95	M28		317	1.5	5			

国名	地域	番号	品名等	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	材質	寸法	図2%	図3%
			鏡片	95	M28		342	1.4	0				
				95	M28		351	2.3	0				
			鏡片	95	M28		347	0.1	0				
				95	M28		217	4.9	4				
				95	O27		625	8.0	0				
			鏡片	95	M28		300	2.6	0				
				95	F26		292	2.3	0				
			鏡片	95	M28		310	2.0	0				
				95	M28		448	3.9	0				
			鏡片	95	M29		31	6.3	0				
				95	M29		322	1.9	0				
				95	O27		612	4.3	0				
			鏡片	95	M29		92	0.4	0				
				95	O26		61	13.1	0				
			鏡片	95	M29		107	0.1	0				
				95	N27		398	6.5	0				
				95	N28		332	0.6	0				
			鏡片	95	M29		237	2.4	0				
				95	O27		603	8.2	0				
			鏡片	95	M29		396	19.3	0				
				95	M29		466	10.2	0				
			鏡片	95	M29		393	24.4	0				
				95	N28		125	20.8	0				
			鏡片	95	M29		396	11.2	0				
			鏡片	95	M29		445	13.0	0				
				95	N27		76	2.8	0				
			鏡片	95	M29		517	3.1	0				
				95	M29		312	4.0	0				
			鏡片	95	M29		604	3.1	0				
			鏡片	95	M30		103	25.1	4				
				95	N28		380	232.9	0				
				95	N27		142	4.8	0				
				95	O27		1067	1.2	0				
			鏡片	95	M30		732	2.1	0				
				95	F26		252	1.3	0				
一	108	413	矢筈鏃	95	N26		162	16.0	4				
				95	O25		62	13.9	4				
			鏡片	95	N27		2	0.7	0				
				95	N27		6	1.8	0				
			龍具鏡片	95	N27		33	3.4	0				
				95	O27		547	17.4	0				
				95	O27		867	19.3	0				
				95	O27		1117	2.8	0				
			鏡片	95	N27		32	27.3	0				
				95	N27		229	10.9	0				
				95	N27		1038	12.5	0				
			鏡片	95	N27		128	3.4	0				
				95	N27		495	4.9	0				
				95	F26		238	1.2	0				
			鏡片	95	N27		145	7.0	0				
				95	O27		431	2.4	0				
				95	F26		284	6.4	0				
			鏡片	95	N27		170	4.2	0				
				95	O27		528	7.0	4				
			鏡片	95	N27		186	0.9	0				
				95	N27		201	7.4	0				
				95	O27		135	16.8	0				
			鏡片	95	N27		215	2.2	0				
				95	N27		636	3.5	0				
			鏡片	95	N27		228	2.8	0				
				95	O27		825	1.3	0				
			鏡片	95	N27		256	2.8	0				
				95	N27		259	1.3	0				
			鏡片	95	N27		280	6.5	0				
				95	N27		313	0.5	0				
				95	N27		391	3.0	0				
				95	N27		403	3.0	0				
				95	N27		420	10.2	0				
				95	O26		309	4.4	4				
				95	O27		330	11.0	0				
				95	O27		613	28.1	4				
				95	O27		730	4.9	0				
				95	O27		830	8.8	0				
			鏡片	95	N27		262	2.8	0				
				95	O26		363	48.8	4				
				95	O27		270	15.1	0				
				95	F26		225	3.6	0				
			鏡片	95	N27		309	2.3	0				
			龍具鏡片	95	N27		315	1.7	0				
				95	O26		204	34.2	4				
			鏡片	95	N27		317	6.2	0				
			鏡片	95	N27		364	1.9	0				
				95	N28		120	56.6	0				
				95	O27		1044	3.2	0				
			鏡片	95	N27		406	1.8	0				
			鏡片	95	N27		418	4.1	0				
			鏡片	95	N27		420	8.0	0				
				95	N28		108	2.4	0				
				95	O27		600	5.0	0				
				95	O27		832	4.5	0				
			鏡片	95	N27		432	2.6	0				
			龍具鏡片	95	N27		463	0.5	0				
			龍具鏡片	95	N27		468	3.5	0				
				95	N28		285	141.5	0				
				95	O26		176	26.3	0				
				95	O27		665	12.7	0				
				95	O27		797	35.5	0				
				95	O27		1042	5.1	0				
			鏡片	95	N27		480	1.0	0				
				95	N27		551	4.0	0				
				95	N27		666	18.3	0				
				95	N27		685	2.0	0				
			鏡片	95	N27		484	2.0	0				
				95	O27		342	1.7	0				
			鏡片	95	N27		495	1.4	0				
			鏡片	95	N27		499	6.2	0				
				95	N27		543	2.2	0				
			鏡片	95	N27		566	28.7	0				
			鏡片	95	N27		108	1.4	4				
				95	O26		246	8.8	4				
				95	O26		448	45.1	4				
			鏡片	95	N27		605	21.3	0				
			鏡片	95	N27		612	3.6	0				
				95	N27		693	4.0	0				
				95	N27		1070	8.4	0				
				95	N27		1518	3.2	0				
			鏡片	95	N28		131	5.7	0				
				95	N28		261	4.0	0				
			鏡片	95	N27		613	2.2	0				
			鏡片	95	N27		620	3.7	0				
			鏡片	95	N27		628	2.5	0				
			鏡片	95	N27		630	2.8	0				
				95	F26		217	7.0	0				
			鏡片	95	N27		664	23.4	0				
			鏡片	95	N27		660	1.6	0				
			鏡片	95	N27		692	2.7	0				
			鏡片	95	N27		721	2.2	0				
			鏡片	95	N27		739	4.3	0				
			鏡片	95	N27		307	35.3	0				

上白滝8道跡(2)

線区	区画	番号	路線名	SS	変換区	種別	動物の重量	重量	長さ(m)	石質	母岩%	積石%
				95	N28		235	5.5	4			
				95	N27		283	15.0	5			
			洞片	95	N27		795	2.2	5			
			洞片	95	N27		802	8.3	5			
			洞片	95	N27		886	18.0	5			
			洞片	95	N27		898	6.9	5			
			洞片	95	N28		444	5.9	5			
			洞片	95	N27		977	1.8	5			
			洞片	95	N28		200	3.5	5			
			洞片	95	N28		448	5.5	5			
			洞片	95	N27		1089	21.1	5			
			洞片	95	N27		1157	52.2	5			
			洞片	95	N27		1060	3.3	5			
			洞片	95	O27		1429	4.7	5			
			洞片	95	N27		1086	1.8	5			
			洞片	95	P26		261	20.4	5			
			洞片	95	N27		1130	8.7	5			
			洞片	95	O27		1252	1.9	5			
			洞片	95	N28		61	5.3	5			
			洞片	95	N28		76	8.2	5			
			洞片	95	N28		125	9.9	5			
			洞片	95	N28		136	13.3	5			
			洞片	95	N28		158	50.8	5			
			洞片	95	N28		208	26.3	4			
			洞片	95	N28		184	102.4	5			
			洞片	95	N28		188	27.9	5			
			洞片	95	N28		188	2.1	5			
			洞片	95	O27		1284	5.6	5			
			洞片	95	N28		249	4.4	5			
			洞片	95	N28		254	4.3	5			
			洞片	95	N28		278	5.9	5			
			洞片	95	N28		284	15.8	5			
			洞片	95	O27		614	3.3	5			
			洞片	95	N28		291	12.8	5			
			洞片	95	N28		296	1.1	5			
			洞片	95	N28		334	1.8	5			
			洞片	95	N28		378	6.3	5			
			洞片	95	N28		379	12.1	5			
			洞片	95	N28		386	43.3	5			
			洞片	95	O27		529	2.3	5			
			洞片	95	N29		586	20.3	5			
			洞片	95	N28		1389	18.5	5			
			洞片	95	N29		1828	8.2	5			
			洞片	95	O28		203	15.0	4			
			龍民洞片	95	O28		205	28.1	4			
			洞片	95	O27		667	11.8	5			
			洞片	95	O28		233	4.7	4			
			洞片	95	O27		802	5.2	5			
			洞片	95	O28		256	11.1	4			
			洞片	95	O27		231	5.0	5			
			洞片	95	O27		389	2.1	5			
			洞片	95	O28		260	1.7	4			
			洞片	95	O28		263	16.7	4			
			洞片	95	O27		461	585.0	5			
			洞片	95	O28		291	4.9	4			
			洞片	95	O28		328	4.1	4			
			洞片	95	O27		119	22.4	5			
			洞片	95	O27		142	15.1	5			
			洞片	95	O27		143	4.5	5			
			洞片	95	O27		130	6.3	5			
			洞片	95	O27		133	10.6	5			
			洞片	95	O27		233	6.3	5			
			洞片	95	O27		347	2.9	5			
			洞片	95	O27		606	30.1	5			
			洞片	95	O27		902	1.4	5			

線区	区画	番号	路線名	SS	変換区	種別	動物の重量	重量	長さ(m)	石質	母岩%	積石%
			洞片	95	O27		263	302.9	5			
			洞片	95	O27		295	6.2	5			
			洞片	95	P26		248	8.6	5			
			洞片	95	O27		323	14.0	5			
			洞片	95	O27		715	21.6	5			
			洞片	95	O27		371	3.1	5			
			洞片	95	O27		1279	4.3	5			
			洞片	95	O27		1338	7.5	5			
			洞片	95	O27		263	5.3	5			
			洞片	95	O27		413	8.4	5			
			洞片	95	O27		408	3.8	5			
			洞片	95	O27		522	6.6	5			
			洞片	95	O27		527	7.7	5			
			洞片	95	O27		541	9.9	5			
			洞片	95	O27		588	37.2	5			
			洞片	95	O27		866	28.9	5			
			洞片	95	O27		617	19.3	5			
			洞片	95	O27		674	5.6	5			
			龍民洞片	95	O27		989	8.9	5			
			洞片	95	O27		694	6.6	5			
			洞片	95	O27		700	17.3	5			
			洞片	95	O27		711	4.5	5			
			洞片	95	O27		267	9.4	4			
			洞片	95	O27		776	7.1	5			
			洞片	95	O27		1002	2.7	5			
			洞片	95	O27		1247	2.0	5			
			洞片	95	P28		264	6.8	5			
			洞片	95	O27		796	2.3	5			
			洞片	95	O27		806	1.7	5			
			洞片	95	O27		848	35.0	5			
			洞片	95	O27		858	2.2	5			
			洞片	95	O27		829	3.9	5			
			洞片	95	O27		1088	12.3	5			
			洞片	95	O27		1090	5.1	5			
			洞片	95	O27		1058	4.1	5			
			洞片	95	O27		1098	17.4	5			
			洞片	95	O27		1171	17.0	5			
			洞片	95	O27		1259	2.1	5			
			洞片	95	O27		1254	5.6	5			
			洞片	95	P26		138	4.8	5			
			洞片	95	P26		200	4.8	5			
			洞片	95	P26		201	11.8	5			
			洞片	95	P26		208	8.3	5			
			洞片	95	P26		239	23.7	5			
			洞片	95	P28		212	6.3	5			
			洞片	95	P28		230	14.9	5			
			洞片	95	P26		241	35.2	5			
			洞片	95	P26		263	6.5	5			
			洞片	95	P26		277	2.1	5			
			洞片	95	P26		283	10.3	5			
第-366	250	406	複合資料	95				86.4	7	4	--	3244
			矢野器洞片	95	O28		260	1.7	4			
--	198	417	矢野器洞片	95	O28		580	1.2	4			
			洞片	95	Q28		216	7.5	4			
--	198	416	矢野器洞片	95	P28		4486	6.9	4			
第-229	582	56	矢野器	95	P28		6926	18.4	4			
			洞片	95	P29		386	6.9	4			
			洞片	95	Q27		560	31.8	4			
第-267	250	407	複合資料	95				82.1	9	1	729	3284
--	200	448	龍民洞片	95	L27		413	10.8	1			
--	200	449	龍民洞片	95	M27		422	3.3	1			
			洞片	95	N27		264	8.9	1			
			龍民洞片	95	M27		738	28.0	1			
			洞片	95	M27		738	19.4	1			
第-236	186	142	龍民	95	M27		911	37.1	1			

上白滝8道跡(2)

線区	区画	番号	路線等	SS	変換区	種別	測点番号	重量	長さ(m)	石積	母材%	積石%
			測り	95	N28		430	5.7	2			
			測り	95	N28		438	4.2	2			
			測り	95	N28		466	3.2	2			
			測り	95	N28		477	2.0	2			
			測り	95	N28		479	4.0	2			
			測り	95	N28		473	2.5	2			
			測り	95	N28		479	0.8	2			
			測り	95	N29		384	6.9	2			
			測り	95	N28		482	1.4	2			
			測り	95	N28		318	2.1	2			
			測り	95	N29		901	3.8	2			
			測り	95	N29		1294	4.7	2			
			測り	95	N28		486	14.1	2			
			測り	95	O28		1848	2.4	2			
			測り	95	N28		489	3.7	2			
			測り	95	N28		542	5.8	2			
			測り	95	O27		802	3.0	2			
			測り	95	O28		293	43.4	2			
			測り	95	N28		393	61.6	2			
			測り	95	N28		519	5.2	2			
			測り	95	N28		520	1.4	2			
			測り	95	N28		522	2.2	2			
			測り	95	N28		526	4.5	2			
			測り	95	N28		527	45.1	2			
			測り	95	N28		528	39.1	2			
			測り	95	O28		1166	2.6	2			
			測り	95	O28		1832	9.0	2			
			測り	95	N28		541	15.6	2			
			測り	95	N28		544	6.8	2			
			測り	95	N29		227	2.7	2			
			測り	95	O28		1971	1.0	2			
			測り	95	N29		267	1.2	2			
			測り	95	N29		547	2.4	2			
			測り	95	N29		717	10.6	2			
			測り	95	O28		1843	3.1	2			
			測り	95	N29		558	4.3	2			
			測り	95	O28		1999	19.0	2			
			測り	95	N29		716	9.5	2			
			測り	95	N29		806	11.3	2			
			測り	95	N29		908	10.5	2			
			測り	95	N29		915	1.5	2			
			測り	95	N28		930	134.9	2			
			測り	95	N29		1350	4.1	2			
			測り	95	O27		1351	4.0	2			
			測り	95	O28		1746	8.4	2			
			測り	95	O28		48	8.4	2			
			測り	95	O28		431	7.2	2			
			測り	95	O28		773	1.2	2			
			測り	95	O28		876	2.3	2			
			測り	95	O28		1345	3.8	2			
			測り	95	O28		1883	7.7	2			
			測り	95	O28		2005	4.1	2			
			測り	95	O28		1741	13.5	2			
			測り	95	O28		1832	2.4	2			
			測り	95	O28		1923	3.0	2			
			測り	95	O28		1821	2.5	2			
			測り	95	O28		1953	4.0	2			
			測り	95	O28		1826	10.4	2			
			測り	95	O28		1829	3.4	2			
			測り	95	O28		1929	1.7	2			
			測り	95	O28		1833	3.1	2			
			測り	95	O28		2008	8.2	2			
			測り	95	O28		1963	12.3	2			
			測り	95	O28		1972	1.8	2			
			測り	95	O28		2006	6.0	2			

線区	区画	番号	路線等	SS	変換区	種別	測点番号	重量	長さ(m)	石積	母材%	積石%	
			測り	95	O28		2021	15.2	2				
			測り	95	O28		2023	2.2	2				
一	252	307	鎌倉資料	95-96					1126, 7	71	2	1004	4307
			測り	96	J25	1	11	4.8	2				
			測り	96	L24		192	128.8	2				
			測り	96	K24		94	1.5	2				
			測り	96	L24		299	7.4	2				
			測り	96	N22		153	2.9	2				
			測り	96	N23		77	3.3	2				
			測り	96	K24	2	42	1.9	2				
			測り	96	K24	2	110	1.2	2				
			測り	96	N24		4	18.7	2				
二	220	175	20	穴部部	96	M23		82	148.9	2			
			測り	96	M23		137	33.8	2				
			測り	96	M23		273	49.7	2				
			測り	96	M23	2	4	1.0	2				
			測り	96	M24		1	13.6	2				
			測り	96	M24		2	6.8	2				
			測り	96	O22		12	2.6	2				
			測り	96	M23		117	22.9	2				
			測り	95	N29		1067	4.8	2				
			測り	95	O29		1801	1.6	2				
			測り	95	O29		2263	8.0	2				
			測り	95	P28		3013	3.0	2				
			測り	95	P28		6682	8.9	2				
			測り	95	P28		7294	3.5	2				
			測り	95	P28		7439	17.9	2				
			測り	95	N29		1422	11.0	2				
			測り	95	P28		6297	2.5	2				
			測り	95	N29		1491	4.4	2				
			測り	95	N29	2	38	0.9	2				
			測り	95	N30		335	9.0	2				
			測り	95	O29		2389	5.9	2				
			測り	95	P28		6244	2.7	2				
			測り	95	P28		6245	3.2	2				
			測り	95	Q27	2	18	2.1	2				
			測り	95	N29		1536	9.5	2				
			測り	95	P28		6083	8.2	2				
			測り	95	N30		425	35.1	2				
			測り	95	P27	2	11	1.0	2				
			測り	95	P28		3254	1.9	2				
			測り	95	P28		3638	15.4	2				
			測り	95	P28		7003	2.8	2				
			測り	96	O22		2	36.8	2				
			測り	96	O22		4	23.0	2				
			測り	96	O22		5	1.9	2				
			測り	96	O22		6	47.1	2				
			測り	96	O22		10	4.8	2				
			測り	96	O22		11	8.1	2				
			測り	96	O22		8	3.1	2				
			測り	96	O22		9	4.6	2				
			測り	96	O23		9	1.6	2				
			測り	96	O23		7	53.4	2				
			測り	96	O23		8	2.2	2				
			測り	96	O23		19	106.4	2				
			測り	96	O23		14	6.0	2				
			測り	95	O29		754	1.9	2				
			測り	95	O29		1710	23.7	2				
			測り	95	O29		1722	3.1	2				
			測り	95	P28		5046	26.0	2				
			測り	95	O29		2276	29.2	2				
			測り	95	O29		1431	2.1	2				
			測り	95	P28		5265	8.8	2				
			測り	95	P28		5096	3.7	2				
			測り	95	P28		5653	3.3	2				

年度	国名	番号	造物名	№	発願日	竣工日	建設費(千円)	延長(m)	石室	坪坪%	坪坪%
			洞門	95	Q26	1994	15.5	2			
				95	P28	1958	2.4	2			
				95	P28	6027	3.9	2			
				95	P28	6040	12.4	2			
			洞門	95	P28	7005	12.4	2			
			洞門	95	Q27	803	10.7	2			
				95	Q27	877	7.4	2			
				95	Q27	904	17.4	2			
				95	Q27	15	3.1	2			
—	233	308	総合資料	95-95		1826.2	75	1-5	754	3417	
			洞門	95	L27	9	7.1	1			
				95	S27	17	9.9	5			
				95	N27	113	9.2	1			
				95	P25	234	3.1	1			
				95	P26	26	21.6	1			
			洞門	95	M26	6	3.5	1			
				95	N26	142	16.2	1			
				95	P25	498	9.7	1			
			洞門	95	N26	15	10.1	1			
				94	F46	876	5.3	1			
			洞門	95	N26	403	18.9	1			
			洞門	95	N26	617	17.5	5			
				95	Q26	315	6.2	1			
				95	Q26	489	9.0	1			
				95	Q26	39	6.9	1			
			洞門	95	N26	422	44.0	1			
				95	P24	41	9.9	1			
				95	P25	208	15.9	1			
				95	P25	325	11.0	1			
			洞門	95	N26	1	13.3	1			
				95	N27	171	41.9	1			
				95	Q25	29	10.6	1			
				95	Q26	300	64.1	5			
				95	P25	145	64.7	1			
			洞門	95	N27	126	10.4	1			
				95	Q27	444	13.8	1			
			洞門	95	N27	243	3.9	1			
			洞門	95	N27	344	109.8	1			
				95	N27	1436	30.4	1			
				95	Q26	365	4.4	1			
			洞門	95	N27	1204	2.1	1			
				95	Q27	427	1.6	1			
				95	Q27	426	8.5	1			
			洞門	95	N26	13	1.6	1			
				95	Q26	112	8.8	1			
			洞門	95	N26	54	46.6	1			
			洞門	95	Q25	25	10.6	1			
				95	Q25	227	12.0	1			
				95	Q25	238	3.8	5			
				95	P25	564	32.4	1			
				95	P25	622	10.7	1			
				95	P26	15	6.2	5			
			洞門	95	Q25	189	6.5	1			
				95	Q27	137	5.5	1			
				95	P25	75	4.9	1			
				95	P25	211	42.9	1			
			洞門	95	Q25	191	14.4	1			
				95	Q26	388	28.8	1			
				95	P25	131	207.3	5			
			洞門	95	Q26	82	12.3	1			
			洞門	95	Q26	95	6.1	1			
				95	Q26	119	10.1	1			
				95	P25	102	28.9	1			
				95	P25	523	16.7	1			
			洞門	95	Q26	100	19.9	1			
				95	P26	100	22.8	1			
				95	Q26	120	5.3	1			
			洞門	95	Q27	81	18.9	1			
				95	P25	115	5.4	1			
			洞門	95	Q27	284	5.8	1			
				95	Q28	602	8.1	1			
			洞門	95	Q27	390	4.8	1			
				95	Q27	622	2.7	1			
			洞門	95	Q27	748	17.0	5			
				95	P25	161	27.8	1			
			洞門	95	Q27	693	13.0	5			
				95	P25	78	65.3	1			
				95	P25	228	22.5	1			
				95	P25	334	18.1	1			
				95	P25	306	12.5	1			
				95	P25	469	6.4	1			
				95	P25	726	17.6	5			
				95	P25	17	5.1	1			
9-20	124	19	北尾橋	95	P26	107	7.1	1			
				95	P26	225	15.9	1			
—	234	309	総合資料	95		1329.9	10	1-5	754	3417	
			洞門	95	M25	8	5.7	1			
				95	M28	363	7.7	1			
			洞門	95	N26	83	2.7	1			
				95	N26	206	4.6	1			
				95	Q26	434	92.1	1			
			洞門	95	N26	128	2.5	1			
				N27	1	8	18.3	1			
				95	Q26	377	33.2	1			
				95	P25	180	105.0	1			
			洞門	95	N26	190	4.4	1			
				N27	1	12	7.0	1			
				Q24	1	1	2.1	1			
				95	Q26	209	34.7	1			
				95	P25	70	9.6	1			
				95	P25	609	7.9	1			
			洞門	95	N26	600	10.1	1			
				95	N27	434	16.1	1			
				95	P25	322	15.0	1			
			洞門	95	N27	82	2.6	1			
				95	N27	694	13.5	1			
				95	Q26	337	13.8	1			
				95	Q27	476	31.5	1			
				95	Q25	13	11.4	1			
			洞門	95	N27	219	32.6	1			
				95	N27	963	27.6	1			
				95	P25	246	2.8	1			
			洞門	95	N27	804	3.8	1			
				95	Q26	318	10.2	1			
				95	Q27	1099	6.3	1			
				95	Q27	1094	2.6	1			
				95	P25	51	5.5	1			
				95	P25	226	14.9	1			
			洞門	95	N27	1010	16.5	1			
				95	Q25	30	11.5	1			
				95	Q25	207	5.9	1			
			洞門	95	N27	595	1.9	1			
			洞門	95	N27	1797	9.1	5			
				95	P25	861	4.1	1			
			洞門	95	Q25	228	26.2	1			
				95	Q25	226	16.3	1			
			洞門	95	Q26	106	1.8	1			
				95	Q26	248	14.1	1			
				95	Q27	431	44.2	1			
				95	P25	81	2.9	1			

線区	区間	番号	設備名	No.	架設区	種別	建設番号	重量	自重(kg)	石質	積立率	保安%
			鋼片	95	L29		361	6.9	2			
			鋼片	95	L29		426	6.5	2			
			鋼片	95	L29		442	2.3	3			
			鋼片	95	S27		590	11.7	3			
一	257	513	複合資料	95			271.2	15	4	850	3300	
			鋼片	95	P28		233	9.9	4			
				95	P29	1	77	6.7	4			
			鋼片	95	P28		335	4.2	4			
				95	P28		892	2.2	4			
				95	P28		3614	2.1	4			
			鋼片	95	P28		3963	7.4	4			
				95	P28		1218	66.0	4			
				95	P28		2000	66.9	4			
				95	P29		388	43.6	4			
				95	P29		1251	34.6	4			
				95	Q27		427	22.0	4			
			鋼片	95	P28		3911	2.4	4			
			鋼片	95	P28		2628	1.6	4			
			鋼片	95	P28		2899	2.9	4			
				95	P28		392	13.5	4			
一	257	514	複合資料	95			2092.6	64	2	197	3533	
			鋼片	95	L30		15	32.2	2			
				95	O29		306	39.9	2			
				95	P28		2800	6.9	2			
				95	P28		4391	15.7	2			
				95	P28		4958	3.1	2			
				95	P28		7514	463.2	2			
				95	P28		7141	1.7	2			
				95	Q27		594	75.4	2			
				95	Q28		591	14.8	2			
			鋼片	95	M30		379	28.4	2			
				95	M29		743	37.4	2			
			鋼片	95	M29		572	9.3	2			
				95	M29		937	31.1	2			
				95	M30		335	8.5	2			
			鋼片	95	M29		1280	11.4	2			
				95	Q28		630	11.1	2			
			鋼片	95	M30		319	13.8	2			
				95	P28		5296	19.4	2			
			鋼片	95	O29		1362	10.6	2			
				95	O29		1725	6.4	2			
				95	P28		3977	229.5	2			
				95	P28	1	265	10.7	2			
			鋼片	95	O29		629	11.5	2			
				95	P28		2510	6.8	2			
				95	P28		6630	3.3	2			
				95	P29		751	86.1	2			
				95	P29		1197	5.6	2			
			鋼片	95	P28		43	2.8	2			
			鋼片	95	P28		617	12.6	2			
				95	P28		797	23.9	2			
				95	P28		2711	17.4	2			
			鋼片	95	P28		1899	30.7	2			
				95	Q28		459	8.8	2			
			鋼片	95	P28		2623	6.1	2			
				95	P28		2667	5.3	2			
				95	P28		5290	1.9	2			
			鋼片	95	P28		3419	14.5	2			
				95	Q28		394	7.4	2			
			鋼片	95	P28		4422	181.2	2			
				95	P28		5658	30.1	2			
			鋼片	95	P28		5360	50.7	2			
				95	P28		3263	114.7	2			
			鋼片	95	P28		1292	9.0	2			
				95	Q27		636	6.7	2			

線区	区間	番号	設備名	No.	架設区	種別	建設番号	重量	自重(kg)	石質	積立率	保安%
				95	Q28		369	5.5	2			
			鋼片	95	P28		5299	13.4	2			
				95	P28		6753	15.5	2			
				95	P28		6980	65.0	2			
				95	P28		7219	98.0	2			
			鋼片	95	P28		5694	15.8	2			
				95	P28		5706	27.4	2			
				95	P28		6143	22.6	2			
				95	P28		7222	106.8	2			
			鋼片	95	P28		6601	214.0	2			
			鋼片	95	P28		6724	15.9	2			
				95	P28		6751	5.8	2			
				95	P28		6754	20.1	2			
				95	P28		7002	3.6	2			
				95	P28		7223	22.0	2			
			鋼片	95	P28		7226	42.5	2			
			鋼片	95	Q27		843	2.7	2			
			鋼片	95	Q27		888	4.2	2			
			鋼片	95	Q28		100	8.6	2			
				95	Q28		400	15.6	2			
一	258	515	複合資料	95			1115.8	100	3-4	811	3106	
			鋼片	95	M29		263	6.7	4			
				95	L28		427	8.4	4			
				95	L28		1961	18.4	3			
			鋼片	95	M29	1	3	4.1	4			
			鋼片鋼片	95	L27		353	16.4	4			
				95	L27		109	21.5	4			
				95	L28	1	15	7.0	4			
			鋼片	95	L28		64	4.1	4			
			鋼片	95	L28		68	8.5	4			
			鋼片	95	L28		72	2.7	3			
			鋼片鋼片	95	L28		181	7.2	4			
				95	L29		298	1.9	4			
				95	L29		320	4.7	4			
				95	M28		122	18.6	4			
				95	M28		305	5.0	4			
				95	O28	1	30	8.1	4			
			鋼片	95	L28		245	34.7	4			
				95	L28		965	6.0	3			
			鋼片	95	L28		258	15.2	3			
				95	L28		286	3.4	3			
				95	L29		364	4.8	4			
			鋼片	95	L28		290	1.4	4			
				95	L28		962	2.8	3			
				95	L29		1787	24.2	4			
			鋼片	95	L28		161	14.9	3			
				95	L29		182	5.0	4			
			鋼片	95	L28		968	3.6	3			
				95	L28		1336	13.5	3			
				95	L29		137	5.3	4			
				95	L29		200	2.5	4			
			鋼片	95	L28		364	3.8	3			
				95	L29		113	81.2	4			
				95	L29		271	7.3	4			
			鋼片	95	L28		380	3.6	4			
				95	L28		611	5.2	4			
				95	L28		867	4.3	4			
			鋼片	95	L28		630	4.4	3			
				95	L28		638	3.4	3			
			鋼片	95	L28		739	3.4	3			
				95	L29		228	3.0	4			
			鋼片	95	L28		726	2.3	4			
				95	L29		757	1.5	4			
			鋼片	95	L28		745	2.1	4			
				95	L28		751	2.2	4			

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	道跡番号	SS	変換区	標高	標高差	延長	延長率	石積	母岩%	積石%
			測尺	95	1.28	853	5.0	4				
			測尺	95	1.28	1039	25.0	4				
			測尺	95	1.28	1048	97.4	4				
			測尺	95	1.28	1520	4.7	4				
			測尺	95	1.28	1527	36.0	3				
			測尺	95	1.29	466	4.1	4				
			測尺	95	1.28	1526	49.3	3				
			測尺	95	1.29	244	7.5	4				
			測尺	95	1.28	1535	95.5	3				
			測尺	95	1.28	1538	5.2	3				
			測尺	95	1.29	131	5.9	4				
			測尺	95	1.29	204	33.5	4				
			測尺	95	1.28	1534	20.7	4				
			測尺	95	1.28	1561	12.9	3				
			測尺	95	1.28	1563	6.8	3				
			測尺	95	1.29	380	46.8	4				
			測尺	95	1.28	1567	6.3	3				
			測尺	95	1.29	439	6.9	4				
			測尺	95	1.28	1570	37.0	3				
			測尺	95	1.29	215	15.0	4				
			測尺	95	1.28	1578	11.3	4				
			測尺	95	1.28	808	36.4	4				
			測尺	95	1.28	1610	3.0	4				
			測尺	95	1.28	1762	5.9	3				
			測尺	95	1.28	1583	5.9	4				
			測尺	95	1.29	16	6.8	4				
			測尺	95	1.28	54	14.0	4				
			測尺	95	1.29	29	6.0	4				
			測尺	95	1.29	42	5.8	4				
			測尺	95	1.29	50	7.8	4				
			測尺	95	1.29	58	2.2	4				
			測尺	95	1.29	96	4.5	4				
			測尺	95	1.29	170	29.9	4				
			測尺	95	1.29	99	10.6	4				
			測尺	95	1.29	105	17.4	4				
			測尺	95	1.29	111	5.9	4				
			測尺	95	1.28	138	5.4	4				
			測尺	95	1.29	129	33.9	4				
			測尺	95	1.29	280	3.2	4				
			測尺	95	1.29	335	2.9	4				
			測尺	95	1.29	380	24.7	4				
			測尺	95	1.28	347	7.7	4				
			測尺	95	1.29	151	1.9	4				
			測尺	95	1.28	154	3.2	4				
			測尺	95	1.29	286	3.8	4				
			測尺	95	1.29	198	2.3	4				
			測尺	95	1.29	352	1.7	4				
			測尺	95	1.29	181	13.4	4				
			測尺	95	1.29	187	1.2	4				
			測尺	95	1.29	197	7.6	4				
			測尺	1.29	I	6	4.8	4				
			測尺	95	1.29	242	6.1	4				
			測尺	95	1.29	285	5.5	4				
			測尺	95	1.29	448	5.4	4				
			測尺	1.29	I	7	6.5	4				
			測尺	95	1.28	800	5.7	4				
		238	536	総合資料	95		2998.9	157	4	907	3069	
			測尺	95	N29	33	35.6	4				
			測尺	N29	I	35	3.2	4				
			測尺	95	O29	1136	9.2	4				
			測尺	95	P28	2507	6.5	4				
			測尺	95	N28	87	2.1	4				
			測尺	95	N29	254	33.5	4				
			測尺	95	O29	369	8.4	4				
			測尺	95	P28	1049	4.0	4				

線区	区間	番号	道跡番号	SS	変換区	標高	標高差	延長	延長率	石積	母岩%	積石%
			測尺	95	N29	626	16.1	4				
			測尺	95	O29	448	28.6	4				
			測尺	N29	I	30	23.7	4				
			測尺	95	P27	411	13.0	4				
			測尺	95	P28	2380	4.0	4				
			測尺	95	P28	5666	5.4	4				
			測尺	95	P29	51	3.4	4				
			測尺	N30	I	10	26.3	4				
			測尺	95	O29	856	7.7	4				
			測尺	95	P28	2599	2.8	4				
			測尺	95	P28	3569	130.2	4				
			測尺	95	P28	3085	6.4	4				
			測尺	95	P28	9657	3.8	4				
			測尺	95	P28	7195	6.4	4				
			測尺	95	O28	269	13.5	4				
			測尺	95	O28	453	4.8	4				
			測尺	95	O28	694	16.1	4				
			測尺	95	O29	428	1.9	4				
			測尺	95	P28	2038	30.5	4				
			測尺	95	P28	2609	13.0	4				
			測尺	95	O28	1143	4.2	4				
			測尺	95	O29	1070	18.5	4				
			測尺	95	O28	1225	5.2	4				
			測尺	95	O28	1430	4.8	4				
			測尺	95	O28	1519	11.0	4				
			測尺	95	O28	1679	8.6	4				
			測尺	95	P27	154	5.3	4				
			測尺	95	P27	342	10.4	4				
			測尺	95	P28	2092	1.2	4				
			測尺	95	P28	3567	3.8	4				
			測尺	95	O28	1361	7.5	4				
			測尺	95	O29	I	123	85.9	4			
			測尺	O29	II	136	2.1	4				
			測尺	95	P28	2697	1.4	4				
			測尺	95	P28	7290	2.6	4				
			測尺	95	O28	1575	3.3	4				
			測尺	95	O28	1667	25.3	4				
			測尺	95	O28	1727	11.4	4				
			測尺	95	P28	2380	6.4	4				
			測尺	95	O28	1916	1.9	4				
			測尺	95	O28	1917	3.8	4				
			測尺	95	O29	50	42.9	4				
			測尺	95	O29	475	9.7	4				
			測尺	95	P28	2598	1.0	4				
			測尺	95	P28	4121	2.1	4				
			測尺	95	P28	1039	2.0	4				
			測尺	95	O29	373	1.7	4				
			測尺	95	P28	4982	2.0	4				
			測尺	95	O29	622	4.3	4				
			測尺	95	O29	440	9.5	4				
			測尺	O29	I	91	120.5	4				
			測尺	95	O29	483	4.5	4				
			測尺	95	P27	194	5.2	4				
			測尺	95	P28	6615	4.1	4				
			測尺	95	O29	494	3.6	4				
			測尺	95	O29	580	2.0	4				
			測尺	95	O29	380	3.5	4				
			測尺	95	O29	952	17.8	4				
			測尺	95	O29	601	2.7	4				
			測尺	95	P28	5090	2.6	4				
			測尺	95	O29	646	3.1	4				
			測尺	95	O29	867	2.1	4				
			測尺	95	O29	929	2.7	4				
			測尺	95	P28	3075	10.3	4				
			測尺	95	P28	4062	6.3	4				

探出	探出	番号	品類等	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	検出%
			銅片	90	F28		1228	3.4	4			
				90	F28		3041	1.9	4			
			銅片	90	O29		1274	3.6	4			
			銅片	90	O29		1285	8.9	4			
				90	F28		6662	4.3	4			
			銅片	90	F27		60	1.8	4			
			銅片	90	F27		135	8.7	4			
			銅片	90	F27		233	6.1	4			
				90	F28		440	14.5	4			
				90	F28		572	68.9	4			
				90	F28		2614	1.5	4			
				90	F28		4020	3.1	4			
			銅片	90	F27		237	4.2	4			
				90	F28		3068	3.9	4			
			銅片	90	F27		337	7.2	4			
				90	F28		1479	2.8	4			
				90	F28		3130	17.6	4			
				90	F28		3071	1.8	4			
				90	F28		6638	15.0	4			
			銅片	90	F27		494	33.2	4			
				90	F28		2083	13.5	4			
				90	F28		3042	1.2	4			
				90	F28		4027	9.7	4			
			銅片	90	F27		489	4.9	4			
			銅片	90	F27		412	3.1	4			
				90	F28		1363	16.0	4			
				90	F28		3387	6.3	4			
			銅片	90	F27		312	46.7	4			
				90	F27		322	11.7	4			
				90	F28		3137	7.5	4			
				90	F28		3134	2.4	4			
				90	F28		3132	2.4	4			
				90	F28		6662	6.6	4			
			銅片	90	F27		106	17.4	4			
				90	F28		1612	18.8	4			
				90	F28		5125	3.6	4			
			銅片	90	F28		432	3.7	4			
				90	F28		3090	14.4	4			
				90	F28		4046	6.9	4			
			銅片	90	F28		513	89.0	4			
			銅片	90	F28		648	2.7	4			
				90	F28		649	1.1	4			
				90	F28		4602	3.9	4			
			銅片	90	F28		402	31.1	4			
				90	F28		4883	22.4	4			
			銅片	90	F28		911	19.8	4			
			銅片	90	F28		1395	9.6	4			
			銅片	90	F28		1790	1.2	4			
			銅片	90	F28		1791	3.9	4			
				90	F28		2284	5.2	4			
				90	F28		3091	3.7	4			
			銅片	90	F28		2035	2.1	4			
			銅片	90	F28		2548	58.2	4			
				90	F28		3542	48.6	4			
			銅片	90	F28		2397	3.5	4			
			銅片	90	F28		2403	2.2	4			
			銅片	90	F28		2607	3.6	4			
				90	F28		3064	7.9	4			
				90	F28		3092	5.6	4			
				90	F28		4664	2.3	4			
			銅片	90	F28		2623	3.2	4			
				90	F28		3086	3.2	4			
			銅片	90	F28		2689	2.4	4			
			銅片	90	F28		3028	4.9	4			
				90	F28		3133	13.8	4			

探出	探出	番号	品類等	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	検出%
				90	F28		3090	1.7	4			
			銅片	90	F28		2629	8.6	4			
			銅片	90	F28		4075	34.7	4			
			銅片	90	F28		4094	6.2	4			
			銅片	90	F28		4120	1.8	4			
			銅片	90	F28		4549	19.9	4			
			銅片	90	F28		4645	2.7	4			
			銅片	90	F28		5096	3.2	4			
			銅片	90	F28		5107	1.5	4			
			銅片	90	F28		5120	9.2	4			
				90	F28		5241	4.5	4			
			銅片	90	F28		5316	6.3	4			
			銅片	90	F28		5320	8.0	4			
			銅片	90	F28		5368	2.7	4			
			銅片	90	F28		5373	4.3	4			
			銅片	90	F28		6619	2.2	4			
			銅片	90	F28		6906	6.3	4			
			銅片	90	F28		6961	6.4	4			
			銅片	90	F28		1	70	39.8	4		
---	280	517	総合資料	90				3427.6	84	1-3-3	941	4088
			銅片	90	M30		325	14.9	3			
				90	O29		1334	26.7	3			
				90	F28		4912	32.6	3			
			銅片	90	N29		386	7.7	1			
				90	O28		1690	22.7	3			
			銅片	90	N29		652	17.0	3			
				90	N29		1065	29.9	3			
			銅片	90	N29		746	42.7	3			
				90	O29		722	5.1	3			
				90	O29		1004	32.3	1			
				90	O29		1242	76.5	3			
				90	F28		2415	7.9	3			
				90	F28		2463	21.9	3			
				90	F28		2637	23.6	3			
				90	F28		3041	11.9	3			
			銅片	90	N29		755	43.0	3			
				90	N29	I	51	22.6	3			
			銅片	90	N29		863	33.7	3			
				90	F28		364	3.6	1			
				90	F28		2414	18.3	3			
			銅片	90	N29		1381	26.8	3			
				90	O29	II	200	3.0	3			
				90	F28		2500	18.2	3			
			銅片	90	N29		1380	6.0	3			
				90	Q27		927	5.7	3			
			銅片	90	N30		329	18.6	1			
				90	F28		4145	25.7	3			
				90	F28		3270	8.3	1			
				90	F28		5299	83.8	3			
				90	F28		6322	68.3	3			
			銅片	90	N30		494	3.2	1			
				90	O29		1228	6.6	1			
				90	F28		4710	6.5	3			
			銅片	90	N30		320	14.0	3			
				90	O29		860	8.1	3			
			銅片	90	O29		118	42.9	1			
				90	O29		1049	16.1	1			
			銅片	90	O29		898	29.0	1			
				90	Q27		864	11.9	3			
			銅片	90	O29		1115	7.8	3			
				90	O29		1116	31.3	3			
				90	O29	I	199	42.3	3			
				90	F28		7320	33.4	3			
			銅片	90	O29		1229	41.9	3			
			銅片	90	O29		1329	61.4	3			

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変位(mm)	石質	母材%	配合%
				93	F-28		7368	66.5	3			
			測片	93	K30		1439	8.9	3			
			測片	93	F-28		1486	16.8	3			
			測片	93	F-28		1647	116.6	3			
			測片	93	F-28		1747	12.8	3			
			測片	93	F-28		1790	57.7	3			
			測片	93	F-28		6692	11.1	3			
			測片	93	F-28		1750	5.0	3			
			測片	93	F-28		5329	46.9	3			
			測片	93	F-28		2029	61.8	3			
			測片	93	F-28		2196	47.2	3			
			測片	93	F-28		1942	26.5	3			
			測片	93	F-28		6484	3.7	3			
一	196	422	鋼筋	93	F-28		736	52.5	3			
			測片	93	F-28		1627	14.7	3			
			測片	93	F-28		1386	6.0	3			
			測片	93	F-28		2700	32.4	3			
			測片	93	F-28		4339	7.0	3			
			測片	93	F-28		5688	12.8	3			
			測片	93	F-28		165	33.0	3			
			測片	93	F-28		849	63.2	3			
			測片	93	F-28		2665	24.9	3			
			測片	93	F-28		6989	8.4	3			
			測片	93	F-28		8937	10.5	3			
			測片	93	F-28		4808	29.0	3			
			測片	93	F-28		536	15.5	3			
			測片	93	F-28		5691	10.1	1			
			測片	93	F-28		6712	16.0	3			
			測片	93	F-28		5765	7.4	3			
			測片	93	F-28		7177	21.0	3			
			測片	93	F-28		5932	6.0	1			
			測片	93	F-28		6383	11.6	3			
			測片	93	F-28		7383	36.1	3			
			測片	93	F-28		7404	10.9	1			
			測片	93	F-28		7731	141.9	3			
			測片	93	F-28		977	77.7	3			
			測片	93	F-28		7669	105.8	3			
			測片	93	F-28		7782	30.5	3			
			測片	93	F-28		930	20.4	3			
一	200	518	複合資料	中野実生				3129.7	352	1-5	683	3332
			測片	94	L31		527	13.1	1			
			測片	95	L30		79	2.0	1			
			測片	95	K30		51	5.2	3			
			測片	90	K31		2032	2.2	3			
			測片	93	L30		321	34.9	3			
			測片	93	L30		322	14.3	3			
			測片	93	L30		337	106.2	3			
			測片	93	L30		647	13.1	3			
			測片	132	1		1	19.8	1			
			測片	96	J31		832	32.3	1			
			測片	93	K31		2239	11.5	3			
			測片	93	L30		269	1.7	1			
			測片	95	L30		287	6.7	1			
			測片	93	L30		770	7.4	3			
			測片	90	J31		886	5.6	1			
			二次加工本心測片	90	J31		983	78.7	1			
			鋼筋測片	90	J31		1013	5.2	1			
			鋼筋測片	90	J31		1039	8.1	1			
			鋼筋測片	90	K31		2140	29.0	1			
			鋼筋測片	90	J31		1089	5.4	1			
			測片	93	K30		114	36.2	3			
			測片	90	J31		1832	2.7	1			
			測片	90	J31		1987	4.6	1			
			測片	93	K30		364	20.6	1			
			測片	93	K30		414	5.2	1			
			測片	93	K31		1385	10.9	1			
			測片	93	L30		242	2.3	1			
			測片	93	L30		280	5.7	1			
			測片	90	J31		2149	32.7	3			
			測片	90	K31		240	8.5	3			
			測片	93	K31		339	5.7	1			
			測片	93	M30		778	28.0	3			
			測片	93	K30		43	13.2	3			
			測片	93	L31		913	7.2	3			
			測片	93	K30		10	16.7	3			
			測片	93	L30		126	67.4	3			
			測片	93	K30		79	4.1	3			
			測片	93	K30		134	10.1	3			
			測片	93	L30		264	16.5	1			
			測片	93	L30		687	16.1	1			
			測片	90	L31		164	3.4	1			
			測片	93	K30		152	0.5	1			
			測片	93	L30		753	13.2	3			
			測片	93	K30		210	23.1	3			
			測片	93	K30		419	56.9	3			
			測片	93	L31		936	3.5	1			
			測片	93	K30		211	306.6	1			
			測片	93	K30		301	38.4	1			
			測片	93	L30		664	3.3	1			
			測片	93	K30		212	4.9	3			
			測片	93	K30		214	9.3	3			
			測片	93	K30		282	1.2	1			
			測片	93	L30		441	7.9	1			
			測片	93	K30		213	4.7	3			
			測片	93	K30		271	6.7	3			
			測片	93	L30		371	32.8	3			
			測片	93	L30		794	9.9	3			
			測片	93	K30		218	5.9	1			
			測片	93	L30		329	9.8	1			
			測片	93	L30		531	52.3	1			
			測片	93	L30		727	4.8	3			
			測片	93	L30		732	18.9	3			
			鋼筋測片	93	K30		219	10.4	1			
			測片	93	K30		243	13.6	1			
			鋼筋測片	93	K30		247	3.1	1			
			測片	93	K31		2249	11.7	1			
			測片	93	K30		249	12.7	1			
			測片	93	K30		362	2.2	1			
			測片	93	K30		386	14.0	3			
			測片	90	K31		1383	13.4	3			
			測片	93	L30		383	7.0	3			
			測片	93	K30		275	1.7	3			
			測片	93	K30		428	17.0	1			
			測片	90	K31		1741	48.4	3			
			測片	93	L30		306	2.1	1			
			測片	93	K30		335	0.8	1			
			測片	93	K30		338	21.3	1			
			測片	93	K30		339	92.4	1			
			測片	93	K30		341	106.6	1			
			測片	93	K30		342	28.8	3			
			測片	93	K30		381	72.5	1			
			測片	93	K30		424	3.3	3			
			測片	93	K30		425	2.7	3			
			測片	90	K31		531	10.1	3			
			測片	93	L30		158	2.7	3			
			測片	93	L30		619	1.5	1			
			測片	93	L30		281	10.9	3			
			測片	90	K31		538	2.7	3			
			測片	93	K31		543	7.4	1			
			測片	93	K31		932	8.1	3			

探出	探出	番号	遺物番号	品名	材質	重量	容積	石室	埋没率	検出率			
			90	K31	903	17.1		1					
			90	K31	1745	27.3		1					
			90	L30	424	19.0		1					
			90	K31	904	5.4		5					
			90	K31	940	7.3		1					
			90	K31	1003	20.1		1					
			90	K31	2132	41.8		5					
			90	L30	100	11.3		5					
		次加工未定期	90	K31	2241	302.2		5					
			90	L30	49	8.1		5					
			90	L30	181	7.6		1					
			90	L30	197	6.9		1					
			90	L30	324	4.9		2					
			90	L30	385	3.0		5					
			90	L30	486	2.6		1					
			90	L30	502	3.1		5					
			90	L30	771	5.0		5					
			90	L30	798	3.4		5					
			90	L30	397	6.4		1					
			90	L30	398	2.2		1					
			90	L30	402	11.8		1					
			90	L31	965	5.5		5					
			90	L30	410	25.1		5					
			90	L30	791	9.8		1					
			90	L30	428	1.2		1					
			90	L30	439	1.3		1					
			90	L30	490	24.7		1					
			90	L30	508	1.4		5					
			90	L30	592	1.2		5					
			90	L30	528	1.8		5					
			90	L30	561	46.5		5					
			90	L30	500	5.1		5					
			90	L30	592	2.7		1					
			90	L30	603	5.8		1					
			90	L30	739	6.6		1					
			90	L30	551	105.1		5					
			90	L30	567	16.7		5					
			90	L30	566	22.9		5					
			90	L30	510	5.3		5					
			90	L30	513	4.9		1					
			90	L30	612	1.2		5					
			90	L30	593	43.1		5					
			90	L30	596	58.5		1					
			90	L30	594	6.8		5					
			90	L30	784	2.0		1					
			90	L30	806	6.3		5					
			90	L30	433	7.8		1					
			90	L30	428	6.4		1					
			90	L30	719	4.8		1					
			90	L30	643	11.9		5					
			90	L30	405	7.8		5					
			90	L30	662	7.1		5					
			90	L30	667	1.5		5					
			90	L30	670	2.4		5					
			90	L30	699	2.0		5					
			90	L30	695	1.7		1					
			90	L30	715	1.2		5					
			90	L30	720	9.9		5					
			90	L30	725	9.9		1					
			90	L30	772	5.7		5					
			90	L31	961	9.5		1					
			90	L30	836	6.7		5					
			90	L30	821	6.1		5					
			90	L31	937	8.2		5					
			90	L31	962	31.2		1					
			90	L31	131	903	9.3		1				
			90	L31	131	964	37.8		5				
			90	M30	627	23.4		1					
			90	M30	766	33.3		5					
			90	M30	851	23.0		5					
			90	M30	857	31.5		5					
		1-3-0	281	629	複合資料	90			2547.9	51	1-3-0	940	4067
		2-1	183	76	同前調整石器	90	L27		230	173.4		1	
			90	L27	498	37.5		5					
			90	M26	343	7.9		1					
			90	M27	829	3.9		5					
			90	O36	415	43.4		3					
			90	L27	861	14.6		1					
			90	L27	865	36.3		1					
			90	L27	930	6.2		5					
			90	M26	398	16.3		1					
			90	O36	490	84.6		5					
			90	L27	1090	2.7		5					
			90	L28	619	37.7		1					
			90	N26	560	252.9		5					
			90	L27	1067	13.3		1					
			90	L28	160	6.0		1					
			90	N26	398	71.9		5					
			90	L28	229	41.1		3					
			90	M26	457	3.1		3					
			90	M27	824	11.9		1					
			90	M26	106	23.2		1					
			90	M27	817	4.8		5					
			90	M27	888	28.7		1					
			90	M27	40	136.6		1					
			90	M27	797	7.3		1					
			90	M27	802	6.2		1					
			90	M27	939	32.5		1					
			90	M27	967	48.7		1					
			90	M27	1023	18.6		1					
			90	N26	497	58.1		5					
			90	M27	1119	8.6		1					
			90	N26	307	235.3		1					
			90	N26	368	17.6		5					
			90	N26	392	262.5		1					
			90	N26	400	38.4		5					
			90	N26	494	11.9		5					
			90	N26	541	23.9		5					
			90	N26	605	8.8		5					
			90	N26	565	233.0		5					
			90	N26	609	63.4		5					
			90	N26	514	96.8		5					
			90	N27	383	1.4		1					
			90	N27	170	17.7		5					
			90	N27	1017	73.9		5					
			90	N27	1548	5.0		5					
			90	N27	1100	8.0		5					
			90	N27	1107	33.1		5					
			90	N27	1603	16.2		1					
			90	O36	497	27.7		5					
			90	御土	224	46.1		5					
			90	O36	172	34.6		3					
			90	複合資料	Q25	136	8.6		5				
		1-3-0	282	629	複合資料	90			1297.7	41	1-3-0	938	4077
			90	K27	163	6.5		5					
			90	L27	108	25.0		1					
			90	L27	256	8.1		5					
			90	L27	300	29.0		5					
			90	L27	394	11.6		5					
			90	L27	911	14.0		5					

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	架設年	SS	架設区	種別	橋脚形式	長さ	高さ	石質	母岩%	積石%
				95	1-27	1053	44.8	3				
			鋼片	95	1-27	394	25.6	3				
				95	M26	360	27.5	3				
			鋼片	95	1-27	627	39.6	1				
			鋼片	95	1-27	688	7.4	3				
			鋼片	95	1-27	792	21.6	3				
			鋼片	95	1-27	722	3.8	1				
			鋼片	95	1-27	792	3.9	3				
			鋼片	95	1-27	835	5.5	1				
			鋼片	95	1-27	899	26.2	3				
			鋼片	95	1-27	900	62.9	3				
			鋼片	95	1-27	906	13.1	3				
				95	M26	444	22.1	3				
			鋼片	95	1-27	519	41.0	3				
			鋼片	95	M26	399	32.0	3				
			鋼片	95	M26	493	42.9	3				
			鋼片	95	M26	513	10.7	3				
			鋼片	95	M26	516	13.1	1				
			鋼片	95	M26	544	7.7	3				
			鋼片	95	M27	337	69.1	1				
			鋼片	95	M27	828	39.9	3				
			鋼片	95	M27	927	69.9	3				
			鋼片	95	M27	928	4.6	3				
			鋼片	95	M27	940	37.1	3				
			鋼片	95	M27	942	2.3	1				
			鋼片	95	M27	990	104.7	3				
				95	M27	1093	29.2	3				
			鋼片	95	M27	992	96.4	3				
			鋼片	95	M27	1056	45.0	3				
			鋼片	95	M27	1058	9.1	1				
			鋼片	95	M27	1296	20.9	3				
			鋼片	95	M27	1372	23.3	1				
			鋼片	95	N26	107	37.3	3				
			鋼片	95	N27	600	66.8	3				
			鋼片	95	O26	397	47.9	3				
一	292	523	綜合資料	95-95		2699.9	126	1	762	3446		
			鋼片	95	M27	142	44.6	1				
				95	N27	908	8.5	1				
				95	N28	275	30.5	1				
				95	N29	836	3.0	1				
				95	O27	497	66.8	1				
				95	O27	712	4.0	1				
				95	P25	18	7.6	1				
				95	P26	49	4.3	1				
				95	P26	79	13.9	1				
				95	Q25	18	2.4	1				
				95	Q25	83	1.6	1				
				95	Q25	91	1.0	1				
				95	Q25	99	2.8	1				
				95	Q25	149	6.9	1				
				95	Q25	323	12.3	1				
			鋼片	95	M29	38	21.1	1				
				95	N26	239	36.9	1				
			鋼片	95	M29	131	436.1	1				
				95	N29	1548	17.7	1				
				95	P25	714	19.9	1				
				95	Q25	49	17.2	1				
				95	Q25	54	2.1	1				
				95	Q25	174	1.0	1				
				95	Q25	212	16.3	1				
				95	Q25	219	4.9	1				
				95	Q25	284	6.9	1				
			鋼片	95	N26	186	34.5	1				
				95	Q25	214	2.3	1				
				95	Q25	303	10.3	1				

線別	区別	番号	架設年	SS	架設区	種別	橋脚形式	長さ	高さ	石質	母岩%	積石%
				95	N27	96	32.7	1				
				95	N27	1281	23.0	1				
				95	N27	1618	9.2	1				
			鋼片	95	N28	4	14.7	1				
				95	N28	75	1.7	1				
				95	Q25	141	7.0	1				
				95	Q25	298	2.1	1				
			鋼片	95	N28	207	2.6	1				
				N28	I	14	2.4	1				
			鋼片	95	N28	311	12.0	1				
				95	Q25	234	10.9	1				
			鋼片	95	N28	I	15	7.2	1			
				95	O26	1469	24.7	1				
				95	Q25	218	2.1	1				
				95	Q25	61	1.9	1				
				95	Q25	179	0.8	1				
				95	Q25	272	0.8	1				
				95	Q25	293	1.6	1				
			鋼片	95	N29	448	3.9	1				
				95	P26	138	3.1	1				
			鋼片	95	N29	536	6.9	1				
			鋼片	95	O27	85	1.7	1				
				95	Q25	90	3.6	1				
				95	Q25	183	3.3	1				
			鋼片	95	O27	106	10.3	1				
				95	O27	513	124.1	1				
				95	P26	21	19.3	1				
			鋼片	95	O27	249	18.0	1				
				95	Q25	180	17.1	1				
				95	Q25	201	4.2	1				
			鋼片	95	O27	339	2.0	1				
				95	O27	902	4.7	1				
				95	O27	1207	4.4	1				
				95	O28	1172	8.1	1				
				95	P26	189	7.6	1				
			鋼片	95	O28	257	4.1	1				
				95	P26	77	1.8	1				
			鋼片	95	O28	582	1.6	1				
				95	O28	1414	4.1	1				
			鋼片	95	P25	96	61.0	1				
				95	P25	97	4.2	1				
				95	Q25	204	6.2	1				
			鋼片	95	P25	413	22.1	1				
			鋼片	95	P25	681	12.4	1				
			鋼片	95	P25	684	11.3	1				
				95	Q25	196	3.2	1				
				95	Q25	139	1.5	1				
				95	Q25	153	6.4	1				
				95	Q25	185	1.9	1				
			鋼片	95	P25	715	3.9	1				
			鋼片	95	P26	34	17.9	1				
				95	P26	30	10.3	1				
				95	Q25	151	8.7	1				
			鋼片	95	P26	52	1.9	1				
				95	P26	72	5.6	1				
				95	P26	110	6.4	1				
			鋼片	95	P26	134	1.6	1				
				95	P26	136	1.4	1				
				95	P26	171	4.2	1				
				95	Q25	321	12.5	1				
				95	Q25	324	7.5	1				
			鋼片	95	P26	139	21.6	1				
				95	P26	149	23.0	1				
				95	Q25	296	1.2	1				
			鋼片	95	P26	140	3.1	1				

種別	国産	番号	登録番号	№	発願日	特許番号	発案	発明者	石炭	特許%	発明%
				95	Q25	255	1.3	1			
				95	P28	130	16.4	1			
				95	P28	197	39.0	1			
				95	P27	263	17.3	1			
				95	Q25	31	1.4	1			
				95	Q25	375	19.6	1			
				95	Q25	90	1.0	1			
				95	Q25	95	1.9	1			
				95	Q25	136	4.4	1			
				95	Q25	339	4.9	1			
				95	Q25	395	4.8	1			
				95	Q25	370	2.3	1			
				95	Q25	362	1.1	1			
				95	Q25	396	19.0	1			
				95	Q25	211	1.9	1			
				95	Q25	293	4.4	1			
				95	Q25	349	6.7	1			
				95	Q25	352	1.3	1			
				95	Q25	373	19.8	1			
				95	Q25	236	3.8	1			
				95	Q25	372	1.7	1			
				95	Q25	280	1.4	1			
				95	Q25	281	6.1	1			
				95	Q25	287	4.4	1			
				95	Q25	297	17.5	1			
				95	Q25	364	15.5	1			
				95	Q25	397	2.0	1			
				95	Q25	398	4.0	1			
				95	Q25	399	3.5	1			
				95	Q25	395	3.6	1			
				95	Q25	396	3.6	1			
一	203	485	石炭	Q25	1	39	122.1	1			
一	203	522	総合資料	95			1117.4	92	1	798	3479
				95	L27	277	3.2	1			
				95	P24	9	32.0	1			
				95	M26	222	1.9	1			
				95	O28	84	14.8	1			
				95	M26	269	5.3	1			
				95	M26	293	1.7	1			
				95	N27	789	18.7	1			
				95	N27	866	15.9	1			
				95	O25	192	4.3	1			
				95	N26	30	36.7	1			
				95	N26	143	4.4	1			
				95	N26	225	6.3	1			
				95	P25	84	5.1	1			
				95	N26	232	6.9	1			
				95	N26	234	6.0	1			
				95	N26	431	7.9	1			
				95	N26	432	6.4	1			
				95	N27	328	14.8	1			
				95	N26	389	15.8	1			
				95	N26	406	15.3	1			
				95	特許	125	5.7	1			
				95	N27	871	39.1	1			
				95	O26	514	3.5	1			
				95	P24	41	4.6	1			
				95	P25	91	2.1	1			
				95	P25	542	2.7	1			
				95	N27	884	6.9	1			
				95	N27	1016	14.4	1			
				95	O26	79	26.2	1			
				95	特許	179	1.4	1			
				95	N27	1288	49.2	1			
				95	Q25	4	23.0	1			

種別	国産	番号	登録番号	№	発願日	特許番号	発案	発明者	石炭	特許%	発明%
				95	O25	19	13.1	1			
				95	P25	403	28.1	1			
				95	O25	22	9.4	1			
				95	O25	229	6.8	1			
				95	O25	28	2.4	1			
				95	O25	45	64.2	1			
				95	O25	108	12.4	1			
				95	O25	189	4.9	1			
				95	O25	204	16.2	1			
				95	O28	130	22.6	1			
				95	O26	374	43.1	1			
				95	P25	173	1.7	1			
				95	O26	494	4.4	1			
				95	P25	1	26	13.7	1		
				95	P25	49	7.4	1			
				95	P25	125	7.1	1			
				95	P25	167	1.4	1			
				95	P25	217	14.1	1			
				95	P25	304	1.3	1			
				95	P25	301	1.6	1			
				95	P25	566	1.5	1			
				95	P25	547	18.2	1			
				95	P25	279	11.3	1			
				95	P25	389	7.6	1			
				95	P25	312	32.3	1			
				95	P25	311	3.7	1			
				95	P25	307	85.9	1			
				95	P25	368	8.4	1			
				95	P25	333	14.1	1			
				95	P25	422	23.8	1			
				95	P25	450	8.1	1			
				95	P25	602	8.5	1			
				95	P25	589	117.1	1			
				95	P25	534	4.8	1			
				95	Q24	49	5.8	1			
一	203	523	総合資料	95	95	95	95	95	95	95	95
				94	L32	197	2.4	2			
				95	L32	429	2.6	2			
				95	J30	166	16.9	2			
				95	K30	178	7.9	2			
				95	L30	31	14.4	2			
				95	L30	110	1.9	2			
				94	J31	275	17.8	2			
				95	J31	491	35.0	2			
				95	J31	2346	3.1	2			
				95	K30	7	4.8	2			
				95	K30	8	13.7	2			
				95	K30	2	17.1	2			
				95	L30	51	4.5	2			
				95	K30	21	2.4	2			
				95	K30	30	18.9	2			
				95	K30	121	2.1	2			
				95	K30	191	13.3	2			
				95	L30	32	5.2	2			
				95	K30	34	8.7	2			
				95	K30	288	2.4	2			
				95	K30	42	1.9	2			
				95	K30	53	3.3	2			
				95	L30	474	3.8	2			
				95	K30	56	6.9	2			
				95	K30	115	14.1	2			
				95	K30	71	13.3	2			
				95	K30	73	18.1	2			
				95	L30	457	1.7	2			
				95	K30	74	6.2	2			

上白滝8道跡(2)

線別	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変位(mm)	石質	母材%	配合%
				95	K30		75	16.4	2			
				95	K30		172	16.5	2			
			測片	95	K30		91	11.0	2			
			測片	95	K30		99	12.2	2			
			測片	95	K30		100	7.2	2			
				95	K30		267	4.5	2			
				95	L30		48	12.1	2			
			測片	95	K30		112	1.9	2			
			測片	95	K30		122	2.4	2			
				95	K30		162	92.7	2			
				95	K30		215	2.7	2			
				95	L30		164	10.9	2			
				95	L30		206	14.8	2			
			測片	95	K30		145	1.0	2			
			測片	95	K30		148	17.3	2			
				95	K30		426	82.2	2			
				95	L30		268	29.7	2			
			測片	95	K30		164	12.5	2			
				95	K30		494	10.7	2			
				95	L30		165	15.8	2			
			測片	95	K30		179	4.1	2			
			測片	95	K30		185	5.0	2			
			測片	95	K30		207	2.4	2			
			測片	95	K30		217	42.5	2			
				95	L30		308	1.6	2			
			測片	95	K30		230	3.8	2			
				95	K30		444	11.8	2			
			測片	95	K30		235	1.7	2			
			測片	95	K30		262	162.0	2			
			測片	95	K30		410	3.1	2			
			測片		K30	1	3	11.1	2			
			測片	95	L30		142	1.8	2			
			測片	95	L30		139	13.8	2			
			測片	95	L30		160	9.2	2			
			測片	95	L30		235	2.2	2			
			測片	95	L30		267	6.5	2			
			測片	95	L30		401	6.1	2			
-	204	321	複合資料	95				1643.0	113	1-3	796	3435
			測片	95	M29		302	2.0	1			
				95	O29		470	29.3	1			
				95	P28		5179	3.2	1			
			測片	95	M30		112	4.8	1			
				95	P28		2720	6.8	1			
			測片	95	M30		278	3.0	1			
			測片	95	M30		630	9.8	1			
				95	P28		6779	8.7	1			
			複合測片	95	N29		320	3.4	1			
				95	N29		645	2.4	1			
			測片	95	N29		457	4.6	1			
				95	O29		2320	70.8	1			
			測片	95	N29		439	1.6	1			
				95	N29		1280	2.1	1			
			測片	95	N29		633	2.4	1			
			複合測片	95	N29		731	92.4	1			
				95	P28		4701	19.8	1			
			測片	95	N29		777	4.2	1			
			測片	95	N29		962	20.4	1			
			測片	95	N29		1281	5.8	1			
				95	P28		6407	2.4	1			
				95	P28		7575	4.9	1			
				95	P28	Σ	257	1.3	1			
			測片	95	N29		1280	4.2	1			
				95	P28		6250	3.0	1			
			測片	95	N29		1057	2.2	1			
			測片	95	N29	1	54	1.1	1			

線別	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変位(mm)	石質	母材%	配合%
				95	P28		5285	15.3	1			
			測片		N29	Σ	55	0.4	1			
			測片	95	N30		319	10.9	1			
				95	P28		4267	1.9	1			
				95	P28	Σ	248	2.1	1			
				95	Q27		976	24.9	1			
			測片	95	O28		1403	10.6	1			
				95	Q27		854	19.0	1			
			測片	95	O28		1591	22.7	1			
			測片	95	O29		949	3.5	1			
				95	P28		3223	7.3	1			
			測片	95	O29		1039	6.3	5			
				95	O29		1884	9.4	1			
			測片	95	O29		1444	9.7	5			
			測片	95	O29		1472	4.2	5			
			測片	95	O29		1802	2.8	1			
			複合測片	95	O29		2130	5.6	1			
				95	P28		6124	11.7	1			
				95	P28		7139	11.9	1			
				95	Q27		994	16.9	1			
			測片	95	O29		2191	36.1	1			
			複合測片	95	O29		2203	5.6	1			
				95	O29		2226	1.8	1			
				95	Q27		1011	7.6	1			
			測片	95	O29		2245	4.7	1			
			測片	95	O29		2210	26.9	1			
				95	P28		6425	11.3	1			
				95	Q28	Σ	11	0.9	1			
			測片	95	O29		2316	2.1	1			
				95	P28		6524	3.4	1			
			測片	95	P28		1387	1.8	1			
			測片	95	P28		1696	6.4	1			
				95	P28		4775	4.9	1			
				95	P28	Σ	261	0.6	1			
				95	Q27		933	2.2	1			
			測片	95	P28		2198	5.7	1			
				95	P28		4000	14.9	1			
			測片	95	P28		2287	1.4	1			
			測片	95	P28		3198	2.9	1			
				95	P28		6687	2.3	1			
				95	Q27		967	6.5	1			
			測片	95	P28		3331	3.5	1			
			測片	95	P28		3285	8.5	1			
				95	P28		6641	4.0	1			
				95	P28	Σ	232	1.5	1			
			測片	95	P28		3660	9.5	1			
				95	Q27		1016	7.6	1			
				95	Q27	Σ	19	0.7	1			
			測片	95	P28		4201	0.9	1			
			複合測片	95	P28		4211	1.0	1			
				95	P28		8090	3.8	1			
				95	Q27		1002	16.0	1			
			測片	95	P28		4344	0.8	1			
				95	P28		7013	52.7	1			
				95	P28		7544	3.0	1			
				95	Q28		960	3.4	1			
			測片	95	P28		4333	1.6	1			
				95	P28		6777	1.8	1			
			測片	95	P28		4634	365.2	1			
			測片	95	P28		4683	18.7	1			
			測片	95	P28		4792	23.0	1			
			測片	95	P28		4910	6.0	1			
			測片	95	P28		4974	2.5	1			
				95	P28		7572	4.6	1			
				95	Q27		1006	24.8	1			

種別	国名	番号	品類等	№	発掘区	種別	器物番号	重量	容積(L)	石量	埋没%	検出%
			鏡片	90	F28		4917	46.2	1			
			鏡片	90	F28		4921	3.2	1			
			鏡片	90	F28		5031	2.1	1			
			鏡片	90	F28		5062	126.4	1			
			鏡片鏡片	90	F28		5039	9.6	1			
				90	F28		5052	3.9	1			
				90	F28		5236	9.8	1			
			鏡片	90	F28		5626	3.0	1			
				90	F28		4696	3.5	1			
				90	F28		4698	4.3	1			
			鏡片	90	F28		5284	2.2	1			
			鏡片	90	F28		3927	5.9	1			
			鏡片	90	F28		4652	9.0	1			
			鏡片	90	F28		4238	2.0	1			
第2区	175	27	矢頭鏃	90	F28		6139	11.1	5			
			鏡片	90	F28		4904	3.1	1			
				90	F28		4294	4.8	1			
			鏡片	90	F28		4652	1.9	1			
			鏡片	90	F28		4921	25.1	1			
			鏡片	90	F28		4994	32.0	1			
			鏡片	90	F28		4991	6.1	1			
					F28	Ⅱ	253	9.4	1			
			鏡片	90	F28		4291	5.7	1			
			鏡片	90	F28		4775	1.9	1			
			鏡片	90	F28		4904	2.3	1			
			鏡片	90	F28		3908	6.8	1			
			鏡片	90	F28		3910	12.2	1			
					F28	Ⅱ	219	1.8	1			
			鏡片	90	F28		2963	15.3	1			
			鏡片	90	F28		2968	4.9	1			
				90	F28		2542	17.3	1			
					F28	Ⅱ	230	1.6	1			
					F28	Ⅱ	254	9.8	1			
			鏡片	90	F28		2149	4.6	1			
			鏡片	90	F28		1214	9.3	1			
					F28	Ⅱ	258	2.5	1			
			鏡片	90	F28		2221	3.9	1			
			鏡片	90	F28		2444	2.8	1			
			鏡片	90	F28		2326	2.8	1			
			鏡片	90	F28		2541	1.9	1			
			鏡片	90	F28		2543	3.5	1			
			鏡片	90	F28		2731	1.3	1			
			鏡片	90	F28		2740	6.0	1			
			鏡片	90	F28		2825	6.7	1			
			鏡片	90	F28		2929	2.8	1			
					F28	Ⅱ	251	6.6	1			
			鏡片		F28	Ⅱ	247	1.9	1			
			鏡片		F28	Ⅱ	235	9.9	1			
			鏡片		F28	Ⅱ	236	1.7	1			
			鏡片		F28	Ⅱ	239	1.1	1			
			鏡片		F28	Ⅱ	280	1.6	1			
				90	Q28		321	7.7	1			
			鏡片	90	F29		387	9.4	1			
			鏡片	90	F29		1147	1.3	1			
			鏡片	90	F29		1129	1.9	1			
			鏡片	90	Q27		913	4.5	1			
			鏡片	90	Q27		3012	9.1	1			
			鏡片	90	Q27		3013	1.9	1			
			鏡片	90	Q27		3018	1.5	1			
			鏡片鏡片	90	Q28		322	3.8	1			
			鏡片	90	Q28		427	52.3	1			
Ⅱ	284	105	組合資料	90-90			596.6	49	2	292	3286	
			鏡片	90	F31		259	10.1	2			
			鏡片	90	F29		3012	4.5	2			
			鏡片	90	F31		3046	1.1	2			

種別	国名	番号	品類等	№	発掘区	種別	器物番号	重量	容積(L)	石量	埋没%	検出%
				90	L30		496	16.4	1			
				90	M20		12	5.5	1			
				90	M20		493	11.8	1			
				90	M20		306	26.9	1			
				90	M20		302	113.3	2			
				90	N29		1663	19.4	2			
			鏡片	90	L30		147	3.7	2			
				90	N29		1302	3.2	2			
			鏡片	90	L30		417	44.6	2			
			鏡片	90	L31		77	9.9	2			
			鏡片	90	M29		67	3.7	2			
				90	M29		490	5.0	2			
				90	M20		116	8.9	2			
				90	N29		908	4.0	2			
				90	N29		298	5.0	2			
			鏡片	90	M29		190	18.1	2			
			鏡片	90	M29		168	3.0	2			
				90	M29		309	2.9	2			
				90	M29		492	4.1	2			
				90	M20		7	4.4	2			
				90	N29		394	6.3	2			
				90	N29		309	3.6	2			
				90	N29		392	2.8	2			
			鏡片	90	M29		130	17.4	2			
				90	M20		209	2.7	2			
				90	N29		291	6.7	2			
			鏡片	90	M29		623	15.2	2			
			鏡片	90	M29		612	2.2	2			
				90	M20		115	13.9	2			
				90	N29		216	3.8	2			
			鏡片	90	M20		257	30.0	2			
				90	M20		498	11.9	2			
			鏡片	90	M20		297	3.4	2			
				90	M20		498	18.0	2			
				90	N29		928	5.6	2			
			鏡片	90	M20		635	18.5	2			
			鏡片	90	M20		775	4.4	2			
			鏡片	90	M20		726	4.6	2			
			鏡片	90	M20		280	15.5	2			
				90	N29		817	14.4	2			
			鏡片	90	N29		338	3.0	2			
			鏡片	90	N29		472	5.6	2			
				90	N29		710	14.2	2			
			鏡片	90	N29		296	6.0	2			
			鏡片	90	O29		2317	13.2	2			
			鏡片		群(Ⅱ)		9	3.8	2			
Ⅱ	285	106	組合資料	90			2125.9	67	1-1-3-5	933	4064	
第3区	189	239	筒器	90	F30		57	81.4	3			
				90	F30		498	33.0	3			
			鏡片	90	L30		124	30.5	1			
				90	M20		26	90.2	3			
				90	M20		323	27.6	3			
			鏡片	90	M20		129	7.9	3			
				90	N29		1616	24.9	5			
				90	O29		2125	8.7	3			
			鏡片	90	M20		117	8.2	3			
				90	O29		1303	237.1	5			
			鏡片鏡片	90	M20		212	27.2	3			
				90	F28		5091	19.3	5			
			鏡片	90	M20		446	7.9	3			
				90	F28		4311	62.6	3			
			鏡片	90	N29		754	38.7	5			
第3区	189	239	筒器	90	N29		866	38.8	5			
				90	F28		5394	25.7	5			
			鏡片	90	N29		911	48.6	5			

上白滝8道跡(2)

線区	種別	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
				95	N29		1129	60.0		3		
				95	N29		1140	17.8		3		
				95	Q28		553	20.0		1		
			測点	95	N29		1122	30.9		5		
				95	F28		6913	9.6		3		
				95	Q27		939	4.1		3		
			測点	95	N29		1206	5.1		3		
			測点	95	N29	I	48	33.1		3		
				95	N30		506	27.2		5		
			測点	95	N30		434	28.1		3		
				95	F28		793	5.8		3		
				95	F28		4518	52.7		3		
				95	F28		7739	36.1		3		
			測点	95	N30		495	40.8		3		
			測点	95	N30	I	85	49.2		5		
				95	O28		1893	17.4		3		
				95	F28		6720	9.4		3		
			測点	95	O28		1723	7.7		3		
				95	F28		396	4.6		3		
			測点	95	O28		1812	9.4		5		
			測点	95	O28		1889	24.7		5		
				95	O28		2005	70.2		5		
			測点	95	O28		2032	7.7		5		
				95	F28		5992	145.8		5		
			測点	95	O29		1331	19.6		5		
			測点	95	O29		1461	46.8		5		
				95	F28		5255	17.2		5		
			測点	95	O29		2121	90.9		3		
			測点	95	O29		2294	14.9		3		
			測点	95	F28		2413	2.0		5		
				95	F28		7363	2.1		5		
			測点	95	F28		2848	9.5		5		
				95	F28		5273	17.1		3		
				95	F28		7365	17.5		1		
				95	F28		7333	10.7		3		
				95	F28		7732	12.0		3		
			測点	95	F28		4377	26.6		3		
				95	Q28		508	23.8		3		
			測点	95	F28		4897	9.7		5		
			測点	95	F28		6237	6.4		5		
				95	F28		6991	46.0		5		
			測点	95	F28		6714	11.0		3		
				95	F28		7134	8.1		3		
			測点	95	F28		7390	79.2		5		
			測点	95	F28		7626	2.7		3		
			測点	95	Q27		803	19.8		3		
				95	Q27		806	23.3		3		
				95	Q28		106	11.5		1		
				95	Q28		561	7.4		1		
-	206	527	総合資料	95-95			5124.7	118	1-9	052	4055	
			測点	95	J28		21	26.3		5		
			職員測点	95	J29		52	42.0		5		
				95	N27		252	5.6		1		
			測点	95	K28		39	96.6		1		
			測点	95	K29		180	114.8		1		
				95	M27		623	10.5		5		
			測点	95	K30		116	30.6		1		
				95	L30		395	57.2		5		
				95	M28		783	1.7		1		
				95	M28		784	2.0		1		
				95	N27		1719	40.6		5		
			測点	95	M27		54	90.2		5		
				95	M27		635	198.3		1		
				95	M27		886	26.9		5		
				95	M27		892	2.7		5		

線区	種別	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
				95	M27		1107	9.0		5		
				95	M27		1237	48.4		5		
				95	M27		1476	11.1		1		
				95	M28		967	24.7		1		
				95	N27		798	4.3		1		
			測点	95	M27		137	11.6		5		
			測点	95	M27		165	23.6		5		
				95	N27		1214	14.5		1		
			測点	95	M27		201	3.9		5		
			測点	95	M27		407	41.5		5		
				95	N28		667	10.3		1		
			測点	95	M27		438	8.6		5		
				95	O27		971	8.1		1		
			測点	95	M27		462	4.5		5		
				95	M27		607	8.0		1		
				95	M27		896	11.6		5		
			職員測点	95	M27		479	21.0		1		
				95	M27		683	10.7		5		
				95	M27		1080	31.4		5		
			測点	95	M27		624	73.8		5		
			測点	95	M27		640	59.2		5		
			測点	95	M27		645	20.7		5		
			職員測点	95	M27		654	36.2		5		
				95	M27		863	25.7		5		
				95	M27		866	13.4		5		
			測点	95	M27		689	18.5		5		
				95	M27		877	27.6		5		
			測点	95	M27		984	28.9		5		
				95	M27		739	30.8		5		
				95	M27		757	4.7		5		
				95	M27		739	5.8		5		
			測点	95	M27		724	5.1		5		
			測点	95	M27		726	7.9		5		
				95	N28		276	10.4		1		
			測点	95	M27		716	6.1		5		
			測点	95	M27		728	9.1		5		
				95	M27		1134	23.7		5		
				95	M29		256	302.6		5		
			測点	95	M27		761	3.5		5		
				95	M27		889	93.4		5		
			測点	95	M27		762	5.3		5		
				95	M27		865	18.9		5		
			測点	95	M27		864	6.6		5		
				95	O27		861	4.7		1		
				95	O27		998	5.1		1		
			職員測点	95	M27		861	10.3		5		
				95	M28		120	15.5		1		
				95	N27		1051	2.0		5		
				95	O26		99	25.4		5		
			職員測点	95	M27		874	25.1		5		
				95	M27		1267	10.9		5		
				95	M28	I	10	17.0		5		
			測点	95	M27		894	6.3		5		
				95	O27		551	5.7		1		
			測点	95	M27		1233	7.2		5		
				95	N27		1636	20.7		5		
			測点	95	M27		1219	382.7		5		
				95	M27		1328	14.6		1		
			測点	95	M29		858	4.1		5		
			測点	95	N27		150	2.3		1		
				95	O26		518	6.5		1		
			測点	95	N27		179	5.7		1		
				95	N27		236	5.1		1		
			測点	95	N27		433	2.8		5		
			測点	95	N27		540	14.0		1		

種別	国名	番号	品類等	№	発掘区	種目	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	検出%
			銅片	95	S22		579	4.8		1		
			銅片	95	S22		581	2.0		1		
			銅片	95	S22		726	10.9		1		
			銅片	95	S22		804	146.9		5		
			銅片	95	S22		912	4.3		1		
			銅片	95	S22		937	26.6		1		
			銅片	95	S22		1038	181.5		1		
			銅片	95	S22		1284	86.4		5		
			銅片	95	S22		1285	2.3		5		
			銅片	95	S22	I	10	26.0		1		
			銅片	95	S28		253	3.9		1		
			銅片	95	S28		315	40.1		1		
			銅片	95	S28		433	4.2		1		
			銅片	95	O26		80	8.1		5		
			銅片	95	O26		348	18.3		1		
			銅片	95	O26		547	9.8		1		
			銅片	95	O27		746	6.1		1		
			銅片	95	O27		1075	2.5		5		
			銅片	95	O27		1107	7.2		5		
			銅片	95	O27		1108	19.7		5		
			銅片	95	O27		1163	3.9		1		
			銅片	95	O27		82	28.8		1		
			銅片	95	O27		144	18.8		1		
			銅片	95	O27		327	42.1		1		
			銅片	95	O27		472	4.8		1		
			銅片	95	O27		1226	11.1		1		
			銅片	95	O27		532	8.3		1		
			銅片	95	O27		607	10.3		1		
			銅片	95	O27		679	10.2		1		
			銅片	95	O27		683	14.3		1		
			銅片	95	O27		690	7.5		5		
			銅片	95	O27		1306	4.1		1		
			銅片	95	O27		1841	18.4		1		
			銅片	95	O27		1642	2.9		1		
			銅片	95	P26		103	7.8		1		
			銅片	95	P26		227	6.5		5		
--	287	128	銅片資料	95			4385.3	229	3-4	797	3085	
			銅片	95	J30		2	4.4		5		
			銅片	95	J29		158	9.0		5		
			銅片	95	J30		3	3.9		3		
			銅片	95	J30		13	5.1		3		
			銅片	95	J30		42	2.4		3		
			銅片	95	J29		146	3.7		3		
			銅片	95	J30		286	8.7		4		
			銅片	95	J30		43	10.4		3		
			銅片	95	J28		329	3.4		3		
			銅片	95	J30		31	6.9		5		
			銅片	95	J29		187	1.7		3		
			銅片	95	J30		65	10.8		3		
			銅片	95	J30		75	8.4		4		
			銅片	95	J30		106	6.0		4		
			銅片	95	K28		84	2.6		3		
			銅片	95	J30		96	13.9		3		
			銅片	95	J30		237	27.2		3		
			銅片	95	J29		238	32.4		3		
			銅片	95	J30		84	6.6		4		
			銅片	95	J30		132	9.2		4		
			銅片	95	K28		10	11.3		3		
			銅片	95	J30		89	3.8		3		
			銅片	95	J29		182	4.0		3		
			銅片	95	J30		77	3.6		3		
			銅片	95	J30		81	7.6		3		
			石母	95	J30		105	14.5		4		
			銅片	95	J30		10	25.3		4		
			銅片	95	J30		106	3.5		5		
			銅片	95	J30		134	23.0		3		
			銅片	95	J30		171	3.7		4		
			銅片	95	J30		120	48.1		3		
			銅片	95	J30		163	7.4		3		
			銅片	95	J28		13	177.6		4		
			銅片	95	J29		184	11.9		3		
			銅片	95	J29		185	3.4		3		
			銅片	95	K28		130	3.1		4		
			銅片	95	J30		286	7.3		3		
			銅片	95	J30		173	4.2		4		
			銅片	95	J30		421	4.1		4		
			銅片	95	J29		161	16.6		3		
			銅片	95	J29		7	3.3		3		
			銅片	95	J29		42	8.0		3		
			銅片	95	J29		25	35.0		3		
			銅片	95	J29		154	16.6		3		
			銅片	95	J30		14	3.0		4		
			銅片	95	K29		324	3.1		3		
			銅片	95	K29		102	18.7		3		
			銅片	95	J29		26	1.3		3		
			銅片	95	J29		29	3.4		3		
			銅片	95	J29		31	0.9		3		
			銅片	95	J29		38	8.5		4		
			銅片	95	J29		45	29.4		3		
			銅片	95	J29		106	13.1		3		
			銅片	95	J29		115	10.4		3		
			銅片	95	K29		408	12.8		3		
			銅片	95	K29		162	4.0		3		
			銅片	95	K29		406	8.5		3		
			銅片	95	J29		46	1.3		3		
			銅片	95	J29		54	6.4		4		
			銅片	95	J30		31	21.5		4		
			銅片	95	J29		55	3.6		3		
			銅片	95	J29		57	3.4		3		
			銅片	95	K29		322	6.3		3		
			銅片	95	J29		72	4.9		3		
			銅片	95	J29		87	2.8		3		
			銅片	95	J29		166	142.9		3		
			銅片	95	L28		1184	38.7		3		
			銅片	95	L28		1108	214.7		3		
			銅片	95	J29		92	6.7		3		
			銅片	95	J29		100	35.6		3		
			銅片	95	J29		104	4.2		3		
			銅片	95	J29		183	8.6		3		
			銅片	95	K29		42	2.6		4		
			銅片	95	K28		140	24.0		4		
			銅片	95	K29		20	5.3		3		
			銅片	95	K29		380	66.1		3		
			銅片	95	K29		430	186.9		3		
			銅片	95	K29		605	3.2		3		
			銅片	95	K29		100	7.0		3		
			銅片	95	K29	I	13	21.7		4		
			銅片	95	J29		107	12.0		3		
			銅片	95	K29		109	7.4		3		
			銅片	95	K29		323	23.7		3		
			銅片	95	K29		366	4.3		3		
			銅片	95	J29		112	17.5		3		
			銅片	95	J29		134	2.0		3		
			銅片	95	K29		405	3.9		3		
			銅片	95	J29		138	3.3		3		
			銅片	95	J29		139	24.3		3		
			銅片	95	J29		141	4.0		3		
			銅片	95	J29		143	8.9		3		
			銅片	95	K29		181	4.5		3		
			銅片	95	J29		150	11.7		3		

上白滝8道跡(2)

線区	国区	番号	道跡名	SS	変換区	標高	道跡番号	重量	長さ(m)	石質	母岩%	粘土%
				95	J29	163	13.3	3				
				95	K29	428	5.3	3				
			洞片	95	J29	132	100.3	3				
				95	J30	217	7.3	4				
				95	J30	268	9.1	4				
			洞片	95	J29	173	11.3	3				
				95	K29	624	33.6	3				
			洞片	95	J29	175	3.4	3				
				95	J29	208	20.9	3				
			洞片	95	J29	181	2.7	3				
				95	J29	192	8.2	3				
			石片	95	J29	194	9.3	3				
				95	J29	219	8.6	3				
				95	J30	84	4.6	4				
				95	J30	85	5.0	4				
				95	J30	100	8.9	4				
			洞片	95	J29	196	11.7	3				
			洞片	95	J29	198	4.8	3				
				95	J29	211	6.7	3				
			洞片	95	J29	199	8.3	3				
			洞片	95	J29	201	2.8	3				
			洞片	95	J29	202	14.7	3				
			洞片	95	J29	204	11.0	3				
				95	K29	589	10.4	3				
			洞片	95	J29	207	2.4	3				
				95	K29	97	21.9	3				
			洞片	95	J29	214	52.0	3				
			洞片	95	J29	215	5.1	3				
			洞片	95	J29	217	70.9	3				
			洞片	95	J29	219	27.4	3				
			洞片	95	J29	220	5.0	3				
				95	J30	156	7.2	4				
			洞片	95	J29	222	24.4	3				
			洞片	95	J29	228	4.8	3				
			洞片	95	J29	236	4.1	3				
			縦横洞片	95	J29	239	41.7	3				
				95	J30	102	33.0	4				
			縦横洞片	95	J29	240	22.8	3				
				95	J30	98	17.4	4				
			洞片	95	J29	1	433.4	4				
				95	K29	97	4.2	3				
				95	K29	392	9.6	3				
			洞片	95	J30	13	3.7	4				
				95	K28	141	3.4	4				
				95	L27	1123	2.5	4				
			洞片	95	J30	27	2.9	4				
				95	J30	112	5.2	4				
			洞片	95	J30	36	3.4	4				
				95	K29	388	9.9	3				
				95	K29	435	2.9	3				
			洞片	95	J30	49	5.5	4				
				95	J30	43	3.8	4				
				95	J30	180	3.9	4				
			洞片	95	J30	42	6.8	3				
			洞片	95	J30	52	7.4	4				
			洞片	95	J30	54	2.5	4				
				95	J30	86	7.8	4				
				95	J30	113	3.9	4				
				95	J30	247	1.9	4				
			洞片	95	J30	58	3.4	3				
				95	K28	99	11.5	3				
			洞片	95	J30	66	6.8	4				
				95	J30	192	6.0	4				
				95	J30	242	4.2	4				
				95	K28	98	21.9	3				

線区	国区	番号	道跡名	SS	変換区	標高	道跡番号	重量	長さ(m)	石質	母岩%	粘土%
				石片	95	J30	87	95.3	4			
				95	J30	149	62.8	4				
				95	J30	190	7.7	4				
				95	J30	49	2.4	4				
			洞片	95	J30	97	4.9	4				
				95	J30	90	5.9	3				
			縦横洞片	95	J30	91	21.0	4				
				95	J30	114	6.4	4				
				95	J30	143	5.2	4				
				95	J30	158	3.6	4				
				95	J30	206	28.2	4				
			洞片	95	J30	92	2.8	4				
				95	J30	138	5.0	4				
			洞片	95	J30	93	6.7	4				
			洞片	95	J30	103	2.0	4				
			洞片	95	J30	106	1.2	4				
			洞片	95	J30	110	24.8	4				
				95	J30	117	16.1	3				
				95	K30	419	2.9	4				
			洞片	95	J30	120	8.5	3				
				95	J30	145	4.3	4				
				95	J30	287	12.2	4				
			縦横洞片	95	J30	142	7.9	4				
				95	J30	151	60.8	4				
				95	J30	244	5.0	4				
				95	J30	254	36.0	4				
			洞片	95	J30	193	3.2	4				
			洞片	95	J30	196	12.1	3				
				95	J30	197	17.2	4				
				95	J30	246	9.0	4				
			洞片	95	J30	206	11.0	3				
			洞片	95	J30	211	1.7	4				
				95	J30	302	4.3	4				
			洞片	95	J30	256	4.7	4				
			石片	95	J30	219	5.6	4				
				95	J30	219	2.6	4				
				95	L28	758	4.3	3				
				95	L28	1160	13.1	3				
				95	L28	1751	9.2	3				
			洞片	95	J30	222	2.0	3				
			洞片	95	J30	249	4.0	4				
				95	J32	702	3.7	4				
			洞片	95	J30	269	3.5	4				
				95	K28	136	13.3	4				
				95	K29	472	4.7	4				
			洞片	95	J30	285	1.3	4				
				95	J30	299	4.0	4				
			洞片	95	J30	1	1	14.7	4			
				95	L27	1120	2.3	4				
			洞片	95	J30	1	2	10.0	4			
				95	L27	1180	5.1	4				
			洞片	95	K28	44	19.3	3				
			洞片	95	K28	53	2.6	4				
			洞片	95	K28	54	9.7	3				
			洞片	95	K28	58	10.4	4				
				95	K28	138	16.4	4				
			洞片	95	K28	69	1.2	4				
			洞片	95	K28	81	10.9	3				
				95	K29	549	2.1	3				
				95	K29	620	65.1	3				
			洞片	95	K28	142	3.5	3				
			洞片	95	K28	143	32.9	4				
				95	K29	427	8.2	3				
			洞片	95	K29	81	3.2	3				
				95	L28	1160	4.1	3				

品目	種類	番号	品名	Na	年代	種別	遺物番号	重量	長さ	石目	埋没%	保存%
			鏡片	95	5.29		197	1.2		3		
			鏡片	95	5.29		259	135.9		3		
			鏡片	95	5.29		396	5.5		3		
			鏡片	95	5.29		420	128.0		3		
			鏡片	95	5.29		422	4.2		3		
			鏡片	95	5.29		440	6.2		3		
			鏡片	95	5.29		442	4.3		3		
			鏡片	95	5.29		595	7.0		3		
			鏡片	95	5.29		590	3.4		3		
			鏡片	95	5.29		608	9.1		3		
			鏡片	95	5.29		609	15.6		3		
			鏡片	95	1.27		1097	6.0		4		
			鏡片	95	1.27		1179	7.3		4		
			鏡片	95	1.27		1200	1.4		4		
			鏡片	95	1.27		1193	5.4		4		
			鏡片	95	1.27		1200	3.7		4		
一	200	029	複合資料	95			1008.8	42	1	460	2158	
			鏡片		G34	I	3	3.7		1		
			鏡片	95	H34	I	31	46.3		1		
					H34	I	24	4.4		1		
			鏡片		H34	I	12	4.8		1		
					H34	I	25	3.9		1		
			鏡片		H34	I	13	3.8		1		
					H34	I	14	1.0		1		
					H34	I	15	16.5		1		
			鏡片		H34	I	16	4.5		1		
			鏡片		H34	I	17	28.8		1		
			鏡片		H34	I	18	26.0		1		
					H34	I	28	15.2		1		
			鏡片		H34	I	20	9.9		1		
					H34	I	26	2.6		1		
					H34	I	98	3.5		1		
					H34	I	110	27.3		1		
					H34	I	117	3.7		1		
					H34	I	142	3.8		1		
					H34	I	163	2.1		1		
					H34	I	205	6.4		1		
					H34	I	75	19.2		1		
					H34	I	78	3.3		1		
					H34	I	79	1.3		1		
			鏡片		H34	I	21	19.5		1		
			鏡片		H34	I	22	3.7		1		
					H34	I	23	7.0		1		
			鏡片		H34	I	24	6.0		1		
					H34	I	114	1.9		1		
			鏡片		H34	I	25	10.5		1		
					H34	I	68	2.3		1		
			鏡片		H34	I	26	11.3		1		
					H34	I	27	4.1		1		
					H34	I	28	2.2		1		
					H34	I	47	0.7		1		
			鏡片		H34	I	29	3.4		1		
					H34	I	30	9.7		1		
			鏡片	95	I33	I	1	232.4		1		
					I34	I	26	1.1		1		
			鏡片	95	I34	I	11	7.2		1		
					I34	I	141	23.0		1		
					I34	I	77	12.7		1		
			鏡片	95	I34	I	23	9.5		1		
			鏡片	95	I34	I	32	2.1		1		
			鏡片	95	I34	I	48	4.0		1		
					I34	I	28	225.8		1		
			鏡片	95	I34	I	77	7.5		1		
			鏡片	95	I34	I	80	19.9		1		
			鏡片	95	I34	I	83	6.0		1		

品目	種類	番号	品名	Na	年代	種別	遺物番号	重量	長さ	石目	埋没%	保存%
			鏡片	95	I34	I	92	6.2		1		
			鏡片	95	I34	I	106	34.2		1		
			鏡片	95	I34	I	132	5.3		1		
			鏡片	95	I34	I	153	6.7		1		
					I34	I	66	3.2		1		
			鏡片	95	I34	I	161	3.6		1		
			鏡片	95	I34	I	166	4.1		1		
					I34	I	179	18.6		1		
			鏡片	95	I34	I	169	38.8		1		
			鏡片	95	I34	I	203	12.3		1		
			鏡片	95	I34	I	246	3.3		1		
			鏡片		I34	I	72	2.3		1		
			鏡片		I34	I	73	1.0		1		
			鏡片		I34	I	83	0.7		1		
一	200	030	複合資料	95			1493.9	35	4	925	4942	
			石目	95	O29		333	14.9		4		
			鏡片	95	O29		453	14.8		4		
			鏡片	95	O29		1411	33.8		4		
			鏡片	95	O29		1692	18.9		4		
					F29		302	16.4		4		
					F29		904	25.0		4		
			鏡片	95	F28		770	24.1		4		
					F28		2215	31.1		4		
			石目	95	F28		3392	37.7		4		
			鏡片	95	F28		4504	49.1		4		
			鏡片	95	F28		9630	41.2		4		
			鏡片	95	F28		6547	5.6		4		
			鏡片	95	F28		9639	71.2		4		
			鏡片	95	F28		7421	28.8		4		
一	201	042	石目核	95	F28		7513	513.4		4		
			鏡片	95	F28		7712	8.1		4		
			鏡片	95	F28		7724	36.5		4		
			鏡片	95	F28		7774	5.8		4		
			鏡片	95	F28		7971	7.7		4		
			石目	95	F29		13	8.4		4		
			鏡片	95	F29		61	9.3		4		
					F29		462	21.4		4		
			縦長鏡片	95	F29		285	16.8		4		
			鏡片	95	F29		321	132.9		4		
			縦長鏡片	95	F29		338	16.8		4		
			鏡片	95	F29		352	66.7		4		
			縦長鏡片	95	F29		422	32.0		4		
			鏡片	95	F29		447	39.2		4		
			石目	95	F29		577	39.5		4		
			鏡片	95	F29		963	39.2		4		
			縦長鏡片	95	F29		987	11.3		4		
			石目	95	F29		998	39.9		4		
			鏡片	95	F29		1932	26.9		4		
			鏡片	95	F29		1290	39.0		4		
			鏡片		F29	I	23	7.5		4		
一	200	032	複合資料	95			1094.3	28	3-4	916	4911	
			鏡片	95	O29		1535	6.4		4		
一	201	040	石目核	95	F28		287	24.2		4		
			鏡片	95	F28		1013	16.0		4		
					F28		1945	16.0		4		
			鏡片	95	F28		1274	45.9		4		
			鏡片	95	F28		1949	236.7		4		
					F28		3355	49.3		4		
			鏡片	95	F28		1953	11.9		4		
			鏡片	95	F28		2014	29.5		4		
			鏡片	95	F28		2563	3.6		4		
			縦長鏡片	95	F28		4648	9.1		3		
			鏡片	95	F28		5347	5.6		4		
			鏡片	95	F28		5445	3.4		4		
			鏡片	95	F28		5432	5.6		4		

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	道標等	SS	変換区	標尺	道標等	重量	変換区	石質	母材%	配合%
			測尺	95	F-28		5353	5.8	4			
			測尺	95	F-28		5812	6.1	4			
			測尺	95	F-28		6001	21.8	4			
			測尺	95	F-28		6149	97.2	4			
			測尺	95	F-28		6845	10.9	4			
			測尺	95	F-28		7423	9.7	4			
			測尺	95	F-28		7306	13.5	4			
			測尺	95	F-28		7666	6.6	4			
			測尺	95	F-28		7729	26.9	4			
			測尺	95	F-28		857	4.1	4			
			測尺	95	F-28		857	12.7	4			
			測尺	95	F-28		1236	10.3	4			
			測尺	95	F-28		660	7.8	4			
			測尺	95	F-28		1039	3.1	4			
-	200	432	組合資料	95			3995.6	80	3-4	023	4038	
			測尺	95	O-29		814	5.7	3			
			測尺	95	O-29		2000	5.1	4			
			測尺		F-27	I	4	5.6	4			
			測尺	95	F-28		126	6.1	4			
			測尺	95	F-28		224	8.0	4			
			測尺	95	F-28		230	17.5	3			
			石質	95	F-28		477	27.6	4			
			測尺	95	F-28		695	19.3	4			
			測尺	95	F-28		3365	5.9	4			
			石質	95	F-28		740	11.8	4			
			測尺	95	F-28		745	17.7	4			
			測尺	95	F-28		961	2.4	4			
			測尺	95	F-28		1085	3.7	4			
			測尺	95	F-28		1382	3.5	4			
-	200	437	石質類	95	F-28		1390	20.1	3			
			組立測尺	95	F-28		1401	14.5	4			
			測尺	95	F-28		6632	14.4	4			
			測尺	95	F-28		1930	3.1	4			
			測尺	95	F-28		1934	17.0	4			
			測尺	95	F-28		1990	2.2	4			
			測尺	95	F-28		2756	1.8	4			
			測尺	95	F-28		2271	16.4	4			
			石質	95	F-28		2293	18.0	4			
			石質	95	F-28		2905	12.3	4			
			測尺	95	F-28		6073	5.2	4			
			石質	95	F-28		2314	9.3	4			
			測尺	95	F-28		3804	3.3	4			
			測尺	95	F-28		2316	10.8	4			
			測尺	95	F-28		2721	6.5	4			
			測尺	95	F-28		2732	15.4	4			
			測尺	95	F-28		2735	8.6	4			
			測尺	95	F-28		2754	1.9	4			
			測尺	95	F-28		2757	20.1	4			
			石質	95	F-28		2852	1.2	4			
			測尺	95	F-28		128	1.9	4			
			測尺	95	F-28		131	1.2	4			
			測尺	95	F-28		2821	5.8	4			
			測尺	95	F-28		2874	5.4	4			
			測尺	95	F-28		3340	5.8	4			
			測尺	95	F-28		7790	8.0	4			
			測尺	95	F-28		3532	6.6	4			
			測尺	95	F-28		3367	12.4	4			
			測尺	95	F-28		7394	3.0	4			
			測尺	95	F-28		3927	13.7	4			
			測尺	95	F-28		3927	3.9	4			
			測尺	95	F-28		4169	2.6	4			
			測尺	95	F-28		4391	4.4	4			
			測尺	95	F-28		4394	4.4	4			
			測尺	95	F-28		4628	3.8	4			
			測尺	95	F-28		4647	1.8	4			

線別	区別	番号	道標等	SS	変換区	標尺	道標等	重量	変換区	石質	母材%	配合%
			測尺	95	F-28		5518	11.2	4			
			測尺	95	F-28		5222	2.4	4			
			石質	95	F-28		5373	11.3	4			
			測尺	95	F-28		5423	7.3	4			
			測尺	95	F-28		7942	4.8	4			
			測尺	95	F-28		9433	7.1	4			
			測尺	95	F-28		5712	10.2	3			
			石質	95	F-28		6554	16.6	3			
			測尺	95	F-28		7243	7.4	4			
			測尺	95	F-28		118	4.1	4			
			測尺	95	F-28		8006	2.0	4			
			測尺	95	F-28		9070	3.6	4			
			測尺	95	F-28		9081	7.2	3			
			測尺	95	F-28		6148	2.4	4			
			測尺	95	F-28		118	1.0	4			
			測尺	95	F-28		6422	7.7	4			
			測尺	95	F-28		6476	21.4	4			
			測尺	95	F-28		6633	1.4	4			
			測尺	95	F-28		6789	2.6	4			
			測尺	95	F-28		138	10.4	4			
			測尺	95	F-28		9849	10.7	4			
			測尺	95	F-28		7462	6.4	4			
			測尺	95	F-28		7450	12.5	4			
-	200	438	石質類	95	F-28		7515	26.1	4			
			測尺	95	F-28		7627	2.0	4			
			測尺	95	F-28		7635	3.5	4			
			測尺	95	F-28	I	148	1.7	4			
			測尺	95	F-28	II	127	1.0	4			
			測尺				4-8	2.0	4			
			測尺				4-8	6.6	4			
-	270	533	組合資料	95			1005.4	80	4	538	3824	
			測尺	95	K-26		78	6.5	4			
			測尺	95	K-26		87	1.3	4			
			測尺	95	K-26		107	2.8	4			
			測尺	95	K-26		139	3.3	4			
			測尺	95	L-27		21	3.5	4			
			測尺	95	K-26		160	10.8	4			
			測尺	95	L-26		822	3.2	4			
			測尺	95	K-26		170	65.7	4			
			石質	95	K-26		172	24.1	4			
			測尺	95	K-27		68	3.3	4			
			測尺	95	K-27		69	14.1	4			
			測尺	95	K-27		258	5.9	4			
			測尺	95	K-27		319	14.3	4			
			測尺	95	K-27		329	1.8	4			
			測尺	95	K-27		433	4.2	4			
			測尺	95	K-27		438	2.4	4			
			測尺	95	K-27		444	1.7	4			
			測尺	95	K-27		483	10.6	4			
-	200	430	石質類	K-27	I	2	93.0	4				
			測尺	K-27	I	3	49.3	4				
			測尺	K-27	I	15	6.7	4				
			測尺	95	L-26		70	1.8	4			
			測尺	95	L-26		85	36.7	4			
			測尺	95	L-26		105	2.8	4			
			測尺	95	L-26		185	28.2	4			
			測尺	95	L-26		131	1.3	4			
			測尺	95	L-26		190	2.5	4			
			測尺	95	L-26		205	9.5	4			
			測尺	95	L-26		590	2.2	4			
			測尺	95	L-26		246	8.4	4			
			測尺	95	L-26		252	25.6	4			
			測尺	95	L-26		253	9.9	4			
-	190	439	母体石質	95	L-26		260	92.0	4			
			石質	95	L-26		260	3.8	4			

種別	国産	番号	造物名	№	品名	単位	数量	重量	目付	石質	付率%	検出%
			鏡片	95	L26	292	9.4	4				
			鏡片	95	L26	394	5.9	4				
			鏡片	95	L26	396	12.0	4				
			鏡片	95	L26	406	4.7	4				
			鏡片	95	L27	313	23.9	4				
			鏡片	95	L26	310	3.2	4				
			石身	95	L26	375	16.1	4				
			鏡片	95	L26	889	9.1	4				
			鏡片	95	L26	387	7.1	4				
			鏡片	95	L26	426	2.3	4				
			鏡片	95	L26	429	3.4	4				
			鏡片	95	L26	432	2.6	4				
			鏡片	95	L26	467	1.7	4				
			鏡片	95	L26	492	4.4	4				
			鏡片	95	L26	392	3.4	4				
			鏡片	95	L26	528	9.9	4				
			鏡片	95	L26	540	2.9	4				
			鏡片	95	L26	552	1.7	4				
			鏡片	95	L26	561	2.9	4				
			鏡片	95	L26	576	15.0	4				
			鏡片	95	L26	595	11.1	4				
			鏡片	95	L26	602	17.3	4				
			鏡片	95	L26	629	7.8	4				
			鏡片	95	L26	634	3.9	4				
			石身	95	L26	601	7.2	4				
			鏡片	95	L26	667	1.8	4				
			鏡片	95	L26	695	2.9	4				
			鏡片	95	L26	797	3.4	4				
			鏡片	95	L26	799	2.4	4				
			鏡片	95	L26	631	3.3	4				
			石身	95	L26	716	9.6	4				
			鏡片	95	L26	726	1.4	4				
			鏡片	95	L27	203	3.9	4				
			鏡片	95	L27	573	1.8	4				
			鏡片	95	L26	822	4.7	4				
			鏡片	95	L27	20	2.1	4				
			鏡片	95	L27	49	1.2	4				
			鏡片	95	L27	39	6.1	4				
			鏡片	95	L27	129	3.2	4				
			鏡片	95	L27	141	4.6	4				
			鏡片	95	L27	145	9.0	4				
			石身	95	L27	300	4.2	4				
			鏡片	95	L27	313	1.9	4				
			鏡片	95	L27	449	3.9	4				
			石身	95	L27	754	1.1	4				
			鏡片	95	L27	1	12	25.8	4			
			鏡片	95	L27	1	14	8.4	4			
			鏡片	95	L26	396	3.9	4				
			鏡片	95	L26	352	125.5	4				
-		279	334	組合資料	89-93		417.4	30	4	799	2653	
			鏡具調片	93	N30	78	32.7	4				
			鏡片	93	O29	329	3.1	4				
			鏡具調片	93	N30	303	3.1	4				
			鏡片	93	N30	1	39	1.9	4			
			石身	93	N30	1	24	14.6	4			
			石身	93	N30	1	27	28.7	4			
			鏡片	93	O30	135	19.2	4				
			鏡片	93	N30	1	30	7.3	4			
			鏡片	93	O29	396	2.9	4				
			鏡片	93	O30	493	3.1	4				
			鏡片	93	O29	466	3.2	4				
			鏡片	93	O29	1344	13.3	4				
			鏡片	93	O30	137	14.2	4				
			鏡片	93	O30	829	3.2	4				
			鏡片	93	O30	1446	2.3	4				
			石身	93	O30	139	11.6	4				
			鏡片	93	O30	193	4.1	4				
			鏡片	93	O30	1938	8.4	4				
			鏡片	93	O30	139	3.6	4				
			二次加工未品調片	93	O30	148	13.7	4				
			鏡片	93	O30	1932	8.7	4				
			鏡片	93	O30	1138	3.6	4				
			鏡片	93	O30	1722	33.3	4				
			鏡片	93	O30	1629	2.7	4				
			二次加工未品調片	93	O30	1612	18.9	4				
			鏡片	93	O30	2407	3.3	4				
			鏡片	93	O30	2219	11.9	4				
			鏡片	93	O30	1	36	4.5	4			
			鏡片	93	O30	1	98	1.2	4			
			鏡片	93	F29	474	3.5	4				
			鏡片	93	F29	634	6.3	4				
-	109	236	石身	89	R30		222	124.8	4			
			鏡片	89	R30		228	3.3	4			
			鏡具調片	89	R30		394	2.9	4			
			石身	89	R30		346	3.8	4			
-	211	335	組合資料	93			571.7	34	4	824	2646	
			鏡片	93	M29		395	7.8	4			
			鏡片	93	M31		7	3.6	4			
			鏡片	93	N28	1	2	13.4	4			
			鏡片	93	O30		1065	19.5	4			
			鏡片	93	N30		496	4.1	4			
			二次加工未品調片	93	N30		478	72.6	4			
			鏡片	93	O30		391	31.6	4			
			鏡片	93	N31		71	4.7	4			
			鏡片	93	N31		229	3.1	4			
			鏡片	93	N31		230	6.7	4			
			石身	93	O29		2012	14.7	4			
			鏡片	93	O29		7	11.2	4			
			鏡片	93	O29		302	8.7	4			
			鏡片	93	F28	1	141	4.0	4			
			石身	93	O29		1566	22.3	4			
			鏡片	93	O30		33	2.9	4			
			鏡片	93	O30		222	8.7	4			
			鏡片	93	O30		462	3.8	4			
			鏡片	93	O30		499	13.9	4			
			鏡片	93	O30		749	14.4	4			
			鏡片	93	O30		1052	4.6	4			
			鏡片	93	O30		1082	14.1	4			
			鏡片	93	O30		1127	4.3	4			
			鏡片	93	O30		1219	13.8	4			
			鏡片	93	O30		2184	2.6	4			
			鏡片	93	O30	1	21	25.5	4			
■	146	113	調片	93	F27		408	27.6	4			
			鏡具調片	93	F28		3519	5.3	4			
			鏡具調片	93	F26		337	25.7	4			
			鏡片	93	F26		1549	33.7	4			
■	143	191	212	市販型石身	93	F28		1470	52.2	4		
			鏡片	93	F28		1639	31.9	4			
			鏡片	93	F28		6803	16.9	4			
			鏡片	93	F28		7199	47.8	4			
-	211	306	組合資料	93			303.9	12	4	839	2825	
			鏡片	93	O29		321	12.4	4			
			鏡片	93	F29	1	50	22.4	4			
			鏡片	93	O30	1	63	206.5	4			
			石身	93	F28		178	18.5	4			
			鏡片	93	F26		739	7.5	4			
			鏡片	93	F28		2390	4.9	4			
			石身	93	F28		2963	8.0	4			
			石身	93	F28		4793	2.7	4			
			鏡片	93	F28		6401	10.4	4			

上白滝8道跡(2)

線別	区間	番号	路傍標	SS	変換区	標尺	測点番号	重量	表示位置	石質	母材%	配合%
-	208	467	縦向き鋼管	SS	F-28		4923	5.6	4			
			石灯柱	SS	F-28		7803	165.7	4			
			鋼管	SS	F-28		837	20.4	4			
-	272	537	複合資料	SS			694.2	42	4	855	3650	
			鋼管	SS	O-29		133	2.3	4			
			鋼管	SS	O-29		397	2.2	4			
			鋼管	SS	O-29		1897	4.8	4			
			鋼管	SS	F-29		300	48.2	4			
			鋼管	SS	O-29		1	58	4.6	4		
-	200	476	石灯柱	SS	F-28		1489	167.3	4			
			石灯	SS	F-28		1892	4.7	4			
			鋼管	SS	F-28		2879	2.3	4			
			鋼管	SS	F-28		1896	7.0	4			
			鋼管	SS	F-28		2033	4.1	4			
			鋼管	SS	F-28		2844	1.9	4			
			鋼管	SS	F-28		2802	2.9	4			
-	100	444	垂直型石灯	SS	F-28		5489	25.3	4			
			縦向き鋼管	SS	F-28		5495	9.3	4			
			鋼管	SS	F-28		6230	11.0	4			
			鋼管	SS	F-28		1295	3.5	4			
			鋼管	SS	F-28		6849	94.5	4			
			鋼管	SS	F-28		6340	4.8	4			
			石灯	SS	F-28		6361	9.6	4			
			石灯	SS	F-28		8044	9.7	4			
			石灯	SS	F-28		6647	38.3	4			
			鋼管	SS	F-29		36	5.0	4			
			鋼管	SS	F-28	I	22	5.2	4			
			鋼管	SS	F-29	I	61	4.6	4			
-			鋼管	SS	F-28		6988	11.1	4			
			石灯	SS	F-28		7411	22.7	4			
			鋼管	SS	F-29		979	8.7	4			
			鋼管	SS	F-28		7538	4.5	4			
			石灯	SS	F-28		7331	4.2	4			
			二次加工L&S鋼管	SS	F-28		3983	23.0	4			
			鋼管	SS	F-29		534	16.8	4			
			鋼管	SS	F-29		633	19.1	4			
			鋼管	SS	F-28		7956	6.2	4			
			鋼管	SS	F-29		79	6.4	4			
			鋼管	SS	F-29		858	4.4	4			
			鋼管	SS	F-29		303	6.5	4			
			鋼管	SS	F-29		432	2.4	4			
			鋼管	SS	O-28		315	13.9	4			
			鋼管	SS	F-29		498	12.1	4			
B-244	191	257	垂直型石灯	SS	F-29		692	39.1	4			
			鋼管	SS	F-29		845	2.1	4			
			鋼管	SS	F-28	I	21	20.1	4			
-	272	538	複合資料	SS			494.2	43	4	884	3650	
			石灯	SS	M-28		694	1.4	4			
			石灯	SS	M-29		111	1.2	4			
			石灯	SS	N-27		436	11.4	4			
			鋼管	SS	O-27	I	6	1.7	4			
			石灯	SS	M-28		2	8.1	4			
			鋼管	SS	N-28	I	3	10.8	4			
			鋼管	SS	N-29	I	42	6.2	4			
			鋼管	SS	O-28		31	2.4	4			
			石灯	SS	O-26		316	4.0	4			
			鋼管	SS	O-27		45	3.3	4			
			石灯	SS	O-27		74	5.2	4			
鋼管	SS	O-27		92	3.8	4						
鋼管	SS	O-27		132	1.6	4						
縦向き鋼管	SS	O-27		454	63.5	4						
縦向き鋼管	SS	O-27		520	36.2	4						
縦向き鋼管	SS	O-27		475	2.2	4						
鋼管	SS	O-27		1542	13.5	4						
-	202	473	石灯柱	SS	O-27		714	66.8	4			

			鋼管	SS	O-27		813	4.1	4			
			鋼管	SS	O-27		821	6.2	4			
			鋼管	SS	O-27		829	36.7	4			
			鋼管	SS	O-27	I	3	4.5	4			
			鋼管	SS	O-27	I	5	2.0	4			
			鋼管	SS	O-28		35	5.4	4			
			鋼管	SS	O-28		125	3.9	4			
			鋼管	SS	O-28		668	1.7	4			
B-244	191	257	垂直型石灯	SS	O-28		280	15.8	4			
			鋼管	SS	O-28	I	7	15.6	4			
			鋼管	SS	O-28		208	10.8	4			
			鋼管	SS	O-28		801	2.4	4			
			鋼管	SS	O-28		1540	5.8	4			
			鋼管	SS	O-29		176	1.8	4			
			石灯	SS	F-26		28	12.0	4			
			鋼管	SS	F-26		194	2.8	4			
			鋼管	SS	F-26		68	7.8	4			
			鋼管	SS	F-26		101	4.5	4			
			鋼管	SS	F-26		132	26.6	4			
			縦向き鋼管	SS	F-26		194	3.1	4			
			鋼管	SS	F-28		5622	2.6	4			
			鋼管	SS	F-28		6283	5.0	4			
			鋼管	SS	F-28		7038	1.9	4			
			鋼管	SS	F-28	II	149	1.1	4			
			鋼管	SS	Q-26		96	10.2	4			
-	273	539	複合資料	SS			257.8	28	4	900	3650	
B-238	187	185	橋脚	SS	O-27		25	11.2	4			
			鋼管	SS	O-27		164	7.0	4			
B-238	187	189	橋脚	SS	O-27		719	5.9	4			
			石灯	SS	O-27		784	1.8	4			
			石灯	SS	O-27	I	10	2.5	4			
			鋼管	SS	O-28		121	3.5	4			
			石灯	SS	O-28		587	7.3	4			
			鋼管	SS	O-28		677	65.2	4			
			鋼管	SS	O-28		750	9.0	4			
			鋼管	SS	O-28		2050	1.0	4			
			石灯	SS	O-28		1218	2.2	4			
			鋼管	SS	O-28	II	18	14.8	4			
			鋼管	SS	O-28		1370	5.3	4			
			石灯	SS	O-29		116	4.8	4			
			石灯	SS	O-29		1280	4.6	4			
			石灯	SS	F-26		106	1.5	4			
			鋼管	SS	F-26		130	3.9	4			
			鋼管	SS	F-26		133	6.2	4			
			石灯	SS	F-26		191	20.9	4			
			石灯	SS	F-27		3	2.2	4			
			石灯	SS	F-27		82	18.7	4			
			鋼管	SS	F-27		77	38.4	4			
			鋼管	SS	F-27		93	15.7	4			
			鋼管	SS	F-27		531	3.1	4			
			石灯	SS	F-28		4944	1.4	4			
			石灯	SS	Q-25		68	5.7	4			
			鋼管	SS	Q-26		9	2.6	4			
			石灯	SS	Q-26		16	10.2	4			
-	273	540	複合資料	SS			379.6	13	4	820	3650	
-	202	469	石灯柱	SS	N-29		419	384.3	4			
			鋼管	SS	O-30		132	2.5	4			
			鋼管	SS	O-30		189	12.9	4			
			石灯	SS	O-30		358	9.8	4			
			鋼管	SS	O-30		778	2.9	4			
			鋼管	SS	O-30		2092	18.5	4			
			縦向き鋼管	SS	O-30		748	3.5	4			
			鋼管	SS	O-30		1227	8.8	4			
			鋼管	SS	O-30		1319	27.7	4			
			石灯	SS	O-30		1371	13.6	4			

掲載遺物一覧

種別	国産	番号	品群番号	No.	品名	種別	数量	重量	寸法	石質	埋7%	埋5%
					鏡片	93	030	1947	2.8	4		
					鏡片	93	030	1791	6.1	4		
					鏡片	93	030	1	7.6	4		
-	273	541	総合資料	93				895.9	8	4	895	3835
					鏡片	93	N31	568	3.9	4		
					石片	93	N31	1	10	5.0	4	
					石片	93	030	432	19.1	4		
			一次加工・A4類	93	029			218	2.7	4		
				93	P28			2863	6.7	4		
				93	P28			2865	8.5	4		
品名	187	193	鏡部	93	029			480	9.3	4		
			鏡片鏡片	93	030			433	33.7	4		
-	274	542	総合資料	93				232.3	7	4	935	3835
					石片	93	029	1104	31.5	4		
					石片	93	P28	287	2.6	4		
					石片	93	P28	275	15.0	4		
-	301	460	石片類	93	P28			1097	95.5	4		
					鏡片	93	P28	3511	1.8	4		
					鏡片	93	P28	6209	26.8	4		
					鏡片	93	P28	364	25.1	4		
-	274	543	総合資料	93				198.2	39	4	897	3834
					鏡片	93	N31	194	3.3	4		
					鏡片	93	030	1949	13.3	4		
					鏡片	93	029	1	71	14.8	4	
					鏡片	93	030	15	74.4	4		
					鏡片	93	030	446	28.0	4		
					鏡片	93	030	1	41	8.4	4	
-	303	477	石片類	93	030			689	85.1	4		
					鏡片	93	030	1068	24.0	4		
					鏡片	93	P28	3	9.2	4		
					鏡片	93	P28	193	2.8	4		
					鏡片	93	P28	237	9.0	4		
					鏡片	93	P28	562	9.8	4		
					鏡片	93	P28	775	4.7	4		
					鏡片	93	Q27	286	13.9	4		
					鏡片	93	P28	890	45.1	4		
					鏡片	93	P28	1185	1.8	4		
					鏡片	93	P28	1203	2.8	4		
					鏡片	93	P28	1317	19.7	4		
					鏡片	93	P28	1449	19.2	4		
					鏡片	93	P28	2849	1.5	4		
					鏡片	93	P28	1	178	39.3	4	
					鏡片	93	P29	90	10.5	4		
					鏡片	93	Q27	180	6.8	4		
					鏡片	93	Q27	289	4.1	4		
					鏡片	93	Q27	213	46.1	4		
					鏡片	93	Q28	126	196.0	4		
					鏡片	93	Q27	284	3.1	4		
					鏡片	93	Q28	7	28.9	4		
					鏡片	93	Q28	12	21.4	4		
					鏡片	93	Q28	94	3.3	4		
					鏡片	93	Q28	123	6.9	4		
					鏡片	93	Q28	127	13.2	4		
					鏡片	93	Q28	203	4.4	4		
					鏡片	93	Q28	282	7.4	4		
					鏡片	93	Q28	322	11.0	4		
					鏡片	93	Q28	317	4.8	4		
					鏡片	93	Q28	422	8.2	4		
					鏡片	93	Q28	319	5.5	4		
					鏡片	93	Q28	425	32.5	4		
-	274	544	総合資料	93				439.7	30	4	893	3833
品名	191	268	準鏡形石器	93	N30			286	20.9	4		
					鏡片	93	028	114	7.1	4		
-	300	431	石片類	93	030			108	173.6	4		
					石片	93	030	793	5.6	4		

種別	国産	番号	品群番号	No.	品名	種別	数量	重量	寸法	石質	埋7%	埋5%
					鏡片	93	P28	83	18.6	4		
					鏡片	93	P28	145	17.1	4		
					鏡片	93	P28	286	7.0	4		
					鏡片	93	P28	306	9.2	4		
					鏡片	93	P28	319	4.5	4		
					鏡片	93	P28	891	4.7	4		
					鏡片	93	P28	1844	7.1	4		
					鏡片	93	P28	892	2.6	4		
					鏡片	93	P28	1854	3.6	4		
					鏡片	93	P28	2442	14.8	4		
					鏡片	93	P28	2538	2.5	4		
					鏡片	93	P28	2865	1.4	4		
					鏡片	93	P28	3400	1.3	4		
					鏡片	93	P28	4301	5.3	4		
					鏡片	93	P28	5845	3.8	4		
					鏡片	93	P28	6200	43.1	4		
					鏡片	93	P29	203	24.5	4		
					鏡片	93	P28	1	182	9.8	4	
					鏡片	93	P29	391	4.4	4		
					鏡片	93	Q27	629	8.4	4		
					鏡片	93	Q28	189	15.4	4		
					鏡片	93	Q28	300	3.9	4		
					鏡片	93	Q28	232	3.3	4		
					鏡片	93	Q28	264	1.9	4		
					鏡片	93	Q28	272	54.0	4		
					鏡片	93	Q28	273	5.3	4		
-	275	545	総合資料	93				1065.9	88	4	893	3798
					鏡片	93	M29	1	4	8.0	4	
					鏡片	93	M31	1	2	65.2	4	
					鏡片	93	M31	1	4	1.4	4	
					鏡片	93	M31	1	5	3.2	4	
					鏡片	93	M31	1	14	2.0	4	
					鏡片	93	M32	3	1.5	4		
					鏡片	93	M32	39	2.5	4		
					鏡片	93	M32	182	28.0	4		
					鏡片	93	M35	112	18.6	4		
					鏡片	93	M35	145	4.3	4		
					鏡片	93	N30	115	33.3	4		
					鏡片	93	030	362	65.6	4		
					鏡片	93	N30	479	6.9	4		
					鏡片	93	N30	1	3	8.9	4	
					鏡片	93	030	1948	2.0	4		
					鏡片	93	N30	1	4	4.9	4	
					鏡片	93	N30	1	6	3.0	4	
					鏡片	93	N30	1	79	6.7	4	
					鏡片	93	030	1243	5.5	4		
					鏡片	93	N30	1	71	6.6	4	
					鏡片	93	N30	1	79	1.5	4	
					鏡片	93	N31	38	3.1	4		
					鏡片	93	N31	69	25.7	4		
					鏡片	93	N31	262	1.2	4		
					鏡片	93	N31	280	2.9	4		
					鏡片	93	030	819	1.1	4		
					鏡片	93	N31	636	14.8	4		
					鏡片	93	N31	1	2	21.6	4	
					鏡片	93	N31	1	3	3.7	4	
					鏡片	93	N31	1	4	8.2	4	
					鏡片	93	030	2090	8.1	4		
					鏡片	93	N31	1	6	8.9	4	
					鏡片	93	N31	1	7	7.6	4	
					鏡片	93	M32	90	18.8	4		
					鏡片	93	M32	196	1.2	4		
					鏡片	93	Q31	82	16.3	4		
					鏡片	93	M32	865	18.2	4		
					鏡片	93	Q28					

路線	区間	番号	設備等	№	架間尺	幅巾	構造形式	重量	自重(トン)	石質	積立率	積立%	積立%
			石瓦	90	F27	37	294.9	1					
			鋼片	90	F27	62	4.3	0					
			鋼片	90	F27	136	6.7	1					
			鋼片	90	F27	6	66.5	1					
			鋼片	90	F27	237	109.8	1					
			鋼片	90	F26	78	9.1	0					
			鋼片	90	F27	279	31.5	1					
			鋼片	90	Q26	3	136.4	0					
			鋼片鋼桁	90	F27	317	4.2	1					
			鋼片	90	F27	320	235.2	1					
			鋼片	90	Q27	14	5.3	1					
			鋼片	90	F26	75	43.0	0					
			鋼片	90	F27	341	16.3	1					
			鋼片	90	Q27	13	4.3	1					
			石瓦	90	F27	347	9.3	1					
			鋼片	90	F27	348	49.7	1					
			鋼片	90	F27	360	40.6	1					
			鋼片	90	Q27	296	62.7	1					
			鋼片	90	F27	392	19.8	1					
			鋼片	90	F26	391	98.5	1					
			鋼片	90	F26	407	2.7	1					
			鋼片	90	F26	3146	1.8	1					
			鋼片	90	Q27	98	4.8	1					
			鋼片	90	Q27	215	6.4	1					
			鋼片	90	Q27	219	2.7	1					
			鋼片	90	Q27	223	11.6	1					
			鋼片	90	Q27	263	48.6	1					
			鋼片	90	Q27	673	7.0	0					
			鋼片	90	F27	395	27.9	1					
			鋼片	90	F26	3968	16.5	1					
東武線	185	111	鋼桁	90	F27	430	27.9	0					
			鋼片	90	F27	436	13.1	1					
			鋼片	90	F27	431	4.4	1					
			鋼片	90	F27	547	7.8	1					
			鋼片	90	Q26	135	431.7	1					
			鋼片	90	F26	42	1.4	1					
			鋼片	90	F26	62	2.1	1					
			鋼片	90	F26	95	1.3	0					
			石瓦	90	F27	461	11.2	1					
			鋼片	90	F26	142	29.1	0					
			鋼片鋼桁	90	F27	463	6.2	1					
			鋼片鋼桁	90	F27	493	121.8	1					
			鋼片	90	F26	90	14.8	0					
			鋼片	90	F26	121	25.1	0					
			鋼片	90	F26	122	31.1	0					
			鋼片鋼桁	90	F27	499	39.4	1					
			鋼片	90	F26	143	194.4	0					
			鋼片	90	F27	507	6.1	1					
			鋼片	90	F26	390	3.3	1					
			鋼片	90	Q27	307	48.4	1					
			鋼片	90	F26	47	2.5	0					
			鋼片	90	F26	130	20.4	0					
			鋼片	90	F26	132	148.0	0					
			鋼片	90	F26	94	47.4	1					
			鋼片	90	Q27	306	18.6	1					
			鋼片鋼桁	90	F26	192	6.7	1					
			鋼片	90	Q27	436	7.1	1					
東武線	194	303	石瓦柱	90	F26	390	310.9	1					
			鋼片鋼桁	90	F26	391	4.5	1					
			石瓦	90	F26	401	7.6	1					
			鋼片	90	F26	90	20.5	0					
			鋼片鋼桁	90	F26	234	15.0	1					
			鋼片	90	Q27	457	17.2	1					
			鋼片	90	F26	10	52.7	0					
			鋼片	90	F26	3071	4.5	1					
			鋼片鋼桁	90	F26	4123	16.4	1					
			鋼片	90	F26	124	275.6	0					
			鋼片	90	F26	4666	28.7	1					
			石瓦	90	F26	4965	24.2	1					
			石瓦	90	F26	3000	22.3	1					
			鋼片	90	F26	4268	4.0	1					
			鋼片	90	Q26	89	29.2	1					
			鋼片	90	F26	112	3.2	0					
			鋼片	90	Q26	114	74.0	1					
			鋼片	90	Q26	128	3.4	1					
			鋼片	90	F26	121	2.4	0					
			石瓦	90	Q26	136	36.5	1					
			鋼片	90	Q26	154	3.4	1					
			鋼片鋼桁	90	Q27	85	7.0	1					
			鋼片	90	Q27	98	11.8	1					
			鋼片	90	Q27	103	8.4	1					
			鋼片	90	Q27	129	167.9	1					
			鋼片	90	Q27	212	6.8	1					
			鋼片	90	Q27	220	170.8	1					
			鋼片	90	Q27	271	27.1	1					
			石瓦	90	Q27	285	39.0	1					
			鋼片鋼桁	90	Q27	329	139.3	1					
			鋼片	90	F26	395	122.4	0					
			鋼片	90	F26	116	3.0	0					
			鋼片	90	Q27	331	126.0	1					
			鋼片	90	Q27	332	14.2	1					
			石瓦	90	Q27	312	9.0	1					
			鋼片鋼桁	90	Q27	611	4.6	1					
			鋼片	90	Q27	622	8.7	1					
			石瓦	90	Q27	600	6.6	1					
			石瓦	90	Q27	657	29.9	1					
			鋼片	90	F26	12	1.9	1					
			鋼片	90	F26	21	3.4	0					
			鋼片	90	F26	49	1.8	0					
			鋼片	90	F26	23	2.5	1					
			鋼片鋼桁	90	F26	24	6.9	0					
			鋼片	90	F26	108	9.7	0					
			石瓦	90	F26	35	3.9	1					
			石瓦	90	F26	39	1.9	0					
			鋼片	90	F26	36	2.0	0					
			鋼片	90	F26	49	8.0	0					
			石瓦	90	F26	61	19.7	0					
			鋼片	90	F26	66	2.1	1					
			鋼片鋼桁	90	F26	70	114.4	0					
			鋼片	90	F26	144	73.5	0					
			鋼片鋼桁	90	F26	71	1.2	1					
			鋼片	90	F26	97	53.8	0					
			鋼片鋼桁	90	F26	98	16.0	0					
			鋼片	90	F26	114	3.6	0					
			鋼片	90	F26	126	11.3	0					
			鋼片	90	F26	145	2.0	1					
			鋼片	90	F26	133	163.0	0					
東武線	195	306	石瓦柱	90	F26	127	177.1	0					
			石瓦	90	F26	129	66.2	1					
			鋼片	90	F26	131	18.5	0					
			鋼片	90	F26	135	294.1	0					
			石瓦	90	F26	5	33.0	1					
			鋼片鋼桁	90	F26	6	131.8	1					
-	279	302	複合鋼桁	90		1090.1	21	1-9	772	3408			
			石瓦	90	F27	87	22.8	1					
			鋼片	90	F26	105	4.0	1					
			鋼片	90	F27	101	670.0	1					
			鋼片	90	F26	141	63.7	0					
			石瓦	90	F27	365	25.9	1					
			鋼片	90	F27	334	25.5	1					

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	道跡番号	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
			石片	93	F27		280	16.7		1		
				93	F27	I	7	26.3		1		
			湖片	93	F28		608	443.1		1		
				93	F28	I	229	23.1		1		
			湖片	93	F28		1320	27.5		1		
			石片	93	F28		1302	2.9		1		
				93	F28	II	81	3.3		3		
			湖片	93	Q26		8	52.7		3		
			石片	93	Q27		393	43.8		1		
			湖片	93	Q27		282	72.9		1		
-	232	420	石片核	93	Q27		638	476.0		1		
			石片	93	Q27		646	6.7		1		
			石片	93	Q27		683	30.4		1		
				93	F26		58	3.7		3		
			湖片		Q27	I	14	9.8		1		
			石片	93	F26		118	8.2		3		
				93	F26		130	6.3		3		
-	239	523	综合資料	93-95			2492.2	44		779	5407	
			石片	93	Q28		1320	10.8		1		
				93	F27		287	9.5		1		
			石片	93	F27		139	16.2		1		
				93	Q28		45	6.2		1		
				93	Q27		334	13.1		1		
			湖片湖片	93	F27		278	8.1		1		
				93	Q27		276	4.5		1		
				93	Q27		277	2.9		1		
			石片	93	F27		323	28.4		1		
			石片	93	F27		327	26.4		1		
			湖片	93	F27		330	29.1		1		
			湖片	93	F27		333	18.1		1		
			石片	93	F27		379	30.6		1		
				93	Q26		86	6.0		1		
			湖片	93	F27		381	38.7		1		
				93	F28		219	23.7		1		
				93	F28		9480	5.6		1		
				93	Q26		85	4.2		1		
			湖片	93	F27		385	28.1		1		
				93	F28		382	13.4		1		
			湖片	93	F28		14	169.2		1		
				93	F28		207	7.2		1		
			石片	93	F28		318	3.6		1		
				93	Q26		77	10.4		1		
				93	F26		127	13.7		1		
			湖片	93	F28		104	125.5		1		
				93	Q27		412	72.4		1		
			湖片	93	F28		2351	11.9		1		
			湖片	93	Q26		4	11.3		1		
				93	Q27		330	298.6		1		
			湖片	93	Q26		41	6.7		1		
			石片	93	Q26		61	4.2		1		
			湖片	93	Q26		80	5.4		1		
			湖片	93	Q26		141	286.6		1		
			湖片	93	Q26		130	138.0		1		
			湖片	93	Q27		99	5.1		1		
			湖片	93	Q27		278	13.7		1		
-	233	481	石片核	93	Q27		280	472.8		1		
			石片	93	Q27		286	18.7		1		
			湖片	93	Q27		628	2.1		1		
			石片	93	Q27	I	13	14.5		1		
-	240	554	综合資料	93			2223.5	29		736	3104	
			石片	93	Q28		1282	3.3		1		
				93	Q30		852	5.0		1		
			湖片	93	Q29		323	37.7		1		
				93	F27		269	112.4		1		
			湖片	93	Q29		840	13.0		1		

線別	区別	番号	道跡番号	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
			湖片	93	F27		8	75.9		1		
			湖片	93	F27		283	280.6		1		
			石片	93	F27		415	6.4		1		
			G石	93	F27		494	14.2		1		
				93	Q27		627	44.7		1		
-	240	455	石片核	93	F28		1	172.5		1		
			湖片	93	F28		2598	36.0		1		
				93	Q27		104	79.9		1		
				93	Q27		139	226.6		1		
			二次加工赤土湖片	93	F28		4525	220.1		1		
			石片	93	F28		4638	28.3		1		
				93	F28		5182	17.2		1		
			湖片	93	Q26		25	28.0		1		
				93	Q27		283	25.1		1		
			湖片	93	Q26		62	179.4		1		
			湖片湖片	93	Q26		137	30.0		1		
				93	Q26		142	14.1		1		
			G石	93	Q27		18	60.3		1		
			石片	93	Q27		26	30.9		1		
				93	Q27		89	32.7		1		
			G石	93	Q27		165	18.5		1		
			湖片	93	Q27		628	11.3		1		
				93	F26		93	116.4		1		
			湖片	93	F26		123	20.0		1		
-	240	555	综合資料	93-95			1006.3	32		771	3087	
			G石	93	M30		8	6.3		1		
				93	O30		158	2.4		1		
			石片	93	N29		147	41.4		1		
			G石	93	N29		1271	3.4		1		
			湖片	93	N30		35	3.5		1		
			湖片	93	N30		70	3.9		1		
			湖片	93	O29		1476	68.8		1		
				93	F28		3106	5.6		1		
				93	F28		4031	11.4		1		
				93	F28		7593	56.9		1		
			石片	93	O30		162	23.1		1		
			湖片	93	O30		254	2.7		1		
			湖片	93	O30		425	12.1		1		
			湖片	93	O30		532	6.4		1		
			湖片湖片	93	O30		721	7.9		1		
			湖片湖片	93	O30		726	3.7		1		
			湖片	93	O30		911	7.8		1		
				93	O30		1192	1.8		1		
				93	F30		22	84.7		1		
			湖片	93	O30		1241	2.0		1		
			湖片	93	O30		1389	12.4		1		
			湖片	93	O30		1482	5.0		1		
			湖片	93	O30		1529	5.1		1		
			湖片	93	O30		1990	3.7		1		
			湖片	93	O30		2649	0.9		1		
			湖片	O30	I		120	10.8		1		
			湖片	O30	I		128	4.4		1		
			湖片	93	F27		420	24.7		1		
-	241	462	石片核	93	F27		427	426.2		1		
-	198	419	湖片	93	F28		1189	10.3		1		
			湖片	93	F30		16	3.5		1		
			石片	93	Q28		416	9.7		1		
-	241	506	综合資料	93			1342.6	9		666	3117	
			湖片	93	H35		42	6.0		3		
				93	H35		143	3.0		3		
			湖片	93	H35		52	175.0		1		
				93	H35		123	21.9		3		
			湖片	93	H35		136	7.5		3		
			湖片	93	H35		137	306.8		3		
			湖片	93	H35		150	11.7		3		

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	道標等	SS	変換区	標尺	道標番号	重量	変換区	石積	母材%	配合%
			測尺	94	1.31	389	1.5	4				
			測尺	94	1.31	390	2.7	4				
			測尺	94	1.31	392	1.4	4				
			測尺	94	1.31	476	1.1	4				
			測尺	94	1.31	748	2.6	4				
			測尺	94	1.31	686	20.9	4				
			測尺	94	1.31	487	2.2	4				
			測尺	94	1.31	594	1.8	3				
			測尺	94	1.31	908	1.9	4				
			測尺	94	1.31	488	5.7	4				
			測尺	94	1.31	490	2.8	4				
			測尺	94	1.31	521	8.2	4				
			測尺	94	1.31	322	1.3	4				
			測尺	94	1.31	528	2.9	4				
			測尺	94	1.31	554	1.5	4				
			測尺	94	1.31	533	1.2	4				
			測尺	94	1.31	533	5.6	4				
			測尺	94	1.31	571	1.4	4				
			身成形石積	94	1.31	389	2.1	4				
			測尺	94	1.31	592	8.8	4				
			測尺	94	1.31	1317	1.7	3				
			測尺	94	1.31	1386	3.4	3				
			測尺	94	1.31	1384	2.4	3				
			測尺	94	1.31	621	0.6	4				
			測尺	94	1.31	820	1.4	4				
			測尺	94	1.31	636	1.5	4				
			石積	94	1.31	849	3.0	4				
			測尺	94	1.31	1640	10.1	4				
			測尺	94	1.31	1547	8.9	4				
			測尺	94	1.31	808	21.8	4				
			測尺	94	1.31	892	4.0	4				
			測尺	94	1.31	902	3.8	4				
			測尺	94	1.31	906	3.0	4				
			測尺	94	1.31	914	4.0	4				
			測尺	94	1.31	930	2.2	4				
			測尺	94	1.31	934	3.2	4				
			測尺	94	1.31	933	5.7	4				
			測尺	94	1.31	951	1.5	4				
			測尺	94	1.31	967	10.6	4				
			測尺	94	1.31	1009	0.6	4				
			測尺	94	1.31	1010	11.8	4				
			測尺	94	1.31	1079	1.2	4				
			測尺	94	1.31	1080	6.9	4				
			測尺	94	1.31	1371	12.9	4				
			測尺	94	1.31	1874	2.1	4				
			測尺	94	1.31	2178	1.8	4				
			測尺	94	1.31	202	29.1	3				
			測尺	94	1.31	1367	2.4	3				
			測尺	94	1.31	1310	14.1	3				
			測尺	94	1.31	1318	6.9	4				
			測尺	94	1.31	1327	3.9	4				
			測尺	94	1.31	1333	3.5	3				
			測尺	94	1.31	1340	2.7	3				
			測尺	94	1.31	1367	5.8	3				
			測尺	94	1.31	1373	1.9	3				
			縦横測尺	94	1.31	1386	11.7	4				
			身成形石積	94	1.31	1387	4.3	4				
			測尺	94	1.31	2222	18.6	4				
			測尺	94	1.31	1392	2.6	4				
			測尺	94	1.31	1834	1.5	3				
			測尺	94	1.31	1823	5.1	4				
			測尺	94	1.31	2238	2.3	4				
			石積	94	1.31	1867	77.0	4				
			縦横測尺	94	1.31	1892	20.4	3				
			測尺	94	1.31	2202	12.4	3				

			測尺	94	1.31	2216	0.8	4					
			測尺	94	1.31	2252	8.2	4					
			測尺	94	1.31	2213	4.9	3					
	283	560	複合資料	95					1156.6	10	3-5	942	4991
			測尺	N30	1	86	5.9	5					
			測尺	N30	1	90	27.1	5					
			測尺	O30		1101	4.6	3					
			測尺	N33	1	7	83.7	5					
			石積	O30		679	2.9	5					
			石積	O30		1139	10.7	3					
			石積	O30	1	118	7.2	5					
			石積	O30	1	129	44.9	3					
			測尺	O30	P27	448	373.2	5					
	280	638	石積	O30		138	318.4	5					
	283	361	複合資料	95					669.9	18	4	848	3731
			石積	O30	O29	13	34.3	4					
			石積	O30	P27	43	7.0	4					
	282	468	石積	O30	P27	88	399.0	4					
			石積	O30	P27	117	22.0	4					
			石積	O30	Q27	224	9.7	4					
			縦横測尺	O30	P28	48	30.2	4					
			測尺	O30	Q27	504	1.8	4					
			測尺	O30	Q27	562	5.4	4					
			測尺	O30	P28	132	8.1	4					
			測尺	O30	P28	158	4.8	4					
			測尺	O30	P28	993	79.5	4					
			縦横測尺	O30	P28	1206	44.6	4					
			測尺	O30	Q27	431	4.1	4					
			測尺	O30	Q27	583	56.5	4					
			測尺	O30	Q26	3	309.9	4					
			測尺	O30	Q27	313	15.1	4					
			測尺	O30	Q27	337	15.8	4					
			石積	O30	Q27	509	9.6	4					
	283	562	複合資料	95-94					474.8	23	3-4	621	3134
			石積	95	H32	16	5.6	4					
	284	286	石積	95	H33	6	43.9	4					
			測尺	95	H34	18	28.7	4					
			石積	95	H33	19	16.7	4					
			測尺	95	H33	22	4.9	4					
			縦横測尺	95	H33	23	14.8	3					
			測尺	95	H33	36	2.0	3					
			測尺	95	H33	39	5.3	4					
			石積	95	H33	43	4.3	4					
			測尺	95	H33	154	5.3	3					
			測尺	95	H33	111	8.3	4					
			石積	95	H33	116	28.4	4					
			石積	95	H33	117	8.9	4					
			測尺	95	H33	136	6.0	4					
			測尺	95	H33	196	16.0	3					
			石積	94	H36	1	8	4.9	4				
			測尺	94	H33	5	4.8	3					
			測尺	94	H33	7	62.6	3					
			測尺	96	H33	10	131.6	3					
			石積	94	H33	24	2.8	3					
			測尺	96	H33	25	28.4	3					
	284	563	複合資料	95-94-94					232.2	103	3-4	769	3228
	285	181	287	身成形石積	94	H32	1	27.3	4				
			縦横測尺	94	H32	19	15.1	4					
			測尺	94	H32	197	58.7	4					
			縦横測尺	94	H32	25	146.1	4					
			測尺	94	H32	280	12.8	4					
			測尺	95	H34	74	11.7	4					
			測尺	92	H34	259	12.3	4					
			測尺	94	H31	28	3.6	4					
			測尺	94	H31	30	7.9	4					

棟名	階数	番号	造物等	№	築年次	積立	建物延床	重量	自重(トン)	石質	積立率	積立%
			石葺	94	1.31	36	19.7					
				94	1.31	286	12.8					
				90	1.32	712	41.7					
第24	190	234	調整	94	1.31	27	66.0					
			調片	94	1.31	63	112.7					
				94	1.31	324	3.8					
			調片	94	1.31	71	1.0					
			調片	94	1.31	28	28.0					
			調片	94	1.31	120	1.3					
				94	1.31	434	28.5					
				94	1.31	743	7.9					
				94	1.31	802	1.9					
			調片	94	1.31	121	4.6					
			調片	94	1.31	128	8.1					
			調片	94	1.31	206	8.9					
			調片	94	1.31	287	2.1					
				94	1.31	329	11.3					
				94	1.31	2084	16.6					
			調片	94	1.31	271	5.3					
			調片	94	1.31	272	22.4					
			調片	94	1.31	283	13.5					
			調片	94	1.31	289	13.6					
			調片	94	1.31	328	69.7					
				94	1.31	1892	4.8					
			石葺	94	1.31	320	3.5					
			調片	94	1.31	323	2.5					
			縦長調片	94	1.31	391	11.5					
				94	1.31	529	7.2					
			調片	94	1.31	433	3.5					
			調片	94	1.31	438	5.1					
			調片	94	1.31	440	10.1					
				94	1.31	503	6.8					
				94	1.31	506	7.6					
			調片	94	1.31	496	28.9					
			調片	94	1.31	489	23.8					
				94	1.31	583	10.6					
			二次加工赤心調片	94	1.31	526	42.5					
			調片	94	1.31	541	39.7					
			調片	94	1.31	566	3.3					
				94	1.31	714	61.2					
				94	1.31	1213	8.2					
			調片	94	1.31	393	44.8					
				94	1.31	1200	17.1					
			調片	94	1.31	433	7.5					
			調片	94	1.31	726	4.9					
			調片	94	1.31	737	28.4					
			調片	94	1.31	768	4.1					
			調片	94	1.31	783	5.0					
			調片	94	1.31	825	10.9					
			調片	94	1.31	842	1.9					
			調片	94	1.31	927	12.1					
			調片	94	1.31	929	2.3					
			調片	94	1.31	930	2.7					
			調片	94	1.31	934	27.7					
				94	1.31	1015	1.6					
			調片	94	1.31	923	12.1					
			調片	94	1.31	1012	80.1					
				94	1.31	1201	10.3					
			調片	94	1.31	1068	12.0					
			調片	94	1.31	1069	16.2					
第24	191	235	専ら彫石葺	94	1.31	1886	26.3					
			調片	94	1.32	179	7.0					
				94	1.32	185	18.8					
			調片	94	1.32	199	47.2					
			石葺	94	1.31	791	10.6					

棟名	階数	番号	造物等	№	築年次	積立	建物延床	重量	自重(トン)	石質	積立率	積立%
				94	1.31	2310	7.4					
			調片	94	1.31	806	8.6					
			調片	94	1.31	808	1.3					
			縦長調片	94	1.31	808	12.7					
				94	1.31	1366	1.8					
			二次加工赤心調片	94	1.31	872	12.8					
				94	1.31	2253	32.9					
			調片	94	1.31	1330	28.1					
			縦長調片	94	1.31	1363	62.1					
				94	1.31	2251	32.7					
			石葺	94	1.31	1378	10.6					
				94	1.31	1877	7.5					
			縦長調片	94	1.31	1300	42.3					
			調片	94	1.31	1628	6.5					
				94	1.31	1532	13.9					
			調片	94	1.31	1635	3.7					
			調片	94	1.31	1630	142.5					
第24	192	238	専ら彫石葺	94	1.31	1878	18.2					
			縦長調片	94	1.31	1679	8.6					
			調片	94	1.31	2177	8.2					
			調片	94	1.31	2189	4.7					
			調片	94	1.31	2226	10.6					
			調片	94	1.31	2311	4.9					
			調片	94	1.32	403	29.5					
				94	1.32	709	11.2					
			調片	94	1.32	713	105.6					
			石葺	94	1.32	7	28.2					
				94	1.32	21	6.4					
			石葺	94	1.32	28	35.0					
-	285	300	複合資料	93-95			886.2	30	1	233	3322	
			調片	95	M26		75	16.5				
			調片	95	M27		80	4.8				
			調片	95	M27		135	13.2				
				95	O26		20	7.1				
			縦長調片	95	M27		418	17.1				
-	198	429	調整	95	M28		451	2.0				
			調片	95	O26		439	2.9				
			調片		M28	1	18	8.7				
			調片	95	M29		12	4.4				
			調片	95	M29		49	4.6				
			調片	95	N25		38	14.8				
				95	N27		1384	12.2				
				95	Q24		4	22.3				
			調片	95	N26		422	23.6				
			調片	95	N27		101	31.0				
-	284	408	石葺	95	N27		106	31.9				
			調片	95	N27		1772	25.6				
				95	N28		203	4.0				
				95	O26		300	22.0				
			二次加工赤心調片		N28	1	16	29.4				
			調片	95	O26		138	13.1				
			調片	95	O26		225	32.7				
			縦長調片	95	O26		228	13.4				
				95	O26		679	14.8				
			調片	95	O26		311	24.2				
			調片	95	O26		253	176.5				
				95	O26		429	65.3				
			調片	95	O27		116	20.0				
-	284	405	石葺	95	O27		801	130.3				
			石葺	95	Q25		138	14.8				
-	286	367	複合資料	93-95			1289.8	33	3-4	913	3895	
			調片	93	N29		14	31.6				
				93	O28		892	44.4				
			調片	93	N29		253	61.8				
				93	O29		498	16.3				

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	道標等	SS	変換区	標尺	測物番号	重量	変換区	石質	母岩%	粒合%
			測尺	93	N29		295	16.3				
				93	O29		272	15.8				
				93	O29	I	67	24.3				
			測尺	93	N29		309	16.5				
				93	N29		361	22.0				
			石質		N29	I	9	13.0				
				93	F27		473	21.7				
			測尺		N29	I	39	8.3				
			測尺	93	O28		87	25.5				
				93	O28		1868	11.7				
			測尺	93	O28		134	7.1				
				93	F27		524	86.2				
			測尺	93	O28		262	5.2				
				93	O31	I	4	24.4				
			縦長測尺	93	O28		443	7.3				
			縦長測尺	93	O28		519	41.6				
			測尺	93	O28		548	11.7				
			測尺	93	O28		507	7.8				
			測尺	93	O28		932	23.2				
				93	O28		982	15.6				
				93	O29		38	3.3				
			測尺	93	O28		1068	16.7				
			測尺	93	O28		1702	5.2				
				93	O28		1630	17.9				
			縦長測尺	93	O29		206	37.1				
			測尺	93	O29		376	21.5				
			縦長測尺		O29	I	66	9.1				
			測尺	93	F27		99	49.2				
			石質	93	F27		526	243.5				
-	287	483	複合資料	93			970.0	34		877	3608	
			測尺		N29	I	6	9.2				
				93	O28		75	36.5				
			測尺		N29	I	8	19.8				
			測尺		N29	I	47	5.8				
			測尺	93	O28		57	3.3				
				93	F28		3514	5.8				
			測尺	93	O28		65	31.2				
			測尺	93	O28		70	8.2				
			測尺	93	O28		81	3.7				
			測尺	93	O28		85	13.3				
			測尺	93	O28		308	30.0				
				93	O28		911	2.1				
			測尺	93	O28		313	21.9				
			測尺	93	O28		328	3.8				
				93	O28		697	47.8				
			石質	93	O28		476	8.3				
				93	O28		667	92.8				
				93	O28		1734	4.1				
				93	O28		28	28.1				
			複層	93	O28		835	37.1				
			測尺	93	O28		864	2.0				
			測尺	93	O28		962	2.2				
			測尺	93	O28		1059	5.4				
			測尺	93	O28		1149	13.9				
				93	O28	I	17	15.3				
				93	O29		58	11.6				
			測尺	93	O28		1229	2.7				
			測尺	93	O28		1289	12.1				
			測尺	93	O28		1392	4.9				
			測尺	93	O28		1392	62.0				
				93	O29	I	51	44.1				
			測尺	93	O28		1489	6.9				
			測尺	93	O28		1580	7.3				
			複地形石質	93	O28		1856	16.9				
			測尺		O28	I	35	3.2				

線別	区別	番号	道標等	SS	変換区	標尺	測物番号	重量	変換区	石質	母岩%	粒合%
			測尺	93	O29		34	40.3				
				93	O29		107	13.2				
				93	O29		262	27.4				
			測尺	93	O29		174	38.1				
				93	O29		498	20.0				
			測尺	93	O29		785	6.7				
				93	O29		1043	25.4				
			測尺		O29	I	52	16.1				
				93	O29	I	179	3.8				
			測尺	93	F27		168	16.4				
			測尺	93	F27		471	6.1				
			測尺	93	F28		898	2.5				
			測尺	93	F28		2088	3.1				
			測尺	93	F28		4060	3.9				
			測尺	93	F28		3051	2.5				
				93	F28		3636	1.5				
			測尺	93	F28		5194	2.6				
			測尺	93	F28		6296	5.2				
			測尺	93	F28		6630	17.9				
-	287	509	複合資料	93			346.9	37		492	3908	
			測尺	93	N30		22	81.7				
			測尺	93	N30		26	2.6				
			測尺	93	N30		73	10.4				
				93	O30		1841	22.1				
			測尺	93	N30		151	2.3				
			測尺	93	N30		207	3.0				
			測尺	93	N30		224	3.5				
			測尺	93	N30		286	10.0				
			測尺	93	N30		370	6.4				
			測尺	93	N30		372	1.0				
			測尺	93	N30		396	7.1				
			測尺	93	N30		409	27.9				
			測尺	93	N30		438	7.6				
			測尺		N31	I	8	10.6				
			測尺	93	O29		53	18.9				
			測尺	93	O29		348	12.4				
			測尺	93	O29		362	6.2				
			測尺	93	O29		941	13.4				
				93	O29		973	1.9				
			測尺	93	O29		802	2.5				
			測尺	93	O29		775	2.7				
			測尺	93	O29		1185	8.8				
			測尺	93	O29		1542	6.2				
			測尺	93	O29		1546	9.0				
			測尺	93	O29		1578	2.4				
			縦長測尺	93	O29		1613	16.3				
			測尺	93	O29		1761	9.3				
			測尺		O29	II	78	1.3				
			複地形石質	93	O30		67	16.3				
			測尺	93	O30		484	4.3				
			測尺	93	O30		491	2.7				
			測尺	93	O30		1130	6.5				
			縦長測尺	93	O30		2004	48.0				
			測尺	93	O30		2238	6.2				
			測尺		O30	I	27	6.9				
			測尺		O30	I	43	8.0				
			測尺		O30	I	48	3.5				
-	287	570	複合資料	93			205.1	16		484	3927	
			測尺		N30	I	12	9.3				
			測尺	93	O30		56	5.1				
				93	O30		1833	12.1				
				93	F28		7330	4.9				
				93	F29		569	15.2				
			測尺	93	O30		1525	14.2				
			測尺	93	O31		36	8.7				

上白滝8道跡(2)

線区	区段	番号	路形等	SS	変則区	標尺	測点番号	重量	取付位置	石質	母岩%	粘土%
				砂		7-28	6088	6.1	4			
				砂		7-28	6606	14.7	4			
				砂		7-28	7609	17.1	4			
			礫石	砂		7-28	1078	8.6	4			
				砂		7-28	1189	41.6	4			
				砂		7-28	1194	36.9	4			
				砂		7-28	1747	54.1	4			
				砂		7-28	3177	14.8	4			
				砂		7-28	1285	6.4	4			
				砂		7-28	1823	5.9	4			
				砂		7-28	1947	8.7	4			
				砂		7-28	5627	5.5	4			
			片状形石礫	砂		7-28	2136	39.0	4			
			礫石	砂		7-28	2385	3.3	4			
				砂		7-29	674	5.7	4			
				砂		7-28	2377	6.1	4			
				砂		7-28	2471	4.4	4			
				砂		7-28	2585	6.0	4			
				砂		7-28	2601	7.1	4			
				砂		7-28	2634	4.8	4			
				砂		7-28	2741	3.2	4			
				砂		7-28	2912	6.9	4			
				砂		7-28	3092	2.3	4			
				砂		7-28	3283	4.4	4			
				砂		7-28	3326	4.3	4			
				砂		7-28	3387	2.8	4			
				砂		7-28	3632	1.0	4			
				砂		7-28	4442	5.8	4			
				砂		7-28	4428	7.7	4			
				砂		7-28	4531	6.8	4			
				砂		7-28	5286	7.1	4			
			片状形石礫	砂		7-28	5502	24.6	4			
			礫石	砂		7-28	5509	9.4	4			
				砂		7-28	6283	10.7	4			
				砂		7-28	6389	11.6	4			
				砂		7-28	6613	11.1	4			
				砂		7-28	6636	5.5	4			
				砂		7-28	1	205	6.9	4		
				砂		7-29	714	4.9	4			
				砂		7-29	724	15.2	4			
				砂		Q27	224	33.1	4			
			片状形石礫	砂		Q27	297	20.8	4			
				砂		R27	1	100.8	4			
			混合骨材	砂				475.6	38		868	3628
				砂		S22	685	6.7	4			
				砂		S30	1	36	5.2	4		
				砂		S30	1	38	5.0	4		
				砂		S31	39	2.8	4			
				砂		S31	73	12.1	4			
				砂		S31	133	20.0	4			
				砂		S31	375	2.8	4			
				砂		S31	379	1.7	4			
				砂		S31	438	26.1	4			
				砂		S31	570	2.2	4			
				砂		S31	1	11	8.4	4		
				砂		O30	344	105.8	4			
			礫形石礫	砂		O30	362	36.9	4			
				砂		O30	423	7.3	4			
				砂		O30	549	5.8	4			
				砂		O30	675	5.7	4			
				砂		O30	723	22.1	4			
				砂		O30	729	4.0	4			
				砂		O30	737	8.0	4			
				砂		O30	869	6.0	4			
				砂		O30	1218	4.3	4			

線区	区段	番号	路形等	SS	変則区	標尺	測点番号	重量	取付位置	石質	母岩%	粘土%
				砂		O30	920	5.6	4			
				砂		O30	1171	18.5	4			
				砂		O30	1281	8.9	4			
				砂		O30	1304	4.3	4			
				砂		O30	1375	8.4	4			
				砂		O30	1414	2.8	4			
				砂		O30	1533	0.9	4			
				砂		O30	1732	3.5	4			
				砂		O30	1746	5.5	4			
				砂		O30	1747	3.6	4			
				砂		O30	1861	8.1	4			
				砂		O30	1965	1.0	4			
				砂		O30	2063	44.9	4			
				砂		O30	2192	4.5	4			
				砂		O30	1	86	4.9	4		
				砂		P28	7431	2.2	4			
				砂		P30	72	26.2	4			
			混合骨材	砂				1241.9	26	1	280	3580
				砂		O27	111	106.0	1			
				砂		R25	27	58.8	1			
				砂		O27	361	13.6	1			
				石礫		O27	1	23	83.2	1		
				礫形石礫		O28	401	7.4	1			
				砂		R25	2	15.0	1			
			片状形石礫	砂		P26	32	262.6	1			
				砂		P28	93	53.3	1			
				砂			1	26.2	1			
				砂		P26	194	32.5	1			
				砂		P27	68	3.1	1			
				砂		P27	1	15	2.1	1		
				砂		P28	148	9.9	1			
				砂		P27	28	15.2	1			
				砂		P27	109	1.8	1			
				砂		Q26	14	79.7	1			
				砂		P27	113	3.7	1			
				砂		Q28	51	28.7	1			
				砂		R26	16	18.8	1			
				砂		P27	171	32.7	1			
				砂		P27	1	15	31.0	1		
				石礫		Q24	26	262.9	1			
				砂		Q26	70	6.6	1			
			礫形石礫	砂		R25	11	28.2	1			
				砂		R25	19	5.2	1			
			礫形石礫	砂		R25	22	1.6	1			
			混合骨材	砂				390.5	11	4	828	3617
				石身性		S27	288	289.0	4			
				砂		S27	335	9.0	4			
				砂		S26	412	4.7	4			
				砂		S27	1008	7.7	4			
				砂		S27	530	53.1	4			
				砂		S27	791	207.1	4			
				砂		S27	560	40.3	4			
				砂		S27	598	26.8	4			
				砂		S28	239	27.3	4			
				砂		S27	1132	55.5	4			
				砂		S26	296	9.0	4			
			混合骨材	砂				1596.0	14	1-9	777	3486
				砂		P27	159	98.4	1			
				砂		Q26	158	211.9	1			
				砂		Q26	159	302.0	1			
				砂		R26	131	126.6	5			
				砂		P28	6413	45.9	5			
				砂		Q26	196	2.1	1			
				砂		Q26	127	18.1	1			
				砂		Q26	198	4.0	1			

探検	探検	番号	品名	No.	品類	種別	遺物番号	重量	容積	石質	埋没率	保存率
			鏡片	97	G26		132	26.9	1			
			鏡片	97	G26		143	26.6	1			
			鏡片	97	W26		50	132.2	1			
			鏡片	97	W26		135	118.2	1			
			鏡片	97	W26		133	209.5	5			
---	294	486	石核	97	W26		136	1030.3	5			
---	291	579	組合資料	97			23.4	3	4		---	1578
			矢羽鋸削片	97	O28		397	1.9	4			
			石	97	O28		585	5.9	4			
			矢羽鋸片	97	O28		685	36.3	4			
---	291	583	組合資料	97			23.6	2	3		---	1578
			矢羽鋸片	97	W28		349	11.7	1			
			矢羽鋸削片	97	W28		2262	9.9	1			
---	291	581	組合資料	97			20.6	2	3		---	1583
			矢羽鋸片	97	O28		1578	16.1	3			
			矢羽鋸削片	97	W28		6029	4.5	3			
---	330	511	組合資料	97-99			6897.8	40	170	1029	4351	
			鏡片	99	I21		562	3.3	1			
			鏡片	99	I21		564	39.9	1			
			鏡片	99	I21		597	107.4	1			
			鏡片	99	I21		911	7.8	1			
			鏡片	I22	I		20	309.9	1			
---	301	68	彫磨	97	I21		308	4.3	1			
			鏡片	97	J23		229	71.1	5			
			縦長鏡片	97	J23		719	88.5	1			
			鏡片	97	L22		2017	20.7	1			
			石片	99	K21		136	43.5	1			
			鏡片	99	K21		255	8.9	1			
			鏡片	99	K21		246	8.8	1			
			鏡片	99	K21		332	108.6	1			
			鏡片	99	K21		273	7.7	1			
			鏡片	97	K22		296	17.5	1			
			鏡片	97	K22		522	14.5	1			
---	300	54	両面彫磨石核	97	K22		324	290.7	1			
			鏡片	I22	I		528.2	1				
			鏡片	97	K23		431	3.3	1			
			鏡片	97	K23		366	3.3	1			
			鏡片	97	L22		1739	22.5	1			
			鏡片	97	L23		1136	12.7	1			
			鏡片	97	K22		693	33.9	1			
			鏡片	97	K22		713	67.1	1			
			鏡片	97	M22		3000	96.2	5			
			鏡片	K22	I		41	149.8	1			
			鏡片	97	M22		1498	72.5	5			
			鏡片	97	K23		144	4.7	1			
			石片	97	K23		397	7.3	1			
			鏡片	97	K23		419	10.9	1			
			鏡片	97	K23		492	10.7	1			
			鏡片	97	K23		3037	24.7	1			
			鏡片	97	K23		366	43.2	1			
			鏡片	97	K23		679	23.1	5			
			鏡片	97	K23		300	33.0	1			
			縦長鏡片	97	K23		1931	9.6	1			
			鏡片	97	K23		2189	3.7	1			
			鏡片	97	K23		2566	4.3	1			
			石片	97	K23		2268	28.4	1			
			鏡片	97	L23		1441	14.8	1			
			縦長鏡片	97	K23		2041	25.1	1			
			鏡片	97	M22		306	13.9	1			
			鏡片	97	K23		2094	101.7	1			
			鏡片	97	L23		557	5.6	1			
			鏡片	97	K23		3669	18.7	1			
			鏡片	97	K23		3516	11.3	5			
			鏡片	97	L22		3901	10.8	5			
			鏡片	97	K23		2080	10.7	5			

探検	探検	番号	品名	No.	品類	種別	遺物番号	重量	容積	石質	埋没率	保存率
			鏡片	97	K23		2736	5.4	1			
			鏡片	97	K23		3036	15.7	5			
			鏡片	97	K23		3201	8.2	1			
			鏡片	97	K23		3313	125.9	1			
			鏡片	97	L21		390	230.4	5			
			鏡片	97	K23		3353	26.9	1			
			鏡片	97	K23		3630	15.6	1			
			鏡片	97	K23		4033	18.8	1			
			鏡片	97	K23		4063	7.2	5			
			鏡片	97	K23		4219	7.4	5			
			鏡片	K23	I		31	14.3	1			
			鏡片	97	K23		4223	94.9	1			
			縦長鏡片	97	K23		4270	34.8	1			
			鏡片	97	K23	I	30	9.9	1			
			鏡片	97	K24		133	12.3	1			
			矢羽鋸削片	97	L21		59	117.5	1			
			鏡片	97	L22		439	15.0	1			
			鏡片	97	L22		390	39.7	1			
			鏡片	97	L22		1981	62.4	1			
			鏡片	97	L22		1995	81.6	1			
			鏡片	I22	I		271	22.8	1			
			鏡片	97	L22		3010	8.0	5			
			鏡片	97	L22		3196	13.9	1			
			鏡片	97	L22		3198	49.7	1			
			鏡片	97	L23		139	317.3	1			
			鏡片	97	L23		1400	200.0	1			
			鏡片	97	L23		1556	18.7	1			
			鏡片	97	M21		69	4.0	1			
			鏡片	97	M22		1940	15.6	5			
			鏡片	97	M22		1797	13.1	1			
			鏡片	M22	I		14	49.8	1			
---	011	400	6	石核	+E12-9		18	167.9	1			
			鏡片	+E12-9			34	32.8	1			
			鏡片	+E12-9			37	54.4	1			
			鏡片	+E*			25	37.0	1			
---	325	329	組合資料	97-100-97			1705.1	28	170	1134	4813	
---	308	319	271	両面彫磨石核	100	J19	185	117.5	3			
			鏡片	K26	I		2	218.0	5			
			鏡片	97	K22		323	81.3	5			
			鏡片	97	K22		742	28.5	5			
			鏡片	97	K23		3336	2.7	1			
			鏡片	97	L22		1097	25.9	5			
			鏡片	97	L22		1908	13.9	1			
			鏡片	I22	I		402	28.3	1			
			鏡片	97	M22		1495	20.8	5			
			鏡片	97	M22		1496	8.3	5			
			鏡片	97	K23		26	26.1	5			
			鏡片	97	K23		91	6.7	1			
			鏡片	97	L22		1119	67.8	5			
			鏡片	97	K23		128	6.5	1			
			鏡片	97	K23		300	6.3	1			
			鏡片	97	K23		2971	50.2	5			
			鏡片	K23	I		111	14.4	1			
			鏡片	97	K23		2431	13.4	5			
			鏡片	97	K23		3080	2.0	1			
			鏡片	97	K23		3394	30.2	1			
			鏡片	97	K23		3730	8.8	5			
			鏡片	K23	I		110	49.1	1			
			鏡片	101	L19		229	146.3	5			
			鏡片	L21	I		60	133.8	1			
			鏡片	97	L22		26	124.7	5			
			鏡片	97	L22		1339	32.1	1			
			鏡片	97	L22		1259	5.9	5			
			鏡片	97	L22		1451	4.8	5			
			鏡片	97	L22		1918	20.4	5			

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	路線番号	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変位(%)	石質	母岩	割合
			測り	97	L22		1982	6.2	1			
			測り	97	L22		2043	31.2	3			
			測り	97	L23		891	33.3	3			
			測り	97	L23		124	20.7	3			
			測り	97	L23		1110	17.2	3			
			測り	97	M22		1203	22.6	1			
			測り	97	M22		1208	32.7	1			
			測り	97	M22		1484	12.0	1			
			測り	97	M22		1500	104.1	1			
管-480	33A	340	綜合資料	97-99			9805.9	123	1.9	97D	4201	
			測り	97	H22		317	6.9	1			
			測り	99	H22		423	31.9	1			
			測り	97	K23		3006	7.5	1			
			断面	H22	1	3	109.3	1				
			測り	H23	1	6	47.9	1				
			測り	99	L22		24	5.1	1			
			測り	99	L22		118	250.8	1			
			測り	L22	1	12	20.1	1				
			測り	97	L24		206	13.7	1			
			測り	L21	1	22	606.9	1				
			測り	97	K23		1809	21.2	3			
			測り	99	L22		5	76.9	1			
			測り	L24	1	88	23.8	1				
			測り	L22	1	18	79.1	1				
			測り	L22	1	19	9.4	1				
			測り	L22	1	39	25.8	1				
			測り	L24	1	132	66.6	1				
			測り	L22	1	28	78.9	1				
			測り	97	L23		523	3.0	1			
			測り	97	L24		202	11.4	3			
			測り	97	K23		2292	13.8	1			
			測り	97	K23		2341	162.1	1			
			測り	97	L23		1281	84.2	1			
			測り	97	L23		1383	6.9	1			
			測り	L23	1	22	2.9	1				
			測り	97	L24		298	14.9	1			
			測り	L23	1	23	33.1	1				
			測り	97	L24		80	75.0	1			
			測り	97	L24		114	29.9	1			
			測り	97	L24		213	6.0	1			
			測り	97	L24		136	10.3	1			
			測り	L24	1	120	20.9	1				
			測り	97	K23		3110	4.6	1			
			測り	97	K24		916	4.3	1			
			測り	97	L24		143	12.9	1			
			測り	97	L24		202	4.8	1			
			測り	L24	1	105	5.3	1				
			測り	97	L24		347	6.3	1			
			測り	97	L24		430	9.2	1			
			測り	97	L23		1325	4.3	1			
			測り	97	L24		671	12.6	1			
			測り	L24	1	91	82.0	1				
			測り	97	L24		718	6.6	1			
			測り	97	L24		913	2.1	1			
			測り	97	L24		918	2.1	1			
			測り	97	K23		2792	14.7	1			
			測り	97	L24		1149	12.4	1			
			測り	97	L24		1206	2.4	1			
			測り	97	L24		1207	3.1	1			
			測り	L24	1	89	23.9	1				
			測り	L24	1	92	18.6	1				
			測り	L24	1	93	13.3	1				
			測り	L24	1	96	29.2	1				
			測り	L24	1	104	26.8	1				
			測り	97	K24		2191	3.8	1			

線別	区別	番号	路線番号	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変位(%)	石質	母岩	割合
			測り		J24	1	109	9.4	1			
			測り		J24	1	119	9.7	1			
			測り	97	K24		2299	4.2	1			
			測り		K24	1	59	5.7	1			
			測り		J24	1	112	6.7	1			
			測り		J24	1	136	10.0	1			
			測り	97	K23		2154	47.3	1			
			測り	97	K23		4073	4.3	1			
			二次加工基本点測り		J24	1	137	8.4	1			
			測り	97	K24		138	61.0	1			
			測り		J24	1	138	13.7	1			
			測り	99	K21		300	123.1	1			
			測り	97	K23		490	148.0	1			
			測り	97	K24		654	64.9	1			
			測り	97	L23		1717	7.6	1			
			測り	99	K22		440	121.3	5			
			測り	97	K23		1524	32.9	1			
			測り	K23	1	49	17.0	1				
			測り	97	K24		850	103.9	1			
			測り	97	K24		1139	7.5	1			
			測り	97	K24		1153	12.4	1			
			測り	L22	1	248	13.1	1				
			測り	97	L23		364	121.8	1			
			測り	99	K22		618	85.8	3			
			測り	K23	1	42	2.1	1				
			測り	97	K24		61	6.7	1			
			測り	97	K23		502	26.1	5			
			測り	97	K23		601	48.0	1			
			測り	97	K23		864	4.7	1			
			測り	97	K23		1496	17.5	1			
			測り	97	K23		1512	6.3	5			
			測り	97	K23		1514	14.7	1			
			測り	97	K24		1981	35.2	1			
			測り	97	K23		1330	6.7	1			
			測り	97	K23		2011	4.2	1			
			測り	97	K23		2333	128.0	1			
			測り	97	K23		4099	26.4	1			
			測り	97	K23		2495	6.6	1			
			測り	97	K23		2284	4.5	1			
			測り	97	K23		3107	20.5	1			
			測り	97	K23		3462	17.2	1			
			測り	97	K23		3806	30.2	1			
			測り	97	K24		2049	9.3	1			
			測り	97	K23		3679	12.4	1			
			測り	97	K24		1500	1.9	1			
			測り	97	K23		3040	14.9	1			
			測り	97	K24		1401	4.5	1			
			測り	97	K23		4056	14.9	1			
			測り	K23	1	39	38.0	1				
			測り	97	K24		22	56.1	1			
			測り	97	K24		250	10.1	1			
			測り	K24	1	56	38.0	1				
			測り	K24	1	57	15.1	1				
			測り	97	K24		937	24.9	1			
			測り	97	L22		2000	22.7	1			
			測り	97	K24		984	34.8	1			
			測り	97	K24		1820	2.6	1			
			測り	97	K24		746	3.6	1			
			測り	97	K24		2091	1.4	1			
			測り	97	K24		2167	19.2	1			
			測り	97	K24		2252	5.4	1			
			測り	97	K24		2442	4.6	1			
			測り	K24	1	58	13.7	1				
			測り	97	L22		3054	48.1	1			
			測り	97	L23		461	3.0	1			

探出	探出	番号	品名等	№	発掘区	種別	発掘番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	検出%
			銅片	97	L22		1347	1697.2	1			
			銅片	97	L23		1412	15.8	1			
			銅片		8612-19		29	106.0	1			
B-442	235	341	綜合資料	97			1978.0	14	1	985	6255	
B-379	299	51	両面調整石器		J21	1	2	1036.6	1			
					J21	1	34	115.2	1			
					97F		35	262.1	1			
			銅片	97	L22		2098	60.2	1			
			銅片	97	L22	1	420	54.2	1			
			銅片	97	L22		2630	27.3	1			
			銅片	97	L22		3022	66.6	1			
			銅片	97	L22		2060	14.8	1			
			銅片	97	L22	1	424	60.2	1			
			銅片	97	L22	1	432	14.7	1			
			銅片	97	M22		1828	67.1	1			
			銅片	97	L23		189	20.8	1			
B-380	300	256	単純彫石器	97	M21		695	63.2	1			
				97	M21		996	126.0	1			
B-444	326	342	綜合資料	97-304	G23		3862.6	120	1	947	4138	
B-353	256	23	矢頭器	97	G23		72	24.4	1			
				97	G23		129	4.4	1			
				97	G23		136	13.0	1			
				97	G23		130	9.9	1			
				97	J23		102	17.9	1			
				97	J22		142	112.6	1			
				97	J22		230	66.5	1			
				97	J23		1056	137.1	1			
			石片	97	G23		76	10.0	1			
			銅片	97	G24		31	5.0	1			
			彫器銅片	97	G24		65	9.8	1			
			石片		G24	1	3	21.7	1			
					G24	1	4	1.9	1			
			銅片		G25	1	2	3.1	1			
					J23	1	9	3.1	1			
				97	J24		396	1.3	1			
				97	J24		777	2.9	1			
				97	J24		1213	3.2	1			
			銅片	97	J22		23	2.5	1			
				97	J22	1	4	3.1	1			
			二次加工A&B銅片	97	J23		612	63.9	1			
			銅片	97	J22		291	6.3	1			
				97	J23		3043	35.4	1			
				97	J24		699	2.1	1			
				97	J24		1100	3.7	1			
				97	J24		1254	6.3	1			
				97F			24	11.2	1			
			銅片	97	J22		56	10.3	1			
			銅片	97	J22		129	16.3	1			
			銅片	97	J22		215	12.2	1			
			銅片	97	J22		224	62.3	1			
			彫器銅片	97	J22		303	4.4	1			
				97	J22	1	5	3.0	1			
				97	J22	1	6	2.1	1			
				97	J23		66	22.4	1			
			銅片	97	J22		369	14.2	1			
				97	J23		164	66.7	1			
				97	J23		524	3.6	1			
				97	J23		938	5.9	1			
			銅片	97	J23		90	13.5	1			
				97	J23	1	5	3.7	1			
			銅片	97	J23		345	6.8	1			
			銅片	97	J23		190	36.9	1			
			石片	97	J23		303	6.7	1			
				97	J23		410	6.9	1			
			銅片	97	J23		328	10.3	1			

探出	探出	番号	品名等	№	発掘区	種別	発掘番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	検出%
B-344	303	123	彫器	97	J23		358	235.2	1			
				97	J23		337	43.7	1			
			銅片	97	J23		386	5.0	1			
			石片	97	J23		444	16.5	1			
			銅片	97	J23		403	9.4	1			
				97	J23		926	6.6	1			
				97	J23		964	13.5	1			
				97	J23		963	1.0	1			
			銅片	97	J23		497	83.0	1			
				97	J23		666	26.5	1			
				97	J24		263	8.7	1			
				97	J23		964	68.5	1			
				97	J23		966	27.9	1			
				97	J23	1	8	16.1	1			
			銅片	97	J23		605	155.2	1			
				97	J25		235	3.2	1			
			銅片	97	J23		900	18.2	1			
				97	J23		954	17.8	1			
				97	J23	1	3	118.8	1			
			銅片	97	J23	1	4	18.4	1			
B-360	303	128	彫器銅片	97	J24		36	2.4	1			
				97	J24		482	2.1	1			
				97	J24	1	0	2.7	1			
			銅片	97	J24		852	3.5	1			
				97	J24	1	4	21.1	1			
				97	J25		98	7.4	1			
				97	J25	1	18	4.2	1			
				97	K23		17	126.3	1			
				97F			23	8.8	1			
			銅土				130	4.6	1			
			銅片	97	J25		46	25.1	1			
				97	J25		27	6.0	1			
				97	J25		209	2.9	1			
				97	J25	1	19	1.5	1			
				97	J24		496	1.3	1			
				97	J24	1	125	3.5	1			
			銅片	97	J25	1	3	215.2	1			
			銅片	97	J25	1	4	3.8	1			
				97	J24		1300	3.9	1			
				97	J24	1	114	4.5	1			
B-360	303	127	彫器銅片	97	J23		367	7.1	1			
			銅片	97	J23		248	19.4	1			
				97	J23		790	5.8	1			
				97F			22	33.6	1			
			彫器銅片	97	J23	1	5	3.4	1			
			石片	97	J24		81	3.3	1			
				97	J24		165	10.3	1			
			銅片	97	J24		203	32.7	1			
				97	J24		444	8.7	1			
				97	J24	1	5	7.3	1			
				97	J24		1279	3.4	1			
			石片	97	J24		351	2.9	1			
			銅片	97	J24		394	6.3	1			
				97	J24		268	6.6	1			
				97	J24		1162	3.3	1			
				97	J25		276	1.6	1			
			石片	97	J24		664	4.0	1			
				97	J24	II	6	0.8	1			
			銅片	97	J24		828	19.3	1			
				97	J24		1151	35.8	1			
			銅片	97	J24		1225	25.4	1			
				97	J24		1274	1.5	1			
			石片	97	J24		1227	7.2	1			
				97	J24	1	4	19.1	1			
			銅片	97	J24		1390	56.4	1			

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変位 [%]	石質	母岩 [%]	粘土 [%]
			測片	97	1.25		37	5.2	1			
				97	1.25		1027	16.0	1			
			測片	97	1.25		272	5.6	1			
				97	1.25	I	19	11.0	1			
			測片	97	1.25		281	12.5	1			
				97	1.24		132	4.2	1			
				97	1.24	I	107	3.2	1			
			測片		1.25	I	5	117.3	1			
			測片		1.25	I	7	127.0	1			
					1.25	I	11	4.5	1			
			測片		1.25	I	9	228.0	1			
				97	1.24		1297	17.7	1			
			測片		1.25	I	12	43.6	1			
			石見		1.25	I	14	8.8	1			
				97	1.23		689	10.4	1			
			測片		1.25	I	15	1.1	1			
				97	1.24		611	2.3	1			
			測片		1.25	I	16	2.8	1			
			測片		1.25	I	17	6.5	1			
			測片		1.25	I	20	1.8	1			
					1.25	I	21	4.9	1			
					1.25	I	22	3.9	1			
				97	1.24		1120	3.2	1			
			測片		1.25	I	23	0.5	1			
			測片		1.25	I	24	4.0	1			
			測片	97	1.24		133	23.0	1			
				97	1.24		1388	19.0	1			
				97	1.24		1418	4.3	1			
				97	1.24		1426	4.1	1			
			測片	97	1.24		134	9.3	1			
			石見	97	1.24		266	4.5	1			
			測片	97	1.24		323	12.9	1			
			測片	97	1.24		536	2.4	1			
				97	1.24		1409	8.5	1			
			測片	97	1.24		538	5.4	1			
				97	1.24		1084	3.5	1			
			石見	97	1.24		684	1.8	1			
			測片	97	1.24		860	5.8	1			
			測片	97	1.24		896	8.8	1			
			縦筋測片	97	1.24		947	2.1	1			
				97	1.24		1303	6.1	1			
					1.24	I	111	2.8	1			
			測片	97	1.24		1011	3.5	1			
			測片	97	1.24		1025	41.5	1			
			測片	97	1.24		1090	2.1	1			
			測片	97	1.24		1099	4.9	1			
				97	1.24		1415	5.7	1			
			測片	97	1.24		1101	12.3	1			
				97	1.24		1332	8.8	1			
			測片	97	1.24		1201	2.9	1			
			測片	97	1.24		1284	10.3	1			
				97	1.24		1338	3.9	1			
				97	1.24		1435	10.6	1			
			測片	97	1.24		1406	9.0	1			
				97	1.24		1498	2.4	1			
				97	1.24		1438	79.0	1			
			測片	97	1.24		1416	7.4	1			
				97	1.24		1308	4.6	1			
			石見	97	1.24		1434	3.3	1			
			石見	97	1.24		1485	12.6	1			
					1.24	I	124	10.0	1			
			測片	97	1.24		1608	3.7	1			
			測片		1.24	I	94	26.3	1			
第(3)号	230	114	集積	101	SS17		27	82.2	1			
第(4)号	236	347	複合資料	899999			2632.8	109	4	1180	4750	

線区	区間	番号	路線名	SS	変換区	種別	測点番号	重量	変位 [%]	石質	母岩 [%]	粘土 [%]
第(3)号	237	257	身籠形石碇	101	SS17		43	9.6	4			
					M18	I	1	21.6	4			
			測片	101	K18		32	27.1	4			
				101	L18		230	12.7	4			
				101	L19		134	5.1	4			
				101	M18		215	2.5	4			
			測片	101	K18		34	25.5	4			
					L18	I	24	3.3	4			
			測片	101	K18		77	5.5	4			
				101	K18		78	7.2	4			
				101	L18		105	4.4	4			
					L18	I	17	4.4	4			
					L18	I	18	9.6	4			
					L18	I	19	7.3	4			
					L18	I	20	32.6	4			
					L18	I	21	9.4	4			
					L18	I	22	40.4	4			
					L18	I	23	76.6	4			
					L18	I	27	7.1	4			
					L18	I	31	2.3	4			
					L18	I	35	0.9	4			
					L18	I	37	2.9	4			
				101	L19		133	20.3	4			
					M18	I	17	1.2	4			
			測片	101	K19		29	47.8	4			
			測片	100	K19		199	11.8	4			
			測片	101	K19		273	6.9	4			
			測片	101	L17		112	2.8	4			
			測片	101	L18		15	3.7	4			
			測片	101	L18		21	11.9	4			
			測片	101	L18		33	4.2	4			
			測片	101	L18		38	13.9	4			
			測片	101	L18		90	30.3	4			
				101	M18		1123	3.7	4			
			測片	101	L18		135	28.2	4			
					L18	I	14	44.0	4			
				101	L19		138	148.2	4			
				101	M18		366	9.6	4			
				101	M18		995	17.8	4			
				101	M19		161	7.8	4			
				101	N18		373	2.4	4			
			測片	101	L18		181	1.9	4			
				101	M18		2242	19.8	4			
			測片	101	L18		250	3.4	4			
				101	L18		343	80.0	4			
				101	M18		719	2.2	4			
				101	N18		1078	7.2	4			
				101	N19		14	6.5	4			
			測片	101	L18		316	6.4	4			
			測片	101	L18		448	5.1	4			
			測片	101	L18		483	16.7	4			
					L18	I	23	1.9	4			
第(3)号	238	239	身籠形石碇	101	L18		307	32.3	4			
				101	M17		48	13.8	4			
			測片	101	L18		544	74.8	4			
				101	M18		1455	8.9	4			
				101	M18		2042	13.5	4			
				101	M18		2614	12.9	4			
					M20	I	2	33.8	4			
				101	N19		36	1.9	4			
			測片	101	L18		517	6.9	4			
				101	N18		13	17.7	4			
				101	N18		1087	56.6	4			
			測片	L18	I	15	5.1	4				
			測片	L18	I	16	6.2	4				

国名	種別	番号	品名等	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	保存%
			鏡片		L18	I	23	7.1		+		
			鏡片		L18	I	26	5.0		+		
			鏡片		L18	I	28	6.3		+		
			鏡片		L18	II	36	1.5		+		
			鏡片	101	L19		2	10.6		+		
			鏡片	101	M19	I	5	5.5		+		
			鏡片	101	N18		200	6.2		+		
			鏡片	101	L19		91	4.4		+		
			鏡片	101	L19		136	6.2		+		
			鏡片	101	L19		146	6.7		+		
			鏡片	101	M18		1119	33.2		+		
			鏡片	101	M18		1919	6.0		+		
			鏡片	101	L19		130	1.7		+		
			鏡片	101	L19		201	9.9		+		
			鏡片	101	L19		205	6.1		+		
			鏡片	101	L19		380	146.1		+		
			鏡片	101	M19		600	4.3		+		
			鏡片	101	L19		432	14.6		+		
			鏡片	101	L19		507	3.9		+		
			鏡片		L19	I	3	11.9		+		
			鏡片	101	M18		1006	3.8		+		
			鏡片	101	M18		1282	6.3		+		
			鏡片	101	M18		2090	7.5		+		
			鏡片	101	M19		113	3.9		+		
			鏡片	101	M19		473	1.7		+		
			鏡片	101	M19		542	7.1		+		
			鏡片	101	N18		930	4.2		+		
			鏡片	101	N18		1050	15.5		+		
			鏡片	101	M17		42	4.5		+		
			鏡片	101	M17		94	7.1		+		
			鏡片	101	M17		135	9.1		+		
			鏡片	101	M18		8	2.7		+		
			鏡片	101	M18		90	6.5		+		
			鏡片	101	M18		196	5.1		+		
			鏡片	101	M18		253	52.8		+		
			鏡片	101	M18		290	8.1		+		
			鏡片	101	M18		426	19.7		+		
			鏡片	101	M18		479	16.7		+		
			鏡片	101	M18		569	5.1		+		
			鏡片	101	M18		639	3.4		+		
			鏡片	101	M18		746	6.2		+		
			鏡片	101	M18		808	8.9		+		
			鏡片	101	M18		956	52.6		+		
			鏡片	101	M18		1106	24.9		+		
			鏡片	101	M18		1244	4.4		+		
			鏡片		M18	I	3	2.2		+		
			鏡片	101	M18		1152	12.7		+		
			鏡片	101	M18		1222	61.6		+		
			鏡片	101	M18		1292	45.5		+		
			鏡片	101	M18		1306	5.8		+		
			鏡片	101	M18		1628	12.4		+		
			鏡片	101	M18		1763	4.9		+		
			鏡片	101	M18		1931	11.3		+		
			鏡片	101	M18		2029	15.0		+		
			鏡片	101	M18		2095	23.7		+		
			鏡片	101	M19		47	3.5		+		
			鏡片	101	M19		307	14.3		+		
			鏡片	101	M19		471	5.1		+		
			鏡片	101	M18		2197	5.4		+		
			鏡片	101	M18		2292	5.3		+		
			鏡片	101	M18		2312	15.3		+		
			鏡片	101	M18		2363	19.4		+		
			鏡片		M18	I	7	10.0		+		
			鏡片	101	M18		2369	9.5		+		
			鏡片		M18	II	61	0.9		+		

国名	種別	番号	品名等	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	保存%
							101	N20	23	5.4	+	
			鏡片				101	M18	2594	6.4	+	
			鏡片				M18	I	8	8.0	+	
			鏡片				M18	I	14	3.2	+	
			鏡片				M18	II	9	2.1	+	
			鏡片	101	M19		660	1.0		+		
			鏡片		M19	I	2	6.2		+		
			鏡片		M19	I	7	3.6		+		
			鏡片	101	N17		91	3.5		+		
			鏡片	101	N18		42	9.3		+		
			鏡片	101	N18		43	41.7		+		
			鏡片		P21		1	5.6		+		
			鏡片	101	N18		281	44.7		+		
			鏡片	101	N18		301	5.5		+		
			鏡片	101	N18		337	24.2		+		
			鏡片	101	N18		404	28.4		+		
			鏡片	101	N18		457	8.5		+		
			鏡片	101	N18		475	5.0		+		
			鏡片	101	N18		990	35.4		+		
			鏡片	101	N18		127	18.2		+		
			鏡片	101	N18		328	28.9		+		
			鏡片	101	N18		957	4.5		+		
			鏡片	101	N18		1072	65.2		+		
			鏡片	101	N18		1102	3.4		+		
			鏡片	101	N18		1145	2.9		+		
			鏡片	98	N20		2	4.8		+		
			鏡片	101	N20		19	73.8		+		
			鏡片		N20	I	1	4.8		+		
			鏡片	101	P20		2	8.3		+		
第4区	329	386	鏡片資料	00-09-09			2112.4	83	5	1133	4611	
第5区	294	18	天鏡器		J19	I	4	149.7		5		
					100	N19	203	102.1		5		
			鏡片	97	K22		172	3.5		5		
			鏡片	97	K22		273	5.8		5		
			鏡片		K23	I	100	43.7		5		
			鏡片	97	K22		295	6.1		5		
			鏡片	97	K22		394	14.3		5		
			鏡片		M21		8	48.1		5		
			鏡片	97	K22		666	18.9		5		
			鏡片	97	K22		904	1.4		5		
			鏡片	97	L23		2695	19.1		5		
			鏡片	97	L23		965	18.5		5		
			鏡片	97	K22		738	18.1		5		
			鏡片	97	K23		1213	2.4		5		
			鏡片		K22	I	50	3.0		5		
			鏡片		K22	I	31	4.4		5		
			鏡片		K22	I	32	91.8		5		
			鏡片	97	M21		207	66.2		5		
			鏡片	97	K23		377	1.3		5		
			鏡片	97	K23		2619	15.9		5		
			鏡片	97	K23		3194	7.3		5		
			鏡片	97	K23		461	17.6		5		
			鏡片	97	M21		426	26.5		5		
			鏡片	97	M22		174	16.2		5		
			鏡片	97	M22		275	3.7		5		
			鏡片	97	K23		663	2.6		5		
			鏡片	97	K23		1345	7.3		5		
			鏡片	97	L22		2691	7.2		5		
			鏡片	97	K23		1640	5.8		5		
			鏡片	97	K23		1690	2.1		5		
			鏡片	97	K23		1892	46.3		5		
			鏡片	97	L23		3000	6.9		5		
			鏡片		L22	I	428	6.2		5		
			鏡片	97	K23		2393	1.3		5		
			鏡片	97	L23		83	5.2		5		

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	道跡番号	SS	変換区	種別	道跡番号	重量	重量区分	石質	母岩%	粒合%
			測片	97	K23		2628	6.2	3			
					L22	I	476	2.3	3			
			測片	97	K23		2672	4.5	3			
			測片	97	K23		3007	136.9	3			
			測片	97	K23		3713	24.0	3			
			測片	97	K23		3804	10.3	3			
			測片		K23	I	101	21.2	3			
			測片	97	L21		181	4.2	3			
			測片	97	L21		200	134.8	3			
			測片	97	L21		548	4.9	3			
			測片		L21	I	57	21.9	3			
			測片	97	L22		307	2.3	3			
			測片	97	L22		777	4.0	3			
			測片	97	L22		1420	4.1	3			
			測片	97	L22		1902	4.1	3			
			測片	97	L22		1803	13.0	3			
			測片	97	L22		1926	4.0	3			
			測片	97	L22		2220	8.7	3			
			測片	97	L22		2383	7.1	3			
			測片	97	L22		2448	6.5	3			
			測片	97	L22		3051	6.2	3			
			測片	97	L22		2551	28.9	3			
			測片	97	L22		3129	2.2	3			
			測片	97	L22		2649	16.3	3			
			測片	97	L22		2700	3.4	3			
			測片		L22	I	477	8.7	3			
			測片	97	L22		3136	4.2	3			
			測片		L22	I	459	3.7	3			
			測片		L22	I	463	12.2	3			
			測片	97	M21		174	25.1	3			
			測片		L22	I	464	3.0	3			
			測片		L22	I	479	1.4	3			
			測片		L22	I	501	4.1	3			
			測片	97	L23		800	1.0	3			
			測片	97	L23		917	17.0	3			
			測片	97	L23		1088	2.0	3			
			測片	97	L23		1116	11.3	3			
			測片	97	L23		1210	29.5	3			
			測片	97	L23		1298	11.1	3			
			測片	103	M20		8	7.7	3			
			測片	97	M21		532	0.3	3			
			測片	97	M21		677	13.6	3			
			測片	97	M22		881	21.0	3			
					G23-20		40	104.9	3			
			測片	97	M21		1026	16.6	3			
			測片	97	M21		1030	136.3	3			
			測片	97	M22		1285	3.9	3			
			測片		G23-20		41	219.3	3			
管-634	340	347	総合資料	97			1066.3	21	1	952	4136	
			測片		G22	I	2	3.9	1			
			観測測片	97	G23		14	6.3	1			
			測片		G23	I	11	27.3	1			
			測片	97	H23		202	14.0	1			
			測片	97	H23		211	8.2	1			
			測片		G23	I	12	11.8	1			
			測片	97	L22		325	4.1	1			
			観測測片	97	H22		87	6.5	1			
			測片	97	H22		300	11.3	1			
			測片	97	H23		331	9.5	1			
			測片	97	H22		140	2.0	1			
			測片	97	H23		568	3.9	1			
			測片	97	H22		141	47.0	1			
			測片	97	H22		271	26.8	1			
			測片	97	H22		277	3.9	1			
			測片	97	H22		1	9	17.0	1		

線区	区間	番号	道跡番号	SS	変換区	種別	道跡番号	重量	重量区分	石質	母岩%	粒合%
			測片	97	H23		269	7.8	1			
			測片	97	H23		308	7.4	1			
			測片	97	H23		342	13.7	1			
			測片	97	H23		465	27.3	1			
			測片	97	H23		630	12.0	1			
			測片	97	H23		755	19.7	1			
管-371	294	20	大規模	97	H23		658	54.1	1			
					H23		1185	83.9	1			
			測片		H23	I	13	10.6	2			
			測片	97	H24		44	28.4	1			
					H25	I	10	18.4	1			
			石質	97	H24		183	12.9	1			
			測片	97	H24		631	6.2	1			
			測片	97	H24		706	16.5	1			
			測片	97	H24		508	10.8	1			
			測片	97	H24		311	13.7	1			
			測片	97	H24		1319	109.8	1			
					H25		124	26.3	2			
			測片	97	H24		1188	309.3	1			
			測片	97	H24		1631	13.2	1			
			測片	97	H25		61	303.4	1			
管-635	341	348	総合資料	97			1925.3	30	1-5	1048	4306	
			測片	97	K22		49	196.1	5			
			測片	97	L22		177	6.6	1			
			測片	97	L22		680	11.1	1			
					L22	I	223	2.1	1			
			測片	97	K22		243	6.5	5			
			測片	97	L22		2713	13.6	1			
			測片	97	L22		2816	28.2	1			
			測片	97	K22		961	4.8	5			
			測片		K22	I	13	361.4	1			
			測片	97	L21		203	24.8	1			
			測片	97	L22		2325	98.9	1			
			測片	97	L21		441	3.0	1			
			観測測片		L21	I	25	15.1	1			
					L22		529	3.6	1			
					M21		86	127.3	1			
			測片	97	L22		386	38.5	1			
			測片	97	L22		580	12.5	1			
			測片	97	L22		1789	6.4	5			
			測片	97	L22		620	12.4	1			
			測片	97	L22		630	2.3	1			
			測片	97	L22		836	18.0	1			
					L22		2032	26.4	2			
			測片	97	L22		943	36.5	5			
			測片	97	M21		949	9.9	1			
			測片	97	L22		1228	4.1	1			
			測片	97	L22		1857	18.4	1			
			測片	97	L22		1836	15.8	1			
			測片	97	L22		2012	8.7	5			
			測片	97	L22		2076	28.9	1			
			測片	97	M22		578	126.3	1			
			測片	97	L22		2125	3.7	1			
			測片	97	L22		2703	14.0	1			
			測片	97	L22		2730	42.3	1			
			測片		L22	I	195	105.0	1			
			測片		L22	I	194	73.3	1			
			測片		L22	I	200	60.0	1			
			測片		L22	I	218	6.5	1			
			測片		L22	I	217	9.2	1			
			測片		L22	I	218	9.6	1			
			測片		L22	I	219	8.3	1			
			測片	97	M21		190	5.9	1			
			測片	97	M22		1004	18.6	1			
			測片	97	M22		1039	2.7	1			

品目	種類	番号	品名	No.	品類	種別	用途	重量	長さ	石質	埋7%	埋10%
			銅片	97	M21	490	57.7			1		
			銅片	97	M21	630	48.4			1		
			銅片	97	M22	1364	71.8			1		
			銅片	97	M21	698	51.6			1		
			銅片	97	M21	907	109.3			1		
			銅片	97	M22	549	2.0			1		
			銅片	97	M22	1134	20.0			1		
品-68	349	349	組合貨幣	97-101		1393.5	28			1	1147	4621
			銅片		J22	1	36	28.4				
			銅片	97	J23	1160	28.3			1		
			銅片	97	K24	2219	5.4			1		
			銅片	97	K24	71	8.6			1		
			銅片	97	K24	774	11.2			1		
			銅片	97	K24	971	28.8			1		
			銅片	97	K24	1911	86.3			1		
			銅片	97	K24	1	49	26.2		1		
品-104	297	46	両和銅貨石版	97	K24	1319	300.0			1		
			銅片	97	K24	1321	962.3			1		
			銅片	101	M18	30	111.2			1		
			銅片	101	M18	100	2.2			1		
			銅片	101	M18	428	1.6			1		
			銅片	101	M18	635	1.6			1		
			銅片	101	M18	1012	1.4			1		
			銅片	101	M18	2633	31.0			1		
			銅片	101	M18	1	13	12.1		1		
			銅片	101	M18	1128	4.3			1		
			銅片	101	M18	2248	19.2			1		
			銅片	101	M18	1686	28.1			1		
			銅片	101	P18	8	13.3			1		
			銅片	101	M18	1677	16.2			1		
			銅片	101	M18	1797	3.9			1		
			銅片	101	M18	2176	1.6			1		
			銅片	101	M18	2179	2.7			1		
			銅片	101	M18	501	8.3			1		
			銅片	101	M18	1079	9.1			1		
			銅片	101	M18	1	12	37.2		1		
品-67	342	338	組合貨幣	97-100		6692.0	41			1	1962	4217
			石片		9722	1	92.1			1		
			銅片	100	J20	102	17.8			1		
			銅片	100	J20	124	4.9			1		
			銅片	100	J20	145	17.2			1		
			銅片		J24	1	79	336.6		1		
			銅片		J25	1	12	51.7		1		
			銅片		J24	1	80	127.6		1		
			銅片	97	K23	2229	3.7			1		
			銅片	97	K24	1167	6.2			1		
			銅片	97	K24	2867	28.4			1		
			銅片	97	L23	974	486.1			1		
			銅片	96	L23	983	9.3			1		
			銅片	97	K24	8	38.8			1		
			銅片	97	K24	74	91.1			1		
			銅片	97	K24	283	42.7			1		
			銅片	97	K24	338	12.9			1		
			銅片	97	K24	1729	8.3			1		
			銅片	97	K24	376	17.7			1		
			銅片	97	L23	1243	346.8			1		
			銅片	97	K24	352	4.9			1		
			銅片	97	K24	637	180.9			1		
			銅片	97	K24	663	118.4			1		
			銅片	97	K24	777	19.0			1		
			銅片	97	K24	890	55.6			1		
			石片	97	K24	1013	15.9			1		
			石片	97	K24	1263	27.3			1		
			銅片	97	K24	1852	96.5			1		
			銅片	97	K24	1	43	627.5		1		

			銅片		K24	1	44	35.4		1		
			銅片		K24	1	37	33.6		1		
			石片		K24	1	35	8.2		1		
			銅片	97	L23	440	478.4			1		
			銅片	97	L23	468	78.1			1		
			銅片	97	L23	469	33.6			1		
			銅片	97	L23	713	41.4			1		
			石片	96	L23	723	58.5			1		
			銅片	96	M23	297	6.6			1		
			銅片	96	L23	129	28.5			1		
			銅片	96	M23	286	44.4			1		
			銅片		K23-2	28	153.0			1		
品-111	400	5	石片鉄		銅土	63	336.3			1		
品-436	343	351	組合貨幣	97-99-100		895.2	20			1	1006	4274
			二次加工赤銅片	100	K20	231	12.0			1		
			二次加工赤銅片	100	K20	739	94.0			1		
			銅片	97	K20	1	44	130.6		1		
			銅片	98	M20	78	33.2			1		
			銅片	97	K22	462	7.7			1		
			銅片	97	L22	486	18.3			1		
			銅片		L22	1	283	28.4		1		
			銅片	97	M21	68	16.8			1		
			二次加工赤銅片	97	M21	108	79.8			1		
			二次加工赤銅片	97	M22	1986	89.8			1		
			銅片	97	M21	262	65.7			1		
			銅片	97	M21	497	6.1			1		
			銅片	97	M22	1509	62.2			1		
			銅片	97	M21	107	88.7			1		
			銅片	97	M21	1010	3.6			1		
			銅片	97	M21	1015	98.2			1		
			銅片	97	M21	627	25.0			1		
			銅片	97	M21	746	31.6			1		
			銅片	97	M21	730	40.3			1		
			銅片	97	M21	1092	11.2			1		
品-438	343	352	組合貨幣	97-99-101		4148.5	29			1	1038	4367
			銅片	97	K22	628	62.0			1		
			銅片	97	K22	1	14	18.3		1		
			銅片	97	K23	338	28.6			1		
			銅片		L21	1	21	221.4		1		
			銅片	97	K23	1898	80.9			1		
			銅片	97	K23	2099	11.3			1		
			銅片	97	M22	1963	6.0			1		
品-407	317	330	石片鉄	97	K23	2500	1080.3			1		
			石片	101	L19	123	15.1			1		
			銅片	98	L21	432	3.2			1		
			銅片	97	L21	480	11.5			1		
			銅片		L21	1	20	110.1		1		
			銅片		L21	1	61	8.6		1		
			銅片	97	L23	365	8.0			1		
			銅片	97	M22	1504	34.9			1		
			銅片	97	L22	638	4.0			1		
			銅片	97	L22	2218	4.9			1		
			銅片	97	L22	930	6.6			1		
			銅片	97	L22	1632	7.1			1		
			銅片		L22	1	189	25.0		1		
			銅片	97	L22	1391	58.4			1		
			銅片	97	L22	1610	237.4			1		
			銅片	97	L22	1670	7.0			1		
			銅片	97	M22	861	28.2			1		
			銅片	97	M22	1897	13.9			1		
			銅片	97	L22	1824	9.8			1		
			銅片	97	M22	1988	7.2			1		
			銅片	97	L22	2286	11.3			1		
			銅片	97	L22	2319	28.7			1		
			銅片	97	L22	2717	3.0			1		

上白滝8道跡(2)

線区	区画	番号	道跡名	SS	変換区	種別	建物番号	重量	重量%	石質	母材%	配合%
								1.22	1	190	53.6	1
								1.22	1	191	61.0	1
			湧井	97	1.22		2521	35.0	1			
			湧井	97	1.22		2719	13.0	1			
			石見	97	1.22		2720	61.0	1			
			湧井	97	1.22		2721	6.3	1			
			湧井	97	1.22		2811	177.8	1			
			湧井	97	1.22		3039	6.0	1			
			湧井		1.22	1	190	244.0	1			
			湧井		1.22	1	201	4.5	1			
			湧井		1.22	1	202	36.9	1			
			湧井		1.22	1	203	35.8	1			
			湧井		1.22	1	205	6.0	1			
			湧井		1.22	1	207	27.1	1			
			湧井		1.22	1	208	14.9	1			
			湧井		1.22	1	210	9.4	1			
			湧井		1.22	1	212	23.7	1			
			湧井		1.22	1	213	4.1	1			
			湧井	97	1.23		406	16.8	1			
			湧井	97	1.23		770	13.7	1			
			湧井	97	M21		301	13.1	1			
			湧井	97	M21		927	43.8	1			
			湧井	97	M22		383	246.5	1			
第-300	308	258	身振形石籠	97	M21		650	10.0	1			
			湧井	97	M22		21	13.9	1			
					M22	1	12	5.5	1			
			湧井	97	M22		258	72.4	1			
			縦長湧井	97	M22		771	27.6	1			
					M22		1184	35.9	1			
			湧井	97	M22		1304	7.1	1			
			湧井	97	M22		1339	13.1	1			
			湧井	97	M22		1384	30.3	1			
			縦長湧井	97	M22		1363	6.0	1			
			湧井		M22	1	9	2.3	1			
			湧井	97	M22		1536	128.3	1			
			二次加工土心湧井	97	M22		1580	144.1	1			
			湧井	97	M22		1638	26.3	1			
			湧井	97	M22		1959	243.1	1			
			湧井	97	M22		1972	6.1	1			
			湧井		M22	1	11	6.8	1			
第-401	344	353	総合資料				1390.3	96	1	900	4293	
第-302	302	06	縦筋	99	1.21		243	6.9	1			
			湧井	99	1.21		413	13.0	1			
			湧井	97	1.20		40	5.1	1			
第-400	314	210	石見積	100	1.20		35	182.1	1			
			湧井	99	1.22		178	9.2	1			
			湧井	97	1.24		35	16.2	1			
			石見	97	1.24		53	14.8	1			
				97	K24		414	17.4	1			
				97	K24		346	27.3	1			
			湧井	97	1.24		283	16.2	1			
			縦長湧井	97	1.24		297	16.2	1			
			石見	97	1.24		429	26.8	1			
			石見	97	1.24		123	19.2	1			
			縦長湧井		1.24	1	126	19.3	1			
				97	K23		1970	13.6	1			
				96	K24		324	6.2	1			
			湧井		1.24	1	133	12.8	1			
			石見		1.24	1	186	26.3	1			
					1.24	1	189	7.4	1			
				97	K24		999	27.4	1			
			湧井		1.24	1	190	7.4	1			
					1.24	1	201	6.7	1			
					1.24	1	207	6.2	1			
				97	K24		989	41.1	1			

線区	区画	番号	道跡名	SS	変換区	種別	建物番号	重量	重量%	石質	母材%	配合%	
								97	K24		1234	1.0	1
			縦長湧井				J24	1	242	21.1	1		
				97	K24			776	6.7	1			
第-301	306	246	身振形石籠	96	K21		312	60.0	1				
				97	K24		876	196.4	1				
			湧井	97	K23		1404	22.9	1				
			湧井	97	K23		2890	2.4	1				
			G石	97	K24		54	14.0	1				
					K24	1	69	33.7	1				
			湧井	97	K24		129	21.3	1				
				97	K24		1066	48.1	1				
第-300	311	289	G石	97	K24		175	23.9	1				
					K24		132	33.8	1				
			湧井	97	K24		321	23.4	1				
			湧井	97	K24		324	2.4	1				
				97	K24		948	6.1	1				
			湧井	97	K24		476	43.0	1				
			G石	97	K24		824	3.6	1				
			G石	97	K24		978	8.1	1				
			湧井	97	K24		1696	3.4	1				
			G石	97	K24		1225	16.4	1				
				97	K24		1959	14.3	1				
			湧井	97	K24		1292	12.9	1				
			G石	97	K24		1566	6.2	1				
					K24	1	101	2.3	1				
			湧井	97	K24		1783	6.1	1				
			湧井	97	K24		1717	52.5	1				
			湧井	97	K24		1628	44.1	1				
			湧井	97	K24		2165	43.0	1				
			湧井	97	K24		2116	9.3	1				
			G石	97	K24		2267	3.3	1				
			G石	97	K24	1	70	25.7	1				
			湧井	1.22	1	348	12.4	1					
			G石	L23	1	7	10.4	1					
第-401	341	354	総合資料				1390.3	96	1	900	4102		
第-302	301	82	縦筋	97	1.23		427	7.1	1				
第-400	317	331	石積	1.22	1	1	121.4	1					
			湧井	97	1.23		156	106.0	1				
			G石	97	1.23		1660	26.4	1				
			湧井	97	K23		2944	6.8	1				
第-300	311	288	G石		1.24	1	129	10.7	1				
				97	K23		4998	10.8	1				
			縦長湧井		1.24	1	132	36.0	1				
			湧井		1.24	1	183	10.9	1				
			G石		1.24	1	181	8.9	1				
				97	K24		1656	3.0	1				
			湧井		1.24	1	186	6.3	1				
			G石		1.24	1	237	1.1	1				
				97	K24		2385	1.3	1				
			G石		1.24	1	243	2.4	1				
				97	K24		498	2.7	1				
			縦筋湧井		1.00	K18	102	4.7	1				
			縦筋湧井		K18	1	10	2.9	1				
			縦筋湧井		K18	1	11	1.2	1				
			G石	1.00	K20		370	10.5	1				
			縦筋湧井	96	K21		194	5.8	1				
			縦筋湧井	96	K21		360	2.0	1				
			湧井	97	K22		198	4.7	1				
			G石	97	K23		2636	12.0	1				
			G石	97	K23		2790	6.0	1				
				97	K24		1294	5.8	1				
			湧井	97	K24		1031	5.8	1				
			湧井	97	K24		1122	15.7	1				
			湧井	97	K24		1945	32.4	1				
			縦長湧井	97	K24		2200	3.9	1				

探検	探検	番号	遺物番号	No.	発掘区	種別	遺物番号	重量	長さ	石質	採寸%	採寸%
			柳葉器片	101	L-18		82	6.7	1			
			柳葉器片	101	L-18		225	6.6	1			
			石刃	98	L-21		318	35.2	1			
2-365	303	130	柳葉器片	101	M-18		2014	7.1	1			
2-404	345	335	複合資料	97-99			925.7	50	1-5	1000	4207	
2-404	315	314	石刃核	99	J-21		944	175.9	1			
			湖片	J-21	I	12	5.1	1				
			湖片	97	J-24		37	5.5	1			
			湖片	97	J-24		437	26.7	1			
			湖片	97	J-24		1128	2.3	1			
			湖片	J-24	I	192	25.6	1				
			湖片	97	K-24		1300	96.5	1			
			湖片	J-24	I	200	5.7	1				
			湖片	97	K-24		2341	7.5	1			
			湖片	J-24	I	202	33.0	1				
			湖片	97	K-24		1926	29.0	1			
			柳葉器片	J-24	I	103	14.2	1				
			湖片	97	K-24		2215	18.2	1			
			湖片	J-24	I	204	16.8	1				
			湖片	J-24	I	205	6.3	1				
			湖片	J-24	I	228	6.6	1				
			湖片	J-24	I	229	7.7	1				
			湖片	J-24	I	230	2.6	1				
			湖片	J-24	I	241	2.1	1				
			湖片	97	K-24		1008	15.0	1			
			石刃	97	K-23		281	9.5	1			
			湖片	97	K-23		2501	12.1	1			
			湖片	97	K-23		2809	16.5	1			
			湖片	97	K-24		296	45.3	1			
			湖片	97	K-23		3277	48.1	1			
			湖片	97	K-23		3847	28.1	5			
			湖片	97	K-23		4175	21.7	1			
			湖片	97	K-24		1736	4.8	1			
			湖片	K-23	I	71	15.6	1				
			湖片	K-23	I	82	5.2	1				
			湖片	97	K-24		117	26.4	1			
			湖片	97	K-24		306	6.4	1			
			湖片	97	K-24		403	2.9	1			
			湖片	97	K-24		1098	4.2	1			
			湖片	97	K-24		1282	15.9	1			
			湖片	97	K-24		1286	12.2	1			
			湖片	97	K-24		1400	7.5	1			
			湖片	97	K-24		1444	11.8	1			
			石刃	97	K-24		1529	5.9	1			
			湖片	97	K-24		1624	2.9	1			
			湖片	97	L-23		1594	2.5	1			
			湖片	97	K-24		1643	18.5	5			
			湖片	97	K-24		1751	2.2	1			
			湖片	97	K-24		1920	1.7	1			
			湖片	97	K-24		2245	8.2	1			
			石刃	98	L-20		27	27.5	1			
			湖片	97	L-23		25	10.3	1			
			湖片	97	L-23		94	2.9	1			
			湖片	97	L-23		623	7.7	2			
			湖片	97	L-23		1003	16.2	1			
2-403	346	336	複合資料	97-101			541.9	31	1	1141	4623	
2-396	304	164	鎌	97	J-24		11	4.6	1			
			湖片	97	J-23		733	19.8	1			
2-391	301	60	柳葉器	101	L-18		409	5.4	1			
			湖片	101	M-18		1130	9.8	1			
			湖片	L-18	I	64	28.1	1				
			湖片	M-18	I	46	2.0	1				
			石刃	L-18	2	10	2.3	1				
			湖片	101	M-18		136	16.5	1			
			湖片	101	M-18		623	21.7	1			
			湖片	101	M-18		1406	2.0	1			
			湖片	101	M-18		209	16.9	1			
			湖片	101	M-18		2128	5.6	1			
			湖片	101	M-18		1470	20.0	1			
			湖片	101	M-18		1707	10.4	1			
			湖片	101	M-18		2606	9.8	1			
			石刃	101	M-18		2307	7.4	1			
			湖片	I	42	4.8	1					
			湖片	101	M-18		2277	28.1	1			
			石刃	101	M-18		2447	33.3	1			
			湖片	101	M-18		2804	4.6	1			
			湖片	101	M-18		2622	2.1	1			
			湖片	M-18	I	34	177.9	1				
			湖片	101	N-18		327	26.3	1			
			湖片	N-18	I	21	1.6	1				
			湖片	M-18	I	25	24.1	1				
			柳葉器片	101	N-18		117	3.9	1			
			湖片	101	N-18		327	2.6	1			
			石刃	101	N-18		622	5.2	1			
			湖片	101	N-18		752	0.8	1			
2-405	346	337	複合資料	101			643.3	46	1	1164	4878	
			柳葉器片	101	L-19		58	8.9	1			
			湖片	101	L-19		204	1.4	1			
			湖片	101	M-18		2548	7.1	1			
			湖片	101	M-18		421	5.1	1			
			湖片	101	M-18		430	108.9	1			
			湖片	101	M-18		1309	5.5	1			
			湖片	101	M-18		1877	3.4	1			
			湖片	N-20	I	4	15.7	1				
			柳葉器片	101	M-18		900	2.0	1			
			柳葉器片	101	M-18		1008	4.2	1			
			湖片	101	N-18		710	6.1	1			
			柳葉器片	101	M-18		1362	16.4	1			
			湖片	101	M-18		1428	4.5	1			
			湖片	101	M-18		1501	1.2	1			
			湖片	101	M-18		1632	8.3	1			
			湖片	101	M-18		1697	16.0	1			
			湖片	101	M-18		2061	1.6	1			
			湖片	101	M-18		2076	3.9	1			
			湖片	101	N-18		266	65.5	1			
			湖片	101	M-18		2510	38.2	1			
			湖片	101	M-18		2389	11.7	1			
			石刃	101	M-20		2434	9.6	1			
			湖片	M-18	I	40	9.9	1				
			湖片	M-18	I	41	8.2	1				
			湖片	101	M-19		269	3.4	1			
			湖片	101	M-19		279	1.2	1			
			湖片	101	M-19		327	6.8	1			
			石刃	101	M-19		477	9.8	1			
			柳葉器片	101	M-19		503	0.9	1			
			湖片	101	M-19		551	8.4	1			
			湖片	101	O-19		51	11.0	1			
2-401	313	306	石刃核	101	M-19		161	132.7	1			
			湖片	101	M-19		335	1.7	1			
			石刃	101	M-19		505	2.7	1			
			湖片	101	M-19		607	1.9	1			
			湖片	101	M-19		728	3.5	1			
			柳葉器片	101	N-18		672	2.7	1			
			湖片	101	N-18		771	12.7	1			
			柳葉器片	101	N-18		933	1.2	1			
			湖片	N-19	I	7	6.5	1				
			石刃	N-19	I	10	16.6	1				
			湖片	101	N-20		14	12.5	1			

探出	探出	番号	遺物名	№	発掘区	種別	遺物番号	重量	容積	石質	埋没%	保存%
B-307	305	134	線形石器	97	K23	958	13.9	1				
				97	K23	1225	7.3	0				
				97	K23	1091	466.9	1				
				97	K23	2027	7.4	1				
				97	K23	2849	7.3	1				
B-403	314	308	石片核	97	K23	2027	7.4	1				
				97	K23	2849	7.3	1				
				97	K23	3014	38.7	1				
				97	K23	3014	8.2	1				
				97	K23	1	34	0.9	1			
				97	K24	1	84	8.4	1			
				97	K22	3000	36.0	1				
B-412	349	364	複合資料	片断	119	212	91.2	1	1034	4325		
					97	J19	31	98.7	1			
					97	L22	879	80.7	1			
					97	L22	1	435	294.0	1		
					97	L22	1428	14.4	1			
					J20	1	9	200.4	1			
					97	K19	75	17.5	1			
					97	K20	432	8.7	1			
					97	K18	229	18.9	1			
					97	K19	460	46.1	1			
B-407	316	329	石核	97	K20	12	10.5	1				
				97	L21	82	82.5	1				
				97	K20	30	28.8	1				
				97	K20	606	11.2	1				
				97	L20	72	126.4	1				
				97	K20	252	44.1	1				
				97	L22	833	38.4	1				
				97	K20	282	28.4	1				
				97	K20	704	36.5	1				
				97	K20	324	9.0	1				
B-308	306	180	部類	K21	1	6	230.3	1				
				97	K25	3046	26.3	1				
				97	L20	4	27.7	0				
				97	L22	717	28.7	1				
				97	L22	185	69.2	1				
				97	L22	1	429	102.1	1			
				97	L22	1	434	22.2	1			
				97	L23	878	30.5	1				
				97	K21-20	3	52.7	1				
				97	L20	180	28.3	1				
B-304	308	247	単純石器	97	M21	32	323.6	1				
				97	M21	146	64.3	1				
				97	M22	1251	58.9	1				
				97	M21	813	36.7	1				
				97	M21	985	3.9	1				
				97	M21	1003	52.3	1				
				97	M22	614	0.9	1				
				97	M22	885	226.5	1				
				97	M22	3038	38.0	1				
				97	M22	1259	38.0	2				
97	M22	1466	120.6	1								
97	M22	1467	17.2	1								
97	M22	1000	28.4	1								
97	M22	3025	14.2	1								
B-411	300	300	複合資料	片断	119	180.1	64	3.4	1108	4308		
					97	J19	481	84.6	4			
					97	J19	524	3.3	4			
					97	K19	238	10.1	4			
					97	K19	343	18.0	4			
97	J19	1	16	222.2	4							
97	K19	390	140.9	4								

探出	探出	番号	遺物名	№	発掘区	種別	遺物番号	重量	容積	石質	埋没%	保存%
B-307	305	134	線形石器	97	K23	958	13.9	1				
				97	K23	1225	7.3	0				
				97	K23	1091	466.9	1				
				97	K23	2027	7.4	1				
				97	K23	2849	7.3	1				
				97	K23	3014	38.7	1				
				97	K23	3014	8.2	1				
				97	K23	1	34	0.9	1			
				97	K24	1	84	8.4	1			
				97	K22	3000	36.0	1				
B-412	349	364	複合資料	片断	119	212	91.2	1	1034	4325		
					97	J19	31	98.7	1			
					97	L22	879	80.7	1			
					97	L22	1	435	294.0	1		
					97	L22	1428	14.4	1			
					J20	1	9	200.4	1			
					97	K19	75	17.5	1			
					97	K20	432	8.7	1			
					97	K18	229	18.9	1			
					97	K19	460	46.1	1			
B-407	316	329	石核	97	K20	12	10.5	1				
				97	L21	82	82.5	1				
				97	K20	30	28.8	1				
				97	K20	606	11.2	1				
				97	L20	72	126.4	1				
				97	K20	252	44.1	1				
				97	L22	833	38.4	1				
				97	K20	282	28.4	1				
				97	K20	704	36.5	1				
				97	K20	324	9.0	1				
B-308	306	180	部類	K21	1	6	230.3	1				
				97	K25	3046	26.3	1				
				97	L20	4	27.7	0				
				97	L22	717	28.7	1				
				97	L22	185	69.2	1				
				97	L22	1	429	102.1	1			
				97	L22	1	434	22.2	1			
				97	L23	878	30.5	1				
				97	K21-20	3	52.7	1				
				97	L20	180	28.3	1				
B-304	308	247	単純石器	97	M21	32	323.6	1				
				97	M21	146	64.3	1				
				97	M22	1251	58.9	1				
				97	M21	813	36.7	1				
				97	M21	985	3.9	1				
				97	M21	1003	52.3	1				
				97	M22	614	0.9	1				
				97	M22	885	226.5	1				
				97	M22	3038	38.0	1				
				97	M22	1259	38.0	2				
97	M22	1466	120.6	1								
97	M22	1467	17.2	1								
97	M22	1000	28.4	1								
97	M22	3025	14.2	1								
B-411	300	300	複合資料	片断	119	180.1	64	3.4	1108	4308		
					97	J19	481	84.6	4			
					97	J19	524	3.3	4			
					97	K19	238	10.1	4			
					97	K19	343	18.0	4			
97	J19	1	16	222.2	4							
97	K19	390	140.9	4								

上白堊 8 道跡 (2)

群別	段別	番号	地層等	SS	泥岩 (%)	層位	地層番号	重量	容積 (%)	石炭	砂 (%)	粘土 (%)
第 300	304	120	礫層	97	U23		141	13.1		1		
				97	G23		149	5.8		1		
		礫層	97	G23	1	5	14.3	1				
			97	G24	1	4.1		1				
			97	G24	5	4.3		1				
			97	J23	1	6	3.4	1				
	礫層	97	G24	30	19.2	1	1					
		97	G24	1	5	20.1	1					
	礫層	G24	1	6	97	G24	1	6	11.7	1		
					97	J23	1003	29.2	1			
		礫層	J29	1	42	97	J29	1	42	30.1	1	
						97	G24	1	7	6.6	1	
礫層		304	H17	26	97	H17	26	2.7	1			
					97	H17	26	3.8	1			
礫層		H17	1	1	97	H17	1	14.0	1			
					97	H17	1	2	0.5	1		
					97	H17	1	3	0.3	1		
第 300	311	296	石灰	97	H18	194	17.0	3				
				97	H18	106	4.8	3				
				97	H18	1	12.3	3				
第 300	303	178	礫状砂岩	97	H20	1	11.0	1				
				97	H22	250	108.3	3				
				97	H22	318	12.9	3				
				97	H23	714	4.4	3				
				97	H24	306	6.5	3				
				97	H23	429	11.8	3				
	礫層	H23	420	15.6	97	H23	420	15.6	3			
					97	H23	1	8	27.3	1		
					97	H24	541	3.7	3			
					97	J23	324	2.7	1			
					97	H24	549	10.1	3			
					97	H24	500	10.4	3			
礫層	H24	501	10.0	97	H24	501	10.0	3				
				97	H24	614	4.8	3				
				97	H24	675	43.5	3				
				97	H24	21	31.8	1				
				97	H24	57	5.8	3				
				97	H24	80	5.1	3				
第 400	312	307	石灰質	97	H24	283	2.3	3				
				97	J23	833	3.8	1				
				97	H24	322	9.7	3				
				97	J29	1	2	204.8	1			
				97	H24	11	46.9	3				
				97	H24	12	5.2	3				
	礫層	H25	49	16.9	97	H25	49	16.9	1			
					97	H25	56	14.2	3			
					97	J23	10	30.8	3			
					97	J20	1	2	336.1	1		
					97	J20	1	3	13.0	1		
					97	K19	445	82.9	3			
第 400	314	307	石灰質	97	J22	144	92.9	1				
				97	K20	52	186.9	1				
				97	J23	9	3.4	1				
				97	J23	438	8.4	1				
				97	J23	901	49.9	1				
				97	J29	430	135.9	3				
	礫層	100	J20	209	5.2	97	J20	209	5.2	3		
						97	J20	1	24	2.3	1	
						97	J22	1	21	16.3	1	
						97	J22	1	22	6.7	1	
						97	K19	363	80.4	3		
						97	K19	475	202.0	3		
第 400	315	307	礫状砂岩	97	J23	1	13	50.6	4	1108	4592	

				97	K23		317	12.0	4		
				97	K23		2139	12.5	4		
				礫層		J23	1	15	33.7	4	
				礫層	97	K23		477	13.5	4	
				二次加工土と礫層	97	K23		695	39.1	4	
				礫層	97	K23		1045	39.2	4	
				礫層	97	K23		1200	4.9	4	
				礫層	97	K23		3743	7.3	4	
				礫状砂岩	97	K23		2096	14.4	4	
				礫層	97	J23		1448	41.5	4	
				礫層	97	K23		2224	6.8	4	
				礫層	97	K23		3327	143.9	4	
				礫層	97	K23		2667	72.8	4	
				礫層	97	J23		1888	62.4	4	
				礫状砂岩	97	K23		2830	15.1	4	
				礫状砂岩	97	K23		3330	10.5	4	
				礫状砂岩	97	K23		3734	32.6	4	
				礫層	97	K23	1	7	21.9	4	
				礫層	97	K23		3776	7.1	4	
第 300	301	225	身成り砂岩	97	K23		3690	22.6	4		
				97	K23		4256	9.9	4		
				97	L25		1042	20.9	4		
第 300	302	229	身成り砂岩	97	L23		1447	32.2	4		
				97	L23		1670	27.9	4		
第 400	332	308	礫状砂岩	97	H20		2100.9	40	4	1080	4520
				97	H23		408	10.8	4		
				97	H24		130	252.9	4		
				97	H24		760	312.0	4		
				97	H24		846	37.0	4		
				97	J23		950	369.9	4		
	礫層	H23	1010	355.0	97	J23		1010	355.0	4	
					97	J22	1	2	5.7	4	
					97	L21		96	17.6	4	
					97	L21		120	432.5	4	
					97	L21		191	193.3	4	
					97	L21		403	2.6	4	
第 400	333	318	石灰質	97	L21		411	34.1	4		
				97	L21		507	8.3	4		
				97	L21		508	15.5	4		
				97	L22	1	63	10.8	4		
				97	L21		613	78.6	4		
				97	L21		624	7.4	4		
	礫層	L21	1	13	97	L21		13	6.1	4	
					97	L22		178	10.0	4	
					97	L22		458	32.0	4	
					97	L22		800	18.7	4	
					97	L22		959	4.7	4	
					97	L22		1754	8.1	4	
礫層	97	L22	2130	8.2	97	L22		2130	8.2	4	
					97	L22		2156	31.0	4	
					97	L22		2184	4.0	4	
					97	L22	1	10	6.4	4	
					97	M21		352	31.2	4	
					97	L22		56	10.1	4	
礫層	L22	1	17	97	L22		17	5.4	4		
				97	L22		18	6.9	4		
				97	L22	1	65	64.7	4		
				97	L22	1	66	1.2	4		
				97	M21		254	19.8	4		
				97	M21		380	18.3	4		
礫層	97	M21	542	7.4	97	M21		542	7.4	4	
					97	M21		903	20.3	4	
					97	M21		930	7.3	4	
					97	M21		963	18.0	4	
					97	M22		2060	4.3	4	

国名	種別	番号	品名等	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋没%	保存%							
E-37	302	309	複合資料	97-98	I	7	117.1	94	3-4	1019	408								
												銅片	97	K23	3251	5.1	3		
												銅片	97	K23	3252	41.9	3		
												銅片	97	K23	3457	2.3	4		
												銅片	97	K23	3531	13.1	4		
												銅片	97	K23	3535	14.1	4		
												銅片	97	K23	3547	15.9	4		
												銅片	97	K23	3504	5.9	4		
												銅片	97	K23	3225	2.9	3		
												銅片	97	K23	3281	12.0	3		
E-38	307	220	舟板形石器	97	I	1	565	5.5	4										
													銅片	97	K23	3907	1.7	4	
													銅片	97	K23	2220	22.0	3	
													銅片	97	K23	81	15.9	3	
													銅片	97	K23	387	2.1	4	
													銅片	97	K23	389	26.4	4	
													銅片	97	K23	414	28.6	3	
													銅片	97	K23	2019	2.7	3	
													銅片	97	K23	442	32.7	3	
													銅片	97	K23	26	12.9	4	
E-39	305	228	舟板形石器	97	I	1	1701	18.9	3										
													銅片	97	K23	456	2.6	4	
													銅片	97	K23	663	10.9	4	
													銅片	97	K23	695	2.7	4	
													銅片	97	K23	793	5.1	4	
													銅片	97	K23	826	13.7	3	
													銅片	97	K23	3603	9.7	4	
													銅片	97	K23	3739	18.1	3	
													銅片	97	K23	398	8.0	4	
													銅片	97	K23	1051	5.9	4	
E-40	306	229	複合資料	97-98	II	2	2719	4.4	3										
													銅片	97	K23	3542	18.8	3	
													銅片	97	K23	3286	5.5	3	
													銅片	97	K23	1043	6.5	4	
													銅片	97	K23	1122	1.6	4	
													銅片	97	K23	1136	45.3	4	
													銅片	97	K23	1180	1.9	4	
													銅片	97	K23	1186	86.7	3	
													銅片	97	K23	1336	6.8	4	
													銅片	97	K23	1365	7.0	4	
E-41	307	230	舟板形石器	97	II	2	1620	4.6	4										
													銅片	97	K23	87	1.6	4	
													銅片	97	K23	1436	5.3	4	
													銅片	97	K23	1487	27.7	4	
													銅片	97	K23	1498	13.7	4	
													銅片	97	K23	1499	9.0	4	
													銅片	97	K23	3038	11.8	4	
													銅片	97	K23	1526	2.4	4	
													銅片	97	K23	1527	3.7	4	
													銅片	97	K23	1569	4.2	4	
E-42	303	230	複合資料	97-98	II	2	1859	15.5	4										
													銅片	97	K23	2111	10.2	4	
													銅片	97	K23	2141	2.9	4	
													銅片	97	K23	2144	3.4	4	
													銅片	97	K23	2145	7.2	4	
													銅片	97	K23	2250	21.7	4	
													銅片	97	K23	2332	7.0	4	
													銅片	97	K23	2360	6.1	4	
													銅片	97	K23	2362	2.9	4	
													銅片	97	K23	4127	5.2	4	
E-43	304	231	舟板形石器	97	II	2	2282	86.2	4										
													銅片	97	K23	3611	5.1	4	
													銅片	97	K23	66	2.2	4	
													銅片	97	K23	2545	15.0	3	
													銅片	97	K23	2567	14.2	4	
													銅片	97	K23	4120	28.4	4	
													銅片	97	K23	2297	1.2	3	
													銅片	97	K23	2652	19.0	3	
													銅片	97	K23	3537	5.8	3	
													E-44	308	244	舟板形石器	97	II	2
銅片	97	K23	3923	16.4	4														
銅片	97	K23	4021	4.7	3														
銅片	97	K23	4362	74.1	4														
銅片	97	K23	4391	26.8	4														
銅片	97	K23	4220	13.9	4														
銅片	97	K23	4252	5.6	4														
銅片	97	K23	11	13.5	4														
銅片	97	K23	1	28	4.3	4													
銅片	97	K23	1	59	5.8	4													
E-45	309	245	舟板形石器	97	II	2	160	34.8	4										
													銅片	97	K23	1	74	2.1	4
													銅片	97	K23	2	63	1.6	4
													銅片	97	K23	2	64	0.8	4
													銅片	97	K23	2	65	2.0	4
													銅片	97	K23	1419	23.1	3	
													銅片	97	K23	1431	1.1	3	
													銅片	97	K23	1533	28.5	4	
													銅片	97	K23	1561	88.2	4	
													銅片	97	K23	1385	46.4	3	
E-46	310	230	複合資料	97-98	II	2	291.7	87	3-4	1174	4201								
													銅片	102	118	205	1.8	4	
													銅片	119	1	3	11.1	4	
													銅片	120	1	33	8.6	4	
													銅片	120	1	5	2.4	4	
													銅片	99	121	227	6.2	3	
													銅片	99	121	405	41.3	3	
													銅片	99	121	847	18.9	4	
													銅片	100	119	326	2.0	4	
													E-47	306	211	舟板形石器	96	I	2
銅片	100	119	137	0.9	3														
銅片	100	119	323	6.7	4														
銅片	100	119	221	0.6	4														
銅片	100	119	406	3.4	4														
銅片	100	120	15	18.4	4														
銅片	100	120	16	3.2	4														
銅片	100	120	34	24.3	4														
銅片	100	120	21	3.5	4														
銅片	100	120	660	22.3	4														
E-48	306	211	舟板形石器	96	I	2	739	5.6	3										
													銅片	100	120	26	2.9	4	
													銅片	100	120	80	2.4	4	
													銅片	100	120	84	6.2	4	
													銅片	100	120	144	2.2	3	
													舟板形石器	100	120	148	24.3	4	
													銅片	100	120	1	8	48.6	4
													銅片	100	120	365	28.1	3	
													銅片	100	120	174	1.4	3	
													銅片	100	120	228	20.0	4	
E-49	310	220	舟板形石器	97	II	2	181	2.4	4										
													銅片	100	120	301	6.0	4	
													銅片	100	120	300	3.4	4	
													銅片	100	120	302	4.2	4	
													銅片	120	1	44	3.0	4	
													銅片	120	1	49	1.7	4	
													銅片	120	1	32	36.4	4	

上白滝8道跡(2)

線区	区画	番号	築替等	SS	築期	積込	積込割合	重量	積込割合	石質	積込%	積込%
			積込	J20	1	34	5.0	4				
			積込	J20	1	35	12.0	4				
			積込	J30	1	36	7.7	4				
			積込	K20		603	8.1	4				
			積込	J20	1	37	17.7	4				
			積込	J20	1	38	12.0	4				
			積込	J20	1	39	7.9	4				
			積込	J20	1	41	3.4	4				
			積込	J20	1	42	4.3	4				
			積込	K20		653	8.3	3				
			積込	J20	1	43	4.1	4				
			積込	J20	1	46	11.0	4				
			積込	J20	1	47	2.1	4				
			積込	J20	1	48	3.8	4				
			積込	J20	1	50	2.6	4				
			積込	J20	1	51	1.5	4				
			積込	J20	1	52	5.0	4				
			積込	K20		284	11.3	4				
			積込	J24	1	234	9.0	4				
			積込	J24	1	266	5.1	4				
			積込	K19		85	4.6	4				
			積込	K19		249	7.5	4				
			積込	K20		2	1.7	4				
			積込	K20		85	16.6	3				
			積込	K20		145	14.4	4				
			積込	K20		148	8.9	4				
			積込	K20		130	49.2	4				
			積込	K20		267	7.8	4				
			積込	K20		285	42.9	4				
			積込	K20		285	12.0	4				
			積込	K20		286	6.2	3				
			積込	K20		300	2.8	3				
			積込	K20		423	6.5	4				
			積込	K20		430	2.0	3				
			積込	K20		530	2.7	4				
			積込	K20		522	2.5	4				
			積込	K20		642	5.0	4				
			積込	K20		533	2.9	4				
			積込	K20		539	29.5	4				
			積込	K20		603	2.6	4				
			積込	K20		611	4.1	4				
			積込	K20		706	5.4	4				
			積込	M20		131	4.6	3				
			積込	K20		772	5.4	4				
			積込	K20	1	51	12.3	4				
			積込	K20	1	52	7.4	4				
			積込	K20	1	53	6.8	4				
			積込	K20	E	42	3.3	4				
			積込	K20	E	43	1.3	4				
			積込	K23		3099	3.0	4				
			積込	K24		3	7.1	4				
			積込	K24		145	4.1	4				
			積込	K23		638	4.6	4				
■-040	303	375	綜合資料	総合資料		2394.2	27	3-4	1120	4363		
			積込	K19		140	13.4	4				
■-300	309	255	身振形石部			308	22.3	4				
			積込	M22		1325	46.8	4				
■-307	303	208	身振形石部			179.0	4					
			積込	K22		264	47.7	3				
			積込	L19		445	27.1	4				
			積込	L19		448	6.7	4				
			積込	L19		439	16.3	4				
			積込	L21		510	14.3	4				
			積込	L22		826	7.2	4				
			積込	L22		1523	22.8	4				

線区	区画	番号	築替等	SS	築期	積込	積込割合	重量	積込割合	石質	積込%	積込%
			積込	L22	1	88	19.9	4				
			積込	L21		7	9.5	4				
			積込	L21		367	15.5	4				
			積込	L21		935	12.5	4				
			積込	L22		49	8.0	4				
			積込	L22		310	10.2	4				
			積込	L22		1563	3.8	4				
			積込	L22		447	9.8	4				
			積込	M22		680	30.3	3				
			積込	L22		648	16.9	4				
			積込	L22		697	22.6	4				
			積込	M22		684	15.9	3				
			積込	L22		710	48.7	4				
			積込	M22		413	72.0	3				
			積込	L22		799	4.4	4				
			積込	L22		836	10.1	4				
			積込	L22		1037	39.7	4				
			積込	L22		1174	15.4	4				
			積込	L22		1275	31.6	4				
			積込	L22		1277	15.4	4				
			積込	M22		1452	3.4	3				
			積込	L22		1410	27.5	4				
			積込	L22		1452	2.3	4				
			積込	L22		1504	9.4	4				
			積込	M22		1700	7.1	3				
			積込	L22		1861	6.7	4				
			積込	L22		1957	7.1	4				
			積込	L22		2160	10.6	4				
			積込	M22		1651	22.1	3				
			積込	L22		2271	7.1	4				
			積込	L22		2420	2.7	4				
			積込	L22		2480	18.7	4				
			積込	L22		2739	13.2	4				
			積込	L22		2813	4.1	4				
			積込	L22		3234	23.5	4				
			積込	L22	1	90	13.4	4				
			積込	L22	1	39	74.3	3				
			積込	L22	1	82	84.9	4				
			積込	L22	1	91	3.0	4				
			積込	L22	1	85	77.6	4				
			積込	L22	1	85	36.7	4				
			積込	L22	1	89	16.3	4				
			積込	L22	1	92	3.7	4				
			積込	L22	1	95	4.3	4				
			積込	M22		1027	5.6	3				
			積込	L22	1	98	3.0	4				
			積込	L21		1084	28.9	4				
■-301	307	234	身振形石部			36	320	121	20.8	4		
			積込	M21		257	36.7	4				
			積込	M21		423	9.1	4				
			積込	M22		413	16.9	3				
			積込	M22		418	11.0	3				
			積込	M22		421	9.7	3				
			積込	M22		580	10.2	3				
			積込	M22		600	6.9	3				
			積込	M22		852	10.3	3				
			積込	M22		939	47.0	3				
			積込	M22		1032	45.3	3				
			積込	M22		1066	24.0	3				
			積込	M22		1141	30.9	3				
			積込	M22		1246	12.4	3				
			積込	M22		1322	10.9	3				
			積込	M22		1780	23.0	3				
			積込	M22		1817	21.6	3				
			積込	M22		1954	28.8	3				

探出	探出番号	遺物番号	品名	材質	重量	容積	寸法	状態	保存状況	備考
			鏡片	97	57.21	162	55.6	4		
B-467	304	375	複合資料	101	330.6	29	4	1188	4764	
			鏡片	101	L18	179	22.0	4		
			鏡片	101	L18	304	2.3	4		
			鏡片	101	L19	40	11.5	4		
			鏡片	101	L19	13	12.7	4		
			鏡片	101	M18	19	9.8	4		
			鏡片	101	M18	1425	13.9	4		
			鏡片	101	O20	1	2.5	4		
			鏡片	101	M18	262	3.1	4		
			鏡片	101	M18	788	7.9	4		
			鏡片	101	M18	904	9.9	4		
			鏡片	101	M18	1279	22.6	4		
			鏡片	101	M19	138	4.8	4		
			鏡片	101	M19	121	8.9	4		
			鏡片	101	M19	171	2.9	4		
			鏡片	101	M19	236	22.0	4		
			鏡片	101	M19	392	4.2	4		
			鏡片	101	N18	1117	7.8	4		
			鏡片	101	M18	330	2.6	4		
			鏡片	101	M19	11	6.7	4		
			鏡片	101	M20	5	7.2	4		
			鏡片	101	N18	379	10.1	4		
			鏡片	101	N18	526	6.6	4		
			鏡片	101	N18	582	3.4	4		
			鏡片	101	N19	17	52.5	4		
			鏡片	101	N19	27	3.9	4		
			鏡片	101	N19	1	11.4	4		
			鏡片	101	N20	10	5.3	4		
			鏡片	101	N20	1	2	6.5	4	
			鏡片	101	O19	43	2.2	4		
B-467	304	377	複合資料	97	149.7	6	4	1091	4322	
			鏡片	97	K22	167	11.4	4		
			鏡片	97	L22	204	18.3	4		
B-467	308	343	単眼顕微鏡	97	K22	788	10.4	4		
			鏡片	97	K22	2637	42.9	4		
			鏡片	97	L22	786	9.6	4		
			鏡片	97	L22	2041	5.1	4		
B-469	304	378	複合資料	104	2039.5	61	1	1191	4752	
			鏡片	104	J15	71	27.2	1		
			鏡片	104	J15	119	2.9	1		
			鏡片	104	J15	295	47.9	1		
			鏡片	104	J15	136	2.0	1		
			鏡片	104	J15	300	135.7	1		
			鏡片	104	J15	144	13.1	1		
			鏡片	104	J15	110	20.9	1		
			鏡片	104	J15	369	5.7	1		
			鏡片	104	J15	188	9.8	1		
			鏡片	104	J15	74	96.0	1		
			鏡片	104	J15	135	28.5	1		
			鏡片	104	J15	305	130.2	1		
			鏡片	104	J15	280	6.9	1		
			鏡片	104	J15	428	14.8	1		
			鏡片	104	J15	7	18.9	1		
			鏡片	104	J15	74	26.5	1		
			鏡片	104	J15	93	43.7	1		
			鏡片	104	J15	286	3.3	1		
			鏡片	104	J15	361	9.6	1		
			鏡片	104	J15	38	23.2	1		
			鏡片	104	J15	200	3.9	1		
			鏡片	104	J15	508	8.5	1		
B-469	305	389	顕微鏡	104	J15	371	47.5	1		
			鏡片	104	J15	426	15.4	1		
			鏡片	104	J15	319	11.3	1		
			鏡片	104	J15	116	64.7	1		
			鏡片	104	J15	370	5.6	1		
			鏡片	104	J15	371	12.6	1		
			鏡片	104	J15	268	8.2	1		
			鏡片	104	J15	1	4	28.4	1	
			鏡片	104	J15	403	7.6	1		
			鏡片	104	J15	10	10.9	1		
			鏡片	104	J15	58	8.1	1		
			鏡片	104	J15	139	13.4	1		
			鏡片	104	J15	128	27.2	1		
			鏡片	104	J15	131	16.5	1		
			鏡片	104	J15	384	17.2	1		
			鏡片	104	J15	140	241.3	1		
			鏡片	104	J15	366	111.3	1		
			鏡片	104	J15	400	28.7	1		
B-470	300	32	両眼顕微鏡	104	J15	170	137.2	1		
			鏡片	104	J15	188	10.1	1		
			鏡片	104	J15	226	28.4	1		
			鏡片	104	J15	191	24.2	1		
			鏡片	104	J15	193	7.0	1		
			鏡片	104	J15	194	13.5	1		
			鏡片	104	J15	204	2.2	1		
			鏡片	104	J15	247	11.7	1		
			鏡片	104	J15	280	204.1	1		
			鏡片	104	J15	334	28.2	1		
			鏡片	104	J15	388	21.8	1		
			鏡片	104	J15	330	21.3	1		
			鏡片	104	J15	268	5.7	1		
			鏡片	104	J15	361	11.6	1		
			鏡片	104	J15	449	96.5	1		
			鏡片	104	J15	389	8.5	1		
			鏡片	104	J15	405	19.8	1		
			顕微鏡筒	104	J15	452	15.9	1		
			鏡片	104	J15	471	6.0	1		
			鏡片	104	J15	521	84.5	1		
			鏡片	104	K17	36	7.4	1		
B-480	305	379	複合資料	97	629.0	17	4	1074	4480	
			鏡片	97	K22	1	9	18.9	4	
			鏡片	97	L21	300	58.7	4		
			鏡片	97	L21	1	34	22.4	4	
			鏡片	97	L22	870	49.8	4		
			鏡片	97	L22	1492	36.6	4		
			鏡片	97	L22	1739	17.0	4		
			鏡片	97	L22	1	71	4.0	4	
			鏡片	97	M21	4	12.2	4		
			鏡片	97	L22	2270	85.0	4		
			鏡片	97	L22	2458	12.7	4		
			鏡片	97	L22	2621	3.3	4		
			鏡片	97	L22	1	48	96.0	4	
			鏡片	97	L22	1	49	78.1	4	
			鏡片	97	L22	1	72	10.9	4	
B-481	316	328	石版	97	M21	606	122.9	4		
			鏡片	97	M21	1024	44.8	4		
			鏡片	97	M22	1007	16.0	4		
B-481	325	285	複合資料	101	25.1	4	3-4	--	3851	
			左眼顕微鏡	101	L17	113	13.8	4		
B-471	296	36	左眼顕微鏡	101	L17	114	1.9	4		
			鏡片	101	L17	124	3.9	4		
B-474	295	26	左眼顕微鏡	101	M17	147	9.5	3		
B-481	330	281	複合資料	08-101			136.5	0	1	--
B-471	297	40	左眼顕微鏡	101	K10	160	31.9	1		
B-471	297	41	左眼顕微鏡	101	K19	160	31.5	1		
B-474	296	30	左眼顕微鏡	101	L19	422	33.8	1		
B-474	296	31	左眼顕微鏡	101	L19	496	35.9	1		
B-471	296	37	左眼顕微鏡	08	M21	262	25.4	1		
B-481	315	282	複合資料	07-09-10			676.5	23	1	1039

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	架設種別	SS	架設年月	橋長	支保間隔	石質	母材%	使用%					
--	318	303	実腹橋	97	J20	1	10.9	1							
				鋼桁	100	K20	328	5.5	1						
				鋼桁	100	K20	1	46	10.9	1					
				鋼桁	97	K22	332	10.1	1						
				鋼桁	97	K22	101	3.1	1						
				鋼桁	97	K22	661	110.2	1						
				鋼桁	97	L22	1911	30.5	1						
				鋼桁	97	K23	972	28.9	1						
				鋼桁	97	K23	3130	2.5	1						
				鋼桁	97	K23	3130	2.5	1						
B-324	296	32	実腹橋	101	J19	495	46.7	1							
--	318	400	実腹橋	97	L21	1	41	15.8	1						
				鋼桁	97	L22	16	43.4	1						
				鋼桁	97	L22	122	4.9	1						
				鋼桁	97	L22	663	19.8	1						
				鋼桁	97	L22	2062	10.9	1						
				鋼桁	97	L23	861	3.5	1						
				鋼桁	97	L23	1430	8.3	1						
				鋼桁	97	L22	1332	106.2	1						
				鋼桁	97	N21	4	20.8	1						
				鋼桁	97	L23	1104	30.7	1						
鋼桁	97	M21	1	5	9.3	1									
鋼桁	97	M22	1	35	3.5	1									
鋼桁	97	M22	512	6.1	1										
--	318	512	複合資料	97			168.8	7	1	972	4197				
				B-324	296	34	実腹橋	97	J22	300	179.5	1			
--	319	309	実腹橋	97	J23	130	43.3	1							
				鋼桁	97	J24	1329	22.1	1						
				鋼桁	97	J23	303	102.3	1						
--	318	304	実腹橋	97	J24	1221	114.4	1							
				鋼桁	97	J25	130	24.8	1						
				鋼桁	97	J26	1649	12.2	1						
--	318	514	複合資料	97	97-10		834.8	36	3-4	1067	4308				
				鋼桁	99	J21	341	13.1	3						
				B-324	296	33	実腹橋	1	J1	1	163.7	4			
				--	319	401	実腹橋	97	J22	1	33	16.2	4		
								鋼桁	97	J24	425	2.6	4		
				鋼桁	97	J24	525	6.0	3						
				鋼桁	J24	1	62	3.5	4						
				鋼桁	K24	1	39	49.6	4						
				鋼桁	97	J24	1328	12.3	4						
				鋼桁	J24	1	48	14.2	4						
鋼桁	J24	1	30	7.4	4										
鋼桁	J24	1	58	10.6	4										
鋼桁	97	K23	3495	25.0	3										
鋼桁	J24	1	68	2.7	4										
鋼桁	J24	1	11	2.4	4										
鋼桁	K24	1	26	132.1	4										
鋼桁	J24	1	130	16.6	4										
--	318	306	実腹橋	100	K19	1	8	1.3	3						
				鋼桁	100	K20	496	14.2	3						
				鋼桁	99	K21	175	43.4	4						
				鋼桁	97	K23	642	3.1	4						
				鋼桁	97	K24	132	6.5	4						
				鋼桁	97	K23	2392	2.4	3						
				鋼桁	97	K23	2494	33.4	3						
				鋼桁	97	K23	2799	4.5	3						
				鋼桁	97	K23	3438	20.8	3						
				鋼桁	K23	1	22	3.8	4						
鋼桁	97	K24	15	20.2	3										
鋼桁	97	K24	397	22.1	3										
鋼桁	97	K24	638	18.1	3										
鋼桁	K24	1	30	4.4	4										
鋼桁	97	K24	1123	37.3	4										
鋼桁	97	K24	1268	46.7	3										
鋼桁	97	K24	2236	19.3	3										

線別	区別	番号	架設種別	SS	架設年月	橋長	支保間隔	石質	母材%	使用%	
--	319	305	実腹橋	97	L23	1320	10.1	4			
				鋼桁	97	K24	1372	6.4	3		
				鋼桁	97	K24	1320	5.5	3		
				鋼桁	97	K24	1	19	9.4	4	
				鋼桁	97	L23	306	14.7	4		
--	319	313	複合資料	97			1136.7	31	4	1121	4384
				B-318	305	実腹橋	97	L22	700	170.1	4
--	319	313	複合資料	97	L22	868	8.2	4			
				鋼桁	97	L22	903	25.0	4		
--	319	437	複合資料	97	M22	1480	87.9	4			
				鋼桁	97	L22	1649	38.4	4		
--	319	438	複合資料	97	L22	2829	14.3	4			
				鋼桁	97	L22	2300	93.2	4		
				鋼桁	97	L22	2280	24.8	4		
				鋼桁	L22	1	120	15.8	4		
				鋼桁	L22	1	123	31.8	4		
				鋼桁	97	M22	2037	63.7	4		
				鋼桁	L22	1	124	15.6	4		
				鋼桁	L22	1	123	21.2	4		
				鋼桁	L22	1	148	7.0	4		
				鋼桁	L22	1	127	45.8	4		
鋼桁	L22	1	130	22.3	4						
鋼桁	L22	1	141	5.4	4						
鋼桁	L22	1	147	6.3	4						
鋼桁	97	L23	850	42.6	4						
B-401	313	322	石月橋	97	M21	1017	85.0	4			
				鋼桁	97	M22	180	5.0	4		
				鋼桁	97	M22	1723	2.9	4		
--	319	308	複合資料	97	M22	663	20.8	4			
				鋼桁	97	M22	796	25.4	4		
				鋼桁	97	M22	1992	32.7	4		
				鋼桁	97	M22	1412	92.1	4		
				鋼桁	97	N21	98	7.2	4		
鋼桁	97	M22	1530	40.9	4						
鋼桁	M22	1	7	24.9	4						
鋼桁	97	M22	1542	30.9	4						
鋼桁	M22	1	8	28.9	4						
B-401	318	306	複合資料	100			63.5	3	3	--	5837
B-361	303	129	複合資料	100	J19	300	21.8	3			
B-364	303	125	複合資料	100	K19	137	21.5	3			
B-364	303	124	複合資料	100	K19	231	25.2	3			
B-404	316	387	複合資料	99-101			15.1	3	11	1220	5903
B-375	297	44	実腹橋	99	J22	47	3.9	11			
B-375	297	43	実腹橋	99	J21	314	6.9	11			
B-387	305	382	複合資料	101	M18	77	4.3	11			
B-404	316	388	複合資料	99			19.9	3	11	1220	5943
B-384	303	118	複合資料	99	J21	134	5.0	11			
B-387	305	381	複合資料	99	J21	1	12.0	11			
B-387	305	381	複合資料	99	K21	157	2.9	11			
B-401	312	389	複合資料	101			305.0	4	1-3	1136	4963
鋼桁	101	M18	862	21.8	1						
鋼桁	101	M18	1249	23.3	1						
鋼桁	101	M18	1853	101.7	1						
B-404	314	312	石月橋	101	N18	1120	39.2	5			
B-401	316	390	複合資料	101			112.5	3	1	--	5823
--	319	302	実腹橋	101	L18	528	38.0	1			
				101	M17	157	28.4	1			
--	318	387	実腹橋	101	M18	876	5.9	1			
				鋼桁	99	G21	1	4.8	2	4	1179
B-388	306	187	複合資料	101	L19	1	4	2.4	4		
B-375	297	42	実腹橋	101	M18	2409	2.4	4			
--	319	313	複合資料	97-99			2965.9	40	1	962	4107
				鋼桁	99	G21	2	332.3	1		
--	318	306	実腹橋	99	G21	75	113.8	1			
				99	J21	430	397.1	1			

種別	国名	番号	品名等	№	発掘区	種別	遺物番号	重量	長さ	石質	埋深%	埋深%
			鏡片	99	J20		2	6.3		1		
				99	J21		720	6.8		1		
			鏡片	99	J22		17	7.9		1		
				99	J20		213	22.9		1		
			鏡片	99	J21		18	103.1		1		
			鏡片	99	J21		30	34.1		1		
				99	J21		444	17.8		1		
				99	J21		445	16.8		1		
			鏡片	99	J21		30	24.6		1		
			鏡片	99	J21		61	6.6		1		
			鏡片	99	J21	I	4	20.0		1		
				99	J21		308	17.8		1		
				99	J21		528	6.8		1		
			鏡片	99	J21		223	13.6		1		
				99	J21		434	67.4		1		
			鏡片	99	J21		604	17.3		1		
			鏡片	99	J21		800	40.7		1		
				99	J20		215	52.3		1		
				99	J21		436	31.9		1		
			鏡片	99	J21		820	4.5		1		
				99	J21		302	34.4		1		
			鏡片	99	J20		160	31.4		1		
				99	J21		366	36.6		1		
			鏡片	99	J20		214	67.2		1		
			鏡片	99	J21		7	43.2		1		
			鏡片	99	J21		10	490.3		1		
			鏡片	99	J21		258	28.2		1		
			鏡片	99	J21		310	36.8		1		
			鏡片	99	J21		416	14.1		1		
			鏡片	99	J21		425	16.2		1		
				99	J21		506	9.3		1		
			鏡片	99	J21		431	36.4		1		
			鏡片	99	J21		441	41.7		1		
				99	J21		442	17.9		1		
			鏡片	99	J21		504	14.0		1		
			鏡片	99	J21		555	7.9		1		
			鏡片	99	J21		560	26.1		1		
			鏡片	99	J21		562	5.6		1		
			鏡片	99	J21		660	9.9		1		
			鏡片	99	J21		661	7.1		1		
			鏡片	99	J21		806	66.6		1		
			鏡片		4210-20		3	133.4		1		
			鏡片		4210-20		35	427.1		1		
一	360	136	総合資料	99	中田			3666.3	117	1	100%	438%
			鏡片	99	J21	I	26	4.7		1		
			鏡片	99	J20		691	2.4		1		
			鏡片	99	J21	I	24	14.3		1		
				99	J24		722	42.9		1		
				99	J24	I	113	4.7		1		
				99	J24	I	116	18.7		1		
				99	K23		219	16.8		1		
				99	K23		225	41.5		1		
				99	K23		230	66.7		1		
				99	K23		250	12.8		1		
				99	K23		2510	191.3		1		
				99	L23		299	27.1		1		
			鏡片	99	J24		71	21.5		1		
			鏡片	99	J24		274	6.3		1		
				99	K23		877	4.3		1		
				99	K24	I	83	26.0		1		
			鏡片	99	J24		330	32.1		1		
			鏡片	99	J24		491	14.2		1		
				99	L23		1084	2.7		1		
			鏡片	99	J24		365	13.6		1		
				99	J24		664	16.3		1		
				99	L23		107	5.7		1		
				99	K23		3229	3.2		1		
			鏡片	99	K23	I	124	1	117	114.6	1	
				99	K23	I	124	1	118	75.6	1	
				99	K23	I	124	1	268	127.4	1	
				99	K23		624	35.8		1		
				99	K23		771	249.0		1		
				99	K23		1014	48.0		1		
				99	K23		2207	48.9		1		
				99	K23	I	43	162.5		1		
				99	L23		122	1.7		1		
				99	L23		1414	9.2		1		
				99	L23		1960	213.3		1		
				99	L23		1727	3.1		1		
			鏡片	101	K19		328	179.2		1		
			鏡片	99	K21		120	36.2		1		
			鏡片		K22	I	43	16.3		1		
			鏡片	99	K23		14	4.6		1		
				99	K23		1730	2.9		1		
			鏡片	99	K23		168	19.3		1		
			鏡片	99	K23		252	17.1		1		
			鏡片	99	K23		268	21.3		1		
				99	K23		3362	2.3		1		
			鏡片	99	K23		330	5.6		1		
			鏡片	99	K23		400	32.7		1		
				99	K23		1731	7.9		1		
				99	K23	I	56	16.0		1		
			鏡片	99	K23		328	13.8		1		
			鏡片	99	K23		560	11.3		1		
			鏡片	99	K23		964	16.0		1		
				99	K23		2222	26.1		1		
			鏡片	99	K23		577	24.3		1		
				99	K23		1127	4.1		1		
			鏡片	99	K23		386	11.2		1		
			鏡片	99	K23		619	11.0		1		
				99	K23		2528	6.6		1		
				99	L23		1709	2.8		1		
			鏡片	99	K23		669	2.9		1		
			鏡片	99	K23		360	27.2		1		
			鏡片	99	K23		777	69.9		1		
				99	K23		2449	13.0		1		
			鏡片	99	K23		986	14.5		1		
				99	K23		2314	3.8		1		
				99	K24	I	68	11.1		1		
			鏡片	99	K23		1982	26.5		1		
			鏡片	99	K23		1932	16.0		1		
			鏡片	99	K23		1125	5.7		1		
				99	K24		1019	4.8		1		
			鏡片	99	K23		1137	44.7		1		
			鏡片	99	K23	I	1220	18.5		1		
				99	K23	I	46	26.4		1		
				99	K24		1013	53.0		1		
			鏡片	99	K23		1223	26.9		1		
			鏡片	99	K23		1534	14.4		1		
			鏡片	99	K23		1550	61.9		1		
				99	K23		2072	36.5		1		
				99	K23		2280	56.9		1		
			鏡片	99	K23		1575	1.7		1		
			鏡片	99	K23		1604	4.8		1		
				99	K23		3591	14.3		1		
			鏡片	99	K23		1842	45.4		1		
				99	K24	I	61	3.5		1		
			鏡片	99	K23		1851	33.8		1		
			鏡片	99	K23		1868	1.1		1		
				99	K23		2267	5.0		1		

上白滝8道跡(2)

線区	区画	番号	路線名	SS	変換区	幅巾	道幅	車道	車道幅	石畳	歩道幅	割合%
			側溝	97	K23		2058	53.2	1			
			側溝	97	K23		2124	6.7	1			
			側溝	97	K23		2179	10.8	1			
			側溝	97	K23		2267	26.5	1			
			側溝	97	K23		3377	26.9	1			
			側溝	97	K23		1783	34.0	1			
			側溝	97	K23		2275	2.2	1			
			側溝	97	K23		2290	3.2	1			
			側溝	97	K23		2351	49.6	1			
			側溝	97	K24	I	71	11.0	1			
			側溝	97	K23		2743	1.4	1			
			側溝	97	K24	I	93	6.8	1			
			側溝	97	K23		3151	14.5	1			
			側溝	97	K23		3198	47.9	1			
			側溝	97	K23		3472	3.1	1			
			側溝	97	K23	I	47	27.3	1			
			側溝	97	K23	I	52	12.2	1			
			側溝	97	K23	I	89	11.7	1			
			側溝	97	K23		1745	92.6	1			
			側溝	97	K23	I	90	9.6	1			
			側溝	97	K24		966	5.1	1			
			側溝	97	K24	I	85	31.4	1			
			側溝	97	K23		131	196.6	1			
			側溝	96	K23		294	12.4	1			
			側溝	97	K23		323	62.3	1			
			側溝	97	K23		577	5.5	1			
			側溝	97	K23		694	5.4	1			
			側溝	97	K23		761	66.4	1			
			側溝	97	K23		1196	19.5	1			
			側溝	97	K23		1682	2.5	1			
			側溝	97	K23		1735	2.9	1			
—	360	517	総合資料	97-98-10			3277.4	96	0	1112	4363	
			側溝	J19	I	22	133.5	4				
			側溝	J20	I	23	284.8	4				
			側溝	K20		498	46.2	4				
			側溝	J19	I	23	694.0	4				
			側溝	97	K23		1180	37.0	4			
			側溝	97	K22		1577	8.7	4			
			側溝	97	K22		1943	12.6	4			
			側溝	97	K22		1944	7.6	4			
			側溝	100	J20		94	14.1	4			
			側溝	100	K20		444	4.5	4			
			側溝	97	K22		1782	32.2	4			
			側溝	100	K20		71	27.9	4			
			側溝	100	K20		280	23.1	4			
			側溝	100	K20		440	698.2	4			
			側溝	100	K20		673	35.2	4			
			側溝	97	K23		344	2.0	4			
			側溝	97	K22		1956	7.2	4			
H-159	200	14	大瀬跡	100	K20		299	26.7	4			
			側溝	100	K20		319	19.3	4			
			側溝	100	K20		340	140.2	4			
			側溝	100	K20	I	33	5.3	4			
			側溝	100	K20		480	84.9	4			
			側溝	100	K20	I	32	96.9	4			
			側溝	96	M20		115	890.5	4			
			側溝	97	K22		174	29.1	4			
			側溝	97	K22		299	10.7	4			
			側溝	97	K22		629	3.1	4			
			側溝	100	K22	I	54	2.3	4			
			側溝	97	K22		343	14.4	4			
			側溝	97	K22		728	4.0	4			
			側溝	97	K23		1203	1.4	4			
			側溝	97	K22	I	7	3.2	4			
			側溝	97	K23		2758	12.9	4			

線区	区画	番号	路線名	SS	変換区	幅巾	道幅	車道	車道幅	石畳	歩道幅	割合%
				97	K23		1607	5.5	4			
				97	K22	I	8	5.8	4			
			側溝	97	K23		517	14.6	4			
			側溝	97	L21	I	8	142.9	4			
			側溝	97	L22		729	68.7	4			
			側溝	97	L22	I	51	73.5	4			
			側溝	97	M22		54	21.7	4			
			側溝	97	K23		1638	4.5	4			
			側溝	97	K23		1867	2.4	4			
			側溝	97	M21		24	5.1	4			
			側溝	97	M21		927	2.3	4			
			側溝	97	K23		2869	5.6	4			
			側溝	97	L22		2969	10.4	4			
			側溝	97	L23		381	3.6	4			
			側溝	97	L23		779	1.6	4			
			側溝	97	K23		3171	20.7	4			
			側溝	97	K23		3177	26.3	4			
			側溝	97	K23		4018	33.7	4			
			側溝	97	K23		3391	3.1	4			
			側溝	97	K23	I	13	15.7	4			
			側溝	97	L21		264	5.0	4			
			側溝	97	L21		280	1.0	4			
			側溝	97	L21		368	6.6	4			
			側溝	97	L21		393	6.9	4			
			側溝	97	L21	I	9	4.3	4			
			側溝	97	L21	I	19	3.2	4			
			側溝	97	M22		1298	4.0	4			
			側溝	97	L21	I	11	7.3	4			
			側溝	97	L22	I	60	72.4	4			
			側溝	97	L22	I	35	18.7	4			
			側溝	97	M22		1217	96.2	4			
			側溝	97	L22		600	172.5	4			
			側溝	97	L22		2622	5.1	4			
			側溝	97	L22		1303	4.3	4			
			側溝	97	L22	I	52	14.7	4			
			側溝	97	L22		1963	10.3	4			
			側溝	97	L23		1200	4.8	4			
			側溝	97	L22		1881	8.2	4			
			側溝	97	L22	I	60	5.3	4			
			側溝	97	L22		1394	87.9	4			
			側溝	97	L22		2398	4.9	4			
			側溝	97	L22		3180	1.4	4			
			側溝	97	L22	I	59	3.5	4			
			側溝	97	L22	I	68	3.0	4			
			側溝	97	L23		183	2.0	4			
			側溝	97	L23		202	8.3	4			
			側溝	97	L23		788	4.4	4			
			側溝	97	M21		470	2.0	4			
			側溝	97	M21		838	96.6	4			
			側溝	97	M21		1062	4.7	4			
			側溝	97	M22		543	6.3	4			
			側溝	97	M22		1720	34.2	4			
			側溝	97	M22		2027	23.1	4			
			側溝	97	M22		2028	21.3	4			
			側溝	97	M22		2083	4.4	4			
—	362	528	総合資料	97			1860.6	13	1-5	1137	4619	
H-159	200	50	両側調整石畳	97	K22		782	306.1	5			
				97	M21		1025	600.4	5			
			側溝	97	L21		477	124.0	1			
			側溝	97	L22		2013	10.1	1			
			側溝	97	L22		1256	119.5	5			
			側溝	97	L22		1666	91.9	5			
			側溝	97	L22		2180	7.4	1			
			側溝	97	M21		41	128.0	5			
			側溝	97	M21		647	30.1	5			

探検	探検	番号	品名	品番	探検日	探検場所	重量	容積(L)	石質	探検率	探検率	
			鏡片	97	K22	972	15.4	1				
				97	K22	1532	2.3	0				
			鏡片	97	K22	3029	109.2	5				
			鏡片	97	K22	2014	295.2	5				
一	362	019	総合資料				1336.7	46	1	99%	4201	
			鏡片		K22	1	8	66.5	1			
					K20	190	6.4	1				
					K23	2328	3.6	1				
			鏡片	97	K24	413	8.4	1				
				97	K24	1331	108.1	1				
			鏡片	97	J23	905	14.7	1				
				97	J24	194	18.8	1				
			鏡片	97	J24	320	5.7	2				
			鏡片	97	J24	328	3.2	1				
			鏡片	97	J24	431	15.0	1				
				97	K24	1328	6.9	1				
			鏡片	97	J24	605	10.0	1				
				97	K24	1291	2.6	1				
			鏡片	97	J24	734	26.0	1				
			鏡片	97	J24	1064	17.7	1				
			鏡片	J24	1	131	149.1	1				
			鏡片	J24	1	132	302.6	1				
			鏡片	J24	1	133	44.4	1				
			鏡片	J24	1	136	18.1	1				
			鏡片	J24	1	138	18.4	1				
			鏡片	J24	1	139	10.6	1				
				J24	1	206	9.4	1				
			鏡片	J24	1	103	47.9	1				
			鏡片	J24	1	109	27.4	1				
				K24	1	74	98.0	1				
			鏡片	J24	1	194	3.6	1				
			鏡片	J24	1	217	3.0	1				
				97	K23	1332	5.2	1				
				97	K24	1750	12.9	1				
			鏡片	97	J25	80	25.8	1				
			鏡片	97	K25	46	88.2	1				
			鏡片	97	K25	402	25.3	1				
			鏡片	97	K25	803	8.0	1				
			鏡片	97	K25	2794	98.8	1				
				96	L23	3026	147.9	1				
			鏡片	97	K25	2810	5.7	1				
			鏡片		K25	1	80	12.5	1			
			鏡片	97	K24	384	12.3	1				
			鏡片	97	K24	404	1.9	1				
			鏡片	97	K24	662	15.1	1				
			鏡片	97	K24	1090	44.8	1				
			鏡片	97	K24	2238	10.0	1				
			鏡片	97	K24	2263	4.4	1				
			鏡片	97	K24	2297	14.0	1				
				97	K24	2260	3.6	1				
			鏡片		K24	1	73	25.2	1			
一	363	020	総合資料				5427.1	48	5/4	158%	4302	
			鏡片	99	J21	381	110.2	3				
				99	J21	563	44.1	4				
				99	J21	565	18.4	4				
			鏡片	99	J21	712	21.6	4				
				99	J21	803	13.1	4				
				99	J21	712	256.4	4				
			鏡片	99	J21	936	20.8	4				
				99	J21	211	10.7	4				
				99	J21	300	1.8	4				
				99	J21	434	1.6	4				
				99	J21	570	1.1	4				
				99	J21	586	46.4	4				
				99	J21	673	23.5	4				
				99	J21	861	5.7	4				
				99	J21	1047	54.1	4				
				99	J21	1074	7.2	4				
			鏡片	99	J20	170	140.7	4				
				99	J21	426	3.8	4				
			鏡片	99	J21	128	79.5	4				
				99	J21	301	8.0	4				
				99	J21	314	20.2	4				
				99	J21	537	2.0	4				
				99	J21	107	7.5	4				
				99	J21	367	3.7	4				
				99	J21	368	36.0	4				
				99	J21	606	55.4	4				
				99	J21	617	2.9	4				
									9	1334.0	4	
									0/9	26	641.6	4
			鏡片	99	J21	515	6.1	4				
				99	J21	420	121.6	4				
				99	J21	714	15.9	4				
			鏡片	99	J21	422	1.3	4				
			鏡片	99	J21	432	1.4	4				
			鏡片	99	J21	435	1.7	4				
				99	J21	684	7.8	4				
			鏡片	99	J21	440	270.9	4				
			鏡片	99	J21	542	54.4	4				
				99	J21	547	194.8	4				
			鏡片	99	J21	561	4.6	4				
			鏡片	99	J21	575	10.4	4				
			鏡片	99	J21	589	7.8	4				
				99	J21	720	4.5	4				
			鏡片	99	J21	669	201.8	4				
一	319	405	探検調査石器				59	J21	650	150.3	3	
			鏡片				99	J21	862	43.9	4	
一	364	021	総合資料	100-103			3282.8	71	1/5	1103	4802	
			鏡片	100	K18	105	16.2	1				
				103	K18	1	7	21.2	1			
			鏡片	101	K18	178	3.6	1				
3-384	311	285	石斧	101	K19	126	15.5	1				
			石斧	101	L17	107	1.4	1				
			鏡片	101	L18	204	4.0	1				
				101	L18	214	6.4	1				
					L16	1	57	5.3	1			
			石斧	101	L18	252	2.7	1				
				101	L18	466	11.0	1				
				101	M18	366	1.2	1				
			縦長鏡片	101	L18	282	7.4	1				
				101	M18	389	7.3	1				
			石斧	101	L18	325	2.6	1				
				101	L18	331	5.2	1				
			石斧	101	L18	351	5.6	1				
			鏡片	101	L18	425	21.4	1				
			鏡片	101	L18	322	18.3	1				
一	329	007	石核				1.18	1	2	895.5	1	
			鏡片		L18	1	11	820.0	1			
				101	M18	1045	2.2	1				
				101	M19	1	41	16.0	1			
				101	M20	1	31	33.1	1			
			鏡片		L18	1	12	17.5	1			
			鏡片		L18	1	49	14.3	1			
				101	M18	1870	122.6	1				
			石斧		L18	1	32	1.4	1			
			鏡片		L18	1	54	40.7	1			
			鏡片		L18	1	35	7.9	1			
			鏡片		L16	1	56	5.9	1			
			鏡片		L18	0	51	1.9	1			

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	道筋等	SS	変換区	幅員	道幅	車道	車道幅	石質	母材%	積石%
			石積	101	L19	79	105.1	3				
					M18	E	48	2.1	1			
			側溝	101	L19	347	44.4	1				
			石積	101	M17	91	4.7	1				
			側溝	101	M18	132	176.9	1				
			側溝	101	M18	337	3.6	5				
			石積	101	M18	340	1.0	1				
			側溝	101	M18	517	10.6	1				
					M18	1338	2.2	1				
					M18	923	56.9	1				
-	325	476	石積	101	M18	372	73.8	3				
			側溝	101	M18	840	8.3	1				
					M18	923	79.4	1				
			石積	101	M18	892	2.4	1				
			石積	101	M18	939	7.9	1				
			石積	101	M18	1013	4.3	1				
			側溝	101	M18	1341	7.3	1				
			側溝	101	M18	1528	20.0	1				
			石積	101	M18	1724	5.9	1				
					M18	2549	12.1	1				
			側溝	101	M18	1868	12.2	1				
					M18	2348	3.6	1				
					M18	2483	4.6	1				
					M18	840	11.8	1				
			側溝	101	M18	2010	8.5	1				
					M18	2	21.2	1				
			側溝	101	M18	2032	23.4	1				
			側溝	101	M18	2143	3.8	1				
					M18	2342	8.8	1				
			側溝	101	M18	2328	7.5	3				
			石積	101	M18	2496	2.9	1				
			側溝	101	M18	1	44	10.0	1			
			石積	101	M19	446	1.7	1				
			側溝	101	M19	E	21	0.6	1			
			側溝	101	M18	306	0.0	1				
			側溝	101	M18	487	2.9	1				
			側溝	101	M18	812	2.3	1				
			石積	101	M18	864	10.0	1				
			側溝	101	M18	987	12.1	1				
					M18	1069	16.3	1				
-	394	522	総合資料	101			569.3	17	1	1151	4668	
			側溝		K18	1	3	40.8	1			
			側溝	101	K19	133	32.3	1				
					M19	1	28	11.4	1			
			側溝	101	L19	201	14.1	1				
					M18	1092	8.3	1				
管-17	298	47	両側調整石積	101	L18	420	290.8	1				
			側溝	101	L19	46	22.2	1				
					M18	527	13.6	1				
			側溝	101	L19	125	16.3	1				
			側溝	101	L19	280	14.0	1				
			側溝	101	L19	302	23.2	1				
			側溝	101	L19	319	4.1	1				
					L19	350	29.4	1				
					M18	815	2.1	1				
					M18	1190	16.5	1				
			側溝	101	L19	305	3.2	1				
					M18	327	15.0	1				
-	390	523	総合資料	97-98			1073.2	26	1+3	1063	4363	
			側溝	97	K22	411	76.4	1				
					L22	180	23.1	1				
					L22	1317	5.7	1				
					L22	2226	16.8	1				
			側溝	98	L21	108	5.8	1				
					M22	1816	4.4	1				
			側溝	97	L21	1	31	10.6	1			
					L22	1	267	12.5	1			
					L22	1	623	4.3	1			
					L22	1	1201	8.0	1			
			縦横溝	97	L22	2232	3.8	1				
			側溝	97	L22	2668	10.2	1				
					L22	2778	8.9	1				
			側溝	101	L22	1	181	20.9	1			
					L22	1	183	10.0	1			
					L22	1	186	11.7	1			
					M22	347	48.1	1				
			側溝	97	M21	333	6.3	1				
					M21	1000	368.0	5				
					M21	1063	33.7	1				
					M22	73	6.8	1				
					M22	376	4.0	1				
					M22	424	36.7	1				
					M22	1289	196.4	1				
-	319	402	両側調整石積	97	M22	1561	161.4	5				
			側溝	97	M22	1843	21.7	1				
-	363	524	総合資料	97			1633.3	20	1	966	4175	
			側溝	97	L22	626	20.5	1				
					L22	803	100.1	1				
					L22	1636	5.5	1				
					L22	2383	46.6	1				
					L22	1	310	51.2	1			
					M22	1363	28.8	1				
			側溝	97	L22	2039	18.8	1				
					L22	1	317	17.6	1			
			側溝	97	L22	2162	42.4	1				
					L22	2460	122.0	1				
			側溝	101	L22	1	305	85.2	1			
			側溝	101	L22	1	306	45.7	1			
					L22	1	316	44.6	1			
			側溝	101	L22	1	307	38.1	1			
			側溝	101	L22	1	311	29.5	1			
			側溝	101	L22	1	314	48.5	1			
			側溝	97	M21	184	16.1	1				
					M21	387	31.9	1				
					M22	1646	14.4	1				
			側溝	97	M22	42	8.8	1				
-	366	525	総合資料	101			140.8	21	1	1132	4601	
			側溝	101	L18	385	3.2	1				
			側溝	101	L18	430	3.1	1				
			側溝	101	L19	316	8.2	1				
					M19	774	4.3	1				
			側溝	101	L19	372	2.3	1				
					M17	74	11.8	1				
			側溝	101	M17	91	0.4	1				
					M18	1739	7.0	1				
			側溝	101	M18	2286	5.4	1				
			側溝	101	M18	2296	16.0	1				
			側溝	101	M18	2694	20.3	1				
					M18	2297	2.7	1				
					M18	2329	12.3	1				
					M18	2821	6.1	1				
			側溝	101	M19	138	1.9	1				
					M19	574	6.2	1				
			側溝	101	M19	494	1.6	1				
					M19	718	1.1	1				
			側溝	101	M19	701	5.2	1				
			側溝	101	M19	754	12.0	1				
					M19	263	5.7	1				
-	368	526	総合資料	97-99			432.6	22	1	963	4158	
管-24	303	117	側溝	97	H24	836	9.7	1				

種別	国産	番号	品類等	№	発掘区	種目	遺物番号	重量	容積	石質	埋没%	検出%
				97	J23		292	20.0	1			
			銅片		J24	1	10	79.1	0			
				97	J24	1	11	7.0	1			
				97	J23		1289	6.0	1			
				97	J23		2022	4.8	1			
				97	J24		2036	7.5	1			
			銅片		J24		290	14.2	1			
				97	J24		2932	11.2	1			
			銅片		J24	1	199	8.0	1			
					J24	1	281	6.0	0			
			銅片		J24	1	283	7.1	1			
				99	J21		228	140.0	0			
			銅片		J24		26	3.2	1			
			銅片		J24		517	4.1	1			
				97	J24		775	4.7	1			
				97	J24		1161	6.5	1			
			銅片		J24		892	8.4	1			
				97	J24		1061	4.2	1			
				99	J23		1333	28.2	0			
			銅片		J24	1	76	46.1	0			
一	266	027	総合資料	97			703.3	41	1	1064	OK3	
			銅片		J22		396	18.6	1			
					J22	1	281	3.9	1			
				97	J23		324	6.9	1			
			銅片		J22		396	12.2	1			
				J22	1	46	12.2	1				
				97	J23		312	6.9	0			
			銅片		J23		394	32.8	1			
				97	J23		2080	29.7	1			
				97	J22		22	9.5	1			
				97	J22		1411	3.2	1			
					J23-29		31	24.9	1			
			銅片		J23		3013	25.2	1			
				97	J22		1032	8.4	1			
					J22	1	294	13.3	1			
					J22	1	304	15.8	0			
				97	J23		2256	9.3	1			
			銅片		J23	1	48	19.8	1			
				97	J21		232	6.5	1			
			銅片		J21	1	36	19.7	1			
					J21-29		33	14.4	1			
			銅片		J21	1	49	9.4	1			
			銅片		J22		646	59.7	1			
			銅片		J22		1039	4.7	1			
				97	J22		1398	42.9	0			
					J23	1	6	21.5	1			
			銅片		J22		1090	11.9	1			
					J22	1	284	19.1	1			
				97	J23		803	32.9	1			
			銅片		J22		2014	2.5	1			
					J22	1	283	32.4	1			
				97	J23		915	11.5	1			
			銅片		J22	1	294	26.9	0			
					J22	1	285	11.2	1			
				97	J23		1464	6.6	1			
			銅片		J22	1	283	8.5	1			
				97	J23		274	8.7	1			
			銅片		J22	1	303	11.7	1			
				97	J23		113	3.1	1			
			銅片		J23		385	31.1	1			
				97	J23		491	15.0	1			
			銅片		J22		136	47.8	0			
一	267	028	総合資料	97			635.1	90	4	1058	OK6	
			銅片		J25	1	3	0.8	4			
				97	J23		454	11.7	4			
					J24	1	2	65.3	4			
			銅片		J23		962	15.3	4			
				97	J24		284	7.2	4			
				97	J24		251	2.6	4			
				97	J24		754	2.6	4			
					J24		265	7.6	4			
				97	J24		303	6.8	4			
				97	J24		661	1.2	4			
				97	J23		632	6.3	4			
					J24	1	23	2.0	4			
				97	J25		92	6.5	4			
					J24	1	283	7.6	4			
				97	J25		85	15.3	4			
				97	J25		330	39.2	4			
				97	J25		120	2.8	4			
				97	J24		1230	1.1	4			
					J25	1	19	0.2	4			
					J23		906	2.7	4			
				97	J23		966	2.2	4			
				97	J23		1035	33.1	4			
				97	J24		79	4.5	4			
				97	J24		92	1.1	4			
				97	J24		199	1.2	4			
				97	J24		436	4.0	4			
				97	J24		1412	19.3	4			
				97	J24		299	8.5	4			
				97	J24		984	4.2	4			
				97	J24		968	1.6	4			
				97	J24		1237	2.0	4			
				97	J24		576	1.0	4			
				97	J24		1037	8.2	4			
				97	J24		1647	24.7	4			
				97	J24		628	2.7	4			
				97	J24		635	3.1	4			
				97	J25		168	4.2	4			
				97	J24		668	2.5	4			
				97	J24		1128	28.5	4			
				97	J24		1222	9.3	4			
				97	J24		1146	1.8	4			
					J24	1	285	0.9	4			
				97	J24		1148	4.3	4			
				97	J24		1224	6.3	4			
					J25	1	69	8.8	4			
				97	J24		1228	7.5	4			
				97	J24		1491	2.1	4			
				97	J25		9	3.7	4			
				97	J25		396	1.1	4			
				97	J25		143	1.4	4			
				97	J25		130	2.6	4			
				97	J25		308	1.4	4			
				97	J25		296	2.9	4			
				97	J20		209	7.2	4			
					J25	1	67	7.6	4			
				97	J25		304	0.5	4			
				97	J25		282	2.7	4			
				97	J24		293	4.3	4			
				97	J24		295	19.9	4			
				97	J24		659	3.3	4			
				97	J24		1607	1.7	4			
				97	J25		338	5.7	4			
				97	J24		1281	19.0	4			
				97	J25		265	0.5	4			
				97	J25	1	66	9.9	4			
				97	J25	1	66	4.7	4			

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	道幅等	SS	変換尺	単位	道幅等	重量	変換尺	石量	母材%	割合%
			側溝	97	J24		1287	5.6	4			
			側溝		J25	I	79	8.4	4			
			側溝	97	J25		121	5.1	4			
			側溝		J25	I	71	8.8	4			
			側溝		J24	I	286	3.9	4			
			側溝		J25	I	72	3.2	4			
第-215	297	39	瓦葺屋根付	97	J23		537	33.0	4			
				97	J24		448	16.1	4			
			側溝	97	J24		318	3.0	4			
			側溝	97	J24		328	6.7	4			
			側溝	97	J24		1286	4.0	4			
			側溝	97	J24	I	284	6.6	4			
			側溝	97	J24		398	5.9	4			
			側溝	97	J24		830	2.5	4			
			側溝	97	J24		933	13.9	4			
			側溝	97	J24		544	39.9	4			
			側溝	97	J24		1998	1.1	4			
			側溝	97	J24		1288	2.8	4			
			側溝	97	J24		1382	16.7	4			
			側溝	97	J24		1413	2.9	4			
			側溝	97	J24		1571	3.4	4			
			側溝	97	J24		1790	2.2	4			
			側溝	97	J24	I	285	3.2	4			
			側溝	97	J25		36	10.6	4			
-	302	329	複合資料	97-99			330.9	22	1	977	430	
			石段	99	J22		438	4.9	1			
			石段	99	J22		191	3.7	1			
			石段	99	J22		165	3.4	1			
			石段	99	J22		247	19.3	1			
			石段	97	J24		865	22.1	1			
第-488	311	282	石段	97	J24		795	37.6	1			
			石段	97	J24		895	90.7	1			
			石段	97	J24		1098	16.4	1			
			石段	99	J22		29	16.4	1			
			石段	99	J22		23	6.2	1			
			側溝	97	J22	I	42	6.4	1			
			側溝	99	J22		89	4.3	1			
			側溝	97	J22	I	28	20.6	1			
			石段	99	J22		86	21.5	1			
			石段	99	K21		342	31.1	1			
			側溝		J22	I	27	14.0	1			
			側溝		J22	I	40	7.3	1			
			側溝	99	K21		332	1.3	1			
			側溝	99	K21		334	2.8	1			
			石段		J22	I	41	6.0	1			
			石段	97	J24		177	14.0	1			
			側溝	97	K23		4035	20.9	1			
-	308	330	複合資料	96-97			9623.4	19	1	1015	4286	
			側溝	97	J24		51	279.7	1			
			側溝	97	K24		1980	7.4	1			
			側溝		K24	I	47	7.1	1			
			側溝		J24	I	38	133.2	1			
第-489	313	306	石段橋	97	K23		4031	9666.0	1			
			縦溝側溝	97	K24		169	4.7	1			
			側溝		K24	I	48	42.1	1			
			側溝	97	K24		287	73.5	1			
			側溝	96	K24		1712	4.6	1			
			側溝	97	K24		2342	11.2	1			
			側溝	97	J23		1345	503.1	1			
			縦溝側溝	97	K24		688	16.3	1			
			側溝		K24	I	43	53.0	1			
			縦溝側溝	97	K24		1312	16.0	1			
			側溝	97	K24		1243	66.5	1			
			二次加工木橋脚	97	K24		1679	936.2	1			
			側溝		K24	I	46	496.1	1			

線別	区別	番号	道幅等	SS	変換尺	単位	道幅等	重量	変換尺	石量	母材%	割合%
			縦溝側溝		K24	I	60	9.1	1			
			縦溝側溝		K22-I-29		14	301.1	1			
-	309	331	複合資料	101			1130.1	23	1	1106	4656	
-	320	419	側溝	101	K18		7	5.2	1			
			側溝	101	K18		133	19.0	1			
			側溝	101	K19		176	45.4	1			
			石段	101	L17		25	4.8	1			
			側溝	101	L18		272	5.1	1			
			縦溝側溝		L18	I	69	45.1	1			
			側溝	101	M18		254	10.9	1			
			側溝	101	M18		170	25.8	1			
-	322	435	奇形石橋	101	L19		386	15.4	1			
			側溝	101	M18		2311	41.9	1			
			側溝	101	L19		566	6.0	1			
			石段	101	M18		63	11.7	1			
			側溝	101	M18		430	1.6	1			
			石段	101	M18		947	37.0	1			
			側溝	101	M18		1494	3.7	1			
			側溝	101	M18		2586	10.6	1			
-	327	492	石橋	101	M18		1384	62.1	1			
			側溝	101	M18		44	22	1			
			側溝	101	M19		229	306.0	1			
			側溝	101	M19		499	7.2	1			
			側溝	101	M19		719	110.4	1			
			二次加工木橋脚	101	N17		41	136.9	1			
			側溝	101	N18		1139	0.9	1			
-	308	332	複合資料	101			1358.6	29	1	1140	4620	
			側溝	101	L18		163	3.9	1			
			側溝	101	M18		907	127.0	1			
			側溝	101	L18		417	4.6	1			
-	325	474	石段橋	L18	I	6	119.1	1				
			石段	L18	I	30	24.6	1				
			石段	101	L19		275	73.4	1			
			側溝	101	M19		521	9.6	1			
			縦溝側溝	101	L19		377	12.2	1			
			二次加工木橋脚	101	L19		389	98.1	1			
			側溝		L19	I	17	41.9	1			
			側溝	101	M18		183	11.7	1			
			側溝	101	M18		1728	6.7	1			
			側溝	101	M18		2286	80.2	1			
			側溝	101	M18		1312	8.8	1			
			側溝	101	M18		1485	24.3	1			
			側溝	101	M18		1695	10.5	1			
			側溝	101	M18		1662	16.4	1			
			側溝	101	M18		2097	26.4	1			
			側溝	101	M18		1474	6.4	1			
			側溝		K21-3		8	123.0	1			
			側溝	101	M18		2111	9.2	1			
			側溝	101	N18		309	208.4	1			
			側溝	101	M18		2112	133.4	1			
			側溝	101	M18		2486	7.4	1			
			側溝	101	M18		2561	10.2	1			
			側溝		M18	I	45	51.9	1			
			側溝	101	M19		242	220.8	1			
			側溝	101	N18		81	8.8	1			
			側溝	101	N18		1135	2.7	1			
-	370	333	複合資料	100-101			962.0	12	1	1009	4239	
			側溝	100	J19		30	3.1	1			
第-286	304	161	橋脚	100	K19		7	29.4	1			
			側溝	100	K19		350	102.8	1			
第-303	302	107	橋脚	K21	I	1	18.0	1				
			側溝	101	L19		497	3.2	1			
			側溝	101	L19		498	3.1	1			
			石段	97	L23							

探出	探出番号	遺物番号	品名	探出日	探出場所	重量	容積	石量	埋没率	検出率			
B-302	305	185	銅片	97	M21	191	26.2	1					
			銅器	98	M21	695	26.1	1					
			赤銅土系土器片	97	M22	329	23.9	1					
			石核	97	F21	103	13.0	1					
			銅片	97	G23	22	5.4	1					
			石片	97	G23	112	2.0	1					
			銅片	97	G23	130	6.5	1					
			石片	97	H22	21	1.0	1					
			銅片	97	H22	258	7.9	1					
			銅片	97	H22	98	2.5	1					
			銅片	97	H23	668	4.4	1					
			銅片	97	H23	14	73.2	1					
銅片	97	H23	17	4.8	1								
B-302	302	109	銅片	97	H23	161	2.0	1					
			銅片	97	H23	426	6.5	1					
			銅片	97	H23	865	1.6	1					
			銅片	97	H23	888	2.1	1					
			銅片	97	H23	890	135.5	1					
			銅片	97	H23	892	1.9	1					
			銅片	97	H23	950	99.8	1					
			銅片	97	H23	952	2.9	1					
			銅片	97	H23	960	63.3	1					
			銅片	97	I22	73	329.3	1					
			銅器	97	I24	465	16.4	1					
			銅片	97	I24	509	4.5	1					
銅片	97	I24	748	3.1	1								
銅片	97	I24	762	26.7	1								
銅片	97	I24	969	25.5	1								
B-302	325	総合資料	銅片	96-97		962.1	68	1	962	4238			
			銅片		H23	1	7	398.6	1				
			銅片	97	I24	751	9.0	1					
			銅片	97	J24	34	37.8	1					
			銅片	97	J24	286	7.8	1					
			銅片	97	J24	394	2.3	1					
			銅片	97	J24	1	95	18.8	1				
			銅片	97	K24	669	6.6	1					
			銅片	1.22	1	226	96.0	1					
			銅片	J24	1	198	38.0	1					
			銅片	J24	1	225	12.3	1					
			銅片	J24	1	232	19.5	1					
銅片	J24	1	234	19.3	1								
銅片	J24	1	235	3.8	1								
銅片	J24	1	236	3.7	1								
銅片	J24	1	237	2.9	1								
銅片	J24	1	238	4.7	1								
銅片	K23	1	93	6.3	1								
銅片	97	K24	127	21.7	1								
銅片	97	K24	128	18.6	1								
銅片	96	K24	367	1.7	1								
銅片	97	K24	689	2.1	1								
銅片	97	K24	790	8.9	1								
銅片	97	K24	832	7.6	1								
銅片	97	K24	857	10.3	1								
銅片	97	K24	906	122.4	1								
銅片	97	K24	991	16.6	1								
銅片	97	K24	1022	7.5	1								
銅片	97	K24	1299	17.2	1								
銅片	97	K24	1306	4.4	1								
銅片	97	K24	1339	10.4	1								
石片	97	K24	1351	20.3	1								
銅片	97	K24	1630	8.8	1								
銅片	97	K24	1786	4.0	1								
銅片	97	K24	1995	26.3	1								
銅片	97	K24	1997	6.9	1								
B-401	312	302	銅片	97	I24	225	273.8	1					
			銅片	97	J24	338	4.7	1					
			石片	97	J24	394	12.9	1					
			銅片	97	L23	1300	2.9	1					
			銅片	97	J24	788	5.4	1					
			銅片	97	L23	441	22.7	1					
			銅片	97	J24	792	3.7	1					
			銅片	J24	1	382	11.6	1					
			銅片	J24	1	397	3.1	1					
			銅片	97	J24	1152	12.3	1					
			銅片	J24	1	136	47.6	1					
			銅片	J24	1	165	24.6	1					
石片	J24	1	284	18.5	1								
銅片	97	L23	1778	7.6	1								
銅片	J24	1	226	43.5	1								
銅片	97	K23	2776	5.3	1								
銅片	101	K19	302	34.2	1								
石片	97	K23	1845	6.2	1								
銅片	97	K23	2377	8.9	1								
石片	97	K23	2502	5.8	1								
B-401	312	298	石片	97	K23	2733	12.2	1					
			銅片	97	K23	4042	10.6	1					
			銅片	97	K23	4158	7.1	1					
			銅片	97	K23	4171	13.5	1					
			銅片	97	K24	2490	14.7	1					
			銅片	97	L23	1275	84.2	1					
			銅片	97	L23	1472	3.0	1					
			B-303	303	111	銅器	98	M21	93	23.3	1		
						銅片	101	K19	1	6	1.6	1	
						銅片	101	K19	122	3.2	1		
						銅片	K19	1	8	3.7	1		
						銅片	M19	1	38	12.5	1		
銅片	K19	1				8	11.0	1					
銅片	101	L17				48	7.2	1					
銅片	101	L17				5	1.0	1					
銅片	101	M16				608	99.9	1					
石片	101	L18				130	6.4	1					
石片	101	L18				138	6.6	1					
銅片	101	M16				2568	42.4	1					
銅片	101	L18	217	1.6	1								
銅片	101	L18	336	3.1	1								
銅片	101	L18	363	3.7	1								
銅片	101	M19	534	8.3	1								
銅片	101	L18	438	6.7	1								
銅片	L18	1	48	19.8	1								
石片	101	L18	495	84.1	1								
石片	101	L18	515	6.6	1								
B-401	315	321	石片核	L18	1	7	97.6	1					
			銅片	L18	1	59	15.4	1					
B-401	316	325	石核	101	L19	141	96.0	1					

上白滝8道跡(2)

線区	区画	番号	地種等	SS	変換尺	幅尺	道幅等	重量	変換尺	石量	坪打%	延尺%
			石段	101	M19	221	19.4	1				
				101	M18	688	9.7	1				
			縦長調子	101	M18	386	5.9	1				
				101	M18	723	5.3	1				
			調子	101	M18	738	2.8	1				
			調子	101	M18	818	86.3	1				
			調子	101	M18	897	7.3	1				
			縦長調子	101	M18	1779	4.1	1				
			調子	101	M18	2392	5.4	1				
			調子	101	M18	2138	5.5	1				
			二次加工木石調子	101	M18	2237	19.3	1				
					M18	1	36	17.1	1			
			調子		M18	1	37	42.9	1			
					M18	8	49	0.6	1			
			石段	101	M19	861	4.9	1				
			調子	101	M19	1	17	5.9	1			
				101	M17	72	234.7	1				
			縦長調子	101	M19	1	25	11.6	1			
			縦長調子	101	M18	28	1.2	1				
			調子	101	M18	1187	17.3	1				
			調子	101	M18	1	22	1.1	1			
-	322	538	複合資料	101			245.9	26	4	1187	4743	
			調子	101	K18	2	28.2	4				
-	327	493	石段	101	L17	32	40.1	4				
			調子	1	L18	1	39	23.6	4			
			調子	101	M18	390	1.5	4				
			石段	101	M18	432	5.0	4				
				101	M18	439	5.7	4				
			調子	101	M18	521	2.4	4				
			調子	101	M18	905	3.6	4				
			調子	101	M18	918	2.3	4				
				101	M18	119	11.5	4				
			調子	101	M18	1133	3.6	4				
			石段	101	M18	1480	26.4	4				
				101	M19	165	5.4	4				
			石段	101	M18	1583	11.2	4				
			石段	101	M18	1786	19.9	4				
			調子	101	M18	1827	1.9	4				
				101	O19	18	5.2	4				
			調子	101	M18	2380	5.2	4				
			縦長調子	101	M18	2396	14.8	4				
			調子	101	M19	142	2.3	4				
			調子	101	M18	536	3.7	4				
			調子	101	M18	1051	5.4	4				
			調子	101	M18	1391	8.7	4				
			調子	101	M19	6	9.1	4				
					M20	1	7.9	4				
			石段	101	O19	36	2.3	4				
-	372	539	複合資料	85-98調			2030.0	90	1	984	4283	
			調子	99	L26	7	241.8	1				
					L21	1	35	8.3	1			
			縦長調子	100	J20	60	46.2	1				
			調子		J21	1	18	42.6	1			
					L22	2556	7.0	1				
			縦長調子		J21	1	19	45.5	1			
					L21	1	282	5.6	1			
					L22	1	206	54.3	1			
			調子	100	K20	244	14.3	1				
			調子	100	K21	38	13.0	1				
			調子	97	K22	534	14.2	1				
				97	M21	118	10.0	1				
			調子		K23	1	38	8.6	1			
			調子		L20	1	6	21.2	1			
			調子	97	L21	130	28.2	1				
				97	M22	825	20.0	1				

線区	区画	番号	地種等	SS	変換尺	幅尺	道幅等	重量	変換尺	石量	坪打%	延尺%
			調子	97	L21	372	26.7	1				
					L22	1	195	2.7	1			
					L21	1	30	7.2	1			
					L22	1247	56.1	1				
			調子	97	L22	242	6.7	1				
					L22	1571	7.7	1				
					L22	375	3.4	1				
			調子	97	L22	792	17.7	1				
					M22	1102	45.0	1				
-	323	442	身振形石段	97	L22	779	78.2	1				
					L22	2298	7.7	1				
			調子	97	L22	855	58.6	1				
					L22	1985	4.0	1				
					L22	2083	28.2	1				
					L22	1	209	4.1	1			
					M22	252	25.5	1				
					M22	751	8.9	1				
			調子	97	L22	1746	7.5	1				
			調子	97	L22	1055	2.3	1				
					M21	901	50.8	1				
			調子	97	L22	2259	24.3	1				
			調子	97	L22	2536	57.1	1				
-	321	431	身振形石段	L22	1	13	106.6	1				
					M21	748	49.7	1				
			縦長調子	L22	1	204	15.5	1				
			石段	L22	1	237	22.0	1				
					L22	1	243	25.0	1			
			調子	L22	1	238	3.8	1				
			縦長調子	97	L23	983	5.5	1				
				98	M00	17	101.5	1				
				98	M00	63	73.0	1				
				97	M22	385	7.8	1				
				97	M22	1182	148.4	1				
			調子	97	M21	229	4.6	1				
			調子	97	M21	390	11.0	1				
			調子	97	M21	372	4.9	1				
			調子	97	M21	980	21.4	1				
			調子	97	M22	198	4.6	1				
			調子	97	M22	1219	62.0	1				
			調子	97	M22	1223	12.9	1				
			縦長調子	97	M22	1262	24.0	1				
			調子	97	M22	1362	108.8	1				
			調子	97	N21	202	20.4	1				
			調子	87-9		16	83.0	1				
-	323	540	複合資料	97-98			1193.5	11	1-5	1136	4820	
			調子	98	L21	382	386.2	1				
					J21	1	23	96.1	1			
-	320	414	調路	J23	1	3	45.1	1				
-	327	496	石段	99	K21	229	251.1	1				
			調子	99	K21	370	352.3	1				
					K23	4251	40.3	1				
			調子	97	K23	161	15.2	1				
			調子	97	K23	2918	56.1	1				
					K23	2298	12.4	1				
			調子	97	K23	3660	22.3	1				
			調子	97	L22	77	18.4	5				
-	323	543	複合資料	97-101			1890.9	27	1	989	4236	
-	325	481	石段	101	K19	283	361.0	1				
			調子	97	K22	264	194.8	1				
			調子	97	K23	1	84	41.1	1			
			調子	97	L21	161	32.0	1				
			調子	97	L21	170	469.1	1				
			調子	L21	1	42	8.3	1				
			調子	L21	1	43	108.7	1				
			調子	L21	1	30	16.0	1				

品目	国産	番号	品名等	№	品類	種別	遺物番号	重量	容積	石質	埋27%	埋5%
			鏡片	97	L.22		119	86.6		1		
香燭	309	257	舟形形石器	97	L.22		324	35.4		0		
			鏡片	97	L.22		396	29.9		1		
					L.22	1	381	19.1		1		
			鏡片	97	L.22		1390	16.1		1		
			鏡片	97	L.22		1722	79.2		1		
			鏡片	97	L.22		1864	7.2		1		
			鏡片	97	L.22		2071	71.5		1		
			鏡片	97	L.22		2285	9.3		1		
			鏡片	97	L.22		2221	9.6		1		
			鏡片		L.22	1	313	31.9		0		
					L.22	1	324	96.1		1		
			鏡片		L.22	1	400	149.3		0		
			鏡片		L.22	1	403	72.0		1		
			鏡片		L.22	1	406	18.5		1		
			鏡片		L.23	1	8	8.7		1		
			鏡片	97	M22		400	6.1		1		
			鏡片鏡片	97	M22		1059	48.0		1		
			鏡片鏡片		M23	1	5	15.3		1		
-	374	342	複合資料	101-106			6098.0	128	0	1149	4669	
			鏡片		K18	1	4	43.9		1		
					L16	1	14	8.7		1		
			鏡片		K16	1	5	233.9		1		
					K17	1	10	19.5		1		
			106		L17	1	98.1		1			
					M17	1	4	25.6		1		
			106		N17	1	22	2.2		1		
			鏡片		K16	1	6	6.7		0		
			鏡片		K18	1	8	20.4		1		
					L16	1	10	9.2		1		
			106		M16	14	23.9		1			
			106		M16	22	22.0		1			
			106		M17	123	4.1		1			
			106		N17	20	29.7		1			
			鏡片		L16	1	9	10.5		1		
					L16	1	11	8.4		1		
					L16	1	12	39.4		0		
			鏡片鏡片		L13	1	3	108.4		1		
					L16	1	27	63.7		1		
			鏡片		L16	1	45	6.6		1		
			106		L17	34	34.2		1			
					N17	1	7	27.2		1		
			鏡片鏡片		L16	1	3	72.6		1		
			鏡片		L16	1	4	80.6		1		
			106		M16	48	3.9		1			
			106		M17	107	65.6		0			
			鏡片		L16	1	5	136.0		1		
			106		M16	34	108.3		1			
			106		M17	20	5.1		1			
			鏡片		L16	1	6	213.7		1		
			106		M16	72	228.7		1			
					M28	1	34	43.7		1		
			鏡片		L16	1	9	13.0		1		
			鏡片		L16	1	13	116.5		0		
			106		M16	41	84.2		0			
			鏡片		L17	3	32.5		1			
			106		L17	20	4.3		1			
			106		L17	22	6.2		1			
			106		L17	23	230.7		1			
			101		L17	81	3.6		1			
			106		M16	50	7.7		1			
			106		M16	80	24.3		1			
					M28	1	10	27.7		0		
			鏡片		L17	4	133.3		1			
					L17	1	11	96.1		1		

品目	国産	番号	品名等	№	品類	種別	遺物番号	重量	容積	石質	埋27%	埋5%
					M16	1	10	2.0		1		
					M17	1	8	2.7		1		
					N17	1	2	19.2		1		
			鏡片		L17	6	271.3		1			
					M16	397	9.2		1			
			鏡片		L17	7	5.0		1			
					L17	1	8	149.5		1		
			鏡片		L17	21	58.4		1			
					L17	21	14.4		1			
					L17	1	7	8.0		1		
					L17	1	14	104.6		1		
					L17	1	15	3.9		1		
					M17	87	2.1		1			
			鏡片		L17	126	6.8		1			
			鏡片		L17	1	9	112.8		1		
			鏡片鏡片		L17	1	10	234.0		1		
					M17	82	15.6		1			
			鏡片		L17	1	12	34.4		1		
			鏡片		L17	1	13	343.8		1		
					M16	58	6.0		1			
					N17	7	41.5		1			
			鏡片		L17	1	16	24.3		1		
					N17	86	22.3		1			
			鏡片		L17	1	18	13.2		1		
			鏡片		L17	1	19	7.7		1		
			鏡片		M16	117	56.3		1			
			鏡片		M16	23	6.3		1			
			鏡部		M16	20	61.6		1			
			鏡片		M16	31	18.4		1			
-	325	485	石刃核	106	M16	47	263.3		1			
			鏡片		M16	1	5	90.1		1		
					M17	1	3	69.3		1		
			鏡片		M16	1	6	6.8		1		
			鏡片		M16	1	7	1.9		1		
			鏡片		M16	1	8	67.7		1		
					M17	63	2.7		1			
			鏡片		M16	1	9	28.6		1		
					M16	1	10	3.5		1		
					M16	1	11	6.3		1		
			鏡片鏡片		M16	1	13	14.9		1		
			鏡片		M16	1	15	12.5		1		
			鏡片		M17	11	14.3		1			
			鏡片鏡片		M17	16	61.4		1			
					M17	26	5.2		1			
					N17	9	25.6		1			
			鏡片		M17	18	21.3		1			
			鏡片		M17	41	46.2		1			
					M17	99	58.2		1			
					M17	1	7	3.2		1		
					N17	1	3	42.4		1		
			鏡片		M17	60	13.6		1			
					M17	1	10	6.1		1		
					N17	1	9	13.0		1		
			鏡片		M17	64	18.6		1			
			鏡片鏡片		M17	103	2.5		1			
					M17	124	28.9		1			
					M17	1	11	3.3		1		
			鏡片		M17	104	8.1		1			
					M17	1	8	6.7		1		
					N17	83	47.1		1			
					N17	1	5	13.2		1		
					N17	1	8	9.2		1		
			鏡片鏡片		M17	109	8.0		1			
					N17	1	1	55.9		1		
			鏡片		M17	1	2	113.6		1		

上白滝8道跡(2)

線区	区画	番号	道路種別	SS	交差点	幅員	道路番号	車線	車道幅員	石段	歩道幅員	割合%
			側溝		S412	1	0	0.0	1			
			縦溝側溝		S417	1	9	8.8	1			
					106	S116	54	5.4	1			
					106	S116	56	2.0	1			
			側溝		106	S116	22	80.6	1			
			縦溝側溝		106	S116	25	118.2	1			
			縦溝側溝		106	S116	39	39.9	1			
					106	S116	42	20.7	1			
			縦溝側溝		106	S116	52	91.2	1			
			縦溝側溝		106	S116	76	52.1	1			
			縦溝側溝		106	S117	3	8.4	1			
			縦溝側溝		106	S117	12	22.2	1			
			側溝		106	S117	17	3.8	1			
			側溝		106	S117	19	28.2	1			
			側溝		106	S117	21	80.4	1			
			縦溝側溝		106	S117	28	11.3	1			
			縦溝側溝		S117	1	4	8.4	1			
			側溝		S112	1	6	23.8	1			
--	325	543	複合資料	102				2584.0	28	3-4	1188	4682
			側溝		102	H18	3	0.7	3			
					102	H18	239	0.9	3			
			側溝		102	H18	10	3.8	3			
					102	H18	38	1.9	3			
			側溝		102	H18	13	2.8	3			
					102	H18	1	5	29.4	4		
					102	H18	1	6	2.6	4		
			側溝		102	H18	19	2.5	3			
			側溝		102	H18	79	88.7	3			
					102	H18	227	8.2	3			
					102	H18	206	16.5	3			
			側溝		102	H18	119	12.6	3			
			側溝		102	H19	4	8.4	4			
			側溝		102	H19	73	14.2	4			
			側溝		102	H18	51	1.7	3			
					102	H18	96	15.1	3			
					102	H18	178	17.2	3			
警備区	318	328	石段		102	H18	67	8837.0	3			
			側溝		102	H18	93	2.5	3			
			側溝		102	H18	127	2.8	3			
			側溝		102	H18	252	17.6	3			
			側溝		102	H19	3	76.0	4			
			側溝		102	H19	107	10.1	4			
			側溝		102	H19	136	5.7	4			
			側溝		102	H19	188	44.4	4			
			側溝		102	H19	233	21.6	4			
--	325	544	複合資料	102				1119.2	28	1-3	1143	4621
			側溝		102	H18	24	0.7	1			
			側溝		102	H18	61	16.5	1			
					102	H18	71	0.4	1			
			側溝		102	H18	68	68.6	5			
					102	H18	138	2.0	1			
					102	H18	148	8.9	1			
					102	H18	214	4.3	1			
					102	H19	133	11.3	5			
			側溝		102	H18	91	5.5	1			
					102	H18	105	146.4	5			
					102	H18	137	34.1	5			
					102	H18	323	7.1	5			
			側溝		102	H18	43	4.1	5			
			側溝		102	H18	90	11.8	5			
					102	H18	183	2.7	1			
					102	H18	189	4.6	1			
					102	H18	219	5.9	1			
--	328	500	石段		102	H18	68	8335.6	3			
			側溝		102	H18	185	38.2	5			

線区	区画	番号	道路種別	SS	交差点	幅員	道路番号	車線	車道幅員	石段	歩道幅員	割合%	
--	328	545	複合資料	97					2064.3	88	1-3	1047	4387
			側溝		97	K22	37	6.7	1				
					97	K22	232	5.4	1				
					97	K22	268	20.5	1				
					L22	1	244	9.4	1				
					L22	1	243	10.9	1				
			側溝		97	K22	352	4.3	1				
			側溝		97	K22	377	26.6	5				
					K22	1	20	7.8	1				
					K22	1	21	1.9	1				
					L21	1	169	15.0	1				
					L22	1	249	17.2	1				
			側溝		97	L21	528	11.0	1				
警備区	307	233	垂直型石段		L21	1	2	34.8	5				
					M22	1	1900	43.3	5				
			側溝		L21	1	17	125.1	1				
					L22	1	563	14.5	1				
					L22	2	257	2.2	1				
			垂直型石段		L22	1	84	32.3	1				
			側溝		L22	1	182	17.8	5				
					L22	1	111	44.9	5				
					M22	1	862	37.0	5				
			側溝		L22	2	258	57.9	1				
					L22	1	499	8.3	1				
					L22	1	3213	42.3	1				
			側溝		L22	2	269	2.0	1				
--	328	467	石段		L22	1	284	10.7	1				
					M21	1	326	98.6	1				
					M22	1	1197	123.3	1				
			側溝		L22	3	333	2.6	1				
					L22	1	253	40.0	1				
			側溝		L22	1	602	8.6	1				
					L22	1	182	26.0	1				
--	321	433	垂直型石段		L22	1	660	128.3	1				
					L22	1	254	2.0	1				
					M22	1	873	28.7	1				
			側溝		L22	1	780	8.0	1				
					L22	1	890	306.0	1				
					M19	1	20	884.4	1				
			側溝		L22	1	1331	6.8	1				
			側溝		L22	1	1852	45.4	5				
					L22	1	2139	93.2	1				
					L22	1	247	12.0	1				
			側溝		L22	2	2232	2.3	1				
			側溝		L22	2	2323	9.2	1				
					L22	1	2845	13.7	1				
					L22	1	2823	15.3	1				
					L22	1	248	10.8	1				
			側溝		L22	1	2527	21.6	1				
					M22	1	187	87.6	1				
			側溝		L22	1	183	28.1	1				
			側溝		L22	1	181	83.6	1				
					M22	1	428	261.5	1				
			側溝		L22	1	241	18.1	1				
					L23	1	3	33.6	1				
					N21	1	6	116.2	1				
			側溝		L22	1	242	109.9	1				
					L22	1	250	82.3	1				
			側溝		L22	1	252	22.6	1				
					M21	1	624	1.3	1				
			側溝		L22	1	256	9.3	1				
			側溝		L22	1	259	12.9	1				
			側溝		L23	1	1438	25.2	1				
					M21	1	901	181.0	1				

探出	探出	番号	品名等	№	発掘日	埋没深度	重量	容積	石質	埋没%	埋没%
				97	M22	1772	36.7		1		
			赤褐色石器	97	L23	1698	18.5	0			
			鏡片	97	M21	484	18.8	1			
			二次加工本糸鏡片	97	M22	444	19.4	1			
			鏡片	97	M22	1471	3.6	1			
			鏡片	97	M22	1948	11.5	1			
一	317	546	綜合資料	中身不明		2393.9	08	1-3	1122	4368	
			鏡片		G24	1	12	47.1	0		
					G24	1	13	5.2	0		
			鏡片	97	H23	114	284.0	0			
				97	J24	1261	2.8	0			
			鏡片鏡片	97	H23	469	18.6	0			
			鏡片	97	H23	891	331.9	0			
			鏡片	97	H25	34	9.0	0			
			鏡片鏡片	102	I18	187	3.6	0			
一	320	413	数種	99	I21	504	7.6	1			
			鏡片鏡片	97	I23	996	9.8	0			
			鏡片	97	I24	190	3.8	0			
				97	J24	228	10.4	0			
			鏡片	97	J24	316	28.7	0			
				I25	1	62	26.8	0			
			鏡片鏡片	I25	1	80	72.3	0			
B-30	305	175	鏡形石器	100	J19	432	14.0	0			
			鏡片	97	J23	1131	137.3	0			
				97	J24	1238	31.4	0			
			鏡片	J25	1	37	2.4	0			
			石片	97	J24	752	3.4	0			
				97	L23	600	2.4	0			
			鏡片	97	J24	841	6.0	0			
				97	J24	1456	4.8	0			
			鏡片	97	J24	1231	28.0	0			
			鏡片	97	J25	70	16.9	0			
			鏡片	97	K23	300	19.7	0			
			鏡片	97	K25	1177	8.9	0			
			鏡片	97	K25	2592	15.3	0			
			石片	97	K25	2848	21.9	0			
			鏡片	97	K25	2598	2.9	0			
			石片	97	K25	2560	14.7	0			
				97	L23	1061	4.4	0			
			鏡片	97	K25	3030	177.5	0			
			鏡片		K25	1	105	3.8	0		
			鏡片		K25	1	107	28.9	1		
			鏡片	97	L22	2023	4.2	1			
			石片	97	L23	22	3.1	0			
				97	L23	227	12.7	0			
			鏡片	97	L23	136	2.5	0			
			鏡片	97	L23	229	13.4	0			
			鏡片鏡片	97	L23	522	1.4	0			
				97	L23	1151	3.4	0			
			鏡片	97	L23	600	13.1	0			
			石片	97	L23	791	3.6	0			
			鏡片	97	L23	703	1.7	0			
			鏡片	97	L23	836	2.9	0			
			鏡片鏡片	97	L23	914	6.8	0			
				97	L23	3035	0.1	0			
			石片	97	L23	1107	10.6	0			
			鏡片	97	L23	1263	13.0	0			
			鏡片	97	L23	1361	7.9	1			
				97	L23	1318	5.2	0			
B-40	314	300	石片種	97	L23	1740	437.7	0			
			鏡片		L23	1	10	10.3	0		
			赤褐色石器	中身	30	77.9	0				
			鏡片	中身	40	67.7	0				
				中身	42	5.7	0				
				中身	42	0.6	0				

探出	探出	番号	品名等	№	発掘日	埋没深度	重量	容積	石質	埋没%	埋没%
一	318	547	綜合資料	97			3635.5	27	1	394	4248
			鏡片	97	J24	120	24.3	1			
			二次加工本糸鏡片	97	J24	190	21.2	1			
				97	K23	2209	116.3	1			
			鏡片	97	J24	909	43.8	1			
			鏡片	J24	1	222	196.9	1			
			鏡片	J24	1	251	95.1	0			
			鏡片	J24	1	226	48.9	1			
				97	K23	3229	33.4	1			
				中身	33	183.0	1				
			鏡片	J24	1	228	136.6	1			
				J24	1	229	28.4	1			
			鏡片	J24	1	230	299.8	1			
			鏡片鏡片	J24	1	232	12.8	1			
			鏡片	J24	1	233	8.7	1			
			鏡片	J24	1	249	49.6	1			
				97	K23	2537	127.7	1			
			鏡片鏡片	97	K23	1740	14.2	1			
			鏡片	97	K23	2170	34.9	1			
				97	K23	3038	141.3	1			
			鏡片	97	K23	2290	344.4	1			
			鏡片鏡片	97	K23	2365	17.7	1			
			鏡片	97	K23	2390	28.7	1			
			鏡片	K23	1	49	656.1	1			
				97	L23	424	60.5	1			
			鏡片	97	K24	712	332.6	1			
			鏡片鏡片	K24	1	62	55.1	1			
一	324	473	石片種	97	L23	1348	265.0	1			
一	328	548	綜合資料	97			1465.2	114	1-3-4	1063	4401
			二次加工本糸鏡片	G23	1	13	5.2	4			
				G23	1	14	37.0	4			
				97	H23	178	8.8	3			
				97	H24	323	3.8	3			
			鏡片	97	G24	12	2.6	4			
			石片	97	G24	19	3.2	4			
			鏡片	97	G24	23	7.3	4			
				97	H24	732	1.2	4			
			鏡片	97	G24	35	0.8	4			
			鏡片	97	G24	41	0.8	4			
				97	H24	20	5.3	4			
				97	H24	229	1.4	4			
				97	I25	219	3.6	4			
			鏡片	97	G24	47	4.9	4			
				97	H24	309	6.8	4			
			鏡片	97	G24	48	6.8	3			
				97	H24	734	0.7	3			
				97	I23	417	1.1	3			
			鏡片	97	G24	53	1.2	3			
			鏡片	97	G24	54	3.6	4			
				97	H23	861	119.3	4			
				97	H23	619	1.9	3			
				97	H23	794	32.9	4			
				H23	1	10	16.8	4			
				97	H24	116	1.2	4			
				97	H24	328	7.4	4			
				97	H24	731	48.5	4			
				97	I23	1071	7.0	4			
			鏡片	G24	1	8	35.5	4			
				H24	1	17	19.7	4			
			鏡片	G24	1	9	77.3	4			
				97	H24	665	4.0	4			
				97	H24	705	8.0	4			
				97	H24	263	7.6	4			
				H24	1	19	7.6	4			
			鏡片	G24	1	11	2.8	4			

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	路種等	SS	架設年月	橋長	道路幅員	車道幅員	石積	架設率%	延長率%	
一	381	503	総合資料	97		1722.7	26		960	428		
			縦横調片	97	7122	28	158.8		1			
			調片	97	7122	411	86.2		1			
	二	326	483	石灯籠	97	7225	361	166.9		1		
				石灯	97	7225	325	8.4		1		
				石灯	97	7225	995	4.2		1		
				縦横調片	97	7224	248	21.4		1		
				調片	97	7225	249	15.3		1		
				調片	97	724	438	18.3		1		
				調片	97	723	1187	11.4		1		
				調片	97	724	449	42.5		1		
				調片	97	723	792	10.6		1		
			調片	97	K225	2021	28.4		1			
			調片	97	723	137	4.3		1			
			調片	97	724	790	7.0		1			
			調片	97	724	875	172.4		1			
			調片	97	723	215	12.2		1			
			石灯	97	723	246	10.5		1			
			調片	97	K223	1288	16.6		1			
			調片	97	723	268	11.8		1			
			調片	97	723	793	21.6		1			
			調片	97	723	325	11.2		1			
			調片	97	723	682	4.4		1			
			調片	97	723	794	109.8		1			
			調片	97	723	1085	26.4		1			
			石灯	97	K223	3906	11.3		1			
			総合資料	97-98		817.7	38		989	422		
一	381	504	石灯	98	L21	305	17.1		1			
			縦横調片	97	L22	2546	29.0		1			
			石灯籠	98	M21	61	348.7		1			
一	326	488	石灯籠	97	M21	263	9.9		1			
			縦横調片	97	M21	456	28.8		1			
			調片	97	M21	543	50.4		1			
			調片	97	M21	603	174.0		1			
			調片	97	M21	919	5.0		1			
			調片	97	M22	1236	46.6		1			
			縦横調片	97-98		27	47.2		1			
			総合資料	101			486.8	28	1186	482		
			縦横調片	101	L18	16	1.2		1			
一	325	475	石灯籠	101	L18	1	77.3		1			
			石灯	101	L19	25	10.5		1			
			石灯	101	M18	939	12.9		1			
			縦横調片	101	L19	32	26.4		1			
			調片	101	L19	280	16.3		1			
			縦横調片	101	M18	299	10.2		1			
			調片	101	M19	299	8.2		1			
			調片	101	M18	963	7.8		1			
			調片	101	M18	1300	16.0		1			
			調片	101	M18	2611	8.7		1			
			調片	101	M18	1	33	106.6		1		
			縦横調片	101	M19	30	6.4		1			
			石灯	101	M19	107	9.3		1			
			石灯	101	M19	258	12.2		1			
			石灯	101	M19	280	1.0		1			
			石灯	101	M19	299	8.4		1			
			石灯	101	M19	623	1.9		1			
			縦横調片	101	M19	324	6.0		1			
			調片	101	M19	443	6.5		1			
			調片	101	M19	1	38	49.8		1		
			石灯	101	M19	1	39	5.3		1		
			縦横調片	101	N18	737	4.1		1			
			調片	101	L19	67	3.7		1			
			調片	101	N18	861	6.9		1			
			調片	101	N18	793	60.5		1			
			縦横調片	101	N19	5	4.7		1			

線別	区別	番号	路種等	SS	架設年月	橋長	道路幅員	車道幅員	石積	架設率%	延長率%	
			石灯	101	N19	32	1.3		1			
			調片	101	O19	1	4.8		1			
			総合資料	97			960.2	23	198	428		
一	382	506	総合資料	97								
			調片	97	L24	215	8.4		1			
			調片	97	L24	996	11.6		1			
			縦横調片	97	L24	508	5.1		1			
				1	125	49	7.4		1			
				97	L24	874	14.2		1			
			調片	97	L24	939	24.0		1			
				97	L24	943	12.0		1			
				調片	97	L25	31	28.7		1		
			縦横調片	97	L25	114	12.8		1			
				調片	97	L25	133	13.6		1		
				調片	97	L25	251	2.6		1		
調片	97	L25	82	6.7		1						
	調片	97	L25	361	27.8		1					
	調片	105	1	47	29.3		1					
調片	105	1	48	67.1		1						
	調片	97	L24	198	11.1		1					
	調片	97	L24	1117	28.3		1					
調片	97	L24	1319	3.5		1						
	調片	97	L24	1480	18.5		1					
	調片	97	L24	1549	21.9		1					
調片	97	L24	1693	5.0		1						
	1	24	264	25.5		1						
	総合資料	97-98		97		11	48.2					
一	382	507	総合資料	101				221.4	9	1182	496	
一	323	439	石灯籠	101	L17	193	77.3		1			
			石灯	101	M18	1481	1.6		1			
			調片	101	M19	175	117.0		1			
			調片	101	M19	302	1.8		1			
			石灯	101	M19	323	4.9		1			
			石灯	101	M19	410	5.3		1			
			石灯	101	M19	415	8.9		1			
			石灯	101	N19	1	8	4.6		1		
			総合資料	97-98		271.7	34	5	1128	497		
			石灯	102	L19	61	17.2		5			
			石灯	100	L19	340	16.6		5			
			調片	100	L19	432	17.2		5			
			調片	100	K19	297	9.6		5			
一	387	305	177	護形石灯	100	K19	311	17.8		5		
一	387	306	179	護形石灯	100	K19	311	17.8		5		
			石灯	101	K19	382	11.9		5			
			調片	101	K20	524	71.3		5			
			調片	97	K22	383	24.5		5			
			石灯	100	K20	733	24.5		5			
			L22	1	386	8.7		5				
			調片	97	K22	1	42	38.3		5		
			L22	1	386	3.5		5				
			L22	1	385	69.0		5				
			L22	1	386	45.2		5				
			調片	97	K23	250	36.7		5			
			調片	97	L22	1539	12.7		5			
			石灯	97	K23	2613	21.1		5			
			調片	97	K23	2324	5.8		5			
			調片	97	M22	196	11.6		5			
			調片	97	K23	3440	26.1		5			
一	322	437	護形石灯	98	L20	17	21.7		5			
			調片	97	L22	951	11.0		5			
			石灯	97	L22	1403	36.1		5			
			石灯	97	L22	1781	16.3		5			
			調片	97	L22	1953	50.7		5			
			L22	1	351	14.2		5				
			調片	97	L22	2825	8.9		5			
			調片	L22	1	344	18.5		5			
			調片	L22	1	387	23.7		5			

探検	探検	番号	発掘層	№	発掘区	種別	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋7%	埋5%
			縦長調子	K22	1	300	7.6					
			調子	K23	202	37.3						
			石片	M1	M19	794	5.3					
			調子	M22	798	13.7						
			石片	K22	1	20	20.2					
-	383	039	総合資料	97			1975.7	23	1	1000	4327	
			縦長調子	K22	1	10	77.1					
			調子	K22	1348	9.8						
			縦長調子	97	1.22	40	132.1					
			調子	97	K21	204	3.4					
			調子	97	K22	541	6.1					
			縦長調子	97	K21	607	92.1					
			調子	K21	1	23	116.5					
			調子	97	K22	875	86.7					
			調子	97	K22	1282	3.8					
			調子	97	K22	1314	2.2					
			縦長調子	97	K22	2000	25.8					
			調子	97	K22	2513	133.6					
			調子	97	K22	2568	88.4					
			縦長調子	K22	1	197	7.9					
			調子	M22	1992	16.5						
			調子	K22	1	188	123.4					
			調子	K22	1	214	196.9					
			調子	97	M21	471	19.3					
			調子	97	M21	662	24.7					
			縦長調子	97	M21	790	113.5					
			調子	97	M21	859	53.5					
-	329	008	石核	97	M22	1760	626.7					
			調子	97	M22	1969	63.9					
-	384	060	総合資料	96-97			2068.4	11	4	1000	4323	
			調子	K24	1	2	5.0					
			調子	97	J24	1381	12.6					
			調子	97	J25	146	19.2					
			調子	97	J24	1730	12.8					
			調子	97	J24	1802	35.4					
			調子	97	J24	2800	24.6					
			調子	97	J25	139	32.8					
			調子	97	J25	173	3.9					
			調子	97	J25	193	7.8					
-	203	480	石核	96	K24	1194	72.0					
			調子	96	K24	525	51.3					
-	384	061	総合資料	97			109.3	5	4	1000	4308	
-	327	451	石核	97	K22	1073	186.7					
			調子	K22	1	425	21.4					
			調子	K22	1	426	8.0					
			調子	97	M22	1329	7.6					
			調子	97	M22	1962	21.6					
-	384	062	総合資料	97			1136.8	30	3-4	1118	4358	
			調子	97	K22	92	3.3					
			調子	97	K23	1077	7.5					
			調子	97	M21	96	149.1					
			調子	K22	1	5	18.2					
			調子	97	K23	351	2.2					
			調子	97	K23	382	26.5					
			調子	97	M21	321	4.1					
			調子	97	K23	430	2.2					
			調子	97	K22	716	2.7					
			調子	97	M21	12	179.7					
			調子	97	K23	1523	3.5					
			調子	97	K23	1644	106.9					
			調子	97	K23	1834	6.3					
			調子	97	K23	1945	12.3					
			調子	97	K23	2055	25.2					
			調子	97	K23	2054	9.7					
			調子	97	K23	3018	115.9					

			調子	97	K23	3168	9.1					
			調子	K22	1	8	181.9					
			調子	K22	1	36	15.9					
			調子	K21	1	6	13.2					
			調子	97	K22	2065	135.7					
			調子	97	K22	2607	16.9					
			調子	97	M22	1800	211.8					
			石片	K22	1	31	24.4					
			調子	97	K23	520	36.9					
			石片	97	M21	337	44.3					
-	325	477	石片核	97	M21	448	106.2					
			調子	97	M22	669	5.9					
			石片	97	M22	1841	53.2					
-	385	063	総合資料	97-98			1736.9	20	5	1123	4388	
			調子	K21	1	40	1.4					
E-90	303	187	縦磨	101	K19	323	16.5					
			調子	101	L19	515	21.2					
			調子	100	K20	170	141.2					
			調子	97	K23	268	35.6					
			調子	M21	1	9	42.6					
			調子	97	K22	400	175.9					
			調子	K22	1	451	58.0					
			調子	K22	1	471	8.5					
			石片	101	L19	306	26.5					
			調子	K21	1	56	287.3					
			調子	97	K22	390	86.5					
			調子	97	M22	1900	80.6					
			調子	97	K22	1869	41.1					
			縦長調子	97	K22	2255	7.0					
			調子	K22	1	400	17.8					
			調子	97	K23	747	27.6					
E-401	314	311	石片核	98	M21	83	124.3					
			調子	97	M22	501	142.2					
-	386	065	総合資料	97			1672.3	12	1	1062	4303	
-	328	086	石片核	K21	1	5	934.9					
			調子	K21	1	37	140.1					
			調子	97	K22	94	173.1					
			調子	97	K22	1630	107.6					
			調子	97	M21	351	75.2					
			調子	97	M22	367	46.5					
			縦長調子	97	M22	1126	24.7					
			調子	97	M22	1860	95.4					
			調子	97	M22	1983	20.7					
			調子	97	M22	1949	8.2					
			縦長調子	97	M22	1967	19.1					
			調子	M22	1	13	31.8					
-	386	066	総合資料	97-98			615.8	27	3-4	1181	4730	
-	321	426	骨板彫石器	100	K19	92	32.1					
			調子	98	M21	574	34.8					
			調子	100	K20	66	3.9					
			調子	K21	1	17	1.9					
			調子	97	K22	472	11.3					
			調子	K22	1	11	27.5					
			調子	98	K21	115	7.0					
			調子	97	K22	409	12.7					
			調子	97	K22	490	118.7					
			調子	97	K22	1730	15.6					
			調子	97	K22	2065	4.7					
			調子	97	K22	2114	41.6					
			調子	97	K22	2149	54.0					
			調子	K22	1	81	31.5					
			調子	K22	1	108	9.8					
			調子	97	M22	869	12.5					
			調子	K22	1	109	6.9					

上白滝8道跡(2)

線区	区段	番号	路地番号	SS	変換区	種別	道幅(歩)	重量	長さ(歩)	石質	母材%	割合%
			測片		1.22	1	170	10.0	4			
			測片		1.22	1	171	6.8	4			
			測片		1.22	1	172	1.7	4			
			測片	98	M20		161	16.7	4			
			測片	97	M22		298	11.9	4			
			測片	97	M22		1105	6.3	4			
			測片	97	M22		1406	21.3	4			
			測片	97	M22		1424	17.8	4			
			測片	97	M22		1898	11.4	4			
			二次加工(木瓦測片)	97	M21		175	196.4	3			
-	386	565	総合資料	97-386			3709.0	14	1	1005	4272	
			測片		K20		300	325.9	1			
			測片		K23		3195	31.9	1			
			測片		1.22	1	817	10.3	1			
			測片		1.22		1886	12.4	1			
			測片		M22		1956	34.4	1			
			測片		K21	1	18	30.5	1			
			測片		1.22	1	292	9.2	1			
			測片		M21		787	40.2	1			
			測片		K22		732	16.0	1			
			測片		K23		3549	1.6	1			
			測片		K22	1	17	277.4	1			
			測片		1.21	1	28	8.1	1			
			測片		1.22		738	40.9	1			
			測片		1.22	1	266	151.3	1			
-	586	567	総合資料	97-586			2487.1	40	3-4	1139	4358	
			測片		K20		74	43.0	4			
			測片		K20	1	19	31.3	4			
			測片		K20		227	32.0	4			
			測片		K20	1	18	28.4	4			
			測片		K21	1	13	135.2	4			
			測片		K22		418	16.8	3			
			測片		K22		633	24.3	4			
			測片		K23		1829	46.9	4			
			測片		K23		2061	5.2	4			
			測片		K23		2180	30.7	4			
			測片		K23		2246	39.2	4			
			測片		K23		2628	39.2	4			
			測片		1.22		320	194.3	4			
			測片		1.22		912	7.2	4			
			測片		1.22	1	46	20.8	4			
			測片	98	M20		141	207.7	4			
			測片		K23	1	9	35.5	4			
			測片		98	1.20	11	6.7	4			
			測片		98	1.21	425	205.9	4			
			測片		1.21	1	4	17.1	4			
			測片		1.22		896	70.5	4			
			測片		1.22		1561	12.7	4			
			測片		1.22		1821	44.4	4			
			測片		1.22		1894	19.2	4			
			測片		1.23		1216	29.0	4			
			測片		1.22		1896	5.0	4			
			測片		1.22		1952	40.1	4			
			測片		1.22		2038	7.3	4			
			測片		1.22		2655	96.9	4			
			測片		1.22	1	35	25.6	4			
			測片		1.22	1	45	19.7	4			
			測片		1.23		62	7.1	4			
			測片		1.23		45	17.3	4			
			測片		1.23		342	13.0	4			
			測片		1.23		435	19.5	4			
			測片		1.23		939	10.9	4			
			測片		M21		151	21.0	4			
			測片		M21		1028	111.5	4			
			測片		M22		130	5.2	4			

線区	区段	番号	路地番号	SS	変換区	種別	重量	長さ(歩)	石質	母材%	割合%	
			測片	97	M22		268	26.2	4			
			測片	97	M22		638	48.7	4			
			測片	97	M22		937	55.5	4			
			測片	97	M22		1226	10.1	4			
			測片	97	M22		1303	26.4	4			
-	387	568	総合資料	97			1528.1	25	1	1986	4208	
			測片		1.25		3	18.3	1			
			測片		1.24	1	227	260.4	1			
			縦長測片	97	1.25		125	156.4	1			
			測片	97	1.24		30	140.4	1			
			測片	97	1.24		314	23.4	1			
8-588	310	275	奇形石(石)		1.24	1	2	87.7	1			
			測片		K23	1	1	27.8	1			
			測片		1.24	1	139	225.7	1			
			測片		1.24	1	219	30.5	1			
			測片		K23		42	146.1	1			
			測片		K23		959	87.9	1			
			測片		K23		897	46.1	1			
			測片		K23		2265	4.7	1			
			測片		K23		3280	48.6	1			
			測片		K23		3888	20.0	1			
			測片		K25	1	61	60.8	1			
			測片		K23	1	92	11.0	1			
			測片		K24		35	25.4	1			
			測片		K24		1180	32.9	1			
			測片		K24		1837	73.3	1			
			測片		K24		2437	100.2	1			
			測片		1.22		3132	27.7	1			
			測片		K23		637	43.8	1			
-	402	11	節籠		4.0-2-8		8	19.9	1			
			測片		節5		130	12.0	1			
-	387	569	総合資料	97-387			369.8	61	3-4	1028	4403	
-	323	430	奇形石(石)	99	H21		62	15.4	3			
			測片	97	H23		370	201.2	4			
			測片	97	H23		476	5.0	4			
			測片	97	1.23		776	4.8	4			
			測片	97	1.24		84	4.5	4			
			測片	97	1.24		88	5.7	4			
			測片	97	1.24		194	2.3	4			
			測片	97	1.24		342	3.8	4			
			測片	97	1.24		357	9.2	4			
			測片	97	1.24		360	2.6	4			
			測片	97	1.24		367	8.2	4			
			測片	97	1.24		957	14.8	4			
			測片	97	1.24		963	62.6	4			
			測片	97	1.24		1196	4.6	4			
			測片		1.25	1	52	16.7	4			
			測片		1.25	1	61	37.9	4			
			測片		1.24		396	9.8	4			
			測片	97	1.24		1223	4.9	4			
			測片	97	1.24		1250	17.3	4			
-	322	439	奇形石(石)	97	1.24		1282	24.0	4			
			測片	97	1.24		1290	7.8	4			
			測片	97	1.25		229	3.5	4			
			測片	97	1.25		284	1.7	4			
			縦長測片	97	1.25		303	10.0	4			
			測片	97	1.25		335	8.1	4			
			測片	97	1.25	40	2.3	4				
			測片	97	1.24		1815	4.8	4			
			測片		1.25	1	51	22.5	4			
			測片	97	1.24		1796	12.0	4			
			測片		1.25	1	53	11.3	4			
			測片		1.25	1	54	6.9	4			
			測片		1.25	1	65	6.3	4			
			測片		1.25	1	96	21.9	4			

探出	探出	番号	品物名	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋没率	検出率
			銅片	125	1	37	11.8	4				
			銅片	125	1	38	16.4	4				
			銅片	97	224	304	11.8	4				
			銅片	125	1	39	3.4	4				
			銅片	97	224	13	6.1	4				
			銅片	97	224	238	1.5	4				
			銅片	97	224	244	5.5	4				
			銅片	97	224	414	15.1	4				
			銅片	97	224	422	9.4	4				
			銅片	97	224	1420	6.6	4				
			銅片	97	224	3066	5.5	4				
			銅片	97	224	3065	5.5	4				
			銅片	97	224	1137	9.6	4				
			銅片	97	224	1270	22.5	4				
			銅片	97	224	1313	10.4	4				
			銅片	97	224	1322	4.3	4				
			銅片	97	224	1335	20.0	4				
			銅片	97	224	1421	16.8	4				
			銅片	97	224	1441	7.1	4				
			銅片	97	224	1454	6.7	4				
			銅片	97	224	1489	2.1	4				
			銅片	97	224	1397	2.2	4				
			銅片	97	224	3024	5.9	4				
			銅片	97	224	1703	17.3	4				
			銅片	97	224	1721	8.2	4				
			銅片	97	224	3017	86.4	4				
			銅片	97	225	71	10.7	4				
			銅片	97	225	79	10.8	4				
-	308	570	綜合資料	97-101			1096.6	45	1	987	4227	
			銅片	97	K22	41	16.8	1				
			銅片	97	K22	406	12.0	1				
-	322	446	舟底彫石器	101	L19	330	16.6	1				
			銅片		L21	1	32	6.6	1			
			銅片	97	L22	382	2.7	1				
			銅片	97	L22	409	15.7	1				
			銅片	97	L22	3937	15.0	1				
			銅片	97	L22	3026	9.4	1				
			銅片	97	L22	3029	42.7	1				
			銅片	97	L22	3054	6.6	1				
			銅片	97	L22	1706	10.3	1				
			銅片	97	M22	2061	9.8	1				
-	322	443	舟底彫石器	97	L22	1094	25.0	1				
			銅片	97	L22	2098	5.5	1				
			銅片	97	L22	2079	5.2	1				
			二次加工舟底彫	97	L22	2100	14.1	1				
			銅片	97	L22	2267	26.1	1				
			銅片	97	L22	2211	16.2	1				
-	322	441	舟底彫石器		L22	1	7	31.6	1			
			銅片	97	M22	112	9.3	1				
			銅片		L22	1	270	129.1	1			
			銅片		L22	1	305	6.4	1			
			銅片		L22	1	407	15.3	1			
			銅片		L22	1	417	7.3	1			
			銅片	97	L23	220	25.9	1				
			銅片	97	L23	222	7.3	1				
			銅片	97	L23	3076	9.6	1				
			銅片	97	M21	283	24.2	1				
			銅片	97	M21	790	9.8	1				
			銅片		M22	1	16	7.6	1			
			銅片	97	M21	432	5.2	1				
			銅片	97	M21	480	4.7	1				
			銅片	97	M22	496	19.8	1				
			銅片	97	M22	1400	40.7	1				
			銅片	97	M22	818	16.8	1				
			銅片	97	M22	1043	4.9	1				

探出	探出	番号	品物名	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋没率	検出率
			銅片	97	M22		1036	16.1	1			
			銅片	97	M22		1272	35.4	1			
			銅片	97	M22		1280	222.9	1			
			銅片	97	M22		1434	6.7	1			
			銅片	97	M21		94	23.9	1			
			銅片	97	M22		1507	7.5	1			
			銅片		M22	1	13	13.2	1			
			銅片	97	M21		90	12.6	1			
			銅片	97	M21		153	47.1	1			
-	308	571	綜合資料	97-101			1096.6	48	4	1178	4718	
			銅片	100	J19		173	3.0	4			
			銅片	101	M18		489	25.0	4			
			銅片	101	K17		21	3.4	4			
			銅片	101	K17		22	8.8	4			
			銅片		K17	1	2	3.8	4			
			銅片	101	K18		3	14.9	4			
			銅片	101	K18		11	1.6	4			
			銅片	101	K18		28	16.2	4			
			銅片	101	K18		30	1.9	4			
			銅片	101	K18		34	5.3	4			
-	321	429	舟底彫石器	101	K18		60	104.9	4			
			銅片	101	K18		90	1.9	4			
			銅片	101	K18		112	6.0	4			
			銅片	101	K18		117	49.8	4			
			銅片	101	K18		121	7.1	4			
			銅片	101	K18		127	3.6	4			
			銅片	101	K18		129	12.5	4			
			銅片	101	K18		138	13.7	4			
			銅片	101	L16		189	3.9	4			
			銅片	101	K18		142	8.6	4			
			銅片	101	K18		182	3.5	4			
			銅片	101	K18		186	42.1	4			
			銅片	101	M18		805	18.7	4			
			銅片		K18	1	5	2.3	4			
-	320	422	舟底彫石器	101	K19		31	46.1	4			
			銅片	101	M18		808	28.3	4			
			銅片	101	K19		32	8.1	4			
			銅片	101	L19		256	18.7	4			
			銅片	101	M18		307	52.8	4			
			銅片	101	M18		951	5.3	4			
			銅片	101	M19		704	17.0	4			
			銅片	101	K19		239	16.1	4			
			銅片	101	L19		303	36.1	4			
			銅片	106	L17		32	6.3	4			
			銅片	101	L17		47	13.6	4			
			銅片	101	L17		49	13.8	4			
			銅片	101	L17		51	5.9	4			
			銅片	101	L17		73	3.9	4			
			銅片		L17	1	3	3.6	4			
			銅片	101	L17		85	19.9	4			
			銅片	101	L17		132	6.3	4			
			銅片	501	L17		137	7.9	4			
			銅片	101	L17		142	18.9	4			
			銅片	101	L17		143	3.7	4			
			銅片	101	L17		148	1.5	4			
			銅片		L17	1	2	8.5	4			
			銅片	101	L18		1	18.2	4			
			銅片	101	L18		34	3.4	4			
			銅片	101	L18		117	7.3	4			
			銅片	101	M18		956	16.5	4			
			銅片	101	L18		202	3.7	4			
			銅片	101	L18		303	4.2	4			
			銅片	101	L18		372	3.0	4			
			銅片	101	L16		399	5.2	4			
			銅片	101	L18		404	18.4	4			

上白滝8道跡(2)

線別	区別	番号	路地番号	SS	変換区	種別	地積(㎡)	敷積	延床積	石積	坪当り%	延床%	
						調子	101	1.18	407	12.1	4		
						調子	1.18	1	29	9.2	4		
						調子	1.18	1	30	9.3	4		
						調子	1.18	1	32	11.2	4		
						調子	101	1.19	34	11.6	4		
						調子	101	1.19	64	13.7	4		
						調子	1.19	1	6	8.4	4		
						縦割調子	101	1.19	38	10.2	4		
						調子	1.19	1	9	3.3	4		
						調子	101	1.19	109	27.5	4		
						調子	M18	1	15	24.5	4		
						調子	101	1.19	206	47.7	4		
						調子	101	1.19	251	56.5	4		
						縦割調子	101	1.19	278	7.0	4		
						調子	101	N18	740	13.3	4		
						調子	101	1.19	430	4.7	4		
						調子	1.19	1	5	10.8	4		
-	326	485	石心柱	101	M12		143	284.8	4				
						調子	101	M12	139	105.4	4		
						調子	101	M12	1	3.7	4		
						調子	101	N18	1652	18.4	4		
						調子	101	M18	73	3.8	4		
						調子	101	M18	449	73.2	4		
						調子	101	M18	1548	13.6	4		
						調子	101	M18	581	4.4	4		
						調子	101	M18	770	147.3	4		
						調子	101	N18	197	8.7	4		
						縦割調子	101	M18	1484	12.6	4		
						調子	101	M18	1567	11.7	4		
						調子	101	M18	2132	7.2	4		
						調子	101	M18	2238	54.5	4		
						調子	101	M18	495	21.0	4		
						調子	101	N18	44	19.2	4		
-	380	522	複合資料	97			806.7	29	4	1106	4354		
						調子	97	K22	183	4.9	4		
						調子	97	K22	386	3.1	4		
						調子	97	K22	1	14	149.3	4	
						調子	97	1.22	504	2.5	4		
						調子	1.22	1	286	16.6	4		
						調子	1.22	1	296	9.9	4		
						調子	1.22	1	301	7.6	4		
						調子	1.22	1	303	14.8	4		
						調子	97	K22	797	56.8	4		
						調子	97	M22	1538	17.0	4		
						調子	K22	1	53	40.7	4		
						調子	K22	1	10	9.4	4		
						調子	K22	1	57	14.3	4		
						調子	97	1.22	238	3.7	4		
-	323	424	専断型石部	97	1.22		751	57.0	4				
						調子	97	1.22	2374	18.9	4		
						調子	97	1.22	2952	22.3	4		
-	322	445	専断型石部	1.22	1		11	19.1	4				
						調子	1.22	1	41	27.5	4		
						調子	1.22	1	160	3.9	4		
						調子	1.22	1	164	8.9	4		
						調子	1.22	1	165	13.5	4		
						調子	1.22	1	285	49.8	4		
						調子	1.22	1	287	32.0	4		
						調子	1.22	1	288	9.4	4		
						調子	1.22	1	297	3.3	4		
						調子	1.22	1	298	5.1	4		
						調子	1.22	1	299	4.7	4		
						調子	1.22	1	300	3.2	4		
-	380	523	複合資料	97			578.2	28	4	1080	4495		
						調子	97	1.23	162	40.4	4		

線別	区別	番号	路地番号	SS	変換区	種別	地積(㎡)	敷積	延床積	石積	坪当り%	延床%	
						調子	97	1.23	158	3.2	4		
						調子	97	1.23	367	28.4	4		
						調子	97	1.23	451	147.3	4		
						調子	97	1.24	85	64.9	4		
						調子	97	1.24	198	5.6	4		
						調子	97	1.24	649	5.6	4		
						調子	97	1.24	878	2.6	4		
						調子	97	1.24	952	17.7	4		
						調子	97	1.24	1280	3.1	4		
						調子	97	1.24	961	53.7	4		
						調子	97	1.25	95	2.4	4		
						調子	1.25	1	28	12.9	4		
						調子	1.25	1	35	1.6	4		
						調子	1.25	1	34	1.1	4		
						調子	1.25	1	35	3.3	4		
						調子	1.25	1	39	3.7	4		
						調子	97	1.23	1032	35.9	4		
						調子	97	1.24	869	5.8	4		
						調子	97	1.24	952	12.5	4		
						調子	97	1.24	990	2.3	4		
						調子	97	1.24	965	13.4	4		
						調子	97	1.24	1237	13.5	4		
						調子	97	1.24	1168	11.0	4		
						調子	97	1.24	1478	26.5	4		
						調子	97	1.24	1698	5.8	4		
-	380	524	複合資料	97					306.3	19	4	1107	4505
-	322	424	専断型石部	97	L22		125	127.8	4				
						調子	97	L22	430	7.8	4		
						調子	97	L22	2088	3.6	4		
						調子	L22	1	182	21.3	4		
						調子	97	M22	1966	18.8	4		
						調子	97	L22	485	15.6	4		
						調子	97	L22	1814	8.5	4		
						調子	L22	1	161	6.6	4		
						調子	97	M22	1511	6.9	4		
						調子	97	L22	1023	2.0	4		
						調子	97	L22	1381	48.1	4		
						調子	97	L22	1677	6.6	4		
						調子	97	L22	2526	15.0	4		
						調子	97	L22	2702	12.3	4		
-	322	444	専断型石部	L22	1		40	30.6	4				
						調子	L22	1	163	12.1	4		
						調子	97	M22	458	7.1	4		
						調子	97	M22	943	25.6	4		
						調子	97	M22	2087	10.0	4		
-	380	525	複合資料	101					277.4	11	4	1184	4733
						調子	101	K19	35	20.5	4		
						調子	K19	1	14	8.0	4		
						調子	101	M19	62	4.4	4		
						調子	M19	1	10	2.5	4		
						調子	101	M18	259	34.7	4		
						調子	N19	1	1	47.0	4		
						調子	101	M19	31	3.0	4		
						二次加工木造調子	101	M19	210	26.3	4		
-	328	502	石積	101	M19		246	100.0	4				
						調子	101	M19	392	12.1	4		
						調子	101	O19	30	5.0	4		
-	380	526	複合資料	101					404.9	21	4	1165	4981
						調子	101	L18	263	16.5	1		
						調子	101	M18	790	7.5	1		
						調子	101	L18	303	18.7	1		
						調子	101	N18	18	1.2	1		
						調子	101	L18	248	6.8	1		
						調子	101	L18	382	3.6	1		
						調子	N19	1	9	1.7	1		

探検	探検	番号	発掘層	No.	発掘区	種別	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋77%	埋5%
--	321	438	舟形彫石器	101	L19		191	18.1		1		
				101	M19		275	45.2	1			
				101	M18		280	1.2	1			
				101	M18		1984	23.9	1			
				101	M18		1198	103.6	1			
				101	M18		1211	25.2	1			
			101	M18		1605	1.8	1				
			101	M18		2077	50.1	1				
			101	M18		2437	14.2	1				
			101	M19		182	18.6	1				
			101	M19		256	119.9	1				
			101	M19		363	1.8	1				
101	M19		287	8.5	1							
101	M18		649	1.7	1							
101	M18		842	17.4	1							
101	M18		960	1.9	1							
101	M18		14	18.8	1							
--	380	127	総合資料	97			1947.2	32		1948	438	
				二次加工木4器具		J20	1	25	18.5	1		
				M21	1	3	123.9	1				
				K22		189	18.4	1				
				K22		527	30.6	1				
				K22	1	12	4.6	1				
			97	K22		1303	4.5	1				
			二次加工木4器具		K22		748	119.2	1			
			97	K22		2006	105.4	1				
			97	K22		281	13.5	1				
			97	M21		885	7.1	1				
			97	K21	1	16	2.3	1				
97	K22		1263	0.6	1							
--	322	448	舟形彫石器	97	K22		513	16.7	1			
				97	K22		539	6.2	1			
				97	K22		741	27.9	1			
				97	K22		2279	38.4	1			
				97	K22		1942	10.4	1			
				97	K22		1945	2.6	1			
			97	K22		1145	2.5	1				
			97	K22		1298	29.1	1				
			97	K22	1	175	16.7	1				
			97	K22		1973	10.2	1				
			97	K22		2303	51.7	1				
			97	K22		2540	3.9	1				
97	K22		2054	37.4	1							
97	M21		554	7.1	1							
97	K22		2341	25.1	1							
97	M21		972	0.8	1							
97	M22		254	27.3	1							
97	M22		1163	4.1	1							
97	M22		1625	9.9	1							
97	M22		2012	23.6	1							
--	300	108	総合資料	97			401.2	13		1021	428	
				97	K22		212	2.7	1			
				97	K22		25	12.6	1			
				97	K22		539	11.3	1			
				97	K22		731	83.9	1			
				97	K21		52	66.5	1			
			97	K22		295	28.6	1				
			97	K22		732	6.9	1				
			97	K22		2064	9.1	1				
			97	K22	1	277	9.1	1				
			97	K23		514	48.1	1				
			97	K23		519	23.5	1				
97	K23		1066	10.4	1							
97	M21		95	29.9	1							
97	M22		102	17.7	1							

探検	探検	番号	発掘層	No.	発掘区	種別	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋77%	埋5%			
--	391	328	総合資料	97	M22		1442	5.9		1					
				総合資料		K23		963.9	34		1908	4276			
				97	K21	1	101	9.1	1						
				97	K23		856	6.5	1						
				97	K20		627	8.7	1						
				97	K22		686	1.2	1						
			97	K19		425	130.3	1							
			97	K21	1	34	11.0	1							
			97	K22		92	3.1	1							
			97	K23		980	4.3	1							
			97	K22		131	7.7	1							
			97	K22		300	5.6	1							
97	K22		1194	15.0	1										
97	K22		1396	3.9	1										
97	K22		2225	22.5	1										
97	K22		2250	14.1	1										
97	M22		811	18.1	1										
97	K22		2701	2.1	1										
--	322	406	舟形彫石器	97	K22		9	33.2	1						
				97	K22	1	373	8.6	1						
				97	K22	1	325	16.7	1						
				97	K23		921	25.5	1						
				97	M21		663	4.7	1						
				97	M21		722	3.0	1						
			97	M22		6	14.0	1							
			97	M22		197	121.0	1							
			97	M22		208	6.0	1							
			97	M22		352	28.7	1							
			97	M22		373	11.2	1							
			97	M22		1013	25.8	1							
97	M22		427	46.4	1										
97	M22		622	12.9	1										
97	M22		806	31.4	1										
97	M22		1677	18.3	1										
97	M22		1904	2.1	1										
97	N21		398	8.4	1										
--	391	386	総合資料	97-101			131.1	8	4	1073	4491				
				97	K22		744	25.5	4						
				97	K23		479	1.1	4						
				97	K23		547	12.9	4						
				97	K23		2236	4.1	4						
				97	K23		4182	18.9	4						
			--	320	506	石核	101	L19		490	65.9	4			
							97	K22		3053	3.8	4			
							97	K23		854	2.9	4			
							101			48.1	3	1	--		
							L18	1	1	13.8	1				
							L18	2	10	1.5	1				
--	391	362	総合資料	101-102			19.7	2	3-5	--	3624				
				矢頭器断片		102	L19		269	4.2	3				
				矢頭器		100	K19		307	15.5	5				
				9-300	286	24	総合資料	110			1328.9	67		1198	4773
								110	N04		27	54.2	1		
								110	O04		188	48.4	1		
			110					N04		261	31.0	1			
			110					R05		4	3.2	1			
			110					N04		307	4.9	1			
			110	O04		147	3.0	1							
			110	O04		205	11.9	1							
			110	N04		226	18.0	1							
110	O04	1	70	32.4	1										
110	O04		262	82.5	1										
110	N04	1	71	34.9	1										
110	O04		10	1.1	1										

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	路線等	SS	変換区	種別	道幅(歩)	重量	歩数(歩)	石積	歩行%	積石%
			歩行		N04	I	72	12.4	1			
					N04	I	73	8.1	1			
			歩行	110	Q04		83	3.8	1			
				110	Q04		2	41.9	1			
					Q04	I	6	3.0	1			
				110	Q05		5	5.7	1			
				110	R04		8	1.0	1			
			歩行	110	Q04		80	6.7	1			
			歩行	110	Q04		88	21.2	1			
					Q04	I	2	11.1	1			
			歩行	110	Q04		198	3.4	1			
				110	Q04		109	1.9	1			
				110	Q04		200	2.6	1			
				110	Q04		10	29.8	1			
				110	Q04		48	1.7	1			
			歩行	110	Q04		200	36.7	1			
			歩行	110	Q04		207	10.3	1			
			歩行	110	F03		27	4.0	1			
				110	F04		17	11.6	1			
			歩行	110	F03		60	10.0	1			
			歩行	110	F04		3	4.3	1			
			歩行	110	F04		14	49.5	1			
東-西	204	3	実線跡	110	F04		33	136.1	1			
			歩行		F04	I	4	11.3	1			
			歩行		F04	II	3	1.4	1			
			歩行	110	F05		27	13.3	1			
			歩行		Q02	I	1	2.4	1			
			歩行		Q02	I	3	6.7	1			
			歩行	110	Q04		5	2.5	1			
					Q04	II	4	1.6	1			
			歩行	110	Q04		9	36.0	1			
				110	Q04		26	2.9	1			
					Q04	I	1	12.6	1			
			歩行	110	Q04		11	5.8	1			
				110	Q04		47	6.7	1			
			歩行	110	Q04		29	4.1	1			
			歩行	110	Q04		23	17.7	1			
				110	Q04		29	8.0	1			
			歩行	110	Q04		24	34.1	1			
				110	S05		2	39.0	1			
			歩行	110	Q04		25	8.6	1			
			歩行	110	Q04		33	13.5	1			
				110	Q04		34	25.5	1			
				110	Q04		61	4.6	1			
					Q01-30		10	83.0	1			
			歩行	110	Q04		37	8.7	1			
				110	R04		3	23.5	1			
				110	R04		4	19.2	1			
			歩行		Q04	I	9	1.1	1			
					Q04	II	5	0.8	1			
				110	R04		6	11.8	1			
			歩行		Q04	I	10	2.7	1			
			歩行	110	R04		2	136.2	1			
			歩行	110	R05		7	3.9	1			
			歩行	110	R05		9	35.8	1			
東-西	205	25	複合資料	110				198.3	22	4	1203	4284
			歩行	110	N04		20	2.0	4			
			歩行	110	N04		22	3.4	4			
			歩行	110	N04		36	5.8	4			
			歩行	110	N04		51	36.1	4			
			歩行	110	N04		109	1.9	4			
				110	F05		227	5.1	4			
			歩行	110	N04		118	18.0	4			
			歩行	110	N04		164	2.4	4			
			歩行		N04	I	3	11.2	4			

線区	区間	番号	路線等	SS	変換区	種別	道幅(歩)	重量	歩数(歩)	石積	歩行%	積石%
			歩行		N04	I	19	3.6	4			
					N04	I	20	3.4	4			
			歩行		N04	I	22	4.3	4			
					N04	I	23	4.1	4			
			歩行		N04	I	24	5.1	4			
					N04	I	26	1.4	4			
					O05	I	6	9.1	4			
			歩行		N04	I	41	2.2	4			
			歩行	110	N05		29	13.8	4			
			歩行	110	N05		38	3.0	4			
			歩行	110	N05		63	1.2	4			
				110	N05		81	3.5	4			
					N05	I	1	8.8	4			
			歩行	110	O04		17	3.5	4			
			歩行	110	O04		65	9.4	4			
			歩行	110	O04		75	3.3	4			
			歩行	110	O04		246	13.7	4			
			歩行	110	O04		403	1.9	4			
			歩行		O04	I	2	26.8	4			
			歩行	110	O05		14	48.7	4			
			歩行	110	O05		17	3.7	4			
			歩行	110	O05		28	4.2	4			
			歩行	110	O05		33	9.9	4			
			歩行	110	O05		37	2.0	4			
				110	F05		322	4.1	4			
			歩行	110	O05		61	4.9	4			
			歩行	110	O05		64	1.5	4			
			歩行	110	O05		70	7.6	4			
			歩行	110	O05		87	1.6	4			
			歩行	110	O05		111	4.8	4			
			歩行	110	O05		136	6.3	4			
				110	F05		44	1.6	4			
			歩行	110	O05		141	9.0	4			
				110	F05		229	38.1	4			
			歩行	110	O05		132	1.4	4			
			歩行		O05	I	2	8.1	4			
				110	F05		36	18.7	4			
			歩行	110	F05		9	5.7	4			
			歩行	110	F05		16	8.3	4			
				110	F05		65	1.8	4			
			歩行	110	F05		70	1.6	4			
			歩行	110	F05		81	2.1	4			
			歩行	110	F05		118	1.3	4			
			歩行	110	F05		121	6.5	4			
			歩行	110	F05		122	1.4	4			
			歩行	110	F05		132	4.5	4			
			歩行	110	F05		220	2.4	4			
			歩行	110	F05		232	3.0	4			
			歩行	110	F05		234	35.0	4			
			歩行	110	F05		256	1.8	4			
			歩行	110	F05		260	1.7	4			
			歩行	110	F05		272	7.0	4			
			歩行	110	F05		307	66.1	4			
			歩行	110	F05		320	7.0	4			
			歩行	110	F05		321	3.5	4			
			歩行	110	F05		332	37.4	4			
			歩行	110	F05		331	1.9	4			
			歩行	110	Q05		18	25.4	4			
			歩行	110	Q05		19	9.8	4			
			歩行	110	Q05		36	13.8	4			
			歩行	110	Q05		77	5.3	4			
東-西	204	21	石目跡	110	Q05		113	67.4	4			
			歩行	110	Q05		125	6.0	4			
			歩行	110	Q05		163	1.2	4			
東-西	207	26	複合資料	110				250.2	48	4	1205	4783

種別	国産	番号	造物名	№	造物区	種別	造物番号	重量	自重(%)	石質	自重率	自重率
			鏡片	110	N06		33	6.6	4			
			鏡片	110	N06		37	7.3	4			
			縦長鏡片	110	N06		61	6.3	4			
				110	N06	1	11	9.7	4			
				110	N06	1	12	9.2	4			
			鏡片	110	N06		63	16.8	4			
			鏡片	110	N06		74	2.7	4			
			鏡片	110	N06		96	16.4	4			
			鏡片	110	N06		117	2.8	4			
			鏡片	110	N06		124	3.1	4			
			鏡片	110	N06		144	5.5	4			
			鏡片	110	N06		232	12.3	4			
■4物	204	22	石枕	110	N06		233	9.9	4			
				110	N06		249	29.8	4			
			鏡片	110	N06		287	15.5	4			
			鏡片	110	N06		300	13.4	4			
			鏡片		N04	1	5	16.6	4			
			鏡片		N04	1	6	6.6	4			
			鏡片		N04	1	7	16.2	4			
			鏡片	110	O05		99	4.4	4			
			鏡片		N04	1	8	12.1	4			
			鏡片		N04	1	9	11.8	4			
			鏡片		N04	1	10	22.5	4			
			鏡片		N04	1	13	4.2	4			
			鏡片		N04	1	14	2.7	4			
			鏡片		N04	1	15	1.7	4			
			鏡片	110	O06		90	17.2	4			
			鏡片	110	O06		92	3.7	4			
			縦長鏡片	110	O06		93	2.2	4			
			鏡片	110	O06		132	2.1	4			
■4物	204	19	舟形彫石器	110	O06		285	45.5	4			
			鏡片	110	O06		280	1.9	4			
			鏡片	110	O05		25	4.5	4			
			鏡片	110	O05		79	48.4	4			
			鏡片	110	O05		131	4.7	4			
			鏡片	110	O05		195	5.6	4			
■4物	203	17	舟形彫石器	110	O05		124	37.1	4			
			鏡片	110	O05		127	5.3	4			
			鏡片	110	O05		145	4.7	4			
			鏡片	110	O05		154	3.9	4			
			鏡片	110	O05		155	2.7	4			
			鏡片	110	P05		148	6.6	4			
			鏡片	110	P05		247	16.8	4			
			鏡片	110	P05		228	1.3	4			
			鏡片		P06	1	1	112.1	4			
			鏡片	110	Q05		55	13.4	4			
			鏡片	110	Q05		81	1.5	4			
			鏡片	110	Q05		127	1.6	4			
—	207	27	綜合資料	110			3106.6	63	3-4	1216	4827	
			鏡片	110	N06		13	7.3	4			
			鏡片	110	N04		15	42.1	4			
			鏡片	110	O04		174	16.1	4			
			鏡片	110	O06		433	47.2	4			
			鏡片	110	O05		6	43.3	4			
			鏡片	110	P05		225	12.4	4			
			鏡片	110	P05		267	75.1	4			
			鏡片	110	N04		77	9.9	4			
			縦長鏡片	110	N06		186	37.7	4			
			石舟	110	N04		201	13.9	4			
			鏡片	110	N04		231	14.3	4			
			鏡片	110	N04		240	7.2	4			
			鏡片	110	N04		286	2.1	4			
			鏡片	110	O05		180	5.0	4			
			鏡片	110	N04		330	4.4	4			
			鏡片	110	N04		354	5.3	4			

種別	国産	番号	造物名	№	造物区	種別	造物番号	重量	自重(%)	石質	自重率	自重率
				110	O05		4	17.2	4			
			鏡片		N04	1	27	12.5	4			
			鏡片		N04	1	30	1.4	4			
			鏡片		N04	1	31	1.0	4			
			鏡片		N04	1	30	3.5	4			
			鏡片		N04	1	55	1.4	4			
				110	Q05		128	7.3	4			
—	204	32	石舟帆	110	O04		37	16.6	4			
			鏡片	110	O04		54	8.5	4			
				110	O05		122	1.4	4			
				110	P05		179	4.6	4			
			鏡片	110	O04		78	1.5	4			
			石舟	110	O04		100	16.5	4			
				110	Q05		121	8.7	4			
			鏡片	110	O04		239	4.5	4			
			鏡片	110	O04		248	6.3	4			
				110	P05		311	3.4	4			
			鏡片	110	O04		308	25.0	4			
			鏡片	110	O04		355	38.0	4			
			鏡片	110	O04		354	21.1	4			
			鏡片	110	O04		359	2.0	4			
			鏡片	110	O04		410	1.0	3			
			鏡片	110	O05		15	16.1	4			
			鏡片	110	O05		16	7.5	4			
			鏡片	110	O05		90	5.1	4			
			鏡片	110	O05		93	35.6	4			
				110	Q05		68	33.3	4			
—	204	28	簡器	110	O05		109	18.7	4			
				110	P05		17	35.8	4			
			鏡片	110	O05		110	1.8	4			
			鏡片		O05	1	5	19.7	4			
			鏡片	110	P05		21	1.9	4			
			鏡片	110	P05		111	0.8	3			
			鏡片	110	P05		125	28.7	4			
			鏡片	110	P05		164	3.1	4			
			鏡片	110	P05		213	66.1	4			
			鏡片	110	P05		243	4.3	4			
			鏡片	110	P05		246	9.4	4			
			鏡片	110	P05		321	18.8	4			
			鏡片	110	P05		274	11.7	4			
			鏡片		P05	1	2	4.0	4			
			鏡片	110	Q05		6	11.8	4			
			鏡片	110	Q05		24	4.5	4			
			鏡片	110	Q05		31	2.1	4			
			鏡片	110	Q05		80	1.6	4			
			鏡片	110	Q05		105	2.3	4			
			鏡片	110	Q05		120	1.0	4			
—	208	26	綜合資料	110			296.5	15	4	1211	4804	
			鏡片	110	N04		361	37.3	4			
			鏡片		N04	1	18	5.5	4			
■4物	203	15	舟形彫石器	110	O04		86	17.6	4			
			鏡片	110	O05		107	46.2	4			
				110	P05		3	5.0	4			
			鏡片	110	P05		54	6.7	4			
			鏡片	110	P05		383	3.8	4			
—	204	29	舟形彫石器	110	P05		310	11.1	4			
■4物	204	23	石枕	110	P05		338	84.8	4			
			鏡片	110	Q05		9	2.1	4			
■4物	203	13	簡器	110	Q05		12	25.6	4			
			鏡片	110	Q05		13	37.4	4			
			縦長鏡片	110	Q05		26	8.2	4			
			鏡片	110	Q05		130	16.1	4			
			鏡片	110	Q05		169	9.5	4			
—	208	30	綜合資料	110			801.4	96	3-4	1217	4823	
			鏡片	110	N04		365	2.3	4			

上白滝8道跡(2)

線区	区間	番号	道跡番号	SS	変換区	橋区	道跡番号	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
				測片	110	N04	289	5.7	4			
				測片	110	N04	294	1.7	4			
				測片	110	N04	290	2.5	4			
				測片	110	N04	304	1.8	4			
				測片	110	F05	250	12.8	4			
上-中	206	18	舟形形石部		N04	1	2	20.7	4			
					N04	1	29	5.6	4			
				測片	110	F05	174	10.2	4			
				縦長測片	N04	1	52	20.2	4			
				測片	110	O04	111	6.6	3			
				測片	110	O04	205	2.3	4			
				測片	110	O04	206	2.0	4			
				測片	110	O04	228	1.5	4			
				測片	110	F05	198	2.6	4			
				測片		O04	1	1	1.6	4		
				測片	110	Q05	137	1.6	4			
				測片	110	O05	31	16.2	4			
				測片	110	O05	53	12.9	4			
				測片	110	O05	55	2.1	4			
				測片		O05	1	3	5.7	4		
				測片	110	F06	2	84.0	4			
				測片	110	F05	160	26.7	4			
				測片	110	Q05	33	2.3	4			
				測片	110	Q05	170	6.9	4			
				測片	110	Q05	178	2.9	4			
				測片	110	F05	18	5.8	4			
				測片	110	F05	45	1.4	3			
				測片	110	F05	62	13.2	4			
				測片	110	F05	64	1.5	4			
				測片	110	F05	336	5.4	4			
				測片	110	F05	94	8.5	4			
				測片	110	F05	96	5.6	4			
				測片	110	F05	108	1.1	4			
				測片	110	F05	136	20.2	4			
				測片	110	F05	137	5.5	4			
				測片	110	F05	144	4.8	4			
				測片	110	Q05	158	2.0	4			
				測片	110	F05	188	5.6	4			
				測片	110	F05	202	20.0	4			
				測片	110	Q05	30	10.2	4			
				測片	110	F05	204	2.3	4			
				測片	110	Q05	198	1.9	4			
				測片	110	F05	206	3.4	4			
				測片	110	F05	209	1.7	4			
				縦長測片	110	F05	207	12.9	4			
				測片	110	F05	222	6.7	4			
				測片	110	F05	226	3.4	4			
				測片	110	Q05	28	3.5	4			
				縦長測片	110	F05	229	12.8	4			
				測片	110	Q05	41	2.0	4			
				縦長測片	110	F05	270	3.3	4			
				測片	110	Q05	2	17.8	4			
				測片	110	Q05	84	2.5	4			
				測片	110	F05	277	1.1	4			
				測片	110	F05	303	4.4	4			
				測片	110	F05	312	3.2	4			
				測片	110	F05	341	2.8	4			
				測片	110	Q05	7	3.7	4			
				測片	110	Q05	134	5.8	4			
				測片	110	Q05	23	14.7	4			
				測片	110	Q05	29	5.9	4			
				測片	110	Q05	45	6.8	4			
				測片	110	Q05	46	1.7	4			

線区	区間	番号	道跡番号	SS	変換区	橋区	道跡番号	重量	変換区	石質	母岩%	粘土%
				測片	110	Q05	100	2.8	4			
				測片	110	Q05	47	5.7	4			
				測片	110	Q05	51	9.7	4			
				測片	110	Q05	59	13.8	4			
				測片	110	Q05	65	14.0	4			
				測片	110	Q05	62	10.9	4			
				測片	110	Q05	64	4.6	4			
				測片	110	Q05	66	5.4	4			
				測片	110	Q05	69	3.4	4			
				測片	110	Q05	70	0.8	4			
				測片	110	Q05	71	2.4	4			
				測片	110	Q05	80	1.3	4			
				測片	110	Q05	89	11.4	4			
上-中	206	18	舟形形石部		110	Q05	96	12.4	3			
					110	Q05	137	10.4	3			
				測片	110	Q05	100	2.2	4			
				測片	110	Q05	102	9.8	4			
				測片	110	Q05	109	22.7	4			
				測片	110	Q05	138	1.5	4			
				測片	110	Q05	139	3.3	4			
				測片	110	Q05	144	8.6	4			
				測片	110	Q05	150	8.7	4			
				縦長測片	110	Q05	156	8.2	4			
				測片	110	Q05	163	2.9	4			
				測片	110	Q05	166	1.5	4			
				測片	110	Q05	171	0.8	4			
				測片	110	Q05	173	0.8	4			
				測片	110	Q05	182	1.6	4			
				測片	110	Q05	201	2.3	4			
				測片	110	Q05	202	2.3	4			
上-中	206	40	複合資料		110			479.3	10	1214	4820	
				縦長測片	110	N04	18	28.7	4			
				測片	110	N04	19	10.0	4			
				測片	110	Q05	58	3.9	4			
				測片	110	N04	20	4.3	4			
				測片	110	N04	73	3.7	4			
				測片	110	N04	202	1.9	4			
				測片	110	N04	314	2.0	4			
				測片		N04	1	17	13.0	4		
				測片		N04	1	49	0.5	4		
				測片		N04	1	54	0.5	4		
				測片		N04	1	36	9.0	4		
				測片		N04	1	38	1.7	4		
				測片		N04	1	39	8.6	4		
				測片	110	Q05	122	7.1	4			
				測片		N04	1	44	1.4	4		
				測片		N04	1	45	3.5	4		
				測片		N04	1	46	6.4	4		
				測片		N04	1	47	3.0	4		
				測片		N04	1	48	4.5	4		
				測片		N04	1	51	1.4	4		
				測片		N04	1	53	1.2	4		
				測片	110	O04	59	2.1	4			
				測片	110	O04	283	21.2	4			
				測片	110	O04	107	12.3	4			
				測片	110	O04	126	2.4	4			
				測片	110	O04	130	13.9	4			
				測片	110	O04	143	1.2	4			
				測片	110	O04	177	4.7	4			
				測片	110	O05	85	3.1	4			
				測片	110	O04	194	4.3	4			
				測片	110	O04	211	1.1	4			
				測片	110	O04	220	22.2	4			
				測片	110	O04	226	1.2	4			
				測片	110	O04	275	1.0	4			

探出	探出	番号	品類等	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋深%	埋深%
				110	O05		143	7.0	4			
			鏡片		O04	I	5	6.0	4			
			鏡片	110	O05		38	21.9	4			
			鏡片	110	O05		10	2.3	4			
			鏡片	110	O05		80	6.5	4			
			鏡片	110	O05		82	12.2	4			
			鏡片	110	O05		126	0.9	4			
			鏡片	110	O05		130	4.0	4			
			鏡片	110	O05		157	3.9	4			
			鏡片	110	P05		38	4.3	4			
			鏡片	110	P05		114	6.2	4			
			鏡片	110	P05		137	47.4	4			
			鏡片	110	P05		143	7.0	4			
			鏡片	110	P05		180	12.3	4			
			鏡片	110	P05		194	9.0	4			
			鏡片	110	P05		221	0.7	4			
			鏡片	110	P05		301	2.5	4			
			鏡片	110	P05		328	3.4	4			
			鏡片	110	O05		16	7.2	4			
			鏡片	110	Q05		25	20.9	4			
			鏡片	110	Q05		90	2.7	4			
一	786	41	総合資料	110			435.6	13	4	1200	470	
			縦長鏡片		N04	I	33	44.0	4			
				110	P05		181	70.3	4			
				110	Q05		196	4.7	4			
			鏡片		N04	I	94	86.2	4			
			鏡片	110	O04		279	25.8	4			
			鏡片	110	P05		214	15.4	4			
			鏡片	110	O05		35	21.8	4			

探出	探出	番号	品類等	№	発掘区	層位	遺物番号	重量	容積(L)	石質	埋深%	埋深%
				110	O05		51	45.5	4			
			鏡片	110	P05		146	3.4	4			
				110	Q05		133	25.5	4			
			鏡片	110	P05		214	44.9	4			
			鏡片	110	P05		308	82.7	4			
			鏡片	110	Q05		148	7.6	4			
一	400	8	総合資料	86-90			845.8	22	1-5	702	322	
			鏡片	90	K32		14	8.8	1			
					K32	I	30	121.8	1			
			鏡片	90	K32		117	19.5	1			
			石片	90	L32		25	82.7	3			
					L32		1210	14.0	1			
			鏡片	90	L32		60	4.9	1			
					L32		264	10.7	1			
					L32	I	62	3.1	1			
			鏡片	90	L32		103	2.6	1			
					L32	I	98	31.9	1			
					L32	I	39	10.7	1			
			鏡片		L32	I	54	92.0	1			
						L32	I	35	89.1	1		
			石片		L32	I	36	12.8	1			
8-118	97	62	鏡器	86	M20		14	3.6	1			
				86	M20		300	130.2	5			
				86	M20		530	8.8	1			
			石片	86	M20		194	27.8	1			
					86	M20		16	30.6	1		
					M20	I	2	30.9	1			
8-118	97	63	鏡器	86	M20		405	87.0	3			
				86	M20		302	25.7	1			

報告書抄録

ふりがな	しらたきいせきてんらく							
書名	白滝遺跡群VI							
副書名	一般国道450号白滝丸瀬布道路工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	第223集							
編著者名	鈴木宏行・直江康雄							
編集機関	(財)北海道埋蔵文化財センター							
所在地	〒069-0832 江別市西野幌685番地1							
発行年月日	2006年3月17日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
かみしらたきほら いせき 上白滝8遺跡	ほっかいどうまもろついでしらかしひらたく 北海道紋別郡白滝村 あざかかしらたき 字上白滝179-1, 181-2～4, 182-2・3	01557	I-20-91	43° 52' 25"	143° 07' 58"	19950508～ 19951025 19960508～ 19961025 19970506～ 19971025 19980506～ 19981024 20000508～ 20001027	6,600㎡ 10,212㎡ 320㎡ 56㎡ 661㎡	道路建設に伴う事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
上白滝8遺跡 (西地区)	散布地	旧石器時代	炭化木片ブロック 17か所 石器ブロック 48か所	基部平坦加工石器、裏面微細加工石器、台形石器、有舌尖頭器、尖頭器、尖頭器削片、両面調整石器、ナイフ形石器、彫器、彫器削片、搔器、削器、錐形石器、舟底形石器、二次加工ある剥片、細石刃核、石刃、縦長剥片、石刃核、石核、斧形石器、つまみ付きナイフ、原石、台石 (総点数626,305点) (総重量1,685,473.9g)		後期旧石器時代前半期の石器群(「白滝1群」)小型舟底形石器を含む石器群 大型石刃・大型舟底形石器を含む石器群 忍路子型細石刃核を含む石器群 幅広有舌尖頭器を含む石器群 広鐮型ナイフ形石器を含む石器群		

北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第223集

白滝遺跡群 VI

第1分冊（本文編）

白滝村 上白滝8遺跡(2)

一般国道450号白滝丸瀬布道路工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書

平成18年3月17日

編集・発行 財団法人 北海道埋蔵文化財センター
〒069-0832 江別市西野幌685番地1
☎011(386)3231 FAX011(386)3238
印刷 ひまわり印刷株式会社
